

資料編

参考資料 1	「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査」調査票	1
参考資料 2	「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査」結果	33
参考資料 3	「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）」調査票	41
参考資料 4	「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）」結果	65
参考資料 5	「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査」属性別平均点	97
参考資料 6	「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査」属性別分析結果	111
参考資料 7	「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）」回答意見とりまとめ結果	
	(1) 分野別実感別（単純集計）	139
	(2) 基準年（令和 5 年）からの変化	
	① 有意な差が見られた属性（単純集計）	165
	② 分野別実感の変化別（上昇・横ばい・低下）	201
	③ 分野別実感と関連の強い要因の具体的な内容	227
	(3) 調査開始以降で一貫して高値又は低値で推移している属性	295
参考資料 8	計画開始年（平成 31 年）からの変化	
	(1) 「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査」属性別平均点	313
	(2) 「令和 7 年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）」回答意見とりまとめ結果	
	① 有意な差が見られた属性（単純集計）	327
	② 分野別実感の変化別（上昇・横ばい・低下）	637
	③ 分野別実感と関連の強い要因の具体的な内容	663
参考資料 9	【追加分析】「3 生活時間（行動時間）と主観的幸福感・生活満足度との関係について」分析結果	711
参考資料 10	「令和 7 年度幸福について考えるワークショップ」開催結果	715

令和 7 年県の施策に関する県民意識調査

岩手県が実施する「県の施策に関する県民意識調査」は、県民の皆様が、身の回りの暮らしの事柄について、どの程度重要だと感じ、どの程度満足しているかなどについての御意見を伺うものです。

県では、県民の皆様の御意見を取り入れながら、施策を展開していきたいと考えておりますので、調査への御協力をお願いいたします。

なお、この調査の結果につきましては、令和 7 年 5 月頃に公表する予定としており、岩手県調査統計課のホームページでお知らせします。

「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」

<https://www2.pref.iwate.jp/~stat/>

ご記入にあたってのお願い

- ◆ この調査は、無記名式であり、回答は全て統計的に処理され、調査票は、集計後、処分します。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままをお答えください。※
- ◆ このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれたあて名の御本人様がお答えください。（ただし、御本人様が長期不在などでお答えいただけない御事情がある場合には、御本人様に代わって、御家族の方などが御自身の立場でお答えください。）
- ◆ お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、1 月 27 日（月）までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

※ 同封の返信用封筒に記載の整理番号は、回答数が少なく調査の信頼性を確保できない場合に、未回答の方に改めて調査への御協力をお願いする場合等に使用するもので、回答者個人を特定する趣旨のものではありません。

【お問合せ先】

この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県ふるさと振興部調査統計課 調査分析担当

〒020-8570 盛岡市内丸 10 番 1 号

TEL:019-629-5301、5307（直通） FAX:019-629-5309

E-mail: stat@pref.iwate.jp

（電話受付時間：平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで）

1 調査の目的

岩手県では、「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわての実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げる「10 の政策分野」に基づく取組を推進していくために、**県民の皆様の御意見**をお伺いし、**次の施策に生かしていく**ために行うものです。

「いわて県民計画（2019～2028）」 10 の政策分野

①健康・余暇	健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手
②家族・子育て	家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手
③教育	学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手
④居住環境・コミュニティ	不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手
⑤安全	災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手
⑥仕事・収入	農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手
⑦歴史・文化	豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手
⑧自然環境	一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手
⑨社会基盤	防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手
⑩参画	男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手

2 調査結果の活用方法

県では、平成 13 年度から**政策評価を本格導入**し、県の仕事が目標に向かってうまく機能しているかどうかをチェックし、その結果を次の施策に反映していくことにしています。

今回の**調査結果は、県民の皆様に、より満足していただけるサービスを提供していくための重要な情報として、政策評価や施策の立案などに活用**することにしています。

3 調査の構成と記入の方法

- (1) 質問は、4 ページから 30 ページまでで、問 1 から問 8 まであります。
- (2) 回答は、この調査票の所定の欄に直接御記入ください。
- (3) 回答は、**全ての項目**についてお願いいたします。

問2 次に、1 ページで御説明いたしました「10 の政策分野」に関連する次の 1 から 57 までの調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	ある満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	いや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
30 犯罪に対する不安が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
31 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

※ 「あなたの重要度」の記入例

あなたの現在の暮らしにとって、「30 犯罪に対する不安が少ない社会であること。」という状態を実現することが、どれくらい重要かをお答えいただくものです。

この例では、「重要ではない」という場合を例示していますので、数字の「1」に○をつけます。

※ 「あなたの満足度」の記入例

あなたの現在の暮らしから見て、「30 犯罪に対する不安が少ない社会であること。」は、どれくらい満足できる状態にあるかをお答えいただくものです。

この例では、「やや不満な状態にある」という場合を例示していますので、数字の「2」に○をつけます。



©わんこきょうだい

次のページから始まります。

このページから調査票になります。

問1 まず最初にお伺いします。

あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度					
(1つ選び、番号に○をつけてください)					
満足 できる 状態 にある	やや 満足 できる 状態 にある	どちら とも いえ ない	やや 不満 な 状態 にある	不満 な 状態 にあ る	わ か ら な い
5	4	3	2	1	0

問2 次に、1 ページで御説明いたしました「10 の政策分野」に関連する次の 1 から 57 の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

(1) まず、「健康・余暇」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	い	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
1 体の健康づくりについての相談、指導を受けられること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
2 心の健康づくりについての相談、支援を受けられること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
3 必要な医療を適切に受けられること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
4 介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
5 日常的に文化芸術に親しむ機会があること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
6 身近な地域でスポーツを楽しむ機会が充実していること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
7 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(2) 次に、「家族・子育て」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	い	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
8 安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
9 学校・家庭・地域が連携し、子どもの育ちと学びに取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
10 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
11 仕事と生活を両立できる環境であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
12 ペットなど動物のいのちを大切にする社会であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0

(3) 次に、「教育」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない どちらともいえ	い あまり重要でな	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
13 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。〔子どもは、小学生から高校生までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
14 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
15 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
16 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
17 学校が、いじめや不登校に適切に対処していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
18 学校施設や登下校時において、子どもたちが安全・安心に学ぶことができる環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
19 特色ある私学教育の充実が図られていること。〔私学教育とは、私学の幼児教育から高等教育までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20 岩手の復興・発展を支える人材が育成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
21 文化芸術やスポーツの分野において、本県ゆかりの芸術家や選手が国内外で活躍していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
22 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(4) 次に、「居住環境・コミュニティ」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	い	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
23 道路や上下水道などの生活基盤の整備、歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化や冬は暖かく夏は涼しいなど良質な住宅の普及等が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
24 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
25 つながりや活力を感じられる地域コミュニティであること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
26 岩手への移住・定住を増やすための取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
27 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
28 文化芸術・スポーツを生かした地域づくりが行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(5) 次に、「安全」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
29 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
30 犯罪に対する不安が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	い	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
31 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
32 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
33 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない環境であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
34 感染症に対する備えが整っている社会であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0

(6) 次に、「仕事・収入」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	い	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
35 県内に職を求める人が希望どおりに就職できる環境であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0
36 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない		満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
37 中小企業が、より魅力のある商品・サービス等の提供や経営人材の確保等に取り組み、事業活動を活発に展開していること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
38 工場や事業所の新設・増設により、県内経済が活性化していること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
39 地域の資源を生かした加工食品や工芸品などが開発され、販売されていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
40 海外における県産品の販路の拡大が図られること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
41 地域が、魅力ある観光地づくりに取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
42 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
43 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
44 本県農林水産物が評価され、販路が拡大していること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	い	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
45 生産者や地域住民などとの地域活動や都市との交流により活力ある農山漁村が形成されていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0

(7) 次に、「歴史・文化」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない		
46 世界遺産を守り将来に伝えていくための取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
47 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

(8) 次に、「自然環境」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度							あなたの満足度						
	(1つ選び、番号に○をつけてください)							(1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない		満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
48 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
49 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
50 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量削減の取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(9) 次に、「社会基盤」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
51 国際リニアコライダー（ILC）(注)などの国際研究拠点の形成を見据えた、外国人研究者等の受入環境等の整備や新たな産業振興の取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
52 インターネットや携帯電話・スマートフォンなどの利用により、情報通信技術が暮らしや仕事に生かされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
53 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない		満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
54 高速道路や、インターチェンジ、新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
55 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	

(注) 国際リニアコライダー (ILC) とは、全長 20～50km の地下トンネルに建設される、電子と陽電子を加速、衝突させ質量の起源や時空構造、宇宙誕生の謎の解明を目指す大規模施設のことをさします。

(10) 次に、「参画」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない		満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	
56 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	
57 だれもが市民活動 (注1) や県民運動 (注2) に参加できる社会であること。	5	4	3	2	1	0		5	4	3	2	1	0	

(注1) 市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会（子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動をさします。

(注2) 県民運動とは、地域医療体制づくりや地球温暖化防止、交通事故防止など、全県的な目標・課題に関し多様な主体が連携して取り組むことをさします。

問3 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けて様々な取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問3-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。①～⑫の各項目について、あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください (該当しない調査項目は、「わからない」を選択してください)					
	感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり感じ ない	感じない	わからない
① ころやからだ健康だと感じますか	5	4	3	2	1	0
② 余暇が充実していると感じますか	5	4	3	2	1	0
③ 家族と良い関係がとれていると感じますか	5	4	3	2	1	0
④ 子育てがしやすいと感じますか	5	4	3	2	1	0
⑤ 子どものためになる教育が行われていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑥ 住まいに快適さを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑦ 地域社会とのつながりを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑧ お住まいの地域は安全だと感じますか	5	4	3	2	1	0
⑨ 仕事にやりがいを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑩ 必要な収入や所得が得られていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑪ 地域の歴史や文化に誇りを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑫ 自然に恵まれていると感じますか	5	4	3	2	1	0

問3-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

最も近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの現在の幸福感 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
幸福だと 感じている	やや幸福だと 感じている	どちらともい えない	あまり幸福だと 感じていない	幸福だと感じて いない	わからない
5	4	3	2	1	0

問3-3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。該当する全ての番号に○をつけてください。

1	健康状況
2	自由な時間・充実した余暇
3	家族関係
4	友人関係
5	職場の人間関係
6	子育て環境
7	教育環境
8	居住環境
9	社会貢献
10	地域コミュニティとの関係
11	治安・防災体制
12	仕事のやりがい
13	就業状況
14	家計の状況
15	地域の歴史・文化
16	自然環境
17	その他 (具体的に :)

問3-4 ①～⑥の各項目について、あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください				
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
① 身近な周りの人が幸福であると感じますか	5	4	3	2	1
② 周りの人に認められていると感じますか	5	4	3	2	1
③ 大切な人を幸福にしていると感じますか	5	4	3	2	1
④ 安定した日々を過ごしていると感じますか	5	4	3	2	1
⑤ 人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか	5	4	3	2	1
⑥ 周りの人たちと同じくらい幸福だと感じますか	5	4	3	2	1

問4 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等について伺います。

問4-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。つきあいの程度について、次のうちから当てはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる
- 2 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
- 3 あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
- 4 つきあいは全くしていない

問4-2 つきあっているご近所の方の数について、次のうちから当てはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 近所のかなり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上）
- 2 ある程度の人との面識・交流がある（概ね5～19人）
- 3 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下）
- 4 隣の人がだれかも知らない

問4-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。次のうちから当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください					
	日常的にある (毎日から週に数回程度)	ある程度頻繁にある (週に1回～月に数回程度)	ときどきある (月に1回～年に数回程度)	めったにない (年に1回～数年に1回程度)	全くない	該当する人はいない
① 友人・知人とのつきあい (学校や職場以外で)	5	4	3	2	1	0
② 親戚・親類とのつきあい (同居している方を除く)	5	4	3	2	1	0

問4-4 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。次のうちから当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	活動している	活動していない
① 地縁的な活動 (自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会など)	2	1
② スポーツ・趣味・娯楽活動 (各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など)	2	1
③ ボランティア・NPO・市民活動 (まちづくり、高齢者・障がい者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など)	2	1

問4-5 あなたのお住まいの地域（小・中学校区から市町村の範囲）に対する実感をおたずねします。①～④の各項目について、あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください				
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
① 地域への愛着を感じていますか	5	4	3	2	1
② ご近所とのつきあいはよいと感じますか	5	4	3	2	1
③ 信頼できる人が身近にいますか	5	4	3	2	1
④ 地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか	5	4	3	2	1

問5 生活時間及び家事関連時間についてお伺いします。

夫婦世帯の方は（１）～（５）に記入してください。夫婦世帯以外の方は（６）にお進みください。

（１）お二人とも職業をお持ちですか。

（あてはまるもの１つに○印）

- １．夫婦二人とも仕事を持っている
３．妻のみ持っている

- ２．夫のみ持っている
４．どちらも持っていない

（２）あなたとあなたの夫（妻）は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

以下の家事の種類ごとに、夫と妻を別に、**１日当たり**の家事労働従事時間を記入してください。（１週間の平均時間を目安にお答えください。）

（□内に数字を記入してください）

家 事 の 種 類	あ な た (調査対象者)					あなたの夫（妻）				
①食事の用意・後片付け	約		時間		分	約		時間		分
②掃除・洗濯	約		時間		分	約		時間		分
③育児	約		時間		分	約		時間		分
④介護・看護	約		時間		分	約		時間		分
⑤買い物	約		時間		分	約		時間		分
⑥その他（ ）	約		時間		分	約		時間		分

（３）あなた（調査対象者）は、普段の生活で、（２）のほか、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の**１日当たり**の行動の時間を記入してください。（１週間の平均時間を目安にお答えください。）

（□内に数字を記入してください）

行 動 の 種 類	行 動 の 時 間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注１）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分

（注１）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注２）行動の種類には（２）、（３）のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、（２）と（３）の行動の時間の合計が２４時間より小さくても構いません。

次の質問は**男性の方**のみお答えください。

(4) あなたは、今後（も）、家事を分担したいと思いますか。

—(あてはまるもの1つに○印)—

1. 今後（も）家事を分担したい 2. 特に分担したいとは思わない

次の質問は**夫婦世帯の方全員**お答えください。

(5) 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるもの全てに○印)

1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること
6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
7. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのＩＣＴを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. その他（ ）
11. 特に必要なことはない

夫婦世帯以外の方は（６）に記入してください。
夫婦世帯の方は記入せず次の問６にお進みください。

(6) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の１日当たりの行動の時間を記入してください。（１週間の平均時間を目安にお答えください。）

（□内に数字を記入してください）

行 動 の 種 類	行 動 の 時 間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注１）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分
⑦食事の用意・後片付け	約		時間		分
⑧掃除・洗濯	約		時間		分
⑨育児	約		時間		分
⑩介護・看護	約		時間		分
⑪買い物	約		時間		分
⑫その他（⑦～⑪以外の家事）	約		時間		分

（注１）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注２）行動の種類には①～⑫のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、①～⑫の行動の時間の合計が24時間より小さくても構いません。

問6 あなたは、昨年同時期に比べて、以下の行動にかかる時間が変化していますか。近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	増えた	変わらない	減った	やっていない
学習・自己啓発・訓練（学業以外）	3	2	1	0
趣味・娯楽	3	2	1	0
スポーツ	3	2	1	0
ボランティア活動・社会参加活動	3	2	1	0

ここからは、あなたの行動についてお伺いします。

問7・1 生涯学習についてお伺いします。

(注) 生涯学習とは

いつでも、どこでも自由に行う学習のこと。上手になりたい、もっと知りたい、職業上で必要だからなど、知識・技能を高めるために自発的に取り組み、個人で本を読んだり、インターネットで調べたりする方法も含めた学習活動をいいます。

(1) あなたは、生涯学習に取り組んでいますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 取り組んでいる

2. 取り組んでいない

※「1. 取り組んでいる」方は(2)へ

※「2. 取り組んでいない」方は問7-2へ

(2) (1) で「1. 取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。

以下のそれぞれの内容と取組の頻度についてお答えください。

生涯学習の内容 取組の頻度	取組の頻度は			
	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	取り組んでいない
(回答例)「①文化・芸術」について、「週に数回程度」取り組んでいる場合、1に○印をつける。	1	2	3	4
①文化・芸術（音楽・合唱、美術・舞踊、郷土史、伝統芸能など）	1	2	3	4
②趣味や教養（パソコン、囲碁・将棋、語学、茶道・華道・着付けなど）	1	2	3	4
③スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進（ヨガ・山歩き・自然食など）	1	2	3	4
④職業上必要な知識・技能（パソコン技能や資格取得など）	1	2	3	4
⑤家庭生活に役立つ技能（料理、手芸など）	1	2	3	4
⑥子育て、しつけや家庭教育、読み聞かせ	1	2	3	4
⑦社会問題（時事、政治、経済、環境など）	1	2	3	4
⑧ボランティア活動に必要な知識・技能	1	2	3	4
⑨その他（ ）	1	2	3	4

問7-2 大きな病院と診療所（開業医）の役割分担についてお伺いします。

あなたは、大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について知っていますか。

（あてはまるもの1つに○印）

1. 知っている

2. 知らない

問7-3 災害への対応についてお伺いします。

(1) あなたは、普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか。

（あてはまるもの1つに○印）

1. 準備している

2. 特に準備していない

※「1. 準備している」方は（2）へ

※「2. 特に準備していない」方は問7-4へ



(2) (1)で「1. 準備している」と回答した方にお聞きします。

準備している内容全てに○印を付けてください。

（あてはまるもの全てに○印）

1. 家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している
2. 地域で実施される防災訓練（注）に年1回以上参加している
3. 家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している
4. 家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的対応（連絡方法、集合場所）などを話し合っている
5. 地域の自主防災組織に加入している
6. 家具などの転倒防止措置を行っている
7. 自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている
8. その他（ ）

（注）防災訓練：避難訓練や救助訓練などを含む訓練

問 7 - 4 地球温暖化防止への対応についてお伺いします。

あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。

以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の状況 行動の内容	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない
(回答例)「①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している」について、 「ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3	
①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している (冷房時 28℃以上、暖房時 20℃以下)	1	2	3	
②不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る	1	2	3	
③食事は残さず食べるなど生ごみを減らす	1	2	3	
④火力調節を行うなど省エネを心がけて調理する	1	2	3	
⑤詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する	1	2	3	
⑥洗顔や食器洗いのときに水を流したままにしない	1	2	3	
⑦外出はできるだけ自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用する	1	2	3	
⑧自動車を運転するときに、少しゆるやかな発進や、加減速の少ない運転など燃費向上を心がけている (注)	1	2	3	4

(注) 自動車を運転しない人は「4. 運転しない」を選択してください。

問7 - 5 市民活動についてお伺いします。

(注) 市民活動とは

NPO、ボランティア、自治会・町内会（子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動をいいます。

(1) あなたの年齢（満年齢）をお答えください。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 65 歳未満

2. 65 歳以上

(2) あなたは、過去1年間にどのような市民活動に参加しましたか。

以下のそれぞれの活動の参加の状況についてお答えください。

活動の内容	参加の程度は			
	参加の程度 企画段階から自主的に参加	興味ある活動に誘われた場合に参加	義務的に参加	参加していない
(回答例)「①青少年の健全育成を目的とした活動」について、「企画段階から自主的に参加」の場合、1に○印をつける。	1	2	3	4
①青少年の健全育成を目的とした活動	1	2	3	4
②自然や環境を守る活動	1	2	3	4
③健康、医療、福祉に関係した活動	1	2	3	4
④地域づくりのための活動	1	2	3	4
⑤防災、防犯、交通安全の活動	1	2	3	4
⑥学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動	1	2	3	4
⑦その他 ()	1	2	3	4



©わんこきょうだい

最後の問へ進みます。

アンケートに回答した方（あなた）について伺います。

問8 最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別（○は1つ）

1 男性	2 女性	3 その他

(2) 年齢（満年齢）（○は1つ）

1 18～19 歳	2 20～29 歳	3 30～39 歳	4 40～49 歳
5 50～59 歳	6 60～69 歳	7 70 歳以上	

(3) あなたの主な御職業は何ですか。（○は1つ）

1 自営業主	
2 家族従業者	
3 会社役員・団体役員	
4 常用雇用者	※期間を定めずに又は1年を超える期間を定めて雇われる人
5 臨時雇用者（パート、アルバイトなど）	※日々又は1年以内の期間を定めて雇われる人
6 学生	
7 専業主婦（主夫）	
8 無職	
9 その他（具体的に：	）

※ (3)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか。（○は1つ）

1 農業、林業	2 漁業	3 鉱業、採石業、砂利採取業
4 建設業	5 製造業	6 電気・ガス・熱供給・水道業
7 情報通信業	8 運輸業、郵便業	9 卸売・小売業
10 金融業、保険業	11 不動産業、物品賃貸業	
12 学術研究、専門・技術サービス業	13 宿泊業、飲食サービス業	
14 その他のサービス業	15 公務	
16 その他（具体的に：		）

(4) あなたの世帯についてお伺いします。次のどれに当たりますか。（○は1つ）

1 ひとり暮らしである（単身赴任を含む）
2 一緒に暮らしている人がいる
3 寮、寄宿舎、老人ホームその他の施設にいる
4 その他（

※ (4)で2又は4に○をつけられた方のみお答えください。

あなたの世帯に含まれる方は次のどれにあてはまりますか。該当する番号全てに○をつけてください。(あなたとの続柄でお答えください。)

1 祖父又は祖母 (配偶者の祖父(祖母)を含む)	2 父母(配偶者の父(母)を含む)
3 配偶者	4 兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹を含む)
5 子ども	6 子どもの配偶者
7 孫	8 その他 ()

(5) あなたのお子さんは、何人いますか。(同居・別居は問いません。)

1 1人	2 2人	3 3人
4 4人	5 5人以上	6 子どもはいない

※ (5)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さんは、次のどこにあてはまりますか。(該当する番号全てに○をつけてください。)

1 小学校入学前(乳幼児を含む。)	2 小学生
3 中学生	4 高校生(高校受験浪人を含む。)
5 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学(大学受験浪人を含む。)	
6 学校教育終了で同居	7 学校教育終了で別居
8 その他(具体的に:)	

(6) あなたは岩手県に住んで通算何年になりますか。(○は1つ)

1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満
4 10～20年未満	5 20年以上	

(7) あなたが現在お住まいの市町村はどこですか。(○は1つ)

県央地域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 滝沢市	4 雫石町	5 葛巻町
	6 岩手町	7 紫波町	8 矢巾町		
県南地域	9 花巻市	10 北上市	11 遠野市	12 一関市	13 奥州市
	14 西和賀町	15 金ヶ崎町	16 平泉町		
沿岸地域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市	21 住田町
	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町	25 田野畑村	
県北地域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町	30 野田村
	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町		

御協力ありがとうございました。

お手数ですが1月27日（月）までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

【令和7年県民意識調査結果(統計表)】

問3-1 ① ところやからだが健康だと感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位: 人)	3,159	411	1,005	754	627	284	29	49	3.21
男性	1,395	178	439	348	290	113	12	15	3.20
女性	1,718	227	555	397	329	164	15	31	3.21
その他	6	0	0	0	3	1	2	0	1.75
18～19歳	26	12	8	4	2	0	0	0	4.15
20～29歳	128	27	44	22	23	10	2	0	3.44
30～39歳	234	35	74	52	44	26	1	2	3.21
40～49歳	384	32	110	90	108	40	4	0	2.96
50～59歳	544	63	163	135	133	46	2	2	3.12
60～69歳	708	82	238	185	140	53	4	6	3.22
70歳以上	1,094	153	354	258	174	103	16	36	3.27
自営業主	256	36	84	66	44	21	1	4	3.28
家族従業員	87	13	33	22	10	8	1	0	3.38
会社役員・団体役員	193	31	56	50	36	18	1	1	3.24
常用雇用者	870	102	283	203	207	67	6	2	3.17
臨時雇用者	363	42	128	83	84	25	1	0	3.22
学生＋その他	139	32	44	28	27	8	0	0	3.47
専業主婦・主夫	312	41	103	81	58	25	1	3	3.25
60歳未満の無職(参考)	64	7	15	13	15	11	2	1	2.87
60歳以上の無職	661	74	195	167	118	79	10	18	3.11
ひとり暮らし	405	48	111	107	81	46	5	7	3.09
夫婦のみ	663	87	241	158	125	47	1	4	3.30
2世代世帯	1,233	155	402	290	257	108	15	6	3.20
3世代世帯	405	55	106	103	93	41	1	6	3.10
その他	161	23	48	34	31	19	3	3	3.16
1人	355	36	123	96	59	33	6	2	3.20
2人	1,121	136	374	261	229	101	8	12	3.20
3人	587	81	190	153	107	42	5	9	3.28
4人以上	136	18	46	29	34	7	1	1	3.25
子どもはいない	682	96	189	156	161	75	4	1	3.10
10年未満	83	17	26	19	12	9	0	0	3.36
10～20年未満	109	22	37	21	20	8	1	0	3.42
20年以上	2,768	339	881	676	570	246	23	33	3.18
県央広域振興圏	920	122	290	227	163	92	10	16	3.21
県南広域振興圏	959	138	319	210	202	71	8	11	3.27
沿岸広域振興圏	732	88	226	184	145	67	6	16	3.17
県北広域振興圏	548	63	170	133	117	54	5	6	3.13

問3-1 ② 余暇が充実していると感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位: 人)	3,159	302	855	809	680	384	62	67	3.00
男性	1,395	126	354	393	315	166	23	18	2.97
女性	1,718	172	491	409	355	210	37	44	3.04
その他	6	0	0	0	2	3	1	0	1.40
18～19歳	26	7	11	4	2	1	1	0	3.84
20～29歳	128	28	38	30	20	10	2	0	3.43
30～39歳	234	32	57	58	48	35	2	2	3.01
40～49歳	384	29	96	84	99	70	5	1	2.78
50～59歳	544	48	140	136	142	72	3	3	2.91
60～69歳	708	51	204	180	179	74	11	9	2.97
70歳以上	1,094	103	298	306	183	119	38	47	3.08
自営業主	256	25	62	68	55	36	4	6	2.94
家族従業員	87	6	29	22	18	11	1	0	3.01
会社役員・団体役員	193	18	49	58	33	32	1	2	2.94
常用雇用者	870	77	228	207	241	108	7	2	2.91
臨時雇用者	363	41	101	86	88	43	2	2	3.03
学生＋その他	139	21	47	37	21	12	1	0	3.32
専業主婦・主夫	312	32	103	72	65	30	6	4	3.14
60歳未満の無職(参考)	64	8	11	20	15	6	3	1	3.00
60歳以上の無職	661	56	176	187	108	83	26	25	3.02
ひとり暮らし	405	42	111	87	81	60	14	10	2.98
夫婦のみ	663	57	201	194	141	60	6	4	3.08
2世代世帯	1,233	113	344	304	284	150	24	14	2.99
3世代世帯	405	38	95	108	93	60	4	7	2.89
その他	161	21	35	40	28	27	5	5	2.97
1人	355	29	99	82	85	48	10	2	2.93
2人	1,121	91	317	283	256	143	12	19	2.96
3人	587	55	170	163	117	60	10	12	3.08
4人以上	136	13	30	39	31	16	3	4	2.95
子どもはいない	682	92	169	176	141	89	13	2	3.05
10年未満	83	11	32	19	7	13	1	0	3.26
10～20年未満	109	14	36	21	22	13	3	0	3.15
20年以上	2,768	260	740	721	616	337	48	46	2.99
県央広域振興圏	920	95	277	205	188	118	18	19	3.05
県南広域振興圏	959	99	243	261	202	121	16	17	3.00
沿岸広域振興圏	732	53	195	198	177	70	18	21	2.98
県北広域振興圏	548	55	140	145	113	75	10	10	2.98

注) 別途公表している県民意識調査結果は、回答者数の地域差を考慮し、居住人口に応じた係数を乗じて集計(母集団拡大集計)を行っていますが、当分析部会の分析データは単純集計結果を用いているため、分析結果は、既に公表されている県民意識調査結果と数値が異なる場合があります。

問3-1 ③家族と良い関係がとれていると感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	1,005	1,162	548	187	115	76	66	3.91
男性	1,395	426	536	256	74	53	31	19	3.90
女性	1,718	567	613	288	108	60	40	42	3.93
その他	6	0	3	0	0	1	2	0	3.25
18～19歳	26	19	5	2	0	0	0	0	4.65
20～29歳	128	70	37	17	1	1	2	0	4.38
30～39歳	234	85	98	30	7	9	2	3	4.06
40～49歳	384	125	140	68	30	15	5	1	3.87
50～59歳	544	162	187	102	47	33	11	2	3.75
60～69歳	708	188	274	137	49	30	20	10	3.80
70歳以上	1,094	343	410	185	50	26	35	45	3.98
自営業主	256	83	103	40	14	9	3	4	3.95
家族従業員	87	22	36	21	4	2	1	1	3.85
会社役員・団体役員	193	69	73	29	6	9	5	2	4.01
常用雇用者	870	299	314	148	58	33	14	4	3.92
臨時雇用者	363	112	134	67	27	13	9	1	3.86
学生＋その他	139	54	48	27	8	2	0	0	4.04
専業主婦・主夫	312	112	112	43	21	12	6	6	3.97
60歳未満の無職(参考)	64	12	21	17	2	7	4	1	3.49
60歳以上の無職	661	185	248	126	37	17	27	21	3.89
ひとり暮らし	405	101	117	94	22	25	29	17	3.69
夫婦のみ	663	241	271	92	27	16	9	7	4.07
2世代世帯	1,233	410	474	216	69	41	18	5	3.94
3世代世帯	405	124	148	73	38	9	7	6	3.87
その他	161	39	52	37	14	11	5	3	3.61
1人	355	121	121	51	27	18	12	5	3.89
2人	1,121	380	422	190	63	36	17	13	3.96
3人	587	174	235	105	41	15	8	9	3.90
4人以上	136	51	47	26	6	3	1	2	4.03
子どもはいない	682	209	251	128	36	30	22	6	3.88
10年未満	83	35	24	20	1	2	1	0	4.09
10～20年未満	109	49	34	12	7	5	2	0	4.07
20年以上	2,768	863	1,043	489	167	98	66	42	3.90
県央広域振興圏	920	315	329	150	44	36	28	18	3.96
県南広域振興圏	959	295	337	189	71	32	14	21	3.86
沿岸広域振興圏	732	217	292	115	40	28	22	18	3.91
県北広域振興圏	548	178	204	94	32	19	12	9	3.93

問3-1 ④子育てがしやすいと感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	200	627	946	395	231	654	106	3.07
男性	1,395	86	268	441	199	108	264	29	3.02
女性	1,718	110	351	495	192	117	381	72	3.11
その他	6	0	0	0	0	3	3	0	1.00
18～19歳	26	3	4	7	2	2	8	0	3.22
20～29歳	128	5	23	29	20	9	42	0	2.94
30～39歳	234	13	52	60	36	26	46	1	2.95
40～49歳	384	27	77	100	61	48	71	0	2.92
50～59歳	544	29	111	164	72	44	118	6	3.02
60～69歳	708	32	144	252	96	49	123	12	3.02
70歳以上	1,094	87	206	321	103	51	244	82	3.23
自営業主	256	26	44	82	30	30	37	7	3.03
家族従業員	87	6	19	30	11	5	12	4	3.14
会社役員・団体役員	193	16	52	51	27	17	29	1	3.14
常用雇用者	870	49	163	264	142	69	178	5	2.97
臨時雇用者	363	13	79	108	56	31	74	2	2.95
学生＋その他	139	8	26	44	21	12	26	2	2.97
専業主婦・主夫	312	30	81	77	25	19	71	9	3.34
60歳未満の無職(参考)	64	3	7	24	2	4	23	1	3.08
60歳以上の無職	661	35	111	209	62	31	171	42	3.13
ひとり暮らし	405	27	47	102	36	35	135	23	2.98
夫婦のみ	663	34	131	222	79	36	143	18	3.10
2世代世帯	1,233	76	249	373	177	90	251	17	3.05
3世代世帯	405	35	101	134	55	35	38	7	3.13
その他	161	6	28	39	22	15	43	8	2.89
1人	355	26	85	102	53	31	53	5	3.07
2人	1,121	79	271	365	162	79	135	30	3.11
3人	587	44	134	179	81	50	81	18	3.08
4人以上	136	13	34	53	8	12	13	3	3.23
子どもはいない	682	18	52	171	68	43	317	13	2.81
10年未満	83	6	17	17	11	5	26	1	3.14
10～20年未満	109	12	21	24	7	11	31	3	3.21
20年以上	2,768	166	544	860	360	202	562	74	3.05
県央広域振興圏	920	58	202	266	108	56	205	25	3.14
県南広域振興圏	959	69	194	274	131	76	191	24	3.07
沿岸広域振興圏	732	39	135	211	86	57	165	39	3.02
県北広域振興圏	548	34	96	195	70	42	93	18	3.02

問3-1 ⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	169	679	989	363	150	700	109	3.15
男性	1,395	78	303	453	175	72	285	29	3.13
女性	1,718	87	368	525	187	72	405	74	3.17
その他	6	0	0	1	0	2	3	0	1.67
18～19歳	26	6	5	8	3	2	2	0	3.42
20～29歳	128	5	30	28	20	3	42	0	3.16
30～39歳	234	11	54	68	29	21	49	2	3.03
40～49歳	384	27	91	111	53	27	75	0	3.12
50～59歳	544	31	95	185	72	33	120	8	3.05
60～69歳	708	21	155	269	83	33	136	11	3.09
70歳以上	1,094	63	240	307	102	28	272	82	3.28
自営業主	256	18	60	83	29	17	42	7	3.16
家族従業員	87	4	23	33	5	4	14	4	3.26
会社役員・団体役員	193	9	57	52	33	10	30	2	3.14
常用雇用者	870	35	176	297	109	50	196	7	3.06
臨時雇用者	363	18	71	124	46	15	86	3	3.11
学生＋その他	139	13	30	42	26	7	19	2	3.14
専業主婦・主夫	312	27	84	81	29	11	74	6	3.38
60歳未満の無職(参考)	64	5	6	23	4	3	22	1	3.15
60歳以上の無職	661	26	127	196	64	23	181	44	3.16
ひとり暮らし	405	17	66	109	32	26	128	27	3.06
夫婦のみ	663	28	134	228	69	21	167	16	3.16
2世代世帯	1,233	66	269	400	153	60	268	17	3.14
3世代世帯	405	30	110	129	69	20	38	9	3.17
その他	161	6	34	39	17	11	49	5	3.07
1人	355	15	95	106	55	20	59	5	3.10
2人	1,121	73	296	362	150	44	169	27	3.22
3人	587	33	138	204	64	36	93	19	3.14
4人以上	136	11	29	48	20	5	20	3	3.19
子どもはいない	682	23	69	189	53	32	299	17	2.99
10年未満	83	3	19	19	10	3	28	1	3.17
10～20年未満	109	14	19	28	16	7	22	3	3.20
20年以上	2,768	137	599	890	322	133	611	76	3.14
県央広域振興圏	920	55	207	277	106	39	211	25	3.19
県南広域振興圏	959	50	207	304	121	42	207	28	3.14
沿岸広域振興圏	732	35	143	222	77	43	173	39	3.10
県北広域振興圏	548	29	122	186	59	26	109	17	3.16

問3-1 ⑥住まいに快適さを感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	483	1,008	804	455	305	43	61	3.30
男性	1,395	218	456	361	209	119	15	17	3.33
女性	1,718	259	542	436	236	180	26	39	3.28
その他	6	0	0	1	2	1	2	0	2.00
18～19歳	26	12	8	3	2	1	0	0	4.08
20～29歳	128	25	39	32	24	7	1	0	3.40
30～39歳	234	40	82	49	31	29	1	2	3.32
40～49歳	384	57	114	94	72	44	3	0	3.18
50～59歳	544	74	175	145	76	67	5	2	3.21
60～69歳	708	73	238	189	124	71	8	5	3.17
70歳以上	1,094	195	340	287	117	83	25	47	3.44
自営業主	256	49	87	64	26	25	1	4	3.43
家族従業員	87	16	27	19	10	11	3	1	3.33
会社役員・団体役員	193	39	71	45	20	15	2	1	3.52
常用雇用者	870	119	276	223	155	90	5	2	3.21
臨時雇用者	363	45	112	98	63	41	4	0	3.16
学生＋その他	139	29	40	39	18	11	2	0	3.42
専業主婦・主夫	312	49	113	74	34	33	4	5	3.37
60歳未満の無職(参考)	64	7	29	9	11	6	1	1	3.32
60歳以上の無職	661	93	204	182	90	55	15	22	3.30
ひとり暮らし	405	51	125	102	58	47	12	10	3.20
夫婦のみ	663	102	222	183	95	54	3	4	3.34
2世代世帯	1,233	200	400	313	181	111	17	11	3.33
3世代世帯	405	59	129	94	71	46	2	4	3.21
その他	161	26	48	40	17	21	4	5	3.27
1人	355	47	128	86	56	29	7	2	3.31
2人	1,121	170	366	293	153	112	11	16	3.30
3人	587	92	192	165	76	46	6	10	3.36
4人以上	136	20	40	31	26	14	3	2	3.20
子どもはいない	682	112	212	159	115	74	6	4	3.26
10年未満	83	13	36	16	12	5	1	0	3.49
10～20年未満	109	30	33	24	14	8	0	0	3.58
20年以上	2,768	407	886	718	408	274	36	39	3.28
県央広域振興圏	920	142	324	233	122	68	13	18	3.39
県南広域振興圏	959	155	290	241	146	100	10	17	3.27
沿岸広域振興圏	732	112	239	186	99	66	12	18	3.33
県北広域振興圏	548	74	155	144	88	71	8	8	3.14

問3-1 ⑦地域社会とのつながりを感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	278	890	979	551	274	111	76	3.12
男性	1,395	139	402	420	254	119	40	21	3.14
女性	1,718	135	477	550	290	148	68	50	3.10
その他	6	0	0	0	1	3	2	0	1.25
18～19歳	26	3	11	4	3	3	2	0	3.33
20～29歳	128	10	29	31	34	17	7	0	2.84
30～39歳	234	18	61	61	52	34	6	2	2.90
40～49歳	384	19	95	133	74	50	11	2	2.89
50～59歳	544	50	142	181	102	51	16	2	3.07
60～69歳	708	41	196	257	139	50	16	9	3.06
70歳以上	1,094	133	345	299	142	67	53	55	3.34
自営業主	256	42	86	65	34	20	3	6	3.39
家族従業員	87	11	27	31	11	3	2	2	3.39
会社役員・団体役員	193	15	57	60	36	18	5	2	3.08
常用雇用者	870	53	213	303	183	98	18	2	2.93
臨時雇用者	363	19	108	118	69	36	13	0	3.01
学生＋その他	139	18	37	38	25	15	5	1	3.14
専業主婦・主夫	312	30	106	87	49	21	12	7	3.26
60歳未満の無職(参考)	64	3	18	21	8	7	5	2	3.04
60歳以上の無職	661	65	180	202	100	47	37	30	3.20
ひとり暮らし	405	19	94	128	83	51	20	10	2.86
夫婦のみ	663	64	206	205	121	49	12	6	3.18
2世代世帯	1,233	108	338	396	228	95	49	19	3.12
3世代世帯	405	41	132	116	54	42	12	8	3.20
その他	161	12	37	53	25	22	7	5	2.95
1人	355	30	92	122	53	40	13	5	3.06
2人	1,121	100	353	344	194	81	29	20	3.18
3人	587	60	184	180	94	39	15	15	3.24
4人以上	136	19	46	37	18	8	5	3	3.39
子どもはいない	682	45	146	216	154	87	31	3	2.86
10年未満	83	5	14	31	14	14	5	0	2.77
10～20年未満	109	9	31	30	20	15	4	0	2.99
20年以上	2,768	242	786	868	489	237	92	54	3.12
県央広域振興圏	920	63	247	288	178	89	37	18	3.02
県南広域振興圏	959	83	285	292	161	84	32	22	3.13
沿岸広域振興圏	732	84	204	226	118	55	20	25	3.21
県北広域振興圏	548	48	154	173	94	46	22	11	3.12

問3-1 ⑧お住まいの地域は安全だと感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	562	1,296	761	240	151	79	70	3.62
男性	1,395	283	579	326	104	59	27	17	3.68
女性	1,718	271	701	426	132	90	50	48	3.57
その他	6	0	1	1	2	0	2	0	2.75
18～19歳	26	11	8	4	1	1	1	0	4.08
20～29歳	128	33	54	29	8	3	1	0	3.83
30～39歳	234	46	93	64	20	4	4	3	3.69
40～49歳	384	60	165	88	40	19	12	0	3.56
50～59歳	544	83	248	135	34	30	12	2	3.60
60～69歳	708	103	291	180	65	44	16	9	3.50
70歳以上	1,094	217	422	252	70	49	33	51	3.68
自営業主	256	58	105	53	19	15	3	3	3.69
家族従業員	87	19	30	18	7	7	3	3	3.58
会社役員・団体役員	193	37	87	40	16	8	3	2	3.69
常用雇用者	870	143	375	228	65	35	20	4	3.62
臨時雇用者	363	52	157	94	31	18	11	0	3.55
学生＋その他	139	39	47	30	12	8	1	2	3.71
専業主婦・主夫	312	51	137	77	17	17	7	6	3.63
60歳未満の無職(参考)	64	8	33	14	5	1	1	2	3.69
60歳以上の無職	661	113	264	155	53	33	21	22	3.60
ひとり暮らし	405	66	154	108	28	21	15	13	3.57
夫婦のみ	663	114	285	154	54	37	12	7	3.60
2世代世帯	1,233	222	529	303	91	49	28	11	3.66
3世代世帯	405	72	176	89	37	19	7	5	3.62
その他	161	28	58	45	8	12	6	4	3.54
1人	355	52	167	69	22	23	16	6	3.61
2人	1,121	197	475	269	92	48	19	21	3.63
3人	587	101	257	140	40	29	10	10	3.64
4人以上	136	30	45	38	13	6	1	3	3.61
子どもはいない	682	128	274	172	52	32	22	2	3.63
10年未満	83	15	40	21	4	1	2	0	3.79
10～20年未満	109	31	42	19	8	6	2	1	3.79
20年以上	2,768	473	1,155	677	213	138	67	45	3.61
県央広域振興圏	920	169	392	212	73	33	21	20	3.67
県南広域振興圏	959	172	395	240	78	31	23	20	3.65
沿岸広域振興圏	732	127	291	173	47	54	21	19	3.56
県北広域振興圏	548	94	218	136	42	33	14	11	3.57

問3-1 ⑨仕事にやりがいを感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	460	867	765	287	213	446	121	3.41
男性	1,395	227	385	355	138	93	163	34	3.43
女性	1,718	226	474	402	147	110	277	82	3.41
その他	6	0	0	0	1	3	2	0	1.25
18～19歳	26	3	6	6	1	0	10	0	3.69
20～29歳	128	25	35	28	12	12	16	0	3.44
30～39歳	234	36	71	58	28	24	15	2	3.31
40～49歳	384	73	117	89	44	40	21	0	3.38
50～59歳	544	106	177	113	51	53	39	5	3.46
60～69歳	708	77	225	210	67	36	85	8	3.39
70歳以上	1,094	131	227	254	83	42	256	101	3.44
自営業主	256	72	90	49	25	6	8	6	3.81
家族従業員	87	16	31	25	8	1	4	2	3.65
会社役員・団体役員	193	53	64	43	11	18	3	1	3.65
常用雇用者	870	151	307	211	103	82	13	3	3.40
臨時雇用者	363	58	136	93	35	32	9	0	3.43
学生＋その他	139	24	43	25	13	6	26	2	3.59
専業主婦・主夫	312	21	50	83	28	22	96	12	3.10
60歳未満の無職(参考)	64	2	5	15	2	5	33	2	2.90
60歳以上の無職	661	36	84	183	40	31	225	62	3.14
ひとり暮らし	405	47	93	92	30	25	88	30	3.37
夫婦のみ	663	81	193	168	52	27	123	19	3.48
2世代世帯	1,233	188	338	330	116	98	139	24	3.38
3世代世帯	405	70	117	93	45	37	33	10	3.38
その他	161	27	46	28	15	14	25	6	3.44
1人	355	57	92	87	30	23	56	10	3.45
2人	1,121	171	325	260	101	70	160	34	3.46
3人	587	94	163	147	55	39	67	22	3.44
4人以上	136	24	39	34	12	7	15	5	3.53
子どもはいない	682	82	185	172	63	59	110	11	3.30
10年未満	83	13	22	21	8	6	12	1	3.40
10～20年未満	109	15	30	23	6	6	27	2	3.53
20年以上	2,768	407	762	686	253	191	379	90	3.41
県央広域振興圏	920	131	254	214	68	60	163	30	3.45
県南広域振興圏	959	152	267	225	107	68	110	30	3.40
沿岸広域振興圏	732	90	188	193	64	48	111	38	3.36
県北広域振興圏	548	87	158	133	48	37	62	23	3.45

問3-1 ⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	200	524	673	662	866	154	80	2.50
男性	1,395	89	237	319	302	366	61	21	2.53
女性	1,718	110	281	345	355	485	88	54	2.48
その他	6	0	0	0	1	3	2	0	1.25
18～19歳	26	1	3	3	4	4	11	0	2.53
20～29歳	128	9	19	28	28	34	10	0	2.50
30～39歳	234	18	42	32	59	74	7	2	2.43
40～49歳	384	24	60	72	80	139	9	0	2.33
50～59歳	544	43	91	129	109	149	20	3	2.56
60～69歳	708	37	124	157	184	181	19	6	2.49
70歳以上	1,094	67	178	244	194	272	75	64	2.55
自営業主	256	21	46	69	51	59	6	4	2.67
家族従業員	87	7	17	18	20	23	1	1	2.59
会社役員・団体役員	193	26	46	41	38	38	3	1	2.92
常用雇用者	870	65	161	190	197	249	6	2	2.53
臨時雇用者	363	14	58	71	109	106	4	1	2.34
学生＋その他	139	11	24	25	25	33	19	2	2.62
専業主婦・主夫	312	19	50	62	54	93	27	7	2.45
60歳未満の無職(参考)	64	0	4	16	6	16	21	1	2.19
60歳以上の無職	661	25	87	143	129	190	54	33	2.35
ひとり暮らし	405	35	68	71	70	112	33	16	2.56
夫婦のみ	663	45	126	155	147	156	25	9	2.61
2世代世帯	1,233	67	211	260	273	357	52	13	2.45
3世代世帯	405	28	52	100	82	123	14	6	2.43
その他	161	10	22	26	41	43	13	6	2.40
1人	355	16	69	61	85	94	26	4	2.47
2人	1,121	87	197	224	238	315	40	20	2.53
3人	587	32	95	141	132	157	15	15	2.48
4人以上	136	9	20	35	22	41	5	4	2.48
子どもはいない	682	44	107	151	139	184	51	6	2.50
10年未満	166	8	21	10	20	21	3	83	2.69
10～20年未満	109	7	17	19	16	32	17	1	2.46
20年以上	2,768	176	457	601	596	760	124	54	2.50
県央広域振興圏	920	56	140	186	206	256	56	20	2.45
県南広域振興圏	959	66	174	205	208	251	35	20	2.55
沿岸広域振興圏	732	45	115	166	137	210	34	25	2.48
県北広域振興圏	548	33	95	116	111	149	29	15	2.51

問3-1 ⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	347	898	980	383	223	256	72	3.27
男性	1,395	152	390	451	181	116	86	19	3.22
女性	1,718	190	500	513	196	106	165	48	3.31
その他	6	0	1	1	1	1	2	0	2.50
18～19歳	26	7	9	8	0	0	2	0	3.96
20～29歳	128	16	47	35	9	12	9	0	3.39
30～39歳	234	27	62	65	36	20	22	2	3.19
40～49歳	384	49	110	117	49	35	24	0	3.25
50～59歳	544	71	159	177	59	42	34	2	3.31
60～69歳	708	62	208	252	85	52	42	7	3.22
70歳以上	1,094	108	296	310	140	62	122	56	3.27
自営業主	256	38	73	78	28	23	12	4	3.31
家族従業員	87	8	26	34	14	1	3	1	3.31
会社役員・団体役員	193	29	54	59	19	19	12	1	3.31
常用雇用者	870	93	269	288	103	65	50	2	3.27
臨時雇用者	363	35	96	137	46	22	27	0	3.23
学生＋その他	139	20	43	43	19	7	6	1	3.38
専業主婦・主夫	312	37	93	81	38	16	41	6	3.37
60歳未満の無職(参考)	64	9	19	16	7	7	5	1	3.28
60歳以上の無職	661	57	176	185	86	46	78	33	3.20
ひとり暮らし	405	54	117	115	40	25	44	10	3.38
夫婦のみ	663	63	188	220	94	40	51	7	3.23
2世代世帯	1,233	138	369	374	156	88	94	14	3.28
3世代世帯	405	38	117	133	48	36	24	9	3.20
その他	161	21	41	48	17	14	16	4	3.27
1人	355	39	97	117	41	24	33	4	3.27
2人	1,121	128	315	356	138	76	87	21	3.28
3人	587	57	167	182	84	40	41	16	3.22
4人以上	136	12	38	48	15	10	10	3	3.22
子どもはいない	682	79	215	197	80	53	57	1	3.30
10年未満	83	12	23	17	10	7	13	1	3.33
10～20年未満	109	17	35	31	9	10	6	1	3.39
20年以上	2,768	299	792	873	342	194	219	49	3.26
県央広域振興圏	920	130	265	273	98	55	83	16	3.39
県南広域振興圏	959	114	294	293	112	66	63	17	3.32
沿岸広域振興圏	732	54	203	241	96	55	57	26	3.16
県北広域振興圏	548	49	136	173	77	47	53	13	3.13

問3-1 ⑫自然に恵まれていると感じますか

	合計	感じる (5点)	やや感じる (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり感じな い (2点)	感じない (1点)	わからない	不明	分野別実 感平均値
全体(単位:人)	3,159	1,355	1,221	336	91	45	62	49	4.23
男性	1,395	587	544	159	44	23	25	13	4.20
女性	1,718	754	659	171	46	22	34	32	4.26
その他	6	1	3	0	0	0	2	0	4.25
18～19歳	26	16	7	2	0	0	1	0	4.56
20～29歳	128	77	41	7	0	1	2	0	4.53
30～39歳	234	113	77	28	9	2	3	2	4.27
40～49歳	384	183	146	43	4	2	6	0	4.33
50～59歳	544	265	199	55	7	5	11	2	4.34
60～69歳	708	277	306	78	24	10	9	4	4.17
70歳以上	1,094	408	427	121	46	25	30	37	4.12
自営業主	256	118	99	24	3	7	2	3	4.27
家族従業員	87	43	31	11	0	0	2	0	4.38
会社役員・団体役員	193	89	74	22	2	2	3	1	4.30
常用雇用者	870	429	319	88	16	4	12	2	4.35
臨時雇用者	363	157	139	48	11	5	3	0	4.20
学生＋その他	139	65	53	12	3	2	4	0	4.30
専業主婦・主夫	312	117	146	28	7	3	8	3	4.22
60歳未満の無職(参考)	64	29	24	5	3	1	2	0	4.24
60歳以上の無職	661	231	265	79	35	14	17	20	4.06
ひとり暮らし	405	153	165	51	10	7	11	8	4.16
夫婦のみ	663	279	279	73	16	5	8	3	4.24
2世代世帯	1,233	556	466	133	37	14	20	7	4.25
3世代世帯	405	196	149	34	11	7	4	4	4.30
その他	161	64	60	17	5	4	7	4	4.17
1人	355	143	158	33	3	3	13	2	4.28
2人	1,121	480	428	126	42	18	16	11	4.20
3人	587	240	250	59	20	4	4	10	4.23
4人以上	136	65	47	16	2	3	1	2	4.27
子どもはいない	682	331	243	69	13	10	15	1	4.31
10年未満	83	34	38	5	3	1	2	0	4.25
10～20年未満	109	56	36	12	1	2	2	0	4.34
20年以上	2,768	1,197	1,077	299	79	37	48	31	4.23
県央広域振興圏	920	408	350	94	28	6	20	14	4.27
県南広域振興圏	959	391	395	96	35	16	11	15	4.19
沿岸広域振興圏	732	309	279	88	14	12	17	13	4.22
県北広域振興圏	548	247	197	58	14	11	14	7	4.24

問3-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

	合計	幸福だと感じ ている (5点)	やや幸福だ と感じている (4点)	どちらともい えない (3点)	あまり幸福だ と感じていな い(2点)	幸福だと感じ ていない (1点)	わからない	不明	主観的幸 福感平均 値
全体(単位:人)	3,159	465	1,333	717	394	162	49	39	3.50
男性	1,395	184	574	341	193	74	17	12	3.44
女性	1,718	276	745	368	191	85	29	24	3.56
その他	6	0	0	0	4	1	1	0	1.80
18～19歳	26	8	13	4	0	0	1	0	4.16
20～29歳	128	23	50	23	27	3	1	1	3.50
30～39歳	234	33	98	51	32	16	3	1	3.43
40～49歳	384	59	139	77	71	30	6	2	3.34
50～59歳	544	81	230	118	66	39	7	3	3.46
60～69歳	708	91	316	170	92	29	5	5	3.50
70歳以上	1,094	163	471	265	101	44	25	25	3.58
自営業主	256	44	113	61	21	11	2	4	3.63
家族従業員	87	16	38	20	8	4	1	0	3.63
会社役員・団体役員	193	37	81	44	20	10	1	0	3.60
常用雇用者	870	133	380	173	125	47	9	3	3.50
臨時雇用者	363	48	150	80	61	18	5	1	3.42
学生＋その他	139	27	52	36	13	7	3	1	3.59
専業主婦・主夫	312	56	149	61	23	17	4	2	3.67
60歳未満の無職(参考)	64	5	22	14	13	7	3	0	3.08
60歳以上の無職	661	70	279	173	79	33	15	12	3.43
ひとり暮らし	405	39	142	108	61	36	11	8	3.23
夫婦のみ	663	117	330	135	59	12	5	5	3.74
2世代世帯	1,233	198	509	273	163	66	21	3	3.50
3世代世帯	405	53	178	93	52	20	5	4	3.48
その他	161	20	57	40	25	15	3	1	3.27
1人	355	49	169	66	44	17	9	1	3.55
2人	1,121	174	507	245	127	52	10	6	3.56
3人	587	105	254	130	59	21	11	7	3.64
4人以上	136	25	64	21	19	7	0	0	3.60
子どもはいない	682	79	256	169	111	52	11	4	3.30
10年未満	83	20	33	19	8	3	0	0	3.71
10～20年未満	109	19	49	19	12	7	3	0	3.58
20年以上	2,768	402	1,184	627	348	143	42	22	3.50
県央広域振興圏	920	155	383	188	120	50	12	12	3.53
県南広域振興圏	959	136	400	233	112	49	16	13	3.50
沿岸広域振興圏	732	106	301	187	85	33	10	10	3.51
県北広域振興圏	548	68	249	109	77	30	11	4	3.47

令和 7 年
県の施策に関する県民意識調査（補足調査）
調査票

お 願 い

- ◆ このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれたあて名の御本人様がお答えください。
 - ◆ お答えは、黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンで御記入ください。
 - ◆ お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、1月31日（金）までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。
- ※ この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県政策企画部政策企画課 評価担当 兼平、松舘

TEL 019-629-5181（直通）

FAX 019-629-6229

E-mail AA0010@pref.iwate.jp

調査対象者番号

問 1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

(1) 心身の健康

あなたはこころやからだ健康だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

(1)-1 からだの健康

① あなたはからだ健康だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	
2 スポーツの習慣の有無	
3 歩行などの行動の制限の有無	
4 食事の制限の有無	
5 健康診断の結果	
6 持病の有無	
7 こころの健康状態	
8 その他()	
要因の番号	具体的な事例内容

(1)-2 こころの健康

- ① あなたはこころが健康だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) 2 仕事・学業におけるストレスの有無 3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) 5 相談相手の有無 6 からだの健康状態 7 その他()	
要因の番号	具体的な内容

(2) 余暇の充実

- ① あなたは余暇が充実していると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1	自由な時間の確保
2	運動や行動の制限の有無
3	文化・芸術の鑑賞
4	スポーツ観戦
5	文化・芸術活動の場所・機会
6	スポーツの場所・機会
7	自然(山・海など)と触れ合う場所・機会
8	学習活動の場所・機会(生涯学習など)
9	地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)
10	趣味・娯楽活動の場所・機会
11	家族との交流
12	知人・友人との交流
13	その他()
要因の番号	具体的な内容

(3) 家族関係

- ① あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1 同居の有無 2 会話の頻度(多い・少ない) 3 一緒にいる時間(長い・短い) 4 家事分担のバランス 5 ペットの存在 6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) 7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) 10 困った時に助け合えるかどうか 11 家族はいない 12 その他()	
要因の番号	具体的な内容

(4) 子育て

- ① あなたは子育てがしやすいと感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1	子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)
2	子どもを預けられる場所の有無(保育所など)
3	配偶者の家事への参加
4	子育て支援サービスの内容
5	子どもの教育にかかる費用
6	子育てにかかる費用
7	自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)
8	配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)
9	自分の勤め先の子育てに対する理解
10	配偶者の勤め先の子育てに対する理解
11	子どもに関する医療機関(小児科など)の充実
12	子どもの遊び場(公園など)の充実
13	子どもの習い事の実施の幅
14	わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)
15	その他()
要因の番号	具体的な内容

(5) 子どもの教育

- ① あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1 学力を育む教育内容	
2 人間性、社会性を育むための教育内容	
3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	
4 不登校やいじめなどへの対応	
5 学校の選択の幅(高校、大学など)	
6 図書館、博物館、科学館などの充実	
7 学校教育における地域学習	
8 地域での教育・学び	
9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	
10 その他()	
要因の番号	具体的な内容

(6) 住まいの快適さ

- ① あなたはお住まいに快適さを感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) 2 居住形態(持ち家か借家か) 3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など) 4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) 5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) 6 公共交通機関の利便性 7 公園・緑地、水辺などの周辺環境 8 周辺地域の街並み 9 周辺地域の治安 10 近隣の生活音 11 近隣の生活臭 12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど) 13 その他()	
要因の番号	具体的な内容

(7) 地域社会とのつながり

- ① あなたは地域社会とのつながりを感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1 その地域で過ごした年数 2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) 3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) 4 学校・子ども会の活動への参加 5 隣近所との面識・交流 6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流 (公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団など) 7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問 8 地域の身近な情報に接する機会 9 その他()	
要因の番号	具体的な内容

(8) 地域の安全

- ① あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1	犯罪の発生状況
2	地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)
3	交通事故の発生状況
4	交通事故の防止(歩道の整備など)
5	火災の発生状況
6	火災に対する予防(消火栓の設置など)
7	地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)
8	自然災害の発生状況
9	自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)
10	災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)
11	食の安全に関する行政の情報発信 (食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)
12	感染症の予防に関する行政の情報発信 (感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)
13	社会インフラの老朽化(橋、下水道など)
14	野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)
15	地域の安全に関心がない
16	その他()
要因の番号	具体的な内容

(9) 仕事のやりがい

- ① あなたは仕事にやりがいを感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1 現在の職種・業務の内容 2 業種・業務の将来性 3 就業形態(正規・非正規など) 4 業務の量 5 現在の収入・給料の額 6 将来の収入・給料の額の見込み 7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など) 8 現在の役職(職場での地位) 9 将来の役職の見込み 10 職場の人間関係 11 職場環境(オフィスの立地など) 12 職種・業務に対する周囲の評価 13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性) 14 専業主婦・主夫、又は家事手伝いである 15 元々仕事をしていない(学生など) 16 以前仕事をしていたが、今はしていない 17 その他()	
要因の番号	具体的な内容

(10) 必要な収入や所得

- ① あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1 自分の収入・所得額(年金を含む)	
2 家族の収入・所得額(年金を含む)	
3 自分の支出額	
4 家族の支出額	
5 自分の金融資産 ^(注) の額	
6 家族の金融資産 ^(注) の額	
7 自分の借金の額	
8 家族の借金の額	
9 生活の程度	
10 その他()	
要因の番号	具体的な内容

(注) 金融資産…預貯金や有価証券等

(11) 歴史・文化への誇り

- ① あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1	その地域で過ごした年数
2	世界遺産があること
3	地域のお祭り・伝統芸能
4	地域の文化遺産・街並み
5	郷土の歴史的偉人
6	地域の文化・芸術分野の著名人
7	地域の食文化
8	地域での文化継承・保存活動
9	地域の歴史についての教育機会
10	地域に対する周囲の評判
11	誇りを感じる歴史や文化が見当たらない
12	地域の歴史や文化に関心がない
13	その他()
要因の番号	具体的な内容

(12) 自然のゆたかさ

- ① あなたは自然に恵まれていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない (該当しない)
5	4	3	2	1	0

- ② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。
また、要因について具体的な内容等があれば記載してください。

要 因	
1	緑の量(豊か・少ない)
2	空気の状態(綺麗・汚い)
3	水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)
4	海の状態(綺麗・汚い)
5	多様な動植物の生息
6	公園・緑地、水辺などの周辺環境
7	自然(山・海など)と触れ合う機会
8	地域での自然保護活動
9	自然に関心がない
10	その他()
要因の番号	具体的な内容

問 2(1) あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

最も近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの現在の幸福感 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
幸福だと 感じている	やや幸福だと 感じている	どちらとも いえない	あまり幸福だと 感じていない	幸福だと感じて いない	わからない
5	4	3	2	1	0

問 2(2)

- ① あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。該当する全ての番号に○をつけてください。

1 健康状況	2 自由な時間・充実した余暇
3 家族関係	4 友人関係
5 職場の人間関係	6 子育て環境
7 教育環境	8 居住環境
9 社会貢献	10 地域コミュニティとの関係
11 治安・防災体制	12 仕事のやりがい
13 就業状況	14 家計の状況
15 地域の歴史・文化	16 自然環境
17 その他	[具体的に：]

- ② ①で○をつけたもののの中から、最も重視するものの番号を1つご記入ください。

問 3 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度					
(1つ選び、番号に○をつけてください)					
満足 できる 状態 にある	やや 満足 できる 状態 にある	ど ち ら と も い え ない	やや 不 満 な 状態 にある	不 満 な 状態 にあ る	わ か ら な い
5	4	3	2	1	0

問 4 あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の1日当たりの行動の時間を記入してください（1週間の平均時間を目安にお答えください）。

（□内に数字を記入してください）

行 動 の 種 類	行 動 の 時 間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注1）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分
⑦食事の用意・後片付け	約		時間		分
⑧掃除・洗濯	約		時間		分
⑨介護・看護	約		時間		分
⑩育児	約		時間		分
⑪買い物	約		時間		分
⑫その他（⑦～⑪以外の家事）	約		時間		分

（注1）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。
食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注2）行動の種類には①～⑫のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、①～⑫の行動の時間の合計が24時間より小さくても構いません。

問 5 あなたは、昨年同時期に比べて、以下の行動にかかる時間が変化していますか。近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	増えた	変わらない	減った	やっていない
学習・自己啓発・訓練（学業以外）	3	2	1	0
趣味・娯楽	3	2	1	0
スポーツ	3	2	1	0
ボランティア活動・社会参加活動	3	2	1	0

問 6 あなたが、この 1 年間で経験したことについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。

1 結婚	2 離婚	3 子ども・孫の誕生
4 家族との死別	5 家族との別居	6 就職・転職・開業
7 昇進、昇給	8 失業・廃業	9 定年退職
10 住宅取得	11 引越し	12 大きな病気、けが
13 病気の克服	14 進学	15 学校の卒業
16 ペットの取得	17 ペットとの死別	18 事故・火災・自然災害による被害
19 交際の開始	20 交際の終了	21 要介護者・障がい者としての認定
22 その他（		）

アンケートに回答した方（あなた）について伺います。

問 7 最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 性別 (○は1つ)

1 男性	2 女性	3 その他

(2) 年齢（満年齢）（○は1つ）

1	18～19 歳	2	20～29 歳	3	30～39 歳	4	40～49 歳
5	50～59 歳	6	60～69 歳	7	70 歳以上		

(3) あなたの年間の可処分所得（手取り）はおよそどのくらいですか（○は1つ）。

1	100 万円未満
2	100 万円以上 300 万円未満
3	300 万円以上 500 万円未満
4	500 万円以上 700 万円未満
5	700 万円以上 1,000 万円未満
6	1,000 万円以上 1,500 万円未満
7	1,500 万円以上

(4) あなたの主なご職業は何ですか (○は1つ)。

1 自営業主
2 家族従業者
3 会社役員・団体役員
4 常用雇用者 ※期間を定めずに又は1年を超える期間を定めて雇われる人
5 臨時雇用者（パート、アルバイトなど） ※日々又は1年以内の期間を定めて雇われる人
6 学生
7 専業主婦・主夫
8 無職
9 その他（具体的に： ）

※ (4)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか（○は1つ）。

1 農業、林業	2 漁業	3 鉱業、採石業、砂利採取業
4 建設業	5 製造業	6 電気・ガス・熱供給・水道業
7 情報通信業	8 運輸業、郵便業	9 卸売・小売業
10 金融業、保険業	11 不動産業、物品賃貸業	
12 学術研究、専門・技術サービス業	13 宿泊業、飲食サービス業	
14 その他のサービス業	15 公務	
16 その他（具体的に：		）

(5) あなたのお子さんは、何人いますか（同居・別居は問いません）。

1 1人	2 2人	3 3人
4 4人	5 5人以上	6 子どもはいない

※ (5)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さんは、次のどこにあてはまりますか（該当する番号すべてに○をつけてください）。

1 小学校入学前（乳幼児を含む。）	2 小学生
3 中学生	4 高校生（高校受験浪人を含む。）
5 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学（大学受験浪人を含む。）	
6 学校教育終了で同居	7 学校教育終了で別居
8 その他（具体的に：	）

(6) あなたの世帯についてお伺いします。次のどれに当たりますか（○は1つ）。

1 ひとり暮らしである	2 一緒に暮らしている人がいる
3 単身赴任である	4 寮、寄宿舎、老人ホームその他の施設にいる
5 その他（	）

※ (6)で2～5に○をつけられた方のみお答えください。

あなたの世帯に含まれる方の人数をご記入ください。また、そのうち就労されている方の人数をご記入ください。(あなたとの続柄でお答えください。)

	人数	うち、就労人数
1 祖父母(配偶者の祖父母含む)	()人	()人
2 父母(配偶者の父母含む)	()人	()人
3 配偶者	()人	()人
4 兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)	()人	()人
5 子ども	()人	()人
6 子どもの配偶者	()人	()人
7 孫	()人	()人
8 その他 ()	()人	()人
()	()人	()人

(7) あなたのお住まいは次のどれに当たりますか (○は1つ)。

1 持家 (一戸建て)	2 持家 (集合住宅(マンション等))
3 借家 (一戸建て)	4 借家 (集合住宅(アパート等))
5 その他 (社宅、寮、下宿など)	

(8) あなたは岩手県に住んで通算何年になりますか (○は1つ)。

1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満
4 10～20年未満	5 20年以上	

【お 願 い】

住所・お名前の変更等について

ご住所・お名前が変わられた場合（予定がある場合）には、お手数ですが、以下にご記入ください。

【新しいご住所】

〒

【新しいご住所への転居（予定）時期】

（例）転居済み、令和7年4月頃

【新しいお名前】

※ 岩手県では、県外へお引越しされる方の理由を把握することで、今後の施策に反映させていきたいと考えています。

差し支えなければ、お引越しの理由を以下にご記入ください。

（例）進学、就職、転職のため、等

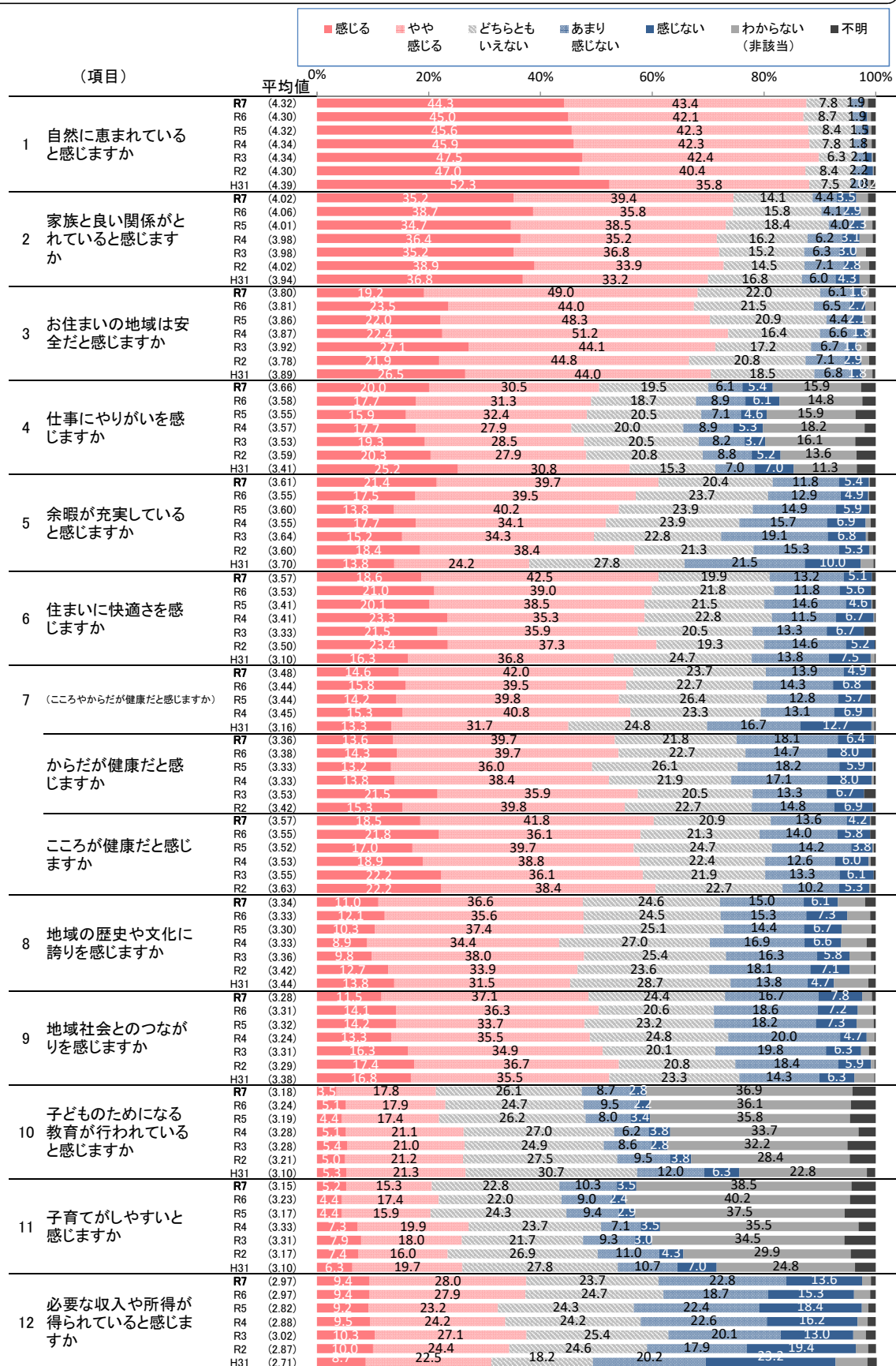
ご協力ありがとうございました。

お手数でも 1 月 31 日（金）までに郵便ポストに投函くださるようお願いいたします。

令和7年県の施策に関する県民意識調査(補足調査)結果

問1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○「感じる」「感じる」+「やや感じる」の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の87.6%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の74.6%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の68.1%となっている。



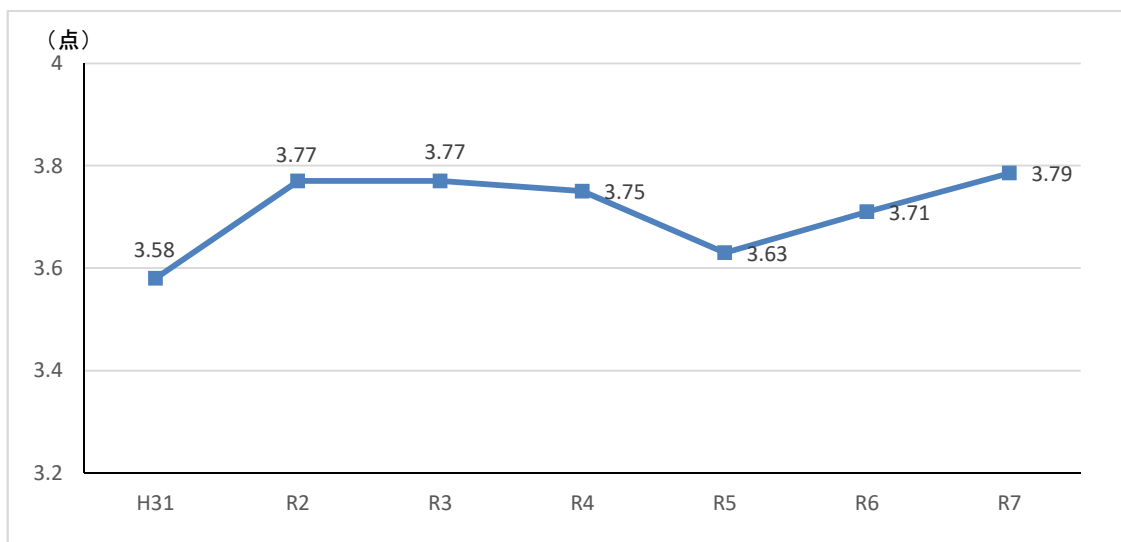
「平均点の算出方法について」

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

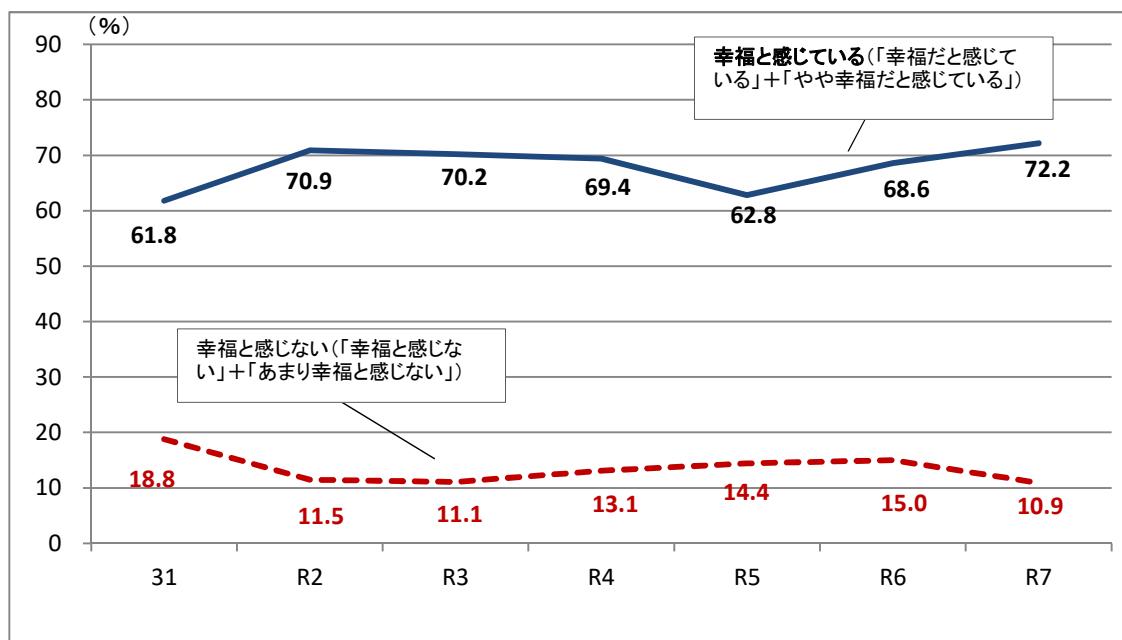
問2(1) あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

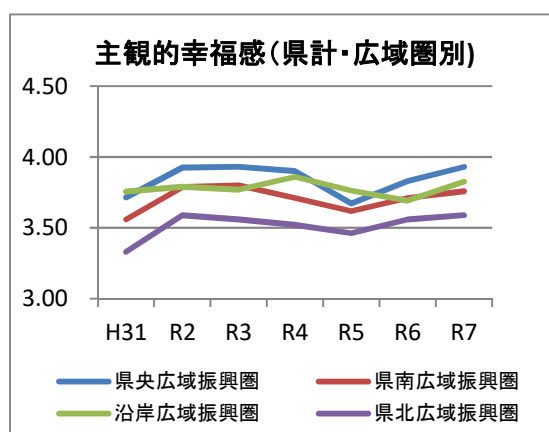
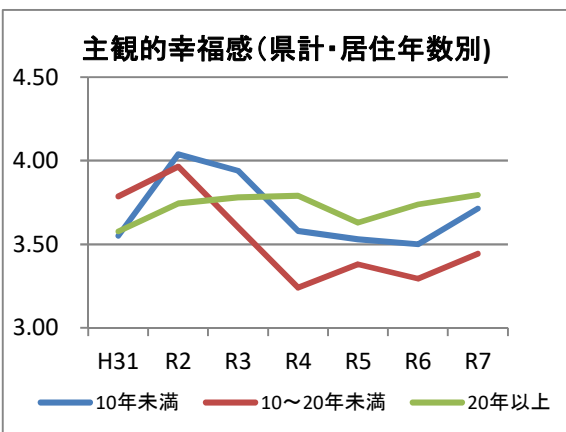
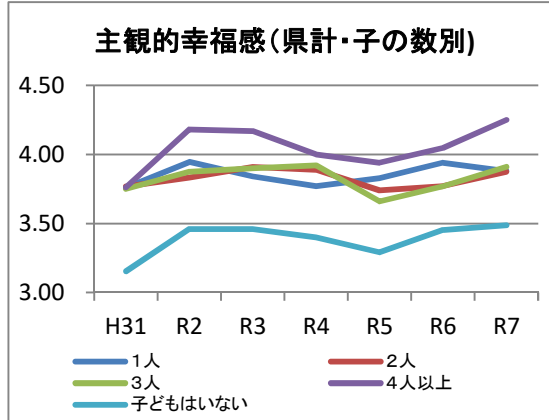
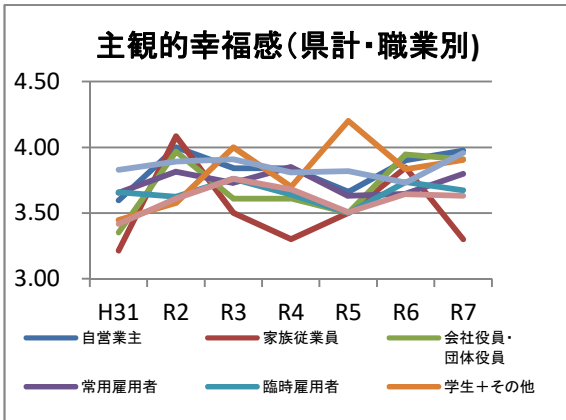
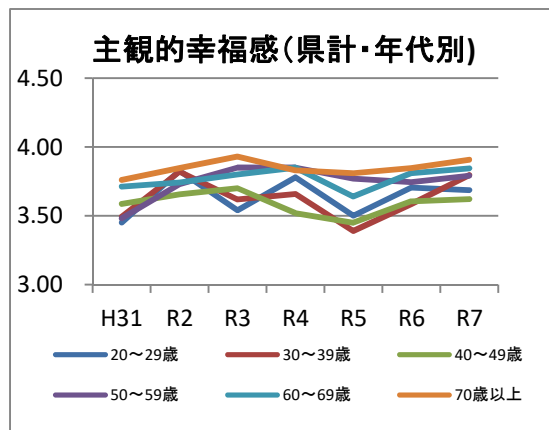
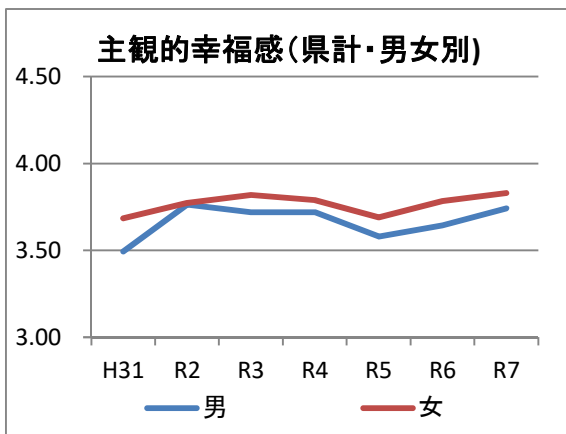
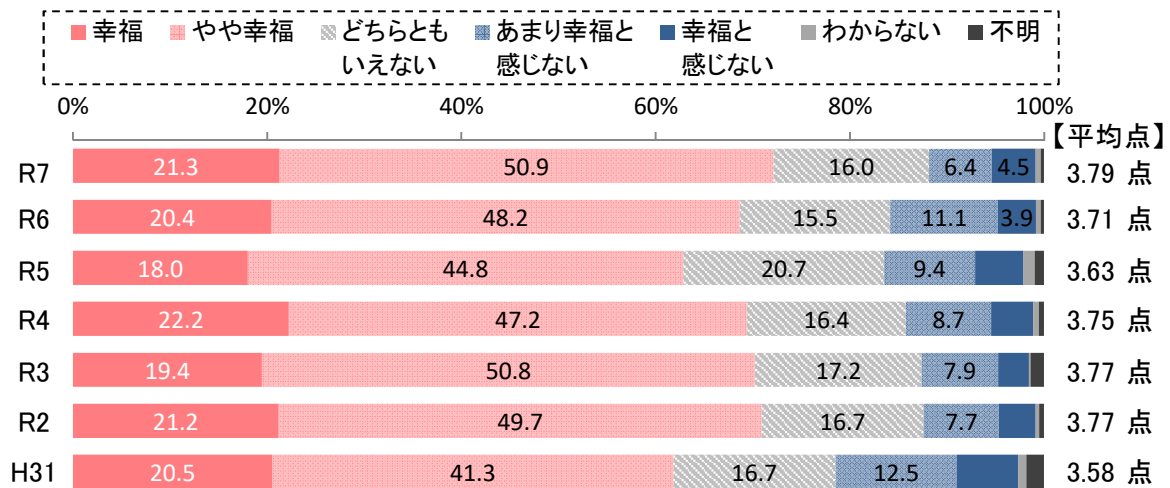
- 補足調査協力者の全体の幸福感は、5点満点中3.79点となり、基準年に比べて上昇となっている。
- 「幸福」「幸福」+「やや幸福」の割合は72.2%となっており、前回と比較すると3.6ポイント上昇している。

○主観的幸福感の平均値（県計）の推移【点数】



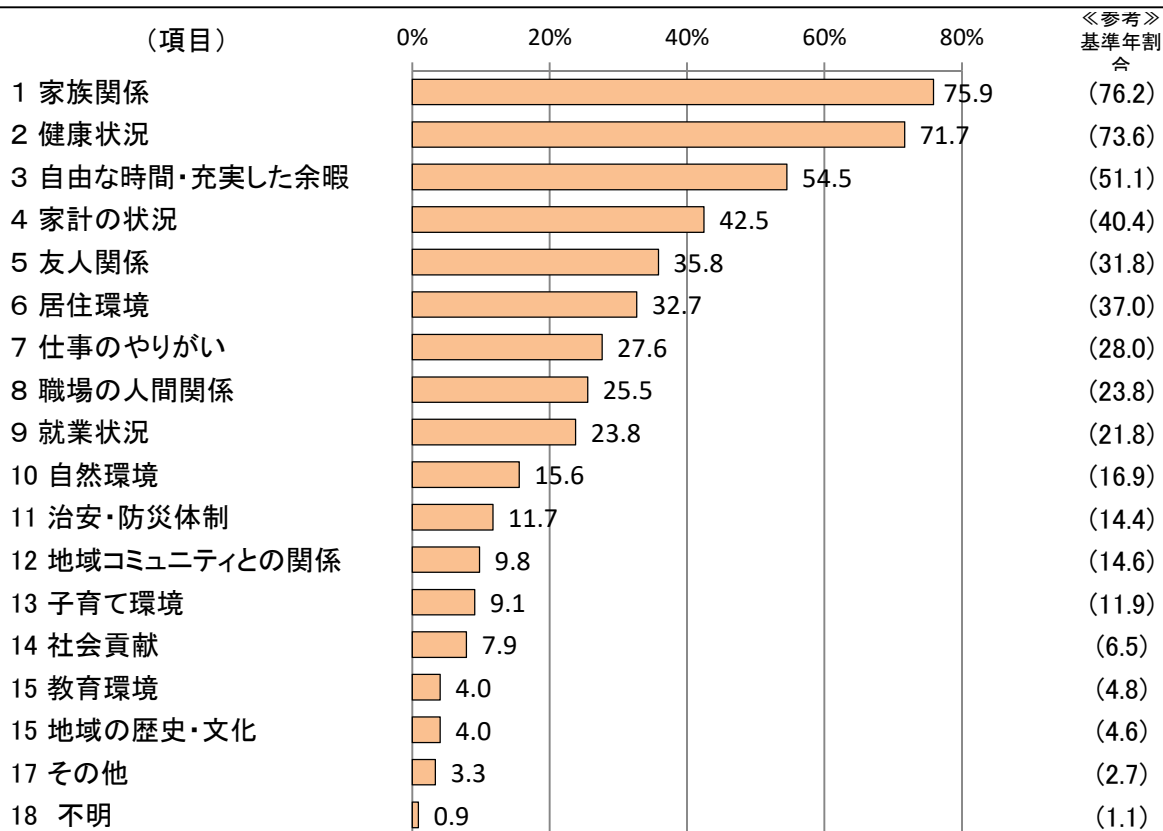
○主観的幸福感（県計）の推移【割合】





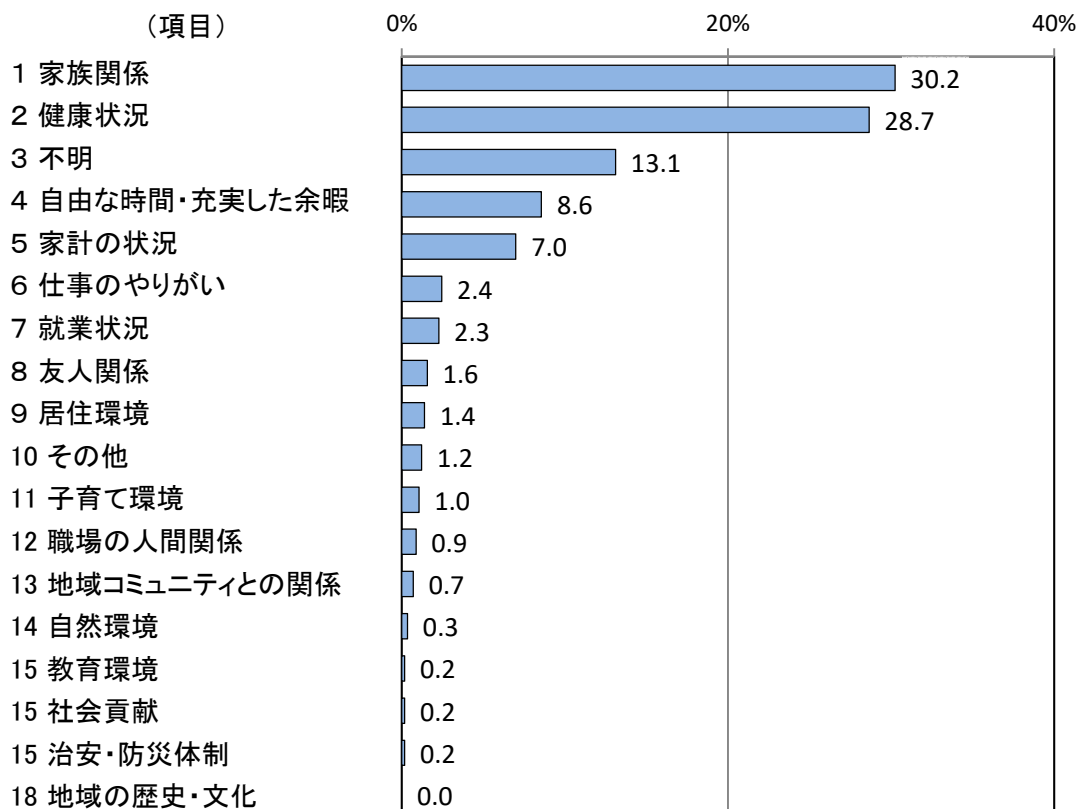
問2(2) ①あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

- 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「1 家族関係」の75.9%、「2 健康状況」の71.7%となっている。



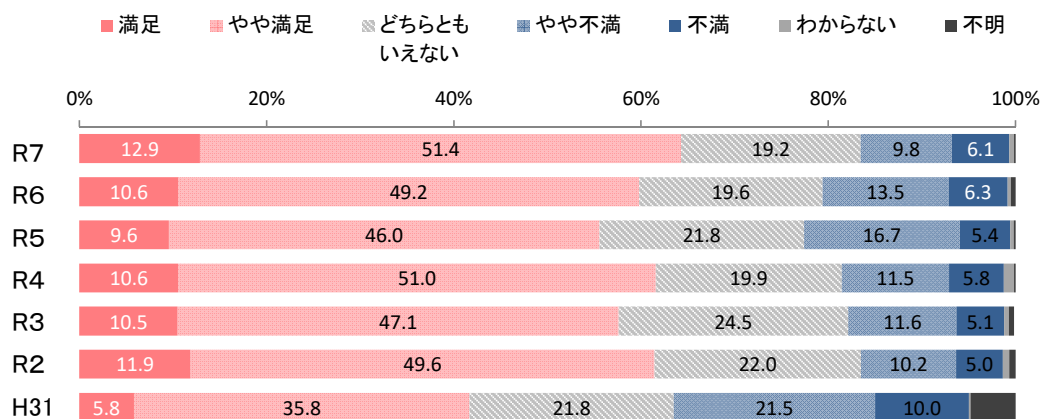
問2(2) ②最も重視する事項は何ですか。

- 最も重視すると回答した人が多いのは、「家族関係」30.2%、「健康状況」の28.7%となっている。



問3 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

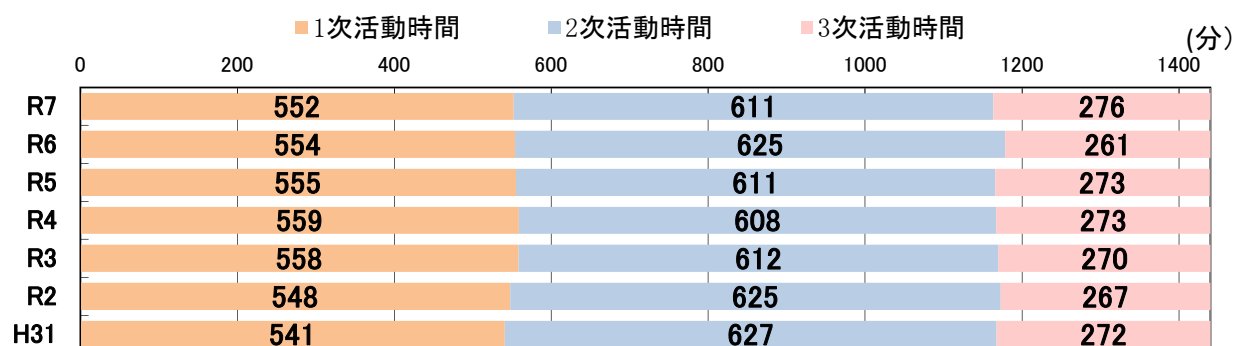
○ 「満足」(「満足」+「やや満足」)の割合は64.3%となっており、基準年と比較して8.7ポイント上昇している。



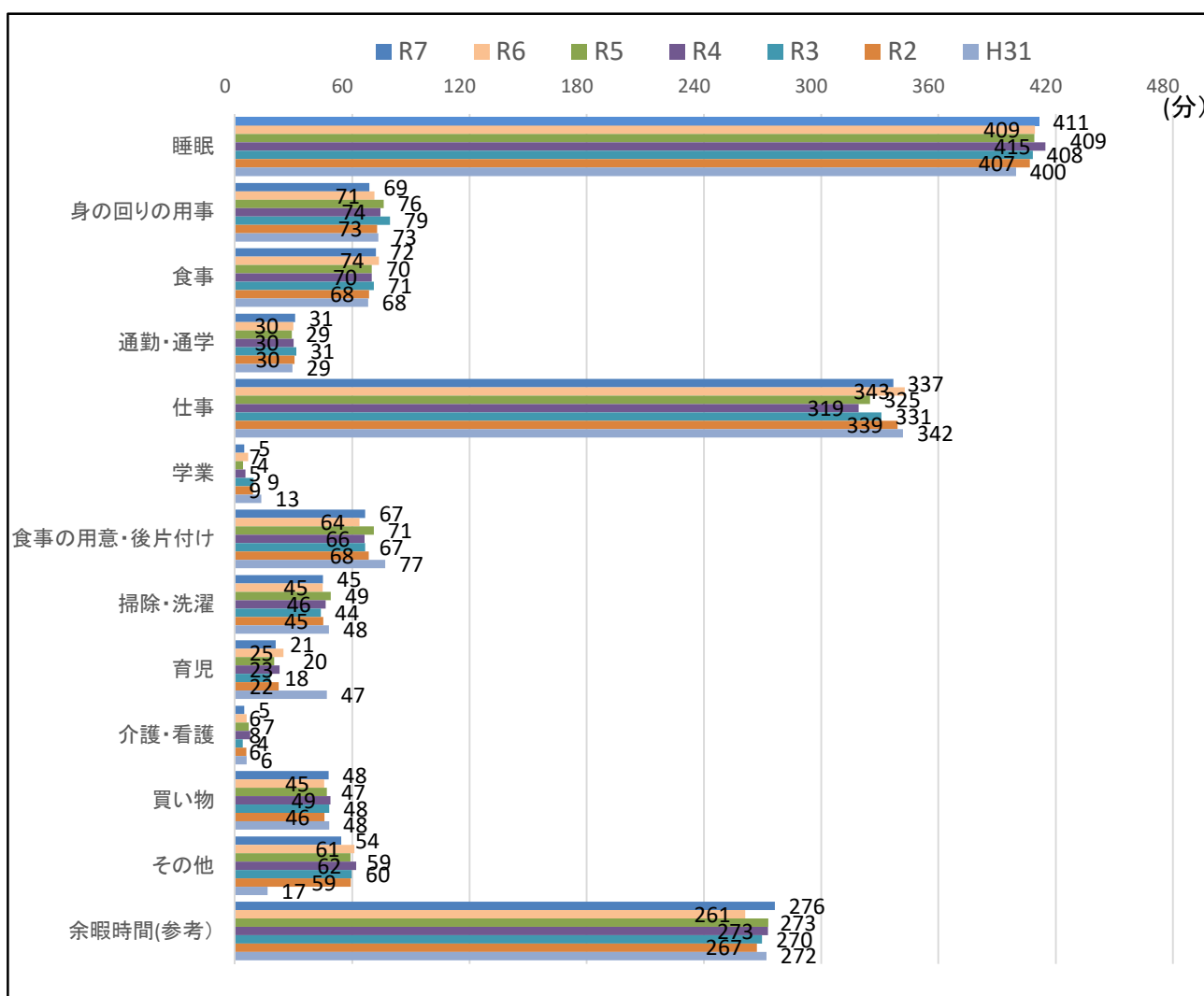
問4 あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

○ 1日当たりの行動の内容は、1次活動時間が552分(9時間12分)、2次活動時間が611分(10時間11分)、3次活動時間が276分(4時間36分)となっている。

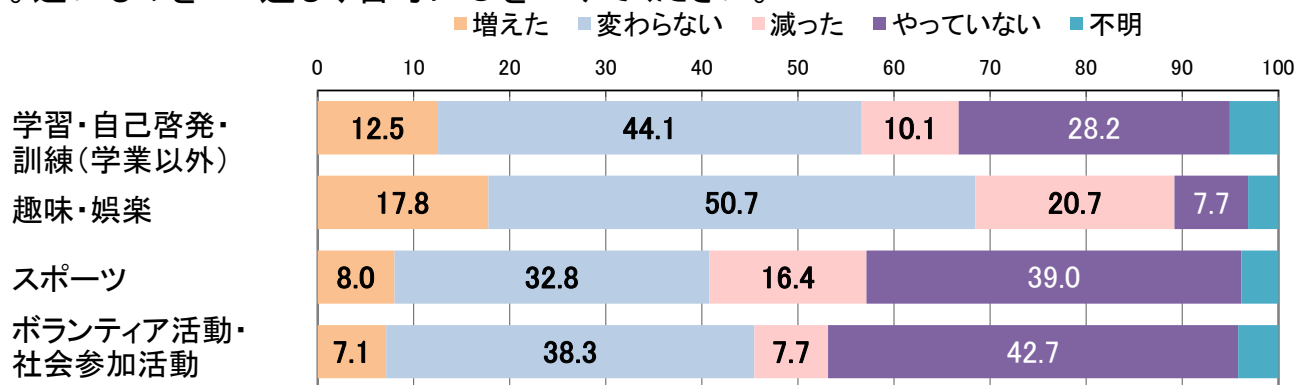
1次活動:睡眠、食事など生理的に必要な活動
2次活動:仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
3次活動:1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動



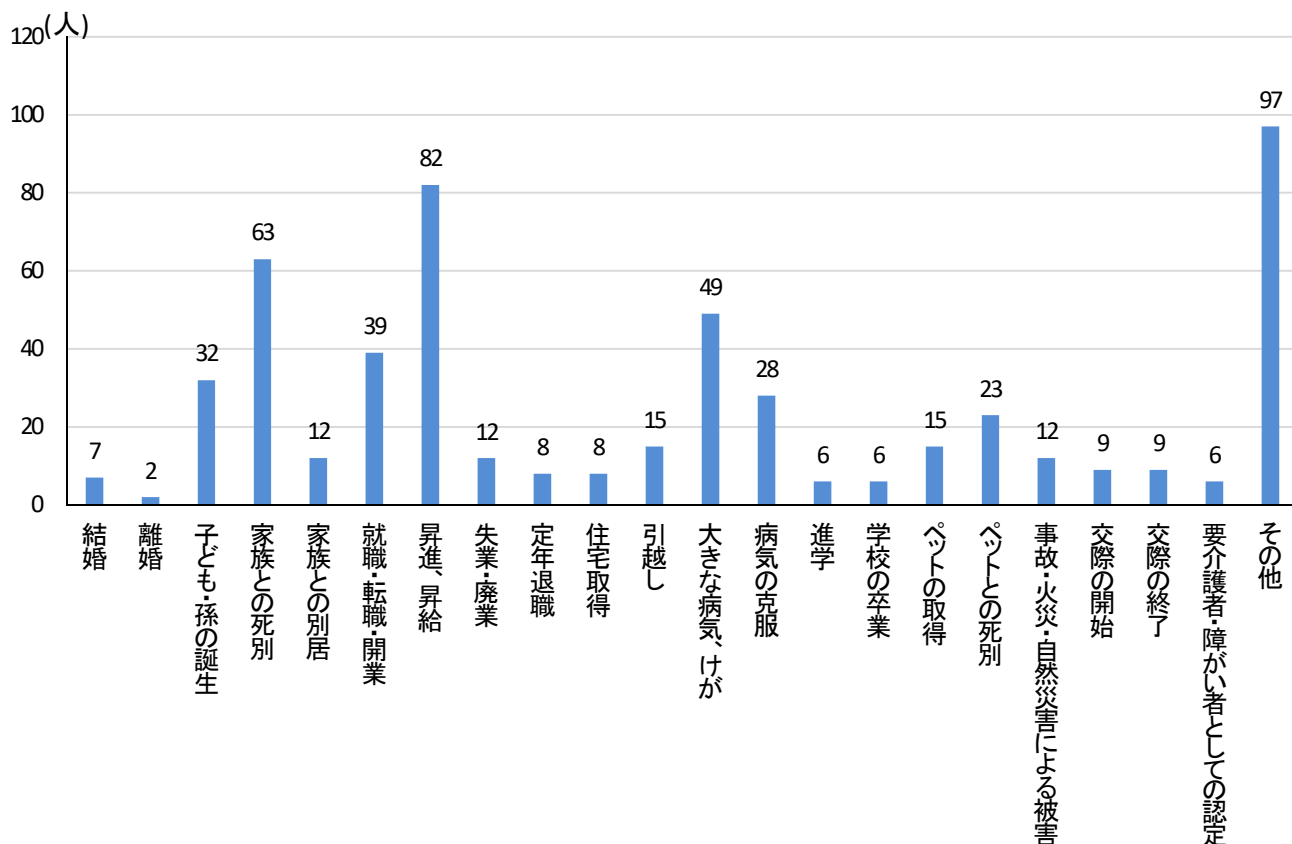
【行動種類別】



問5 あなたは、昨年度同時期に比べて、以下の行動にかかる時間が変化していますか。近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。



問6 あなたが、この1年間で経験したことについて、あてはまるものを選んでください。



(その他のコメント)

- ・息子家族の転出(県外へ)
- ・母が難病になり、認知症になった
- ・職種変更(部署異動)
- ・父が100歳になったが体足が弱ってきているので、入所している施設へ行く回数は増えている。
- ・転んで骨を痛めた。歩けない。
- ・子供の結婚
- ・子どもが大学を卒業し、就職したこと
- ・交通事故にともなう車の購入。住宅一部リノベーション
- ・実家の解体
- ・姉弟の結婚式
- ・子どもの進学、入園、自身の職場復帰(育休終了)
- ・異動。
- ・家族の介護(通院の送迎)
- ・生活保護を受給できるようになった
- ・約7ヶ月間、失業状態にあった
- ・子どもの結婚
- ・コロナ、インフルエンザB
- ・妻の病気
- ・コロナに感染したあと体力的低下した。
- ・不妊治療・妊娠
- ・家族の介護
- ・骨折で入院
- ・結婚式、お食い初め
- ・資格取得
- ・都会に暮らす息子の家族が「ガン」を患ったこと。
- ・子供の進学
- ・家族の要介護認定
- ・子供の学校の卒業、進学
- ・孫の入学式
- ・歯医者に通っていて6ヶ月も通っていてまだ完了しない
- ・母親の入院
- ・詐欺にあった。大金を失った。
- ・家族の介護
- ・妻の妹が亡くなった
- ・子どもの結婚、子どもの就職と別居
- ・地域の友人と(6~7人)カラオケを始めた(週1回)こと
- ・物置小屋の取得
- ・娘二人の結婚
- ・就職活動
- ・親が要介護認定を受けるための手続。
- ・婚約者との別れ
- ・離職
- ・夫の転職、夫の単身、育休明け仕事再開
- ・妊娠
- ・同居している親に病気が見つかった。
- ・ひ孫の幼稚園卒業
- ・家族との海外旅行
- ・義母がアルツハイマー型認知症と診断を受ける

R5とR7の比較

分野別実感(1)「心身の健康」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない (該当しない)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	38	36	5	1	2	0	2	84
4 やや感じる	43	127	51	15	3	0	2	241
3 どちらともいえない	9	40	53	26	8	0	0	136
2 あまり感じない	4	15	23	29	9	0	0	80
1 感じない	0	5	5	6	11	0	1	28
0 わからない (該当しない)	0	0	0	0	0	0	0	0
未記入 複数回答	4	0	0	0	1	0	0	5
調査未回答	4	14	6	3	3	0	0	30
(計)	102	237	143	80	37	0	5	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 147 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 258 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 107 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

※ 「からだの健康」及び「こころの健康」の内訳

心身の健康(R5とR7)		R7回答の内訳	からだの健康 (R7)	こころの健康 (R7)
実感が上昇	147 人	感じる・やや感じる	92 人	97 人
実感が変化なし	258 人	どちらともいえない	55 人	48 人
実感が低下	107 人	感じない・あまり感じない	56 人	43 人

R5とR7の比較

分野別実感(2)「余暇の充実」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	54	48	11	6	2	0	2	123
4 やや感じる	28	117	47	31	5	0	0	228
3 どちらともい えない	9	36	46	19	7	0	0	117
2 あまり感じな い	0	14	19	29	5	0	1	68
1 感じない	1	6	2	8	14	0	0	31
0 わからない (該当しな い)	0	1	0	0	0	0	0	1
未記入 複数回答	0	4	1	1	0	0	0	6
調査未回答	1	12	7	4	5	0	1	30
(計)	93	238	133	98	38	0	4	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 176 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 260 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 95 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(3)「家族関係」の分布 (R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	148	45	4	3	1	0	1	202
4 やや感じる	59	132	28	4	3	0	0	226
3 どちらともい えない	10	29	33	7	1	0	1	81
2 あまり感じな い	1	2	12	10	0	0	0	25
1 感じない	1	1	5	3	10	0	0	20
0 わからない (該当しな い)	0	4	2	0	1	5	0	12
未記入 複数回答	3	3	1	0	1	0	0	8
調査未回答	13	10	3	1	3	0	0	30
(計)	235	226	88	28	20	5	2	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 96 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 333 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 64 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(4)「子育て」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	10	10	4	1	2	1	2	30
4 やや感じる	7	49	20	5	1	6	0	88
3 どちらともい えない	5	30	47	25	5	14	5	131
2 あまり感じな い	1	7	21	17	6	6	1	59
1 感じない	0	1	9	3	5	1	1	20
0 わからない (該当しな い)	5	12	43	11	6	141	3	221
未記入 複数回答	0	5	3	2	1	5	9	25
調査未回答	2	2	4	5	3	12	2	30
(計)	30	116	151	69	29	186	23	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 73 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 128 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンのセル) 77 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(5)「子どもの教育」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	11	7	1	0	0	1	0	20
4 やや感じる	6	50	26	8	2	8	2	102
3 どちらともい えない	7	35	62	22	1	21	2	150
2 あまり感じな い	1	8	17	12	5	7	0	50
1 感じない	0	1	5	4	5	1	0	16
0 わからない (該当しな い)	4	17	41	10	10	125	5	212
未記入 複数回答	1	2	3	5	0	5	8	24
調査未回答	0	4	6	3	3	12	2	30
(計)	30	124	161	64	26	180	19	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 67 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 140 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 78 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(6)「住まいの快適さ」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	66	30	7	1	3	0	0	107
4 やや感じる	38	158	25	18	3	0	2	244
3 どちらともい えない	4	32	51	21	6	0	0	114
2 あまり感じな い	3	15	22	29	7	0	0	76
1 感じない	1	2	5	10	11	0	0	29
0 わからない (該当しな い)	0	0	0	0	0	0	0	0
未記入 複数回答	2	0	1	1	0	0	0	4
調査未回答	8	8	6	5	2	0	1	30
(計)	122	245	117	85	32	0	3	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 114 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 315 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 94 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(7)「地域社会とのつながり」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	40	17	5	1	2	0	1	66
4 やや感じる	24	122	44	15	4	3	1	213
3 どちらともい えない	6	33	49	42	4	6	0	140
2 あまり感じな い	1	17	25	34	16	3	0	96
1 感じない	0	1	8	18	14	4	0	45
0 わからない (該当しな い)	1	1	3	4	0	1	0	10
未記入 複数回答	1	1	0	2	0	0	0	4
調査未回答	3	5	8	4	8	1	1	30
(計)	76	197	142	120	48	18	3	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 134 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 259 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 109 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(8)「地域の安全」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	64	36	7	1	0	1	1	110
4 やや感じる	51	183	28	10	5	1	3	281
3 どちらともい えない	11	43	59	8	1	3	1	126
2 あまり感じな い	1	11	9	8	6	0	0	35
1 感じない	0	2	2	2	3	0	0	9
0 わからない (該当しな い)	0	2	1	0	0	3	0	6
未記入 複数回答	1	2	4	0	0	0	0	7
調査未回答	5	12	7	5	0	1	0	30
(計)	133	291	117	34	15	9	5	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 96 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 317 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 81 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(9)「仕事のやりがい」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	58	37	12	4	1	2	1	115
4 やや感じる	34	93	32	6	4	6	0	175
3 どちらともい えない	9	29	41	13	6	10	4	112
2 あまり感じな い	3	6	10	11	3	2	0	35
1 感じない	1	5	2	2	16	3	2	31
0 わからない (該当しな い)	5	14	14	2	5	47	4	91
未記入 複数回答	0	4	3	2	0	2	4	15
調査未回答	9	7	7	2	1	2	2	30
(計)	119	195	121	42	36	74	17	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 115 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 219 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンのセル) 67 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(10)「必要な収入や所得」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	32	13	1	0	7	1	0	54
4 やや感じる	18	76	32	17	11	4	3	161
3 どちらともい えない	3	35	46	34	15	1	2	136
2 あまり感じな い	3	11	31	54	30	2	0	131
1 感じない	0	2	7	16	50	2	1	78
0 わからない (該当しな い)	1	2	2	3	1	0	0	9
未記入 複数回答	0	0	2	1	2	0	0	5
調査未回答	4	6	8	5	6	0	1	30
(計)	61	145	129	130	122	10	7	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 130 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 258 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 108 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(11)「歴史・文化への誇り」の分布 (R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	31	23	4	1	0	3	1	63
4 やや感じる	27	130	32	13	5	2	1	210
3 どちらともい えない	7	41	66	19	4	4	0	141
2 あまり感じな い	2	12	19	34	11	7	1	86
1 感じない	1	1	8	13	8	4	0	35
0 わからない (該当しな い)	1	1	7	6	6	7	0	28
未記入 複数回答	0	2	6	2	1	0	0	11
調査未回答	4	11	4	3	4	3	1	30
(計)	73	221	146	91	39	30	4	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 101 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 269 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 104 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

R5とR7の比較

分野別実感(12)「自然のゆたかさ」の分布(R5とR7)

(単位：人)

R5→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	未回答、 未記入、 複数回答	(計)
5 感じる	183	60	7	1	1	1	1	254
4 やや感じる	90	139	13	3	2	0	2	249
3 どちらともい えない	8	16	16	3	1	1	0	45
2 あまり感じな い	3	1	3	0	4	0	0	11
1 感じない	0	0	1	1	0	0	0	2
0 わからない (該当しな い)	4	1	0	0	0	0	0	5
未記入 複数回答	4	3	1	0	0	0	0	8
調査未回答	10	12	3	4	1	0	0	30
(計)	302	232	44	12	9	2	3	604

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 91 人
R5からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、R5調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 338 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 33 人
R5からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、R5調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(1)「心身の健康」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない (該当しない)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	23	23	7	7	2	0	0	62	30	92
4 やや感じる	19	78	41	25	9	0	0	172	58	230
3 どちらともいえない	6	21	48	17	15	0	0	107	35	142
2 あまり感じない	5	8	12	18	15	2	0	60	17	77
1 感じない	2	1	4	5	10	0	0	22	8	30
0 わからない (該当しない)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明 未記入 複数回答	2	2	1	0	0	0	0	5	2	7
調査未回答	1	11	2	4	2	0	0	20	6	26
調査対象外	22	46	34	24	23	1	2	152	0	152
(計)	80	190	149	100	76	3	2	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 146 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 177 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 64 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

※ 「からだの健康」及び「こころの健康」の内訳

心身の健康(H31とR7)		R7回答の内訳	からだの健康 (R7)	こころの健康 (R7)
実感が上昇	146 人	感じる・やや感じる	98 人	107 人
実感が変化なし	177 人	どちらともいえない	39 人	34 人
実感が低下	64 人	感じない・あまり感じない	36 人	24 人

H31とR7の比較

分野別実感(2)「余暇の充実」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	33	28	15	8	2	0	0	86	29	115
4 やや感じる	22	54	45	39	12	1	0	173	56	229
3 どちらともい えない	5	13	39	18	11	4	0	90	35	125
2 あまり感じな い	1	7	18	15	8	0	0	49	22	71
1 感じない	0	3	3	7	11	0	0	24	7	31
0 わからない (該当しな い)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
不明 未記入 複数回答	0	2	3	0	0	0	0	5	1	6
調査未回答	2	6	7	3	1	1	0	20	6	26
調査対象外	20	32	37	38	15	8	2	152	0	152
(計)	83	145	167	129	60	14	2	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 178 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 152 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 57 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(3)「家族関係」の分布 (H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	86	49	12	3	0	0	1	151	55	206
4 やや感じる	59	68	27	9	2	0	1	166	60	226
3 どちらともい えない	7	15	23	9	3	2	0	59	20	79
2 あまり感じな い	0	3	7	6	1	1	0	18	5	23
1 感じない	1	2	3	2	8	1	0	17	7	24
0 わからない (該当しな い)	2	4	0	0	0	3	0	9	2	11
不明 未記入 複数回答	3	3	0	1	1	0	0	8	1	9
調査未回答	6	9	2	1	2	0	0	20	6	26
調査対象外	57	46	27	5	9	4	4	152	0	152
(計)	221	199	101	36	26	11	6	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 114 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 191 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 40 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(4)「子育て」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	9	10	3	1	1	1	0	25	15	40
4 やや感じる	7	30	16	6	2	1	0	62	24	86
3 どちらともい えない	2	24	43	12	8	11	0	100	30	130
2 あまり感じな い	0	6	15	8	6	6	0	41	13	54
1 感じない	0	4	1	4	5	1	0	15	3	18
0 わからない (該当しな い)	7	17	39	11	11	72	7	164	62	226
不明 未記入 複数回答	1	2	6	2	0	8	2	21	3	24
調査未回答	1	2	6	3	0	8	0	20	6	26
調査対象外	11	23	38	17	9	41	13	152	0	152
(計)	38	118	167	64	42	149	22	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 59 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 95 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 56 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(5)「子どもの教育」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	5	4	3	0	1	1	1	15	8	23
4 やや感じる	5	22	23	8	4	4	1	67	31	98
3 どちらともい えない	4	28	46	18	8	9	0	113	32	145
2 あまり感じな い	2	6	15	6	5	5	0	39	19	58
1 感じない	0	4	4	1	4	0	0	13	3	16
0 わからない (該当しな い)	4	22	51	19	9	57	2	164	54	218
不明 未記入 複数回答	0	5	4	1	0	7	0	17	3	20
調査未回答	1	6	1	4	0	8	0	20	6	26
調査対象外	11	31	37	15	7	46	5	152	0	152
(計)	32	128	184	72	38	137	9	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 69 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 83 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 64 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(6)「住まいの快適さ」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	35	32	17	2	2	0	0	88	35	123
4 やや感じる	21	94	38	17	6	0	0	176	52	228
3 どちらともい えない	5	26	29	13	8	3	0	84	38	122
2 あまり感じな い	2	10	17	21	6	0	0	56	16	72
1 感じない	0	3	9	7	4	0	0	23	9	32
0 わからない (該当しな い)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明 未記入 複数回答	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
調査未回答	2	10	4	3	1	0	0	20	6	26
調査対象外	33	45	34	20	18	1	1	152	0	152
(計)	98	221	148	83	45	4	1	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 135 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 183 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 79 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(7)「地域社会とのつながり」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	29	16	6	2	1	1	0	55	12	67
4 やや感じる	30	85	32	14	5	2	0	168	43	211
3 どちらともい えない	10	33	32	17	6	2	0	100	35	135
2 あまり感じな い	3	14	22	23	5	2	0	69	34	103
1 感じない	1	5	8	5	7	3	0	29	18	47
0 わからない (該当しな い)	0	1	1	0	1	1	0	4	7	11
不明 未記入 複数回答	1	1	1	0	0	0	0	3	1	4
調査未回答	2	7	4	4	2	1	0	20	6	26
調査対象外	25	51	34	21	11	9	1	152	0	152
(計)	101	213	140	86	38	21	1	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 99 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 176 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 101 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(8)「地域の安全」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない (該当しない)	不明、未記入、複数回答	(小計)	R6追加対象者	(計)
5 感じる	41	30	9	3	1	1	0	85	33	118
4 やや感じる	58	102	38	10	0	1	0	209	55	264
3 どちらともいえない	7	42	30	10	0	2	1	92	39	131
2 あまり感じない	1	11	3	6	4	0	0	25	15	40
1 感じない	1	1	2	1	1	0	0	6	4	10
0 わからない (該当しない)	1	0	2	1	0	0	0	4	4	8
不明 未記入 複数回答	1	4	1	1	0	0	0	7	0	7
調査未回答	4	11	3	1	0	1	0	20	6	26
調査対象外	45	63	23	8	5	6	2	152	0	152
(計)	159	264	111	41	11	11	3	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 101 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 180 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 69 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(9)「仕事のやりがい」の分布 (H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	48	22	4	2	5	2	0	83	26	109
4 やや感じる	40	62	11	4	2	6	0	125	51	176
3 どちらともい えない	12	26	25	11	3	6	1	84	27	111
2 あまり感じな い	2	10	6	5	4	2	0	29	15	44
1 感じない	2	2	2	5	9	1	0	21	9	30
0 わからない (該当しな い)	14	14	9	3	6	22	4	72	21	93
不明 未記入 複数回答	3	3	2	0	1	5	0	14	1	15
調査未回答	5	9	4	1	0	1	0	20	6	26
調査対象外	25	37	29	11	12	23	15	152	0	152
(計)	151	185	92	42	42	68	20	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 64 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 149 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 67 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(10)「必要な収入や所得」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	15	8	7	3	4	1	0	38	20	58
4 やや感じる	13	48	21	13	16	7	1	119	32	151
3 どちらともい えない	4	24	28	17	13	4	1	91	39	130
2 あまり感じな い	7	16	15	31	31	6	1	107	25	132
1 感じない	1	5	6	13	35	2	0	62	23	85
0 わからない (該当しな い)	1	0	0	4	0	1	0	6	9	15
不明 未記入 複数回答	0	0	1	0	2	2	0	5	2	7
調査未回答	1	6	1	5	6	1	0	20	6	26
調査対象外	10	28	30	35	32	10	7	152	0	152
(計)	52	135	109	121	139	34	10	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 102 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 157 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 91 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(11)「歴史・文化への誇り」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(小計)	R6追加 対象者	(計)
5 感じる	23	18	6	1	1	1	0	50	22	72
4 やや感じる	24	77	41	12	0	2	1	157	47	204
3 どちらともい えない	8	25	44	19	5	8	0	109	34	143
2 あまり感じな い	2	8	24	15	3	6	0	58	24	82
1 感じない	0	1	5	11	7	2	1	27	13	40
0 わからない (該当しな い)	0	6	4	2	3	2	0	17	9	26
不明 未記入 複数回答	1	2	3	2	1	1	0	10	1	11
調査未回答	3	6	7	1	0	3	0	20	6	26
調査対象外	22	46	38	20	8	12	6	152	0	152
(計)	83	189	172	83	28	37	8	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 103 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 166 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 84 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

H31とR7の比較

分野別実感(12)「自然のゆたかさ」の分布(H31とR7)

(単位：人)

H31→ R7↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともいえない	2 あまり感じない	1 感じない	0 わからない (該当しない)	不明、未記入、複数回答	(小計)	R6追加対象者	(計)
5 感じる	141	41	8	4	0	0	1	195	62	257
4 やや感じる	75	85	16	3	0	0	0	179	64	243
3 どちらともいえない	10	14	8	1	0	0	0	33	11	44
2 あまり感じない	0	4	2	1	1	1	0	9	5	14
1 感じない	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
0 わからない (該当しない)	2	1	0	1	0	0	0	4	4	8
不明 未記入 複数回答	3	2	1	1	0	0	0	7	3	10
調査未回答	7	10	2	0	0	0	1	20	6	26
調査対象外	76	57	8	6	0	2	3	152	0	152
(計)	314	215	45	17	1	3	5	600	156	756

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 73 人
H31からR7にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R7「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 235 人
- ③ 実感が低下した人(格子パターンセル) 31 人
H31からR7にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R7「4(やや感じる)」は除く。)

「令和7年県の施策に関する県民意識調査」属性別平均点

○主観的幸福感

あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

 : 上昇、 : 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		3.44	3.48	3.46	3.43	3.48	3.52	3.51	3.49	3.51	3.50	0.01	0.65		0.01
性別	男性(1,395)	3.32	3.36	3.36	3.33	3.39	3.42	3.40	3.38	3.41	3.44	0.06	0.15		0.03
	女性(1,718)	3.52	3.57	3.54	3.52	3.56	3.60	3.60	3.58	3.60	3.56	▲ 0.02	0.65		▲ 0.01
	その他(参考)(6)					2.50	3.20	2.67	3.14	4.00	1.80	▲ 1.34	0.06		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.70	3.38	3.36	3.67	4.14	3.67	3.83	3.75	4.16	0.33	0.14		0.00
	20～29歳(128)	3.59	3.44	3.48	3.45	3.42	3.43	3.40	3.44	3.63	3.50	0.06	0.69		0.00
	30～39歳(234)	3.39	3.42	3.47	3.37	3.31	3.40	3.56	3.37	3.41	3.43	0.06	0.54		0.00
	40～49歳(384)	3.42	3.44	3.48	3.37	3.46	3.45	3.44	3.52	3.33	3.34	▲ 0.18	0.02	**	▲ 0.02
	50～59歳(544)	3.36	3.44	3.49	3.33	3.50	3.40	3.47	3.49	3.50	3.46	▲ 0.03	0.66		▲ 0.01
	60～69歳(708)	3.45	3.53	3.50	3.44	3.47	3.60	3.54	3.47	3.54	3.50	0.02	0.67		0.01
	70歳以上(1,094)	3.47	3.50	3.43	3.53	3.53	3.59	3.56	3.51	3.57	3.58	0.07	0.12		0.03
職業	自営業主(256)	3.48	3.49	3.64	3.41	3.45	3.51	3.63	3.56	3.56	3.63	0.07	0.45		0.01
	家族従業員(参考)(87)	3.56	3.65	3.52	3.56	3.77	3.62	3.65	3.65	3.65	3.63	▲ 0.02	0.88		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.55	3.69	3.62	3.59	3.54	3.67	3.63	3.54	3.53	3.60	0.06	0.60		0.00
	常用雇用者(870)	3.45	3.47	3.47	3.38	3.47	3.45	3.53	3.50	3.47	3.50	▲ 0.01	0.91		▲ 0.00
	臨時雇用者(363)	3.28	3.37	3.32	3.46	3.48	3.40	3.40	3.46	3.54	3.42	▲ 0.04	0.59		▲ 0.01
	学生＋その他(139)	3.54	3.63	3.74	3.55	3.45	3.80	3.73	3.75	3.68	3.59	▲ 0.17	0.19		▲ 0.01
	専業主婦・主夫(312)	3.58	3.59	3.70	3.62	3.59	3.79	3.71	3.69	3.71	3.67	▲ 0.03	0.75		▲ 0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.86	2.56	3.06	2.64	2.71	2.67	2.42	2.71	2.77	3.08	0.38	0.09		0.01
	60歳以上の無職(661)	3.40	3.40	3.29	3.37	3.44	3.50	3.41	3.35	3.46	3.43	0.08	0.22		0.02
世帯構成	ひとり暮らし(405)	3.18	3.19	3.20	3.08	3.25	3.19	3.22	3.25	3.20	3.23	▲ 0.02	0.82		▲ 0.00
	夫婦のみ(663)	3.62	3.57	3.60	3.60	3.66	3.75	3.64	3.69	3.78	3.74	0.05	0.34		0.01
	2世代世帯(1,233)	3.43	3.51	3.52	3.48	3.48	3.46	3.51	3.46	3.48	3.50	0.04	0.35		0.02
	3世代世帯(405)	3.60	3.62	3.63	3.58	3.57	3.67	3.62	3.60	3.56	3.48	▲ 0.11	0.14		▲ 0.01
	その他(161)	3.12	3.28	3.15	3.19	3.19	3.44	3.42	3.31	3.27	3.27	▲ 0.05	0.73		▲ 0.00
子の数	1人(355)	3.44	3.54	3.56	3.49	3.55	3.54	3.51	3.52	3.41	3.55	0.03	0.71		0.00
	2人(1,121)	3.52	3.52	3.53	3.56	3.56	3.68	3.63	3.56	3.67	3.56	0.01	0.90		0.00
	3人(587)	3.51	3.59	3.60	3.53	3.58	3.63	3.66	3.70	3.62	3.64	▲ 0.06	0.30		▲ 0.01
	4人以上(136)	3.41	3.55	3.39	3.37	3.47	3.53	3.58	3.56	3.71	3.60	0.04	0.78		0.00
	子どもはいない(682)	3.23	3.26	3.25	3.12	3.23	3.18	3.25	3.25	3.22	3.30	0.05	0.43		0.01
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.58	3.31	3.61	3.37	3.72	3.65	3.81	3.61	3.51	3.71	0.10	0.53		0.00
	10～20年未満(109)	3.49	3.58	3.45	3.66	3.48	3.86	3.52	3.81	3.60	3.58	▲ 0.23	0.11		▲ 0.01
	20年以上(2,768)	3.43	3.48	3.47	3.42	3.47	3.50	3.51	3.49	3.51	3.50	0.01	0.69		0.01
広域振興圏	県央(920)	3.51	3.56	3.55	3.53	3.52	3.59	3.49	3.55	3.61	3.53	▲ 0.02	0.73		▲ 0.01
	県南(959)	3.40	3.47	3.46	3.31	3.49	3.48	3.56	3.55	3.50	3.50	▲ 0.05	0.28		▲ 0.02
	沿岸(732)	3.46	3.45	3.46	3.52	3.48	3.55	3.48	3.39	3.47	3.51	0.12	0.04	**	0.03
	県北(548)	3.34	3.40	3.31	3.34	3.40	3.41	3.50	3.43	3.42	3.47	0.03	0.65		0.01

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

①こころやかからだが健康だと感じますか

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		2.99	3.03	2.99	3.00	3.15	3.07	3.20	3.18	3.22	3.21	0.03	0.33		0.03
性別	男性(1,395)	2.99	3.03	2.97	2.97	3.12	3.03	3.21	3.13	3.19	3.20	0.08	0.08		0.03
	女性(1,718)	2.99	3.04	3.00	3.03	3.18	3.11	3.20	3.21	3.24	3.21	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00
	その他(参考)(6)					2.00	2.67	3.00	2.86	4.00	1.75	▲ 1.11	0.24		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.16	3.27	3.85	3.67	3.85	3.71	3.89	3.89	4.15	0.26	0.36		0.00
	20～29歳(128)	3.20	3.06	3.12	3.04	3.25	3.01	3.22	3.18	3.44	3.44	0.26	0.12		0.01
	30～39歳(234)	3.01	2.88	2.88	2.80	3.12	3.00	3.16	3.14	3.15	3.21	0.06	0.57		0.00
	40～49歳(384)	2.92	2.88	2.91	2.85	3.04	2.99	3.09	3.08	3.04	2.96	▲ 0.12	0.14		▲ 0.01
	50～59歳(544)	2.91	2.96	2.99	2.90	3.06	2.82	3.10	3.12	3.13	3.12	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00
	60～69歳(708)	3.03	3.11	3.03	3.05	3.19	3.20	3.21	3.19	3.21	3.22	0.03	0.64		0.01
	70歳以上(1,094)	2.98	3.15	2.99	3.13	3.20	3.18	3.29	3.22	3.31	3.27	0.05	0.33		0.02
職業	自営業主(256)	3.16	3.27	3.33	3.18	3.26	3.20	3.35	3.23	3.34	3.28	0.05	0.63		0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.11	3.21	3.14	3.23	3.43	2.99	3.33	3.34	3.01	3.38	0.05	0.79		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.20	3.15	3.09	3.02	3.19	3.23	3.28	3.25	3.27	3.24	▲ 0.01	0.97		▲ 0.00
	常用雇用者(870)	3.01	2.96	2.95	2.91	3.10	3.00	3.17	3.16	3.20	3.17	0.01	0.83		0.00
	臨時雇用者(363)	2.96	3.01	2.96	3.04	3.22	3.02	3.14	3.11	3.24	3.22	0.11	0.21		0.01
	学生＋その他(139)	3.17	3.26	3.26	3.36	3.33	3.43	3.44	3.59	3.56	3.47	▲ 0.12	0.41		▲ 0.01
	専業主婦・主夫(312)	3.05	3.12	3.00	3.07	3.13	3.21	3.38	3.22	3.31	3.25	0.03	0.78		0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.31	2.07	2.55	2.32	2.47	2.25	2.48	2.68	2.58	2.87	0.19	0.42		0.00
	60歳以上の無職(661)	2.81	2.92	2.86	2.90	3.10	3.07	3.09	3.10	3.13	3.11	0.00	0.97		0.00
世帯構成	ひとり暮らし(405)	2.95	2.97	2.95	2.98	3.18	2.99	3.09	3.15	3.10	3.09	▲ 0.06	0.49		▲ 0.01
	夫婦のみ(663)	3.11	3.13	3.02	3.12	3.24	3.23	3.33	3.24	3.40	3.30	0.06	0.33		0.01
	2世代世帯(1,233)	2.94	3.04	3.01	3.00	3.10	3.02	3.17	3.13	3.20	3.20	0.06	0.19		0.02
	3世代世帯(405)	3.13	3.04	3.09	3.01	3.22	3.08	3.31	3.19	3.20	3.10	▲ 0.09	0.31		▲ 0.01
	その他(161)	2.78	2.86	2.79	2.82	2.96	3.15	2.99	3.15	3.08	3.16	0.01	0.96		0.00
子の数	1人(355)	2.96	3.00	2.99	2.96	3.13	3.01	3.15	3.23	3.12	3.20	▲ 0.03	0.74		▲ 0.00
	2人(1,121)	3.04	3.05	2.99	3.13	3.21	3.21	3.27	3.15	3.30	3.20	0.05	0.37		0.02
	3人(587)	3.01	3.17	3.11	3.02	3.17	3.12	3.29	3.30	3.29	3.28	▲ 0.02	0.74		▲ 0.00
	4人以上(136)	2.94	3.14	3.06	2.83	3.10	3.02	3.26	3.40	3.32	3.25	▲ 0.14	0.32		▲ 0.01
	子どもはいない(682)	2.93	2.88	2.90	2.82	3.04	2.89	3.06	3.05	3.05	3.10	0.06	0.40		0.01
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.18	3.08	3.28	3.10	3.41	3.27	3.58	3.18	3.14	3.36	0.18	0.36		0.00
	10～20年未満(109)	3.19	3.01	3.18	3.40	3.31	3.49	3.42	3.57	3.39	3.42	▲ 0.15	0.35		▲ 0.01
	20年以上(2,768)	2.97	3.03	2.97	2.98	3.13	3.05	3.18	3.16	3.21	3.18	0.02	0.44		0.02
広域振興圏	県央(920)	3.09	3.06	3.08	3.09	3.22	3.14	3.21	3.24	3.24	3.21	▲ 0.03	0.57		▲ 0.01
	県南(959)	2.97	2.98	2.95	2.92	3.12	3.06	3.24	3.16	3.25	3.27	0.11	0.06		0.03
	沿岸(732)	2.95	3.02	2.96	3.03	3.15	3.02	3.13	3.16	3.16	3.17	0.01	0.82		0.00
	県北(548)	2.93	3.08	2.93	2.96	3.10	3.05	3.21	3.10	3.21	3.13	0.03	0.70		0.01

() は、R7調査のサンプル数

○分野別実感

②余暇が充実していると感じますか

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		2.90	3.03	2.98	3.05	2.93	2.97	2.96	2.93	3.02	3.00	0.07	0.02	**	0.07
性別	男性(1,395)	2.84	2.96	2.93	3.01	2.90	2.95	2.95	2.91	2.99	2.97	0.06	0.17		0.03
	女性(1,718)	2.93	3.08	3.01	3.08	2.96	2.98	2.96	2.95	3.04	3.04	0.08	0.05	**	0.05
	その他(参考)(6)					2.33	3.83	3.00	2.29	3.50	1.40	▲ 0.89	0.29		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.44	3.44	3.42	3.49	3.98	3.46	3.78	3.50	3.84	0.06	0.84		0.00
	20～29歳(128)	3.02	2.99	3.16	3.04	3.22	3.21	3.07	3.09	3.25	3.43	0.34	0.04	**	0.01
	30～39歳(234)	2.73	2.88	2.88	2.71	2.78	2.86	2.87	3.02	2.80	3.01	▲ 0.01	0.92		▲ 0.00
	40～49歳(384)	2.88	2.82	2.88	2.87	2.88	2.83	2.83	2.88	2.88	2.78	▲ 0.11	0.21		▲ 0.01
	50～59歳(544)	2.68	2.85	2.79	2.92	2.78	2.70	2.81	2.80	2.92	2.91	0.11	0.15		0.02
	60～69歳(708)	2.92	3.09	2.95	2.99	2.90	2.98	2.93	2.88	3.00	2.97	0.09	0.14		0.02
	70歳以上(1,094)	3.07	3.30	3.17	3.36	3.05	3.15	3.10	2.98	3.16	3.08	0.10	0.07		0.03
職業	自営業主(256)	2.83	3.04	3.12	2.98	2.87	3.03	2.94	2.81	3.08	2.94	0.13	0.27		0.01
	家族従業員(参考)(87)	2.77	3.21	2.70	3.00	2.82	2.71	2.99	3.02	2.77	3.01	▲ 0.01	0.95		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	2.85	3.01	3.12	2.88	2.97	3.01	3.05	3.03	2.91	2.94	▲ 0.09	0.47		▲ 0.01
	常用雇用者(870)	2.82	2.87	2.82	2.89	2.85	2.86	2.84	2.90	2.95	2.91	0.01	0.80		0.00
	臨時雇用者(363)	2.75	2.93	2.89	3.01	2.96	2.87	2.89	2.86	2.98	3.03	0.16	0.07		0.02
	学生＋その他(139)	2.98	3.16	3.40	3.22	3.03	3.38	3.23	3.33	3.22	3.32	▲ 0.01	0.95		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.11	3.18	3.12	3.15	3.05	3.14	3.13	3.05	3.20	3.14	0.09	0.34		0.01
世帯構成	60歳未満の無職(参考)(64)	2.50	2.63	3.02	3.10	2.70	2.54	2.64	2.72	2.81	3.00	0.28	0.21		0.01
	60歳以上の無職(661)	3.03	3.20	3.03	3.26	2.97	3.09	3.00	2.89	3.09	3.02	0.13	0.06		0.03
	ひとり暮らし(405)	2.87	3.04	2.98	3.02	2.98	2.92	2.92	2.97	3.03	2.98	0.01	0.89		0.00
	夫婦のみ(663)	3.13	3.20	3.12	3.24	3.08	3.13	3.07	3.00	3.23	3.08	0.08	0.22		0.02
	2世代世帯(1,233)	2.80	2.98	2.94	2.97	2.84	2.92	2.93	2.90	2.94	2.99	0.09	0.07		0.03
子の数	3世代世帯(405)	2.92	2.99	2.99	3.00	2.99	2.94	2.98	2.89	3.02	2.89	0.00	0.96		0.00
	その他(161)	2.71	2.93	2.79	2.96	2.72	2.98	2.77	2.89	2.78	2.97	0.08	0.60		0.00
	1人(355)	2.88	3.05	2.97	3.05	2.87	2.86	2.91	3.02	2.91	2.93	▲ 0.09	0.32		▲ 0.01
	2人(1,121)	2.93	3.07	2.94	3.10	2.99	3.07	3.02	2.93	3.08	2.96	0.03	0.55		0.01
	3人(587)	2.88	3.06	3.05	3.08	2.92	2.98	2.99	2.89	3.04	3.08	0.19	0.01	**	0.03
居住年数	4人以上(136)	2.80	2.99	2.98	3.05	2.78	2.90	2.92	2.93	3.22	2.95	0.02	0.90		0.00
	子どもはいない(682)	2.84	2.92	2.97	2.92	2.91	2.91	2.88	2.94	2.94	3.05	0.11	0.11		0.02
	10年未満(参考)(83)	2.84	2.78	2.88	3.12	3.17	3.23	3.18	3.05	2.85	3.26	0.21	0.30		0.01
広域振興圏	10～20年未満(109)	2.86	3.05	3.17	3.17	3.13	3.31	3.21	3.31	3.13	3.15	▲ 0.16	0.34		▲ 0.01
	20年以上(2,768)	2.89	3.04	2.97	3.03	2.91	2.95	2.94	2.91	3.02	2.99	0.08	0.02	**	0.07
	県央(920)	2.97	3.10	3.10	3.17	2.99	3.07	2.99	3.03	3.10	3.05	0.02	0.73		0.01
	県南(959)	2.92	3.01	2.99	2.95	2.92	2.90	2.97	2.90	3.00	3.00	0.09	0.11		0.03
	沿岸(732)	2.84	2.98	2.93	3.09	2.90	2.96	2.90	2.87	2.97	2.98	0.11	0.09		0.02
	県北(548)	2.82	3.03	2.83	2.96	2.90	2.93	2.97	2.90	3.00	2.98	0.07	0.35		0.01

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

③家族と良い関係が取れていると感じますか

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
	県計(3,159)	3.84	3.84	3.88	3.84	3.86	3.85	3.91	3.91	3.88	3.91	0.01	0.82		0.01
性別	男性(1,395)	3.82	3.82	3.86	3.84	3.84	3.86	3.87	3.90	3.84	3.90	▲ 0.00	0.91		▲ 0.00
	女性(1,718)	3.85	3.86	3.90	3.84	3.88	3.85	3.94	3.91	3.90	3.93	0.02	0.57		0.01
	その他(参考)(6)					3.50	4.20	2.67	3.86	4.50	3.25	▲ 0.61	0.55		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.80	4.15	4.44	4.12	4.13	4.27	4.36	4.33	4.65	0.29	0.18		0.00
	20～29歳(128)	4.00	4.06	4.11	4.05	3.98	3.98	4.05	4.10	4.16	4.38	0.28	0.02	**	0.01
	30～39歳(234)	3.88	3.85	3.88	3.83	3.89	3.94	3.89	4.00	3.98	4.06	0.07	0.49		0.00
	40～49歳(384)	3.88	3.78	3.85	3.77	3.91	3.80	3.95	3.93	3.76	3.87	▲ 0.06	0.47		▲ 0.01
	50～59歳(544)	3.70	3.76	3.87	3.72	3.78	3.71	3.78	3.90	3.81	3.75	▲ 0.15	0.03	**	▲ 0.03
	60～69歳(708)	3.82	3.81	3.87	3.77	3.78	3.84	3.86	3.80	3.81	3.80	▲ 0.00	0.94		▲ 0.00
	70歳以上(1,094)	3.86	3.93	3.86	3.96	3.93	3.91	3.96	3.90	3.93	3.98	0.08	0.07		0.03
職業	自営業主(256)	3.84	3.92	4.03	3.87	3.86	3.86	3.93	3.99	4.03	3.95	▲ 0.04	0.68		▲ 0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.79	3.91	3.83	3.91	3.95	3.74	4.08	3.68	3.83	3.85	0.17	0.30		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.98	3.94	3.94	3.73	3.83	3.98	4.01	4.05	3.97	4.01	▲ 0.05	0.67		▲ 0.00
	常用雇用者(870)	3.89	3.85	3.95	3.84	3.88	3.86	3.90	3.95	3.87	3.92	▲ 0.02	0.65		▲ 0.01
	臨時雇用者(363)	3.76	3.80	3.78	3.77	3.80	3.75	3.81	3.83	3.77	3.86	0.03	0.70		0.00
	学生＋その他(139)	3.78	3.99	4.16	3.87	3.96	4.17	4.15	4.03	3.99	4.04	0.00	0.97		0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.88	3.88	3.92	3.91	3.93	4.04	4.06	4.06	4.02	3.97	▲ 0.09	0.31		▲ 0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	3.35	3.21	3.64	3.52	3.28	3.16	3.10	3.31	3.48	3.49	0.18	0.43		0.00
	60歳以上の無職(661)	3.81	3.77	3.74	3.89	3.86	3.79	3.85	3.80	3.83	3.89	0.09	0.15		0.02
世帯構成	ひとり暮らし(405)	3.63	3.60	3.76	3.68	3.70	3.65	3.68	3.63	3.53	3.69	0.06	0.53		0.01
	夫婦のみ(663)	4.05	4.00	4.04	4.02	4.03	4.02	4.10	4.09	4.15	4.07	▲ 0.02	0.68		▲ 0.00
	2世代世帯(1,233)	3.78	3.87	3.86	3.82	3.85	3.85	3.93	3.90	3.89	3.94	0.04	0.34		0.02
	3世代世帯(405)	3.88	3.80	3.92	3.86	3.85	3.81	3.88	3.87	3.81	3.87	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00
	その他(161)	3.67	3.69	3.76	3.69	3.70	3.76	3.61	3.81	3.70	3.61	▲ 0.19	0.16		▲ 0.01
子の数	1人(355)	3.85	3.87	3.88	3.90	3.94	3.82	3.90	3.98	3.82	3.89	▲ 0.09	0.30		▲ 0.01
	2人(1,121)	3.90	3.87	3.92	3.92	3.93	3.95	3.97	3.97	3.97	3.96	▲ 0.01	0.77		▲ 0.00
	3人(587)	3.89	3.85	3.92	3.83	3.82	3.86	3.96	3.91	3.96	3.90	▲ 0.01	0.91		▲ 0.00
	4人以上(136)	3.82	3.88	3.91	3.69	3.86	3.68	3.81	3.90	3.90	4.03	0.13	0.30		0.01
	子どもはいない(682)	3.68	3.79	3.80	3.73	3.73	3.74	3.81	3.82	3.73	3.88	0.05	0.38		0.01
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.94	3.91	3.84	3.98	3.98	3.86	4.15	4.25	3.85	4.09	▲ 0.17	0.26		▲ 0.00
	10～20年未満(109)	3.98	3.87	4.01	4.04	3.93	4.14	3.97	4.16	3.98	4.07	▲ 0.08	0.58		▲ 0.00
	20年以上(2,768)	3.83	3.84	3.88	3.83	3.85	3.83	3.90	3.89	3.88	3.90	0.02	0.59		0.01
広域振興圏	県央(920)	3.89	3.86	3.99	3.90	3.89	3.94	3.91	3.97	3.93	3.96	▲ 0.01	0.87		▲ 0.00
	県南(959)	3.78	3.81	3.80	3.74	3.83	3.81	3.89	3.87	3.83	3.86	▲ 0.01	0.87		▲ 0.00
	沿岸(732)	3.89	3.85	3.94	3.97	3.90	3.86	3.92	3.91	3.89	3.91	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00
	県北(548)	3.78	3.85	3.76	3.74	3.82	3.74	3.90	3.85	3.84	3.93	0.08	0.27		0.01

() は、R6 調査のサンプル数

○分野別実感

④子育てがしやすいと感じますか

■ : 上昇、■ : 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		2.98	3.09	3.02	3.08	3.07	3.16	3.16	3.06	3.03	3.07	0.01	0.73		0.01
性別	男性(1,395)	2.98	3.02	2.98	3.05	3.04	3.11	3.13	2.99	2.96	3.02	0.03	0.50		0.01
	女性(1,718)	2.97	3.14	3.04	3.11	3.10	3.21	3.18	3.11	3.10	3.11	0.01	0.89		0.00
	その他(参考)(6)					3.60	3.50	2.67	3.60	1.00	1.00	▲ 2.60	0.04	**	▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.00	2.95	3.00	3.37	2.95	3.59	3.26	3.50	3.22	▲ 0.04	0.92		▲ 0.00
	20～29歳(128)	2.83	2.84	2.75	2.80	2.89	2.99	3.12	2.72	3.00	2.94	0.22	0.19		0.01
	30～39歳(234)	2.83	2.93	2.68	3.03	2.82	3.22	3.07	2.84	2.61	2.95	0.11	0.37		0.01
	40～49歳(384)	3.05	3.07	3.09	3.09	3.05	3.28	3.10	2.97	2.87	2.92	▲ 0.05	0.56		▲ 0.01
	50～59歳(544)	2.89	3.04	3.03	3.06	2.99	3.02	2.99	3.05	3.00	3.02	▲ 0.03	0.70		▲ 0.00
	60～69歳(708)	2.95	3.13	3.07	2.99	3.04	3.11	3.10	3.02	3.00	3.02	0.01	0.90		0.00
	70歳以上(1,094)	3.16	3.25	3.12	3.29	3.27	3.27	3.33	3.24	3.23	3.23	▲ 0.02	0.76		▲ 0.01
職業	自営業主(256)	3.06	3.19	3.18	3.16	3.08	3.26	3.25	3.12	3.18	3.03	▲ 0.09	0.46		▲ 0.01
	家族従業員(参考)(87)	3.14	3.33	2.99	3.21	3.32	3.14	3.43	3.27	2.93	3.14	▲ 0.13	0.50		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	2.95	3.24	2.93	2.94	2.95	3.29	3.27	3.06	2.98	3.14	0.08	0.48		0.01
	常用雇用者(870)	2.95	2.98	2.96	3.06	2.96	3.13	3.01	3.01	2.91	2.97	▲ 0.04	0.46		▲ 0.01
	臨時雇用者(363)	2.87	3.05	3.00	3.05	3.08	3.11	3.08	2.92	3.05	2.95	0.03	0.72		0.00
	学生＋その他(139)	2.99	3.10	3.18	3.02	3.01	3.05	3.28	3.05	3.18	2.97	▲ 0.08	0.59		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.00	3.23	3.04	3.04	3.17	3.27	3.27	3.19	3.21	3.34	0.15	0.15		0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.53	2.48	2.45	2.56	2.46	3.00	2.81	2.58	2.50	3.08	0.49	0.04	**	0.01
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.05	3.05	3.07	3.20	3.21	3.10	3.20	3.09	3.12	3.13	0.04	0.61		0.01
	ひとり暮らし(405)	2.71	2.80	2.86	2.80	2.94	2.97	3.00	3.01	2.90	2.98	▲ 0.03	0.81		▲ 0.00
	夫婦のみ(663)	2.95	3.13	3.00	3.06	3.13	3.13	3.14	3.10	3.13	3.10	▲ 0.00	0.96		▲ 0.00
	2世代世帯(1,233)	2.97	3.12	3.05	3.12	3.05	3.18	3.18	3.04	2.98	3.05	0.01	0.90		0.00
	3世代世帯(405)	3.17	3.17	3.13	3.24	3.16	3.23	3.22	3.08	3.12	3.13	0.05	0.54		0.01
子の数	その他(161)	2.81	2.95	2.81	2.93	2.94	3.31	3.08	2.85	3.05	2.89	0.04	0.79		0.00
	1人(355)	2.87	3.14	3.05	3.11	3.17	3.21	3.27	3.07	2.93	3.07	0.00	0.99		0.00
	2人(1,121)	3.09	3.14	3.06	3.18	3.16	3.25	3.21	3.16	3.14	3.11	▲ 0.05	0.34		▲ 0.02
	3人(587)	3.04	3.19	3.19	3.19	3.09	3.20	3.18	3.10	3.12	3.08	▲ 0.02	0.82		▲ 0.00
	4人以上(136)	3.11	3.15	3.12	2.96	2.99	3.12	3.03	3.03	3.12	3.23	0.21	0.15		0.01
	子どもはいない(682)	2.61	2.73	2.63	2.60	2.72	2.83	2.87	2.70	2.71	2.81	0.12	0.13		0.03
居住年数	10年未満(参考)(83)	2.74	2.77	2.79	2.90	3.00	3.11	3.17	2.77	2.80	3.14	0.37	0.08		0.01
	10～20年未満(109)	2.82	3.02	2.98	3.12	3.07	3.19	3.30	3.18	3.00	3.21	0.03	0.86		0.00
	20年以上(2,768)	2.99	3.10	3.02	3.09	3.07	3.16	3.14	3.06	3.05	3.05	▲ 0.01	0.86		▲ 0.00
広域振興圏	県央(920)	3.05	3.05	3.11	3.20	3.10	3.28	3.21	3.11	3.09	3.14	0.04	0.54		0.01
	県南(959)	2.98	3.15	3.03	2.97	3.06	3.11	3.14	3.05	3.04	3.07	0.01	0.81		0.00
	沿岸(732)	2.93	3.02	2.97	3.14	3.05	3.11	3.09	3.02	3.00	3.02	0.01	0.91		0.00
	県北(548)	2.94	3.13	2.93	3.01	3.05	3.13	3.22	3.05	2.97	3.02	▲ 0.03	0.69		▲ 0.01

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか

■: 上昇、■: 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		3.16	3.12	3.13	3.10	3.09	3.20	3.18	3.14	3.13	3.15	0.01	0.62		0.01
性別	男性(1,395)	3.13	3.08	3.08	3.08	3.07	3.17	3.17	3.10	3.09	3.13	0.03	0.43		0.02
	女性(1,718)	3.17	3.14	3.16	3.12	3.11	3.23	3.19	3.17	3.17	3.17	0.00	0.94		0.00
	その他(参考)(6)					2.80	4.00	2.67	2.75	1.00	1.67	▲ 1.08	0.30		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.27	3.08	3.38	3.38	3.71	3.50	3.32	3.00	3.42	0.09	0.77		0.00
	20～29歳(128)	2.99	2.91	2.94	2.92	2.96	3.06	3.19	3.01	3.18	3.16	0.15	0.32		0.01
	30～39歳(234)	3.04	3.04	2.93	2.98	2.96	3.28	3.11	3.12	3.01	3.03	▲ 0.10	0.38		▲ 0.01
	40～49歳(384)	3.19	3.08	3.19	3.14	3.05	3.26	3.12	3.03	2.96	3.12	0.09	0.26		0.01
	50～59歳(544)	3.02	3.02	3.01	3.05	2.96	3.02	3.00	3.03	3.03	3.05	0.02	0.77		0.00
	60～69歳(708)	3.11	3.10	3.13	2.95	3.04	3.14	3.09	3.06	3.07	3.09	0.02	0.67		0.01
	70歳以上(1,094)	3.39	3.34	3.28	3.33	3.31	3.35	3.37	3.32	3.32	3.28	▲ 0.03	0.50		▲ 0.01
職業	自営業主(256)	3.19	3.08	3.25	3.14	3.22	3.25	3.28	3.15	3.29	3.16	0.01	0.90		0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.32	3.17	3.13	3.19	3.33	3.27	3.34	3.19	2.95	3.26	0.07	0.67		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.09	3.10	3.04	2.97	3.05	3.26	3.16	3.06	3.11	3.14	0.08	0.48		0.00
	常用雇用者(870)	3.09	3.03	3.01	3.03	2.98	3.16	3.05	3.11	3.03	3.06	▲ 0.06	0.29		▲ 0.02
	臨時雇用者(363)	3.10	3.15	3.14	3.09	3.07	3.08	3.07	2.96	3.13	3.11	0.15	0.07		0.02
	学生＋その他(139)	3.06	3.17	3.24	3.21	2.99	3.27	3.29	3.19	3.26	3.14	▲ 0.06	0.69		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.22	3.17	3.21	3.17	3.17	3.36	3.27	3.26	3.25	3.38	0.11	0.22		0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.75	3.11	2.87	2.76	2.48	3.06	2.83	2.57	2.53	3.15	0.58	0.01	**	0.01
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.30	3.22	3.20	3.17	3.18	3.20	3.29	3.26	3.21	3.16	▲ 0.10	0.14		▲ 0.02
	ひとり暮らし(405)	3.05	3.05	3.01	2.93	2.95	3.01	3.03	3.15	3.08	3.06	▲ 0.08	0.38		▲ 0.01
	夫婦のみ(663)	3.13	3.12	3.11	3.11	3.16	3.20	3.16	3.19	3.16	3.16	▲ 0.03	0.62		▲ 0.01
	2世代世帯(1,233)	3.10	3.12	3.11	3.10	3.07	3.19	3.19	3.10	3.10	3.14	0.04	0.44		0.01
	3世代世帯(405)	3.32	3.21	3.27	3.20	3.15	3.31	3.24	3.18	3.26	3.17	▲ 0.01	0.86		▲ 0.00
子の数	その他(161)	3.11	3.02	2.99	3.05	3.00	3.37	3.15	2.99	3.04	3.07	0.08	0.62		0.00
	1人(355)	3.07	3.15	3.16	3.09	3.13	3.24	3.19	3.14	3.05	3.10	▲ 0.04	0.62		▲ 0.00
	2人(1,121)	3.19	3.11	3.13	3.14	3.16	3.29	3.24	3.22	3.18	3.22	0.00	0.99		0.00
	3人(587)	3.26	3.24	3.24	3.23	3.13	3.23	3.23	3.17	3.23	3.14	▲ 0.02	0.74		▲ 0.00
	4人以上(136)	3.19	3.17	3.24	3.09	3.14	3.14	3.11	3.15	3.21	3.19	0.04	0.77		0.00
	子どもはいない(682)	2.96	2.94	2.92	2.84	2.80	2.98	2.96	2.88	2.93	2.99	0.12	0.11		0.03
居住年数	10年未満(参考)(83)	2.80	2.79	2.85	2.78	2.95	3.16	3.26	2.96	2.76	3.17	0.21	0.27		0.01
	10～20年未満(109)	2.98	3.03	3.11	3.21	3.11	3.32	3.35	3.12	3.04	3.20	0.08	0.64		0.00
	20年以上(2,768)	3.17	3.13	3.13	3.10	3.09	3.20	3.16	3.14	3.14	3.14	▲ 0.01	0.85		▲ 0.01
広域振興圏	県央(920)	3.13	3.12	3.14	3.14	3.10	3.28	3.21	3.15	3.13	3.19	0.05	0.39		0.01
	県南(959)	3.17	3.10	3.12	3.06	3.10	3.16	3.15	3.13	3.13	3.14	0.01	0.87		0.00
	沿岸(732)	3.12	3.10	3.13	3.14	3.05	3.17	3.13	3.09	3.16	3.10	0.01	0.89		0.00
	県北(548)	3.27	3.17	3.10	3.07	3.12	3.19	3.27	3.19	3.10	3.16	▲ 0.03	0.72		▲ 0.00

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑥住まいに快適さを感じますか

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		3.19	3.37	3.30	3.34	3.29	3.31	3.31	3.29	3.31	3.30	0.00	0.90		0.00
性別	男性(1,395)	3.20	3.32	3.26	3.35	3.26	3.30	3.27	3.28	3.27	3.33	0.04	0.35		0.02
	女性(1,718)	3.17	3.40	3.33	3.32	3.33	3.32	3.34	3.30	3.36	3.28	▲ 0.02	0.62		▲ 0.01
	その他(参考)(6)					2.33	2.40	4.33	3.00	2.50	2.00	▲ 1.00	0.06		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.40	3.54	3.97	3.60	3.70	3.73	4.03	3.89	4.08	0.05	0.86		0.00
	20～29歳(128)	3.34	3.34	3.27	3.20	3.18	3.32	3.48	3.26	3.43	3.40	0.14	0.36		0.01
	30～39歳(234)	3.01	3.28	3.27	3.13	3.11	3.23	3.25	3.20	3.26	3.32	0.12	0.31		0.01
	40～49歳(384)	3.14	3.33	3.32	3.23	3.32	3.30	3.21	3.33	3.26	3.18	▲ 0.15	0.08		▲ 0.02
	50～59歳(544)	3.05	3.18	3.14	3.26	3.22	3.11	3.22	3.21	3.17	3.21	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00
	60～69歳(708)	3.18	3.40	3.22	3.28	3.22	3.28	3.21	3.16	3.26	3.17	0.01	0.90		0.00
	70歳以上(1,094)	3.35	3.55	3.45	3.54	3.45	3.49	3.44	3.41	3.43	3.44	0.03	0.58		0.01
職業	自営業主(256)	3.23	3.42	3.49	3.43	3.32	3.37	3.35	3.36	3.39	3.43	0.07	0.52		0.01
	家族従業員(参考)(87)	3.09	3.64	3.30	3.36	3.31	3.05	3.53	3.36	3.30	3.33	▲ 0.03	0.86		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.29	3.52	3.35	3.37	3.33	3.50	3.38	3.36	3.35	3.52	0.16	0.17		0.01
	常用雇用者(870)	3.17	3.28	3.20	3.29	3.22	3.25	3.28	3.24	3.24	3.21	▲ 0.03	0.55		▲ 0.01
	臨時雇用者(363)	3.01	3.28	3.13	3.16	3.19	3.12	3.20	3.12	3.25	3.16	0.04	0.64		0.01
	学生＋その他(139)	3.31	3.43	3.67	3.51	3.41	3.51	3.47	3.58	3.57	3.42	▲ 0.16	0.28		▲ 0.01
	専業主婦・主夫(312)	3.25	3.43	3.37	3.37	3.48	3.52	3.47	3.36	3.46	3.37	0.00	0.97		0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.64	2.91	3.36	3.07	2.90	2.80	2.92	3.10	2.81	3.32	0.22	0.33		0.00
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.25	3.41	3.29	3.39	3.33	3.40	3.30	3.31	3.34	3.30	▲ 0.01	0.90		▲ 0.00
	ひとり暮らし(405)	3.14	3.24	3.17	3.15	3.20	3.09	3.03	3.14	3.10	3.20	0.06	0.55		0.01
	夫婦のみ(663)	3.32	3.44	3.37	3.45	3.45	3.42	3.37	3.40	3.47	3.34	▲ 0.06	0.31		▲ 0.01
	2世代世帯(1,233)	3.16	3.38	3.35	3.35	3.28	3.28	3.38	3.28	3.30	3.33	0.05	0.36		0.02
	3世代世帯(405)	3.23	3.39	3.31	3.42	3.31	3.40	3.32	3.29	3.35	3.21	▲ 0.08	0.33		▲ 0.01
子の数	その他(161)	2.95	3.27	3.09	3.19	3.02	3.41	3.10	3.15	3.27	3.27	0.12	0.45		0.01
	1人(355)	3.12	3.43	3.28	3.33	3.37	3.20	3.27	3.33	3.16	3.31	▲ 0.02	0.81		▲ 0.00
	2人(1,121)	3.24	3.40	3.33	3.40	3.37	3.46	3.37	3.36	3.43	3.30	▲ 0.06	0.25		▲ 0.02
	3人(587)	3.23	3.43	3.33	3.40	3.28	3.35	3.38	3.31	3.38	3.36	0.05	0.45		0.01
	4人以上(136)	2.99	3.22	3.30	3.26	3.20	3.24	3.22	3.05	3.39	3.20	0.15	0.34		0.01
	子どもはいない(682)	3.14	3.24	3.24	3.20	3.14	3.15	3.21	3.20	3.17	3.26	0.06	0.39		0.01
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.06	3.23	3.17	2.96	3.34	3.33	3.15	3.27	3.18	3.49	0.22	0.22		0.01
	10～20年未満(109)	3.01	3.38	3.27	3.50	3.41	3.60	3.39	3.66	3.56	3.58	▲ 0.09	0.60		▲ 0.00
	20年以上(2,768)	3.19	3.37	3.30	3.34	3.28	3.30	3.31	3.27	3.32	3.28	0.00	0.97		0.00
広域振興圏	県央(920)	3.33	3.48	3.47	3.45	3.41	3.43	3.39	3.42	3.42	3.39	▲ 0.03	0.65		▲ 0.01
	県南(959)	3.17	3.36	3.31	3.25	3.32	3.26	3.28	3.23	3.29	3.27	0.05	0.41		0.01
	沿岸(732)	3.13	3.30	3.23	3.39	3.28	3.33	3.35	3.29	3.32	3.33	0.04	0.53		0.01
	県北(548)	3.05	3.28	3.10	3.22	3.09	3.18	3.16	3.19	3.17	3.14	▲ 0.05	0.50		▲ 0.01

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑦地域社会とのつながりを感じますか。

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		3.26	3.34	3.30	3.35	3.16	3.09	3.10	3.07	3.10	3.12	0.05	0.12		0.05
性別	男性(1,395)	3.27	3.32	3.32	3.37	3.15	3.09	3.06	3.06	3.08	3.14	0.08	0.06		0.04
	女性(1,718)	3.23	3.35	3.28	3.33	3.16	3.09	3.13	3.08	3.11	3.10	0.02	0.65		0.01
	その他(参考)(6)					3.00	3.83	3.00	2.17	1.00	1.25	▲ 0.92	0.07		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.27	3.06	3.38	3.24	3.48	3.46	3.45	3.59	3.33	▲ 0.12	0.70		▲ 0.00
	20～29歳(128)	2.89	3.05	2.89	2.95	2.83	2.77	2.86	2.67	3.03	2.84	0.17	0.28		0.01
	30～39歳(234)	2.96	2.96	3.16	3.03	2.97	2.83	2.84	2.77	2.64	2.90	0.13	0.24		0.01
	40～49歳(384)	3.20	3.27	3.26	3.22	3.00	2.94	2.96	2.85	2.84	2.89	0.04	0.65		0.00
	50～59歳(544)	3.22	3.25	3.31	3.30	3.10	2.91	2.99	3.02	3.00	3.07	0.05	0.43		0.01
	60～69歳(708)	3.28	3.39	3.30	3.37	3.16	3.15	3.09	3.07	3.13	3.06	▲ 0.02	0.79		▲ 0.00
	70歳以上(1,094)	3.50	3.62	3.47	3.59	3.36	3.38	3.33	3.31	3.32	3.34	0.03	0.58		0.01
職業	自営業主(256)	3.46	3.52	3.58	3.52	3.36	3.33	3.39	3.36	3.43	3.39	0.03	0.78		0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.34	3.75	3.53	3.58	3.53	3.25	3.41	3.41	3.32	3.39	▲ 0.03	0.86		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.31	3.41	3.21	3.38	3.21	3.20	3.07	3.01	3.15	3.08	0.07	0.54		0.00
	常用雇用者(870)	3.17	3.18	3.22	3.22	3.01	2.92	2.95	2.92	2.91	2.93	0.01	0.88		0.00
	臨時雇用者(363)	3.01	3.38	3.22	3.27	3.13	2.95	2.94	2.99	3.03	3.01	0.03	0.75		0.00
	学生＋その他(139)	3.38	3.37	3.49	3.32	3.03	3.18	3.17	3.10	3.34	3.14	0.04	0.78		0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.24	3.26	3.28	3.37	3.24	3.24	3.28	3.19	3.24	3.26	0.06	0.47		0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.77	2.89	2.87	3.02	2.49	2.55	2.56	2.59	2.43	3.04	0.44	0.03	**	0.01
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.41	3.43	3.31	3.48	3.22	3.24	3.15	3.15	3.15	3.20	0.04	0.54		0.01
	ひとり暮らし(405)	3.10	3.13	3.05	3.15	3.09	2.84	2.85	2.89	2.88	2.86	▲ 0.03	0.74		▲ 0.00
	夫婦のみ(663)	3.24	3.31	3.30	3.39	3.17	3.19	3.10	3.11	3.17	3.18	0.07	0.26		0.01
	2世代世帯(1,233)	3.26	3.35	3.33	3.34	3.14	3.01	3.12	3.03	3.10	3.12	0.09	0.06		0.03
	3世代世帯(405)	3.45	3.50	3.46	3.53	3.27	3.32	3.25	3.32	3.21	3.20	▲ 0.12	0.13		▲ 0.02
子の数	その他(161)	3.06	3.25	3.18	3.26	3.02	3.17	3.05	2.98	3.07	2.95	▲ 0.03	0.85		▲ 0.00
	1人(355)	3.17	3.43	3.33	3.31	3.10	2.99	3.09	2.99	2.94	3.06	0.06	0.45		0.01
	2人(1,121)	3.33	3.37	3.40	3.45	3.24	3.22	3.18	3.16	3.21	3.18	0.03	0.55		0.01
	3人(587)	3.41	3.51	3.44	3.47	3.29	3.24	3.26	3.24	3.27	3.24	▲ 0.01	0.92		▲ 0.00
	4人以上(136)	3.39	3.39	3.27	3.43	3.18	3.21	3.20	3.36	3.14	3.39	0.03	0.85		0.00
	子どもはいない(682)	2.96	3.05	3.01	3.08	2.91	2.79	2.82	2.79	2.87	2.86	0.07	0.31		0.01
居住年数	10年未満(参考)(83)	2.86	2.83	2.90	3.04	2.84	2.67	2.67	2.56	2.49	2.77	0.21	0.27		0.01
	10～20年未満(109)	3.07	3.06	3.08	3.15	2.98	3.23	3.06	2.96	2.94	2.99	0.03	0.87		0.00
	20年以上(2,768)	3.27	3.36	3.32	3.37	3.17	3.10	3.11	3.09	3.13	3.12	0.03	0.42		0.02
広域振興圏	県央(920)	3.16	3.17	3.25	3.24	3.04	3.00	3.03	2.99	3.02	3.02	0.03	0.63		0.01
	県南(959)	3.31	3.41	3.37	3.40	3.23	3.15	3.12	3.11	3.12	3.13	0.03	0.61		0.01
	沿岸(732)	3.23	3.36	3.30	3.43	3.18	3.16	3.13	3.05	3.13	3.21	0.16	0.01	**	0.04
	県北(548)	3.37	3.44	3.26	3.33	3.19	3.07	3.13	3.18	3.17	3.12	▲ 0.05	0.45		▲ 0.01

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑧お住まいの地域は安全だと感じますか。

■: 上昇、■: 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		3.70	3.83	3.79	3.82	3.66	3.76	3.72	3.69	3.66	3.62	▲ 0.07	0.01	**	▲ 0.07
性別	男性(1,395)	3.74	3.86	3.83	3.84	3.72	3.79	3.75	3.70	3.69	3.68	▲ 0.02	0.63		▲ 0.01
	女性(1,718)	3.67	3.82	3.76	3.80	3.61	3.75	3.70	3.68	3.63	3.57	▲ 0.11	0.00	**	▲ 0.06
	その他(参考)(6)					3.33	3.33	3.33	4.00	3.00	2.75	▲ 1.25	0.06		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.91	3.98	3.94	3.88	3.84	3.98	4.17	4.21	4.08	▲ 0.09	0.73		▲ 0.00
	20～29歳(128)	3.70	3.80	3.79	3.70	3.63	3.70	3.76	3.89	3.68	3.83	▲ 0.05	0.66		▲ 0.00
	30～39歳(234)	3.65	3.75	3.79	3.69	3.67	3.69	3.72	3.57	3.58	3.69	0.12	0.20		0.01
	40～49歳(384)	3.76	3.79	3.76	3.79	3.59	3.79	3.71	3.68	3.58	3.56	▲ 0.12	0.10		▲ 0.01
	50～59歳(544)	3.66	3.81	3.84	3.84	3.67	3.69	3.73	3.68	3.66	3.60	▲ 0.08	0.21		▲ 0.01
	60～69歳(708)	3.69	3.83	3.77	3.80	3.58	3.77	3.69	3.59	3.62	3.50	▲ 0.09	0.13		▲ 0.02
	70歳以上(1,094)	3.71	3.94	3.78	3.91	3.75	3.83	3.73	3.76	3.72	3.68	▲ 0.08	0.09		▲ 0.03
職業	自営業主(256)	3.80	3.85	3.82	3.94	3.70	3.83	3.82	3.72	3.82	3.69	▲ 0.03	0.76		▲ 0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.81	4.04	3.69	3.98	3.91	3.79	3.94	3.93	3.53	3.58	▲ 0.35	0.03	**	▲ 0.01
	会社役員・団体役員(193)	3.74	3.94	3.75	3.85	3.64	3.83	3.78	3.62	3.64	3.69	0.06	0.56		0.00
	常用雇用者(870)	3.75	3.84	3.85	3.83	3.64	3.74	3.75	3.69	3.65	3.62	▲ 0.07	0.18		▲ 0.02
	臨時雇用者(363)	3.64	3.78	3.75	3.71	3.62	3.67	3.59	3.61	3.58	3.55	▲ 0.06	0.47		▲ 0.01
	学生＋その他(139)	3.65	3.87	4.01	3.74	3.57	3.88	3.94	3.91	3.85	3.71	▲ 0.20	0.14		▲ 0.01
	専業主婦・主夫(312)	3.66	3.80	3.73	3.74	3.71	3.86	3.75	3.67	3.67	3.63	▲ 0.04	0.63		▲ 0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	3.41	3.50	3.64	3.70	3.38	3.56	3.60	3.54	3.64	3.69	0.15	0.45		0.00
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.64	3.83	3.74	3.86	3.69	3.74	3.64	3.69	3.68	3.60	▲ 0.09	0.14		▲ 0.02
	ひとり暮らし(405)	3.61	3.71	3.74	3.72	3.67	3.71	3.69	3.62	3.55	3.57	▲ 0.04	0.59		▲ 0.01
	夫婦のみ(663)	3.68	3.85	3.79	3.86	3.64	3.84	3.69	3.72	3.76	3.60	▲ 0.12	0.03	**	▲ 0.03
	2世代世帯(1,233)	3.71	3.84	3.78	3.81	3.70	3.70	3.76	3.68	3.66	3.66	▲ 0.02	0.61		▲ 0.01
	3世代世帯(405)	3.88	3.94	3.89	3.89	3.72	3.85	3.73	3.80	3.65	3.62	▲ 0.18	0.02	**	▲ 0.02
子の数	その他(161)	3.52	3.77	3.73	3.79	3.51	3.79	3.75	3.58	3.68	3.54	▲ 0.04	0.78		▲ 0.00
	1人(355)	3.67	3.88	3.70	3.80	3.68	3.72	3.66	3.62	3.54	3.61	▲ 0.01	0.89		▲ 0.00
	2人(1,121)	3.72	3.83	3.80	3.85	3.70	3.82	3.73	3.69	3.68	3.63	▲ 0.06	0.22		▲ 0.02
	3人(587)	3.74	3.92	3.86	3.85	3.67	3.80	3.78	3.75	3.72	3.64	▲ 0.11	0.06		▲ 0.02
	4人以上(136)	3.71	3.84	3.76	3.92	3.65	3.65	3.78	3.70	3.74	3.61	▲ 0.10	0.46		▲ 0.00
	子どもはいない(682)	3.63	3.76	3.77	3.74	3.62	3.73	3.73	3.71	3.69	3.63	▲ 0.08	0.16		▲ 0.02
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.58	3.72	3.71	3.59	3.69	3.65	3.77	3.66	3.52	3.79	0.13	0.38		0.00
	10～20年未満(109)	3.62	3.86	3.78	3.83	3.67	3.91	3.83	3.95	3.69	3.79	▲ 0.16	0.25		▲ 0.01
	20年以上(2,768)	3.71	3.84	3.79	3.83	3.67	3.76	3.72	3.68	3.67	3.61	▲ 0.08	0.01	**	▲ 0.07
広域振興圏	県央(920)	3.75	3.88	3.86	3.87	3.75	3.76	3.76	3.75	3.74	3.67	▲ 0.08	0.08		▲ 0.02
	県南(959)	3.73	3.86	3.81	3.78	3.69	3.78	3.74	3.75	3.65	3.65	▲ 0.10	0.03	**	▲ 0.03
	沿岸(732)	3.59	3.71	3.70	3.82	3.54	3.74	3.67	3.54	3.58	3.56	0.03	0.67		0.01
	県北(548)	3.72	3.89	3.76	3.82	3.63	3.78	3.70	3.70	3.66	3.57	▲ 0.13	0.06		▲ 0.02

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑨仕事にやりがいを感じますか。

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		3.50	3.56	3.51	3.54	3.38	3.49	3.41	3.39	3.39	3.41	0.02	0.47		0.02
性別	男性(1,395)	3.52	3.57	3.52	3.53	3.41	3.48	3.42	3.35	3.41	3.43	0.08	0.12		0.03
	女性(1,718)	3.47	3.55	3.50	3.54	3.35	3.50	3.41	3.42	3.37	3.41	▲ 0.01	0.88		▲ 0.00
	その他(参考)(6)					2.00	3.67	3.00	2.25	3.00	1.25	▲ 1.00	0.11		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.27	3.38	3.85	3.78	3.65	3.75	3.58	4.29	3.69	0.10	0.76		0.00
	20～29歳(128)	3.53	3.36	3.42	3.49	3.41	3.51	3.18	3.25	3.32	3.44	0.19	0.29		0.01
	30～39歳(234)	3.46	3.47	3.44	3.39	3.22	3.41	3.34	3.35	3.14	3.31	▲ 0.04	0.70		▲ 0.00
	40～49歳(384)	3.51	3.54	3.63	3.45	3.38	3.47	3.48	3.38	3.26	3.38	0.00	0.97		0.00
	50～59歳(544)	3.50	3.53	3.57	3.46	3.36	3.40	3.40	3.33	3.43	3.46	0.13	0.10		0.02
	60～69歳(708)	3.52	3.64	3.52	3.53	3.45	3.61	3.43	3.45	3.48	3.39	▲ 0.06	0.33		▲ 0.01
	70歳以上(1,094)	3.48	3.63	3.44	3.72	3.37	3.50	3.45	3.42	3.42	3.44	0.01	0.81		0.00
職業	自営業主(256)	3.88	3.98	4.03	3.93	3.77	3.88	3.91	3.78	3.78	3.81	0.03	0.74		0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.58	3.78	3.59	3.77	3.70	3.41	3.64	3.63	3.54	3.65	0.03	0.87		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.69	3.89	3.75	3.77	3.68	3.82	3.56	3.53	3.58	3.65	0.12	0.31		0.01
	常用雇用者(870)	3.58	3.51	3.56	3.46	3.36	3.47	3.48	3.39	3.36	3.40	0.01	0.81		0.00
	臨時雇用者(363)	3.39	3.54	3.60	3.53	3.44	3.54	3.32	3.47	3.44	3.43	▲ 0.03	0.70		▲ 0.00
	学生＋その他(139)	3.38	3.73	3.69	3.79	3.34	3.79	3.63	3.50	3.58	3.59	0.09	0.57		0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.18	3.43	3.17	3.17	3.18	3.23	3.18	3.13	3.16	3.10	▲ 0.03	0.76		▲ 0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.66	2.47	2.63	2.38	2.58	2.50	2.14	2.44	2.38	2.90	0.45	0.13		0.01
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.20	3.28	3.08	3.32	3.10	3.07	3.09	3.20	3.18	3.14	▲ 0.06	0.47		▲ 0.01
	ひとり暮らし(405)	3.46	3.44	3.45	3.51	3.38	3.39	3.20	3.38	3.35	3.37	▲ 0.01	0.96		▲ 0.00
	夫婦のみ(663)	3.58	3.59	3.49	3.54	3.43	3.56	3.48	3.49	3.48	3.48	▲ 0.01	0.85		▲ 0.00
	2世代世帯(1,233)	3.50	3.58	3.54	3.51	3.36	3.46	3.44	3.33	3.38	3.38	0.04	0.43		0.02
	3世代世帯(405)	3.59	3.65	3.67	3.60	3.45	3.62	3.44	3.43	3.31	3.38	▲ 0.04	0.62		▲ 0.01
子の数	その他(161)	3.26	3.41	3.33	3.54	3.20	3.38	3.39	3.30	3.44	3.44	0.13	0.41		0.01
	1人(355)	3.44	3.55	3.58	3.54	3.40	3.55	3.46	3.35	3.32	3.45	0.10	0.29		0.01
	2人(1,121)	3.55	3.59	3.50	3.57	3.43	3.60	3.47	3.41	3.46	3.46	0.05	0.33		0.02
	3人(587)	3.58	3.69	3.59	3.74	3.49	3.56	3.54	3.55	3.46	3.44	▲ 0.12	0.12		▲ 0.02
	4人以上(136)	3.56	3.76	3.67	3.49	3.29	3.59	3.51	3.48	3.55	3.53	0.05	0.75		0.00
	子どもはいない(682)	3.36	3.35	3.42	3.32	3.21	3.22	3.23	3.23	3.25	3.30	0.07	0.31		0.02
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.55	3.53	3.37	3.59	3.55	3.58	3.51	3.32	3.13	3.40	0.08	0.69		0.00
	10～20年未満(109)	3.52	3.38	3.53	3.62	3.45	3.81	3.63	3.51	3.48	3.53	0.02	0.91		0.00
	20年以上(2,768)	3.49	3.57	3.52	3.53	3.37	3.47	3.41	3.39	3.40	3.41	0.02	0.53		0.02
広域振興圏	県央(920)	3.54	3.60	3.58	3.58	3.42	3.50	3.46	3.49	3.37	3.45	▲ 0.04	0.53		▲ 0.01
	県南(959)	3.45	3.48	3.51	3.48	3.36	3.49	3.39	3.40	3.41	3.40	▲ 0.00	0.95		▲ 0.00
	沿岸(732)	3.50	3.60	3.51	3.57	3.39	3.42	3.35	3.27	3.36	3.36	0.08	0.21		0.02
	県北(548)	3.53	3.58	3.37	3.53	3.33	3.54	3.45	3.36	3.41	3.45	0.09	0.24		0.02

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。

■: 上昇、■: 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)		2.44	2.58	2.45	2.65	2.56	2.77	2.57	2.53	2.48	2.50	▲ 0.03	0.31		▲ 0.03
性別	男性(1,395)	2.46	2.60	2.47	2.68	2.55	2.75	2.55	2.50	2.50	2.53	▲ 0.02	0.62		0.01
	女性(1,718)	2.43	2.56	2.43	2.61	2.58	2.79	2.59	2.55	2.47	2.48	▲ 0.07	0.13		▲ 0.04
	その他(参考)(6)					1.40	2.20	3.00	2.00	3.00	1.25	▲ 0.75	0.22		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		2.81	2.77	2.25	3.09	3.32	3.18	2.72	2.91	2.53	▲ 0.19	0.67		▲ 0.00
	20～29歳(128)	2.48	2.51	2.44	2.66	2.49	2.68	2.40	2.30	2.47	2.50	0.20	0.25		0.01
	30～39歳(234)	2.44	2.47	2.42	2.51	2.36	2.71	2.50	2.47	2.27	2.43	▲ 0.04	0.76		▲ 0.00
	40～49歳(384)	2.51	2.56	2.52	2.66	2.50	2.82	2.62	2.57	2.40	2.33	▲ 0.24	0.01	**	▲ 0.03
	50～59歳(544)	2.46	2.52	2.49	2.60	2.52	2.75	2.58	2.53	2.49	2.56	0.03	0.72		0.01
	60～69歳(708)	2.37	2.57	2.40	2.63	2.59	2.77	2.54	2.55	2.53	2.49	▲ 0.06	0.41		▲ 0.01
	70歳以上(1,094)	2.46	2.70	2.45	2.75	2.65	2.80	2.61	2.55	2.52	2.55	0.01	0.91		0.00
職業	自営業主(256)	2.53	2.69	2.58	2.86	2.63	2.86	2.62	2.57	2.54	2.67	0.10	0.43		0.01
	家族従業員(参考)(87)	2.61	2.85	2.42	2.91	2.73	2.81	2.78	2.66	2.10	2.59	▲ 0.07	0.73		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	2.96	2.94	2.85	3.05	2.85	3.27	2.92	2.90	2.89	2.92	0.02	0.88		0.00
	常用雇用者(870)	2.58	2.66	2.55	2.72	2.60	2.86	2.67	2.60	2.52	2.53	▲ 0.06	0.31		▲ 0.02
	臨時雇用者(363)	2.20	2.31	2.30	2.56	2.39	2.65	2.38	2.40	2.30	2.34	▲ 0.05	0.57		▲ 0.01
	学生＋その他(139)	2.49	2.73	2.63	2.80	2.55	2.94	2.80	2.78	2.81	2.62	▲ 0.16	0.36		▲ 0.01
	専業主婦・主夫(312)	2.37	2.48	2.34	2.46	2.67	2.89	2.61	2.58	2.51	2.45	▲ 0.12	0.26		▲ 0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	1.68	1.58	1.95	1.81	1.71	1.84	1.80	1.94	1.72	2.19	0.25	0.29		0.01
世帯構成	60歳以上の無職(661)	2.25	2.46	2.29	2.37	2.46	2.42	2.41	2.33	2.40	2.35	0.02	0.74		0.01
	ひとり暮らし(405)	2.52	2.65	2.53	2.65	2.57	2.75	2.49	2.55	2.53	2.56	0.02	0.87		0.00
	夫婦のみ(663)	2.59	2.72	2.43	2.76	2.68	2.92	2.63	2.59	2.64	2.61	0.02	0.78		0.00
	2世代世帯(1,233)	2.41	2.54	2.51	2.62	2.54	2.71	2.56	2.50	2.40	2.45	▲ 0.05	0.35		▲ 0.02
	3世代世帯(405)	2.49	2.56	2.52	2.72	2.55	2.82	2.62	2.54	2.45	2.43	▲ 0.11	0.24		▲ 0.01
子の数	その他(161)	2.15	2.42	2.18	2.47	2.30	2.68	2.59	2.38	2.39	2.40	0.02	0.90		0.00
	1人(355)	2.41	2.52	2.48	2.70	2.53	2.78	2.61	2.38	2.28	2.47	0.09	0.36		0.01
	2人(1,121)	2.48	2.61	2.49	2.71	2.62	2.86	2.58	2.62	2.53	2.53	▲ 0.09	0.13		▲ 0.03
	3人(587)	2.52	2.70	2.48	2.69	2.59	2.83	2.67	2.65	2.53	2.48	▲ 0.17	0.03	**	▲ 0.03
	4人以上(136)	2.36	2.54	2.31	2.48	2.58	2.86	2.56	2.54	2.65	2.48	▲ 0.06	0.71		▲ 0.00
	子どもはいない(682)	2.37	2.44	2.40	2.53	2.42	2.59	2.46	2.38	2.44	2.50	0.13	0.09		0.03
居住年数	10年未満(参考)(83)	2.78	2.74	2.71	2.55	2.92	2.99	2.84	2.60	2.41	2.69	0.08	0.70		0.00
	10～20年未満(109)	2.58	2.52	2.60	2.48	2.68	3.14	2.93	2.61	2.57	2.46	▲ 0.15	0.44		▲ 0.01
	20年以上(2,768)	2.42	2.57	2.44	2.66	2.54	2.75	2.56	2.53	2.48	2.50	▲ 0.03	0.40		▲ 0.03
広域振興圏	県央(920)	2.47	2.59	2.50	2.73	2.62	2.87	2.63	2.64	2.55	2.45	▲ 0.19	0.00	**	▲ 0.05
	県南(959)	2.39	2.53	2.42	2.54	2.58	2.70	2.54	2.53	2.46	2.55	0.02	0.74		0.01
	沿岸(732)	2.52	2.63	2.51	2.71	2.53	2.76	2.53	2.41	2.38	2.48	0.07	0.31		0.02
	県北(548)	2.37	2.57	2.34	2.60	2.48	2.76	2.60	2.53	2.54	2.51	▲ 0.02	0.82		▲ 0.00

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R5 (基準年)	R 6	R 7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
	県計(3,159)	3.33	3.32	3.35	3.28	3.25	3.18	3.27	3.23	3.28	3.27	0.04	0.14		0.04
性別	男性(1,395)	3.29	3.27	3.35	3.22	3.23	3.13	3.23	3.18	3.23	3.22	0.04	0.41		0.02
	女性(1,718)	3.35	3.36	3.35	3.35	3.27	3.22	3.31	3.26	3.33	3.31	0.05	0.19		0.03
	その他(参考)(6)					3.43	3.00	3.67	2.20	3.50	2.50	0.30	0.72		0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		3.40	3.18	3.50	3.38	3.65	3.50	3.63	3.16	3.96	0.33	0.27		0.00
	20～29歳(128)	3.34	3.29	3.24	3.34	3.18	3.25	3.35	3.07	3.26	3.39	0.32	0.04	**	0.01
	30～39歳(234)	3.09	3.16	3.17	3.02	3.24	3.04	3.20	3.15	3.26	3.19	0.04	0.71		0.00
	40～49歳(384)	3.29	3.28	3.36	3.28	3.18	3.20	3.37	3.23	3.24	3.25	0.02	0.80		0.00
	50～59歳(544)	3.26	3.23	3.39	3.26	3.29	3.11	3.28	3.30	3.40	3.31	0.01	0.92		0.00
	60～69歳(708)	3.32	3.31	3.29	3.22	3.19	3.13	3.23	3.19	3.26	3.22	0.03	0.62		0.01
	70歳以上(1,094)	3.51	3.52	3.47	3.42	3.32	3.28	3.25	3.23	3.26	3.27	0.04	0.48		0.01
職業	自営業主(256)	3.33	3.41	3.44	3.33	3.33	3.24	3.39	3.31	3.37	3.31	▲ 0.00	1.00		▲ 0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.26	3.49	3.37	3.22	3.40	3.18	3.29	3.29	3.17	3.31	0.02	0.91		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.31	3.41	3.39	3.25	3.46	3.34	3.31	3.43	3.36	3.31	▲ 0.13	0.27		▲ 0.01
	常用雇用者(870)	3.23	3.23	3.32	3.21	3.26	3.19	3.31	3.22	3.36	3.27	0.05	0.39		0.01
	臨時雇用者(363)	3.20	3.35	3.31	3.27	3.22	3.07	3.16	3.12	3.23	3.23	0.10	0.22		0.01
	学生＋その他(139)	3.55	3.50	3.46	3.53	3.16	3.44	3.49	3.39	3.36	3.38	▲ 0.01	0.92		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.50	3.27	3.35	3.40	3.18	3.23	3.34	3.30	3.28	3.37	0.07	0.46		0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.82	2.89	3.36	3.18	2.78	2.76	2.79	2.67	2.92	3.28	0.60	0.01	**	0.01
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.44	3.36	3.32	3.28	3.24	3.13	3.17	3.14	3.21	3.20	0.07	0.32		0.01
	ひとり暮らし(405)	3.39	3.32	3.25	3.28	3.37	3.11	3.26	3.23	3.40	3.38	0.15	0.09		0.02
	夫婦のみ(663)	3.36	3.29	3.35	3.31	3.29	3.21	3.26	3.22	3.34	3.23	0.01	0.86		0.00
	2世代世帯(1,233)	3.28	3.34	3.34	3.27	3.20	3.15	3.27	3.21	3.24	3.28	0.07	0.14		0.03
	3世代世帯(405)	3.40	3.41	3.45	3.38	3.30	3.26	3.32	3.29	3.33	3.20	▲ 0.09	0.25		▲ 0.01
子の数	その他(161)	3.23	3.21	3.32	3.20	3.14	3.19	3.28	3.12	3.16	3.27	0.15	0.31		0.01
	1人(355)	3.30	3.41	3.33	3.29	3.30	3.17	3.26	3.24	3.25	3.27	0.03	0.70		0.00
	2人(1,121)	3.35	3.29	3.37	3.35	3.27	3.25	3.26	3.22	3.29	3.28	0.06	0.22		0.02
	3人(587)	3.37	3.38	3.39	3.26	3.22	3.10	3.29	3.22	3.32	3.22	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00
	4人以上(136)	3.36	3.39	3.35	3.31	3.29	3.24	3.45	3.48	3.37	3.22	▲ 0.26	0.06		▲ 0.01
	子どもはいない(682)	3.22	3.23	3.28	3.17	3.22	3.15	3.27	3.16	3.24	3.30	0.14	0.03	**	0.03
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.15	3.04	3.14	2.94	3.26	3.11	3.30	3.07	3.09	3.33	0.26	0.21		0.01
	10～20年未満(109)	3.45	3.21	3.19	3.24	3.25	3.39	3.33	3.30	3.11	3.39	0.10	0.56		0.00
	20年以上(2,768)	3.32	3.33	3.36	3.30	3.25	3.17	3.27	3.23	3.30	3.26	0.04	0.27		0.03
広域振興圏	県央(920)	3.39	3.33	3.40	3.27	3.31	3.26	3.35	3.32	3.40	3.39	0.06	0.26		0.02
	県南(959)	3.32	3.37	3.47	3.31	3.28	3.21	3.27	3.25	3.31	3.32	0.06	0.23		0.02
	沿岸(732)	3.30	3.26	3.26	3.30	3.20	3.10	3.20	3.13	3.19	3.16	0.03	0.63		0.01
	県北(548)	3.29	3.30	3.20	3.25	3.19	3.07	3.26	3.13	3.16	3.13	▲ 0.00	1.00		▲ 0.00

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑫自然に恵まれていると感じますか。※H29意識調査からの設問

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R2	R3	R4	R5 (基準年)	R6	R7	R7-R5 (対基準年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-R5 (寄与度)
県計(3,159)			4.26	4.27	4.21	4.16	4.18	4.23	4.21	4.21	4.23	0.02	0.37		0.02
性別	男性(1,395)		4.23	4.25	4.19	4.13	4.16	4.20	4.16	4.19	4.20	0.04	0.31		0.02
	女性(1,718)		4.29	4.28	4.23	4.18	4.20	4.25	4.24	4.24	4.26	0.01	0.69		0.01
	その他(参考)(6)					4.57	4.00	4.67	4.50	4.00	4.25	▲0.25	0.61		▲0.00
年代	18～19歳(参考)(26)		4.35	4.42	4.60	4.53	4.37	4.37	4.71	4.20	4.56	▲0.15	0.36		▲0.00
	20～29歳(128)		4.37	4.36	4.20	4.20	4.21	4.37	4.24	4.29	4.53	0.29	0.01	**	0.01
	30～39歳(234)		4.28	4.31	4.22	4.33	4.24	4.37	4.27	4.22	4.27	0.00	0.99		0.00
	40～49歳(384)		4.30	4.42	4.30	4.16	4.22	4.36	4.33	4.32	4.33	▲0.00	0.99		▲0.00
	50～59歳(544)		4.30	4.38	4.27	4.25	4.24	4.27	4.29	4.30	4.34	0.05	0.31		0.01
	60～69歳(708)		4.24	4.18	4.17	4.09	4.19	4.19	4.16	4.22	4.17	0.01	0.81		0.00
	70歳以上(1,094)		4.20	4.14	4.17	4.10	4.08	4.10	4.10	4.11	4.12	0.01	0.77		0.00
職業	自営業主(256)		4.29	4.29	4.21	4.22	4.19	4.32	4.29	4.31	4.27	▲0.03	0.76		▲0.00
	家族従業員(参考)(87)		4.50	4.31	4.12	4.33	4.15	4.28	4.38	4.11	4.38	▲0.00	0.99		▲0.00
	会社役員・団体役員(193)		4.28	4.26	4.28	4.20	4.30	4.32	4.29	4.20	4.30	0.01	0.90		0.00
	常用雇用者(870)		4.30	4.33	4.25	4.21	4.24	4.31	4.30	4.31	4.35	0.05	0.24		0.01
	臨時雇用者(363)		4.36	4.31	4.31	4.22	4.16	4.23	4.13	4.21	4.20	0.07	0.36		0.01
	学生＋その他(139)		4.37	4.59	4.33	4.09	4.34	4.38	4.40	4.35	4.30	▲0.09	0.41		▲0.00
	専業主婦・主夫(312)		4.22	4.29	4.21	4.15	4.21	4.19	4.24	4.24	4.22	▲0.03	0.71		▲0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)		4.07	4.41	4.31	3.92	3.82	4.25	4.10	4.21	4.24	0.14	0.42		0.00
世帯構成	60歳以上の無職(661)		4.09	4.04	4.09	4.04	4.07	4.02	4.02	4.04	4.06	0.05	0.40		0.01
	ひとり暮らし(405)		4.18	4.22	4.18	4.16	4.07	4.09	4.11	4.18	4.16	0.05	0.48		0.01
	夫婦のみ(663)		4.21	4.22	4.20	4.10	4.21	4.18	4.22	4.28	4.24	0.03	0.57		0.01
	2世代世帯(1,233)		4.29	4.28	4.22	4.19	4.16	4.29	4.23	4.20	4.25	0.02	0.59		0.01
	3世代世帯(405)		4.44	4.39	4.34	4.29	4.29	4.30	4.33	4.27	4.30	▲0.03	0.62		▲0.00
子の数	その他(161)		4.14	4.24	4.13	4.09	4.30	4.20	4.06	4.15	4.17	0.11	0.34		0.01
	1人(355)		4.28	4.25	4.21	4.16	4.24	4.23	4.20	4.12	4.28	0.08	0.22		0.01
	2人(1,121)		4.24	4.25	4.25	4.16	4.19	4.20	4.21	4.22	4.20	▲0.01	0.75		▲0.00
	3人(587)		4.28	4.30	4.23	4.16	4.18	4.28	4.27	4.23	4.23	▲0.04	0.43		▲0.01
	4人以上(136)		4.32	4.28	4.25	4.22	4.18	4.23	4.25	4.29	4.27	0.02	0.83		0.00
	子どもはいない(682)		4.27	4.30	4.14	4.19	4.18	4.28	4.21	4.26	4.31	0.10	0.06		0.02
居住年数	10年未満(参考)(83)		4.16	4.22	4.20	4.46	4.24	4.38	4.26	4.01	4.25	▲0.01	0.92		▲0.00
	10～20年未満(109)		4.21	4.29	4.24	4.31	4.35	4.24	4.42	4.21	4.34	▲0.08	0.47		▲0.00
	20年以上(2,768)		4.27	4.27	4.22	4.15	4.17	4.23	4.21	4.22	4.23	0.03	0.29		0.02
広域振興圏	県央(920)		4.26	4.28	4.19	4.20	4.16	4.23	4.27	4.26	4.27	0.01	0.90		0.00
	県南(959)		4.22	4.26	4.15	4.11	4.15	4.17	4.17	4.13	4.19	0.02	0.57		0.01
	沿岸(732)		4.25	4.25	4.26	4.13	4.21	4.24	4.15	4.23	4.22	0.08	0.12		0.02
	県北(548)		4.37	4.27	4.31	4.23	4.22	4.31	4.28	4.25	4.24	▲0.03	0.56		▲0.01

() は、R7 調査のサンプル数

サンプル数

		H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
県計		3,576	3,422	3,260	3,327	3,387	3,549	3,324	2,942	2,861	3,159
性別	男性	1,480	1,450	1,389	1,611	1,494	1,561	1,439	1,266	1,316	1,395
	女性	1,929	1,907	1,832	1,693	1,807	1,949	1,868	1,640	1,510	1,718
	その他(参考)					8	6	3	8	2	6
年代	18～19歳(参考)		47	49	38	43	53	52	36	20	26
	20～29歳	209	203	189	166	160	200	192	129	123	128
	30～39歳	372	330	293	293	273	320	293	249	210	234
	40～49歳	497	506	454	429	432	499	457	414	371	384
	50～59歳	617	617	521	553	598	604	525	507	479	544
	60～69歳	811	838	733	752	805	766	705	605	638	708
	70歳以上	904	822	841	986	1,028	1,009	1,005	985	1,008	1,094
職業	自営業主	295	276	249	309	291	282	298	212	237	256
	家族従業者(参考)	147	149	115	95	136	119	86	90	81	87
	会社役員・団体役員	198	190	185	207	198	240	222	185	178	193
	常用雇用者	938	965	917	885	885	1,025	890	835	812	870
	臨時雇用者	403	421	346	390	432	440	430	347	326	363
	学生＋その他	149	184	153	171	195	119	181	131	122	139
	専業主婦・主夫	435	449	373	340	416	403	327	324	331	312
	60歳未満の無職(参考)	91	61	57	62	64	77	64	62	57	64
	60歳以上の無職	723	647	661	716	686	697	684	561	605	661
世帯構成	ひとり暮らし	373	337	353	402	374	431	372	330	374	405
	夫婦のみ	760	765	702	757	765	718	686	651	645	663
	2世代世帯	1,174	1,278	1,125	1,143	1,212	1,437	1,396	1,167	1,141	1,233
	3世代世帯	570	502	478	461	469	548	474	391	348	405
	その他	450	452	375	410	393	184	175	134	149	161
子の人数	1人	460	444	381	428	442	450	450	375	376	355
	2人	1,297	1,251	1,158	1,232	1,227	1,270	1,171	1,023	1,043	1,121
	3人	673	711	615	637	646	682	631	514	562	587
	4人以上	179	182	134	160	168	159	132	129	111	136
	子どもはいない	747	743	745	710	725	802	735	618	595	682
居住年数	10年未満(参考)	104	118	107	101	95	100	87	99	84	83
	10～20年未満	138	151	149	125	131	145	166	113	100	109
	20年以上	3,142	3,063	2,799	2,961	2,994	3,174	2,958	2,544	2,590	2,768
広域 振興圏	県央	1,014	976	905	938	966	1,011	962	872	866	920
	県南	1,065	1,039	983	1,014	993	1,080	1,002	869	846	959
	沿岸	890	821	788	800	837	833	801	711	655	732
	県北	607	586	584	575	591	625	559	490	494	548

「令和7年県の施策に関する県民意識調査」属性別分析結果

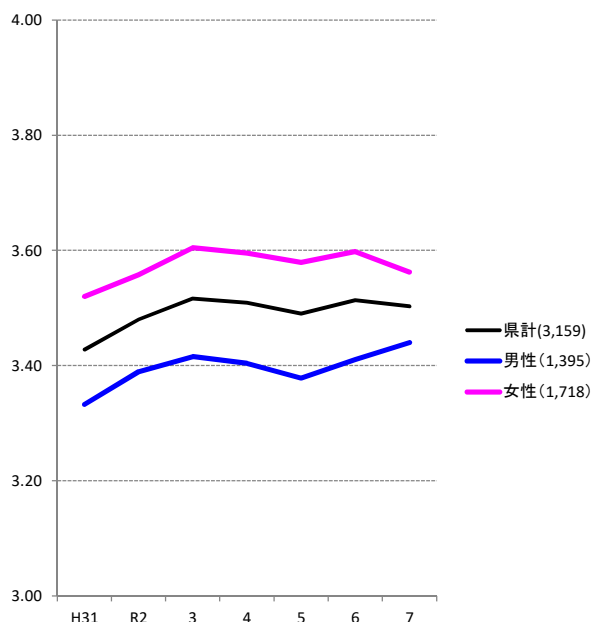
【県計】【主観的幸福感】あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

【令和7年の調査結果】

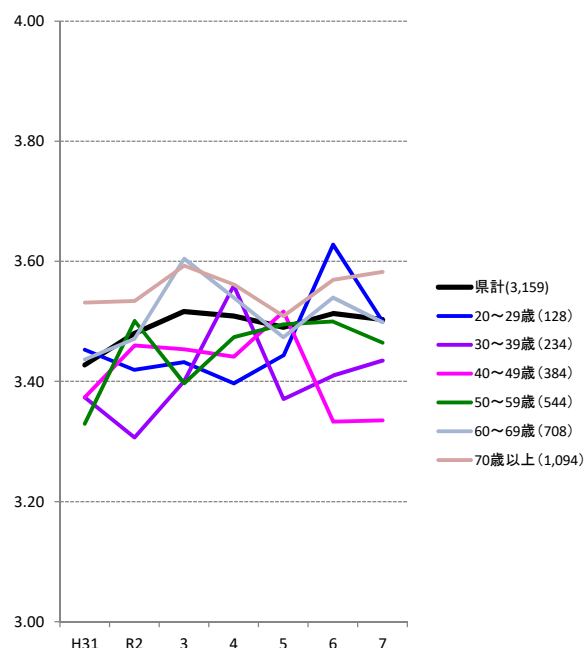
・属性別にみると、「居住年数別」及び「広域振興圏別」を除く全てで有意な差が認められた。

・「性別」の最大値は「女性」の3.56、最小値は「男性」の3.44。「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.58、最小値は「40歳代」の3.34。「職業別」の最大値は「専業主婦(主夫)」の3.67、最小値は「臨時雇用者」の3.42。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.74、最小値は「ひとり暮らし」の3.23。「子どもの数別」の最大値は「3人」の3.64、最小値は「子どもはいない」の3.30。

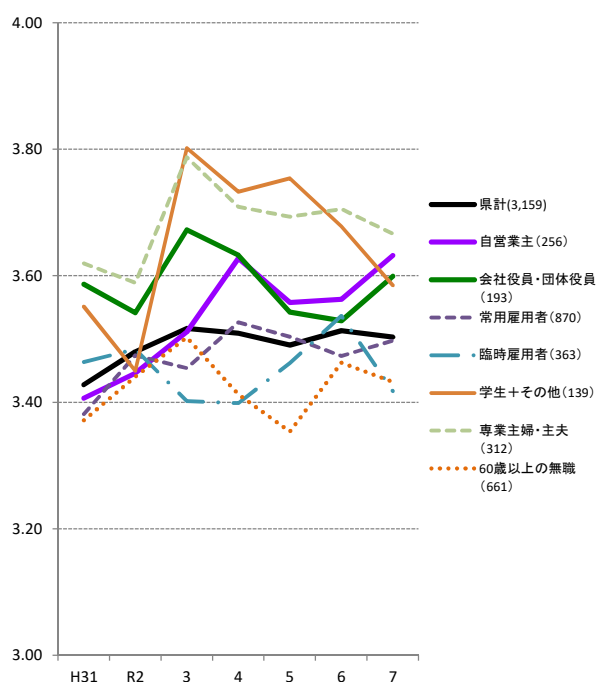
【***】主観的幸福感(性別)



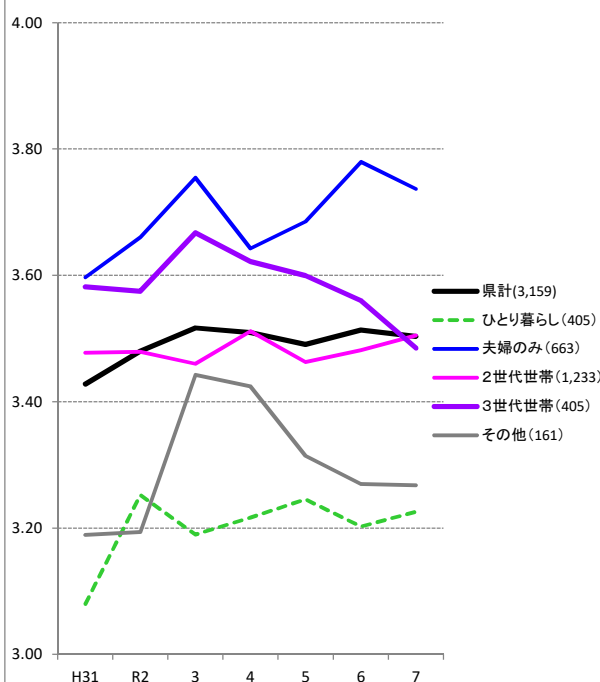
【***】主観的幸福感(年代別)

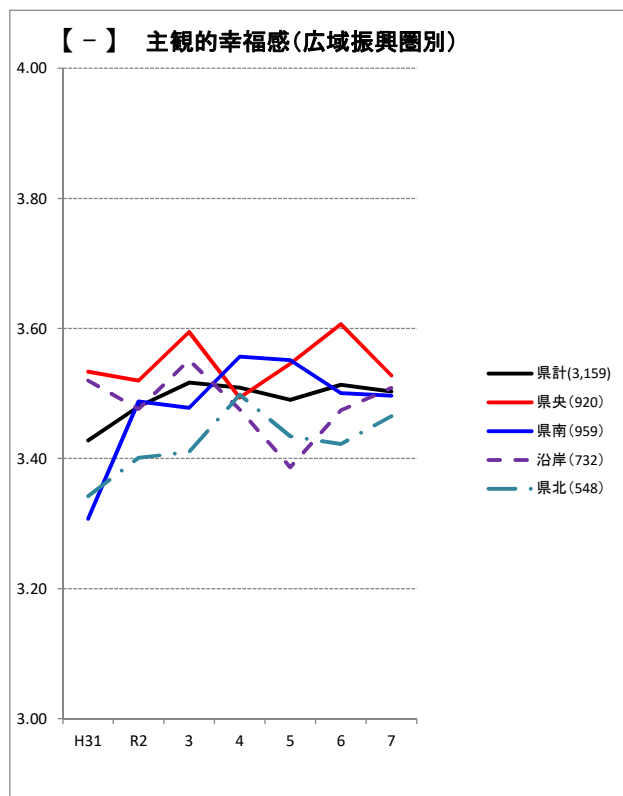
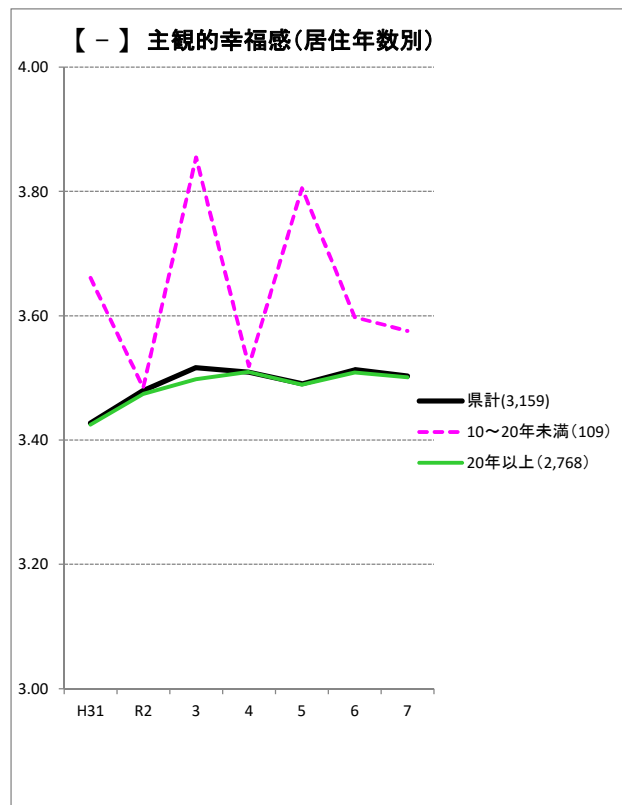
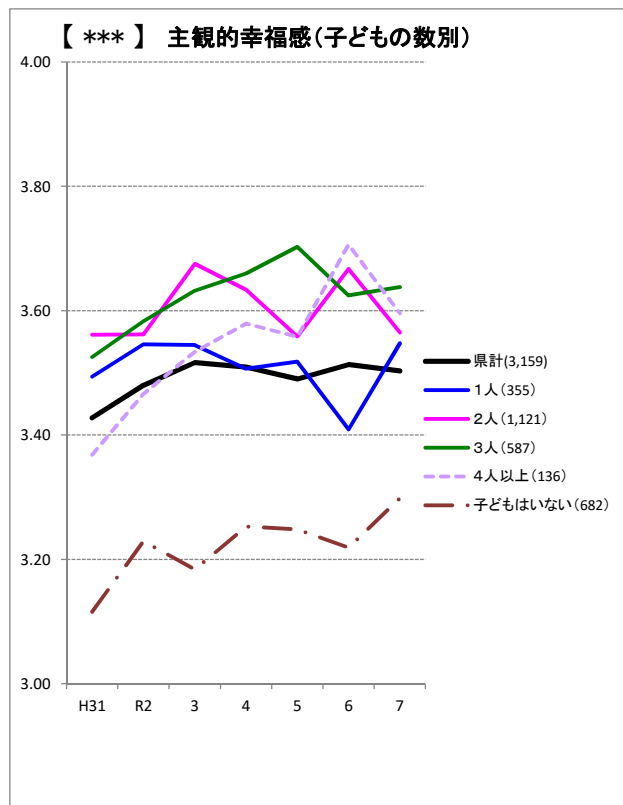


【***】主観的幸福感(職業別)



【***】主観的幸福感(世帯構成別)





「主観的幸福感について」

主観的幸福感の実感平均値の算出方法

「幸福だと感じている」を5点、「やや幸福だと感じている」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり幸福だと感じていない」を2点、「幸福だと感じていない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】 1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】 10%水準で差が有意

【-】 差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

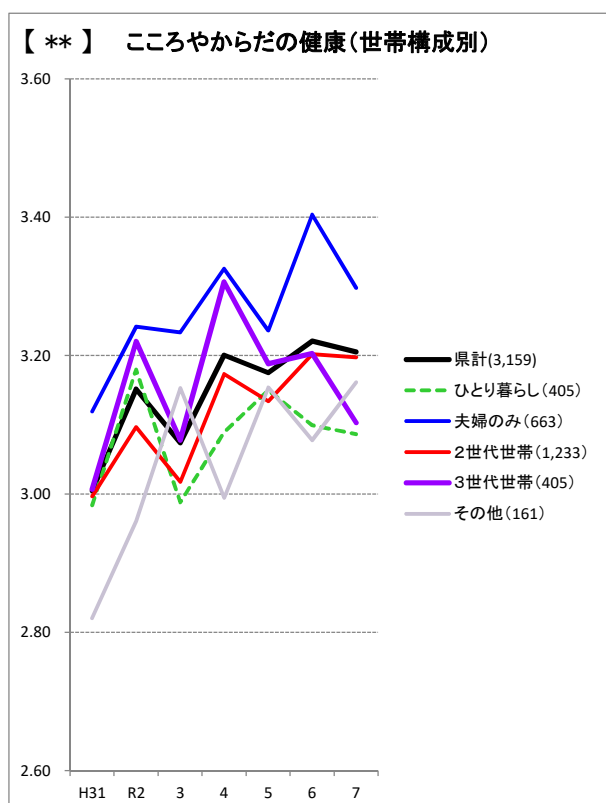
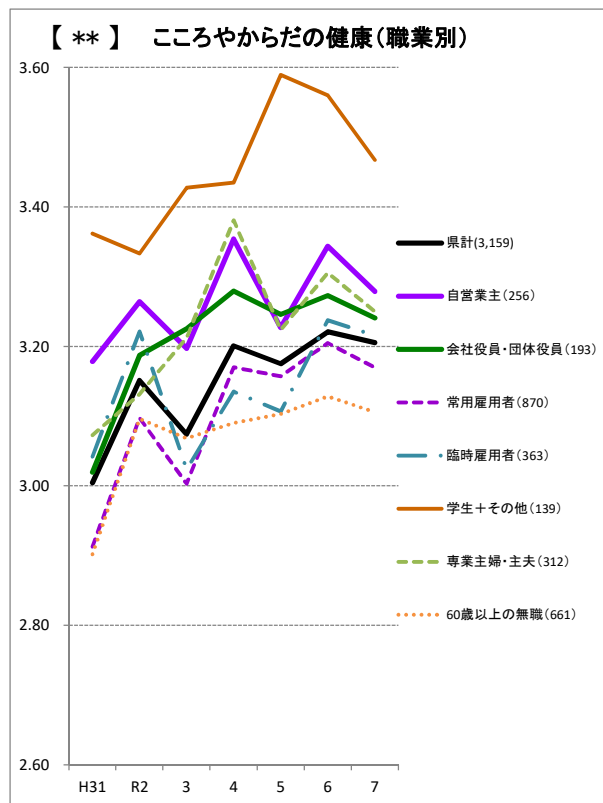
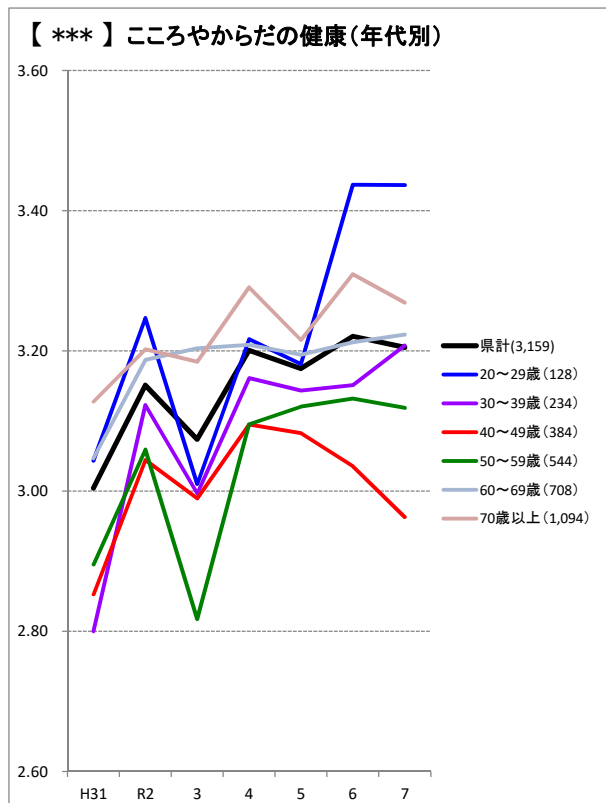
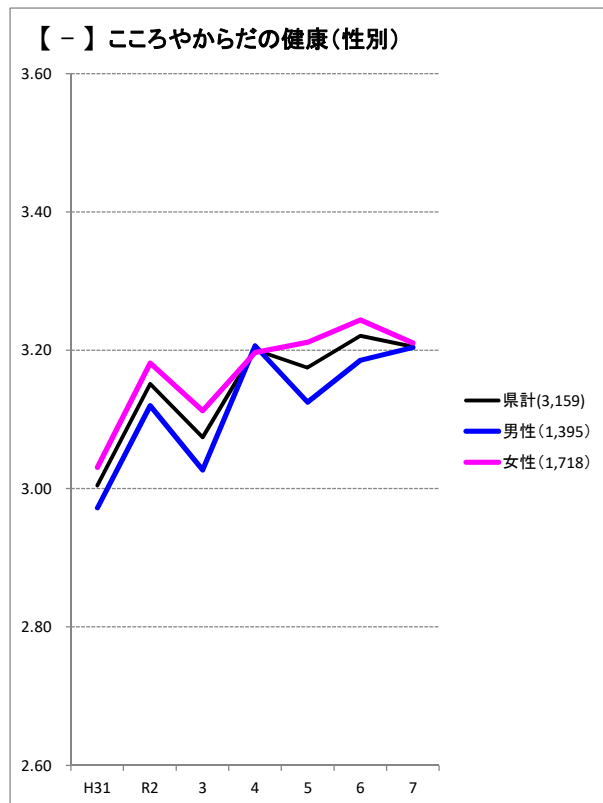
- ・ 性別の「その他」
- ・ 年代別の「18~19歳」
- ・ 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・ 居住年数別の「10年未満」

【県計】【分野別実感】①こころやからだの健康だと感じますか。

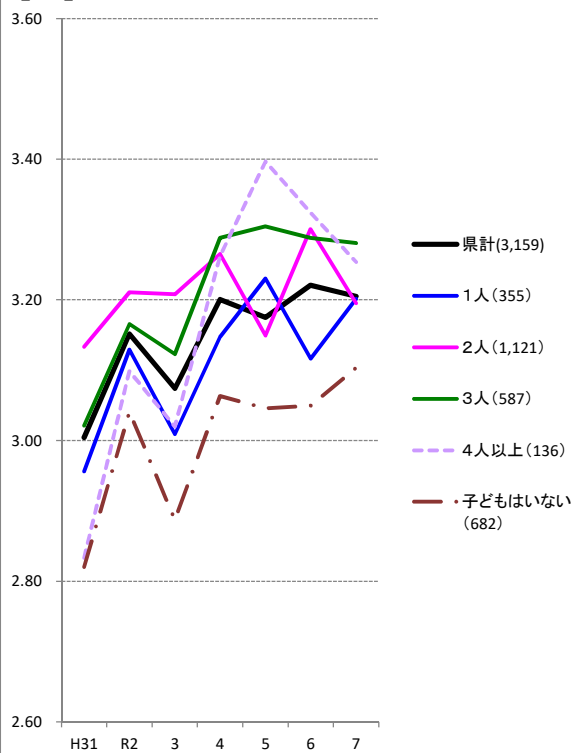
【令和7年の調査結果】

・属性別にみると、「年代別」、「職業別」、「世帯構成別」及び「居住年数別」で有意な差が認められた。

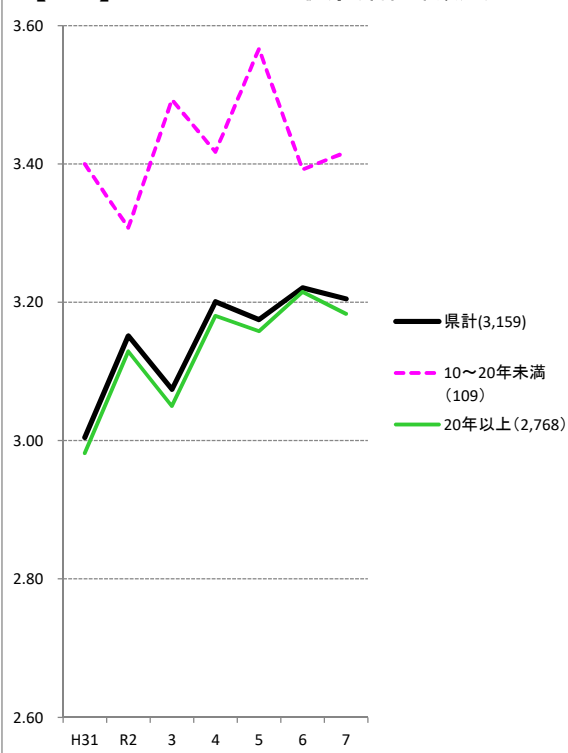
・「年代別」の最大値は「20歳代」の3.44、最小値は「40歳代」の2.96。「職業別」の最大値は「学生+その他」の3.47、最小値は「60歳以上の無職」の3.11。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の3.30、最小値は「ひとり暮らし」の3.09。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.42、最小値は「20年以上」の3.18。



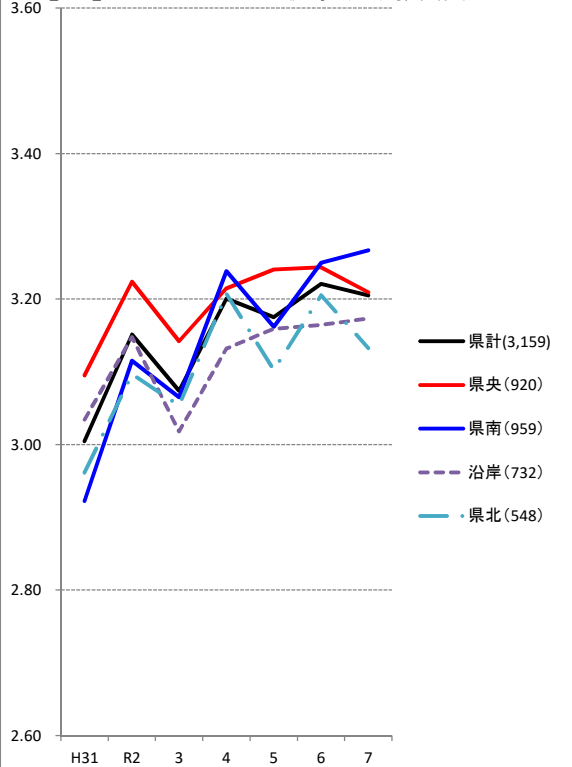
【－】 ころやからだの健康(子どもの数別)



【**】 ころやからだの健康(居住年数別)



【－】 ころやからだの健康(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18～19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

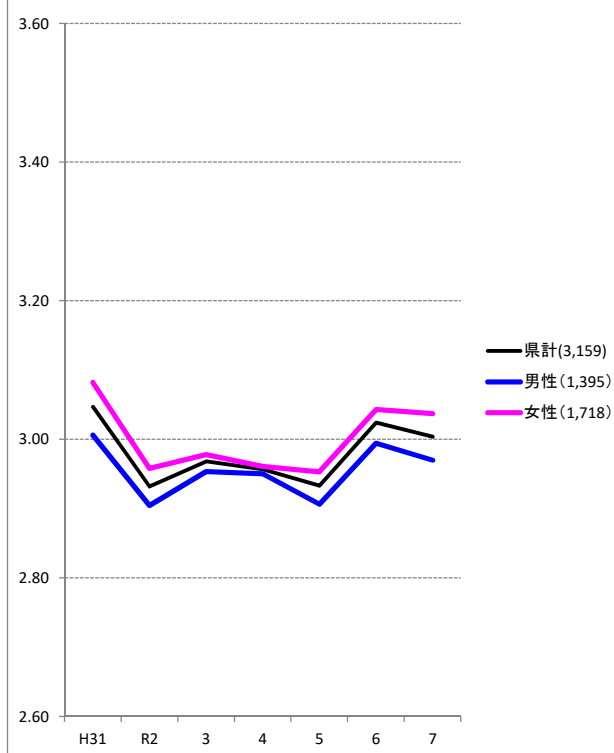
【県計】【分野別実感】②余暇が充実していると感じますか

【令和7年の調査結果】

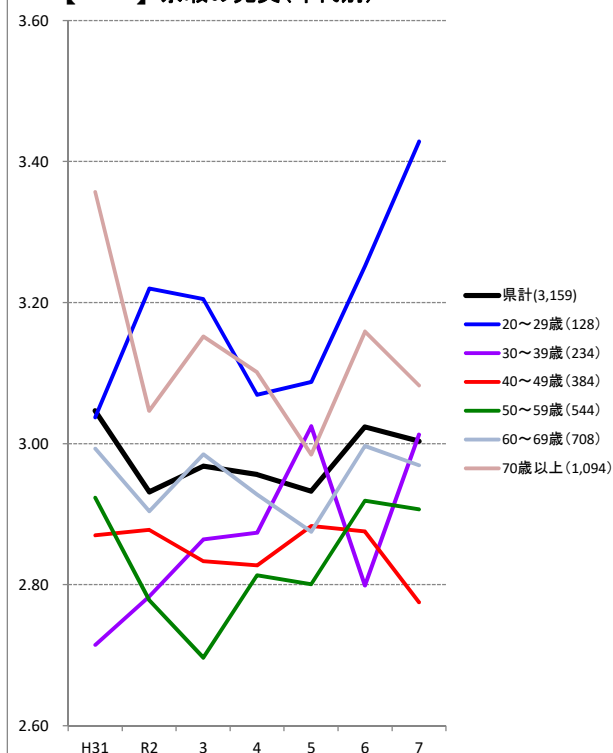
・属性別にみると、「年代別」及び「職業別」で有意な差が認められた。

・「年代別」の最大値は「20歳代」の3.43、最小値は「40歳代」の2.78。「職業別」の最大値は「学生+その他」の3.32、最小値は「常用雇用者」の2.91。

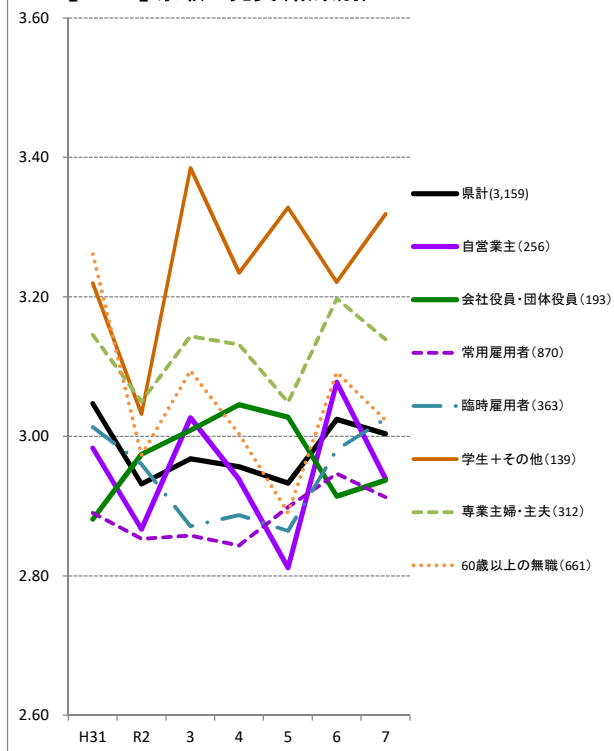
【－】余暇の充実(性別)



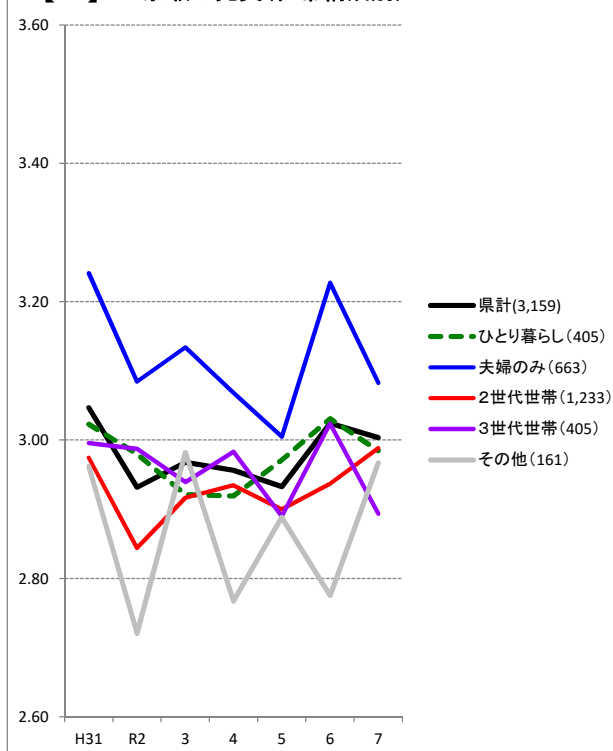
【***】余暇の充実(年代別)

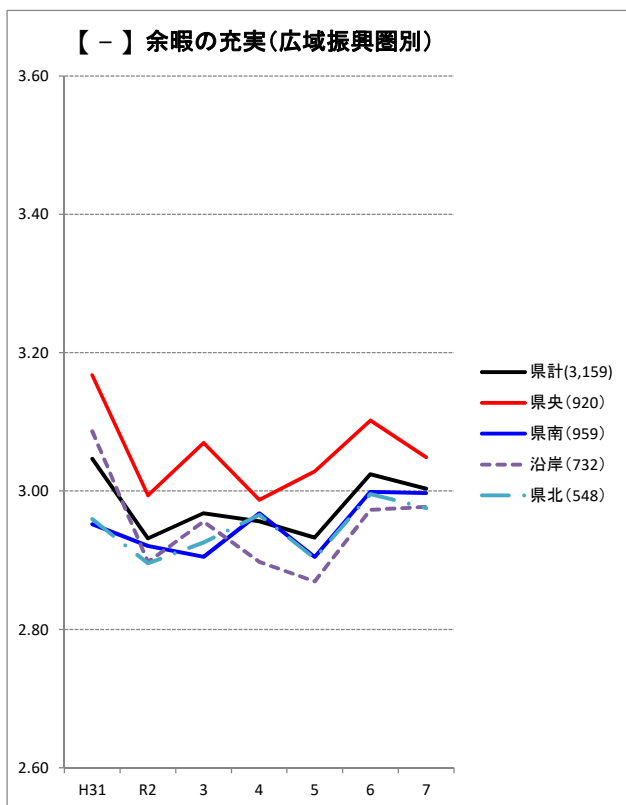
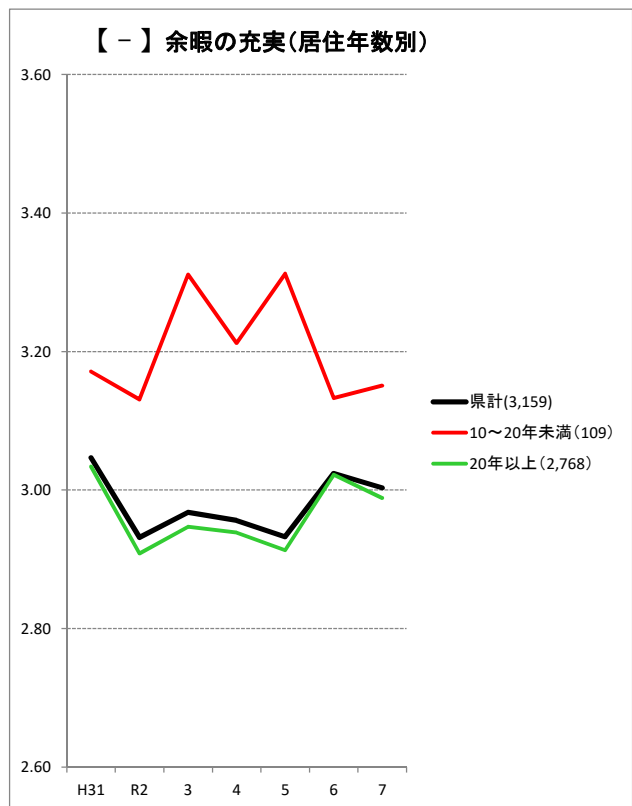
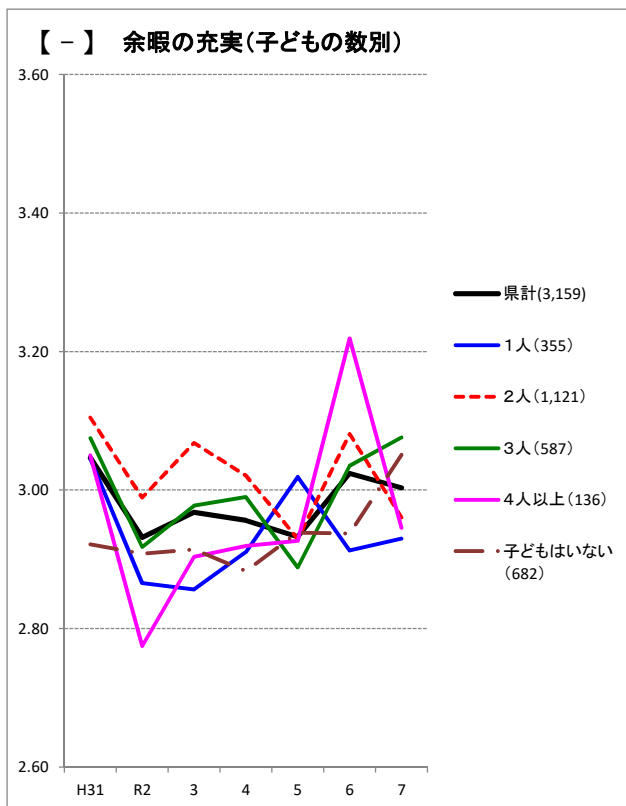


【***】余暇の充実(職業別)



【－】余暇の充実(世帯構成別)





「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【－】差が認められない

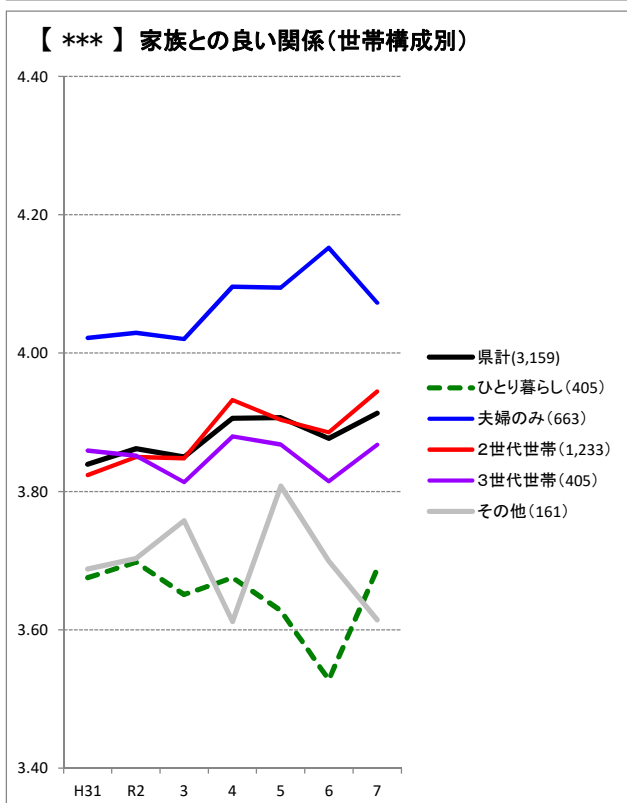
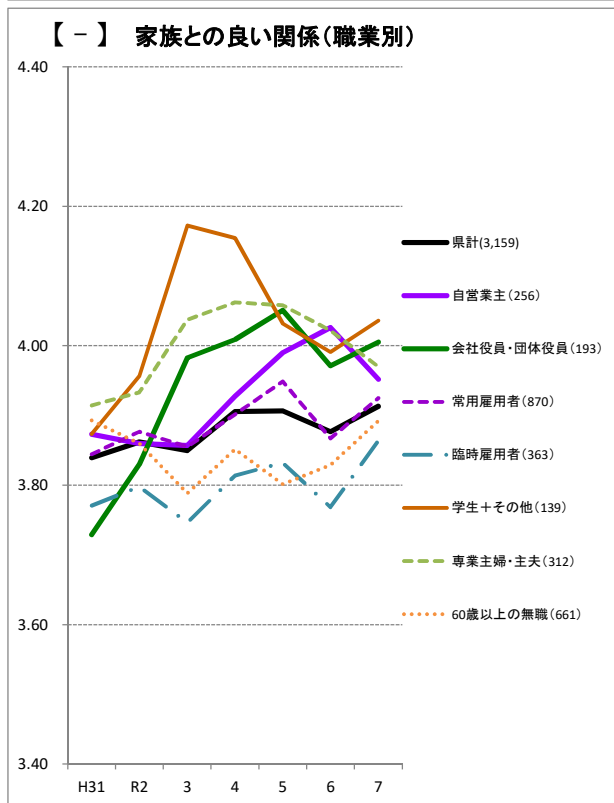
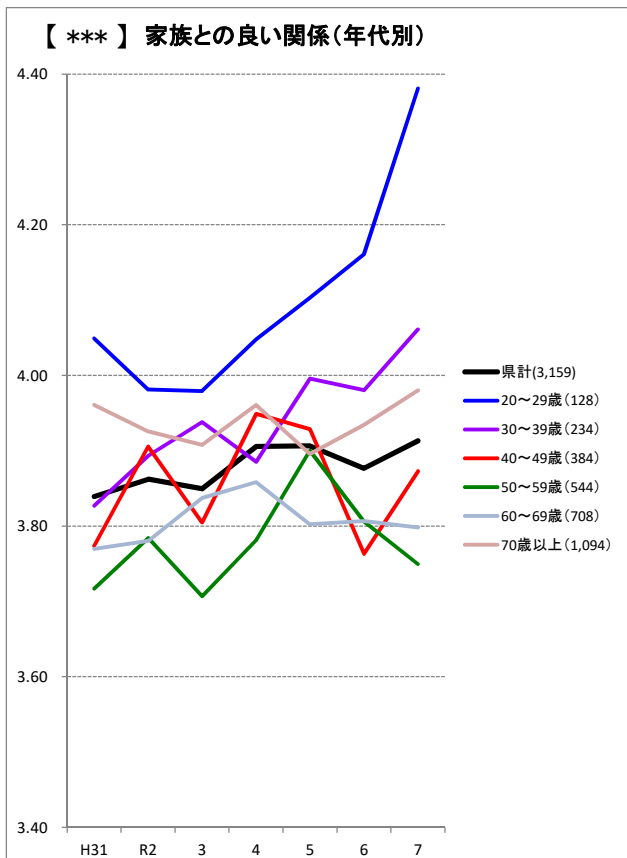
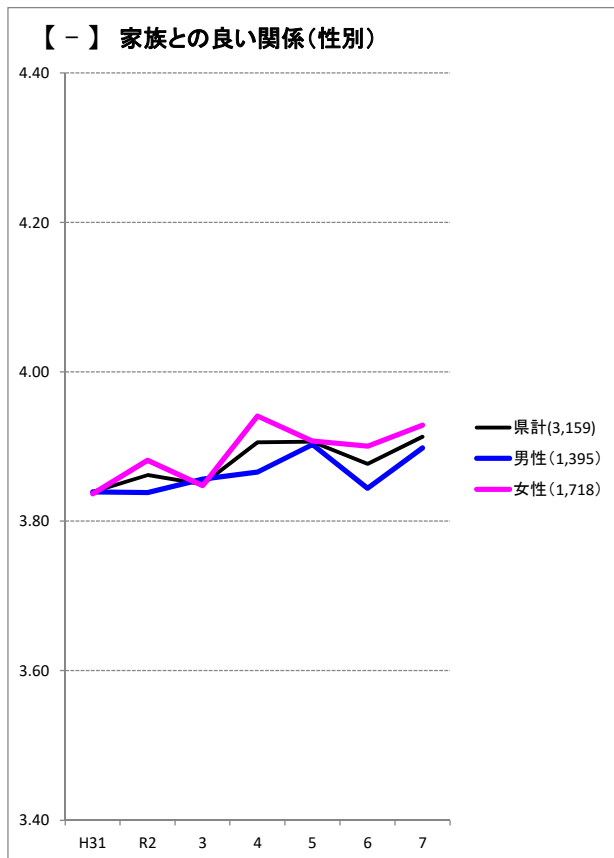
注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18～19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

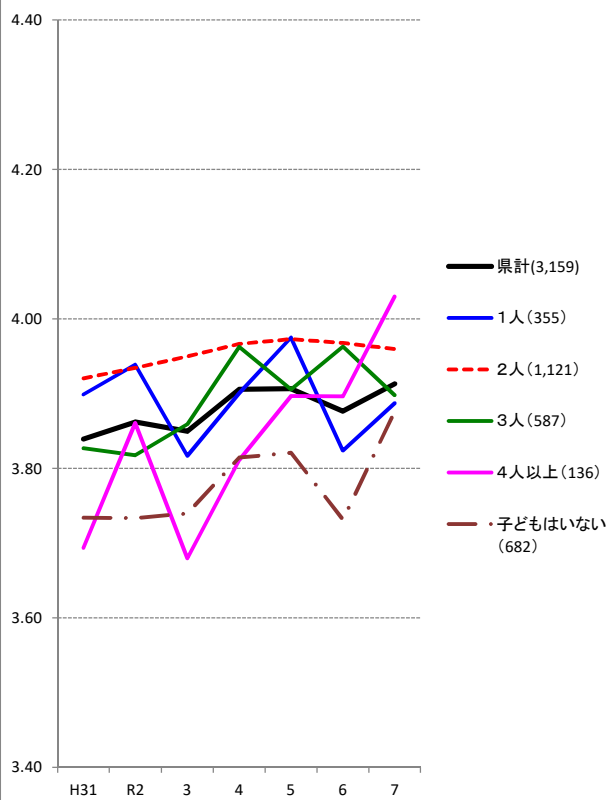
【県計】【分野別実感】③家族と良い関係がとれていると感じますか。

【令和7年の調査結果】

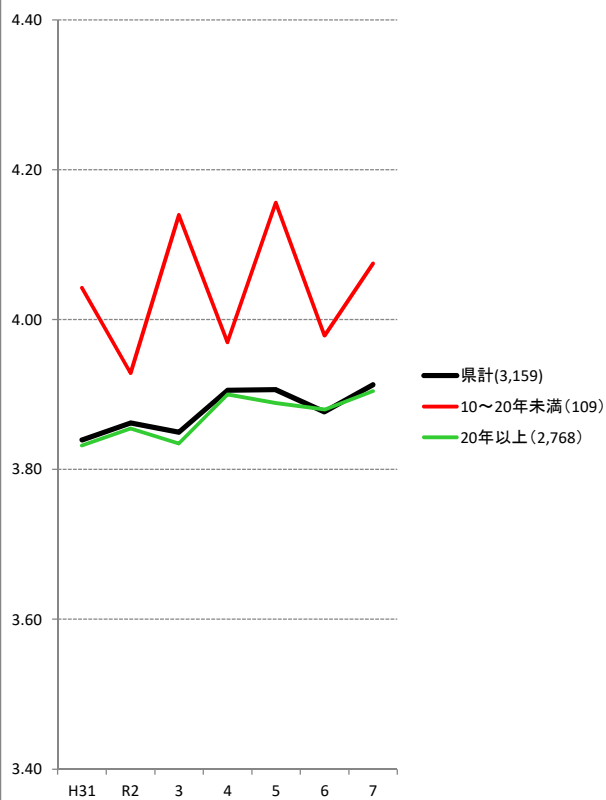
- ・属性別にみると、「年代別」、「世帯構成別」及び「居住年数別」で有意な差が認められた。
- ・「年代別」の最大値は「20歳代」の4.38、最小値は「50歳代」の3.75。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の4.07、最小値は「その他」の3.61。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の4.07、最小値は「20年以上」の3.90。



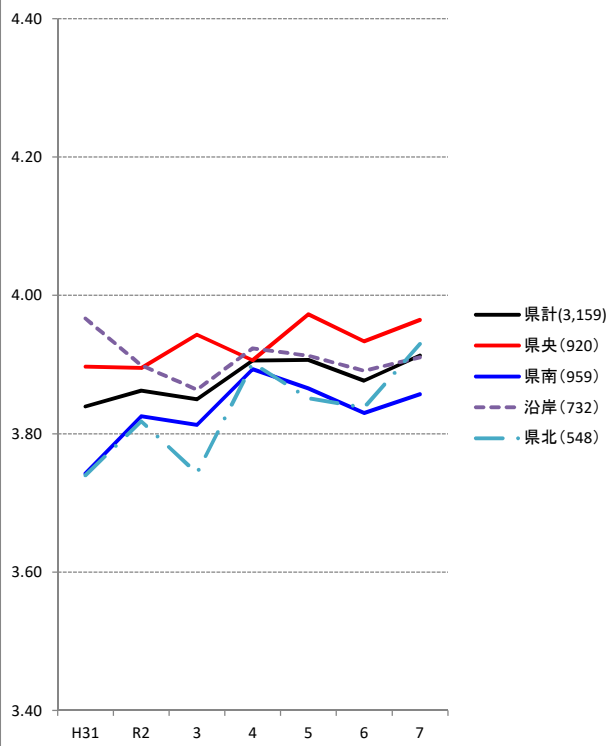
【－】 家族との良い関係(子どもの数別)



【＊】 家族との良い関係(居住年数別)



【－】 家族との良い関係(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■ 凡例 ■

グラフ左上の＊は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】 差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

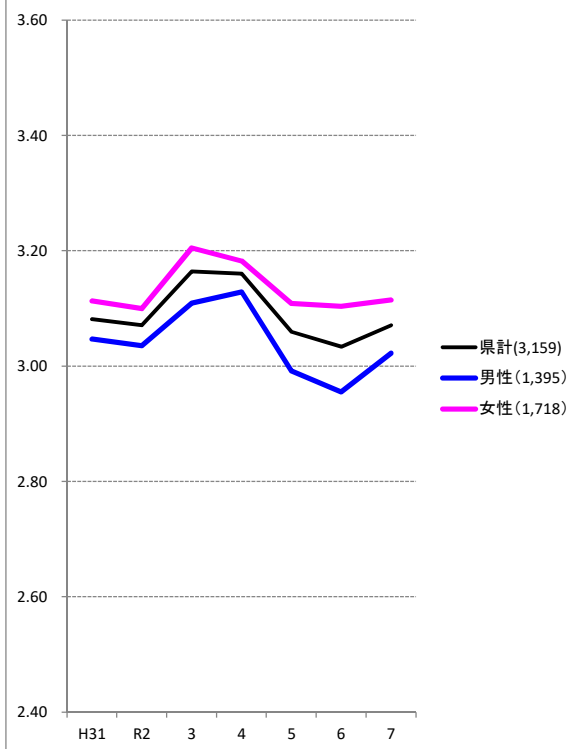
- ・ 性別の「その他」
- ・ 年代別の「18～19歳」
- ・ 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・ 居住年数別の「10年未満」

【県計】【分野別実感】④子育てがしやすいと感じますか。

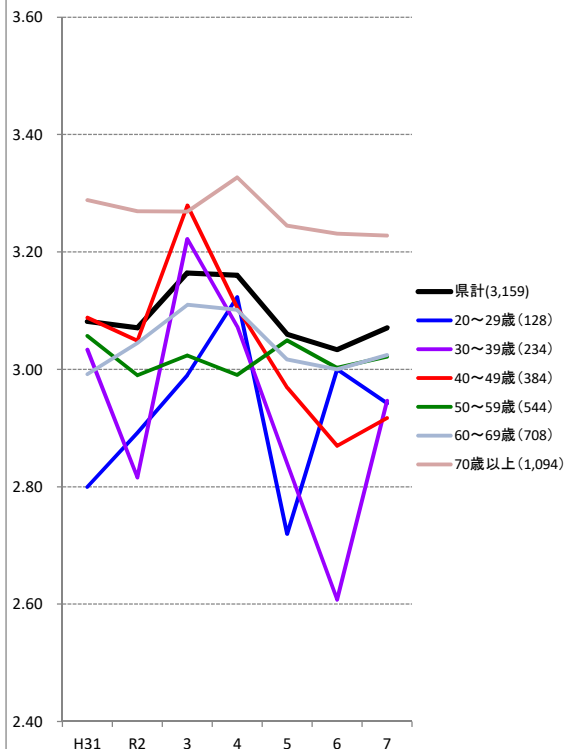
【令和7年の調査結果】

・属性別にみると、「性別」、「年代別」、「職業別」及び「子どもの数別」で有意な差が認められた。
 ・「性別」の最大値は「女性」の3.11、最小値は「男性」の3.02。「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.23、最小値は「40歳代」の2.92。「職業別」の最大値は「専業主婦(主夫)」の3.34、最小値は「臨時雇用者」の2.95。「子どもの数別」の最大値は「4人以上」の3.23、最小値は「子どもはいない」の2.81。

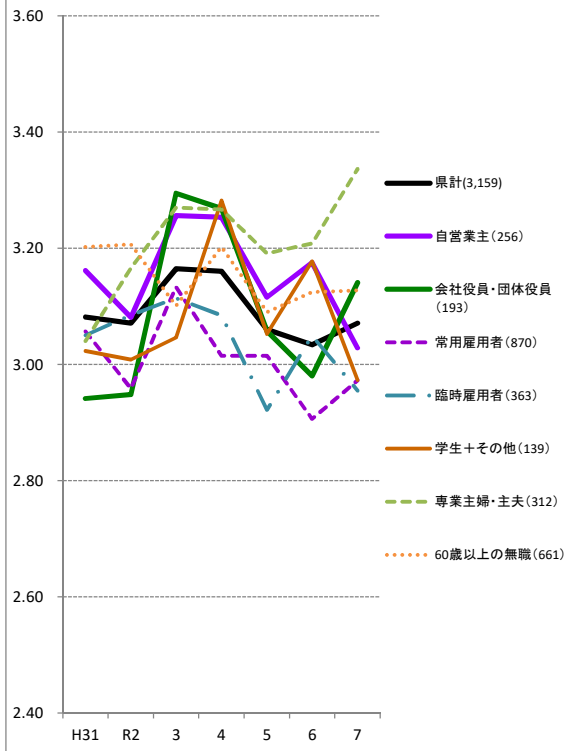
【**】子育てのしやすさ(性別)



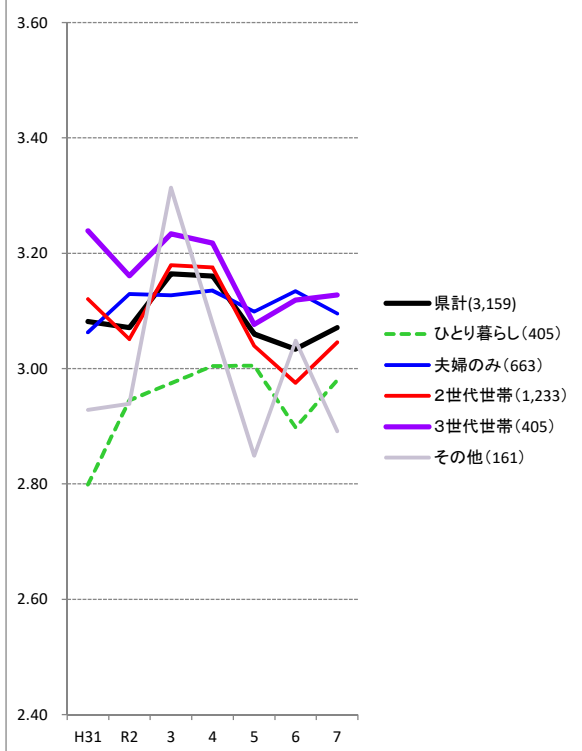
【***】子育てのしやすさ(年代別)



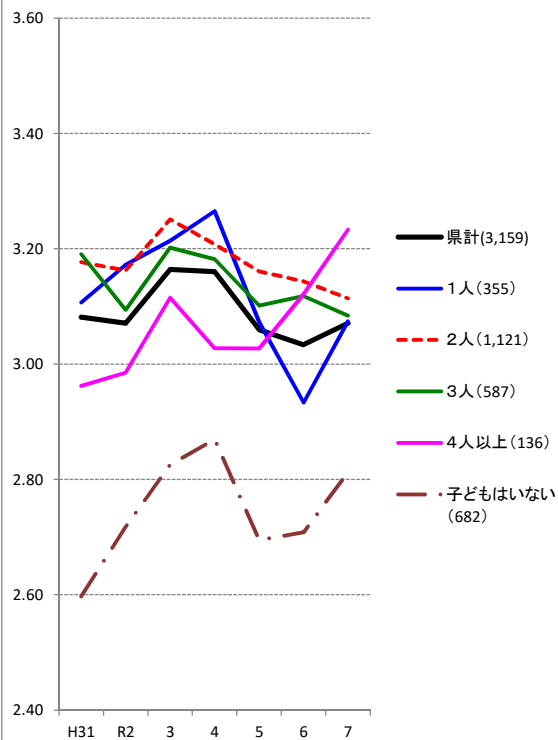
【***】子育てのしやすさ(職業別)



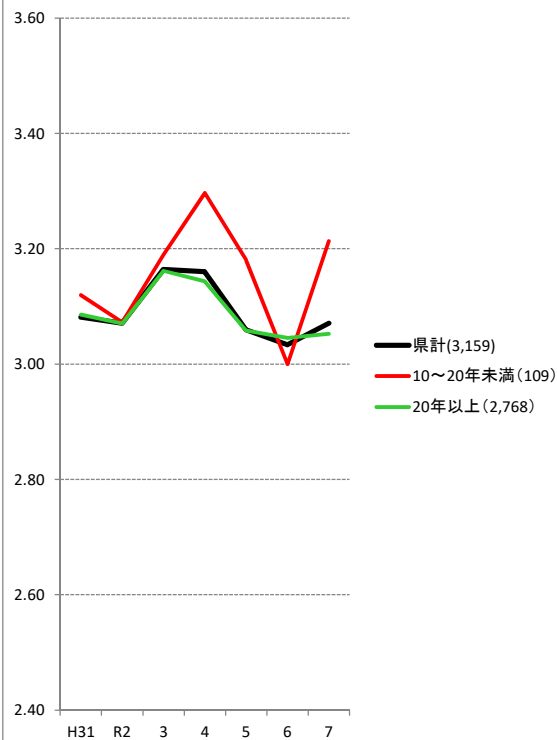
【-】子育てのしやすさ(世帯構成別)



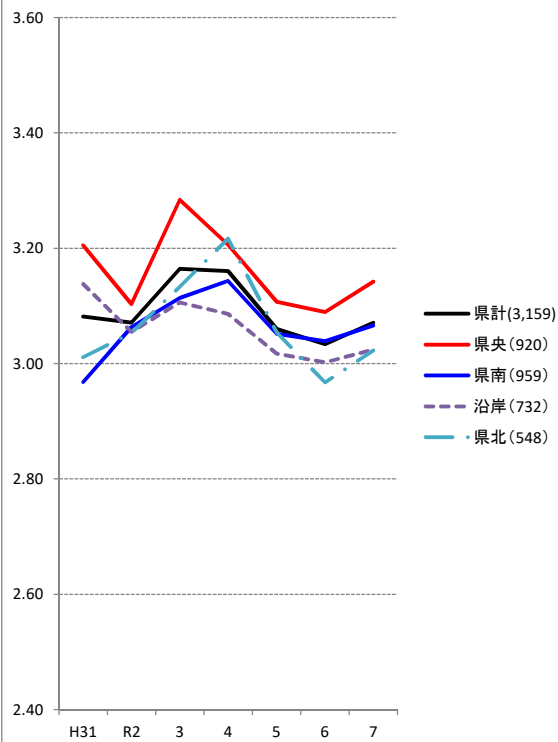
【 *** 】子育てのしやすさ(子どもの数別)



【 - 】子育てのしやすさ(居住年数別)



【 - 】子育てのしやすさ(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18～19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

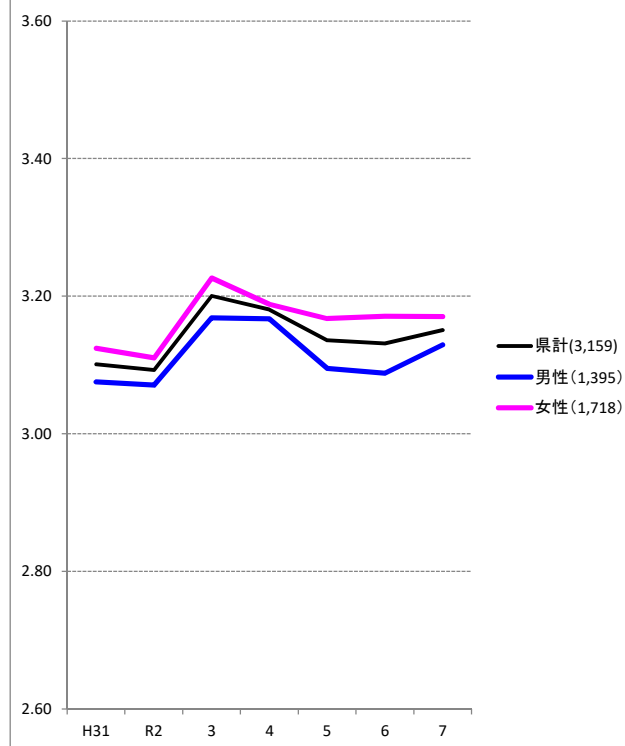
【県計】【分野別実感】⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか。

【令和7年の調査結果】

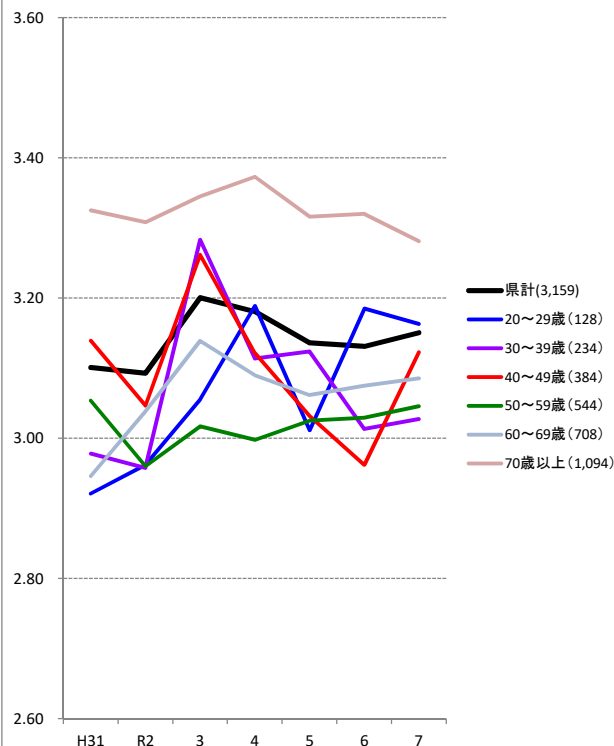
・属性別にみると、「年代別」、「職業別」及び「子どもの数別」で有意な差が認められた。

・「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.28、最小値は「30歳代」の3.03。「職業別」の最大値は「専業主婦(主夫)」の3.38、最小値は「常用雇用者」の3.06。「子どもの数別」の最大値は「2人」の3.22、最小値は「子どもはいない」の2.99。

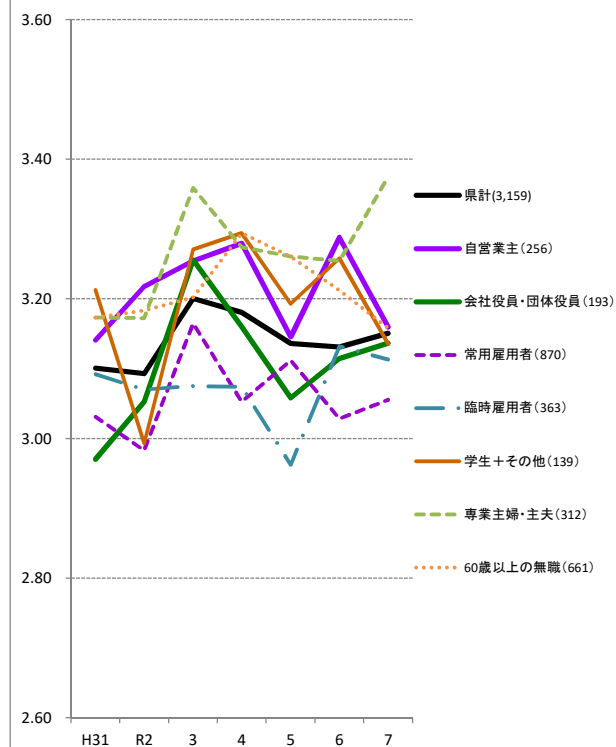
【－】子どものためになる教育(性別)



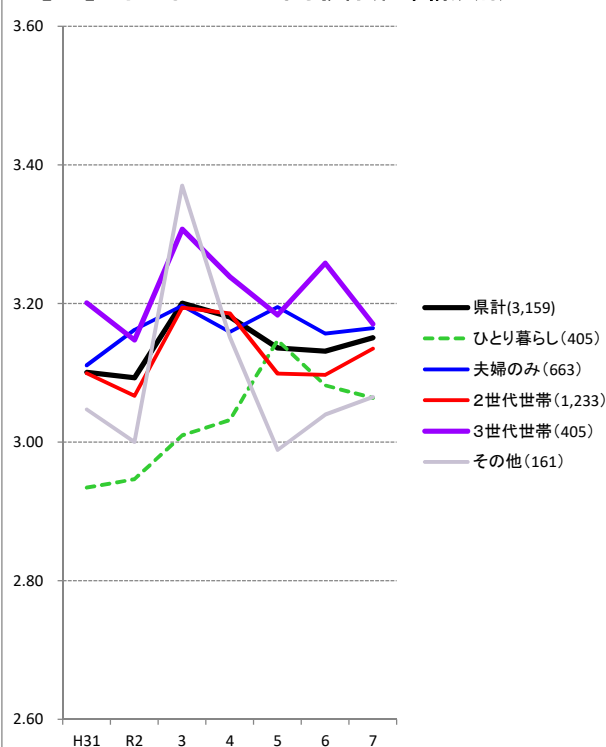
【***】子どものためになる教育(年代別)



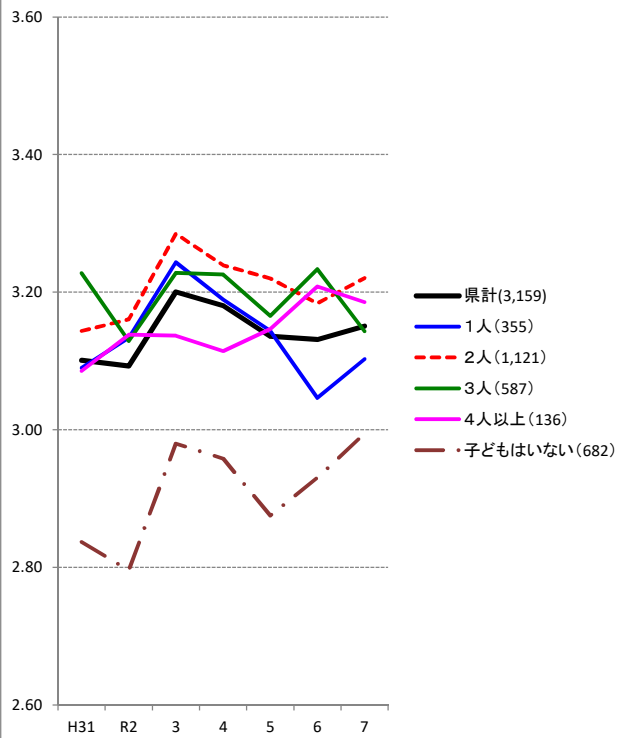
【***】子どものためになる教育(職業別)



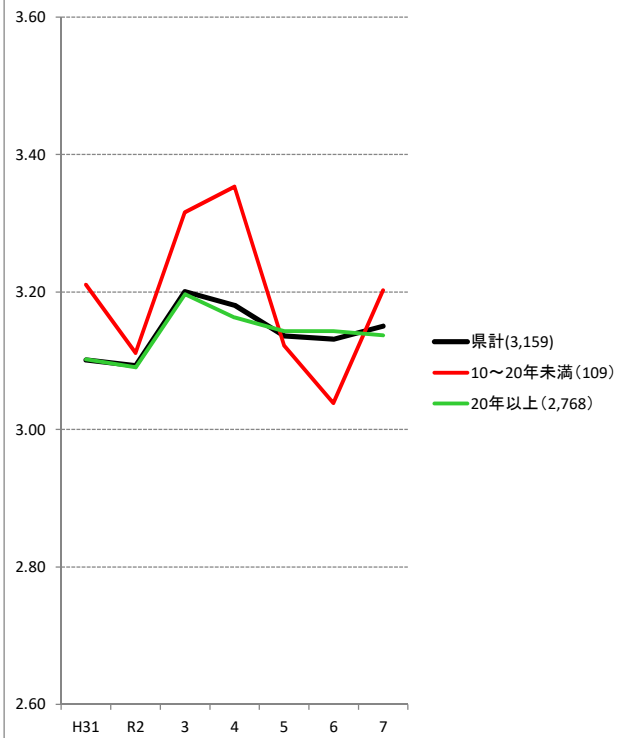
【－】子どものためになる教育(世帯構成別)



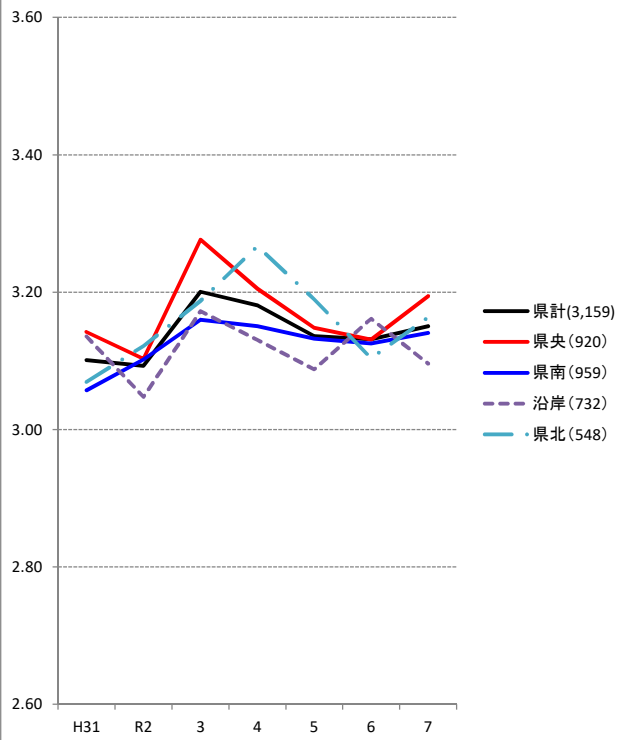
【***】子どものためになる教育(子どもの数別)



【-】子どものためになる教育(居住年数別)



【-】子どものためになる教育(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】差が認められない

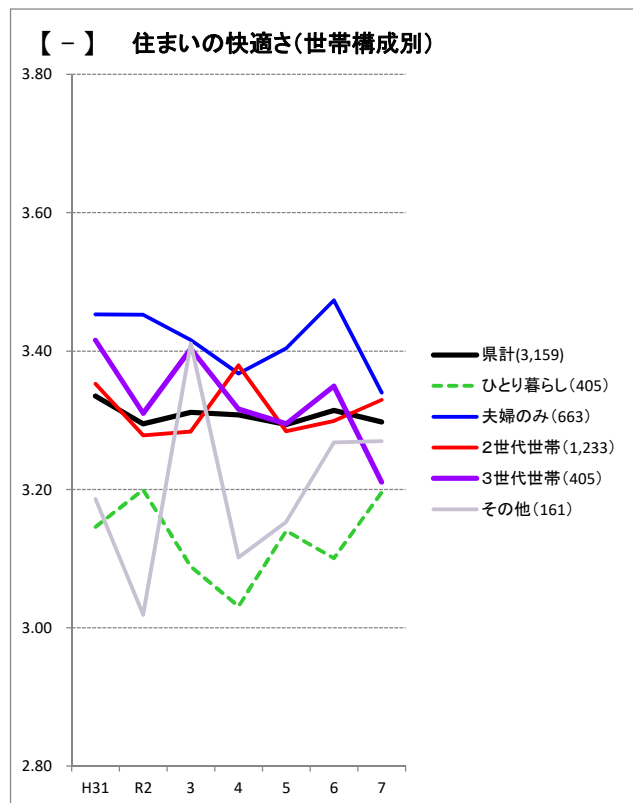
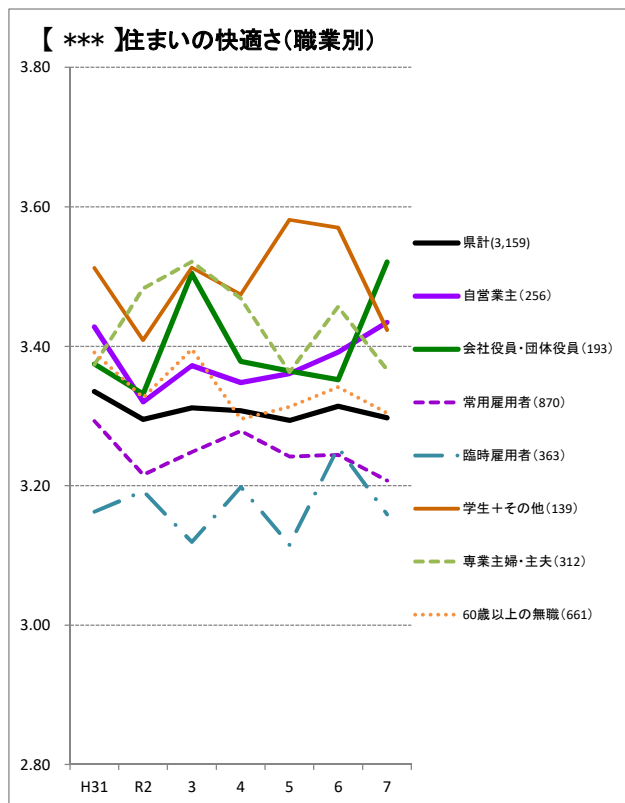
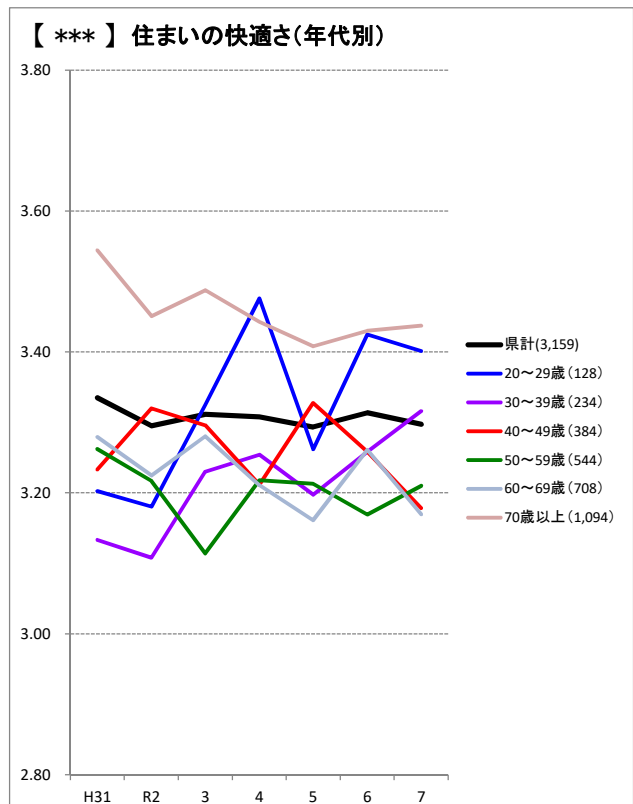
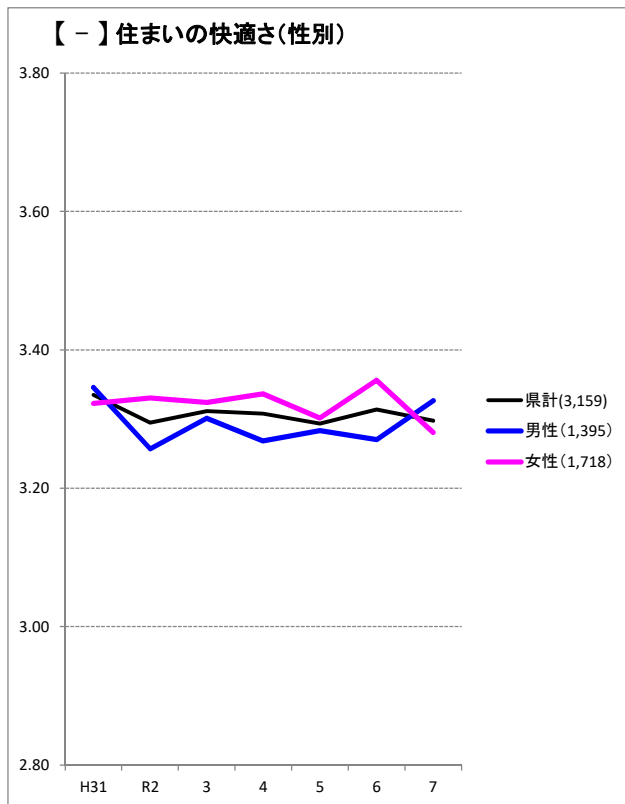
注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18~19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

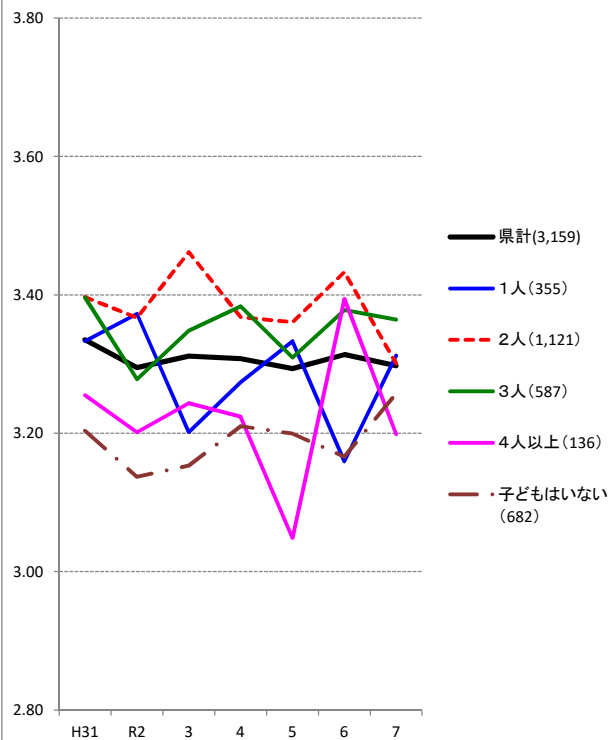
【県計】【分野別実感】⑥住まいに快適さを感じますか

【令和7年の調査結果】

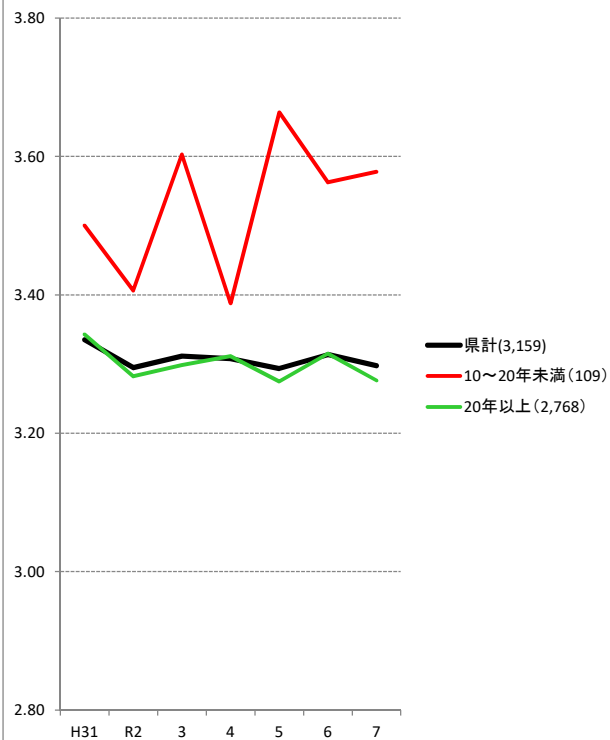
・属性別にみると、「年代別」、「職業別」、「居住年数別」及び「広域振興圏別」で有意な差が認められた。
 ・「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.44、最小値は「60歳代」の3.17。「職業別」の最大値は「会社役員・団体役員」の3.52、最小値は「臨時雇用者」の3.16。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.58、最小値は「20年以上」の3.28。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.39、最小値は「県北」の3.14。



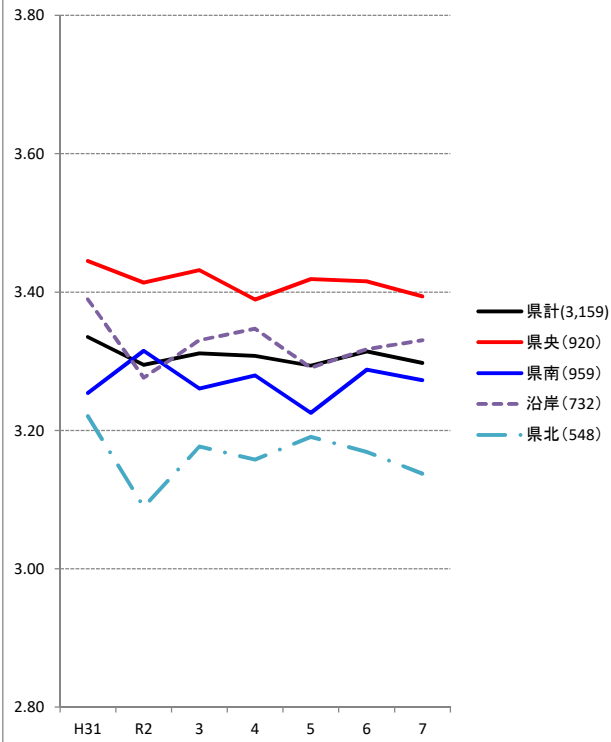
【－】 住まいの快適さ(子どもの数別)



【***】 住まいの快適さ(居住年数別)



【***】 住まいの快適さ(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■ 凡例 ■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】 1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】 10%水準で差が有意

【-】 差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

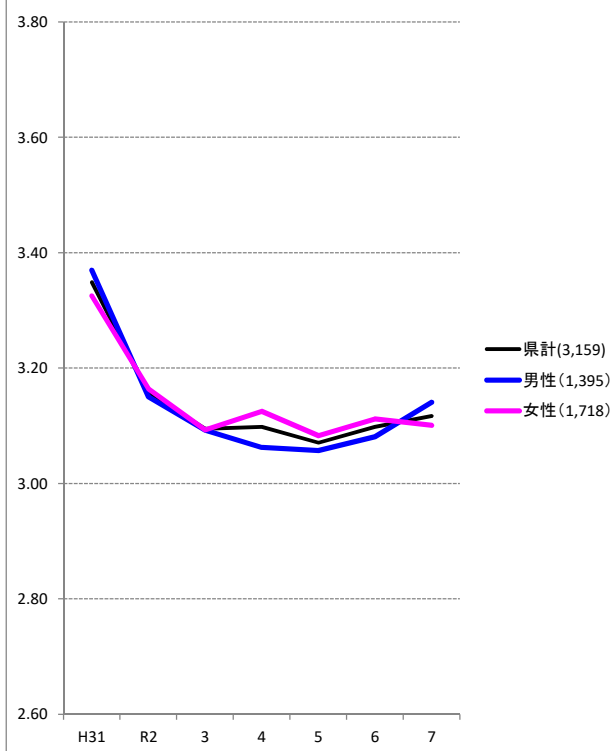
- ・ 性別の「その他」
- ・ 年代別の「18～19歳」
- ・ 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・ 居住年数別の「10年未満」

【県計】【分野別実感】⑦地域社会とのつながりを感じますか。

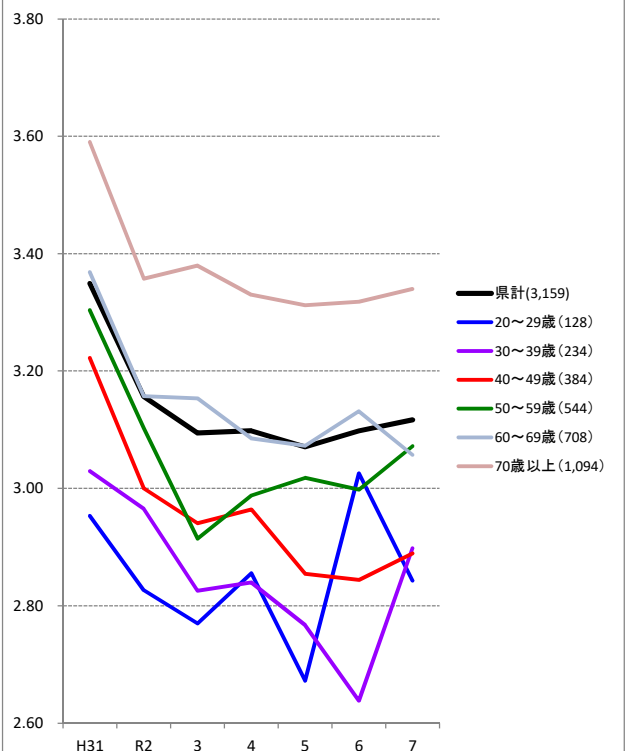
【令和7年の調査結果】

・属性別にみると、「性別」及び「居住年数別」を除く全てで有意な差が認められた。
 ・「年代別」の最大値は「70歳以上」の3.34、最小値は「20歳代」の2.84。職業別の最大値は「自営業主」の3.39、最小値は「常用雇用者」の2.93。「世帯構成別」の最大値は「3世代世帯」の3.20、最小値は「ひとり暮らし」の2.86。「子どもの数別」の最大値は「4人以上」の3.39、最小値は「子どもはいない」の2.86。広域振興圏別の最大値は、「沿岸」の3.21、最小値は「県央」の3.02。

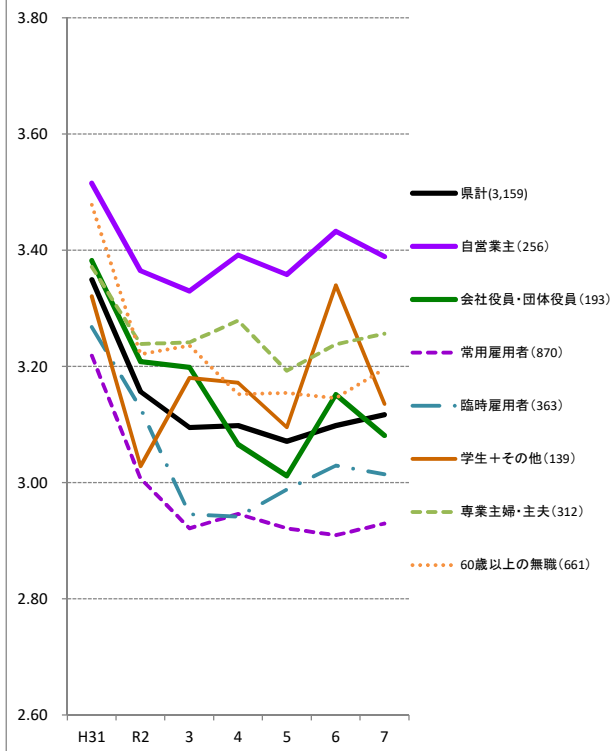
【 - 】地域社会とのつながり(性別)



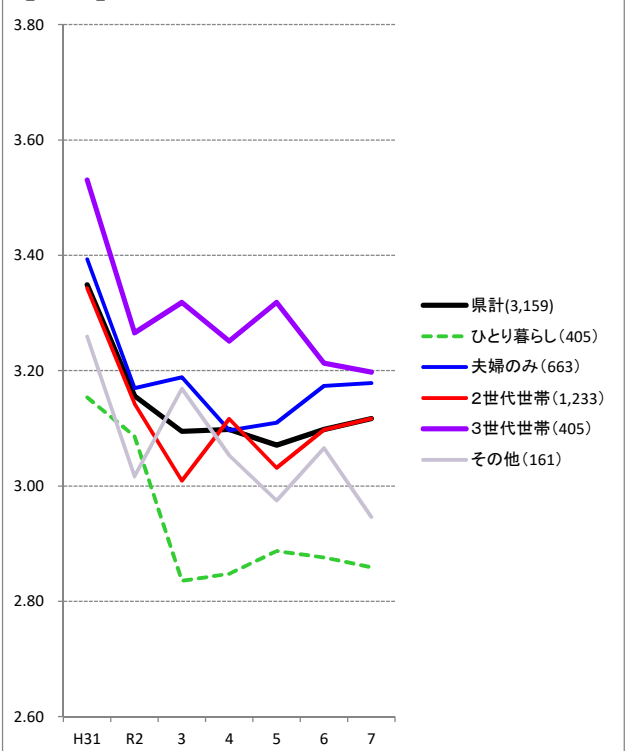
【 *** 】地域社会とのつながり(年代別)



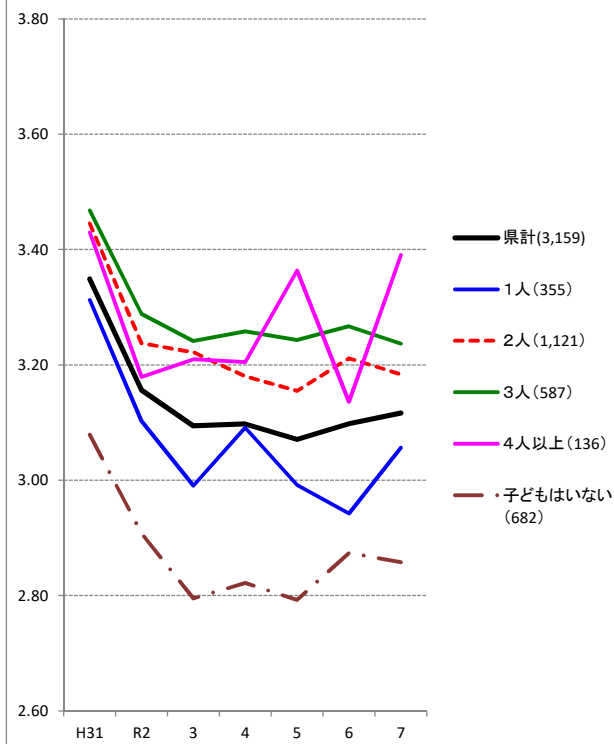
【 *** 】地域社会とのつながり(職業別)



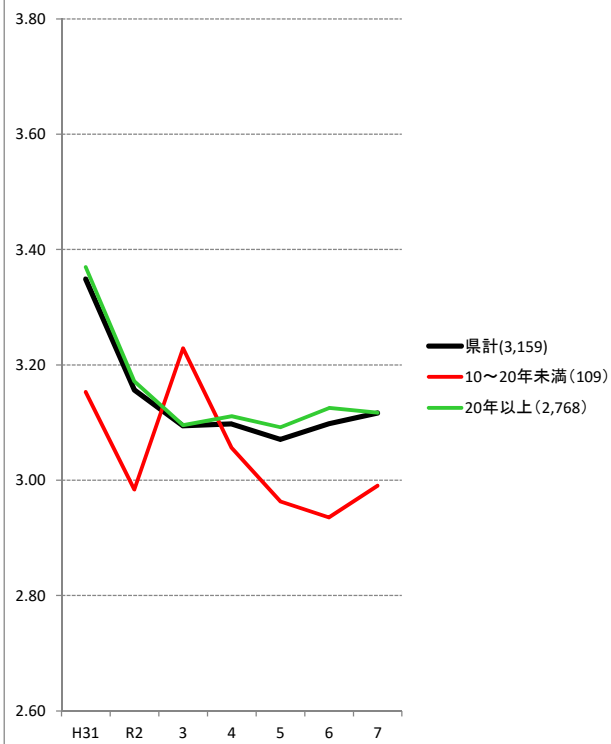
【 *** 】地域社会とのつながり(世帯構成別)



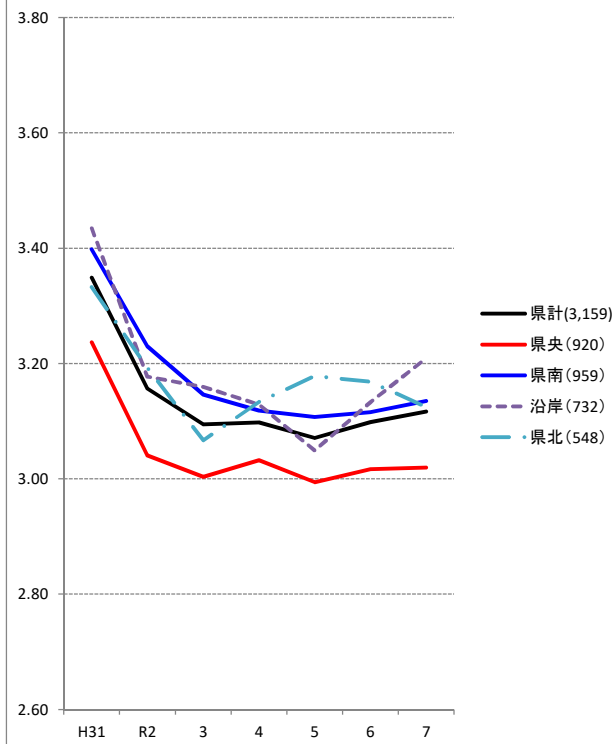
【***】地域社会とのつながり(子どもの数別)



【-】地域社会とのつながり(居住年数別)



【***】地域社会とのつながり(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

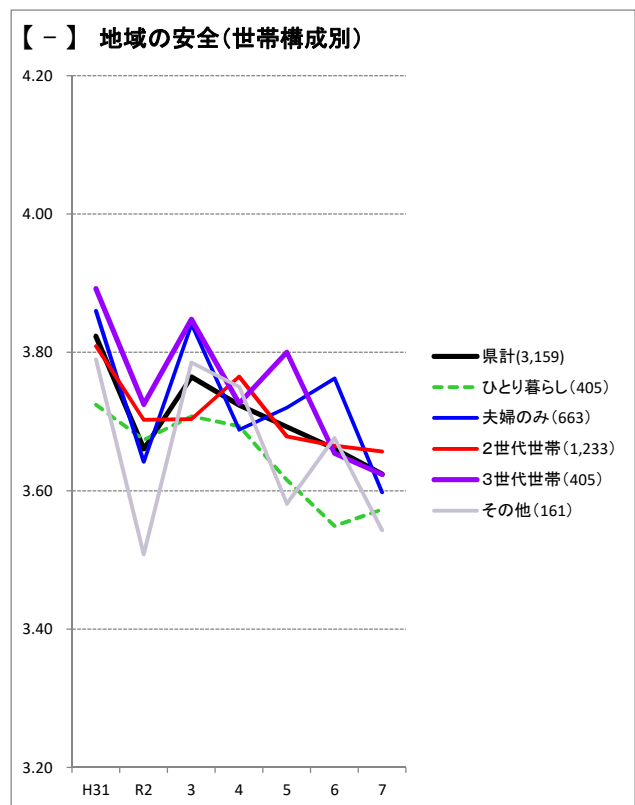
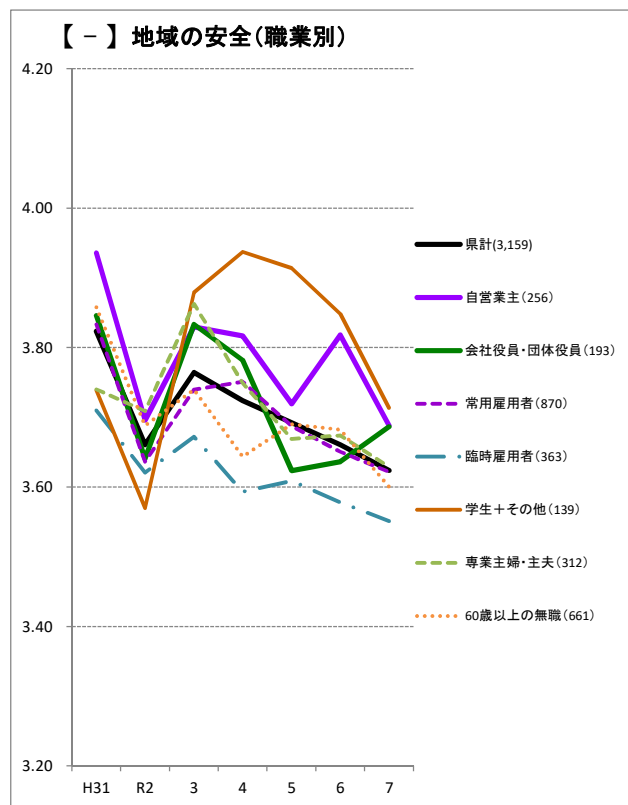
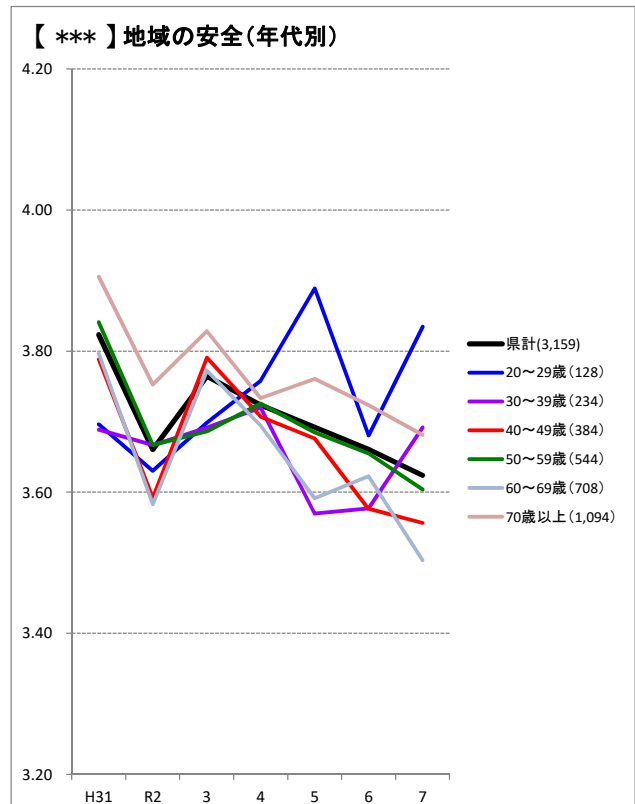
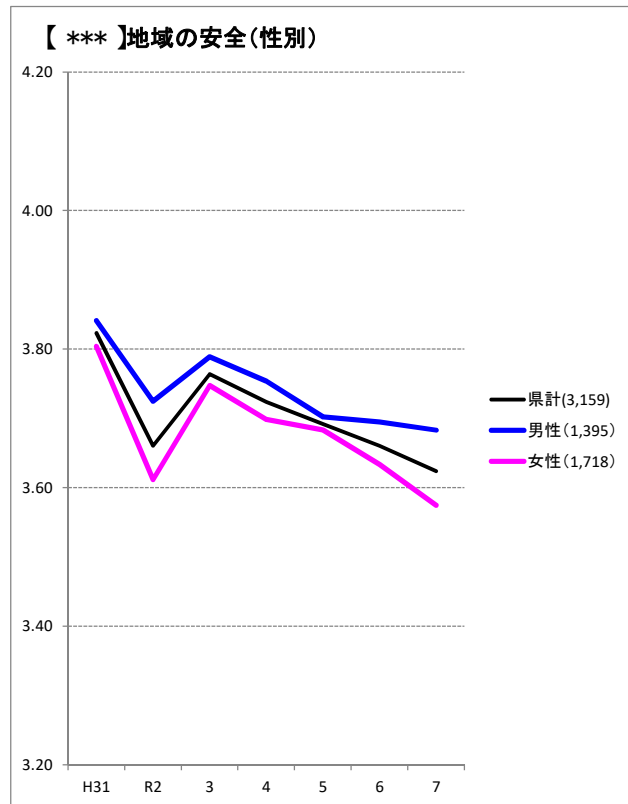
- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18~19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

【県計】【分野別実感】⑧お住まいの地域は安全だと感じますか。

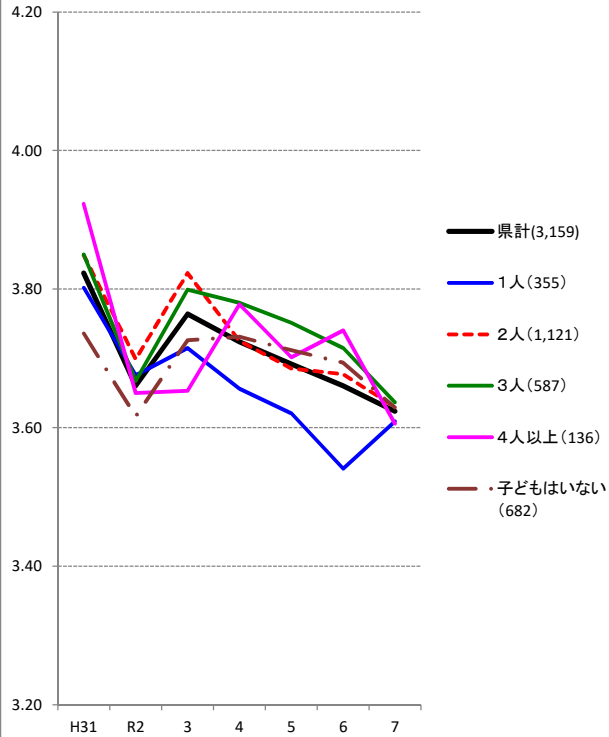
【令和7年の調査結果】

・属性別にみると、「性別」、「年代別」、「居住年数別」及び「広域振興圏別」で有意な差が認められた。

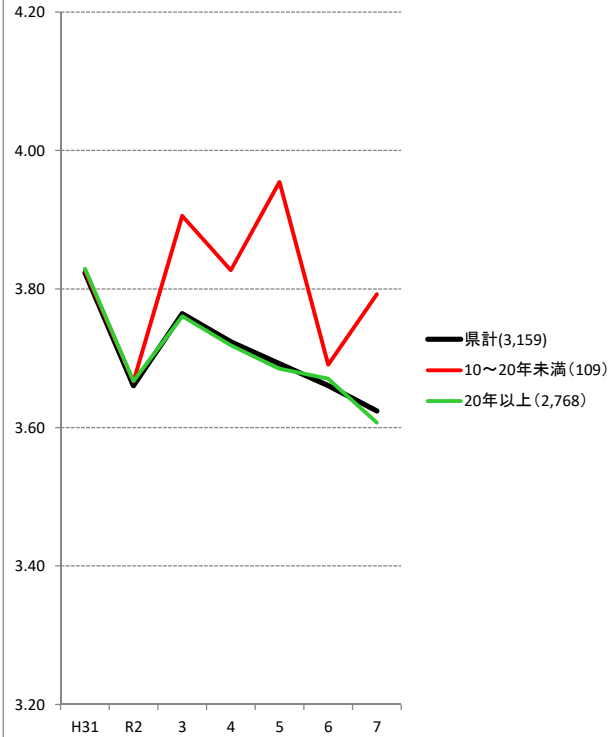
・「性別」の最大値は「男性」の3.68、最小値は「女性」の3.57。「年代別」の最大値は「20歳代」の3.83、最小値は「60歳代」の3.50。「居住年数別」の最大値は「10～20年未満」の3.79、最小値は「20年以上」の3.61。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.67、最小値は「沿岸」の3.56。



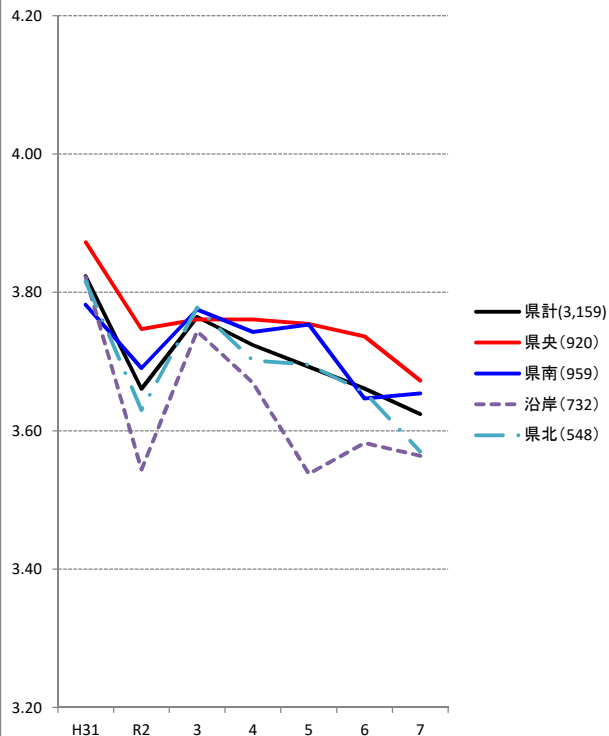
【－】地域の安全(子どもの数別)



【＊】地域の安全(居住年数別)



【＊】地域の安全(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の＊は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

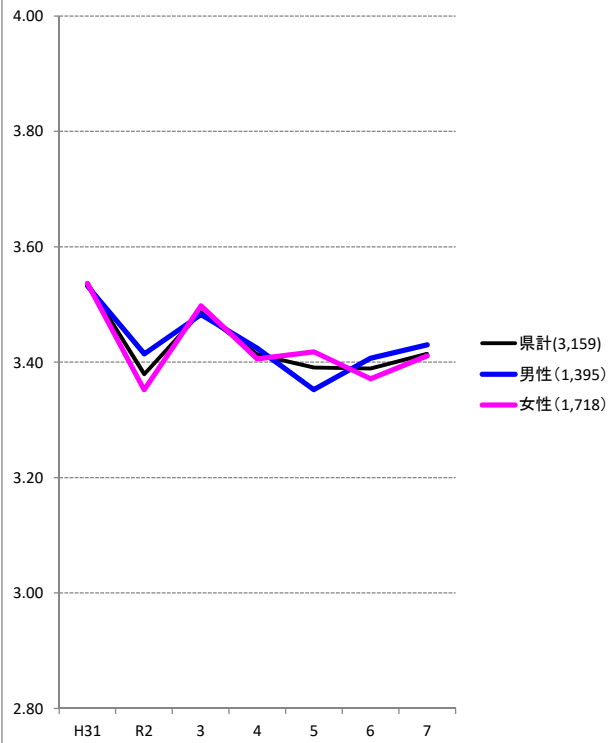
- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18～19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

【県計】【分野別実感】⑨仕事にやりがいを感じますか。

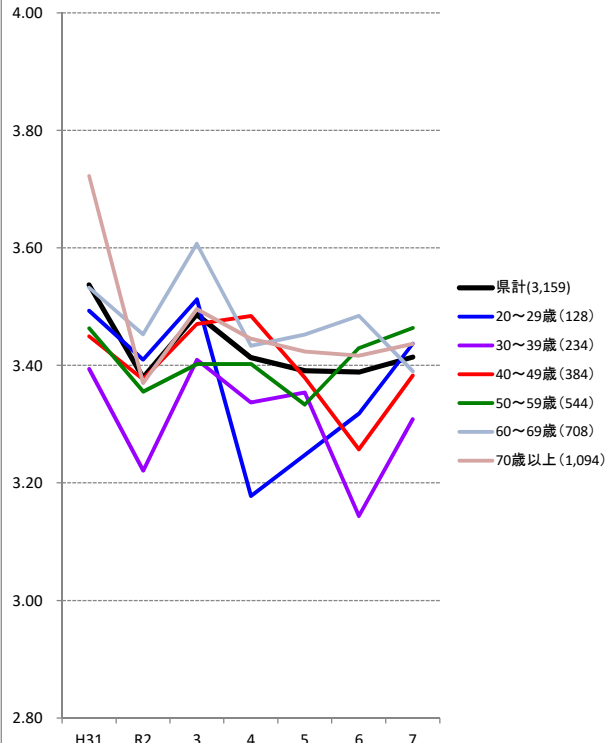
【令和7年の調査結果】

- ・属性別にみると、「職業別」、「子どもの数別」で有意な差が認められた。
- ・「職業別」の最大値は「自営業主」の3.81、最小値は「専業主婦(主夫)」の3.10。「子どもの数別」の最大値は「4人以上」の3.53、最小値は「子どもはいない」の3.30。

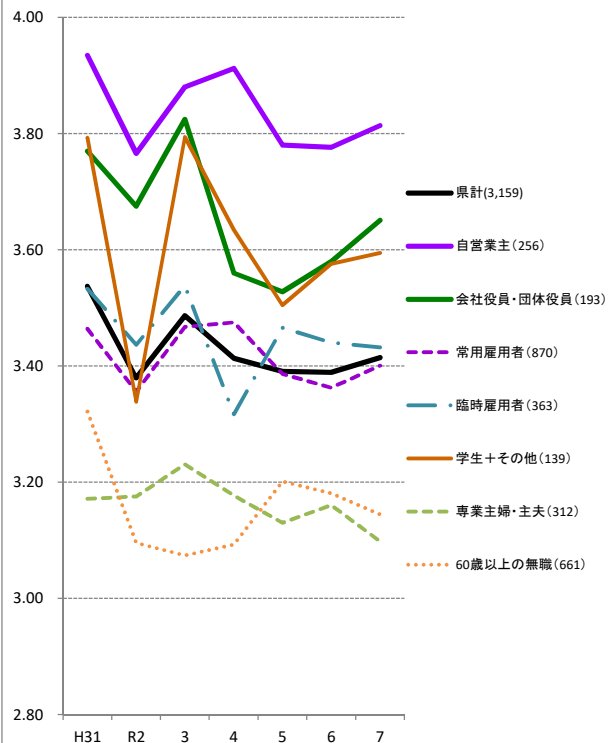
【 - 】仕事のやりがい(性別)



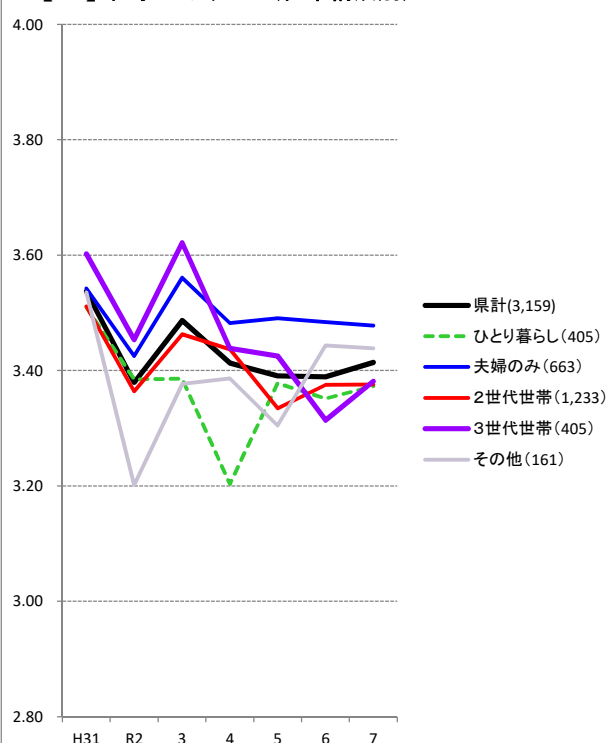
【 - 】仕事のやりがい(年代別)

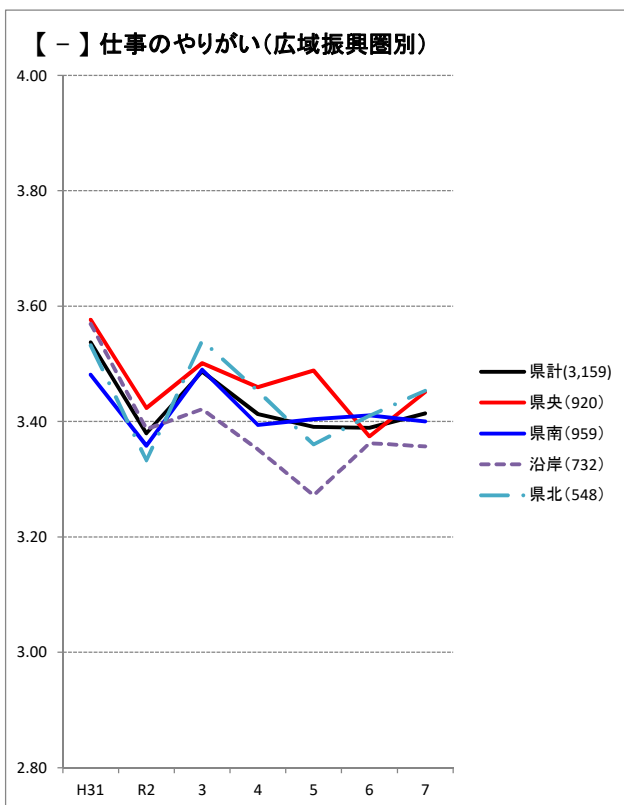
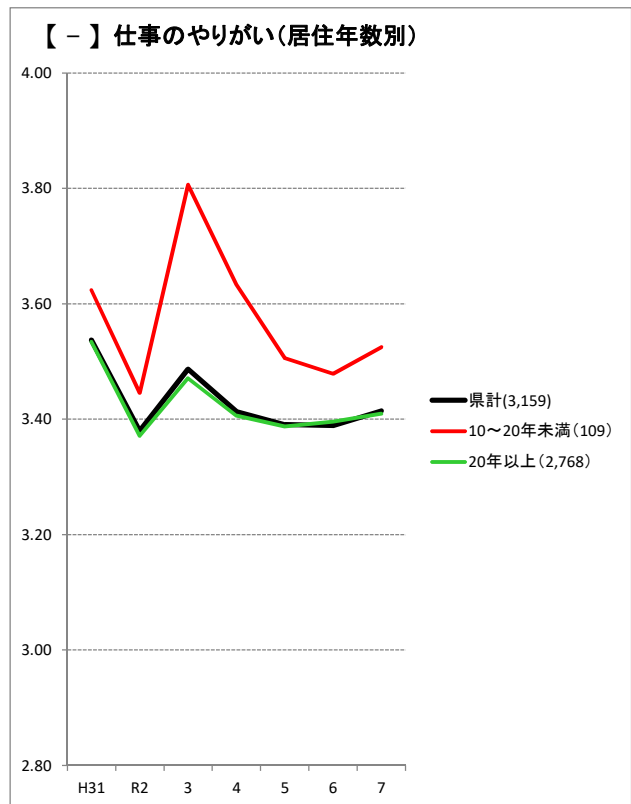
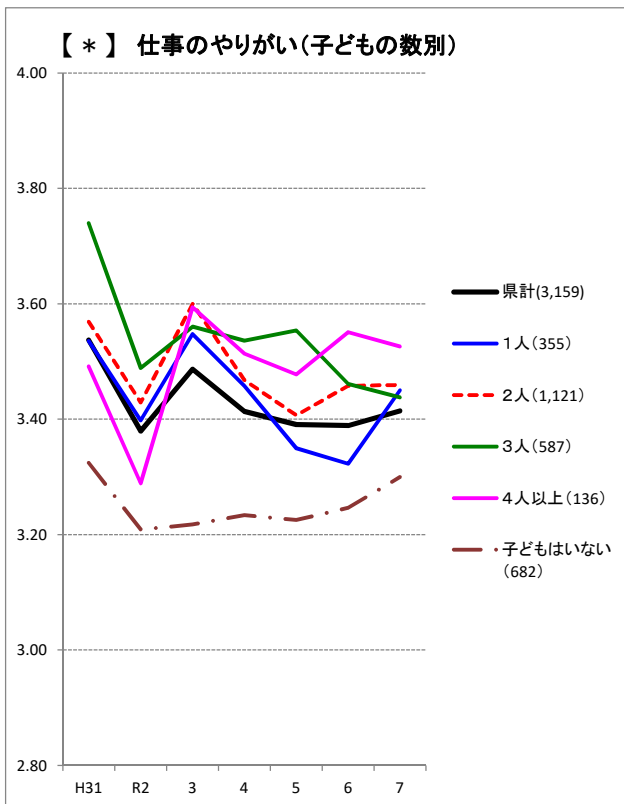


【 *** 】仕事のやりがい(職業別)



【 - 】仕事のやりがい(世帯構成別)





「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の＊は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【－】差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18～19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

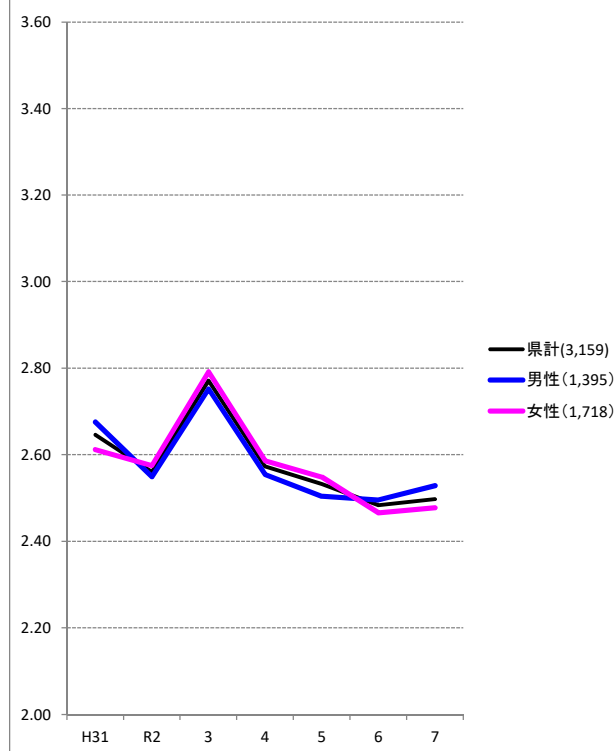
【県計】【分野別実感】⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。

【令和7年の調査結果】

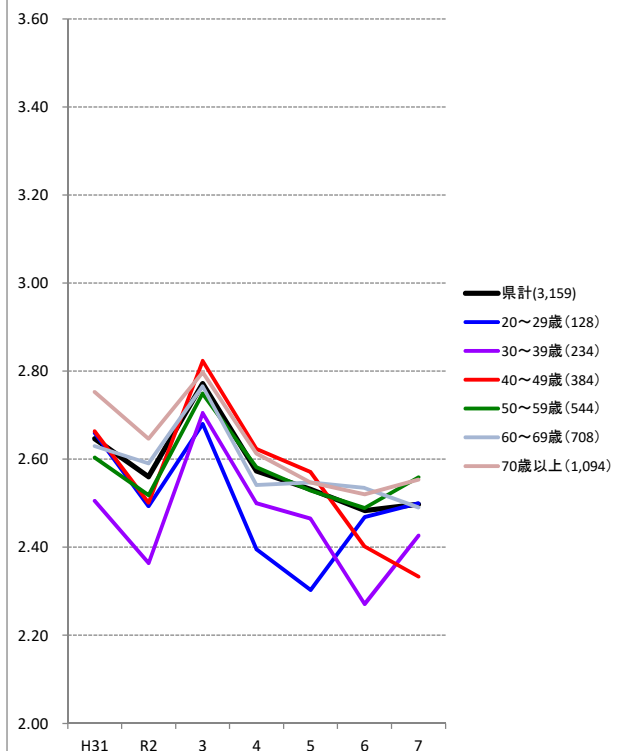
・属性別にみると、「年代別」、「職業別」及び「世帯構成別」で有意な差が認められた。

・「年代別」の最大値は「50歳代」の2.56、最小値は「40歳代」の2.33。「職業別」の最大値は「会社役員・団体役員」の2.92、最小値は「臨時雇用者」の2.34。「世帯構成別」の最大値は「夫婦のみ」の2.61、最小値は「その他」の2.40。

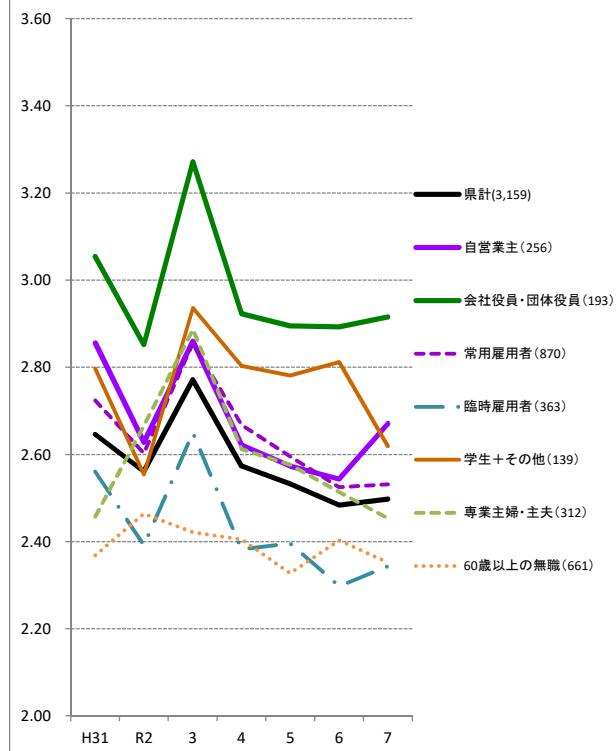
【－】必要な収入や所得(性別)



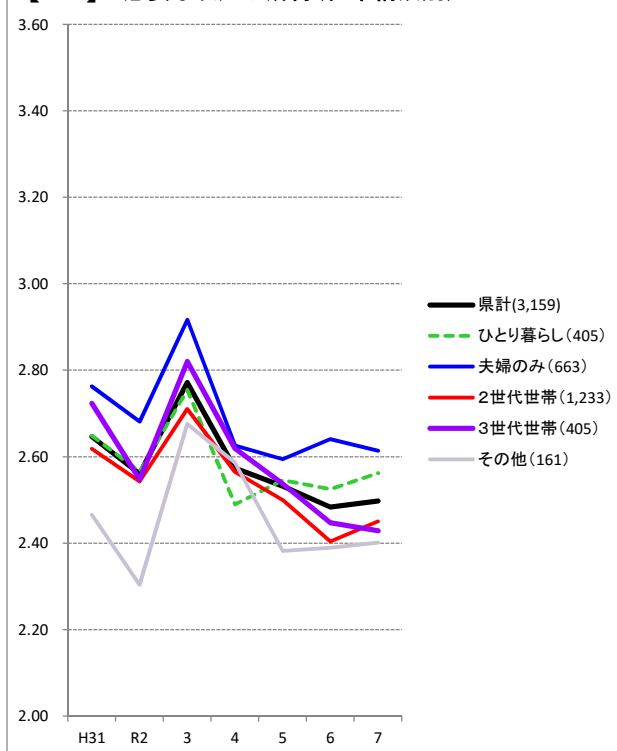
【＊】必要な収入や所得(年代別)



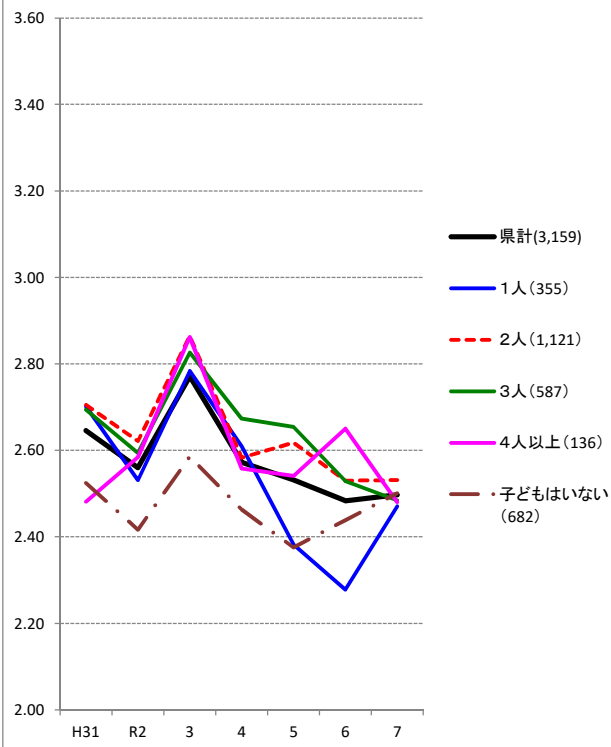
【***】必要な収入や所得(職業別)



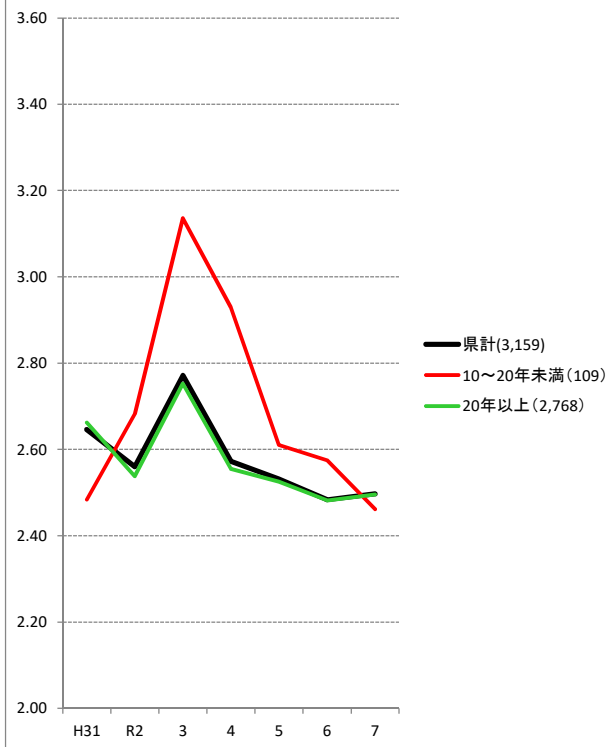
【**】必要な収入や所得(世帯構成別)



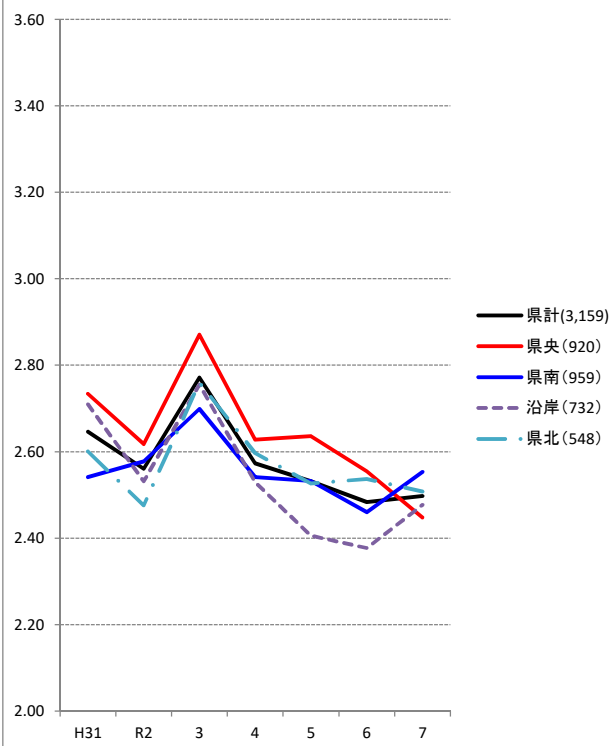
【－】 必要な収入や所得(子どもの数別)



【－】 必要な収入や所得(居住年数別)



【－】 必要な収入や所得(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】 差が認められない

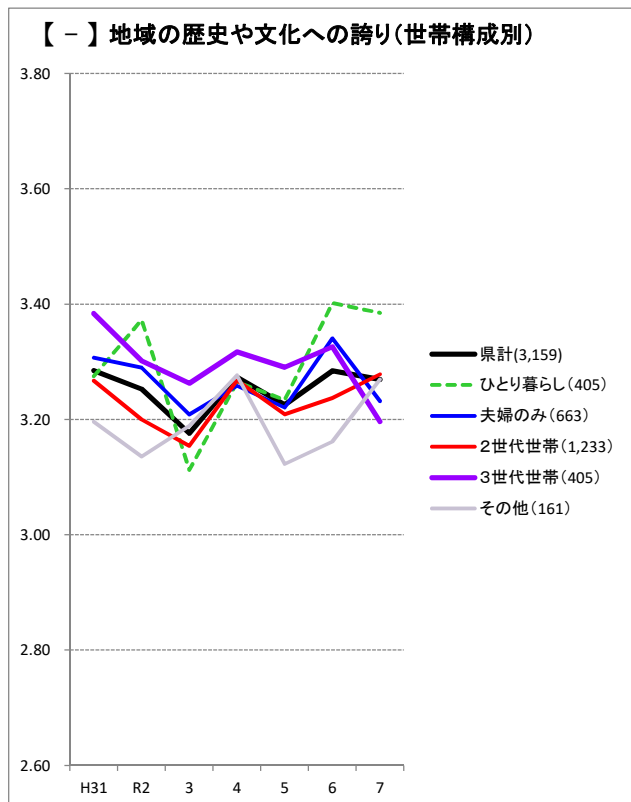
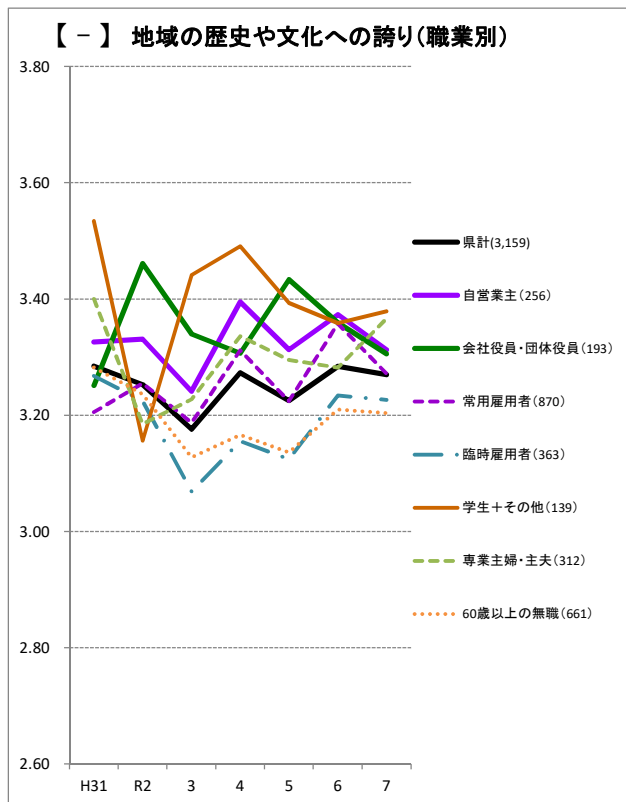
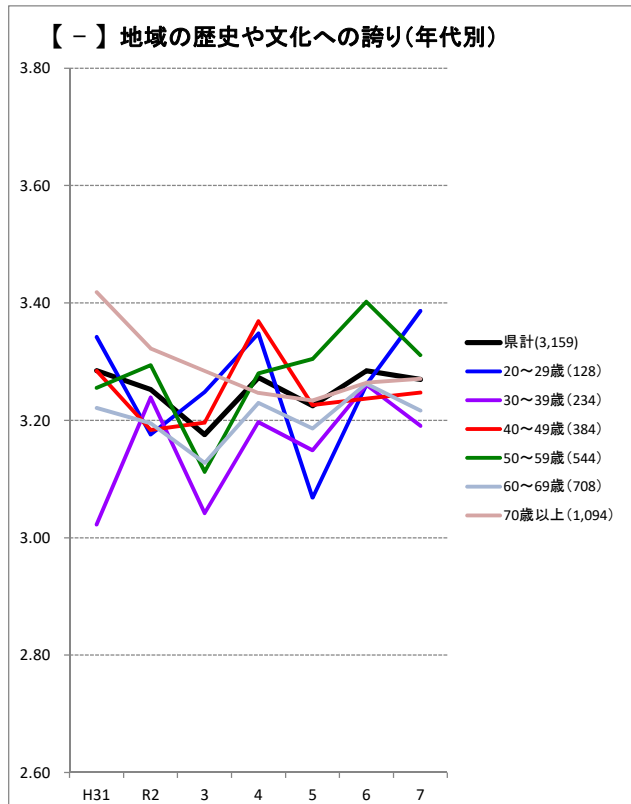
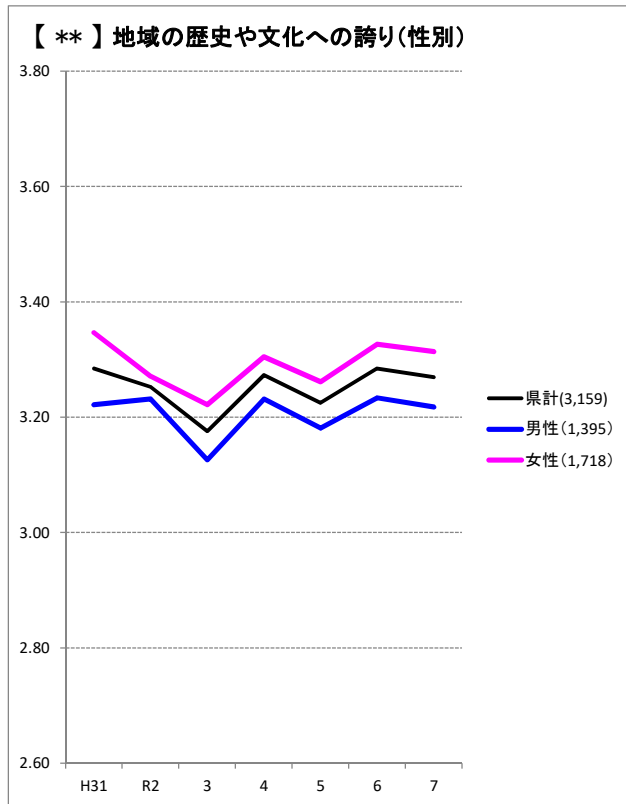
注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

- ・ 性別の「その他」
- ・ 年代別の「18～19歳」
- ・ 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・ 居住年数別の「10年未満」

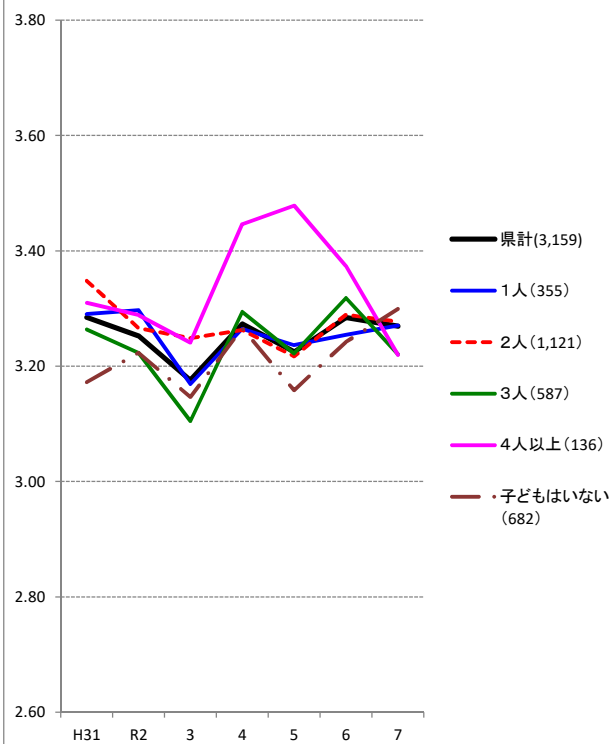
【県計】【分野別実感】⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか。

【令和7年の調査結果】

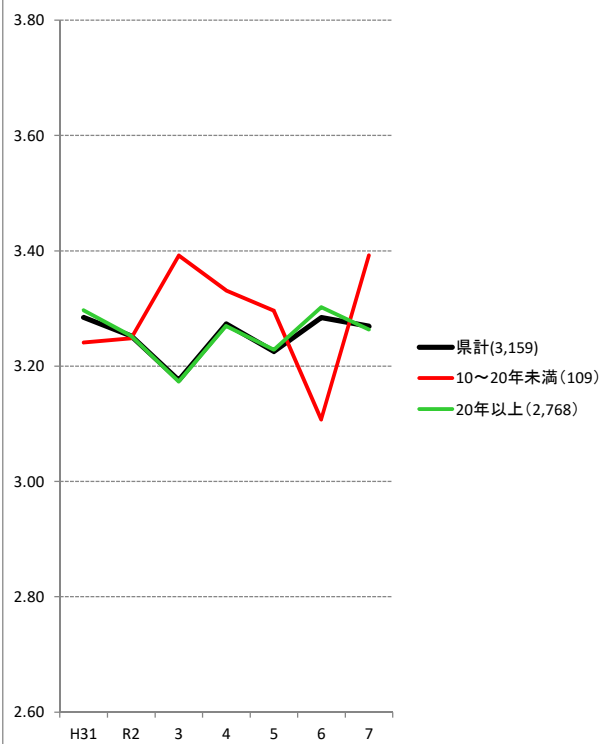
- ・属性別にみると、「性別」及び「広域振興圏別」で有意な差が認められた。
- ・「性別」の最大値は「女性」の3.31、最小値は「男性」の3.22。「広域振興圏別」の最大値は「県央」の3.39、最小値は「県北」の3.13。



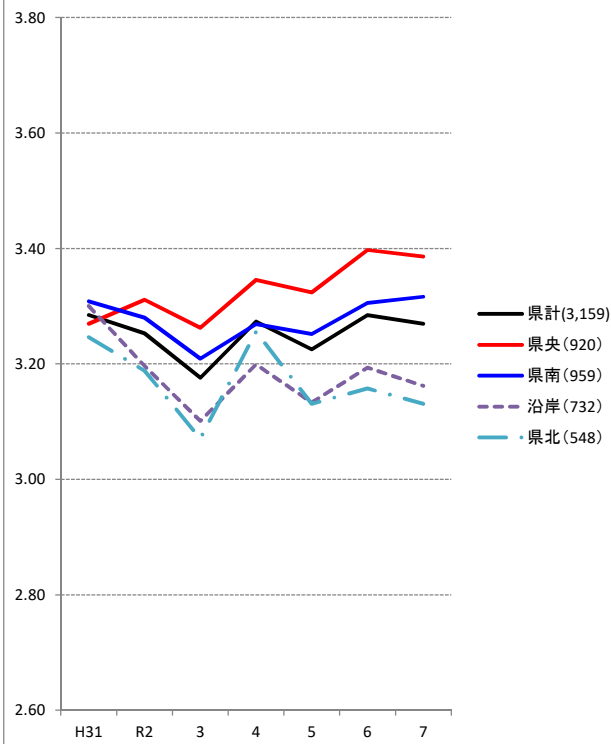
【－】地域の歴史や文化への誇り(子どもの数別)



【－】地域の歴史や文化への誇り(居住年数別)



【***】地域の歴史や文化への誇り(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の*は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18～19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

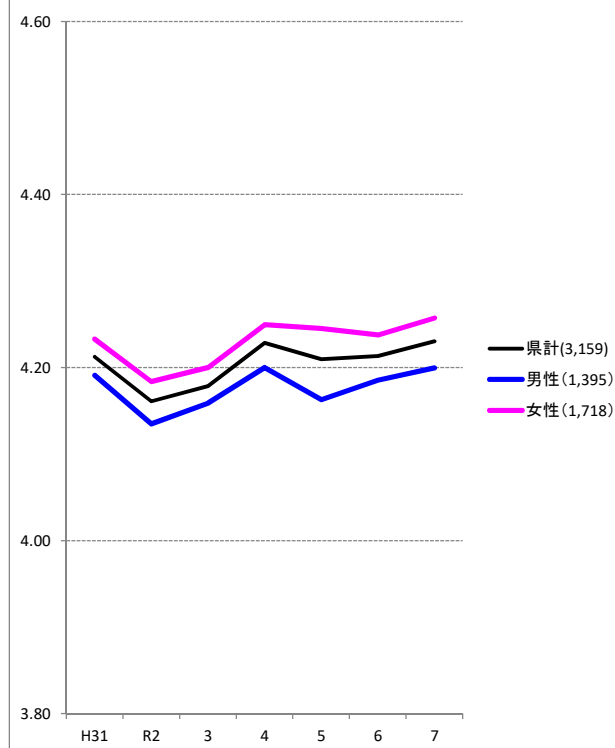
【県計】【分野別実感】⑫自然に恵まれていると感じますか。

【令和7年の調査結果】

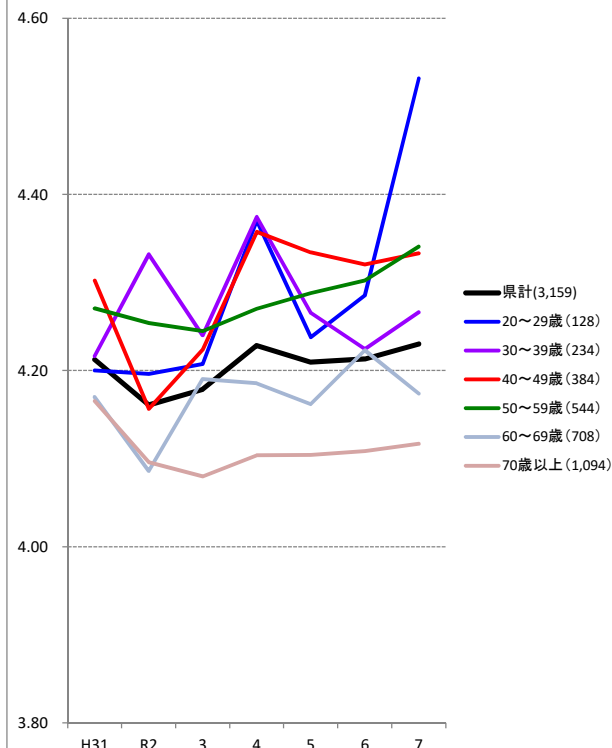
・属性別にみると、「性別」、「年代別」、「職業別」及び「子どもの数別」で有意な差が認められた。

・「性別」の最大値は「女性」の4.26、最小値は「男性」の4.20。「年代別」の最大値は「20歳代」の4.53、最小値は「70歳以上」の4.12。「職業別」の最大値は「常用雇用者」の4.35、最小値は「60歳以上の無職」の4.06。「子どもの数別」の最大値は「子どもはいない」の4.31、最小値は「2人」の4.20。

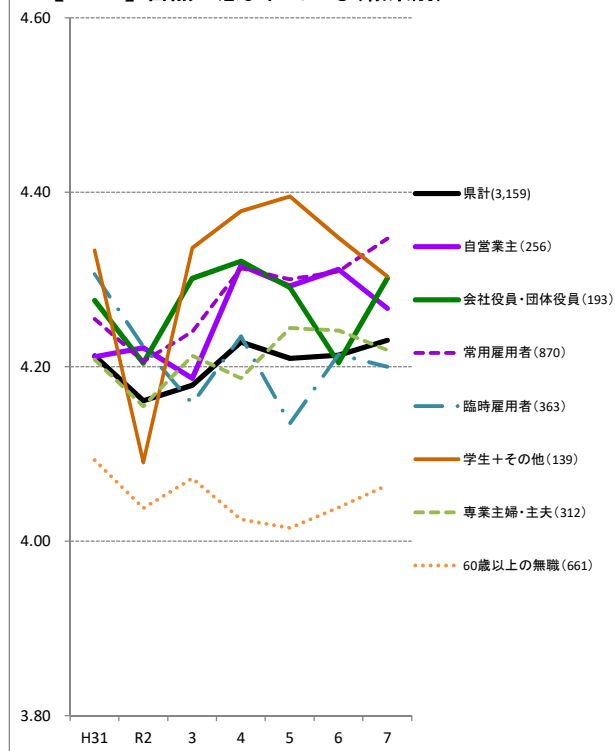
【＊】自然に恵まれている(性別)



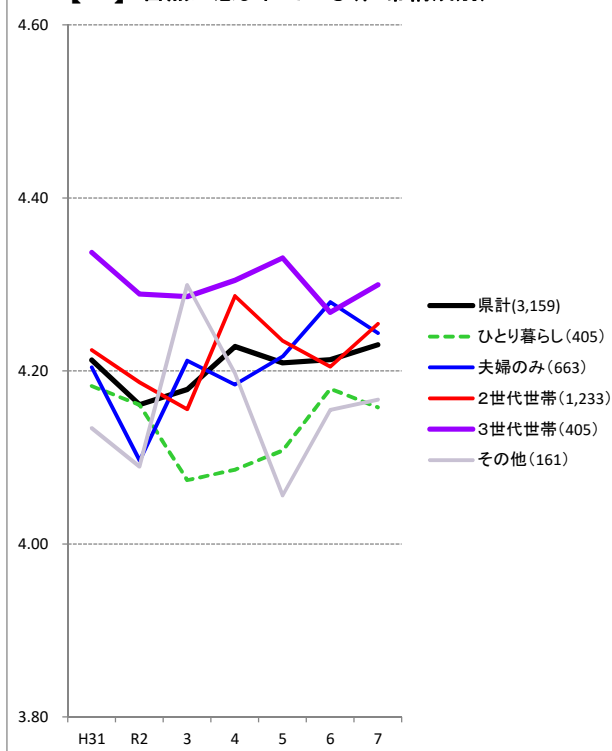
【***】自然に恵まれている(年代別)



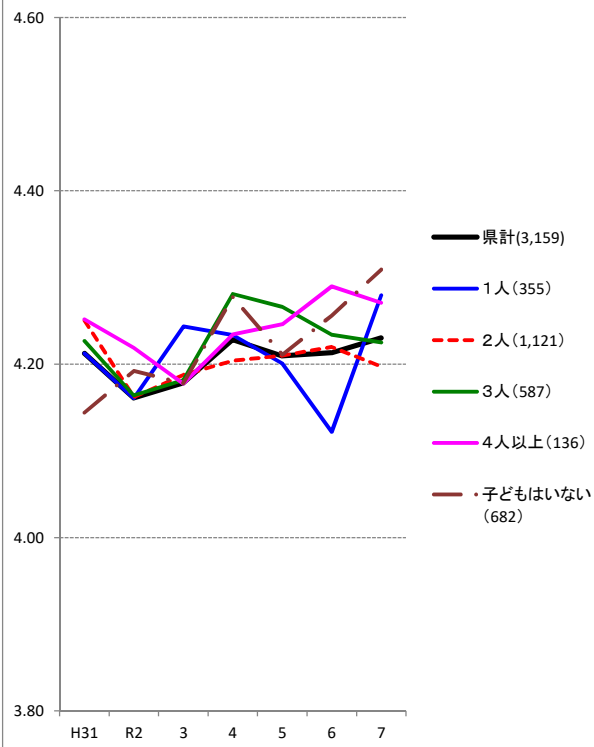
【***】自然に恵まれている(職業別)



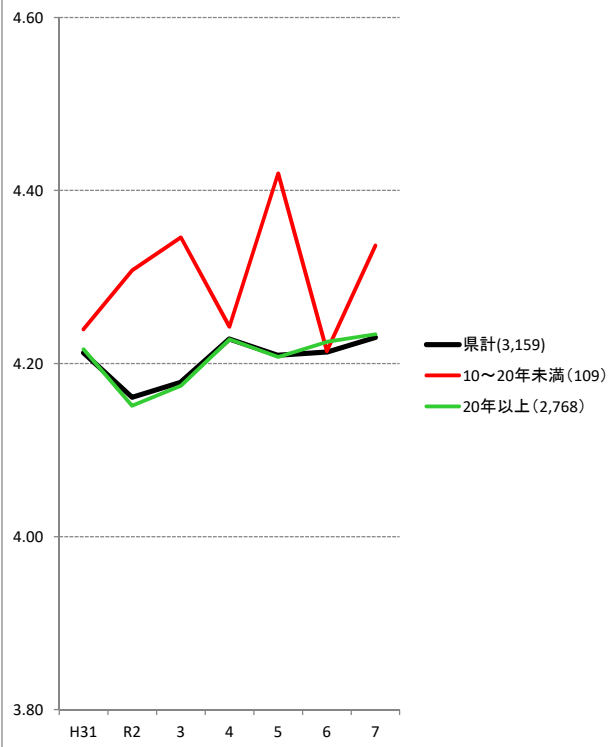
【－】自然に恵まれている(世帯構成別)



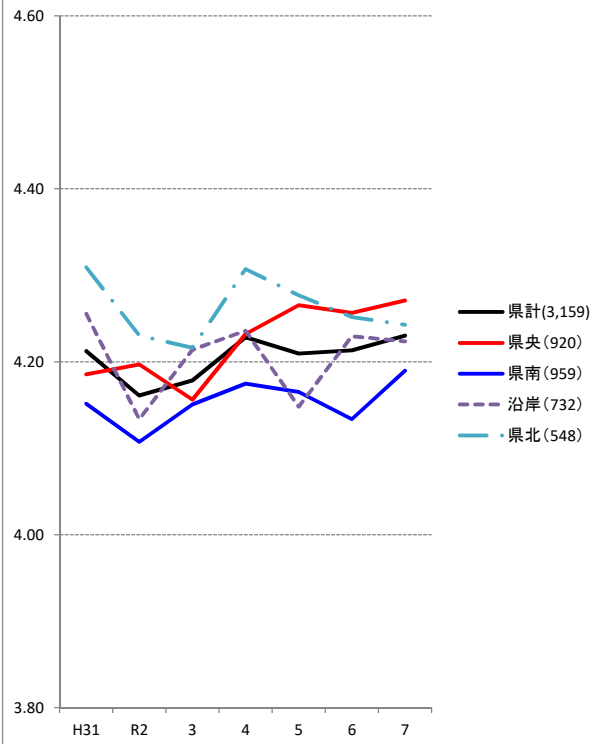
【＊】自然に恵まれている(子どもの数別)



【－】自然に恵まれている(居住年数別)



【－】自然に恵まれている(広域振興圏別)



「分野別実感について」

実感平均値の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化しています。

■凡例■

グラフ左上の＊は、R7調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示しています。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意

【-】差が認められない

注) R7のサンプル数が100人未満である以下の属性を分析対象から除外しています。

- ・性別の「その他」
- ・年代別の「18～19歳」
- ・職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・居住年数別の「10年未満」

県民意識調査の属性別分析【県計】

標本数

		H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	県計	3,327	3,387	3,549	3,324	2,942	2,861	3,159
性別	男性	1,611	1,494	1,561	1,439	1,266	1,316	1,395
	女性	1,693	1,807	1,949	1,868	1,640	1,510	1,718
	その他(参考)		8	6	3	8	2	6
年代	18～19歳(参考)	38	43	53	52	36	20	26
	20～29歳	166	160	200	192	129	123	128
	30～39歳	293	273	320	293	249	210	234
	40～49歳	429	432	499	457	414	371	384
	50～59歳	553	598	604	525	507	479	544
	60～69歳	752	805	766	705	605	638	708
	70歳以上	986	1,028	1,009	1,005	985	1,008	1,094
職業	自営業主	309	291	282	298	212	237	256
	家族従業者(参考)	95	136	119	86	90	81	87
	会社役員・団体役員	207	198	240	222	185	178	193
	常用雇用者	885	885	1,025	890	835	812	870
	臨時雇用者	390	432	440	430	347	326	363
	学生＋その他	171	195	119	181	131	122	139
	専業主婦(主夫)	340	416	403	327	324	331	312
	60歳未満の無職(参考)	62	64	77	64	62	57	64
	60歳以上の無職	716	686	697	684	561	605	661
世帯構成	ひとり暮らし	402	374	431	372	330	374	405
	夫婦のみ	757	765	718	686	651	645	663
	2世代世帯	1,143	1,212	1,437	1,396	1,167	1,141	1,233
	3世代世帯	461	469	548	474	391	348	405
	その他	410	393	184	175	134	149	161
子どもの数	1人	428	442	450	450	375	376	355
	2人	1,232	1,227	1,270	1,171	1,023	1,043	1,121
	3人	637	646	682	631	514	562	587
	4人以上	160	168	159	132	129	111	136
	子どもはいない	710	725	802	735	618	595	682
居住年数	10年未満(参考)	101	95	100	87	99	84	83
	10～20年未満	125	131	145	166	113	100	109
	20年以上	2,961	2,994	3,174	2,958	2,544	2,590	2,768
広域圏	県央広域振興圏	938	966	1,011	962	872	866	920
	県南広域振興圏	1,014	993	1,080	1,002	869	846	959
	沿岸広域振興圏	800	837	833	801	711	655	732
	県北広域振興圏	575	591	625	559	490	494	548

注)R7のサンプル数が100人未満である以下の属性について、分析対象から外している。

- ・ 性別の「その他」
- ・ 年代別の「18～19歳」
- ・ 職業別の「家族従業者」、「60歳未満の無職」
- ・ 居住年数別の「10年未満」

「県の施策に関する県民意識調査（補足調査）」回答意見とりまとめ結果

<分野別>

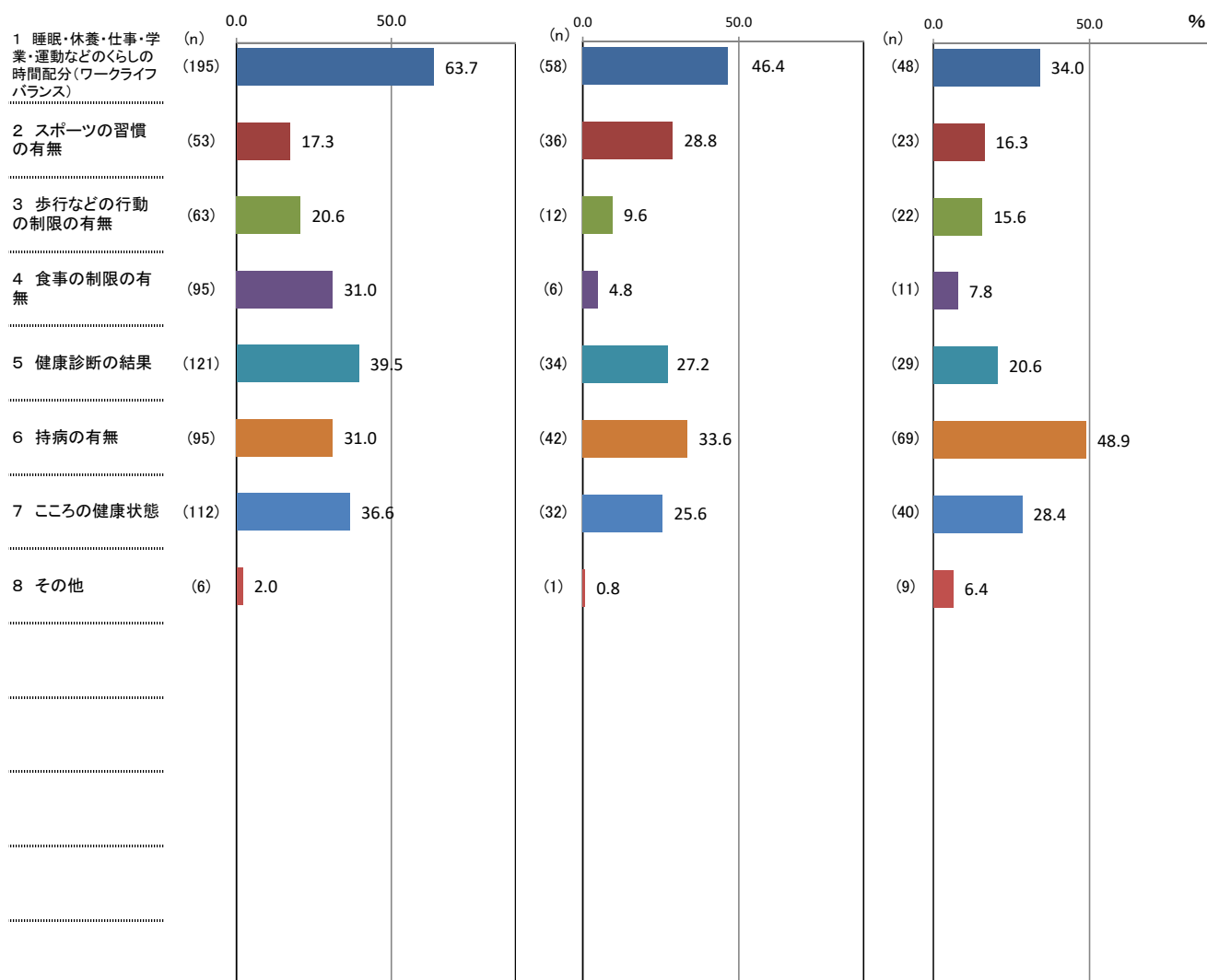
(1)分野別実感別

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「からだの健康」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (740) 306 人	②「どちらともいえない」の回答 (221) 125 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (251) 141 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (195)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (58)	6 持病の有無 (69)
2	5 健康診断の結果 (121)	6 持病の有無 (42)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (48)
3	7 こころの健康状態 (112)	2 スポーツの習慣の有無 (36)	7 こころの健康状態 (40)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1-1) からの健康についての回答理由 (問1-1 (1)「あなたは今健康だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス)	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 ごころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		63.7	17.3	20.6	31.0	39.5	31.0	36.6	2.0
②「どちらともいえない」		46.4	28.8	9.6	4.8	27.2	33.6	25.6	0.8
③「あまり感じない・感じない」		34.0	16.3	15.6	7.8	20.6	48.9	28.4	6.4

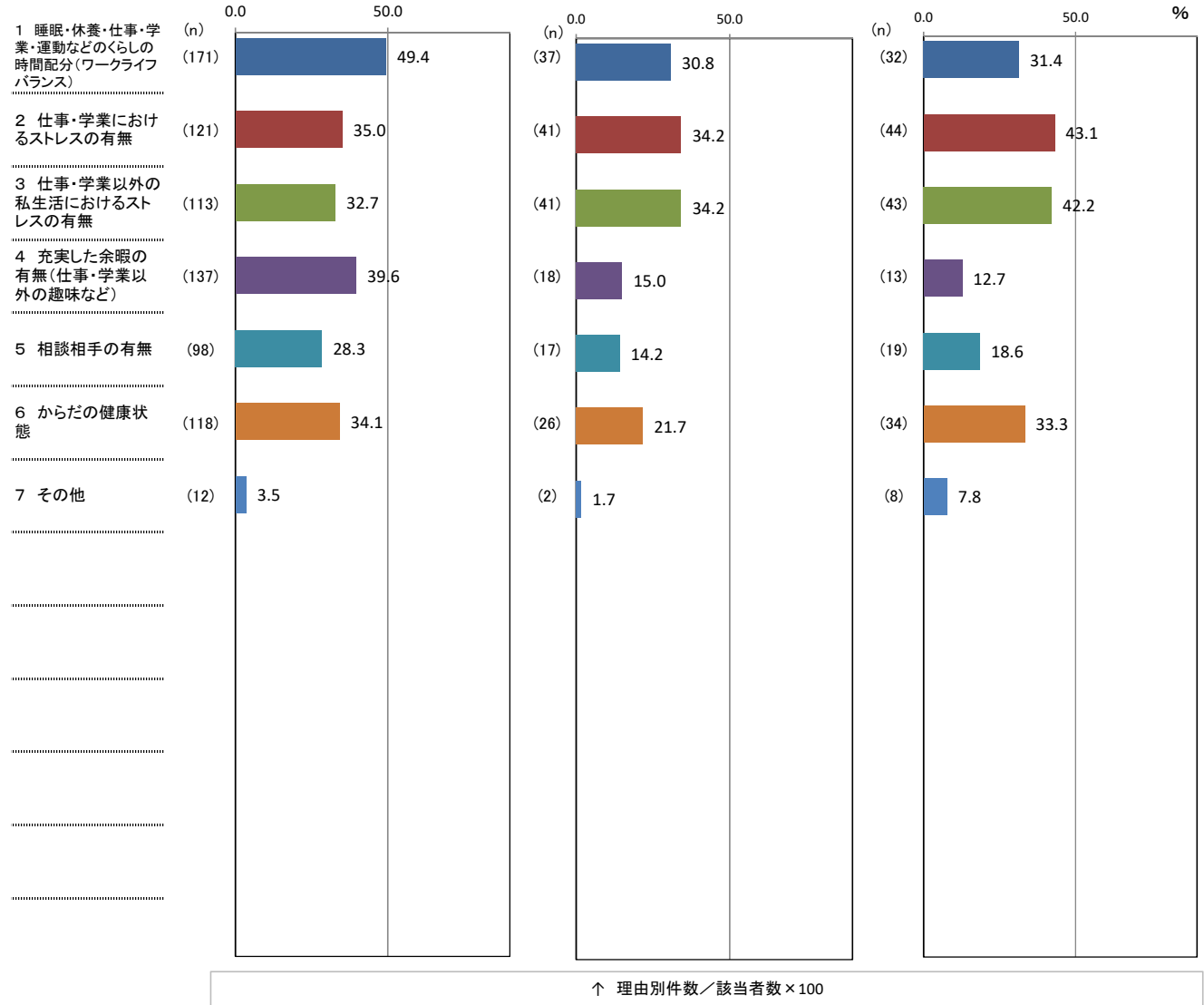
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス)	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 ごころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=306人)	740	195	53	63	95	121	95	112	6
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=125人)	221	58	36	12	6	34	42	32	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=141人)	251	48	23	22	11	29	69	40	9

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(306名中4名記載) ・健康診断が病気になる契機 ・座骨神経痛 ・めったにかぜなどひかないため ・飲酒量の減少
②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(125名中1名記載) ・9ヶ月の子育て
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(141名中5名記載) ・上司が仕事をしないです。 ・カゼをひいている ・生活リズムの乱れ ・内臓疾患により入院、その後自宅治療 ・自由な時間がない

【補足調査】(単純集計)
 分野別実感の回答結果「こころの健康」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (770) 346 人	②「どちらともいえない」の回答 (182) 120 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (193) 102 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (171)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (41)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (44)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (137)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (41)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (43)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (121)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (37)	6 からだの健康状態 (34)

()内の数字は件数。



【補足調査】
 (1-2) こころの健康についての回答理由 (問1-1(2))「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からだの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		49.4	35.0	32.7	39.6	28.3	34.1	3.5
②「どちらともいえない」		30.8	34.2	34.2	15.0	14.2	21.7	1.7
③「あまり感じない・感じない」		31.4	43.1	42.2	12.7	18.6	33.3	7.8

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からだの 健康状態	7 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝346人)	770	171	121	113	137	98	118	12
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝120人)	182	37	41	41	18	17	26	2
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数＝102人)	193	32	44	43	13	19	34	8

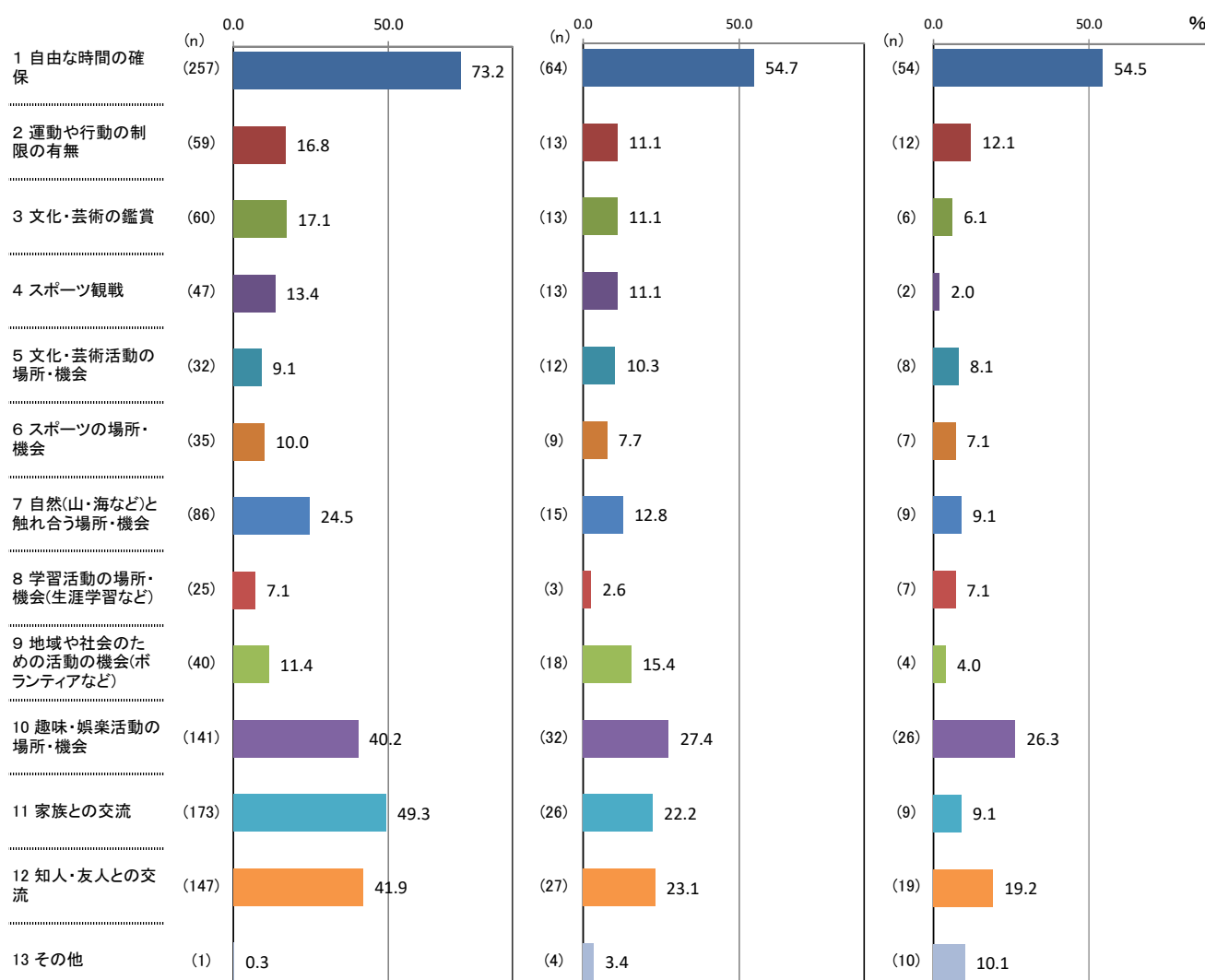
① 「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(346名中9名記載)	・物事に対する判断が良い。 ・ペットの存在 ・自由な時間が十分ある。 ・自律神経を整える
② 「どちらともいえない」人の「その他」コメント(120名中1名記載)	・家族の健康
③ 「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(102名中4名記載)	・夫の老齢による(自分)もの ・恋愛に関する事。

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,103) 351 人	②「どちらともいえない」の回答 (249) 117 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (173) 99 人
1	1 自由な時間の確保 (257)	1 自由な時間の確保 (64)	1 自由な時間の確保 (54)
2	11 家族との交流 (173)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (32)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (26)
3	12 知人・友人との交流 (147)	12 知人・友人との交流 (27)	12 知人・友人との交流 (19)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然・山・ 海など・触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		73.2	16.8	17.1	13.4	9.1	10.0	24.5	7.1	11.4	40.2	49.3	41.9	0.3
②「どちらともいえない」		54.7	11.1	11.1	11.1	10.3	7.7	12.8	2.6	15.4	27.4	22.2	23.1	3.4
③「あまり感じない・感じない」		54.5	12.1	6.1	2.0	8.1	7.1	9.1	7.1	4.0	26.3	9.1	19.2	10.1

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然・山・ 海など・触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=351人)	1103	257	59	60	47	32	35	86	25	40	141	173	147	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=117人)	249	64	13	13	13	12	9	15	3	18	32	26	27	4
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=99人)	173	54	12	6	2	8	7	9	7	4	26	9	19	10

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(351名中1名記載)

・ネット活動

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(117名中2名記載)

・健康状態
・病院通い

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(99名中3名記載)

・介護
・健康阻害。
・休みの日に何かする気にならない

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,476) 428 人	②「どちらともいえない」の回答 (184) 81 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (133) 45 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (230)	2 会話の頻度(多い・少ない) (27)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (28)
2	1 同居の有無 (227)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (26)	2 会話の頻度(多い・少ない) (18)
3	10 困った時に助け合えるかどうか (209)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (23)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (15)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由(問1-1(3))「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少な い)	3 一緒にい る時間(長い 短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		53.0	53.7	35.3	29.0	15.0	28.3	23.8	36.4	20.1	48.8	0.2	1.2
②「どちらともいえない」		24.7	33.3	28.4	16.0	7.4	24.7	18.5	32.1	12.3	23.5	3.7	2.5
③「あまり感じない・感じない」		20.0	40.0	31.1	15.6	6.7	28.9	24.4	62.2	33.3	28.9	0.0	4.4

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少な い)	3 一緒にい る時間(長い 短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=428人)	1,476	227	230	151	124	64	121	102	156	86	209	1	5
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=81人)	184	20	27	23	13	6	20	15	26	10	19	3	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=45人)	133	9	18	14	7	3	13	11	28	15	13	0	2

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(428名中3名記載)
・理解してもらえないという安心感
・仲の良い関係
・食事

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(81名中0名記載)

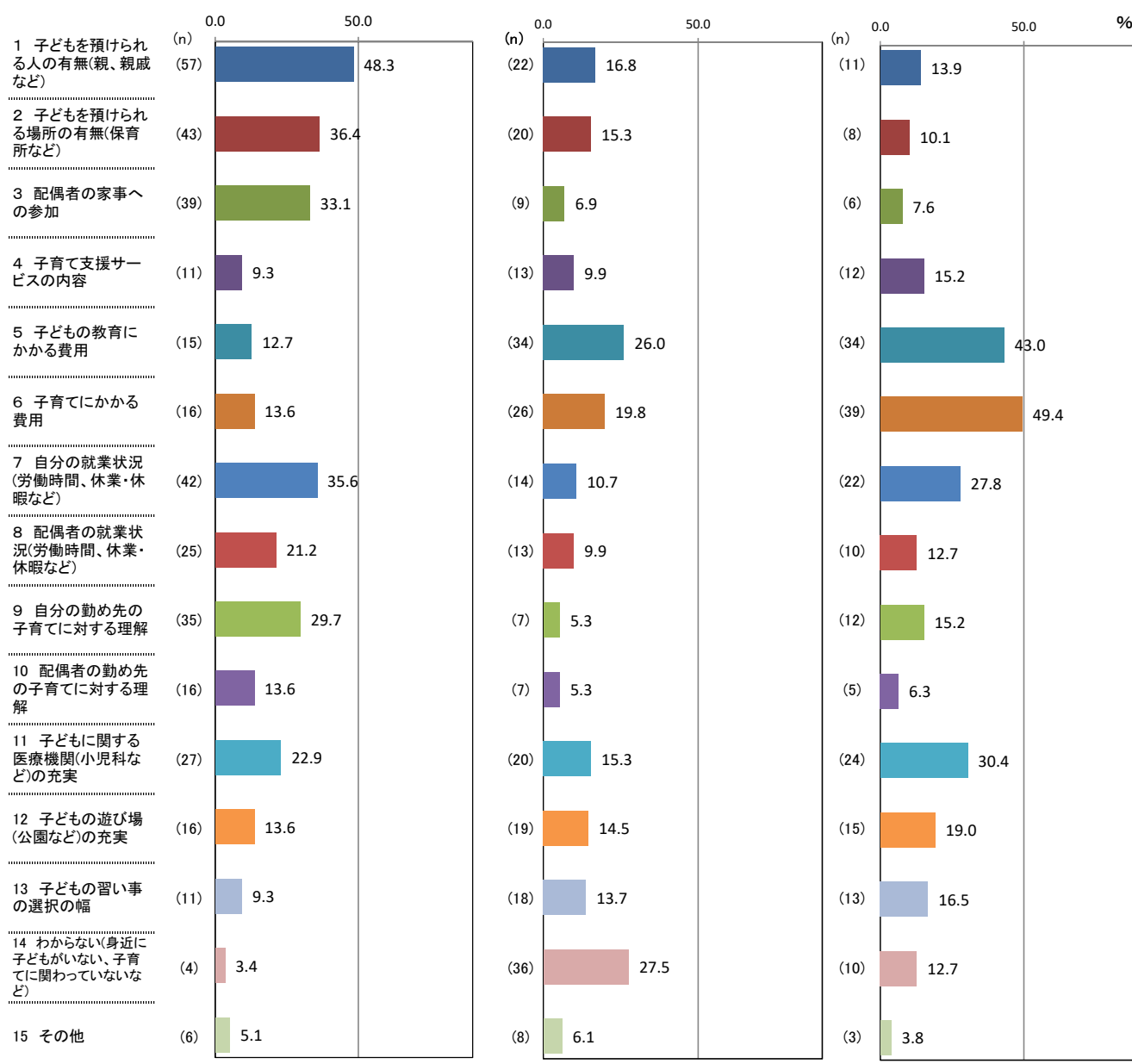
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(45名中2名記載)
・*****が仕事でない。
・ひとり暮らし

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答理由「子育て」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 118 人 (363)	②「どちらともいえない」の回答 131 人 (266)	③「あまり感じない・感じない」の回答 79 人 (224)
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (57)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (36)	6 子育てにかかる費用 (39)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (43)	5 子どもの教育にかかる費用 (34)	5 子どもの教育にかかる費用 (34)
3	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (42)	6 子育てにかかる費用 (26)	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (24)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(4) 「子育て」についての回答理由 (問1-1 (4) ①あなたは子育てがしやすいと感じますか。の次の②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。に対する回答 (複数回答可))

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(保親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育園など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	9 自分の助め先の子育てに対する理解	10 配偶者の助め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わが家族に近い子どもがいない、子育てに困っていない(など)	15 その他
①「感じる・やや感じる」																
②「どちらともいえない」		48.3	36.4	33.1	9.3	12.7	13.6	35.6	21.2	29.7	13.6	22.9	13.6	9.3	3.4	5.1
③「あまり感じない・感じない」		16.8	15.3	6.9	9.9	26.0	19.8	10.7	9.9	5.3	5.3	15.3	14.5	13.7	27.5	6.1
		13.9	10.1	7.6	15.2	43.0	49.4	27.8	12.7	15.2	6.3	30.4	19.0	16.5	12.7	3.8

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(保親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育園など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	9 自分の助め先の子育てに対する理解	10 配偶者の助め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わが家族に近い子どもがいない、子育てに困っていない(など)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=118人)	363	57	43	39	11	15	16	42	25	35	16	27	16	11	4	6
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=131人)	266	22	20	9	13	34	26	14	13	7	7	20	19	18	36	8
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=79人)	224	11	8	6	12	34	39	22	10	12	5	24	15	13	10	3

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(118名中3名記載)
・5、6、11、12、13に関してはあてにしているから ・子育てが終わった ・もう成人している

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(131名中5名記載)
・孫が保育園に行けない日は看病に行くが、その後自分が体調不良になる ・子育て→まご育てに参加中
・同部落に子供がいないので、いっしょに通学したり、遊んだりできない。 ・給食 ・子育てが終わっている

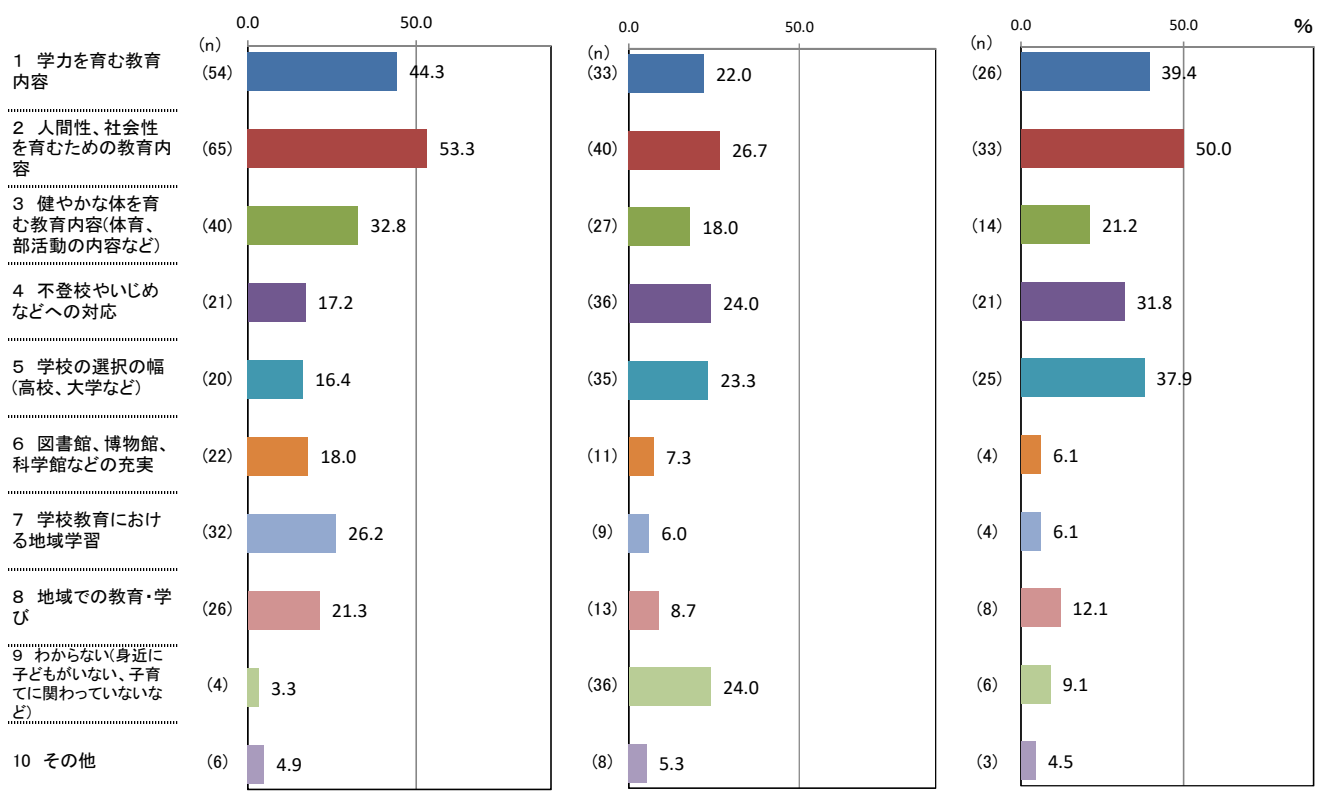
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(79名中2名記載)
・専業主婦が減少したため ・どなりがトイレの戸をうるさくする。それが響く。

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (290) 122 人	②「どちらともいえない」の回答 (248) 150 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (144) 66 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (65)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (40)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (33)
2	1 学力を育む教育内容 (54)	4 不登校やいじめなどへの対応 (36)	1 学力を育む教育内容 (26)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (40)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (36)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (25)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由 (問1-1(5)「①あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性・社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わかち(身近に子どもがいない、子育てに困っていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		44.3	53.3	32.8	17.2	16.4	18.0	26.2	21.3	3.3	4.9
②「どちらともいえない」		22.0	26.7	18.0	24.0	23.3	7.3	6.0	8.7	24.0	5.3
③「あまり感じない・感じない」		39.4	50.0	21.2	31.8	37.9	6.1	6.1	12.1	9.1	4.5

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性・社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わかち(身近に子どもがいない、子育てに困っていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=122人)	290	54	65	40	21	20	22	32	26	4	6
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=150人)	248	33	40	27	36	35	11	9	13	36	8
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=66人)	144	26	33	14	21	25	4	4	8	6	3

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(122名中3名記載)
・親の関与・経済的余裕
・子育ては終わり子供と暮していない
・中学校の校舎

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(150名中5名記載)
・子育て中の娘達から今の教育内容を聞く事もある。相談を受けた時だけアドバイスする程度。
・赤ちゃんなので、まだわからない
・発達障害児等の支援
・部活動やスポ少
・高校の長期休暇のバランス

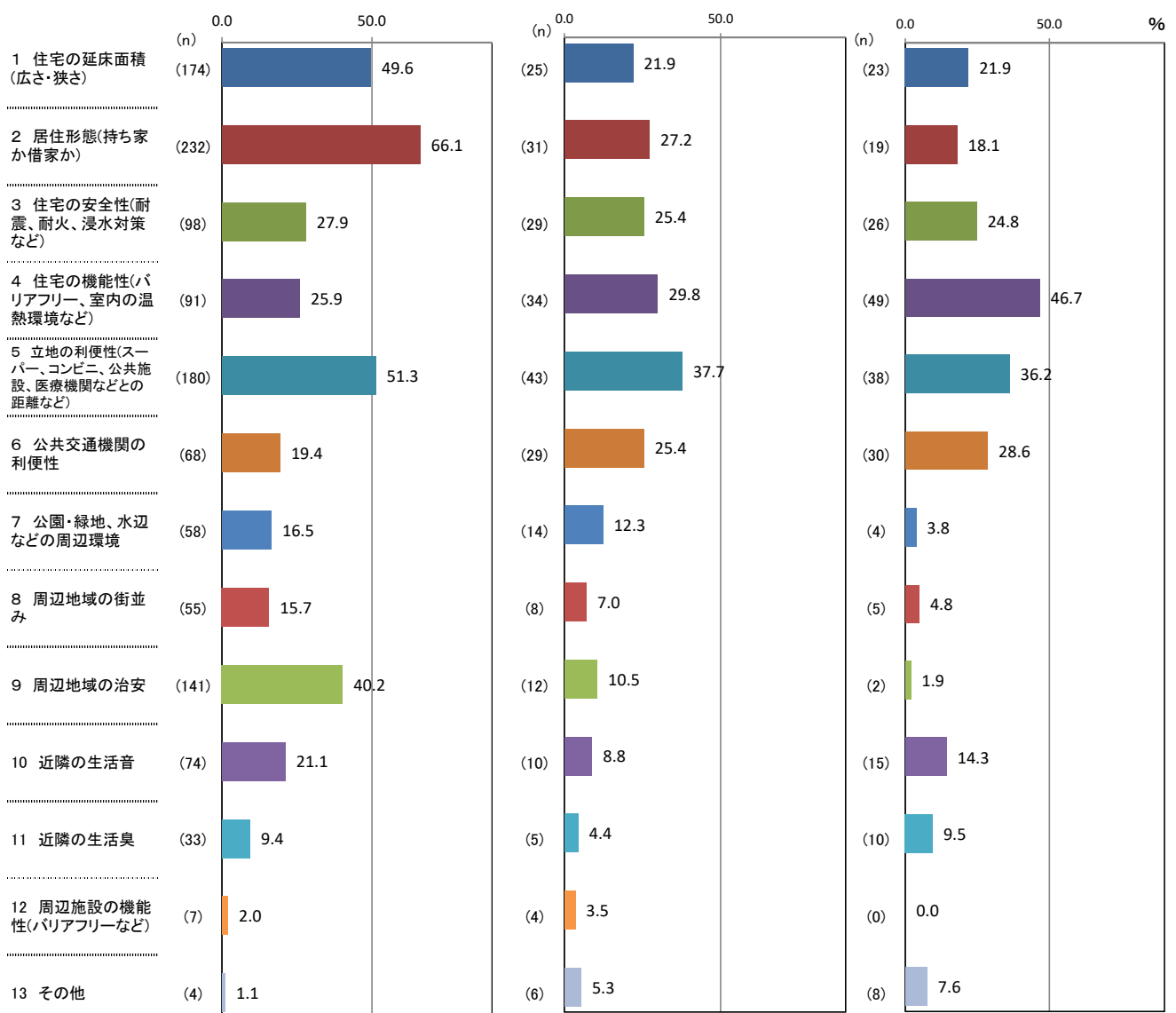
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(66名中1名記載)
・人手不足

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「住まいの快適さ」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,215) 351 人	②「どちらともいえない」の回答 (250) 114 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (229) 105 人
1	2 居住形態(持ち家か・借家か) (232)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (43)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (49)
2	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (180)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (34)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (38)
3	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (174)	2 居住形態(持ち家か・借家か) (31)	6 公共交通機関の利便性 (30)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(6) 住まいの快適さについての回答理由 (問1-1(6))「①あなたは住まいに快適さを感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性能(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の通気環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設などの距離)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地・水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」		49.6	66.1	27.9	25.9	51.3	19.4	16.5	15.7	40.2	21.1	9.4	2.0	1.1
②「どちらともいえない」		21.9	27.2	25.4	29.8	37.7	25.4	12.3	7.0	10.5	8.8	4.4	3.5	5.3
③「あまり感じない・感じない」		21.9	18.1	24.8	46.7	36.2	28.6	3.8	4.8	1.9	14.3	9.5	0.0	7.6

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か借家か)	3 住宅の安全性能(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の通気環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設などの距離)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地・水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=351人)	1,215	174	232	98	91	180	68	58	55	141	74	33	7	4
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=114人)	250	25	31	29	34	43	29	14	8	12	10	5	4	6
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=105人)	229	23	19	26	49	38	30	4	5	2	15	10	0	8

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(351名中4名記載)
・立地(自然豊か)環境
・庭が広く、野菜や果物を多く収穫できる。
・高台住居
・気候が良い。

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(114名中4名記載)
・グッドデザイン賞の受賞
・断熱性
・こみの分別がかんたん
・古いので

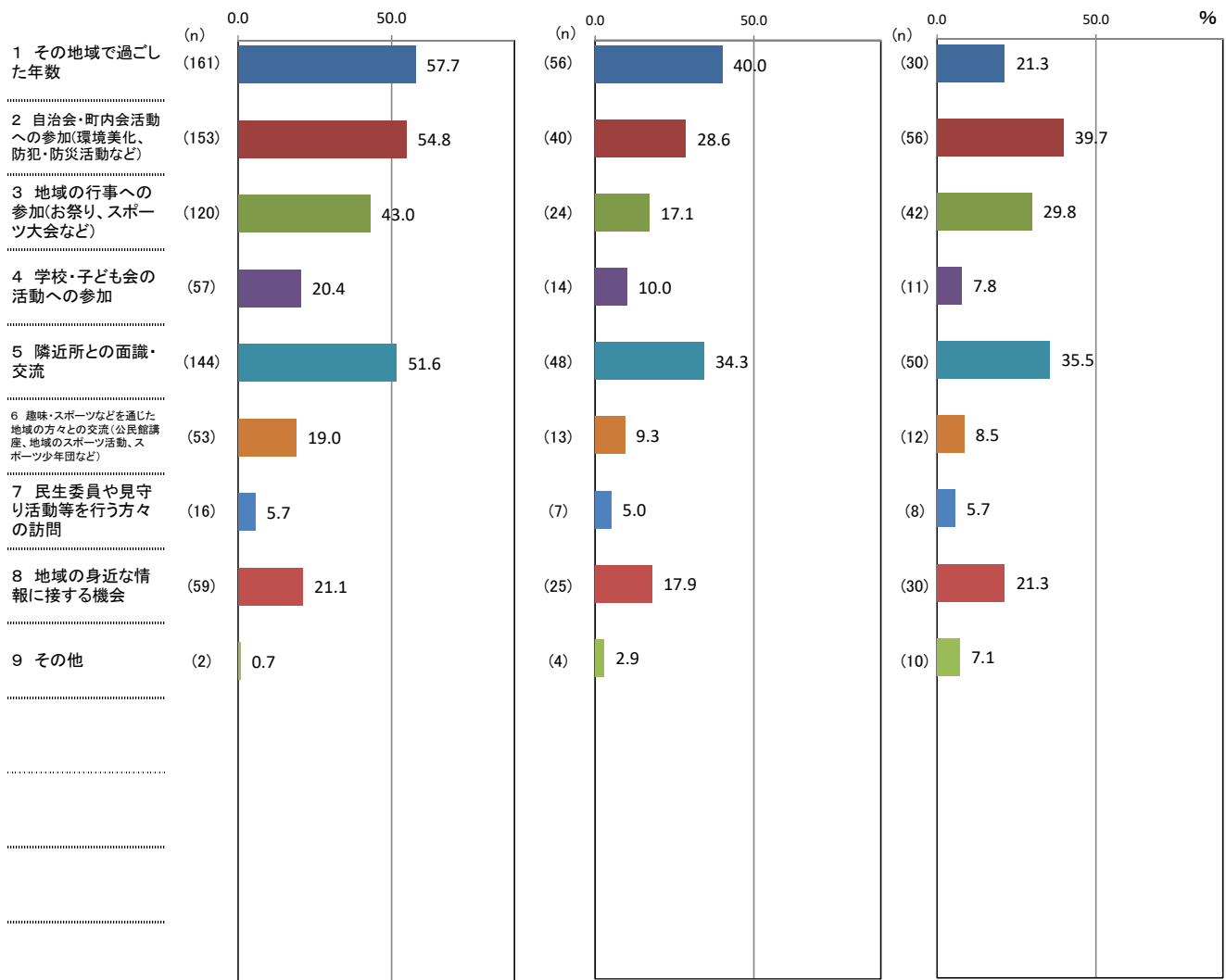
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(105名中4名記載)
・高熱費が高くて大変
・悪臭、煙
・家族の名義の家、親の介護
・田舎の為、移動手段が車しか無いが、ガソリンが高く…。

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会とのつながり」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (765) 279 人	②「どちらともいえない」の回答 (231) 140 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (249) 141 人
1	1 その地域で過ごした年数 (161)	1 その地域で過ごした年数 (56)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (56)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (153)	5 隣近所との面識・交流 (48)	5 隣近所との面識・交流 (50)
3	5 隣近所との面識・交流 (144)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (40)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (42)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由 (問1-1(7)「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じて地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団など)	7 民生委員等を行う方々の訪問	8 地域の身元情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		57.7	54.8	43.0	20.4	51.6	19.0	5.7	21.1	0.7
②「どちらともいえない」		40.0	28.6	17.1	10.0	34.3	9.3	5.0	17.9	2.9
③「あまり感じない・感じない」		21.3	39.7	29.8	7.8	35.5	8.5	5.7	21.3	7.1

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じて地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動)	7 民生委員等を行う方々の訪問	8 地域の身元情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=279人)	765	161	153	120	57	144	53	16	59	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=140人)	231	56	40	24	14	48	13	7	25	4
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=141人)	249	30	56	42	11	50	12	8	30	10

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(279名中0名記載)

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(140名中3名記載)
・伝統を大事にしすぎる地方 ・現在、大学生で学業と部活に専念 ・デイクアに通っている。

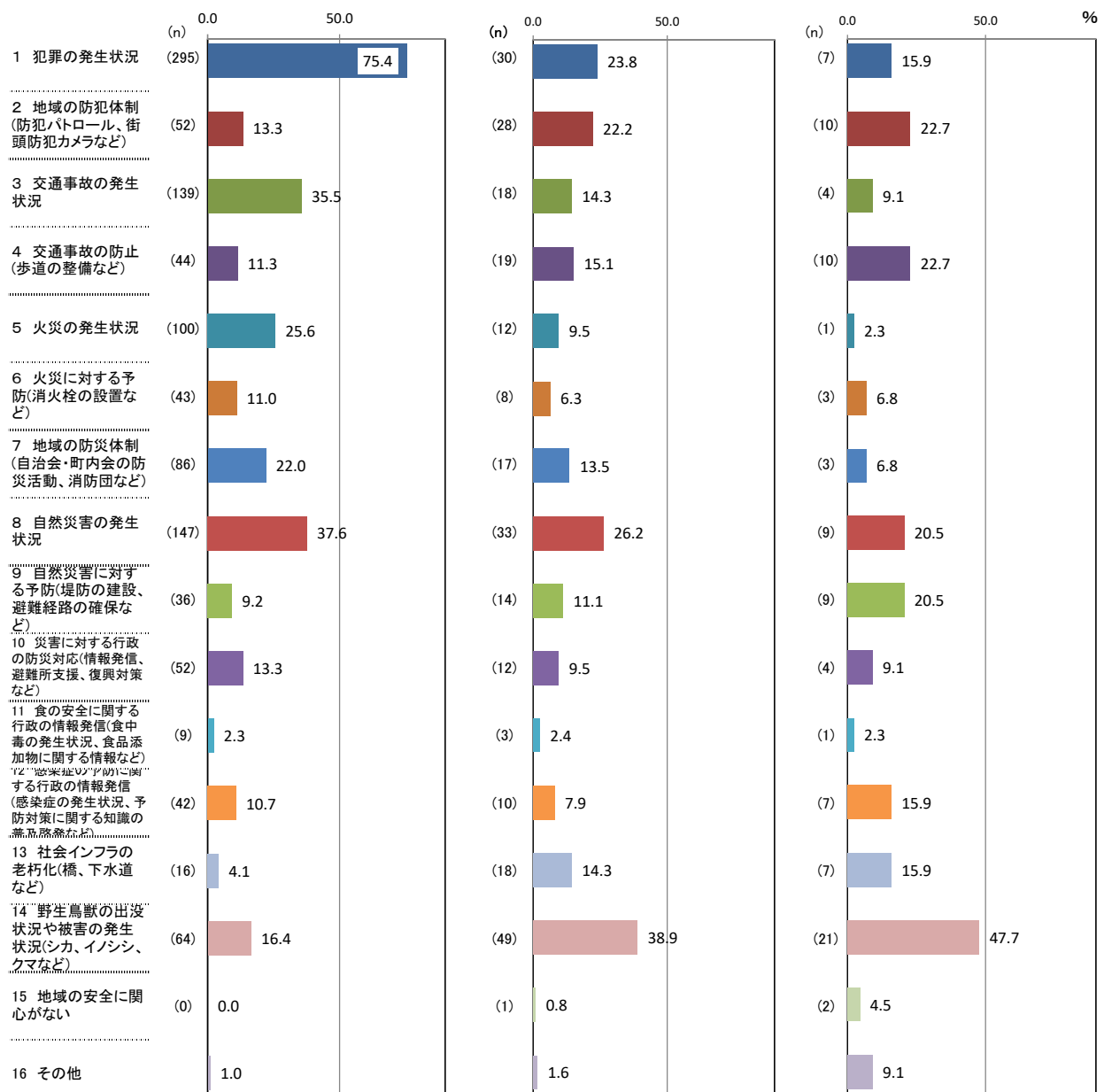
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(141名中5名記載)
・仕事中心の生活のため ・興味がない ・居住形態 ・村民性、市民性の性格

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 391 人 (1,129)	②「どちらともいえない」の回答 126 人 (274)	③「あまり感じない・感じない」の回答 44 人 (102)
1	1 犯罪の発生状況 (295)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (49)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (21)
2	8 自然災害の発生状況 (147)	8 自然災害の発生状況 (33)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (10)
3	3 交通事故の発生状況 (139)	1 犯罪の発生状況 (30)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (10)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(8)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(8))①あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラ(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		75.4	13.3	35.5	11.3	25.6	11.0	22.0	37.6	9.2	13.3	2.3	10.7	4.1	16.4	0.0	1.0
②「どちらともいえない」		23.8	22.2	14.3	15.1	9.5	6.3	13.5	26.2	11.1	9.5	2.4	7.9	14.3	38.9	0.8	1.6
③「あまり感じない・感じない」		15.9	22.7	9.1	22.7	2.3	6.8	6.8	20.5	20.5	9.1	2.3	15.9	15.9	47.7	4.5	9.1

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラ(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=391人)	1,129	295	52	139	44	100	43	86	147	36	52	9	42	16	64	0	4
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=126人)	274	30	28	18	19	12	8	17	33	14	12	3	10	18	49	1	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=44人)	102	7	10	4	10	1	3	3	9	9	4	1	7	7	21	2	4

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(391名中2名記載)
 ・外灯が少ない。外国の人が多くなくなってきている。
 ・高齢化が進み、1人暮らしや、認知症の人が出てきているのが心配

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(126名中3名記載)
 ・食品添加物について
 ・相対的に安全かは不明
 ・隣家が少なく不安なところもある。

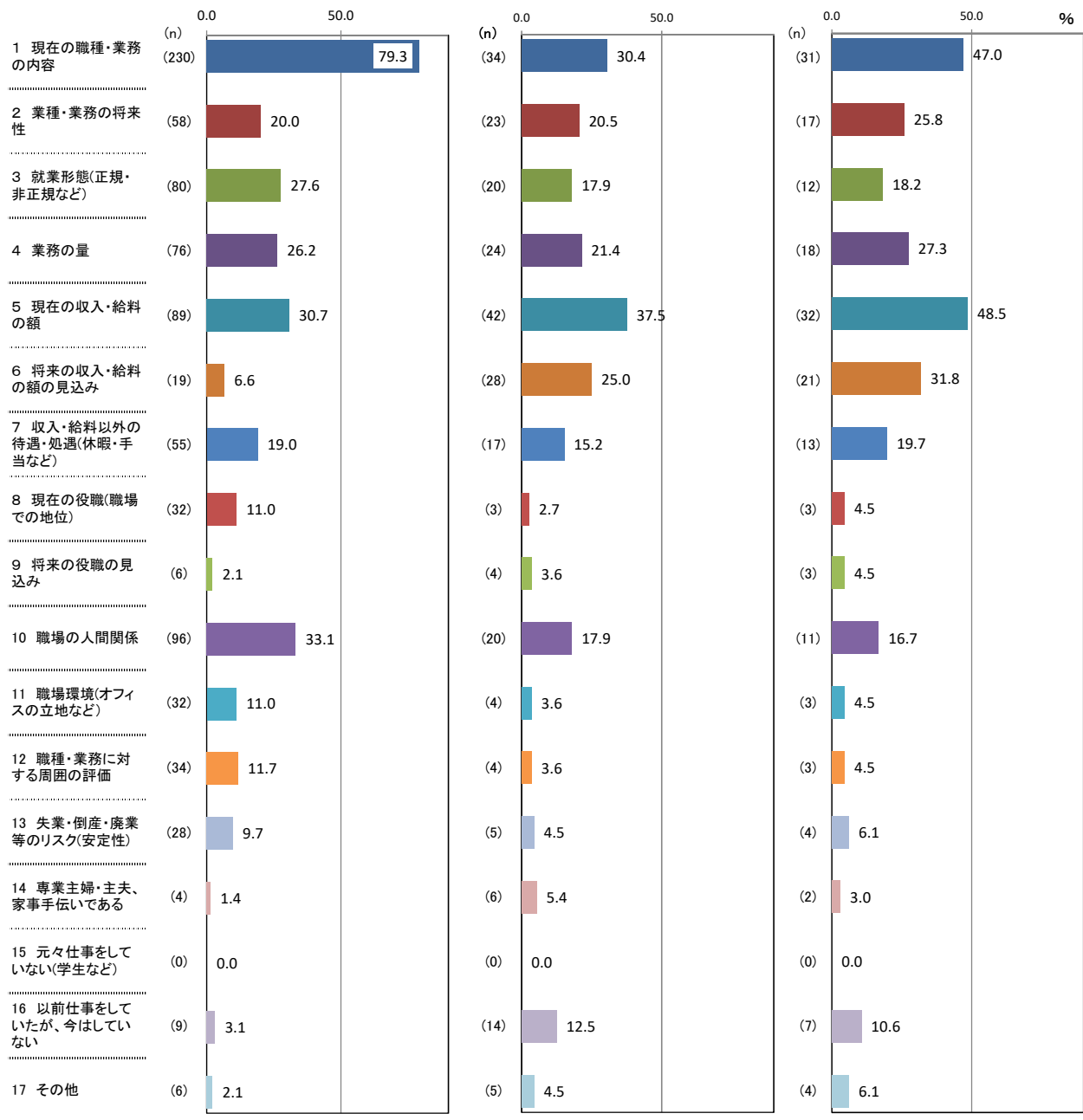
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(44名中2名記載)
 ・鍵の無施錠、外国人の増化(?)
 ・市民・県民・国民を大事にしない

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (854) 290 人	②「どちらともいえない」の回答 (253) 112 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (184) 66 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (230)	5 現在の収入・給料の額 (42)	5 現在の収入・給料の額 (32)
2	10 職場の人間関係 (96)	1 現在の職種・業務の内容 (34)	1 現在の職種・業務の内容 (31)
3	5 現在の収入・給料の額 (89)	6 将来の収入・給料の額の見込み (28)	6 将来の収入・給料の額の見込み (21)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9)「仕事のやりがい」についての回答理由(問1-1(9)「①あなたは仕事にやりがいを感ずますか。」「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」「に対する回答(複数回答可)」

区分	計	1 現在の職種・業務の内 容	2 業種・業務 の将来性	3 就業形態 (正規・非正規 など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料 以外の待遇・ 処遇(休暇・手 当など)	8 現在の役職・職場での 地位	9 将来の役職の 見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立 地など)	12 職種・業 務に対する周 囲の評価	13 失業・倒 産・廃業等の リスク(安定 性)	14 専業主 婦・主夫、家 の手伝いで ある	15 元々仕事 をしていない (学生など)	16 以前仕事 をしていた が、今はして いない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		79.3	20.0	27.6	26.2	30.7	6.6	19.0	11.0	2.1	33.1	11.0	11.7	9.7	1.4	0.0	3.1	2.1
②「どちらともいえない」		30.4	20.5	17.9	21.4	37.5	25.0	15.2	2.7	3.6	17.9	3.6	3.6	4.5	5.4	0.0	12.5	4.5
③「あまり感じない・感じない」		47.0	25.8	18.2	27.3	48.5	31.8	19.7	4.5	4.5	16.7	4.5	4.5	6.1	3.0	0.0	10.6	6.1

区分	計	1 現在の職種・業務の内 容	2 業種・業務 の将来性	3 就業形態 (正規・非正規 など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料 以外の待遇・ 処遇(休暇・手 当など)	8 現在の役職・職場での 地位	9 将来の役職の 見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立 地など)	12 職種・業 務に対する周 囲の評価	13 失業・倒 産・廃業等の リスク(安定 性)	14 専業主 婦・主夫、家 の手伝いで ある	15 元々仕事 をしていない (学生など)	16 以前仕事 をしていた が、今はして いない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=290人)	854	230	58	80	76	89	19	55	32	6	96	32	34	28	4	0	9	6
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=112人)	253	34	23	20	24	42	28	17	3	4	20	4	4	5	6	0	14	5
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=66人)	184	31	17	12	18	32	21	13	3	3	11	3	3	4	2	0	7	4

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(290名中3名記載)
・家族の仕事の手伝い、サポート。
・無職農業
・家業を手伝っている給料はない

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(112名中2名記載)
・短期間で仕事を休むが、孫が真実い悪い休まなければならぬ迷惑をかける
・お金がもらえればそれでいい。やりがい求めてない

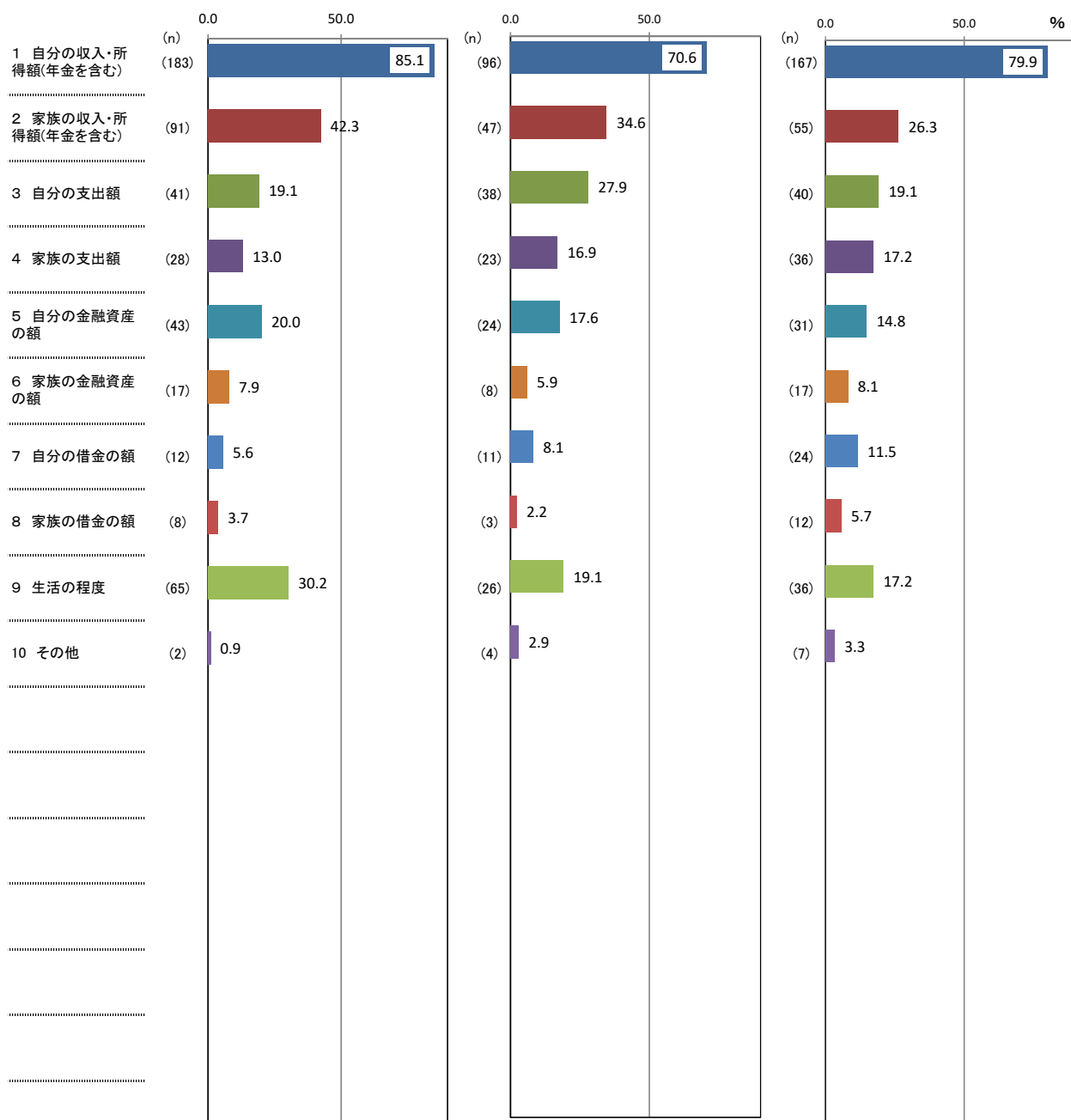
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(66名中1名記載)
・やりがいを求めて仕事をしているものではないため

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 215 人 (490)	②「どちらともいえない」の回答 136 人 (280)	③「あまり感じない・感じない」の回答 209 人 (425)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (183)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (96)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (167)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (91)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (47)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (55)
3	9 生活の程度 (65)	3 自分の支出額 (38)	3 自分の支出額 (40)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(10)「必要な収入や所得」についての回答理由 (問1-1(10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.1	42.3	19.1	13.0	20.0	7.9	5.6	3.7	30.2	0.9
②「どちらともいえない」		70.6	34.6	27.9	16.9	17.6	5.9	8.1	2.2	19.1	2.9
③「あまり感じない・感じない」		79.9	26.3	19.1	17.2	14.8	8.1	11.5	5.7	17.2	3.3

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=215人)	490	183	91	41	28	43	17	12	8	65	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=136人)	280	96	47	38	23	24	8	11	3	26	4
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=209人)	425	167	55	40	36	31	17	24	12	36	7

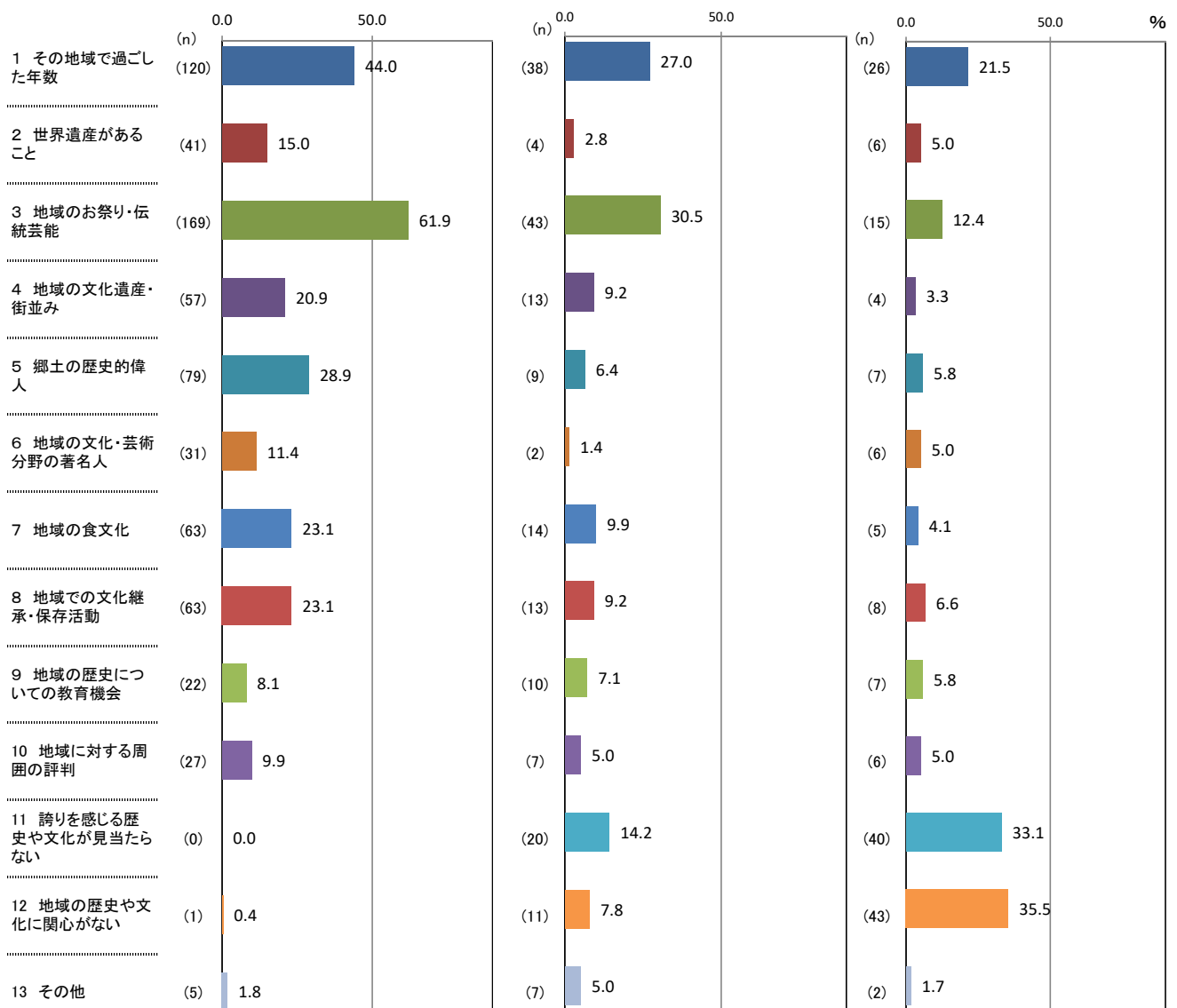
①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(215名中1名記載) ・物価高に収入が追いついていない。教育にも金がかかり過ぎる。
②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(136名中4名記載) ・高令、母の入院費大。 ・転職をして、これから収入が発生するため ・年金暮らしである。 ・実感がない
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(209名中4名記載) ・内職のため ・無職なので ・仕事を辞めて収入がなくなったため ・物価高で苦しい

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (678) 273 人	②「どちらともいえない」の回答 (191) 141 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (175) 121 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (169)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (43)	12 地域の歴史や文化に関心がない (43)
2	1 その地域で過ごした年数 (120)	1 その地域で過ごした年数 (38)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (40)
3	5 郷土の歴史的偉人 (79)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (20)	1 その地域で過ごした年数 (26)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(11) 歴史・文化への誇りについての回答理由 (問1-1(1)「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史・歴史的偉人の存在	6 地域の文化・芸術分野の著名人の存在	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評価	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		44.0	15.0	61.9	20.9	28.9	11.4	23.1	23.1	8.1	9.9	0.0	0.4	1.8
②「どちらともいえない」		27.0	2.8	30.5	9.2	6.4	1.4	9.9	9.2	7.1	5.0	14.2	7.8	5.0
③「あまり感じない・感じない」		21.5	5.0	12.4	3.3	5.8	5.0	4.1	6.6	5.8	5.0	33.1	35.5	1.7

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史・歴史的偉人の存在	6 地域の文化・芸術分野の著名人の存在	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評価	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=273人)	678	120	41	169	57	79	31	63	63	22	27	0	1	5
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=141人)	191	38	4	43	13	9	2	14	13	10	7	20	11	7
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=121人)	175	26	6	15	4	7	6	5	8	7	6	40	43	2

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(273名中5名記載)
 ・蜜の里があり、水がきれいにしてる。
 ・文化財に関わる所で働いている
 ・国の登録有形文化財があること

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(141名中4名記載)
 ・歴史・文化に触れる機会が減っている
 ・自分がいる所の歴史や文化がよくわからない。
 ・「誇り」と言える程ではない。
 ・特になにもない為

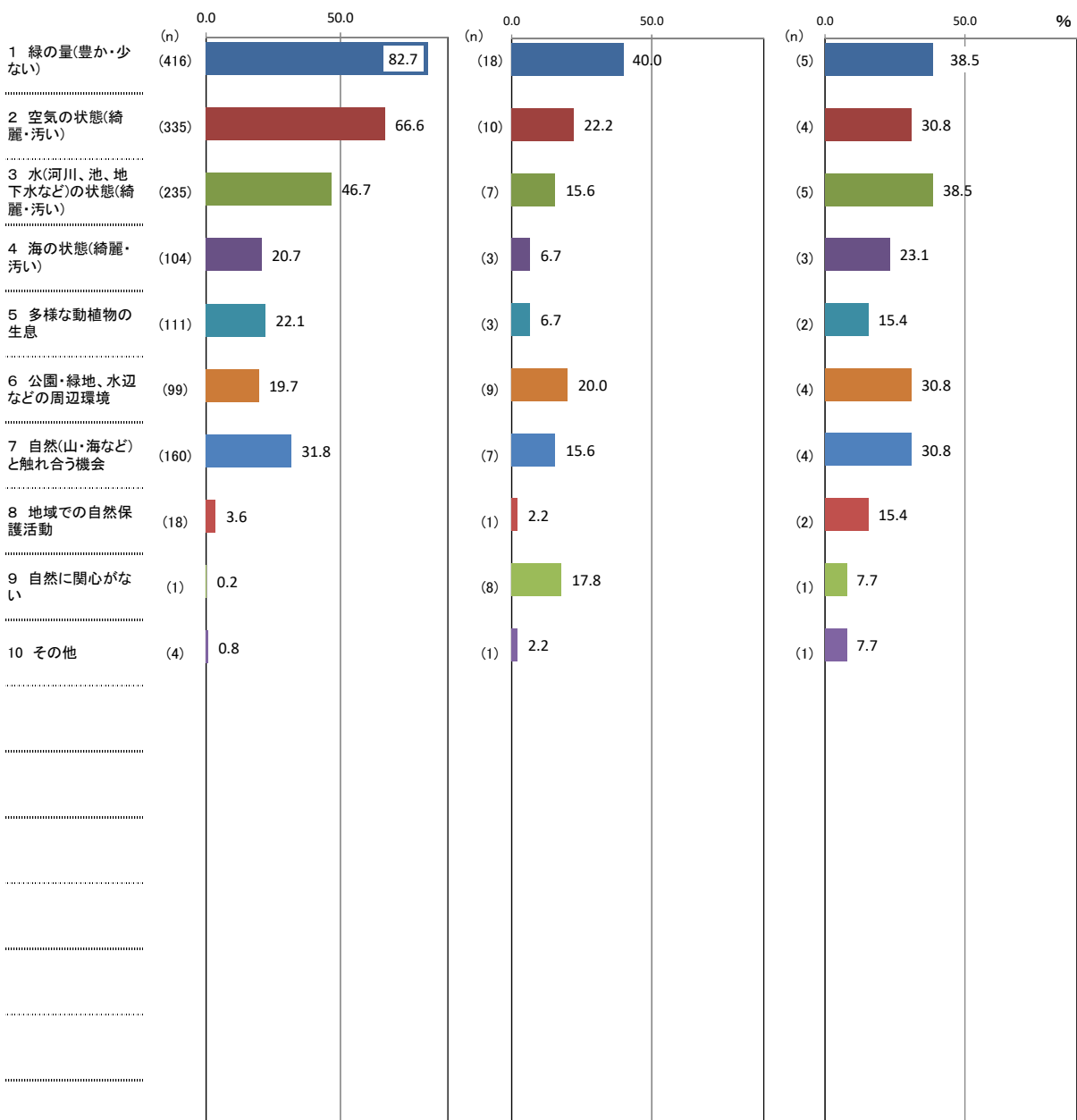
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(121名中2名記載)
 ・ミヤクラ、岩手さちこ
 ・今

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「自然のゆたかさ」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,483) 503 人	②「どちらともいえない」の回答 (67) 45 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (31) 13 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (416)	1 緑の量(豊か・少ない) (18)	1 緑の量(豊か・少ない) (5)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (335)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (10)	3 水(河川、池、地下水などの)状態(綺麗・汚い) (5)
3	3 水(河川、池、地下水などの)状態(綺麗・汚い) (235)	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (9)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (4)
			6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (4)
			7 自然(山・海など)と触れ合う機会 (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数 / 該当者数 × 100

【補足調査】
 (12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12))「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.7	66.6	46.7	20.7	22.1	19.7	31.8	3.6	0.2	0.8
②「どちらともいえない」		40.0	22.2	15.6	6.7	6.7	20.0	15.6	2.2	17.8	2.2
③「あまり感じない・感じない」		38.5	30.8	38.5	23.1	15.4	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝503人)	1,483	416	335	235	104	111	99	160	18	1	4
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝45人)	67	18	10	7	3	3	9	7	1	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝13人)	31	5	4	5	3	2	4	4	2	1	1

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(503名中2名記載)
 ・雪
 ・自然は豊かすぎます。

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(45名中0名記載)

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(13名中0名記載)

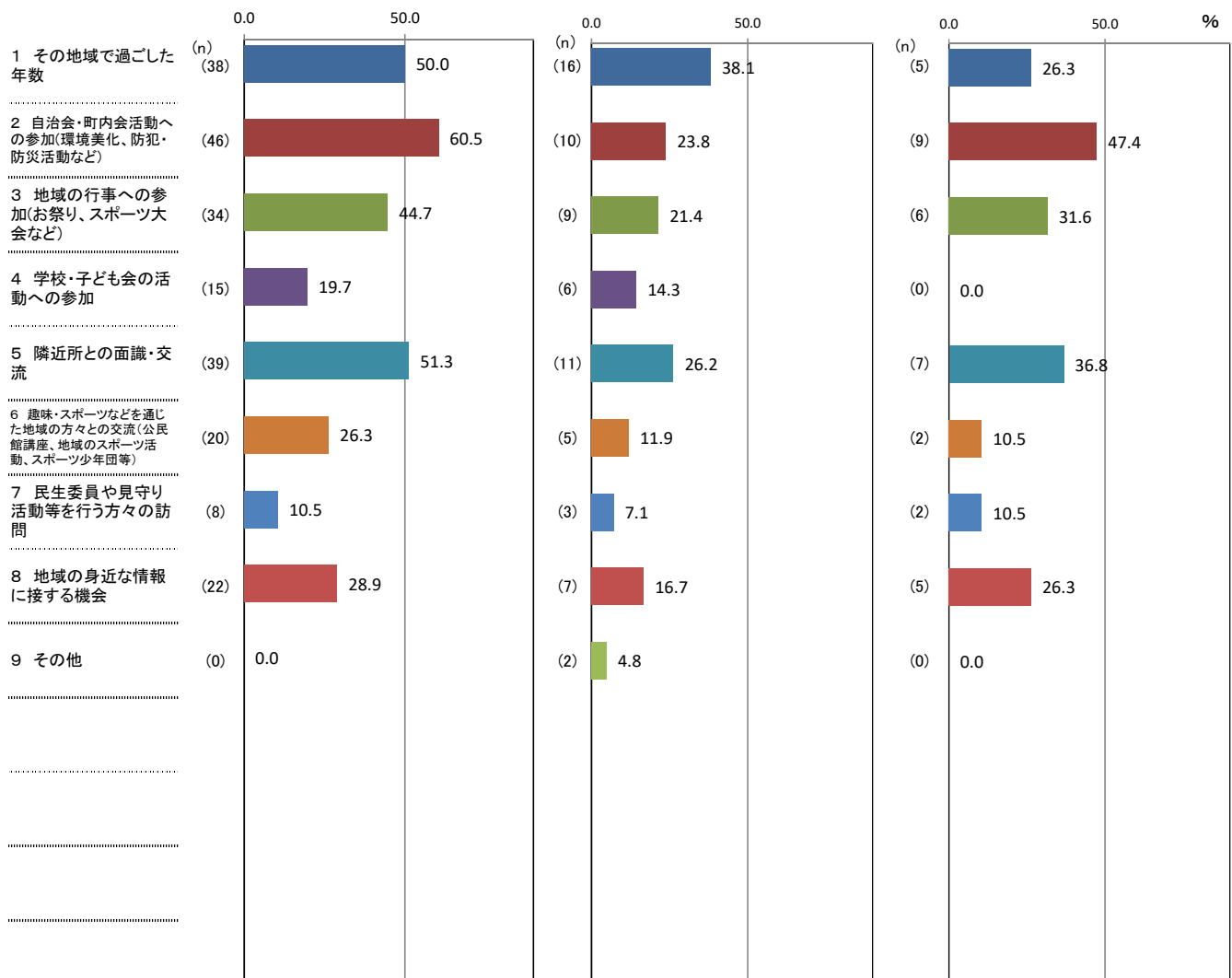
(2)基準年(令和5年)からの変化

①有意な差が見られた属性(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (222) 76 人	②「どちらともいえない」の回答 (69) 42 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (36) 19 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (46)	1 その地域で過ごした年数 (16)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (9)
2	5 隣近所との面識・交流 (39)	5 隣近所との面識・交流 (11)	5 隣近所との面識・交流 (7)
3	1 その地域で過ごした年数 (38)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (6)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜沿岸広域振興圏＞

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	60.5	44.7	19.7	51.3	26.3	10.5	28.9	0.0
②「どちらともいえない」		38.1	23.8	21.4	14.3	26.2	11.9	7.1	16.7	4.8
③「あまり感じない・感じない」		26.3	47.4	31.6	0.0	36.8	10.5	10.5	26.3	0.0

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=76人)	222	38	46	34	15	39	20	8	22	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=42人)	69	16	10	9	6	11	5	3	7	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=19人)	36	5	9	6	0	7	2	2	5	0

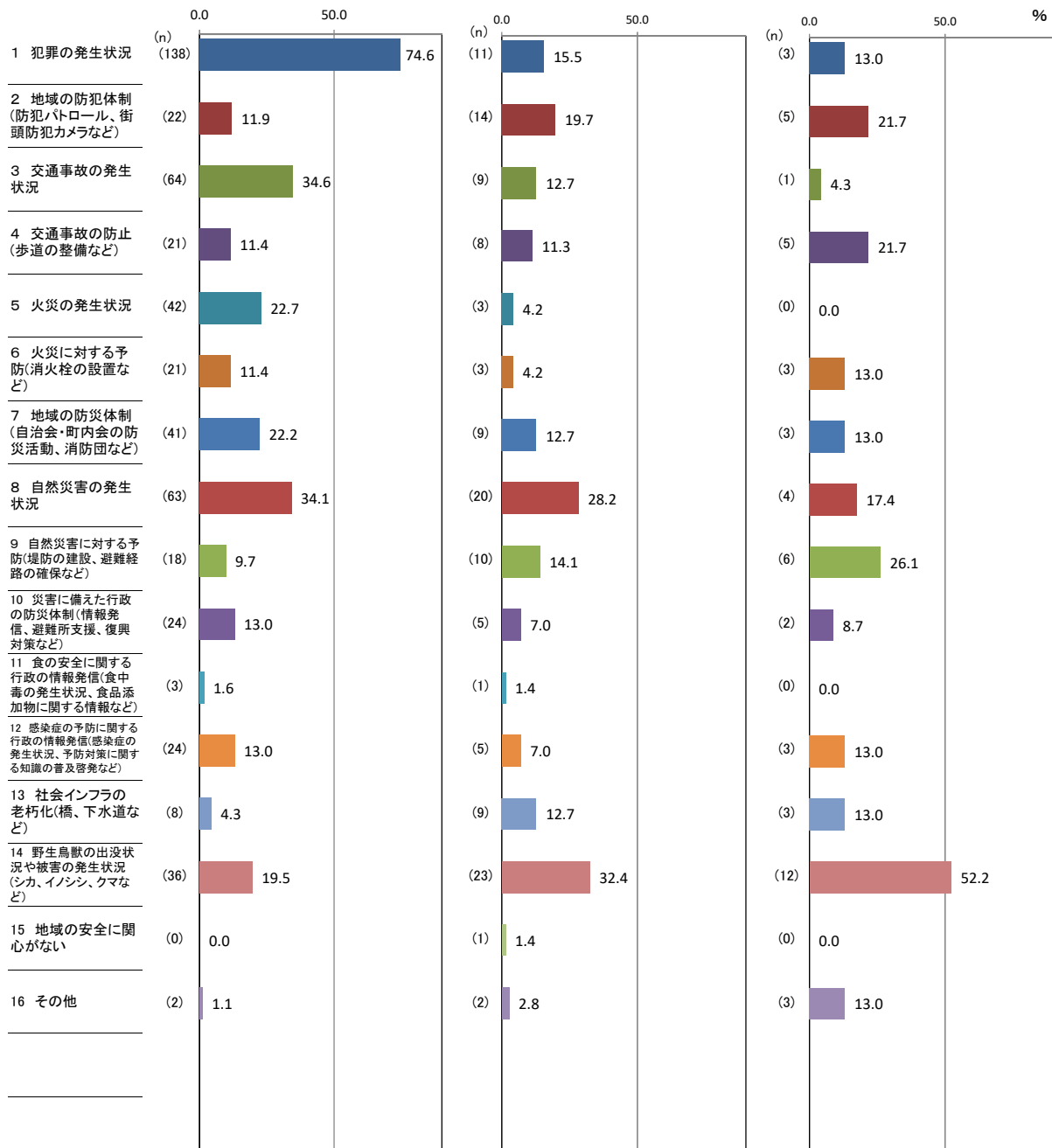
(2)基準年(令和5年)からの変化

①有意な差が見られた属性(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 185 人 (527)	②「どちらともいえない」の回答 71 人 (133)	③「あまり感じない・感じない」の回答 23 人 (53)
1	1 犯罪の発生状況 (138)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (23)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (12)
2	3 交通事故の発生状況 (64)	8 自然災害の発生状況 (20)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6)
3	8 自然災害の発生状況 (63)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (14)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5) 4 交通事故の防止(歩道の整備など) (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<女性>

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の整備、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」	74.6	11.9	34.6	11.4	22.7	11.4	22.2	34.1	9.7	13.0	1.6	13.0	4.3	19.5	0.0	1.1
②「どちらともいえない」	15.5	19.7	12.7	11.3	4.2	4.2	12.7	28.2	14.1	7.0	1.4	7.0	12.7	32.4	1.4	2.8
③「あまり感じない・感じない」	13.0	21.7	4.3	21.7	0.0	13.0	13.0	17.4	26.1	8.7	0.0	13.0	13.0	52.2	0.0	13.0

(件)

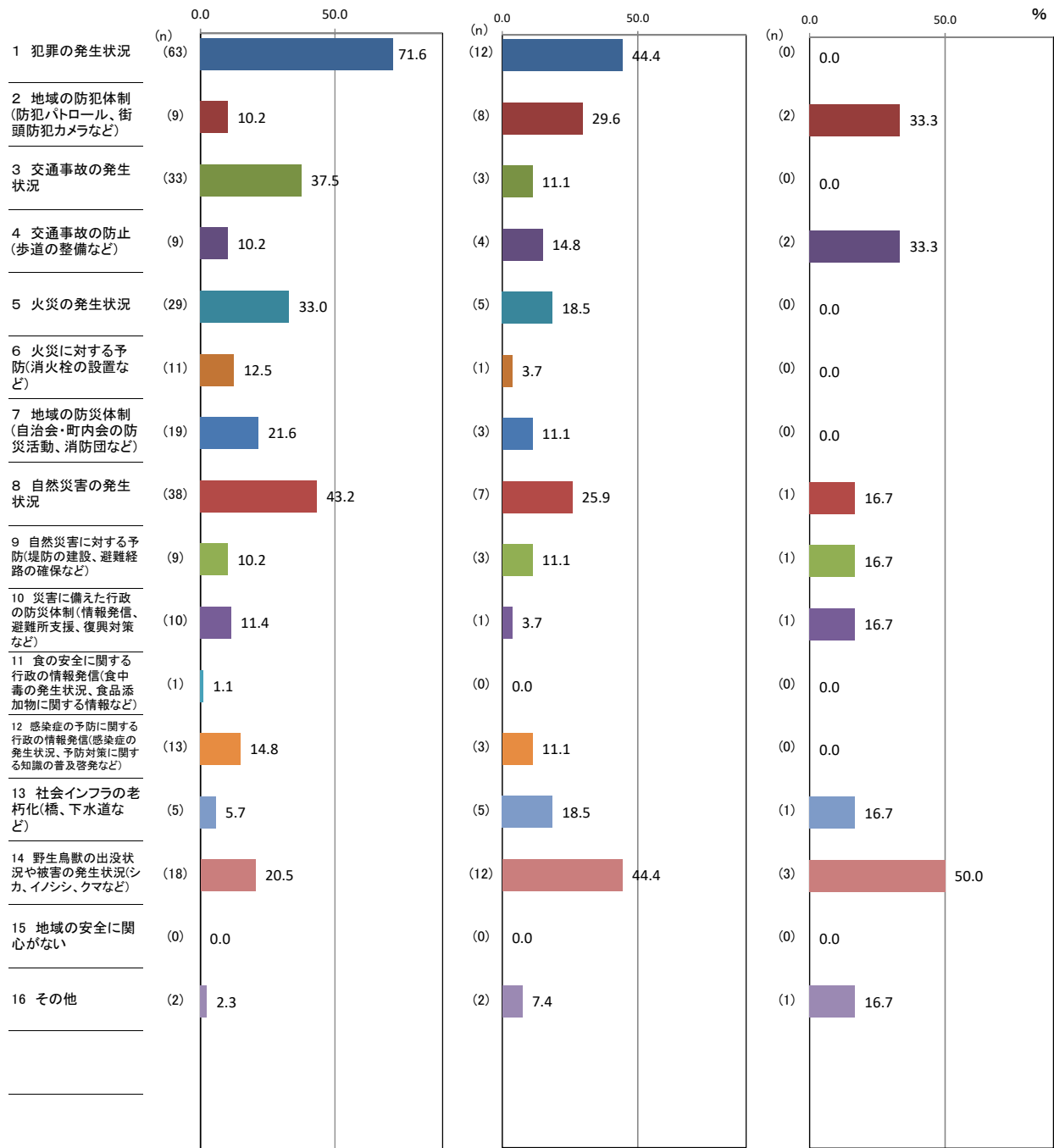
区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の整備、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=185人)	527	138	22	64	21	42	21	63	18	24	3	24	8	36	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=71人)	133	11	14	9	3	3	9	20	10	5	1	5	9	23	1	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=23人)	53	3	5	1	5	0	3	4	6	2	0	3	3	12	0	3

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (269) 88 人	②「どちらともいえない」の回答 (69) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (12) 6 人
1	1 犯罪の発生状況 (63)	1 犯罪の発生状況 (12)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (3)
2	8 自然災害の発生状況 (38)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (12)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (2)
3	3 交通事故の発生状況 (33)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (8)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (2)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜夫婦のみ＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		71.6	10.2	37.5	10.2	33.0	12.5	21.6	43.2	10.2	11.4	1.1	14.8	5.7	20.5	0.0	2.3
②「どちらともいえない」		44.4	29.6	11.1	14.8	18.5	3.7	11.1	25.9	11.1	3.7	0.0	11.1	18.5	44.4	0.0	7.4
③「あまり感じない・感じない」		0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	16.7

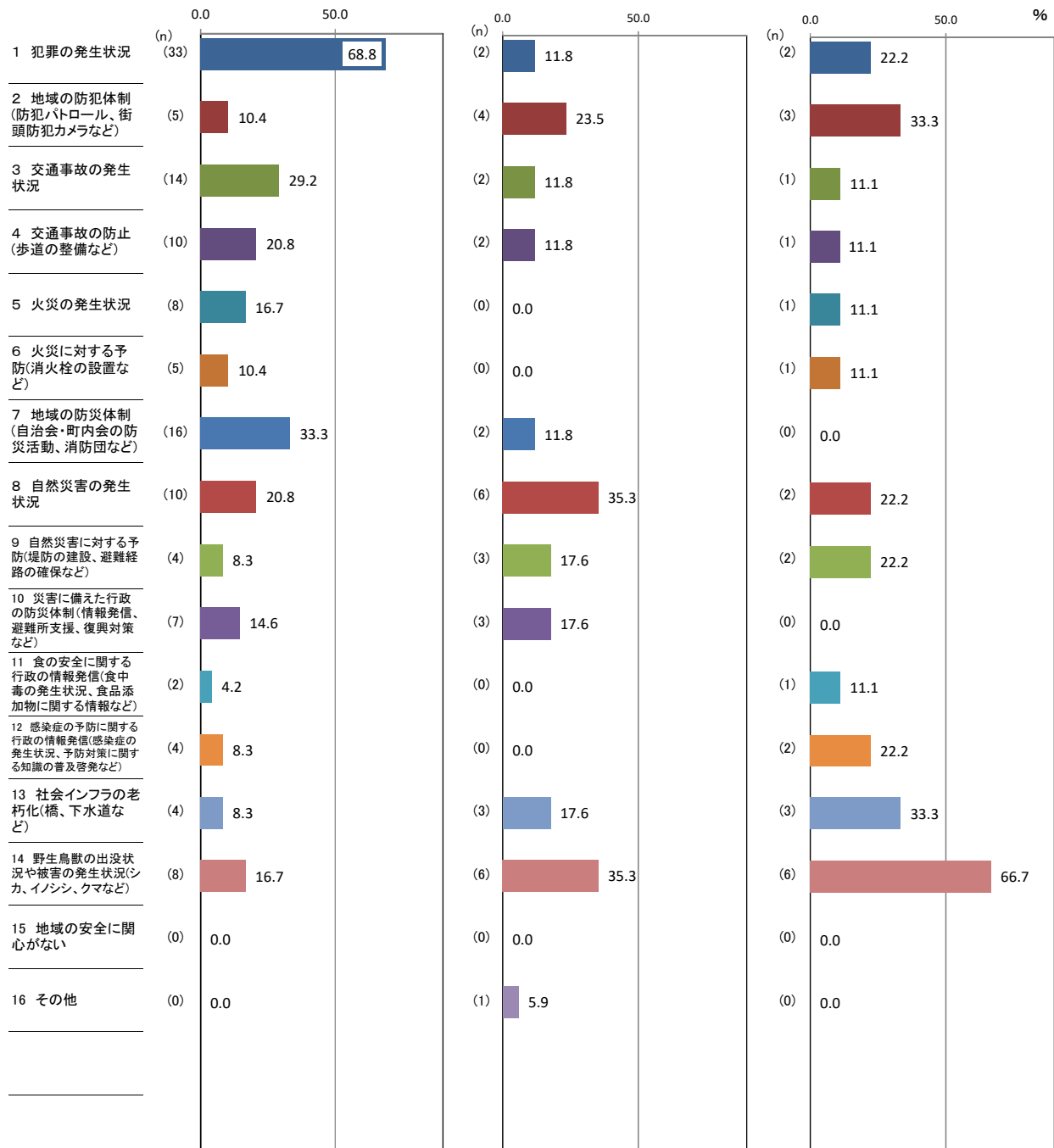
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=88人)	269	63	9	33	9	29	11	19	38	9	10	1	13	5	18	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=27人)	69	12	8	3	4	5	1	3	7	3	1	0	3	5	12	0	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=6人)	12	0	2	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0	1	3	0	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜3世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (130) 48 人	②「どちらともいえない」の回答 (34) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 9 人
1	1 犯罪の発生状況 (33)	8 自然災害の発生状況 (6)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (6)
2	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (16)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (6) 1位	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (3)
3	3 交通事故の発生状況 (14)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (3) 2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<3世代世帯>

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」	68.8	10.4	29.2	20.8	16.7	10.4	33.3	20.8	8.3	14.6	4.2	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0
②「どちらともいえない」	11.8	23.5	11.8	11.8	0.0	0.0	11.8	35.3	17.6	17.6	0.0	0.0	17.6	35.3	0.0	5.9
③「あまり感じない・感じない」	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2	33.3	66.7	0.0	0.0

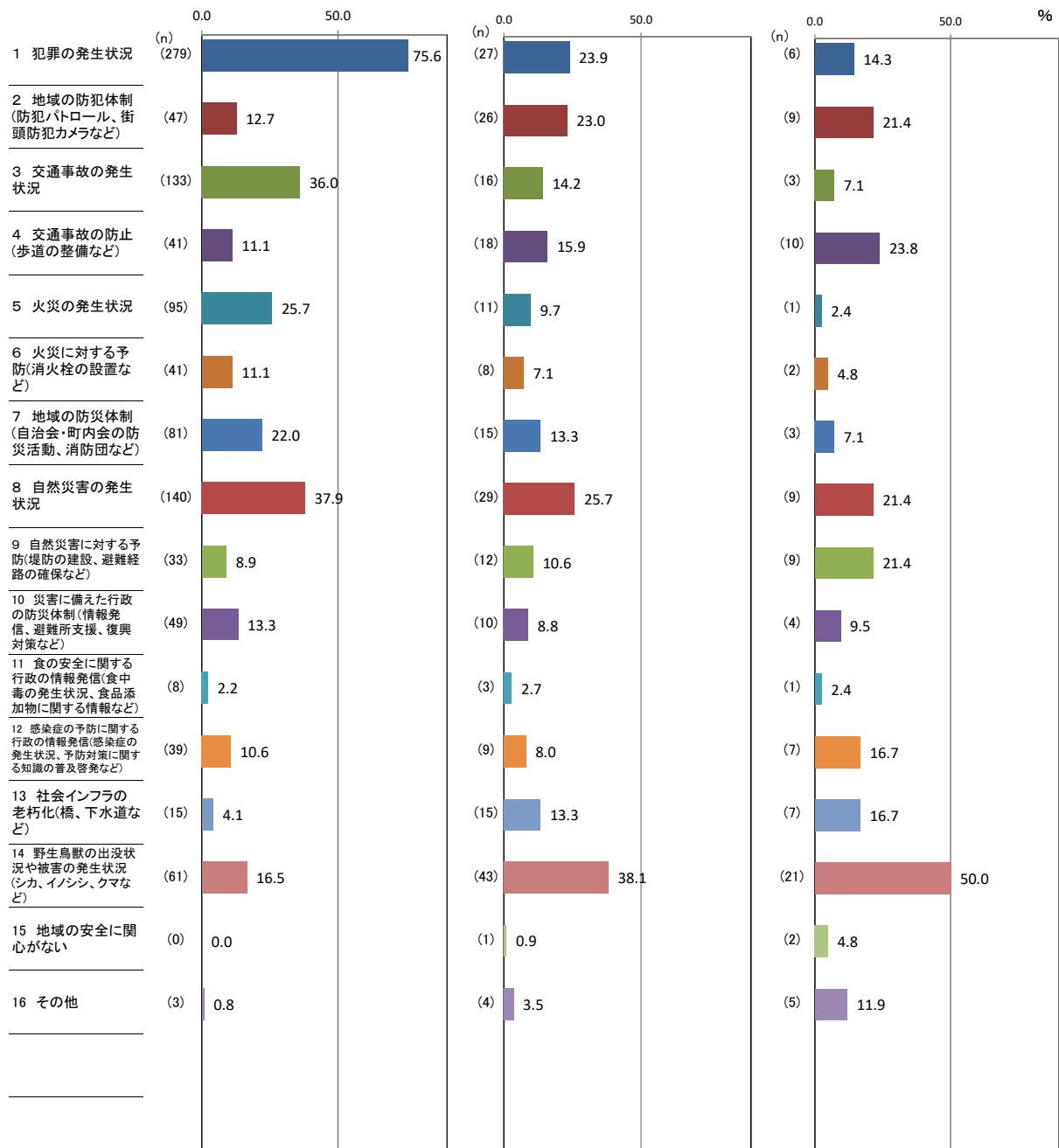
区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=48人)	130	33	5	14	10	8	5	16	10	4	7	2	4	4	8	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=17人)	34	2	4	2	2	0	0	2	6	3	3	0	0	3	6	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=9人)	25	2	3	1	1	1	1	0	2	2	0	1	2	3	6	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 369 人 (1,065)	②「どちらともいえない」の回答 113 人 (247)	③「あまり感じない・感じない」の回答 42 人 (99)
1	1 犯罪の発生状況 (279)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (43)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (21)
2	8 自然災害の発生状況 (140)	8 自然災害の発生状況 (29)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (10)
3	3 交通事故の発生状況 (133)	1 犯罪の発生状況 (27)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (9) 8 自然災害の発生状況 (9) 9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<居住年数20年以上>

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		75.6	12.7	36.0	11.1	25.7	11.1	22.0	37.9	8.9	13.3	2.2	10.6	4.1	16.5	0.0	0.8
②「どちらともいえない」		23.9	23.0	14.2	15.9	9.7	7.1	13.3	25.7	10.6	8.8	2.7	8.0	13.3	38.1	0.9	3.5
③「あまり感じない・感じない」		14.3	21.4	7.1	23.8	2.4	4.8	7.1	21.4	21.4	9.5	2.4	16.7	16.7	50.0	4.8	11.9

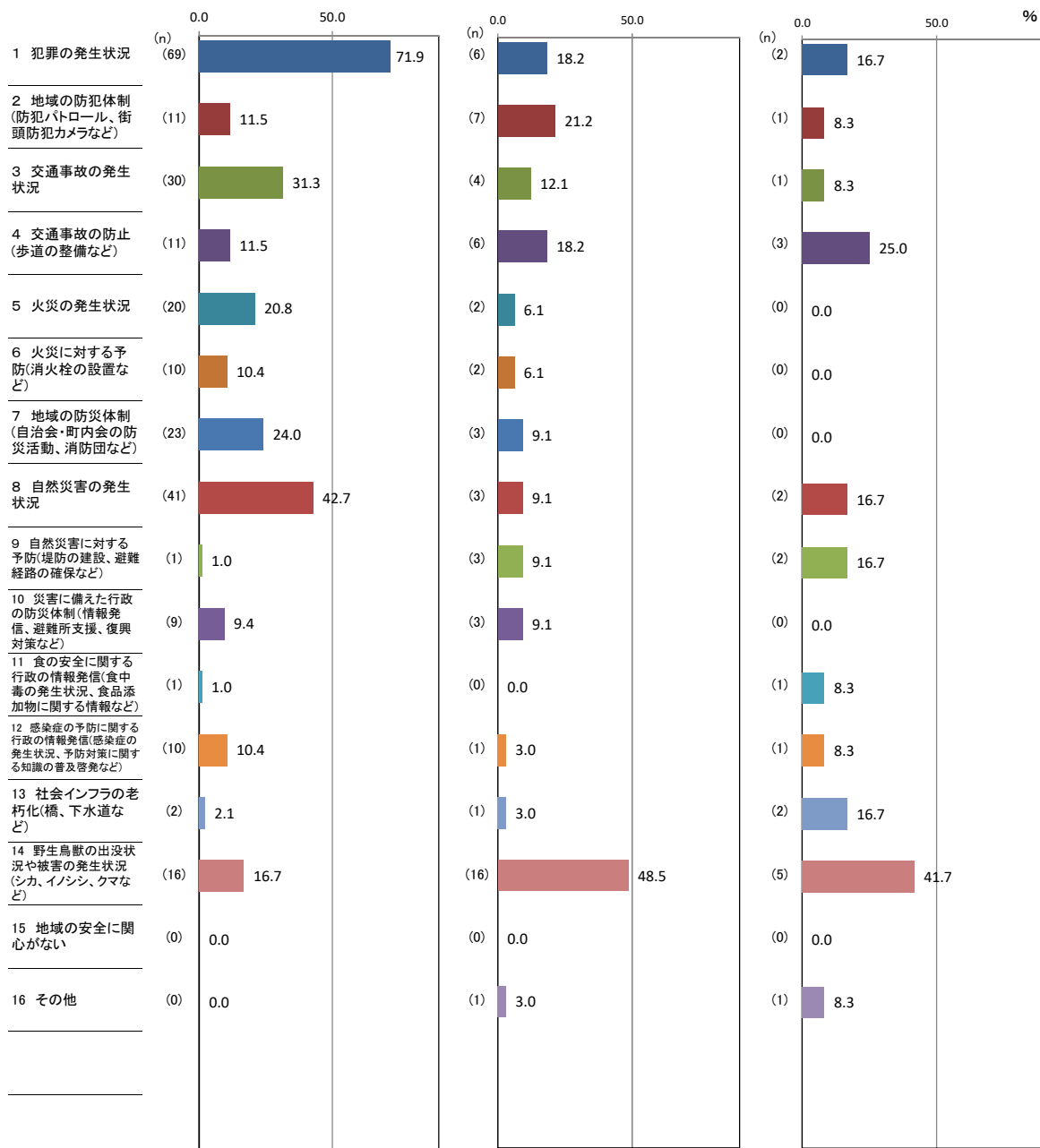
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=369人)	1065	279	47	133	41	95	41	81	140	33	49	8	39	15	61	0	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=113人)	247	27	26	16	18	11	8	15	29	12	10	3	9	15	43	1	4
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=42人)	99	6	9	3	10	1	2	3	9	9	4	1	7	7	21	2	5

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 96 人 (254)	②「どちらともいえない」の回答 33 人 (58)	③「あまり感じない・感じない」の回答 12 人 (21)
1	1 犯罪の発生状況 (69)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (16)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (5)
2	8 自然災害の発生状況 (41)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (7)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (3)
3	3 交通事故の発生状況 (30)	1 犯罪の発生状況 (6) 4 交通事故の防止(歩道の整備など) (6)	1 犯罪の発生状況 (2) 8 自然災害の発生状況 (2) 9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (2) 13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (2)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県南広域振興圏＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		71.9	11.5	31.3	11.5	20.8	10.4	24.0	42.7	1.0	9.4	1.0	10.4	2.1	16.7	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		18.2	21.2	12.1	18.2	6.1	6.1	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	3.0	3.0	48.5	0.0	3.0
③「あまり感じない・感じない」		16.7	8.3	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	41.7	0.0	8.3

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=96人)	254	69	11	30	11	20	10	23	41	1	9	1	10	2	16	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=33人)	58	6	7	4	6	2	2	3	3	3	3	0	1	1	16	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=12人)	21	2	1	1	3	0	0	0	2	2	0	1	1	2	5	0	1

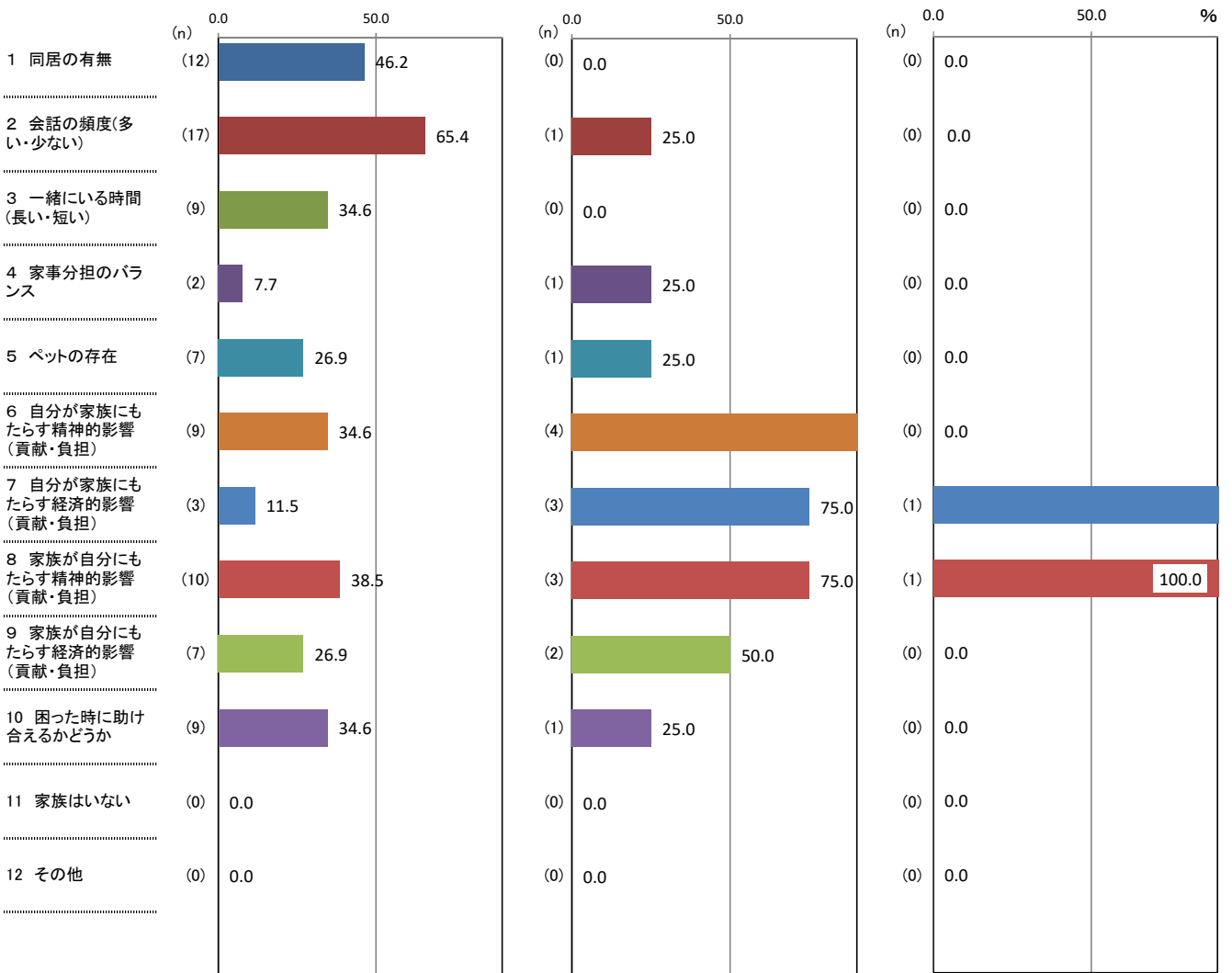
(2)基準年(令和5年)からの変化

①有意な差が見られた属性(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (85) 26 人	②「どちらともいえない」の回答 (16) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 1 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (17)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (1)
2	1 同居の有無 (12)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (3)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (1)
3	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (10)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (3)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

<20～29歳>

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			46.2	65.4	34.6	7.7	26.9	34.6	11.5	38.5	26.9	34.6	0.0
②「どちらともいえない」			0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	100.0	75.0	75.0	50.0	25.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

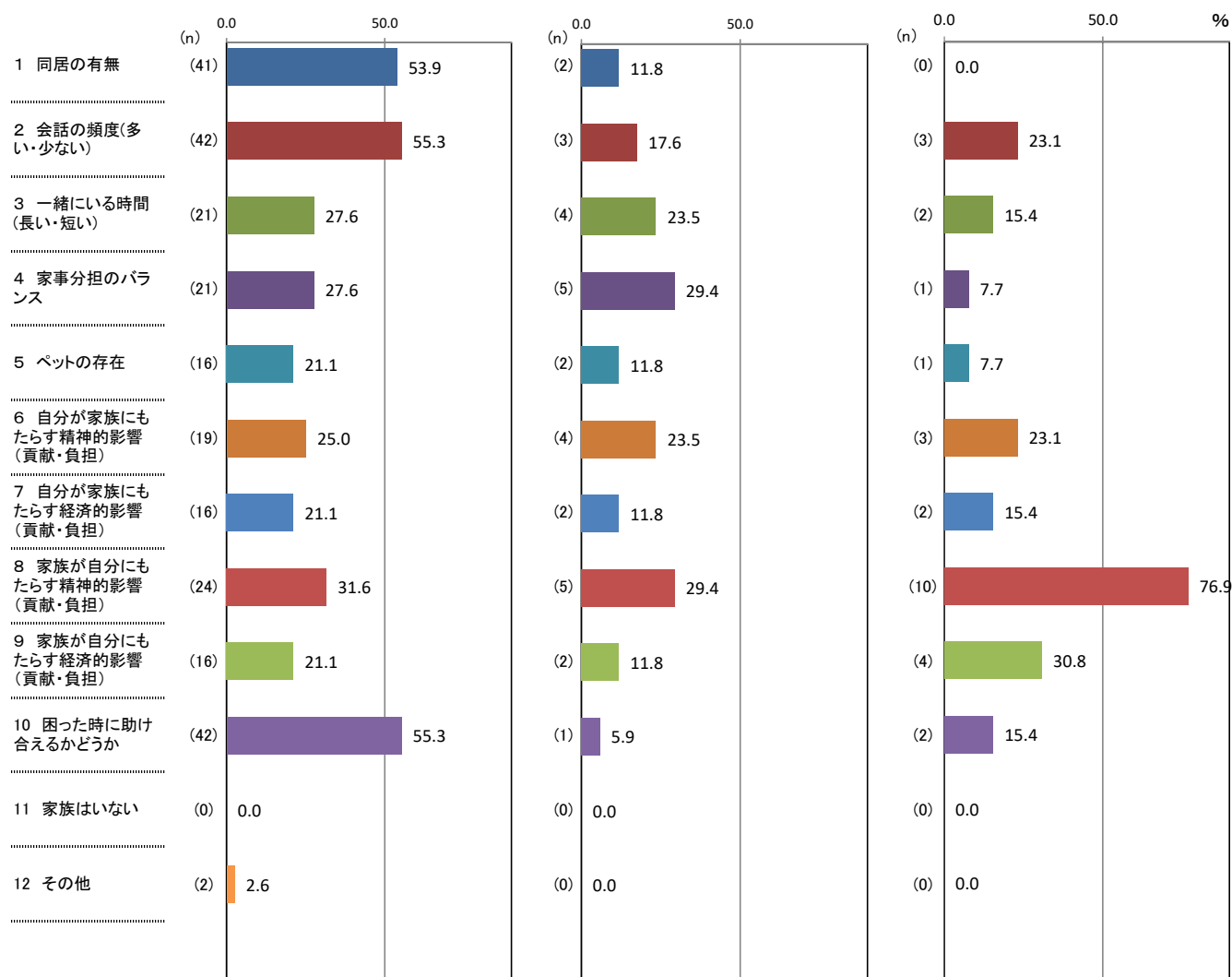
区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=26人)	85	12	17	9	2	7		9	3	10	7	9	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=4人)	16	0	1	0	1	1		4	3	3	2	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=1人)	2	0	0	0	0	0		0	1	1	0	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (260) 76 人	②「どちらともいえない」の回答 (30) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (28) 13 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (42) 1位	4 家事分担のバランス (5) 1位	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (10)
2	10 困った時に助け合えるかどうか (42)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (4)
3	1 同居の有無 (41)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (4) 3位	2 会話の頻度(多い・少ない) (3) 3位
		6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

<50～59歳>

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			53.9	55.3	27.6	21.1	25.0	21.1	31.6	21.1	55.3	0.0	2.6
②「どちらともいえない」			11.8	17.6	29.4	11.8	23.5	11.8	29.4	11.8	5.9	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」			0.0	23.1	7.7	7.7	23.1	15.4	76.9	30.8	15.4	0.0	0.0

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=76人)	260	41	42	21	21	16	19	16	24	16	42	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=17人)	30	2	3	4	5	2	4	2	5	2	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=13人)	28	0	3	2	1	1	3	2	10	4	2	0	0

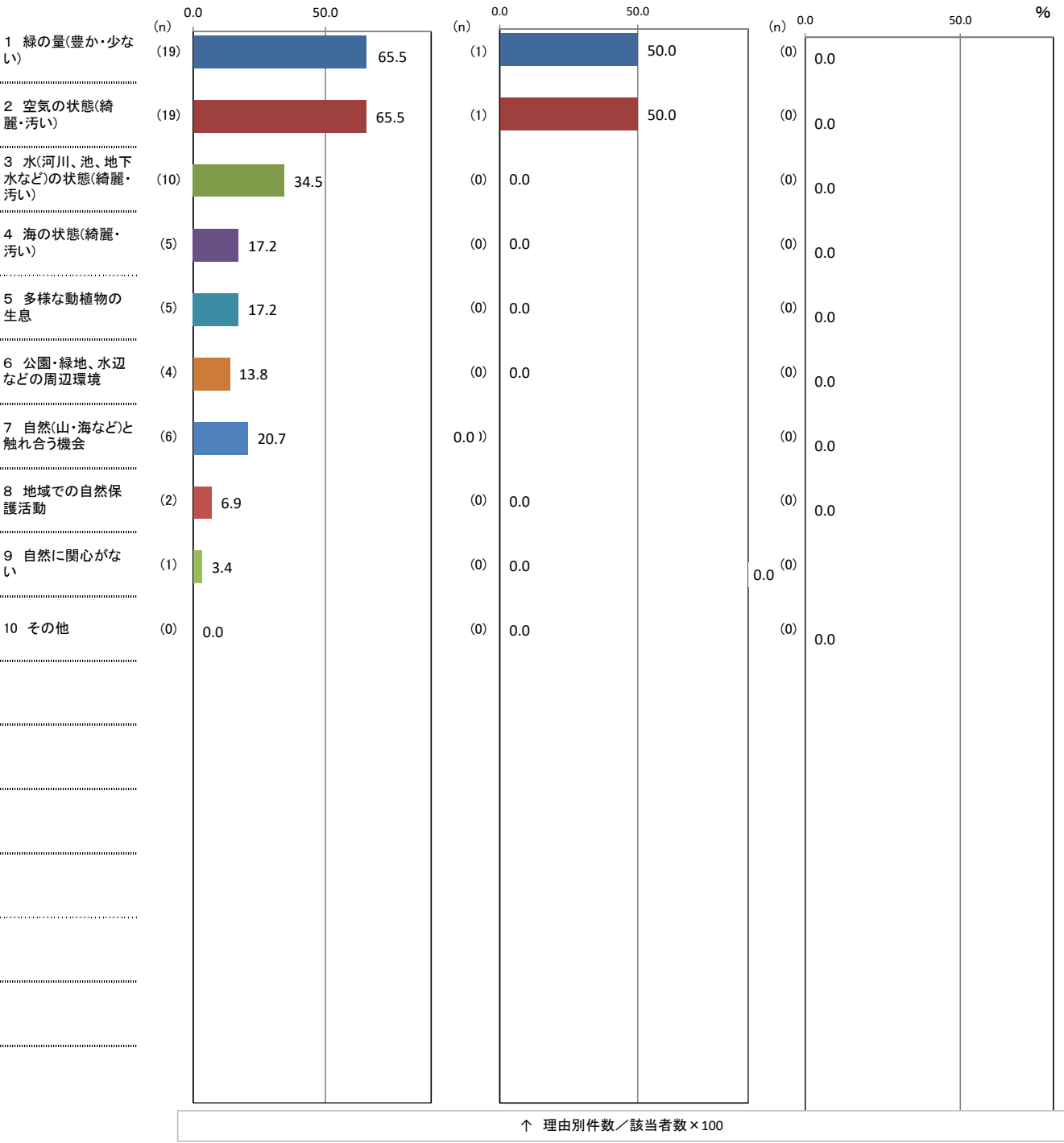
(2)基準年(令和5年)からの変化

①有意な差が見られた属性(単純集計)

分野別実感の回答結果「自然のゆたかさ」<20～29歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (71) 29 人	②「どちらともいえない」の回答 (2) 2 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (0) 0 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (19) 1位	1 緑の量(豊か・少ない) (1) 1位	
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (19)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (1)	
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (10)		

()内の数字は件数。



【補足調査】

(12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12))「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<20～29歳>

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い))	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		65.5	65.5	34.5	17.2	17.2	13.8	20.7	6.9	3.4	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い))	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=29人)	71	19	19	10	5	5	4	6	2	1	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=2人)	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=0人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

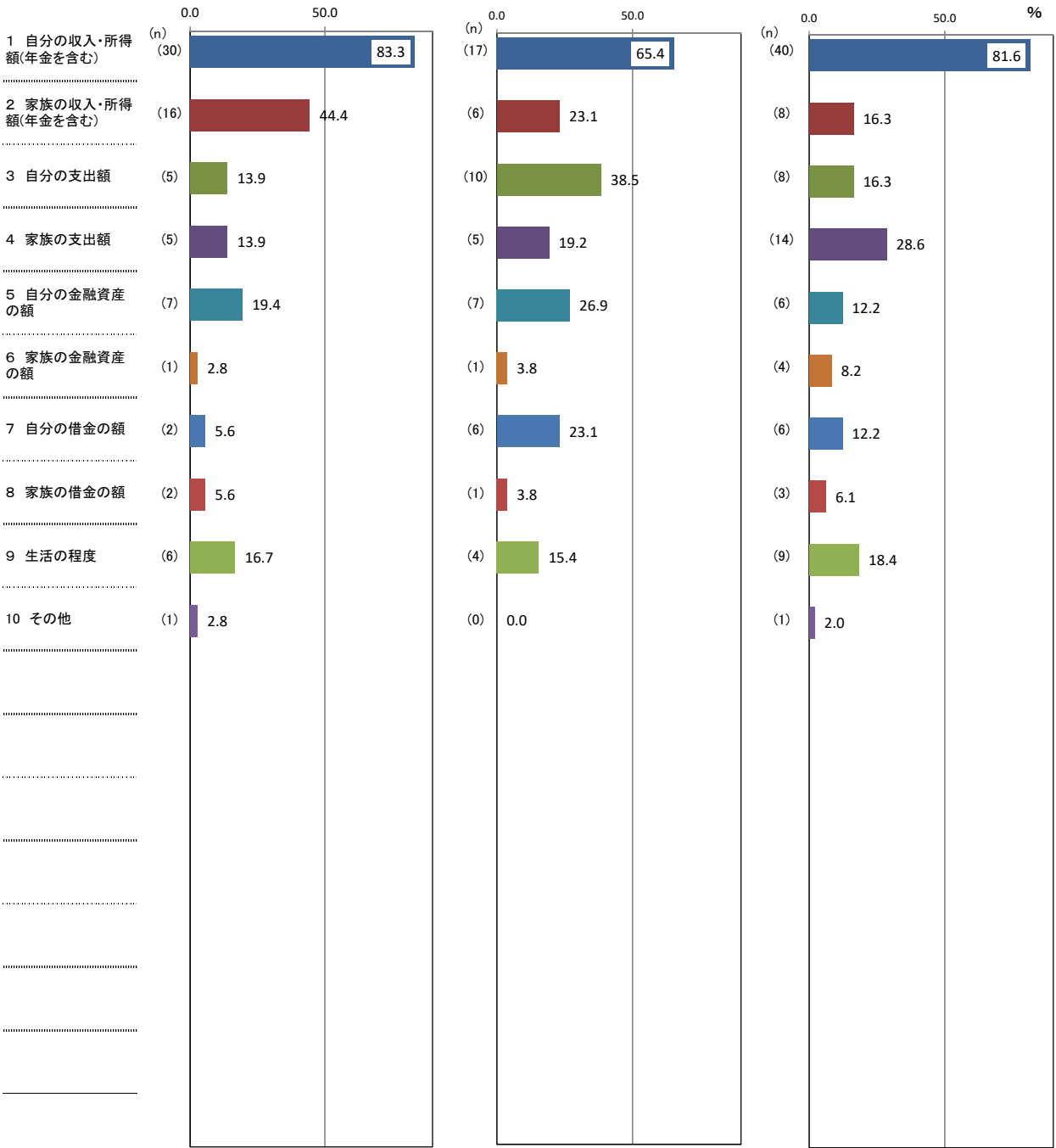
(2)基準年(令和5年)からの変化

①有意な差が見られた属性(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 36 人 (75)	②「どちらともいえない」の回答 26 人 (57)	③「あまり感じない・感じない」の回答 49 人 (99)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (17)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (40)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (16)	3 自分の支出額 (10)	4 家族の支出額 (14)
3	5 自分の金融資産の額 (7)	5 自分の金融資産の額 (7)	9 生活の程度 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10) ①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

区分		(%)									
計	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		83.3	44.4	13.9	13.9	19.4	2.8	5.6	5.6	16.7	2.8
②「どちらともいえない」		65.4	23.1	38.5	19.2	26.9	3.8	23.1	3.8	15.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		81.6	16.3	16.3	28.6	12.2	8.2	12.2	6.1	18.4	2.0

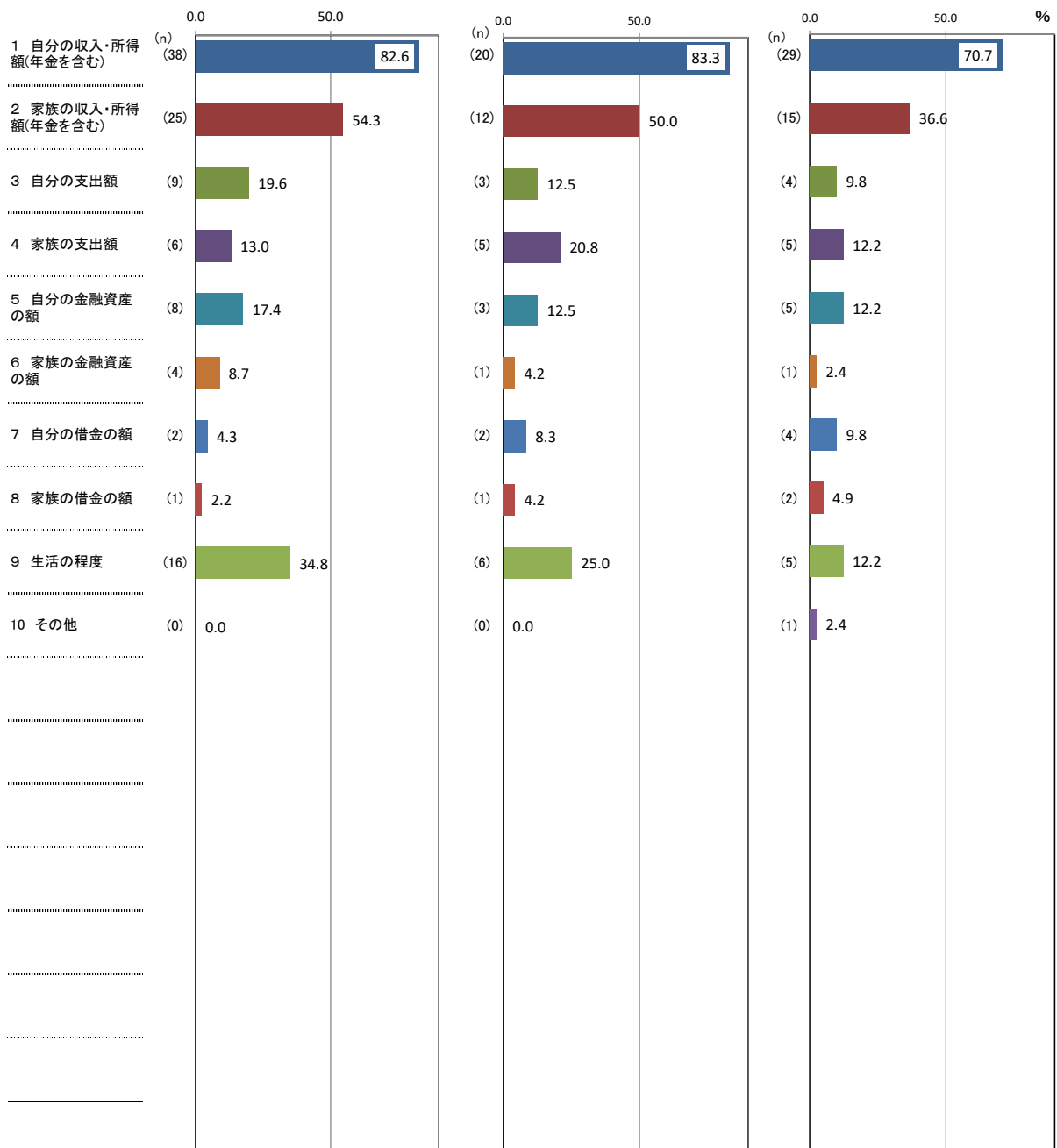
区分		(件)									
計	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=36人)	75	30	16	5	5	7	1	1	2	6	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=26人)	57	17	6	10	5	7	1	6	1	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=49人)	99	40	8	8	14	6	4	6	3	9	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜子どもの数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (109) 46 人	②「どちらともいえない」の回答 (53) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (71) 41 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (25)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)
3	9 生活の程度 (16)	9 生活の程度 (6)	4 家族の支出額 (5) 5 自分の金融資産の額 (5) 9 生活の程度 (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<子どもの数3人>

区分		＜子どもの数3人＞									
		(%)									
計		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.6	54.3	19.6	13.0	17.4	8.7	4.3	2.2	34.8	0.0
②「どちらともいえない」		83.3	50.0	12.5	20.8	12.5	4.2	8.3	4.2	25.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		70.7	36.6	9.8	12.2	12.2	2.4	9.8	4.9	12.2	2.4

(件)

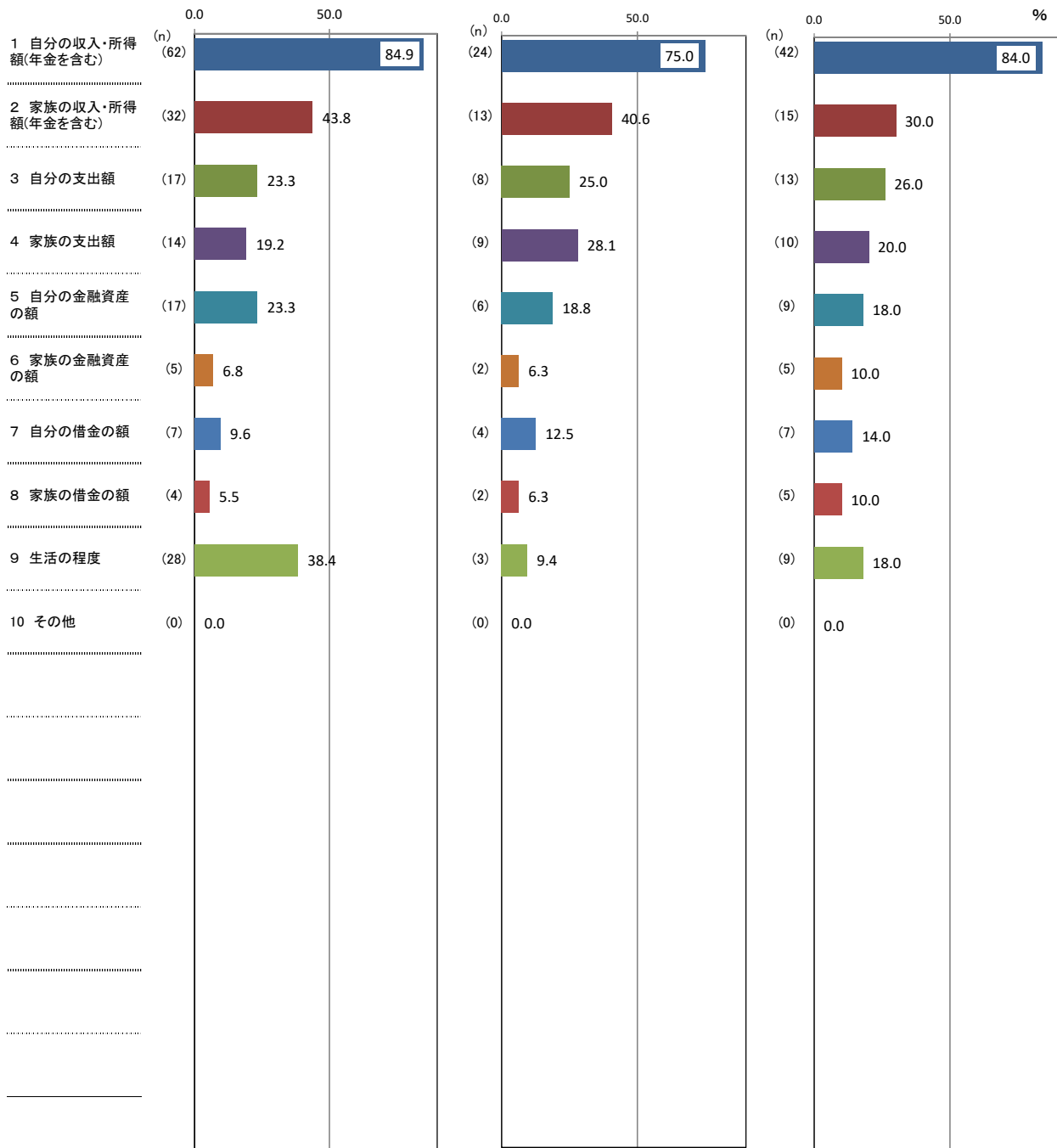
区分	計	(件)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=46人)	109	38	25	9	6	8	4	2	1	16	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=24人)	53	20	12	3	5	3	1	2	1	6	0
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=41人)	71	29	15	4	5	5	1	4	2	5	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 73 人 (186)	②「どちらともいえない」の回答 32 人 (71)	③「あまり感じない・感じない」の回答 50 人 (115)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (62)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (24)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (42)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (32)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)
3	9 生活の程度 (28)	4 家族の支出額 (9)	3 自分の支出額 (13)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<県央広域振興圏>

＜県央広域振興圏＞		(%)									
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.9	43.8	23.3	19.2	23.3	6.8	9.6	5.5	38.4	0.0
②「どちらともいえない」		75.0	40.6	25.0	28.1	18.8	6.3	12.5	6.3	9.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		84.0	30.0	26.0	20.0	18.0	10.0	14.0	10.0	18.0	0.0

区分	計	(件)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=73人)	186	62	32	17	14	17	5	7	4	28	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=32人)	71	24	13	8	9	6	2	4	2	3	0
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=50人)	115	42	15	13	10	9	5	7	5	9	0

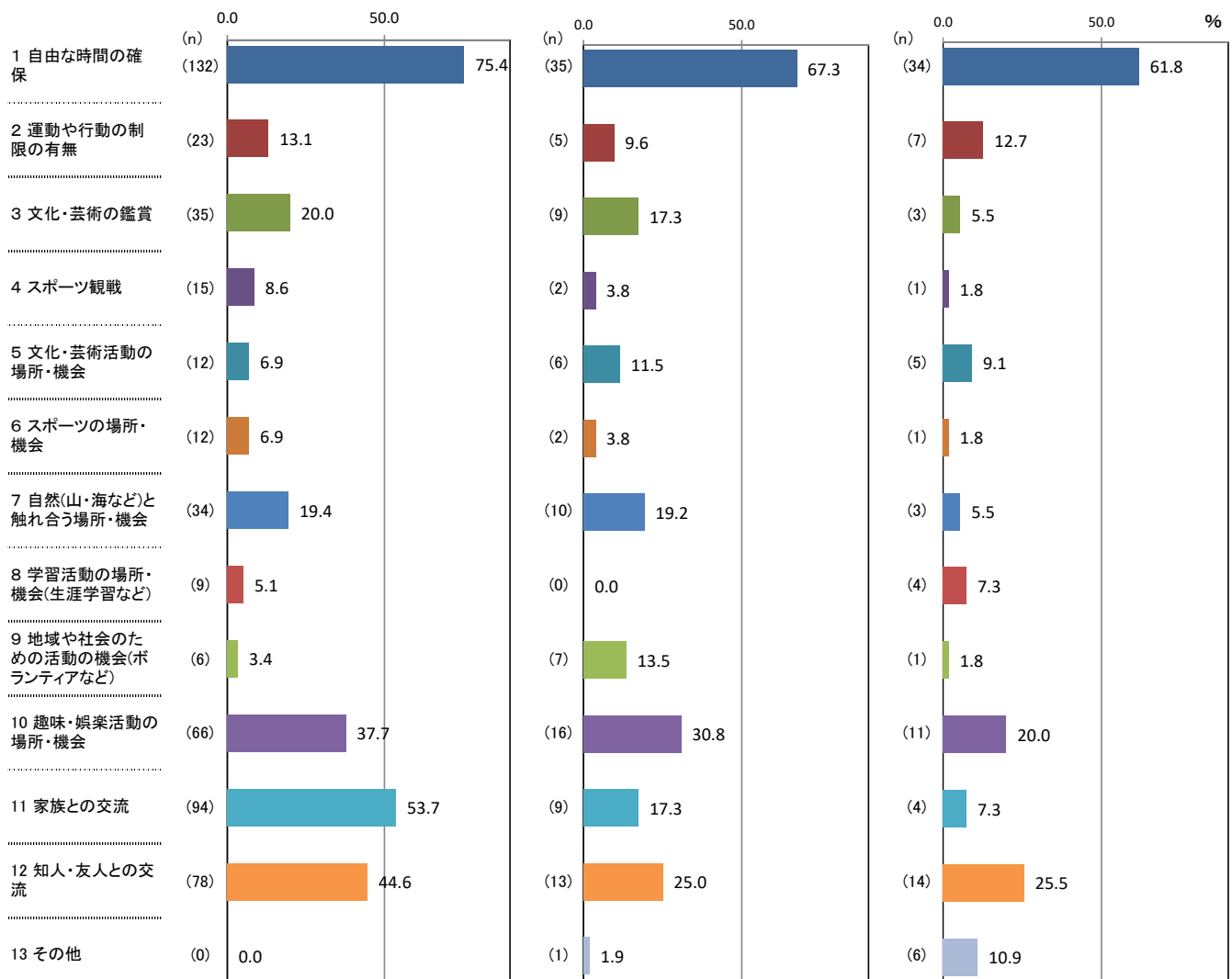
(2)基準年(令和5年)からの変化

①有意な差が見られた属性(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (516) 175 人	②「どちらともいえない」の回答 (115) 52 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (94) 55 人
1	1 自由な時間の確保 (132)	1 自由な時間の確保 (35)	1 自由な時間の確保 (34)
2	11 家族との交流 (94)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (16)	12 知人・友人との交流 (14)
3	12 知人・友人との交流 (78)	12 知人・友人との交流 (13)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (11)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<女性>

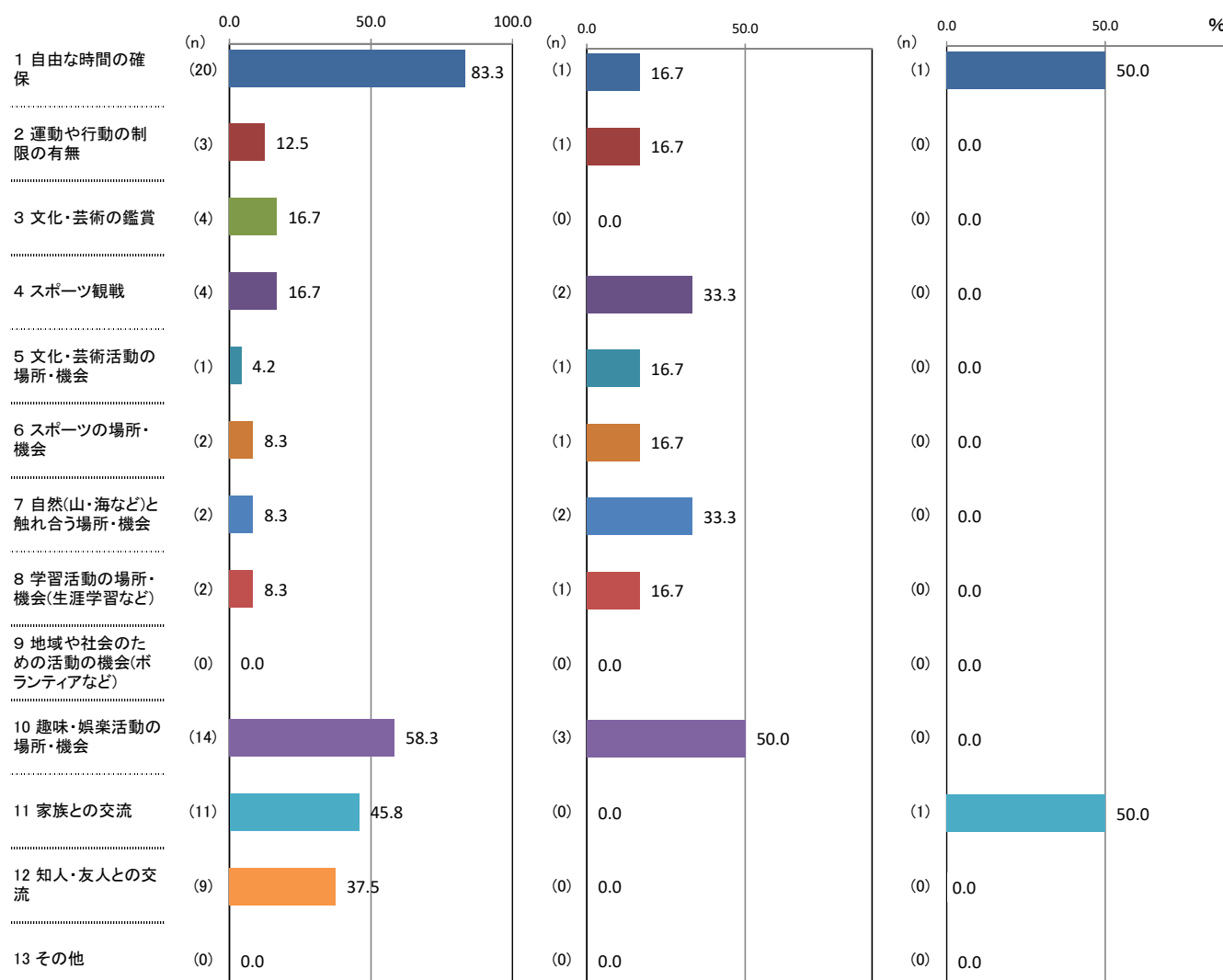
＜女性＞		(%)													
	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
①「感じる・やや感じる」		75.4	13.1	20.0		8.6	6.9	6.9	19.4	5.1	3.4	37.7	53.7	44.6	0.0
②「どちらともいえない」		67.3	9.6	17.3		3.8	11.5	3.8	19.2	0.0	13.5	30.8	17.3	25.0	1.9
③「あまり感じない・感じない」		61.8	12.7	5.5		1.8	9.1	1.8	5.5	7.3	1.8	20.0	7.3	25.5	10.9

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=175人)	516	132	23	35		15	12	12	34	9	6	66	94	78	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=52人)	115	35	5	9		2	6	2	10	0	7	16	9	13	1
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=55人)	94	34	7	3		1	5	1	3	4	1	11	4	14	6

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (72) 24 人	②「どちらともいえない」の回答 (12) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 2 人
1	1 自由な時間の確保 (20)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3)	1 自由な時間の確保 (1)
2	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (14)	4 スポーツ観戦 (2)	11 家族との交流 (1)
3	11 家族との交流 (11)	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (2)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由 (問1-1 (2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<20～29歳>

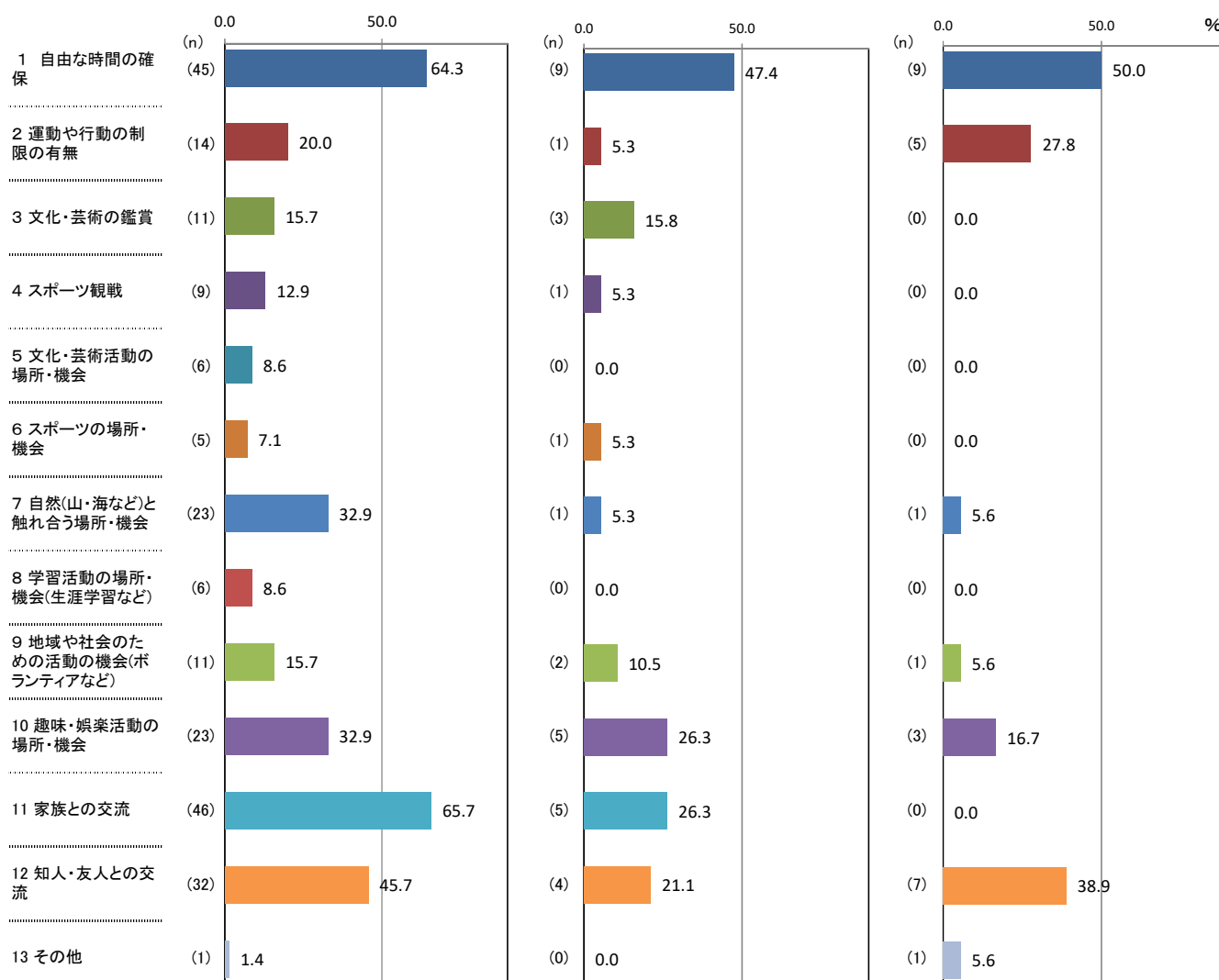
＜20～29歳＞														
区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		83.3	12.5	16.7	16.7	16.7	4.2	8.3	8.3	0.0	58.3	45.8	37.5	0.0
②「どちらともいえない」		16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など自然 と触れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=24人)	72	20	3	4	4	1	2	2	2	0	14	11	9	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=6人)	12	1	1	0	2	1	1	2	1	0	3	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=2人)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜子どもの数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (232) 70 人	②「どちらともいえない」の回答 (32) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (27) 18 人
1	11 家族との交流 (46)	1 自由な時間の確保 (9)	1 自由な時間の確保 (9)
2	1 自由な時間の確保 (45)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5) 2位	12 知人・友人との交流 (7)
3	12 知人・友人との交流 (32)	11 家族との交流 (5)	2 運動や行動の制限の有無 (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由 (問1-1 (2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<子どもの数3人>

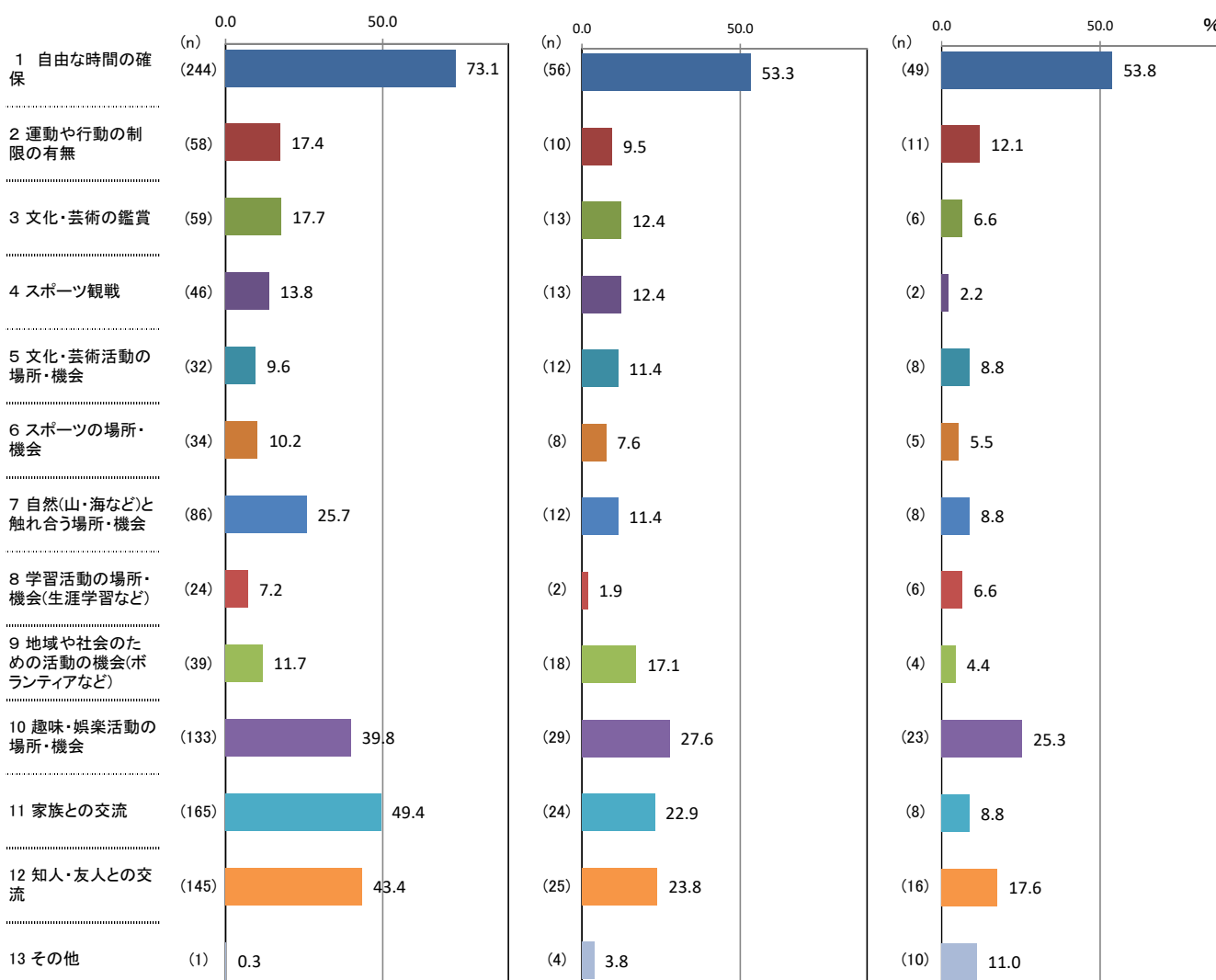
＜子どもの数3人＞		(%)													
区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
①「感じる・やや感じる」		64.3	20.0	15.7		12.9	8.6	7.1	32.9	8.6	15.7	32.9	65.7	45.7	1.4
②「どちらともいえない」		47.4	5.3	15.8		5.3	0.0	5.3		0.0	10.5	26.3	26.3	21.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	16.7	0.0	38.9	5.6

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝70人)	232	45	14	11		9	6	5	23	6	11	23	46	32	1
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝19人)	32	9	1	3	1	1	0	1	1	0	2	5	5	4	0
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数＝18人)	27	9	5	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	7	1

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,066) 334 人	②「どちらともいえない」の回答 (226) 105 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (156) 91 人
1	1 自由な時間の確保 (244)	1 自由な時間の確保 (56)	1 自由な時間の確保 (49)
2	11 家族との交流 (165)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (29)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (23)
3	12 知人・友人との交流 (145)	12 知人・友人との交流 (25)	12 知人・友人との交流 (16)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<居住年数20年以上>

	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海などと触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		73.1	17.4	17.7		13.8	9.6	10.2	25.7	7.2	11.7	39.8	49.4	0.3
②「どちらともいえない」		53.3	9.5	12.4		12.4	11.4	7.6	11.4	1.9	17.1	27.6	22.9	3.8
③「あまり感じない・感じない」		53.8	12.1	6.6		2.2	8.8	5.5	8.8	6.6	4.4	25.3	8.8	11.0

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海などと触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=334人)	1066	244	58	59		46	32	34	86	24	39	133	165	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=105人)	226	56	10	13		13	12	8	12	2	18	29	24	4
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=91人)	156	49	11	6		2	8	5	8	6	4	23	8	10

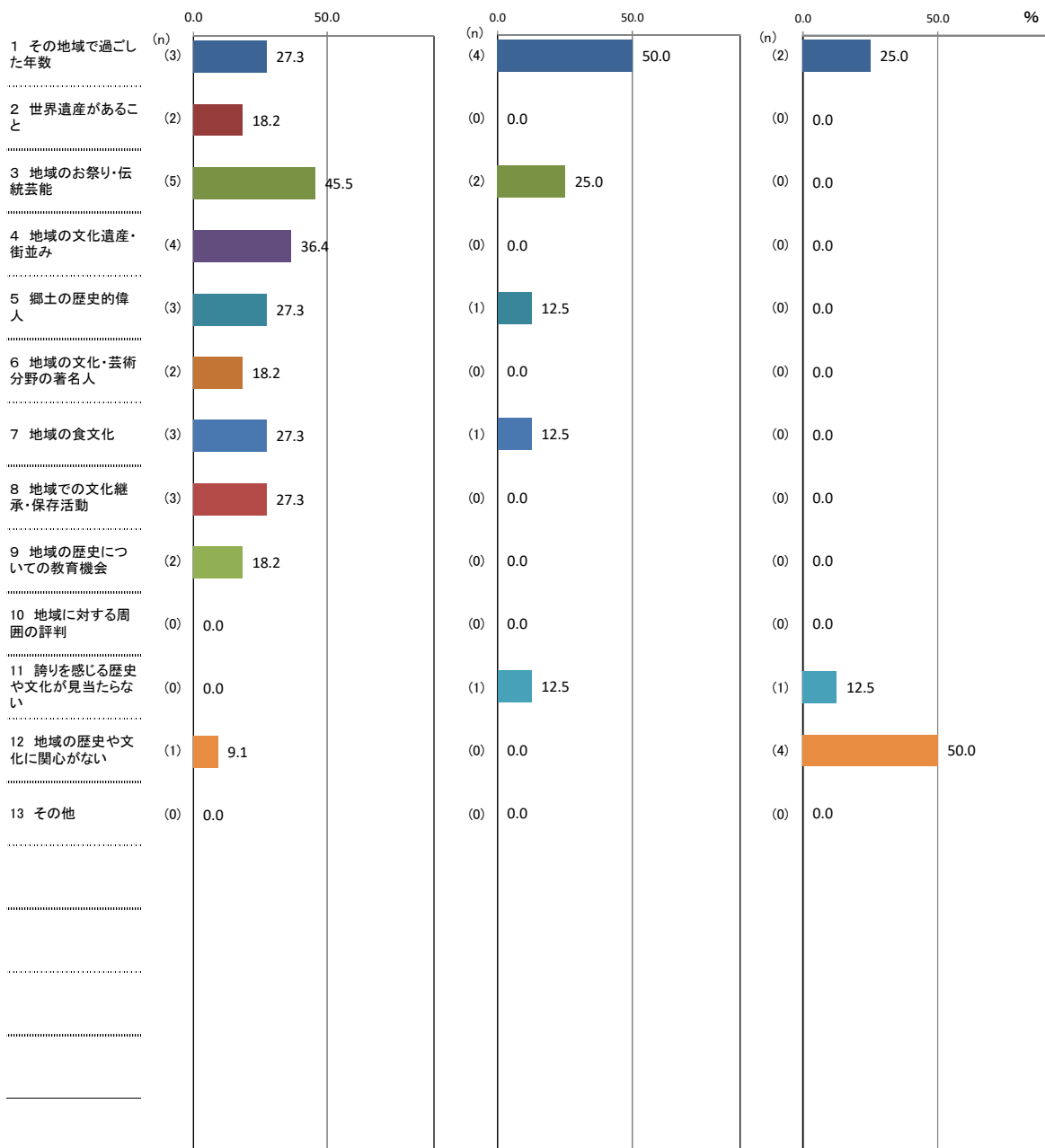
(2)基準年(令和5年)からの変化

①有意な差が見られた属性(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」<20～29歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 11 人 (28)	②「どちらともいえない」の回答 8 人 (9)	③「あまり感じない・感じない」の回答 8 人 (7)
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (5)	1 その地域で過ごした年数 (4)	12 地域の歴史や文化に関心がない (4)
2	4 地域の文化遺産・街並み (4)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (2)	1 その地域で過ごした年数 (2)
3	1 その地域で過ごした年数 (3) 5 郷土の歴史的偉人 (3) 7 地域の食文化 (3) 8 地域での文化継承・保存活動 (3)	5 郷土の歴史的偉人 (1) 7 地域の食文化 (1) 11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (1)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(11) 歴史・文化への誇りに対する回答理由(問1-1(11))「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<20～29歳>

＜20～29歳＞															
区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 世界遺産 があること	3 地域のお 祭り・伝統芸 能	4 地域の文 化遺産・街並 み	5 郷土の歴 史的偉人	6 地域の文 化・芸術分野 の著名人	7 地域の食 文化	8 地域での 文化継承・保 存活動	9 地域の歴 史についての 教育機会	10 地域に対 する周囲の評 判	11 誇りや感 じる歴史や文 化が異文化に 由来しない	12 地域の歴 史や文化に 関心がない	13 その他	
①「感じる・やや感じる」		27.3	18.2	45.5	36.4	27.3	18.2	27.3	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0	0.0	0.0

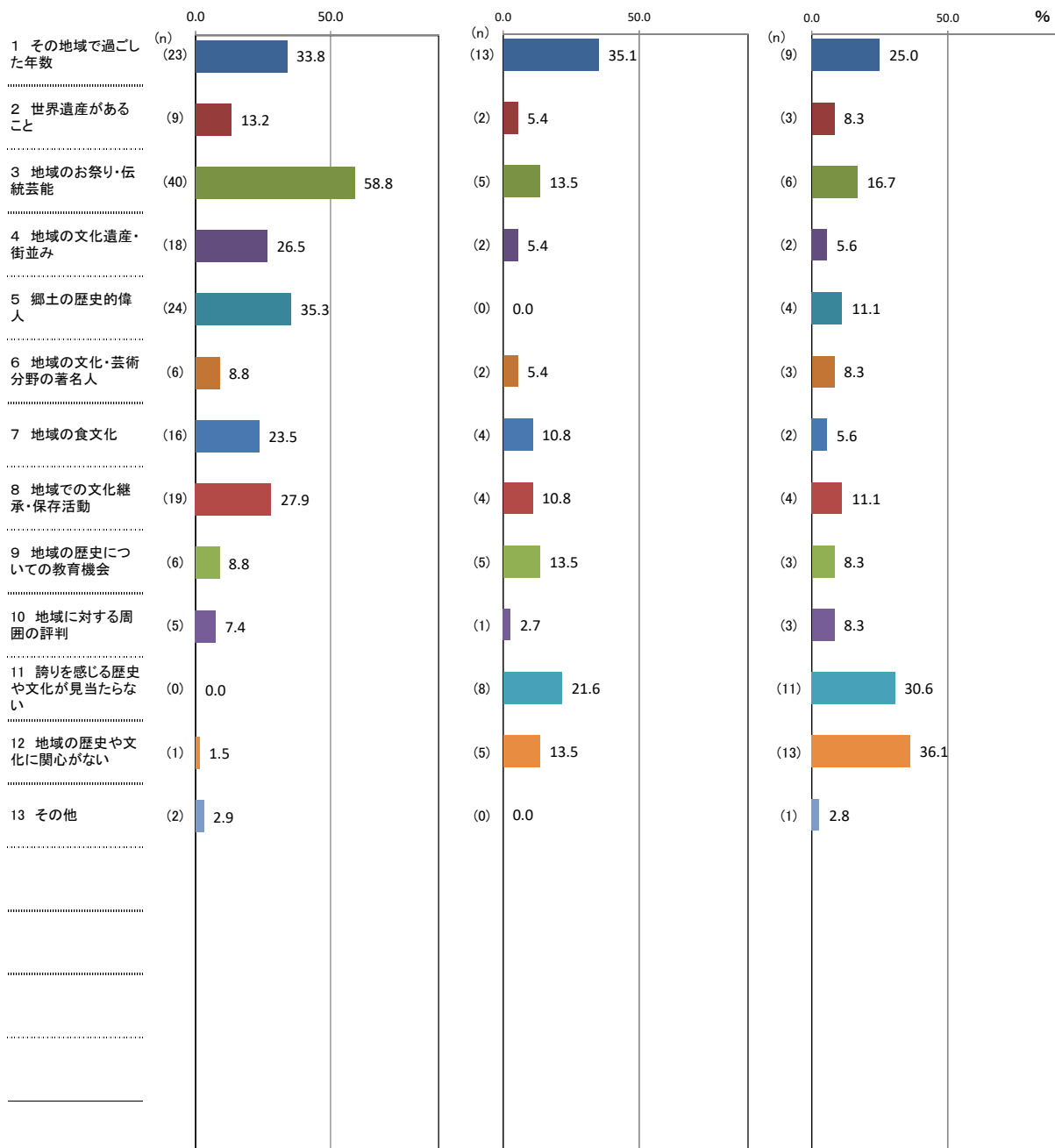
区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 世界遺産 があること	3 地域のお 祭り・伝統芸 能	4 地域の文 化遺産・街並 み	5 郷土の歴 史的偉人	6 地域の文 化・芸術分野 の著名人	7 地域の食 文化	8 地域での 文化継承・保 存活動	9 地域の歴 史についての 教育機会	10 地域に対 する周囲の 評判	11 誇りを感じ る歴史や文 化が異文化 から来ている と感じない	12 地域の歴 史や文化に 関心がない	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=11人)	28	3	2	5	4	3	2	3			0	0	1	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=8人)	9	4	0	2	0	1	0	1		0	0	1	0	0
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=8人)	7	2	0	0	0	0	0	0			0	1	4	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (169) 68 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 37 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (64) 36 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (40)	1 その地域で過ごした年数 (13)	12 地域の歴史や文化に関心がない (13)
2	5 郷土の歴史的偉人 (24)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (8)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (11)
3	1 その地域で過ごした年数 (23)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (5) 9 地域の歴史についての教育機会 (5) 12 地域の歴史や文化に関心がない (5)	1 その地域で過ごした年数 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(11) 歴史・文化への誇りに対する回答理由(問1-1(11))「①あなたは地域の歴史や文化に誇りに感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもはいない>

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 地域の文化遺産・街並み	6. 郷土の歴史・文化的偉人の著名人	7. 地域の文化・芸術分野	8. 地域の食文化	9. 地域の食文化継承・保存活動	10. 地域の歴史・文化に関する教育機会	11. 誇りに感じる歴史や文化が異文化にない	12. 誇りに感じる歴史や文化に史や文化に	13. その他
①「感じる・やや感じる」		33.8	13.2	58.8	26.5	35.3	8.8	23.5	27.9	8.8	7.4	0.0	1.5	2.9
②「どちらともいえない」		35.1	5.4	13.5	5.4	0.0	5.4	10.8	10.8	13.5	2.7	21.6	13.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	8.3	16.7	5.6	11.1	8.3	5.6	11.1	8.3	8.3	30.6	36.1	2.8

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 地域の文化遺産・街並み	6. 郷土の歴史・文化的偉人の著名人	7. 地域の文化・芸術分野	8. 地域の食文化	9. 地域の食文化継承・保存活動	10. 地域の歴史・文化に関する教育機会	11. 誇りに感じる歴史や文化が異文化にない	12. 誇りに感じる歴史や文化に史や文化に	13. その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=68人)	169	23	9	40	18	24	6	16	19	6	5	0	1	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=37人)	51	13	2	5	2	0	2	4	4	5	1	8	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=36人)	64	9	3	6	2	4	3	2	4	3	3	11	13	1

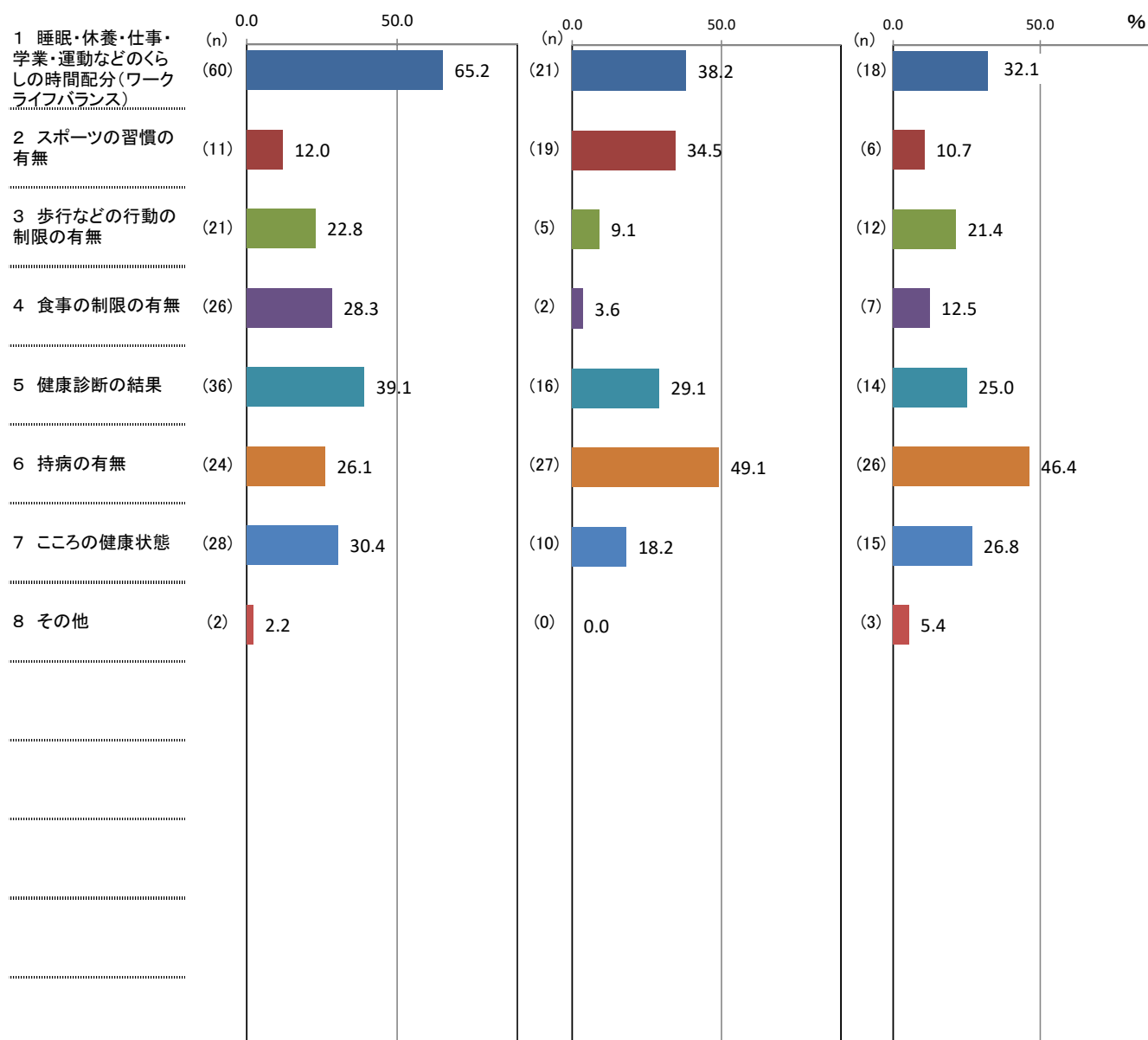
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「心身の健康(からだの健康)」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (208) 92 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (100) 55 人	③ 実感が低下した人 の回答 (101) 56 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (60)	6 持病の有無 (27)	6 持病の有無 (26)
2	5 健康診断の結果 (36)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (21)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (18)
3	7 こころの健康状態 (28)	2 スポーツの習慣の有無 (19)	7 こころの健康状態 (15)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(1)ー1 心身の健康(からだの健康)についての回答理由(問1ー1(2)①「あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クラيفパ ランス)	2 スポーツ の習慣の有 無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限の有無	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの 健康状態	8 その他
① 実感が上昇した人		65.2	12.0	22.8	28.3	39.1	26.1	30.4	2.2
② 実感が横ばいの人		38.2	34.5	9.1	3.6	29.1	49.1	18.2	0.0
③ 実感が低下した人		32.1	10.7	21.4	12.5	25.0	46.4	26.8	5.4

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クラيفパ ランス)	2 スポーツ の習慣の有 無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限の有無	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの 健康状態	8 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=92人)	208	60	11	21	26	36	24	28	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=55人)	100	21	19	5	2	16	27	10	0
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=56人)	101	18	6	12	7	14	26	15	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(92名中0名記載)
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(55名中0名記載)
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(56名中2名記載) ・内臓疾患により入院、その後自宅治療 ・自由な時間がない

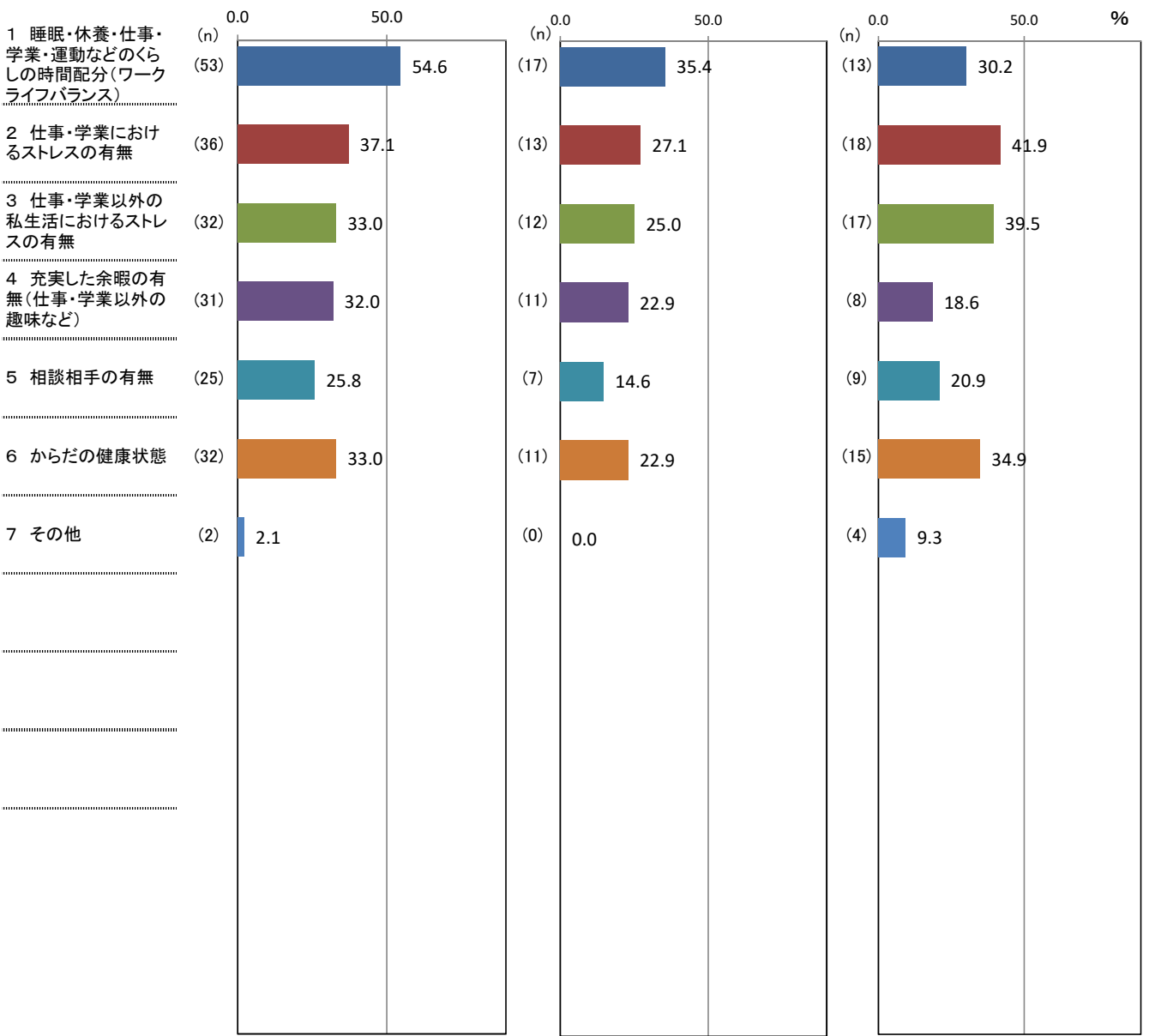
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「心身の健康(こころの健康)」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (211) 97 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (71) 48 人	③ 実感が低下した人 の回答 (84) 43 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (53)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (17)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (18)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (36)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (13)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (17)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (32) 6 からだの健康状態 (32)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (12)	6 からだの健康状態 (15)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1)-2 心身の健康(こころの健康)についての回答理由(問1-1(1)-2①「あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	(%)						
		1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人		54.6	37.1	33.0	32.0	25.8	33.0	2.1
② 実感が横ばいの人		35.4	27.1	25.0	22.9	14.6	22.9	0.0
③ 実感が低下した人		30.2	41.9	39.5	18.6	20.9	34.9	9.3

区分	計	(件)						
		1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R6「2」は除く。 (サンプル数=97人)	211	53	36	32	31	25	32	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=48人)	71	17	13	12	11	7	11	0
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R6「4」は除く。 (サンプル数=43人)	84	13	18	17	8	9	15	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(97名中1名記載) ・子供～生活が安定・充実している。
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(48名中0名記載)
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(43名中1名記載) ・恋愛に関する事。

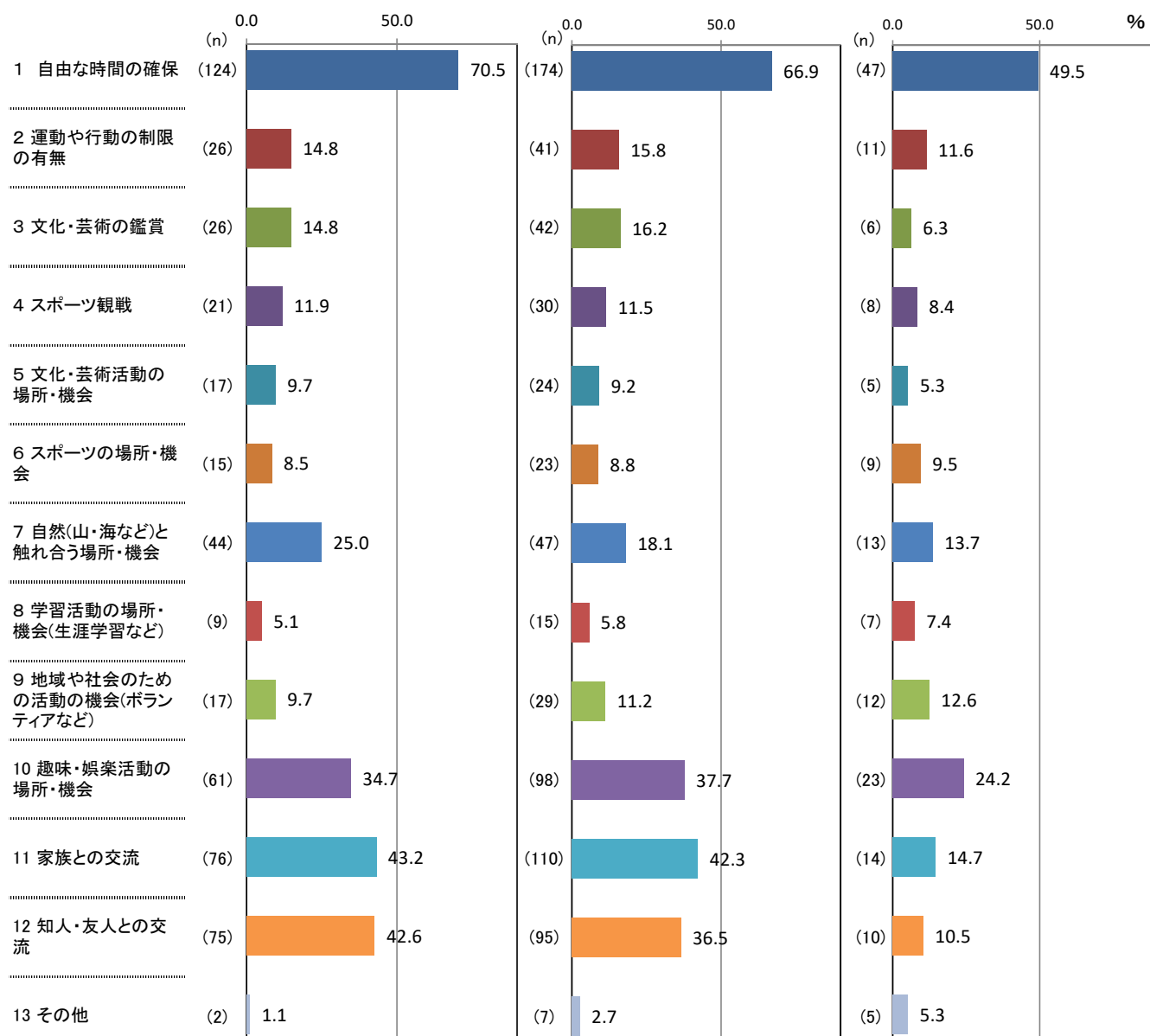
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「余暇の充実」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (513) 176 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (735) 260 人	③ 実感が低下した人 の回答 (170) 95 人
1	1 自由な時間の確保 (124)	1 自由な時間の確保 (174)	1 自由な時間の確保 (47)
2	11 家族との交流 (76)	11 家族との交流 (110)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (23)
3	12 知人・友人との交流 (75)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (98)	11 家族との交流 (14)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)①「あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場・機会	6 スポーツの場・機会	7 自然・山海などとの触れ合う場・機会	8 学習活動の場・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の場・機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人		70.5	14.8	14.8	14.8	11.9	9.7	8.5	25.0	5.1	9.7	34.7	43.2	42.6
② 実感が横ばいの人		66.9	15.8	16.2	16.2	11.5	9.2	8.8	18.1	5.8	11.2	37.7	42.3	36.5
③ 実感が低下した人		49.5	11.6	6.3	6.3	8.4	5.3	9.5	13.7	7.4	12.6	24.2	14.7	10.5

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場・機会	6 スポーツの場・機会	7 自然・山海などとの触れ合う場・機会	8 学習活動の場・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の場・機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=176人)	513	124	26	26	26	21	17	15	44	9	17	61	76	75
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=260人)	735	174	41	42	42	30	24	23	47	15	29	98	110	95
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=95人)	170	47	11	6	6	8	5	9	13	7	12	23	14	10

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(176名中1名記載)
・健康状態

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(260名中2名記載)
・病院通い
・介護

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(95名中2名記載)
・健康阻害。
・休みの日に何かする気にならない

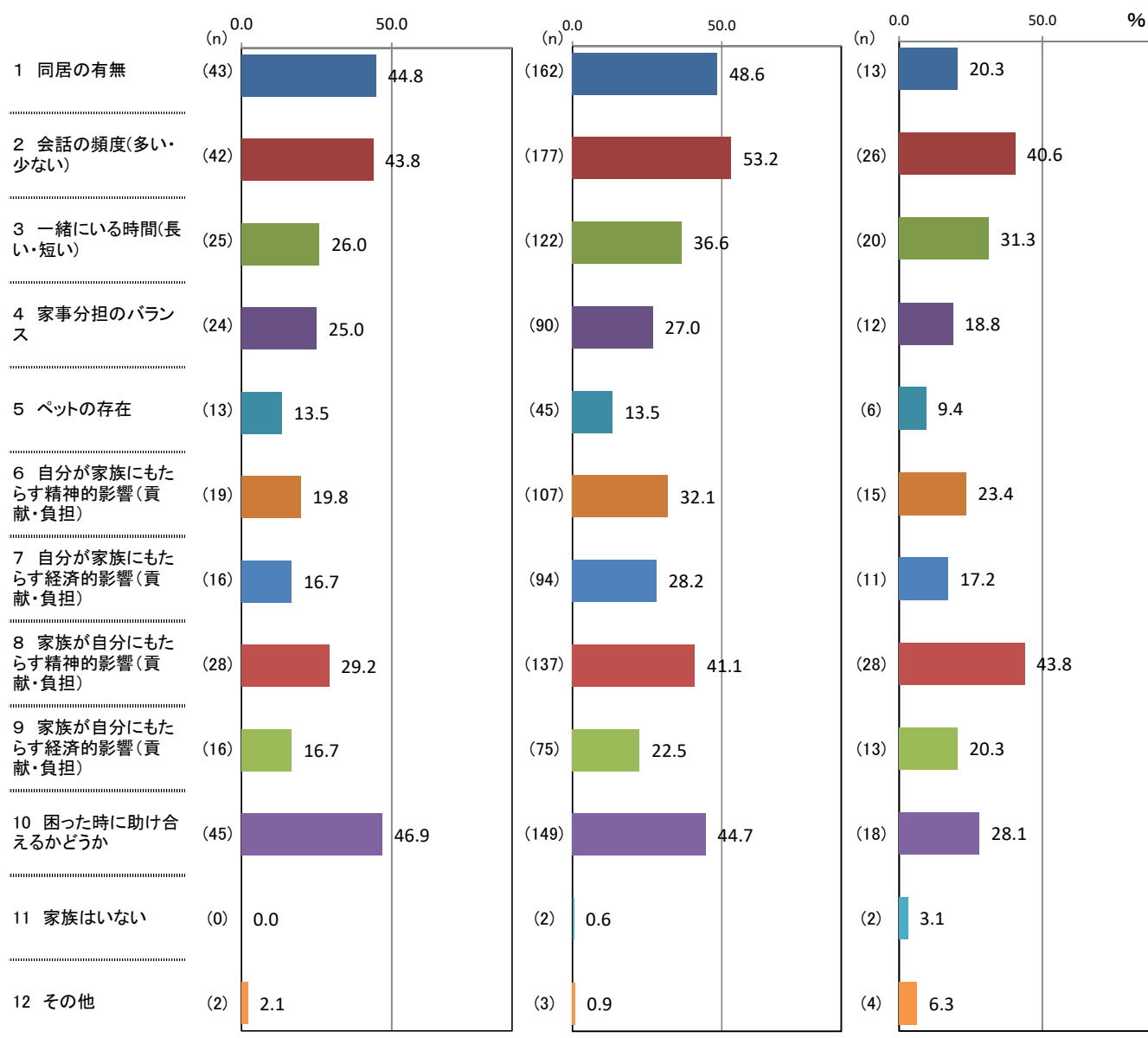
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「家族関係」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (273) 96 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (1,163) 333 人	③ 実感が低下した人 の回答 (168) 64 人
1	10 困った時に助け合えるかどうか (45)	2 会話の頻度(多い・少ない) (177)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (28)
2	1 同居の有無 (43)	1 同居の有無 (162)	2 会話の頻度(多い・少ない) (26)
3	2 会話の頻度(多い・少ない) (42)	10 困った時に助け合えるかどうか (149)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (20)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由(問1-1(3)①「あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他	
① 実感が上昇した人			44.8	43.8	26.0	25.0	13.5	19.8	16.7	29.2	16.7	46.9	0.0	2.1
② 実感が横ばいの人			48.6	53.2	36.6	27.0	13.5	32.1	28.2	41.1	22.5	44.7	0.6	0.9
③ 実感が低下した人			20.3	40.6	31.3	18.8	9.4	23.4	17.2	43.8	20.3	28.1	3.1	6.3

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=96人)	273	43	42	25	24	13	19	16	28	16	45	0	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=333人)	1,163	162	177	122	90	45	107	94	137	75	149	2	3
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=64人)	168	13	26	20	12	6	15	11	28	13	18	2	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(96名中2名記載) ・理解してもらえないという安心感 ・食事
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(333名中1名記載) ・仲の良い関係
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(64名中2名記載) ・*****が仕事してない。 ・ひとり暮らし

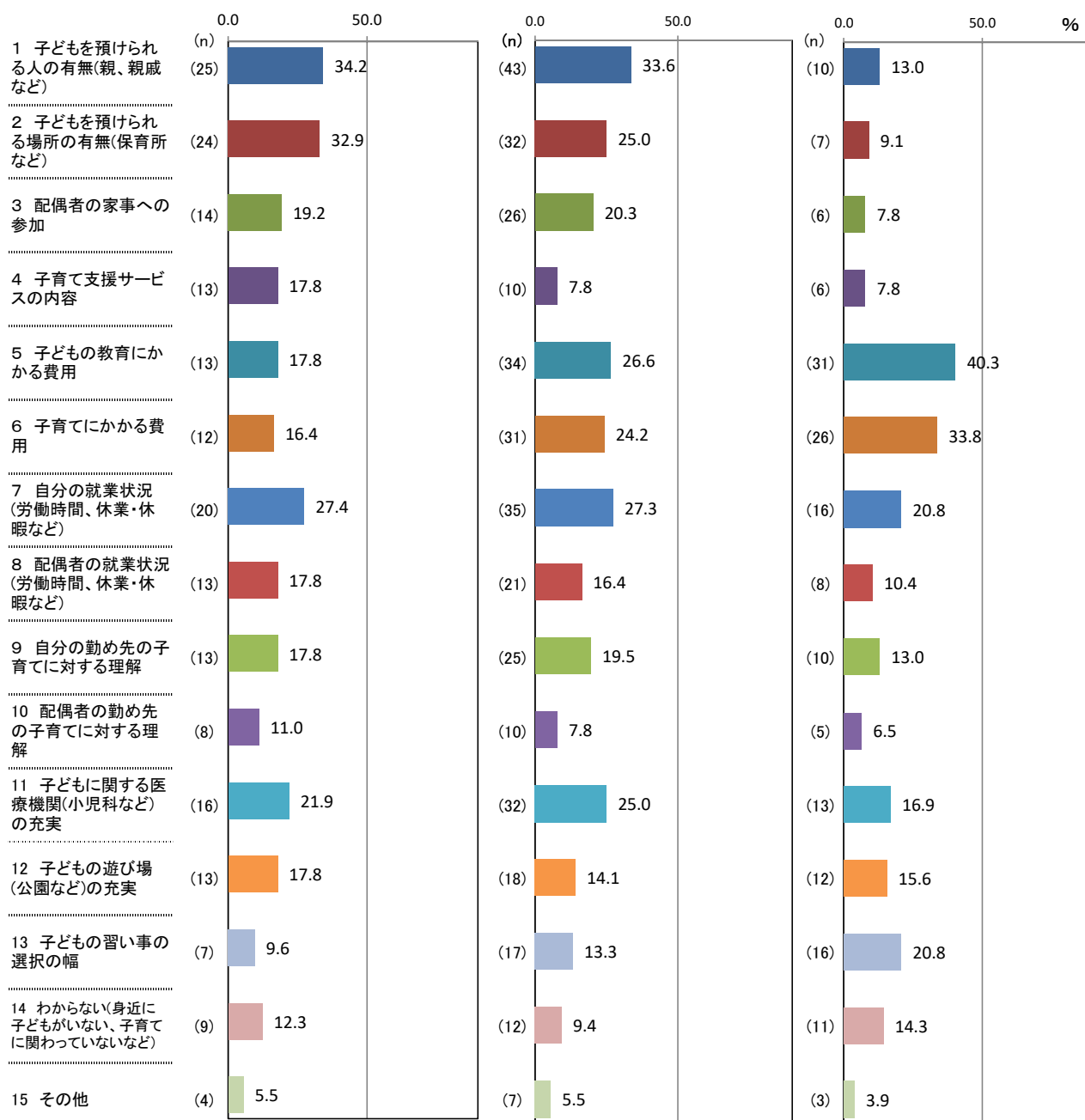
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「子育て」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人の回答 (204) 73 人	② 実感が横ばいの人の回答 (353) 128 人	③ 実感が低下した人の回答 (180) 77 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (25)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (43)	5 子どもの教育にかかる費用 (31)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (24)	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (35)	6 子育てにかかる費用 (26)
3	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (20)	5 子どもの教育にかかる費用 (34)	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (16)
			13 子どもの習い事の選択の幅 (16)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(4)「子育て」についての回答理由(問1-1(4)①「あなたが子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 子どもの 有無(親、 祖など)	2 子どもの 有無(保育 所など)	3 配偶者の 家事への参 加	4 子育て支 援サービスの 内容	5 子どもの 教育にかかる 費用	6 子育てに かかる費用	7 自分の就 業状況(労働 時間、休業・ 休暇など)	8 配偶者の 就業状況(労働 時間、休業・ 休暇など)	9 自分の勤 め先の子育て に対する理解	10 配偶者の 勤め先の子 育てに対する 理解	11 子どもに 関する医療機 関(小児科な ど)の充実	12 子どもに 遊び場(公園 など)の充実	13 子どもの 習い事の選 択の幅	14 わからな い(身近に子 どもがいない い、子育てに 関わっていない など)	15 その他
① 実感が上昇した人		34.2	32.9	19.2	17.8	17.8	16.4	27.4	17.8	11.0	17.8	21.9	17.8	9.6	12.3	5.5
② 実感が横ばいの人		33.6	25.0	20.3	7.8	26.6	24.2	27.3	16.4	19.5	7.8	25.0	14.1	13.3	9.4	5.5
③ 実感が低下した人		13.0	9.1	7.8	7.8	40.3	33.8	20.8	10.4	13.0	6.5	16.9	15.6	20.8	14.3	3.9

区分	計	1 子どもの 有無(親、親 戚など)	2 子どもの 有無(保育 所など)	3 配偶者の 家事への参 加	4 子育て支 援サービスの 内容	5 子どもの 教育にかかる 費用	6 子育てに かかる費用	7 自分の就 業状況(労働 時間、休業・ 休暇など)	8 配偶者の 就業状況(労働 時間、休業・ 休暇など)	9 自分の勤 め先の子育て に対する理解	10 配偶者の 勤め先の子 育てに対する 理解	11 子どもに 関する医療機 関(小児科な ど)の充実	12 子どもに 遊び場(公園 など)の充実	13 子どもの 習い事の選 択の幅	14 わからな い(身近に子 どもがいない い、子育てに 関わっていない など)	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=73人)	204	25	24	14	13	13	12	20	13	13	8	16	13	7	9	4
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=128人)	353	43	32	26	10	34	31	35	21	25	10	32	18	17	12	7
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=77人)	180	10	7	6	6	31	26	16	8	10	5	13	12	16	11	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(73名中3名記載)
・5、6、11、12、13に関してはあてにしているから ・子育てが終わっている

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(128名中3名記載)
・孫が保育園に行けない日は看病に行くが、その後自分が体調不良になる ・子育てが終わった ・給食

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(77名中1名記載)
・同部落に子供がいないので、いっしょに通学したり、遊んだりできない。

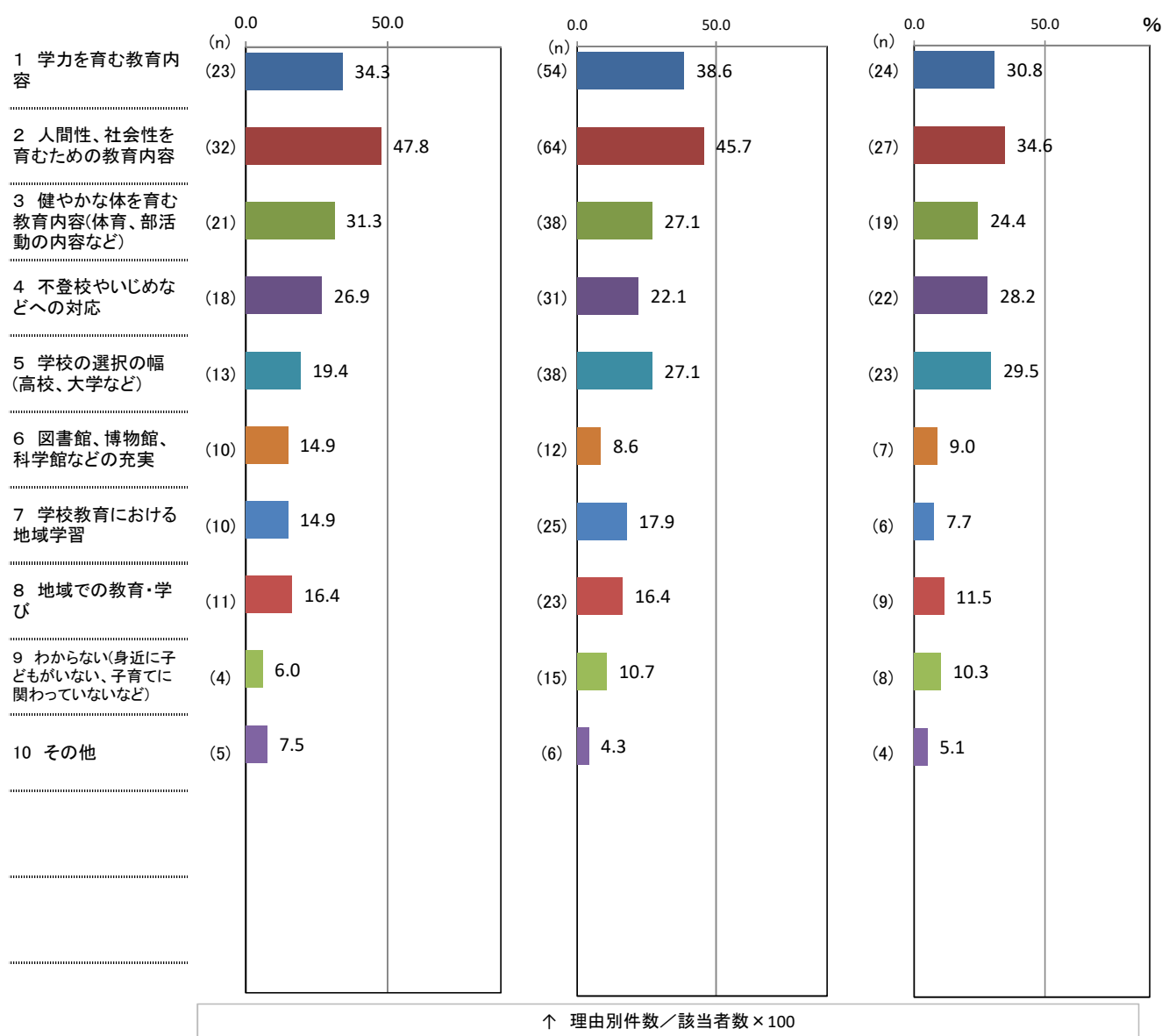
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「子どもの教育」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (147) 67 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (306) 140 人	③ 実感が低下した人 の回答 (149) 78 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (32)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (64)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (27)
2	1 学力を育む教育内容 (23)	1 学力を育む教育内容 (54)	1 学力を育む教育内容 (24)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (21)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (38) 5 学校の選択の幅(高校、大学など) (38)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (23)

()内の数字は件数。



【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性・社会性を育むための教育内容	3 健やか・な体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の運振の幅(高校、大学など)	6 図書館・博物館・科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない身近に子どもがいない、子育てに困っているなど	10 その他
① 実感が上昇した人		34.3	47.8	31.3	26.9	19.4	14.9	14.9	16.4	6.0	7.5
② 実感が横ばいの人		38.6	45.7	27.1	22.1	27.1	8.6	17.9	16.4	10.7	4.3
③ 実感が低下した人		30.8	34.6	24.4	28.2	29.5	9.0	7.7	11.5	10.3	5.1

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性・社会性を育むための教育内容	3 健やか・な体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の運振の幅(高校、大学など)	6 図書館・博物館・科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない身近に子どもがいない、子育てに困っているなど	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=67人)	147	23	32	21	18	13	10	10	11	4	5
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=140人)	306	54	64	38	31	38	12	25	23	15	6
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=78人)	149	24	27	19	22	23	7	6	9	8	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(67名中3名記載) ・子育ては終わり子供と暮していない ・中学校の校舎 ・部活動やスポーツ
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(140名中3名記載) ・人手不足 ・親の関与・経済的余裕 ・高校の長期休暇のバランス
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(78名中1名記載) ・発達障害児等の支援

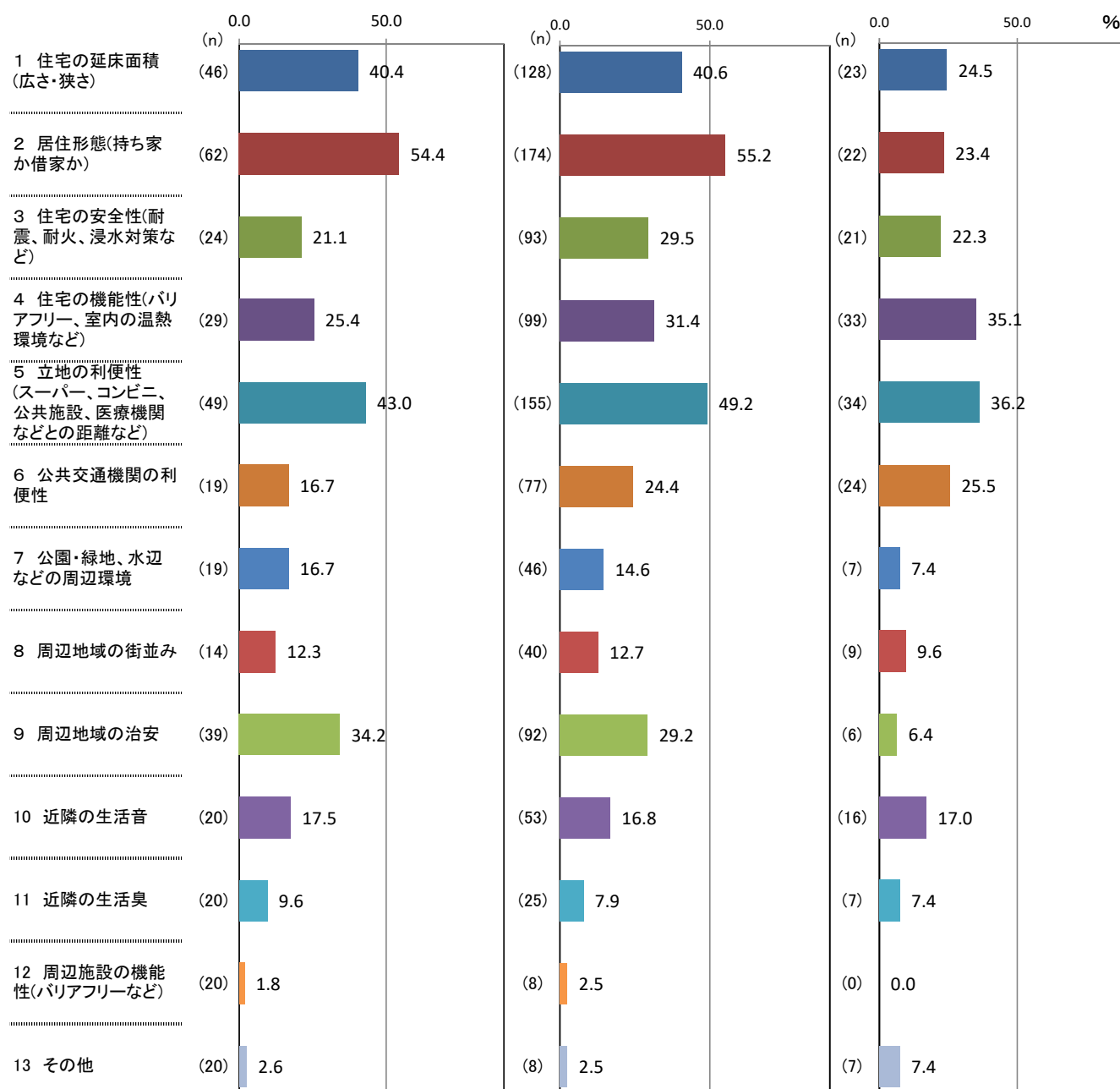
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「住まいの快適さ」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人の回答 (337) 114 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (998) 315 人	③ 実感が低下した人 の回答 (209) 94 人
1	2 居住形態(持ち家か・借家か) (62)	2 居住形態(持ち家か・借家か) (174)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (34)
2	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (49)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (155)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (33)
3	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (46)	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (128)	6 公共交通機関の利便性 (24)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(6) 住まいの快適さについての回答理由(問1-1(6)①「あなたはお住まいに快適さを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ、狭さ)	2 居住形態(持ち家か、家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、漏水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温度環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 実感が上昇した人		40.4	54.4	21.1	25.4	43.0	16.7	16.7	12.3	34.2	17.5	9.6	1.8	2.6
② 実感が横ばいの人		40.6	55.2	29.5	31.4	49.2	24.4	14.6	12.7	29.2	16.8	7.9	2.5	2.5
③ 実感が低下した人		24.5	23.4	22.3	35.1	36.2	25.5	7.4	9.6	6.4	17.0	7.4	0.0	7.4

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ、狭さ)	2 居住形態(持ち家か、家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、漏水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温度環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=114人)	337	46	62	24	29	49	19	19	14	39	20	11	2	3
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=315人)	998	128	174	93	99	155	77	46	40	92	53	25	8	8
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=94人)	209	23	22	21	33	34	24	7	9	6	16	7	0	7

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(114名中2名記載)	・高台住居 ・古いので
② 実感が横ばいの人の「その他」コメント(315名中6名記載)	・立地(自然豊かな)環境 ・庭が広く、野菜や果物を多く収穫できる。 ・高熱帯がなくて大変 ・家族の名義の家、親の介護 ・悪臭、煙 ・気候が良い。
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(94名中4名記載)	・グットデザイン賞の受賞 ・断熱性 ・田舎の為、移動手段が車しか無いが、ガソリンが高く…。

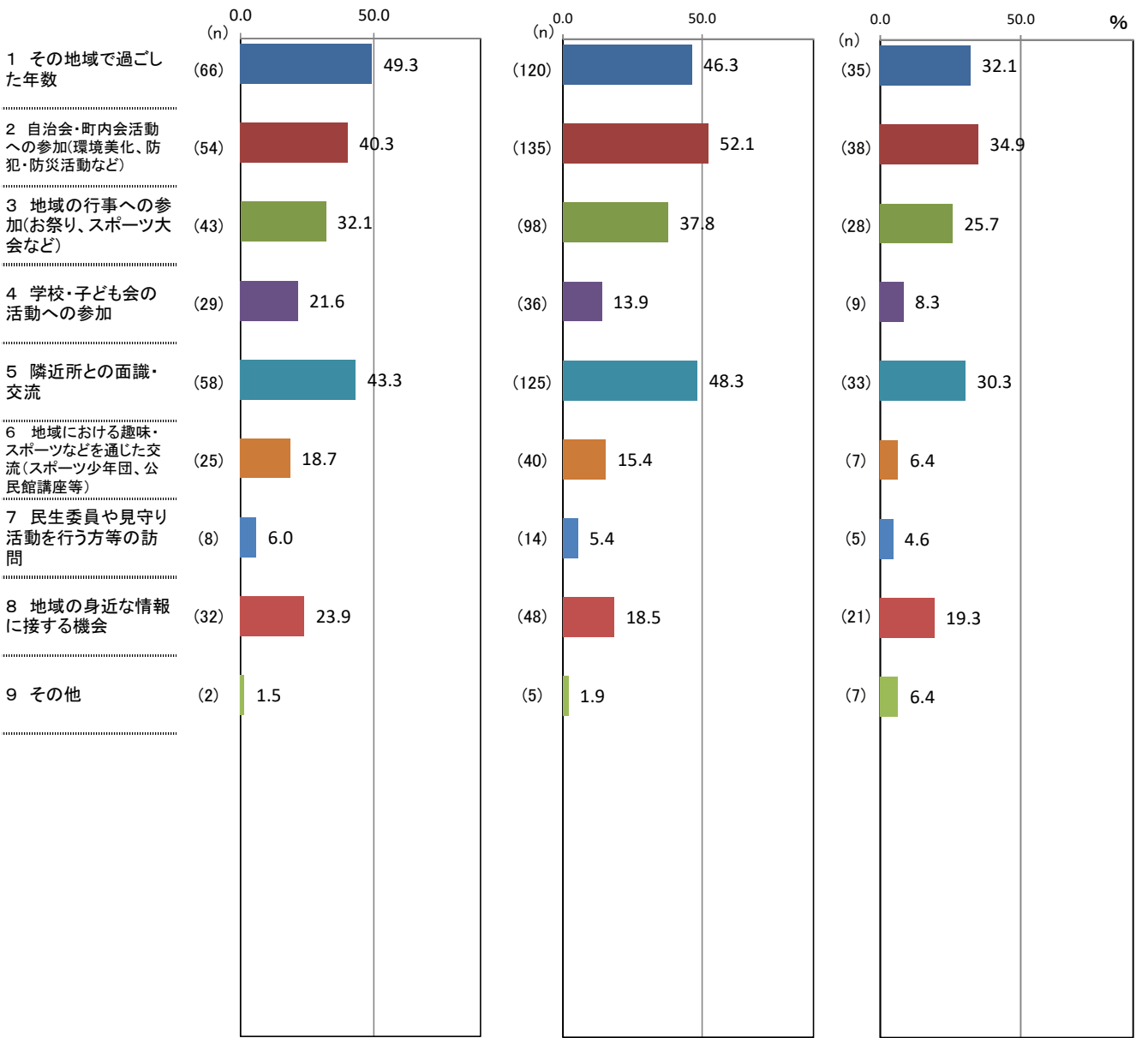
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「地域社会とのつながり」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (317) 134 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (621) 259 人	③ 実感が低下した人 の回答 (183) 109 人
1	1 その地域で過ごした年数 (66)	2 自治会・町内会活動への参加 (環境美化、防犯・防災活動など) (135)	2 自治会・町内会活動への参加 (環境美化、防犯・防災活動など) (38)
2	5 隣近所との面識・交流 (58)	5 隣近所との面識・交流 (125)	1 その地域で過ごした年数 (35)
3	2 自治会・町内会活動への参加 (環境美化、防犯・防災活動など) (54)	1 その地域で過ごした年数 (120)	5 隣近所との面識・交流 (33)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7)①「あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1. その地域 で過ごした年 数	2. 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3. 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4. 学校・子ど も会の活動へ の参加	5. 隣近所と の面談・交流	6. 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交流 (公民館講 座・地域のス ペースなど)	7. 民生委員 や町守り活動 等を行う方々 の訪問	8. 地域の身 近な情報に 接する機会	9. その他
① 実感が上昇した人		49.3	40.3	32.1	21.6	43.3	18.7	6.0	23.9	1.5
② 実感が横ばいの人		46.3	52.1	37.8	13.9	48.3	15.4	5.4	18.5	1.9
③ 実感が低下した人		32.1	34.9	25.7	8.3	30.3	6.4	4.6	19.3	6.4

区分	計	1. その地域 で過ごした年 数	2. 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3. 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4. 学校・子ど も会の活動へ の参加	5. 隣近所と の面談・交流	6. 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交流 (公民館講 座・地域のス ペースなど)	7. 民生委員 や町守り活動 等を行う方々 の訪問	8. 地域の身 近な情報に 接する機会	9. その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=134人)	317	66	54	43	29	58	25	8	32	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=259人)	621	120	135	98	36	125	40	14	48	5
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=109人)	183	35	38	28	9	33	7	5	21	7

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(134名中0名記載)

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(259名中4名記載)
・仕事中心の生活のため
・伝統を大事にしすぎる地方

・デイケアに通っている。
・村民性、市民性の性格

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(109名中3名記載)
・興味がない
・聞かわりがない
・居住形態

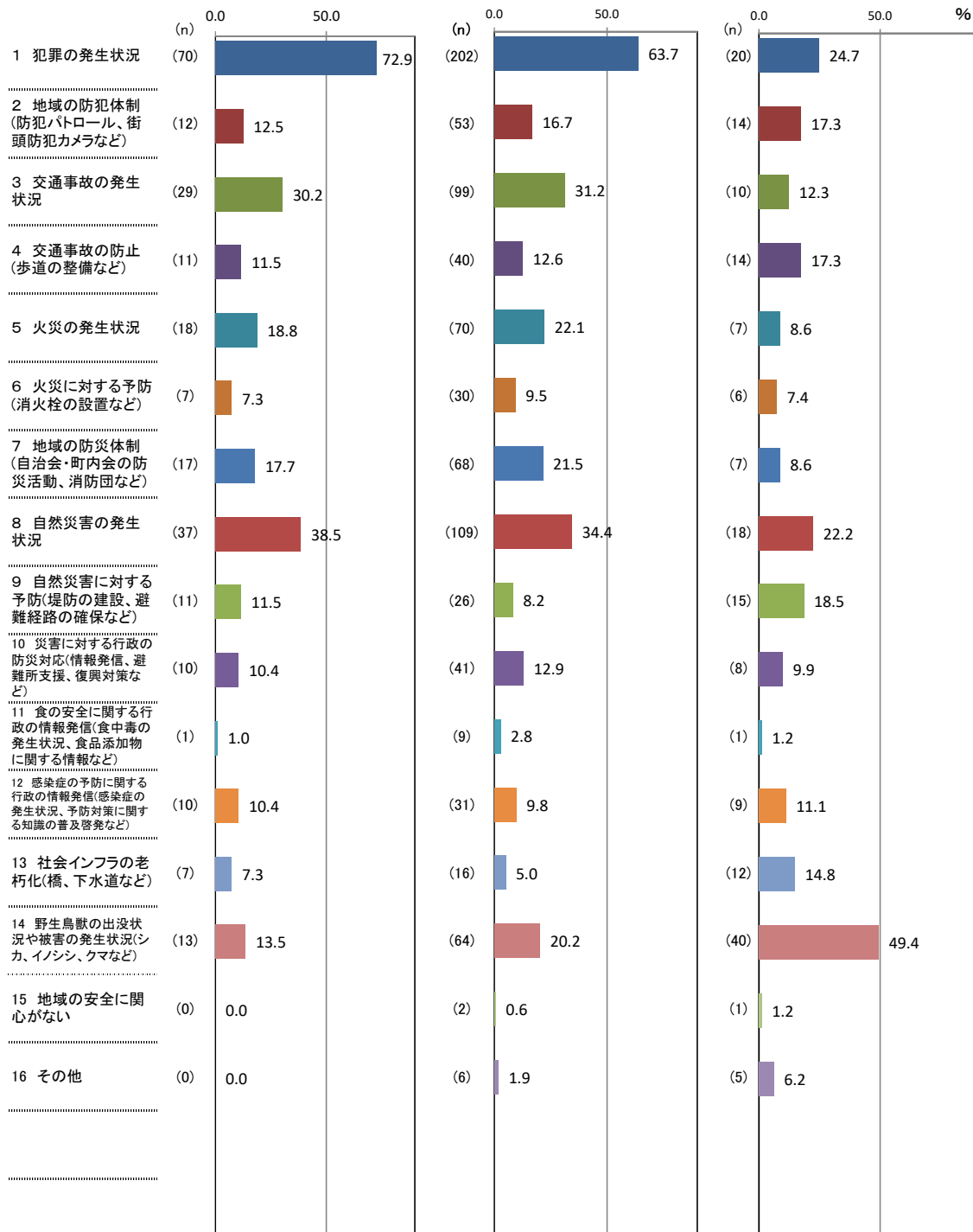
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「地域の安全」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人の回答 (253) 96 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (866) 317 人	③ 実感が低下した人の回答 (187) 81 人
1	1 犯罪の発生状況 (70)	1 犯罪の発生状況 (202)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (40)
2	8 自然災害の発生状況 (37)	8 自然災害の発生状況 (109)	1 犯罪の発生状況 (20)
3	3 交通事故の発生状況 (29)	3 交通事故の発生状況 (99)	8 自然災害の発生状況 (18)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (8) 「地域の安全」についての回答理由(問1-1(8)①「あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止歩道の整備など	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する対応(災害情報の伝達、避難所、食料・衣類・寝具の提供など)	11 食の安全に関する行政(食中毒の発生状況、食品の添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政(感染症の発生状況、予防対策に関する情報など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生動物の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
① 実感が上昇した人		72.9	12.5	30.2	11.5	18.8	7.3	17.7	38.5	11.5	10.4	1.0	10.4	7.3	13.5	0.0	0.0
② 実感が横ばいの人		63.7	16.7	31.2	12.6	22.1	9.5	21.5	34.4	8.2	12.9	2.8	9.8	5.0	20.2	0.6	1.9
③ 実感が低下した人		24.7	17.3	12.3	17.3	8.6	7.4	8.6	22.2	18.5	9.9	1.2	11.1	14.8	49.4	1.2	6.2

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止歩道の整備など	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する対応(災害情報の伝達、避難所、食料・衣類・寝具の提供など)	11 食の安全に関する行政(食中毒の発生状況、食品の添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政(感染症の発生状況、予防対策に関する情報など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生動物の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=96人)	253	70	12	29	11	18	7	17	37	11	10	1	10	7	13	0	0
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=317人)	866	202	53	99	40	70	30	68	109	26	41	9	31	16	64	2	6
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=81人)	187	20	14	10	14	7	6	7	18	15	8	1	9	12	40	1	5

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(96名中0名記載)

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(317名中3名記載)
 ・食品添加物について
 ・相対的に安全かは不明
 ・隣家が少なく不安なところもある。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(81名中2名記載)
 ・鍵の無施錠、外国人の増化(?)
 ・市民・県民・国民を大事にしている

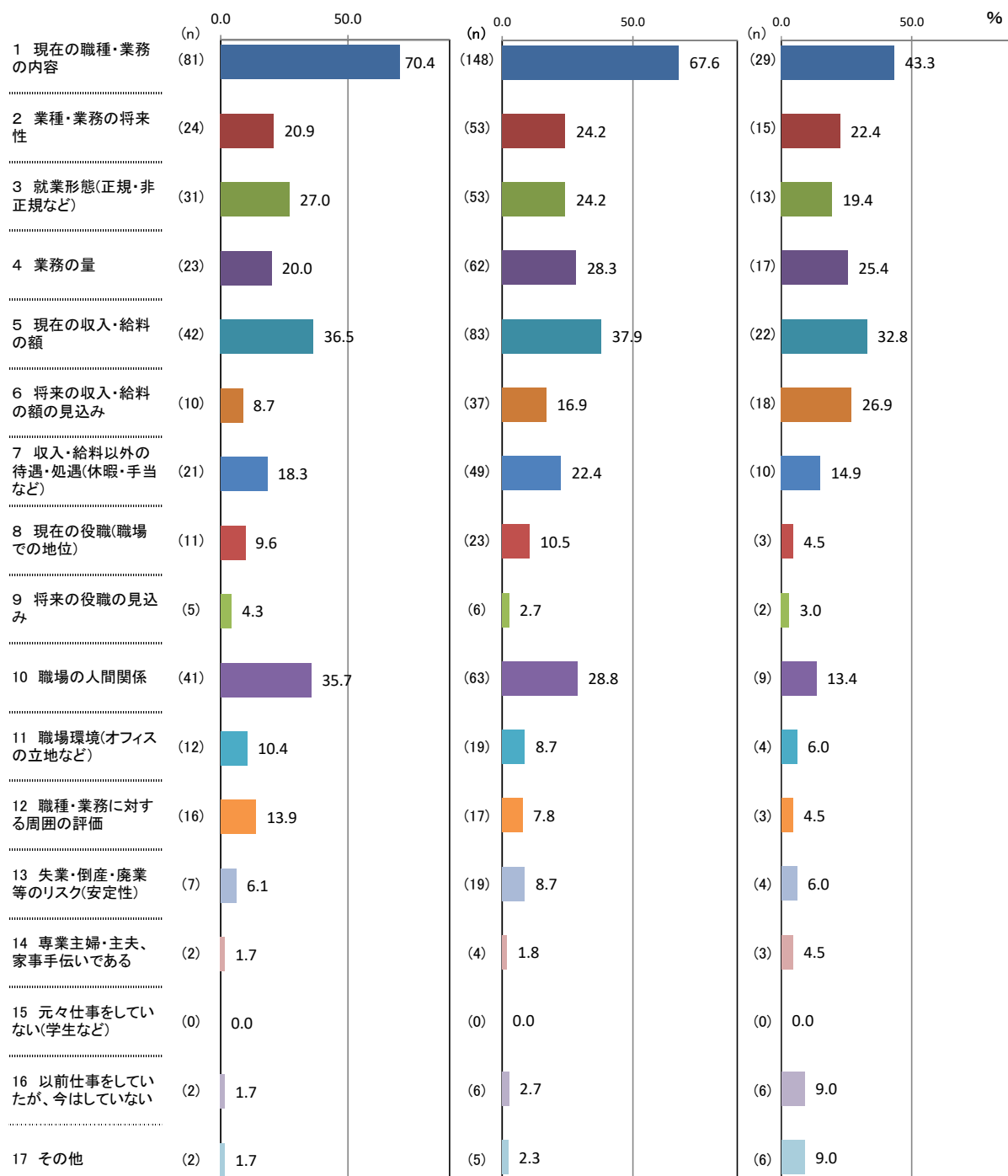
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「仕事のやりがい」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人の回答 (330) 115 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (647) 219 人	③ 実感が低下した人 の回答 (164) 67 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (81)	1 現在の職種・業務の内容 (148)	1 現在の職種・業務の内容 (29)
2	5 現在の収入・給料の額 (42)	5 現在の収入・給料の額 (83)	5 現在の収入・給料の額 (22)
3	10 職場の人間関係 (41)	10 職場の人間関係 (63)	6 将来の収入・給料の額の見込み (18)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(9)「仕事のやりがい」についての回答理由(問1-1(9)①「あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②」そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。』に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業務の将来性	3 就業形態(正規・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・知識(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫・家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていなかったが、今はしていない	17 その他
① 実感が上昇した人		70.4	20.9	27.0	20.0	36.5	8.7	18.3	9.6	4.3	35.7	10.4	13.9	6.1	1.7	0.0	1.7	1.7
② 実感が横ばいの人		67.6	24.2	24.2	28.3	37.9	16.9	22.4	10.5	2.7	28.8	8.7	7.8	8.7	1.8	0.0	2.7	2.3
③ 実感が低下した人		43.3	22.4	19.4	25.4	32.8	26.9	14.9	4.5	3.0	13.4	6.0	4.5	6.0	4.5	0.0	9.0	9.0

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業務の将来性	3 就業形態(正規・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・知識(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫・家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていなかったが、今はしていない	17 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=115人)	330	81	24	31	23	42	10	21	11	5	41	12	16	7	2	0	2	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=219人)	647	148	53	53	62	83	37	49	23	6	63	19	17	19	4	0	6	5
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=67人)	164	29	15	13	17	22	18	10	3	2	9	4	3	4	3	0	6	6

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(115名中1名記載)

・無職農業

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(219名中3名記載)

・家族の仕事の手伝い、サポート。

・やりがいを求めて仕事をしているものではないため

・家業を手伝っている給料はない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(67名中2名記載)

・短期間で仕事をしているが、孫が具合が悪い急いで休まなければならぬ迷惑をかける

・お金がもらえればそれでいい。やりがいを求めている

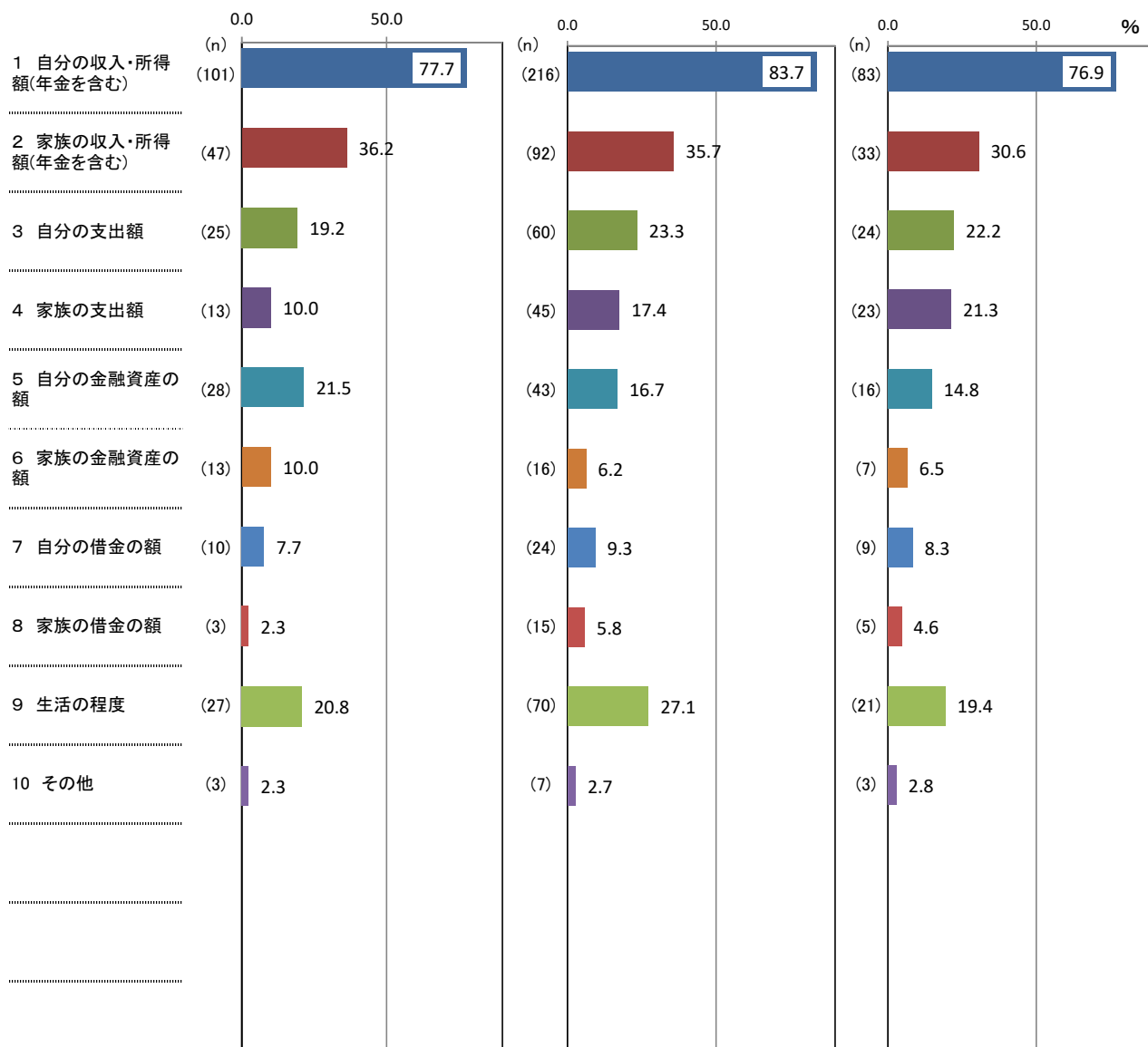
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「必要な収入や所得」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (270) 130 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (588) 258 人	③ 実感が低下した人 の回答 (224) 108 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (101)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (216)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (83)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (47)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (92)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (33)
3	5 自分の金融資産の額 (28)	9 生活の程度 (70)	3 自分の支出額 (24)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
(10)「必要な収入や所得」についての回答理由(問1-1(10)①「あなたには必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 自分の収入・所得額(年 金を含む)	2 家族の収入・所得額(年 金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		77.7	36.2	19.2	10.0	21.5	10.0	7.7	2.3	20.8	2.3
② 実感が横ばいの人		83.7	35.7	23.3	17.4	16.7	6.2	9.3	5.8	27.1	2.7
③ 実感が低下した人		76.9	30.6	22.2	21.3	14.8	6.5	8.3	4.6	19.4	2.8

区分	計	1 自分の収入・所得額(年 金を含む)	2 家族の収入・所得額(年 金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=130人)	270	101	47	25	13	28	13	10	3	27	3
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=258人)	588	216	92	60	45	43	16	24	15	70	7
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=108人)	224	83	33	24	23	16	7	9	5	21	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(130名中2名記載) ・転職をして、これから収入が発生するため ・実感がない	
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(258名中5名記載) ・内職のため ・無職なので ・物価高に収入が追いついていない。教育にも金かかり過ぎる。 ・物価高で苦しい	
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(108名中2名記載) ・仕事を辞めて収入がなくなったため ・年金暮らしである。	

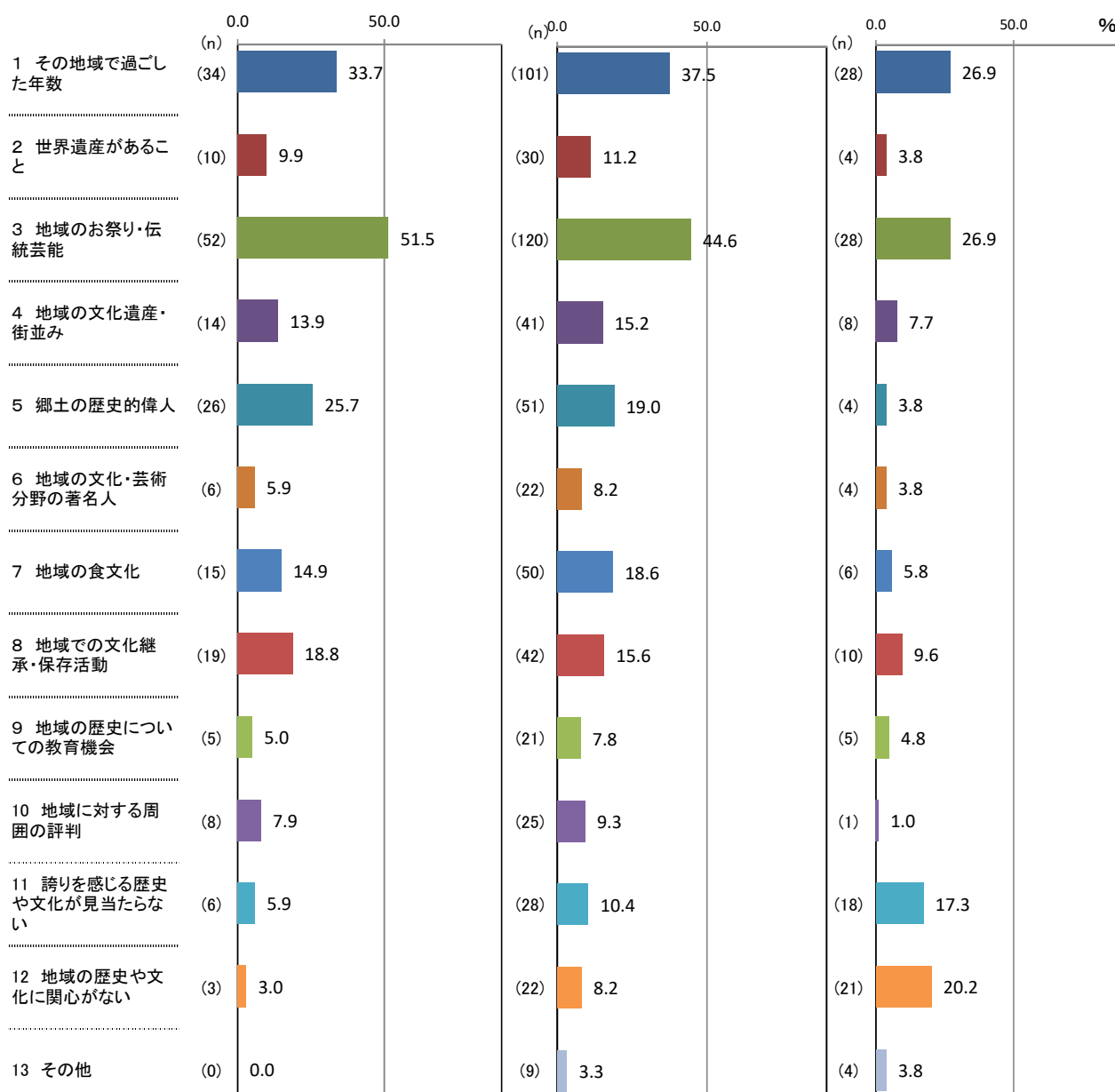
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「歴史・文化への誇り」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人の回答 (198) 101 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (562) 269 人	③ 実感が低下した人の回答 (141) 104 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (52)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (120)	1 その地域で過ごした年数 (28)
2	1 その地域で過ごした年数 (34)	1 その地域で過ごした年数 (101)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (28)
3	5 郷土の歴史的偉人 (26)	5 郷土の歴史的偉人 (51)	12 地域の歴史や文化に関心がない (21)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(11) 歴史・文化への誇りについての回答理由 (問1-1(11)①「あなたは地域の歴史や文化に誇りに感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

区分	計	1 その他で通じた年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史・人的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りに感じる歴史や文化が身当たりな心がない	12 地域の歴史や文化に心がない	13 その他
① 実感が上昇した人		33.7	9.9	51.5	13.9	25.7	5.9	14.9	18.8	5.0	7.9	5.9	3.0	
② 実感が横ばいの人		37.5	11.2	44.6	15.2	19.0	8.2	18.6	15.6	7.8	9.3	10.4	8.2	3.3
③ 実感が低下した人		26.9	3.8	26.9	7.7	3.8	3.8	5.8	9.6	4.8	1.0	17.3	20.2	3.8

区分	計	1 その他で通じた年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史・人的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りに感じる歴史や文化が身当たりな心がない	12 地域の歴史や文化に心がない	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=101人)	198	34	10	52	14	26	6	15	19	5	8	6	3	0
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=269人)	562	101	30	120	41	51	22	50	42	21	25	28	22	9
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=104人)	141	28	4	28	8	4	4	6	10	5	1	18	21	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(101名中0名記載)	
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(289名中8名記載) ・歴史・文化に触れる機会が減っている ・国の登録有形文化財があること ・盛岡市が2023年ニューヨークタイムズ紙に取り上げられた事。 ・「誇り」と言える程ではない。 ・自分がいる所の歴史や文化がよくわからない。 ・文化財に関わる所で働いている	
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(104名中2名記載) ・今 ・特になにもない為	

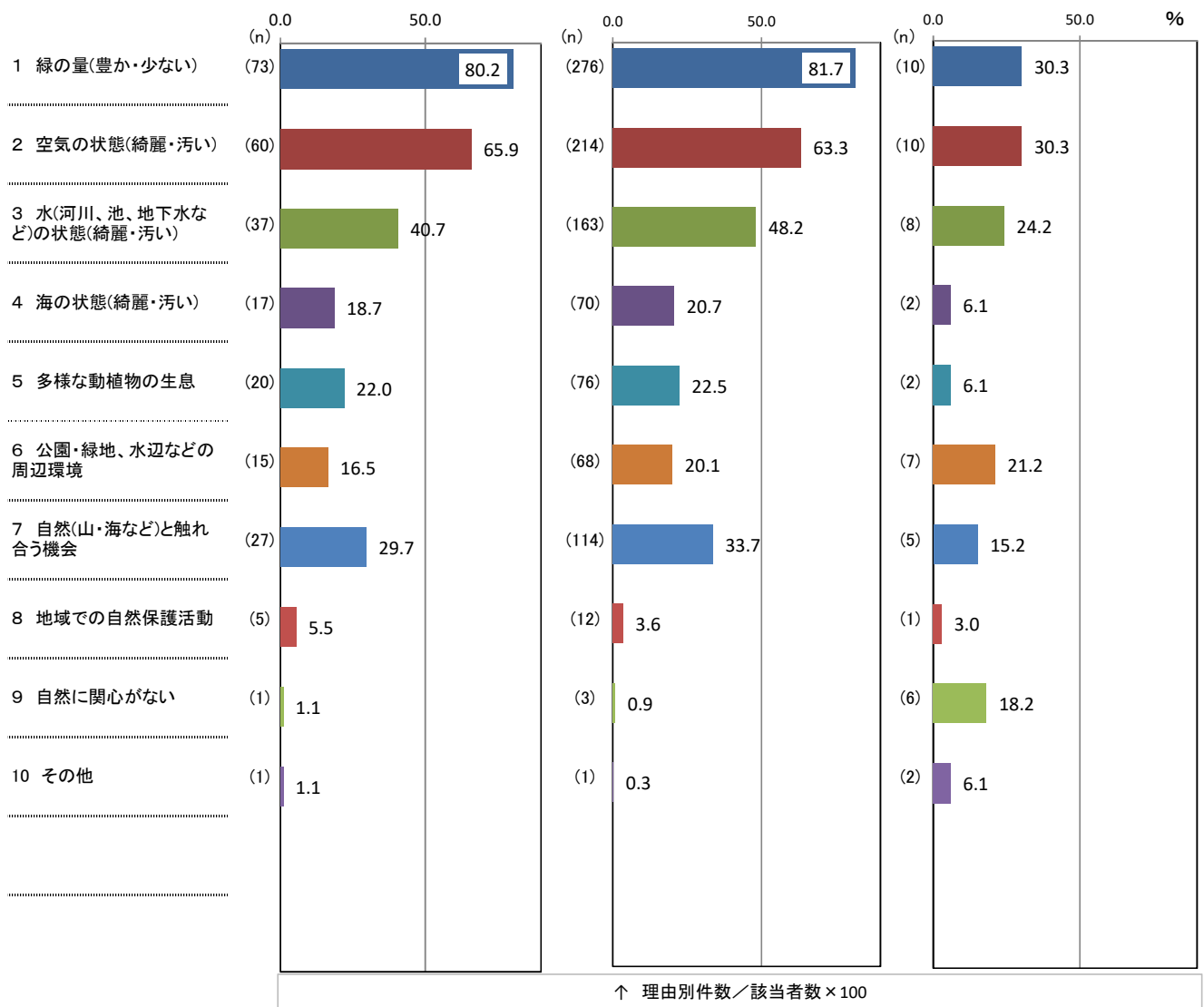
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

「自然のゆたかさ」(R5-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (256) 91 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (997) 338 人	③ 実感が低下した人 の回答 (53) 33 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (73)	1 緑の量(豊か・少ない) (276)	1 緑の量(豊か・少ない) (10)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (60)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (214)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (10)
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (37)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (163)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (8)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12)①「あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗な・汚い)	3 水(河川、地、地下水などの状態(綺麗な・汚い)	4 海の状態(綺麗な・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
① 実感が上昇した人		80.2	65.9	40.7	18.7	22.0	16.5	29.7	5.5	1.1	1.1
② 実感が横ばいの人		81.7	63.3	48.2	20.7	22.5	20.1	33.7	3.6	0.9	0.3
③ 実感が低下した人		30.3	30.3	24.2	6.1	6.1	21.2	15.2	3.0	18.2	6.1

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗な・汚い)	3 水(河川、地、地下水などの状態(綺麗な・汚い)	4 海の状態(綺麗な・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R5「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=91人)	256	73	60	37	17	20	15	27	5	1	1
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=338人)	997	276	214	163	70	76	68	114	12	3	1
③ 実感が低下した人 ただし、R5「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=33人)	53	10	10	8	2	2	7	5	1	6	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(91名中0名記載)

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(338名中1名記載)
・自然は豊かすぎます。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(33名中0名記載)

分野別実感と関連の強い要因の具体的な内容(R5-R7 比較)

(1)-1 からだの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	- 休日のんびりする時間を作って体を休めている。 - 仕事は残業も多いが内容が充実している好きな事を休みにできている。 - 普通に仕事できている 8時間と屋敷 20 分。 - 早寝早起き。 - いつでも眠れるし、1週間リズムをもって時間配分。 - 人事異動により負担の少ない部署に異動となった。 - 短時間でも仕事ができていること。 - やりがいのある仕事と趣味が両立している。 - 毎日の生活が自分の思い通りの時間配分でできている。 - 十分な睡眠と休養とれている。 - 完全週休2日の仕事につけている(休みがしっかりとれている)。 - ワークライフバランスがとれている。 - ワークライフバランスが整っているから。 - 毎日なるべく同じ時間に就寝、起床している。 - 宿泊業で設備管理に従事中です。 - 家事以外の仕事がないので、休養、睡眠が取れる。 - 転職をして生活習慣が変わったため。 - 仕事の休みも多く、家庭の事をしながら自分時間を持てている。 - 仕事、友人が良好。 - 過酷な労働などを強いられていないから。	- 横ばい。 - デスクワークの多さ。 - 眠くなることが多い(昼・夕)。 - 仕事の時間を減らしたい。 - 忙しく家族の時間がとれない。 - 労働時間が長い。 - 仕事で土曜出勤が多い。残業も多い。 - フルシフトがある仕事のため夜勤等で睡眠時間の確保や生活のリズムのバランスがくずれてしまっている。 - 仕事の時間が多め。	- 朝4時から勤務。 - フルタイム(正社員)になってから就業時間が増えて睡眠時間が減った。 - 睡眠。 - 労働時間が長い。買い物や通院に時間がかかる。 - 仕事の責任、夜勤の頻度が多い。 - 仕事、家事仕事に時間がかかるため。 - 仕事の量が、嘱託になった割には多すぎる。 - 平日は運動など出来ない。土日は中学生の部活送迎が無が寸前で決まるので予定が立てにくい。 - 時間が足りない。
2 スポーツの習慣の有無	- ランニングや登山で体を動かしている。 - 好きなダンスをやることができ、その仲間と楽しいイベントも多い。 - スポーツジムに通っている。 - 週にいきいき体操、軽体操と1時間ぐらいいを3日。 - ストレッチをするようになった。	- 運動をしたいと思ってても、運動できる場所があまりない。 - なかなか習慣付かない。 - 家でゴロゴロしている為、普段運動しなくなった為。 - 運動の習慣をなかなか持てず、気になっている。 - ヨガを始め運動不足解消に努めている。	- 未就学児を預けてまで運動へ行けない。 - スポーツの習慣が無いので、運動不足のせいなのか身体が固く、どこだり痛い(腰や足)。

- 誤字脱字と推測されるもの、固有名詞は適宜修正しています。
- 個人情報、プライバシー等に関するものは除いています。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	動けることと、ランニングを続けているので健康に過ごしている。	- スポーツしてない。 - 運動不足。 - 暑い時のゴルフ、屋外スポーツは止めた。 - 毎日の習慣にしたい。 - 趣味でボーリングをしていたが、一緒にやる人がいなくなった。 - フルシフト勤務(早番や遅番や夜勤等)の仕事のためスポーツしたいが時間確保が難しい部分があるため。	
3 歩行などの行動の制限の有無	- 自分で車を運転、歩くことに不自由を感じないの。 - 長歩きはできない。腰痛。 - 通勤のため習慣的に歩いている。 - 行動制限なく活動できる。 - 毎日 8,000 歩以上歩くようにしている。 - 週2、3回ウォーキングしている。 - 行動制限がない。	- 脊柱管狭窄症、ひざ変形性関節症歩行が辛くなってきた。 - 座骨神経痛で、整体通いです。 - 運動をするように心がけている。(ウォーキングなど)	- 息切れがひどい。 - 毎日散歩は心がけていますが股関節や腰など年令重ねるごとに色々痛いところが出てくる。特に 70 才過ぎる。 - 車移動が多く歩く機会がない。 - 内臓疾患に関わる持病有。
4 食事の制限の有無	- 食事制限がない。 - 食べたい時に食べられる量をしっかり食べることができているから。 - 好きなものを好きなだけ食べられる！！ - 自分で食事に注意せずに食べられるので。 - 特に制限がない上に、健康や体重増加に注意して食事をとっている。 - 食事制限なく食事をとれる。		
5 健康診断の結果	- 節酒の指示あり。 - 要検査等の項目がないため。 - 再検査項目が無い為。 - 以前より良くなった。 - 市の定期診断。 - 人間ドックの受診。 - 健康診断の結果など特に問題がない。 - 結果が良かった。 - 健康診断の結果が良くなったので。	- 通院中で毎月薬をもらっている。 - 高血圧、視力聴力の衰え。 - 腎臓の検査結果が高くなっており、再検査が待っている。 - コレステロール高値のため、通院している。 - コレステロール。 - 中性脂肪が高値であった。	年齢的に相応と言われたが、血圧などの数値が変わった。
6 持病の有無	持病はあるが、通常の生活が出来ること。	脊柱管狭窄症、ひざ変形性関節症。	昨年より体調不良が増え、家事にも支障が出てい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	- 持病はあるが安定している。 - 肝機能。 - 体調不良等はあるが、大きな病気はないため。 - うつ病の薬を飲んでいる。 - 生活に支障をきたす持病もなく健康に暮らしている。 - 高血圧。 - 持病が無い為。 - 高血圧、便秘、排尿困難、服薬通院中。 - 高血圧かかりつけ医あり。 - 病気がない	- 高血圧。 - 体調に波があり、良くも悪くもなりうる。 - 時々、嘔吐する程のめまいがあり、夏には、病院の先生から頂いていた薬を服用してもなかなか良くなり、三日寝込んでしまいました。又、そんな事になると思うと、怖いです。 - 狭心症。 - 耳のきこえが悪い。 - 持病はないが、カゼをひきやすい。 - 白内障→見えづらくなってきたので不便。 - がんの後遺症で体の一部に不具合がある。治療に保険がきかずなどもならない。 - 手術後の副作用が出てきており、生活に支障あり。 - 白内障の手術をした。 - 消化器系の不調。	- 股関節が痛い。 - 腎臓結石で、入院した。健康が一番大切と感じた。 - 持病が増えていく。 - 持病だけでなく、次々と毎年のように病気が増える。 - 難聴、目のかすみ、高血圧。 - 脳卒中の後遺症のため、左半身が不自由なので、行動に制限がある。 - 脳卒中になったため。 - 蓄膿症の再発、白内障の発症。 - 持病が多い。 - 年々不調が増えるし、健康診断の数値も悪くなっていく。 - 難聴、緑内障、皮フ炎病、ひざなど。 - 肺炎腫。 - 内臓疾患に関わる持病有。
7 ころの健康状態	- 子育てと仕事でストレスが多い中、こころの健康を保つのは難しかった。 - 仕事も私生活もストレスなく過ごす事が出来ている。 - 苦しいながらも何とか生活できている。 - 週末にリフレッシュ出来ている為。 - いつも安定している。 - 家庭の問題が解決した。 - 娘に早世されているので、考える事が多い。 - 地域の調理ボランティア、趣味で和太鼓とストレス解消。 - 経済的な問題としては苦しい部分があるものの、地域との交流等、通常に行えており、心の健康状態に支障ないと考えている。 40代になり、いろんな意味で穏やかに過ごせている。	- 気分が落ち込む。 - 仕事でのストレス。	- 子どもの病気。 - 職場の上司にパワハラを受けている。 - 仕事量が多過ぎる。 - 仕事のストレスなどによるもの。 - 妻の死亡。 70才すぎると出かけようとすると心にプレッシャーを感じて、誰か出かけると約束するとプレッシャーを感じて、一人働きだと緊張なし。 - 仕事のストレスが多。 90才近い両親の介護を長女である私一人でやっている。
8 その他()	- 年齢的な心体の衰えを感じるから。 - 家族との旅行。		- 加齢による全体的な衰え。 - 内臓疾患。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
複数選択等(※)	• (1.3) 睡眠6時間仕事、動きのあることで運動にもなっていると思う。 • (1.7) 仕事のストレスが減った。 • (3.4) 身体的に大きな支障なく行動できている。通常の食事が毎日支障なくできている。 • (4.5.6) 持病なく健康である。食事内容や量に気をつけている。 • (5.6) 持病を、受け入れ穏やかに過ごせていること。	• (1.2) 休日にスポーツなどを計画的にと思いつつ友達とおしゃべりで済ませているので少し健康的な事をしたと思います。	• 体の衰えをつくづく感じる。 • (2.6) 腰痛、狭心症の為、激しい動きは出来ない。 • (3.6) 70才を過ぎて脊柱管狭窄症を発症し思うように歩くことができなくなった。 • (3.7) 昨年の10月～12月、ケガで入院。現在、まだ歩行が不自由。 • (4.6) 糖尿病の為。 • (4.6) 70才を過ぎて糖尿病を発症し食事に色々な制限が加わった。糖尿病になるとごはんを減らして野菜多めに。食事制限があると食べることが好きな人は心身の健康があまりよくないかも。

(1)-2 こころの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	• 仕事を再開して、精神的に安定したため。 • 自分のペースで時間を過ごせている。 • 通常の時間配分としてまずまず問題を感じない生活が出来ていると思う。 • ゆっくり休めていて、それが、こころの健康につながっていると思う。 • 休みの日に自由に使える時間がとれている。 • 睡眠がきちんと取れている。 • 夜中に起きることがなくなった。 • ワークライフバランスがちゃんと取れているから。 • 家族がいるから幸せ。 • 毎日8～9時間寝ている。 • よく食べ、よく眠り、よく食べているから。 • 仕事の年間休日が多く、自分の好きなことにさせる時間が多い。睡眠も毎日7時間以上とれていて満足している。 • 週4日の仕事にして、自由な時間と仕事のバランスが良い。 • やりたいことをやっているため。 • 子育てでしつかり睡眠はとれないが、毎日楽しい。 • 早寝早起きを心がけ生活リズムのバランスを心がけている。	• 睡眠不足。 • 仕事で忙しく家族の時間がとれない。 • 夜勤等ある仕事のため睡眠不足や生活のリズムのバランスが崩れてしまいがちになるため。	• 特にストレスによる睡眠、休養がとれないこと。 • 睡眠。 • 仕事の責任。 • 浅眠にて中途覚醒(子どもの寝言や、布団脱ぎ)。ちよっとした音でも起きてしまう。
2 仕事・学業におけるストレスの有無	• 仕事楽しい。 • 仕事で忙しいことはとても良い！ • 特にストレスはない。 • ストレス無く仕事が出来ている。 • 人間関係のストレスがへった。 • 仕事でストレスがあまりない。 • 仕事でストレスを多少感じる。 • 仕事の将来性への不安。 • 仕事をほぼ引退したのでたっぷり自由時間がある。 • 忙しいが楽しく仕事が出来ている。 • 仕事上のストレスはありません。	• 仕事のやり方を変えるのが大変。 • 仕事におけるストレスが大きい。 • 管理職であるため。 • 仕事の対人関係のストレス。 • 上司のパワハラが許容されている。 • 仕事でのストレスをうまくリフレッシュできていない部分があるため。	• 定年が近い。業務内容の変化。(会社から必要とされていない)。 • 上司が、高圧的な態度である。 • 仕事が無い。無職でお金が無い。 • 仕事量が多過ぎる。 • 仕事のプレッシャーやあせりやミスによるストレスなど。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	・ 仕事が好き、人間関係も良いから。 ・ 仕事在宅なので人間関係のストレスはほとんど無い。		
3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	・ 現在主婦のため、子育てがメインだから。 ・ 子育てのストレスが大きい要因となっています。 ・ 家族に何でも言ったり、相談できるので安心。 ・ 子育て。 ・ 当然ストレスはあるが、このストレスは現在パワーの元になっている。 ・ 家族、親戚関係が良い。 ・ 昨年4月～家族の生活スタイルが変わった(子どもの進学)。 ・ 特にストレスはない。 ・ 私生活もストレス無く生活出来ている。 ・ 私生活でストレスがない。 ・ 問題が解決した為ストレスが少なくなった。	・ 将来の不安。 ・ 高齢の両親のことを考えると、不安になる。	・ 仕事のストレスはあまり感じない。家にいると、夫、子ども3人(年長、中2、高3)同居の義父母がおり、考えることが多く、気持ちに休まらない。 ・ 人間関係。家族、子どもの友人など。 ・ 家事仕事の負担が大きいため。 ・ 二人生活なのでストレスを感じるのかも。 ・ 家事が下手。
4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など)	・ 仕事のストレスがあっても、趣味などプライベートな時間を充実させる。 ・ 町内や老人クラブ(事務局長)活動で会員とのふれあい、行事を積極的に行って楽しい時間を過ごしている。 ・ 外出はあまりないので、家の中でのテレビドラマ(音楽)を見るのが重要な息抜きになる。 ・ 学びたい事をオンラインとあるがスタートできた。 ・ 子育てが終り、自分の時間が持てるようになった。 ・ 読書、文書(書く)。 ・ 自分の為に使える自由な時間が十分に確保できている。 ・ 趣味を通じての出会い、触れあいが増えています。 ・ 休日登山など楽しめる。 ・ 映画鑑賞、編み物を友人としている。 ・ 子どものスポーツ応援やジムに行ったりして充実している。 ・ 好きなことをしていられる(ヒマあれば)。 ・ 余暇を楽しめている。	・ 仕事時間をへらして趣味の時間を多くしたい。 ・ 近くに、そういう場がありません。 ・ 体が不自由なため、とても健康(心も)とは言えない ・ コロナ以来、出かけることが減った。 ・ 週末農作業あるが、たまに外出。	・ 充実した余暇がないため。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• たまに県内、外へ旅行に行きリフレッシュできている。		
5 相談相手の有無	• 相談する相手がいること。 • 妹や市役所、障がい者支援センター、医療機関の方々が親切。 • ケアマネージャー。 • 悩んだ時や抱えきれない事があった時に話せる人が居る。 • 仕事では大変ストレスを感じるが職場内、友人、夫が話をよく聞いてくれたり改善してくれようとしていたりする。	• 一人暮らし。 • 一人でいると寂しさを感じることもある。 • 妻。	• 妻の死亡(令和6年)。 • 実母が近くに住んでいるが、長女(私の姉、自閉症、無職)とおり、お金でも迷惑かけており、相談しづらい。負担かけたくない。 • 3人兄妹であるが、両親の世話を長兄、次兄は全くしない。 • 悩みを相談する相手がなかなかいないこと。
6 からだの健康状態	• 身心を自由にできる。 • 今は病院にかかっていません。 • 持病なく健康。 • 医師と相談しつつ、不安を少なく過ごせている。 • 特別に持病と言える程の病気も無く生活できている。 • 歩行などの行動の制限、持病(腰痛)。	• 特に問題なし。 • 体調が悪いと不安になる。 • 体が不自由なため、とても健康(心も)とは言えない。	• 身体のリハビリが、いまの感じであり外に出られない日が続いている。 • 病気の事はばかり考えてしまっ前向きになれない。 • 高齢とは云え、健康被害していれば心沈む。 • 年令(73 才)過ぎると体と心がうまくついていけないのがとても悔しく感じます。年とって若い人とはとてもいいなあと思います。昔、年寄りの人によく云われたのをつくづく思います。 • 左半身が不自由なため、やりたいことができず、ストレスを感じる。 • 目、耳、高血圧。 • 頭に圧迫感をいつも感じる(薬の副作用)。
7 その他()	• 子どもがそれぞれに家庭を持ち、仕事も充実、今のところ不安なく生活できている。 • 家族との旅行。		• 物価高による経済的な憂慮を以然よりも強く感じるようになった。 • 物価高、給料が上がらない。先への不安。 • 恋人にふられたショックを感じる(失恋した為)。
複数選択等(※)	• (4.3) 趣味を楽しめている。人間関係のストレスがない。 • (1.4.5) 地域の会合になるべく参加し多くの人と話しがきけるので幸せな気分になれています。 • (1.2.3) 実家に住みそこで仕事をすることになって東京から帰省したが、精神障がい(の甥)がいてその父親(兄)が子どもかわいさに私を追い出し、人間として家族として扱われず 13 年。	• (1.4) 家族に合わせた時間配分で、自身の予定が立たない。 • (-) 健康診断などできるだけ出席するようにした。	• (3.4) 人間関係の問題。 • (1.3.6) 仕事と育児、家事のバランスがうまくいかない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	(5.6) 宝物のように思う、いどこ、友人がいる。今のところ悪いところはないと思う		

※ 複数選択等の(－)は、要因の番号の記載が無かったもの

(2) 余暇の充実

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 自由な時間の確保	- 自由な時間の確保が子育てで難しい時もある。 1日のうち少しでもひとりの時間を過ごす。 - パズルで楽しむ。 - 自由な時間は、好きな事をしている。 - スケジュールを調整し自由時間を作る。 - なかなか1人で使える時間は取りにくい。 - 夫が家事を積極的にしてくれるため、時間がとれる。 - 昨年より平日の余暇時間が増えた。 - 家族の協力のもと、自分の時間を持っている。 - 自分を休ませられる。 - 自分の時間が十分に持てていないと感じるから。 1人の時間があって好きなことができる。 - 限られた時間ではあるが、子ども達も成長し、自分自身の時間が作れるようになった。 - 自由な時間を自分のために使える。 - 自分のやりたいことを出来ること。 - 無職なので自由な時間が取れる。 - 子育て中で確保できない。 - 家族のおかげで、ひとり時間を楽しめている。 - 好きな事出来ている。 - 自由時間がある。 - 自分時間を確保できている。 - 無職なので、自分で自由にほとんど決められて最高！ - 子育て中なので自分の時間の確保できない。 - やりたいこと、やって見たいことを積極的に取り組む妻との共同で出来ることを取り入れるようにしている。 - 確保できている - 取りためたドラマを見てストレス発散している。	- 仕事以外の時間はすべて自由。 - 先程も記入した様に、仕事が休みの時に病院の予約などを入れる様にしていたり、頼まれ事したりで、自由な時間が中々取れない。 - 休日は好きな事や、休息に時間を使えられている。 - やりたい事に割く時間がない。睡眠時間を削ってしまい逆に疲労がたまってしまう。 - フリーな時間は確保できている。 - 家族や親戚の用事のため、自身の余暇時間が減少しているため。 - 一人になれる時間が自分にはとても大切だと思う。 - 年金生活で自由な時間が多い。 - 土・日休日もあり出勤も有る。平日休日もあるので、時間の調整自由。 - 仕事忙しいので自由時間が少ない。 - 子どもたちとゆったり過ごせていること。 - 自分なりの生活時間の配分により家事、趣味、読書をする。 - 自由の時間が増えたので、自分が好きな事をできる時間が増えた。 - 仕事以外に地区の役員(強制)やスポーツイベントの役員などに土日もとられ、「自分の時間」が無い。 - 休日は子どもの習い事の送迎中心の生活。 - 自由な時間がある為。 - 家の事をしていると時間が足りない。 - 自由な時間があり、読書、散歩などができる。 - 好きなTV番組を見られているから。 - 日常生活(家事等)で1日が終わってしまう(病院に行く事も多いので)。 2時間ほど、ゆったり過ごせる。 - 比較的、自由な時間がある。 - 自由時間を確保できない。 - 自由に好き勝手ができる。	- 農繁期はなかなか、自由な時間がとれない。 - 自分のための時間がとれにくい。 - 昨年末、父親が亡くなり高齢の母と2人暮らしのため外出を控えているため。 - 自分の時間がほぼ無い。平日仕事でできない家事などをする為に使っている。 - 自分の時間を作るのがへただ。 - 休みの日は家事と家族の通院付き添いで終わるので。 - 育児のため、自分の自由時間が少ない。 - 自由な時間はない。土日は二女(中学生)の部活送迎が必要な時もあり(寸前にしか予定が立たない)、休みでも家事をしなければならぬ。(夫、義母は割と自由) - 自由な時間があるため。 - 週休2日だが、体の疲れを取るのに2日かかるので、他の活動をするのに十分な時間がない。 - 確保できている。 - 仕事、家事があるため。 - 子どもが小さく、仕事復帰したばかりの為、休日などは家のことで終わり、余暇らしい余暇がない。自分で選んだため不満ではないし、将来的な楽しみもある。 - 毎日が慌ただしく休日も家事や通院に追われている。やりたいことは沢山あるが時間捻出ができていない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 仕事を辞めてからかなりたつけども上司や同僚などからのいじめがないからその点は充実している。 - 定休日(週2日)と早朝時間を自由時間として活用。 - 前もって、計画的に予定を立てて、過ごしている。 - 貴重な休日や、時間なので、有益な事に(or有意義に)費やしている。 - 自由な時間がある。 - 仕事が休みの前夜しかない。 - 大体、週休2日をとれているため。 - 自由な時間(プライベート)が確保出来ていない。 - 一人暮らしで自由時間が多くある。 - 自由な時間の確保ができている。 - 息子が不登校の為、自分自身(1人で)学校の事、息子の事をしているから。 - 家事がへたで時間がかかる(父と別居(しゅじん))。 - 家に老人が1人である為できるだけ、家事に時間がかかる。 - 一人暮らしなので自由に過している。 - 介護等があり、自分だけの時間が少ない。 - 自由な時間の確保もありがたい。 - 一人の時間を楽しめている。 - 自分である程度決められる。	
2 運動や行動の制限の有無	- 物価高によりお金が足りないため。 - トレーニング、ジム。	- 健康体で日常の行動に制限がない事。 - 持病の為運動制限がある。 - 割と制限感はない。 - したいことはいっぱいありますが中々行動に移さない。実行力に欠ける。 - 腰に気を付けながらも、それなりに自由な行動、活動ができています。 - 制限無。 - 特に問題ない。 - 歩いて、買い物や用足しに行ける。一人の時間を楽しめている。 - 運動の日を決めている。週二回と定期的。 - 前もって、計画的に予定を立てて、過ごしている。	- 歩行困難。 - 基礎体力の低下。 - 公共交通機関を使える体でないので出歩けない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		貴重な休日や、時間なので、有益な事に(or有意義に)費やしている。 ・ 制限が無い	
3 文化・芸術の鑑賞	・ 地理的な不便さを感じるものの、ネットの時代で何とかなっている。 ・ 自分から出かけるように心がけている。 ・ 好きな映画や音楽を楽しめている。 ・ 友人と出かける事ができるようになった。	・ TV、ラジオ、PCで、好みのものを選ぶことは幸せと思う。(外へ出かけて、は年々体調的に制限が出てきているが) ・ 主にテレビを見る。 ・ コンサート等。 ・ 鑑賞したいミュージカルなど県内に少ない。 ・ たまのドライブ(ランチ)(夫運転)が気分転換になる。 ・ 高校・大学野球を観戦している。 ・ テレビ、インターネット等で好きな物を見ている。 ・ どうすれば観戦できるのか手続きを考えると後回し。	・ 保存会の活動も自分が主となり動かねばならない年になり、参加するのは楽しいが責任もある。
4 スポーツ観戦	・ プロ野球観戦。 ・ 子どものスポーツの応援。	・ どのへへ行けば良いか分からない。 ・ 簡単にいけない場所で行くことが多いので。 ・ 学習会等。 ・ 県立美術館など夕方から夜にかけて開いてほしい。	・ 家族と野球観戦に行きたいが、からだの不自さから道中の心配があり、なかなかできないでいる。
5 文化・芸術活動の場所・機会	・ 美術館などに行って良い刺激を受ける。 ・ お茶等。	・ 自宅に卓球台が有リスポーツをしている為。 ・ 月2回ボーリング教室に行っている。 ・ クラブに入ってバドミントン。	・ 身近に文化を体験させてくれる方もいる。ただ選択肢に限りがあり、幅がないと感じてしまうこともある。 ・ いろんなイベントに呼んでもらえるが、ほとんどがボランティアで、費用がかかる。楽しいから頑張っているが。
6 スポーツの場所・機会	・ 去年冬からボーリングを始められた。(冬場だけ) ・ コース整備、練習、各種大会(毎月何かしら開催される)で通年忙しい。 ・ 市内(胆沢)にスポーツ(芸術?ダンスなので)を支援する団体がある上に活動が活発で仲間作りができる。 ・ 役場の保健センターで無料の筋トレ、マシン使えて最高!		
7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	・ 釣り。 ・ 登山と温泉を楽しめる場所に住んでいる。 ・ 自然豊かな山の中に畑を作ったので、趣味の菜園ができる。 ・ 登山が好きで今年は10 座登った。 ・ 岩手こどもの森やフォレストイの利用、登山を楽し	・ 旅に出かける等。 ・ 美しい自然に囲まれていると実感することが多い。 ・ 自然に囲まれているので、四季を感じられるし、自然の中で思いきり遊ぶことができる。 ・ 夫が難病になって、車の運転が出来なくなり、免許も返納したため、遠出など出来ない。	・ 家周辺の散歩がクマの出現の可能性があり昨年夏頃から控えている。現在は雪の為制限あり。 ・ 熊のため山へ山菜とりに行きにくい。 ・ 毎日が慌ただしく休日も家事や通院に追われていて。やりたいことは沢山あるが時間捻出ができていない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	実感上昇 • 山菜、きのこ採り、釣りをしている。 • 旅行等。	横ばい • ライフワークとして漢字検定を受験しています。それを通じての仲間もできました。 • 今、庭園管理講座通信教育中です。	
8 学習活動の場 所・機会(生涯学 習など)	• 町内会、老人クラブ。 • 気象学の研究中。 • 自分より高齢の方との交流により元気をもらっている。		• 学習時間がとれない(睡眠してしまう)。 • ここ数年溪流釣りができない。腕やひざ、耳などの病気のため。
9 地域や社会の ための活動の機 会(ボランティアな ど)	• 環境保全活動(草刈、水路整備)。 • 自治会活動に参加。 • 学校運営協議会委員として児童の社会活動に関わっている。 • 消防活動。 • 行政区長・農家組合長をそれぞれ4年務めた後、3年度目の集落長と3番目の農家組合稲作部長を今年度務めている。限界集落に近い状況でやむを得ないものと引き受けたが何とか務められている。農業共済部長については、3期9年間務め、去年他の人に譲ったので少しは楽になっている。 • 自治会等多くの活動がある。 • 小中学校、地域でお天気教室を開催。 • ボランティア・地域への貢献。	• 陸上審判などで社会貢献ができています。 • 地域活動ができない状態(介護中で)残念で心苦しい。 • 各種団体での活動や通院補助等に従事している(ボランティア活動)。 • 町内会活動。 • 町内会の防犯部に所属中。市の交通指導員として、学童の登下校等に従事中。その他。 • 町内会や社会福祉法人での活動などで、地域に貢献できているような…。 • 私より年上の人の友人が多く、灯油給油など頼りにされている。 • ゴミ拾いでボランティアをしている。	• 情報源が身近に無いので。 • 地域活動には積極的に参加しています。 • 20年ボランティアをしているが、町が動かないのでジレンマ！ • 活動する場はたくさんあるが、仕事が忙しくて参加できなくなってきた。
10 趣味・娯楽活 動の場所・機会	• 育児・家事に割く割合が多く、自分の時間はあと回しになることは多いが子どもが大きくなってきたことで少しずつ増えたように感じる。 • 週2回カラオケ愛好会の皆と交流(15～20名)(主人と参加1回で5～6曲歌う)。 • 趣味のための時間が確保できているため。 • 行きたいところに行けている。 • 時々、温泉に行き、のんびりする。 • 地理的な不便さを感じるものの、ネットの時代で何とかなっている • 体調により、戸外に出かけることはほとんどないが、家の中でできる手ごと、DVD鑑賞など時間を作っている。	• 家族が趣味を認めてくれる。 • ギター演奏の機会がしばしばある。 • 海外・国内旅行、温泉めぐり。 • シャンソンを学び時々発表の機会がある。 • 良き先生、仲間に出会って楽しみ交流することは高齢者の健康に大きく影響している→自分のことでもまわりの人をみてもごく重要と実感する→行政政をもっと生かしてほしい→皆心が元気、いきいきしている • おいしいものを食べて、リラックスする。 • 確保した時間で趣味・娯楽活動ができています。 • 車のイベントやミーティングに参加し、共通の趣味の友人、仲間との語らいが楽しいです。	• 物価高もあり、趣味や娯楽に費用をかけることが難しい。 • 趣味がないため。 • 「時間」はあるが、余暇として活動していない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	- 自分のやりたい趣味に時間を使えているとき。 - 場所がない。 - 友人と出かける事ができるようになった。	- 犬との散歩／1日2回や趣味(家庭菜園・読書等)。 - 家で趣味の革加工を行なっている。 - 主に海釣り。(2カ月に1回程度)。 - 外食や買物、晩酌・睡眠で終わってしまうが、ストレス解消になり、後悔も全く感じない。	
11 家族との交流	- 離れている子ども、孫とLINE通話で日常が手に取るように分かる。毎年1、2度は帰省し一緒に時間を過ごすことができる。 - 家族と一緒に、レジャーに出かけられるから。 - 県外に住む子どもや実家や兄弟と制限無く交流出来る。 - 外出・外食・レジャー。 - 孫との交流。 - 温泉・レジャーと楽しめる余裕がある。 - 子どもとスキー。 - 休日は、地域との交流、仕事があり、なかなか家族との交流がない。 - 家族と交流できるように、工夫している。 - 休みの日は家族と過ごしている。 - 家族と出かけたいたりすること。 - 幸せ。 - 会話を楽しんでいる。	- 別居ではあるが孫の存在。 - 定期休業ではないのでなかなか子どもたちと交流できない。 - 別居の家族と時折(年2-3回)小旅行(県外)。 - 家族の時間が大切だと思うから。 - 仕事柄、休みが全然ないので、日常生活の中で家族との時間をすごく大切にしている為。 - 人間関係に恵まれている。 妻、子ども達との家族ラインとの活用で「つながっている」なアと思う。 - 家族と一緒に食事して、会話をしている。 - 旅行を楽しむ。 - 外まごや妹、めい等と笑った会話ができる事。 - 一緒に外出したり、食事する機会が多く、交流が多い。 - 両家の家族が近くに住んでいるので、イベントや季節行事をみんなで楽しめる。 - 息子が不登校の為、自分自身(1人で)学校の事、息子の事をしているから。 - 土・日・祝日休みの職場に転職してから、子どもと休みを一緒に過ごせるようになったから。 - 子ども達は毎週日曜日は電話で安否を確認する。 - 孫の世話で、時が過ぎて行く。 - 優しい家族に支えられていると感じるから。 - 充実。	- 毎日が慌ただしく休日でも家事や通院に追われている。やりたいことは沢山あるが時間捻出ができていない。 - 日祝に仕事が多く、子ども達とあまり遊べない。 - 完全看護です。 - 自分優先になり不足しているかもしれない。 - 初孫が生まれ、会うのが楽しみです。
12 知人・友人との交流	- 時々、食事や映画に一緒に行ける友人がいるので救われる。 - 地区の人との交流が多く、飲み会やスポーツ大会に出場でき楽しい。 - カラオケ、ツツジ・シヤクナゲの栽培、ソバ打ち名人	- コロナ以来、友人との交流が減った。 - 友人と1月1、2回酒をやっています。 - 常に交流を大事に過ごしている。 - 友人との会話の効果。 - コロナ以後友人との交流が少なくなった。	- 仕事を主とし、友だちと会う時間や語り合う時間があまりとれない - 知人・友人との交流の機会が多くあり、いろいろ話せるのは、ありがたい。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	のソバを食べる会など(月1回)を楽しんでいる。 - 知人、友人ともに仕事をしていて、なかなか同じ時間帯がない。 - 共通の趣味の友人と交流する。 - ラインで、お話ししたり、食事に出かけたりする。 - 休みの日に友達と出かけている。 - 友人宅での酒盛り宿泊、たまになら良い！	横ばい - 友人とは、一カ月に2回会っているがそのときは楽しく感じます - 知人・友人との交流の中で座禅や旅行等に親しんでいる。 - 知人との情報交換が大切だと思うから。 - 時間が合わない。 - 友達とランチや、いろいろ教え合ったりする - シャンソンの仲間、昔の仕事仲間との交流がある。 - 人間関係に恵まれている。 - 学生の頃の友人達とのライン仲間、親父3人による月イチの飲み会！！(3人での飲み会は13年目に突入)こんな俺と飲んでくれる友に、感謝！！ - 相談しやすい。話しやすい人が多い。 - 仕事を通じた仲間とランチをしたり、情報交換をして交流している。	- 仕事だけで疲れてしまい趣味などへの意欲が減。 - 健康でなければ、余暇時間も生きられないためです。 - 気力がわかない。 - 仕事の時間に追われている。 - 登山が趣味で日帰りは行けるが、両親の介護がある為泊まれない。 - 金銭的問題。 (1.12) 自分の時間が持てない。少ない。 (3.4) 機会があれば鑑賞可能だが、随時の趣味はない。 (10.11) 給料は上がらないのに、子育てや税金が上がり続け、自分の所に回す余裕がない。 (-) すべての番号について、動きが制限されるという事は、場所、活動、交流にも制限が出るという事。
13 その他	大きな持病を、3つ抱え、それに対しての通院が第一。それ以外を家族、友人との交流、施設に入所している母親の見舞等を使用。	- 楽しみがない - 休日仕事が入り込むことが少ない。 - 家や、会社の所有の土地や建物管理する物件が多く、手入れなどに時間をとられる。 - 業務や地域とのかかわり方において、日々消化する生活状態。 - せつかくの休みも病院通いでつぶれる。	(1.10) 自由な時間があり家族との交流はあるが、趣味が無く、知人・友人との交流が無い。 (1.10.12) 子育て中のため自由な時間が少ない。 (1.12) 自分の自由時間が少ないためなかなか友人に会えない。 (1.13) 介護をしている。施設は利用しているが、拒否あり、利用時は送り届ける。(10 時頃)。又、施設が職員の体調により休みとなる事があり、予定を立てられない。 (2.6) ケガでやる気です。 (2.7.10) 友人と夏登山、スキー、海、川などでの釣りを共有している。
複数選択等(※)	(1.2) 自分の考えているように今のところ自由な生活。 (1.4) プライベートな時間や休日を確認している。 (1.7) 子育てが終った事により、休日が自由に使える時間となり、ストレス発散できる。 (1.10) 趣味の時間が多く持てる。 (3.4.5) 東京から戻ってみると、舞台を鑑賞したり美術館へ出かけたり、そういうことが、できない。盛岡近郊にでも住んでいればそれでもできるのでしょうか、千厩にいても何も無理。東京まで行くには莫大なお金と時間もかかる。格差がすごい。不公平。 (4.11) 子どもの習い事でのスポーツ観戦を通して、		

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	楽しませてもらっている。 ・ (8.9) 勉強しようと思えば、できと思う。ボランティア活動が大好きです。今も2、3件やっています。 ・ (10.12) 友人とキャンプ飲み会。 ・ (10.12) 交流できるように、連絡を取り合っている。 ・ (11.12) 親しい人との関わりが大切。 ・ (11.12) 子ども・孫たちと楽しい生活。いろんな人達と付き合いがあって幸です。物好きで大変。 ・ (-) 極力、外に出るようにしている。	横ばい ・ (6.7) 定期的な運動の重要性。 ・ (6.11.12) ソフトテニスのプレー、指導(我が子を含めた小中学生への指導)。 ・ (7.11) 夫とドライブや買い物、温泉(泊まり、日帰り)を楽しんでいる。 ・ (9.10) 町内会や地区の行事には、必ず参加し有意義な時間を過ごしている。 ・ (10.11) 図書館の活用(本を読むのが好きなので)孫との交流。 ・ (11.12) 暇な時間が多いため、どちらともいえない。 ・ (11.12) 多くの友人との様々な交流が長く続いており、また各々の子家族との交流も要因かな。 ・ (11.12) 話すことで、気持ちが楽になる。 ・ (-) スポーツの参加、ピンポン1年間。プール夏の間だけでも泳げないから歩くだけ。	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(3) 家族関係

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 同居の有無	- 近くにいてことで理解が深まる。 - 帰宅時間が遅いので母に迷惑をかけていますが、協力し合えていると思います。 - ひとりである時より助けてもらえるであろう安心感。 4人家族。 - 親と同居の為、助け合ができる。 - 同居をしており4世代の家族だが気を使う。近くに家を建てたいが子どもが3人のシングルマザーなので不安。 - 訳アリで別居中、息子は自立して独居で楽しい。	- 妻には結婚してから最初から同居してもらった感謝！！子ども3人共も、同居は中学3年まで。進学は家を出たので親離れが早かった。 - 別居の為(子どもの生活に立ち入らない)。 - 自分の親と暮らしているが、私・夫・子というよりも、家事負担は大きい。高齢になってきているため、家にかかることが増えた。 - 長男と同居。 - 義母と同居している。義母が体調すぐれない時は、助け合える。 - 妻と。 妻、長男、次女と同居。 - 孫や子どもと同居して話してすることが楽しい。 - 同居しておらず1人暮らし。 - 義母との同居。 - 同居を解消した。 - 高齢世帯だが、夫婦共健康であることが、意義が大きい。 2月に母が亡くなってから夫と二人暮らしです。 - 同居はしていません。 - 妻と同居していて、一日の大半を過している。 - 両親と同居しているので、何かあったときに面倒をみやすい。 - 息子、妻となんでも話せる。そのせいか息子が結婚しないのが悩みの種です。 - 妻と母との関係が少し悪い。 - 夫と二人暮らし。 - 娘と同居。 - 和気あいあい楽しく。 - 自宅と一緒に生活できているから。 - 父母と同居、子どもは独立。 - 夫との別居1人分の世話(家事しなくて良い)。 - 役割が行えている行っている。	- 妻と別居中。 - 完全同居。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
2 会話の頻度 (多い・少ない)	• 日常のコミュニケーションがどのくらい取れているかが大切だと思う。 • 自分の母親と毎週会話する機会があり相談できる。 • 帰宅が遅くなることが多いが家族との会話はストレスの発散になります。 • 話をすることで、互いの気持ちが分かるため。 • 食事中や休みの日は沢山会話している。 • 会話が多い。 • 家にいる間は何かと話す。 • 話すことがない。	• 頻繁に連絡や会ったりしているため。 • 孫が弁当を毎日取りに来る。 • 子どもはスマホばかりです。 • 離れている母親とも毎日電話で話し、子どもともたくさん話をする。 • 息子との会話が少ない。 • 家族で共に行動し、会話する機会が多い。 • 年齢とともに会話が少なくなっている。 • 家族3人です。1人は他県に住んでいるが常に連絡をしている。夫婦は楽しい毎日を送っている。 • 出来る限り妻とは話をする事している。 • 会話が常にある為、精神的に安定する。 • あった出来事や悩みを相談しやすい。 • 何でも話せる。 • 出張が多いため会話が少ない。 • もっと会話をしたいと思いつながら、特に平日はなかなか時間に余裕がなく会話が少ないことも多々あります。 • 会話は大事だと思う。 • 子ども達との会話。 • 会話は普通ぐらい。	• 自分があまり会話をしない為。 • お互い普段余計な事は言わないって感じかな？ • あまり話をしない。趣味があわない。
3 一緒にいる時間(長い・短い)	• 次女のサポートをしているため、三女と長女に手をかけてあげられない。 • 食事の時間以降も家族という。 • 仕事量が多過ぎる。	• 一緒にいる時間が長すぎず、短すぎず適度にある。 • 妻と二人きりであるが、一緒に行動する事が多い。 • 中々家族で一緒にいる時間を作れてないこと。 • 家族はみな家が好き。 • ほとんど毎日朝・昼・晩一緒です。 • 夫婦で自営業をしていて、共に過す時間が長い。	• 皆、仕事に忙しい。 • 仕事の割合が多い。
4 家事分担のバランス	• 食事、洗たく等やって貰うので助かる。 • 2年続けて足の手術をして、不自由なところがあるので、多くの家事を分担してくれているので助かっている。 • 夫が炊事を始め家事全般を行なっていただけたので助かっています。 • 分担しあって生活している。	• 進んでやってもらえる。 • 分担のバランスが悪く、やらない事は全て負担する事になっている。 • 朝の掃除は全て実施。食事後の片付けを可能な時には実施。 • 夫が沢山やってくれるので助かっている。その分休みの日フリーにしてあげる。	• 夫は家事を一切しないので、負担が大きい。 • 主人は定年で、黙って椅子に座って毎日テレビばかり見ているので、私が全部しなければならぬ。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 夫が食事を作ってくれるので助かっている。 - 妻に食事はまかせているので、後片付け等は自分が90%行う。 - 犬がいます。毎日犬の散歩に子ども達が必ず来ます。生活の励みに、犬を使っています。 - 家事を分担している。 - 自分の親と暮らしているが、私・夫・子というよりも、家事負担は大きい。高齢になってきているため、家にかかることが増えた。 - 家事を手伝ってくれるようになった。 - 会社休みの時は、家事は自分がする様になっている。 - 共働きのため、家事分担はしっかりと決められている。 - なんとなく夫婦間で役割分担ができています。	
5 ペットの存在	- ネコがかわいい。 - 昨年の10月からネコボランティアを始めて家族で協力合っている。 - ペットは癒やしになります。	- ペットがいる事で、家族の会話が増えた。 - 猫と一緒に暮らしているので、共通の会話がある。 - 室内犬といつも一緒。 - みんなネコ2匹をかわいがっている。 - 平均1日2回の散歩をする助けになっている。 15年、ネコを、2匹飼っている。 - 支えになっている。	ネコを飼っているのが癒されている
6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	- いつも安定して食事を作っている。 - 夫が病気になり、今、仕事をやめ、家事を全部やっている。	- 体が悪くても精神的に役に立っている。 - 貢献している。 - 両親が高齢な為介護に時間をとられる。 - 親一人子一人なのでお互い良い影響。 - 自分が動けない時は家族に話して応援してもらう。 - 夫にどう対処したら良いのか考える事が多い。 - 両親は借金を残していても年金から返済せず平気である。	- 特に、母が認知が進んできている為、私もイライラして、大きい声出したりしてしまう時があったりで…。 - 近い関係だけに距離の取り方が難しい。 - ついつい怒ってしまう。 - 一緒に住んでいるので、一応は安心してくれている。
7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	- 経済的に貢献している。 - 高給料ではないので、負担をかけている。 - 仕事を辞めるわけにはいかない。	- お年玉やお金をあげる楽しみ。 - 時々、家族に農作業を手伝ってもらう！ - 医療費が大きく申し訳なく思う。 - お金では夫に迷惑はかけていない。 - 息子の奨学金返済を手伝っている。	年金の形で収入がないのは私だけなので。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 自分が家に入れているお金が少なくないと思うところ。 - 自分の年金でなんとか生活を維持できている。 64歳で不自由な自分でもまだ働けていることは、貢献できていると思う。 - 両親に、安心して暮らしてもらええる。 - 貢献している。 - 上記でお金もかかり、さらに食費も圧迫。借金もあり家計を回復したい。 - 自分の給与が家族の家計を支えています。 - 現在も契約社員として就業しており、74才まで働く予定。 - 自分が働いている。 - 自営業の計理と家計を担っている。	
8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	- いつも心配してくれるので安心している。 - 頼りになる、信頼できるので負担ない。	- 子どもの存在に毎日感謝しています。 - 近い将来、介護が必要となるため。 - 高齢化による負担増。 - 負担に感じることも多いがそれ以上に支えてもらっていると感じることが多い。 - サポートしてくれる安心感がある。 - 夫の加齢に依る？ 暴言が増えて腹の立つ事が多い。 - 姑の言動が嫌なときがあるから夫との関係はよいから。 - 息子が不登校な為、学校の事を自分自身（1人で）やっている為精神的負担が大きい。家族は誰も協力してくれない。 - 息子達が常に心配し毎日曜日電話で確認。 - 妻の病気の為。 - 気を許せる。 - 相手のモラハラ。 - 家族が優しくしてくれる為。 - 親一人子一人なのでお互い良い影響。 - 自分の親と暮らしているが、私・夫・子というよりも、家事負担は大きい。高齢になってきているため、家	- 嫁の存在～家事最小限。他の家族の負担が大きい。 - 高齢の親との生活が体力的に大変になってきた。 - 父親との同居がストレス。 - 親が食事等作ってくれたりするが（別居）口うるさささる。 - 特に、母が認知が進んで来ている為、私もイライラして、大きい声出したりしてしまう時があったりで…妹（38才）が身体障害者1級で車イス。精神年齢も4、5才位なので、母と二人で暮らしているが、認知が進んでいる母親といて大丈夫か最近心配になって来ている。 - 気をつかっている。 - 夫の親が病気で通院、入院することが多くなった。特に介護、世話をメインでやってはいないが（夫と妹達がメイン）いつ、こちらにくるか、不安。正直嫌です。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		にかかることが増えた。 - 家の物(いらぬ物は捨てる事)と言われるけど、働いてないので必ず使う時がくるので捨てられず。 - 夫が厳しい。義母への気遣い。子ども達の心のケア。上手いかわない。	
9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担)	- 大学、高校と金がかかる。 - 子どもも、生活費を、少し、出してくれる。	- 実の親子なので、そこまで、きっちりした要求はしていないが、休みの日には、家事を積極的にやるのか、してもらいたいのが、全く協力しない。 - 車のローン、長女の学費(いじめ受け、県立高校中退し、通信高校へ。高学費)、二女の部活に係る費用(合宿、東北大会、全国大会、年で計約20万円)とにかくお金がかかる。 - 経済的な負担が高まる。 - 対等では無いことは理解するが、妻がでさな過ぎる。 - 高齢化による負担増。 - 食料やおこずかいなど、もらうことが多い。 - 食事等、支えてもらっている為。	- 物価も高く経済的に非常に大変。成人している子がいるが、家にお金を入れてくれているが、主人が全て管理しているので私の経済的負担は一銭も入らず、増えるだけ。 - 負担してもらっているもので、助かっている。 - やり繰りの全てを任せられているが、私により判断力がないため。
10 困った時に助け合えるかどうか	- 病気のため調子の悪い時など、家事を手伝ってくれするなど看病等もしてくれてサポートがあった。 - 離れて暮らす孫達から力をもらう。再会するたび力をもらう。 - 困った時に相談できるから。 - 子育て中で育休を1ヶ月とってもらえて助かった。本当は半年くらいは育休をとってもらいたい。 - 困った時にはいつでも助けてくれる。 - 息子のリストラで、助けて欲しいと頼まれて、経済的な援助をしてあげた。 - 自分や子どもが病気があるため、助け合っている。 - 信頼し合っている。助けられている部分多々あり。	- 孫の送迎とか、食事の準備。 2人生活。すぐ近くに子どもや孫がいる。 - 協力しながら生活している。 - 困った時に頼りになる。 - 母親と二人で住んでいたが昨年1月に脳出血で倒れ入院して、生きているが植物状態で兄姉が合計3人いるが、遺産で揉めているので不仲である。行き来がない。 - 子が小さいので両両親に助けてもらってばかり。感謝。 - 夫に助けてもらっている。 - 近くに住んでいるのでお互いに行き来が多い。 - 子ども達も含め自分何が出来るかという所で協力し合っていると思う。 - 困った時に助けてくれる。 - 義母が体調悪い時、家族と話し合い分担できるようになった。	- 夜勤も多く家を空けることが多い。 - 困った時には助け合えない。協調性なく話し合うことはない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 困った時は直ぐ来てくれる。 - 不自由な自分を家族が助けてくれる。 - 何か困っても話し合えるし、夫が頼りになります。 - 助け合っている。 - 助け合いは出来と思う。 - 困ったことがあれば助けてくれる人が多い。 - 何かあった時は助けてもらっている。 - 義祖母がいてくれるだけで、子どもをみてもらえる。 - 同居ではあるが、何かあれば連絡取り合えている。 - 離れてくらしているが交流があり支えあっている(同じ県内に在住)。 - 過度な干渉はしない。	
11 家族はいない 12 その他()	とにかく料理が大好きで何食べるか考えるだけで楽しい。		- 警察が仕事しないです。 - 社会活動に重きを置いている(ため、家族関係がやや疎かになっている(ネット活動)。 - 一緒に暮らしていない(仕事の関係)。
複数選択等(※)	(1.2) 旦那との会話はありますが、義父、義母とはほとんど会話は無いです。 (1.2.3.4) 二人で居ることの幸福感を話し合ったり、楽しいと思う1日となるよう努力している。家事分担を話合っている。会話を多くしている。 (1.2.3.5.6.7.10) 健康を害し自宅に居る時間が多くなつた。 (2.3) 妻との関係性がまずまず良い。 (6.7.8) 生活についてや現状に満足する話し合いを持つようになっている。 (7.9) 経済的な安心があると、心にも時間にも余裕が生まれるから。 (-) 妻と二人で話し合い協力しあって生活しているので自分ではうまくいっていると感じている。	(1.2.3.4.6.7.8) 信頼しているパートナーと同居しているので、支え合っている。 (1.2.3.4.5.6.7.8.9.10) 自分的には、とても良い家族関係だと思っています。 (1.3) 独身で両親とは別居、益正月は帰省するが独り暮らしになれているので実家の居心地が悪い。 (1.6) 同居していないからこそ、会って話した時に喜ばれる。 (2.3) 関係があまり上手くないではないので。 (2.3) 健康であり、二人が共に会話が長く、楽しく一日が終わる。 (2.3) 家族が休みの日に訪ねていく程度(1時間位)。 (2.8) 家庭内での会話が多くのストレスに感じる事なく生活が出来ており、精神的にも安定して日常生活を送っている。 (2.8) 同居中の義父母が耳が遠くなり会話が少なくなっている。 (4.7) 正社員になりたいが、家事育児がありパート。 (4.8) 義母と仲が良いため、家事分担や子育てのことで支えになってもらっている。 (4.8.9.10) 自分の負担が大きいため。	(1.8) 年々と同居しているのがしんどい。気をつかうのが疲れてしまった。 (6.7) 病院に行く回数や金額を主人が良く思っていない事(近くの病院でない)。 (7.8.9) 父がボケはじめた。通院にともなう時間。 (-) 1人ぐらし子ども達自力ではない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• (6.7.8.9) 家族であればあたりまえ！！ • (7.9) 年金生活ながら、互いに負担し合い、互いにできることをやり支えあっている。 • (8.10) 孫や子どもと会うことが楽しみ。 • (8.10) 困った時に相談するのは、家族が多い。 • (－) 今は家内と2人暮らしだが、30分程度(車で)離れた所に息子家族がいるし、週1回程度は来るし、一緒にごはん食べたり、生活や健康の相談もしている。 • (－) 実家に帰り家族団らんできているため。 • (－) 家族はいないと言いたいくらいです。仕事も家も奪われ、まともに暮らせる金銭も与えない。何を聞いても返事がない。ネグレクトという最大の虐待の中でずっと暮らしている。	

※ 複数選択等の(－)は、要因の番号の記載が無かったもの

(4) 子育て

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 子どもの預けられる人の有無(親、親戚など)	・ 自身に何かあっても、頼れる親戚や家族が近くにいるので安心して生活することができる。 ・ 両親と同居できていることの影響が大きいです。助かっています。 ・ 同居なので、何かあった時は、面倒を見てくれる。 ・ 何かあった時預けられる。 ・ 親が近くに住んでいない。	・ 親(私)が全面的にサポートしている。 ・ 放課後にみてもらえる。 ・ 親が近くにいる。 ・ 子どもをもっと安く気軽に預けられる場所がほしい。(短時間でもいいから)。 ・ 仕事を休んでばかりもいけないので、代わりに見てくれる親(父)の存在が大きい。 ・ 自分と配偶者の親が面倒を見てくれた。 ・ 親に預けられる。 ・ 実家、義実家が遠方。様々なサポートは市町村であるが、今日！今！という時に難しい。 ・ 預けられる親はあるが、車で 30 分～1 時間片道かかるため、安易に頼れない。親も 65 才と 71 才で高齢化してきた。	・ 実家の両親の存在にとっても助けられています。 ・ 親には中々預けられない。 ・ 片親なので仕事していると、子どもを預けられない。
2 子どもの預けられる場所の有無(保育所など)	・ 夜7時まで子どもを預かってくれる場所があるから仕事を続けられているため。 ・ 今は保育料が無料化で大変いい時代になったと思います。私達の時代は保育料が収入によってだったので簡単に預けられなかった。 ・ 待機者が以前より少なくなっただと感じています。 ・ 近所に保育所がある。 ・ 保育所で保育をしてもらえます。 ・ 夫が家事全般を行っています。	・ 保育所は自宅近くを優先にが出来るような余裕がほしい。 ・ 孫の保育園での送り届けの時間制限がひどい。時間ジャストじゃないと文句を言われ職場までの距離(〇〇分あれば行ける)についてまで口出しされる。 ・ 保育園に行けている。	・ 小学生の子どもが学童クラブに入らず、非常に困っている。仕事が続けられない。
3 配偶者の家事への参加		・ 現在妊娠中ですが、前々から積極的に参加してくれている安心。 ・ 月一で岩手医大に通院しているため車の運転をお願いしている。	・ 子どもが3人いますが、大学2人、高校1人は大変です。 ・ 手が空いている時は、様々な事に手伝いしています。 ・ 家事は女の仕事、という考えがまだある。 ・ 支援に対するサービス給付等もっと充実して欲しいと熱望します。
4 子育て支援サービスの内容	・ サービスが少ない。屋内の遊び場がない。 ・ 支援サービスも整いつつある。 ・ 子育てに係る国県市町村の施策が充実。	・ 学校の長期休みの時、屋食準備して仕事しなきゃいけない。	
5 子どもの教育にかかる費用	・ 進学時、都市部より、費用がかかる。 ・ 教育料が無料で充実しているから。	・ これからの人は恵まれているが、過去支援が少なく、大変だった。ナゼ年収が高い人は、補助が少ないうのか？弱者を守るのと思う。税金はたくさん。	・ 子どもの教育にかかる費用。 ・ 補助額を増やせば少子化対策にも繋がると思っています。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		ん取られるのに補助は少ない。意味がわからん。 - 子どもが大きくなるにつれ、進学を希望するにあたり、お金がかかる。 - 大学、高校と金がかかる。 - お金に困っている為。 - 母子家庭などの補助(養育費のない家庭へ)。	- 大学が近隣にないため教育に大きな負担がかかった。 - 教育資金が大変。 - 二戸から盛岡の高校を電車通っている。通学費は高い。 - 岩手県でも不登校は増えている。学びたくて、通信高校へ移っても、今度は学費が高い。不登校でも学費の支援や、学費の補助を受けられないものか。(就学支援金世帯?とは別で) - 負担が大変。(大学授業料や生活費)
6 子育てにかかる費用		- 私立高は金がかかりすぎ。 3人の子どもの内、大学へは1人しかやれなかった。後の2人は進学を進められるも、学費を出せず、高卒で断念させた。 - 収入の関係で高校の授業料免除からはずれてしまった。「それだけ多くもっている」と言われるとそうなのだろうが、同じ子どもなのに医療費でも負担していて、不公平だと思う。 - 大学、高校と金がかかる。 - お金に困っている為。	- 自分の住む市町村は他に比べて支援が少ない(予防接種等)。 - 子育てにかかる費用が、今住んでいる所ではいくらかかるか分からない。 - 大学の授業料は高いです。大学生にも子育て手当てがあれば助かるのですが…。 - 近隣の地区は子育てに対する制度は充実しているが現在住んでいるところではあまりしていない。
7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	- 休みが取りづらい雰囲気。長時間、持ち帰り労働。 - 勤め先も理解がある為、急な休みを取れる。 - 平日休みもあり、以前より休みが多いので気持ち的に余裕がある。	40代で仕事がある程度持たされるため、時短で帰れない。辛い時あり。	- 労働時間、通勤時間が長く、子育て時間が短い。 - 子どもの通院、習い事の送迎等で時短勤務希望したいが給料が減ると困るので、送迎が難しい事が多々有る。 - 現役時代は毎日残業(ボランティア残業)で家族との夕食はほとんどできず。 - 子どもが産まれても、時短勤務が特例でしかない。
8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)		親(息子)の仕事が子どもの行事に合わせて時間をとれる。	
9 自分の勤め先の子育てに対する理解		- 今は家に子どもがいけないけど外にいる孫たちをみていると昔に比べいろいろな援助もあり子育てしやすいと考える。 - 子育て世代が多く、休める - 会社で理解があっても直属の上司の理解がない	突然の休暇をいただきたい時にも、嫌な顔せず対応してもらっています。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		と、有休等取りにくい。 - 休めない(郵便局外務) - 勤め先に理解はあるが、対人の仕事のため、代わりがきかなかつたり、負担をかけていると感じる。 - 急な休みや自由に休ませてくれる。 - 時間休等を子どもにも使える。(年休とは別に) - 小さい子どもへの理解(特別に何年間か考えるべき)。	
10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解			
11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	小児が少ない	- 自分達の子育ての時もそうでしたが、専門の医療機関が無く小児科は近隣市町村へ行かなければならない。 - 通院は本当に大変。病気は減少するだけで通院できる病院もない。青森県八戸市の病院へ行くことが多くなった。	- 医療機関が身近にない - 産婦人科が少ない。 - 老人2人暮らしなので。 - 少ない！！ - 医療機関が近隣に無いのは問題。 - 小児科が転院してしまった。 - 病児、病後児保育がもっと充実すれば、嬉しい。 - 開業医が無い。受診時間がかかる。 - 小児科・産婦人科が無く費用・時間対応に苦心した。
12 子どもの遊び場(公園など)の充実	- 自然に恵まれた影響。 - 屋内の遊び場が無い。	- 公園はあると思うがもう少し遊具を整備してもらいたい。 - 家の近くに公園が無く、子ども達が遊び場がない。 - 区画整理で公園が無くなったまま。近づくに本当に不便(転居して6年…) - 子ども達が遊べる場所が少なくなり、居場所がなくなっている。中学生すら部活が社会教育に移行する中、休みや放課後、家以外どこにいくか悩む様子。 - 公園が無い。 - 陸前高田市は公園が多く、室内で遊べる所もありまし、近隣にも子ども向けの施設がいくつかあり、すぐく良い環境だと思っています。	- 他市町村、他県に比べて少な過ぎる。ほぼ他地域に行く。 - マンネリ化している。(小学生になって既存の公園にあきてしまっているようだ) - 冬期に遊べる場所が少ない。 - 矢巾には、盛岡・滝沢総体付近・花巻広域公園のよいうな誰でも集える運動場がない。公園もボール遊びしづらい所ばかり。狭い。走りまわられる広さの、上記3つの市町村のような場所があると体力向上にもつながる。
13 子どもの習い事、選択の幅	今住んでいる場所だと選択肢が少なく、質もすこし不安に感じる。	- 幅がない。 - どれだけの選択肢を与えてあげられるか、場合によっては送迎も不安。(遠ければ)	- 少子化なので習い事や塾も1時間かかるのが親の負担です。 - 近くにない、遠方にある等、物理的に厳しいと感じる

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 地元の民度、教育に対する意識も低いのだと思うが、塾等も数少ない。田舎だから仕方ないの一言になるのと思う。お金と暇のある人は八戸の塾に行っていると思う。	• ことが多い。
14 わからな い(身近に子どもがいない、子育てに 関わっていないな ど)	• 28 年間、県内で過ごした息子が他県に移住した(子育て中の)。 • 今は子どもがいない。昔は配偶者も子育てに協力してくれた。	• 子どもは全員社会人になった。 • 独身です。 • 子ども達は成人して社会人になっている。 • 子どもたちは皆成人している。孫はいるが埼玉にいます。 • 子どもがいない。恋愛できる人がいない。	
15 その他()	• 自分が子育てをしていた頃に比べ、ベビー用品が安価の上、国の子育て世代の支援が違ふ。	• 子ども達は全員育てたので。 • 子どもの進学の選択の狭さ。 • 同じ住所には住んでいるが同居とみなされ、児童扶養手当が減額になり、結局は生活が苦しい。家計は別の為。 • 私の住む自治体は数年前まで給食が無かった。私も息子も弁当を食べた。未だに不公平感がある。 • 障がい児に対しての支援が少ない。	• 奨学金返済がきびしい。補助制度を充実してほしい。 • 子どもは社会人と大学生のため、ほば育てあげた。 • 子育て終了。
複数選択等(※)	• (5.6) 子育てや教育に多大の費用を要する。 • (8.10) 夫の勤め先は帰社は定時、休日も子どもの行事にあわせていただけです。 • (11.13) ほとんどなし。	• (1.2) いざという時、臨機応変に対応してくれる親や保育所の先生達には感謝しています。 • (5.6) 保育所にかかる部分が免除になったり、小さい子無料のイベントがあったり、とても助かっています。 • (7.8) 自宅で妻と2人で自営業。 • (11.12) 医療機関、遊び場が少ない。 • (-) 1人親ではやれることに限界がある。あまり他者に頼れない(頼りすぎでは？と悩んでしまう)。	• (1.2) 東北に頼る事ができる親戚がいないので、預けられる公的サービスの無いので大変。 • (1.13) 近くに主人の親がいるので本当に困った時だけ頼れるが住まいの近くにチームが少ない。 • (5.6) 交通の便が悪いので、子どもが大きくなって親の送迎が必要で通える学校も選べない。 • (5.7) 長女の高校(私立)にかかる費用と修学旅行2人分にかかるお金が高い！働きたくても色々動きづらいようにしなければならぬから大変。 • (6.13) 習い事高校等、町外に通うため、交通費・時間がかかる。 • (7.8.10) パート(w/4d 7h)もっと増やしたいが、2児配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)の条件が悪い。配偶者の勤め先の子育てに対する理解がない。 • (9.10) 子どもの長期休み等は子どもの預け先に合わせ(学童等)出勤時間を遅くさせる等の相談がし

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
			やすければいいと思う。 (-) すべて自分が子育てしていた頃の事。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(5) 子どもの教育

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 学力を育む教育内容	沿岸部と内陸部では差があるように感じる。	横ばい - 学校は学ぶ所を主体的に行なう事が良いと思う。(雑務が多い) - 田舎と都市で学べる内容に差がある。 - 子ども中心のはずが、大人の余裕がなく格差が出ている。 1学年で学力差が大きく、学校との相談があまりできていない。 - 習字、英会話。 - 子ども個人の能力次第で変わる。 - 勉強する環境は整っている。 - タブレットを使用した授業。	実感低下 - まだ子どもが小学校低学年なのであまり実感する場合がないですが、定期的な学力を測るテストや、生活習慣チェックのようなものがあり、見直せる機会があって良いです。 - コロナ等もあり、教科書が全て終わらないまま、進級している。今後とても心配です。 - 学校の学力の低さ。 - 教育、教員教員指導者のレベルが低い。 - 教師の指導力の差が大きくなっていると感じる。 - 学校教育しか受けていないため、不足していないか少し不安。子が小5で前より大変そうに宿題をやっているため。 - 地域にいる学童が解らない。地域での交流があまりなし。地域の集りに学童は出て来ない。 - 出来ない。 - あまり学力に力を入れていない地域のイメージはないです。保育所でも英語やリトミックを進んでやっているようには感じられない。 - 学習のスピードが早すぎて、子どもがついていけない。塾に行くのが当たり前な感じになっている。 - 沿岸・県北には先生の数が少なく、また専門科目の免許のある先生は来てくれない。
2 人間性、社会性を育むための教育内容	- 色々な活動をさせてもらっている。 - 社会性を育む子ども達との関わりが欲しい(小、中学校で)。 - 学校や先生が人間性を重んじてくれる。 - 学校教育がメリハリがあると思います。 - 出前講座など、現場の方の教育・助言を受ける授業がある。	日本人は、16,000 年以上前の縄文時代から、平和で安定した社会を営んできた。それは世界の民族にも強く影響を与え続けてきた。様々な技術と文化・芸術を創造して他の民族に伝え続けてきた。そのような歴史を持つ日本人は、誇りと自信を持っていいにもかかわらず、学校の教育はそれらをすべて否定しており、子ども達に真実を教えていない。	- 今の子どもは人間性が少ない - 学習内容については、基礎的なものでも良い。それより、今の時代に合う人間性・社会性内容 - 個人の尊重が進む中、道徳的な常識の幅や考え方も多岐に渡り逆に、何でも子ども達が「望むとおり」となって学校現場はカオスになっている。他の人には迷惑なことも、それを注意もできない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		「日本人は悪い民族だ、世界にヒドイことをした」と今でも教え続けている。学校教育の間違った歴史観を正さない限り、子どもたちの健全な成長を期待できない。 - 様々なタイプの子がいて、こと等を教えて下さっています。 - もう少しお金の事の勉強をするべき。 - 先生がおこると、訴えられる社会がダメ。 - 人口減少に伴い、保育園からずっと同じメンバーで過ごすことの安心感と、物足りなさ。 - 子ども中心のはずが、大人の余裕がなく格差が出ている。 - ボランティア活動、子ども会、老人会の活動に参加。	学力、指導内容重視のため、子どもと教師が十分向き合っていないように思う - 人間性、社会性を育む教育となっていないと思う。 - まだ子どもが小学校低学年なのであまり実感する場がないですが、定期的な学力を測るテストや、生活習慣チェックのようなものがあり、見直せる機会があって良いです。 - 出来ていない。
3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	クラブ活動はコーチ、先生が一生懸命のため、子どもも親も熱が入ります。	- 部活動の回数が少なすぎる。 1人1人の生徒を見られる定数法を実現すること。	- クラブチームの地域移行化が学校・部活によってバラつきがある。また外部の指導者の考え方もバラつきがあり混乱したので。 隣、近所の子ども達は挨拶も良いし健やかに元気である。 - 体育・部活動の専門的技術・知識を持った先生が少ない。 - 部活動を行う生徒が少なく、忍耐力がない。体が弱いと感ずる。 - 部活動の時間の長さや、休日の練習が多すぎる - スマホやゲーム機で、幼児期から体力を作る機会が少ない上に、学校でのケガは責任問題になるし(ムリできない)部活が地域社会に返され、本人が努力しない限り、成人まで体を鍛える機会は減っている。→これらのことで、学力の低下にもつながっている。(体力がなかったり、思い通りにならないとストレスを爆発させたり) - まだ子どもが小学校低学年なのであまり実感する場がないですが、定期的な学力を測るテストや、生活習慣チェックのようなものがあり、見直せる機会があって良いです。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
4 不登校やいじめなどへの対応	- 孫がかなりの「いじめ」にあった。対応はしてもらったが、かなり苦しんでいる。 - 学校と学童との情報交流が不確実。 - 近所でも不登校が多いのでできるだけ引きこもりにならないよう社会との接触が必要。	- 現場では一生懸命取り組んでいて大変と感じています。 - クラス替えなど、柔軟に対応してほしい。クラスが合わず、子どもが不便な思いをしている。 - 近くの高校まで列車で30分。子どもの希望では80分。	- 出ていない。 - 中学校は先生に相談しても親身に対応していただかない。 - 中学校では、いじめ、不登校が年々増えている。 - 市内にはフリースクールが無い。 - 不登校いじめられている子どもは気が弱く自分が発信できないことが多いので、発信を自然とできる場、先生が察するような場を作ってほしい。 - 子どもが不登校になった時、セカンドピニオンがあまりなかった。 - 不登校への取り組みが不十分。 - いじめや不登校のケアの部分は良い環境とは思えない。また、他の子と違うようなグレーな子への偏見もあるのが見える。 - その場対策と感じる。
5 学校の選択の幅(高校、大学など)	- 田舎なので選択肢がない。進学希望なら、ココ、就職ならココとココ…的ムリせず入れるので、子どもの受験に対する意識等が低い。 - 高校、大学とも家の近くにあり助かる。 - 地方のため、親子とも、知識、情報不足。遠いからやめようなど消極的な受身。	- 大学の学部の種類が少ない。 - 内陸に偏りすぎている。 - 高校、大学が近くないので選べない。 - 学校の数が減っているため。	- もともとの学校数の少なさや、学校統合によって選択肢が減っている。 10年後(我が子が高校に入る頃)近くの高校が残っているか。 - 決局お金がないとどこへも行けない。 - 子どもが少ないので仕方ないが。 - 盛岡はようやく県立大学も身近にできて学べる場所はできていますが、盛岡以外から大学に通うと結構アパート代など出費がかかる。 - 大学に入学させたのに費用の関係で入学させることが不可能(学費、住宅)。
6 図書館や科学館などの充実		- 毎月図書館を利用、施設の行事に参加。 - 近くに一通りあるのが良い。(車で行ける範囲) - 子どもだけで気軽にに行ける施設が少なくない。 - 内陸に偏りすぎている。	- 子どものため…と言いたいが子どもたちの活動の場が少なく感じる。体を動かせる場所も必要ではないか。 - ありがたく近くにあるため、たまに利用させてもらっている。 - 津波への考えや、今までの震災のことについて深く学べる環境だと思う。
7 学校教育における地域学習	自分の子ども達の時にはなかったが、公営の学習塾が出来たので地元の高校生達には良かったので	子どもに地域について勉強している思うから。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	はないかなと。 • 地元の料理、慣習、お祭りなど体験する機会が多い		
8 地域での教育・学び	• 地域理解を深めることが良。 • 地域の行事への参加。 • 地域の行事等に子どもに声をかけていただけたのは助かります。	• 地域との交流が少なすぎる • 放課後保育で地域の人達に見てもらおう事学習以上に得るものが大きいと思う。 • 地域でのスポーツ教育などを充実させる。	• 地域にいる児童が解らない。地域での交流があまりなし。地域の集りに児童は出て来ない。 • 沿岸・県北には先生の数が少なく、また専門科目の免許のある先生は来てくれない
9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	• 子どもが独立した為。	• 身近に子どもがいないが、ニュースや新聞、ネット等から感すること。 • 子どもは社会人になっている。	• 子ども達は成人している為。 • 近所の子どもに声をかけることが許されない。
10 その他()	• 行きたい習い事や、塾等にも行かせてもらっているみたい。 • 私の時代は 40 人学級で9クラス、まるで刑務所のような教室だった。息子の時代は建て替えられ、木製(?)の開放された校舎で良い環境で学べる事喜んだ。 • 学校生活は、担任の先生によるところが大きい。教育内容、不登校やいじめなどへの対応は教員個人の力量だと思うので、教育委員会には期待していない。 • 人数が少ない学校であるがゆえ、先生や保護者の目が行き届いていると感じる。	• 教員不足で現場が大変なことになっている。毎日の業務をこなすだけで余裕がない。 • 子どもは全員(4人)大学を卒業させた • 学校のICTが遅れている。学校が古い。机等も古い。 • 高校になると、高校入試の為、冬休みが短く春休みが長くなってしまふ為、どうしても学力低下がみられてしまう。 • この地区では、現在有るのだからうけど聞いた事が無い！！	• 岩手は解決しないです。 • グレーの子が、授業や学校生活、他校外活動等(習い事含む)が、嫌がらせをしてくるため、生活を分けて欲しい。正常な子が我慢する生活はおかしいと思う。 • 国を愛する教育が不足している。 • 中学校教師の質の差が大きすぎる。
複数選択等(※)	• (1.2.3.6.7.8) 充実。 • (1.3) 孫たちの教育をみても昔に比べ成長も早いしいろんな経験ができていくように感じる。 • (2.3) 部活動から育成会への流れがある中で、今後どうなっていくか不安。(子どもの成長にとつて) • (2.4) 仕事で小中学校と関わっていると、力を入れていると感じる。 • (5.10) 盛岡市や沿線と比べ沿岸は人口が少なく選択の幅が狭い。 • (6.7) とても良いと思う。	• (1.2.3) 本人の意思もあるので、教育してくれていると思うが何とも言えない。 • (-) 学校は何もできていない。	• (1.2.3) 特段、具体的な教育内容が思いつかない。 • (1.5) 全国的に見て、学力が低い。その為に大学へ行くのにハンデとなる。お金をたくさん使って個人で学力をつけるのも変な話。塾へ行こうにも、半強制的な部活や行事が負担。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(6) 住まいの快適

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	・ 古いが大きい。 ・ 広い。 ・ もう少し広い家が良い。 ・ 満足している。 ・ アパートだが広さに満足している。 ・ せまい。物が多い。	・ 二世帯住宅にして幸せ。 ・ 子どもが走りまわるようになって少し狭さを感じるようになった。 ・ 薪ストーブがあり、ほぼ燃料代がゼロで暖房できる。また、ストーブで炭も作れるので、その炭を部屋の火鉢で燃やして暖房や調理に利用している。 ・ もう一部屋欲しい。 ・ 二人暮らしにはやや広い。 ・ 家族4人で生活するには満足。 ・ 孫4人となりお盆やお正月は大家族(10人)となり狭さを感じる。 ・ 家の大きさは、大きくて良い。 ・ 夫婦二人が住むには十分な広さがある。 ・ 230㎡と広いが築45年となりリフォームがしたい。 ・ 住居+庭、車庫などゆとりのあるスペースがありよい。 ・ 自宅が十分に広い。	・ 利便性はいいと思いますが、もう一部屋あるといいのでその点が... ・ 被災前の家より狭く、部屋が狭くなっているため ・ 7人家族で住むには丁度よい。立地場所も利便性あり。 ・ 広い ・ 今は広さがちょうど良いが、子どもが大きくなると狭く感じられると思う。 ・ 当家は床面積が広く使いづらい
2 居住形態(持ち家か借家か)	・ 子どもがいるため一戸建てであると気を使わなくて安心 ・ 持ち家。 ・ 持ち家であり、ローンがすでに終わっている。 ・ 持ち家。 ・ 持ち家なので自由に過ごせる。 ・ 持ち家、少しずつ老朽化してきている ・ 持ち家ではあるが、古い家で屋根が壊れかけている。 ・ 満足している。	・ 持ち家なので生活音が気にしなくて良い。 ・ 最後の夢は持ち家(小さいマンション)です... ・ 持ち家のため、とても暮らしやすい(自分たちの好きなように動ける)。 ・ 持ち家で、それぞれ、個室があり、自由である。 ・ 生活音を気にせず暮らすことができている ・ 持ち家。 ・ 借家でいいが、エアコン自腹でどうなの？ ・ 父母と同一敷地内に、持ち家を新築。 ・ 家賃を考えなくてすむ。 ・ 持ち家。 ・ 持ち家ではあるが、借地である。 ・ 持ち家のため気を使わなくて良い。 ・ 自分の持ち家に住んでいる。 ・ 持ち家、ローンはあるが安心感ある。 ・ 持ち家で快適である。	・ アパート住まいで、更新のたびに値上げ交渉をされるので怖い。 ・ 借家。 ・ 賃貸住まいだが、建物が古く不便も多い。窓の位置の関係で昼も明るく感じにくい。 ・ 築20年以上たつので、床などがボロボロ。 ・ 持ち家だが、自分が死んだ時の手放しが悩み。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
3 住宅の安全性 (耐震、耐火、浸水対策など)	- 危険区域に家が有るので。 - あんまり安全に思えない。セキュリティに不安がある。	- リフォームをしたくても資金がない。 - 軽量鉄骨作りで耐震・耐火性に優れていると思うている。 - 地震・水害の被害が少なく住みやすい。(盛岡は) - 築30年以上になるが、東日本大震災の影響も受けず、ありがたい。 - 築60年近くになり、新築も考えるが、建築資材高騰などにより老後も考え悩み中。 - 住宅の耐震耐火に問題があると思います。ハザードマップの浸水地域のため。	- 目の前の水路があふれ玄関先まで浸水する(豪雨時、去年1年間で2回)マイナス要素。 - 昔の古い家なので耐震が心配。 - 耐震はしっかりしているが、7階のため地震がくるとかなり揺れて怖い。
4 住宅の機能性 (バリアフリー、室内の温熱環境など)	- 居住部屋総て南側(太陽光有り)。 - 暖かい。 - 室内が温度設定が高目なので快適に生活出来ている。 - 昨年リフォームしたので冬暖かくなったので良いです。 - 築70年近くになり、古く、防寒対策が良くない。結果的に光熱費が高い。 - 建物の気密性が高いので温度管理しやすい。 - 父が亡くなる前に妹から風呂のバリアフリーを進められて工事してもらったけど使える状態ではなく今は銭湯に行っています。	- 古い家なので、天井が高く、冬はなかなか、温りにくい。 - 自宅の築年数が古く、冬はとも寒く、夏は暑いとめ、健康状態に影響を感じる。 - 二男が車イス常用。自宅がバリアフリーのため自身の病気で移動や生活に全く困らない。 - 機能性の良さを感じるが、それを維持する費用が高い。 - 日本家屋なので使いづらい。 - 冬は寒い。 - バリアフリー、スロープなど高齢者向けに自宅を設計した。 - 築60年以上の親が建てた家ですので不便でもありません。 - 暖かい設計にしてもらい、冬は、快適。 - 室内の温度差が激しい。家が古い為、羽アリ、床の落下など老朽化している。 - 家が築50年以上の為寒い。床が抜けそうなど不安な所が多い。新しくすることを考えるがローンがありながらの3人を育てる生活が不安。 - バリアフリーではない為福祉用具を使えない。 - 気密住宅で外気温の影響を受けにくい。 - 気密性に優れている。 - 高機密、高断熱で過ごしやすい。 - 機能性に優れ、夏涼しく、冬は暖かい。	- 寒すぎる。 - 室内の温熱環境、経年劣化。 - 築年数が古いため、冬は寒く、夏は暑い... - 築40年以上のため古いので冬は寒い。夏は暑い。エアコンなし。 - この時期、寒すぎる。 - 将来に向けて改善の余地がある。(スロープ化、手摺) - 室内の温熱環境が悪い。 - 古い住宅の機能性が低いです。 - ある年代の前と後で、基礎と断熱の考えが変わり、私の住む住宅は前で基礎は土がむき出しで断熱材は無いので夏は暑くて冬は寒い、季節順応タイプです。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
5 立地の利便性 (スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	・ コンビニまで車で15分、スーパーも近くにない。 ・ コンビニは徒歩3分。 ・ この地区では、3年くらい前スーパーが移転し、売店がない。 ・ 診療科目によっては遠方まで行かなくてはならない。 ・ スーパーやコンビニ、クリニックが近く便利。 ・ 近くにスーパーがあるので助かります。市内も近い。 ・ 昔ながらの情景。 ・ スーパーやコンビニが近い。 ・ 子どもをつれての移動が大変なのでスーパー、病院は近くにほしい。 ・ スーパー、コンビニ、病院が比較的近くにある。 ・ 行きたい場所に行くのに時間がかかる。 ・ 近い。 ・ 充実。	・ 住み始めた50年位前は近くに店もありよかったが、すべて無くなり店が遠くなった ・ ライフスタイルに合っており利便性が良いです。 ・ スーパー、ドラッグストアが近い。 ・ 車がなくても、スーパーや病院がある。 ・ 田舎なのでスーパーやコンビニ、病院も近くにない。 ・ すべて、自家用車がなければ行けない。 ・ 昔はスーパー、医療ありましたが、2020年頃、過疎の町。 ・ スーパーまでの距離があることが不便。 ・ 周りに家が少なく静かでゆっくりできる。 ・ 歩いていけるほど近くにそろっている事。 ・ 老いてくると近所にスーパー、医療機関がないと不安。 ・ スーパー、コンビニ、公共施設近くにある。 ・ 医療機関は中心地にある為、通院はタクシーを利用している。 ・ 車で10分以上走らないと無い為。 ・ 地方は車がないと、買い物にも行けない。 ・ 回りに商店はなく不便なこと。 ・ 現在は車があるからよいが、将来的に運転できなくなった時は不便。 ・ 立地の距離が遠い不便である。 ・ 運転できなくなった場合の不安がある。 ・ 歩いて行けるような距離にはない。車は必須。 ・ 亡くなった母が十分なバリアフリー設備を整えてくれて助かった。 ・ 市内から少し離れている。 ・ 買物が大変です。水道無し、下水無し、持家。45号国道の下側3、4件同じです。 ・ 肴町にモナカが新しく開業された事もあり、買物や食事の際の選択肢が増えた。 ・ 車がないと不便。 ・ 水沢はお店が多く、車があれば便利だった。	・ 市街地からかなり離れた所に住んでおり、自動車が必要。今はよいのだがこの先年をとった時(運転が困難になって)生活できなくなることによる不安を感じる。 ・ 学校で必要な物を買う時、近場でそろえることが難しい場合がある。 ・ アパート。徒歩で要件は済ませられる。生活音がかえすぎる。暑さ、寒さに耐えられない。 ・ 町外の病院に通うため県立病院の意味なし。 ・ 自分は今、健康で車の運転もできていて、不便はないが、今後老後のことを考えると、今住んでいる所は不便に感じると思う。 ・ 不便。自家用車がないと移動できない。 ・ スーパー、ホームセンターなどが近くにないこと。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- スーパーや医療機関がやや遠い。 - スーパー、病院5分以内なので。 - スーパー、ドラッグストアへ近い。 - お店、病院は近くて良い。 - 自転車で30分圏内に色々ある。 - スーパー、病院、公民館などが近い。 - スーパーなどが近い。 - 電車の駅もなく車がなければどこへも行けない。 - スーパー、公共施設は歩ける距離にある。 - スーパー、コンビニが近くに近いため。 - コンビニが近いし、無料高速ができた。 - 居住地から2K以内にスーパーや公共施設がある。 - 町の中心地近くに居住し不便は感じない。 - 冬の除雪。	
6 公共交通機関の利便性	- 収益の問題もあるだろうが、車が無くても通院できる地域にしたい。自分が高齢者になった時は今より公共交通機関が減少していると想像する。 - 移動は全て自家用車。 - バスの本数と時間。 - 交通手段が少ない。 - 県交通バス停まで徒歩2分BRTバス停徒歩1分と近い。 - 人口のせいか、運行本数が少ない。	駅、バス停まで歩いて15～20分かかる。 - 公共交通機関は便利ですが、紫波町にはタクシーが“2台”しか整備されていないです。 - バスの本数が少ない。タクシーはなかなか来ない。運賃が高い。 - デマンド交通と2時間に1本の列車なので、子どもの通学に向きません。 - 運行本数が少なく、最終バスが早過ぎる。 - 汽車やバスが充実しているから。 車、バス、タクシーなど、どれも利用し易い。 - バス停が10分かかる所にある所にある。 50年前はバス停の位置が近かったが、それが一部変わったこと、バスの本数がウソのように少なくなり、ほとんど使えなくなった。 - バス、電車にすぐ乗れる。 - 電車、バス、車、どれも利用できる。 - 回数が少なく時間が合わない。 - バス路線の廃止。 - マイカーのみでの外出可。今後が不安。 - 駅が近い。 - バスの運行が無くなった。	- 車を持っていないと生活できない - バスの本数が少なく、自家用車頼み。 - 車を手放したら、生活が成り立たない。 - 便が少なかったり、目的のところまで行けなかったりする。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 以前は、仙台までの直行の高速バスもあったが、コロナ後をきっかけに廃止され、水沢までのバスの本数も減った。 - 駅から自宅まで遠くて困る - 駅やバス停は近いが、便数が少ない。	
7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	- 通学路には歩道がなく、小さい子が歩くには危険！！ - 目の前に川が有って、季節によって、漁釣り等楽しめます。 - 周辺が静かで、近くに海があり、夏涼しく、冬も過ごしやすい。 - 緑が周囲に多い。	- 公園にすべり台がない。そもそも公園が近くにない。 - 区画整理で近くの公園が無くなったままになっていく。困っている。(転居から6年経過) - 子どもたちが遊べる公園が欲しい。 - 古い公園ばかり。皆が、集まれる場所がない。若い人が出ていってしまう。 - 北上川や中津川、岩手公園に近いので、晴れた日の散歩にちょうど良い。 - 水沢は公園が多く良かった。	- 大雨が降ると、車が水浸しになる。 - 近くに公園が無い。 - 近所に公園が1つも無い。
8 周辺地域の街並み	街並みが美しくない。ウォーキングをしたいと思わない。	- 四季を感じやすい(街路樹や花、岩手山などの山並み)。 - 新しい店は長くもたず、家の周りは、どんどん空地が増えて見通しが良くなっている。 - 周辺は公園、住宅地になっている。	- 何も無さすぎる。 - 無造作にアパート建築が行われている。車の死角。
9 周辺地域の治安	- 夜になると暗い。田舎なので屋でも人がいない。 - 周りの人は知り合い多い。 - とても良い方ばかり。	- 事件などが少なく安心して暮らしているため。 - クマやイノシシが出没しやすいので怖いです。 - 治安が良くて、安心して暮らせている。 - クマの出没が増えて怖い。 - 静かで変化も無いから。 - ゴミのマナーが悪い時がある。(収集所) - 治安も良いと感じています。 - 担当地域の駐在所が巡回して訪問。近況安否を確認する。 - 高齢化により近所に空き家が増えている。 - 住宅地で交通量がそれほど多くなくて静か。 - 町内会の防犯意識が高い。 - 治安の良さ。 - 普段は静か、地元民がほとんどなので。 - 治安が良く、怖い経験をしなかった。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
10 近隣の生活音	- 家の周りが静かである。 - 今は亡くなったけど5年位前まで隣の番犬が吠え続けた。 - 田舎なので静か。	- 周辺地域は比較的静かで過ごしやすいが、街灯が少ないため夜間での治安に不安がある。 - 隣家の音が聞えない程度に離れている。 - 近隣の生活音も感じられない。持ち家であり、隣の距離も十分ある為。 - 自然もあり、静かで、近所付き合いもある。 - 静かである。	- 集団移転した側を三陸道があり騒音でうるさい。 - 隣がトイレの戸をうるさく閉める。パチンと部屋に響くので赤ちゃんが起きないか心配。 - ネコを隣で20匹飼っていて、エサだけ与えて家にも入れないで無責任。 - 隣家住人との関係性が悪い。(県の施策とは無関係です。) - エンジン音がうるさい。 - 夜中に4号線を走る暴走族がうるさい。 - 上の階の住人の生活音が24時間うるさい。夜中でもドンドン音がして大変迷惑に感じる。
11 近隣の生活臭	- 団地の為、タバコの臭いが換気栓の排口から入ってくる。 - 季節によるが、堆肥の臭いがひどく洗たく物も干せない。 - ノラネコが多く困っている。	- 野焼きしている住民がいる。 - 養鶏場の臭い。 - 隣家の方が風呂が薪だきらしく、その臭いとその他のタバコの臭いが洗たく物に付いて困っている。 - 養豚場の臭いがするので困る。 - 夏場の夕方に時折、市役所の職員が退席したところ臭いを発する工場が近くにあり、迷惑している。	- プロイラーの悪臭。 - 工場からの臭い。 - 隣の家の人が外でゴミを燃やした際に煙と臭いが部屋に入り、ストレスを感じる。 - 近くに家畜を飼っているの、その臭い。
12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	歩く道路がフラットでない。	除雪(雪の多い年)早目にしてほしい。歩道がまだ少ないと思う。両側が無理な時は片側だけでもほしい。	- 自分達は苦にしないが、高齢者にはごみの集積所が遠い。 - ネコはそこらじゅうにフンをして被害にあっているが知らんふり。保健所に言っても解決になってない。夏はフンの臭いで困っている。
13 その他()	- 野性動物には困っています。 - 津波対策としての高台住居が、高齢化に伴い負担となった。	- オール電化なので大変。節約しているため家の中がいつも寒い。 - 農家からのゴミをもらす煙、豚舎の臭い。 - 現在の基準で考えた場合、断熱性能が低い。 - 建物が古い。室内の状態が悪い。 - 旦那の両親と同居しているから。 - 岩手県、釜石市は気候が良く生活しやすい。	- 下水設備がよくない。 - イノシシ・クマなどの出没。 25年も経つと、屋根や壁、浴室など古くなってリフォームが必要なほどに。
複数選択等(※)	(1.2) 昔風の住宅のため、冬の寒さは身に沁みるが他は良い。 (1.2) 住宅も広く持ち家であるが家族の数も減って昔のままなので住みづらさがある。今後の事を考えると平家の小さな家でも良いと思う。	(1.2) 持ち家、2LDK、2人暮らしで丁度良い。 (1.2.3) 持家が築15年以内なのでまだ修繕も不要。車を運転できているのでまだ不便は感じていない。近所とも離れているのでトラブルもない。 (1.2.3.4.5) 快適な生活を行っている。	(1.3) 耐震、耐火、断熱、気密性の高い家である。 (3.4) 築年数がたっていて、耐震に不安、冬は寒い。子の教育費がかさみ、物価高等でリフォームに踏み切れない。 (4.5) 古い家なので温熱・冷も、自然に近い。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	・ (1.2.3.4) 住宅その物への不満はない。 ・ (1.4) 加齢に伴い広さは充分。1Fが広くて良かった。 ・ (5.6) 田舎なので不便。 ・ (6.7.8.9) 自然環境、住民交流良。	・ (1.2.3.4.5.9) 住宅や周辺の治安に対しては快適さを感じる。 ・ (1.3.4) 部屋数が多く、建物も古い為、壊して平屋にしたいがそれに伴うお金が無い。 ・ (3.4) 震災後求めた中古住宅のため、バリアフリーではなく特に冬は光熱費がかかる。リフォームも考えるが、余裕がない。 ・ (3.4) 築 35 年以上なので、断熱材が入っていない。 ・ (3.4) 家は 30 年前位に建てたので耐震及び室内の温熱環境にお金がかかる。 ・ (4.13) 家族の家に付き、改修する事が難しい。又、介護中で、他に移れない ・ (5.6) 田舎なので仕方がないと思っている。車がないと生活できない。 ・ (5.6) 買い物物できる店が町内に1件もないので！！ ・ (6.7) 復興が進み、便利になった。 ・ (7.8) 周りに何もなく静かで平和。 ・ (9.10) 隣が離れているし、干渉がなく、良い。 ・ (-) 実家から追い出され、やっと見つけた家は昭和中期建築の小屋のようなもの。寒いです。隙間風、結露、凍結で戸や窓が開かなくなる、など貧困はつらい。 ・ (-) 住みはじめて 30 年、立地の利便性は良い。畑だった、空地だったところに若い人達が家を建て暮らし始めている。都会ではないがちょうど良い。 ・ (-) 家は年数たっているもので、今のと比べものにならず冬寒く夏すずしい？ ・ (-) 古い家なので隙間風がある。 ・ (-) バリアフリーにしたいけども資金無し。	・ (5.7) とても恵まれている。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(7) 地域社会とのつながり

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	- 現在地に「家」を持つが30年以上経るが、あまり隣近所との面識は無い。寄り合い世帯の為。 - 慣れた土地で暮らせる。 - 生まれてからずっと今住んでいる場所に居るので愛着はある。 - 自分が生まれ育ったところで、自治会・町内会活動、地域の行事に参加しやすい。 50年以上住んでいるから。	- 結婚して、盛岡に嫁に来て、26年経ちましたが、古い街なので、年が近い人があまりいない。 60年居住。 - 長く住んでいるので、近所は大体顔見知り。 - 会った人と世間話ができる。 15年住んでも、まだ馴染めていない。 65年。 - 住所変わらず。 - 住みなれた所が一番。 - 慣れた土地・地域なので良い。 52年間。 - 東日本大震災後この土地に引っ越して来たので、年数はまだ少ない。 - 年数は長く暮らしているが、町内会の参加はあまりしていない。 - もうすぐ75年になる土地(ここから離れたことがない)。 - 当地域に50年以上住んでいる。 - 昭和51年から住んでいる。 15年になる。 - 長年過ごしたので愛着が有る。 - 隣近所が長く住んでいる人が多いので。 - とりあえず協力してやる人間付き合いが30年。	- 結婚して30年住んでいる。 - 大学以外は、現在の地域で過ごす年数が多い。愛着があります。 2年ほどしか生活していないため、感じにくい。
2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	- 町内会役員として活動に参加している。 - 町内活動への参加している。 - お祭や消防団の活動に参加できている。 - あまり参加せず。 - 自治会、町内会活動への参加無い。 - 消防団で色んな活動を実施しているから。 - 自治会の活動には参加している(草刈、ゴミ拾い、班長)。 - 自治会の役員をしているが、計画しても参加が少ない。	- いつでも参加している。 - 消防団員です。 - 負担に感じる。 - 長年地域の自治会、農家組合等の役職に携り、又、現在も、集落長として3度目の役割を全うしつつある。 - 続けることだけを重視していて、内容の見直しもせず、ちよつと疲れる。 - 町内会の活動参加者が多いので安心している。 - ほとんど夫が参加している。	50才代活動したが現在73才は休止中。 - 草取りとか2回ぐらい出ただけ参加者が少ない。 - 自治会などの活動に参加しないため。 - 体が不自由なため、消極的になり、参加しようという気持ちになれない。 - 高齢化も進んでいるが、自治会等興味がない - 子どもが大きくなって、子ども会等への参加がなくなった。 - 町内会の活動に参加はしていない。 - 清掃活動を欠席すると、お金を徴収される。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	- 町内会が活発でない。 - 振興会などボランティア活動に参加している。 - 田舎特有の自治活動の強制参加に不満がある。	- 自治会、老人クラブ、公民館活動他。 - 定例会、道路掃除等に参加している。 - 町内の老人クラブ会員として活動交流（元会長職）。 - 町内会防犯部に所属中。 - 町内会は休止しました。 - 自治会、老人クラブ、町・県の交通安全活動にボランティアとして従事。 - 町内の婦人会の活動をしている。 - 退職後、地域への恩返しのためで町内会の役員を続けているが、関心を寄せ参加・協力する方々が多い一方、全く関心を示さない方々への対応に苦戦。 - 町内会活動環境美化、防犯に多く参加。 - あまり参加していない。 - なるべく参加したくない。 - 道路掃除等地域活動に参加している。 - 町内会役員として積極的に参加。 - 年1回の環境美化以外参加の必要性を感じられない。 - 会の活動は、全くない（総会のみ）。 - 自治会、役員 - 道路に面している為自宅の前の清掃、美化をしている。 - 役員をやらされています。 - 隣近所の方々と長年つきあひがある。	- 参加できていないから。 - 地域活動にあまり参加していない。
3 地域の行事への参加（お祭り、スポーツ大会など）	お祭りに参加している。	- 特定の人のみの参加。 - 地元のお祭り。 - 地区の行事にはできるだけ参加し、子どもへ伝えていきたい。 - 普段、仕事でなかなか会えない世代とスポーツ交流があった。 - 部落なので、私はこの生まれではないので、他の人を受け入れないところなので馴染めない。 - 私用や仕事で昨年はほとんど参加が出ていない	- 地域行事がなくなってきた - コロナ感染症により地域の祭りがなくなり、学校の閉校により、地域の方との運動会が無くなってしまった。 - 子どもが小さいうちは参加するが大きくなると参加しなくなる。高齢者が多い集団の中には入りづらい。 - 小学校には来賓として呼ばれたりするが、運動会も半日で終わってしまうほど子どもが減った。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 横ばい - ほとんど夫が参加している。 - 地域近辺は顔なじみです。 - なるべく参加したくない。 - お祭は、「神」が表面に出すぎで違和感ある。 - 町の裸参りの裏方協力しています	
4 学校・子ども会の活動への参加	- 子どもが小学校入学したことで、地域の方との関わりが少し出てきました。 - 小学校と交流する機会がありました。 - 子ども会の活動、PTA活動で地域とのつながりを感じる。 - 学校行事に地域の人ともいっしょやる。参加する機会がある。	- 子ども会へ参加し、近所の交流ができた。 - 学校運営委員として環境美化、児童の健全育成の助手。 - 学校行事には率先して参加しています。	- コロナ以降、話し合いはLINE 上で行っており、行事以外では会うことは無くなった。 - 子ども会で資源回収で協力してもらった。 - 子どもが小さいうちは参加するが大きくなると参加しなくなる。高齢者が多い集団の中には入りづらい。 - 中学校のPTA役員で、学校へ貢献する作業に参加したこと
5 隣近所との面識・交流	- あいさつ程度は行っている。 - 震災により転居したため現地域に馴染めない。 - 長く住んでいるので近所とは顔見知りであるが、最近では集まったりする機会も減った(子ども会が無くなったので、子どもがいない) - 近所との交流も出来ていない。 - 特にコロナ以降は集会を呼びかけても、参加者が集まらない。 - 近所との交通があるが少ない。 - 隣近所との面識・交流は特にありません。	- 隣近所の方と円満に接している。 - なぜか交流がほとんどなかった。 - マンションに住んでいるため、近所付き合い等がない。 - 近所の方との交流があり、あいさつは欠かさずある。季節の果物などの頂き物もあり、快適な地域社会の生活を送ることができている。 - 近所づきあいが、うまくいっている。 - ネットでの交流が主になっていて、近所の住民との交流は少ない。 - 近所に知り合いが多く、交流が盛んである。 - 隣組との交流が毎日の様になされている。 - 隣近所の方とおしゃべりを楽しんでいる。 - 隣近所とは良好な関係がとれています。 - 会費を1ヶ月に1回集めるので、同じ班の方々とは面識がある。 - 会えばあいさつや声をかけてくれるので。 - 近所の人と気兼ねなく話せる。	- 隣近所との面識程度のため。 - 若い人達とのつながりがない。 - 隣近所との面識・交流があまりないため。 - 交流はないと言っても過言ではないが、それではないと感じている。
6 地域における趣味・スポーツなどを通じた交流	- 週2回いきいき体操で地域の情報を知ることができ - る。 - 地区のラジオ体操(県営運動公園)、地区の卓球愛	- 年々戸数、人数減るがつながり強くなる。 - 公民館講座や地域のグループ交流。 - 一緒に卓球をしてくれる人が居ないので困ってい	- 消防団活動。 - 趣味等は特にない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
(スポーツ少年団、公民館講座等)	- 好会に参加。 - スポーツ大会などで地域の方とふれあっている。 - 子どもを通して。	- 老人クラブの行事参加。 - スポーツの役員をしています。 - 子どもが少し前からダンススクールに入っただので、少しずつ地域の人とも話しができるかも。	
7 民生委員や見守り活動を行う方等の訪問		- 民生委員は独居や安否確認など全くしていない。 - 今の自分には必要と思わないが、父、母(没)の介護を長くしたが、一度も来てもらったことがなかった。 - 民生委員です。 - 主人が民生委員。 - 高齢者等が多く通院補助やシルバーマイトとして訪問活動を実施。 - 当地区内での民生委員の活動はゼロです。	高齢の母が居ますが、ほとんど民生委員が訪問する事はありません。電話もほぼナシ。1、2ヶ月に1度は訪問していただいていた様子を見ていただきました。※日中、母1人なので。
8 地域の身近な情報に接する機会	- 地域の活動に参加する事がない。 - 近所の会話。 - 地域の身近な情報に接する機会が少ない。 - 広報誌の内容が充実している。	- それほど地域の人と行き来がない為、つながりを感じない。 - 良くも悪くも、古くからの住民が多い地域に住んでいる為、つながりを感じます。 - 回覧板が回ってくる以外に地域とのつながりを感じない。 - 情報交換をする機会が多く楽しいです。 - ボランティア活動により情報交流をしている。	- 長年住んでいても、交流が少ない。 - 地域の人と接する機会が少ない。 - 広報が入らない。
9 その他()	- 良くも悪くも地域柄、密接だと感じる。 - 電気工事の自営業をしているので、周囲から仕事を依頼される。	- あまり交流は無い。 - 時間がとれずにほとんど顔を知らない。 - 私はIターンで移住して15年経過する。内地出身だが県北沿岸部に来て、人々の文化や性格が閉鎖的で排他的で人目を気にして自主性がない人が多いので、つながりを感じない。 - 伝統だけのために人手不足、時間をとられ、世の中においてかれるような気がする。言えないけど。(婦人消防は解散した。) - デイケアに通っているのにつながりを感じる。	- アパートなので、あまり近所づきあいはないが、満足である。 - 興味がない為。 - 近所付き合いをしてない。 - 住んでいる地域とのつながりは特にない。 - 保健推進員や消防団など次に渡す人を探すのが難しい。 - 子ども達は学校を通して近所の方と共に活動することがある。
複数選択等(※)	(1.2.5.8) 現在も従事。(静かに) (1.5) あまり人付き合いのよい方ではなく、地域の行事にも参加しませんが、子どもの頃から存じ上げ	(1.2) 進んで役を引き受け、参加した。 (1.2.3) 元々、知り合いがほとんどいない所へ来て5年程だけど、地域行事への参加の仕方でもどんな事	(1.2.5) 隣人との交流はあるがコロナを機に町内の、知人等との交流会がなくなってしまった。 (1.8) 単身でアパートのため、交流はなかった。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	ている方でやさしくしてくださる方もあるのでありがたい。 • (2.3.4.8) 子ども会へ加入している為、イベントに誘ってくれる方がいる。とても有難い。 • (2.3.6) 地域での役員を担当した際は、地域の活動に参加するが、それ以外では、参加しないため交流が出来ていない。 • (3.4.6) 病氣治療に付、離れている。 • (5.6) 交流の機会がコロナ前に比べて減った。消極的になったと感じる。 • (-) 近所の方々に介護している夫婦として見守っていただいている。声かけなど頂き、ありがたく思う。みなさん、あたたかい。	をやっているのかも分からないことが多い。 • (1.2.3.4.5.8) 仕事から地域コミュニティの事務局をやっているため。 • (1.2.3.5.6) 町内会行事(地区も含め)や老人クラブ活動を積極的に参加している。 • (1.2.5) 今の場所に住んでから、近所の方とほとんど交流がない。 • (1.5) 地域に住んで 40 年隣・近所との交流、挨拶等。 • (2.3) 不定休なと夜中からの仕事の為時間が合わない。 • (2.3) 婦人部、公民館活動があるので環境美化などを行っています。 • (2.3) 昔からの付き合いもありお互い顔見知りなので、色々な面で協力しながら行政活動も行っていると思う。 • (2.3.4.5.6.7.8) 地域の方々と混わりたくて、町内会活動や地域でやっている趣味やスポーツに参加したのが良かったし、皆が優しく受け入れてくれた。ギクシャクした事は一度もない。 • (2.3.5) 町内会の清掃、旅行、茶飲み会と参加。 • (2.5) 出来る限り参加して協力している。 • (2.5.7) ほとんどないため。 • (3.4) 小学校は廃校となりました。 • (5.8) 趣味の同じ人が居て楽しく過ごせています。 • (-) 少子化とコロナでお祭りがなくなった。 • (-) 地域との接点はほとんどない。 • (-) 田舎なので近所は顔見知り。 • (-) 自分が他者に関わりを持ちたくないと感じ、つながろうとしていない。 • (-) 自治会の参加、スポーツなどの交流。	• (2.3) コロナ禍、高齢化、人口減少等で地域行事減。女性会解散など。 • (2.3.4.5) コロナ禍から行動制限され、つながりが薄れてきた感じがする。 • (2.4.8) 子ども達が成長し、活動に参加する機会がない。 • (3.8) 年寄的なものもあってお祭りなどに参加しなくなったり、身近な人と会う機会も少ない。 • (5.9) 高齢化、少子化で近隣に人が住んでいても少なく会うこともない。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(8) 地域の安全

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 犯罪の発生状況	- パトカーの巡回が多くよいと思う。 - ここ何年もないので。 - 近所に危険な人がいない。 - 犯罪も少なく住宅への鍵掛運動も進んでいる。 - 犯罪が発生していない。 - 田舎なので、犯罪が少ないし、あってもすぐに特定される。放送など、伝達も早い。	- 犯罪がない。 - 事件などが少なく安心している。 - 西警察署が近く、犯罪の発生は聞かない。 - 子どもがいるため犯罪が起こりにくいところに住みたい。 - 特に事件性も低いなと思う。 - 犯罪は、平均的な件数だと認識している。 - 同町に空き家を持っているが最近ドロボーに入られた。 - 凶悪事件がない。 - 犯罪は少ない。 - 犯罪はほぼ発生していない。 - 近所にはない。 - 治安の良さ。 - 当地域では長い間犯罪が発生していない。 - 発生なし。 - 地域において、犯罪のことをあまり、きいたことがない。 - 最近多い闇バイト強盗や特殊詐欺等の不安が大きい。 - 犯罪がない。 - 犯罪の発生はほとんどない。 - 少ない。 - 犯罪がなく平和。 - 発生していない。 - 発生していない。たまたま。 - 安心して過ごせる環境にあると感じる。 - 多くはないと感じる反面、人が少ないので狙われな - いか不安。 - ないので安心 - 近くでの犯罪をあまり聞かない。 - 犯罪は身近ではあまり聞かないから。 - 全くない。	- 山に住んでいる為、夜に怪しい人が来ても分からな - い。 - 少ないと感じた。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 犯罪をする人が少ないと感じる。 - 地域・行政・警察を含め皆で取り組んでいる。 - 闇バイトによる犯罪が地方に波及しないか心配。 - ニュースでよく、民家に押し入り、犯罪とかあるのでこの地域も安全とは言えなくなっていると思います。 - 都会と違い、犯罪は少ないと思う。 - 犯罪は発生していない。 - 職業の様に犯罪をしている人に個人では勝てない。	
2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	- 細い道の街灯がなくて怖い道がある。 - 緊急要請した際、すぐ来てくれる安心感。	- 治安は良いと思うが、今後のことも考え防犯カメラは必要かと思う。 - 交番のおまわりさんのパトロールのおかげ。 - 地域との関わりがほとんど無く、この人はどの人？と思う事が多い。 - 街灯が無く怖い。 - 当地区には、工業団地があり、地区民より通勤者が多く、常に見た事のない人達が、地区内を通行しており、少し不安がある。 - 通学時に見守りパトロールの人がいる。 - 前記の通り、町内防犯部、交通指導員に従事中です。 - よくパトカーがパトロールしているのを見かける。コンビニに駐車して取締もしているのでみんな気を付けているように感じる。 - 体制が整っている防犯隊など。 - 防犯がしっかりしていると感じる。	- 住んでいる地域に街頭防犯カメラはない。何かあった時に心配。 - 住宅地内に街灯が少なく暗い。防犯カメラも無い。
3 交通事故の発生状況	- 看板の下部分を覆っていた板を外し、見通しが良くなり、事故減少した。 - 交通事故件数も少なく、又飲酒運転防止活動(夜の飲食店訪問等)も実施されている。	- 冬の路面凍結。 - 近所ではあまり発生しているところを見聞きしない。 - 交通事故がない。 - 目の前の道路が国道なのでたまに事故がある。 - 発生なし。 - 発生していない。 - 無いので安心。 - 昨年は交通事故も少なかったと。	- 車社会なのでけっこうお年寄りの運転が怖い。 - 最近、市内での交通事故の発生が多いため。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
4 交通事故の防止(歩道の整備など)	- 歩道の舗装工事がいつまでも終わらない。 - 道路を整備するにしてもすぐに取り掛からない印象がある。住民の意見をもっと聞く、拾う場所はないのか？危険箇所はあるのに・・・ - 子どもを歩きで通学させるのは不安。	- 老朽化した歩道の修理が行われ、歩行に車に便利になった。 - 車通りが多く子どもも行くところに信号がなく不安。他不安なし。 - 小学校前信号のある交差点の歩道が狭すぎて、子ども達が危険にさらされています。 - 横断歩道が消えかかっているが、なかなか直さない。 - 小学校への通学で国道を渡るので、歩道橋や地下道の整備をしてほしい。 - 地域・行政・警察を含め皆で取り組んでいる。	- 車の往来が多く、道路のコンクリートの劣化が目につきます。少しカーブしているところなどに、小石が溜まっているところもあり、歩行には注意しなくてはならない。 - 通学路の道幅が狭く、車、自転車等のすれ違い時に危険を感じる。 - 歩道が少なく、車との距離がほとんどない道もあった。
5 火災の発生状況		- 火災も少ない。 - 発生していない。たまたま。 - 高齢化で一人暮らしで認知症の人はケアして欲しい。 - かなり少ない。	- 最近、市内での火災の発生が多いため。 - 大雨の時は時々水、泥とかが来る。
6 火災に対する予防(消火栓の設置など)			
7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	自分も消防団に過去在籍していた。	- 区画整理の最中で、町内の自主防災の組織が中断しているため。 - 消防後援会の役員。 - 消防団が、しっかりしているが、昔のやり方で人員不足で大変そうです。 - 消防団員が少なく、日中は皆さん仕事に行っています。 - 町内会の啓発活動(会報発行による)。 - 空き家が増えている。 - 自治会、地域で避難方法などの実施を行なっている。 - 消防団の会員が頑張っている。	
8 自然災害の発生状況	- 自然災害が発生しても安全だと思っから。 - 自然災害が少ないと思う(盛岡)。	- 災害の発生が今までないので安心している。 - 台風の多さ。 70代超えた老夫婦には雪の除雪はきついです。 - 災害発生していない。 - 水害や豪雪災害の恐れがない。	- 津波浸水区域の為安全には不安がある。 - 川と山が近い為、土砂災害が不安。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 自然災害、ほぼほぼ無い。 - 海のそばなので、最大クラスの津波の発生は、常に意識している。 - 自然災害も少ない。がR6は、害虫アメリカシロヒトリが多かった。 - 気候が良いので生活し易い。	
9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	- ハザードマップを見てから借家(アパート)を選んでいる。 - 北上川の河岸工事、開運橋～旭橋だけでなく、住宅のあるその上流岸の草木のすこさを改善している。 - 自然災害が少ない地域だが、対策がなされている。 - 地震・大雨等の場合、びーちゃんねっとで情報発信されている(役場より)。	急斜面地域の為道路は狭く地震による崩落対策がなされていない。	地域の避難場所や訓練など1度も行ってない。
10 災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)		- 安心して暮らせる町・市。 - 防災に関する情報はよく耳にします。 - 町内生活応援センター会合による。 - 行政が行う、避難訓練には、参加している。	行政の防災体制確立が遅れる不安がある。
11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)		農薬や添加物の安全性と不安を感じる。海外では使用禁止のものも日本では使われている。岩手県独自で規制をかけてほしい。	
12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)		- 毎週ラインで通知がある「岩手県－新型コロナウイルス対策パーソナルサポート」はありがたい。 - 予防接種等の案内が来る。 - 県・市、町内会からの情報で知る事ができる。	
13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	- 街灯が少なく暗い。除雪状況が非常に悪く危険な所多し。 - 下水道より先に上水道がほしい。国道を挟んで海側に金が掛かると町でやってくれない。4件とも上水道無し。		

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況（シカ、イノシシ、クマなど） ※本年から要因の選択肢に加えたもの。	• 出没情報があり、外へ出るのが不安。 • 度々クマが出たとの防災放送が流れる • 心配されているのが、シカ、クマ対応である。 • 野鳥にえさを与える人が必ずいる。カモシカも出るし、タヌキ、キツネ、ノラネコなどいても、どうにもできない。※北上川べりに住んでいます。 • 野生動物が多くなった。対策しないと大変なことになると思う。	• 近年クマに出あった人がいて怖い。 • クマがよく出る(田舎なので)シカやイノシシの作物の被害も増えていると実感する。 • クマの動きにふり回される。 • クマやイノシシの出没頻度が年々増えている。 • 田んぼを作っておりシカの被害に困っているが、遠野市で、シカのワナで、見張ってくれる。見回員配置している！！ • 今のところ人的被害は無いが、シカ、イノシシ、クマの目撃情報は多くある。 • 野生生物を害獣などといって殺すことを推奨しているのに驚き、呆れる。大事な野生動物の命を守るべき。害をなしているのは人間です。やめてください。 • 庭や畑に年中荒らしている。 • 高台の団地、山も近いことから年に何回かクマの目撃があるが、防災放送等で、知らせしてくれるので、注意できる。 • 田舎だから、仕方ないが、シカやイノシシが車に突進して、車が壊れた等は年に何回か聞く。 • クマの出没も多くなってきたり、車を運転しているとシカやカモシカと会うこともある。 • シカは毎日の様に目にします。(市内でも、所中、町内で見かけます) • 野生動物が多く、昼から出てきている。 • クマが出るので散歩ができない。 • クマ、サルが多い。 • 20 年位前まではまれにしか見ませんでしたが、近年は増えましたよね…イヌ・ネコ以外の足跡は自宅付近でもみかけます。 • クマの出没が多い • クマがよく出る。畑への被害もあると聞く。 • シカ、クマの出没が多く夜間は怖いです。 • イノシシやクマの出没。 • シカ、イノシシ、クマが出るが、地区民も防ぐ事も出来ないのでは共存の道を模索中です。	• 小学校にもクマが出る。本気で駆除が必要。 • 被害及び個体が多く発生増加するのみ対策急務！ • クマ、シカ、イノシシ、本当に毎日の生活で気を付けています。庭にも出て困っています。 • 明らかに頭数が多いのに有効な手を打てていない。 • 年々多くなっているのが心配 • 農地被害、道路に飛び出し交通危険。捕獲頭数を増やして欲しい。 • 家にカモシカが出た事はある。クマは無いが… • 散歩中にハクビシンのフンを見かけることがある。伝染病などが心配。 • シカの増加で花壇や家庭菜園が荒らされる。 • クマ等多く出没しているのだから散歩する気にもならない。 • 道路にシカが多く出没するのを見かけるため。 • 鳥が多く、夜うるさい。車が糞でいっぱいになり、何度も被害を受けた。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• 多くなっている。市街地でもあるため不安。 • シカやクマが出るが役場の対応悪い。警察に電話する様言われる。 • クマが出る。 • クマが出るようになった。 • 田、畑が荒んでいる。	
15 地域の安全に関心がない			
16 その他()		• 街灯が少ないし暗い為。 • 日本は、食品添加物に甘いのか、かなり入っている。特にひどいのは買わない。 • 高齢者の運転(無理な側道からの発車、帽子、タバコ等視界遮り片手運転、異常な遅さ、背文に合わない運転席)。	• 工事等で見知らぬ人が多く行き来するので不用心だと思ふ。 • ネコ被害が、解決しない。 • 鍵をかけないのがあたりまえ！！という地域でいつ、どろぼうが入っても不思議ではない。又、廃品回収や中古車購入か、外国人が家に来たりすることが多くなった。 • 若者が大人数で夜に騒いだりして外がうるさい時がある。治安がよいとは言えない。
複数選択等(※)	• (1.3) 事件、事故がほぼ起きない。 • (1.3.5.8) 他所から引越して来て 10 年程になるが近所において先にあげた事象等を聞いたこと。 • (1.3.5.6.7.8.9.10) 消防団活動や市の防災無線情報が行き届いているので、あまり心配はない。 • (1.8) 犯罪、自然災害が今のところ少ないため。 • (3.4) 歩道の整備はあまり良くないと思う。 • (-) 町内会組織が良いため、未然に防いでいる。	• (1.2.4) 地域の青年部消防団などの活動があり、高齢化の中でもある程度若い人の参加がある方だと思います。 • (1.2.4) 地域の人だから苦情が言いにくい。 • (1.3) この 10 年これと云った犯罪が発生してない。 • (1.5) 発生していない。 • (1.8) 発生状況を耳にすることがない。 • (2.8.9) 対策とっているように感じる。 • (2.14) 家の隣が畑ですが、畑の奥に入って犬に糞尿をさせて困っています。 • (3.5.8) それぞれ多少のことはあるも比較的大きな事態は無い。 • (7.10) 交通ルールを守らない方が多く、陸前高田は事故が多い。そのためパトカーのパトロールや地域の見守りの方々がいてくれる。 • (8.10) 自然災害に対して、対応がきちんとしている。 • (8.13) 川の氾濫、豪雪、地震の多発により、道路は	• (1.8.14) 犯罪や災害発生については安全だと思ふが、近年クマの出没について身の危険を感じる。 • (8.9) 水路があふれ通学路、自宅の庭が浸水する(豪雨時)。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		ひどい。 • (10.12.13) 先に立って行う人が身近にいない。 • (12.14) クマが出た時は、市や保育所から情報が入るが、コロナや胃腸炎などの病気に関する情報は保育所が遅れて出している。 • (-) この地域では何も起きていないと思う。クマが出るくらい。 • (-) 対策を促しても安全かどうか分らないため。	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(9) 仕事のやりがい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 現在の職種・業務の内容	- 寺社勤務の為 365 日勤務ですが休みは自由に設定できる為。 - ライフラインの維持・補修業務の管理で保有資格をいかせる。 80 才になって自営業が出来ているので幸。 - 勤務年数が長い。新人の教育。 - 自分が好きで選んだ業務・職種。 - 人のためになる。 1人で約 2.5haの米づくりをしているが、「令和の米騒動」のおかげで、概算金が4千円(60 kg)も上昇し、これまでよりやや赤巾が縮小しつつある。 - サービスマン(看護業務)。 4月から異動で島流しになりそうでツライ。 - 担当する勤務場所が増えたり、配属場所での後輩が増えたり、それに伴って、新しく業務内容を覚えなければならぬ事や、他の担当の業務を担当する事も増え、仕事が増えていると思う。「やりがい」と言う点において、個人の能力や業務に対する姿勢が認められており、今後の成長が希まれて(期待されて)いる様に思われる。 - ソフト開発、管理職、エンジニア。 - バックホーのオペレーターを、期間社員として、行っている退職後に再雇用されて働いている。 - 資格をいかした仕事をしているため。 - 楽しくやれている。毎日学びがある。 - 石材(墓)業をしていて、社会や人の役に立つと感じる。	- やりがいのある仕事に就いている。 - 使命感を持って業務を遂行しています。 - 誰かのために働いていることを感じられるため。 - 専門的な技術、知識を持って仕事をしています。 - 利用者に感謝されたとき、うれしく思います。 - 地域のコミュニティの仕事が地域貢献となっているから。 - やりがいは十分に感じている。人員不足でなかなか業務が終わらない。 - 親支援のボランティアを20年してきて、たくさん学んできた。そして子育て支援センターで働いているが、支援の内容がずれているような気がする。子育てで必要な保護者も多く、支援が必要だが、このまま変わらないのか心配。 - 必要とされる仕事だ。 - 会社の全体を任されているためやりがいを感じますが、そのため仕事の量が多くなり、帰宅が遅くなり休日も取得が難しく、それに合った給料をいただけると助かります。 - カキ養殖はやりがいもあるが近年は良くない。 - コンビニ店員。 - 転職して1年半たったが、経験のない職種でも周りをみて仕事をすることができている。 - 単純軽作業にやりがいを感じられない。 - 体が不自由な私でも働ける、業務を任されている。 - 体を動かし清掃業務は1日2時だけでとても充実しています。 - 介護職をしていて人生の大先輩から学ぶ部分が沢山ある事。感謝の言葉や笑顔を見るとやりがいを感じるため。 - 震災の復興に携わることが出来る。 - 地方公務員で部長職。 - いつまで出来るか分からないが、要請があれば頑張る。	- 定年になったとはいえ昨年と業務はまったく同じ、やる事をやっていけばそれで良い。 - 新型コロナウイルス感染症後、体調崩したため続いた家業継続に不安が出ている。 - 契約社員の為更新されないかもしれない不安。 - ホテル設備管理。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 張りたい。 - ストレスを感じない。	
2 業種・業務の将来性	- 今の職場でキャリア形成できるか不安がある。 - 季節バイトだが、一次産業は地域の大切な財産であり、これからも守りたい。 - 将来に向けた仕事を実施しているから。 - 経営が安定していると感じる。 - 人々に必要な物なので、今後も継続すると思う。	- なくてはならない仕事だと実感できる。 - 高齢者社会。医療の多面的変化についていきたい。	- 農業の将来見通し。 - リンゴ栽培、面積、人、減る。 - 業務将来性は、まったく無し。あと何年、自分がやれるか。
3 就業形態(正規・非正規など)	- 非正規雇用なので常に不安。 1～2日/週で割と自己都合でやれる事。 - 自営業。 - パート(7h/w)。 - 自身で決定し、退職したが、役に立たない社員以上に仕事をしているのでそういう点ではストレスに感じる。 - 正規であるため。	- 正規。 - 仕事を選ぶ立場になく、生活のためにだけに仕事をしている。 - 非正規の為。 - 非正規だから。 - 何歳まで続けられるか不安。	- 人材派遣会社を止めさせるようにしないと賃金は上がらない。 - 正社員に登用された。 - アルバイト(8年目です)6. 5H×10日。
4 業務の量	- 会社を辞めて、個人でやり始めだから。 1～2日/週で割と自己都合でやれる事。	- 子どもがいるのに配慮がない。 - 嘱託なのに仕事が多くこなせなくなり残業が増えた。 - 業務量が足りない。 - 業務量の偏り、多い。 - 会社の全体を任されているためやりがいを感じますが、そのため仕事の量が多くなり、帰宅が遅くなり休日も取得が難しく、それに合った給料をいただけると助かります。	- 仕事の内容に反して、時給が伴っていない。 - 残業ばかり。 - 一昨年までは仕事の量も多かったが、昨年は平日でも早く終わったり休みが多かった。時給で働いているので。 - 時期によってムラがある。
5 現在の収入・給料の額	- やっと満足できる給料がもらえるようになった。 - 給料が自分だけの収入だと足りない - 仕事を退職し、パート(同業種)となったが、経験、知識がある為、正社員並(若い社員になるとそれ以上)の仕事させられている。給料は減ったのに！！ - まずまず安定的な収入を得ている。 - サラリーマンとしては、相場では高い方。 - ただ、給料が少ないため「やや感じる」とした。 - 給料の額が少ない。	- 物価が高いため今の給料の額で賅うのが大変なため。 - 前職がブラックだったのだ！！ - 低賃金なのにボーナスが出ない。 - 物価は上がるが、収入が増えない。 - 収入が低い。 - 地方に複数工場があるが岩手の時給が他よりかなり低い。 - 就労支援施設なので無欠勤でも家族を養えない。 - 収入の額は、周囲に比べれば良い。ただ、忙しく、	- 平均的。賞与が少ない。 - 今の収入の面では満足している。 - 岩手の発展は最低賃金から抜け出す方策を考えないとありえない。 - 定年になり再雇用！基本給↓失神(笑)。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		横ばい ストレスが大。 - もっと増やしてほしい。 - 十分と感じる。 - 地方公務員では最上位。 - 高齢者でも雇用してもらっている。 - 会社の全体を任されているためやりがいを感じますが、そのため仕事の量が多くなり、帰宅が遅くなり休日も取得が難しく、それに合った給料をいただけると助かります。	
6 将来の収入・給料の額の見込み	- 給料UPが見込めない。 - 将来の給料額増加する見込みない。	- 業種のやりがいには感じているが、賃金が将来的にアップする見込みがない。 - 今後は不安だ。 - 非正規で将来設計ができない。 - 物価上昇している為、賃金の上昇してもらおうことが不可欠と感じます。 - 就職氷河期の世代の賃金に不満はある。	- 何の見込みもない。 - 天井が見えている。 - 自分より長く働いている人達が、こんなに仕事が少ない事は今までなかったと。安定していると思っていたので。 - 将来の収入の見込みは良くわからない
7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	- 休暇がとにかく多い。週休3日で時間に余裕を持てる。 - 収入アップされているが物価高なので、さらにアップを期待している。	- 岩手は賃金が低すぎる事業主が搾取している。 - 介護が必要になり、早退や欠勤になりがちだが、シフト変更や業務量を調整してくれる。 - ある程度休みを自由にとることができる。 - 有給休暇を中々とりにくい。 - 低賃金なのにボーナスが出ない。 - 休暇は取りやすくなったが、まだ気をつかってしまうところがある。(言い出す時)	
8 現在の役職(職場での地位)		ただただ、仕事、他の人に比べて多すぎる。	やりがい、今は負担になっている。
9 将来の役職の見込み			定年が近く、将来がどうなるのか不明。
10 職場の人間関係	- 良好なので楽しく過ごせている。 - 楽しく充実感を得られている。	- 職場の人間関係は良い方だと思う。 - 職場の雰囲気が良い。 - 仕事行きたくないと思わない程、大人の人間関係が良好。(子ども相手の仕事。職員 40 人) - 人間関係に恵まれている。 - 多種多様ですが、良い方が多く助けられています。 - 皆とうまくつき合っている。	- 新入社員など若い世代の仕事が続かない。時代に合わせた勤務体制ではない。多い残業や夜勤。 - 能力が低いとフォローしなければならない。 - 協調性がない人がいる。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
11 職場環境(オフィスの立地など)		- 職場の雰囲気がよく、同僚、上司、との関係もよい。 - 職場の人とうまくいかないことが多いため。	
12 職種・業務に対する周囲の評価	- 隣家の借金返済のため、小作契約して今年で10年働くこととなるが、地域の理解が得られないことから、今年で契約を終了しようかとも考えるが、米の取れそうもない水田1ha程を、米の取れる水田に10年かけて作ってきたことを思えば、迷いもある。 - 年齢を考えれば、無理も出来ないかとも思う。 - 特殊な作業であり、会社から、信用されており、必要とされるなら、後数年は働きたいと思っている。	お客様に感謝されるとさらに技術を向上させたいと思う。	職種個々の評価を正しくないと3Kの仕事をする人がいなくなる。
13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	- R6. 10月までしていた市内のクリニックを突然雇用止めにあい、不安に思った。しかし、R7. 1月～現在の職場にパートで就職して、やりがいを感じている。市内のクリニックでは資格(正看)があるのに、無資格の方の態度、言動がひどいものだった。 - 廃業寸前。廃業したくないから頑張っている。 - 食事工夫して作っている。お金の面も栄養のバランスも。	色んな意味で先々に、不安を感じる。	将来性が無くなっている。
14 専業主婦・主夫、又は家事手伝いである		- 子どもたち、家族の体調に自分が寄り添える。 - 専業主婦でたんたんとしていっている。時々落ち込むこともある。田舎はいまだに男尊女卑がある。	
15 元々仕事をしていない(学生など)			
16 以前仕事をしていたが、今はしていない		- 地域でのボランティア活動。 - 主治医さんから仕事の許可が出ないので仕事できない。	仕事なし。
17 その他()	定年で収入はありませさんが農業で楽しくがんばっています。	- 体力、記憶力の低下から引退をする時期かな？と思う。 - 守るべき家族も子どももいない為、自分の為に働いているのみのみで、やりがいがない。 - 関わっている仕事にやりがいや責任を感じている。	- 内職のため収入や時間の確保など心配な事がたくさんある。 - 定年まで約20年、どのように働いているかなゾ。 - 健康に不安があるため。 - 辞める予定で有給の消化のため、来月から新しい仕事を探す。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
複数選択等(※) 	・ (1.2.3) フリーライターなので縛りもなくやれている。地域の方からの依頼が多く、貢献できると嬉しいやりがいを感じる。 ・ (1.2.3.7.10.11.12) 市役所職員から、国家公務員に転職し、とてもやりがいを感じている。前職の経験も活かすことができている。 ・ (1.5) 定年後に農業を始めたが、今年は米価が上ったので、まあ、まあだったけど、以前は肥料代にもならなかった。 ・ (1.5) 年齢にあった仕事で、社会とのつながりも感じられる。 ・ (4.10) 職場の人間関係が良く業務量も自分に合っている。 ・ (4.10) 時間も丁度よく、家の環境に理解がある為。 ・ (5.6) 給与は低い(年収 300 万以下)上がる見込みも低い。 ・ (5.6) 業務内容、休暇等に不満はないが、10 年以上勤務しているのに、給与が少なすぎる。 ・ (5.6) 現在はパートより少ない収入だが、将来的には会社員と変わらない位まで稼げたらと考えている。 ・ (5.8) 代表取締役。 ・ (10.11) 自宅での業務の為、人間関係は悩まない。また外で業務も出来るので気分転換も可能である。 ・ (-) 再就職(転職)できたので一安心しました。	・ (1.2) 仕事が順調。 ・ (1.2) 街の電気屋さん(販売、工事)をしているが、周囲に減ったため、ニーズが多く、感謝されているのでうれしい。 ・ (1.2.3.4.5.6.7.10) 他職種と比べると良い。 ・ (1.2.7) 給与や待遇はとても良い。 ・ (1.3.10.12) 職場は、スタッフ同士仲が良く、家庭の事も理解してくれている。仕事内容もやりがいがある。 ・ (1.4) 仕事内容は大変であるが必要とされて仕事している為やりがいはある。人がなかなか少なく沢山の仕事をこなさなければならぬ。 ・ (1.10) 仕事内容、人間関係も特に問題ないので楽しく仕事しています。パートなので収入が気になる所です。 ・ (3.5.6.7) 仕事は大変ですが、給料がよい事と福利厚生が充実されているので会社に感謝です。 ・ (5.6) 田舎では、世帯収入でみれば、良いほうだと思うため。 ・ (5.6) 国家資格なのに待遇がよくない。 ・ (5.6) 自営なので、自分の頑張りで収入が増える。年金基金に加入して老後の貯えも作りつつある。 ・ (-) とにかく仕事ができない状態。40 才になろうとしている統合失調症のムスコがかわいい。それだけで生きている兄。こんなことがまかり通る社会間違っている。 ・ (-) 子ども勉強を教えているが、成績が上がるのを見ているとおもしろい。	・ (4.6) 業務・責任に対して収入が少ない。 ・ (4.6) 子育ての為、仕事をしなくてはいけないと思いい、体調崩しながら続けている。年齢的に選択できない。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(10) 必要な収入や所得

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 自分の収入・所得額(年金を含む)	・ 仕事量と見合っていないと近ごろ感じる。 ・ 定年！！再雇用基本給減額→無気力！脱力感。 ・ 自分が働きたくても、働く事を控えなければならぬ。 ・ 余裕は無いが、十分に生活できる程度にはいたっている。 ・ 税金が高い。ガンリンが高い。 ・ 自分の収入に不満がないから。 ・ 勿論、給料が多い方が良いし、欲を言えばキリが無いが、入社2年経過し、まともな賞与が得られる様になったのは良かった。 ・ 生活出来ている(年金で)。 ・ 扶養内で働いているので、どうしても収入に制限がある。子どもの習い事の送迎等あるため、フルタイム勤務が難しいのも事実。 ・ 支出もあるが、自営業で収入を作れている。 ・ 生活が普通にできる程度。 ・ 収入、年金を含んでも少し足りないかと。 ・ 物価高が続く中、給料は変わらず、不安はある。 ・ 特に不満はない。 ・ 前より多くなつた。 ・ 非正規な為、60才をすぎても仕事があるか。 ・ たくさんもらっている。 ・ 仕事が出来ないので収入が少ない。 ・ 嘱託の為。	・ 自分で必要な収入を得られている。 ・ 30年近く働いているがいつも非正規で収入が低い。 ・ 給与と年金でほぼ生活費を賄える事。 ・ 今無職のため。 ・ 年金も貰っているが少ないので食事作り買い物大変である。 ・ 老後に備えて所得を増やしたい。 ・ 働けないので収入がない。 ・ 入ったばかりのパートの人とあまり変わらない。 ・ 年金暮らしなので、自分の支出額も限られてくる。 ・ 自分の所得は満足しているが、税金や年金・社会保険の支払は多く不満。高すぎる。 ・ 物価高に対し、年金は増えないし、農業は、今年こそ多少上がっているものの、毎年100万もの赤字をかかえながらやっているの、一層の米価アツプも必要。地主が負担すべき土地改良区費についても理解が得られず、苦慮している。 ・ 退職延長者で仕事量は同じなのに収入が減る。新卒者より収入が少なくなっている物価高の時代に合わない。 ・ 物価高が生活を苦しめている。 ・ 年金額にやや不満。 ・ 年金が少ない。 ・ 家を建てられない。物価が高い。 ・ 物価高によりここ数年厳しい収支となっている。 ・ 物価は上がったとしても10年以上給料は上がらない。 ・ 自分の収入不足。 ・ 働き方改革で土日の休みが多くなり収入減。 ・ 生活は苦しくない。 ・ 体が不自由で、64歳でも十分な収入と障害者年金をもらっている。 ・ 非正規なので収入が少なく将来が不安。	・ 物価上昇や勤務年数に伴った収入になっていないと感じる。 ・ 私は仕事しているが、夫は仕事が出来ないため(難病のため)。 ・ 現在仕事をしていないため。 ・ 年金生活であるが引かれるものが多く手取りが年々減っている。 ・ 年金だけなので、合わせて、ぎりぎり、やりくりしている。 ・ 生活費で一杯。不意の事に備えなし。 ・ 年金生活なので収入のほとんどが生活費となっている。 ・ 仕事に就いていないため。 ・ 仕事の量の割には給料が少ない。 ・ ここ2～3年は良くない。 ・ 年金のみ。 ・ 290万。 ・ 現在仕事をしていない為、この回答です。 ・ 障害年金3級ももらっています ・ 危険な業務内容の割に収入は少ないと感じるし、物価高や世の中の収入増に反して、来年度は委託量が下がるので同一労働でも減収しそうである。(もし来年度も仕事があれば・・・) ・ 仕事を緩くしたので生活費で1月で消えていく(少し足りない)ハードな仕事にすれば年収は増えるが生活が忙殺されて、ゆとりある生き方ができない。自分の能力を全開で使っていないので。 ・ 介護職は低賃金のため。 ・ パート。 ・ 昨年は一昨年より、給料、ボーナスが減った。 ・ 現在仕事をしているからいいが、仕事から身を引いた後が心配。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• お金満足している使い道がないので困る。 • 私の年金やパートでは将来介護施設には入居できないと思う。 • ボーナスがない。 • 自営業の収入は少ないが年金と合わせると十分である。 • 生活に困らない程度の収入はある。 • 対人援助職の給与が低く抑えられがち。 • 将来的にみても一人暮らしはキツイ。 • 学歴低いため。 • 残業しないと稼げない。 • 所得の増加よりも、物価の上昇の方が大きく、実質賃金が増えているという実感はない。 • 周りの比較では恵まれていると思います。 • それぞれが自分の収入と資産を考えて、どう生活するかであって、その中でいかに楽しく生きていくか考えればいい。 • 苦労はしてない。 • 生活出来ている • 現在の年金収入では、テレビ等で放映されている様な旅行など考えられないです。 • 社会保険料など、引かれる分が高い。	
2 家族の収入・所得額(年金を含む)	• 不自由は感じない • 家族が全員働いているから。 • 年金制度も毎年変化。よくわからなない。 • 前より多くなった。 • 年金が十分でないと感じる。	• 夫の収入が減った。 • 夫の年金で生活中。生活は困窮している。 • 自分、配偶者とも割と安定している方だと思ふ。 • 主人が年金を受給し始めたが(国民年金)介護保険料が高くて使える年金ではなくなっている。将来が不安。 • 同上、プチ贅沢ができる。 • 年金額に不満。 • 年金が足りない。 • 家族の収入不足 • 妻の年金収入は、国民年金7万円で苦しい生活です。	• 物価高で、工夫しても、しんどい。食べなければならぬので、1度の買い物で1万円が飛ぶ。 • 夫が無職だから。 • 年金ぐらして細々と暮らしている。 • 物価上昇や勤務年数に伴った収入になっていないと感じる。 • 私は仕事しているが、夫は仕事が出来ないため(難病のため)。 • 年金だけなので、今は、物価高で、何も、ぜいたくできない。 • 最低の生活程度で暮していると思う。 • 夫。条件がよくない。休日は日曜のみ。月～土祝日も仕事。有給なし。早朝6:00 出勤、帰宅 19:00→年

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
			収低い - 同居の親の年金は早く受給したため、国民年金、2カ月で65,000円位。 - 物価の上昇。買い控え。節約している。
3 自分の支出額	- 奨学金返済があり、老後に向けての資産形成ができず、とても不安。 - 支出の増加。 - 固定費が多い。 - 酒・タバコ・女・ギャンブル0。	- 物価が高くて支出額が多くなっているため。 - 物価高を感じる(出費が増えた)。 - 自分で自由に使えるお金がある。 1回/4wの高額医療。 - ほとんどがプライベートで使えない。 - 子ども、孫に少しは援助している。 - 趣味、娯楽にもう少し使いたい。	
4 家族の支出額	- 学費が高い。ゴミ袋が高い！！ - 特に贅沢するタイプではないので普通に暮らせている。	- 子どもの一人暮らしの準備にお金がかかった。車の費用、税金や車検代、車の保険など払ってあげている。 - 妻の病院代で大変です。年金2人とも。 - 以入の額で支出が収まっている。	- 今は2人暮らしでなんとかなっているが、子どもが生まれたら今の収入では足りなくなるんじゃないかという不安もある。 - 子育てにかかる支出、その他の支出がどんどん増加している。 - 生活は苦しくないが経験格差という言葉を知ってから無理しているところがある。 - ほとんどが食・衣の支出であるが消費税・物価上昇で目減りしている。 - 一昨年、家のリフォームに貯金を使った。
5 自分の金融資産(預貯金や有価証券等)の額	- 額が少なく将来が不安。 - 持家と畑と、貯えがいくらかある。 - 貯金が多くない為に少し不安。 - 資産なんて無いに等しい。	- 住居を何とかしたいが難しい。(老朽化) - 物価が高くて支出が増えて預金に中々まわせないこと。 - 貯金が無い。 - 貯蓄から投資へと言うが、そもそも貯蓄にお金を回す余裕がない状況で、投資の税制を優遇されても意味が全くない。 - 今後の老後に必要な額は確保できている。 - 引かれる分が高くて、貯蓄が出来ない。	
6 家族の金融資産(預貯金や有価証券等)の額			預貯金運用に回す資産がない。
7 自分の借金の額	- 今の所、借金が無いのが、救い。 - 今は借金がない(完済)。	- 借金をしないと毎月の生活費が足りない。 - 物価高騰で出費ばかりかさみ、どうしようもないと借金をしてしまい額も増えている。 - 大学の奨学金や車のローンなど。	500万円。 - 長女の通信高校の学費ローン(高12月～通学、初年度約60万、2～3年目計200万)高すぎるが、同年と同時期卒業できるようにした。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
8 家族の借金の額	- 住宅ローンがあるので。 - 父の借金は父が死亡したときに返済になるらしいが年金を自分の為にだけ使い返済しない。	- 住宅ローンの残高 - 家族に借金があり、借金を返済(月々)でお金が残どなくなる。 - 家のローン、車のローンがない。 - 家のローンがまだ残っている。	- 教育ローンやその他家族の借金もあり、支払いがしばらく続くため。 - 夫の車ローン(6年で4-5回車換えている。ポータースは家と車ローンを組む予定でなくなる)。 - 近々住宅ローンを組む予定で、不安はある。
9 生活の程度	- 旅行などに行かないと、余裕がある。という程度。 - 不自由は感じない。	- 年金生活(夫婦で)ですが、並の生活を送っていると思います。 - 生活水準を下げる…。 - ものが高いのに収入が変わらない。 - 働いていた時よりも多分に生活の質が落ちていく。 - 今のところ生活には困らないが、将来のインフレ等の程度により不安はある。 - 物価高騰による先行きの不安。 - 旅行する余裕がない。 - 地域周辺だけを見ると中程度の生活ではないかと思っている。 - その為、普通の生活が中々出来ない。	- 物価上昇により給与が上がっても、実感があまり湧かない。 - 年齢と共に収入が減るが、物価が上がりがり今まで通りの生活が出来なくなっている。 - 水道光熱費・物価高で、以前のような生活ができない。 - 贅沢をしない。 - 給料が上がらないのに、物価の上昇が止まらない。 - 地方は車がないと何もできない。スーパーも高い。生活費で楽しいことは想像するのみ - ふつうかな？ - 物価が高く家から出るのを少なめにしています。 - 年々生活の程度が下がっている。マクロスライドはナンセンスだと思う。
10 その他()	生活保護を受けるようになった。	- 子育てにかかる費用の不安。父母の介護費の不安。今の収入で足りるのか？ - ガソリンが高すぎる。岩手には車が必要。自動車に関わる税の見直し国に訴えて欲しい。大学に2人行ったら大変。このままでは苦しい生活になってしまう。補助頂ければ助かります。 - 税金が高い。	- 年金で間に合う生活をしている。 今、子どもが40位ですが、その子どもが65位になったらきちんと年金がもらえるのか心配です。毎月きちんと年金は払っています。 - 小さな事、¥、借入金もなしです。 - 家を建てたいが…。
複数選択等(※)	(1.2) 自分の年金と妻の収入。 (1.2) 借金は、車の150万だけであり、今のところ、借金せずに倅を卒業させられる見込み(大学)。 (1.2) 毎日のように諸物価が上がっている。特に生活インフラである電気・ガス・灯油代に加え、食料品の値上がりなど、可処分所得が減る一方で暮らし直撃に。 (1.2) 高くはないが、安定していて不安はない。	(1.2) 自分と夫が正社員で働いており、安定した収入がある。 (1.2) 60歳を過ぎてからの再就職の為、給料が少ない。一般的に60歳以上の求人に対する。 (1.2) 自分も夫も年金だけの生活になり、生活が、少し苦しいと思う。 (1.2) 今は2人の年金で大丈夫です。 (1.2) 将来への不安。現在の物価高でも支出増。	(1.2) 年金が低く、文化的な生活ができていない。 (1.3) 自身は年金収入しかないのに、通院が多く、ほとんどが治療費になってしまふ。 (1.3.7.9) 年金の範囲で生活できている(ぜいたくはできないけれども)。 (1.4) 平均程度と思うが子育て、増税、住宅ローン返済に対応しきれない。 (1.4) 大学生が2人いるので支出額が大きい。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	・ (1.2) 自分の収入は低いのが夫が懸命に働いてくれているので、苦は感じたことがない。 ・ (1.3) 値上げのスピードに質上げが追いついていない。 ・ (1.5) 収入は年金のみなので、どうしても毎月の帳尻が赤になる。死ぬまで貯金がつまらぬ配当。(いつまで生きるのか) 病気になるか予測不能の事が多いため。 ・ (1.9) 収入と支出のバランスがとれているから。 ・ (4.9) お互いの両親が野菜や食材を持ってきてくれたり、子ども達に良くしてくれているのでとても助かっている。 ・ (5.6) もう夫も私も30を越えたので、そろそろ投資や将来のマネープランをしないと考えている。 ・ (-) とりあえず生活できている。 ・ (-) 小さいからの障害に対する年金がありません。ど全部親が管理しており、すべて必要なものは親が用意してくれます。	・ (1.2) 年金収入と農業収入で生活している。 ・ (1.2) 自分と妻の収入合わせてそう感じる。 ・ (1.2.4) 中の下(自分で思っている)の生活は送れていると思うのであまり不満は感じない。 ・ (1.3) 収入と支出のバランス。 ・ (1.3) 支出が増え、余裕がなくなった。 ・ (1.3.7) 光熱、水道、ガス費が高くなり、その他税金、町内会費と自分の入院医療費がかさみ年金ではまかないきれず、借金せざるを得なくなっている。毎月ループで借金が増える。 ・ (1.4) 子育て世帯(1人親)で最低賃金は、少なすぎます。最低賃金1,000円以上にして欲しいです。 ・ (1.10) 諸物価高騰、入院費(母)、治療費(小生)が収入を上回る時もある。 ・ (2.4.9) 家族の収入・支出、生活の程度より特に問題なく生活が行えている。 ・ (2.9) 生活に困らないでいる。 ・ (3.4) 支出額。 ・ (5.6) なかなか貯金ができなかった。 ・ (-) 子の今後の進学にかかる費用が気になってしまっている。 ・ (-) 年金長くかかってなかったたので金額的に残念。どこにも足りません。	パートの収入では、足りないです。 ・ (1.5) 自分が、これから先、どれ位元気でいられるかわからないので。 ・ (3.4) 食費圧迫、借金、部活費用…ムダ使いせず、やりくりしていかなければならない。 ・ (-) 妻と二人もった年金内で生活し借金もなければ資産もない、生活の程度については、上を向けばキリがないと感じている。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(11) 歴史・文化への誇り

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	- 大学も就職もわざわざ県外に行こうと思わなかった。特に転居したい理由がない。 - 地域の人が郷土に誇りを持っている。 - 長年生活していて岩手が好き。 - 年齢的なものがある。 - 御所野遺跡。	- 盛岡に住んで50年以上になりますが、住みやすく大好きな街だと思います。 - この地に生まれ、ずっとここで生活してきている。 - 出生が岩手県以外。 - 住み慣れた。住みやすい。 - 平泉、中尊寺、毛越寺が隣町にある事。 - 橋野(釜石)に世界遺産があることを誇りに思うし、自然も豊かな所なので、年に2回(春と秋)には家族で行っている。	6年、あまり関わる機会がなかった。 - 平泉、中尊寺などがある。大谷さんの活躍。
2 世界遺産があること			
3 地域のお祭り・伝統芸能	- チャグチャグ馬つこは良いお祭りだと思う。 - さんさ踊り。 春、夏のお祭りがあること。 - お祭りに参加しており、友達にもあえる。しかし、運営側なのでつらいです。 - 何年もさんの活動を頑張っていると感じるから。 - 江刺甚句祭りや郷土芸能、百鹿大群舞がある。 - お祭りや、人が集まるイベントは良いと思う。 - 祭りの参加は一年で一番盛り上がる時。 - 花火をもう少し、派手にして欲しい。大曲までとは言わないが。地域の祭りが少ない。 - 釜石まつりの虎舞い。(トラ退治の)ストーリーがあって、色々とおもしろいです。	- 岩手の伝統芸能はすばらしいと思う。長く続くようにしてほしい。 - さんさ踊りや山車を見ると地域の歴史、文化を感じる。 - 地域のお祭り等は盛大である。 - 地域のしし踊り。 - 地元の伝統芸能は子ども達に受けついでもらいたい。練習があれば参加している。これからも続けたい。 - 地域が一带となって盛り上がる時期はうれしさと楽しさがある。 - 伝統芸能後継者が皆無、年々規模が縮小している。 - 自分はあまり参加しないが困りは良くなっていくと思う。 - 神明社まつり、獅子踊り、セツ物踊り。 - 季節ごとに、祭りがあるので風情があるなと思う。 - お祭りが続いている。 - 鹿踊り。 - 県の遺産に最近登録された。 - 地域の伝統芸能は小学校でも継承されており、地域のお祭りでも保存活動されている事はすばらしいと思う。 - お祭りは楽しみにしている人が多い。	- 以前出来ていたお祭り、伝統芸能。人口減少により、若い人達や子ども達が少なく出来ない。 - コロナ禍に伴い、伝承をする・発表する機会が激減したことと市民の外出機会を自粛する傾向が続く5類になったとは言え、感染は続き安全確保が難しく回復し難しい状況。 - 少子化やコロナでお祭りをやらなくなった。 - 興味はあるが、関わり方が不明、参加(八幡宮のお祭り)してみたかったが費用がかかるなどで断念。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		「江刺甚句まつり」の提唱者は自分であるとの誇りもある。今は停止しているが、越路スキー場のペアリフトも自分が担当して作ったものであり、当時の賑わいも考えると残念でもある。	
4 地域の文化遺産・街並み	- 展勝地の桜は、北上の宝。 - 景観を配慮したお店が、岩手らしくて良い。 - 近くに文化遺産がある。 - 行政の「文化遺産保存活動」は適切に行われていると理解。 - 同上、岩手山、北上川等自然。	- 盛岡の街並みが好き。 - 清潔である。 - 街並みは整備されているとは思えない。 - 九戸政実、九戸城址。 - 重要文化財があるので、すばらしいと思う。 - 天台寺、漆文化。 - 豊田の館など。	街並みについての評価を受けたこと。
5 郷土の歴史的偉人	- 自分は近くの山田町出身で内閣総理大臣、鈴木さんも大したものだと思います？ - 九戸政実。 - 後藤新平、斎藤實、高野長英の三偉人。 - 大谷翔平さんの活躍で誇らしいと思う。 - 偉人が出ている。	- 岩手には偉人がたくさんいて、全国にも誇れると思う。 - 宮沢賢治が有名であることが嬉しい。 - 新渡戸稲造（共存共栄を説く）。 - 百姓一揆の偉人三浦命助の碑がある（町内）。 - 現在住んでいる久慈市の偉人が、出身地の横手市とつながっていることに感動した。 - 先代伊勢の海、相模。作曲家安藤陸男。 - 街道の開拓事業。 - 岩手の偉人は多いので観光に組み込めるようにしたらいと思う。 - 大槻三兄弟が駅前に銅像がある。 - 田中館愛橘博士。 - 新渡戸稲造、後藤新平、他。 - 後藤新平。	偉人の輩出も多いと思います。
6 地域の文化・芸術分野の著名人		- 歴史、文化に加えて、近年岩手県人のスポーツ界での大活躍。 - 宮沢賢治、花巻市山口地域の人となった高橋高太郎。 - 大谷翔平、佐々木朗希、小林陵侑、他。	
7 地域の食文化	三陸の食文化が好き。	- 季節の行事の時に食べるおせちや、お煮しめは大好きだし子どもにも食べさせていきたい。また、がんづきやゆべしなどもなくずに大事にしたい。 - 地元以外にも食べたいことのない地域の郷土料理が	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		あって、いつか食べてみたいと思う。 - 地域食の料理などには良く参加する。 - 海・山・田畑のものがたくさんある。 - 岩手の食文化は奥深いものがありどんどん発掘して宣伝してほしい。 - 餅文化が郷土料理として名物とされている。	
8 地域での文化継承・保存活動	- しし踊りがとても良い。 - 人が少なくなると継承が大変そう。	- 地元の田植え踊りを小学生から教わっている。 - 保存活動に協力者がいない。 - 文化継承に積極的だと感じる。 - 小学生からずつと甚句を踊って育っている。 - 児童・生徒に教えられている。	
9 地域の歴史についての教育機会		- 教育を受ける機会があまり感じられない。 - 昨年「ゆうゆう大学」で地域の歴史についての講義があり、改めて地域のすばらしさを感じました。大学の先生（同じ町内会）から、地域の防災について学びました。 - 郷土の歴史講座を受講してみると、無色だった過去が色付いて見えてきて、親しみを感じやや誇りたくなる。 - 保育園や学校では、四季折々の行事で歴史・文化を生かした体験を取り入れられており、これからも続けてほしい。	学ぶ機会がない。自分から進んで学ぶ気が今はない。
10 地域に対する周囲の評判		- あまり、人に進める誇らしい物がないかも…。 - 他県の人から自分の住んでいる町の名前が知られている。 - 秋祭りなどへの関心。 - 津波のイメージが強い場所だけど、負けずに立ち上がったポジティブなイメージが強く残るようにしたいと思う。	
11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない		- 見当たらないです。 - 世界遺産はあるが魅力的でない。 - 近所に無い。	龍泉洞以外誇りに感じるものが無い。
12 地域の歴史や文化に関心がない	関心がない為。		- 地域の歴史や文化に関心がない。 - もっと知ったほうがよいと思うが何もできていない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
13 その他()	子どもへ教える。	- 先人の功績に対し、尊敬の念は持っていますが、それを誇りとは、感じられない。 - 仕事が先だっているのでもれで考えられない。 - 上述の通り。その事によって、盛岡市や岩手県の認知が、世界的(グローバル)に向上した事。 - 夏の夜、蛍が飛びかう！！	- 伝統芸能をしているが、高齢化が進んでいて、問題がある。 - 歴史があって今があるのはわかるが、これからどう生きていくのが大事だと思う。助け合い支え合う。今が大事。 - 地域のスポーツチームが昔のように盛り上ってほしい。
複数選択等(※)	(1.2) 生まれてからずっとこの地で過ごしており、お祭りとか見に行くのが、楽しみです。 (1.2.3.8) 人口減少の中、それぞれの取組をもって頑張っている姿に感銘を受ける。 (3.8) ナニヤトラ保存会が東京で流行し始めているらしい。取材がきたり、CD作ってもらったりした。 (5.6) 石川啄木。	(3.7) 無くしたくないと思う伝統芸能や、郷土料理がある。 (3.8) 郷土芸能の保存会があり、活動している。 (5.6) 大谷選手や三偉人などあるが地域を通しての文化という感じはしない。 (-) 地域で田植踊りの伝承している。 (-) 浄土ヶ浜。	(1.3) 76 年暮らしているが、現在は若者が少なくお祭りの伝統芸能が出来なくなった。 (1.4) 震災後に移住し、新しい土地に家を建てた。歴史的な背景もわからなければ、地元のイベントには参加しにくい雰囲気がある(仲間内で盛り上がりつつも、やっている側の責任も大きいと思う。 (5.6) 知る機会がない。 (-) あまり実感できない。 (-) 柔道の町というのが普及しているのか。スキー場があり温水プールがあるのに滑れない泳げない子どもが多い。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(12) 自然のゆたかさ

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 緑の量(豊か・少ない)	・ 近くに緑豊かな公園がある。 ・ 自然の豊かさに恵まれすぎていて山しかなく何も無い。! ・ 豊沢川の流域の樹木林。 ・ どちらかと、云えば、人口が少ないので、緑が多過ぎるように思える。 ・ 緑には囲まれている。 ・ 緑が多く自然豊かでありますが草刈り(夫)が大変そうです ・ 田舎なので海、山自然豊ですが、盛岡に行く交通の便が悪いです。電車で行くので、約2時間 30 分。風が強いと電車はストップするので ・ 緑の量は圧倒的に多いが、人工物が少なすぎることの裏返し。 ・ 緑豊かである。 ・ 豊か。 ・ 緑が多いので。	横ばい ・ 街の緑の量が多いと思う。 ・ 岩手は自然、みどり豊かです。草取り大変です。 ・ 緑は多いが、里山の管理はあまりされていない。 ・ 自然は豊かだと思えます。 ・ 中山間活動で農地保全。 ・ 林が多い。 ・ 緑の量が多い。(遠野市) ・ 栗駒山が四季折々の景色がある。 ・ 山も荒れ放題、アレチウリばかり。 ・ 緑の量は多い。しかし、体験する機会や場所が無い。 ・ 山に囲まれている為。 ・ 家の回りが緑が多い。 ・ 住宅の庭に取り囲むように、緑豊かで自然の恵みがある。梅・柿・栗・他。 ・ 緑に囲まれて、多い(小さな市ですから)(車で5～10 分くらい走るとすぐ緑いっぱいです。) ・ 山林面積が96%と緑が豊かである。 ・ 良い所だと思う。 ・ 岩手山を見ると自然に恵まれていると思う。 ・ 緑が多く、キレイ。 ・ 豊か。 ・ 岩手の良い所だと思います。 ・ 自宅から見ると四季折々の風景。 ・ 人口が少ないので開発が少なく自然を壊されない。 ・ 緑が豊か。 ・ 緑豊か。	
2 空気の状態(綺麗・汚い)	・ 埼玉県在住の子どもたちは、空気が「おいしい!」と言う。 ・ 空気がきれい。 ・ きれい。	・ 空気がよいこと。 ・ プロイラー。 ・ 空気がきれい。 ・ 工業も少ないので空気は澄んでいる。 ・ 空気がきれい。 ・ 新日鉄で製鉄している頃は、たくさんの煙突が有っ	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		て曇っていました。 • 酸素一番宣言しており、非常に空気はおいしく感じる。 • 空気もおいしい。 • 空気もキレイ。 • 岩手の良い所だと思います。	
3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	• 水がきれい。	• 川が多いこと。 • いつも川の付近には野鳥がいて自然を感じられる。 • 良い所と、汚い所両方ある。整備の必要あり。 • 水本当にきれいです。 • 自宅が地下水なので美味しい。 • 桜の名勝があり、川が流れている事。 • 近所の河川の状態が悪くなった。 • きれい。 • 緑も豊かで空気もきれいだが、この土地に引っ越して、大雨のあと、大水が出て朝起きたら、家の前の道路が砂や石ころ、流木でいっぱいで大変驚いた。まさかこんな所だと思わなかった。自然災害が恐いです。 • 環境へ行政がさらに美化に取り組む。 • 水がおいしいこと。 • 工場が臭い。 • 河川の水が綺麗で良い。 • 磐井川の近くに住んでいる自然に恵まれている。 • 自宅は市水道、近くのわき水を愛飲、沢水を外作業用に使用。 • 水道水が飲めるのは良い。	
4 海の状態(綺麗・汚い)	• 震災から 13 年以上経ち海もすっきりきれいになりました。	• 時々海を見たりするが、泳いだり釣りをする事が無いのでその部分が残念に思っています。 • 海の中はきれいだが、海岸にプラスチックが目立つ。 • 現在住んでいるところが、久慈市の海沿いで、気候も穏やかで、住みやすい。 • きれい。 • 海がきれい。 • 近くの海でアサリ採り。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
5 多様な動植物の生息	• 厄介な動物もいる。 • 私の町だけではなく熊の出没恐い。! • 回りにはいろんな植物(花、山菜等)が豊富で多くの方が散策に見えます。	横ばい • 今は割ときれいかな。 • 動植物と、日常、触れ合えるところが良い。 • 野生動物を自宅周辺で見かける。 • 動物被害の増加。 • 周りは自然そのものである。 • 動物が増えている。見かける事が多い。 • 住宅地の脇に牧草地があり、夜中にシカの群れが現れる。野生のリスなど。 • とにかく野生動物がきちんと生きられる野山にしてください。太陽光発電はただの自然破壊です。ILCなんてやめてください。大反対。 • 動物は最近近すぎる(カモシカも増えずぎ)。 • 沼もあり多様な動植物がいる。 • 散歩していると(朝)子キツネが横切り。シカも市内を散歩(まざれ込み)する。 • 岩手の良い所だと思います。	
6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	• 公園が多く、緑も多い。	• 盛岡城址公園や木伏緑地など自然が身近にある。 • 自分の住む地域はそうだと思う。 • 歩ける範囲に公園が沢山あり、嬉しい。 • 近くに公園が沢山あり公園周りの緑も豊か。 • 運動公園でジョギング。 • 海浜公園が大好き。 • 公園内は草地あり、水辺の環境も整っている。 • 公園緑地が多いと思う。	• 自然豊かではあるが整備されておらず、子どもたちと有意義に自然に親しめる場所が少ない。
7 自然(山・海など)と触れ合う機会	• 四季のうつろいがはつきりと感じられてよい。 • 岩手山、姫神山等県民として誇り。 • 目の前は、全て自然に囲まれていて気持ちいいです。	• 近くに自然があり、すぐに行ける環境であるため。 • 山もあり、海もあり、岩手は自然豊かで好きです。 • 春は山菜、夏は海、秋はキノコ採りを楽しんでいる • 太平洋、広田湾がきれいに見える。 • 趣味で色などところに行っています。どこに行ってもちゃんと整備している。 • 自然に恵まれていて子ども達の教育をやっているから。 • 登山や山菜・きのこ採りに行くのでよくある。 • 若い時、あたり前の風景も、一度外へ出て世の中を広く見られるようになって、地元に戻って、どれ程良	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		かったのか気付いた。 ・ 川がきれい。めぐまれている釣り人が多い。 ・ 山も海も近くにあるので触れ合う機会が多い。 ・ ツアーなど豊富。 ・ 興味はあるが、何かやれることはあるのだろうか…。	
8 地域での自然保護活動			
9 自然に関心がない			
10 その他()	・ 温暖化を除いて。		・ クマが街にでるし、ソーラーパネルだらけで豊かではないよね。 ・ クマやイノシシに荒らされている場所が多く、安心できない。
複数選択等(※)	・ (1.2.3) 環境が良く、とつても住みごころが良い地域だと思っています。 ・ (1.2.3) 自宅周辺は山、川があり、水もおいしい。野菜も米もおいしく育つ。 ・ (1.2.3.4) 田舎なので豊かすぎてクマやシカが出ます。 ・ (1.2.4.7) 海や、山に、近い所に住んでいる。 ・ (1.2.3.4.6.7.8) 田舎集落ゆえに自然がいっぱい。“日向ぼっこ”しながら、生涯活動している。	・ (1.2.5.7) 緑が多く、海もきれいだと思う。 ・ (1.2.5.7) 自然の中で子育てできるのは、安全、危険も教える事ができる。自然災害時、対応できる。 ・ (1.3) 緑は多く水も空気がきれい。 ・ (1.4.7) 田舎なので自然がたくさんある。 ・ (1.5.7) 田舎の良いところ取りー！！ ・ (1.7) 海にも山にも近く、自然の豊かさには望まれている。 ・ (1.7.3) 緑が豊かで鳥の鳴き声なども聞こえ自然に触れ合う機会が多い。 ・ (3.7) 街中に自然があるところ。 ・ (一) 自然が豊かで水がきれい。 ・ (一) 緑の量、空気・海の状態に関してはやや感じますが、多様な動物の出現(シカ、カモシカなど)で、畑などの作物が荒らされ困っている。 ・ (一) 常に自然の豊かさを感じ生活出来る。 ・ (一) 今後は、空き家や、空き地の管理が課題になると思う。	・ (1.2) 豊かすぎて、花粉症で困っている。 ・ (1.2.5) すべて田舎に由来した事で、ここにいれば自然に出て来る。 ・ (一) 街路樹を伐採しているけれども、安全のために定期的に手入れをして、残してほしい。日よけにもなるし、風よけにもなる。●●の町は街路樹で守られるため。 ・ (一) 山や川は近いが、放棄地はジャングルになっている。豊かではあるが不安でもある。

※ 複数選択等の(一)は、要因の番号の記載が無かったもの

<属性別>

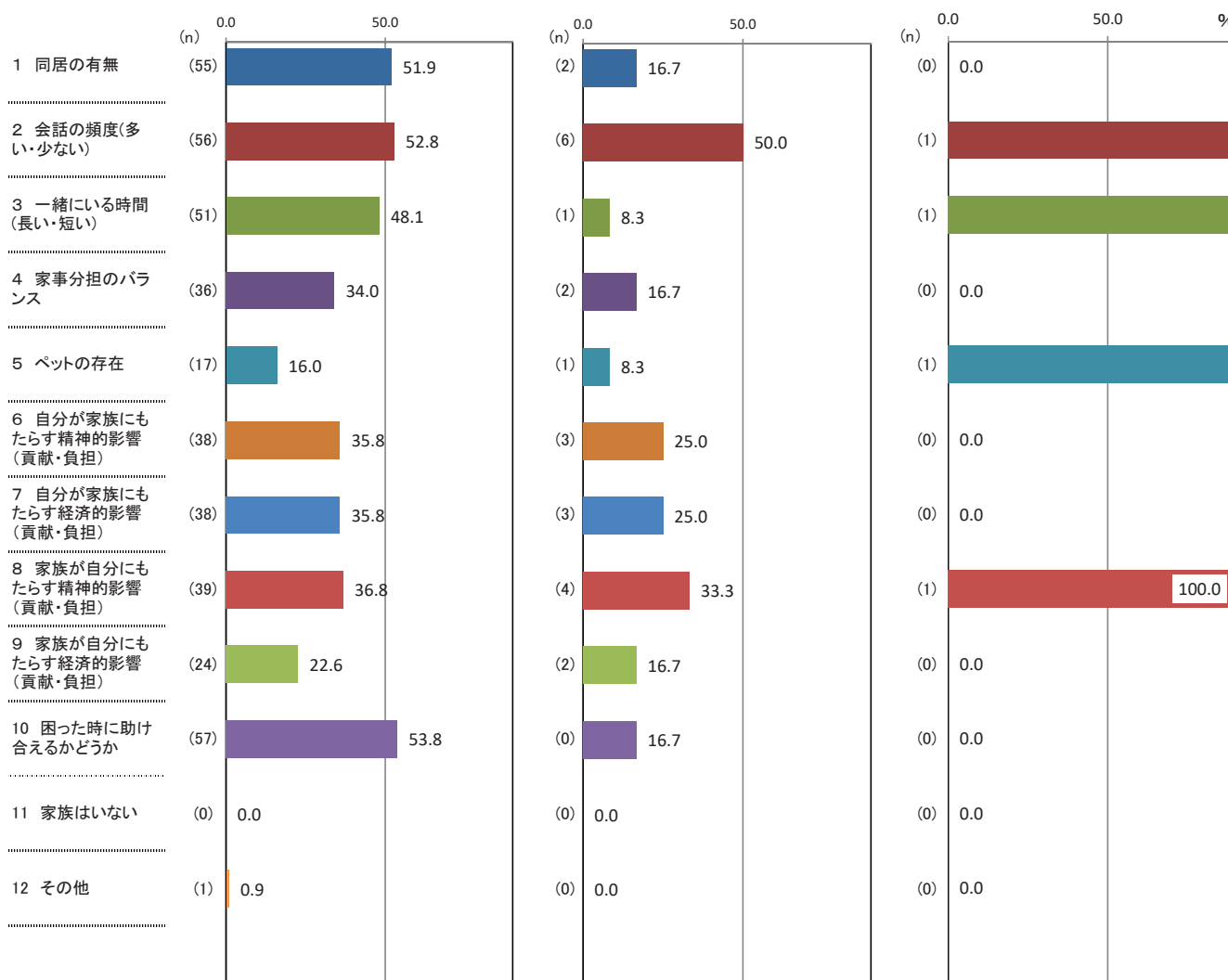
一貫して高値で推移している属性

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」<夫婦のみ>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (412) 106 人	②「どちらともいえない」の回答 (26) 12 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (4) 1 人
1	10 困った時に助け合えるかどうか (57)	2 会話の頻度(多い・少ない) (6)	2 会話の頻度(多い・少ない) (1)
2	2 会話の頻度(多い・少ない) (56)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (1)
3	1 同居の有無 (55)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (3) 7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (3)	5 ペットの存在 (1) 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由(問1-1(3))「①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<夫婦のみ>

＜夫婦のみ＞													
区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少な い)	3 一緒にい る時間(長い 短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」													
		51.9	52.8	48.1	34.0	16.0	35.8	35.8	36.8	22.6	53.8	0.0	0.9
②「どちらともいえない」													
		16.7	50.0	8.3	16.7	8.3	25.0	25.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」													
		0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

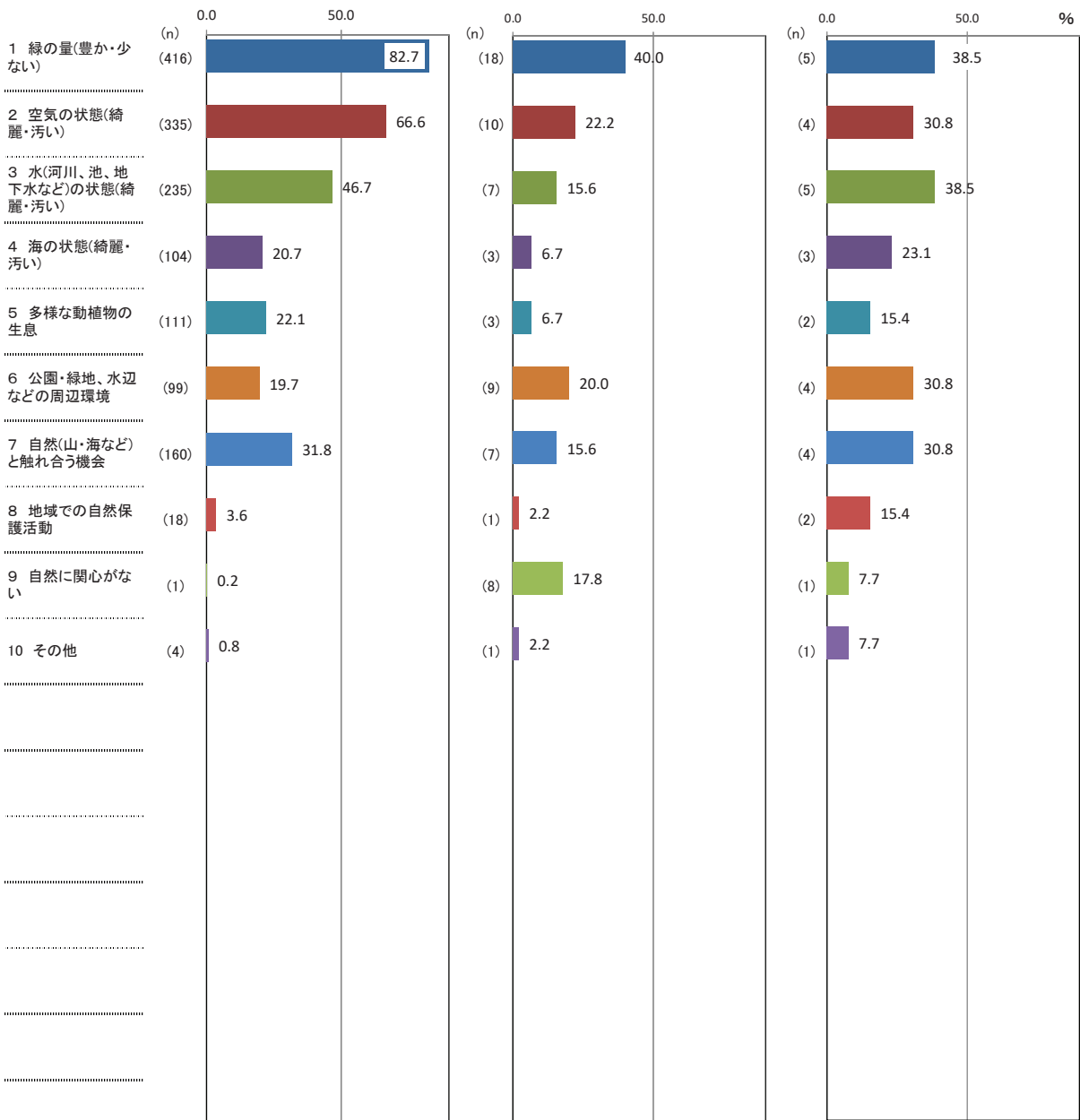
区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=106人)	412	55	56	51	36	17	38	38	39	24	57	0	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=12人)	26	2	6	1	2	1	3	3	4	2	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=1人)	4	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「自然のゆたかさ」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,483) 503 人	②「どちらともいえない」の回答 (67) 45 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (31) 13 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (416)	1 緑の量(豊か・少ない) (18)	1 緑の量(豊か・少ない) (5)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (335)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (10)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)) (5)
3	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)) (235)	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (9)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (4)
			6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (4)
			7 自然(山・海など)と触れ合う機会 (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12))「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.7	66.6	46.7	20.7	22.1	19.7	31.8	3.6	0.2	0.8
②「どちらともいえない」		40.0	22.2	15.6	6.7	6.7	20.0	15.6	2.2	17.8	2.2
③「あまり感じない・感じない」		38.5	30.8	38.5	23.1	15.4	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=503人)	1,483	416	335	235	104	111	99	160	18	1	4
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=45人)	67	18	10	7	3	3	9	7	1	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=13人)	31	5	4	5	3	2	4	4	2	1	1

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(503名中2名記載)
 ・雪
 ・自然は豊かすぎます。

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(45名中0名記載)

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(13名中0名記載)

＜属性別＞

一貫して低値で推移している属性

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (150) 58 人	②「どちらともいえない」の回答 (55) 25 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (46) 27 人
1	1 自由な時間の確保 (41)	1 自由な時間の確保 (18)	1 自由な時間の確保 (19)
2	11 家族との交流 (32)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (10)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (7)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (18)	12 知人・友人との交流 (5)	12 知人・友人との交流 (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1 (2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<40～49歳>

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など、他 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		70.7	15.5	13.8		17.2	1.7	8.6	19.0	0.0	31.0	55.2	25.9	0.0
②「どちらともいえない」		72.0	4.0	12.0		4.0	8.0	12.0	16.0	4.0	40.0	12.0	20.0	4.0
③「あまり感じない・感じない」		70.4	7.4	0.0		0.0	0.0	14.8	11.1	7.4	25.9	7.4	18.5	3.7

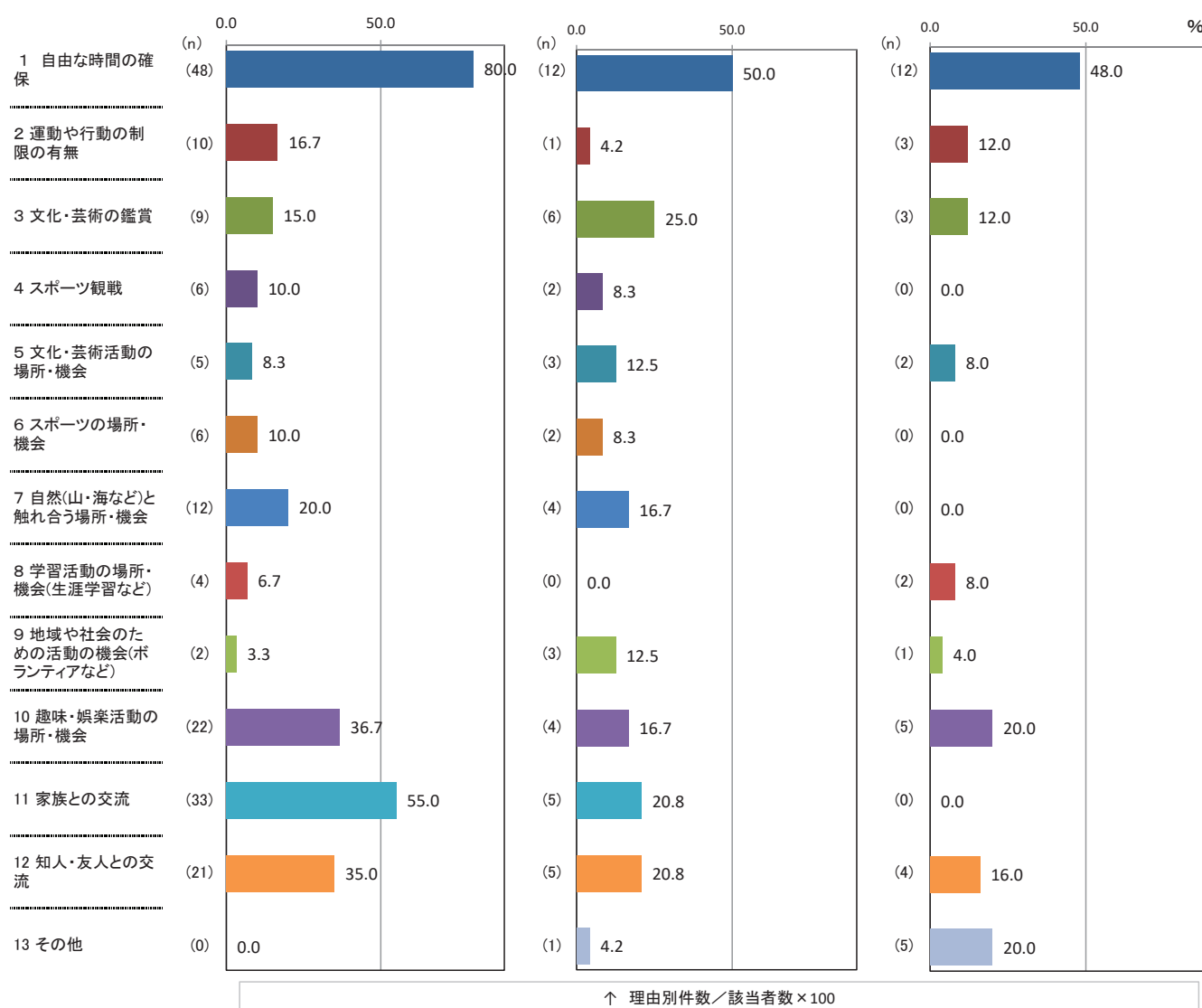
区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など、他 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=58人)	150	41	9	8		10	1	5	11	0	0	18	32	15
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=25人)	55	18	1	3		1	2	3	4	1	3	10	3	5
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=27人)	46	19	2	0		0	0	4	3	2	1	7	2	1

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (178) 60 人	②「どちらともいえない」の回答 (48) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (37) 25 人
1	1 自由な時間の確保 (48)	1 自由な時間の確保 (12)	1 自由な時間の確保 (12)
2	11 家族との交流 (33)	3 文化・芸術の鑑賞 (6)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5) 2位
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (22)	11 家族との交流 (5) 3位 12 知人・友人との交流 (5)	13 その他 (5)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1 (2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<50～59歳>

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海などとは れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		80.0	16.7	15.0			8.3	10.0	20.0	6.7	36.7	55.0	35.0	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	4.2	25.0			12.5	8.3	16.7	0.0	16.7	20.8	20.8	4.2
③「あまり感じない・感じない」		48.0	12.0	12.0			8.0	0.0	0.0	8.0	20.0	0.0	16.0	20.0

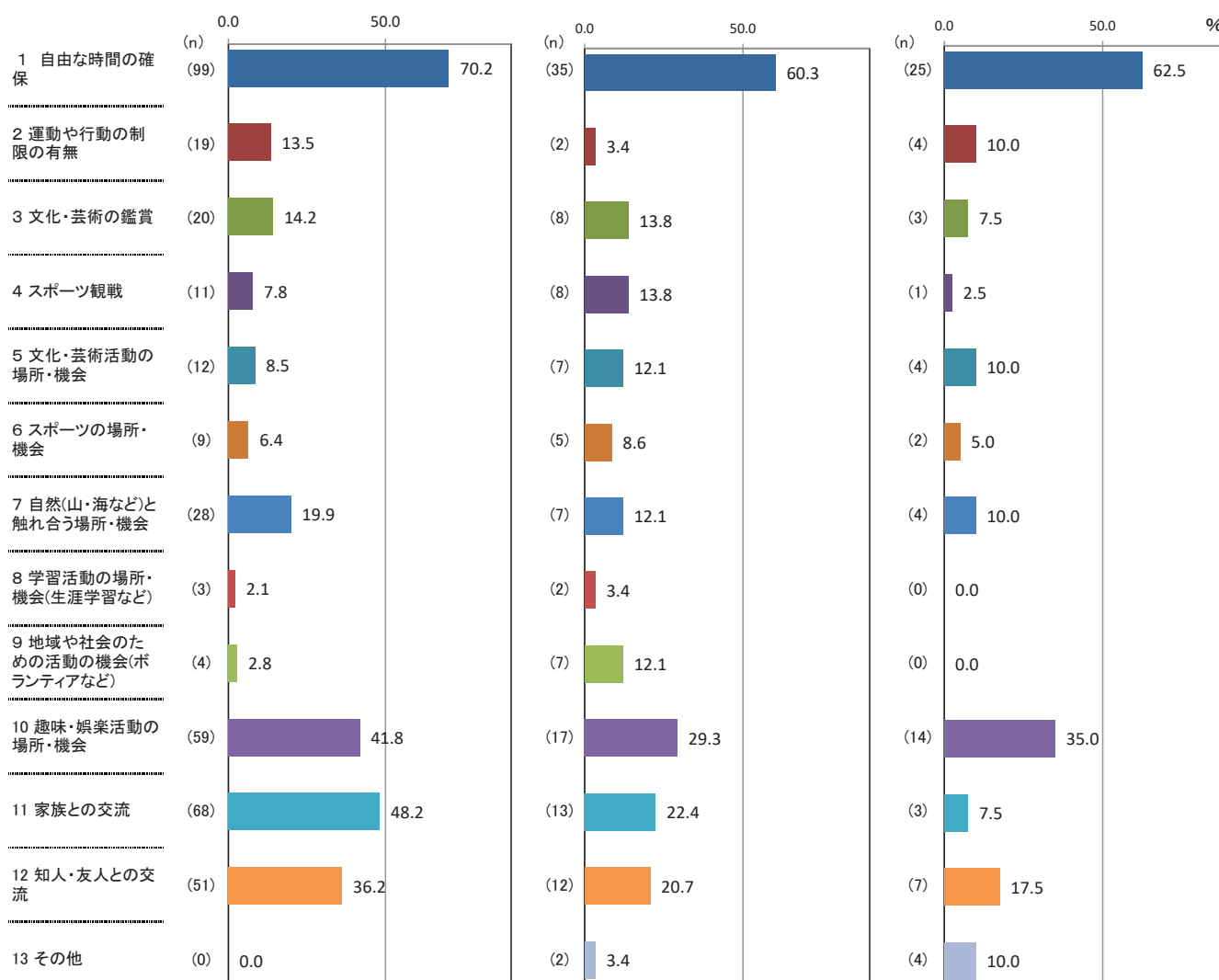
区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海などとは れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=60人)	178	48	10	9		5	6	12	4	2	22	33	21	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=24人)	48	12	1	6		3	2	4	0	3	4	5	5	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=25人)	37	12	3	3		2	0	0	2	1	5	0	4	5

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (383) 141 人	②「どちらともいえない」の回答 (125) 58 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (71) 40 人
1	1 自由な時間の確保 (99)	1 自由な時間の確保 (35)	1 自由な時間の確保 (25)
2	11 家族との交流 (68)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (17)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (14)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (59)	11 家族との交流 (13)	12 知人・友人との交流 (7)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1 (2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜常用雇用者＞

＜常用雇用者＞														
区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		70.2	13.5	14.2	7.8	8.5	6.4	19.9	2.1	2.8	41.8	48.2	36.2	0.0
②「どちらともいえない」		60.3	3.4	13.8	13.8	12.1	8.6	12.1	3.4	12.1	29.3	22.4	20.7	3.4
③「あまり感じない・感じない」		62.5	10.0	7.5	2.5	10.0	5.0	10.0	0.0	0.0	35.0	7.5	17.5	10.0

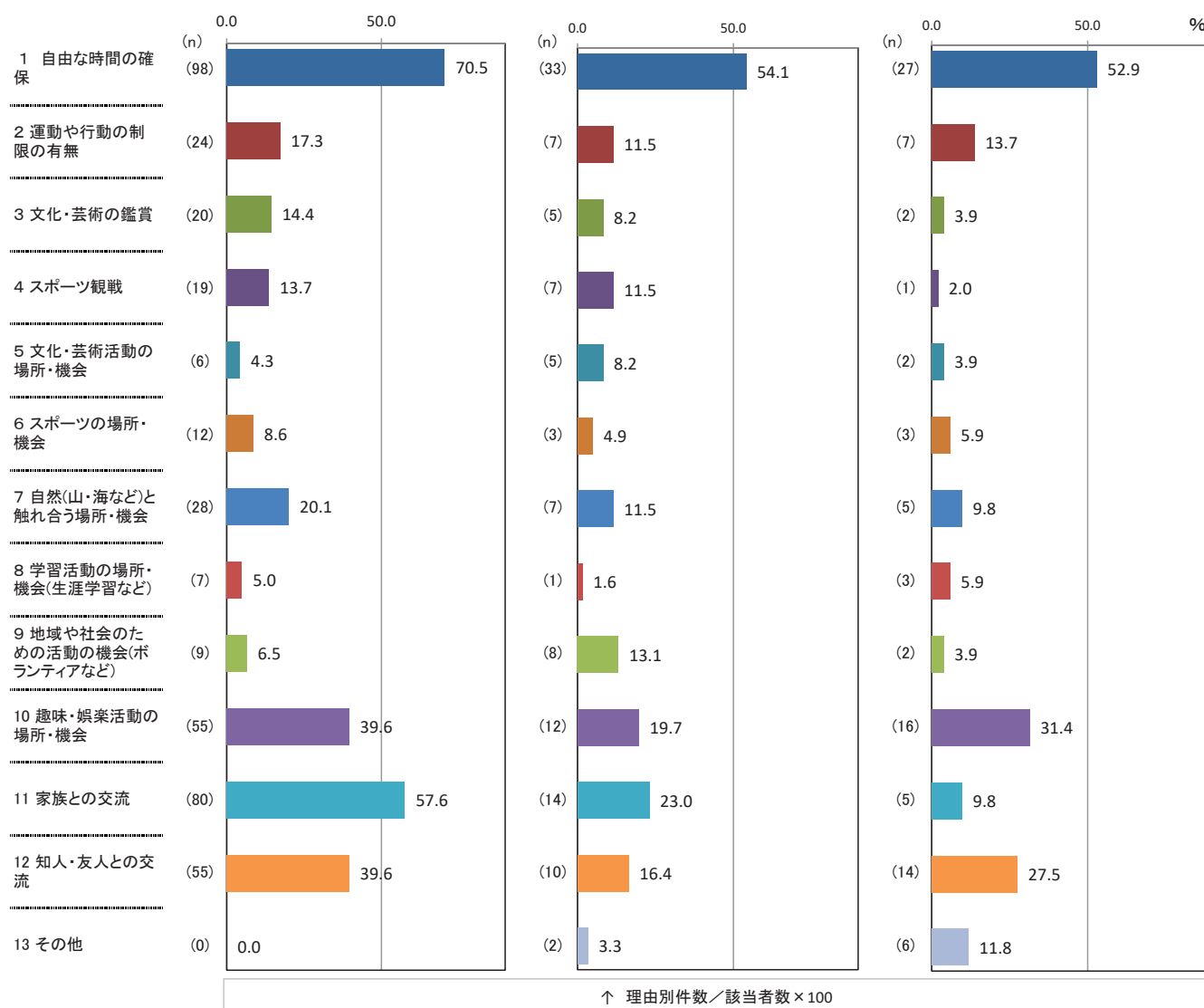
区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=141人)	383	99	19	20	11	12	9	28	3	4	59	68	51	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=58人)	125	35	2	8	8	7	5	7	2	7	17	13	12	2
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=40人)	71	25	4	3	1	4	2	4	0	0	14	3	7	4

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (413) 139 人	②「どちらともいえない」の回答 (114) 61 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (93) 51 人
1	1 自由な時間の確保 (98)	1 自由な時間の確保 (33)	1 自由な時間の確保 (27)
2	11 家族との交流 (80)	11 家族との交流 (14)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (16)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (55)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (12)	12 知人・友人との交流 (14)
	12 知人・友人との交流 (55)		

()内の数字は件数。



【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<2世代世帯>

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など、他 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		70.5	17.3	14.4		4.3	8.6	20.1	5.0	6.5	39.6	57.6	39.6	0.0
②「どちらともいえない」		54.1	11.5	8.2		8.2	4.9	11.5	1.6	13.1	19.7	23.0	16.4	3.3
③「あまり感じない・感じない」		52.9	13.7	3.9		3.9	5.9	9.8	5.9	3.9	31.4	9.8	27.5	11.8

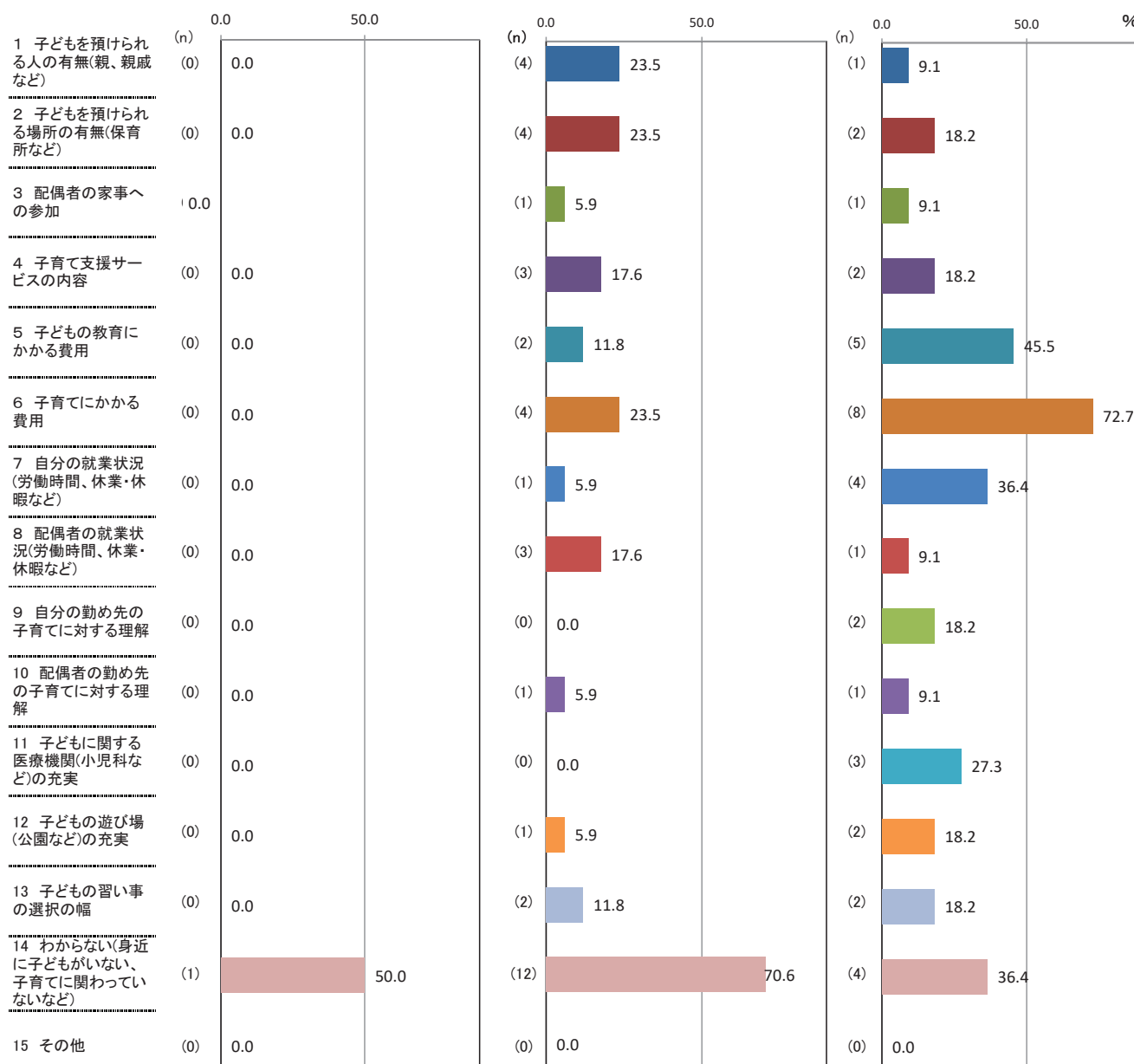
区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など、他 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=139人)	413	98	24	20		6	12	28	7	9	55	80	55	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=61人)	114	33	7	5		5	3	7	1	8	12	14	10	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=51人)	93	27	7	2		1	2	3	3	2	16	5	14	6

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答理由「子育て」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 2 人 (1)	②「どちらともいえない」の回答 17 人 (38)	③「あまり感じない・感じない」の回答 11 人 (38)
1	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (1)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (12)	6 子育てにかかる費用 (8)
2		1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (4)	5 子どもの教育にかかる費用 (5)
3		2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (4)	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (4)
		6 子育てにかかる費用 (4)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(4)「子育て」についての回答理由(問1-1(4))「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもはいない＞

＜子どもはいない＞																
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育園など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科などの充実)	12 子どもの遊び場(公園などの充実)	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わが家の近い身近に子どもがいない、子育てに困っていない(など)	15 その他
①「感じる・やや感じる」																
②「どちらともいえない」																
③「あまり感じない・感じない」																

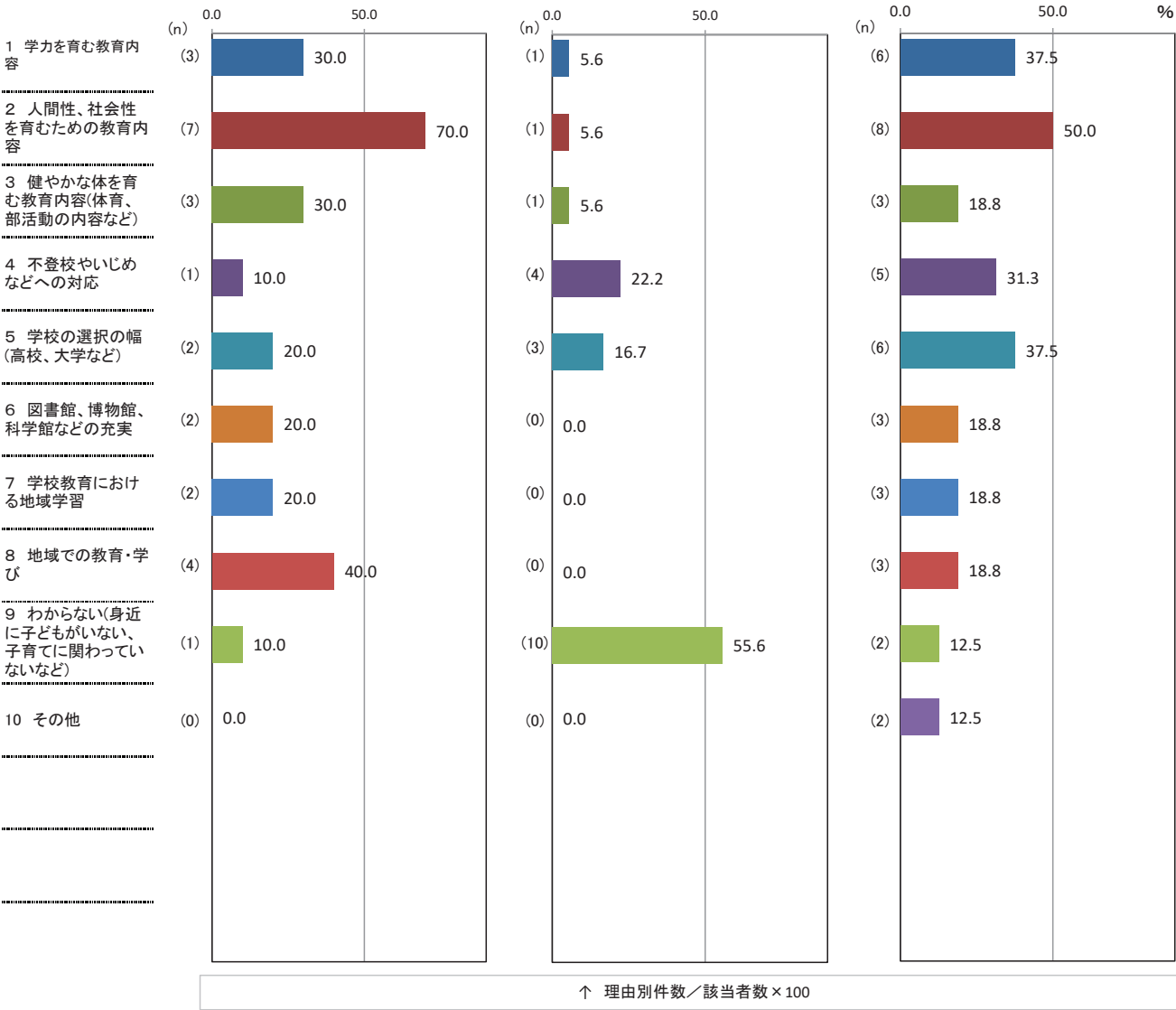
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育園など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの提供内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わが家の近い身近に子どもがいない、子育てに困っていない(など)	15 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝2人)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝17人)	38	4	4	1	3	2	4	1	3	0	1	0	1	2	12	0
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝11人)	38	1	2	1	2	5	8	4	1	2	1	3	2	2	4	0

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 10人 (25)	②「どちらともいえない」の回答 18人 (20)	③「あまり感じない・感じない」の回答 16人 (41)
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (7)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (10)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (8)
2	8 地域での教育・学び (4)	4 不登校やいじめなどへの対応 (4)	1 学力を育む教育内容 (6)
3	1 学力を育む教育内容 (3) 3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3) 3位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (3)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6) 2位

()内の数字は件数。



【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由 (問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<子どもはいない>

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからないうちから子どもがよい、子育てに困っていないなど	10 その他
①「感じる・やや感じる」		30.0	70.0	30.0	10.0	20.0	20.0	20.0	40.0	10.0	0.0
②「どちらともいえない」		5.6	5.6	5.6	22.2	16.7	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		37.5	50.0	18.8	31.3	37.5	18.8	18.8	18.8	12.5	12.5

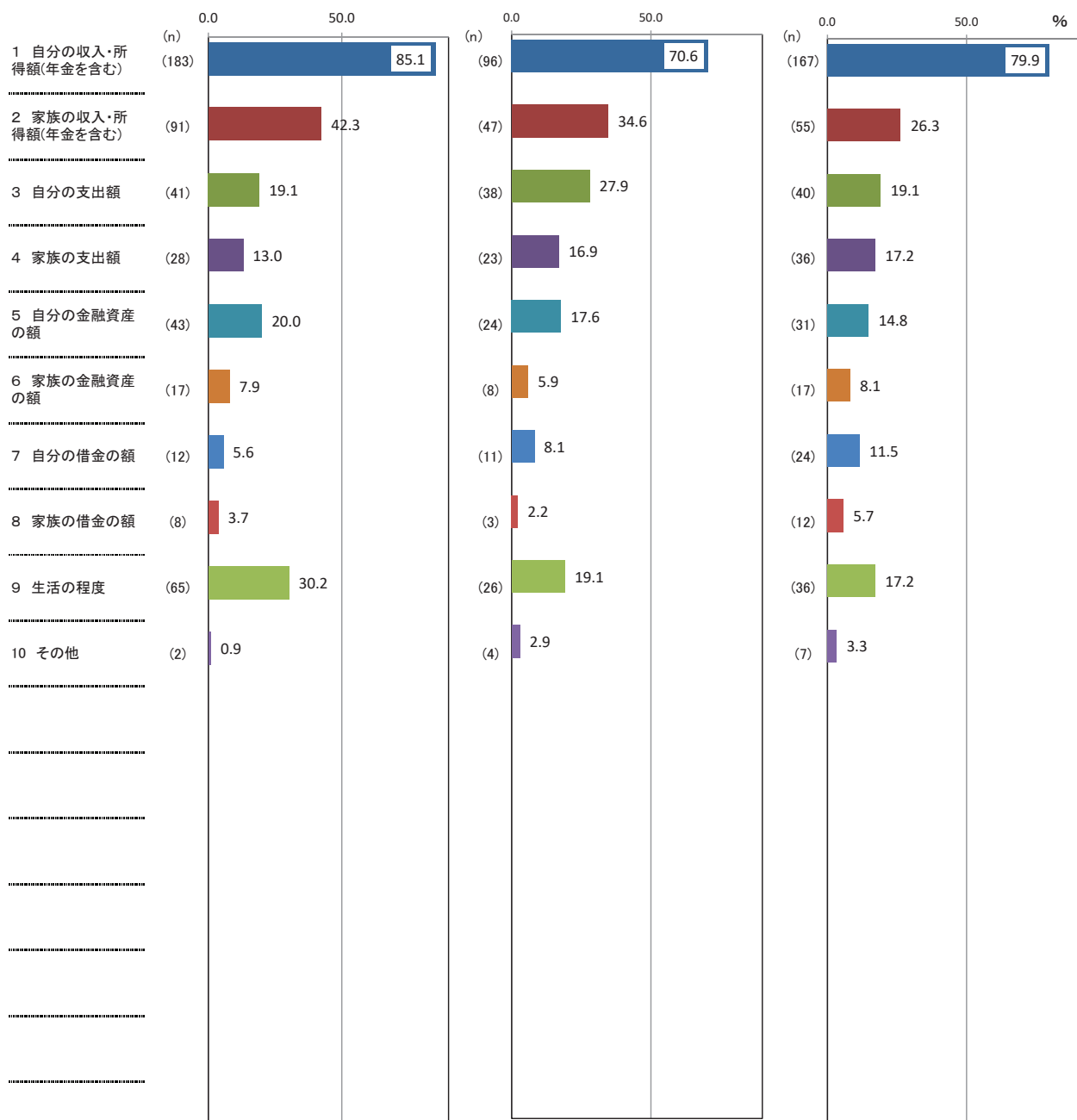
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからないうちから子どもがよい、子育てに困っていないなど	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=10人)	25	3	7	3	1	2	2	2	4	1	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=18人)	20	1	1	1	4	3	0	0	0	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=16人)	41	6	8	3	5	6	3	3	3	2	2

【補足調査】(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 215 人 (490)	②「どちらともいえない」の回答 136 人 (280)	③「あまり感じない・感じない」の回答 209 人 (425)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (183)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (96)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (167)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (91)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (47)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (55)
3	9 生活の程度 (65)	3 自分の支出額 (38)	3 自分の支出額 (40)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数 × 100

【補足調査】

(10)「必要な収入や所得」についての回答理由 (問1-1(10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 自分の収入・所得額(年 金を含む)	2 家族の収入・所得額(年 金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.1	42.3	19.1	13.0	20.0	7.9	5.6	3.7	30.2	0.9
②「どちらともいえない」		70.6	34.6	27.9	16.9	17.6	5.9	8.1	2.2	19.1	2.9
③「あまり感じない・感じない」		79.9	26.3	19.1	17.2	14.8	8.1	11.5	5.7	17.2	3.3

区分	計	1 自分の収入・所得額(年 金を含む)	2 家族の収入・所得額(年 金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=215人)	490	183	91	41	28	43	17	12	8	65	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=136人)	280	96	47	38	23	24	8	11	3	26	4
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=209人)	425	167	55	40	36	31	17	24	12	36	7

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント(215名中1名記載)
・物価高に収入が追いついていない。教育にも金かかり過ぎる。

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント(136名中4名記載)
・高令、母の入院費大。
・転職をして、これから収入が発生するため
・実感がない

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント(209名中4名記載)
・内職のため
・仕事を辞めて収入がなくなったため
・物価高で苦しい

「令和7年県の施策に関する県民意識調査」属性別平均点

○主観的幸福感

あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

 : 上昇、 : 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		3.44	3.48	3.46	3.43	3.48	3.52	3.51	3.49	3.51	3.50	0.08	0.01	**	0.08
性別	男性(1,395)	3.32	3.36	3.36	3.33	3.39	3.42	3.40	3.38	3.41	3.44	0.11	0.01	**	0.05
	女性(1,718)	3.52	3.57	3.54	3.52	3.56	3.60	3.60	3.58	3.60	3.56	0.04	0.26		0.02
	その他(参考)(6)					2.50	3.20	2.67	3.14	4.00	1.80				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.70	3.38	3.36	3.67	4.14	3.67	3.83	3.75	4.16	0.80	0.01	**	0.01
	20～29歳(128)	3.59	3.44	3.48	3.45	3.42	3.43	3.40	3.44	3.63	3.50	0.05	0.71		0.00
	30～39歳(234)	3.39	3.42	3.47	3.37	3.31	3.40	3.56	3.37	3.41	3.43	0.06	0.55		0.00
	40～49歳(384)	3.42	3.44	3.48	3.37	3.46	3.45	3.44	3.52	3.33	3.34	▲ 0.04	0.65		▲ 0.00
	50～59歳(544)	3.36	3.44	3.49	3.33	3.50	3.40	3.47	3.49	3.50	3.46	0.13	0.05		0.02
	60～69歳(708)	3.45	3.53	3.50	3.44	3.47	3.60	3.54	3.47	3.54	3.50	0.06	0.25		0.01
	70歳以上(1,094)	3.47	3.50	3.43	3.53	3.53	3.59	3.56	3.51	3.57	3.58	0.05	0.27		0.02
職業	自営業主(256)	3.48	3.49	3.64	3.41	3.45	3.51	3.63	3.56	3.56	3.63	0.23	0.01	**	0.02
	家族従業員(参考)(87)	3.56	3.65	3.52	3.56	3.77	3.62	3.65	3.65	3.65	3.63	0.06	0.69		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.55	3.69	3.62	3.59	3.54	3.67	3.63	3.54	3.53	3.60	0.01	0.91		0.00
	常用雇用者(870)	3.45	3.47	3.47	3.38	3.47	3.45	3.53	3.50	3.47	3.50	0.12	0.03	**	0.03
	臨時雇用者(363)	3.28	3.37	3.32	3.46	3.48	3.40	3.40	3.46	3.54	3.42	▲ 0.05	0.55		▲ 0.01
	学生＋その他(139)	3.54	3.63	3.74	3.55	3.45	3.80	3.73	3.75	3.68	3.59	0.03	0.79		0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.58	3.59	3.70	3.62	3.59	3.79	3.71	3.69	3.71	3.67	0.05	0.56		0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.86	2.56	3.06	2.64	2.71	2.67	2.42	2.71	2.77	3.08	0.44	0.07		0.01
	60歳以上の無職(661)	3.40	3.40	3.29	3.37	3.44	3.50	3.41	3.35	3.46	3.43	0.06	0.30		0.01
世帯構成	ひとり暮らし(405)	3.18	3.19	3.20	3.08	3.25	3.19	3.22	3.25	3.20	3.23	0.15	0.08		0.02
	夫婦のみ(663)	3.62	3.57	3.60	3.60	3.66	3.75	3.64	3.69	3.78	3.74	0.14	0.01	**	0.03
	2世代世帯(1,233)	3.43	3.51	3.52	3.48	3.48	3.46	3.51	3.46	3.48	3.50	0.03	0.55		0.01
	3世代世帯(405)	3.60	3.62	3.63	3.58	3.57	3.67	3.62	3.60	3.56	3.48	▲ 0.10	0.17		▲ 0.01
	その他(161)	3.12	3.28	3.15	3.19	3.19	3.44	3.42	3.31	3.27	3.27	0.08	0.48		0.00
子の数	1人(355)	3.44	3.54	3.56	3.49	3.55	3.54	3.51	3.52	3.41	3.55	0.05	0.49		0.01
	2人(1,121)	3.52	3.52	3.53	3.56	3.56	3.68	3.63	3.56	3.67	3.56	0.00	0.94		0.00
	3人(587)	3.51	3.59	3.60	3.53	3.58	3.63	3.66	3.70	3.62	3.64	0.11	0.06		0.02
	4人以上(136)	3.41	3.55	3.39	3.37	3.47	3.53	3.58	3.56	3.71	3.60	0.23	0.09		0.01
	子どもはいない(682)	3.23	3.26	3.25	3.12	3.23	3.18	3.25	3.25	3.22	3.30	0.18	0.00	**	0.04
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.58	3.31	3.61	3.37	3.72	3.65	3.81	3.61	3.51	3.71	0.34	0.04	**	0.01
	10～20年未満(109)	3.49	3.58	3.45	3.66	3.48	3.86	3.52	3.81	3.60	3.58	▲ 0.09	0.56		▲ 0.00
	20年以上(2,768)	3.43	3.48	3.47	3.42	3.47	3.50	3.51	3.49	3.51	3.50	0.08	0.01	**	0.07
広域振興圏	県央(920)	3.51	3.56	3.55	3.53	3.52	3.59	3.49	3.55	3.61	3.53	▲ 0.01	0.92		▲ 0.00
	県南(959)	3.40	3.47	3.46	3.31	3.49	3.48	3.56	3.55	3.50	3.50	0.19	0.00	**	0.06
	沿岸(732)	3.46	3.45	3.46	3.52	3.48	3.55	3.48	3.39	3.47	3.51	▲ 0.01	0.84		▲ 0.00
	県北(548)	3.34	3.40	3.31	3.34	3.40	3.41	3.50	3.43	3.42	3.47	0.12	0.07		0.02

() は、R7調査のサンプル数

○分野別実感

①ころよからだが健康だと感じますか

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		2.99	3.03	2.99	3.00	3.15	3.07	3.20	3.18	3.22	3.21	0.20	0.00	**	0.20
性別	男性(1,395)	2.99	3.03	2.97	2.97	3.12	3.03	3.21	3.13	3.19	3.20	0.23	0.00	**	0.10
	女性(1,718)	2.99	3.04	3.00	3.03	3.18	3.11	3.20	3.21	3.24	3.21	0.18	0.00	**	0.10
	その他(参考)(6)					2.00	2.67	3.00	2.86	4.00	1.75				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.16	3.27	3.85	3.67	3.85	3.71	3.89	3.89	4.15	0.30	0.25		0.00
	20～29歳(128)	3.20	3.06	3.12	3.04	3.25	3.01	3.22	3.18	3.44	3.44	0.39	0.01	**	0.02
	30～39歳(234)	3.01	2.88	2.88	2.80	3.12	3.00	3.16	3.14	3.15	3.21	0.41	0.00	**	0.03
	40～49歳(384)	2.92	2.88	2.91	2.85	3.04	2.99	3.09	3.08	3.04	2.96	0.11	0.19		0.01
	50～59歳(544)	2.91	2.96	2.99	2.90	3.06	2.82	3.10	3.12	3.13	3.12	0.22	0.00	**	0.04
	60～69歳(708)	3.03	3.11	3.03	3.05	3.19	3.20	3.21	3.19	3.21	3.22	0.18	0.00	**	0.04
	70歳以上(1,094)	2.98	3.15	2.99	3.13	3.20	3.18	3.29	3.22	3.31	3.27	0.14	0.01	**	0.05
職業	自営業主(256)	3.16	3.27	3.33	3.18	3.26	3.20	3.35	3.23	3.34	3.28	0.10	0.33		0.01
	家族従業員(参考)(87)	3.11	3.21	3.14	3.23	3.43	2.99	3.33	3.34	3.01	3.38	0.15	0.39		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.20	3.15	3.09	3.02	3.19	3.23	3.28	3.25	3.27	3.24	0.22	0.08		0.01
	常用雇用者(870)	3.01	2.96	2.95	2.91	3.10	3.00	3.17	3.16	3.20	3.17	0.26	0.00	**	0.07
	臨時雇用者(363)	2.96	3.01	2.96	3.04	3.22	3.02	3.14	3.11	3.24	3.22	0.17	0.04	**	0.02
	学生＋その他(139)	3.17	3.26	3.26	3.36	3.33	3.43	3.44	3.59	3.56	3.47	0.11	0.46		0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.05	3.12	3.00	3.07	3.13	3.21	3.38	3.22	3.31	3.25	0.18	0.06		0.02
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.31	2.07	2.55	2.32	2.47	2.25	2.48	2.68	2.58	2.87	0.55	0.02	**	0.01
	60歳以上の無職(661)	2.81	2.92	2.86	2.90	3.10	3.07	3.09	3.10	3.13	3.11	0.20	0.00	**	0.04
世帯構成	ひとり暮らし(405)	2.95	2.97	2.95	2.98	3.18	2.99	3.09	3.15	3.10	3.09	0.10	0.26		0.01
	夫婦のみ(663)	3.11	3.13	3.02	3.12	3.24	3.23	3.33	3.24	3.40	3.30	0.18	0.00	**	0.04
	2世代世帯(1,233)	2.94	3.04	3.01	3.00	3.10	3.02	3.17	3.13	3.20	3.20	0.20	0.00	**	0.08
	3世代世帯(405)	3.13	3.04	3.09	3.01	3.22	3.08	3.31	3.19	3.20	3.10	0.10	0.25		0.01
	その他(161)	2.78	2.86	2.79	2.82	2.96	3.15	2.99	3.15	3.08	3.16	0.34	0.00	**	0.02
子の数	1人(355)	2.96	3.00	2.99	2.96	3.13	3.01	3.15	3.23	3.12	3.20	0.25	0.01	**	0.03
	2人(1,121)	3.04	3.05	2.99	3.13	3.21	3.21	3.27	3.15	3.30	3.20	0.06	0.21		0.02
	3人(587)	3.01	3.17	3.11	3.02	3.17	3.12	3.29	3.30	3.29	3.28	0.26	0.00	**	0.05
	4人以上(136)	2.94	3.14	3.06	2.83	3.10	3.02	3.26	3.40	3.32	3.25	0.42	0.00	**	0.02
	子どもはいない(682)	2.93	2.88	2.90	2.82	3.04	2.89	3.06	3.05	3.05	3.10	0.28	0.00	**	0.06
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.18	3.08	3.28	3.10	3.41	3.27	3.58	3.18	3.14	3.36	0.26	0.16		0.01
	10～20年未満(109)	3.19	3.01	3.18	3.40	3.31	3.49	3.42	3.57	3.39	3.42	0.02	0.92		0.00
	20年以上(2,768)	2.97	3.03	2.97	2.98	3.13	3.05	3.18	3.16	3.21	3.18	0.20	0.00	**	0.18
広域振興圏	県央(920)	3.09	3.06	3.08	3.09	3.22	3.14	3.21	3.24	3.24	3.21	0.11	0.05	**	0.03
	県南(959)	2.97	2.98	2.95	2.92	3.12	3.06	3.24	3.16	3.25	3.27	0.34	0.00	**	0.10
	沿岸(732)	2.95	3.02	2.96	3.03	3.15	3.02	3.13	3.16	3.16	3.17	0.14	0.03	**	0.03
	県北(548)	2.93	3.08	2.93	2.96	3.10	3.05	3.21	3.10	3.21	3.13	0.17	0.02	**	0.03

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

②余暇が充実していると感じますか

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		2.90	3.03	2.98	3.05	2.93	2.97	2.96	2.93	3.02	3.00	▲ 0.04	0.15		▲ 0.04
性別	男性(1,395)	2.84	2.96	2.93	3.01	2.90	2.95	2.95	2.91	2.99	2.97	▲ 0.04	0.41		▲ 0.02
	女性(1,718)	2.93	3.08	3.01	3.08	2.96	2.98	2.96	2.95	3.04	3.04	▲ 0.05	0.28		▲ 0.02
	その他(参考)(6)					2.33	3.83	3.00	2.29	3.50	1.40				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.44	3.44	3.42	3.49	3.98	3.46	3.78	3.50	3.84	0.42	0.22		0.00
	20～29歳(128)	3.02	2.99	3.16	3.04	3.22	3.21	3.07	3.09	3.25	3.43	0.39	0.01	**	0.02
	30～39歳(234)	2.73	2.88	2.88	2.71	2.78	2.86	2.87	3.02	2.80	3.01	0.30	0.01	**	0.02
	40～49歳(384)	2.88	2.82	2.88	2.87	2.88	2.83	2.83	2.88	2.88	2.78	▲ 0.10	0.27		▲ 0.01
	50～59歳(544)	2.68	2.85	2.79	2.92	2.78	2.70	2.81	2.80	2.92	2.91	▲ 0.02	0.82		▲ 0.00
	60～69歳(708)	2.92	3.09	2.95	2.99	2.90	2.98	2.93	2.88	3.00	2.97	▲ 0.02	0.69		▲ 0.01
	70歳以上(1,094)	3.07	3.30	3.17	3.36	3.05	3.15	3.10	2.98	3.16	3.08	▲ 0.27	0.00	**	▲ 0.10
職業	自営業主(256)	2.83	3.04	3.12	2.98	2.87	3.03	2.94	2.81	3.08	2.94	▲ 0.04	0.66		▲ 0.00
	家族従業員(参考)(87)	2.77	3.21	2.70	3.00	2.82	2.71	2.99	3.02	2.77	3.01	0.01	0.95		0.00
	会社役員・団体役員(193)	2.85	3.01	3.12	2.88	2.97	3.01	3.05	3.03	2.91	2.94	0.06	0.65		0.00
	常用雇用者(870)	2.82	2.87	2.82	2.89	2.85	2.86	2.84	2.90	2.95	2.91	0.02	0.69		0.01
	臨時雇用者(363)	2.75	2.93	2.89	3.01	2.96	2.87	2.89	2.86	2.98	3.03	0.01	0.89		0.00
	学生＋その他(139)	2.98	3.16	3.40	3.22	3.03	3.38	3.23	3.33	3.22	3.32	0.10	0.48		0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.11	3.18	3.12	3.15	3.05	3.14	3.13	3.05	3.20	3.14	▲ 0.01	0.94		▲ 0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.50	2.63	3.02	3.10	2.70	2.54	2.64	2.72	2.81	3.00	▲ 0.10	0.67		▲ 0.00
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.03	3.20	3.03	3.26	2.97	3.09	3.00	2.89	3.09	3.02	▲ 0.24	0.00	**	▲ 0.05
	ひとり暮らし(405)	2.87	3.04	2.98	3.02	2.98	2.92	2.92	2.97	3.03	2.98	▲ 0.04	0.68		▲ 0.00
	夫婦のみ(663)	3.13	3.20	3.12	3.24	3.08	3.13	3.07	3.00	3.23	3.08	▲ 0.16	0.01	**	▲ 0.03
	2世代世帯(1,233)	2.80	2.98	2.94	2.97	2.84	2.92	2.93	2.90	2.94	2.99	0.01	0.78		0.01
	3世代世帯(405)	2.92	2.99	2.99	3.00	2.99	2.94	2.98	2.89	3.02	2.89	▲ 0.10	0.22		▲ 0.01
子の数	その他(161)	2.71	2.93	2.79	2.96	2.72	2.98	2.77	2.89	2.78	2.97	0.01	0.96		0.00
	1人(355)	2.88	3.05	2.97	3.05	2.87	2.86	2.91	3.02	2.91	2.93	▲ 0.11	0.19		▲ 0.01
	2人(1,121)	2.93	3.07	2.94	3.10	2.99	3.07	3.02	2.93	3.08	2.96	▲ 0.14	0.00	**	▲ 0.05
	3人(587)	2.88	3.06	3.05	3.08	2.92	2.98	2.99	2.89	3.04	3.08	0.00	0.99		0.00
	4人以上(136)	2.80	2.99	2.98	3.05	2.78	2.90	2.92	2.93	3.22	2.95	▲ 0.10	0.47		▲ 0.00
居住年数	子どもはいない(682)	2.84	2.92	2.97	2.92	2.91	2.91	2.88	2.94	2.94	3.05	0.13	0.05		0.03
	10年未満(参考)(83)	2.84	2.78	2.88	3.12	3.17	3.23	3.18	3.05	2.85	3.26	0.13	0.48		0.00
	10～20年未満(109)	2.86	3.05	3.17	3.17	3.13	3.31	3.21	3.31	3.13	3.15	▲ 0.02	0.90		▲ 0.00
広域振興圏	20年以上(2,768)	2.89	3.04	2.97	3.03	2.91	2.95	2.94	2.91	3.02	2.99	▲ 0.05	0.15		▲ 0.04
	県央(920)	2.97	3.10	3.10	3.17	2.99	3.07	2.99	3.03	3.10	3.05	▲ 0.12	0.04	**	▲ 0.03
	県南(959)	2.92	3.01	2.99	2.95	2.92	2.90	2.97	2.90	3.00	3.00	0.04	0.41		0.01
	沿岸(732)	2.84	2.98	2.93	3.09	2.90	2.96	2.90	2.87	2.97	2.98	▲ 0.11	0.07		▲ 0.03
広域振興圏	県北(548)	2.82	3.03	2.83	2.96	2.90	2.93	2.97	2.90	3.00	2.98	0.02	0.83		0.00

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

③家族と良い関係が取れていると感じますか

■: 上昇、■: 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		3.84	3.84	3.88	3.84	3.86	3.85	3.91	3.91	3.88	3.91	0.07	0.01	**	0.07
性別	男性(1,395)	3.82	3.82	3.86	3.84	3.84	3.86	3.87	3.90	3.84	3.90	0.06	0.14		0.03
	女性(1,718)	3.85	3.86	3.90	3.84	3.88	3.85	3.94	3.91	3.90	3.93	0.09	0.02	**	0.05
	その他(参考)(6)					3.50	4.20	2.67	3.86	4.50	3.25				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.80	4.15	4.44	4.12	4.13	4.27	4.36	4.33	4.65	0.21	0.31		0.00
	20～29歳(128)	4.00	4.06	4.11	4.05	3.98	3.98	4.05	4.10	4.16	4.38	0.33	0.00	**	0.01
	30～39歳(234)	3.88	3.85	3.88	3.83	3.89	3.94	3.89	4.00	3.98	4.06	0.23	0.01	**	0.02
	40～49歳(384)	3.88	3.78	3.85	3.77	3.91	3.80	3.95	3.93	3.76	3.87	0.10	0.21		0.01
	50～59歳(544)	3.70	3.76	3.87	3.72	3.78	3.71	3.78	3.90	3.81	3.75	0.03	0.64		0.01
	60～69歳(708)	3.82	3.81	3.87	3.77	3.78	3.84	3.86	3.80	3.81	3.80	0.03	0.62		0.01
	70歳以上(1,094)	3.86	3.93	3.86	3.96	3.93	3.91	3.96	3.90	3.93	3.98	0.02	0.67		0.01
職業	自営業主(256)	3.84	3.92	4.03	3.87	3.86	3.86	3.93	3.99	4.03	3.95	0.08	0.36		0.01
	家族従業員(参考)(87)	3.79	3.91	3.83	3.91	3.95	3.74	4.08	3.68	3.83	3.85	▲ 0.06	0.65		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.98	3.94	3.94	3.73	3.83	3.98	4.01	4.05	3.97	4.01	0.28	0.01	**	0.02
	常用雇用者(870)	3.89	3.85	3.95	3.84	3.88	3.86	3.90	3.95	3.87	3.92	0.08	0.12		0.02
	臨時雇用者(363)	3.76	3.80	3.78	3.77	3.80	3.75	3.81	3.83	3.77	3.86	0.09	0.25		0.01
	学生＋その他(139)	3.78	3.99	4.16	3.87	3.96	4.17	4.15	4.03	3.99	4.04	0.16	0.19		0.01
	専業主婦・主夫(312)	3.88	3.88	3.92	3.91	3.93	4.04	4.06	4.06	4.02	3.97	0.06	0.51		0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	3.35	3.21	3.64	3.52	3.28	3.16	3.10	3.31	3.48	3.49	▲ 0.03	0.91		▲ 0.00
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.81	3.77	3.74	3.89	3.86	3.79	3.85	3.80	3.83	3.89	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00
	ひとり暮らし(405)	3.63	3.60	3.76	3.68	3.70	3.65	3.68	3.63	3.53	3.69	0.01	0.89		0.00
	夫婦のみ(663)	4.05	4.00	4.04	4.02	4.03	4.02	4.10	4.09	4.15	4.07	0.05	0.33		0.01
	2世代世帯(1,233)	3.78	3.87	3.86	3.82	3.85	3.85	3.93	3.90	3.89	3.94	0.12	0.01	**	0.05
	3世代世帯(405)	3.88	3.80	3.92	3.86	3.85	3.81	3.88	3.87	3.81	3.87	0.01	0.91		0.00
子の数	その他(161)	3.67	3.69	3.76	3.69	3.70	3.76	3.61	3.81	3.70	3.61	▲ 0.07	0.52		▲ 0.00
	1人(355)	3.85	3.87	3.88	3.90	3.94	3.82	3.90	3.98	3.82	3.89	▲ 0.01	0.89		▲ 0.00
	2人(1,121)	3.90	3.87	3.92	3.92	3.93	3.95	3.97	3.97	3.97	3.96	0.04	0.37		0.01
	3人(587)	3.89	3.85	3.92	3.83	3.82	3.86	3.96	3.91	3.96	3.90	0.07	0.24		0.01
	4人以上(136)	3.82	3.88	3.91	3.69	3.86	3.68	3.81	3.90	3.90	4.03	0.34	0.01	**	0.01
	子どもはいない(682)	3.68	3.79	3.80	3.73	3.73	3.74	3.81	3.82	3.73	3.88	0.14	0.02	**	0.03
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.94	3.91	3.84	3.98	3.98	3.86	4.15	4.25	3.85	4.09	0.11	0.50		0.00
	10～20年未満(109)	3.98	3.87	4.01	4.04	3.93	4.14	3.97	4.16	3.98	4.07	0.03	0.83		0.00
	20年以上(2,768)	3.83	3.84	3.88	3.83	3.85	3.83	3.90	3.89	3.88	3.90	0.07	0.01	**	0.06
広域振興圏	県央(920)	3.89	3.86	3.99	3.90	3.89	3.94	3.91	3.97	3.93	3.96	0.07	0.18		0.02
	県南(959)	3.78	3.81	3.80	3.74	3.83	3.81	3.89	3.87	3.83	3.86	0.11	0.02	**	0.03
	沿岸(732)	3.89	3.85	3.94	3.97	3.90	3.86	3.92	3.91	3.89	3.91	▲ 0.06	0.31		▲ 0.01
	県北(548)	3.78	3.85	3.76	3.74	3.82	3.74	3.90	3.85	3.84	3.93	0.19	0.00	**	0.03

() は、R6 調査のサンプル数

○分野別実感

④子育てがしやすいと感じますか

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
	県計(3,159)	2.98	3.09	3.02	3.08	3.07	3.16	3.16	3.06	3.03	3.07	▲0.01	0.74		▲0.01
性別	男性(1,395)	2.98	3.02	2.98	3.05	3.04	3.11	3.13	2.99	2.96	3.02	▲0.02	0.60		▲0.01
	女性(1,718)	2.97	3.14	3.04	3.11	3.10	3.21	3.18	3.11	3.10	3.11	0.00	0.97		0.00
	その他(参考)(6)					3.60	3.50	2.67	3.60	1.00	1.00				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.00	2.95	3.00	3.37	2.95	3.59	3.26	3.50	3.22	0.22	0.61		0.00
	20～29歳(128)	2.83	2.84	2.75	2.80	2.89	2.99	3.12	2.72	3.00	2.94	0.14	0.38		0.01
	30～39歳(234)	2.83	2.93	2.68	3.03	2.82	3.22	3.07	2.84	2.61	2.95	▲0.09	0.42		▲0.01
	40～49歳(384)	3.05	3.07	3.09	3.09	3.05	3.28	3.10	2.97	2.87	2.92	▲0.17	0.06		▲0.02
	50～59歳(544)	2.89	3.04	3.03	3.06	2.99	3.02	2.99	3.05	3.00	3.02	▲0.04	0.62		▲0.01
	60～69歳(708)	2.95	3.13	3.07	2.99	3.04	3.11	3.10	3.02	3.00	3.02	0.03	0.60		0.01
	70歳以上(1,094)	3.16	3.25	3.12	3.29	3.27	3.27	3.33	3.24	3.23	3.23	▲0.06	0.33		▲0.02
職業	自営業主(256)	3.06	3.19	3.18	3.16	3.08	3.26	3.25	3.12	3.18	3.03	▲0.13	0.23		▲0.01
	家族従業員(参考)(87)	3.14	3.33	2.99	3.21	3.32	3.14	3.43	3.27	2.93	3.14	▲0.06	0.72		▲0.00
	会社役員・団体役員(193)	2.95	3.24	2.93	2.94	2.95	3.29	3.27	3.06	2.98	3.14	0.20	0.12		0.01
	常用雇用者(870)	2.95	2.98	2.96	3.06	2.96	3.13	3.01	3.01	2.91	2.97	▲0.08	0.14		▲0.02
	臨時雇用者(363)	2.87	3.05	3.00	3.05	3.08	3.11	3.08	2.92	3.05	2.95	▲0.10	0.26		▲0.01
	学生＋その他(139)	2.99	3.10	3.18	3.02	3.01	3.05	3.28	3.05	3.18	2.97	▲0.05	0.75		▲0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.00	3.23	3.04	3.04	3.17	3.27	3.27	3.19	3.21	3.34	0.30	0.00	**	0.03
世帯構成	60歳未満の無職(参考)(64)	2.53	2.48	2.45	2.56	2.46	3.00	2.81	2.58	2.50	3.08	0.52	0.08		0.01
	60歳以上の無職(661)	3.05	3.05	3.07	3.20	3.21	3.10	3.20	3.09	3.12	3.13	▲0.07	0.33		▲0.02
	ひとり暮らし(405)	2.71	2.80	2.86	2.80	2.94	2.97	3.00	3.01	2.90	2.98	0.18	0.11		0.02
	夫婦のみ(663)	2.95	3.13	3.00	3.06	3.13	3.13	3.14	3.10	3.13	3.10	0.03	0.63		0.01
	2世代世帯(1,233)	2.97	3.12	3.05	3.12	3.05	3.18	3.18	3.04	2.98	3.05	▲0.07	0.14		▲0.03
子の数	3世代世帯(405)	3.17	3.17	3.13	3.24	3.16	3.23	3.22	3.08	3.12	3.13	▲0.11	0.16		▲0.01
	その他(161)	2.81	2.95	2.81	2.93	2.94	3.31	3.08	2.85	3.05	2.89	▲0.04	0.77		▲0.00
	1人(355)	2.87	3.14	3.05	3.11	3.17	3.21	3.27	3.07	2.93	3.07	▲0.03	0.71		▲0.00
	2人(1,121)	3.09	3.14	3.06	3.18	3.16	3.25	3.21	3.16	3.14	3.11	▲0.06	0.20		▲0.02
居住年数	3人(587)	3.04	3.19	3.19	3.19	3.09	3.20	3.18	3.10	3.12	3.08	▲0.11	0.13		▲0.02
	4人以上(136)	3.11	3.15	3.12	2.96	2.99	3.12	3.03	3.03	3.12	3.23	0.27	0.06		0.01
	子どもはいない(682)	2.61	2.73	2.63	2.60	2.72	2.83	2.87	2.70	2.71	2.81	0.22	0.01	**	0.05
広域振興圏	10年未満(参考)(83)	2.74	2.77	2.79	2.90	3.00	3.11	3.17	2.77	2.80	3.14	0.25	0.24		0.01
	10～20年未満(109)	2.82	3.02	2.98	3.12	3.07	3.19	3.30	3.18	3.00	3.21	0.09	0.62		0.00
	20年以上(2,768)	2.99	3.10	3.02	3.09	3.07	3.16	3.14	3.06	3.05	3.05	▲0.03	0.32		▲0.03
県北(548)	県央(920)	3.05	3.05	3.11	3.20	3.10	3.28	3.21	3.11	3.09	3.14	▲0.06	0.28		▲0.02
	県南(959)	2.98	3.15	3.03	2.97	3.06	3.11	3.14	3.05	3.04	3.07	0.10	0.10		0.03
	沿岸(732)	2.93	3.02	2.97	3.14	3.05	3.11	3.09	3.02	3.00	3.02	▲0.11	0.10		▲0.03
	県北(548)	2.94	3.13	2.93	3.01	3.05	3.13	3.22	3.05	2.97	3.02	0.01	0.87		0.00

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか

■: 上昇、■: 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
	県計(3,159)	3.16	3.12	3.13	3.10	3.09	3.20	3.18	3.14	3.13	3.15	0.05	0.09		0.05
性別	男性(1,395)	3.13	3.08	3.08	3.08	3.07	3.17	3.17	3.10	3.09	3.13	0.05	0.20		0.02
	女性(1,718)	3.17	3.14	3.16	3.12	3.11	3.23	3.19	3.17	3.17	3.17	0.05	0.25		0.03
	その他(参考)(6)					2.80	4.00	2.67	2.75	1.00	1.67				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.27	3.08	3.38	3.38	3.71	3.50	3.32	3.00	3.42	0.03	0.93		0.00
	20～29歳(128)	2.99	2.91	2.94	2.92	2.96	3.06	3.19	3.01	3.18	3.16	0.24	0.10		0.01
	30～39歳(234)	3.04	3.04	2.93	2.98	2.96	3.28	3.11	3.12	3.01	3.03	0.05	0.64		0.00
	40～49歳(384)	3.19	3.08	3.19	3.14	3.05	3.26	3.12	3.03	2.96	3.12	▲ 0.02	0.84		▲ 0.00
	50～59歳(544)	3.02	3.02	3.01	3.05	2.96	3.02	3.00	3.03	3.03	3.05	▲ 0.01	0.91		▲ 0.00
	60～69歳(708)	3.11	3.10	3.13	2.95	3.04	3.14	3.09	3.06	3.07	3.09	0.14	0.01	**	0.03
	70歳以上(1,094)	3.39	3.34	3.28	3.33	3.31	3.35	3.37	3.32	3.32	3.28	▲ 0.04	0.42		▲ 0.02
職業	自営業主(256)	3.19	3.08	3.25	3.14	3.22	3.25	3.28	3.15	3.29	3.16	0.02	0.85		0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.32	3.17	3.13	3.19	3.33	3.27	3.34	3.19	2.95	3.26	0.07	0.65		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.09	3.10	3.04	2.97	3.05	3.26	3.16	3.06	3.11	3.14	0.17	0.13		0.01
	常用雇用者(870)	3.09	3.03	3.01	3.03	2.98	3.16	3.05	3.11	3.03	3.06	0.02	0.64		0.01
	臨時雇用者(363)	3.10	3.15	3.14	3.09	3.07	3.08	3.07	2.96	3.13	3.11	0.02	0.79		0.00
	学生＋その他(139)	3.06	3.17	3.24	3.21	2.99	3.27	3.29	3.19	3.26	3.14	▲ 0.08	0.58		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.22	3.17	3.21	3.17	3.17	3.36	3.27	3.26	3.25	3.38	0.20	0.02	**	0.02
世帯構成	60歳未満の無職(参考)(64)	2.75	3.11	2.87	2.76	2.48	3.06	2.83	2.57	2.53	3.15	0.38	0.20		0.01
	60歳以上の無職(661)	3.30	3.22	3.20	3.17	3.18	3.20	3.29	3.26	3.21	3.16	▲ 0.01	0.83		▲ 0.00
	ひとり暮らし(405)	3.05	3.05	3.01	2.93	2.95	3.01	3.03	3.15	3.08	3.06	0.13	0.19		0.02
	夫婦のみ(663)	3.13	3.12	3.11	3.11	3.16	3.20	3.16	3.19	3.16	3.16	0.05	0.37		0.01
	2世代世帯(1,233)	3.10	3.12	3.11	3.10	3.07	3.19	3.19	3.10	3.10	3.14	0.04	0.44		0.01
子の数	3世代世帯(405)	3.32	3.21	3.27	3.20	3.15	3.31	3.24	3.18	3.26	3.17	▲ 0.03	0.68		▲ 0.00
	その他(161)	3.11	3.02	2.99	3.05	3.00	3.37	3.15	2.99	3.04	3.07	0.02	0.87		0.00
	1人(355)	3.07	3.15	3.16	3.09	3.13	3.24	3.19	3.14	3.05	3.10	0.01	0.87		0.00
	2人(1,121)	3.19	3.11	3.13	3.14	3.16	3.29	3.24	3.22	3.18	3.22	0.08	0.09		0.03
	3人(587)	3.26	3.24	3.24	3.23	3.13	3.23	3.23	3.17	3.23	3.14	▲ 0.08	0.19		▲ 0.02
居住年数	4人以上(136)	3.19	3.17	3.24	3.09	3.14	3.14	3.11	3.15	3.21	3.19	0.10	0.44		0.00
	子どもはいない(682)	2.96	2.94	2.92	2.84	2.80	2.98	2.96	2.88	2.93	2.99	0.16	0.03	**	0.03
	10年未満(参考)(83)	2.80	2.79	2.85	2.78	2.95	3.16	3.26	2.96	2.76	3.17	0.38	0.03	**	0.01
	10～20年未満(109)	2.98	3.03	3.11	3.21	3.11	3.32	3.35	3.12	3.04	3.20	▲ 0.01	0.96		▲ 0.00
広域振興圏	20年以上(2,768)	3.17	3.13	3.13	3.10	3.09	3.20	3.16	3.14	3.14	3.14	0.03	0.25		0.03
	県央(920)	3.13	3.12	3.14	3.14	3.10	3.28	3.21	3.15	3.13	3.19	0.05	0.34		0.02
	県南(959)	3.17	3.10	3.12	3.06	3.10	3.16	3.15	3.13	3.13	3.14	0.08	0.11		0.03
	沿岸(732)	3.12	3.10	3.13	3.14	3.05	3.17	3.13	3.09	3.16	3.10	▲ 0.04	0.53		▲ 0.01
	県北(548)	3.27	3.17	3.10	3.07	3.12	3.19	3.27	3.19	3.10	3.16	0.09	0.16		0.02

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑥住まいに快適さを感じますか

■: 上昇、■: 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		3.19	3.37	3.30	3.34	3.29	3.31	3.31	3.29	3.31	3.30	▲ 0.04	0.21		▲ 0.04
性別	男性(1,395)	3.20	3.32	3.26	3.35	3.26	3.30	3.27	3.28	3.27	3.33	▲ 0.02	0.65		▲ 0.01
	女性(1,718)	3.17	3.40	3.33	3.32	3.33	3.32	3.34	3.30	3.36	3.28	▲ 0.04	0.32		▲ 0.02
	その他(参考)(6)					2.33	2.40	4.33	3.00	2.50	2.00				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.40	3.54	3.97	3.60	3.70	3.73	4.03	3.89	4.08	0.11	0.71		0.00
	20～29歳(128)	3.34	3.34	3.27	3.20	3.18	3.32	3.48	3.26	3.43	3.40	0.20	0.15		0.01
	30～39歳(234)	3.01	3.28	3.27	3.13	3.11	3.23	3.25	3.20	3.26	3.32	0.18	0.09		0.01
	40～49歳(384)	3.14	3.33	3.32	3.23	3.32	3.30	3.21	3.33	3.26	3.18	▲ 0.05	0.53		▲ 0.01
	50～59歳(544)	3.05	3.18	3.14	3.26	3.22	3.11	3.22	3.21	3.17	3.21	▲ 0.05	0.47		▲ 0.01
	60～69歳(708)	3.18	3.40	3.22	3.28	3.22	3.28	3.21	3.16	3.26	3.17	▲ 0.11	0.07		▲ 0.02
	70歳以上(1,094)	3.35	3.55	3.45	3.54	3.45	3.49	3.44	3.41	3.43	3.44	▲ 0.11	0.04	**	▲ 0.04
職業	自営業主(256)	3.23	3.42	3.49	3.43	3.32	3.37	3.35	3.36	3.39	3.43	0.01	0.95		0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.09	3.64	3.30	3.36	3.31	3.05	3.53	3.36	3.30	3.33	▲ 0.04	0.85		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.29	3.52	3.35	3.37	3.33	3.50	3.38	3.36	3.35	3.52	0.15	0.22		0.01
	常用雇用者(870)	3.17	3.28	3.20	3.29	3.22	3.25	3.28	3.24	3.24	3.21	▲ 0.09	0.13		▲ 0.02
	臨時雇用者(363)	3.01	3.28	3.13	3.16	3.19	3.12	3.20	3.12	3.25	3.16	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00
	学生＋その他(139)	3.31	3.43	3.67	3.51	3.41	3.51	3.47	3.58	3.57	3.42	▲ 0.09	0.50		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.25	3.43	3.37	3.37	3.48	3.52	3.47	3.36	3.46	3.37	▲ 0.01	0.94		▲ 0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.64	2.91	3.36	3.07	2.90	2.80	2.92	3.10	2.81	3.32	0.25	0.28		0.01
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.25	3.41	3.29	3.39	3.33	3.40	3.30	3.31	3.34	3.30	▲ 0.09	0.19		▲ 0.02
	ひとり暮らし(405)	3.14	3.24	3.17	3.15	3.20	3.09	3.03	3.14	3.10	3.20	0.05	0.58		0.01
	夫婦のみ(663)	3.32	3.44	3.37	3.45	3.45	3.42	3.37	3.40	3.47	3.34	▲ 0.11	0.07		▲ 0.02
	2世代世帯(1,233)	3.16	3.38	3.35	3.35	3.28	3.28	3.38	3.28	3.30	3.33	▲ 0.02	0.63		▲ 0.01
	3世代世帯(405)	3.23	3.39	3.31	3.42	3.31	3.40	3.32	3.29	3.35	3.21	▲ 0.21	0.01	**	▲ 0.03
子の数	その他(161)	2.95	3.27	3.09	3.19	3.02	3.41	3.10	3.15	3.27	3.27	0.08	0.48		0.00
	1人(355)	3.12	3.43	3.28	3.33	3.37	3.20	3.27	3.33	3.16	3.31	▲ 0.02	0.80		▲ 0.00
	2人(1,121)	3.24	3.40	3.33	3.40	3.37	3.46	3.37	3.36	3.43	3.30	▲ 0.10	0.05	**	▲ 0.03
	3人(587)	3.23	3.43	3.33	3.40	3.28	3.35	3.38	3.31	3.38	3.36	▲ 0.03	0.63		▲ 0.01
	4人以上(136)	2.99	3.22	3.30	3.26	3.20	3.24	3.22	3.05	3.39	3.20	▲ 0.06	0.69		▲ 0.00
	子どもはいない(682)	3.14	3.24	3.24	3.20	3.14	3.15	3.21	3.20	3.17	3.26	0.05	0.42		0.01
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.06	3.23	3.17	2.96	3.34	3.33	3.15	3.27	3.18	3.49	0.53	0.01	**	0.01
	10～20年未満(109)	3.01	3.38	3.27	3.50	3.41	3.60	3.39	3.66	3.56	3.58	0.08	0.61		0.00
	20年以上(2,768)	3.19	3.37	3.30	3.34	3.28	3.30	3.31	3.27	3.32	3.28	▲ 0.07	0.03	**	▲ 0.06
広域振興圏	県央(920)	3.33	3.48	3.47	3.45	3.41	3.43	3.39	3.42	3.42	3.39	▲ 0.05	0.34		▲ 0.01
	県南(959)	3.17	3.36	3.31	3.25	3.32	3.26	3.28	3.23	3.29	3.27	0.02	0.74		0.01
	沿岸(732)	3.13	3.30	3.23	3.39	3.28	3.33	3.35	3.29	3.32	3.33	▲ 0.06	0.34		▲ 0.01
	県北(548)	3.05	3.28	3.10	3.22	3.09	3.18	3.16	3.19	3.17	3.14	▲ 0.08	0.26		▲ 0.01

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑦地域社会とのつながりを感じますか。

■:上昇、■:低下

	H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)	3.26	3.34	3.30	3.35	3.16	3.09	3.10	3.07	3.10	3.12	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.23
性別														
男性(1,395)	3.27	3.32	3.32	3.37	3.15	3.09	3.06	3.06	3.08	3.14	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.10
女性(1,718)	3.23	3.35	3.28	3.33	3.16	3.09	3.13	3.08	3.11	3.10	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.12
その他(参考)(6)					3.00	3.83	3.00	2.17	1.00	1.25				
年代														
18～19歳(参考)(26)		3.27	3.06	3.38	3.24	3.48	3.46	3.45	3.59	3.33	▲ 0.05	0.90		▲ 0.00
20～29歳(128)	2.89	3.05	2.89	2.95	2.83	2.77	2.86	2.67	3.03	2.84	▲ 0.11	0.45		▲ 0.00
30～39歳(234)	2.96	2.96	3.16	3.03	2.97	2.83	2.84	2.77	2.64	2.90	▲ 0.13	0.22		▲ 0.01
40～49歳(384)	3.20	3.27	3.26	3.22	3.00	2.94	2.96	2.85	2.84	2.89	▲ 0.33	0.00	**	▲ 0.04
50～59歳(544)	3.22	3.25	3.31	3.30	3.10	2.91	2.99	3.02	3.00	3.07	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.04
60～69歳(708)	3.28	3.39	3.30	3.37	3.16	3.15	3.09	3.07	3.13	3.06	▲ 0.31	0.00	**	▲ 0.07
70歳以上(1,094)	3.50	3.62	3.47	3.59	3.36	3.38	3.33	3.31	3.32	3.34	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.09
職業														
自営業主(256)	3.46	3.52	3.58	3.52	3.36	3.33	3.39	3.36	3.43	3.39	▲ 0.13	0.19		▲ 0.01
家族従業員(参考)(87)	3.34	3.75	3.53	3.58	3.53	3.25	3.41	3.41	3.32	3.39	▲ 0.20	0.21		▲ 0.01
会社役員・団体役員(193)	3.31	3.41	3.21	3.38	3.21	3.20	3.07	3.01	3.15	3.08	▲ 0.30	0.01	**	▲ 0.02
常用雇用者(870)	3.17	3.18	3.22	3.22	3.01	2.92	2.95	2.92	2.91	2.93	▲ 0.29	0.00	**	▲ 0.08
臨時雇用者(363)	3.01	3.38	3.22	3.27	3.13	2.95	2.94	2.99	3.03	3.01	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.03
学生＋その他(139)	3.38	3.37	3.49	3.32	3.03	3.18	3.17	3.10	3.34	3.14	▲ 0.18	0.19		▲ 0.01
専業主婦・主夫(312)	3.24	3.26	3.28	3.37	3.24	3.24	3.28	3.19	3.24	3.26	▲ 0.12	0.18		▲ 0.01
60歳未満の無職(参考)(64)	2.77	2.89	2.87	3.02	2.49	2.55	2.56	2.59	2.43	3.04	0.02	0.94		0.00
60歳以上の無職(661)	3.41	3.43	3.31	3.48	3.22	3.24	3.15	3.15	3.15	3.20	▲ 0.28	0.00	**	▲ 0.06
世帯構成														
ひとり暮らし(405)	3.10	3.13	3.05	3.15	3.09	2.84	2.85	2.89	2.88	2.86	▲ 0.29	0.00	**	▲ 0.04
夫婦のみ(663)	3.24	3.31	3.30	3.39	3.17	3.19	3.10	3.11	3.17	3.18	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.05
2世代世帯(1,233)	3.26	3.35	3.33	3.34	3.14	3.01	3.12	3.03	3.10	3.12	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.09
3世代世帯(405)	3.45	3.50	3.46	3.53	3.27	3.32	3.25	3.32	3.21	3.20	▲ 0.33	0.00	**	▲ 0.04
その他(161)	3.06	3.25	3.18	3.26	3.02	3.17	3.05	2.98	3.07	2.95	▲ 0.31	0.00	**	▲ 0.02
子の数														
1人(355)	3.17	3.43	3.33	3.31	3.10	2.99	3.09	2.99	2.94	3.06	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.03
2人(1,121)	3.33	3.37	3.40	3.45	3.24	3.22	3.18	3.16	3.21	3.18	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.09
3人(587)	3.41	3.51	3.44	3.47	3.29	3.24	3.26	3.24	3.27	3.24	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.04
4人以上(136)	3.39	3.39	3.27	3.43	3.18	3.21	3.20	3.36	3.14	3.39	▲ 0.04	0.76		▲ 0.00
子どもはいない(682)	2.96	3.05	3.01	3.08	2.91	2.79	2.82	2.79	2.87	2.86	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.05
居住年数														
10年未満(参考)(83)	2.86	2.83	2.90	3.04	2.84	2.67	2.67	2.56	2.49	2.77	▲ 0.27	0.11		▲ 0.01
10～20年未満(109)	3.07	3.06	3.08	3.15	2.98	3.23	3.06	2.96	2.94	2.99	▲ 0.16	0.30		▲ 0.01
20年以上(2,768)	3.27	3.36	3.32	3.37	3.17	3.10	3.11	3.09	3.13	3.12	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.22
広域振興圏														
県央(920)	3.16	3.17	3.25	3.24	3.04	3.00	3.03	2.99	3.02	3.02	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.06
県南(959)	3.31	3.41	3.37	3.40	3.23	3.15	3.12	3.11	3.12	3.13	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.08
沿岸(732)	3.23	3.36	3.30	3.43	3.18	3.16	3.13	3.05	3.13	3.21	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.05
県北(548)	3.37	3.44	3.26	3.33	3.19	3.07	3.13	3.18	3.17	3.12	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.04

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑧お住まいの地域は安全だと感じますか。

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		3.70	3.83	3.79	3.82	3.66	3.76	3.72	3.69	3.66	3.62	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.20
性別	男性(1,395)	3.74	3.86	3.83	3.84	3.72	3.79	3.75	3.70	3.69	3.68	▲ 0.16	0.00	**	▲ 0.07
	女性(1,718)	3.67	3.82	3.76	3.80	3.61	3.75	3.70	3.68	3.63	3.57	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.12
	その他(参考)(6)					3.33	3.33	3.33	4.00	3.00	2.75				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.91	3.98	3.94	3.88	3.84	3.98	4.17	4.21	4.08	0.14	0.63		0.00
	20～29歳(128)	3.70	3.80	3.79	3.70	3.63	3.70	3.76	3.89	3.68	3.83	0.14	0.23		0.01
	30～39歳(234)	3.65	3.75	3.79	3.69	3.67	3.69	3.72	3.57	3.58	3.69	0.00	0.97		0.00
	40～49歳(384)	3.76	3.79	3.76	3.79	3.59	3.79	3.71	3.68	3.58	3.56	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.03
	50～59歳(544)	3.66	3.81	3.84	3.84	3.67	3.69	3.73	3.68	3.66	3.60	▲ 0.24	0.00	**	▲ 0.04
	60～69歳(708)	3.69	3.83	3.77	3.80	3.58	3.77	3.69	3.59	3.62	3.50	▲ 0.29	0.00	**	▲ 0.07
	70歳以上(1,094)	3.71	3.94	3.78	3.91	3.75	3.83	3.73	3.76	3.72	3.68	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.08
職業	自営業主(256)	3.80	3.85	3.82	3.94	3.70	3.83	3.82	3.72	3.82	3.69	▲ 0.25	0.01	**	▲ 0.02
	家族従業員(参考)(87)	3.81	4.04	3.69	3.98	3.91	3.79	3.94	3.93	3.53	3.58	▲ 0.40	0.01	**	▲ 0.01
	会社役員・団体役員(193)	3.74	3.94	3.75	3.85	3.64	3.83	3.78	3.62	3.64	3.69	▲ 0.16	0.12		▲ 0.01
	常用雇用者(870)	3.75	3.84	3.85	3.83	3.64	3.74	3.75	3.69	3.65	3.62	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.06
	臨時雇用者(363)	3.64	3.78	3.75	3.71	3.62	3.67	3.59	3.61	3.58	3.55	▲ 0.16	0.03	**	▲ 0.02
	学生＋その他(139)	3.65	3.87	4.01	3.74	3.57	3.88	3.94	3.91	3.85	3.71	▲ 0.03	0.84		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(312)	3.66	3.80	3.73	3.74	3.71	3.86	3.75	3.67	3.67	3.63	▲ 0.11	0.16		▲ 0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	3.41	3.50	3.64	3.70	3.38	3.56	3.60	3.54	3.64	3.69	▲ 0.01	0.94		▲ 0.00
60歳以上の無職(661)	3.64	3.83	3.74	3.86	3.69	3.74	3.64	3.69	3.68	3.60	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.05	
世帯構成	ひとり暮らし(405)	3.61	3.71	3.74	3.72	3.67	3.71	3.69	3.62	3.55	3.57	▲ 0.15	0.05	**	▲ 0.02
	夫婦のみ(663)	3.68	3.85	3.79	3.86	3.64	3.84	3.69	3.72	3.76	3.60	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.06
	2世代世帯(1,233)	3.71	3.84	3.78	3.81	3.70	3.70	3.76	3.68	3.66	3.66	▲ 0.15	0.00	**	▲ 0.06
	3世代世帯(405)	3.88	3.94	3.89	3.89	3.72	3.85	3.73	3.80	3.65	3.62	▲ 0.27	0.00	**	▲ 0.03
	その他(161)	3.52	3.77	3.73	3.79	3.51	3.79	3.75	3.58	3.68	3.54	▲ 0.25	0.01	**	▲ 0.01
子の数	1人(355)	3.67	3.88	3.70	3.80	3.68	3.72	3.66	3.62	3.54	3.61	▲ 0.19	0.01	**	▲ 0.02
	2人(1,121)	3.72	3.83	3.80	3.85	3.70	3.82	3.73	3.69	3.68	3.63	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.08
	3人(587)	3.74	3.92	3.86	3.85	3.67	3.80	3.78	3.75	3.72	3.64	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.04
	4人以上(136)	3.71	3.84	3.76	3.92	3.65	3.65	3.78	3.70	3.74	3.61	▲ 0.32	0.01	**	▲ 0.01
	子どもはいない(682)	3.63	3.76	3.77	3.74	3.62	3.73	3.73	3.71	3.69	3.63	▲ 0.11	0.06		▲ 0.02
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.58	3.72	3.71	3.59	3.69	3.65	3.77	3.66	3.52	3.79	0.20	0.19		0.01
	10～20年未満(109)	3.62	3.86	3.78	3.83	3.67	3.91	3.83	3.95	3.69	3.79	▲ 0.03	0.81		▲ 0.00
	20年以上(2,768)	3.71	3.84	3.79	3.83	3.67	3.76	3.72	3.68	3.67	3.61	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.19
広域振興圏	県央(920)	3.75	3.88	3.86	3.87	3.75	3.76	3.76	3.75	3.74	3.67	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.06
	県南(959)	3.73	3.86	3.81	3.78	3.69	3.78	3.74	3.75	3.65	3.65	▲ 0.13	0.00	**	▲ 0.04
	沿岸(732)	3.59	3.71	3.70	3.82	3.54	3.74	3.67	3.54	3.58	3.56	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.06
	県北(548)	3.72	3.89	3.76	3.82	3.63	3.78	3.70	3.70	3.66	3.57	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.04

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑨仕事にやりがいを感じますか。

■ : 上昇、■ : 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開 始年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7-H31 (対計画開 始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		3.50	3.56	3.51	3.54	3.38	3.49	3.41	3.39	3.39	3.41	▲ 0.12	0.00	**	▲ 0.12
性別	男性(1,395)	3.52	3.57	3.52	3.53	3.41	3.48	3.42	3.35	3.41	3.43	▲ 0.10	0.03	**	▲ 0.05
	女性(1,718)	3.47	3.55	3.50	3.54	3.35	3.50	3.41	3.42	3.37	3.41	▲ 0.13	0.00	**	▲ 0.07
	その他(参考)(6)					2.00	3.67	3.00	2.25	3.00	1.25				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.27	3.38	3.85	3.78	3.65	3.75	3.58	4.29	3.69	▲ 0.16	0.62		▲ 0.00
	20～29歳(128)	3.53	3.36	3.42	3.49	3.41	3.51	3.18	3.25	3.32	3.44	▲ 0.06	0.71		▲ 0.00
	30～39歳(234)	3.46	3.47	3.44	3.39	3.22	3.41	3.34	3.35	3.14	3.31	▲ 0.09	0.45		▲ 0.01
	40～49歳(384)	3.51	3.54	3.63	3.45	3.38	3.47	3.48	3.38	3.26	3.38	▲ 0.07	0.45		▲ 0.01
	50～59歳(544)	3.50	3.53	3.57	3.46	3.36	3.40	3.40	3.33	3.43	3.46	0.00	0.99		0.00
	60～69歳(708)	3.52	3.64	3.52	3.53	3.45	3.61	3.43	3.45	3.48	3.39	▲ 0.14	0.02	**	▲ 0.03
	70歳以上(1,094)	3.48	3.63	3.44	3.72	3.37	3.50	3.45	3.42	3.42	3.44	▲ 0.29	0.00	**	▲ 0.10
職業	自営業主(256)	3.88	3.98	4.03	3.93	3.77	3.88	3.91	3.78	3.78	3.81	▲ 0.12	0.20		▲ 0.01
	家族従業員(参考)(87)	3.58	3.78	3.59	3.77	3.70	3.41	3.64	3.63	3.54	3.65	▲ 0.11	0.45		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.69	3.89	3.75	3.77	3.68	3.82	3.56	3.53	3.58	3.65	▲ 0.12	0.31		▲ 0.01
	常用雇用者(870)	3.58	3.51	3.56	3.46	3.36	3.47	3.48	3.39	3.36	3.40	▲ 0.06	0.26		▲ 0.02
	臨時雇用者(363)	3.39	3.54	3.60	3.53	3.44	3.54	3.32	3.47	3.44	3.43	▲ 0.10	0.23		▲ 0.01
	学生＋その他(139)	3.38	3.73	3.69	3.79	3.34	3.79	3.63	3.50	3.58	3.59	▲ 0.20	0.18		▲ 0.01
	専業主婦・主夫(312)	3.18	3.43	3.17	3.17	3.18	3.23	3.18	3.13	3.16	3.10	▲ 0.07	0.52		▲ 0.01
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.66	2.47	2.63	2.38	2.58	2.50	2.14	2.44	2.38	2.90	0.52	0.13		0.01
	60歳以上の無職(661)	3.20	3.28	3.08	3.32	3.10	3.07	3.09	3.20	3.18	3.14	▲ 0.18	0.04	**	▲ 0.04
世帯構成	ひとり暮らし(405)	3.46	3.44	3.45	3.51	3.38	3.39	3.20	3.38	3.35	3.37	▲ 0.14	0.19		▲ 0.02
	夫婦のみ(663)	3.58	3.59	3.49	3.54	3.43	3.56	3.48	3.49	3.48	3.48	▲ 0.06	0.34		▲ 0.01
	2世代世帯(1,233)	3.50	3.58	3.54	3.51	3.36	3.46	3.44	3.33	3.38	3.38	▲ 0.14	0.01	**	▲ 0.05
	3世代世帯(405)	3.59	3.65	3.67	3.60	3.45	3.62	3.44	3.43	3.31	3.38	▲ 0.22	0.01	**	▲ 0.03
		その他(161)	3.26	3.41	3.33	3.54	3.20	3.38	3.39	3.30	3.44	3.44	▲ 0.10	0.45	
子の数	1人(355)	3.44	3.55	3.58	3.54	3.40	3.55	3.46	3.35	3.32	3.45	▲ 0.09	0.36		▲ 0.01
	2人(1,121)	3.55	3.59	3.50	3.57	3.43	3.60	3.47	3.41	3.46	3.46	▲ 0.11	0.04	**	▲ 0.04
	3人(587)	3.58	3.69	3.59	3.74	3.49	3.56	3.54	3.55	3.46	3.44	▲ 0.30	0.00	**	▲ 0.06
	4人以上(136)	3.56	3.76	3.67	3.49	3.29	3.59	3.51	3.48	3.55	3.53	0.03	0.82		0.00
		子どもはいない(682)	3.36	3.35	3.42	3.32	3.21	3.22	3.23	3.23	3.25	3.30	▲ 0.03	0.72	
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.55	3.53	3.37	3.59	3.55	3.58	3.51	3.32	3.13	3.40	▲ 0.19	0.32		▲ 0.00
	10～20年未満(109)	3.52	3.38	3.53	3.62	3.45	3.81	3.63	3.51	3.48	3.53	▲ 0.10	0.56		▲ 0.00
	20年以上(2,768)	3.49	3.57	3.52	3.53	3.37	3.47	3.41	3.39	3.40	3.41	▲ 0.12	0.00	**	▲ 0.11
広域振興圏	県央(920)	3.54	3.60	3.58	3.58	3.42	3.50	3.46	3.49	3.37	3.45	▲ 0.13	0.04	**	▲ 0.04
	県南(959)	3.45	3.48	3.51	3.48	3.36	3.49	3.39	3.40	3.41	3.40	▲ 0.08	0.16		▲ 0.02
	沿岸(732)	3.50	3.60	3.51	3.57	3.39	3.42	3.35	3.27	3.36	3.36	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.05
	県北(548)	3.53	3.58	3.37	3.53	3.33	3.54	3.45	3.36	3.41	3.45	▲ 0.08	0.31		▲ 0.01

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。

■:上昇、■:低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		2.44	2.58	2.45	2.65	2.56	2.77	2.57	2.53	2.48	2.50	▲ 0.15	0.00	**	▲ 0.15
性別	男性(1,395)	2.46	2.60	2.47	2.68	2.55	2.75	2.55	2.50	2.50	2.53	▲ 0.15	0.00	**	▲ 0.06
	女性(1,718)	2.43	2.56	2.43	2.61	2.58	2.79	2.59	2.55	2.47	2.48	▲ 0.13	0.00	**	▲ 0.07
	その他(参考)(6)					1.40	2.20	3.00	2.00	3.00	1.25				
年代	18～19歳(参考)(26)		2.81	2.77	2.25	3.09	3.32	3.18	2.72	2.91	2.53	0.28	0.55		0.00
	20～29歳(128)	2.48	2.51	2.44	2.66	2.49	2.68	2.40	2.30	2.47	2.50	▲ 0.16	0.31		▲ 0.01
	30～39歳(234)	2.44	2.47	2.42	2.51	2.36	2.71	2.50	2.47	2.27	2.43	▲ 0.08	0.51		▲ 0.01
	40～49歳(384)	2.51	2.56	2.52	2.66	2.50	2.82	2.62	2.57	2.40	2.33	▲ 0.33	0.00	**	▲ 0.04
	50～59歳(544)	2.46	2.52	2.49	2.60	2.52	2.75	2.58	2.53	2.49	2.56	▲ 0.05	0.57		▲ 0.01
	60～69歳(708)	2.37	2.57	2.40	2.63	2.59	2.77	2.54	2.55	2.53	2.49	▲ 0.14	0.04	**	▲ 0.03
	70歳以上(1,094)	2.46	2.70	2.45	2.75	2.65	2.80	2.61	2.55	2.52	2.55	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.07
職業	自営業主(256)	2.53	2.69	2.58	2.86	2.63	2.86	2.62	2.57	2.54	2.67	▲ 0.19	0.10		▲ 0.02
	家族従業員(参考)(87)	2.61	2.85	2.42	2.91	2.73	2.81	2.78	2.66	2.10	2.59	▲ 0.32	0.10		▲ 0.01
	会社役員・団体役員(193)	2.96	2.94	2.85	3.05	2.85	3.27	2.92	2.90	2.89	2.92	▲ 0.14	0.32		▲ 0.01
	常用雇用者(870)	2.58	2.66	2.55	2.72	2.60	2.86	2.67	2.60	2.52	2.53	▲ 0.19	0.00	**	▲ 0.05
	臨時雇用者(363)	2.20	2.31	2.30	2.56	2.39	2.65	2.38	2.40	2.30	2.34	▲ 0.22	0.01	**	▲ 0.02
	学生＋その他(139)	2.49	2.73	2.63	2.80	2.55	2.94	2.80	2.78	2.81	2.62	▲ 0.18	0.29		▲ 0.01
	専業主婦・主夫(312)	2.37	2.48	2.34	2.46	2.67	2.89	2.61	2.58	2.51	2.45	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	1.68	1.58	1.95	1.81	1.71	1.84	1.80	1.94	1.72	2.19	0.38	0.14		0.01
世帯構成	60歳以上の無職(661)	2.25	2.46	2.29	2.37	2.46	2.42	2.41	2.33	2.40	2.35	▲ 0.02	0.83		▲ 0.00
	ひとり暮らし(405)	2.52	2.65	2.53	2.65	2.57	2.75	2.49	2.55	2.53	2.56	▲ 0.09	0.40		▲ 0.01
	夫婦のみ(663)	2.59	2.72	2.43	2.76	2.68	2.92	2.63	2.59	2.64	2.61	▲ 0.15	0.04	**	▲ 0.03
	2世代世帯(1,233)	2.41	2.54	2.51	2.62	2.54	2.71	2.56	2.50	2.40	2.45	▲ 0.17	0.00	**	▲ 0.07
	3世代世帯(405)	2.49	2.56	2.52	2.72	2.55	2.82	2.62	2.54	2.45	2.43	▲ 0.29	0.00	**	▲ 0.04
子の数	その他(161)	2.15	2.42	2.18	2.47	2.30	2.68	2.59	2.38	2.39	2.40	▲ 0.06	0.61		▲ 0.00
	1人(355)	2.41	2.52	2.48	2.70	2.53	2.78	2.61	2.38	2.28	2.47	▲ 0.23	0.02	**	▲ 0.03
	2人(1,121)	2.48	2.61	2.49	2.71	2.62	2.86	2.58	2.62	2.53	2.53	▲ 0.17	0.00	**	▲ 0.06
	3人(587)	2.52	2.70	2.48	2.69	2.59	2.83	2.67	2.65	2.53	2.48	▲ 0.21	0.01	**	▲ 0.04
	4人以上(136)	2.36	2.54	2.31	2.48	2.58	2.86	2.56	2.54	2.65	2.48	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00
	子どもはいない(682)	2.37	2.44	2.40	2.53	2.42	2.59	2.46	2.38	2.44	2.50	▲ 0.02	0.74		▲ 0.01
	10年未満(参考)(83)	2.78	2.74	2.71	2.55	2.92	2.99	2.84	2.60	2.41	2.69	0.13	0.53		0.00
居住年数	10～20年未満(109)	2.58	2.52	2.60	2.48	2.68	3.14	2.93	2.61	2.57	2.46	▲ 0.02	0.91		▲ 0.00
	20年以上(2,768)	2.42	2.57	2.44	2.66	2.54	2.75	2.56	2.53	2.48	2.50	▲ 0.17	0.00	**	▲ 0.15
広域振興圏	県央(920)	2.47	2.59	2.50	2.73	2.62	2.87	2.63	2.64	2.55	2.45	▲ 0.29	0.00	**	▲ 0.08
	県南(959)	2.39	2.53	2.42	2.54	2.58	2.70	2.54	2.53	2.46	2.55	0.01	0.85		0.00
	沿岸(732)	2.52	2.63	2.51	2.71	2.53	2.76	2.53	2.41	2.38	2.48	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.05
	県北(548)	2.37	2.57	2.34	2.60	2.48	2.76	2.60	2.53	2.54	2.51	▲ 0.09	0.26		▲ 0.02

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか

■: 上昇、■: 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)		3.33	3.32	3.35	3.28	3.25	3.18	3.27	3.23	3.28	3.27	▲ 0.02	0.59		▲ 0.02
性別	男性(1,395)	3.29	3.27	3.35	3.22	3.23	3.13	3.23	3.18	3.23	3.22	▲ 0.00	0.93		▲ 0.00
	女性(1,718)	3.35	3.36	3.35	3.35	3.27	3.22	3.31	3.26	3.33	3.31	▲ 0.03	0.40		▲ 0.02
	その他(参考)(6)					3.43	3.00	3.67	2.20	3.50	2.50				
年代	18～19歳(参考)(26)		3.40	3.18	3.50	3.38	3.65	3.50	3.63	3.16	3.96	0.46	0.17		0.00
	20～29歳(128)	3.34	3.29	3.24	3.34	3.18	3.25	3.35	3.07	3.26	3.39	0.04	0.74		0.00
	30～39歳(234)	3.09	3.16	3.17	3.02	3.24	3.04	3.20	3.15	3.26	3.19	0.17	0.11		0.01
	40～49歳(384)	3.29	3.28	3.36	3.28	3.18	3.20	3.37	3.23	3.24	3.25	▲ 0.04	0.65		▲ 0.00
	50～59歳(544)	3.26	3.23	3.39	3.26	3.29	3.11	3.28	3.30	3.40	3.31	0.06	0.40		0.01
	60～69歳(708)	3.32	3.31	3.29	3.22	3.19	3.13	3.23	3.19	3.26	3.22	▲ 0.00	0.94		▲ 0.00
	70歳以上(1,094)	3.51	3.52	3.47	3.42	3.32	3.28	3.25	3.23	3.26	3.27	▲ 0.15	0.00	**	▲ 0.05
職業	自営業主(256)	3.33	3.41	3.44	3.33	3.33	3.24	3.39	3.31	3.37	3.31	▲ 0.01	0.89		▲ 0.00
	家族従業員(参考)(87)	3.26	3.49	3.37	3.22	3.40	3.18	3.29	3.29	3.17	3.31	0.09	0.55		0.00
	会社役員・団体役員(193)	3.31	3.41	3.39	3.25	3.46	3.34	3.31	3.43	3.36	3.31	0.05	0.65		0.00
	常用雇用者(870)	3.23	3.23	3.32	3.21	3.26	3.19	3.31	3.22	3.36	3.27	0.07	0.20		0.02
	臨時雇用者(363)	3.20	3.35	3.31	3.27	3.22	3.07	3.16	3.12	3.23	3.23	▲ 0.04	0.60		▲ 0.00
	学生＋その他(139)	3.55	3.50	3.46	3.53	3.16	3.44	3.49	3.39	3.36	3.38	▲ 0.16	0.23		▲ 0.01
	専業主婦・主夫(312)	3.50	3.27	3.35	3.40	3.18	3.23	3.34	3.30	3.28	3.37	▲ 0.03	0.70		▲ 0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)	2.82	2.89	3.36	3.18	2.78	2.76	2.79	2.67	2.92	3.28	0.10	0.67		0.00
世帯構成	60歳以上の無職(661)	3.44	3.36	3.32	3.28	3.24	3.13	3.17	3.14	3.21	3.20	▲ 0.08	0.23		▲ 0.02
	ひとり暮らし(405)	3.39	3.32	3.25	3.28	3.37	3.11	3.26	3.23	3.40	3.38	0.11	0.20		0.01
	夫婦のみ(663)	3.36	3.29	3.35	3.31	3.29	3.21	3.26	3.22	3.34	3.23	▲ 0.08	0.20		▲ 0.02
	2世代世帯(1,233)	3.28	3.34	3.34	3.27	3.20	3.15	3.27	3.21	3.24	3.28	0.01	0.81		0.00
	3世代世帯(405)	3.40	3.41	3.45	3.38	3.30	3.26	3.32	3.29	3.33	3.20	▲ 0.19	0.01	**	▲ 0.02
	その他(161)	3.23	3.21	3.32	3.20	3.14	3.19	3.28	3.12	3.16	3.27	0.07	0.49		0.00
子の数	1人(355)	3.30	3.41	3.33	3.29	3.30	3.17	3.26	3.24	3.25	3.27	▲ 0.02	0.80		▲ 0.00
	2人(1,121)	3.35	3.29	3.37	3.35	3.27	3.25	3.26	3.22	3.29	3.28	▲ 0.07	0.12		▲ 0.03
	3人(587)	3.37	3.38	3.39	3.26	3.22	3.10	3.29	3.22	3.32	3.22	▲ 0.04	0.51		▲ 0.01
	4人以上(136)	3.36	3.39	3.35	3.31	3.29	3.24	3.45	3.48	3.37	3.22	▲ 0.09	0.48		▲ 0.00
	子どもはいない(682)	3.22	3.23	3.28	3.17	3.22	3.15	3.27	3.16	3.24	3.30	0.13	0.05	**	0.03
居住年数	10年未満(参考)(83)	3.15	3.04	3.14	2.94	3.26	3.11	3.30	3.07	3.09	3.33	0.39	0.06		0.01
	10～20年未満(109)	3.45	3.21	3.19	3.24	3.25	3.39	3.33	3.30	3.11	3.39	0.15	0.34		0.01
	20年以上(2,768)	3.32	3.33	3.36	3.30	3.25	3.17	3.27	3.23	3.30	3.26	▲ 0.03	0.27		▲ 0.03
広域振興圏	県央(920)	3.39	3.33	3.40	3.27	3.31	3.26	3.35	3.32	3.40	3.39	0.12	0.03	**	0.03
	県南(959)	3.32	3.37	3.47	3.31	3.28	3.21	3.27	3.25	3.31	3.32	0.01	0.87		0.00
	沿岸(732)	3.30	3.26	3.26	3.30	3.20	3.10	3.20	3.13	3.19	3.16	▲ 0.14	0.02	**	▲ 0.03
	県北(548)	3.29	3.30	3.20	3.25	3.19	3.07	3.26	3.13	3.16	3.13	▲ 0.12	0.10		▲ 0.02

() は、R7 調査のサンプル数

○分野別実感

⑫自然に恵まれていると感じますか。※H29意識調査からの設問

■: 上昇、■: 低下

		H28	H29	H30	H31 (計画開始年)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R7-H31 (対計画開始年差)	有意 確率	差が有意 (5%水準)	R7-H31 (寄与度)
県計(3,159)			4.26	4.27	4.21	4.16	4.18	4.23	4.21	4.21	4.23	0.02	0.42		0.02
性別	男性(1,395)		4.23	4.25	4.19	4.13	4.16	4.20	4.16	4.19	4.20	0.01	0.79		0.00
	女性(1,718)		4.29	4.28	4.23	4.18	4.20	4.25	4.24	4.24	4.26	0.02	0.42		0.01
	その他(参考)(6)					4.57	4.00	4.67	4.50	4.00	4.25				
年代	18～19歳(参考)(26)		4.35	4.42	4.60	4.53	4.37	4.37	4.71	4.20	4.56	▲ 0.04	0.82		▲ 0.00
	20～29歳(128)		4.37	4.36	4.20	4.20	4.21	4.37	4.24	4.29	4.53	0.33	0.00	**	0.01
	30～39歳(234)		4.28	4.31	4.22	4.33	4.24	4.37	4.27	4.22	4.27	0.05	0.53		0.00
	40～49歳(384)		4.30	4.42	4.30	4.16	4.22	4.36	4.33	4.32	4.33	0.03	0.59		0.00
	50～59歳(544)		4.30	4.38	4.27	4.25	4.24	4.27	4.29	4.30	4.34	0.07	0.16		0.01
	60～69歳(708)		4.24	4.18	4.17	4.09	4.19	4.19	4.16	4.22	4.17	0.00	0.93		0.00
	70歳以上(1,094)		4.20	4.14	4.17	4.10	4.08	4.10	4.10	4.11	4.12	▲ 0.05	0.26		▲ 0.02
職業	自営業主(256)		4.29	4.29	4.21	4.22	4.19	4.32	4.29	4.31	4.27	0.06	0.47		0.00
	家族従業員(参考)(87)		4.50	4.31	4.12	4.33	4.15	4.28	4.38	4.11	4.38	0.26	0.03	**	0.01
	会社役員・団体役員(193)		4.28	4.26	4.28	4.20	4.30	4.32	4.29	4.20	4.30	0.03	0.76		0.00
	常用雇用者(870)		4.30	4.33	4.25	4.21	4.24	4.31	4.30	4.31	4.35	0.09	0.02	**	0.03
	臨時雇用者(363)		4.36	4.31	4.31	4.22	4.16	4.23	4.13	4.21	4.20	▲ 0.11	0.09		▲ 0.01
	学生＋その他(139)		4.37	4.59	4.33	4.09	4.34	4.38	4.40	4.35	4.30	▲ 0.03	0.76		▲ 0.00
	専業主婦・主夫(312)		4.22	4.29	4.21	4.15	4.21	4.19	4.24	4.24	4.22	0.01	0.86		0.00
	60歳未満の無職(参考)(64)		4.07	4.41	4.31	3.92	3.82	4.25	4.10	4.21	4.24	▲ 0.07	0.67		▲ 0.00
世帯構成	60歳以上の無職(661)		4.09	4.04	4.09	4.04	4.07	4.02	4.02	4.04	4.06	▲ 0.03	0.59		▲ 0.01
	ひとり暮らし(405)		4.18	4.22	4.18	4.16	4.07	4.09	4.11	4.18	4.16	▲ 0.02	0.71		▲ 0.00
	夫婦のみ(663)		4.21	4.22	4.20	4.10	4.21	4.18	4.22	4.28	4.24	0.04	0.39		0.01
	2世代世帯(1,233)		4.29	4.28	4.22	4.19	4.16	4.29	4.23	4.20	4.25	0.03	0.39		0.01
	3世代世帯(405)		4.44	4.39	4.34	4.29	4.29	4.30	4.33	4.27	4.30	▲ 0.04	0.51		▲ 0.00
子の数	その他(161)		4.14	4.24	4.13	4.09	4.30	4.20	4.06	4.15	4.17	0.03	0.72		0.00
	1人(355)		4.28	4.25	4.21	4.16	4.24	4.23	4.20	4.12	4.28	0.07	0.26		0.01
	2人(1,121)		4.24	4.25	4.25	4.16	4.19	4.20	4.21	4.22	4.20	▲ 0.05	0.14		▲ 0.02
	3人(587)		4.28	4.30	4.23	4.16	4.18	4.28	4.27	4.23	4.23	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00
	4人以上(136)		4.32	4.28	4.25	4.22	4.18	4.23	4.25	4.29	4.27	0.02	0.86		0.00
	子どもはいない(682)		4.27	4.30	4.14	4.19	4.18	4.28	4.21	4.26	4.31	0.17	0.00	**	0.04
居住年数	10年未満(参考)(83)		4.16	4.22	4.20	4.46	4.24	4.38	4.26	4.01	4.25	0.04	0.74		0.00
	10～20年未満(109)		4.21	4.29	4.24	4.31	4.35	4.24	4.42	4.21	4.34	0.10	0.41		0.00
	20年以上(2,768)		4.27	4.27	4.22	4.15	4.17	4.23	4.21	4.22	4.23	0.02	0.46		0.02
広域振興圏	県央(920)		4.26	4.28	4.19	4.20	4.16	4.23	4.27	4.26	4.27	0.09	0.04	**	0.02
	県南(959)		4.22	4.26	4.15	4.11	4.15	4.17	4.17	4.13	4.19	0.04	0.34		0.01
	沿岸(732)		4.25	4.25	4.26	4.13	4.21	4.24	4.15	4.23	4.22	▲ 0.03	0.49		▲ 0.01
	県北(548)		4.37	4.27	4.31	4.23	4.22	4.31	4.28	4.25	4.24	▲ 0.07	0.21		▲ 0.01

() は、R7 調査のサンプル数

サンプル数

		H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
県計		3,576	3,422	3,260	3,327	3,387	3,549	3,324	2,942	2,861	3,159
性別	男性	1,480	1,450	1,389	1,611	1,494	1,561	1,439	1,266	1,316	1,395
	女性	1,929	1,907	1,832	1,693	1,807	1,949	1,868	1,640	1,510	1,718
	その他(参考)					8	6	3	8	2	6
年代	18～19歳(参考)		47	49	38	43	53	52	36	20	26
	20～29歳	209	203	189	166	160	200	192	129	123	128
	30～39歳	372	330	293	293	273	320	293	249	210	234
	40～49歳	497	506	454	429	432	499	457	414	371	384
	50～59歳	617	617	521	553	598	604	525	507	479	544
	60～69歳	811	838	733	752	805	766	705	605	638	708
	70歳以上	904	822	841	986	1,028	1,009	1,005	985	1,008	1,094
職業	自営業主	295	276	249	309	291	282	298	212	237	256
	家族従業者(参考)	147	149	115	95	136	119	86	90	81	87
	会社役員・団体役員	198	190	185	207	198	240	222	185	178	193
	常用雇用者	938	965	917	885	885	1,025	890	835	812	870
	臨時雇用者	403	421	346	390	432	440	430	347	326	363
	学生＋その他	149	184	153	171	195	119	181	131	122	139
	専業主婦・主夫	435	449	373	340	416	403	327	324	331	312
	60歳未満の無職(参考)	91	61	57	62	64	77	64	62	57	64
	60歳以上の無職	723	647	661	716	686	697	684	561	605	661
世帯構成	ひとり暮らし	373	337	353	402	374	431	372	330	374	405
	夫婦のみ	760	765	702	757	765	718	686	651	645	663
	2世代世帯	1,174	1,278	1,125	1,143	1,212	1,437	1,396	1,167	1,141	1,233
	3世代世帯	570	502	478	461	469	548	474	391	348	405
	その他	450	452	375	410	393	184	175	134	149	161
子の人数	1人	460	444	381	428	442	450	450	375	376	355
	2人	1,297	1,251	1,158	1,232	1,227	1,270	1,171	1,023	1,043	1,121
	3人	673	711	615	637	646	682	631	514	562	587
	4人以上	179	182	134	160	168	159	132	129	111	136
	子どもはいない	747	743	745	710	725	802	735	618	595	682
居住年数	10年未満(参考)	104	118	107	101	95	100	87	99	84	83
	10～20年未満	138	151	149	125	131	145	166	113	100	109
	20年以上	3,142	3,063	2,799	2,961	2,994	3,174	2,958	2,544	2,590	2,768
広域 振興圏	県央	1,014	976	905	938	966	1,011	962	872	866	920
	県南	1,065	1,039	983	1,014	993	1,080	1,002	869	846	959
	沿岸	890	821	788	800	837	833	801	711	655	732
	県北	607	586	584	575	591	625	559	490	494	548

<属性別>

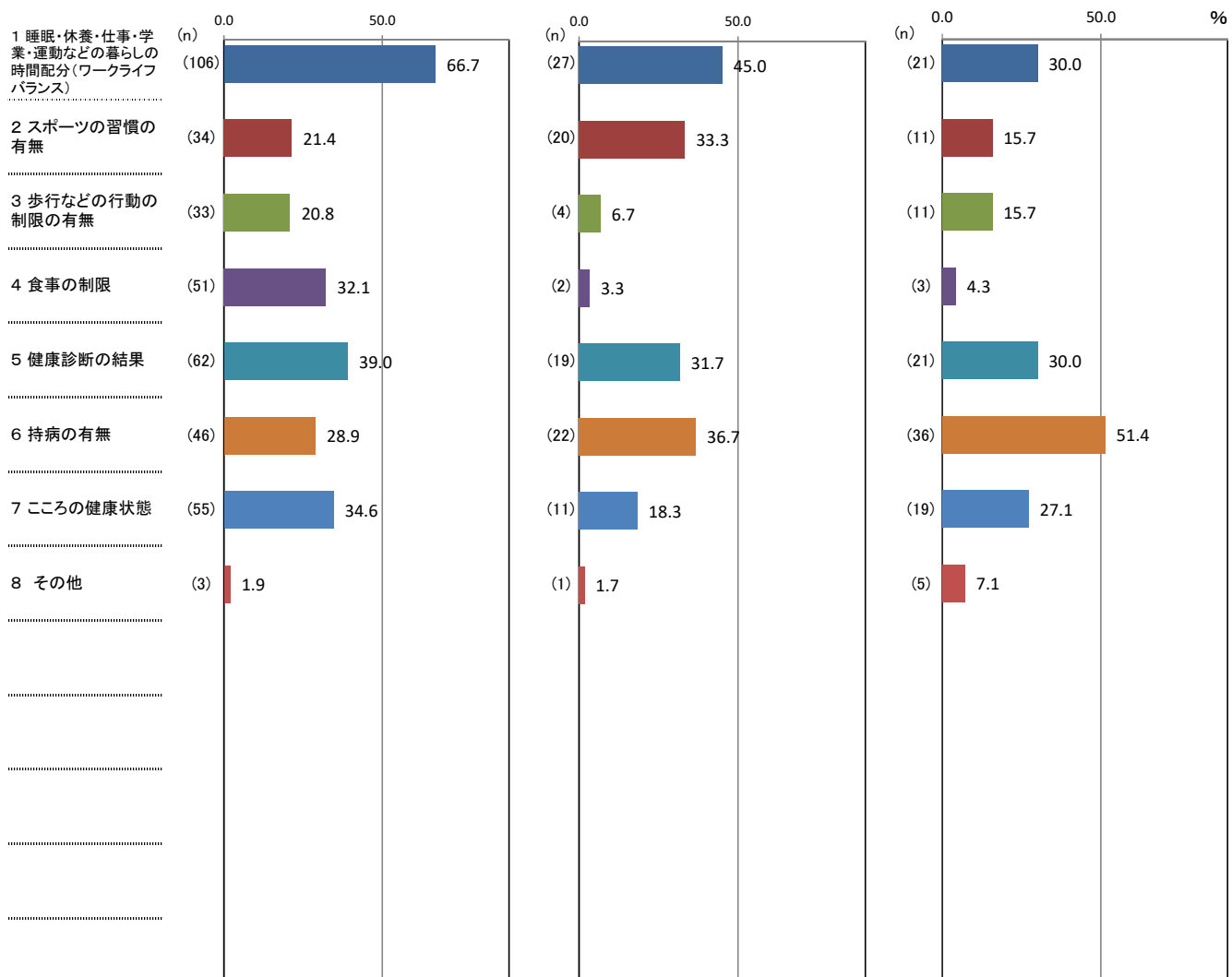
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)<男性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (390) 159 人	②「どちらともいえない」の回答 (106) 60 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (127) 70 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (106)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (27)	6 持病の有無 (36)
2	5 健康診断の結果 (62)	6 持病の有無 (22)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (21)
3	7 こころの健康状態 (55)	2 スポーツの習慣の有無 (20)	5 健康診断の結果 (21)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1))-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<男性>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		66.7	21.4	20.8	32.1	39.0	28.9	34.6	1.9
②「どちらともいえない」		45.0	33.3	6.7	3.3	31.7	36.7	18.3	1.7
③「あまり感じない・感じない」		30.0	15.7	15.7	4.3	30.0	51.4	27.1	7.1

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=159人)	390	106	34	33	51	62	46	55	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=60人)	106	27	20	4	2	19	22	11	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=70人)	127	21	11	11	3	21	36	19	5

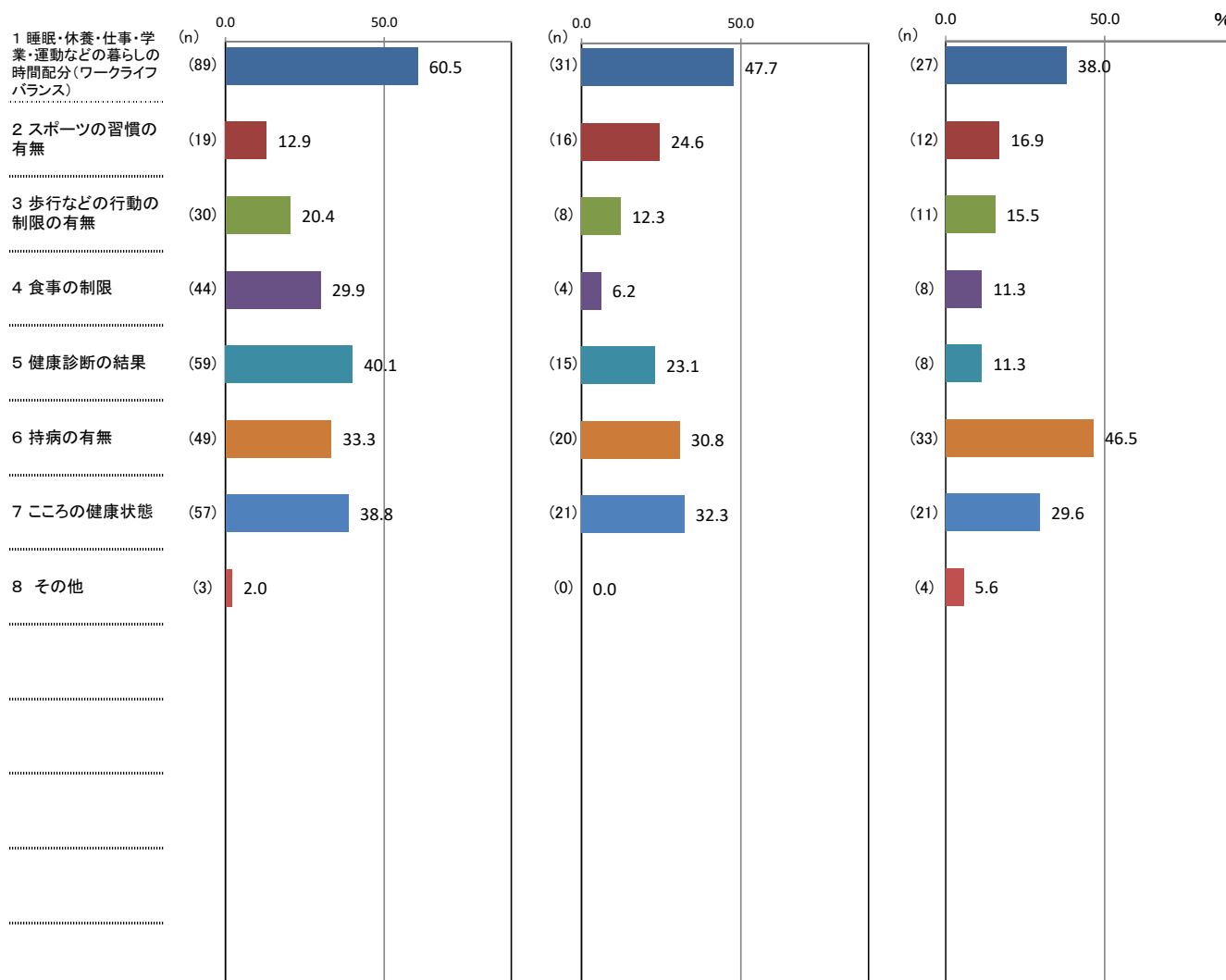
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (390) 147 人	②「どちらともいえない」の回答 (106) 65 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (127) 71 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (89)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (31)	6 持病の有無 (33)
2	5 健康診断の結果 (59)	7 こころの健康状態 (21)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (27)
3	7 こころの健康状態 (57)	6 持病の有無 (20)	7 こころの健康状態 (21)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<女性>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		60.5	12.9	20.4	29.9	40.1	33.3	38.8	2.0
②「どちらともいえない」		47.7	24.6	12.3	6.2	23.1	30.8	32.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		38.0	16.9	15.5	11.3	11.3	46.5	29.6	5.6

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=147人)	350	89	19	30	44	59	49	57	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=65人)	115	31	16	8	4	15	20	21	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=71人)	124	27	12	11	8	8	33	21	4

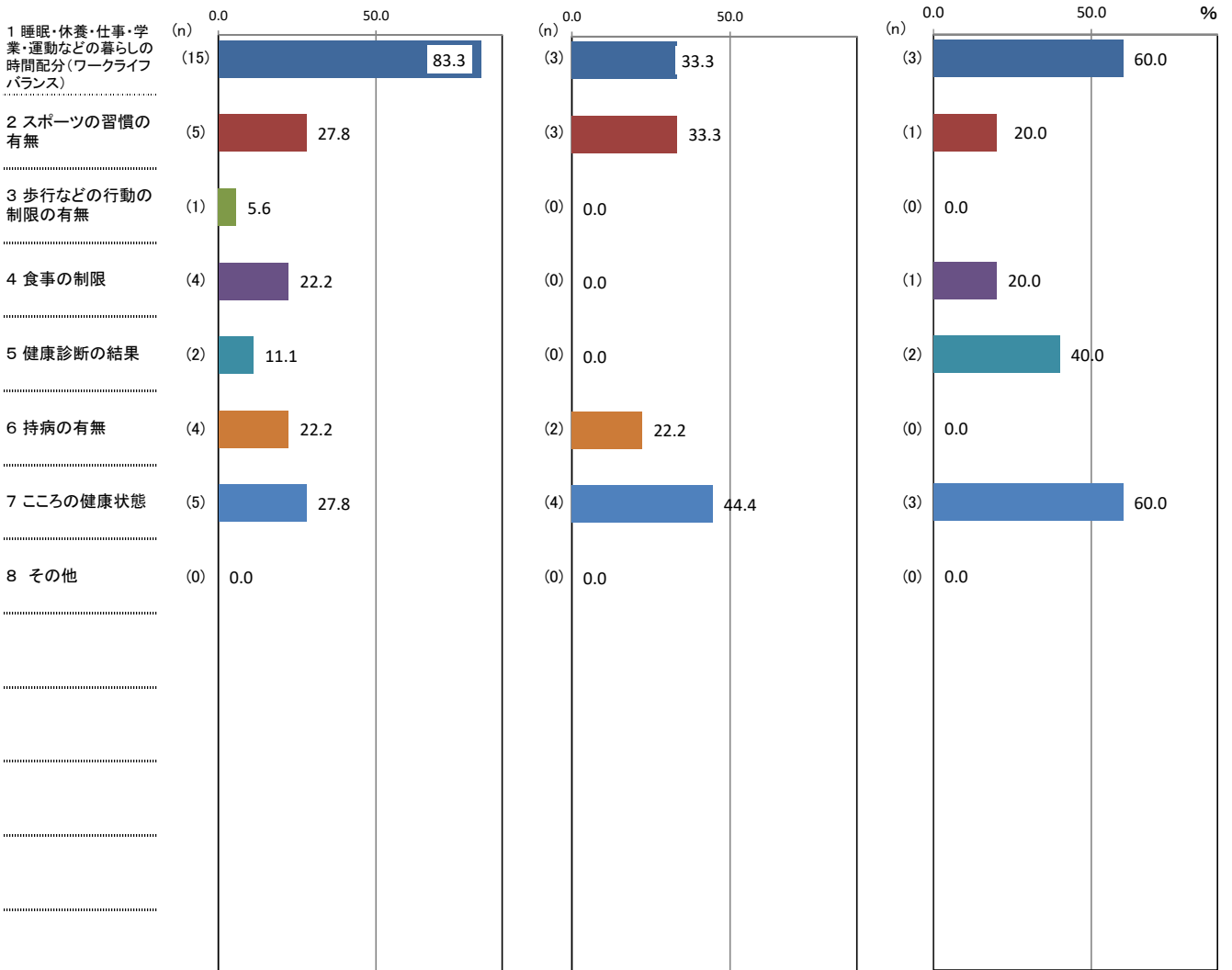
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (36) 18 人	②「どちらともいえない」の回答 (12) 9 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (10) 5 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (15)	7 こころの健康状態 (4)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (3)
2	2 スポーツの習慣の有無 (5)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (3)	7 こころの健康状態 (3)
3	7 こころの健康状態 (5)	2 スポーツの習慣の有無 (3)	5 健康診断の結果 (2)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<20～29歳>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		83.3	27.8	5.6	22.2	11.1	22.2	27.8	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	44.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		60.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	60.0	0.0

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=18人)	36	15	5	1	4	2	4	5	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=9人)	12	3	3	0	0	0	2	4	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=5人)	10	3	1	0	1	2	0	3	0

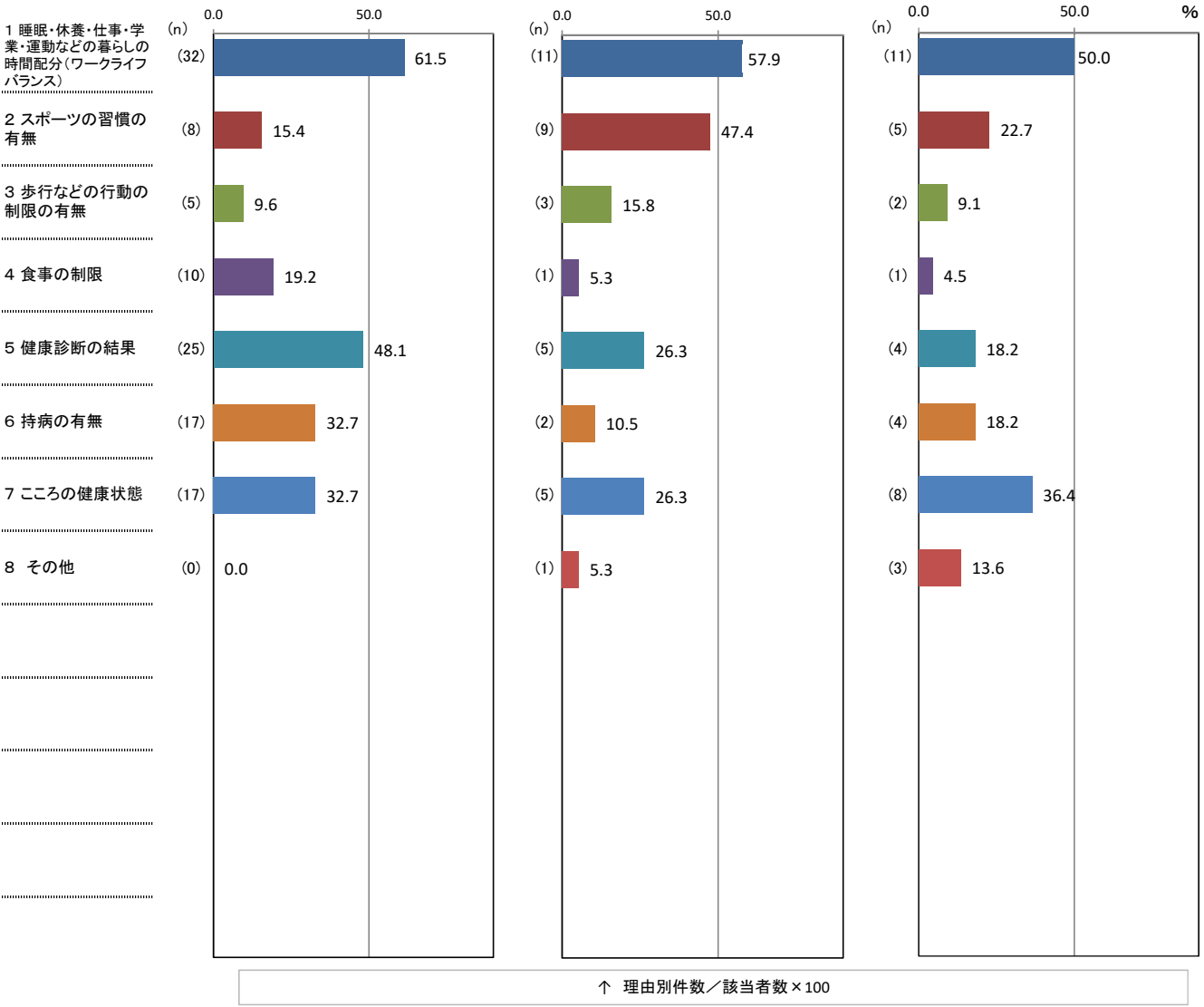
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜30～39歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (114) 52 人	②「どちらともいえない」の回答 (37) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (38) 22 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (32)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)
2	5 健康診断の結果 (25)	2 スポーツの習慣の有無 (9)	7 こころの健康状態 (8)
3	6 持病の有無 (17) 3位	5 健康診断の結果 (5) 3位	2 スポーツの習慣の有無 (5)
	7 こころの健康状態 (17)	7 こころの健康状態 (5)	

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<30～39歳>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		61.5	15.4	9.6	19.2	48.1	32.7	32.7	0.0
②「どちらともいえない」		57.9	47.4	15.8	5.3	26.3	10.5	26.3	5.3
③「あまり感じない・感じない」		50.0	22.7	9.1	4.5	18.2	18.2	36.4	13.6

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=52人)	114	32	8	5	10	25	17	17	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=19人)	37	11	9	3	1	5	2	5	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=22人)	38	11	5	2	1	4	4	8	3

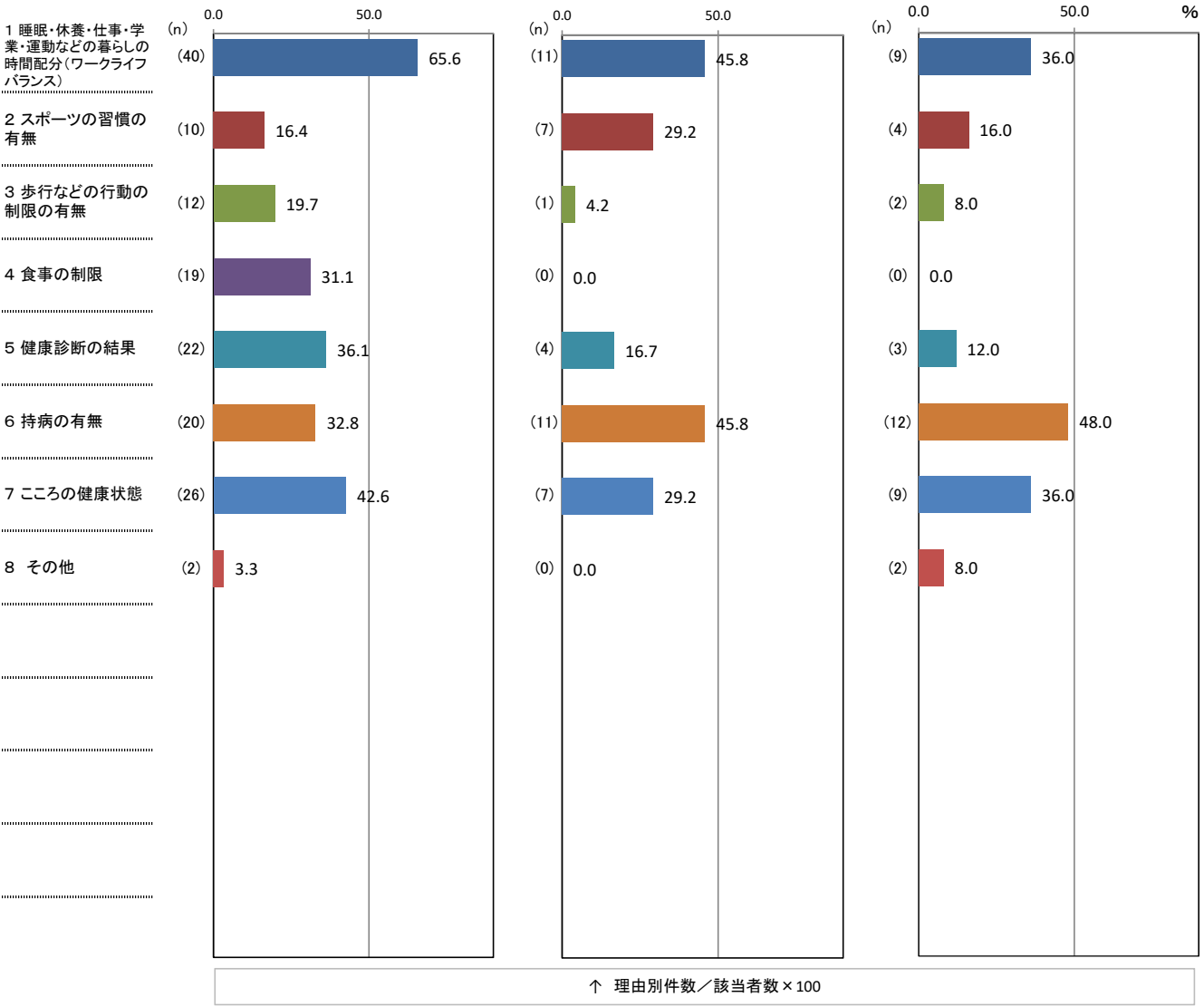
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (151) 61 人	②「どちらともいえない」の回答 (41) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (41) 25 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (40)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)	6 持病の有無 (12)
2	7 こころの健康状態 (26)	6 持病の有無 (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)
3	5 健康診断の結果 (22)	2 スポーツの習慣の有無 (7)	7 こころの健康状態 (9)
		7 こころの健康状態 (7)	

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<50～59歳>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		65.6	16.4	19.7	31.1	36.1	32.8	42.6	3.3
②「どちらともいえない」		45.8	29.2	4.2	0.0	16.7	45.8	29.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		36.0	16.0	8.0	0.0	12.0	48.0	36.0	8.0

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=61人)	151	40	10	12	19	22	20	26	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=24人)	41	11	7	1	0	4	11	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=25人)	41	9	4	2	0	3	12	9	2

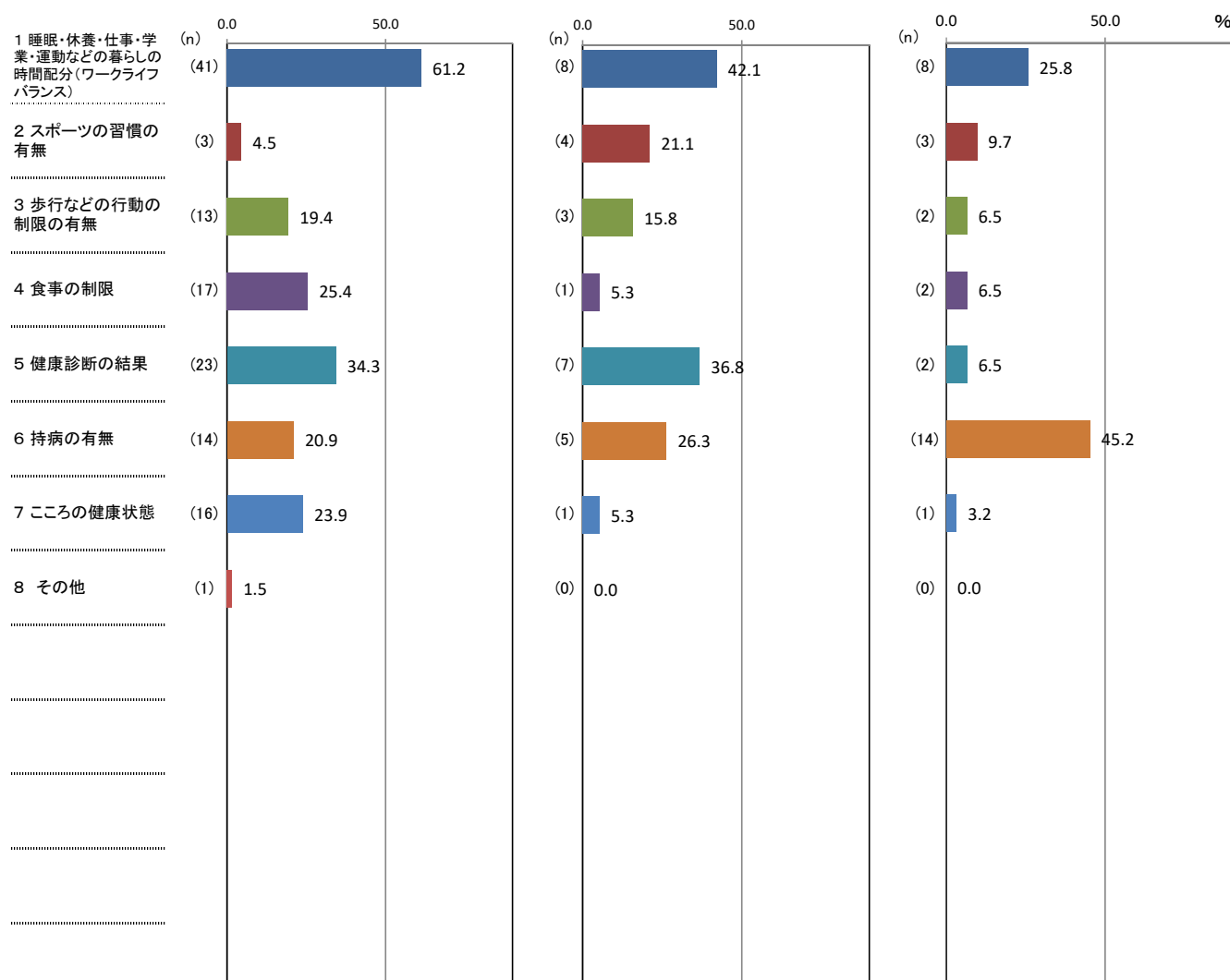
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (128) 67 人	②「どちらともいえない」の回答 (29) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (32) 31 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (41)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)	6 持病の有無 (14)
2	5 健康診断の結果 (23)	5 健康診断の結果 (7)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)
3	4 食事の制限 (17)	6 持病の有無 (5)	2 スポーツの習慣の有無 (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<60～69歳>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		61.2	4.5	19.4	25.4	34.3	20.9	23.9	1.5
②「どちらともいえない」		42.1	21.1	15.8	5.3	36.8	26.3	5.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.8	9.7	6.5	6.5	6.5	45.2	3.2	0.0

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 校・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=67人)	128	41	3	13	17	23	14	16	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=19人)	29	8	4	3	1	7	5	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=31人)	32	8	3	2	2	2	14	1	0

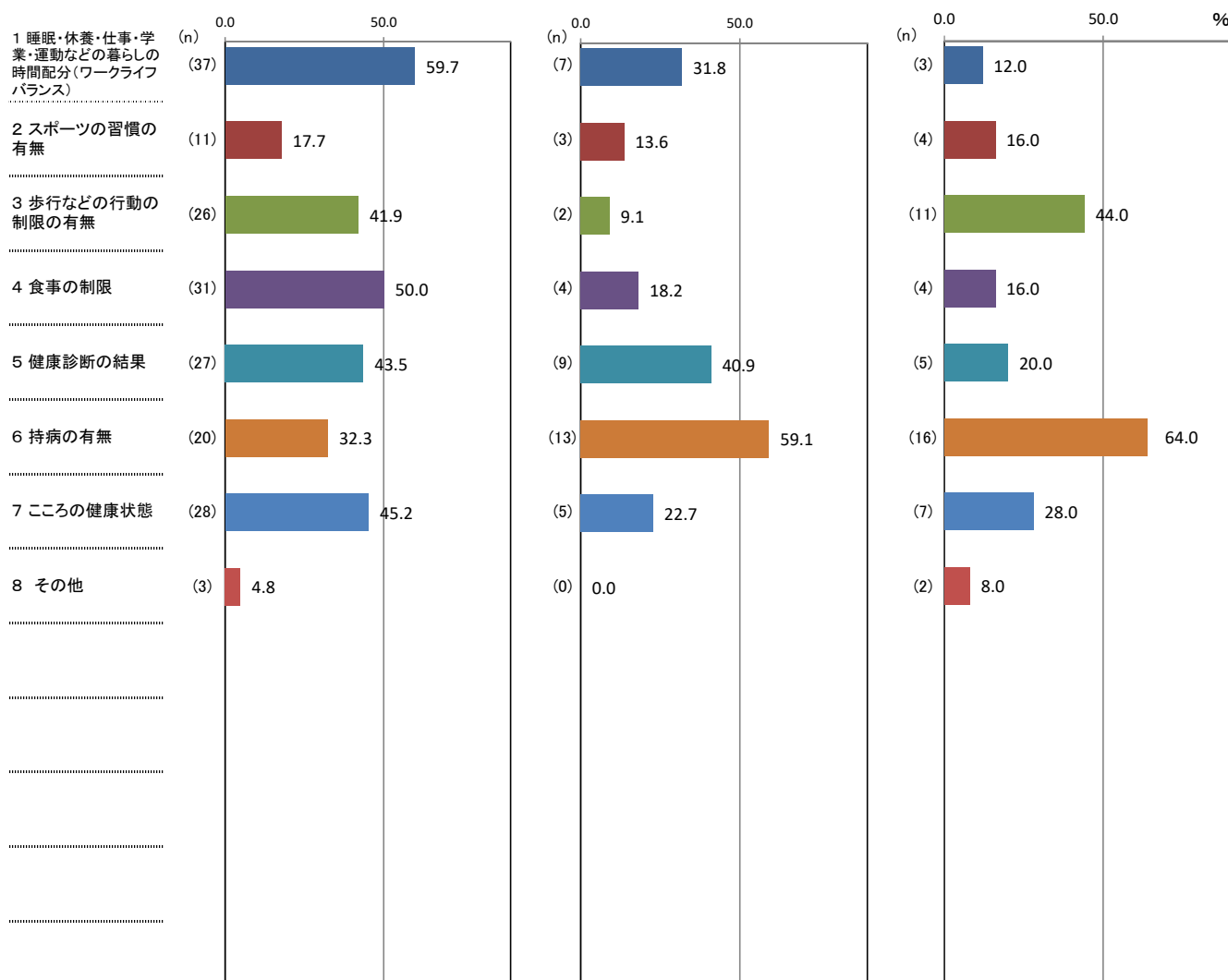
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (183) 62 人	②「どちらともいえない」の回答 (43) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (52) 25 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (37)	6 持病の有無 (13)	6 持病の有無 (16)
2	4 食事の制限 (31)	5 健康診断の結果 (9)	3 歩行などの行動の制限の有無 (11)
3	7 こころの健康状態 (28)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (7)	7 こころの健康状態 (7)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<70歳以上>		(%)							
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クラライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		59.7	17.7	41.9	50.0	43.5	32.3	45.2	4.8
②「どちらともいえない」		31.8	13.6	9.1	18.2	40.9	59.1	22.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		12.0	16.0	44.0	16.0	20.0	64.0	28.0	8.0

(件)

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=62人)	183	37	11	26	31	27	20	28	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=22人)	43	7	3	2	4	9	13	5	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=25人)	52	3	4	11	4	5	16	7	2

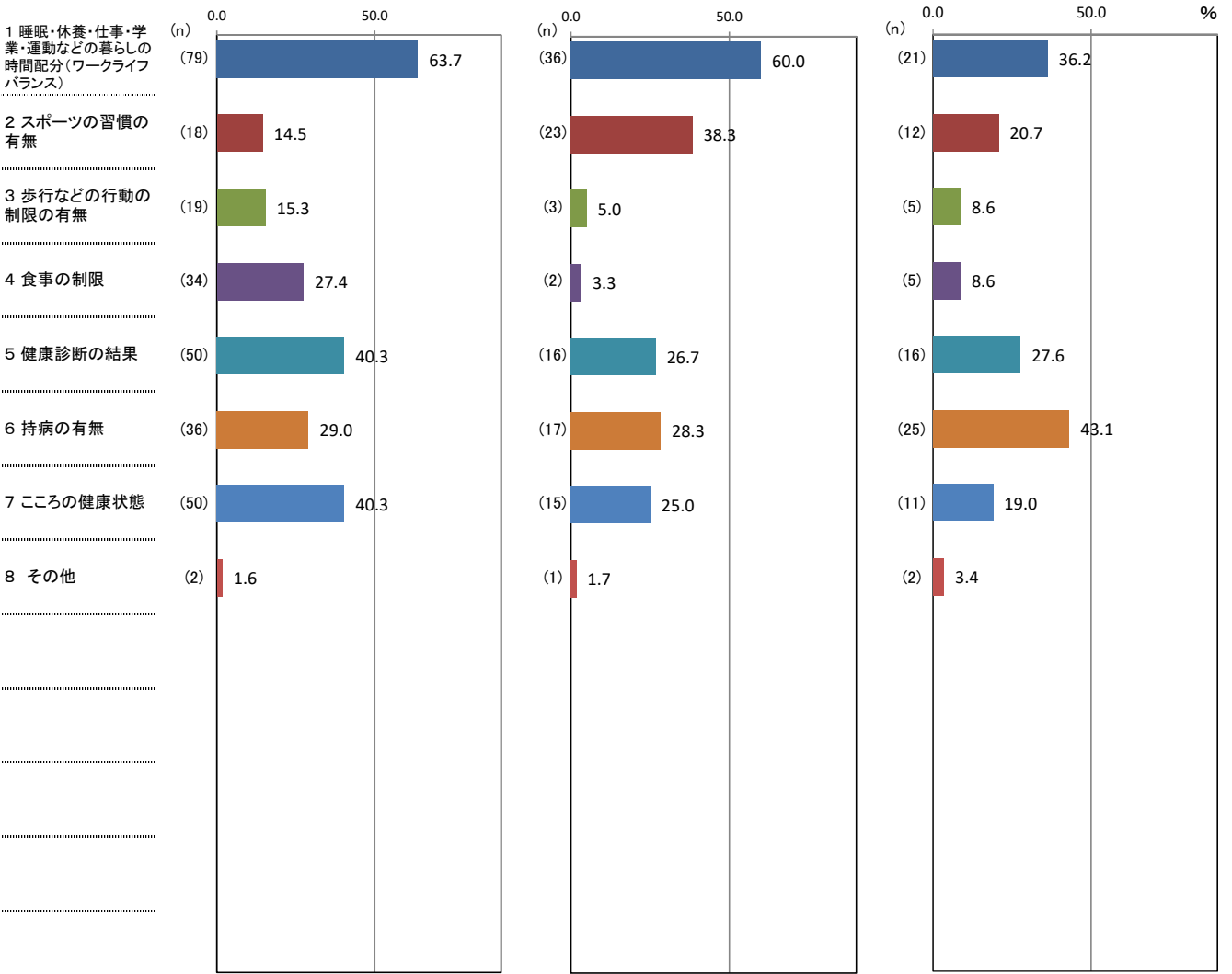
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (288) 124 人	②「どちらともいえない」の回答 (113) 60 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (97) 58 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (79)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (36)	6 持病の有無 (25)
2	5 健康診断の結果 (50) 2位	2 スポーツの習慣の有無 (23)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (21)
3	7 こころの健康状態 (50)	6 持病の有無 (17)	5 健康診断の結果 (16)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<常用雇用者>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		63.7	14.5	15.3	27.4	40.3	29.0	40.3	1.6
②「どちらともいえない」		60.0	38.3	5.0	3.3	26.7	28.3	25.0	1.7
③「あまり感じない・感じない」		36.2	20.7	8.6	8.6	27.6	43.1	19.0	3.4

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=124人)	288	79	18	19	34	50	36	50	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=60人)	113	36	23	3	2	16	17	15	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=58人)	97	21	12	5	5	16	25	11	2

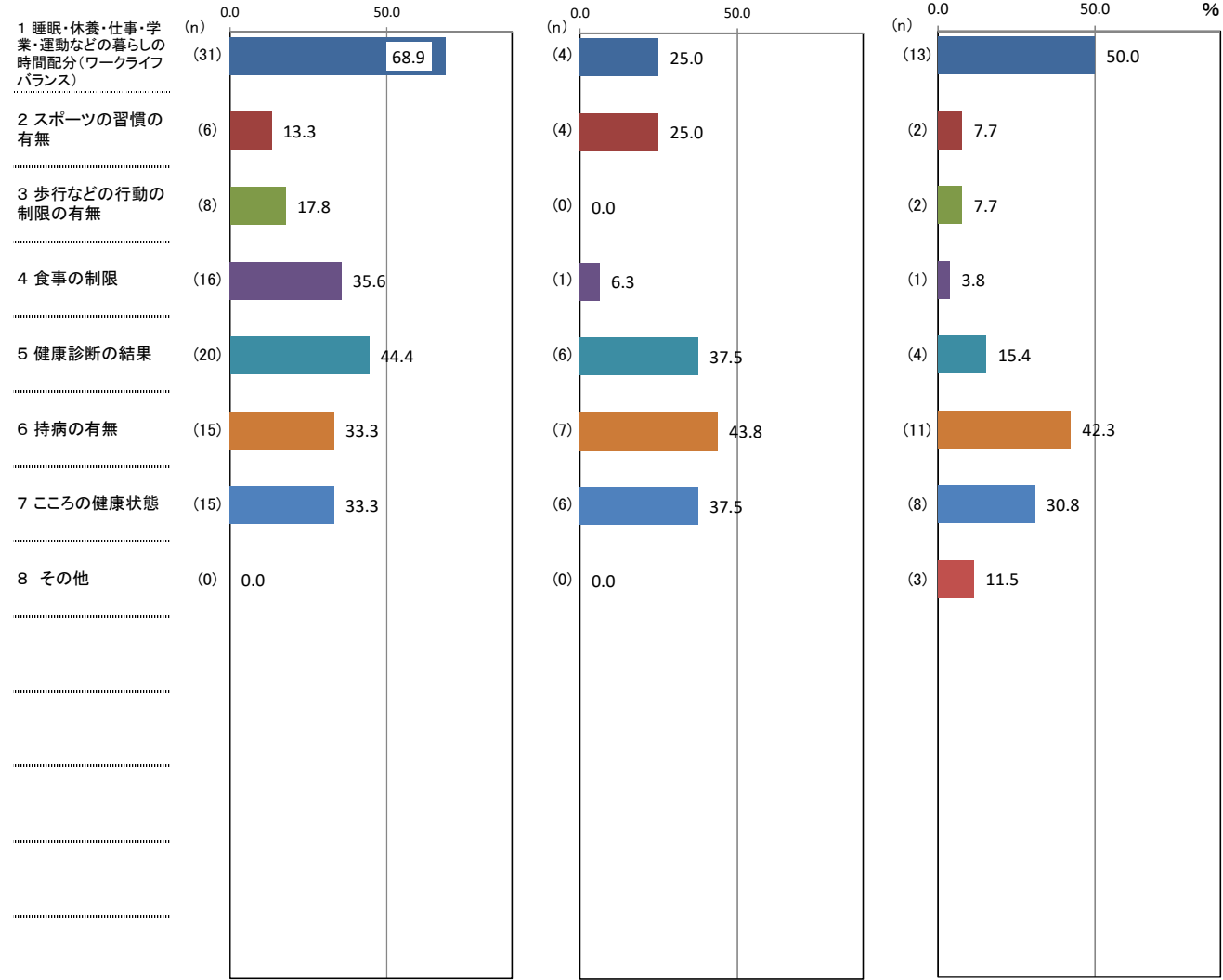
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 45 人 (111)	②「どちらともいえない」の回答 16 人 (28)	③「あまり感じない・感じない」の回答 26 人 (44)
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (31)	6 持病の有無 (7)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (13)
2	5 健康診断の結果 (20)	5 健康診断の結果 (6)	6 持病の有無 (11)
3	4 食事の制限 (16)	7 こころの健康状態 (6)	7 こころの健康状態 (8)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜随時雇用者＞									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		68.9	13.3	17.8	35.6	44.4	33.3	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	25.0	0.0	6.3	37.5	43.8	37.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	7.7	7.7	3.8	15.4	42.3	30.8	11.5

(件)									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=45人)	111	31	6	8	16	20	15	15	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=16人)	28	4	4	0	1	6	7	6	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=26人)	44	13	2	2	1	4	11	8	3

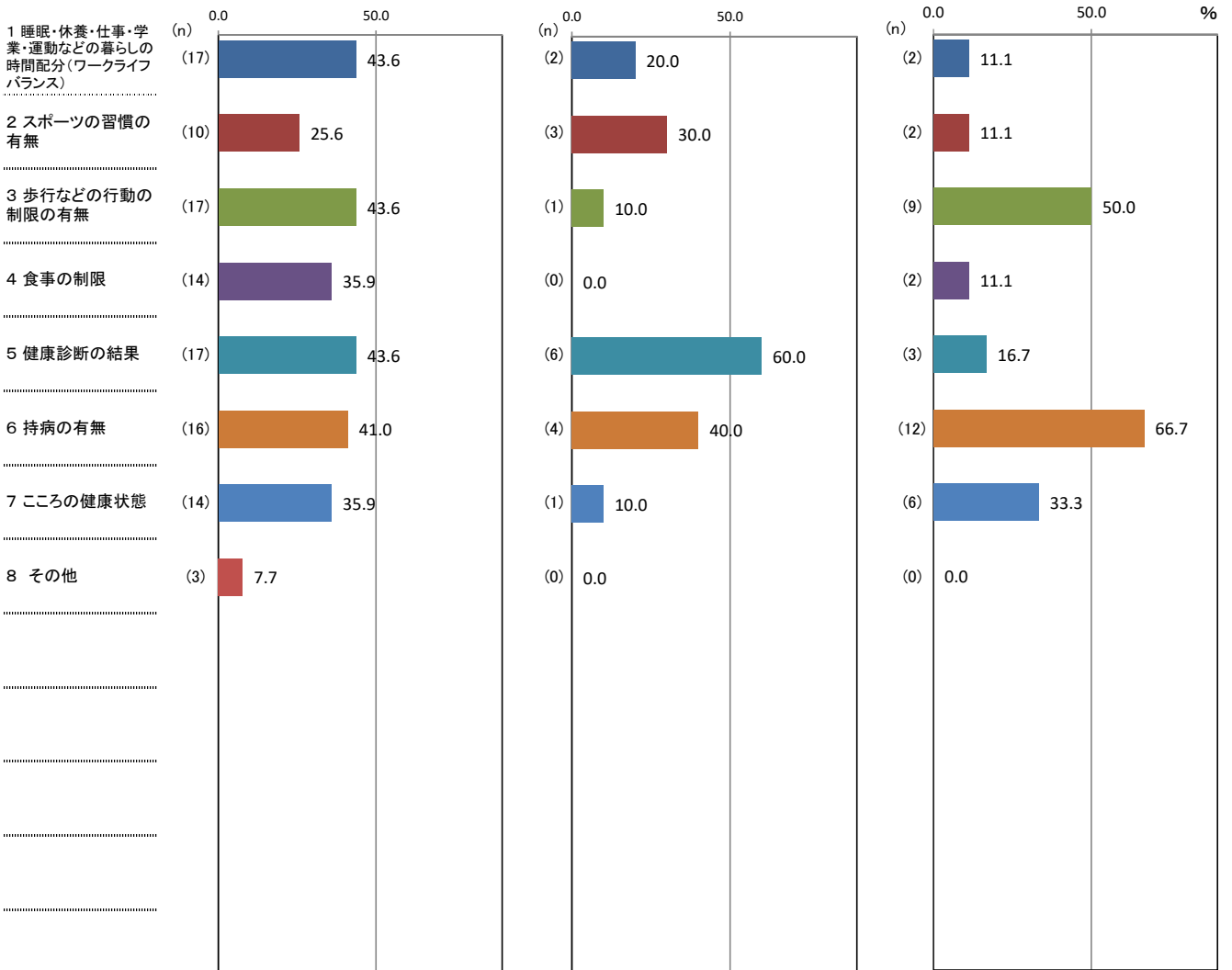
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (108) 39 人	②「どちらともいえない」の回答 (17) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (36) 18 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (17)	5 健康診断の結果 (6)	6 持病の有無 (12)
2	3 歩行などの行動の制限の有無 (17)	6 持病の有無 (4)	3 歩行などの行動の制限の有無 (9)
3	5 健康診断の結果 (17)	2 スポーツの習慣の有無 (3)	7 こころの健康状態 (6)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<60歳以上の無職>									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		43.6	25.6	43.6	35.9	43.6	41.0	35.9	7.7
②「どちらともいえない」		20.0	30.0	10.0	0.0	60.0	40.0	10.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		11.1	11.1	50.0	11.1	16.7	66.7	33.3	0.0

(件)									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=39人)	108	17	10	17	14	17	16	14	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=10人)	17	2	3	1	0	6	4	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=18人)	36	2	2	9	2	3	12	6	0

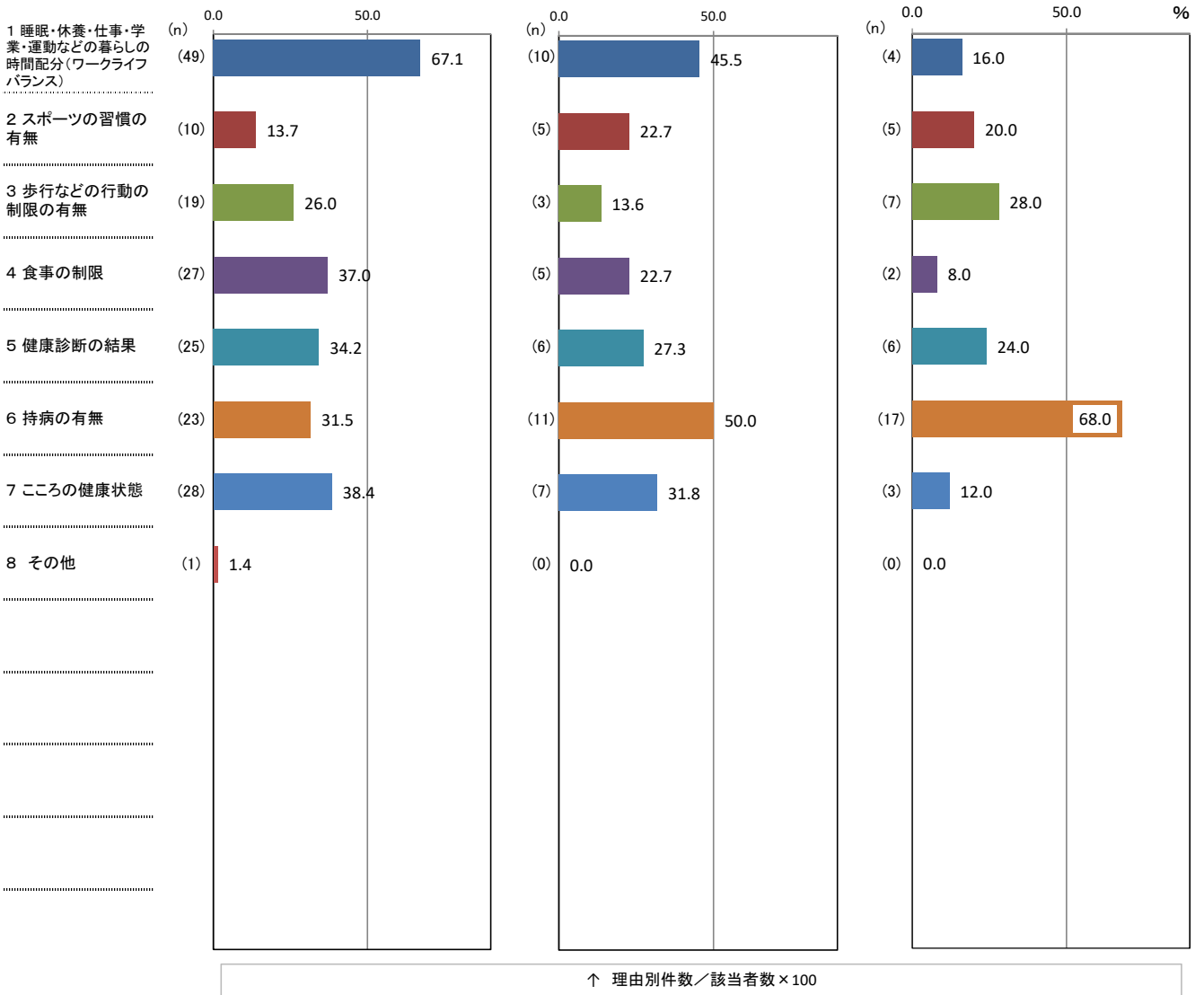
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (182) 73 人	②「どちらともいえない」の回答 (47) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 25 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (49)	6 持病の有無 (11)	6 持病の有無 (17)
2	7 こころの健康状態 (28)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (10)	3 歩行などの行動の制限の有無 (7)
3	4 食事の制限 (27)	7 こころの健康状態 (7)	5 健康診断の結果 (6)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<夫婦のみ>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 心身の健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		67.1	13.7	26.0	37.0	34.2	31.5	38.4	1.4
②「どちらともいえない」		45.5	22.7	13.6	22.7	27.3	50.0	31.8	0.0
③「あまり感じない・感じない」		16.0	20.0	28.0	8.0	24.0	68.0	12.0	0.0

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 心身の健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=73人)	182	49	10	19	27	25	23	28	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=22人)	47	10	5	3	5	6	11	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=25人)	44	4	5	7	2	6	17	3	0

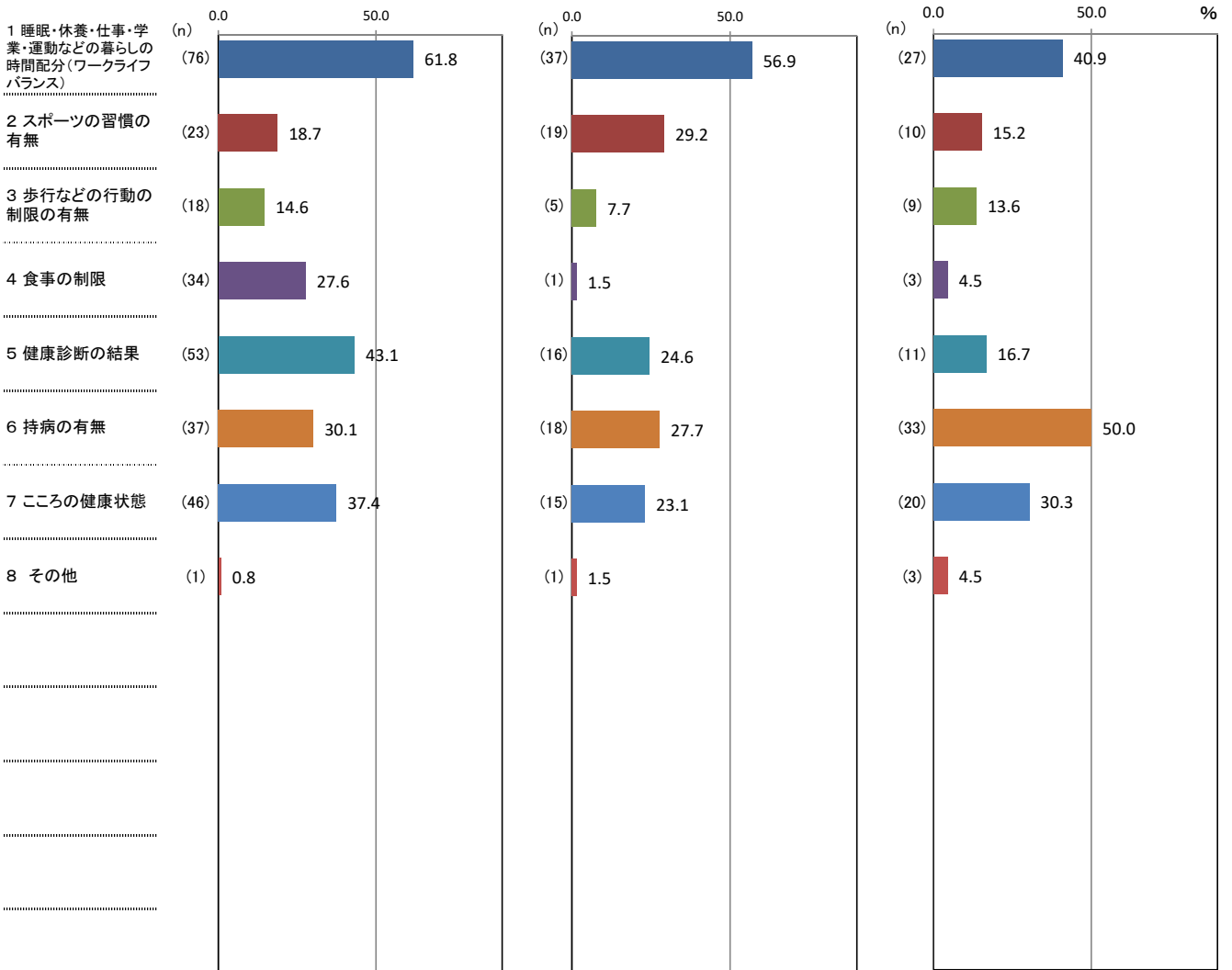
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (288) 123 人	②「どちらともいえない」の回答 (112) 65 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (116) 66 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (76)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (37)	6 持病の有無 (33)
2	5 健康診断の結果 (53)	2 スポーツの習慣の有無 (19)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (27)
3	7 こころの健康状態 (46)	6 持病の有無 (18)	7 こころの健康状態 (20)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<2世代世帯>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		61.8	18.7	14.6	27.6	43.1	30.1	37.4	0.8
②「どちらともいえない」		56.9	29.2	7.7	1.5	24.6	27.7	23.1	1.5
③「あまり感じない・感じない」		40.9	15.2	13.6	4.5	16.7	50.0	30.3	4.5

(件)

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=123人)	288	76	23	18	34	53	37	46	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=65人)	112	37	19	5	1	16	18	15	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=66人)	116	27	10	9	3	11	33	20	3

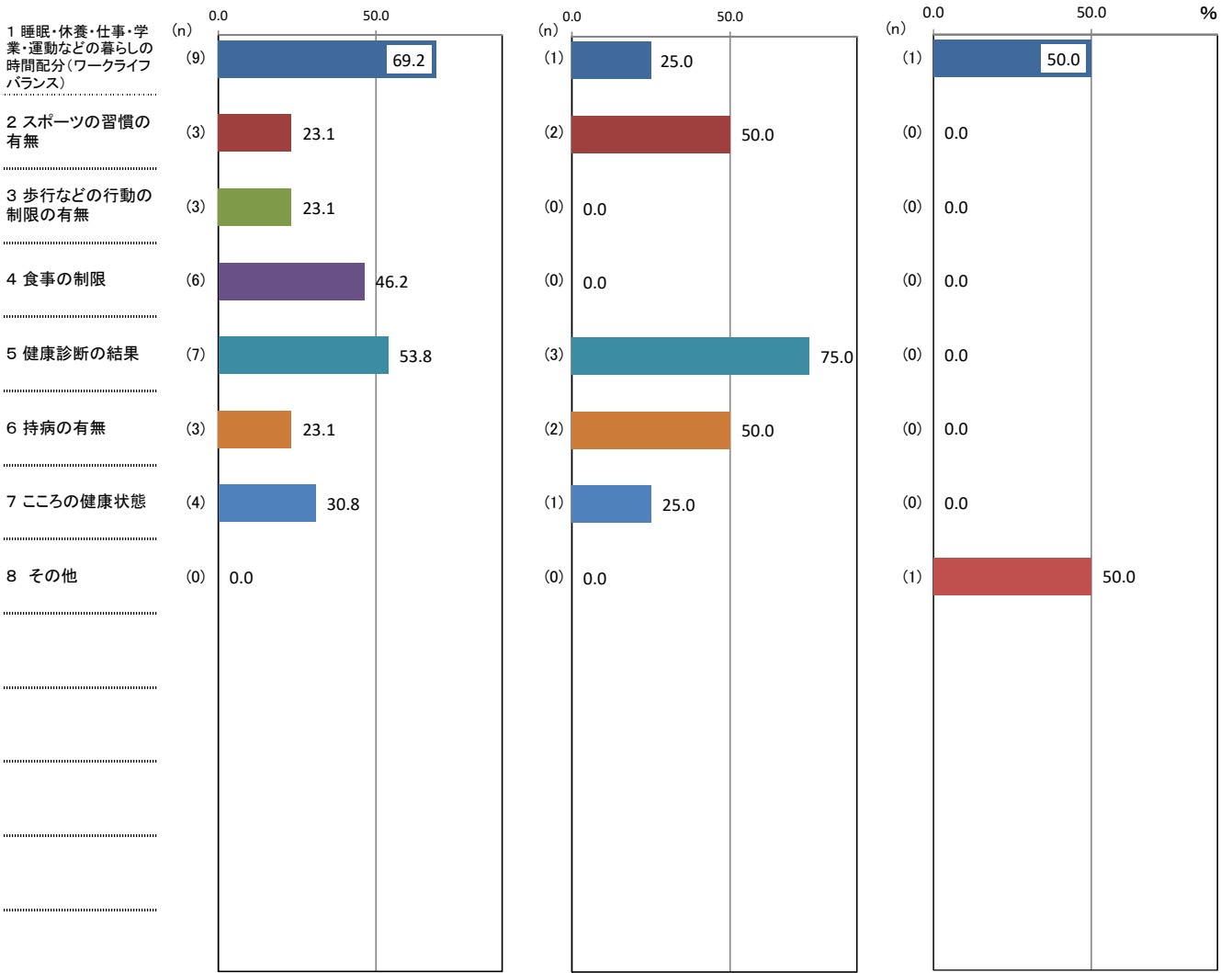
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜その他＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (35) 13 人	②「どちらともいえない」の回答 (9) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 2 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)	5 健康診断の結果 (3)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (1)
2	5 健康診断の結果 (7)	2 スポーツの習慣の有無 (2)	8 その他 (1)
3	4 食事の制限 (6)	6 持病の有無 (2)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜その他＞		(%)							
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		69.2	23.1	23.1	46.2	53.8	23.1	30.8	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	50.0	0.0	0.0	75.0	50.0	25.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

		(件)							
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クラライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 こころの健 康状態	8 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝13人)	35	9	3	3	6	7	3	4	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝4人)	9	1	2	0	0	3	2	1	0
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数＝2人)	2	1	0	0	0	0	0	0	1

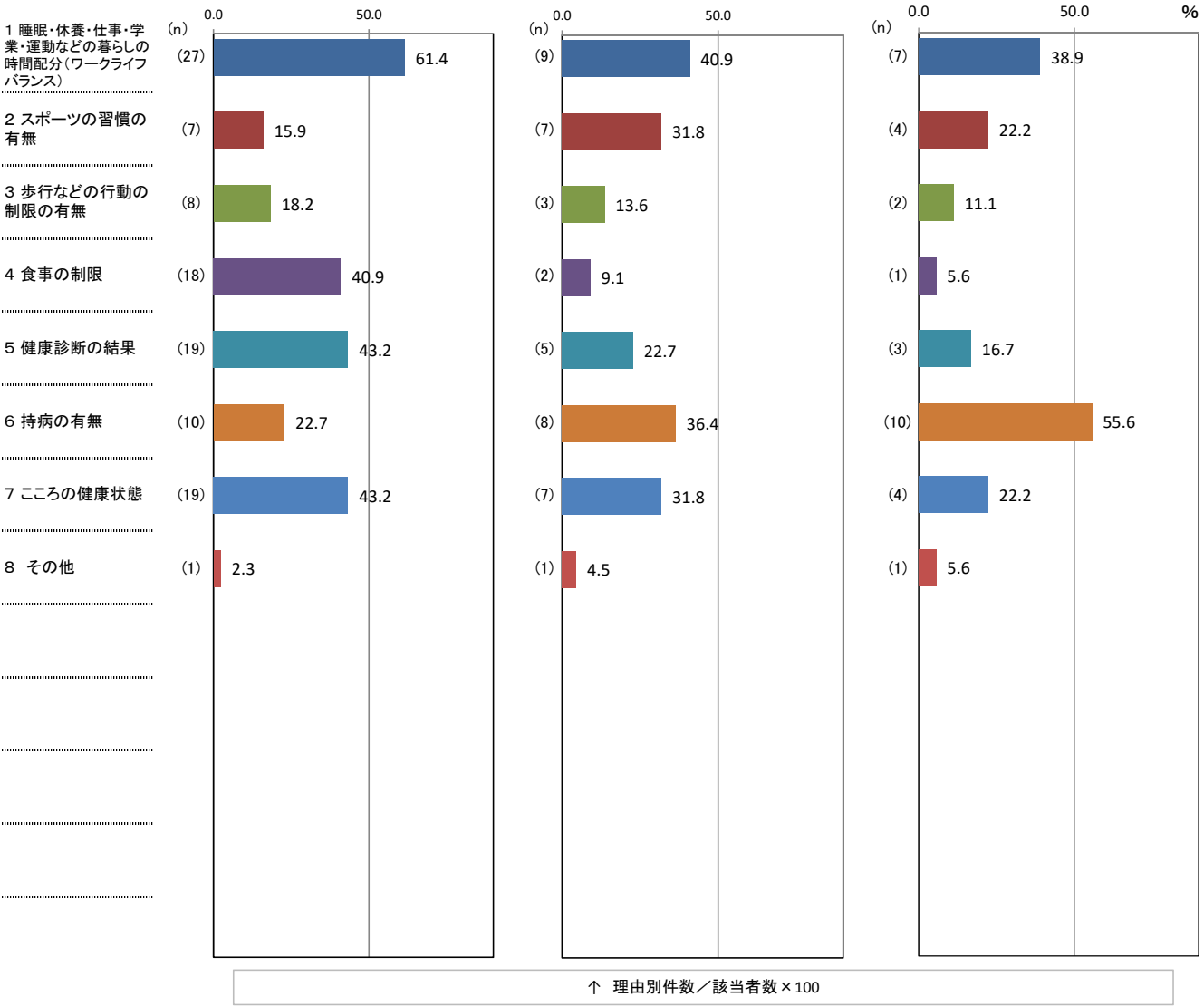
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜子どもの数1人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (109) 44 人	②「どちらともいえない」の回答 (42) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (32) 18 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (27)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)	6 持病の有無 (10)
2	5 健康診断の結果 (19) 2位	6 持病の有無 (8)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (7)
3	7 こころの健康状態 (19)	2 スポーツの習慣の有無 (7) 3位	2 スポーツの習慣の有無 (4)
		7 こころの健康状態 (7)	7 こころの健康状態 (4) 3位

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもの数1人＞									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		61.4	15.9	18.2	40.9	43.2	22.7	43.2	2.3
②「どちらともいえない」		40.9	31.8	13.6	9.1	22.7	36.4	31.8	4.5
③「あまり感じない・感じない」		38.9	22.2	11.1	5.6	16.7	55.6	22.2	5.6

(件)									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=44人)	109	27	7	8	18	19	10	19	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=22人)	42	9	7	3	2	5	8	7	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=18人)	32	7	4	2	1	3	10	4	1

(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

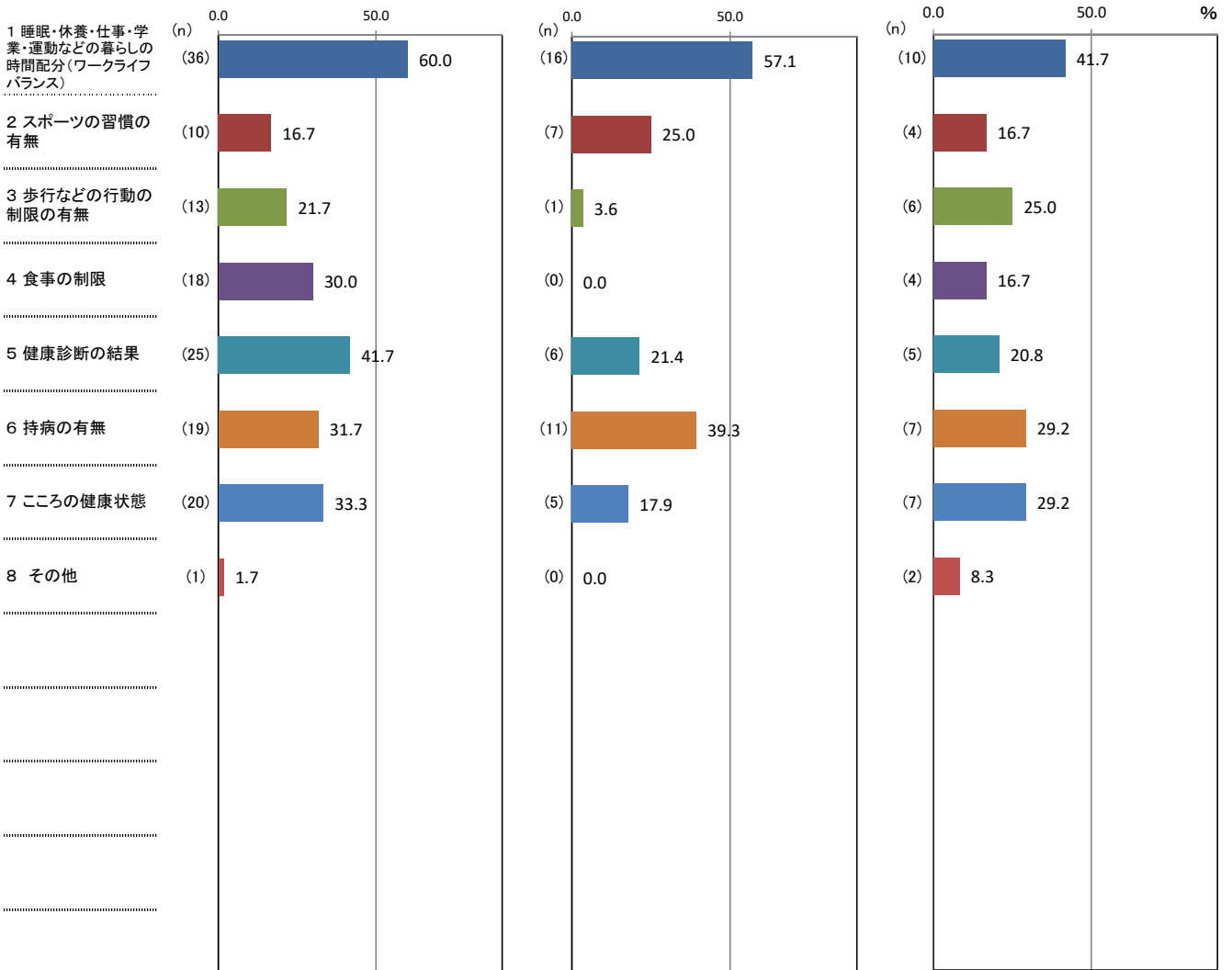
①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜子どもの数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (142) 60 人	②「どちらともいえない」の回答 (46) 28 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (45) 24 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (36)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (16)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (10)
2	5 健康診断の結果 (25)	6 持病の有無 (11)	6 持病の有無 (7)
3	7 こころの健康状態 (20)	2 スポーツの習慣の有無 (7)	7 こころの健康状態 (7)

2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもの数3人＞									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 心身の健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	16.7	21.7	30.0	41.7	31.7	33.3	1.7
②「どちらともいえない」		57.1	25.0	3.6	0.0	21.4	39.3	17.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		41.7	16.7	25.0	16.7	20.8	29.2	29.2	8.3

(件)									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 心身の健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=60人)	142	36	10	13	18	25	19	20	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=28人)	46	16	7	1	0	6	11	5	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=24人)	45	10	4	6	4	5	7	7	2

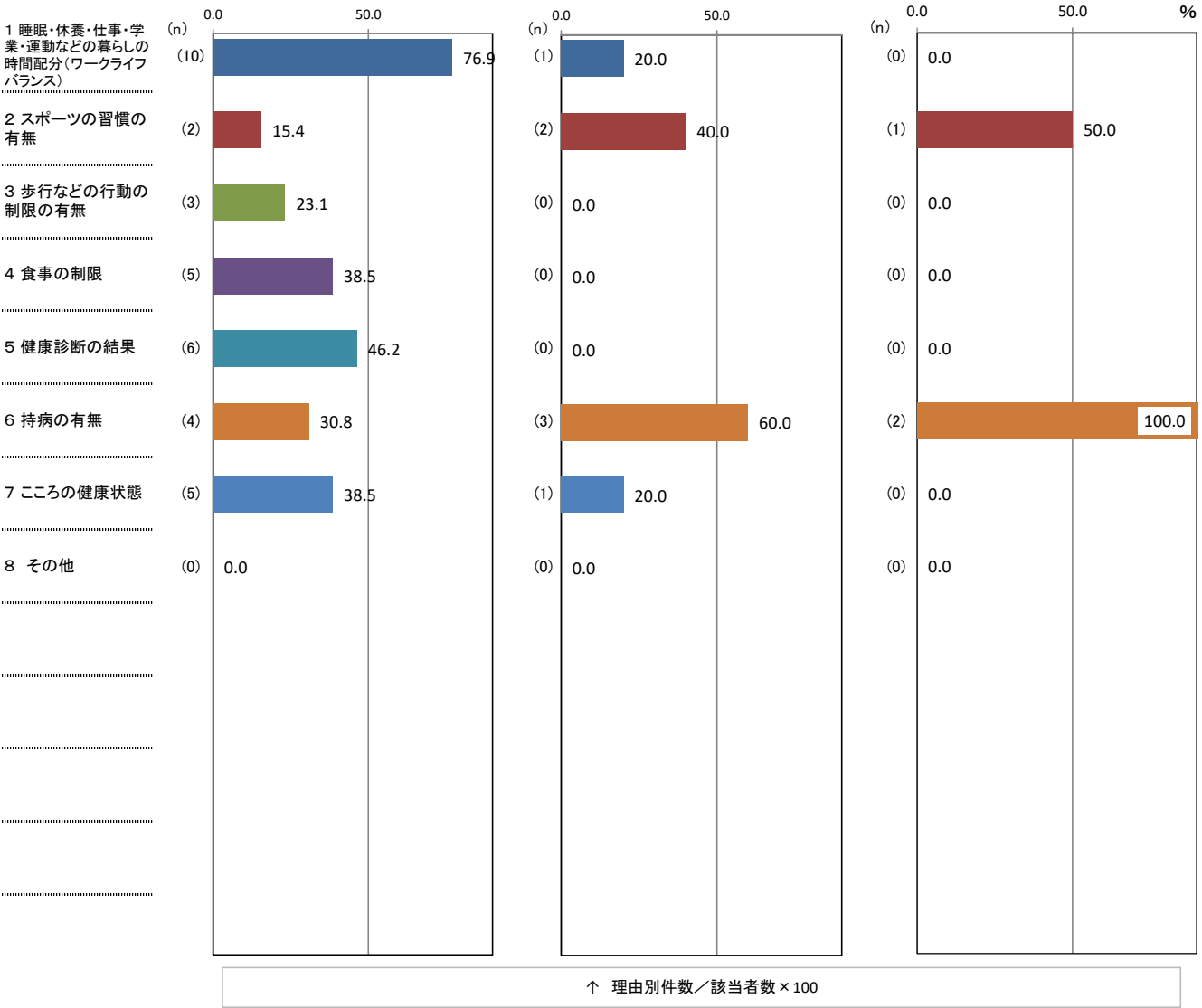
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜子どもの数4人以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (35) 13 人	②「どちらともいえない」の回答 (7) 5 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (3) 2 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (10)	6 持病の有無 (3)	6 持病の有無 (2)
2	5 健康診断の結果 (6)	2 スポーツの習慣の有無 (2)	2 スポーツの習慣の有無 (1)
3	4 食事の制限 (5) 3位	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (1) 3位	
	7 こころの健康状態 (5)	7 こころの健康状態 (1)	

()内の数字は件数。



【補足調査】
(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたにはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもの数4人以上＞									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		76.9	15.4	23.1	38.5	46.2	30.8	38.5	0.0
②「どちらともいえない」		20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(件)									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=13人)	35	10	2	3	5	6	4	5	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=5人)	7	1	2	0	0	0	3	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=2人)	3	0	1	0	0	0	2	0	0

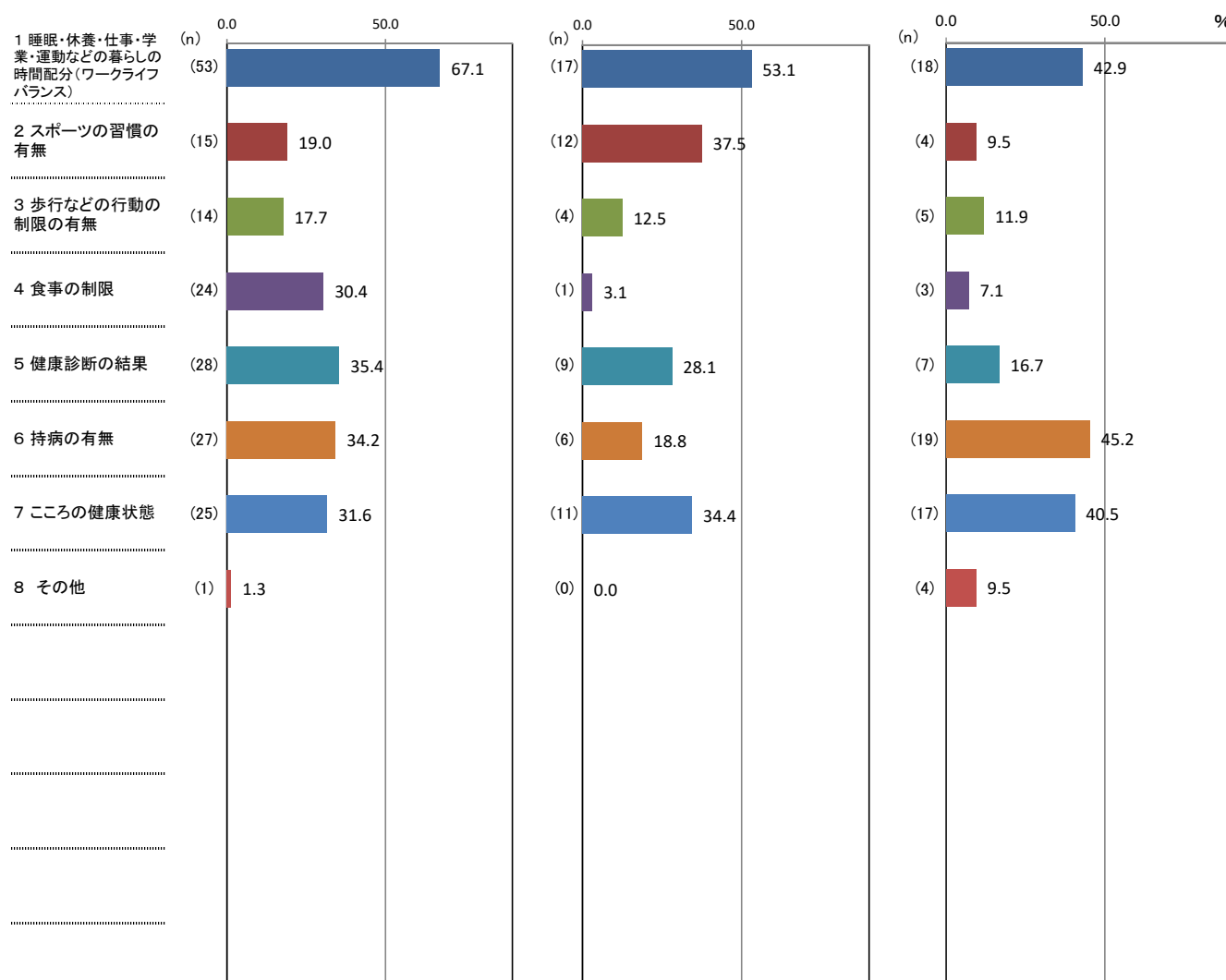
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (187) 79 人	②「どちらともいえない」の回答 (60) 32 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (77) 42 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (53)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (17)	6 持病の有無 (19)
2	5 健康診断の結果 (28)	2 スポーツの習慣の有無 (12)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (18)
3	6 持病の有無 (27)	7 こころの健康状態 (11)	7 こころの健康状態 (17)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもはいない＞									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		67.1	19.0	17.7	30.4	35.4	34.2	31.6	1.3
②「どちらともいえない」		53.1	37.5	12.5	3.1	28.1	18.8	34.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		42.9	9.5	11.9	7.1	16.7	45.2	40.5	9.5

(件)									
区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=79人)	187	53	15	14	24	28	27	25	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=32人)	60	17	12	4	1	9	6	11	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=42人)	77	18	4	5	3	7	19	17	4

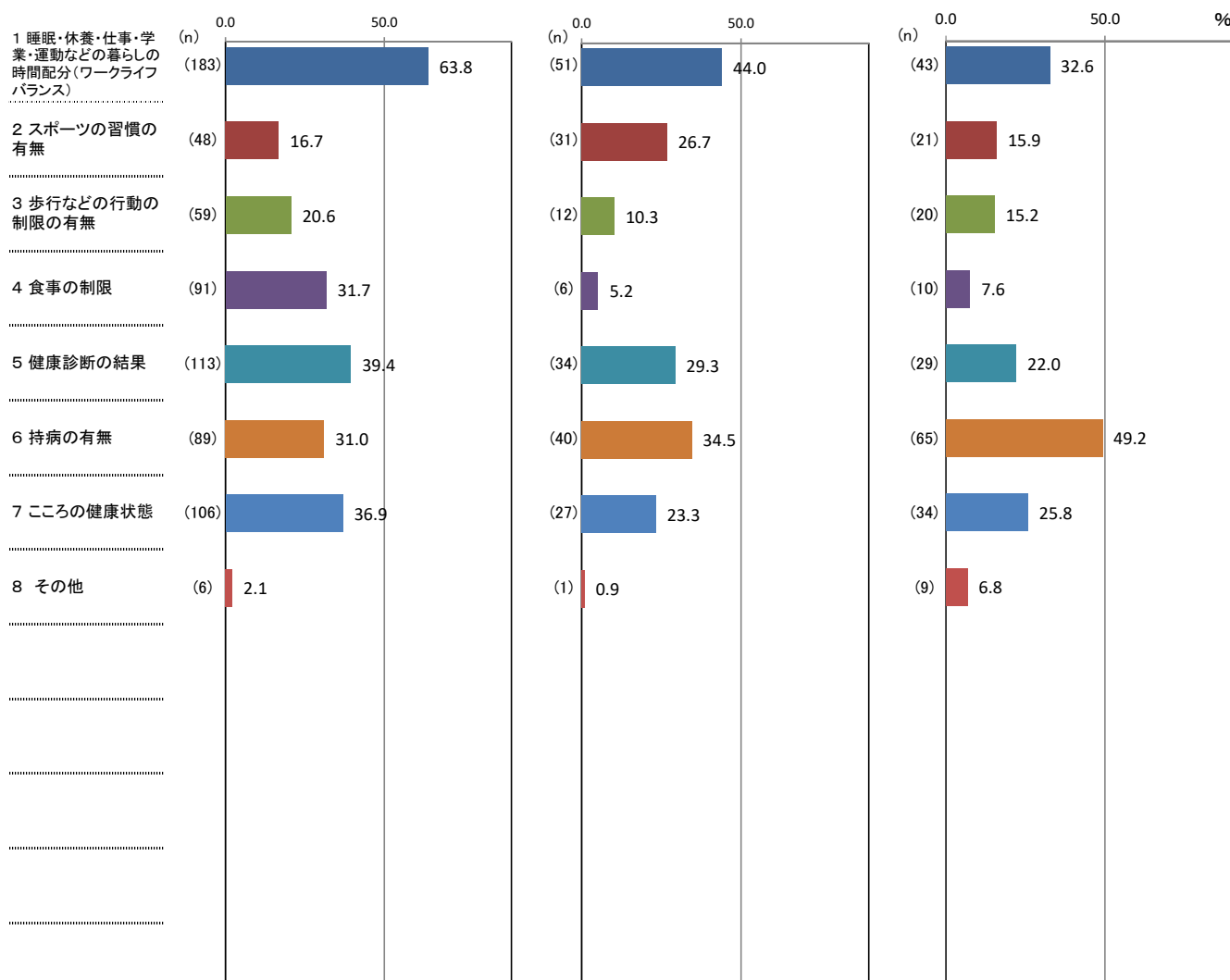
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (695) 287 人	②「どちらともいえない」の回答 (202) 116 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (231) 132 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (183)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (51)	6 持病の有無 (65)
2	5 健康診断の結果 (113)	6 持病の有無 (40)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (43)
3	7 こころの健康状態 (106)	5 健康診断の結果 (34)	7 こころの健康状態 (34)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<居住年数20年以上>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		63.8	16.7	20.6	31.7	39.4	31.0	36.9	2.1
②「どちらともいえない」		44.0	26.7	10.3	5.2	29.3	34.5	23.3	0.9
③「あまり感じない・感じない」		32.6	15.9	15.2	7.6	22.0	49.2	25.8	6.8

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=287人)	695	183	48	59	91	113	89	106	6
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=116人)	202	51	31	12	6	34	40	27	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=132人)	231	43	21	20	10	29	65	34	9

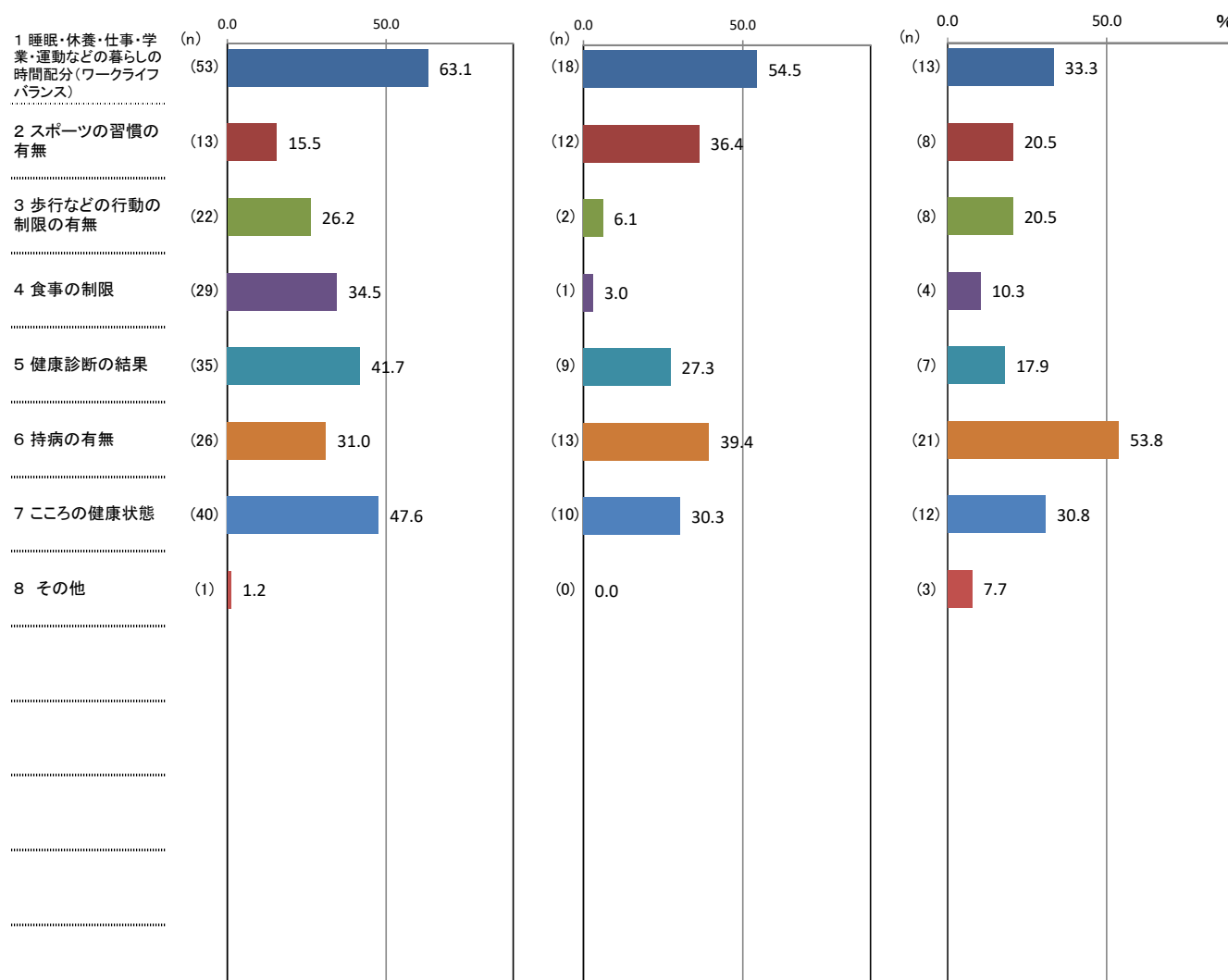
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (219) 84 人	②「どちらともいえない」の回答 (65) 33 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (76) 39 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (53)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (18)	6 持病の有無 (21)
2	7 こころの健康状態 (40)	6 持病の有無 (13)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (13)
3	5 健康診断の結果 (35)	2 スポーツの習慣の有無 (12)	7 こころの健康状態 (12)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<県央広域振興圏>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		63.1	15.5	26.2	34.5	41.7	31.0	47.6	1.2
②「どちらともいえない」		54.5	36.4	6.1	3.0	27.3	39.4	30.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		33.3	20.5	20.5	10.3	17.9	53.8	30.8	7.7

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=84人)	219	53	13	22	29	35	26	40	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=33人)	65	18	12	2	1	9	13	10	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=39人)	76	13	8	8	4	7	21	12	3

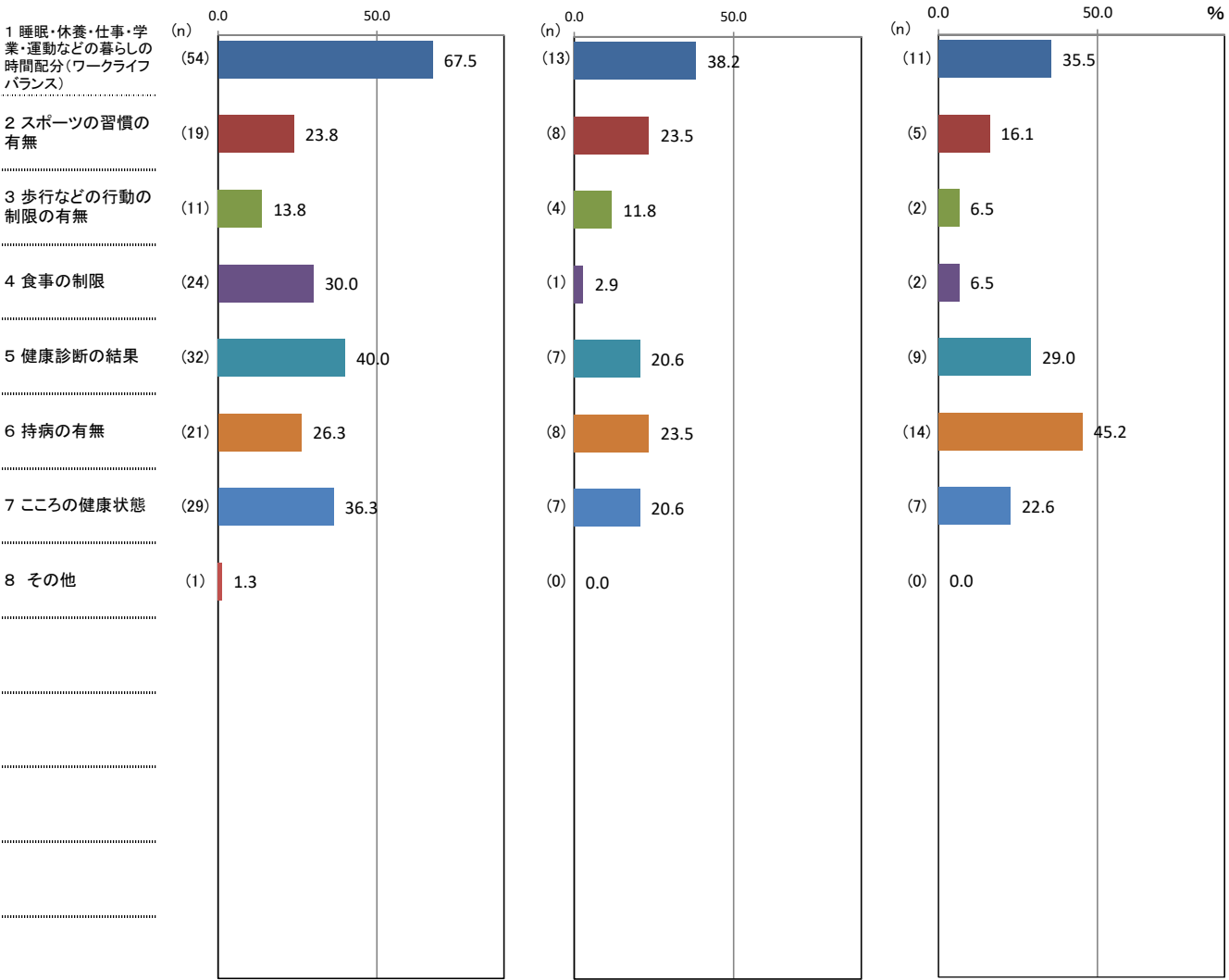
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (191) 80 人	②「どちらともいえない」の回答 (48) 34 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (50) 31 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (54)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (13)	6 持病の有無 (14)
2	5 健康診断の結果 (32)	2 スポーツの習慣の有無 (8)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)
3	7 こころの健康状態 (29)	6 持病の有無 (8)	5 健康診断の結果 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県南広域振興圏＞

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クラيفハ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		67.5	23.8	13.8	30.0	40.0	26.3	36.3	1.3
②「どちらともいえない」		38.2	23.5	11.8	2.9	20.6	23.5	20.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		35.5	16.1	6.5	6.5	29.0	45.2	22.6	0.0

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クラيفハ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=80人)	191	54	19	11	24	32	21	29	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=34人)	48	13	8	4	1	7	8	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=31人)	50	11	5	2	2	9	14	7	0

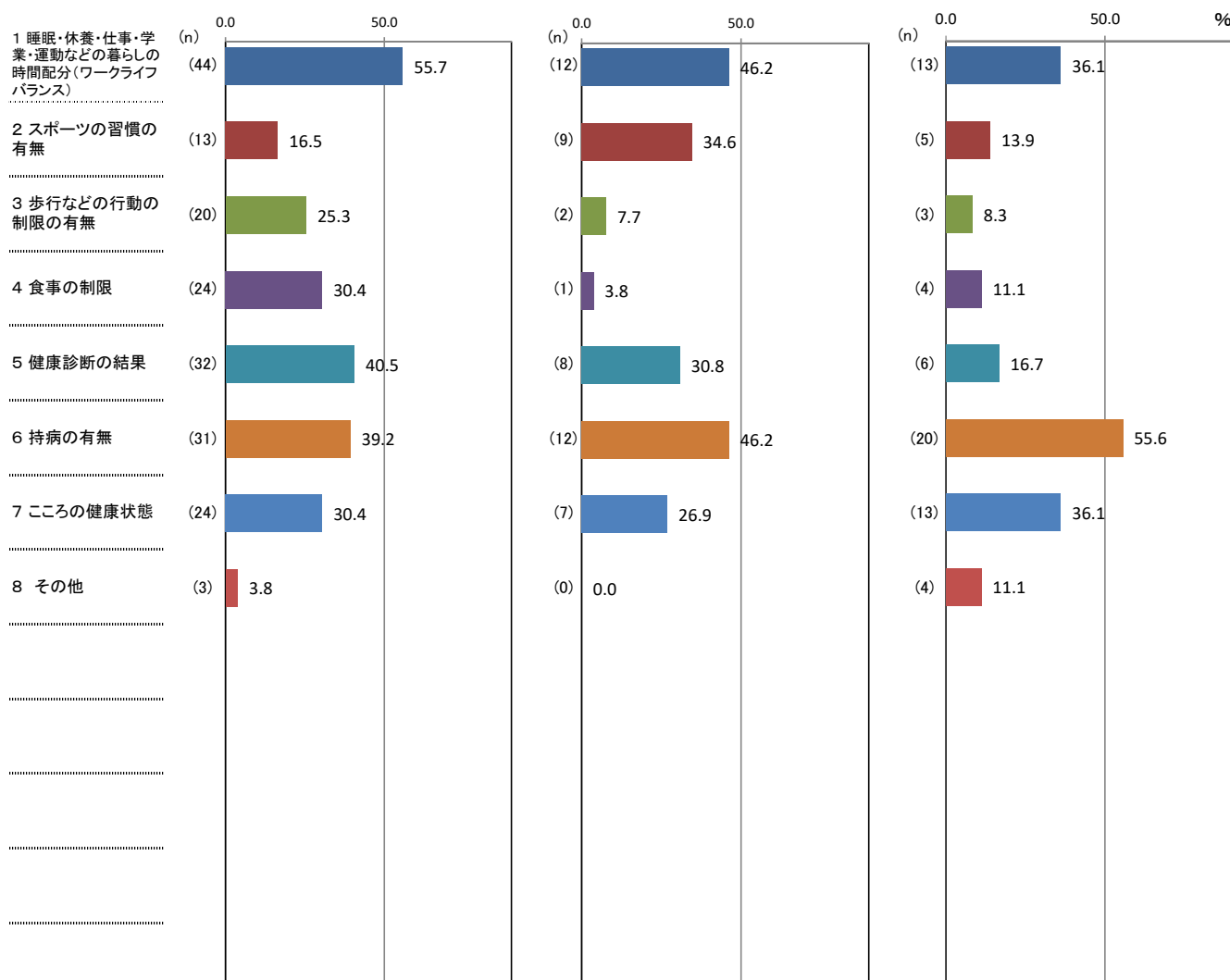
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (191) 79 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (68) 36 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (44)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (12)	6 持病の有無 (20)
2	5 健康診断の結果 (32)	6 持病の有無 (12)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (13)
3	6 持病の有無 (31)	2 スポーツの習慣の有無 (9)	7 こころの健康状態 (13)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜沿岸広域振興圏＞

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		55.7	16.5	25.3	30.4	40.5	39.2	30.4	3.8
②「どちらともいえない」		46.2	34.6	7.7	3.8	30.8	46.2	26.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		36.1	13.9	8.3	11.1	16.7	55.6	36.1	11.1

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=79人)	191	44	13	20	24	32	31	24	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=26人)	51	12	9	2	1	8	12	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=36人)	68	13	5	3	4	6	20	13	4

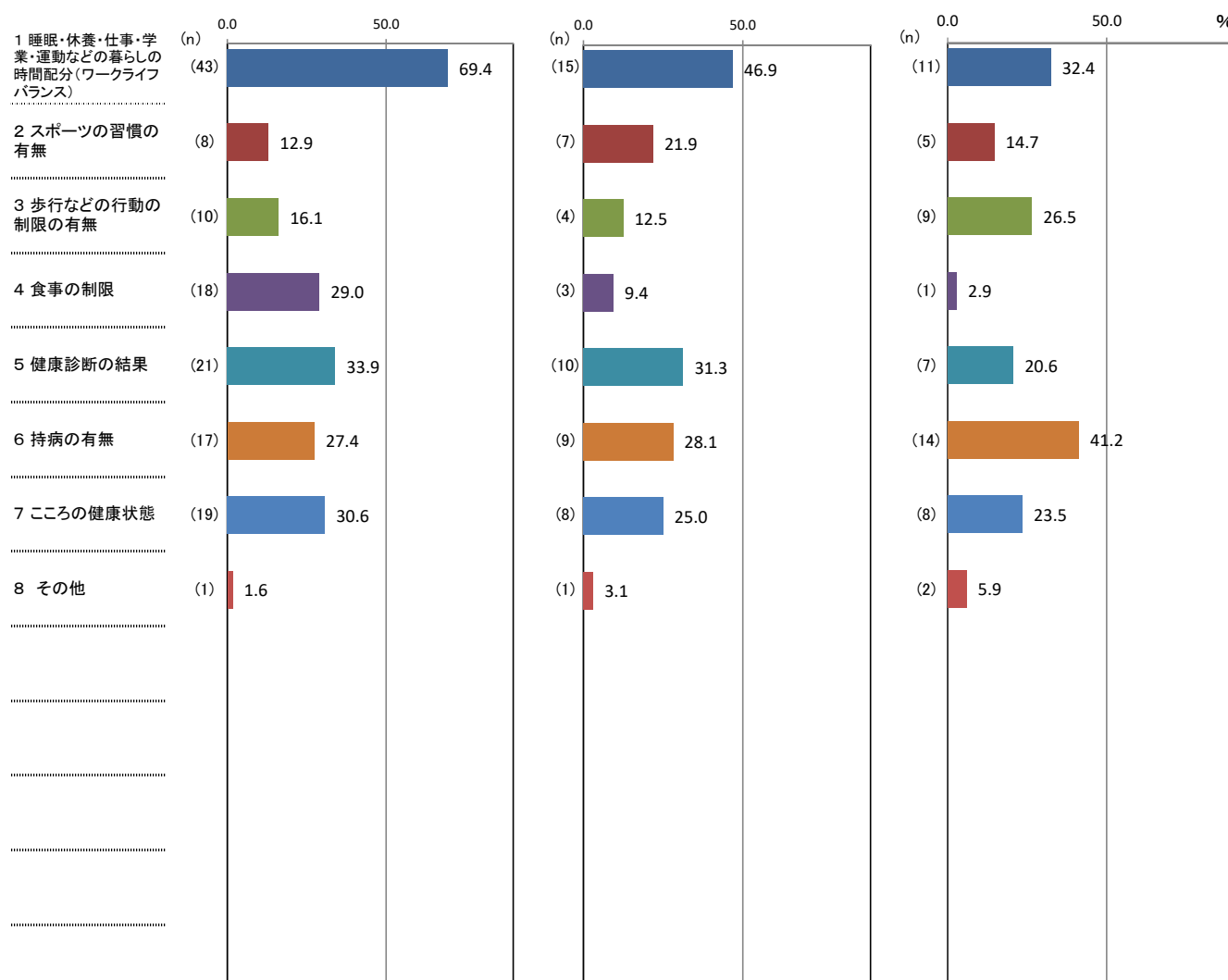
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (137) 62 人	②「どちらともいえない」の回答 (57) 32 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (57) 34 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (43)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (15)	6 持病の有無 (14)
2	5 健康診断の結果 (21)	5 健康診断の結果 (10)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)
3	7 こころの健康状態 (19)	6 持病の有無 (9)	3 歩行などの行動の制限の有無 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-1「①あなたははからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県北広域振興圏＞

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		69.4	12.9	16.1	29.0	33.9	27.4	30.6	1.6
②「どちらともいえない」		46.9	21.9	12.5	9.4	31.3	28.1	25.0	3.1
③「あまり感じない・感じない」		32.4	14.7	26.5	2.9	20.6	41.2	23.5	5.9

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワ ークライフバ ランス)	2 スポーツの 習慣の有無	3 歩行などの 行動の制限 の有無	4 食事の制 限	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ころの健 康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=62人)	137	43	8	10	18	21	17	19	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=32人)	57	15	7	4	3	10	9	8	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=34人)	57	11	5	9	1	7	14	8	2

<属性別>

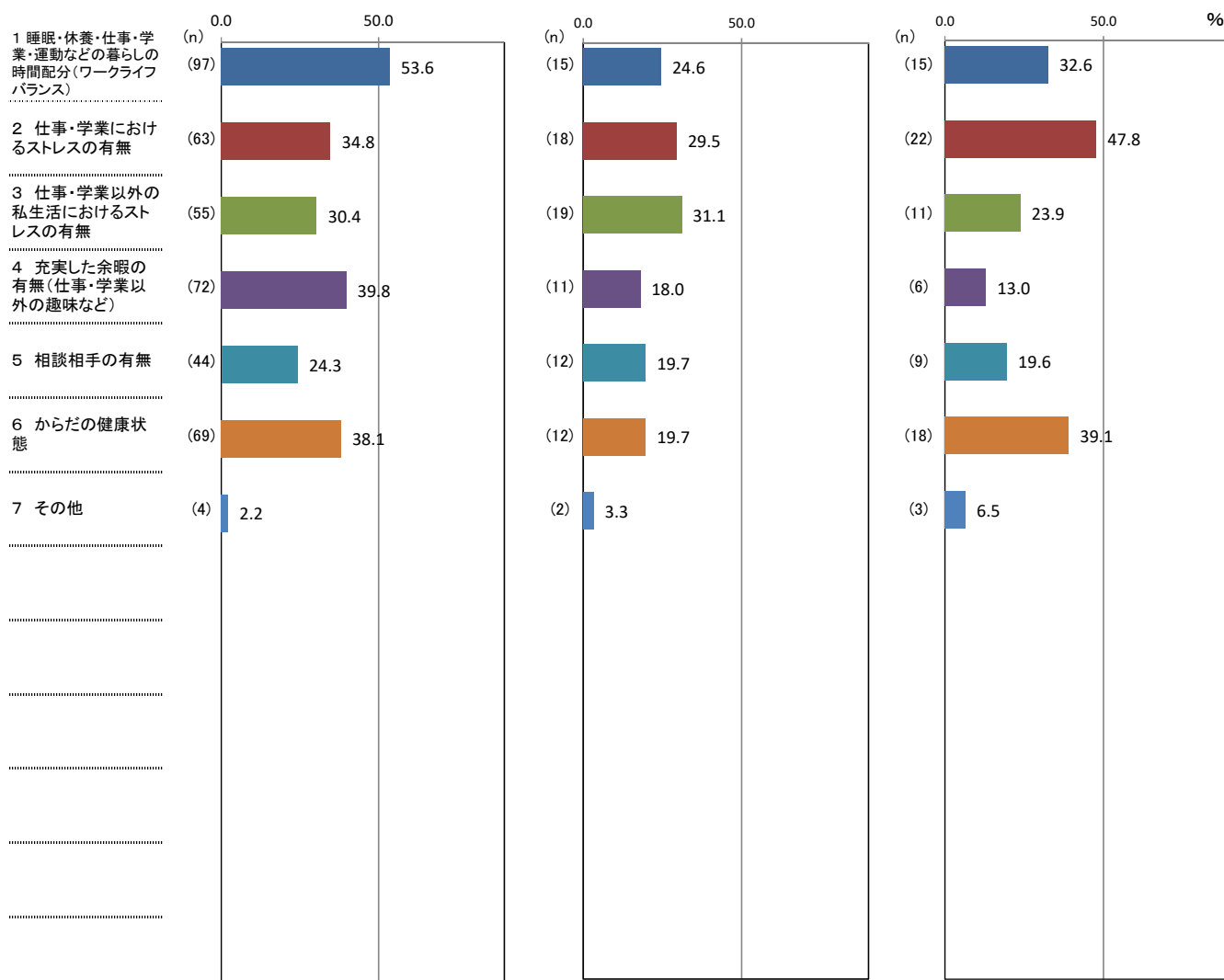
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)<男性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (404) 181 人	②「どちらともいえない」の回答 (89) 61 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (84) 46 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (97)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (19)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (22)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (72)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (18)	6 からだの健康状態 (18)
3	6 からだの健康状態 (69)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (15)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (15)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2)①あなたはここが健康だと感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。に対する回答(複数回答可)

<男性>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフパ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		53.6	34.8	30.4	39.8	24.3	38.1	2.2
②「どちらともいえない」		24.6	29.5	31.1	18.0	19.7	19.7	3.3
③「あまり感じない・感じない」		32.6	47.8	23.9	13.0	19.6	39.1	6.5

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフパ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=181人)	404	97	63	55	72	44	69	4
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=61人)	89	15	18	19	11	12	12	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=46人)	84	15	22	11	6	9	18	3

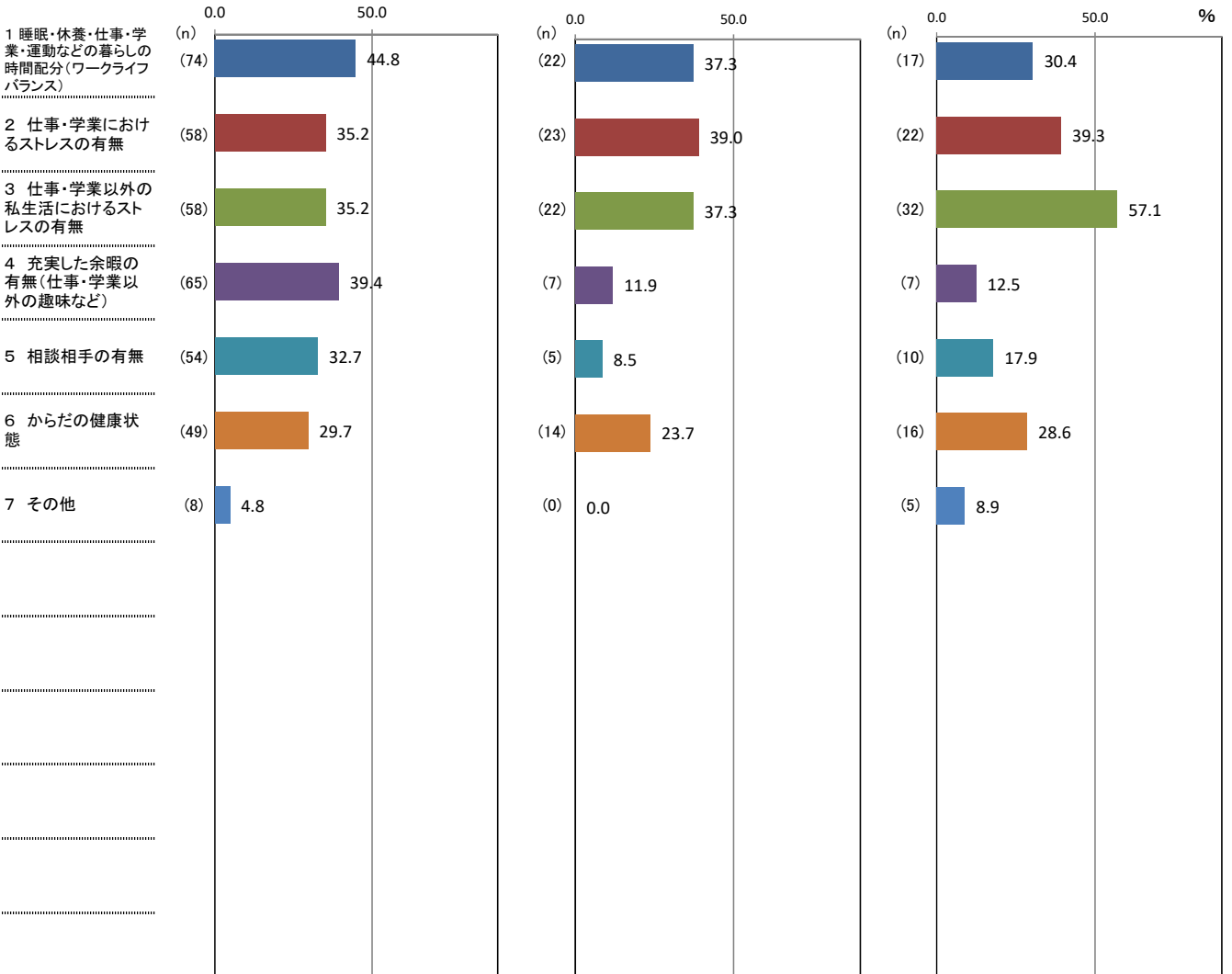
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (366) 165 人	②「どちらともいえない」の回答 (93) 59 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (109) 56 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (74)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (23)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (32)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (65)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (22)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (22)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (58)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (22)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (17)
	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (58)		

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<女性>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		44.8	35.2	35.2	39.4	32.7	29.7	4.8
②「どちらともいえない」		37.3	39.0	37.3	11.9	8.5	23.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		30.4	39.3	57.1	12.5	17.9	28.6	8.9

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=165人)	366	74	58	58	65	54	49	8
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=59人)	93	22	23	22	7	5	14	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=56人)	109	17	22	32	7	10	16	5

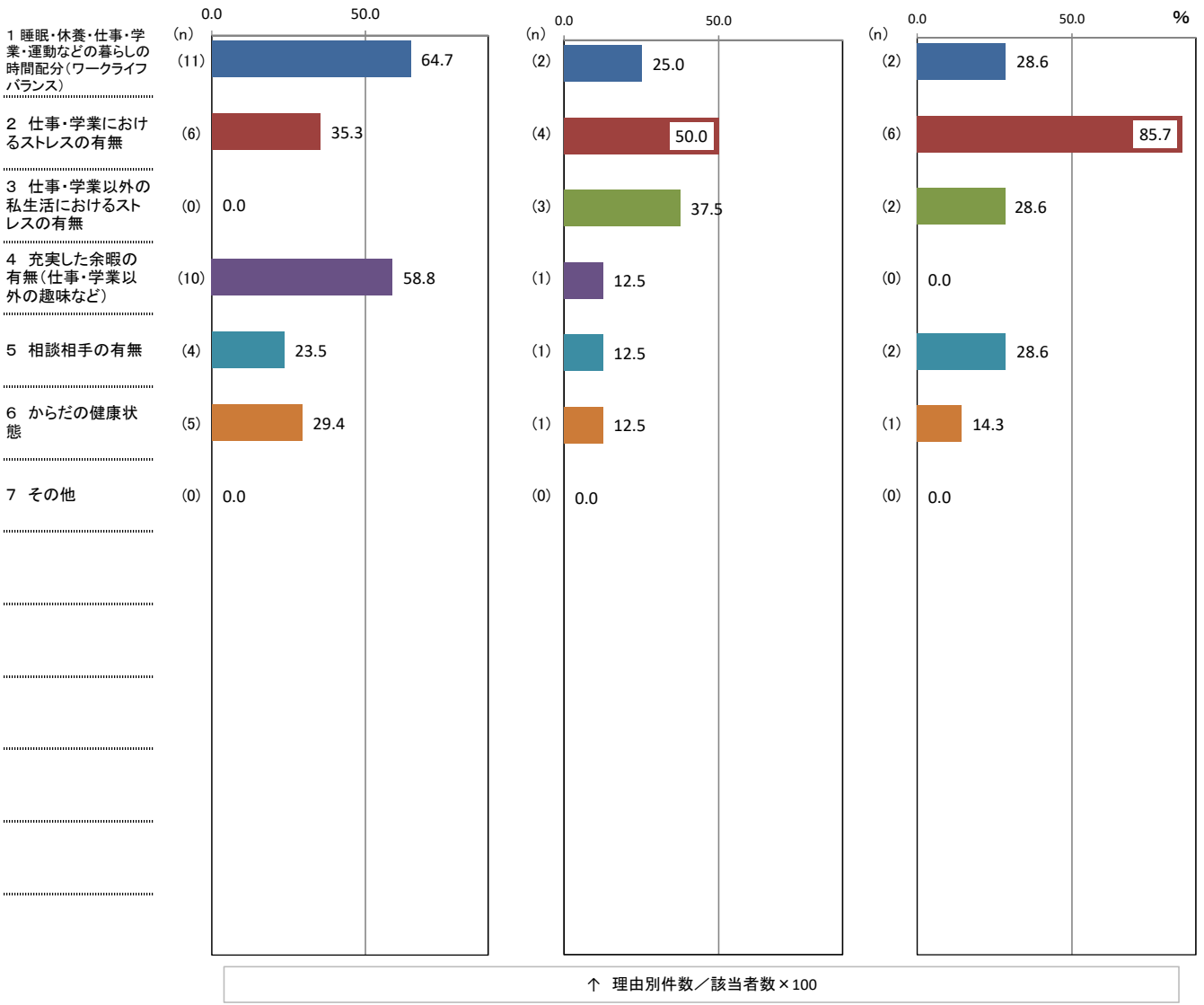
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) <20～29歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 17人 (36)	②「どちらともいえない」の回答 8人 (12)	③「あまり感じない・感じない」の回答 7人 (13)
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (4)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (6)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (10)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (3)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (2)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (6)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (2)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (2) 5 相談相手の有無 (2)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<20～29歳>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		64.7	35.3	0.0	58.8	23.5	29.4	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	50.0	37.5	12.5	12.5	12.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		28.6	85.7	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=17人)	36	11	6	0	10	4	5	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=8人)	12	2	4	3	1	1	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=7人)	13	2	6	2	0	2	1	0

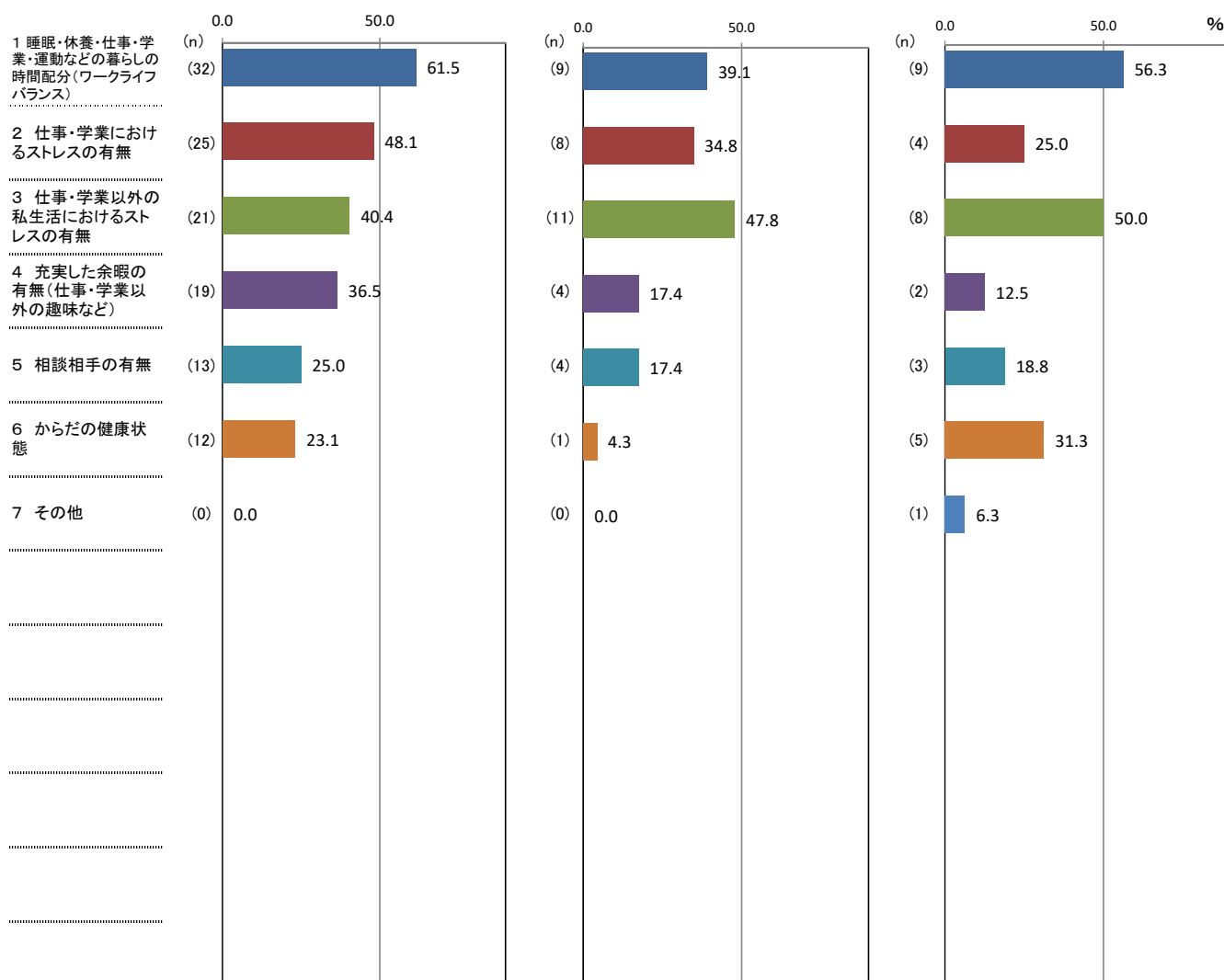
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) <30~39歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (122) 52 人	②「どちらともいえない」の回答 (37) 23 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (32) 16 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (32)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (25)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (8)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (21)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (8)	6 からだの健康状態 (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<30～39歳>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		61.5	48.1	40.4	36.5	25.0	23.1	0.0
②「どちらともいえない」		39.1	34.8	47.8	17.4	17.4	4.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		56.3	25.0	50.0	12.5	18.8	31.3	6.3

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=52人)	122	32	25	21	19	13	12	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=23人)	37	9	8	11	4	4	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=16人)	32	9	4	8	2	3	5	1

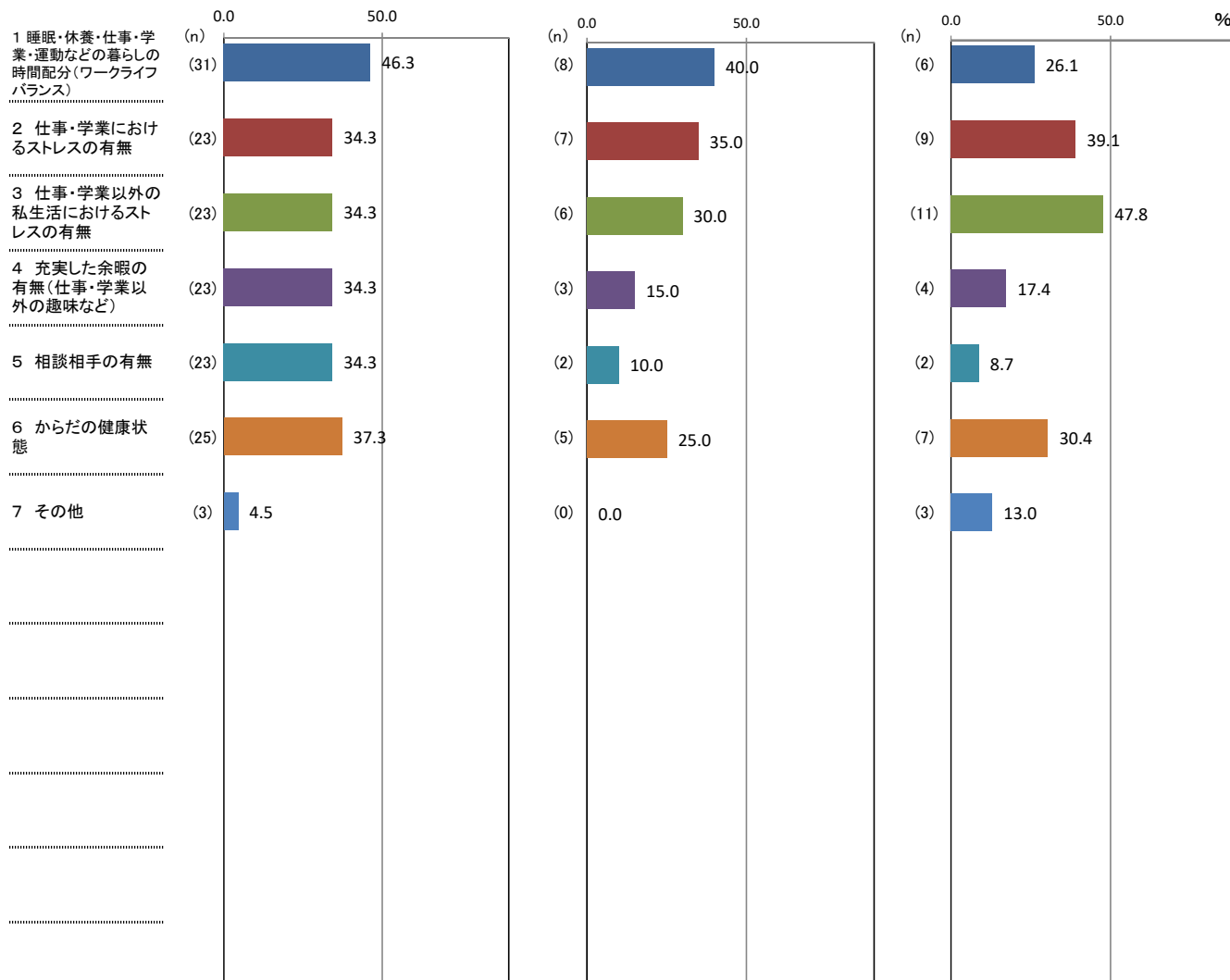
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) <50~59歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (151) 67 人	②「どちらともいえない」の回答 (31) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (42) 23 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (31)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (11)
2	6 からだの健康状態 (25)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (7)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (9)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (23) 3位	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (6)	6 からだの健康状態 (7)
	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (23) 3位		
	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (23) 3位		
	5 相談相手の有無 (23) 3位		

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<50～59歳>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からだの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		46.3	34.3	34.3	34.3	34.3	37.3	4.5
②「どちらともいえない」		40.0	35.0	30.0	15.0	10.0	25.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		26.1	39.1	47.8	17.4	8.7	30.4	13.0

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からだの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=67人)	151	31	23	23	23	23	25	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=20人)	31	8	7	6	3	2	5	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=23人)	42	6	9	11	4	2	7	3

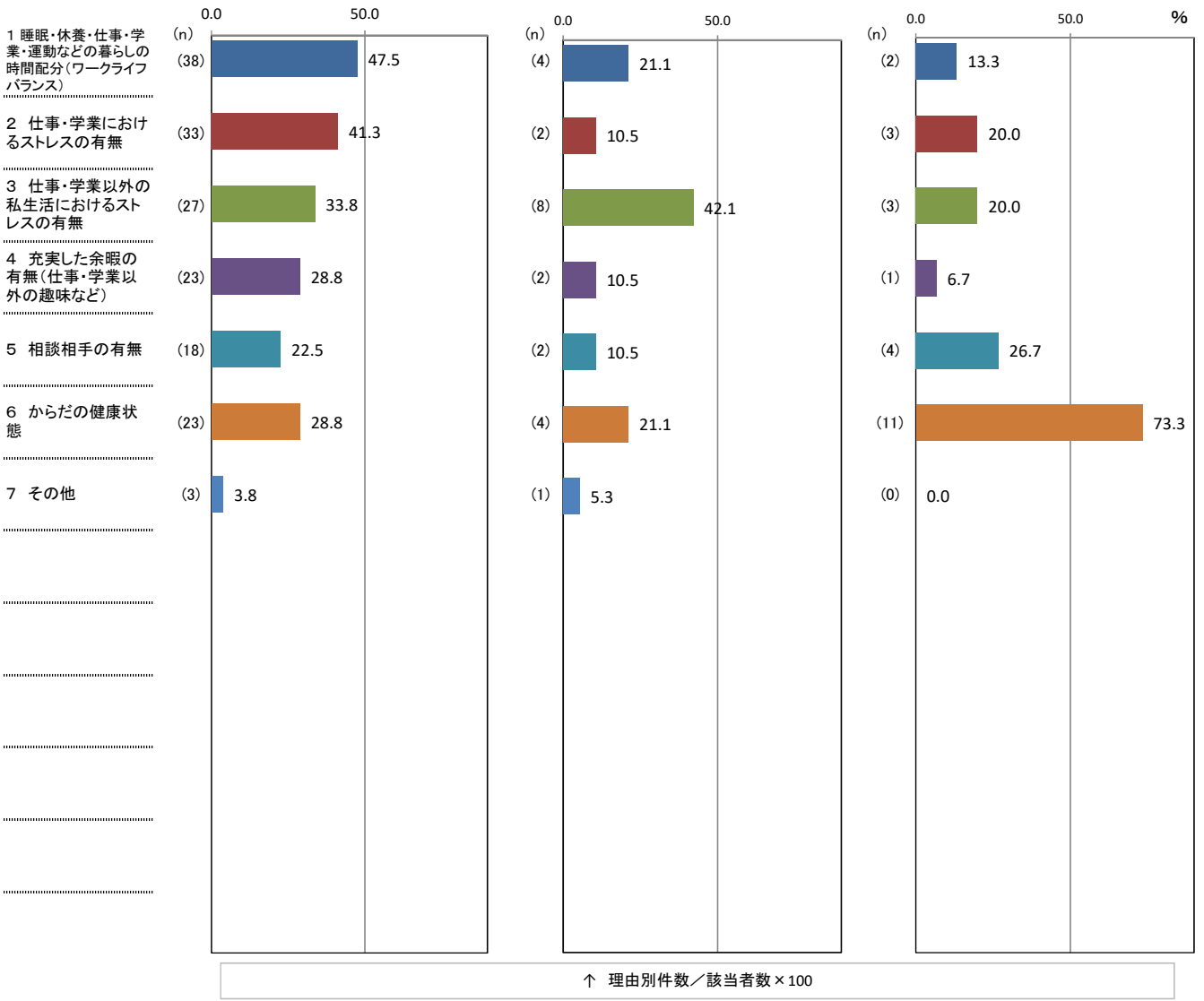
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) <60～69歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (165) 80 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 15 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (38)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (8)	6 からだの健康状態 (11)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (33)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (4) 2位	5 相談相手の有無 (4)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (27)	6 からだの健康状態 (4)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (3) 3位 3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (3)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<60歳～69歳>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフパ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からだの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		47.5	41.3	33.8	28.8	22.5	28.8	3.8
②「どちらともいえない」		21.1	10.5	42.1	10.5	10.5	21.1	5.3
③「あまり感じない・感じない」		13.3	20.0	20.0	6.7	26.7	73.3	0.0

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフパ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からだの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=80人)	165	38	33	27	23	18	23	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=19人)	23	4	2	8	2	2	4	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=15人)	24	2	3	3	1	4	11	0

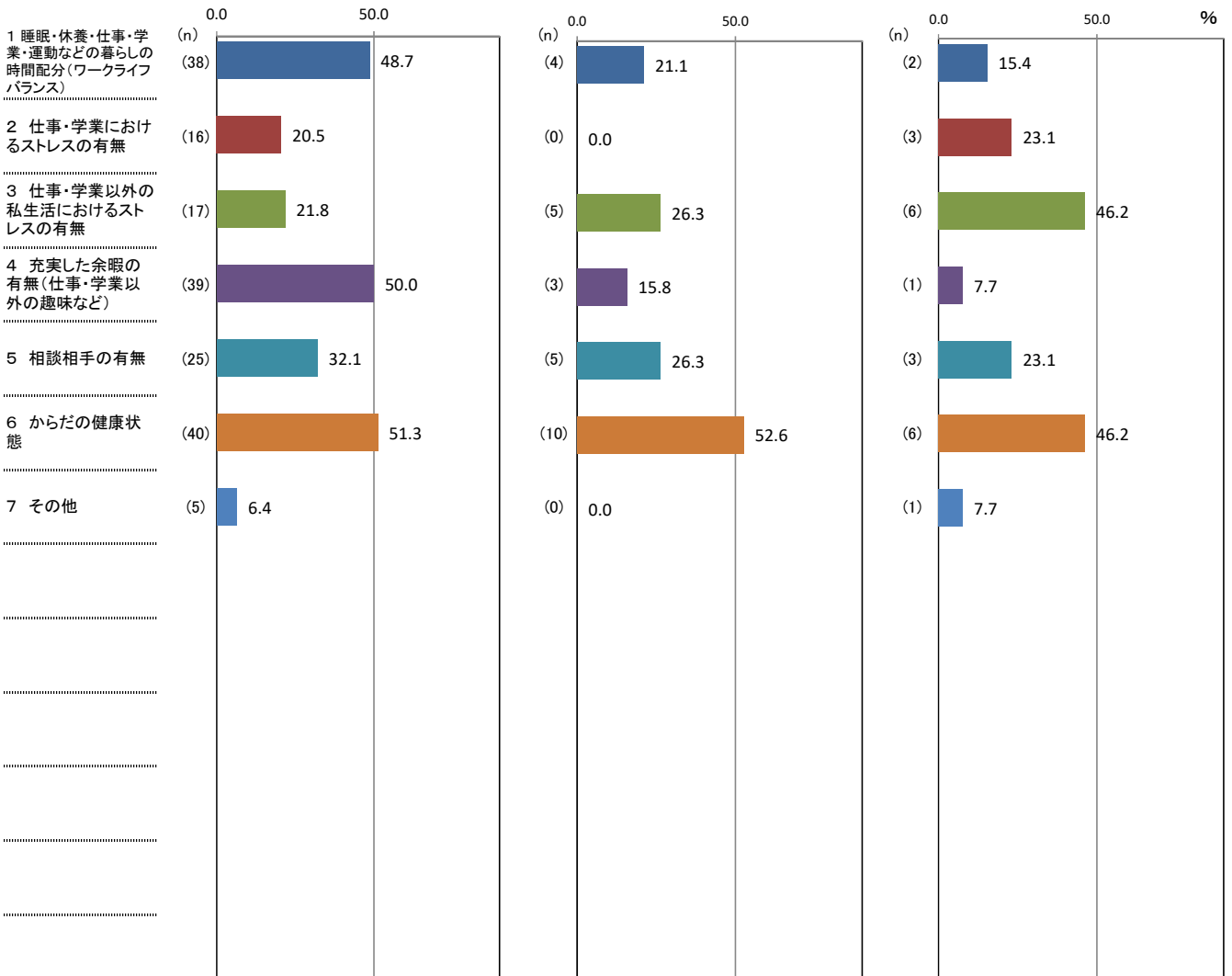
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) <70歳以上>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (180) 78 人	②「どちらともいえない」の回答 (27) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (22) 13 人
1	6 からだの健康状態 (40)	6 からだの健康状態 (10)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (6) 1位
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (39)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (5) 2位	6 からだの健康状態 (6)
3	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (38)	5 相談相手の有無 (5)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (3) 3位 5 相談相手の有無 (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<70歳以上>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフパ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		48.7	20.5	21.8	50.0	32.1	51.3	6.4
②「どちらともいえない」		21.1	0.0	26.3	15.8	26.3	52.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		15.4	23.1	46.2	7.7	23.1	46.2	7.7

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフパ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=78人)	180	38	16	17	39	25	40	5
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=19人)	27	4	0	5	3	5	10	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=13人)	22	2	3	6	1	3	6	1

(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

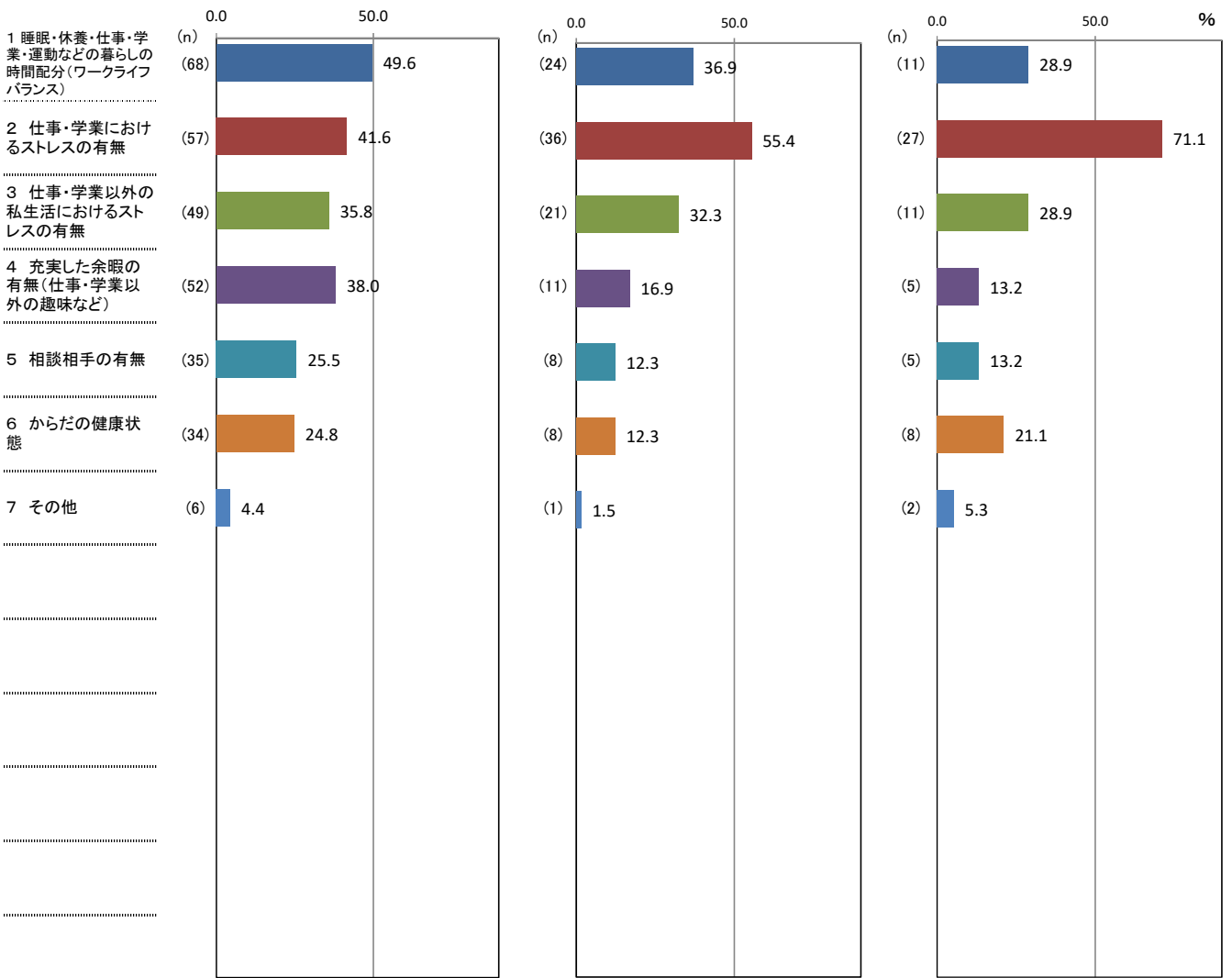
①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (301) 137 人	②「どちらともいえない」の回答 (109) 65 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (69) 38 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (68)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (36)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (27)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (57)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (24)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)
3	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (52)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (21)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (11)

2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<常用雇用者>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		49.6	41.6	35.8	38.0	25.5	24.8	4.4
②「どちらともいえない」		36.9	55.4	32.3	16.9	12.3	12.3	1.5
③「あまり感じない・感じない」		28.9	71.1	28.9	13.2	13.2	21.1	5.3

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=137人)	301	68	57	49	52	35	34	6
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=65人)	109	24	36	21	11	8	8	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=38人)	69	11	27	11	5	5	8	2

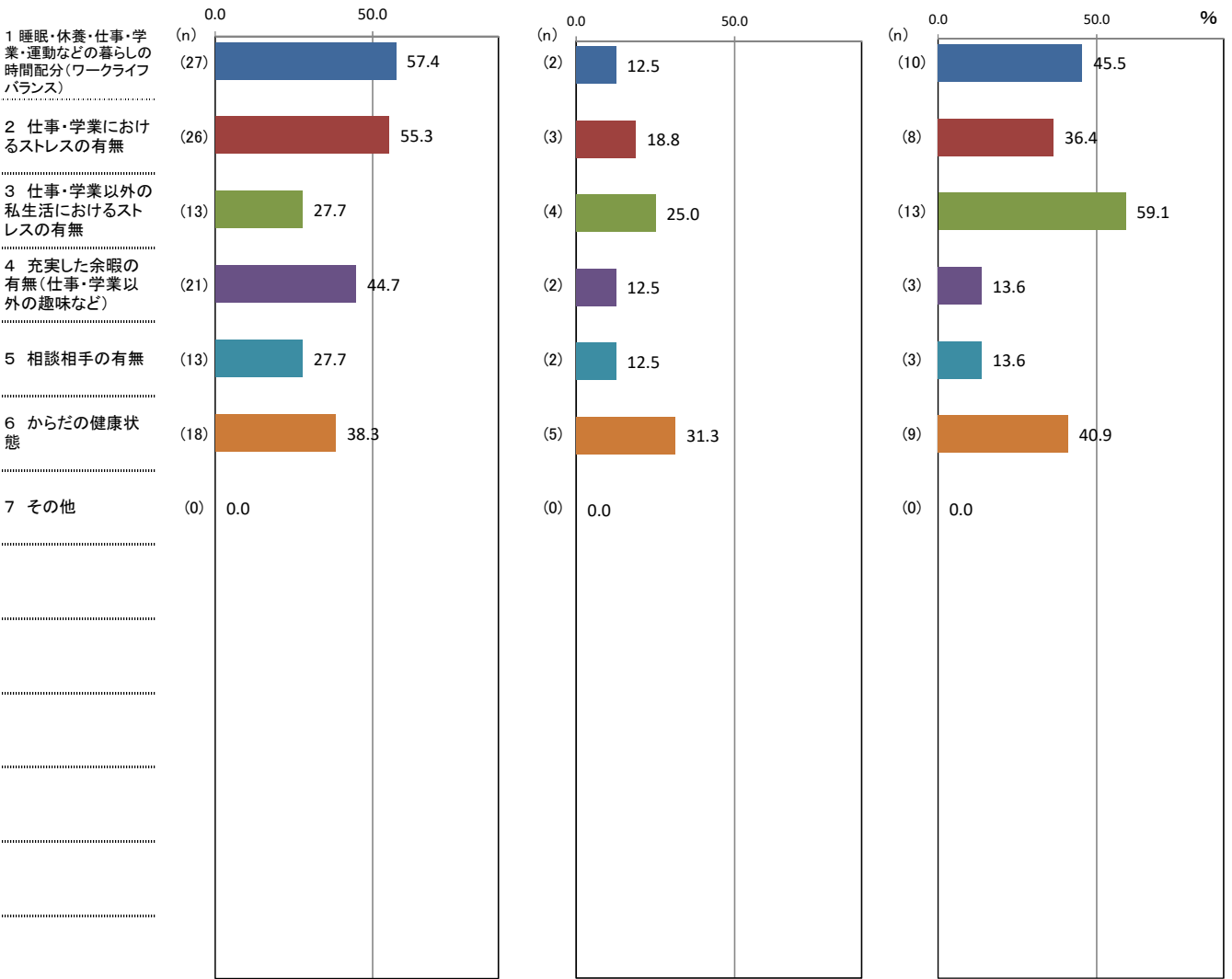
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (118) 47 人	②「どちらともいえない」の回答 (18) 16 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (46) 22 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (27)	6 からだの健康状態 (5)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (13)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (26)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (4)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (10)
3	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (21)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (3)	6 からだの健康状態 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<随時雇用者>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		57.4	55.3	27.7	44.7	27.7	38.3	0.0
②「どちらともいえない」		12.5	18.8	25.0	12.5	12.5	31.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		45.5	36.4	59.1	13.6	13.6	40.9	0.0

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=47人)	118	27	26	13	21	13	18	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=16人)	18	2	3	4	2	2	5	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=22人)	46	10	8	13	3	3	9	0

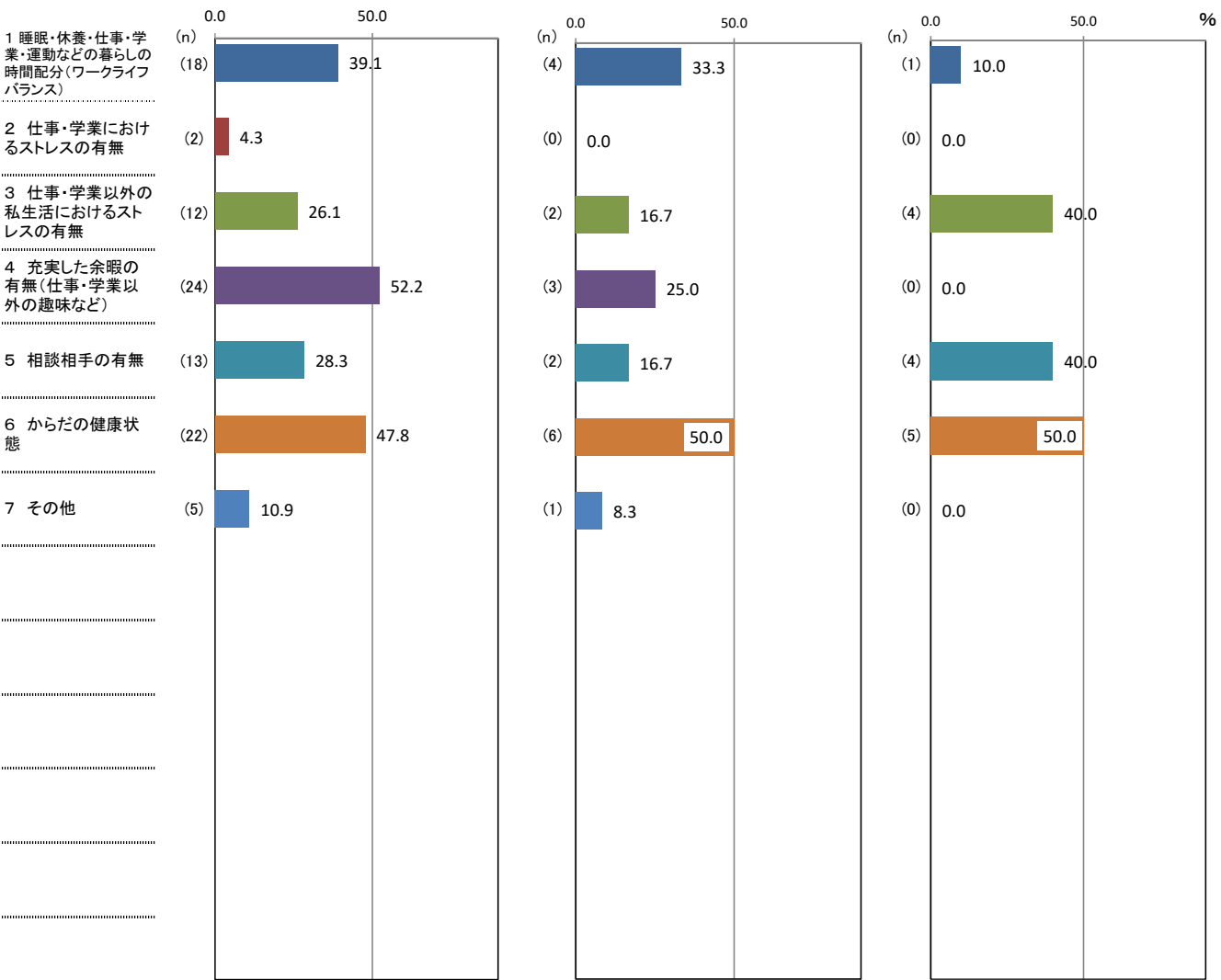
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (96) 46 人	②「どちらともいえない」の回答 (18) 12 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (14) 10 人
1	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (24)	6 からだの健康状態 (6)	6 からだの健康状態 (5)
2	6 からだの健康状態 (22)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (4)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (4)
3	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (18)	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (3)	5 相談相手の有無 (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<60歳以上の無職>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		39.1	4.3	26.1	52.2	28.3	47.8	10.9
②「どちらともいえない」		33.3	0.0	16.7	25.0	16.7	50.0	8.3
③「あまり感じない・感じない」		10.0	0.0	40.0	0.0	40.0	50.0	0.0

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=46人)	96	18	2	12	24	13	22	5
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=12人)	18	4	0	2	3	2	6	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=10人)	14	1	0	4	0	4	5	0

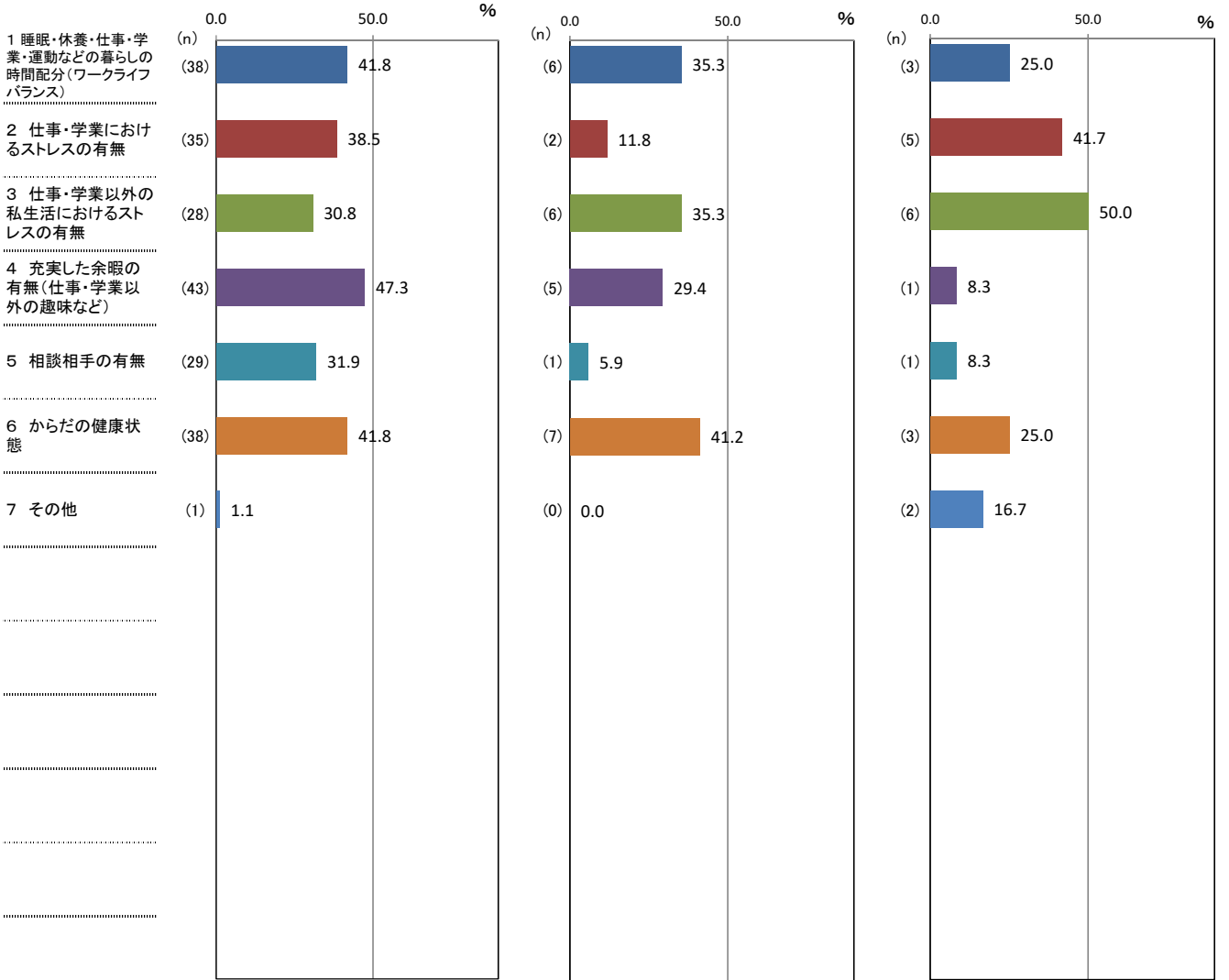
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (212) 91 人	②「どちらともいえない」の回答 (27) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (21) 12 人
1	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (43)	6 からだの健康状態 (7)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (6)
2	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (38) 2位	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6) 2位	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (5)
3	6 からだの健康状態 (38)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (6)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (3) 3位 6 からだの健康状態 (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<夫婦のみ>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		41.8	38.5	30.8	47.3	31.9	41.8	1.1
②「どちらともいえない」		35.3	11.8	35.3	29.4	5.9	41.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	41.7	50.0	8.3	8.3	25.0	16.7

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=91人)	212	38	35	28	43	29	38	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=17人)	27	6	2	6	5	1	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=12人)	21	3	5	6	1	1	3	2

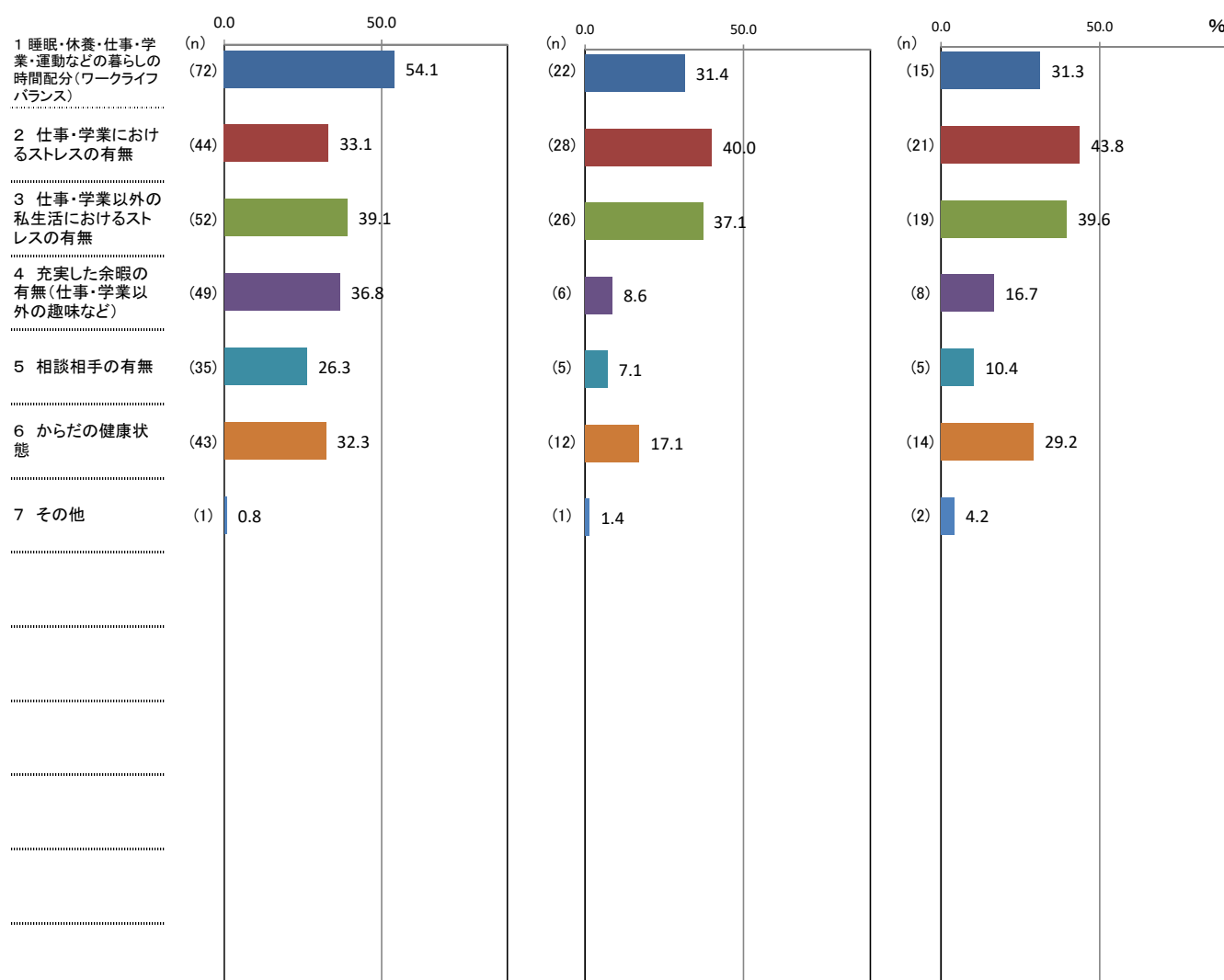
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) < 2世代世帯 >

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (296) 133 人	②「どちらともいえない」の回答 (100) 70 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (84) 48 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (72)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (28)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (21)
2	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (52)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (26)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (19)
3	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (49)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (22)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (15)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数 × 100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由 (問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<2世代世帯>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		54.1	33.1	39.1	36.8	26.3	32.3	0.8
②「どちらともいえない」		31.4	40.0	37.1	8.6	7.1	17.1	1.4
③「あまり感じない・感じない」		31.3	43.8	39.6	16.7	10.4	29.2	4.2

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=133人)	296	72	44	52	49	35	43	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=70人)	100	22	28	26	6	5	12	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=48人)	84	15	21	19	8	5	14	2

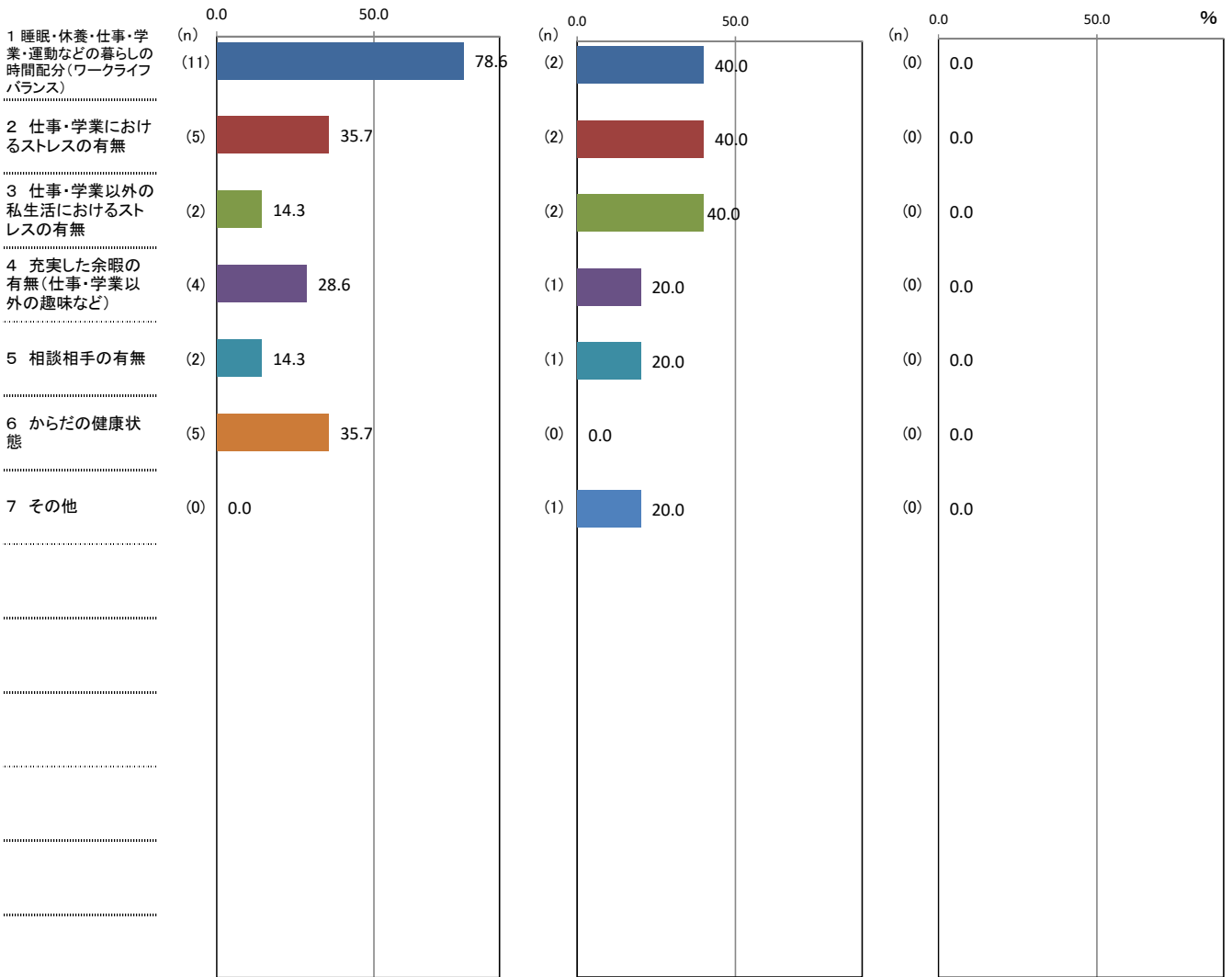
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜その他世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (29) 14 人	②「どちらともいえない」の回答 (9) 5 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (0) 0 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (2) 1位	
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (5) 2位	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (2) 1位	
3	6 からだの健康状態 (5)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (2)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2)①あなたはここが健康だと感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答(複数回答可)

＜その他世帯＞

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		78.6	35.7	14.3	28.6	14.3	35.7	0.0
②「どちらともいえない」		40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0
③「あまり感じない・感じない」		-	-	-	-	-	-	-

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らしの時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=14人)	29	11	5	2	4	2	5	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=5人)	9	2	2	2	1	1	0	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=0人)	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

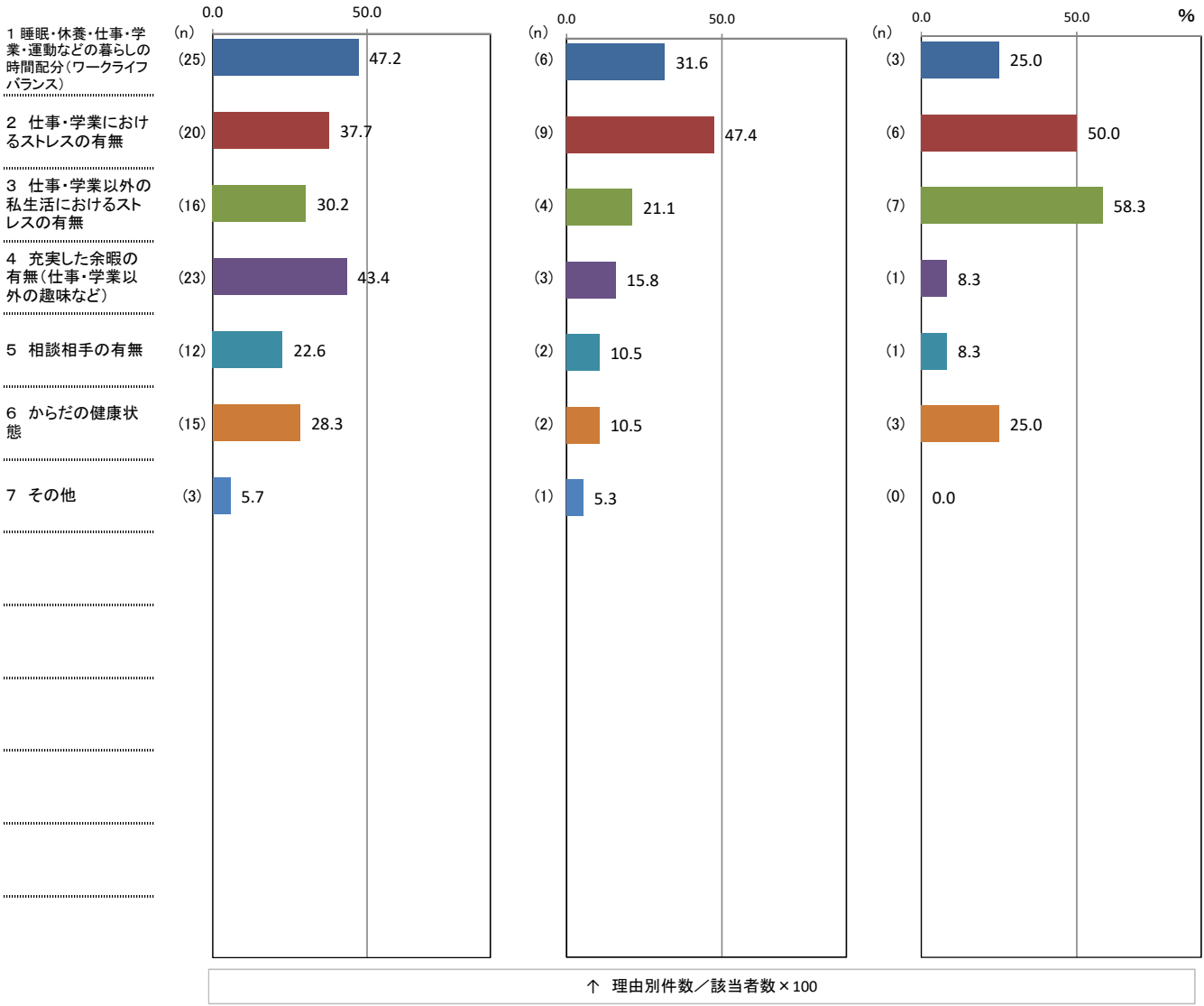
①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) <子どもの数1人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (114) 53 人	②「どちらともいえない」の回答 (27) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (21) 12 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (25)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (9)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (7)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (23)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (6)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (20)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (4)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (3) 6 からだの健康状態 (3)

3位

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数1人>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		47.2	37.7	30.2	43.4	22.6	28.3	5.7
②「どちらともいえない」		31.6	47.4	21.1	15.8	10.5	10.5	5.3
③「あまり感じない・感じない」		25.0	50.0	58.3	8.3	8.3	25.0	0.0

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=53人)	114	25	20	16	23	12	15	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=19人)	27	6	9	4	3	2	2	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=12人)	21	3	6	7	1	1	3	0

(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

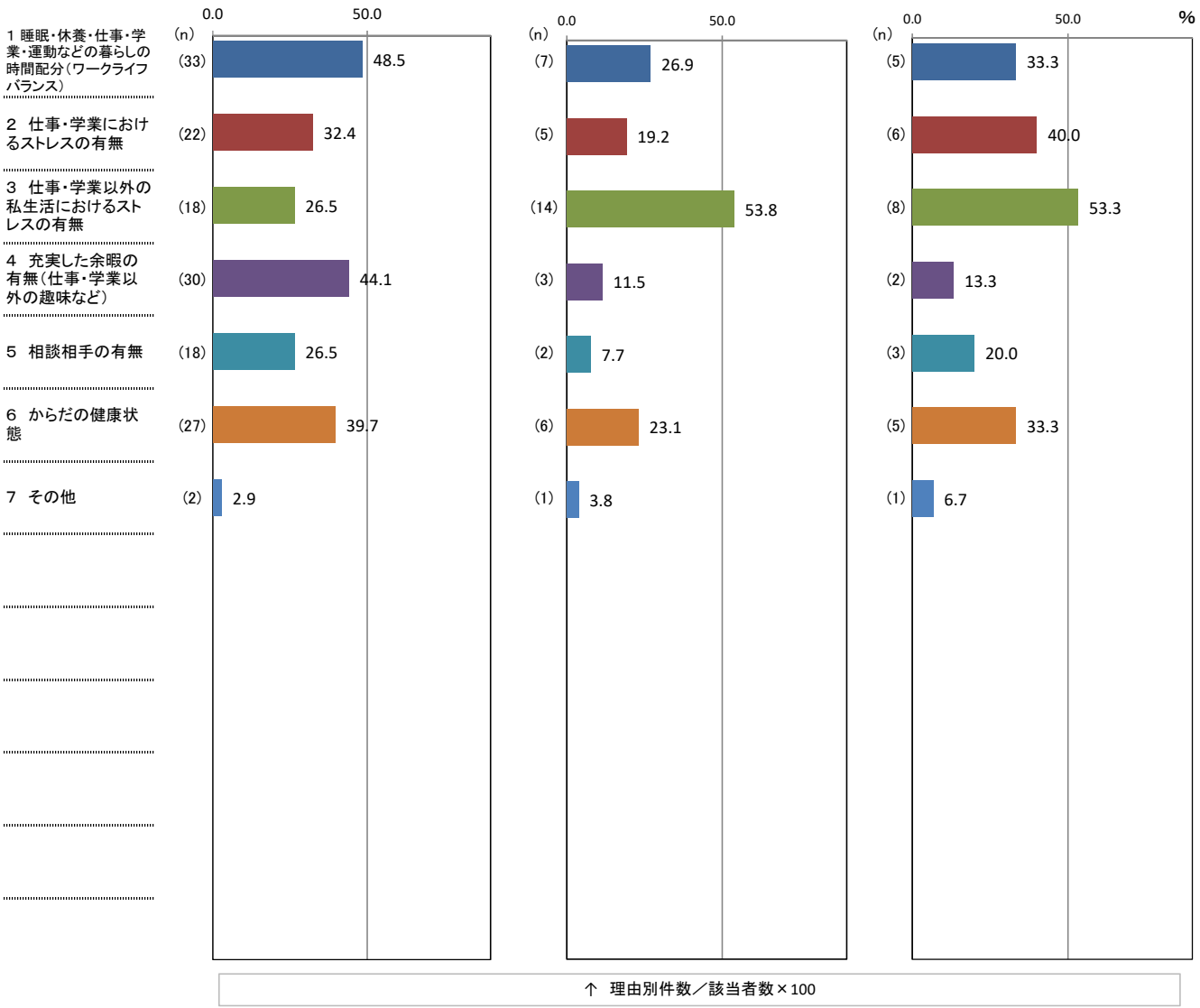
①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) <子どもの数3人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (150) 68 人	②「どちらともいえない」の回答 (38) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (30) 15 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (33)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (14)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (8)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (30)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (7)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (6)
3	6 からだの健康状態 (27)	6 からだの健康状態 (6)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (5) 6 からだの健康状態 (5)

3位

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数3人>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		48.5	32.4	26.5	44.1	26.5	39.7	2.9
②「どちらともいえない」		26.9	19.2	53.8	11.5	7.7	23.1	3.8
③「あまり感じない・感じない」		33.3	40.0	53.3	13.3	20.0	33.3	6.7

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=68人)	150	33	22	18	30	18	27	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=26人)	38	7	5	14	3	2	6	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=15人)	30	5	6	8	2	3	5	1

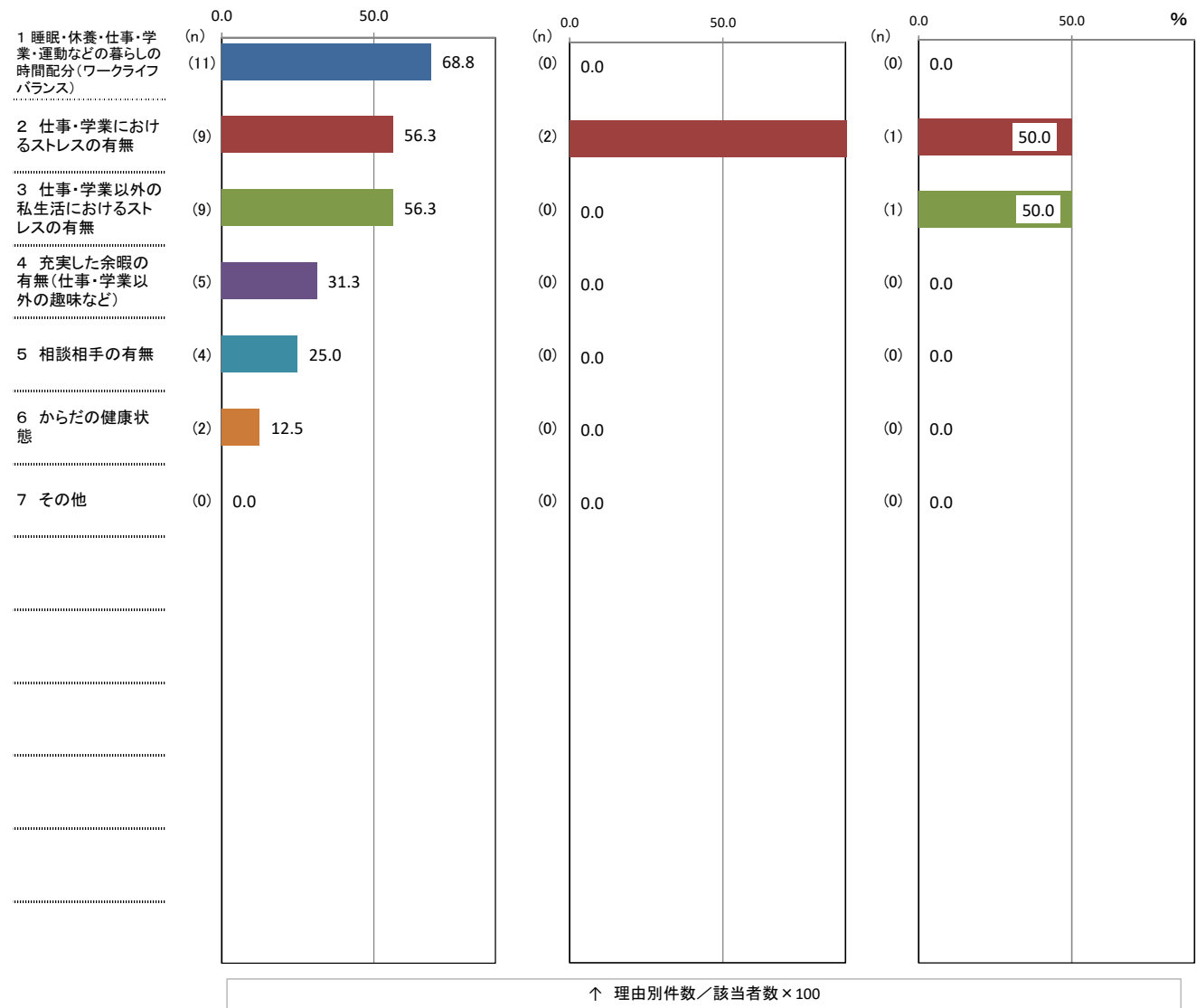
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜子どもの数4人以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 16人 (40)	②「どちらともいえない」の回答 2人 (2)	③「あまり感じない・感じない」の回答 2人 (2)
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (2)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (1)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (9)		3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (1)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (9)		

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数4人以上>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		68.8	56.3	56.3	31.3	25.0	12.5	0.0
②「どちらともいえない」		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=16人)	40	11	9	9	5	4	2	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=2人)	2	0	2	0	0	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=2人)	2	0	1	1	0	0	0	0

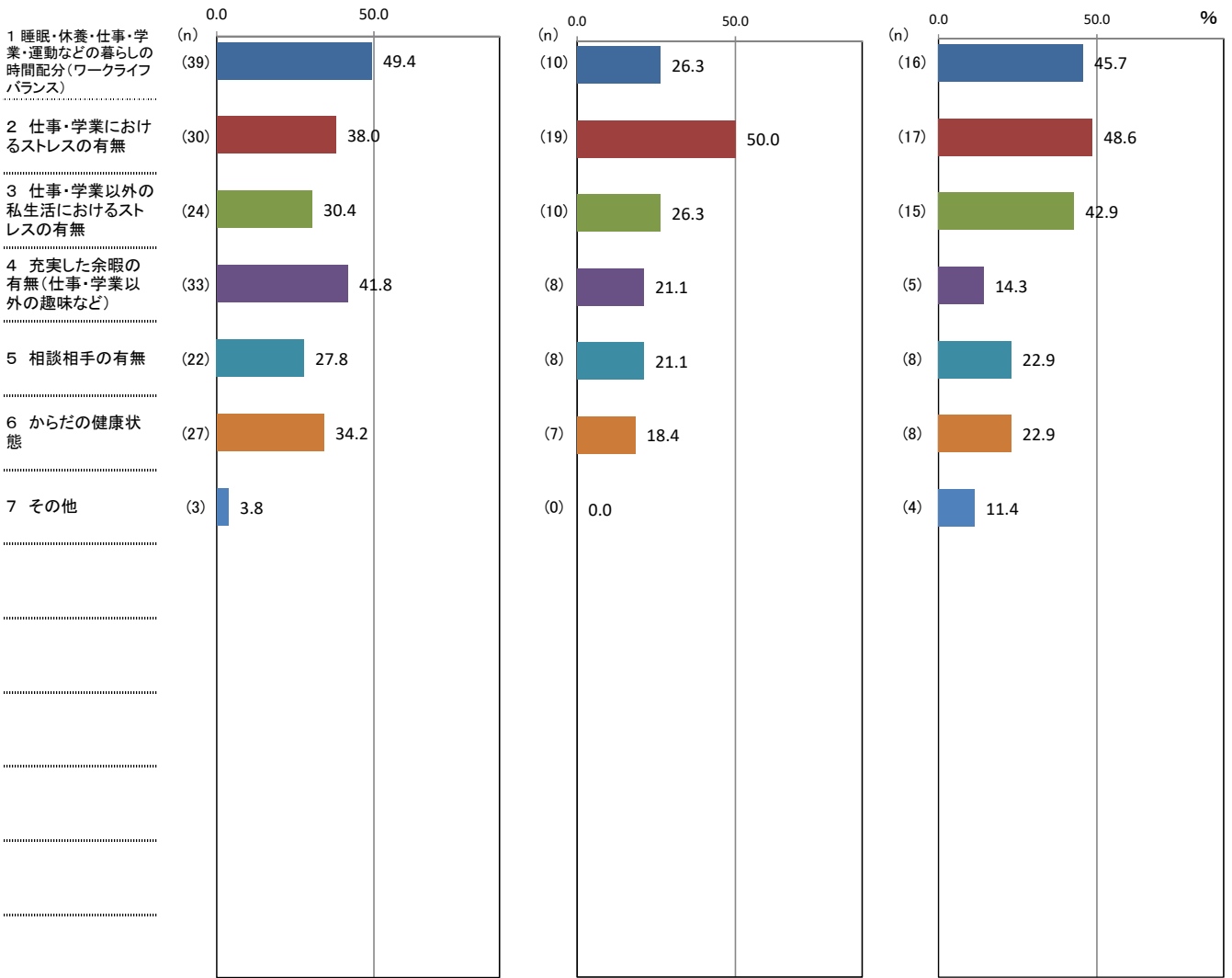
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康) <子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (178) 79 人	②「どちらともいえない」の回答 (62) 38 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (73) 35 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (39)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (19)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (17)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (33)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (10) 2位	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (16)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (30)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (10)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (15)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもはいない>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		49.4	38.0	30.4	41.8	27.8	34.2	3.8
②「どちらともいえない」		26.3	50.0	26.3	21.1	21.1	18.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		45.7	48.6	42.9	14.3	22.9	22.9	11.4

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=79人)	178	39	30	24	33	22	27	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=38人)	62	10	19	10	8	8	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=35人)	73	16	17	15	5	8	8	4

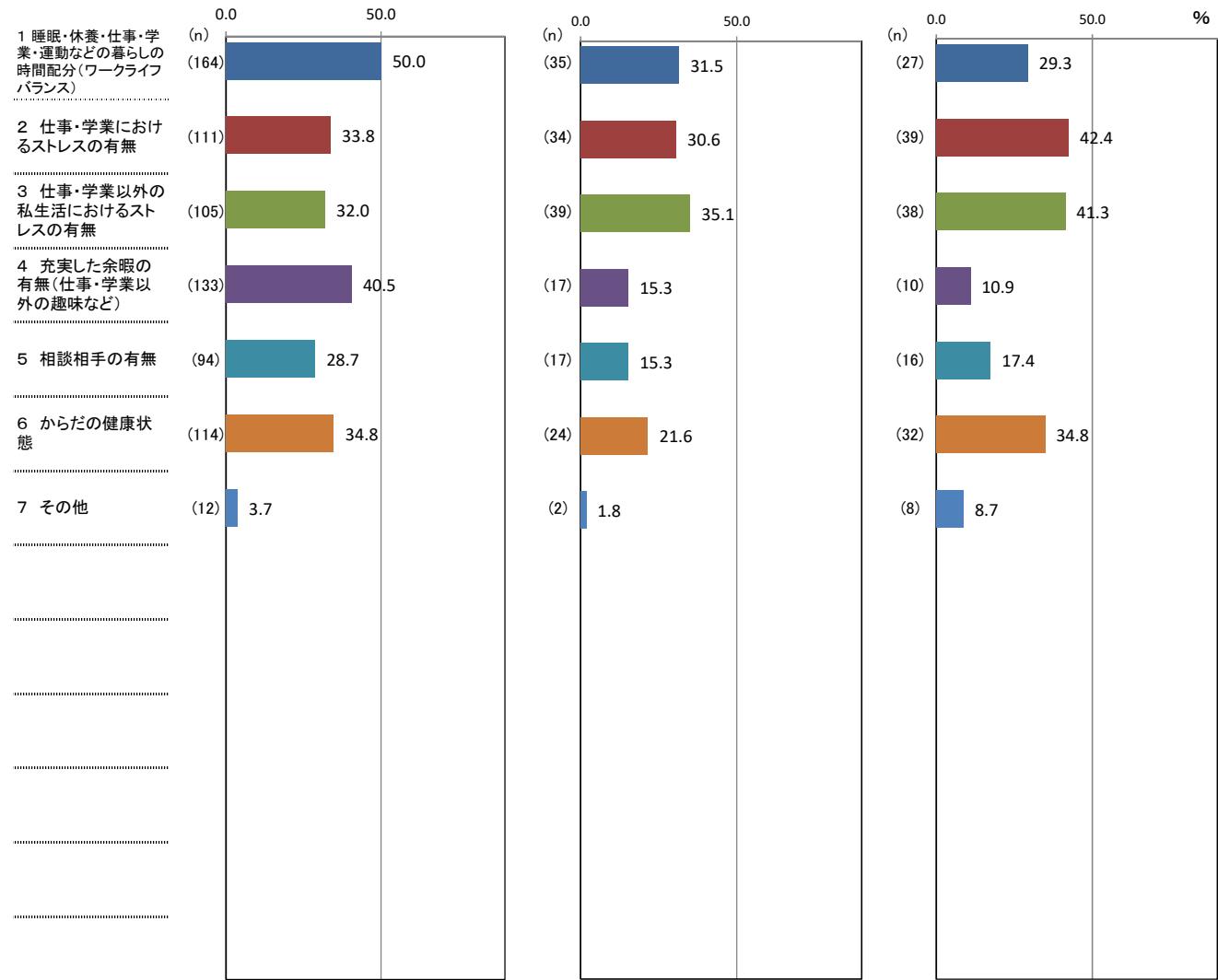
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (733) 328 人	②「どちらともいえない」の回答 (168) 111 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (170) 92 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (164)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (39)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (39)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (133)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (35)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (38)
3	6 からだの健康状態 (114)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (34)	6 からだの健康状態 (32)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<居住年数20年以上>

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		500	33.8	32.0	40.5	28.7	34.8	3.7
②「どちらともいえない」		31.5	30.6	35.1	15.3	15.3	21.6	1.8
③「あまり感じない・感じない」		29.3	42.4	41.3	10.9	17.4	34.8	8.7

区分	計	1 睡眠・休 業・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=328人)	733	164	111	105	133	94	114	12
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=111人)	168	35	34	39	17	17	24	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=92人)	170	27	39	38	10	16	32	8

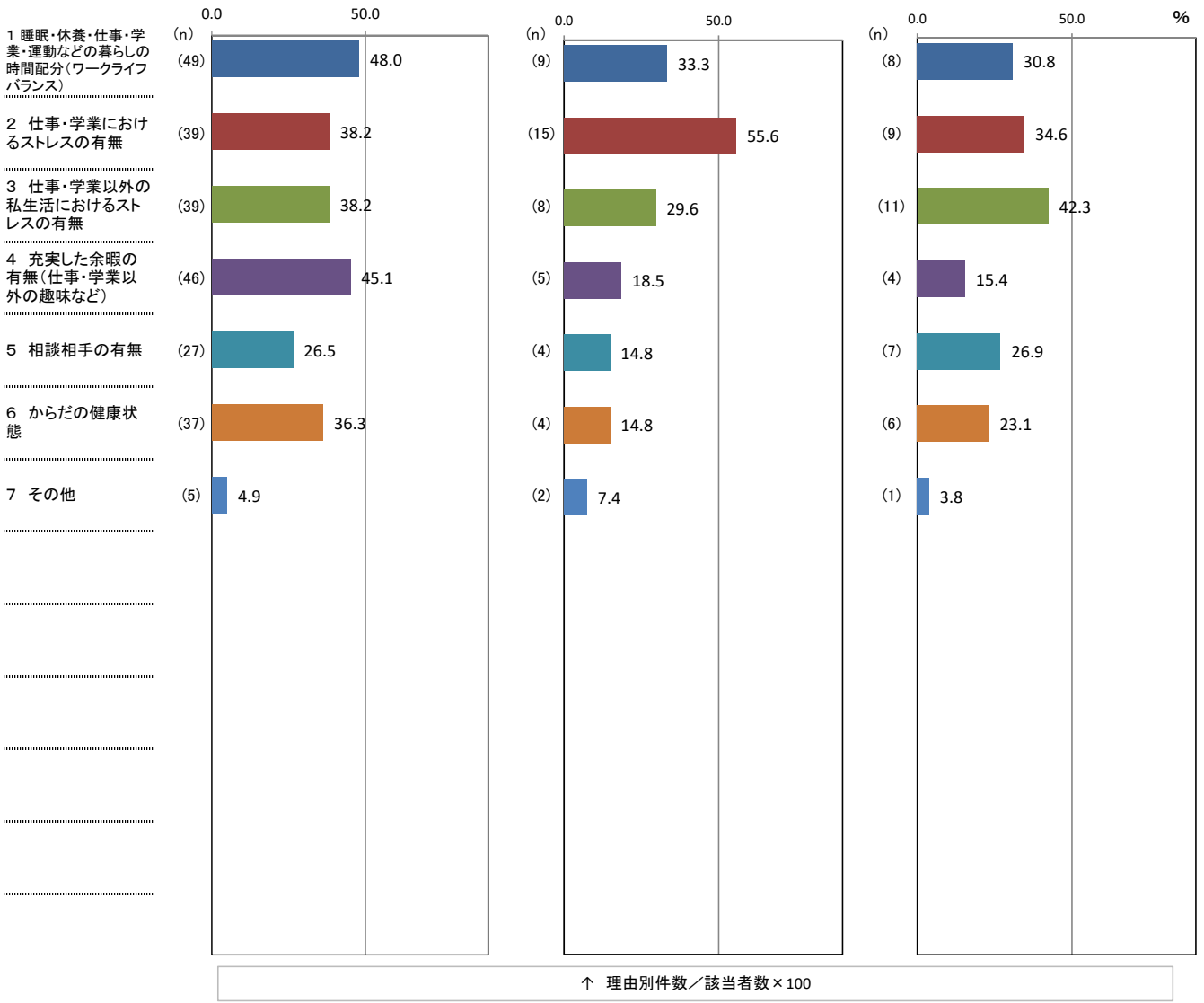
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (242) 102 人	②「どちらともいえない」の回答 (47) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (46) 26 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (49)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (15)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (11)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (46)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (9)
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (39)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (8)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)
	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (39)		

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<県央広域振興圏>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		48.0	38.2	38.2	45.1	26.5	36.3	4.9
②「どちらともいえない」		33.3	55.6	29.6	18.5	14.8	14.8	7.4
③「あまり感じない・感じない」		30.8	34.6	42.3	15.4	26.9	23.1	3.8

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=102人)	242	49	39	39	46	27	37	5
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=27人)	47	9	15	8	5	4	4	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=26人)	46	8	9	11	4	7	6	1

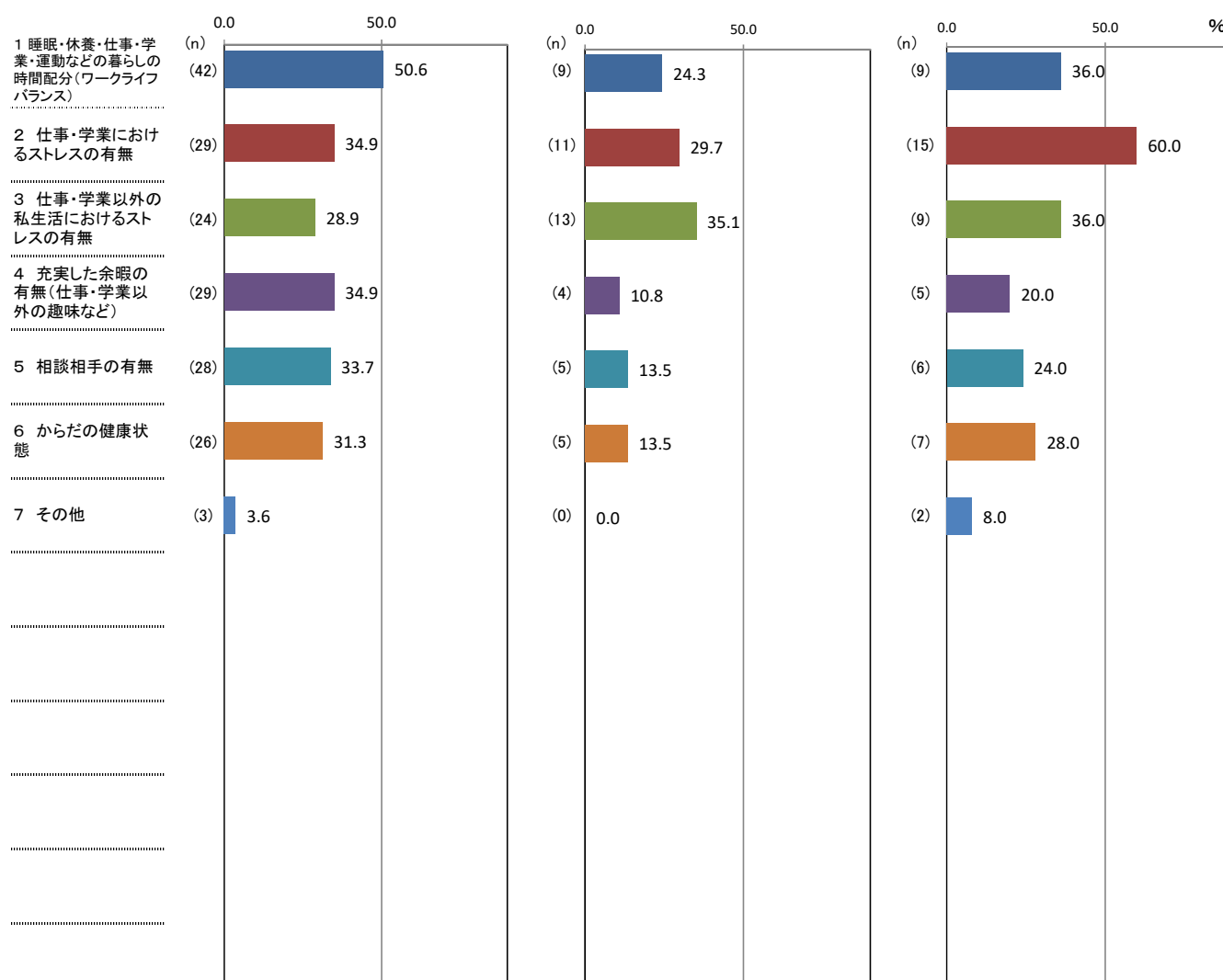
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (181) 83 人	②「どちらともいえない」の回答 (47) 37 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (53) 25 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (42)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (13)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (15)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (29) 2位	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)
3	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (29)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (9) 2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<県南広域振興圏>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		50.6	34.9	28.9	34.9	33.7	31.3	3.6
②「どちらともいえない」		24.3	29.7	35.1	10.8	13.5	13.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		36.0	60.0	36.0	20.0	24.0	28.0	8.0

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=83人)	181	42	29	24	29	28	26	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=37人)	47	9	11	13	4	5	5	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=25人)	53	9	15	9	5	6	7	2

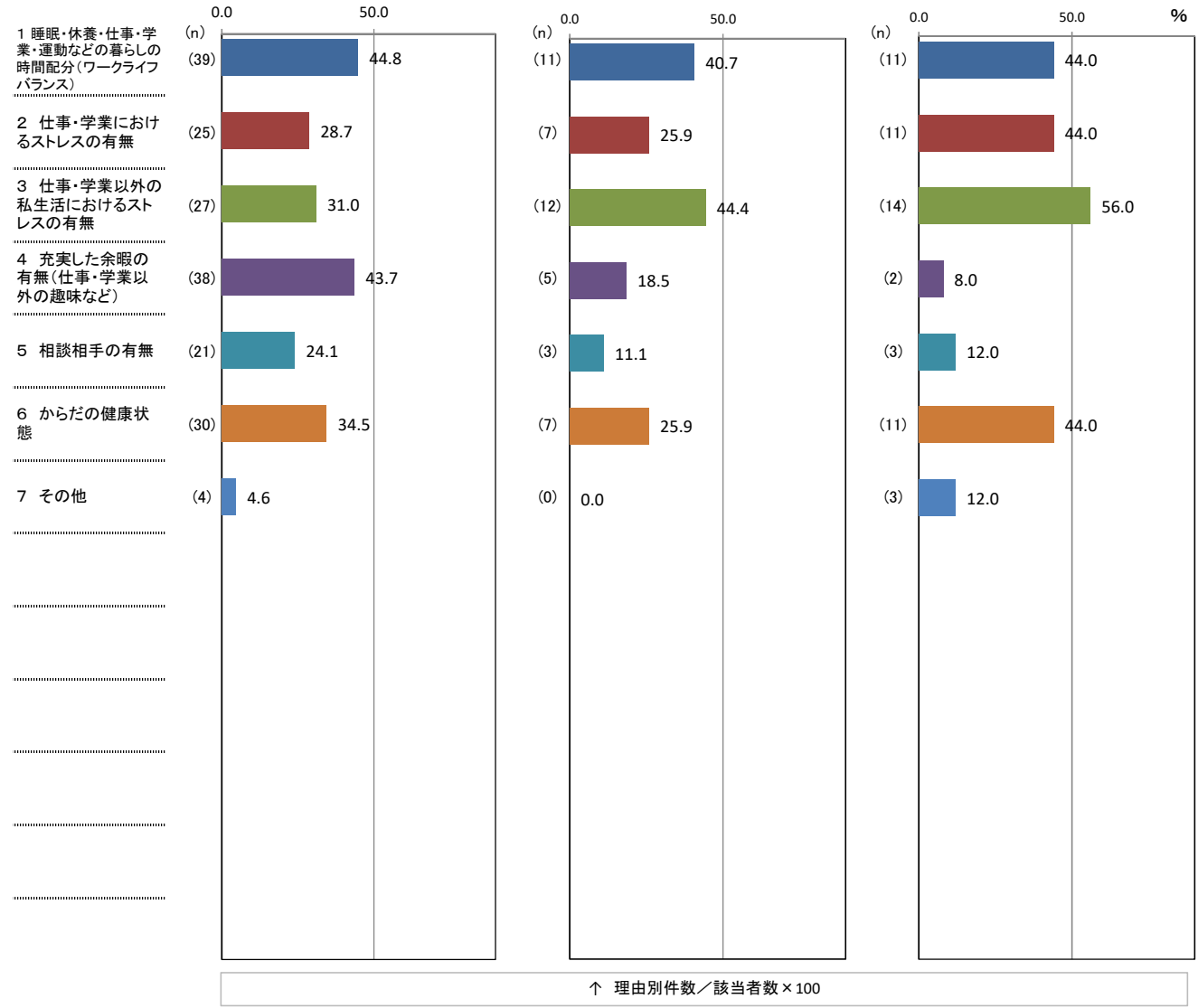
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 87 人 (184)	②「どちらともいえない」の回答 27 人 (45)	③「あまり感じない・感じない」の回答 25 人 (55)
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (39)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (12)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (14)
2	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (38)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)
3	6 からだの健康状態 (30)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (7)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (11)
		6 からだの健康状態 (7)	6 からだの健康状態 (11)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<沿岸広域振興圏>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		44.8	28.7	31.0	43.7	24.1	34.5	4.6
②「どちらともいえない」		40.7	25.9	44.4	18.5	11.1	25.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		44.0	44.0	56.0	8.0	12.0	44.0	12.0

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=87人)	184	39	25	27	38	21	30	4
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=27人)	45	11	7	12	5	3	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=25人)	55	11	11	14	2	3	11	3

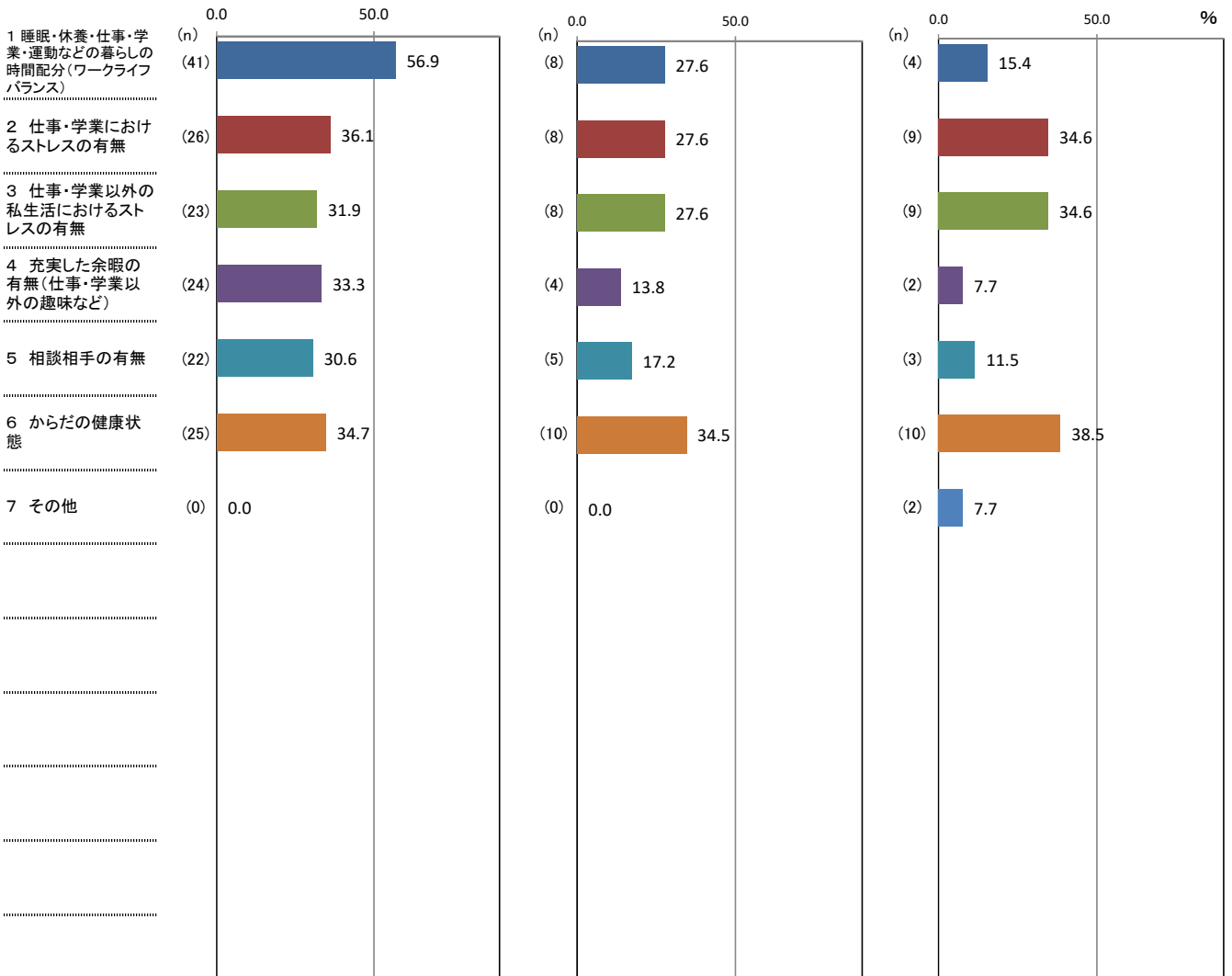
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (161) 72 人	②「どちらともいえない」の回答 (43) 29 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (39) 26 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (41)	6 からだの健康状態 (10)	6 からだの健康状態 (10)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (26)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (9)
3	6 からだの健康状態 (25)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (8)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (9)
		3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (8)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1) 心身の健康についての回答理由(問1-1(1)-2「①あなたはここが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<県北広域振興圏>

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		56.9	36.1	31.9	33.3	30.6	34.7	0.0
②「どちらともいえない」		27.6	27.6	27.6	13.8	17.2	34.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		15.4	34.6	34.6	7.7	11.5	38.5	7.7

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など の暮らした時 間配分(ワー クライフバ ランス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=72人)	161	41	26	23	24	22	25	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=29人)	43	8	8	8	4	5	10	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=26人)	39	4	9	9	2	3	10	2

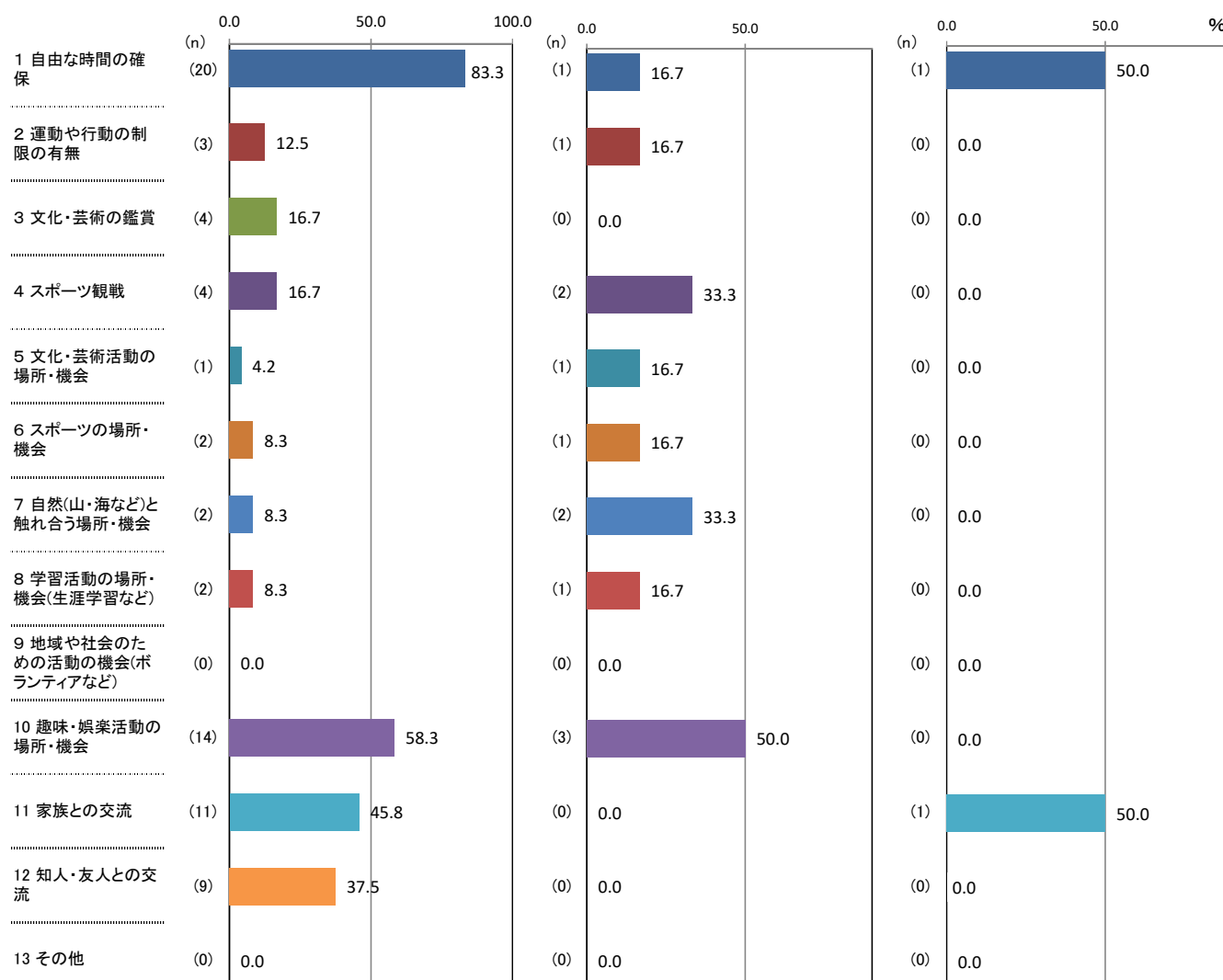
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (72) 24 人	②「どちらともいえない」の回答 (12) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 2 人
1	1 自由な時間の確保 (20)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3)	1 自由な時間の確保 (1)
2	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (14)	4 スポーツ観戦 (2)	11 家族との交流 (1)
3	11 家族との交流 (11)	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (2)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由 (問1-1 (2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<20～29歳>

＜20～29歳＞														
区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		83.3	12.5	16.7	16.7	16.7	4.2	8.3	8.3	0.0	58.3	45.8	37.5	0.0
②「どちらともいえない」		16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海などと触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=24人)	72	20	3	4	4	1	2	2	2	0	14	11	9	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=6人)	12	1	1	0	2	1	1	2	1	0	3	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=2人)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

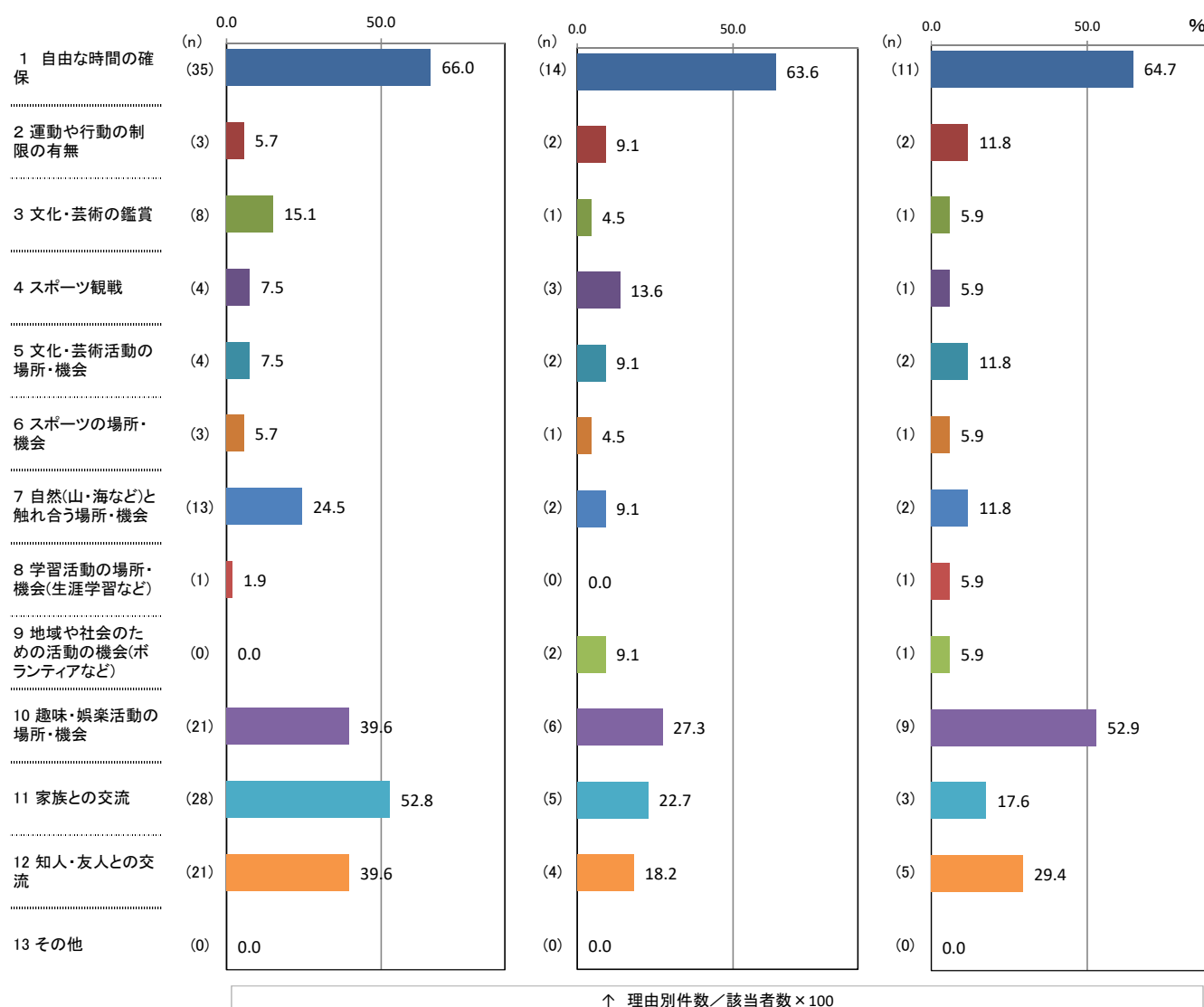
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」<30～39歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (141) 53 人	②「どちらともいえない」の回答 (42) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (39) 17 人
1	1 自由な時間の確保 (35)	1 自由な時間の確保 (14)	1 自由な時間の確保 (11)
2	11 家族との交流 (28)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (6)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (9)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (21) 12 知人・友人との交流 (21)	11 家族との交流 (5)	12 知人・友人との交流 (5)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由 (問1-1 (2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<30～39歳>

＜30～39歳＞															
区分	計	1 自由な時間 の確保	12 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
①「感じる・やや感じる」		66.0	5.7	15.1		7.5	7.5	5.7	24.5	1.9	0.0	39.6	52.8	39.6	0.0
②「どちらともいえない」		63.6	9.1	4.5		13.6	9.1	4.5	9.1	0.0	9.1	27.3	22.7	18.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		64.7	11.8	5.9		5.9	11.8	5.9	11.8	5.9	52.9	17.6	29.4	29.4	0.0

区分	計	(件)													
		1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=53人)	141	35	3	8	4	4	3	13	1	0	21	28	21	0	
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=22人)	42	14	2	1		3	2	1	2	0	2	6	5	4	0
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=17人)	39	11	2	1	1	1	2	1	2	1	1	9	3	5	0

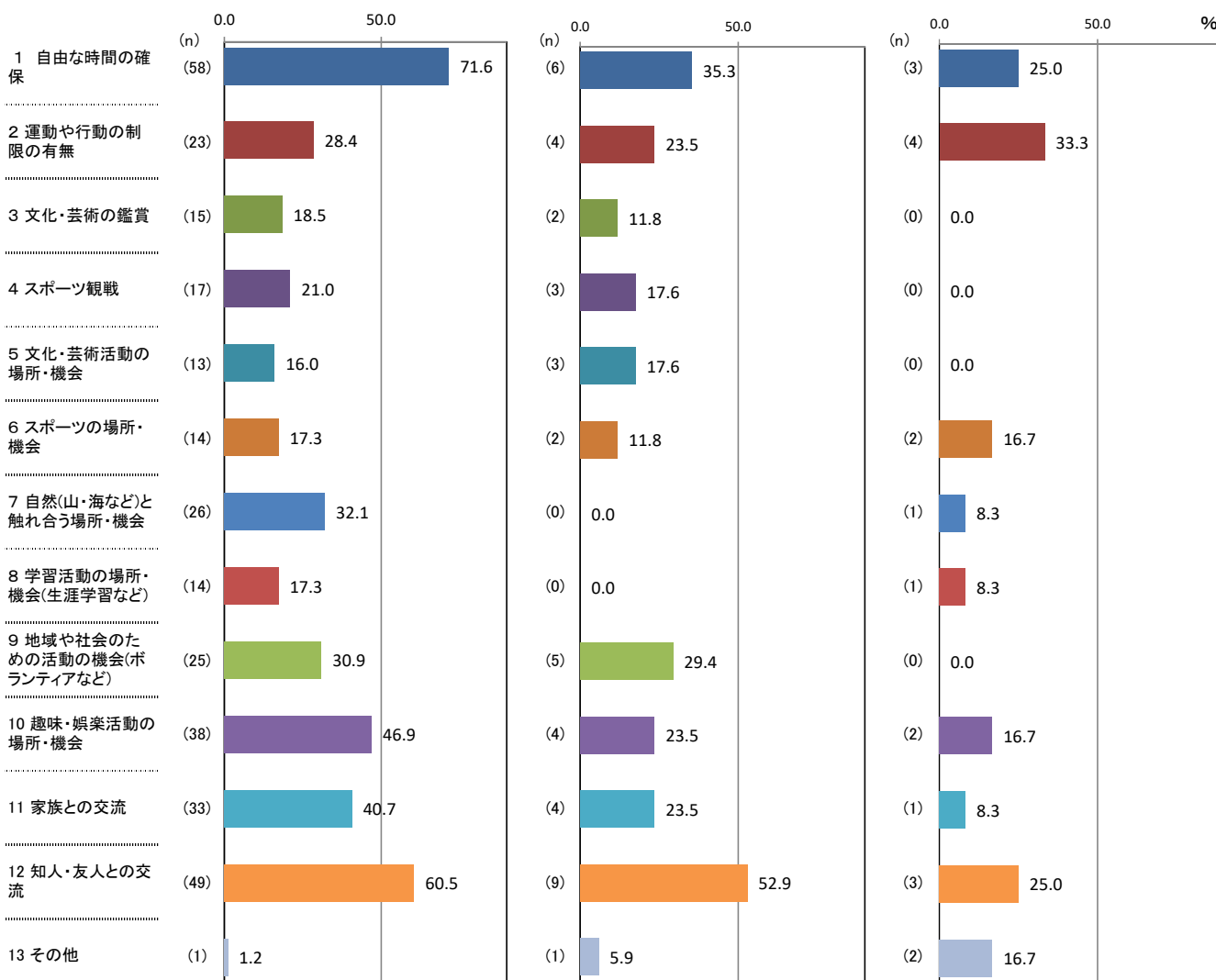
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (326) 81 人	②「どちらともいえない」の回答 (43) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (19) 12 人
1	1 自由な時間の確保 (58)	12 知人・友人との交流 (9)	2 運動や行動の制限の有無 (4)
2	12 知人・友人との交流 (49)	1 自由な時間の確保 (6)	1 自由な時間の確保 (3)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (38)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど) (5)	12 知人・友人との交流 (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<70歳以上>

	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など自然 と触れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		71.6	28.4	18.5	21.0	16.0	17.3	32.1	17.3	30.9	46.9	40.7	60.5	1.2
②「どちらともいえない」		35.3	23.5	11.8	17.6	17.6	11.8	0.0	0.0	29.4	23.5	23.5	52.9	5.9
③「あまり感じない・感じない」		25.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0	16.7

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など自然 と触れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=81人)	326	58	23	15	17	13	14	26	14	25	38	33	49	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=17人)	43	6	4	2	3	3	2	0	0	5	4	4	9	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=12人)	19	3	4	0	0	0	2	1	1	0	2	1	3	2

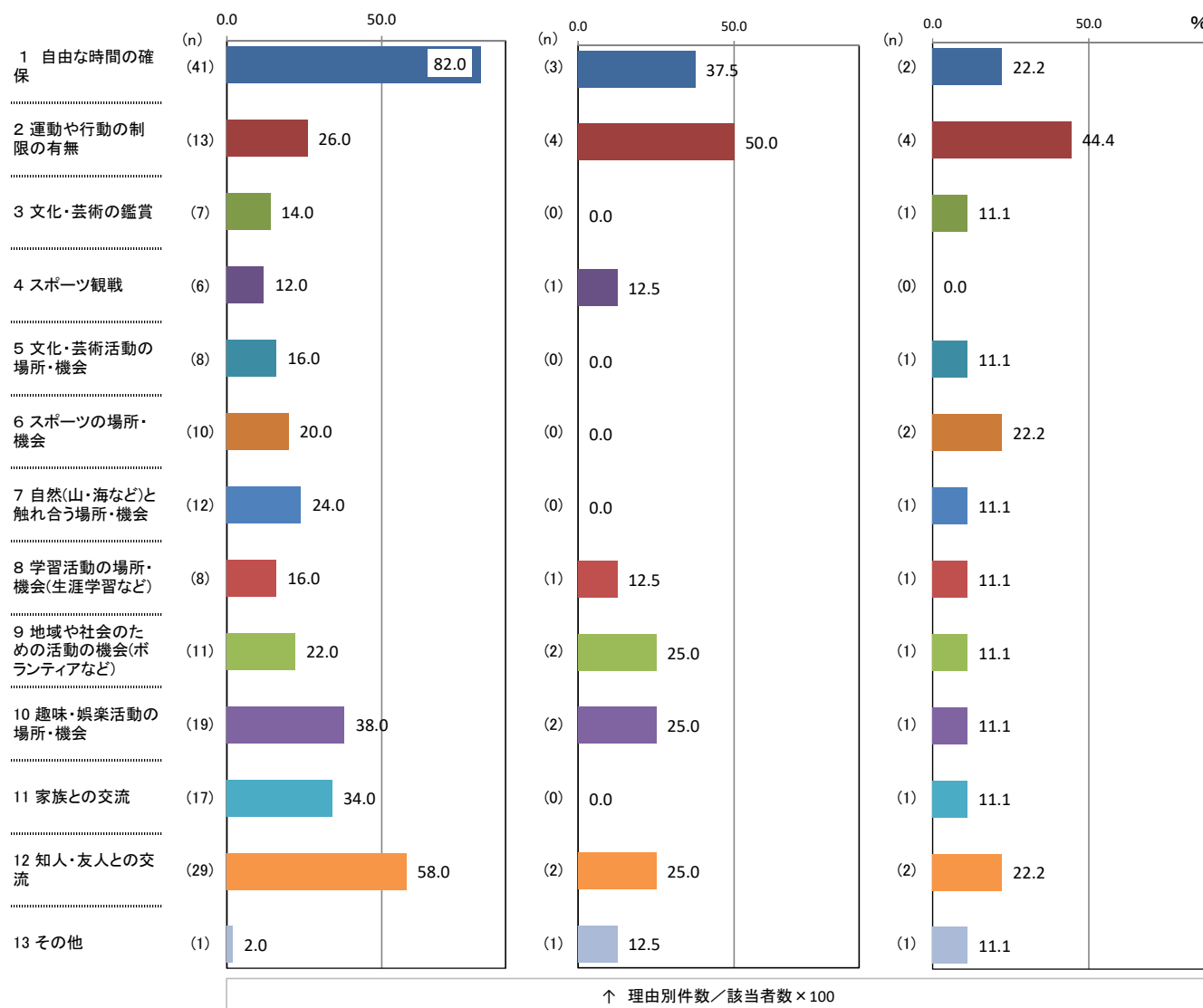
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (182) 50 人	②「どちらともいえない」の回答 (16) 8 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (18) 9 人
1	1 自由な時間の確保 (41)	2 運動や行動の制限の有無 (4)	2 運動や行動の制限の有無 (4)
2	12 知人・友人との交流 (29)	1 自由な時間の確保 (3)	1 自由な時間の確保 (2)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (19)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど) (2) 3位	6 スポーツの場所・機会 (2) 2位
		10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (2) 3位	12 知人・友人との交流 (2) 2位
		12 知人・友人との交流 (2)	

()内の数字は件数。



【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<60歳以上の無職>

＜60歳以上の無職＞														
	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
		82.0	26.0	14.0	12.0	16.0	20.0	24.0	16.0	22.0	38.0	34.0	58.0	2.0
①「感じる・やや感じる」														
②「どちらともいえない」		37.5	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	25.0	0.0	25.0	12.5
③「あまり感じない・感じない」		22.2	44.4	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海などと触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=50人)	182	41	13	7		6	8	10	12	8	11	19	17	29	1
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=8人)	16	3	4	0	0	1	0	0	0	1	2	2	0	2	1
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=9人)	18	2	4	1	1	0	1	2	1	1	1	1	1	2	1

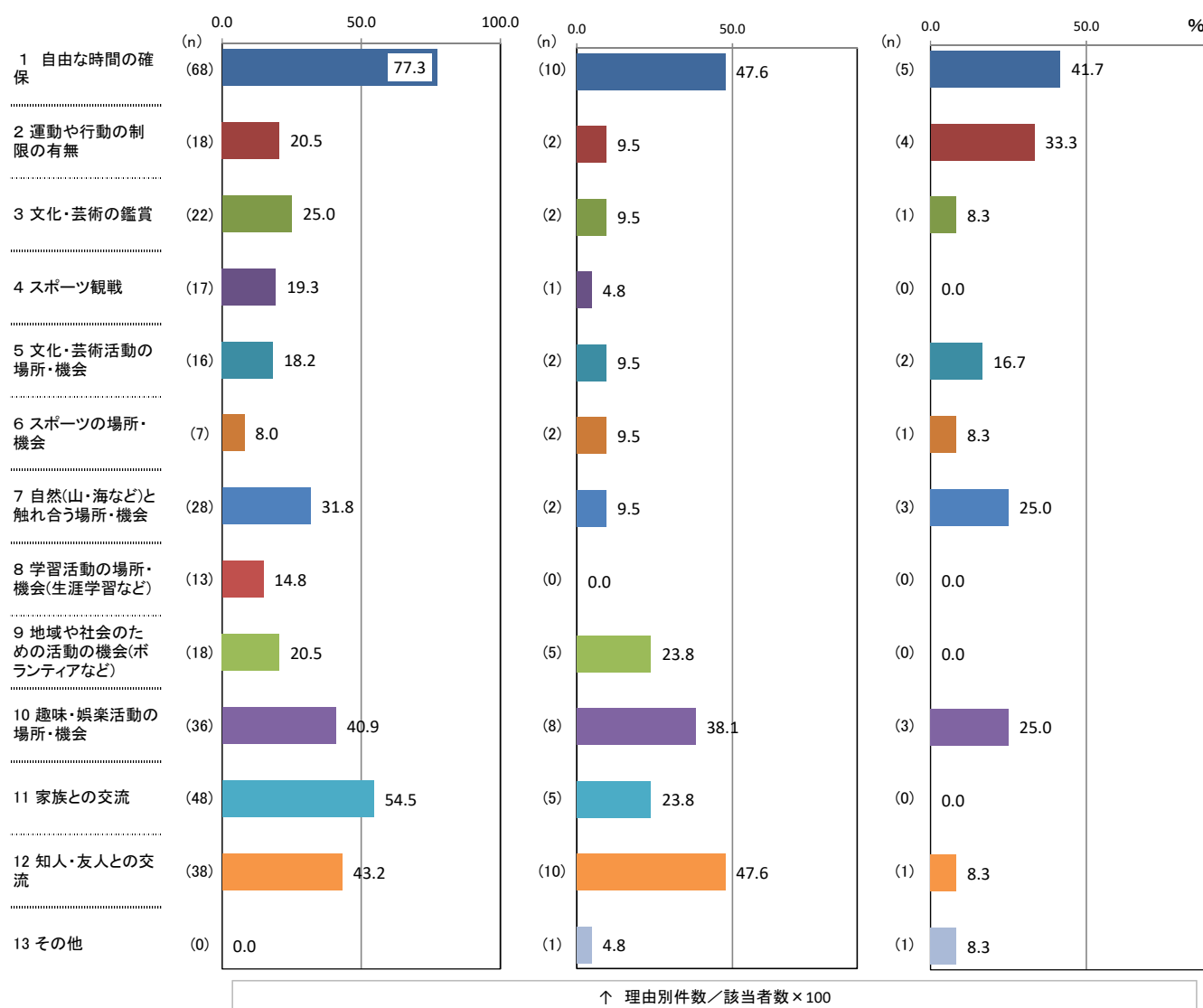
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (329) 88 人	②「どちらともいえない」の回答 (50) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (21) 12 人
1	1 自由な時間の確保 (68)	1 自由な時間の確保 (10) 1位	1 自由な時間の確保 (5)
2	11 家族との交流 (48)	12 知人・友人との交流 (10)	2 運動や行動の制限の有無 (4)
3	12 知人・友人との交流 (38)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (8)	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (3) 3位 10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由 (問1-1 (2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<夫婦のみ>

＜夫婦のみ＞															
	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
①「感じる・やや感じる」		77.3	20.5	25.0		19.3	18.2	8.0	31.8	14.8	20.5	40.9	54.5	43.2	0.0
②「どちらともいえない」		47.6	9.5	9.5		4.8	9.5	9.5	9.5	0.0	23.8	38.1	23.8	47.6	4.8
③「あまり感じない・感じない」		41.7	33.3	8.3		0.0	16.7	8.3	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3	8.3

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=88人)	329	68	18	22	22	17	16	7	28	13	18	36	48	38	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=21人)	50	10	2	2		1	2	2	2	0	5	8	5	10	1
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=12人)	21	5	4	1	1	0	2	1	3	0	0	3	0	1	1

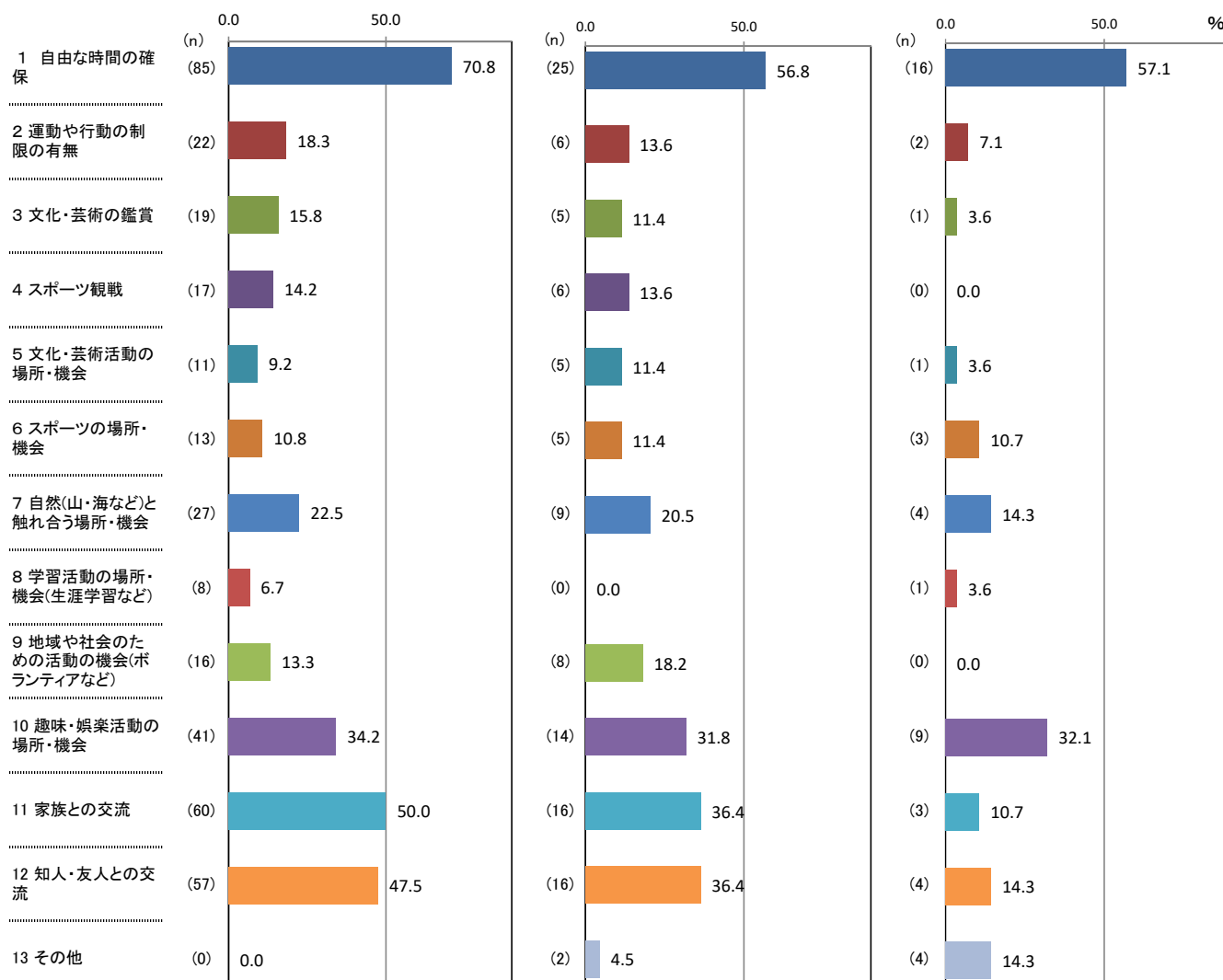
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」<子どもの数2人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (376) 120 人	②「どちらともいえない」の回答 (117) 44 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (48) 28 人
1	1 自由な時間の確保 (85)	1 自由な時間の確保 (25)	1 自由な時間の確保 (16)
2	11 家族との交流 (60)	11 家族との交流 (16)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (9)
3	12 知人・友人との交流 (57)	12 知人・友人との交流 (16)	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (4)
			12 知人・友人との交流 (4)
			13 その他 (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数2人>

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など自然 と触れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		70.8	18.3	15.8	14.2	9.2	10.8	22.5	6.7	13.3	34.2	50.0	47.5	0.0
②「どちらともいえない」		56.8	13.6	11.4	13.6	11.4	11.4	20.5	0.0	18.2	31.8	36.4	36.4	4.5
③「あまり感じない・感じない」		57.1	7.1	3.6	0.0	3.6	10.7	14.3	3.6	0.0	32.1	10.7	14.3	14.3

区分	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然山・ 海など自然 と触れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=120人)	376	85	22	19	17	11	13	27	8	16	41	60	57	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=44人)	117	25	6	5	6	5	5	9	0	8	14	16	16	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=28人)	48	16	2	1	0	1	3	4	1	0	9	3	4	4

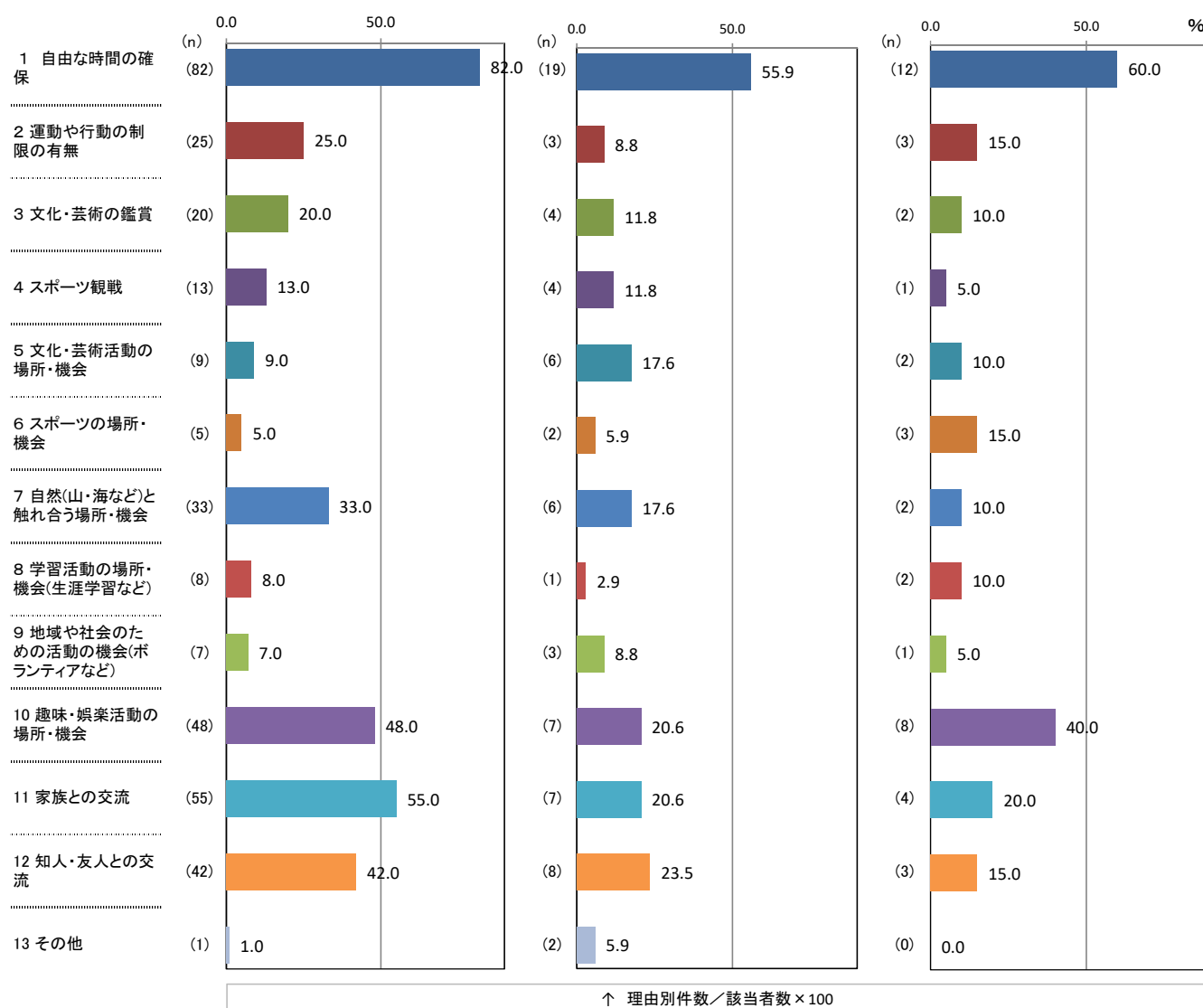
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 100 人 (348)	②「どちらともいえない」の回答 34 人 (72)	③「あまり感じない・感じない」の回答 20 人 (43)
1	1 自由な時間の確保 (82)	1 自由な時間の確保 (19)	1 自由な時間の確保 (12)
2	11 家族との交流 (55)	12 知人・友人との交流 (8)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (8)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (48)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (7)	11 家族との交流 (4)
		11 家族との交流 (7)	

()内の数字は件数。



【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県央広域振興圏＞

＜県央広域振興圏＞														
	計	1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他
		82.0	25.0	20.0	13.0	9.0	5.0	33.0	8.0	7.0	48.0	55.0	42.0	1.0
①「感じる・やや感じる」														
②「どちらともいえない」		55.9	8.8	11.8	11.8	17.6	5.9	17.6	2.9	8.8	20.6	20.6	23.5	5.9
③「あまり感じない・感じない」		60.0	15.0	10.0	5.0	10.0	15.0	10.0	10.0	5.0	40.0	20.0	15.0	0.0

区分	計	(件)													
		1 自由な時間 の確保	2 運動や行 動の制限の 有無	3 文化・芸術 の鑑賞	4 スポーツ観 戦	5 文化・芸術 活動の場所・ 機会	6 スポーツの 場所・機会	7 自然(山・ 海など)と触 れ合う場所・ 機会	8 学習活動 の場所・機会 (生涯学習な ど)	9 地域や社 会のための 活動の機会 (ボランティア など)	10 趣味・娯 楽活動の場 所・機会	11 家族との 交流	12 知人・友 人との交流	13 その他	
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=100人)	348	82	25	20		13	9	5	33	8	7	48	55	42	1
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=34人)	72	19	3	4		4	6	2	6	1	3	7	7	8	2
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=20人)	43	12	3	2		1	2	3	2	2	1	8	4	3	0

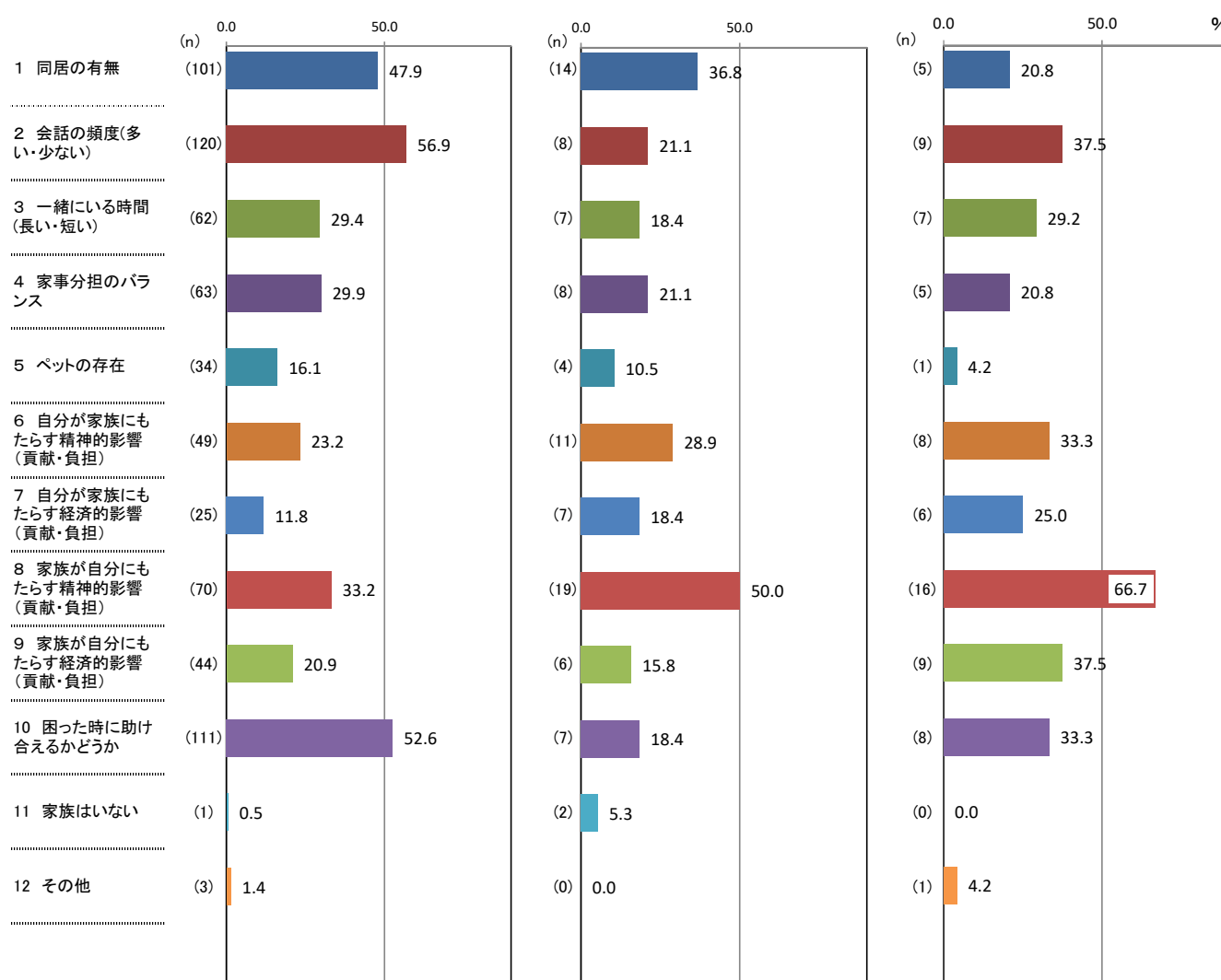
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (683) 211 人	②「どちらともいえない」の回答 (93) 38 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (75) 24 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (120)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (19)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (16)
2	10 困った時に助け合えるかどうか (111)	1 同居の有無 (14)	2 会話の頻度(多い・少ない) (9)
3	1 同居の有無 (101)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (11)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

＜女性＞		(%)											
区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえ るかどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」		47.9	56.9	29.4	29.9	16.1	23.2	11.8	33.2	20.9	52.6	0.5	1.4
②「どちらともいえない」		36.8	21.1	18.4	21.1	10.5	28.9	18.4	50.0	15.8	18.4	5.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.8	37.5	29.2	20.8	4.2	33.3	25.0	66.7	37.5	33.3	0.0	4.2

区分	(件)												
	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少な い)	3 一緒にい る時間(長い・ 短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他	
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=211人)	683	101	120	62	63	34	49	25	70	44	111	1	3
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=38人)	93	14	8	7	8	4	11	7	19	6	7	2	0
③ 「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=24人)	75	5	9	7	5	1	8	6	16	9	8	0	1

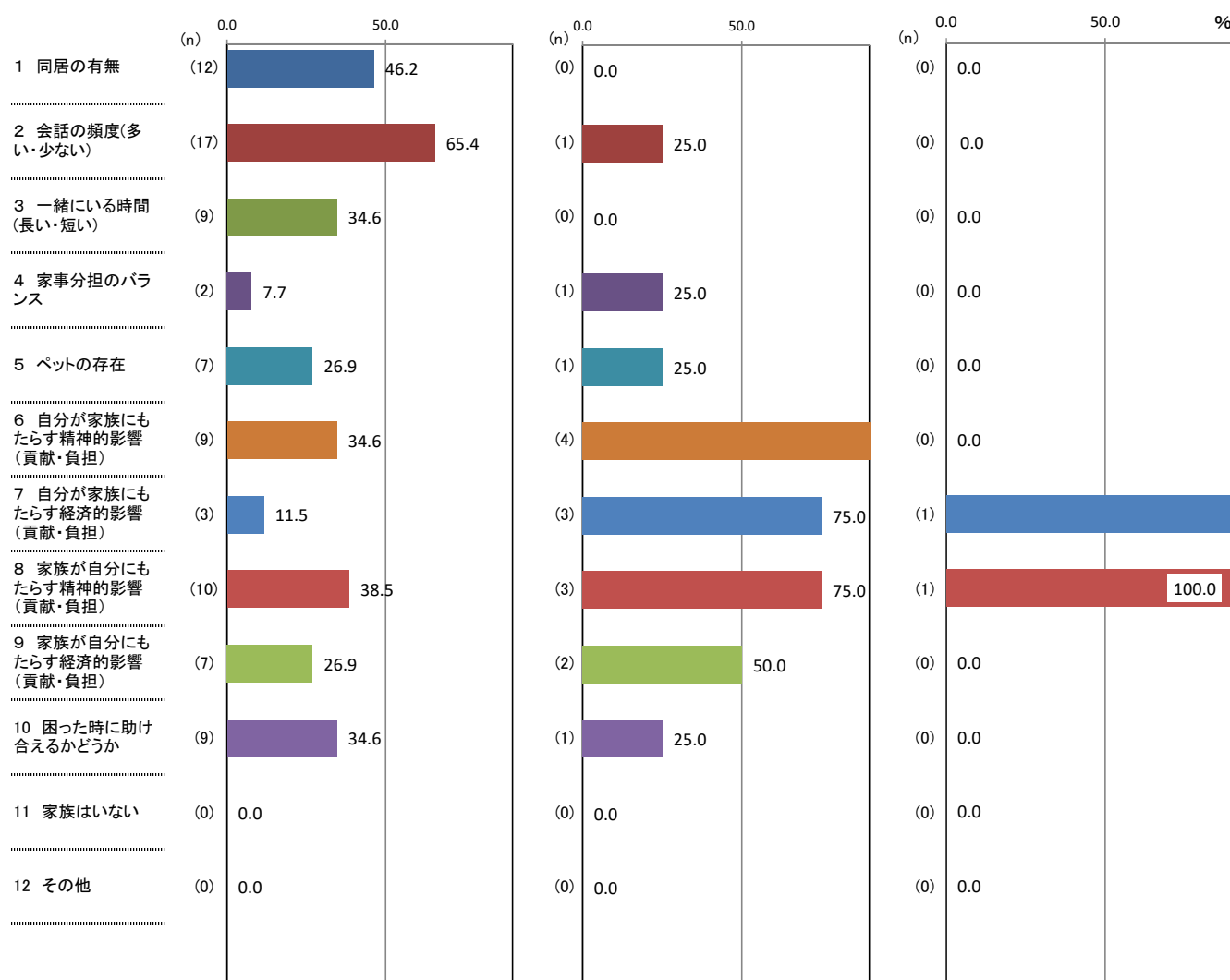
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」<20～29歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (85) 26 人	②「どちらともいえない」の回答 (16) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 1 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (17)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (1)
2	1 同居の有無 (12)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (3)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (1)
3	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (10)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (3)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

<20～29歳>

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			46.2	65.4	34.6	7.7	26.9	34.6	11.5	38.5	26.9	34.6	0.0
②「どちらともいえない」			0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	100.0	75.0	75.0	50.0	25.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=26人)	85	12	17	9	2	7		9	3	10	7	9	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=4人)	16	0	1	0	1	1		4	3	3	2	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=1人)	2	0	0	0	0	0		0	1	1	0	0	0

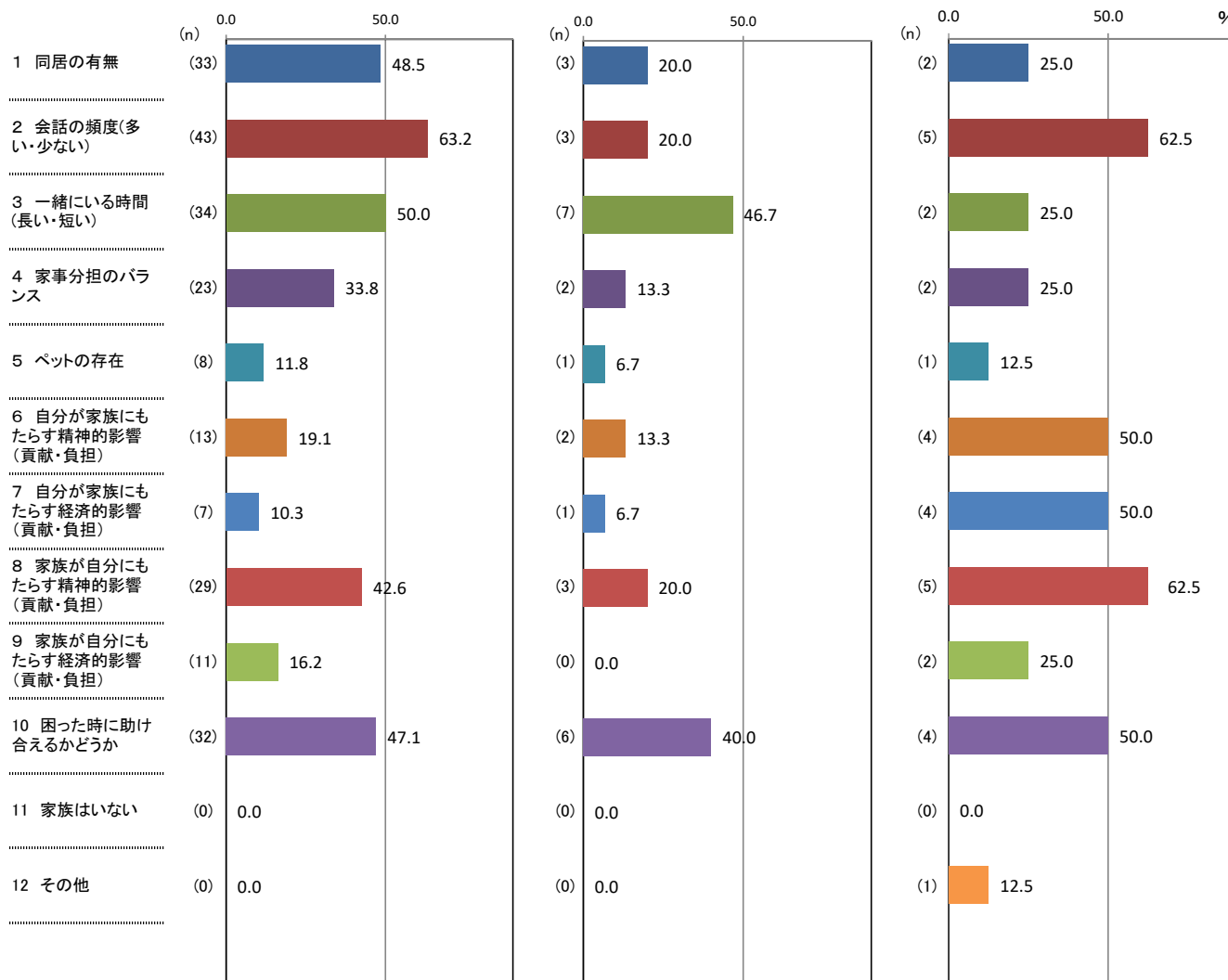
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」<30～39歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (233) 68 人	②「どちらともいえない」の回答 (28) 15 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (32) 8 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (43)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (7)	2 会話の頻度(多い・少ない) (5)
2	3 一緒にいる時間(長い・短い) (34)	10 困った時に助け合えるかどうか (6)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)
3	1 同居の有無 (33)	1 同居の有無 (3)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)
		2 会話の頻度(多い・少ない) (3)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (4)
		8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (3)	10 困った時に助け合えるかどうか (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

<30～39歳>

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			48.5	63.2	50.0	11.8	19.1	10.3	42.6	16.2	47.1	0.0	0.0
②「どちらともいえない」			20.0	20.0	46.7	6.7	13.3	6.7	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」			25.0	62.5	25.0	12.5	50.0	50.0	62.5	25.0	50.0	0.0	12.5

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=68人)	233	33	43	34	23	8	13	7	29	11	32	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=15人)	28	3	3	7	2	1	2	1	3	0	6	0	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=8人)	32	2	5	2	2	1	4	4	5	2	4	0	1

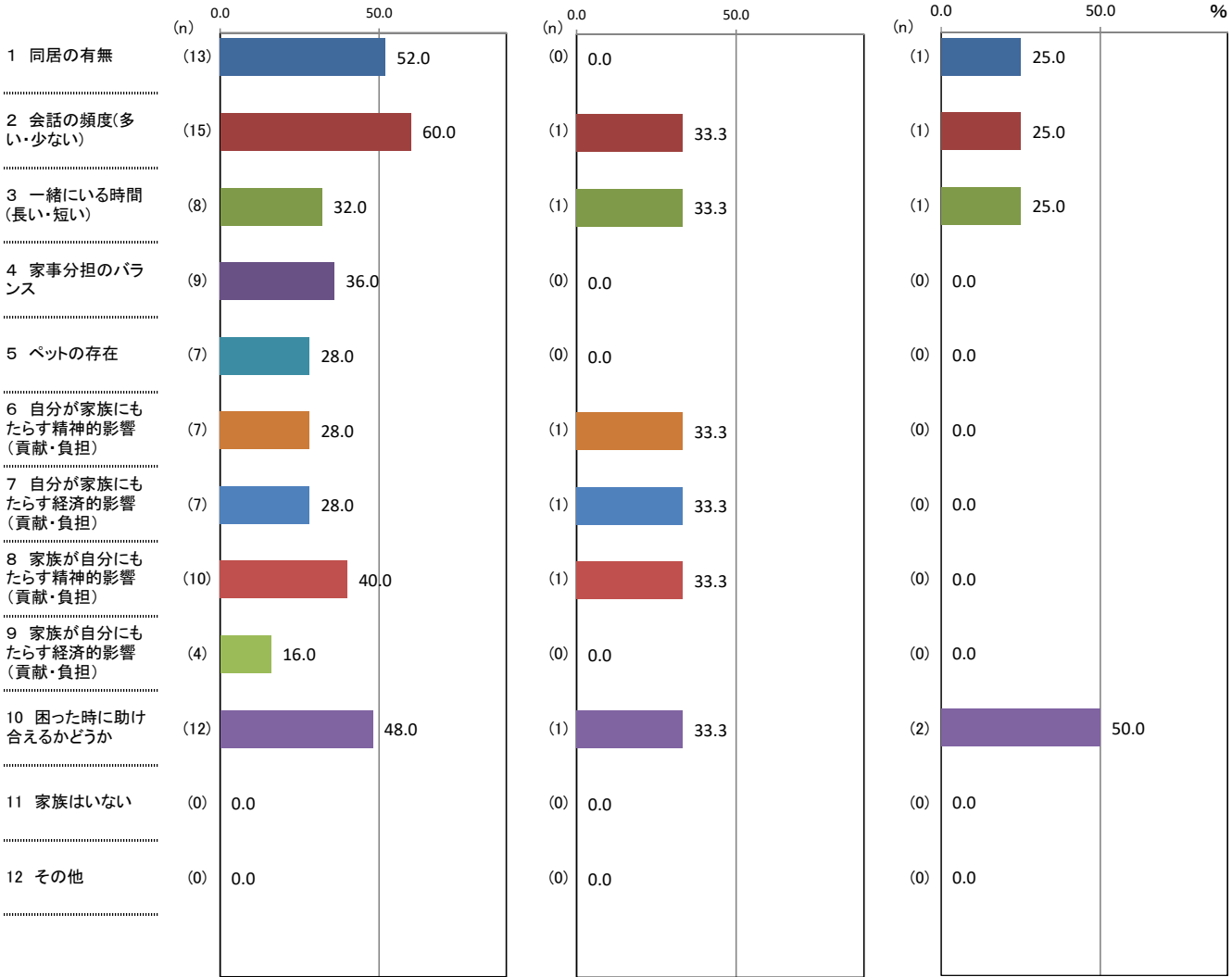
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜会社役員・団体役員＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (92) 25 人	②「どちらともいえない」の回答 (6) 3 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (5) 4 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (15)	2 会話の頻度(多い・少ない) (1) 1位	10 困った時に助け合えるかどうか (2)
2	1 同居の有無 (13)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (1) 1位	1 同居の有無 (1) 2位
3	10 困った時に助け合えるかどうか (12)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (1) 1位 7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (1) 1位 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (1) 1位 10 困った時に助け合えるかどうか (1) 1位	2 会話の頻度(多い・少ない) (1) 2位 3 一緒にいる時間(長い・短い) (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可))

<会社役員・団体役員>

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			52.0	60.0	32.0	36.0	28.0	28.0	28.0	40.0	16.0	48.0	0.0
②「どちらともいえない」								33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」			25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=25人)	92	13	15	8	9	7	7	7	7	10	4	12	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=3人)	6	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=4人)	5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0

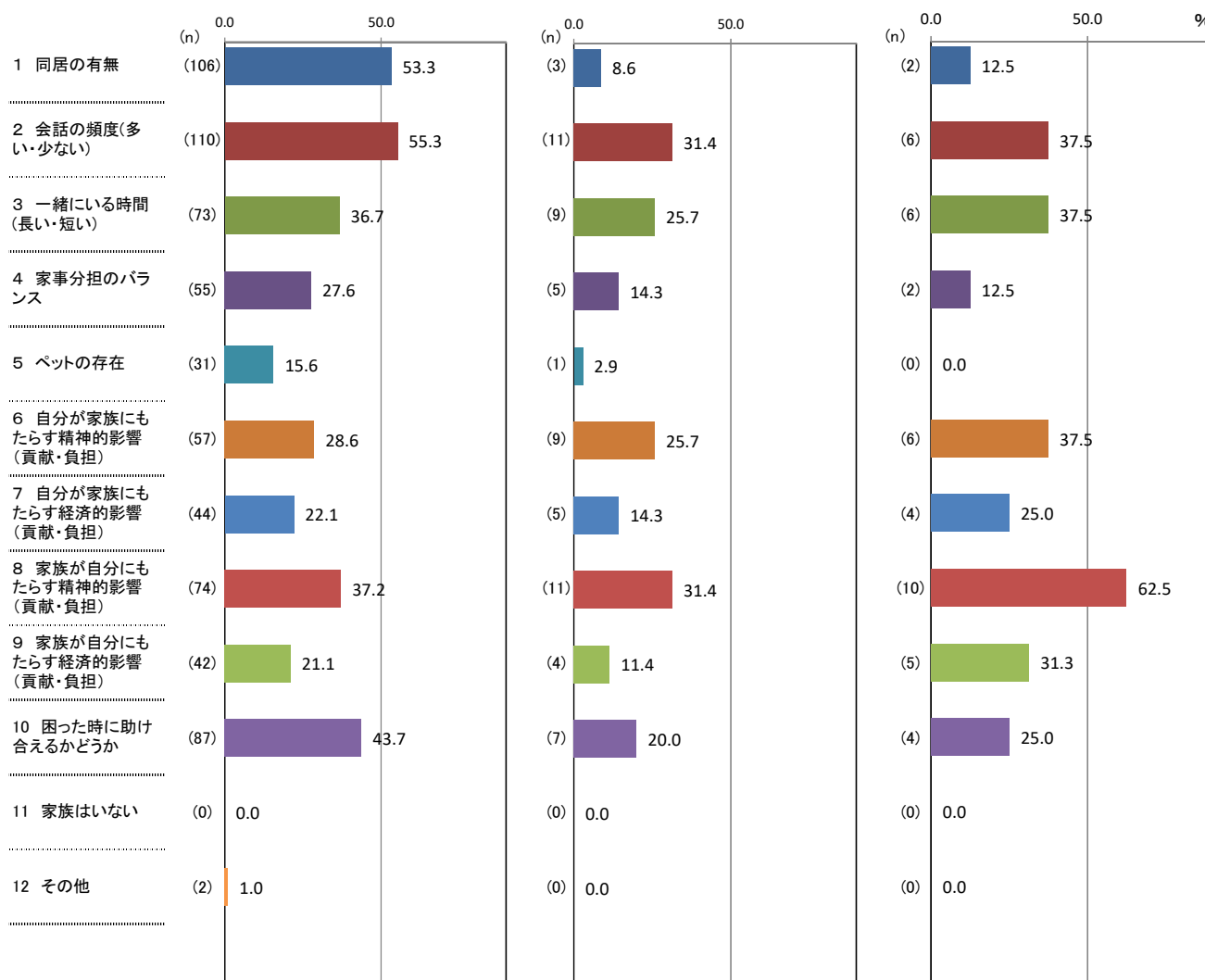
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (681) 199 人	②「どちらともいえない」の回答 (65) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (45) 16 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (110)	2 会話の頻度(多い・少ない) (11) 1位	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (10)
2	1 同居の有無 (106)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (11)	2 会話の頻度(多い・少ない) (6) 2位
3	10 困った時に助け合えるかどうか (87)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (9) 3位	3 一緒にいる時間(長い・短い) (6) 2位
		6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (9)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (6)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

<2世代世帯>

<2世代世帯>													
区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少な い)	3 一緒にい る時間(長い 短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			53.3	55.3	36.7	27.6	15.6	28.6	22.1	37.2	21.1	43.7	0.0
②「どちらともいえない」				31.4	25.7	14.3	2.9	25.7	14.3	31.4	11.4	20.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」			12.5	37.5	37.5	12.5	0.0	37.5	25.0	62.5	31.3	25.0	0.0

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=199人)	681	106	110	73	55	31	57	44	74	42	87	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=35人)	65	3	11	9	5	1	9	5	11	4	7	0	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=16人)	45	2	6	6	2	0	6	4	10	5	4	0	0

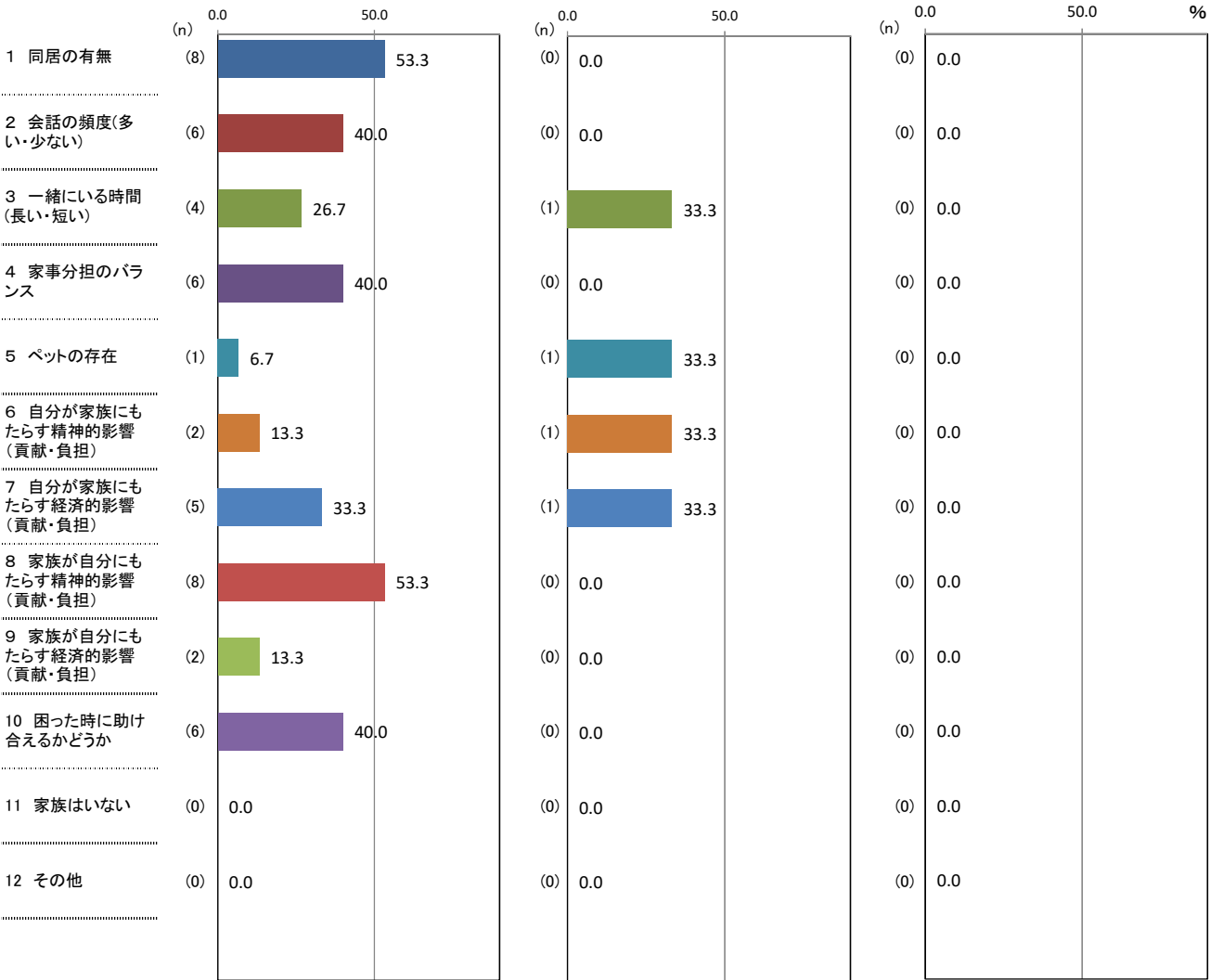
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜子どもの数4人以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (48) 15 人	②「どちらともいえない」の回答 (4) 3 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (0) 1 人
1	1 同居の有無 (8) 1位	3 一緒にいる時間(長い・短い) (1) 1位	
2	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (8) 1位	5 ペットの存在 (1) 1位	
3	2 会話の頻度(多い・少ない) (6) 3位	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (1) 1位	
	4 家事分担のバランス (6) 3位	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (1) 1位	
	10 困った時に助け合えるかどうか (6) 3位		

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①「あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<子どもの数4人以上>

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			53.3	40.0	26.7				33.3	53.3	13.3	40.0	0.0
②「どちらともいえない」									33.3	0.0			0.0
③「あまり感じない・感じない」			0.0	0.0	33.3				33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
			0.0	0.0	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=15人)	48		8	6	4				5	8	2	6	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=3人)	4		0	0	1				1	0	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=1人)	0		0	0	0				0	0	0	0	0

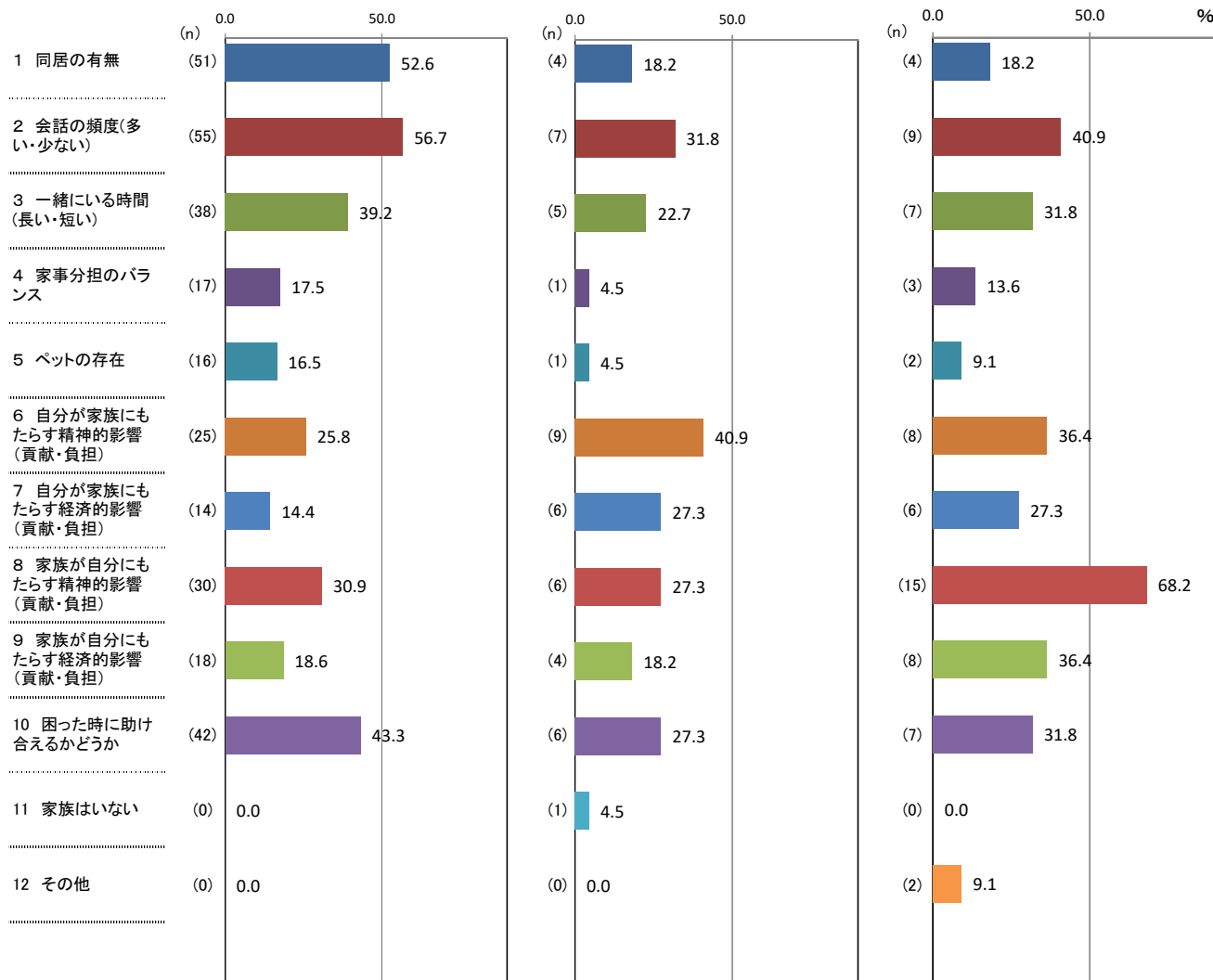
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (306) 97 人	②「どちらともいえない」の回答 (50) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (71) 22 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (55)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (9)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (15)
2	1 同居の有無 (51)	2 会話の頻度(多い・少ない) (7)	2 会話の頻度(多い・少ない) (9)
3	10 困った時に助け合えるかどうか (42)	7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担) (6)	6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担) (8)
		8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (6)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (8)
		10 困った時に助け合えるかどうか (6)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数 × 100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

<子どもはいない>

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			52.6	56.7	39.2		16.5	25.8	14.4	30.9	18.6	43.3	0.0
②「どちらともいえない」							4.5	40.9	27.3	27.3	18.2	27.3	4.5
③「あまり感じない・感じない」			18.2	31.8	22.7								0.0
			18.2	40.9	31.8	13.6	9.1	36.4	27.3	68.2	36.4	31.8	9.1

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=97人)	306	51	55	38	17	16	25	14	30	18	42	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=22人)	50	4	7	5	1	1	9	6	6	4	6	1	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=22人)	71	4	9	7	3	2	8	6	15	8	7	0	2

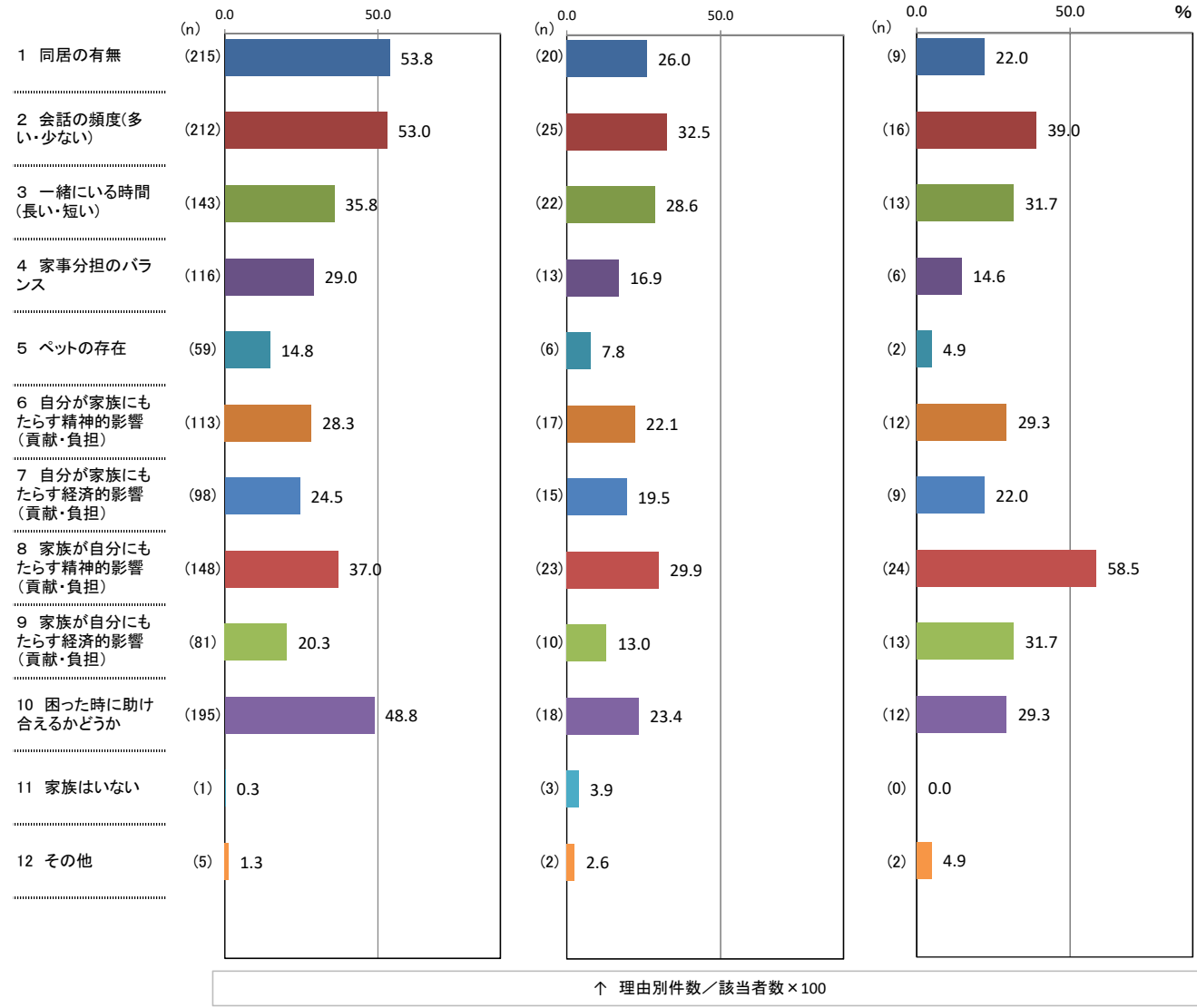
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 400 人 (1,386)	②「どちらともいえない」の回答 77 人 (174)	③「あまり感じない・感じない」の回答 41 人 (118)
1	1 同居の有無 (215)	2 会話の頻度(多い・少ない) (25)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (24)
2	2 会話の頻度(多い・少ない) (212)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (23)	2 会話の頻度(多い・少ない) (16)
3	10 困った時に助け合えるかどうか (195)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (22)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (13) 9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (13)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

<居住年数20年以上>

＜居住年数20年以上＞														
区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少な い)	3 一緒にい る時間(長い 短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他	
①「感じる・やや感じる」			53.8	53.0	35.8	29.0	14.8	28.3	24.5	37.0	20.3	48.8	0.3	1.3
②「どちらともいえない」														
③「あまり感じない・感じない」			26.0	32.5	28.6	16.9	7.8	22.1	19.5	29.9	13.0	23.4	3.9	2.6
			22.0	39.0	31.7	14.6	4.9	29.3	22.0	58.5	31.7	29.3	0.0	4.9

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少な い)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助けをえる かどうか	11 家族はい ない	12 その他	
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=400人)	1386	215	212	143	116	59		113	98	148	81	195	1	5
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=77人)	174	20	25	22	13	6		17	15	23	10	18	3	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=41人)	118	9	16	13	6	2		12	9	24	13	12	0	2

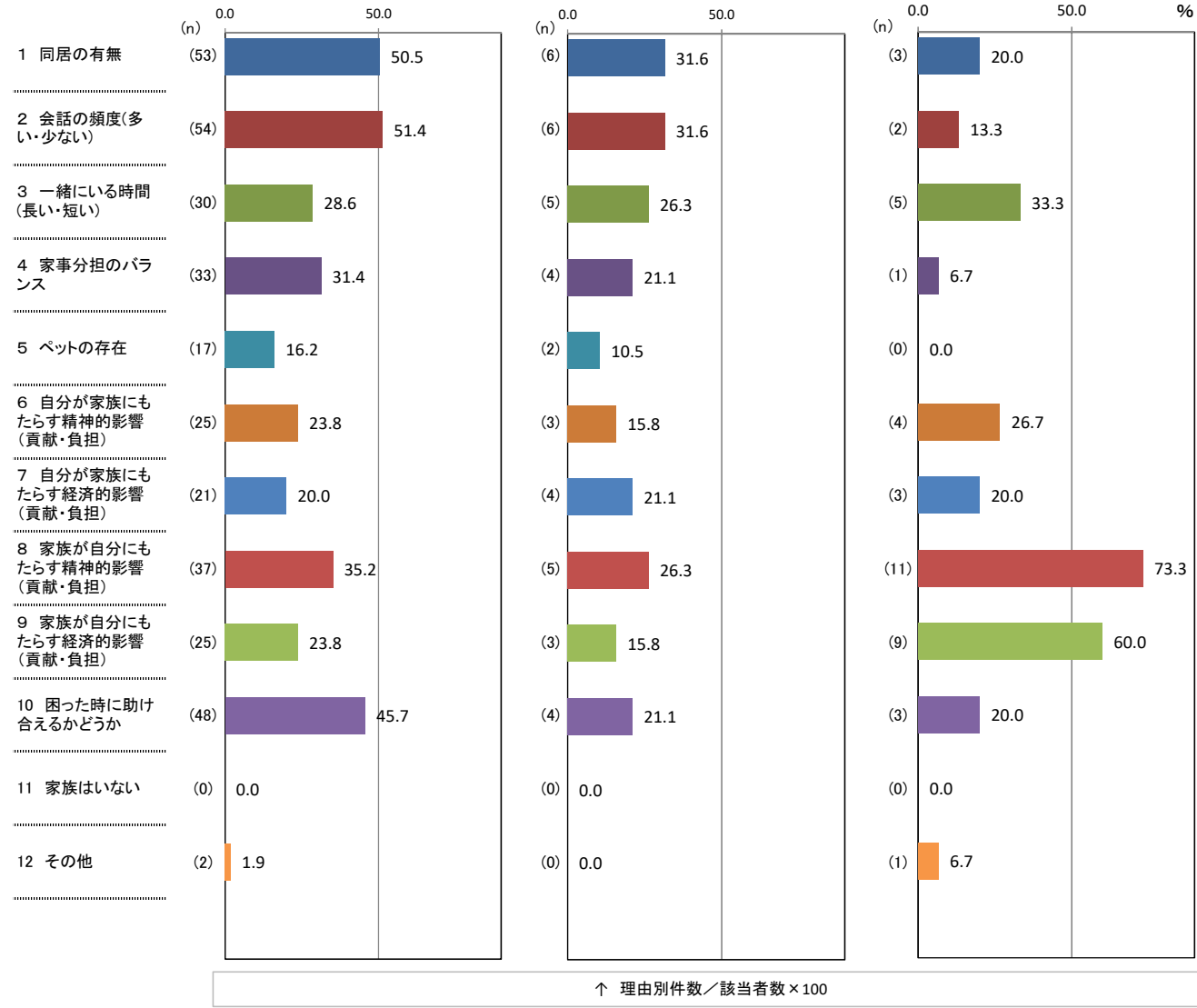
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (345) 105 人	②「どちらともいえない」の回答 (42) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (42) 15 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (54)	1 同居の有無 (6) 1位	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (11)
2	1 同居の有無 (53)	2 会話の頻度(多い・少ない) (6)	9 家族が自分にもたらす経済的影響(貢献・負担) (9)
3	10 困った時に助け合えるかどうか (48)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (5) 3位 8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (5)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (5)

()内の数字は件数。



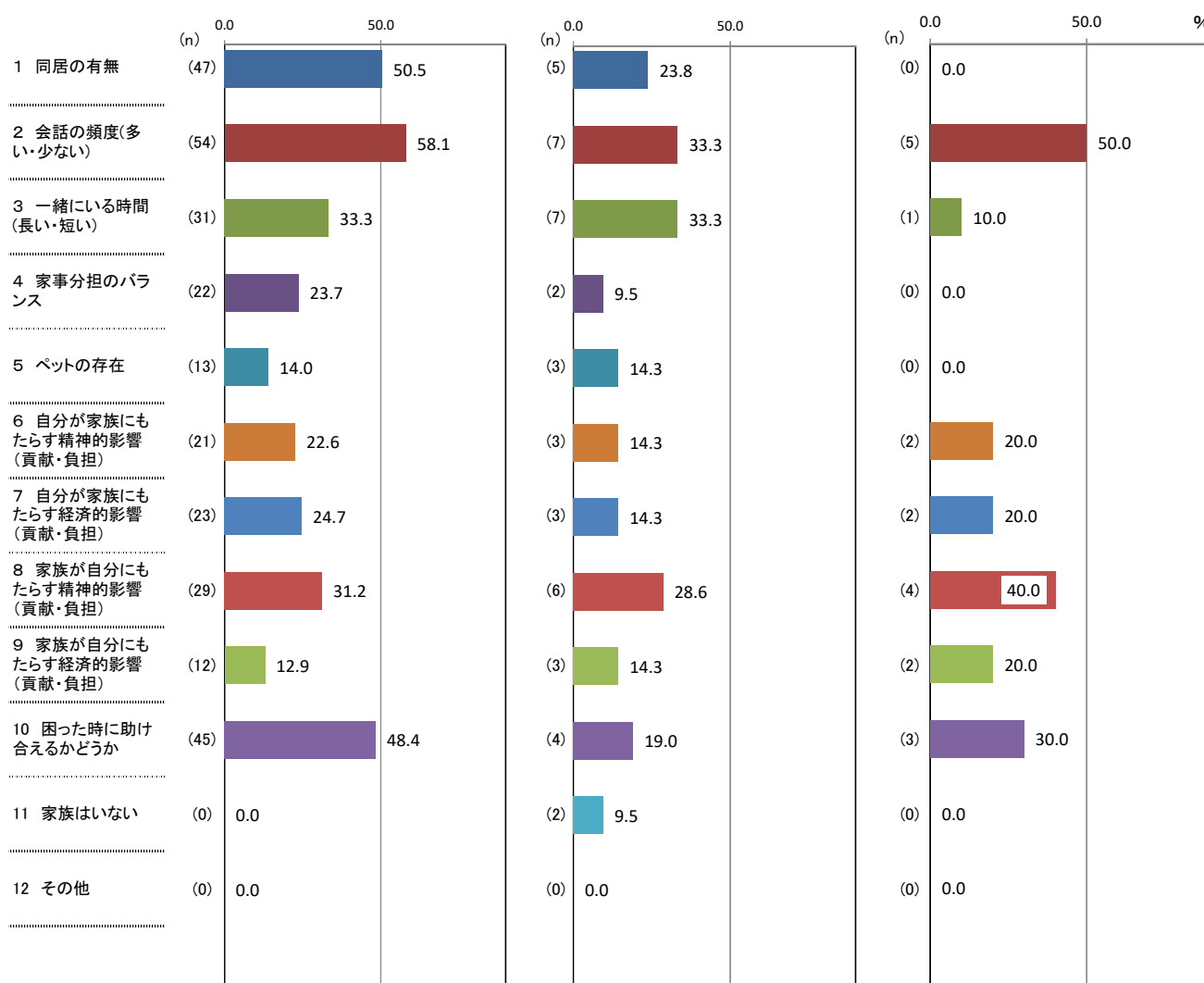
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「家族関係」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (297) 93 人	②「どちらともいえない」の回答 (45) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (19) 10 人
1	2 会話の頻度(多い・少ない) (54)	2 会話の頻度(多い・少ない) (7)	2 会話の頻度(多い・少ない) (5)
2	1 同居の有無 (47)	3 一緒にいる時間(長い・短い) (7)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (4)
3	10 困った時に助け合えるかどうか (45)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (6)	10 困った時に助け合えるかどうか (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由 (問1-1 (3) ①「あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

＜県北広域振興圏＞

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」			50.5	58.1	33.3	23.7	14.0	22.6	24.7	31.2	12.9	48.4	0.0
②「どちらともいえない」			23.8	33.3	33.3	9.5	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	19.0	9.5
③「あまり感じない・感じない」			0.0	50.0	10.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	30.0	0.0

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=93人)	297	47	54	31	22	13	21	23	29	12	45	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=21人)	45	5	7	7	2	3	3	3	6	3	4	2	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=10人)	19	0	5	1	0	0	2	2	4	2	3	0	0

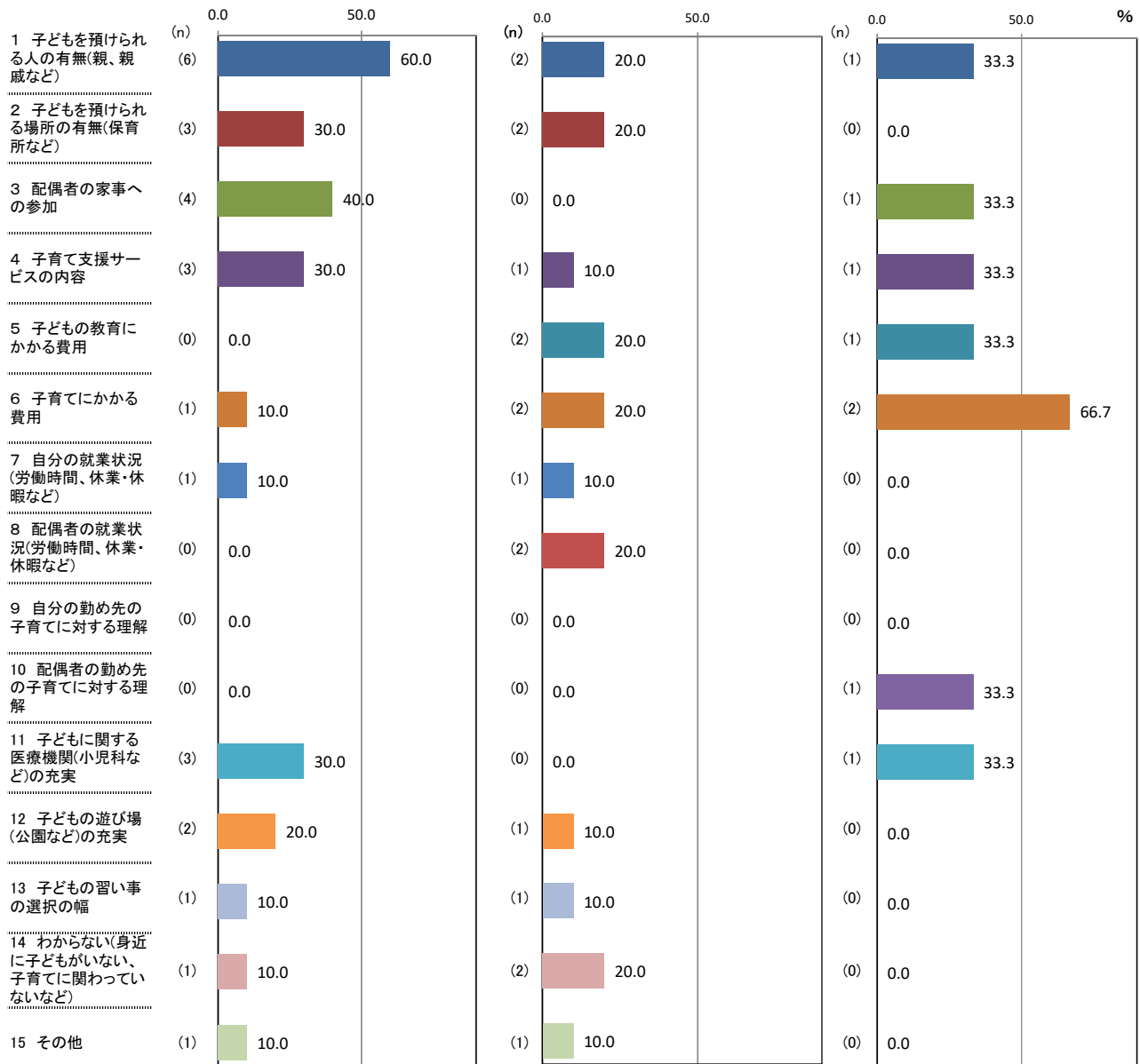
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答理由「子育て」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (26) 10 人	②「どちらともいえない」の回答 (17) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (8) 3 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (6)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (2)	6 子育てにかかる費用 (2)
2	3 配偶者の家事への参加 (4)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (2)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (1)
3	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (3)	5 子どもの教育にかかる費用 (2)	3 配偶者の家事への参加 (1)
	4 子育て支援サービスの内容 (3)	6 子育てにかかる費用 (2)	4 子育て支援サービスの内容 (1)
	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (3)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (2)	5 子どもの教育にかかる費用 (1)
		14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (2)	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解 (1)
			11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(4)「子育て」についての回答理由(問1-1(4))「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜専業主婦・主夫＞

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(保親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	9 自分の助め先の子育てに対する理解	10 配偶者の助め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わかからぬ身近に子どもがいない、子育てに困っていないなど	15 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	30.0	40.0		0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0
②「どちらともいえない」		20.0	20.0	0.0	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	10.0
③「あまり感じない・感じない」		33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(保親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	9 自分の助め先の子育てに対する理解	10 配偶者の助め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わかからぬ身近に子どもがいない、子育てに困っていないなど	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=10人)	26	6	3	4	3	0	1	1	0	0	0	3	2	1	1	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=10人)	17	2	2	0	1	2	2	1	2	0	0	0	1	1	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=3人)	8	1	0	1	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0

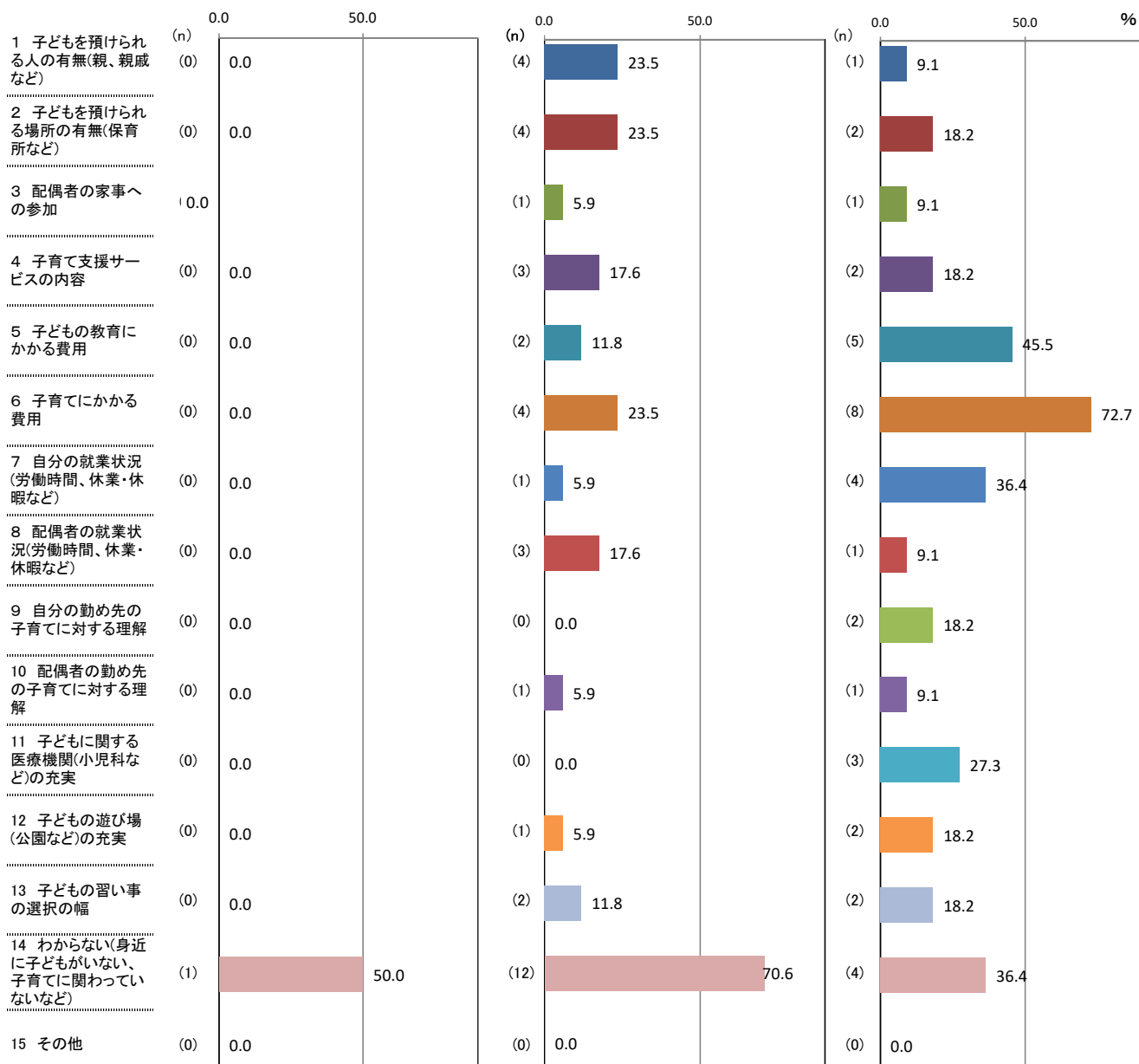
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答理由「子育て」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 2 人 (1)	②「どちらともいえない」の回答 17 人 (38)	③「あまり感じない・感じない」の回答 11 人 (38)
1	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (1)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (12)	6 子育てにかかる費用 (8)
2		1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (4)	5 子どもの教育にかかる費用 (5)
3		2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (4)	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (4)
		6 子育てにかかる費用 (4)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数 × 100

【補足調査】

(4)「子育て」についての回答理由(問1-1(4))「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもはいない＞

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(保親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	9 自分の助め先の子育てに対する理解	10 配偶者の助め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わかからない身近に子どもがいない、子育てに困っているなど	15 その他
①「感じる・やや感じる」			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
②「どちらともいえない」		23.5	23.5	5.9	17.6	11.8	23.5	5.9	17.6	0.0	5.9	0.0	5.9	11.8	70.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		9.1	18.2	9.1	18.2	45.5	72.7	36.4	9.1	18.2	9.1	27.3	18.2	18.2	36.4	0.0

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(保親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間・休業・休暇など)	9 自分の助め先の子育てに対する理解	10 配偶者の助め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わかからない身近に子どもがいない、子育てに困っているなど	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=2人)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=17人)	38	4	4	1	3	2	4	1	3	0	1	0	1	2	12	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=11人)	38	1	2	1	2	5	8	4	1	2	1	3	2	2	4	0

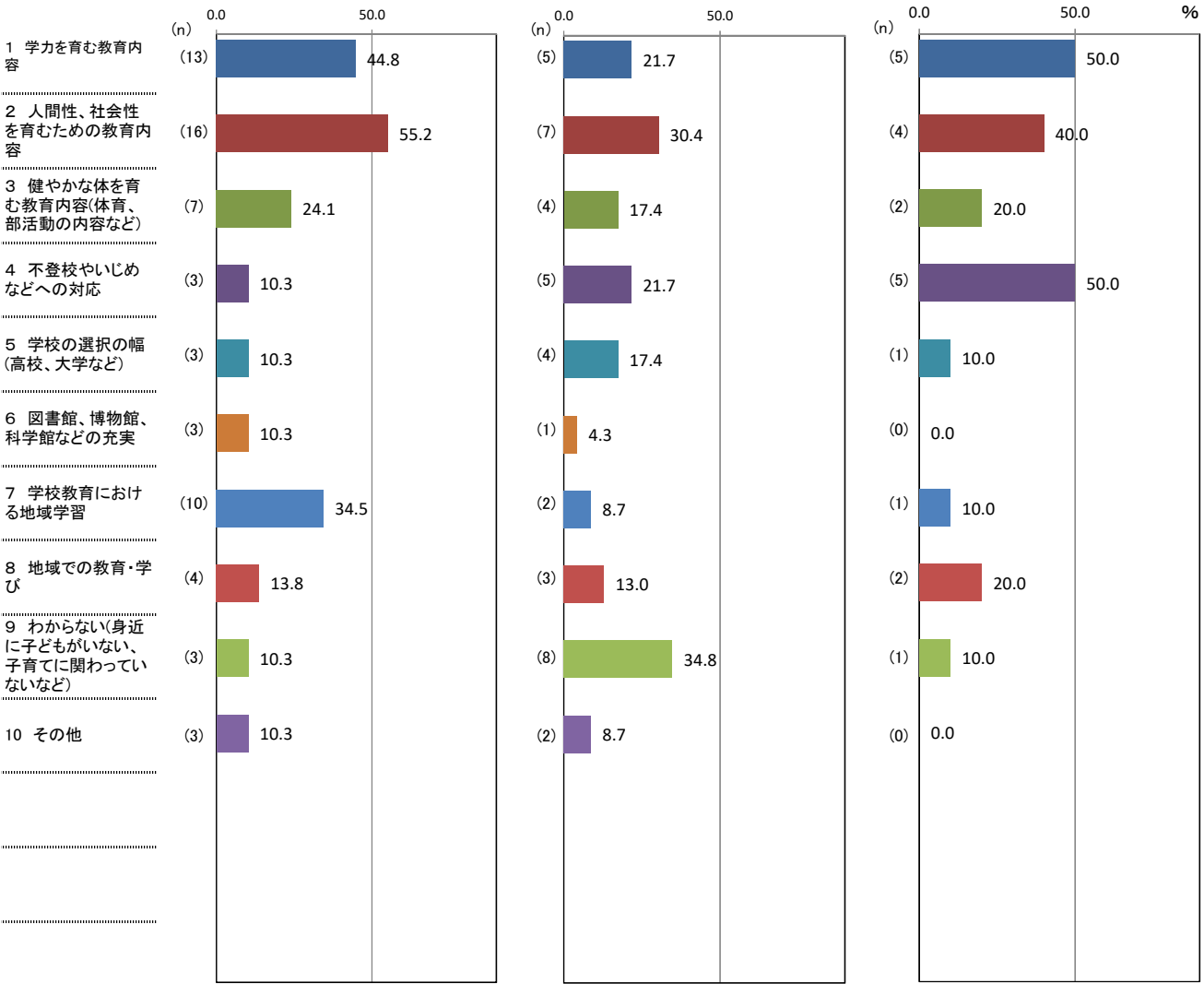
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 29 人 (65)	②「どちらともいえない」の回答 23 人 (41)	③「あまり感じない・感じない」の回答 10 人 (21)
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (16)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (8)	1 学力を育む教育内容 (5) 1位
2	1 学力を育む教育内容 (13)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (7)	4 不登校やいじめなどへの対応 (5)
3	7 学校教育における地域学習 (10)	1 学力を育む教育内容 (5) 3位 4 不登校やいじめなどへの対応 (5)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由 (問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<60～69歳>

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の運営(幼稚園、小学校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における学習	8 地域での教育・学び	9 わからないうちから子どもがよい、子育てに困っていない(など)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		44.8	55.2	24.1	10.3	10.3	10.3	34.5	13.8	10.3	10.3
②「どちらともいえない」		21.7	30.4	17.4	21.7	17.4	4.3	8.7	13.0	34.8	8.7
③「あまり感じない・感じない」		50.0	40.0	20.0	50.0	10.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の運営(幼稚園、小学校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における学習	8 地域での教育・学び	9 わからないうちから子どもがよい、子育てに困っていない(など)	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=29人)	65	13	16	7	3	3	3	10	4	3	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=23人)	41	5	7	4	5	4	1	2	3	8	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=10人)	21	5	4	2	5	1	0	1	2	1	0

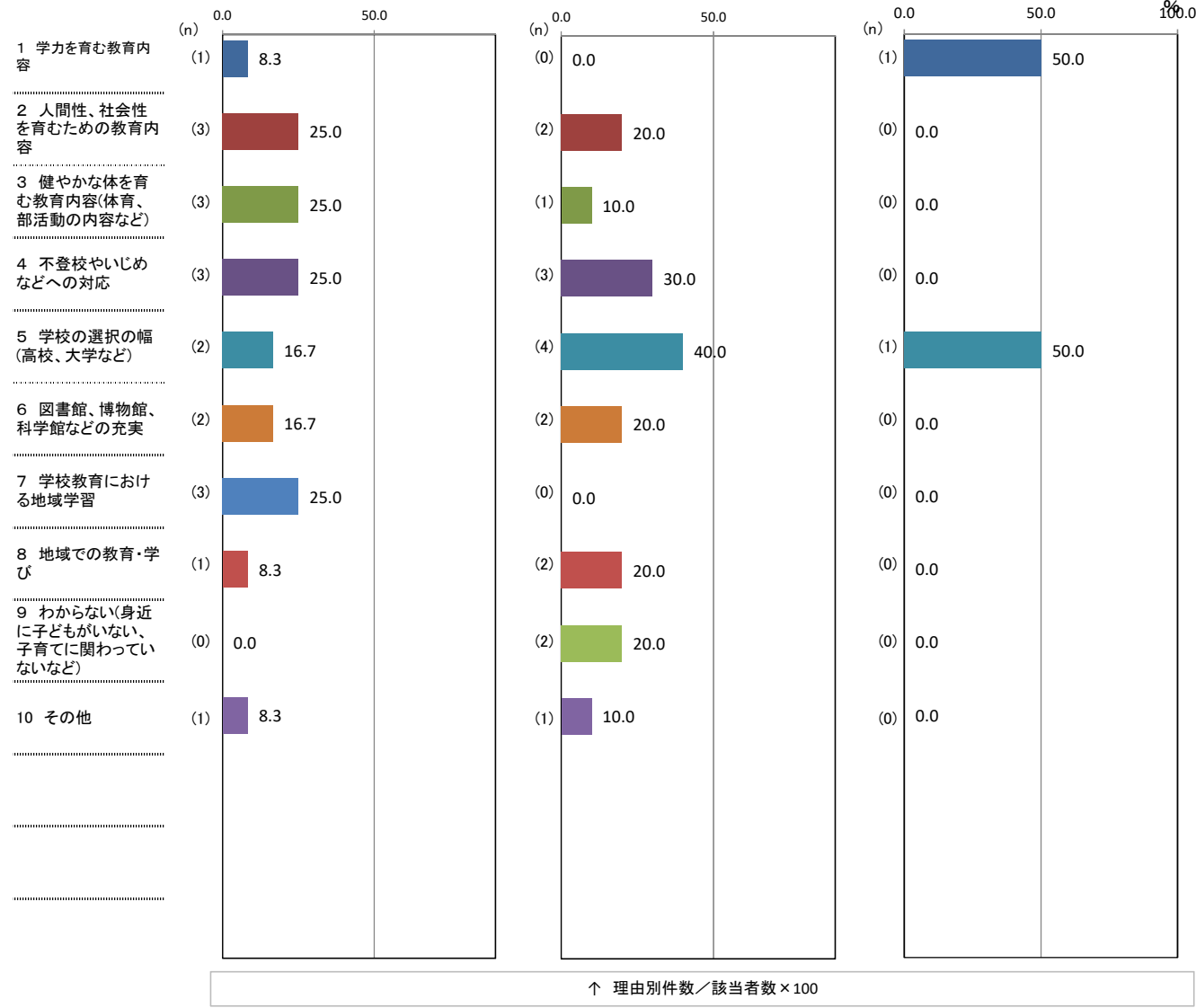
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (19) 12 人	②「どちらともいえない」の回答 (17) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 2 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3) 1位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (4)	1 学力を育む教育内容 (1) 1位
2	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3) 1位	4 不登校やいじめなどへの対応 (3)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (1)
3	4 不登校やいじめなどへの対応 (3) 1位	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (2) 3位	
	7 学校教育における地域学習 (3) 1位	6 図書館、博物館、科学館などの充実 (2) 3位	
		8 地域での教育・学び (2) 3位	
		9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (2) 3位	

()内の数字は件数。



⑤子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたには子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない身近な子どもがいらない、子育てに困っていないなど	10 その他
①「感じる・やや感じる」		8.3	25.0	25.0	25.0	16.7	16.7	25.0	8.3	0.0	8.3
②「どちらともいえない」											
③「あまり感じない・感じない」		0.0	20.0	10.0	30.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	10.0

(件)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高 校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない身近な子どもがいらない、子育てに困っていないなど	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=12人)											
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=10人)	19	1	3	3	3	2	2	3	1	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=2人)	17	0	2	1	3	4	2	0	2	2	1
	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

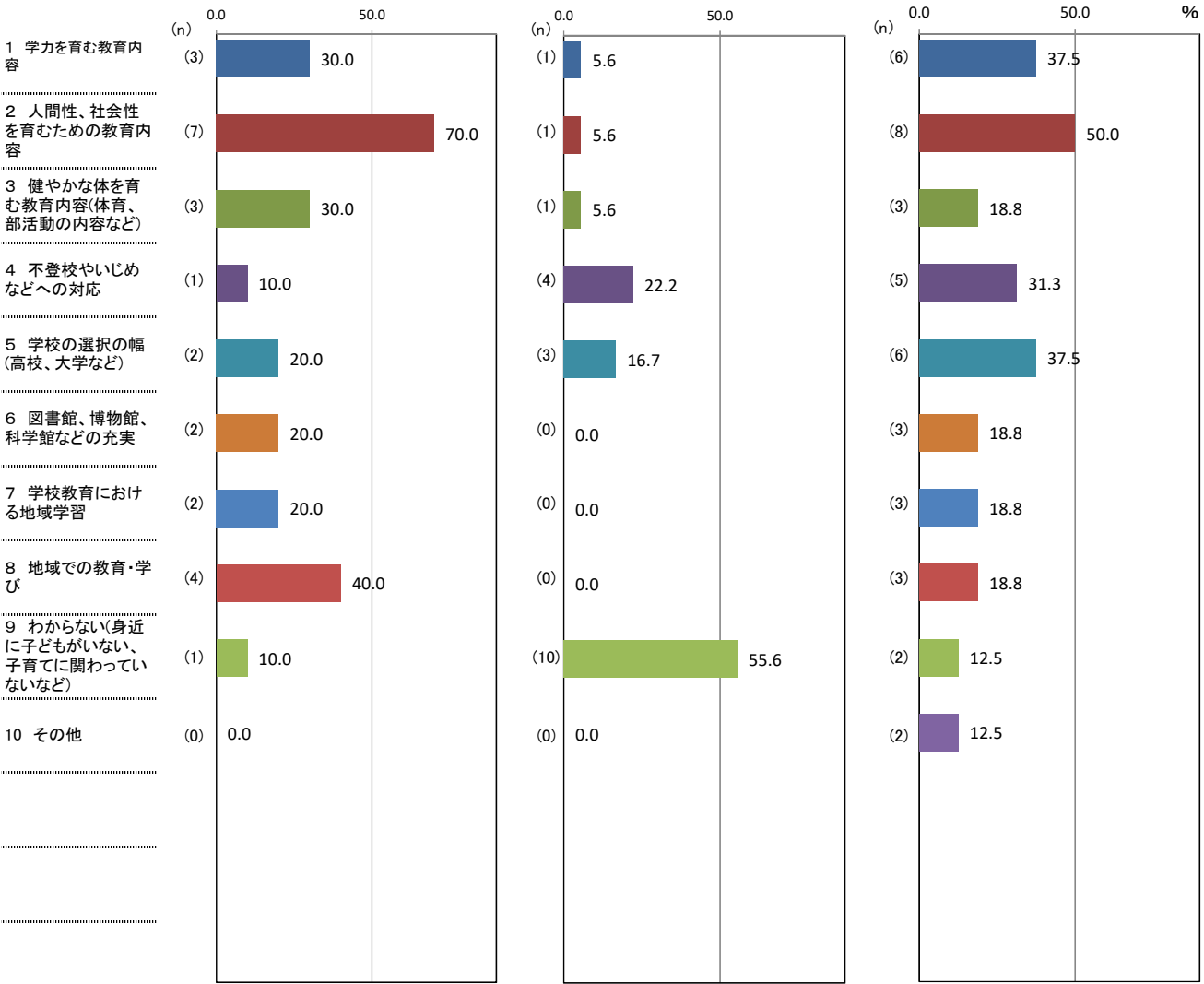
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 10 人 (25)	②「どちらともいえない」の回答 18 人 (20)	③「あまり感じない・感じない」の回答 16 人 (41)
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (7)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (10)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (8)
2	8 地域での教育・学び (4)	4 不登校やいじめなどへの対応 (4)	1 学力を育む教育内容 (6)
3	1 学力を育む教育内容 (3) 3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3) 3位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (3)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6) 2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもはいない>

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の運営(幼稚園、小学校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからないうちから子どもがいきいき育っている、子育てに困っていない(以下など)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		30.0	70.0	30.0	10.0	20.0	20.0	20.0	40.0	10.0	0.0
②「どちらともいえない」		5.6	5.6	5.6	22.2	16.7	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		37.5	50.0	18.8	31.3	37.5	18.8	18.8	18.8	12.5	12.5

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の運営(幼稚園、小学校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからないうちから子どもがいきいき育っている、子育てに困っていない(以下など)	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=10人)	25	3	7	3	1	2	2	2	4	1	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=18人)	20	1	1	1	4	3	0	0	0	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=16人)	41	6	8	3	5	6	3	3	3	2	2

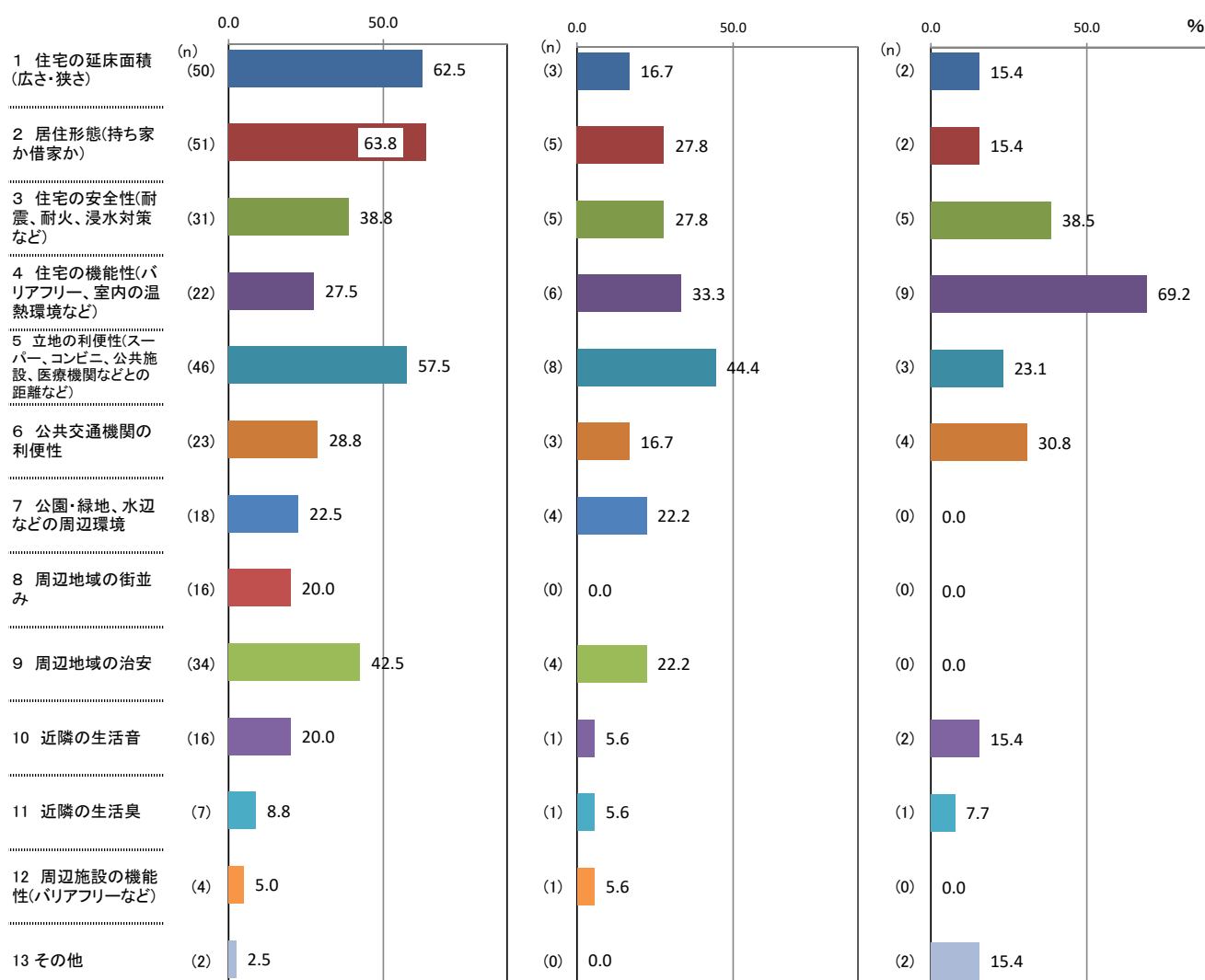
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「住まいの快適さ」<70歳以上>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (320) 80 人	②「どちらともいえない」の回答 (41) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (30) 13 人
1	2 居住形態(持ち家か・借家か) (51)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (8)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (9)
2	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (50)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (6)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など) (5)
3	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (46)	2 居住形態(持ち家か・借家か) (5) 3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など) (5)	6 公共交通機関の利便性 (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(6) 住まいの快適さについての回答理由 (問1-1 (6)「①あなたはお住いに快適さを感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<70歳以上>

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か・家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活機能性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」		62.5	63.8	38.8	27.5	57.5	28.8	22.5	20.0	42.5	20.0	8.8	5.0	2.5
②「どちらともいえない」		16.7	27.8	27.8	33.3	44.4	16.7	22.2	0.0	22.2	5.6	5.6	5.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		15.4	15.4	38.5	69.2	23.1	30.8	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	15.4

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か・家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活機能性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=80人)	320	50	51	31	22	46	23	18	16	34	16	7	4	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=18人)	41	3	5	5	6	8	3	4	0	4	1	1	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=13人)	30	2	2	5	9	3	4	0	0	0	2	1	0	2

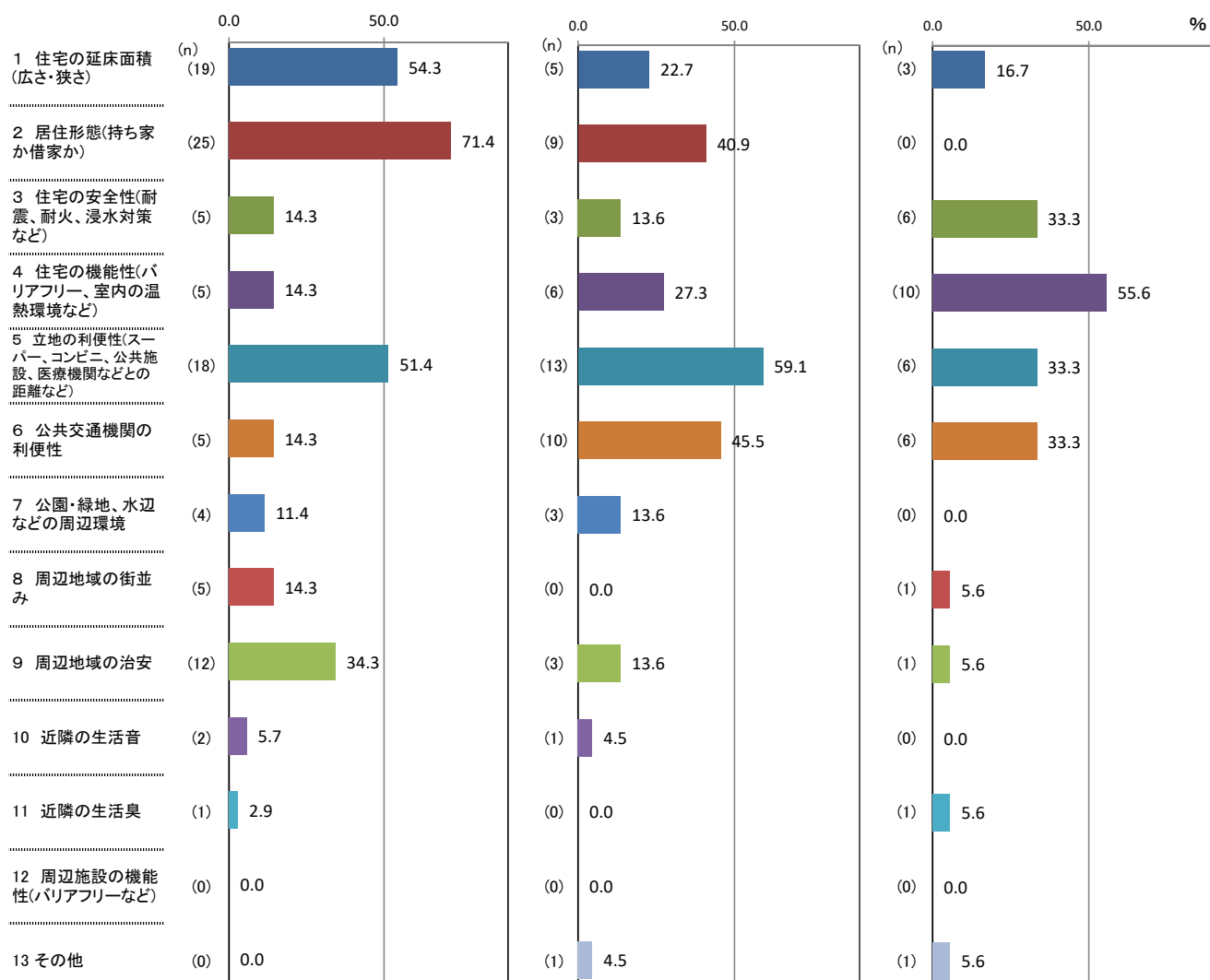
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「住まいの快適さ」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (101) 35 人	②「どちらともいえない」の回答 (54) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (35) 18 人
1	2 居住形態(持ち家か・借家か) (25)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (13)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (10)
2	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (19)	6 公共交通機関の利便性 (10)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など) (6)
3	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (18)	2 居住形態(持ち家か・借家か) (9)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (6) 2位
			6 公共交通機関の利便性 (6) 2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(6) 住まいの快適さについての回答理由 (問1-1 (6)「①あなたはお住いに快適さを感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<3世代世帯>

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か・家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活利便性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」		54.3	71.4	14.3	14.3	51.4	14.3	11.4	14.3	34.3	5.7	2.9	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		22.7	40.9	13.6	27.3	59.1	45.5	13.6	0.0	13.6	4.5	0.0	0.0	4.5
③「あまり感じない・感じない」		16.7	0.0	33.3	55.6	33.3	33.3	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	5.6

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か・家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活利便性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=35人)	101	19	25	5	5	18	5	4	5	12	2	1	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=22人)	54	5	9	3	6	13	10	3	0	3	1	0	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=18人)	35	3	0	6	10	6	6	0	1	1	0	1	0	1

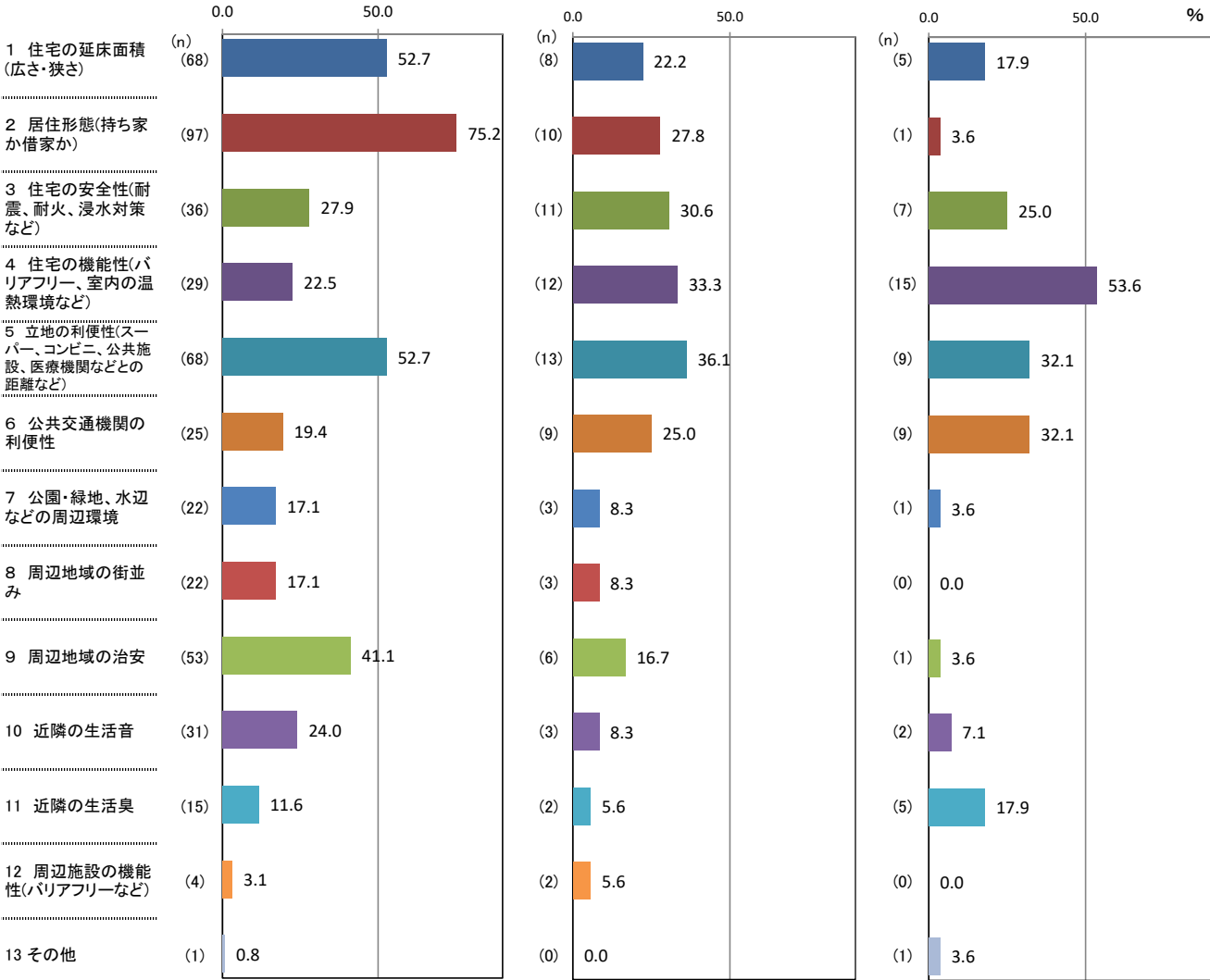
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「住まいの快適さ」<子どもの数2人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 129 人 (471)	②「どちらともいえない」の回答 36 人 (82)	③「あまり感じない・感じない」の回答 28 人 (56)
1	2 居住形態(持ち家か・借家か) (97)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (13)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (15)
2	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (68) 2位	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (12)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (9) 2位
3	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (68)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など) (11)	6 公共交通機関の利便性 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(6) 住まいの快適さについての回答理由 (問1-1 (6)「①あなたはお住いに快適さを感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

＜子どもの数2人＞

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か・家か)	3 住宅の安全性(耐震、防火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活利便性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」		52.7	75.2	27.9	22.5	52.7	19.4	17.1	17.1	41.1	24.0	11.6	3.1	0.8
②「どちらともいえない」		22.2	27.8	30.6	33.3	36.1	25.0	8.3	8.3	16.7	8.3	5.6	5.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		17.9	3.6	25.0	53.6	32.1	32.1	3.6	0.0	3.6	7.1	17.9	0.0	3.6

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か・家か)	3 住宅の安全性(耐震、防火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活利便性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=129人)	471	68	97	36	29	68	25	22	22	53	31	15	4	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=36人)	82	8	10	11	12	13	9	3	3	6	3	2	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=28人)	56	5	1	7	15	9	9	1	0	1	2	5	0	1

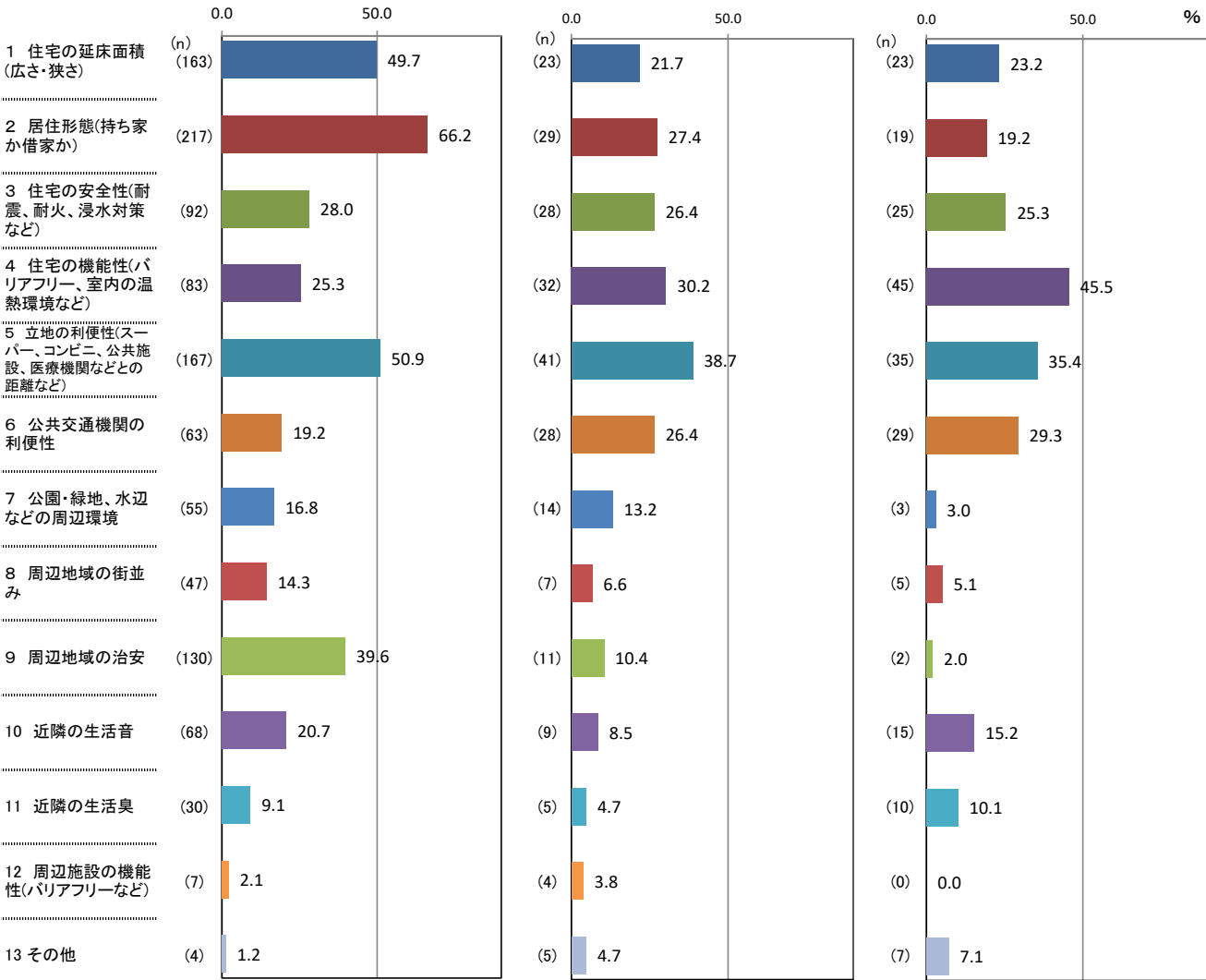
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「住まいの快適さ」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,126) 328 人	②「どちらともいえない」の回答 (236) 106 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (218) 99 人
1	2 居住形態(持ち家か・借家か) (217)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (41)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (45)
2	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (167)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (32)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などの距離など) (35)
3	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (163)	2 居住形態(持ち家か・借家か) (29)	6 公共交通機関の利便性 (29)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(6) 住まいの快適さについての回答理由 (問1-1 (6) 「①あなたはお住いに快適さを感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

< 居住年数20年以上 >

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か・家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活機能性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」		49.7	66.2	28.0	25.3	50.9	19.2	16.8	14.3	39.6	20.7	9.1	2.1	1.2
②「どちらともいえない」		21.7	27.4	26.4	30.2	38.7	26.4	13.2	6.6	10.4	8.5	4.7	3.8	4.7
③「あまり感じない・感じない」		23.2	19.2	25.3	45.5	35.4	29.3	3.0	5.1	2.0	15.2	10.1	0.0	7.1

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	2 居住形態(持ち家か・家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 近隣の生活機能性(バリアフリーなど)	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=328人)	1126	163	217	92	83	167	63	55	47	130	68	30	7	4
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=106人)	236	23	29	28	32	41	28	14	7	11	9	5	4	5
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=99人)	218	23	19	25	45	35	29	3	5	2	15	10	0	7

<属性別>

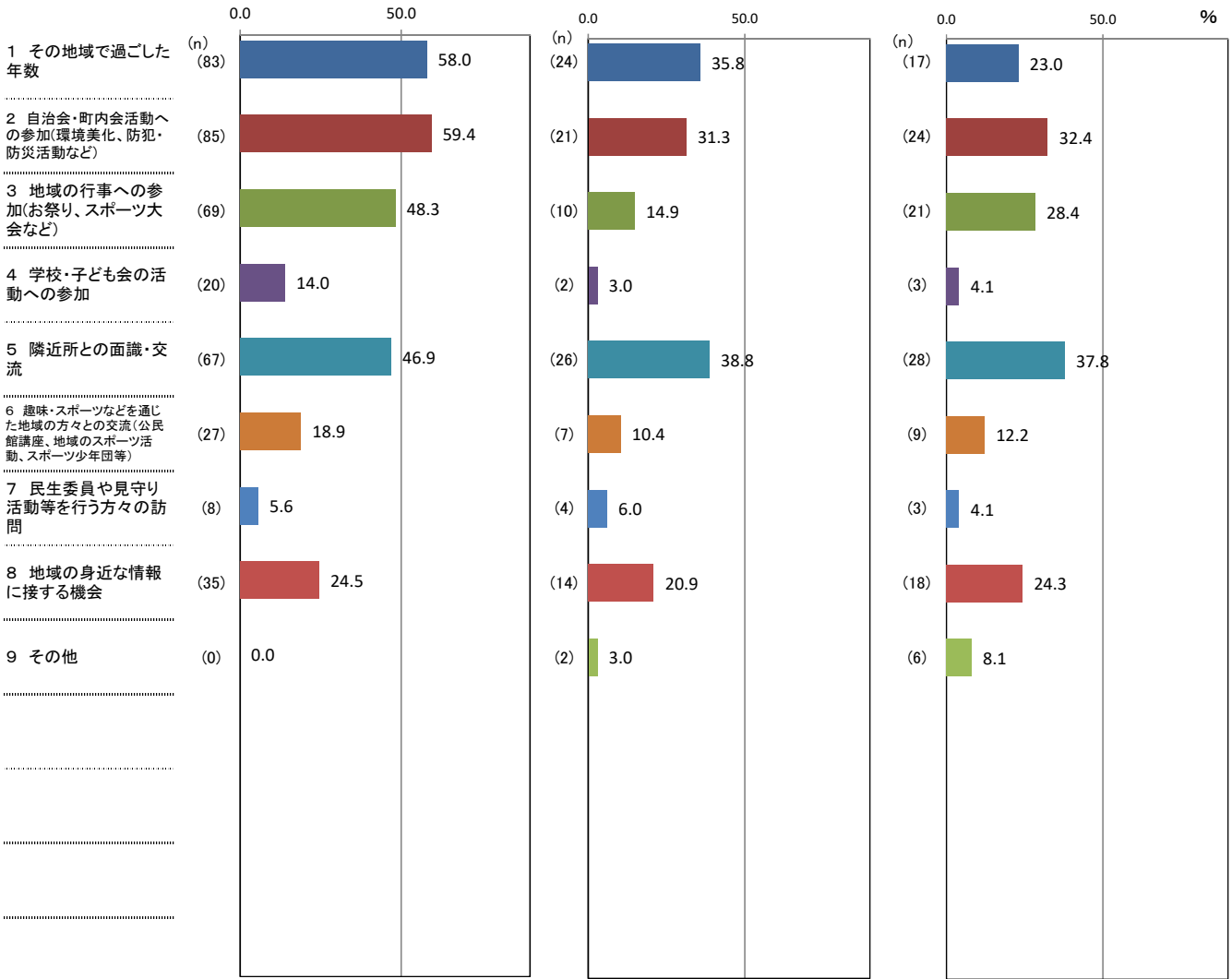
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<男性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (394)	②「どちらともいえない」の回答 (110)	③「あまり感じない・感じない」の回答 (129)
	143 人	67 人	74 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (85)	5 隣近所との面識・交流 (26)	5 隣近所との面識・交流 (28)
2	1 その地域で過ごした年数 (83)	1 その地域で過ごした年数 (24)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (24)
3	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (69)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (21)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (21)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<男性>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		58.0	59.4	48.3	14.0	46.9	18.9	5.6	24.5	0.0
②「どちらともいえない」		35.8	31.3	14.9	3.0	38.8	10.4	6.0	20.9	3.0
③「あまり感じない・感じない」		23.0	32.4	28.4	4.1	37.8	12.2	4.1	24.3	8.1

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=143人)	394	83	85	69	20	67	27	8	35	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=67人)	110	24	21	10	2	26	7	4	14	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=74人)	129	17	24	21	3	28	9	3	18	6

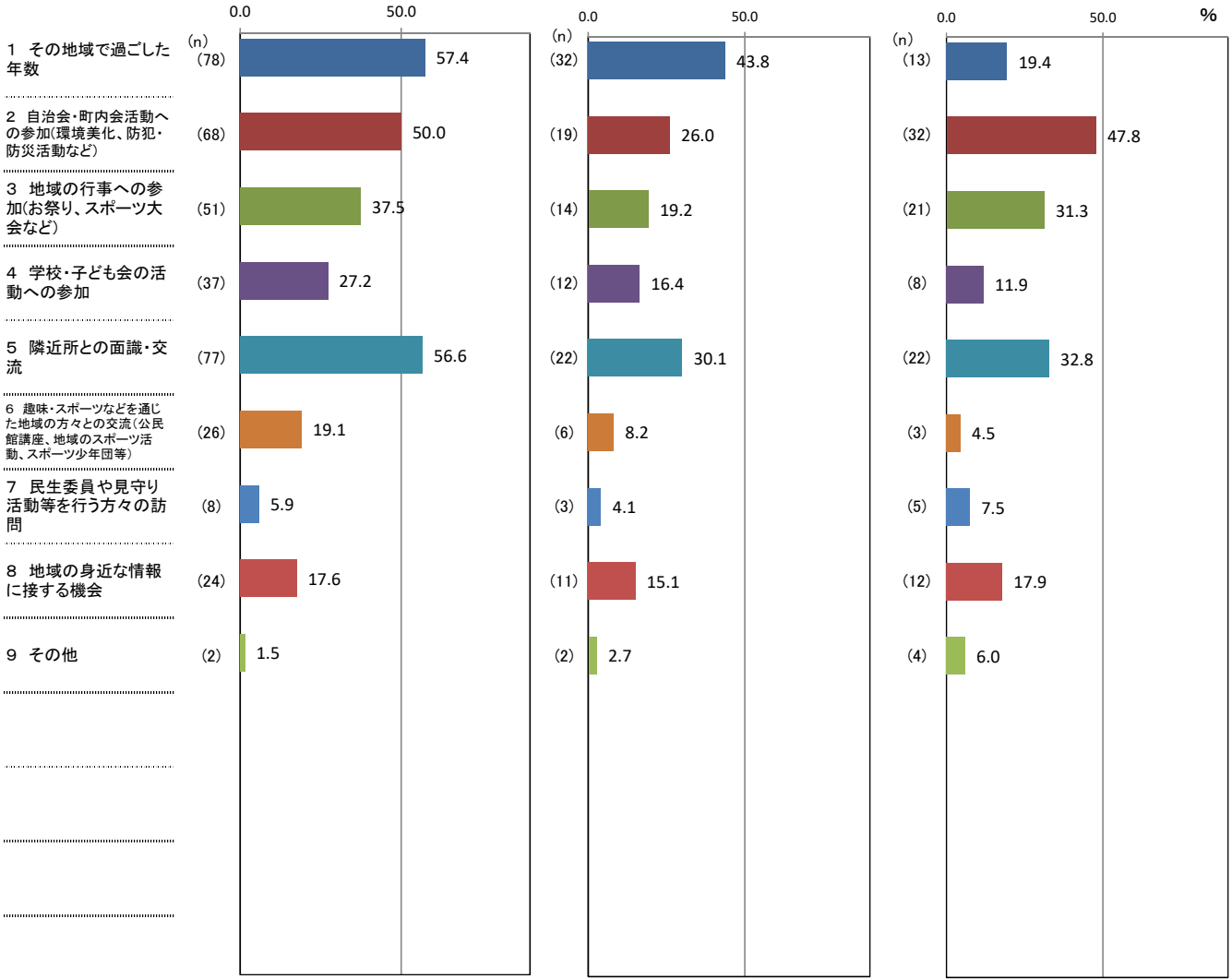
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (371) 136 人	②「どちらともいえない」の回答 (121) 73 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (120) 67 人
1	1 その地域で過ごした年数 (78)	1 その地域で過ごした年数 (32)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (32)
2	5 隣近所との面識・交流 (77)	5 隣近所との面識・交流 (22)	5 隣近所との面識・交流 (22)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (68)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (19)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (21)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答
 (複数回答可)

＜女性＞		(%)								
区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		57.4	50.0	37.5	27.2	56.6	19.1	5.9	17.6	1.5
②「どちらともいえない」		43.8	26.0	19.2	16.4	30.1	8.2	4.1	15.1	2.7
③「あまり感じない・感じない」		19.4	47.8	31.3	11.9	32.8	4.5	7.5	17.9	6.0

		(件)								
区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝136人)	371	78	68	51	37	77	26	8	24	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝73人)	121	32	19	14	12	22	6	3	11	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数＝67人)	120	13	32	21	8	22	3	5	12	4

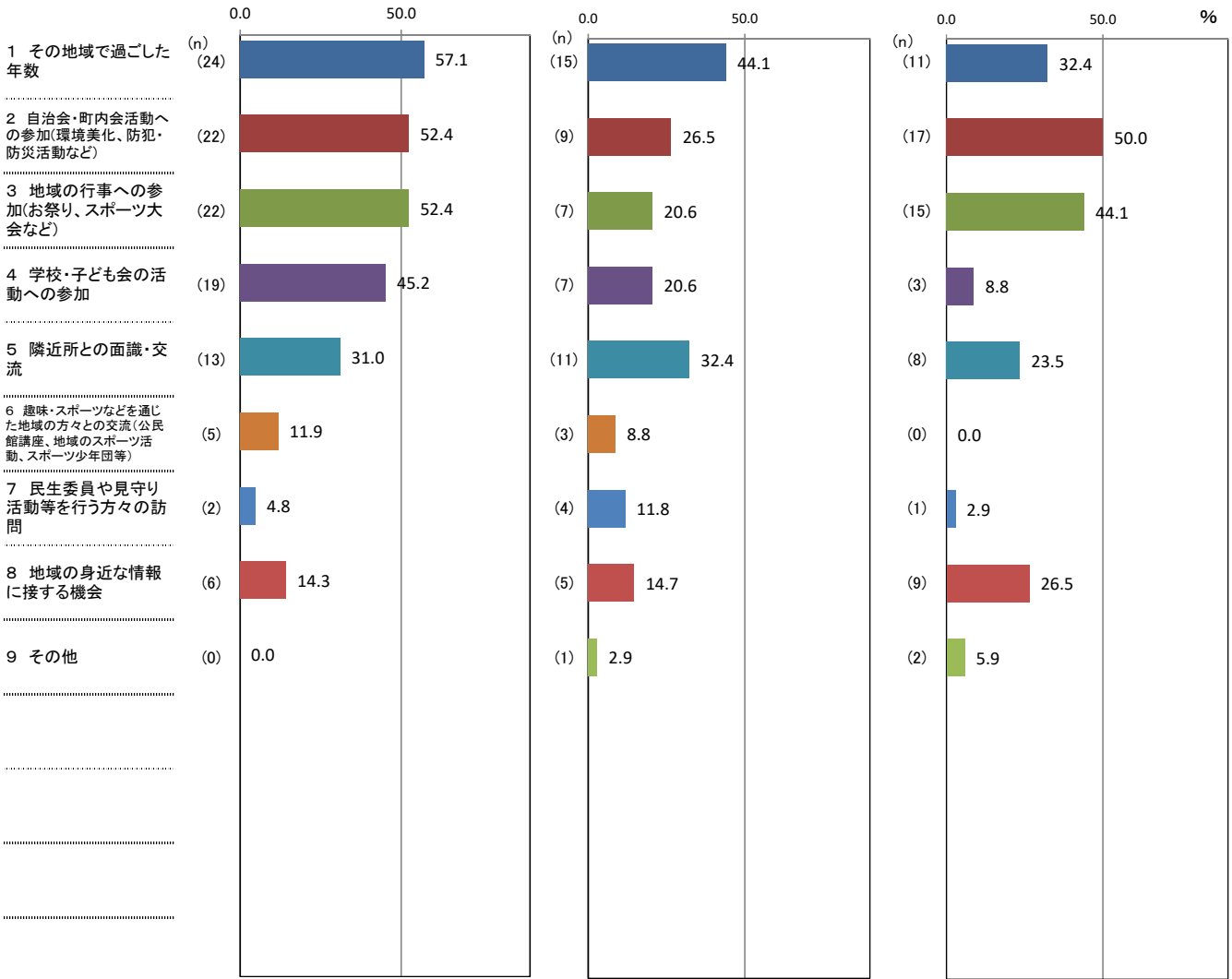
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<40～49歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (113) 42 人	②「どちらともいえない」の回答 (62) 34 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (66) 34 人
1	1 その地域で過ごした年数 (24)	1 その地域で過ごした年数 (15)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (17)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (22)	5 隣近所との面識・交流 (11)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (15)
3	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (22)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (9)	1 その地域で過ごした年数 (11)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<40～49歳>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		57.1	52.4	52.4	45.2	31.0	11.9	4.8	14.3	0.0
②「どちらともいえない」		44.1	26.5	20.6	20.6	32.4	8.8	11.8	14.7	2.9
③「あまり感じない・感じない」		32.4	50.0	44.1	8.8	23.5	0.0	2.9	26.5	5.9

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=42人)	113	24	22	22	19	13	5	2	6	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=34人)	62	15	9	7	7	11	3	4	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=34人)	66	11	17	15	3	8	0	1	9	2

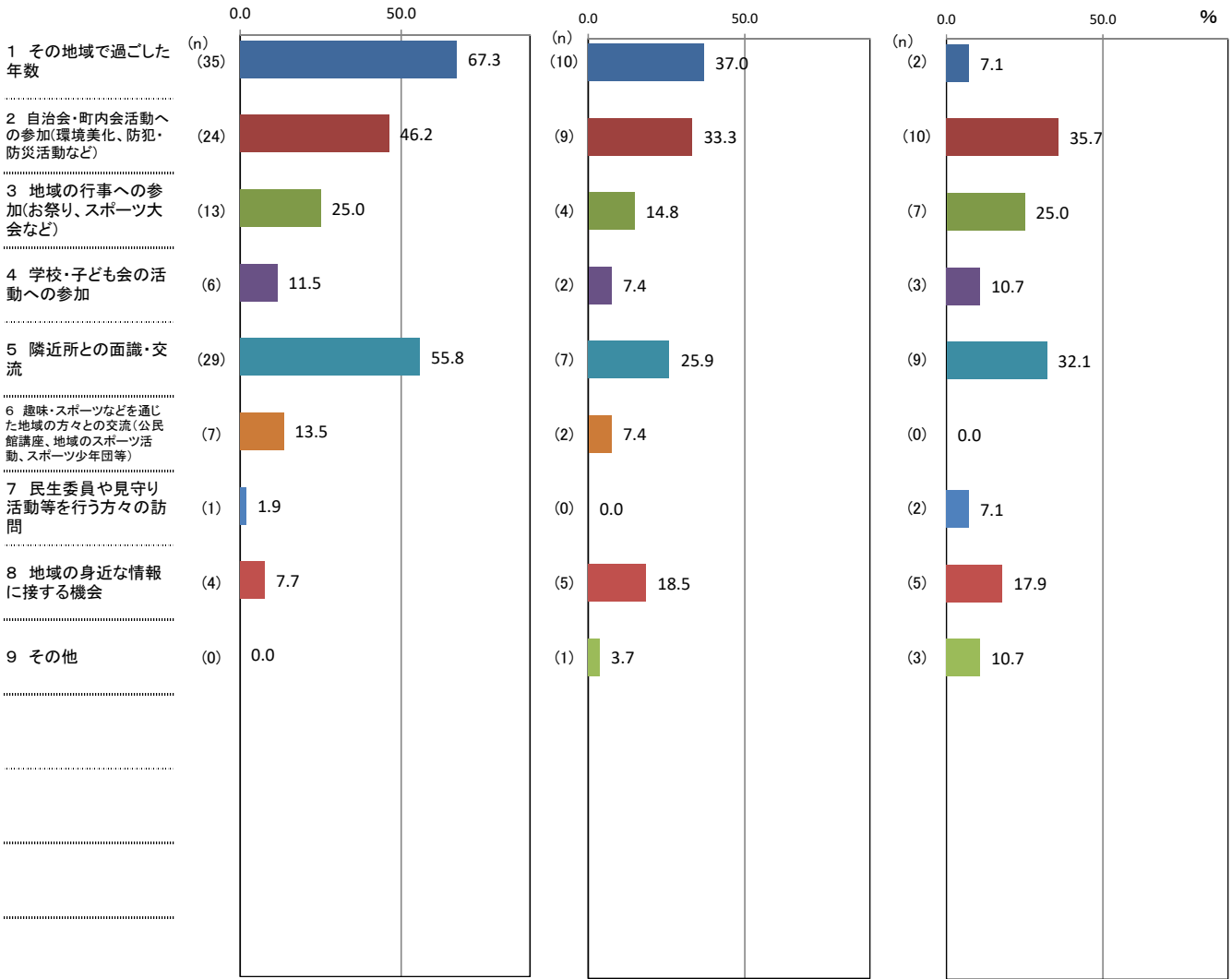
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<50～59歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (119) 52 人	②「どちらともいえない」の回答 (40) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (41) 28 人
1	1 その地域で過ごした年数 (35)	1 その地域で過ごした年数 (10)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)
2	5 隣近所との面識・交流 (29)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (9)	5 隣近所との面識・交流 (9)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (24)	5 隣近所との面識・交流 (7)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (7)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<50～59歳>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		67.3	46.2	25.0	11.5	55.8	13.5	1.9	7.7	0.0
②「どちらともいえない」		37.0	33.3	14.8	7.4	25.9	7.4	0.0	18.5	3.7
③「あまり感じない・感じない」		7.1	35.7	25.0	10.7	32.1	0.0	7.1	17.9	10.7

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=52人)	119	35	24	13	6	29	7	1	4	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=27人)	40	10	9	4	2	7	2	0	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=28人)	41	2	10	7	3	9	0	2	5	3

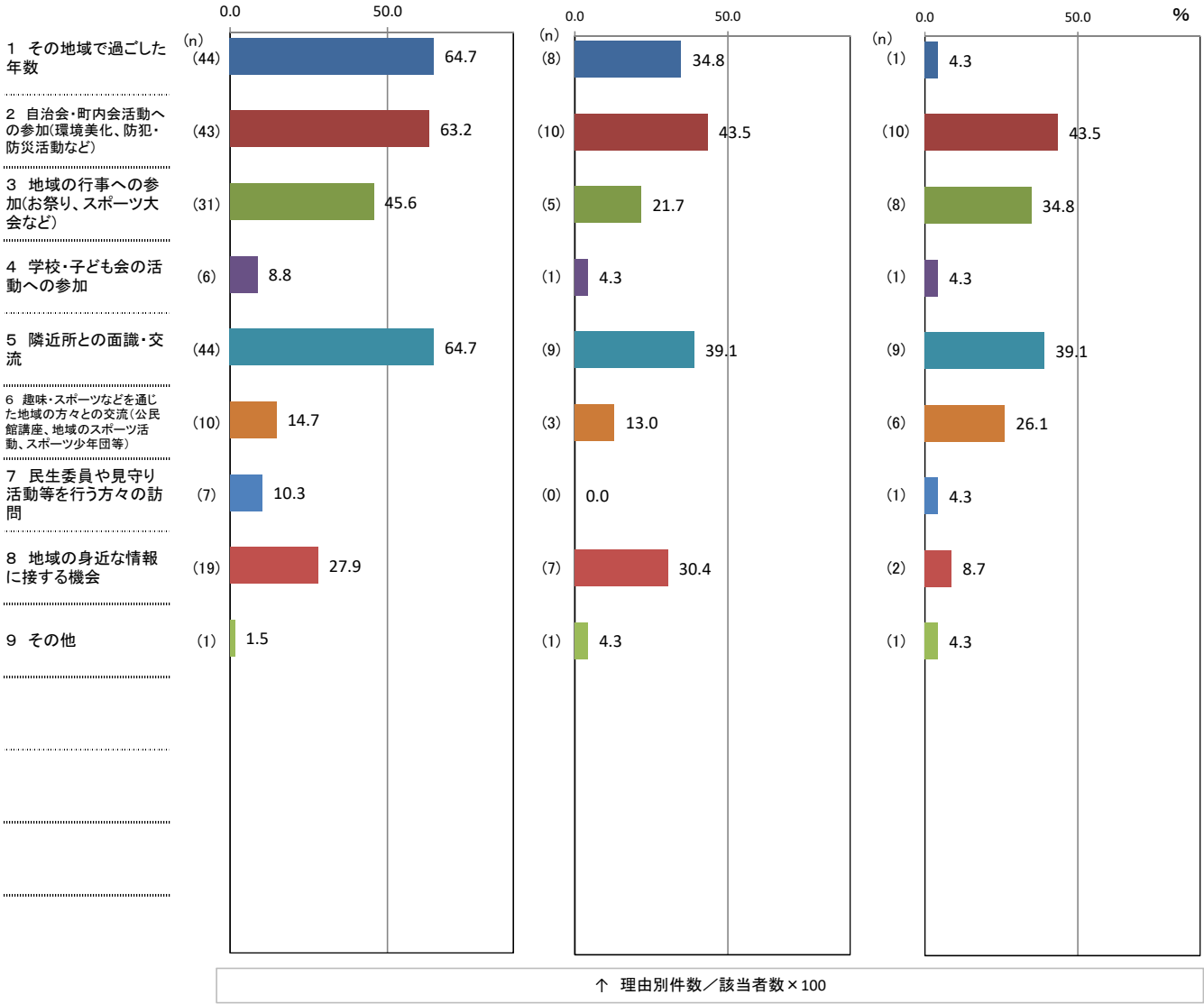
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<60～69歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (205)		②「どちらともいえない」の回答 (44)		③「あまり感じない・感じない」の回答 (39)	
	68 人		23 人		23 人	
1	1 その地域で過ごした年数 (44)	1位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)	(10)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)	(10)
2	5 隣近所との面識・交流 (44)		5 隣近所との面識・交流 (9)		5 隣近所との面識・交流 (9)	
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (43)		1 その地域で過ごした年数 (8)		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (8)	(8)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<60～69歳>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		64.7	63.2	45.6	8.8	64.7	14.7	10.3	27.9	1.5
②「どちらともいえない」		34.8	43.5	21.7	4.3	39.1	13.0	0.0	30.4	4.3
③「あまり感じない・感じない」		4.3	43.5	34.8	4.3	39.1	26.1	4.3	8.7	4.3

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=68人)	205	44	43	31	6	44	10	7	19	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=23人)	44	8	10	5	1	9	3	0	7	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=23人)	39	1	10	8	1	9	6	1	2	1

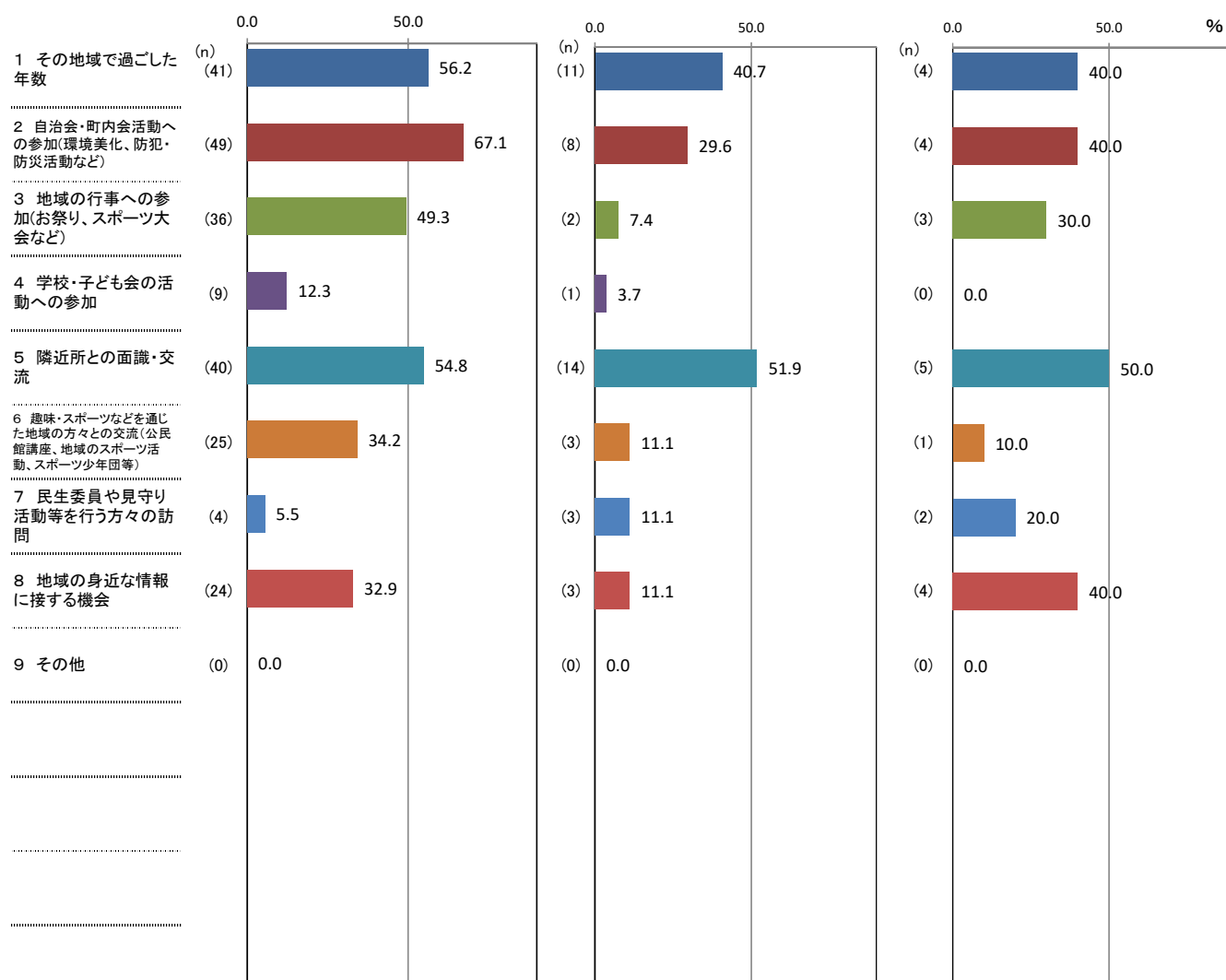
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<70歳以上>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (228) 73 人	②「どちらともいえない」の回答 (45) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (23) 10 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (49)	5 隣近所との面識・交流 (14)	5 隣近所との面識・交流 (5)
2	1 その地域で過ごした年数 (41)	1 その地域で過ごした年数 (11)	1 その地域で過ごした年数 (4)
3	5 隣近所との面識・交流 (40)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (8)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (4) 2位
			8 地域の身近な情報に接する機会 (4) 2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜70歳以上＞		(%)								
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		56.2	67.1	49.3	12.3	54.8	34.2	5.5	32.9	0.0
②「どちらともいえない」		40.7	29.6	7.4	3.7	51.9	11.1	11.1	11.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		40.0	40.0	30.0	0.0	50.0	10.0	20.0	40.0	0.0

(件)		(件)								
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=73人)	228	41	49	36	9	40	25	4	24	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=27人)	45	11	8	2	1	14	3	3	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=10人)	23	4	4	3	0	5	1	2	4	0

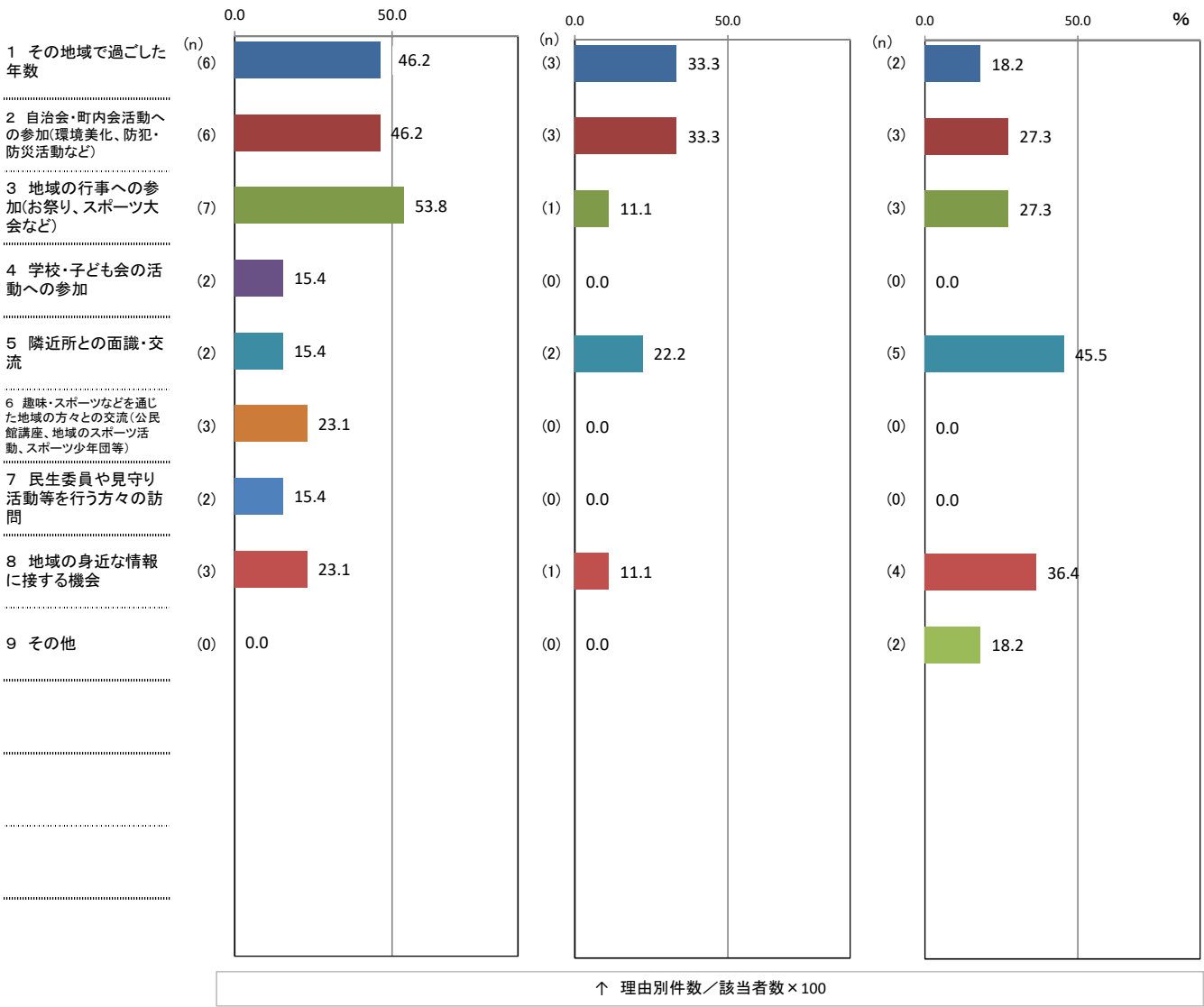
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<会社役員・団体役員>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 13 人 (31)	②「どちらともいえない」の回答 9 人 (10)	③「あまり感じない・感じない」の回答 11 人 (19)
1	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (7)	1 その地域で過ごした年数 (3) 1位	5 隣近所との面識・交流 (5)
2	1 その地域で過ごした年数 (6) 2位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3)	8 地域の身近な情報に接する機会 (4)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (6)	5 隣近所との面識・交流 (2)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3) 3位 3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (3)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<会社役員・団体役員>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		46.2	46.2	53.8	15.4	15.4	23.1	15.4	23.1	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		18.2	27.3	27.3	0.0	45.5	0.0	0.0	36.4	18.2

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=13人)	31	6	6	7	2	2	3	2	3	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=9人)	10	3	3	1	0	2	0	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=11人)	19	2	3	3	0	5	0	0	4	2

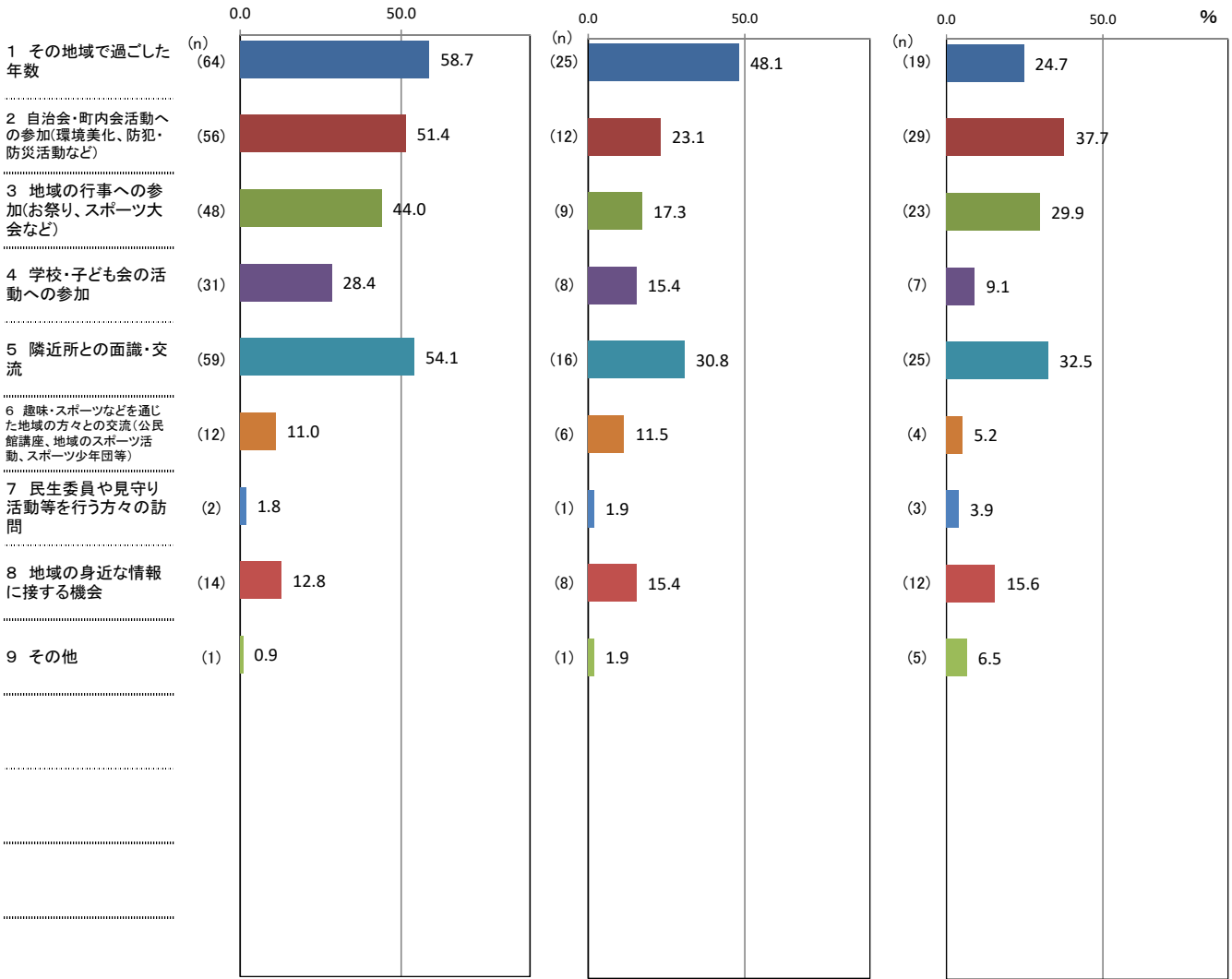
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (287)		②「どちらともいえない」の回答 (86)		③「あまり感じない・感じない」の回答 (127)	
	109 人		52 人		77 人	
1	1 その地域で過ごした年数 (64)		1 その地域で過ごした年数 (25)		2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (29)	
2	5 隣近所との面識・交流 (59)		5 隣近所との面識・交流 (16)		5 隣近所との面識・交流 (25)	
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (56)		2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (23)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<常用雇用者>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		58.7	51.4	44.0	28.4	54.1	11.0	1.8	12.8	0.9
②「どちらともいえない」		48.1	23.1	17.3	15.4	30.8	11.5	1.9	15.4	1.9
③「あまり感じない・感じない」		24.7	37.7	29.9	9.1	32.5	5.2	3.9	15.6	6.5

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=109人)	287	64	56	48	31	59	12	2	14	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=52人)	86	25	12	9	8	16	6	1	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=77人)	127	19	29	23	7	25	4	3	12	5

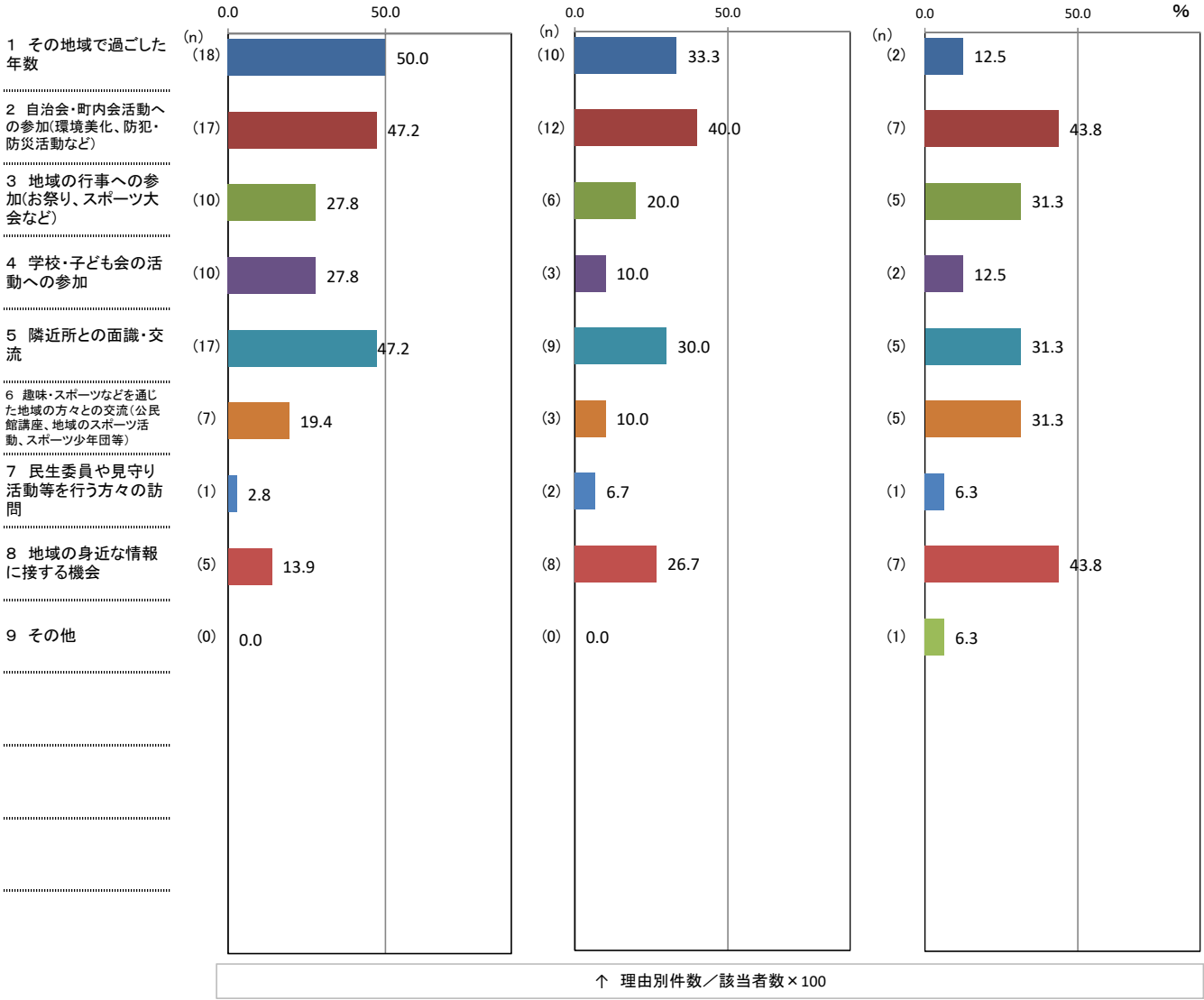
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<臨時雇用者>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (85) 36 人	②「どちらともいえない」の回答 (53) 30 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (35) 16 人
1	1 その地域で過ごした年数 (18)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (7) 1位
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (17) 2位	1 その地域で過ごした年数 (10)	8 地域の身近な情報に接する機会 (7)
3	5 隣近所との面識・交流 (17)	5 隣近所との面識・交流 (9)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (5) 3位 5 隣近所との面識・交流 (5) 3位 6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団等) (5)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<臨時雇用者>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	47.2	27.8	27.8	47.2	19.4	2.8	13.9	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	40.0	20.0	10.0	30.0	10.0	6.7	26.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		12.5	43.8	31.3	12.5	31.3	31.3	6.3	43.8	6.3

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=36人)	85	18	17	10	10	17	7	1	5	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=30人)	53	10	12	6	3	9	3	2	8	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=16人)	35	2	7	5	2	5	5	1	7	1

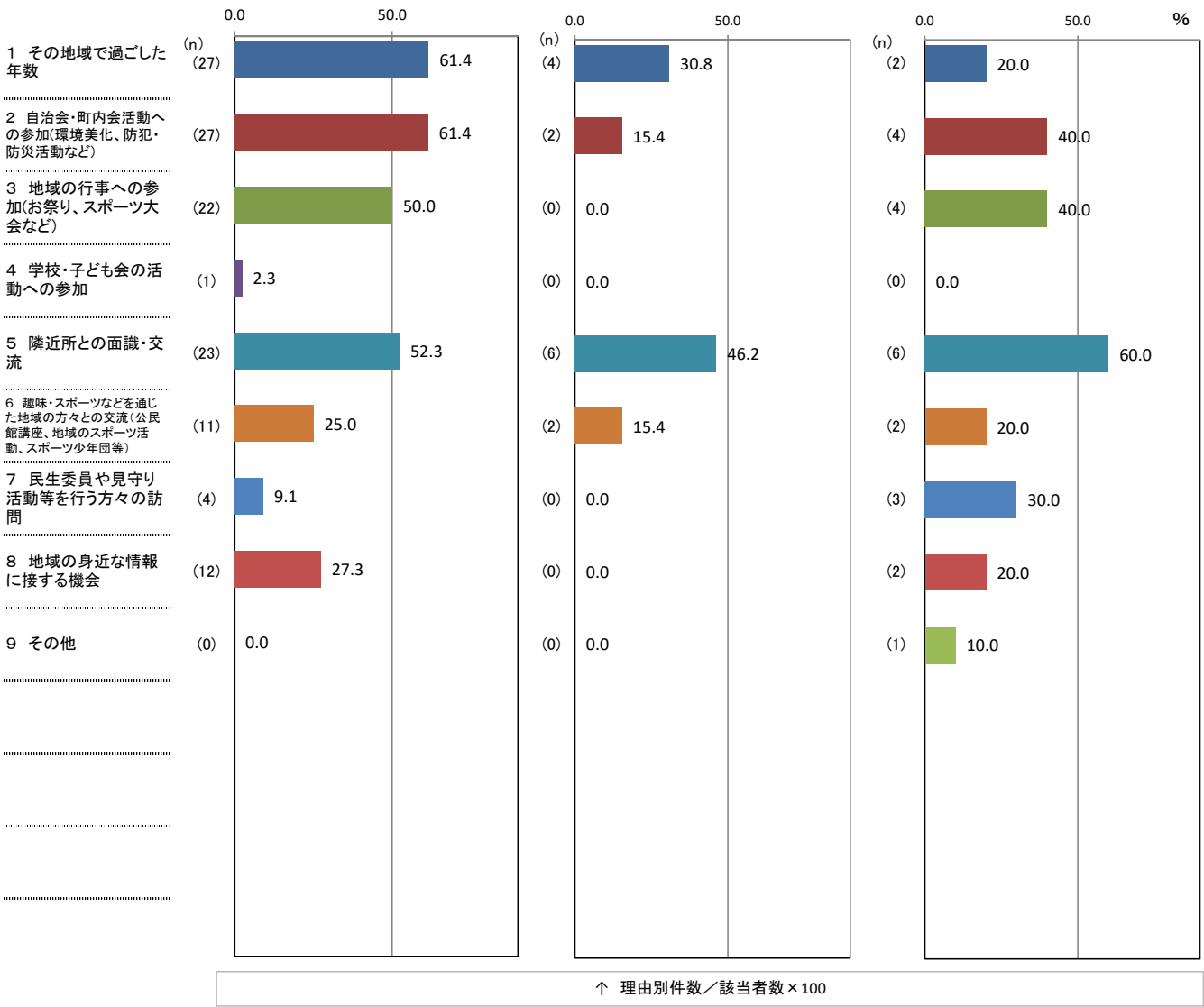
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<60歳以上の無職>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (127) 44 人	②「どちらともいえない」の回答 (14) 13 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 10 人
1	1 その地域で過ごした年数 (27) 1位	5 隣近所との面識・交流 (6)	5 隣近所との面識・交流 (6)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (27)	1 その地域で過ごした年数 (4)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (4)
3	5 隣近所との面識・交流 (23)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (2) 3位 6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団等) (2)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4) 2位

()内の数字は件数。



【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜60歳以上の無職＞		(%)								
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		61.4	61.4	50.0	2.3	52.3	25.0	9.1	27.3	0.0
②「どちらともいえない」		30.8	15.4	0.0	0.0	46.2	15.4	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	40.0	40.0	0.0	60.0	20.0	30.0	20.0	10.0

		(件)								
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=44人)	127	27	27	22	1	23	11	4	12	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=13人)	14	4	2	0	0	6	2	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=10人)	24	2	4	4	0	6	2	3	2	1

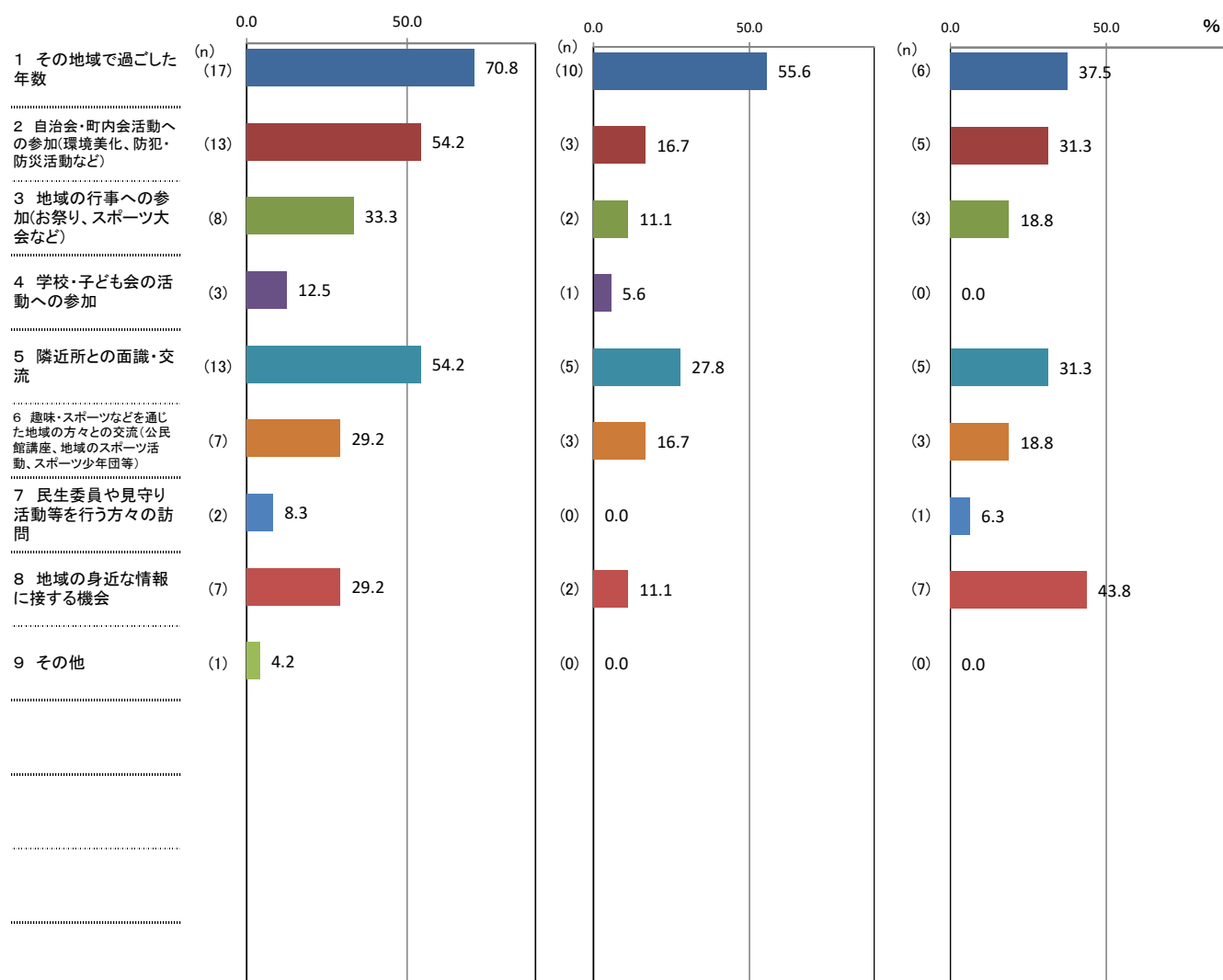
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<ひとり暮らし>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 24 人 (71)	②「どちらともいえない」の回答 18 人 (26)	③「あまり感じない・感じない」の回答 16 人 (30)
1	1 その地域で過ごした年数 (17)	1 その地域で過ごした年数 (10)	8 地域の身近な情報に接する機会 (7)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (13) 2位	5 隣近所との面識・交流 (5)	1 その地域で過ごした年数 (6)
3	5 隣近所との面識・交流 (13)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3) 3位 6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動、スポーツ少年団等) (3)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (5) 3位 5 隣近所との面識・交流 (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<ひとりで暮らし>

区分	計	＜ひとり暮らし＞									
		1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他	
①「感じる・やや感じる」		70.8	54.2	33.3	12.5	54.2	29.2	8.3	29.2	4.2	
②「どちらともいえない」		55.6	16.7	11.1	5.6	27.8	16.7	0.0	11.1	0.0	
③「あまり感じない・感じない」		37.5	31.3	18.8	0.0	31.3	18.8	6.3	43.8	0.0	

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=24人)	71	17	13	8	3	13	7	2	7	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=18人)	26	10	3	2	1	5	3	0	2	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=16人)	30	6	5	3	0	5	3	1	7	0

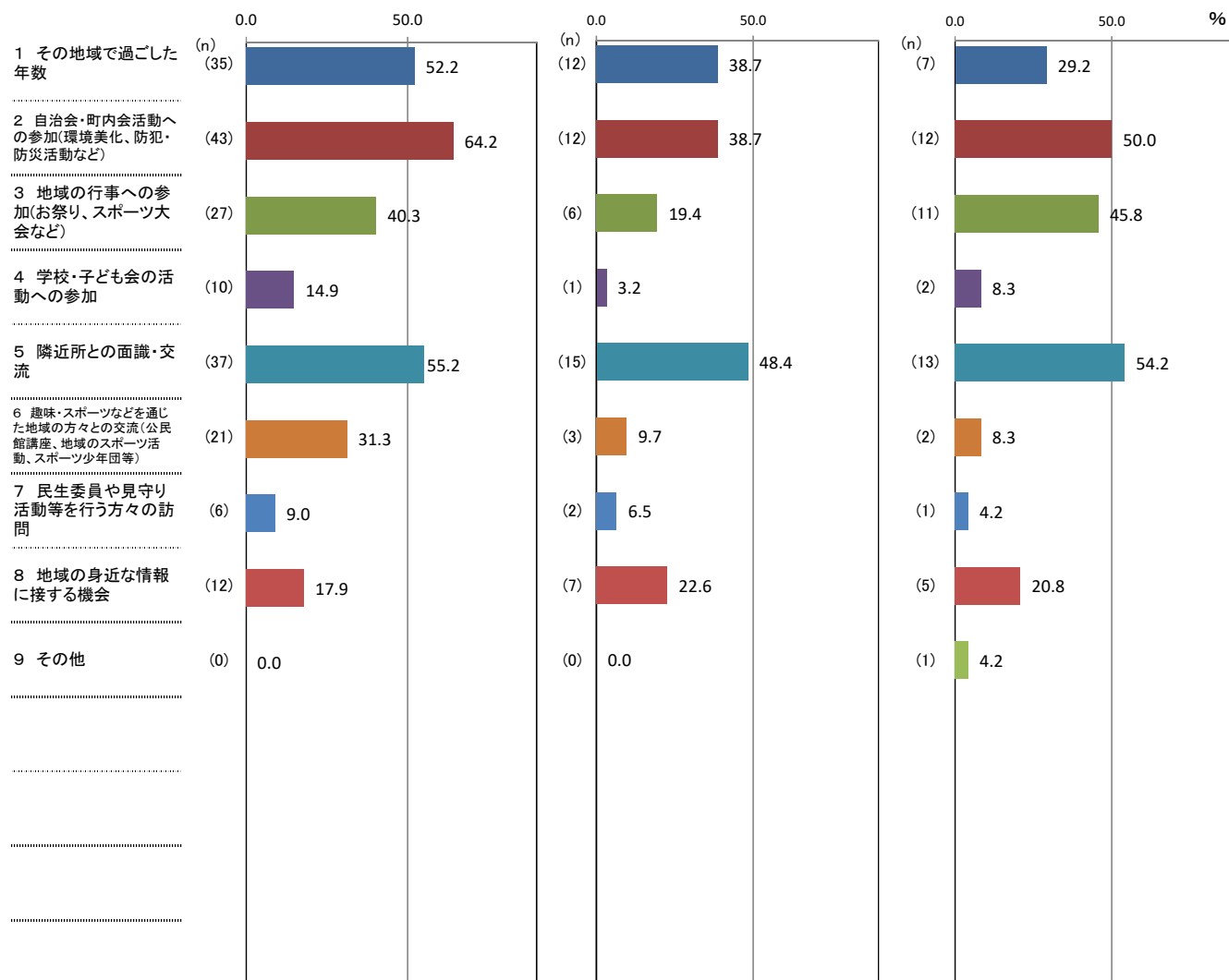
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (191) 67 人	②「どちらともいえない」の回答 (58) 31 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (54) 24 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (43)	5 隣近所との面識・交流 (15)	5 隣近所との面識・交流 (13)
2	5 隣近所との面識・交流 (37)	1 その地域で過ごした年数 (12)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)
3	1 その地域で過ごした年数 (35)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (11)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<夫婦のみ>

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		52.2	64.2	40.3	14.9	55.2	31.3	9.0	17.9	0.0
②「どちらともいえない」		38.7	38.7	19.4	3.2	48.4	9.7	6.5	22.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		29.2	50.0	45.8	8.3	54.2	8.3	4.2	20.8	4.2

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=67人)	191	35	43	27	10	37	21	6	12	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=31人)	58	12	12	6	1	15	3	2	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=24人)	54	7	12	11	2	13	2	1	5	1

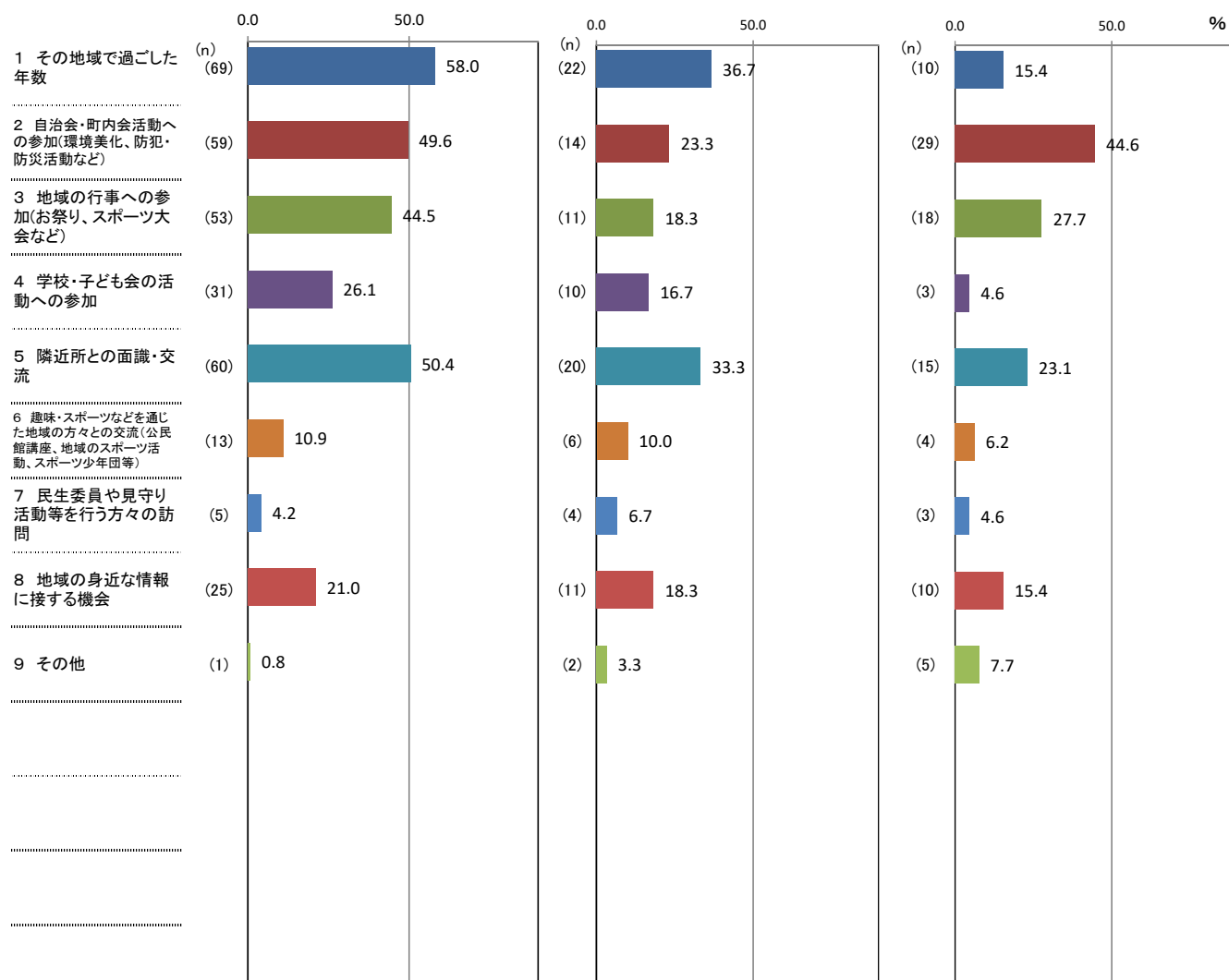
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (316) 119 人	②「どちらともいえない」の回答 (100) 60 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (97) 65 人
1	1 その地域で過ごした年数 (69)	1 その地域で過ごした年数 (22)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (29)
2	5 隣近所との面識・交流 (60)	5 隣近所との面識・交流 (20)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (18)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (59)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (14)	5 隣近所との面識・交流 (15)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<2世代世帯>

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		58.0	49.6	44.5	26.1	50.4	10.9	4.2	21.0	0.8
②「どちらともいえない」		36.7	23.3	18.3	16.7	33.3	10.0	6.7	18.3	3.3
③「あまり感じない・感じない」		15.4	44.6	27.7	4.6	23.1	6.2	4.6	15.4	7.7

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=119人)	316	69	59	53	31	60	13	5	25	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=60人)	100	22	14	11	10	20	6	4	11	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=65人)	97	10	29	18	3	15	4	3	10	5

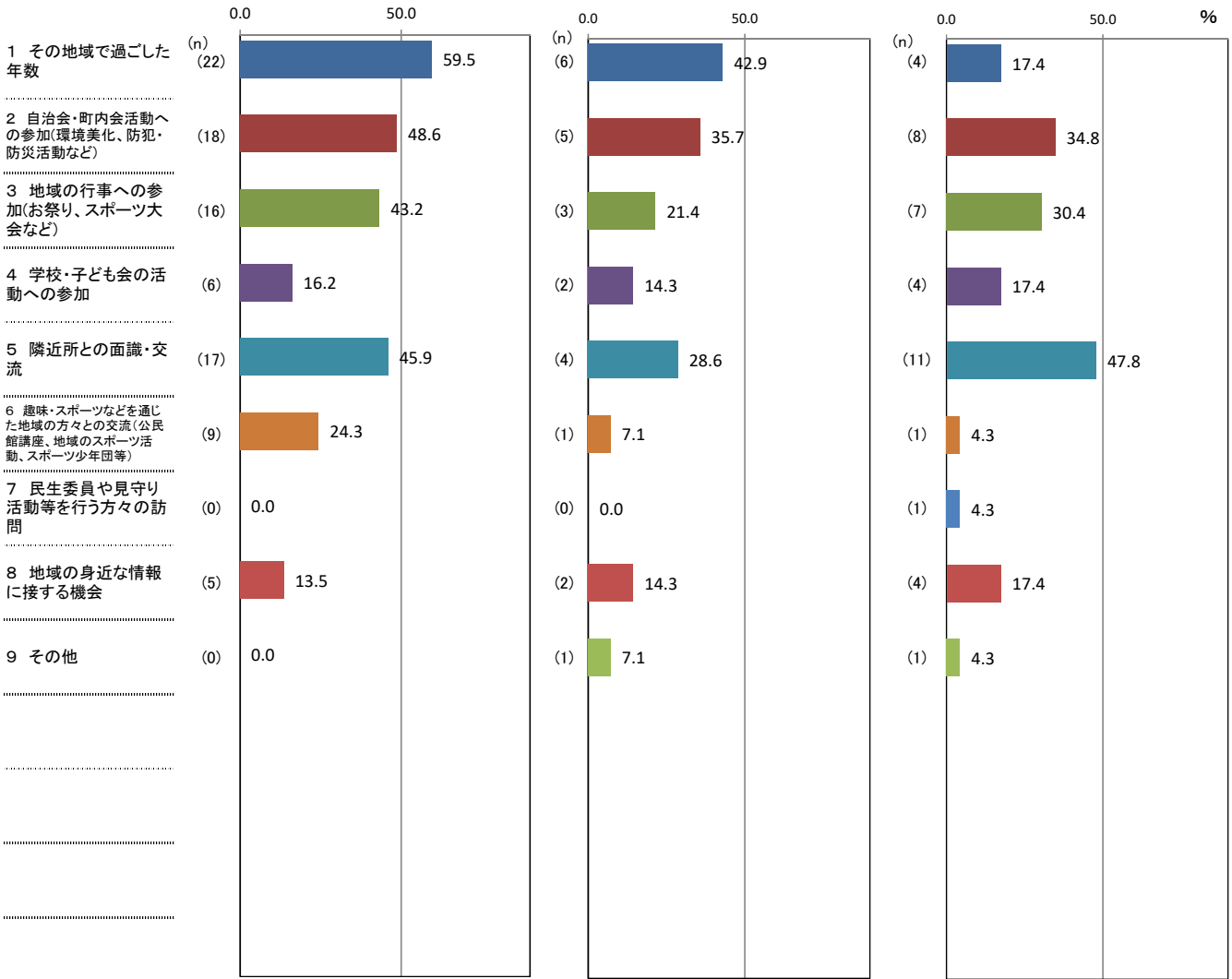
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (93) 37 人	②「どちらともいえない」の回答 (24) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (41) 23 人
1	1 その地域で過ごした年数 (22)	1 その地域で過ごした年数 (6)	5 隣近所との面識・交流 (11)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (18)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (5)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (8)
3	5 隣近所との面識・交流 (17)	5 隣近所との面識・交流 (4)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (7)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<3世代世帯>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		59.5	48.6	43.2	16.2	45.9	24.3	0.0	13.5	0.0
②「どちらともいえない」		42.9	35.7	21.4	14.3	28.6	7.1	0.0	14.3	7.1
③「あまり感じない・感じない」		17.4	34.8	30.4	17.4	47.8	4.3	4.3	17.4	4.3

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=37人)	93	22	18	16	6	17	9	0	5	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=14人)	24	6	5	3	2	4	1	0	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=23人)	41	4	8	7	4	11	1	1	4	1

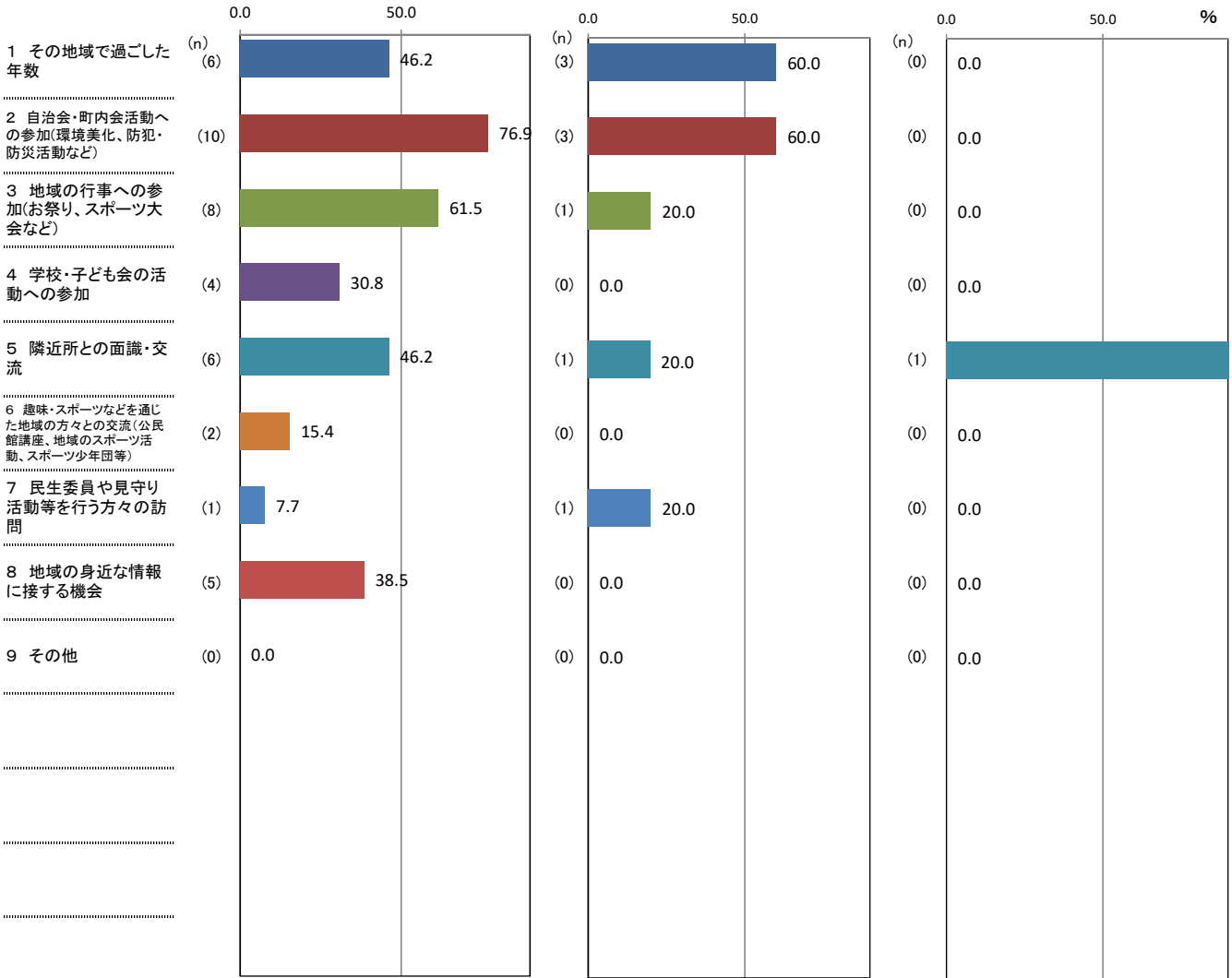
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜その他世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 13 人 (42)	②「どちらともいえない」の回答 5 人 (9)	③「あまり感じない・感じない」の回答 1 人 (1)
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)	1 その地域で過ごした年数 (3)	5 隣近所との面識・交流 (1)
2	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (8)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3)	
3	1 その地域で過ごした年数 (6)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (1)	
	5 隣近所との面識・交流 (6)	5 隣近所との面識・交流 (1)	
		7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問 (1)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数 / 該当者数 × 100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜その他世帯＞

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		46.2	76.9	61.5	30.8	46.2	15.4	7.7	38.5	0.0
②「どちらともいえない」		60.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=13人)	42	6	10	8		4	6	2	1	5
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=5人)	9	3	3	1	0	1	0	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=1人)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0

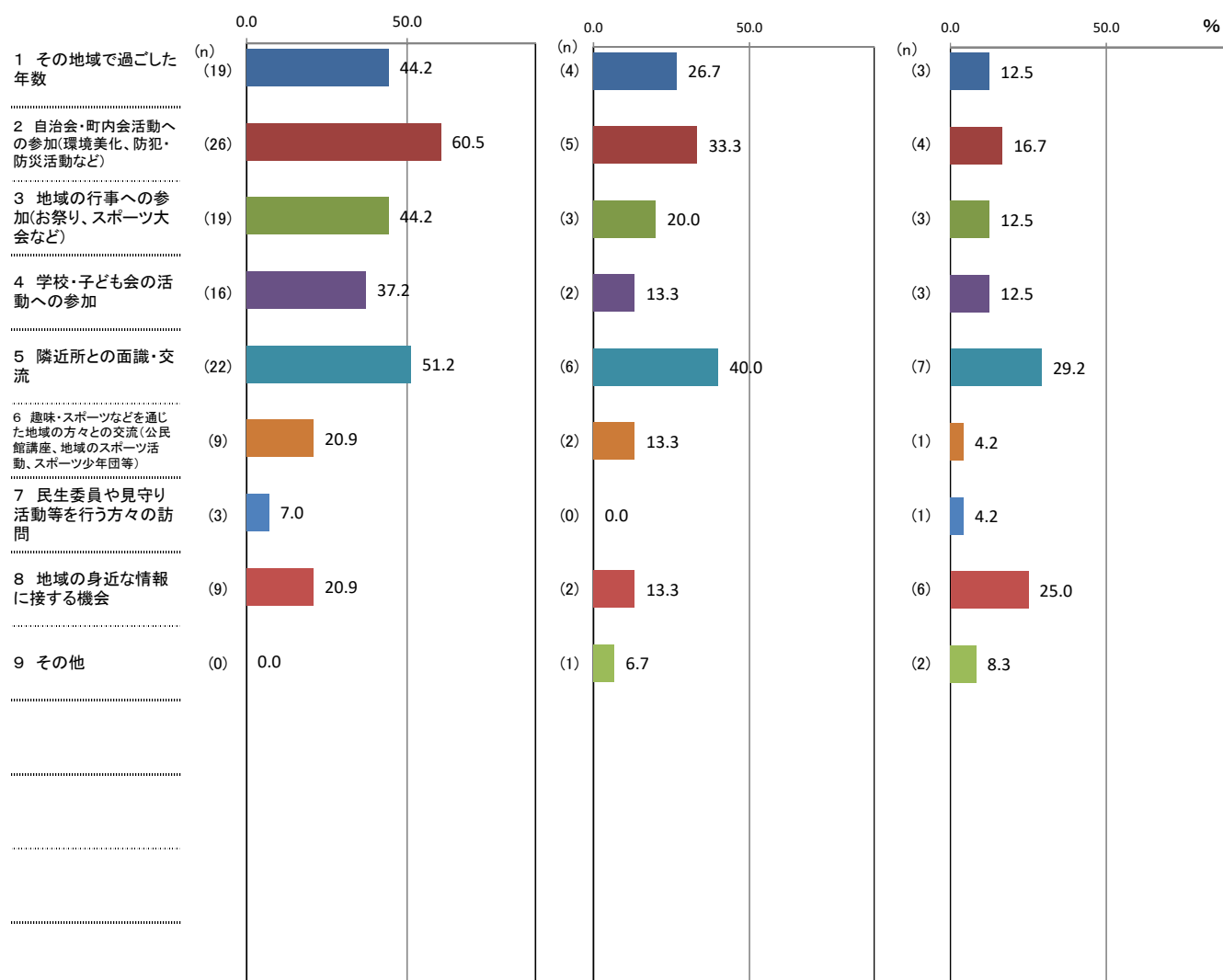
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜子どもの数1人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (123) 43 人	②「どちらともいえない」の回答 (25) 15 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (30) 24 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (26)	5 隣近所との面識・交流 (6)	5 隣近所との面識・交流 (7)
2	5 隣近所との面識・交流 (22)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (5)	8 地域の身近な情報に接する機会 (6)
3	1 その地域で過ごした年数 (19) 3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (19) 3位	1 その地域で過ごした年数 (4)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数1人>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		44.2	60.5	44.2	37.2	51.2	20.9	7.0	20.9	0.0
②「どちらともいえない」		26.7	33.3	20.0	13.3	40.0	13.3	0.0	13.3	6.7
③「あまり感じない・感じない」		12.5	16.7	12.5	12.5	29.2	4.2	4.2	25.0	8.3

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=43人)	123	19	26	19	16	22	9	3	9	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=15人)	25	4	5	3	2	6	2	0	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=24人)	30	3	4	3	3	7	1	1	6	2

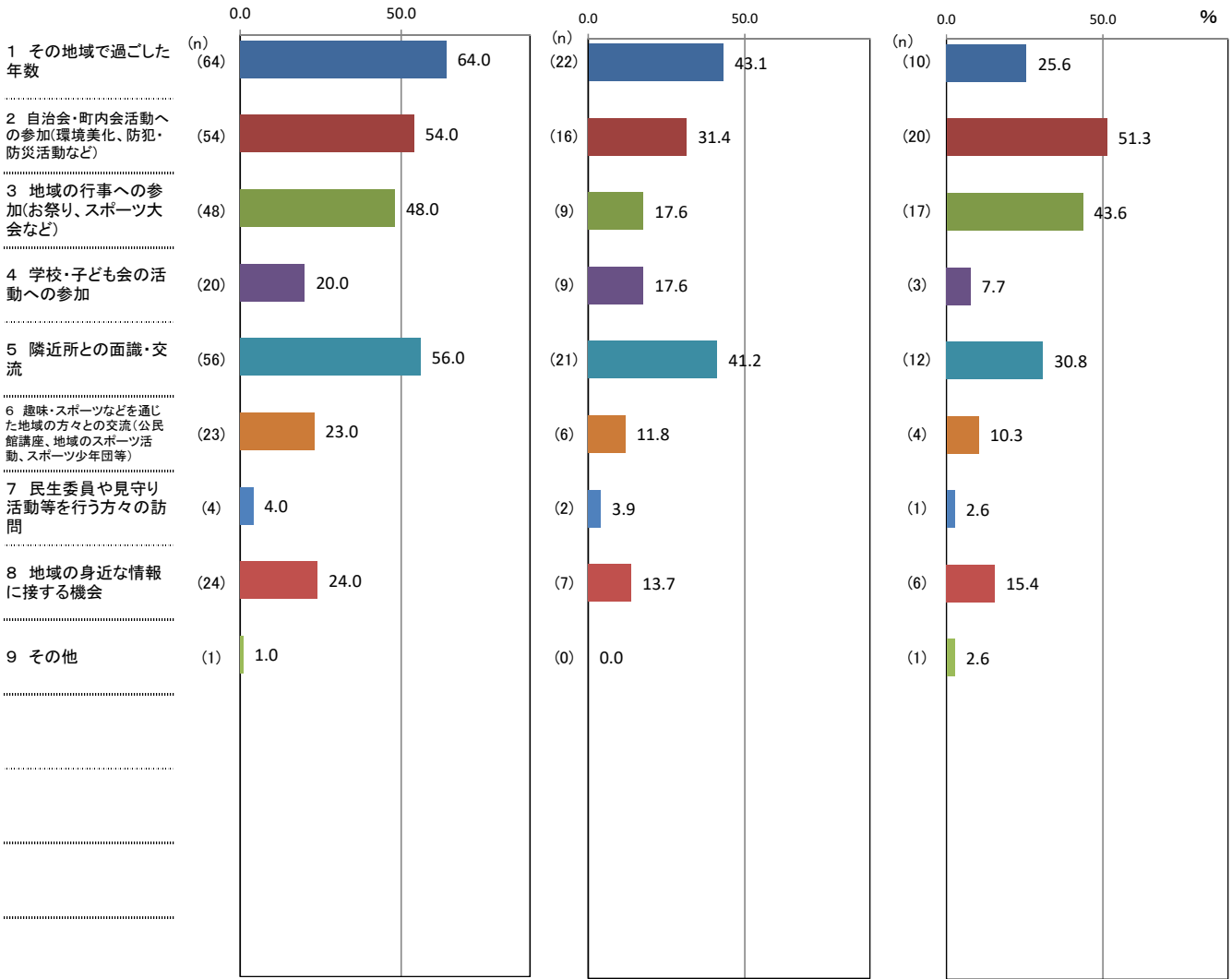
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<子どもの数2人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (294)		②「どちらともいえない」の回答 (92)		③「あまり感じない・感じない」の回答 (74)	
	100 人		51 人		39 人	
1	1 その地域で過ごした年数 (64)		1 その地域で過ごした年数 (22)		2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (20)	
2	5 隣近所との面識・交流 (56)		5 隣近所との面識・交流 (21)		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (17)	
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (54)		2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (16)		5 隣近所との面識・交流 (12)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数2人>

＜子どもの数2人＞		（％）									
区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他	
①「感じる・やや感じる」		64.0	54.0	48.0	20.0	56.0	23.0	4.0	24.0	1.0	
②「どちらともいえない」		43.1	31.4	17.6	17.6	41.2	11.8	3.9	13.7	0.0	
③「あまり感じない・感じない」		25.6	51.3	43.6	7.7	30.8	10.3	2.6	15.4	2.6	

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=100人)	294	64	54	48	20	56	23	4	24	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=51人)	92	22	16	9	9	21	6	2	7	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=39人)	74	10	20	17	3	12	4	1	6	1

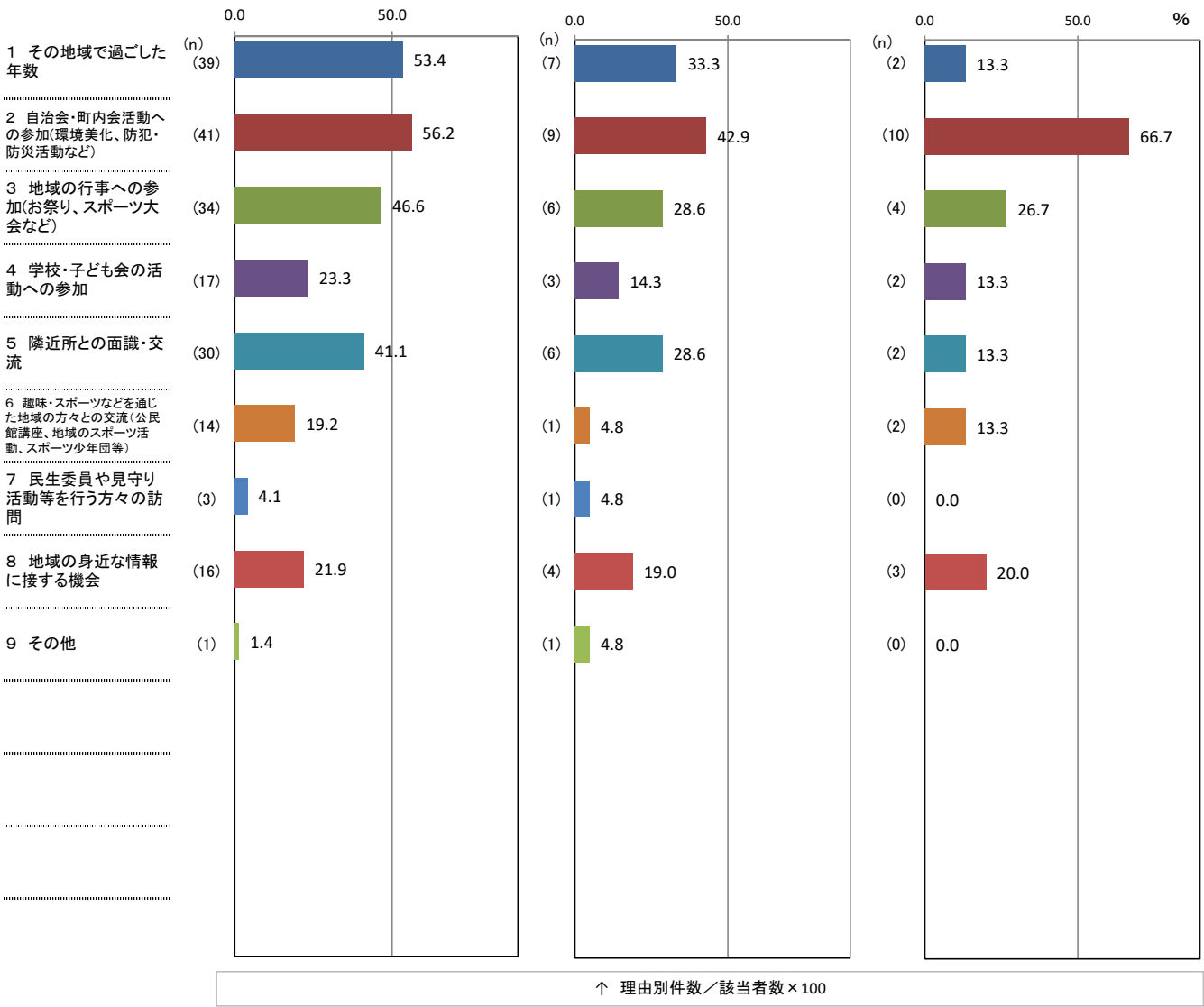
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<子どもの数3人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (195) 73 人	②「どちらともいえない」の回答 (38) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 15 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (41)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (9)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)
2	1 その地域で過ごした年数 (39)	1 その地域で過ごした年数 (7)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4)
3	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (34)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (6) 3位	8 地域の身近な情報に接する機会 (3)
		5 隣近所との面識・交流 (6)	

()内の数字は件数。



【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数3人>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		53.4	56.2	46.6	23.3	41.1	19.2	4.1	21.9	1.4
②「どちらともいえない」		33.3	42.9	28.6	14.3	28.6	4.8	4.8	19.0	4.8
③「あまり感じない・感じない」		13.3	66.7	26.7	13.3	13.3	13.3	0.0	20.0	0.0

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=73人)	195	39	41	34	17	30	14	3	16	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=21人)	38	7	9	6	3	6	1	1	4	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=15人)	25	2	10	4	2	2	2	0	3	0

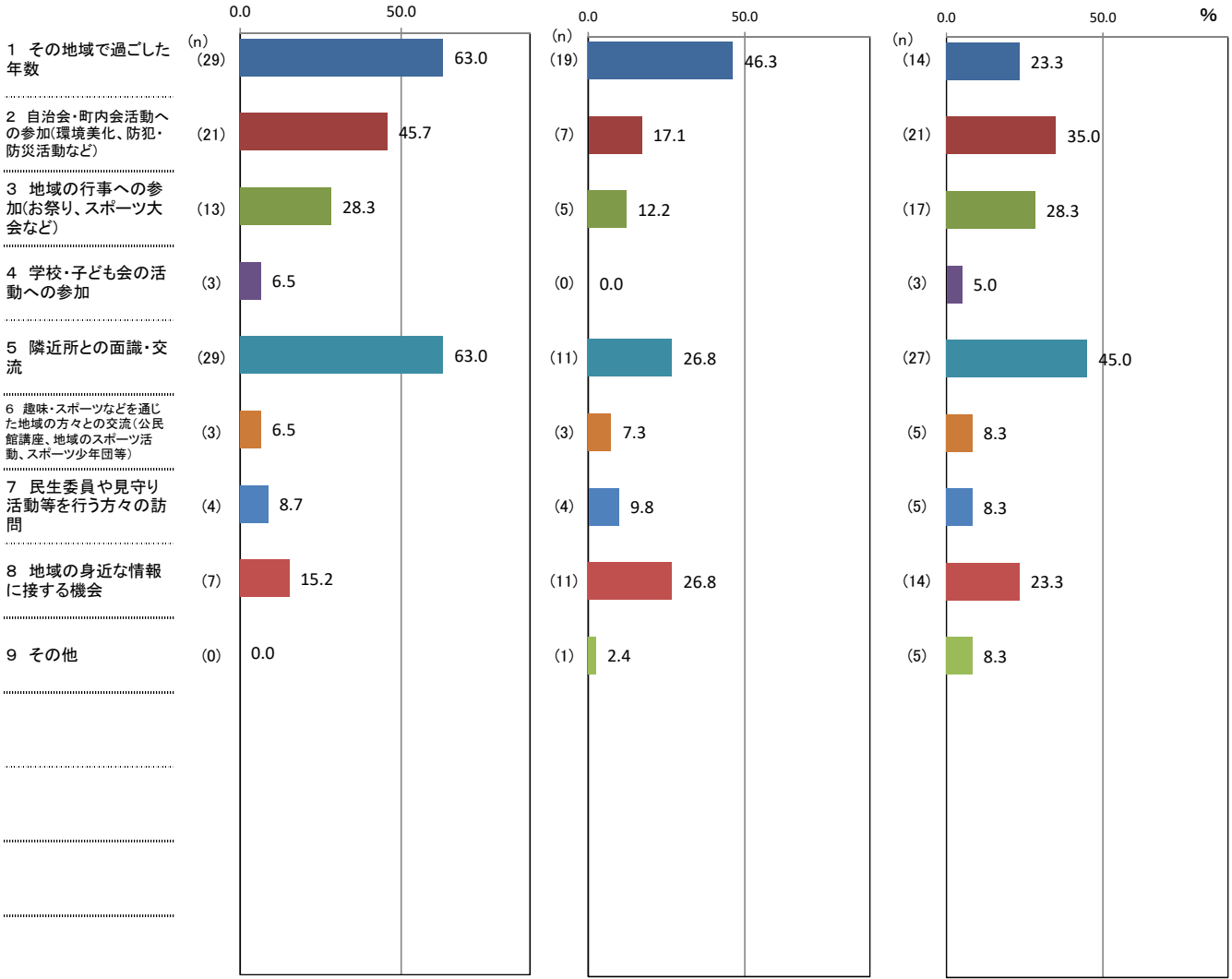
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (109) 46 人	②「どちらともいえない」の回答 (61) 41 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (111) 60 人
1	1 その地域で過ごした年数 (29) 1位	1 その地域で過ごした年数 (19)	5 隣近所との面識・交流 (27)
2	5 隣近所との面識・交流 (29)	5 隣近所との面識・交流 (11) 2位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (21)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (21)	8 地域の身近な情報に接する機会 (11)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (17)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもはいない>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		63.0	45.7	28.3	6.5	63.0	6.5	8.7	15.2	0.0
②「どちらともいえない」		46.3	17.1	12.2	0.0	26.8	7.3	9.8	26.8	2.4
③「あまり感じない・感じない」		23.3	35.0	28.3	5.0	45.0	8.3	8.3	23.3	8.3

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=46人)	109	29	21	13	3	29	3	4	7	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=41人)	61	19	7	5	0	11	3	4	11	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=60人)	111	14	21	17	3	27	5	5	14	5

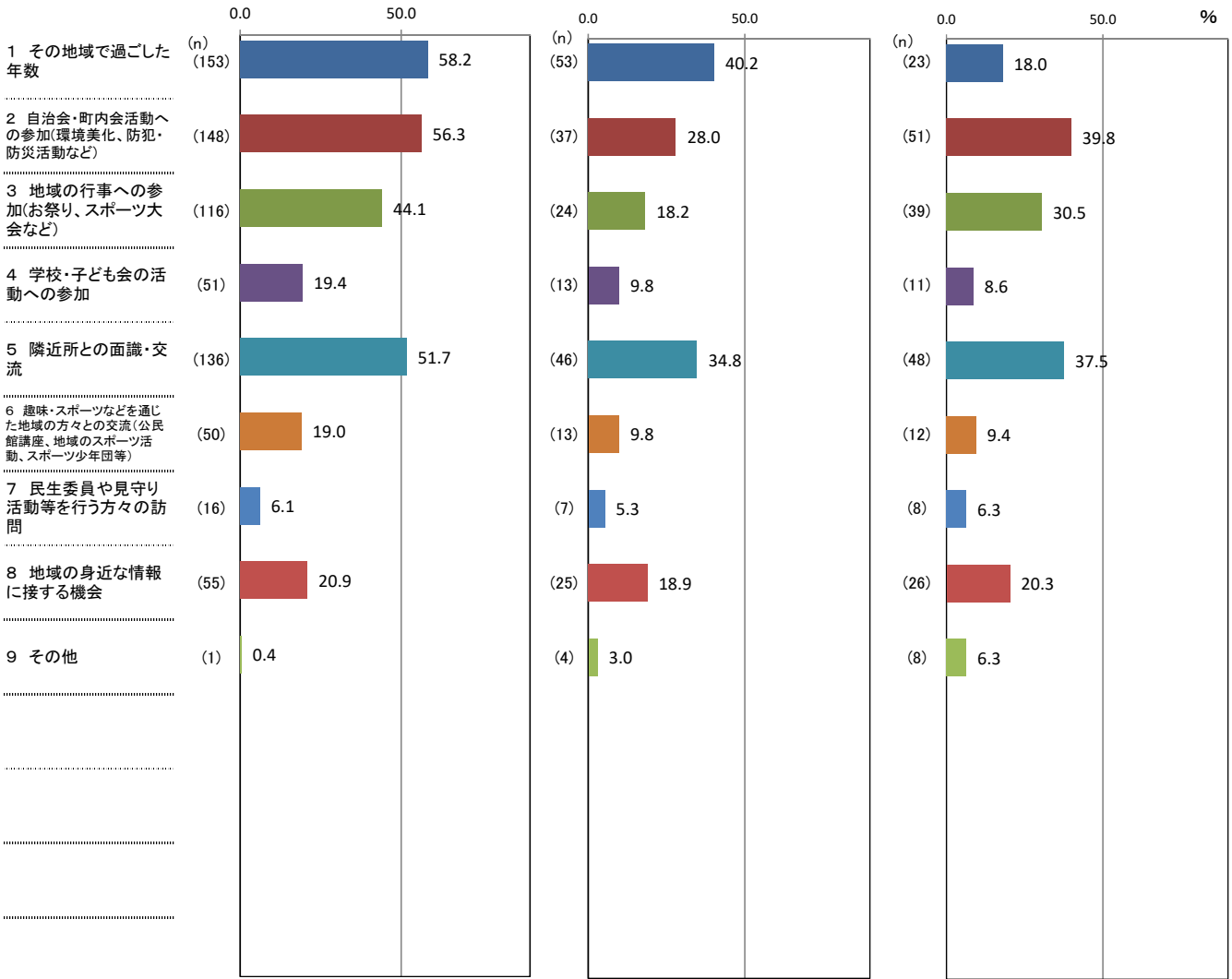
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (726) 263 人	②「どちらともいえない」の回答 (222) 132 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (226) 128 人
1	1 その地域で過ごした年数 (153)	1 その地域で過ごした年数 (53)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (51)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (148)	5 隣近所との面識・交流 (46)	5 隣近所との面識・交流 (48)
3	5 隣近所との面識・交流 (136)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (37)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (39)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<居住年数20年以上>

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		58.2	56.3	44.1	19.4	51.7	19.0	6.1	20.9	0.4
②「どちらともいえない」		40.2	28.0	18.2	9.8	34.8	9.8	5.3	18.9	3.0
③「あまり感じない・感じない」		18.0	39.8	30.5	8.6	37.5	9.4	6.3	20.3	6.3

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=263人)	726	153	148	116	51	136	50	16	55	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=132人)	222	53	37	24	13	46	13	7	25	4
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=128人)	226	23	51	39	11	48	12	8	26	8

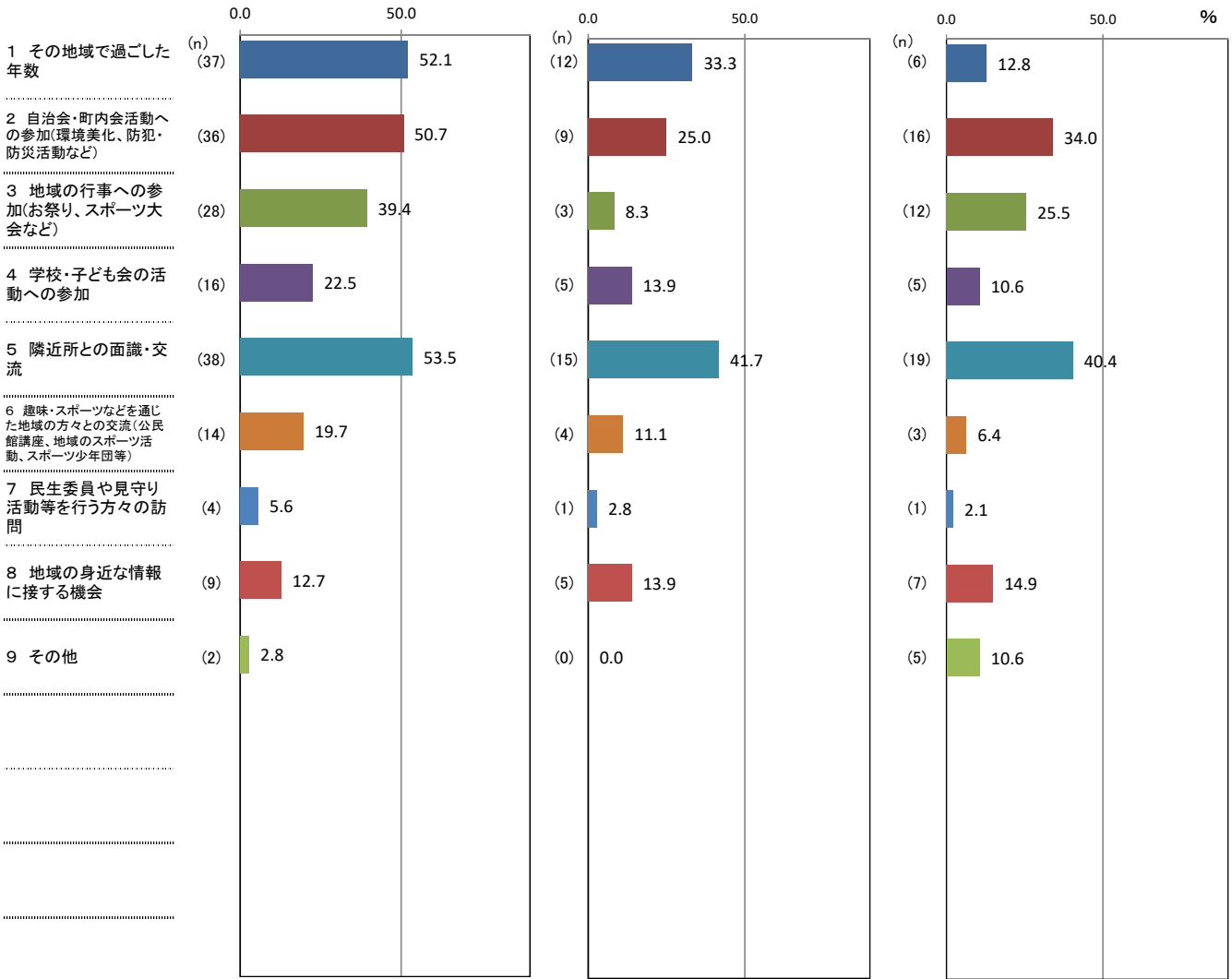
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (184)		②「どちらともいえない」の回答 (54)		③「あまり感じない・感じない」の回答 (74)	
	71 人		36 人		47 人	
1	5 隣近所との面識・交流 (38)		5 隣近所との面識・交流 (15)		5 隣近所との面識・交流 (19)	
2	1 その地域で過ごした年数 (37)		1 その地域で過ごした年数 (12)		2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (16)	
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (36)		2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (9)		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (12)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県中央広域振興圏＞

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		52.1	50.7	39.4	22.5	53.5	19.7	5.6	12.7	2.8
②「どちらともいえない」		33.3	25.0	8.3	13.9	41.7	11.1	2.8	13.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		12.8	34.0	25.5	10.6	40.4	6.4	2.1	14.9	10.6

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々と交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=71人)	184	37	36	28	16	38	14	4	9	2
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=36人)	54	12	9	3	5	15	4	1	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=47人)	74	6	16	12	5	19	3	1	7	5

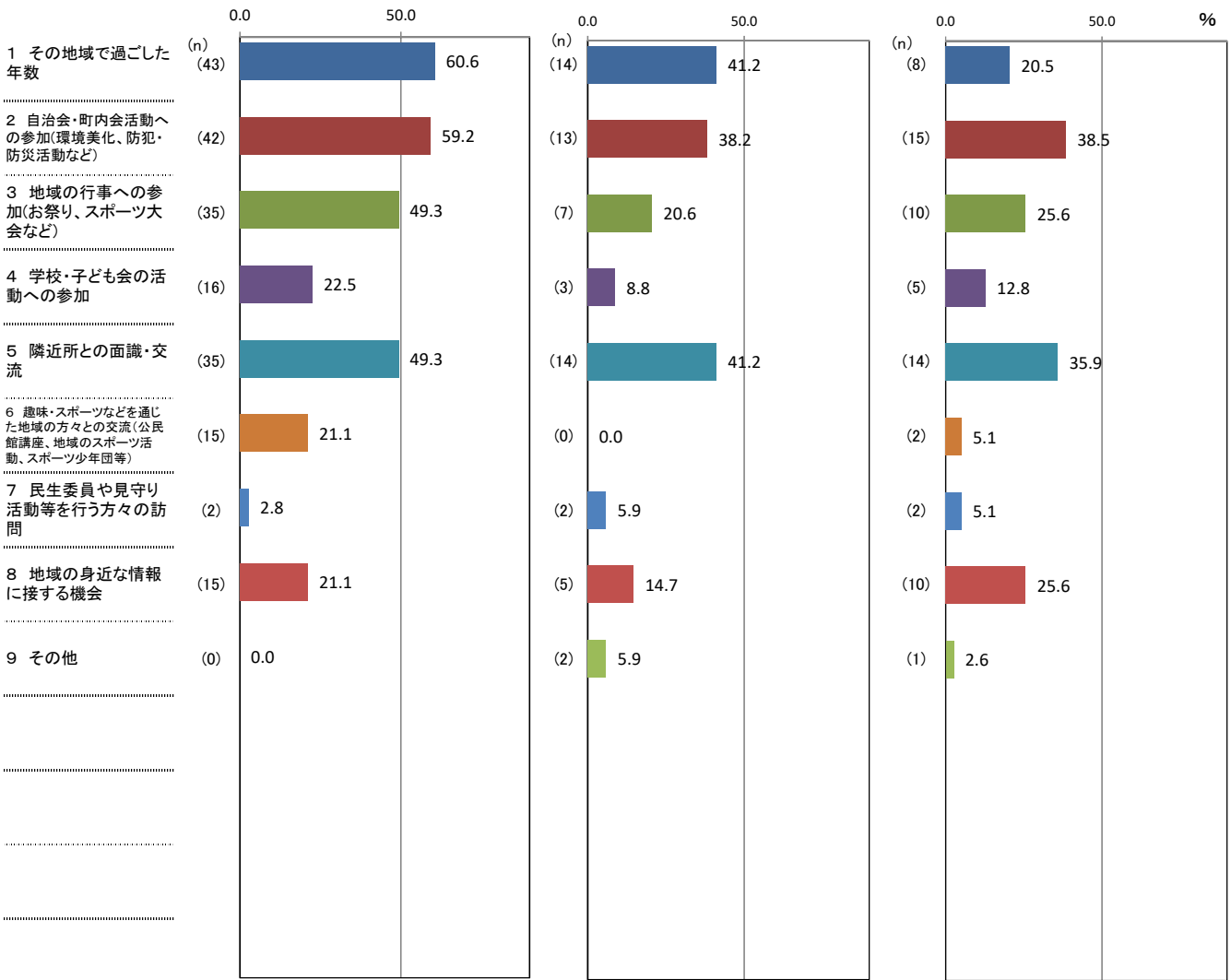
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (203) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (60) 34 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (67) 39 人
1	1 その地域で過ごした年数 (43)	1 その地域で過ごした年数 (14) 1位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (15)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (42)	5 隣近所との面識・交流 (14)	5 隣近所との面識・交流 (14)
3	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (35) 3位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (13)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (10) 3位
	5 隣近所との面識・交流 (35)		8 地域の身近な情報に接する機会 (10)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県南広域振興圏＞

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		60.6	59.2	49.3	22.5	49.3	21.1	2.8	21.1	0.0
②「どちらともいえない」		41.2	38.2	20.6	8.8	41.2	0.0	5.9	14.7	5.9
③「あまり感じない・感じない」		20.5	38.5	25.6	12.8	35.9	5.1	5.1	25.6	2.6

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面談・交流	6 趣味・スポーツなどを通じた地域の方々との交流(公民館講座、地域のスポーツ活動など)	7 民生委員や見守り活動等を行う方々の訪問	8 地域の身近な情報に接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=71人)	203	43	42	35	16	35	15	2	15	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=34人)	60	14	13	7	3	14	0	2	5	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=39人)	67	8	15	10	5	14	2	2	10	1

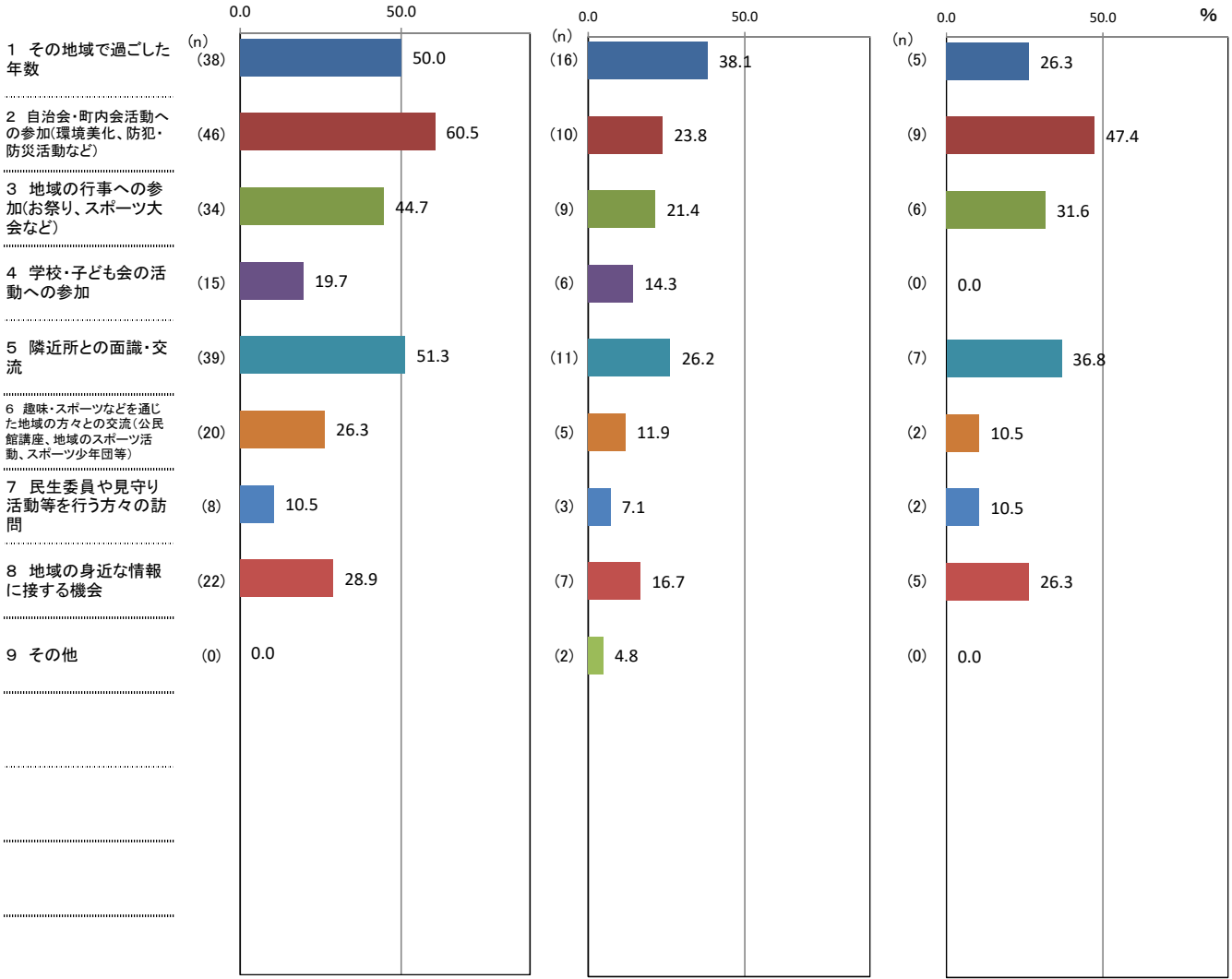
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (222) 76 人	②「どちらともいえない」の回答 (69) 42 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (36) 19 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (46)	1 その地域で過ごした年数 (16)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (9)
2	5 隣近所との面識・交流 (39)	5 隣近所との面識・交流 (11)	5 隣近所との面識・交流 (7)
3	1 その地域で過ごした年数 (38)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (6)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<沿岸広域振興圏>

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	60.5	44.7	19.7	51.3	26.3	10.5	28.9	0.0
②「どちらともいえない」		38.1	23.8	21.4	14.3	26.2	11.9	7.1	16.7	4.8
③「あまり感じない・感じない」		26.3	47.4	31.6	0.0	36.8	10.5	10.5	26.3	0.0

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=76人)	222	38	46	34	15	39	20	8	22	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=42人)	69	16	10	9	6	11	5	3	7	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=19人)	36	5	9	6	0	7	2	2	5	0

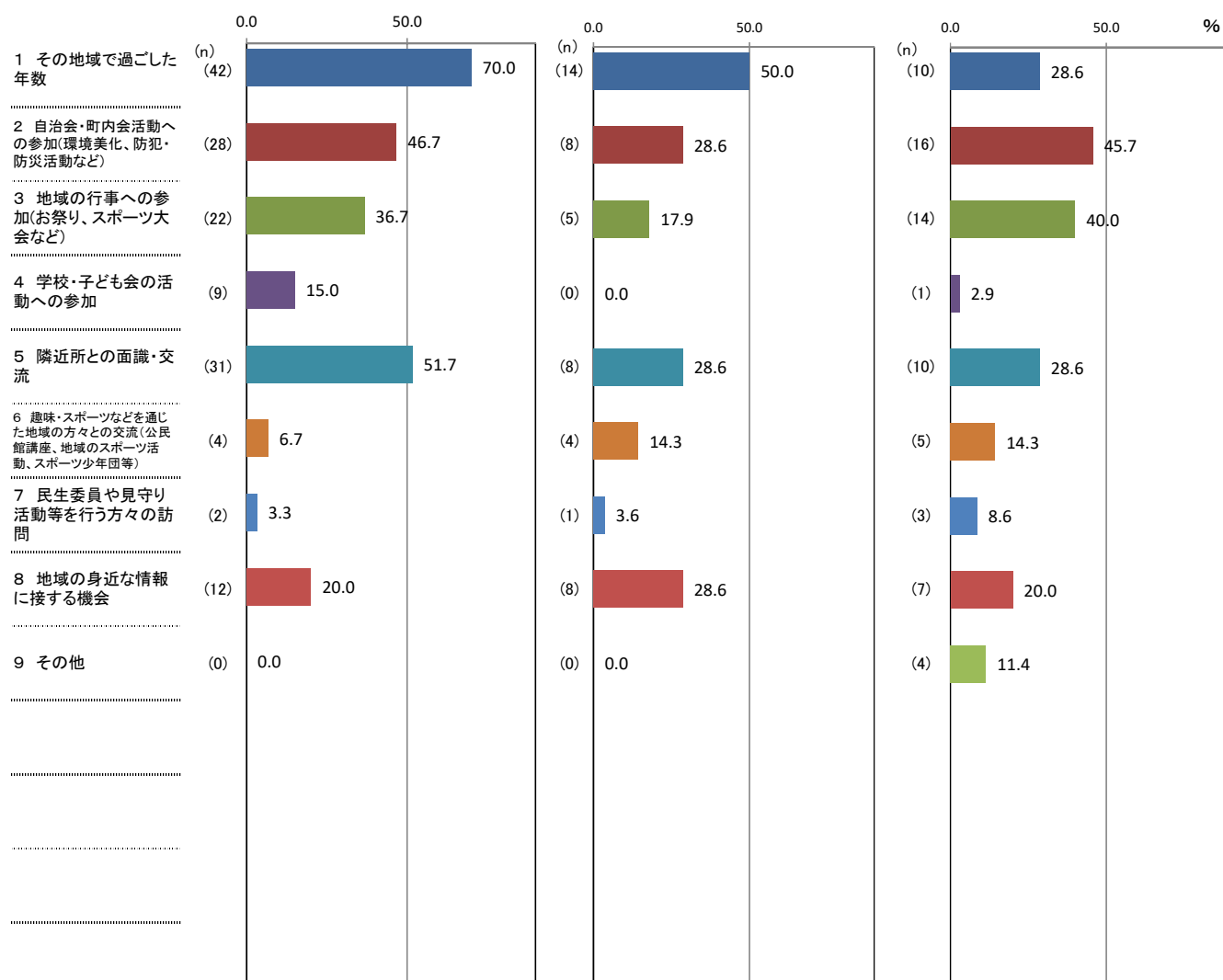
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<県北広域振興圏>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (150) 60 人	②「どちらともいえない」の回答 (48) 28 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (70) 35 人
1	1 その地域で過ごした年数 (42)	1 その地域で過ごした年数 (14)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (16)
2	5 隣近所との面識・交流 (31)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (8) 2位	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (14)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (28)	5 隣近所との面識・交流 (8) 2位	1 その地域で過ごした年数 (10) 3位
		8 地域の身近な情報に接する機会 (8)	5 隣近所との面識・交流 (10)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<(東北広域振興圏)>

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」		70.0	46.7	36.7	15.0	51.7	6.7	3.3	20.0	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	28.6	17.9	0.0	28.6	14.3	3.6	28.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		28.6	45.7	40.0	2.9	28.6	14.3	8.6	20.0	11.4

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4 学校・子 ども会の活動 への参加	5 隣近所と の面談・交流	6 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域の 方々との交 流(公民館講 座、地域のス ポーツ活動 など)	7 民生委員 や見守り活 動等を行う 方々の訪問	8 地域の身 近な情報に 接する機会	9 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=60人)	150	42	28	22	9	31	4	2	12	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=28人)	48	14	8	5	0	8	4	1	8	0
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=35人)	70	10	16	14	1	10	5	3	7	4

<属性別>

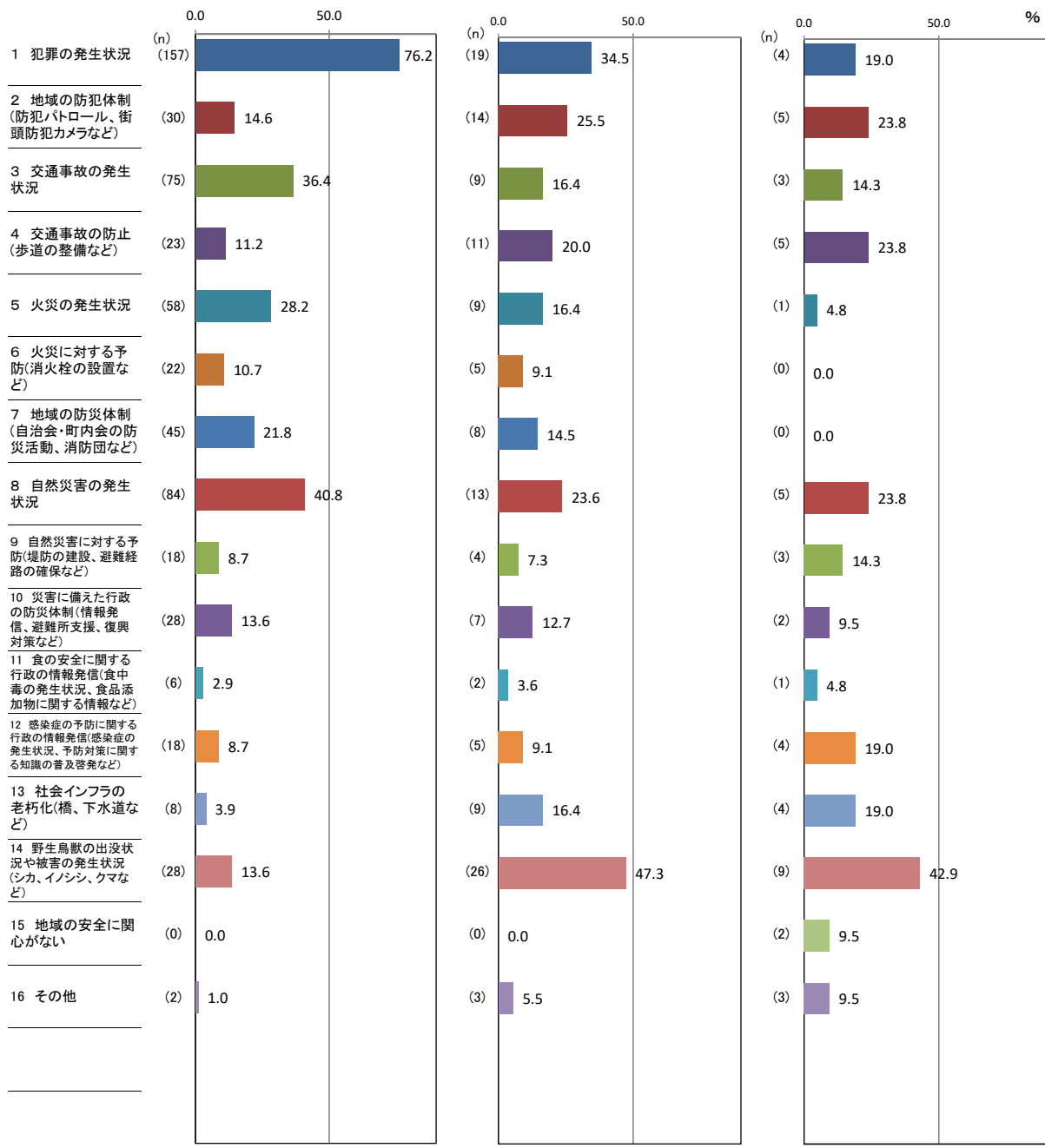
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<男性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (602) 206 人	②「どちらともいえない」の回答 (144) 55 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (50) 21 人
1	1 犯罪の発生状況 (157)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (26)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (9)
2	8 自然災害の発生状況 (84)	1 犯罪の発生状況 (19)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5)
3	3 交通事故の発生状況 (75)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (14)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (5)
			8 自然災害の発生状況 (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<男性>

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」	76.2	14.6	36.4	11.2	28.2	10.7	21.8	40.8	8.7	13.6	2.9	8.7	3.9	13.6	0.0	1.0
②「どちらともいえない」	34.5	25.5	16.4	20.0	16.4	9.1	14.5	23.6	7.3	12.7	3.6	9.1	16.4	47.3	0.0	5.5
③「あまり感じない・感じない」	19.0	23.8	14.3	23.8	4.8	0.0	0.0	23.8	14.3	9.5	4.8	19.0	19.0	42.9	9.5	9.5

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他	
計																	
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝206人)	602	157	30	75	23	58	22	45	84	18	28	6	18	8	28	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝55人)	144	19	14	9	11	9	5	8	13	4	7	2	5	9	26	0	3
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝21人)	50	4	5	3	5	1	0	0	5	3	2	1	4	4	9	2	2

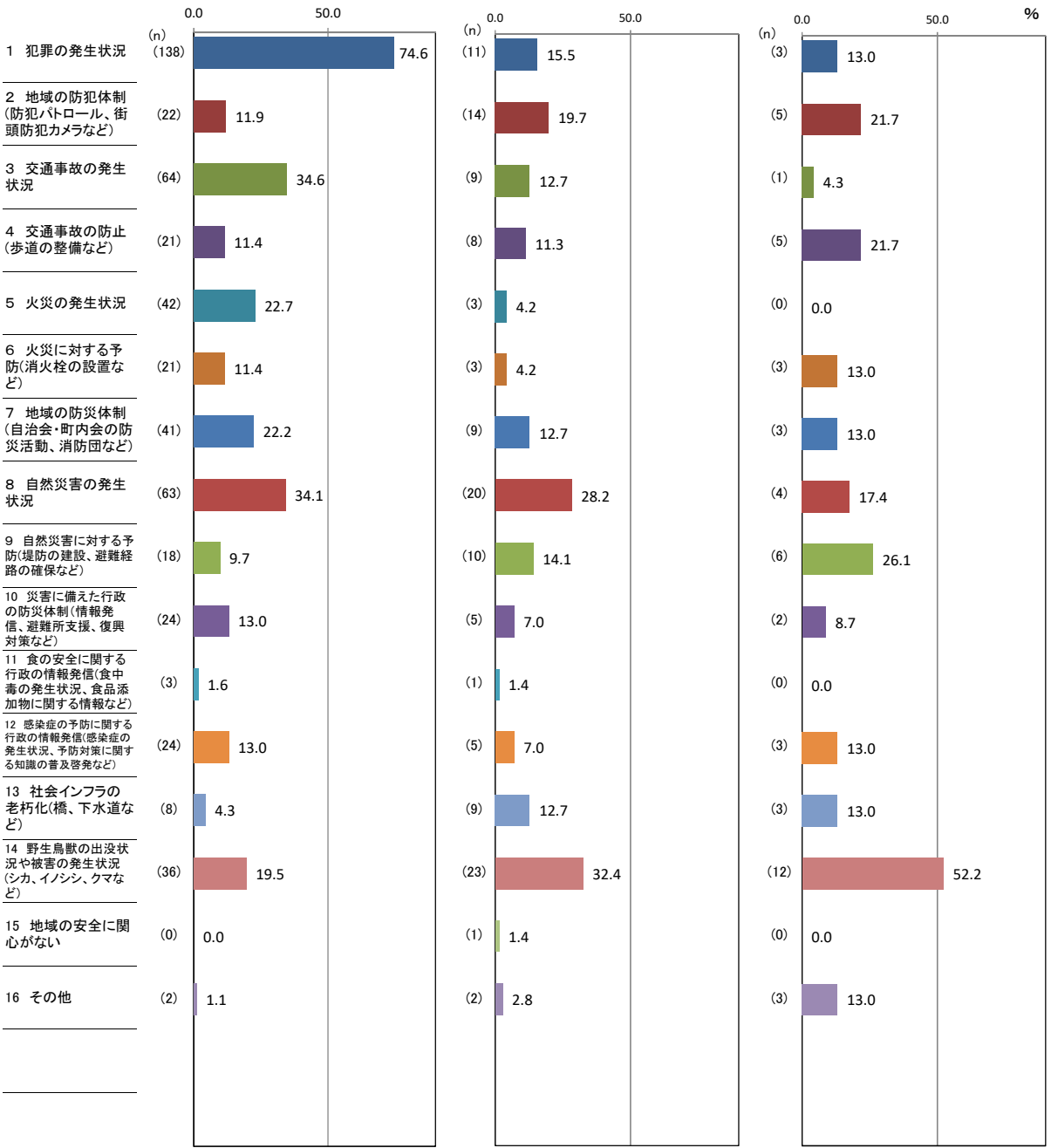
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (527) 185 人	②「どちらともいえない」の回答 (133) 71 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (53) 23 人
1	1 犯罪の発生状況 (138)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (23)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (12)
2	3 交通事故の発生状況 (64)	8 自然災害の発生状況 (20)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6)
3	8 自然災害の発生状況 (63)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (14)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5) 4 交通事故の防止(歩道の整備など) (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<女性>

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」	74.6	11.9	34.6	11.4	22.7	11.4	22.2	34.1	9.7	13.0	1.6	13.0	4.3	19.5	0.0	1.1
②「どちらともいえない」	15.5	19.7	12.7	11.3	4.2	4.2	12.7	28.2	14.1	7.0	1.4	7.0	12.7	32.4	1.4	2.8
③「あまり感じない・感じない」	13.0	21.7	4.3	21.7	0.0	13.0	13.0	17.4	26.1	8.7	0.0	13.0	13.0	52.2	0.0	13.0

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=185人)	527	138	22	64	21	42	21	63	18	24	3	24	8	36	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=71人)	133	11	14	9	3	3	9	20	10	5	1	5	9	23	1	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=23人)	53	3	5	1	5	0	3	4	6	2	0	3	3	12	0	3

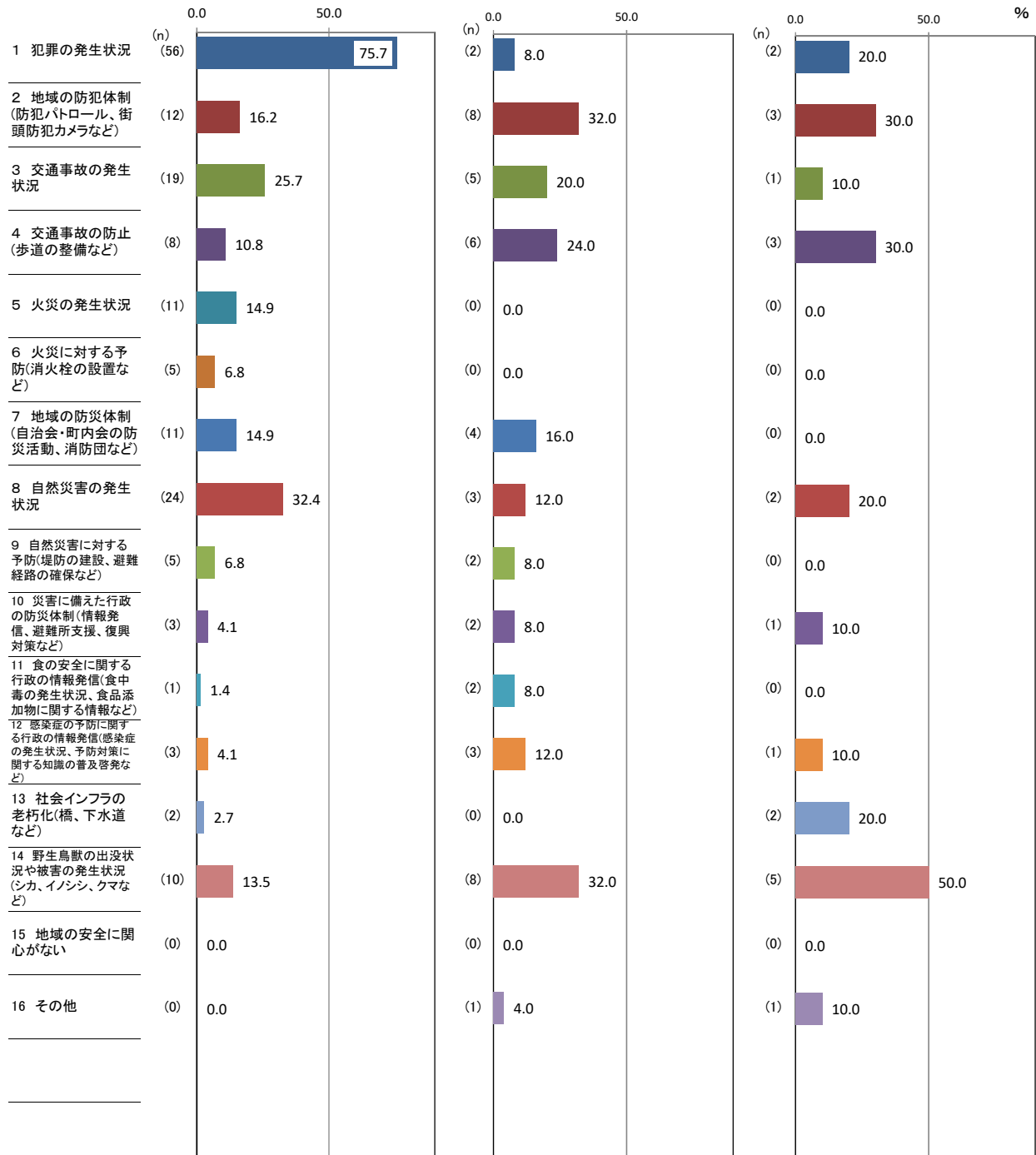
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (170) 74 人	②「どちらともいえない」の回答 (46) 25 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (21) 10 人
1	1 犯罪の発生状況 (56)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (8)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (5)
2	8 自然災害の発生状況 (24)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (8)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (3)
3	3 交通事故の発生状況 (19)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (6)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<40～49歳> (%)

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災体制の整備、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」	75.7	16.2	25.7	10.8	14.9	6.8	14.9	32.4	6.8	4.1	1.4	4.1	2.7	13.5	0.0	0.0
②「どちらともいえない」	8.0	32.0	20.0	24.0	0.0	0.0	16.0	12.0	8.0	8.0	8.0	12.0	0.0	32.0	0.0	4.0
③「あまり感じない・感じない」	20.0	30.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	50.0	0.0	10.0

(件)

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災体制の整備、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=74人)	170	56	12	19	8	11	5	11	24	5	3	1	3	2	10	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=25人)	46	2	8	5	6	0	0	4	3	2	2	2	3	0	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=10人)	21	2	3	1	3	0	0	0	2	0	1	0	1	2	5	1

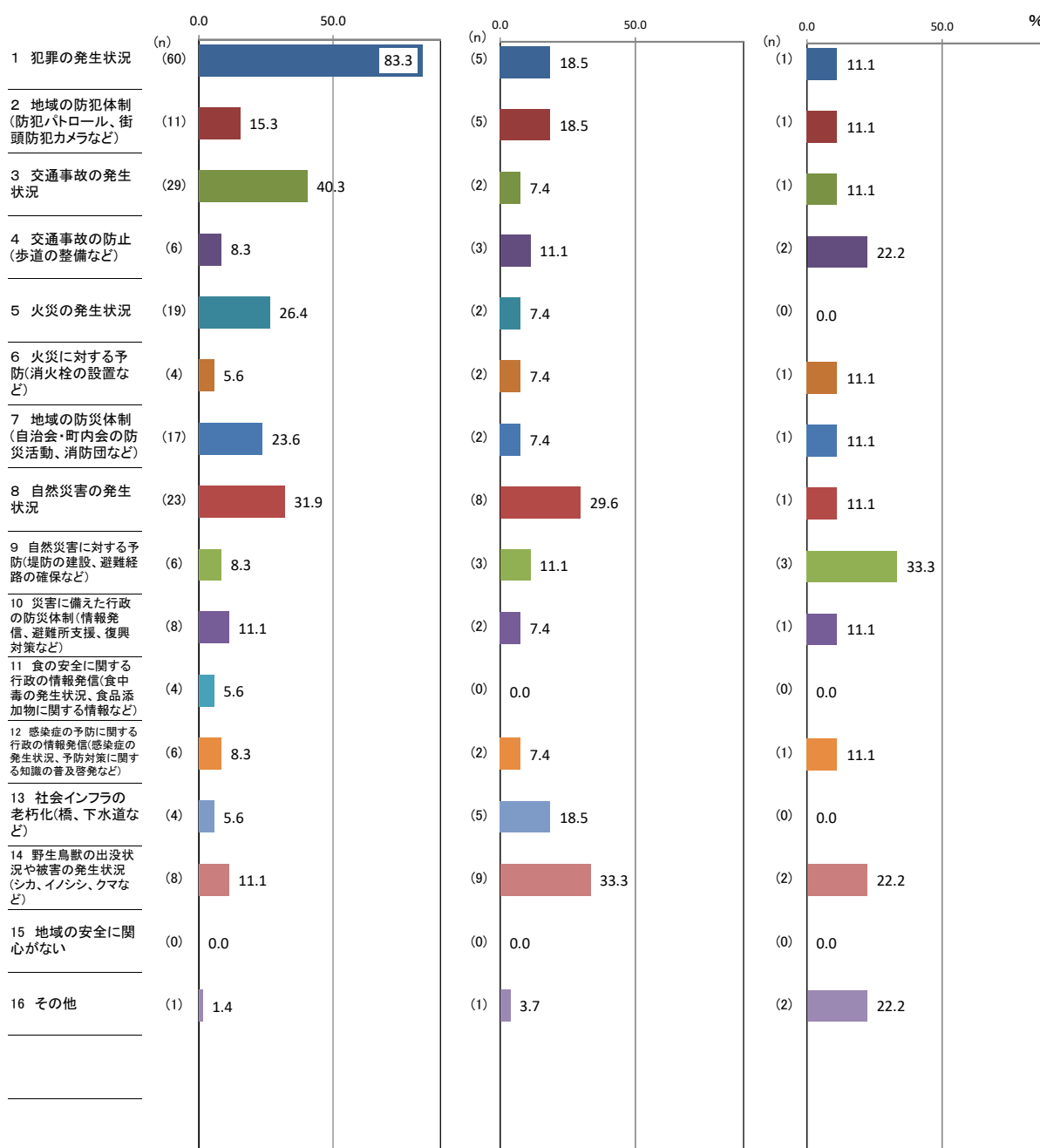
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<50～59歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 72 人 (206)	②「どちらともいえない」の回答 27 人 (51)	③「あまり感じない・感じない」の回答 9 人 (17)
1	1 犯罪の発生状況 (60)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (9)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (3)
2	3 交通事故の発生状況 (29)	8 自然災害の発生状況 (8)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (2)
3	8 自然災害の発生状況 (23)	1 犯罪の発生状況 (5) 3位	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (2) 2位
		2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5) 3位	16 その他 (2) 2位
		13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (5) 3位	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

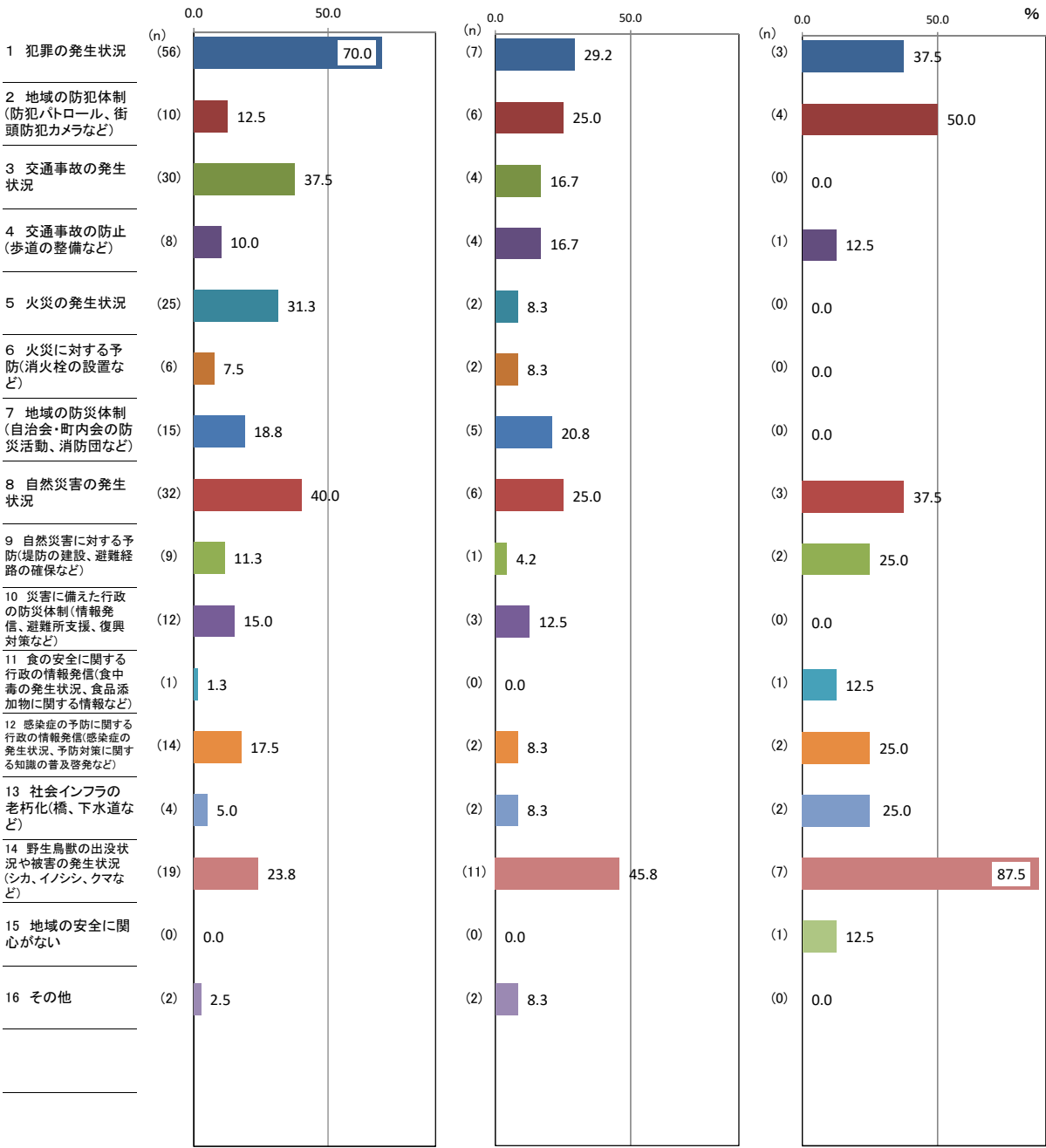
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<60～69歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 80 人 (243)	②「どちらともいえない」の回答 24 人 (57)	③「あまり感じない・感じない」の回答 8 人 (26)
1	1 犯罪の発生状況 (56)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (11)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (7)
2	8 自然災害の発生状況 (32)	1 犯罪の発生状況 (7)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4)
3	3 交通事故の発生状況 (30)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (6)	1 犯罪の発生状況 (3)
3		8 自然災害の発生状況 (6)	8 自然災害の発生状況 (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<60～69歳>

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		70.0	12.5	37.5	10.0	31.3	7.5	18.8	40.0	11.3	15.0	1.3	17.5	5.0	23.8	0.0	2.5
②「どちらともいえない」		29.2	25.0	16.7	16.7	8.3	8.3	20.8	25.0	4.2	12.5	0.0	8.3	8.3	45.8	0.0	8.3
③「あまり感じない・感じない」		37.5	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	0.0	12.5	25.0	25.0	87.5	12.5	0.0

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=80人)	243	56	10	30	8	25	6	15	32	9	12	1	14	4	19	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=24人)	57	7	6	4	4	2	2	5	6	1	3	0	2	2	11	0	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=8人)	26	3	4	0	1	0	0	0	3	2	0	1	2	2	7	1	0

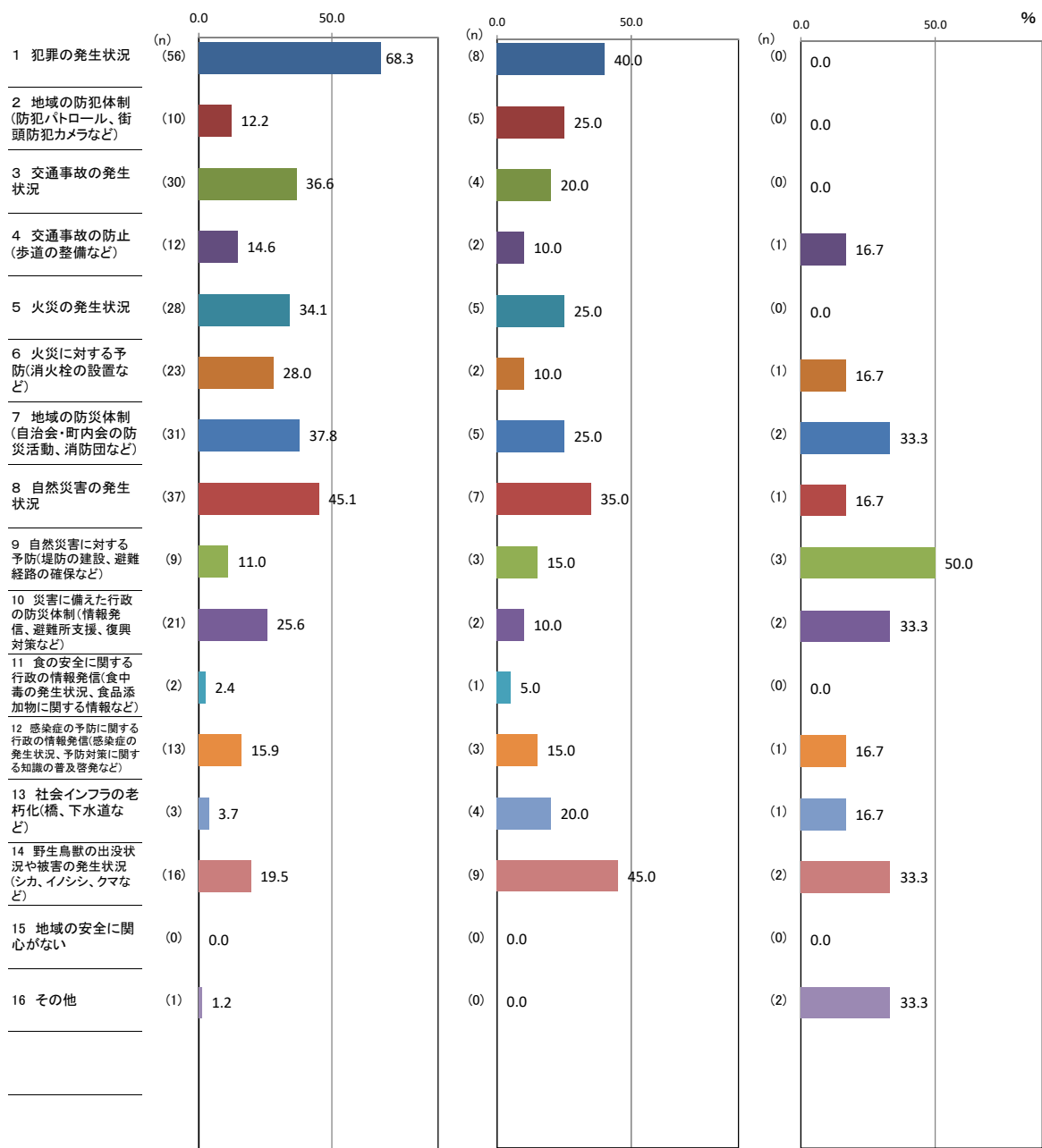
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 82 人 (292)	②「どちらともいえない」の回答 20 人 (60)	③「あまり感じない・感じない」の回答 6 人 (16)
1	1 犯罪の発生状況 (56)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (9)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (3)
2	8 自然災害の発生状況 (37)	1 犯罪の発生状況 (8)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (2)
3	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (31)	8 自然災害の発生状況 (7)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (2)
			14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (2)
			16 その他 (2)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<70歳以上> (%)

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」	68.3	12.2	36.6	14.6	34.1	28.0	37.8	45.1	11.0	25.6	2.4	15.9	3.7	19.5	0.0	1.2
②「どちらともいえない」	40.0	25.0	20.0	10.0	25.0	10.0	25.0	35.0	15.0	10.0	5.0	15.0	20.0	45.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3

(件)

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=82人)	292	56	10	30	12	28	23	31	37	9	21	2	13	3	16	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=20人)	60	8	5	4	2	5	2	5	7	3	2	1	3	4	9	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=6人)	16	0	0	0	1	0	1	2	1	3	2	0	1	1	2	2

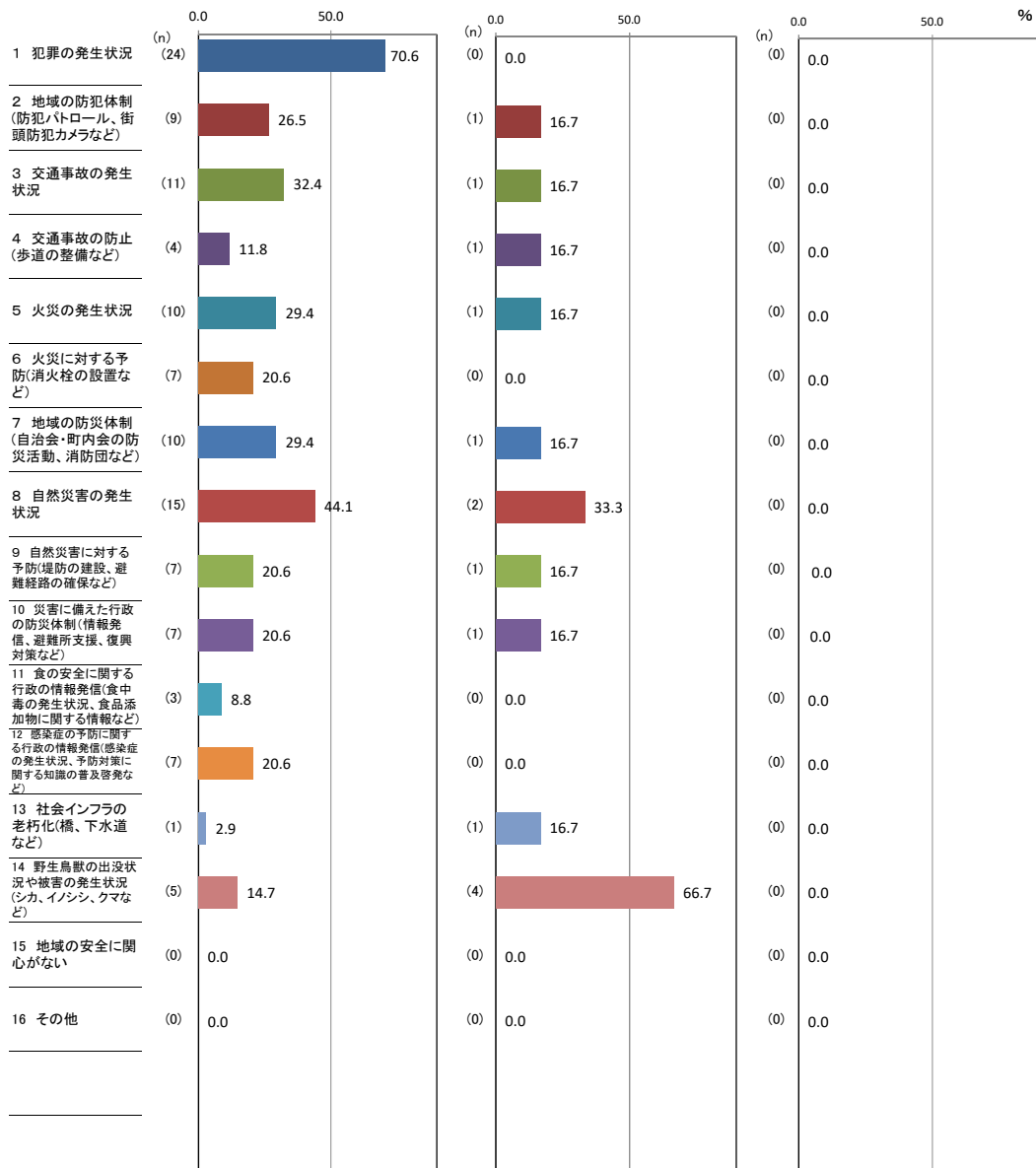
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜自営業主＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (120) 34 人	②「どちらともいえない」の回答 (14) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (0) 0 人
1	1 犯罪の発生状況 (24)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (4)	
2	8 自然災害の発生状況 (15)	8 自然災害の発生状況 (2)	
3	3 交通事故の発生状況 (11)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (1) 3 交通事故の発生状況 (1) 4 交通事故の防止(歩道の整備など) (1) 5 火災の発生状況 (1) 7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (1) 9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1) 10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (1) 13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (1)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<自営業主> (%)

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害に対する予防(防災体制の整備、避難経路の確保など)	9 自然災害に対する予防(防災体制の整備、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」	70.6	26.5	32.4	11.8	29.4	20.6	29.4	44.1	20.6	20.6	8.8	20.6	2.9	14.7	0.0	0.0
②「どちらともいえない」	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(件)

区分	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害に対する予防(防災体制の整備、避難経路の確保など)	9 自然災害に対する予防(防災体制の整備、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
計																
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=34人)	120	24	9	11	4	10	7	10	15	7	7	3	7	1	5	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=6人)	14	0	1	1	1	1	0	1	2	1	1	0	0	1	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=0人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

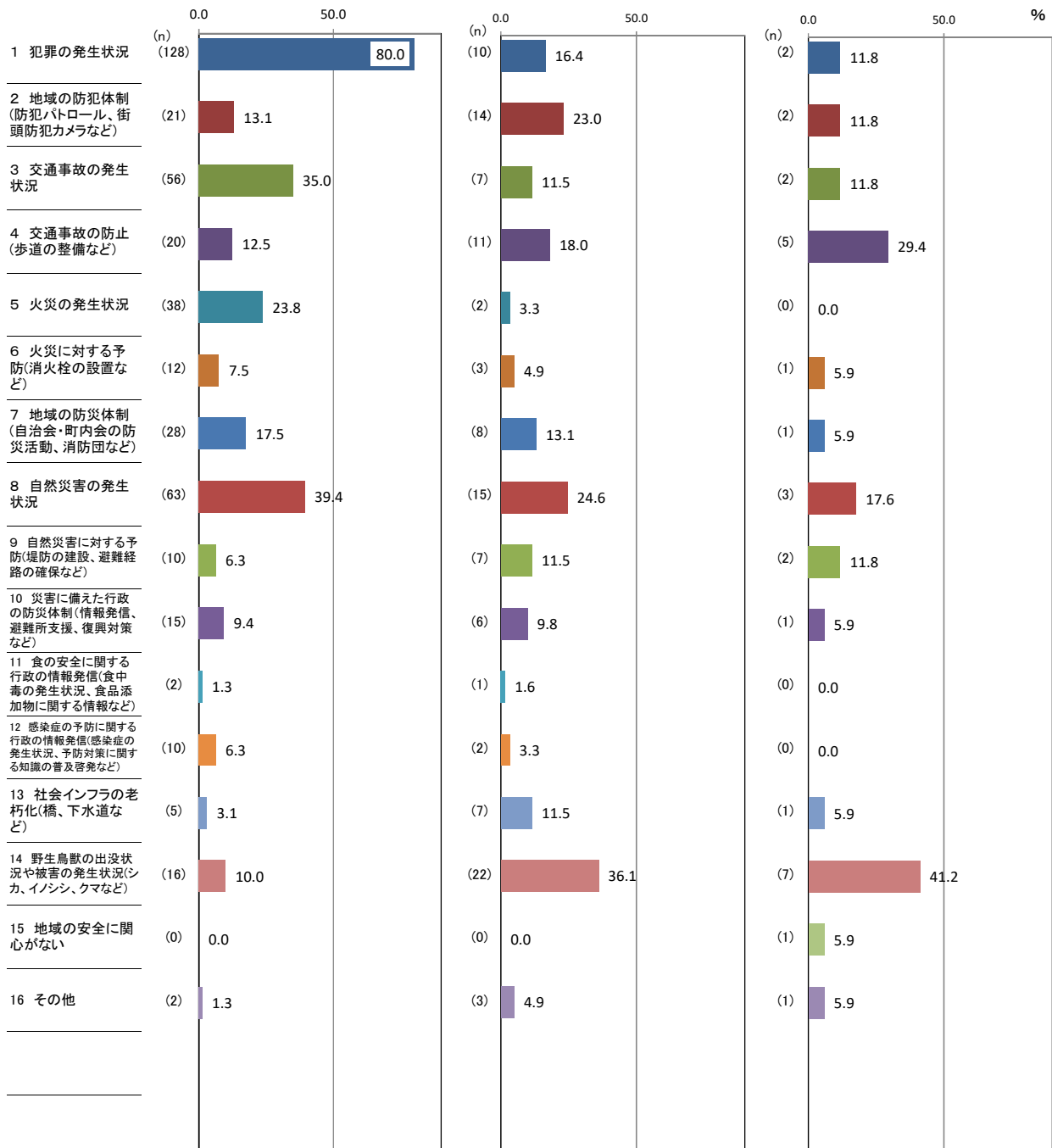
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (426) 160 人	②「どちらともいえない」の回答 (118) 61 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (29) 17 人
1	1 犯罪の発生状況 (128)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (22)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (7)
2	8 自然災害の発生状況 (63)	8 自然災害の発生状況 (15)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (5)
3	3 交通事故の発生状況 (56)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (14)	8 自然災害の発生状況 (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜常用雇用者＞		(%)															
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会、町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災体制の確保、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		80.0	13.1	35.0	12.5	23.8	7.5	17.5	39.4	6.3	9.4	1.3	6.3	3.1	10.0	0.0	1.3
②「どちらともいえない」		16.4	23.0	11.5	18.0	3.3	4.9	13.1	24.6	11.5	9.8	1.6	3.3	11.5	36.1	0.0	4.9
③「あまり感じない・感じない」		11.8	11.8	11.8	29.4	0.0	5.9	5.9	17.6	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9	41.2	5.9	5.9

区分	計																	(件)
	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会、町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災体制の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他		
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=160人)	426	128	21	56	20	38	12	28	63	10	15	2	2	10	5	16	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=61人)	118	10	14	7	11	2	3	8	15	7	6	1	1	2	7	22	0	3
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=17人)	29	2	2	2	5	0	1	1	3	2	1	0	0	0	1	7	1	1

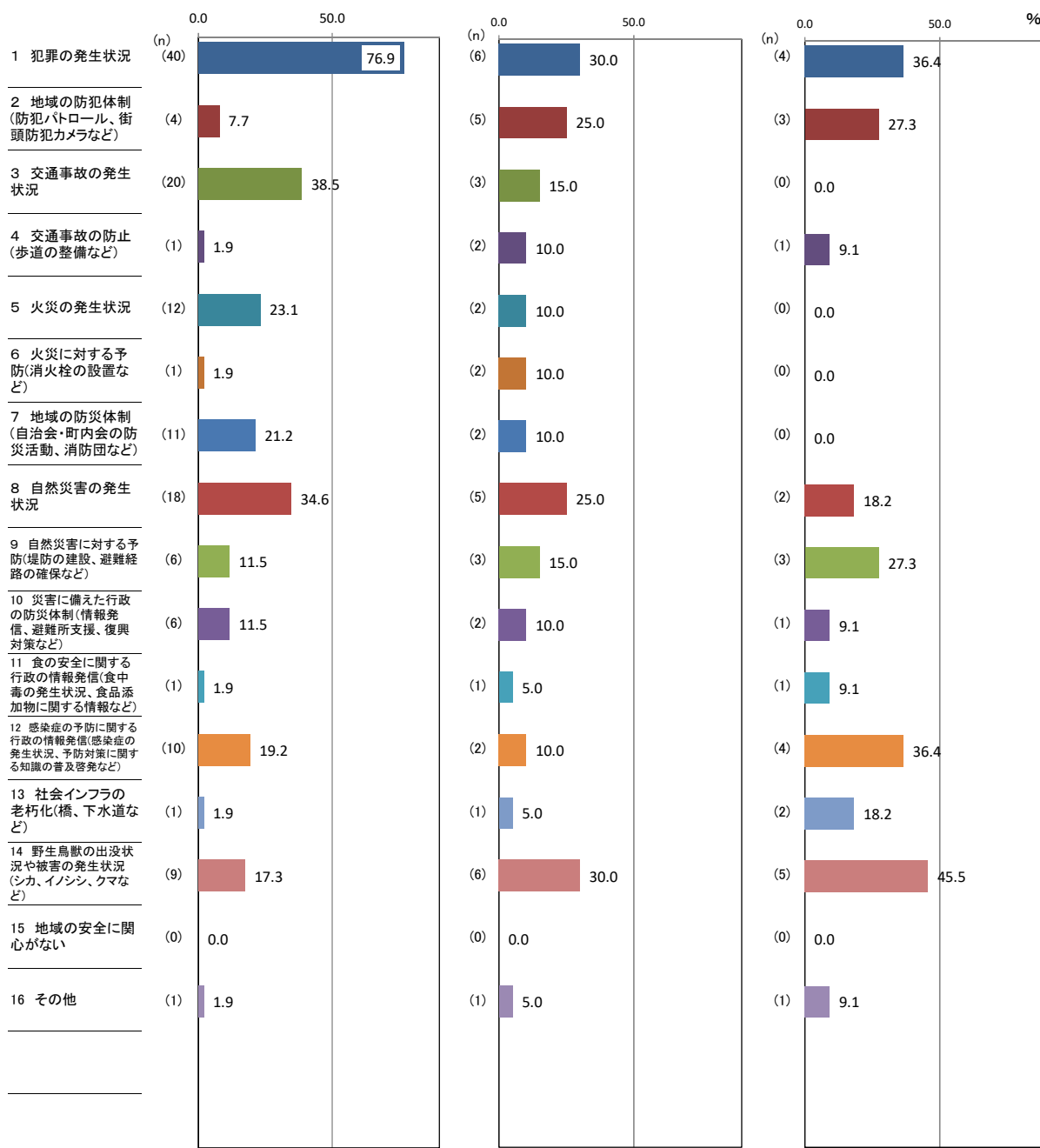
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (141) 52 人	②「どちらともいえない」の回答 (43) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (27) 11 人
1	1 犯罪の発生状況 (40)	1 犯罪の発生状況 (6) 1位	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (5)
2	3 交通事故の発生状況 (20)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (6)	1 犯罪の発生状況 (4)
3	8 自然災害の発生状況 (18)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5) 3位 8 自然災害の発生状況 (5)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (4) 2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜臨時雇用者＞		(%)															
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		76.9	7.7	38.5	1.9	23.1	1.9	21.2	34.6	11.5	11.5	1.9	19.2	1.9	17.3	0.0	1.9
②「どちらともいえない」		30.0	25.0	15.0	10.0	10.0	10.0	10.0	25.0	15.0	10.0	5.0	10.0	5.0	30.0	0.0	5.0
③「あまり感じない・感じない」		36.4	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	27.3	9.1	9.1	36.4	18.2	45.5	0.0	9.1

区分	計																	(件)
	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他		
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=52人)	141	40	4	20	1	12	1	11	18	6	6	1	1	10	1	9	0	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=20人)	43	6	5	3	2	2	2	2	5	3	2	1	1	2	1	6	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=11人)	27	4	3	0	1	0	0	0	2	3	1	1	1	4	2	5	0	1

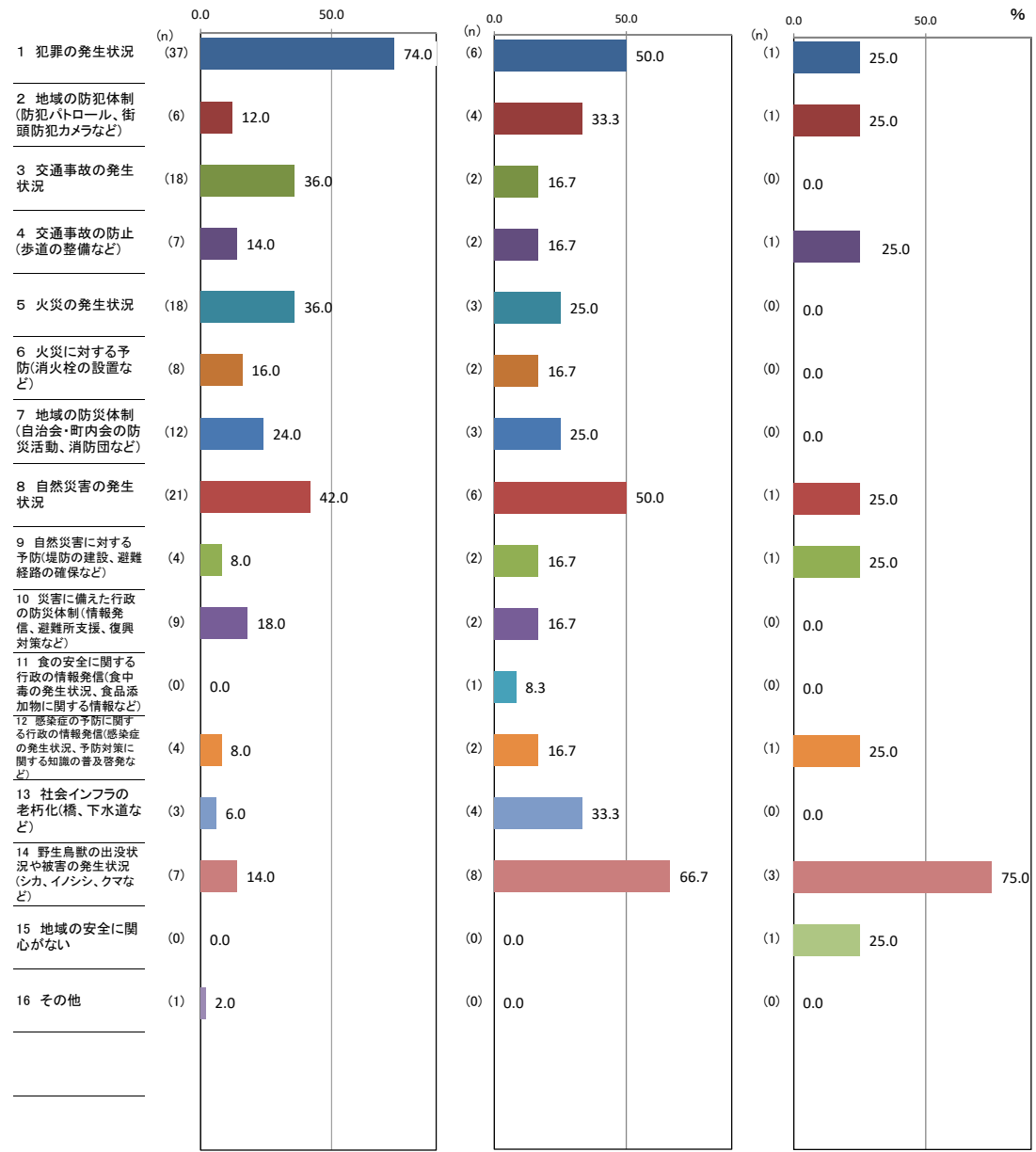
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<60歳以上の無職>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 50人(155)	②「どちらともいえない」の回答 12人(47)	③「あまり感じない・感じない」の回答 4人(10)
1	1 犯罪の発生状況 (37)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (8)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (3)
2	8 自然災害の発生状況 (21)	1 犯罪の発生状況 (6)	1 犯罪の発生状況 (1)
3	3 交通事故の発生状況 (18) 5 火災の発生状況 (18)	8 自然災害の発生状況 (6)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (1) 4 交通事故の防止(歩道の整備など) (1) 8 自然災害の発生状況 (1) 9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1) 12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (1) 15 地域の安全に関心がない (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜60歳以上の無職＞		(%)															
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会、町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		74.0	12.0	36.0	14.0	36.0	16.0	24.0	42.0	8.0	18.0	0.0	8.0	6.0	14.0	0.0	2.0
②「どちらともいえない」																	
③「あまり感じない・感じない」		50.0	33.3	16.7	16.7	25.0	16.7	25.0	50.0	16.7	16.7	8.3	16.7	33.3	66.7	0.0	0.0
		25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0

区分	計	(件)																
		1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他	
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=50人)	155	37	6	18	7		18	8	12	21	4	9	0	4	3	7	0	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=12人)	47	6	4	2	2		3	2	3	6	2	2	1	2	4	8	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=4人)	10	1	1	0	1		0	0	0	1	1	0	0	1	0	3	1	0

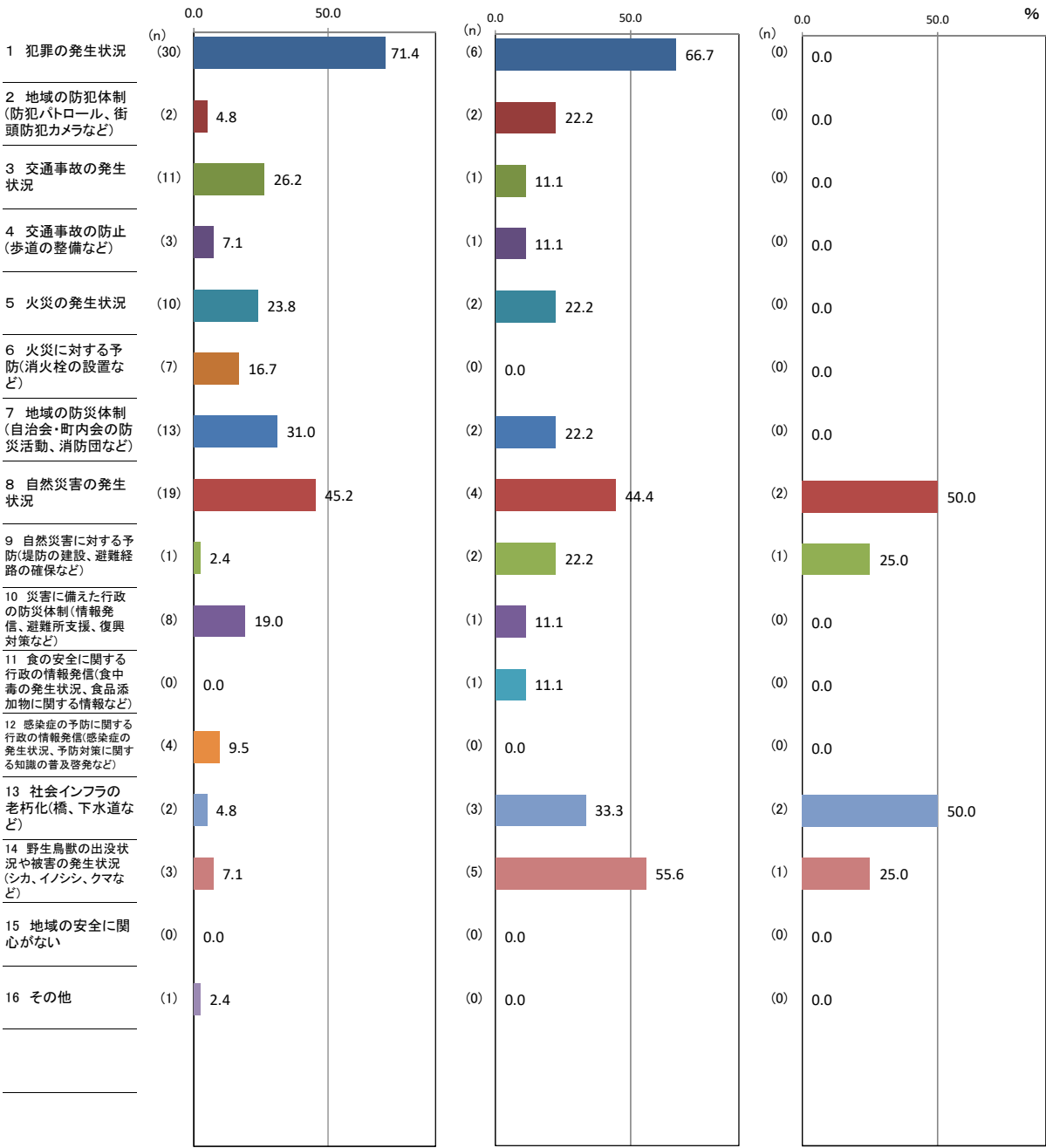
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<ひとり暮らし>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (114) 42 人	②「どちらともいえない」の回答 (30) 9 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (6) 4 人
1	1 犯罪の発生状況 (30)	1 犯罪の発生状況 (6)	8 自然災害の発生状況 (2)
2	8 自然災害の発生状況 (19)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (5)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (2)
3	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (13)	8 自然災害の発生状況 (4)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1)
			14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

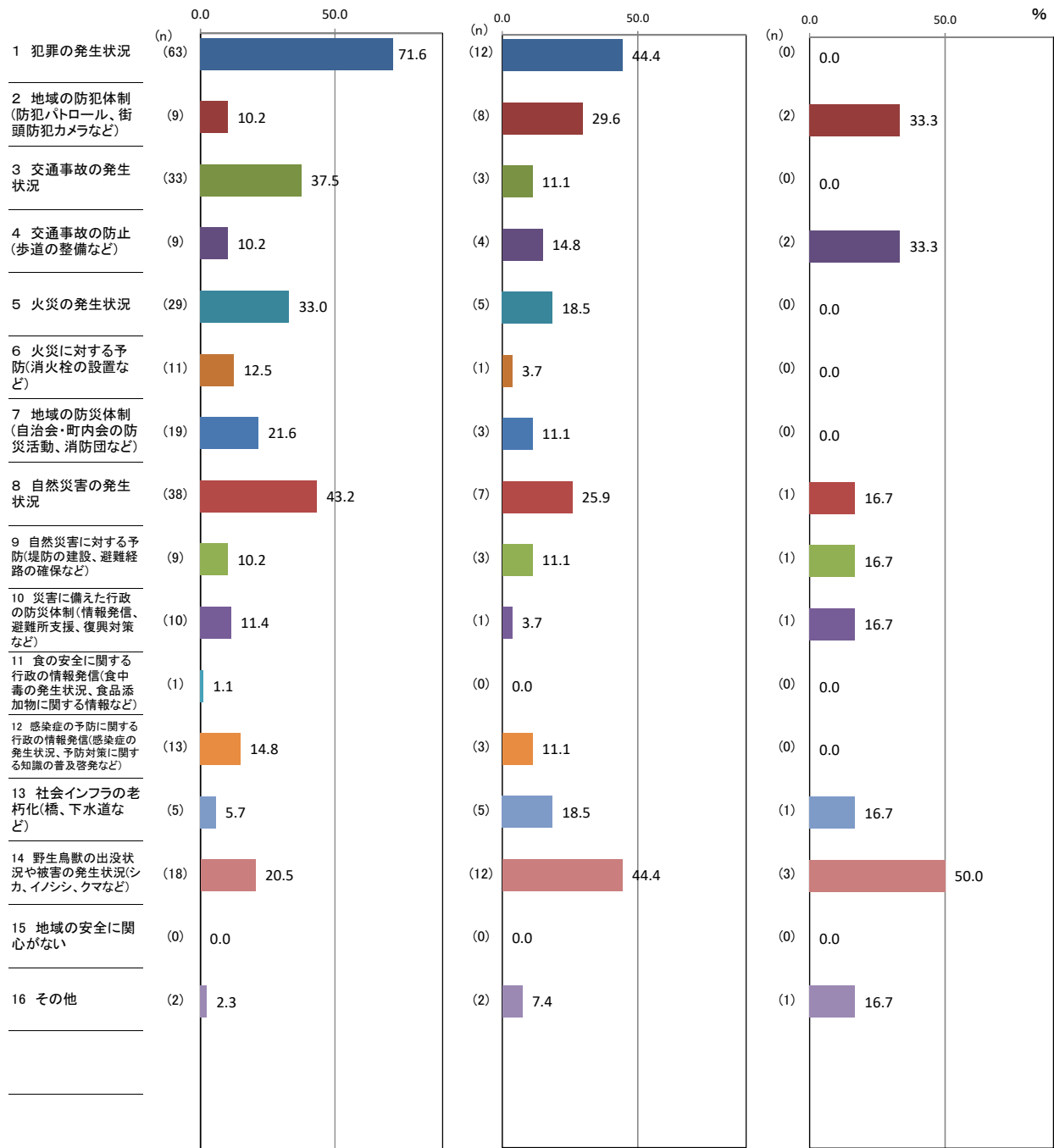
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (269) 88 人	②「どちらともいえない」の回答 (69) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (12) 6 人
1	1 犯罪の発生状況 (63)	1 犯罪の発生状況 (12)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (3)
2	8 自然災害の発生状況 (38)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (12)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (2)
3	3 交通事故の発生状況 (33)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (8)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (2)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<夫婦のみ>

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		71.6	10.2	37.5	10.2	33.0	12.5	21.6	43.2	10.2	11.4	1.1	14.8	5.7	20.5	0.0	2.3
②「どちらともいえない」		44.4	29.6	11.1	14.8	18.5	3.7	11.1	25.9	11.1	3.7	0.0	11.1	18.5	44.4	0.0	7.4
③「あまり感じない・感じない」		0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	16.7

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=88人)	269	63	9	33	9	29	11	19	38	9	10	1	13	5	18	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=27人)	69	12	8	3	4	5	1	3	7	3	1	0	3	5	12	0	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=6人)	12	0	2	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0	1	3	0	1

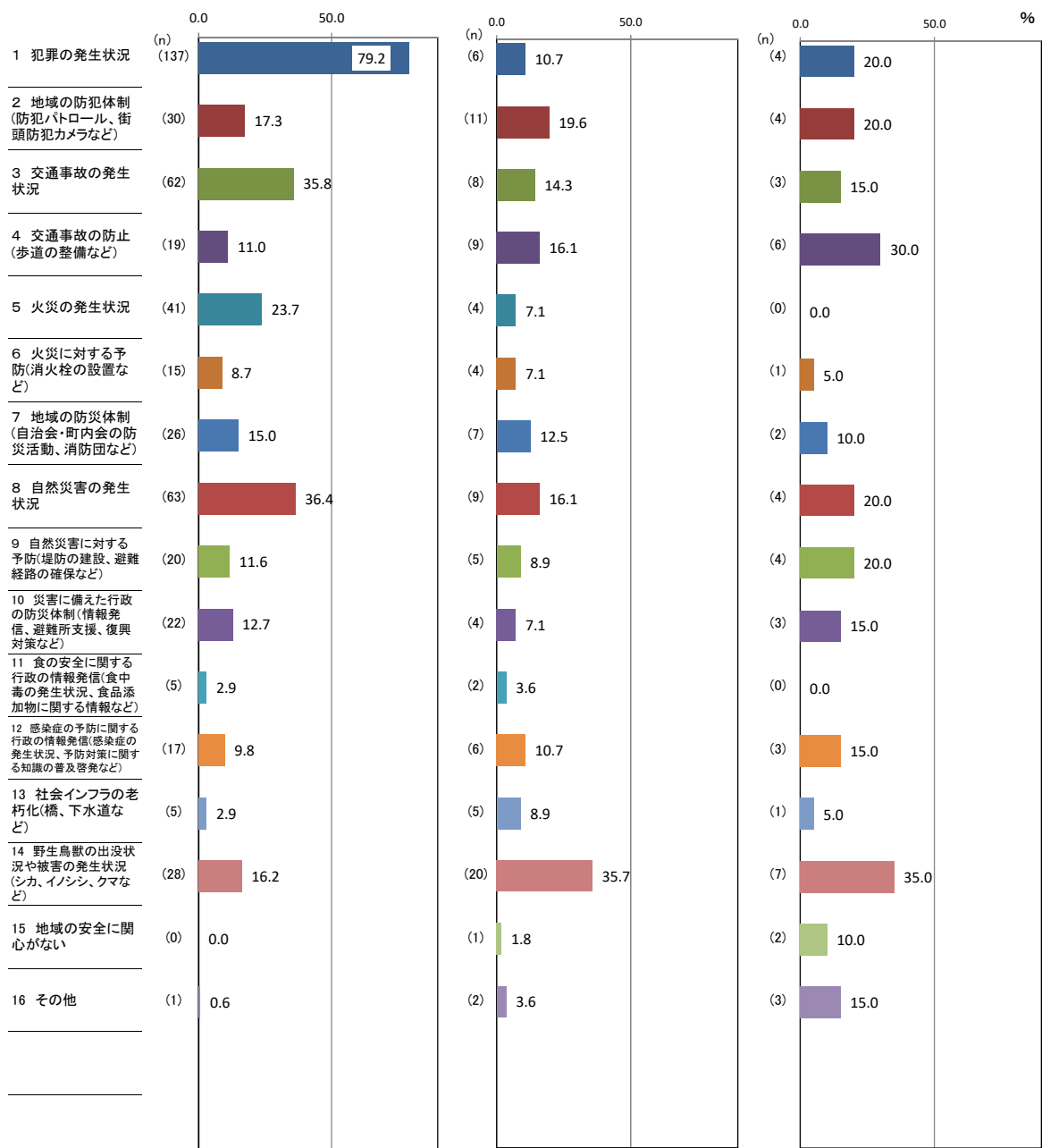
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 173 人 (491)	②「どちらともいえない」の回答 56 人 (103)	③「あまり感じない・感じない」の回答 20 人 (47)
1	1 犯罪の発生状況 (137)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (20)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (7)
2	8 自然災害の発生状況 (63)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (11)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (6)
3	3 交通事故の発生状況 (62)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (9) 8 自然災害の発生状況 (9)	1 犯罪の発生状況 (4) 2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4) 8 自然災害の発生状況 (4) 9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

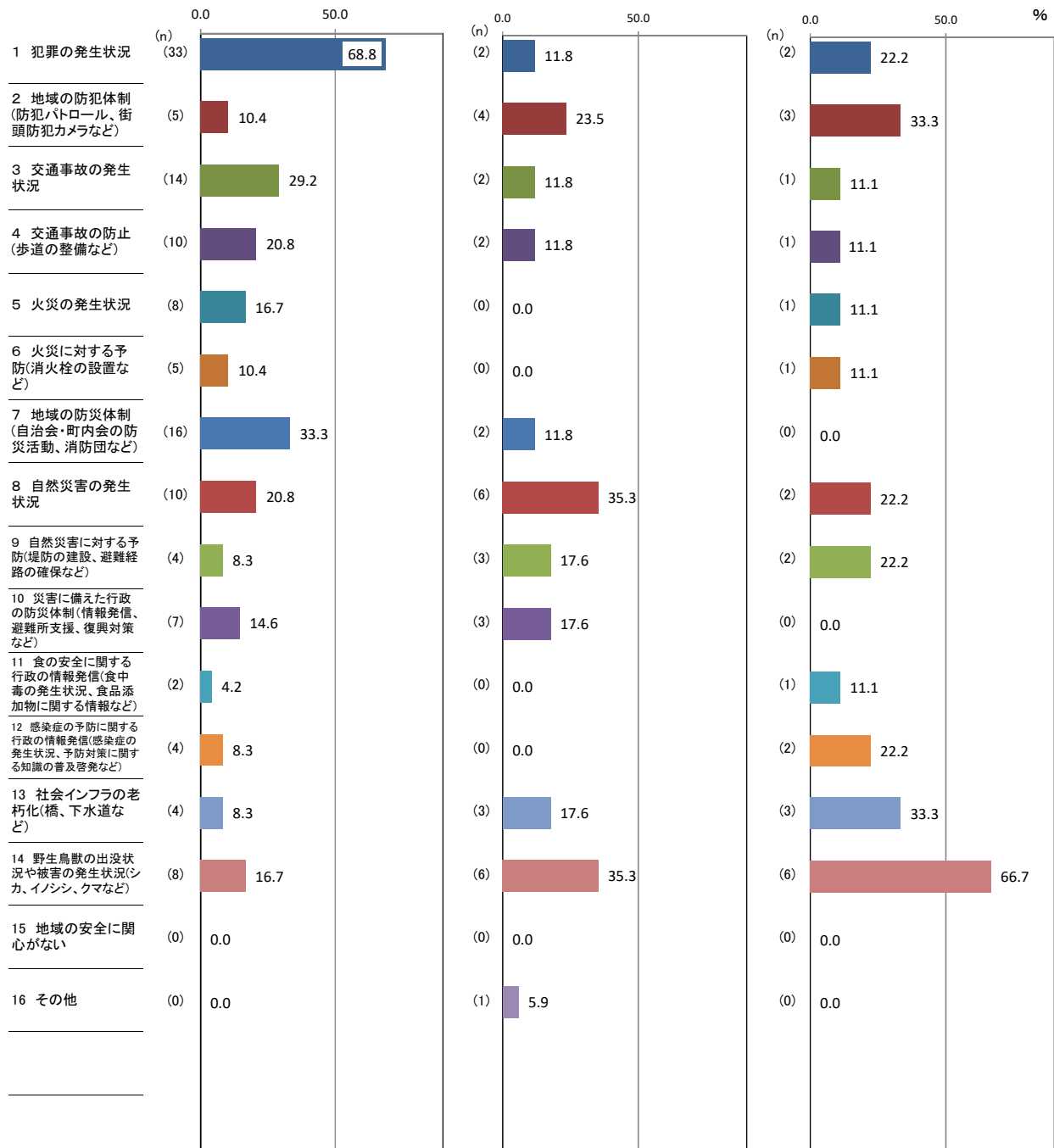
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (130) 48 人	②「どちらともいえない」の回答 (34) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 9 人
1	1 犯罪の発生状況 (33)	8 自然災害の発生状況 (6)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (6)
2	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (16)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (6) 1位	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (3)
3	3 交通事故の発生状況 (14)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (3) 2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<3世代世帯>

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		68.8	10.4	29.2	20.8	16.7	10.4	33.3	20.8	8.3	14.6	4.2	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		11.8	23.5	11.8	11.8	0.0	0.0	11.8	35.3	17.6	17.6	0.0	0.0	17.6	35.3	0.0	5.9
③「あまり感じない・感じない」		22.2	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2	33.3	66.7	0.0	0.0

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=48人)	130	33	5	14	10	8	5	16	10	4	7	2	4	4	8	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=17人)	34	2	4	2	2	0	0	2	6	3	3	0	0	3	6	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=9人)	25	2	3	1	1	1	1	0	2	2	0	1	2	3	6	0	0

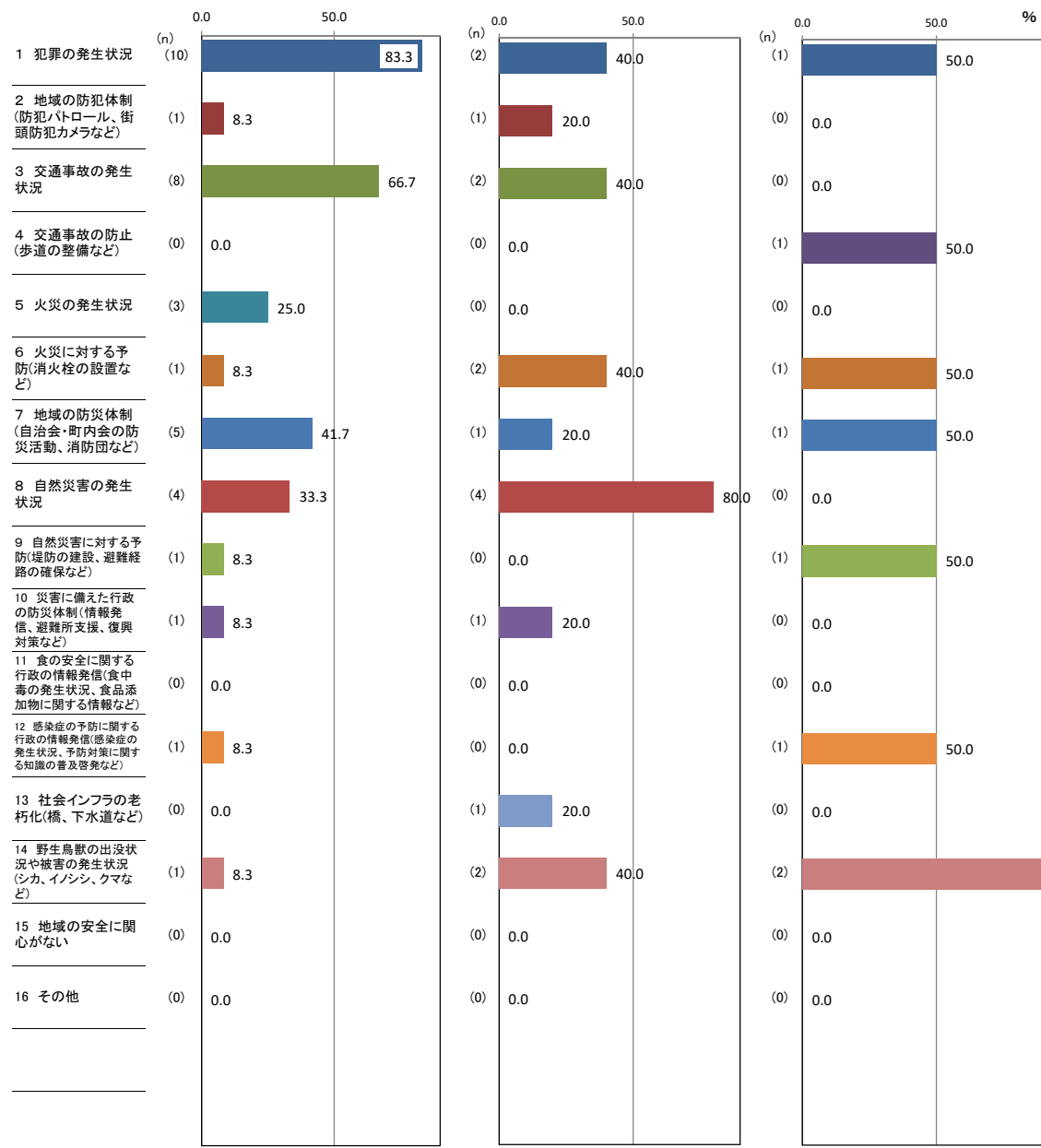
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 12人 (36)	②「どちらともいえない」の回答 5人 (16)	③「あまり感じない・感じない」の回答 2人 (8)
1	1 犯罪の発生状況 (10)	8 自然災害の発生状況 (4)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (2)
2	3 交通事故の発生状況 (8)	1 犯罪の発生状況 (2)	1 犯罪の発生状況 (1)
3	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (5)	3 交通事故の発生状況 (2)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (1)
		6 火災に対する予防(消火栓の設置など) (2)	6 火災に対する予防(消火栓の設置など) (1)
		14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (2)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (1)
			9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1)
			12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜その他世帯＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会、町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食料品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		83.3	8.3	66.7	0.0	25.0	8.3	41.7	33.3	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(件)

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会、町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食料品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=12人)	36	10	1	8	0	3	1	5	4	1	1	0	0	1	0	1	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=5人)	16	2	1	2	0	0	2	1	4	0	1	0	0	0	1	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=2人)	8	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	2	0

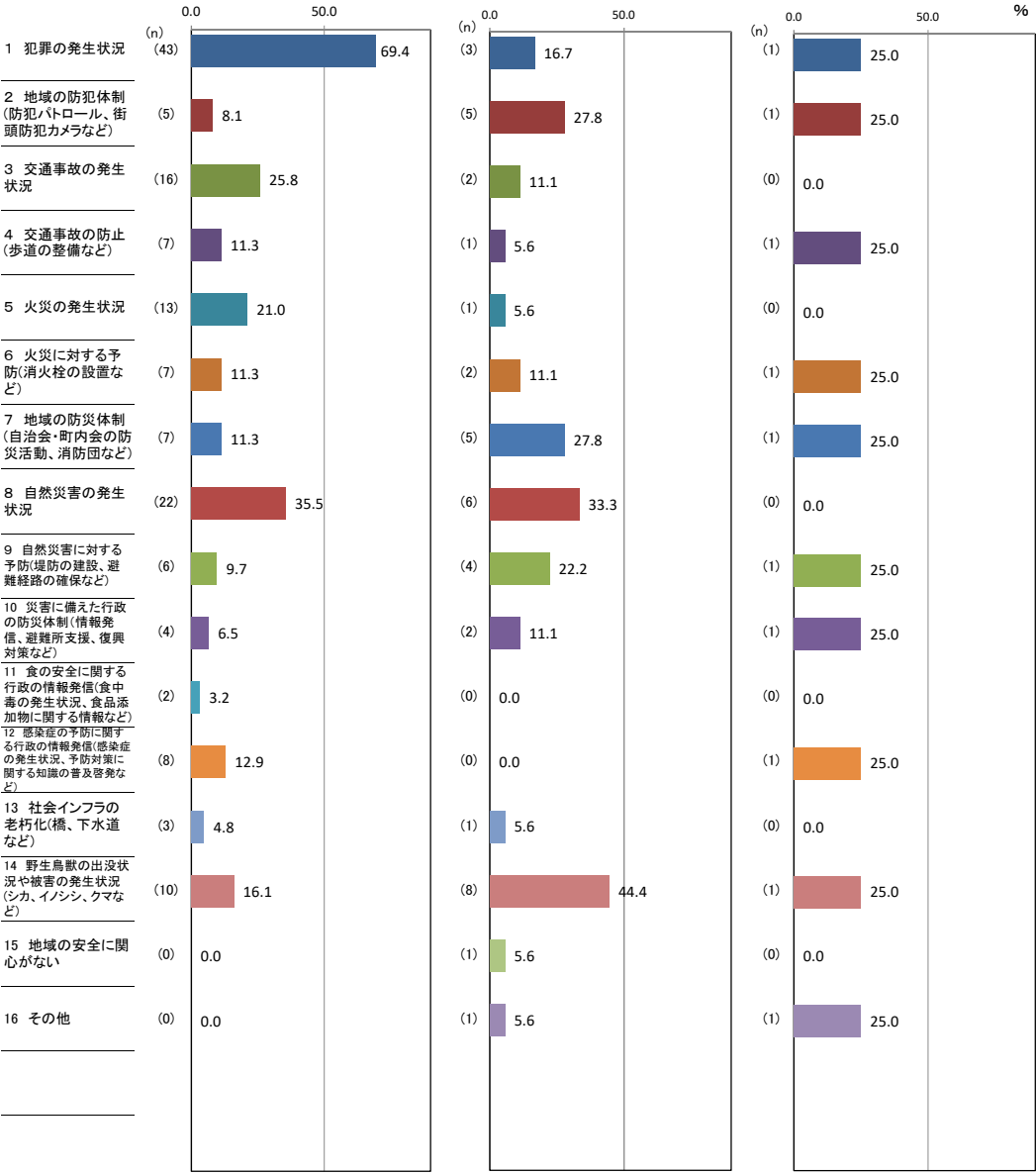
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<子どもの数1人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (153)		②「どちらともいえない」の回答 (42)		③「あまり感じない・感じない」の回答 (10)	
	62 人		18 人		4 人	
1	1 犯罪の発生状況 (43)		14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (8)		1 犯罪の発生状況 (1)	
2	8 自然災害の発生状況 (22)		8 自然災害の発生状況 (6)		2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (1)	1位
3	3 交通事故の発生状況 (16)		2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5)	3位	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (1)	1位
			7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (5)		6 火災に対する予防(消火栓の設置など) (1)	1位
					7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (1)	1位
					9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1)	1位
					10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (1)	1位
					12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (1)	1位
					14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (1)	1位
					16 その他 (1)	1位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもの数1人＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(防犯ハットロール、防犯活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		69.4	8.1	25.8	11.3	21.0	11.3	11.3	35.5	9.7	6.5	3.2	12.9	4.8	16.1	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		16.7	27.8	11.1	5.6	5.6	11.1	27.8	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	5.6	44.4	5.6	5.6
③「あまり感じない・感じない」		25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(防犯ハットロール、防犯活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=62人)	153	43	5	16	7	13	7	7	22	6	4	2	8	3	10	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=18人)	42	3	5	2	1	1	2	5	6	4	2	0	0	1	8	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=4人)	10	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1

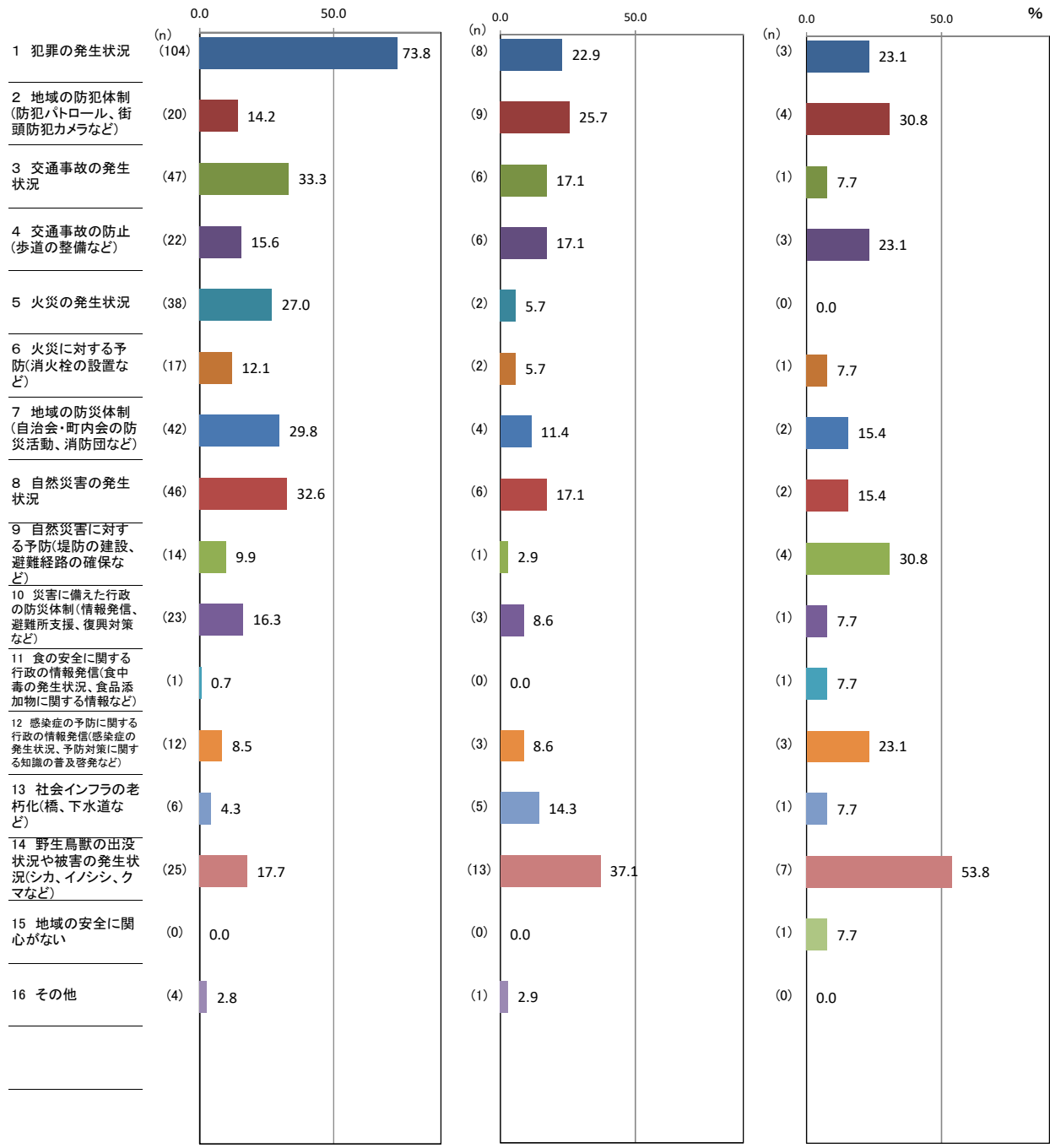
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<子どもの数2人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (421) 141 人	②「どちらともいえない」の回答 (69) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (34) 13 人
1	1 犯罪の発生状況 (104)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (13)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (7)
2	3 交通事故の発生状況 (47)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (9)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4)
3	8 自然災害の発生状況 (46)	1 犯罪の発生状況 (8)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
(7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもの数2人＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		73.8	14.2	33.3	15.6	27.0	12.1	29.8	32.6	9.9	16.3	0.7	8.5	4.3	17.7	0.0	2.8
②「どちらともいえない」		22.9	25.7	17.1	17.1	5.7	5.7	11.4	17.1	2.9	8.6	0.0	8.6	14.3	37.1	0.0	2.9
③「あまり感じない・感じない」		23.1	30.8	7.7	23.1	0.0	7.7	15.4	15.4	30.8	7.7	7.7	23.1	7.7	53.8	7.7	0.0

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=141人)	421	104	20	47	22	38	17	42	46	14	23	1	12	6	25	0	4
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=35人)	69	8	9	6	6	2	2	4	6	1	3	0	3	5	13	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=13人)	34	3	4	1	3	0	1	2	2	4	1	1	3	1	7	1	0

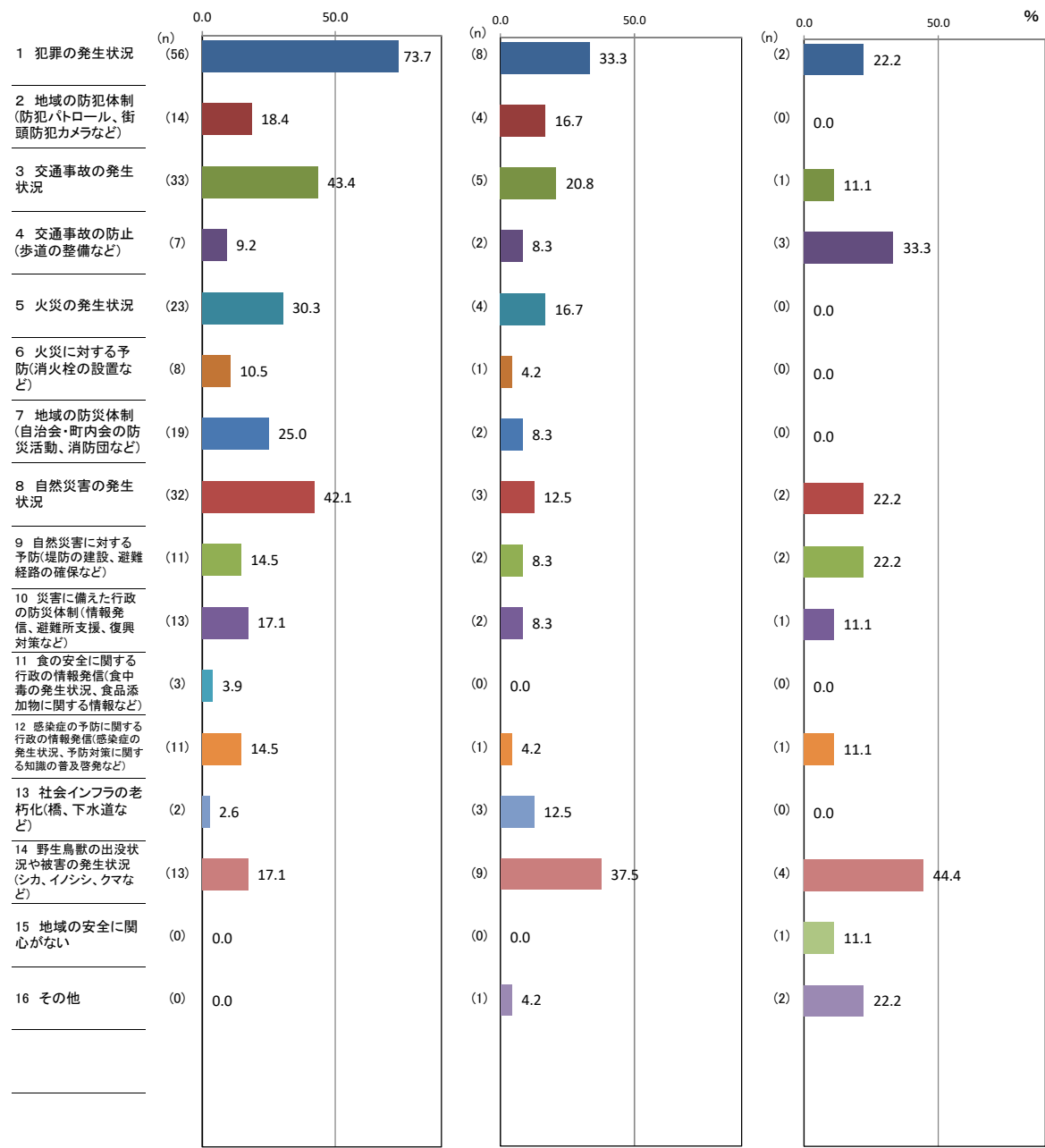
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<子どもの数3人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 76 人 (245)	②「どちらともいえない」の回答 24 人 (47)	③「あまり感じない・感じない」の回答 9 人 (19)
1	1 犯罪の発生状況 (56)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (9)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (4)
2	3 交通事故の発生状況 (33)	1 犯罪の発生状況 (8)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (3)
3	8 自然災害の発生状況 (32)	3 交通事故の発生状況 (5)	1 犯罪の発生状況 (2)
			8 自然災害の発生状況 (2)
			9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (2)
			16 その他 (2)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数3人>

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災体制の整備、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		73.7	18.4	43.4	9.2	30.3	10.5	25.0	42.1	14.5	17.1	3.9	14.5	2.6	17.1	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	16.7	20.8	8.3	16.7	4.2	8.3	12.5	8.3	8.3	0.0	4.2	12.5	37.5	0.0	4.2
③「あまり感じない・感じない」		22.2	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	44.4	11.1	22.2

(件)

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災体制の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=76人)	245	56	14	33	7	23	8	19	32	11	13	3	11	2	13	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=24人)	47	8	4	5	2	4	1	2	3	2	2	0	1	3	9	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=9人)	19	2	0	1	3	0	0	0	2	2	1	0	1	0	4	1	2

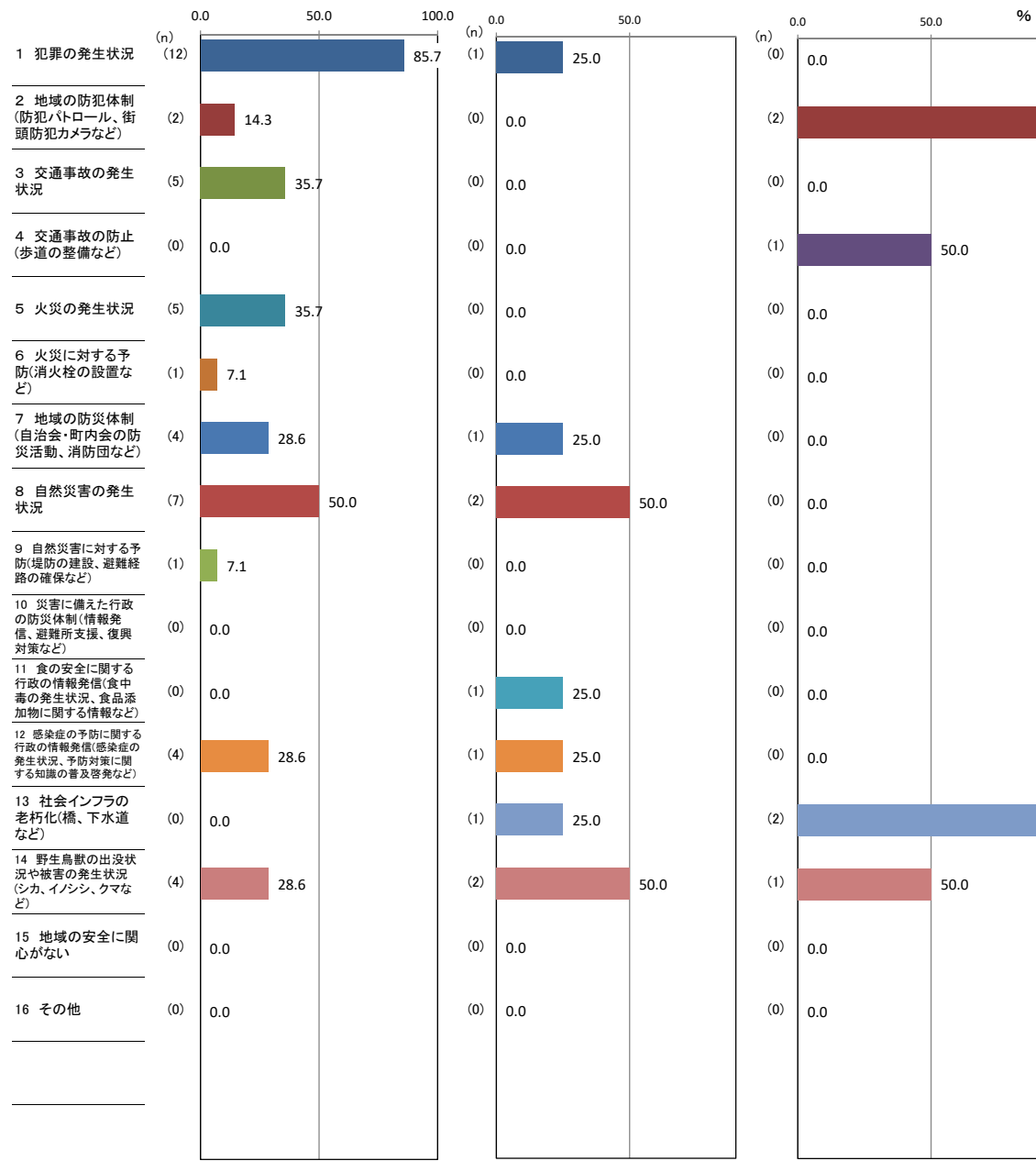
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<子どもの数4人以上>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (45) 14 人	②「どちらともいえない」の回答 (9) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (6) 2 人
1	1 犯罪の発生状況 (12)	8 自然災害の発生状況 (2)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (2)
2	8 自然災害の発生状況 (7)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (2)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (2)
3	3 交通事故の発生状況 (5) 5 火災の発生状況 (5)	1 犯罪の発生状況 (1) 7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (1) 11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など) (1) 12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (1) 13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (1)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (1) 14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもの数4人以上>

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		85.7	14.3	35.7	0.0	35.7	7.1	28.6	50.0	7.1	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=14人)	45	12	2	5	0	5	1	4	7	1	0	0	0	4	0	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=4人)	9	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	1	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=2人)	6	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

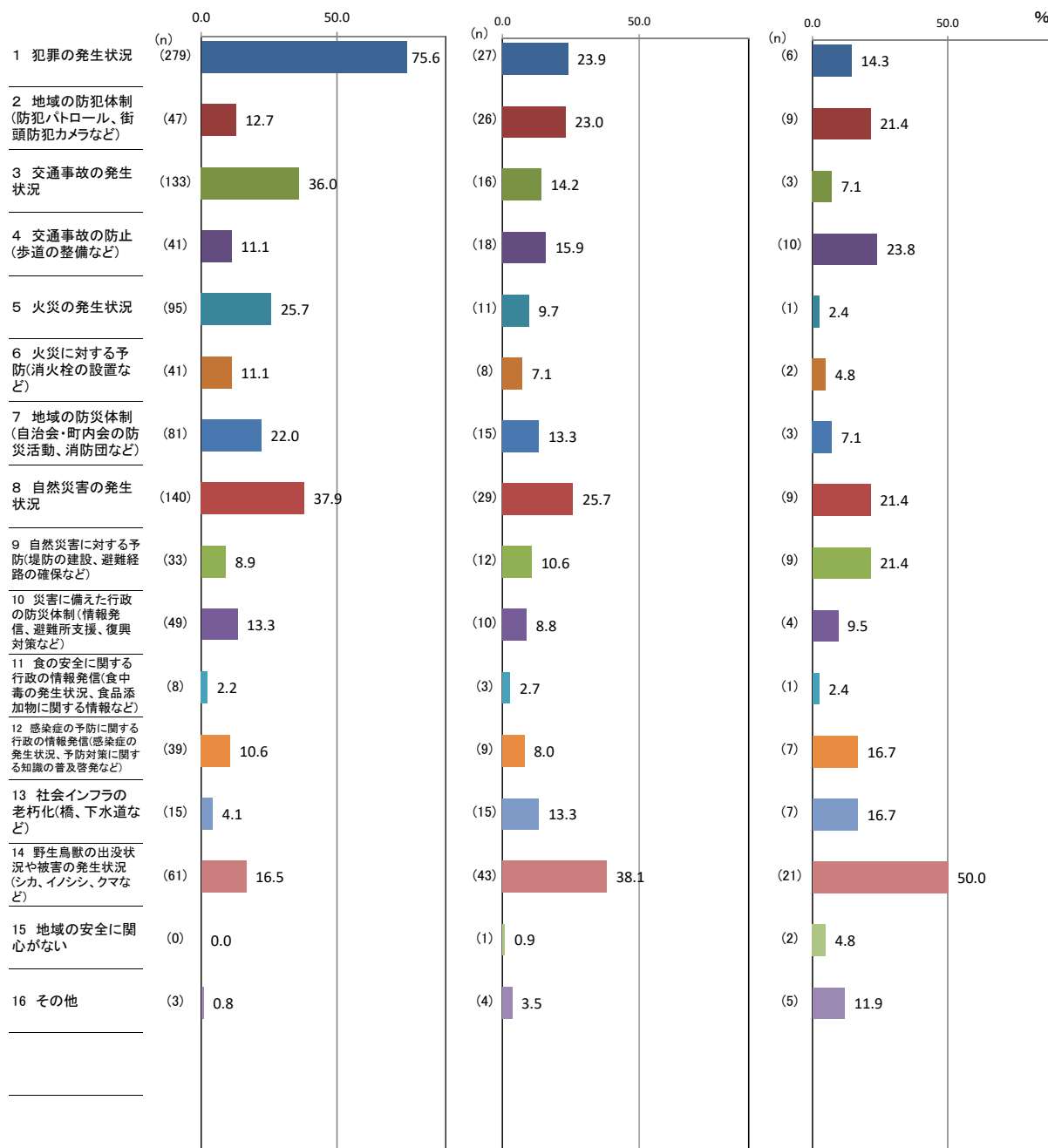
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 369 人 (1,065)	②「どちらともいえない」の回答 113 人 (247)	③「あまり感じない・感じない」の回答 42 人 (99)
1	1 犯罪の発生状況 (279)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (43)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (21)
2	8 自然災害の発生状況 (140)	8 自然災害の発生状況 (29)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (10)
3	3 交通事故の発生状況 (133)	1 犯罪の発生状況 (27)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (9) 8 自然災害の発生状況 (9) 9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<居住年数20年以上>

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		75.6	12.7	36.0	11.1	25.7	11.1	22.0	37.9	8.9	13.3	2.2	10.6	4.1	16.5	0.0	0.8
②「どちらともいえない」		23.9	23.0	14.2	15.9	9.7	7.1	13.3	25.7	10.6	8.8	2.7	8.0	13.3	38.1	0.9	3.5
③「あまり感じない・感じない」		14.3	21.4	7.1	23.8	2.4	4.8	7.1	21.4	21.4	9.5	2.4	16.7	16.7	50.0	4.8	11.9

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=369人)	1065	279	47	133	41	95	41	81	140	33	49	8	39	15	61	0	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=113人)	247	27	26	16	18	11	8	15	29	12	10	3	9	15	43	1	4
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=42人)	99	6	9	3	10	1	2	3	9	9	4	1	7	7	21	2	5

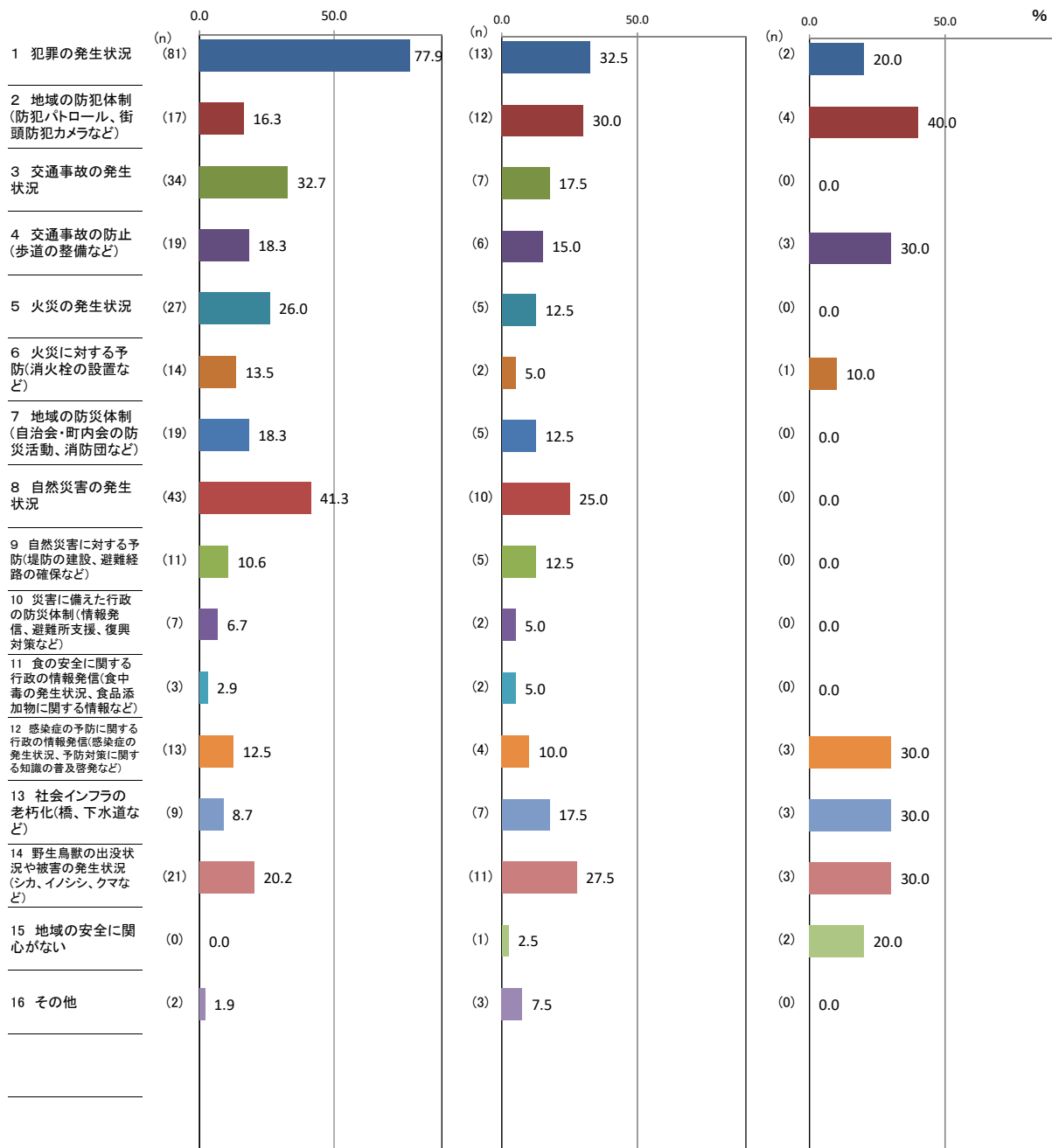
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (320) 104 人	②「どちらともいえない」の回答 (95) 40 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (21) 10 人
1	1 犯罪の発生状況 (81)	1 犯罪の発生状況 (13)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4)
2	8 自然災害の発生状況 (43)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (12)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (3)
3	3 交通事故の発生状況 (34)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (11)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (3) 13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (3) 14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県央広域振興圏＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会、町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		77.9	16.3	32.7	18.3	26.0	13.5	18.3	41.3	10.6	6.7	2.9	12.5	8.7	20.2	0.0	1.9
②「どちらともいえない」		32.5	30.0	17.5	15.0	12.5	5.0	12.5	25.0	12.5	5.0	5.0	10.0	17.5	27.5	2.5	7.5
③「あまり感じない・感じない」		20.0	40.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	30.0	20.0	0.0

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会、町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=104人)	320	81	17	34	19	27	14	19	43	11	7	3	13	9	21	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=40人)	95	13	12	7	6	5	2	5	10	5	2	2	4	7	11	1	3
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=10人)	21	2	4	0	3	0	1	0	0	0	0	0	3	3	3	2	0

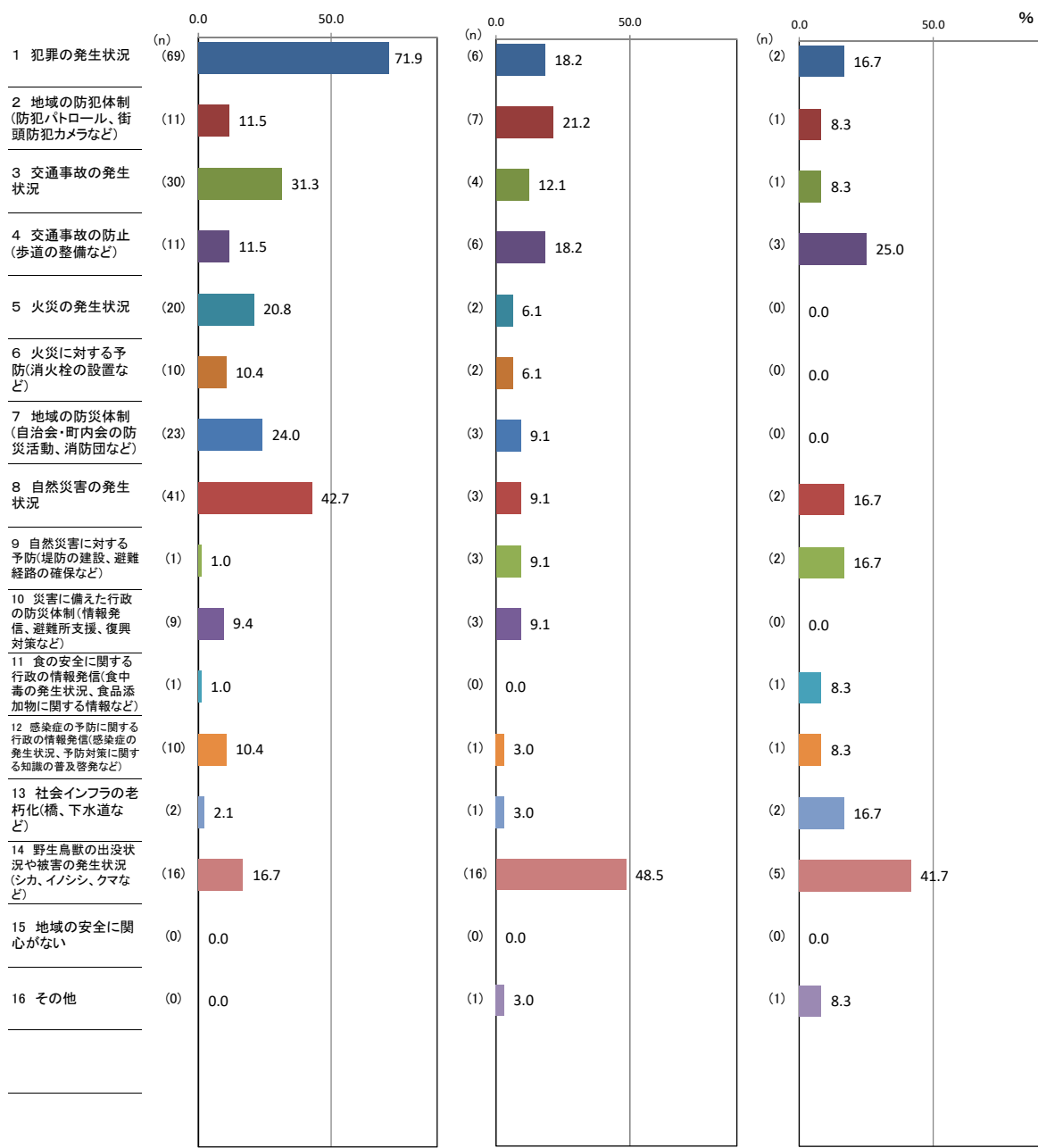
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 96 人 (254)	②「どちらともいえない」の回答 33 人 (58)	③「あまり感じない・感じない」の回答 12 人 (21)
1	1 犯罪の発生状況 (69)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (16)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (5)
2	8 自然災害の発生状況 (41)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (7)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (3)
3	3 交通事故の発生状況 (30)	1 犯罪の発生状況 (6) 4 交通事故の防止(歩道の整備など) (6) 3位	1 犯罪の発生状況 (2) 8 自然災害の発生状況 (2) 9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (2) 13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (2) 3位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県南広域振興圏＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		71.9	11.5	31.3	11.5	20.8	10.4	24.0	42.7	1.0	9.4	1.0	10.4	2.1	16.7	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		18.2	21.2	12.1	18.2	6.1	6.1	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	3.0	3.0	48.5	0.0	3.0
③「あまり感じない・感じない」		16.7	8.3	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	41.7	0.0	8.3

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=96人)	254	69	11	30	11	20	10	23	41	1	9	1	10	2	16	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=33人)	58	6	7	4	6	2	2	3	3	3	3	0	1	1	16	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=12人)	21	2	1	1	3	0	0	0	2	2	0	1	1	2	5	0	1

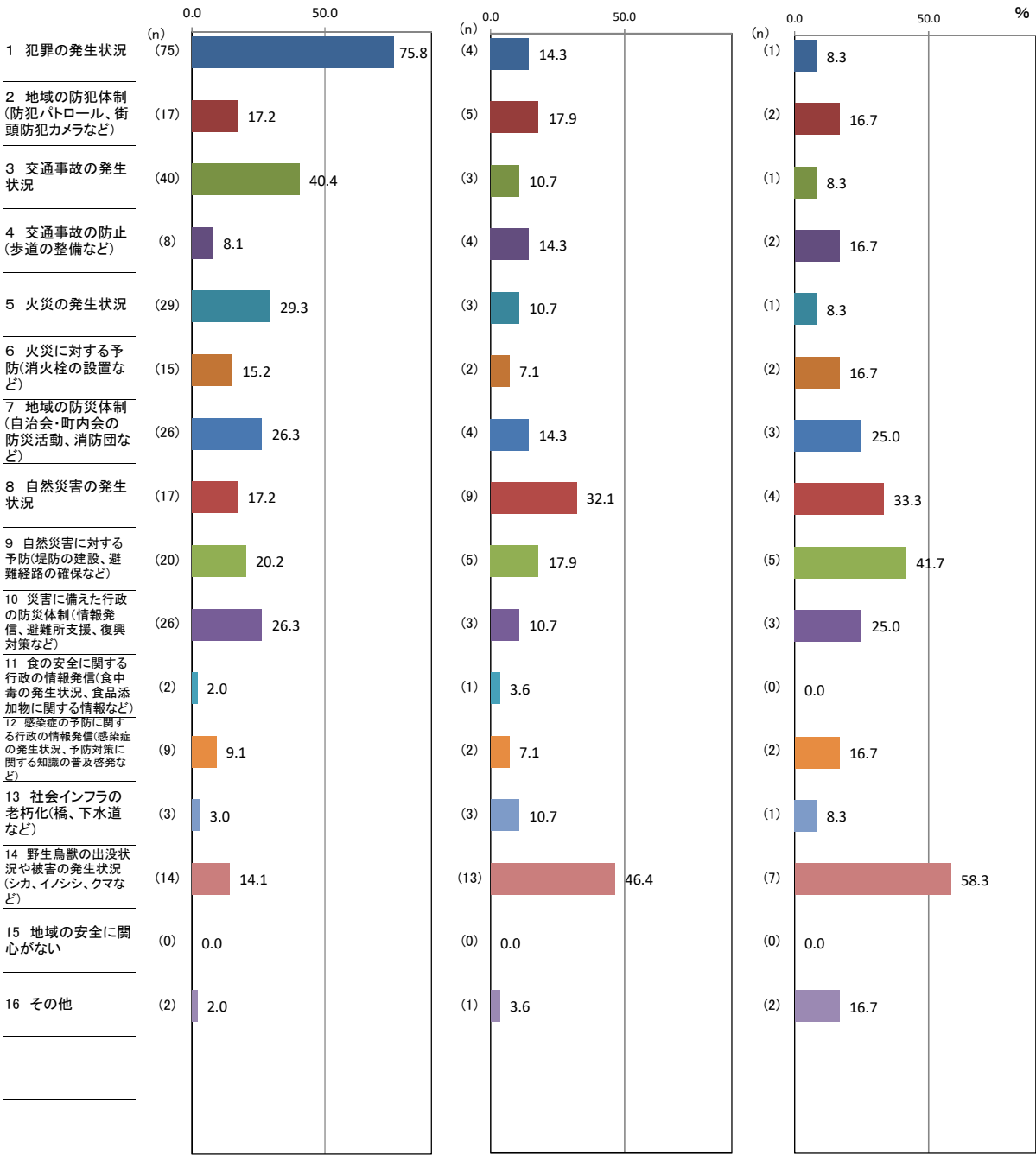
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (303) 99 人	②「どちらともいえない」の回答 (62) 28 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (36) 12 人
1	1 犯罪の発生状況 (75)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (13)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (7)
2	3 交通事故の発生状況 (40)	8 自然災害の発生状況 (9)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (5)
3	5 火災の発生状況 (29)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5) 9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (5)	8 自然災害の発生状況 (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜沿岸広域振興圏＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		75.8	17.2	40.4	8.1	29.3	15.2	26.3	17.2	20.2	26.3	2.0	9.1	3.0	14.1	0.0	2.0
②「どちらともいえない」		14.3	17.9	10.7	14.3	10.7	7.1	14.3	32.1	17.9	10.7	3.6	7.1	10.7	46.4	0.0	3.6
③「あまり感じない・感じない」		8.3	16.7	8.3	16.7	8.3	16.7	25.0	33.3	41.7	25.0	0.0	16.7	8.3	58.3	0.0	16.7

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=99人)	303	75	17	40	8	29	15	26	17	20	26	2	9	3	14	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=28人)	62	4	5	3	4	3	2	4	9	5	3	1	2	3	13	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=12人)	36	1	2	1	2	1	2	3	4	5	3	0	2	1	7	0	2

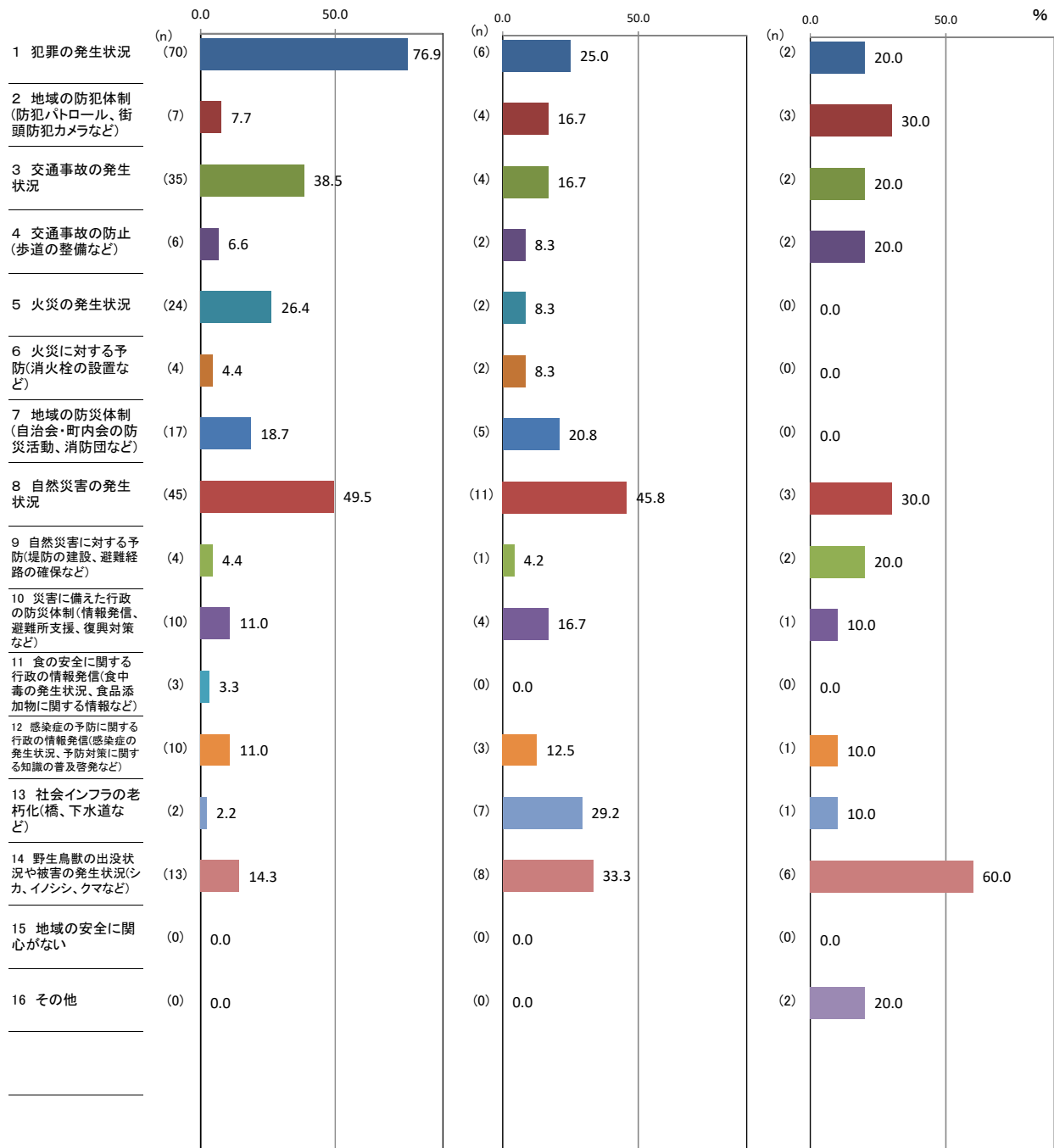
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 91 人 (250)	②「どちらともいえない」の回答 24 人 (59)	③「あまり感じない・感じない」の回答 10 人 (25)
1	1 犯罪の発生状況 (70)	8 自然災害の発生状況 (11)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (6)
2	8 自然災害の発生状況 (45)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (8)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (3)
3	3 交通事故の発生状況 (35)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (7)	8 自然災害の発生状況 (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (7)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(7))「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県北広域振興圏＞

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食料品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」		76.9	7.7	38.5	6.6	26.4	4.4	18.7	49.5	4.4	11.0	3.3	11.0	2.2	14.3	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	20.8	45.8	4.2	16.7	0.0	12.5	29.2	33.3	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	30.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	60.0	0.0	20.0

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯ハットロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(防災施設の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難経路の確保など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食料品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=91人)	250	70	7	35	6	24	4	17	45	4	10	3	10	2	13	0	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=24人)	59	6	4	4	2	2	2	5	11	1	4	0	3	7	8	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=10人)	25	2	3	2	2	0	0	0	3	2	1	0	1	1	6	0	2

<属性別>

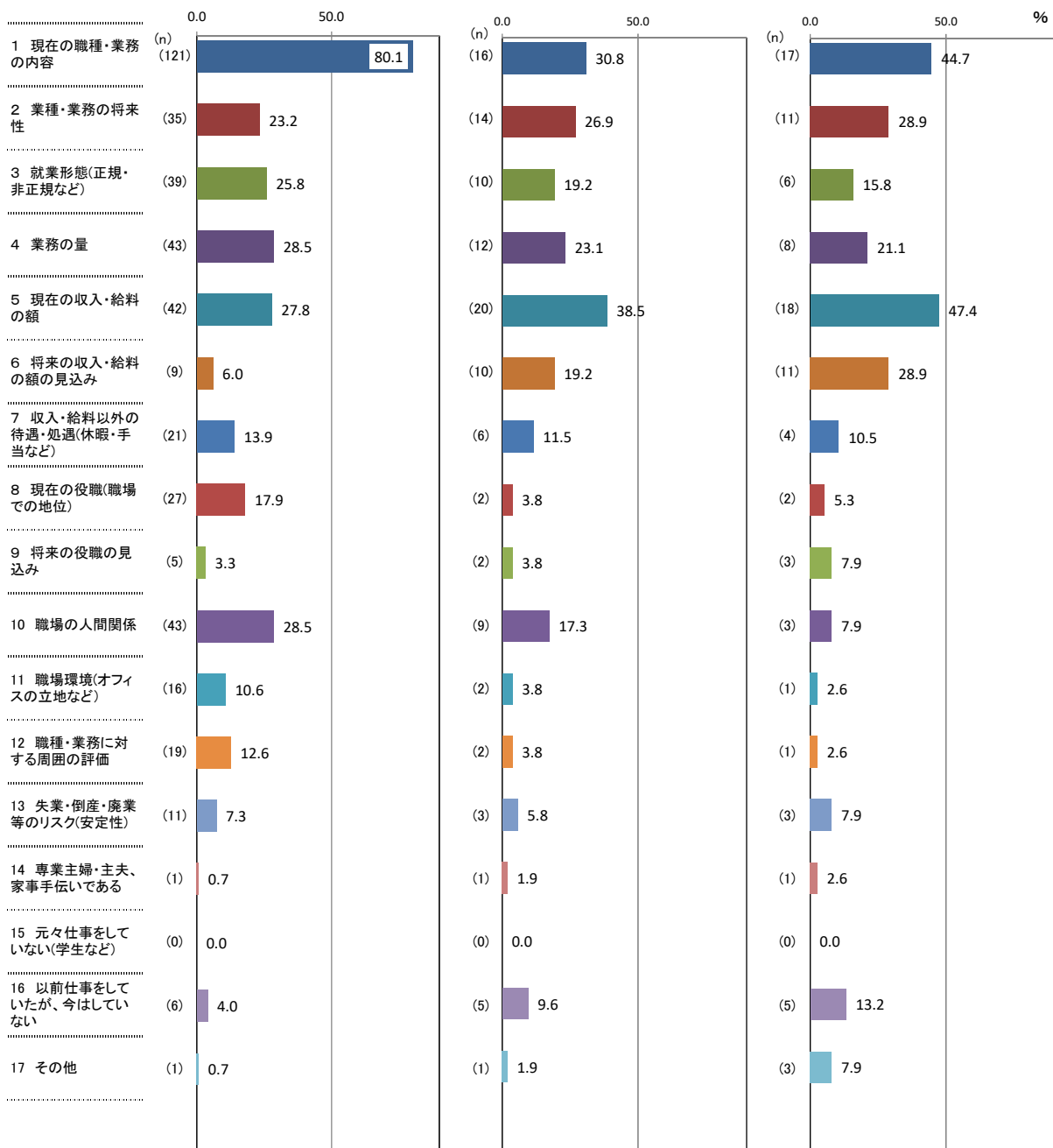
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<男性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (439) 人	②「どちらともいえない」の回答 (115) 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (97) 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (121)	5 現在の収入・給料の額 (20)	5 現在の収入・給料の額 (18)
2	4 業務の量 (43) 2位	1 現在の職種・業務の内容 (16)	1 現在の職種・業務の内容 (17)
3	10 職場の人間関係 (43)	2 業種・業務の将来性 (14)	2 業種・業務の将来性 (11)
3			6 将来の収入・給料の額の見込み (11) 3位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1 (9)「①あなたはこの仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<男性>

	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地・周辺環境など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を担っている	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」	80.1	23.2	25.8	28.5	27.8	6.0	13.9	17.9	3.3	28.5	10.6	12.6	7.3	0.7	0.0	4.0	0.7
②「どちらともいえない」	30.8	26.9	19.2	23.1	38.5	19.2	11.5	3.8	3.8	17.3	3.8	3.8	5.8	1.9	0.0	9.6	1.9
③「あまり感じない・感じない」	44.7	28.9	15.8	21.1	47.4	28.9	10.5	5.3	7.9	7.9	2.6	2.6	7.9	2.6	0.0	13.2	7.9

	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地・周辺環境など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を担っている	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計	439	121	35	43	42	9	21	27	5	43	16	19	11	1	0	6	1
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=151人)																	
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=52人)	115	16	14	12	20	10	6	2	2	9	2	2	3	1	0	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=38人)	97	17	11	6	18	11	4	2	3	3	1	1	3	1	0	5	3

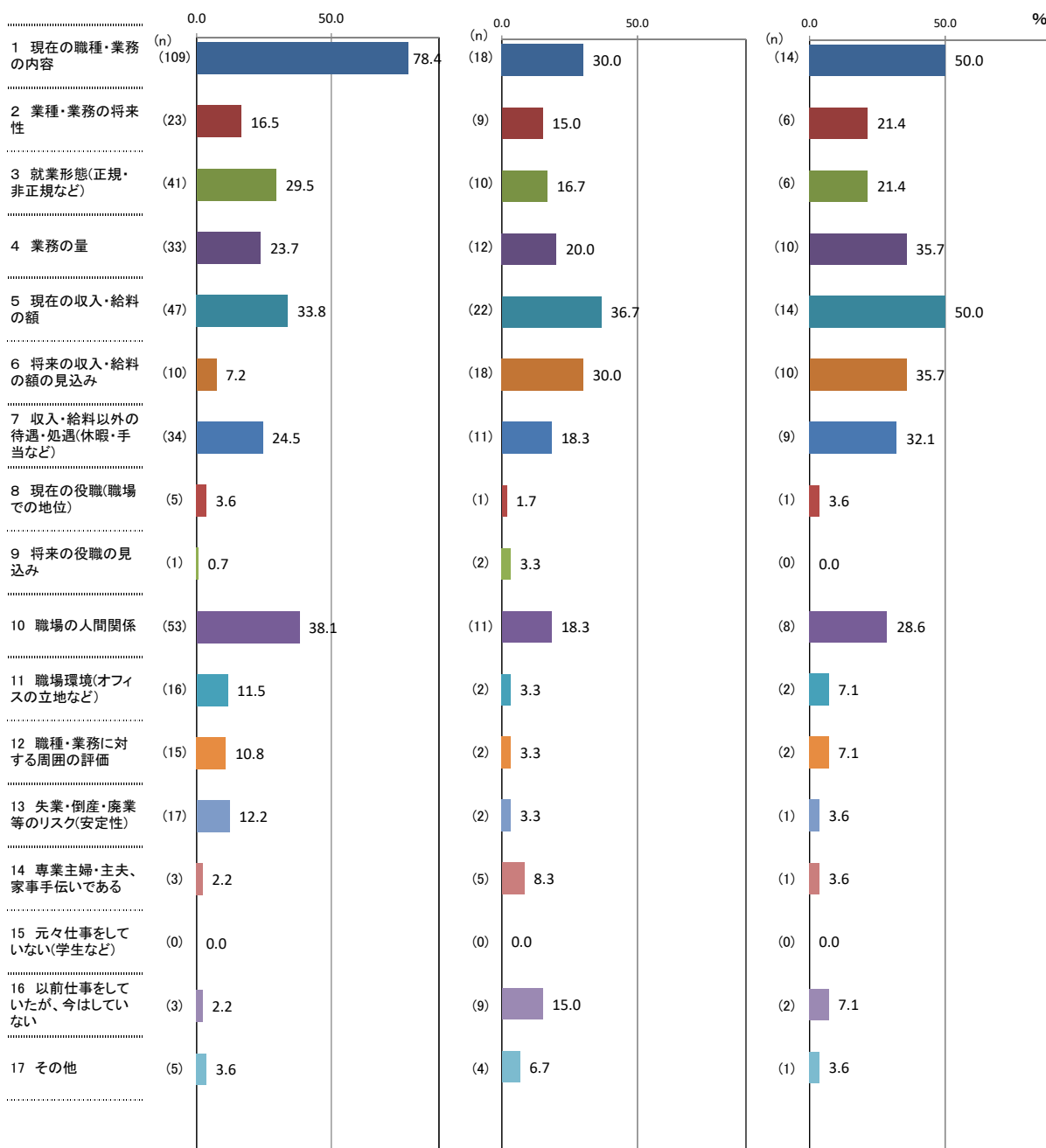
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (415) 139 人	②「どちらともいえない」の回答 (138) 60 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (87) 28 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (109)	5 現在の収入・給料の額 (22)	1 現在の職種・業務の内容 (14)
2	10 職場の人間関係 (53)	1 現在の職種・業務の内容 (18) 2位	5 現在の収入・給料の額 (14) 1位
3	5 現在の収入・給料の額 (47)	6 将来の収入・給料の額の見込み (18)	4 業務の量 (10) 3位 6 将来の収入・給料の額の見込み (10)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1 (9)「①あなたはこの仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<女性>

	1 現在の職種・業務の内 容	2 業務の将来性	3 就業形態 (正・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待遇・手当など	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立地・周辺環境など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝う人がある	15 元々仕事を していないが、 (学生など)	16 以前仕事を していたが、今は していない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」	78.4	16.5	29.5	23.7	33.8	7.2	24.5	3.6	0.7	38.1	11.5	10.8	12.2	2.2	0.0	2.2	3.6
②「どちらともいえない」	30.0	15.0	16.7	20.0	36.7	30.0	18.3	1.7	3.3	18.3	3.3	3.3	3.3	8.3	0.0	15.0	6.7
③「あまり感じない・感じない」	50.0	21.4	21.4	35.7	50.0	35.7	32.1	3.6	0.0	28.6	7.1	7.1	3.6	3.6	0.0	7.1	3.6

	1 現在の職種・業務の内 容	2 業務の将来性	3 就業形態 (正・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待遇・手当など	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立地・周辺環境など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝う人がある	15 元々仕事を していないが、 (学生など)	16 以前仕事を していたが、今は していない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=139人)	415	109	23	41	47	10	34	5	1	53	16	15	17	3	0	3	5
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=60人)	138	18	9	10	22	18	11	1	2	11	2	2	2	5	0	9	4
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=28人)	87	14	6	10	14	10	9	1	0	8	2	2	1	1	0	2	1

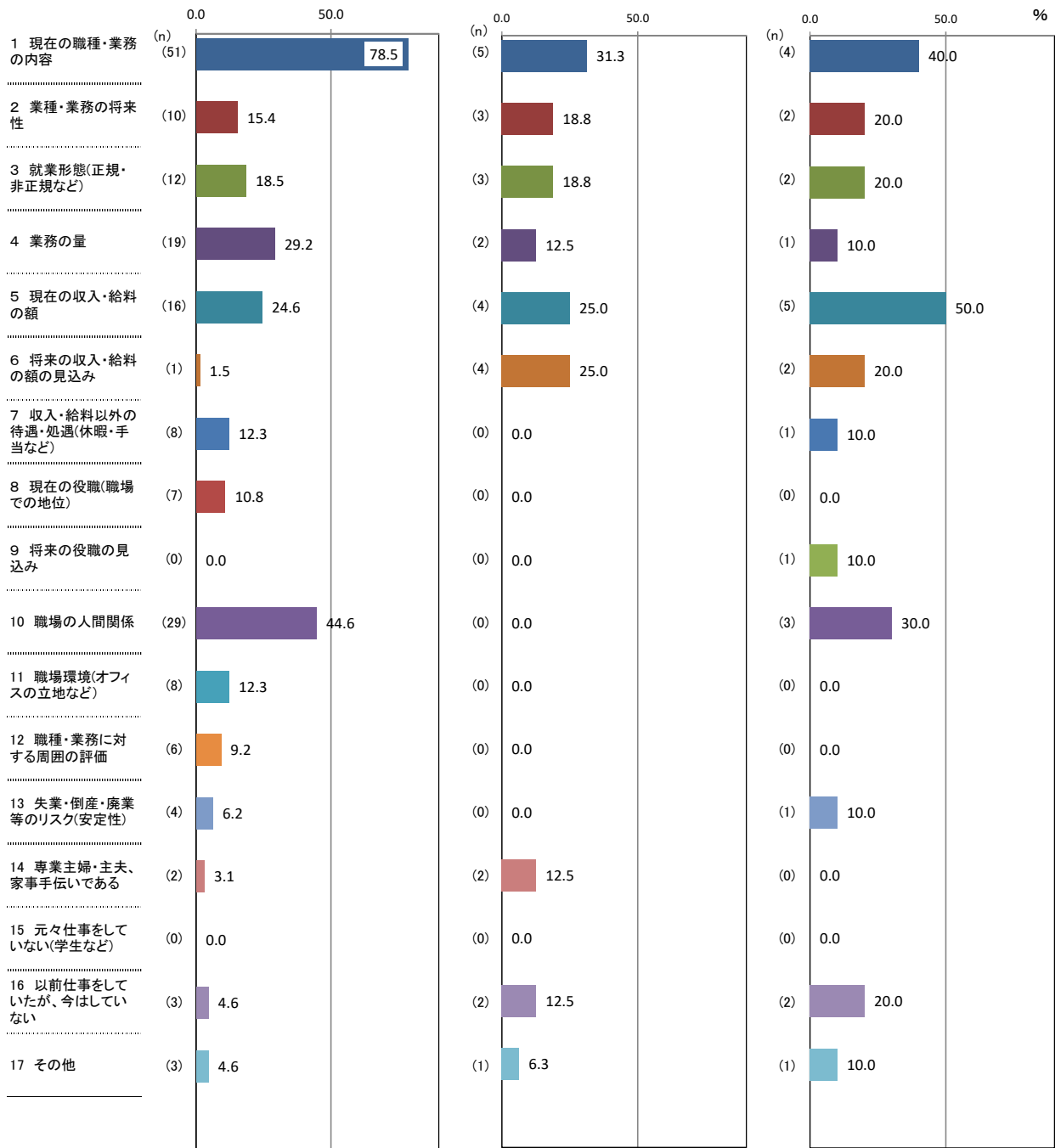
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<60～69歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (179) 65 人	②「どちらともいえない」の回答 (26) 16 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 10 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (51)	1 現在の職種・業務の内容 (5)	5 現在の収入・給料の額 (5)
2	10 職場の人間関係 (29)	5 現在の収入・給料の額 (4)	1 現在の職種・業務の内容 (4)
3	4 業務の量 (19)	6 将来の収入・給料の額の見込み (4)	10 職場の人間関係 (3)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1(9)「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。]に対する回答(複数回答可)

<60～69歳>

区分	1 現在の職種・業務の内 容	2 業務・業 務の将来性	3 就業形態 (正給・非正 給など)	4 業務の量	5 現在の収 入・給料の額	6 将来の収 入・給料の額 の見込み	7 収入・給 料以外の待 遇・処遇(休 眠・手当など)	8 現在の役 職(職場での 地位)	9 将来の役 職の見込み	10 職場の人 間関係	11 職場環境 (オフィスの立 地など)	12 職種・業 務に対する 周囲の評価	13 失業・倒 産・廃業等の リスク(安定 性)	14 専業主 婦・主夫・家 事手伝いで ある	15 元々仕事 をしていない (学生など)	16 以前仕事 をしていた が、今はして いない	その他 17
計																	
①「感じる・やや感じる」	78.5	15.4	18.5	29.2	24.6	1.5	12.3	10.8	0.0	44.6	12.3	9.2	6.2	3.1	0.0	4.6	4.6
②「どちらともいえない」	31.3	18.8	18.8	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	6.3
③「あまり感じない・感じない」	40.0	20.0	20.0	10.0	50.0	20.0	10.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0

区分	1 現在の職種・業務・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態 (正規・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫・家事手伝いである	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていなかったが、今はしていない	17 その他
計																	
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝65人)	179	51	10	12	19	16	1	8	7	0	29	8	6	4	2	0	3
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝16人)	26	5	3	3	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝10人)	25	4	2	2	1	5	2	1	0	1	3	0	0	1	0	0	1

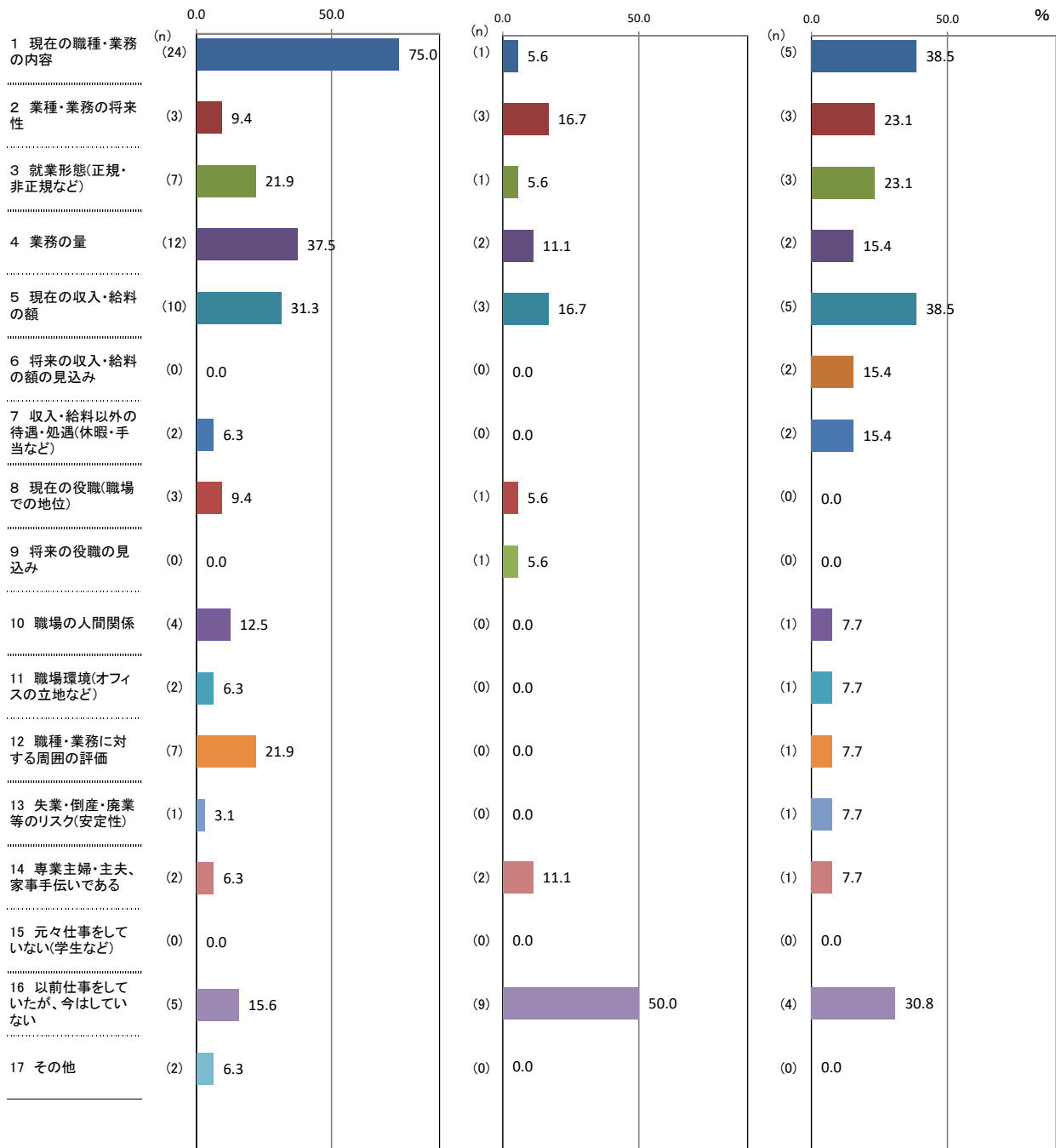
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (84) 32 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (31) 13 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (24)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (9)	1 現在の職種・業務の内容 (5)
2	4 業務の量 (12)	2 業種・業務の将来性 (3)	5 現在の収入・給料の額 (5)
3	5 現在の収入・給料の額 (10)	5 現在の収入・給料の額 (3)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1 (9)「①あなたはこの仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<70歳以上>

	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場の人間関係(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝うことがある	15 元々仕事をしたい(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」	75.0	9.4	21.9	37.5	31.3	0.0	6.3	9.4	0.0	12.5	6.3	21.9	3.1	6.3	0.0	15.6	6.3
②「どちらともいえない」	5.6	16.7	5.6	11.1	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	50.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」	38.5	23.1	23.1	15.4	38.5	15.4	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	30.8	0.0

	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場の人間関係(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝うことがある	15 元々仕事をしたい(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=32人)	84	24	3	7	12	10	0	2	3	0	4	2	7	1	2	0	5
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=18人)	23	1	3	1	2	3	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	9
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=13人)	31	5	3	3	2	5	2	2	0	0	1	1	1	1	0	4	0

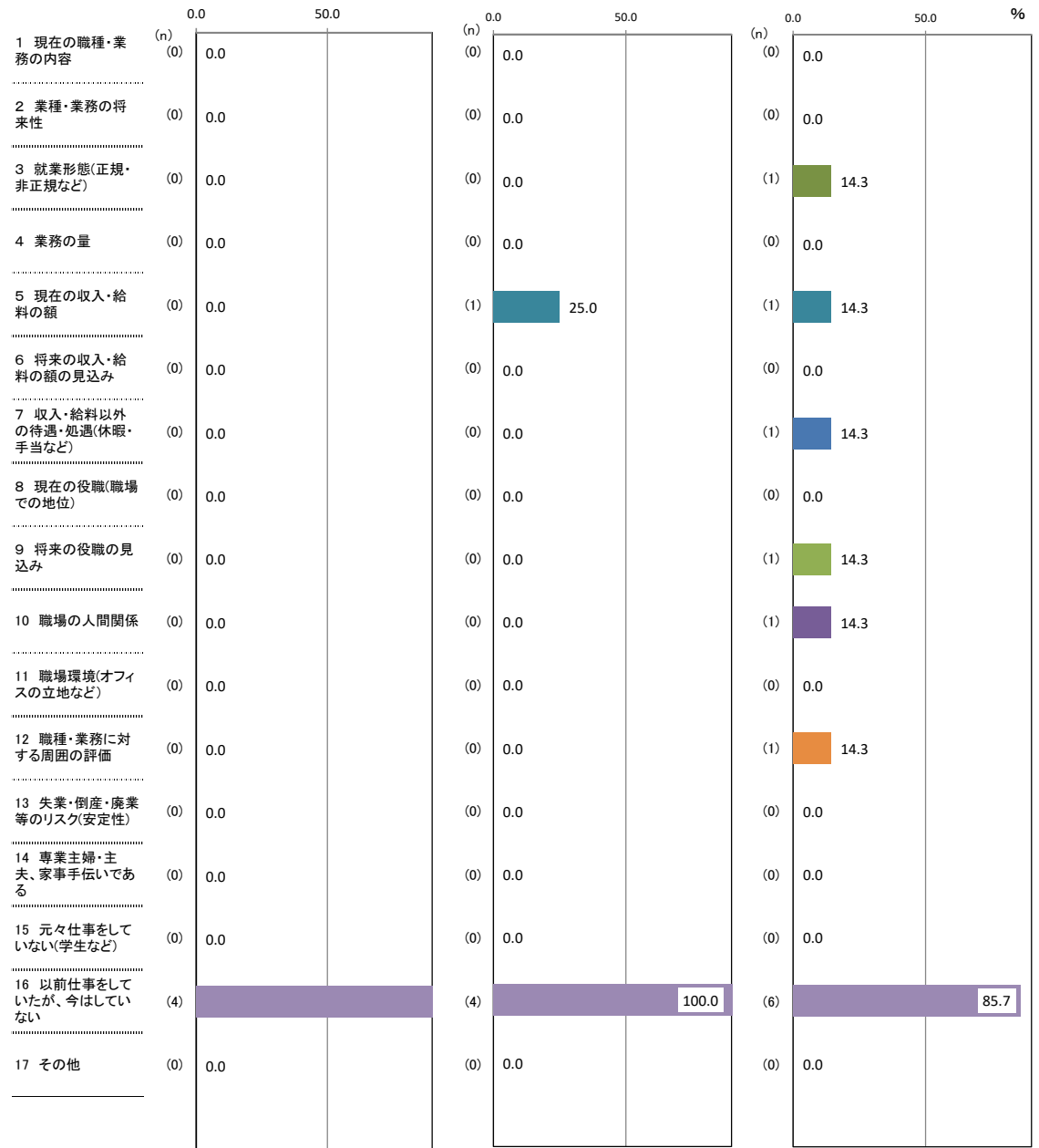
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<60歳以上の無職>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (4) 4 人	②「どちらともいえない」の回答 (5) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (12) 7 人
1	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (4)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (4)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (6)
2		5 現在の収入・給料の額 (1)	3 就業形態(正規・非正規など) (1)
3			5 現在の収入・給料の額 (1) 7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など) (1) 9 将来の役職の見込み (1) 10 職場の人間関係 (1) 12 職種・業務に対する周囲の評価 (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1(9))「①あなたまたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<60歳以上の無職>

	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝う必要がある	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
②「どちらともいえない」					0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0															
		0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0

	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝う必要がある	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=4人)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=4人)	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=7人)	12	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	6	0

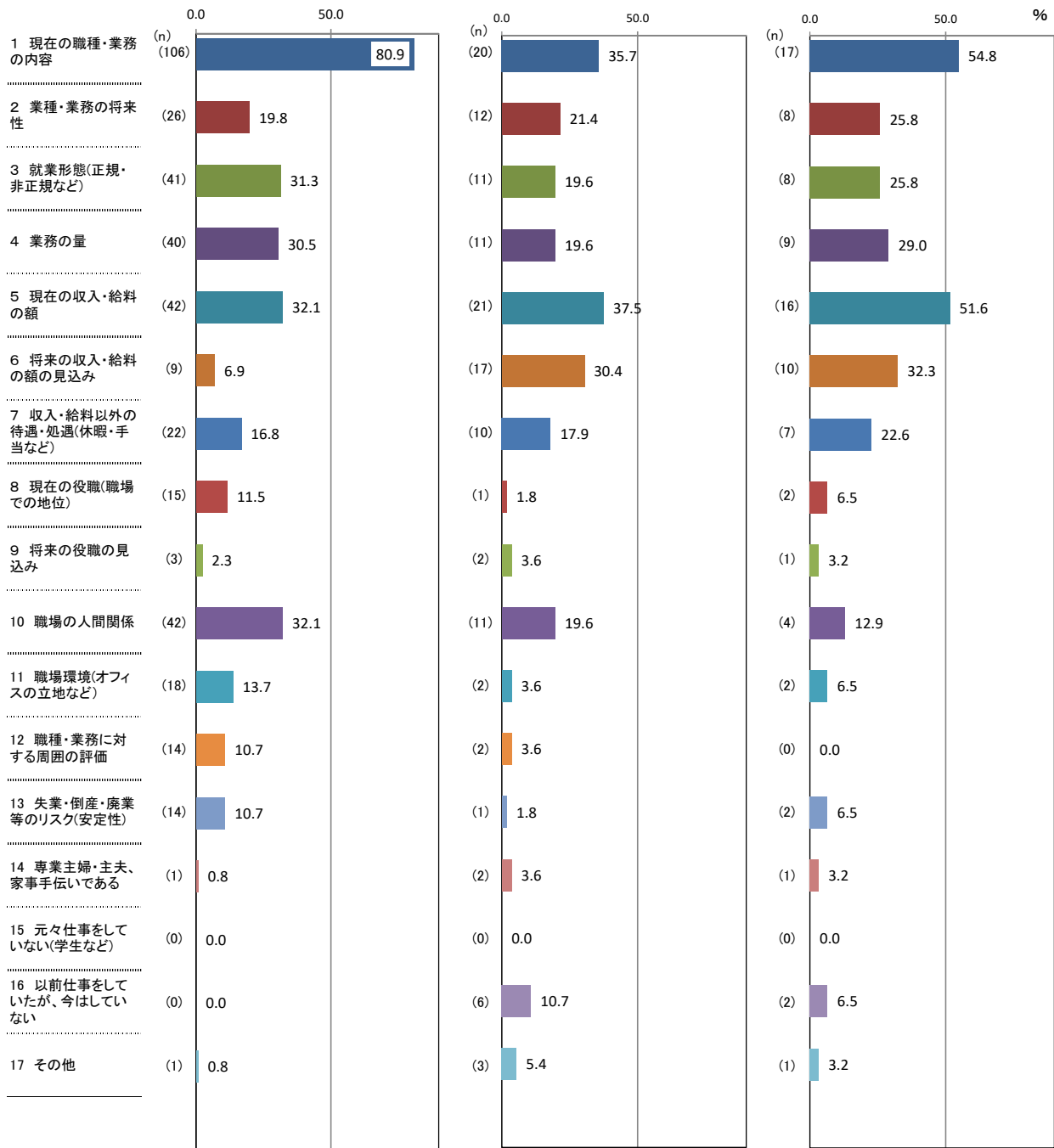
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (394) 131 人	②「どちらともいえない」の回答 (132) 56 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (90) 31 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (106)	5 現在の収入・給料の額 (21)	1 現在の職種・業務の内容 (17)
2	5 現在の収入・給料の額 (42) 2位	1 現在の職種・業務の内容 (20)	5 現在の収入・給料の額 (16)
3	10 職場の人間関係 (42)	6 将来の収入・給料の額の見込み (17)	6 将来の収入・給料の額の見込み (10)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1(9)「①あなたはこの仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<2世代世帯>

区分	1 現在の職種・業務の内 容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態 (正給・非正 給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待 遇・処遇(休 暇・手当など)	8 現在の役職(職場での 地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立 地など)	12 職種・業務に対する 周囲の評価	13 失業・倒 産・廃業等の リスク(安定 性)	14 専業主 婦・主夫・家 事手伝いで ある	15 元々仕事 をしていない (学生など)	16 以前仕事 をしていた が、今はして いない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」	80.9	19.8	31.3	30.5	32.1	6.9	16.8	11.5	2.3	32.1	13.7	10.7	10.7	0.8	0.0	0.0	0.8
②「どちらともいえない」	35.7	21.4	19.6	19.6	37.5	30.4	17.9	1.8	3.6	19.6	3.6	3.6	1.8	3.6	0.0	10.7	5.4
③「あまり感じない・感じない」	54.8	25.8	25.8	29.0	51.6	32.3	22.6	6.5	3.2	12.9	6.5	0.0	6.5	3.2	0.0	6.5	3.2

区分	1 現在の職種・業務の内 容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態 (正給・非正 給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待 遇・処遇(休 暇・手当など)	8 現在の役職(職場での 地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立 地など)	12 職種・業務に対する 周囲の評価	13 失業・倒 産・廃業等の リスク(安定 性)	14 専業主 婦・主夫・家 事手伝いで ある	15 元々仕事 をしていない (学生など)	16 以前仕事 をしていた が、今はして いない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=131人)	394	106	26	41	40	42	9	22	15	3	42	18	14	1	0	0	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=56人)	132	20	12	11	21	17	10	10	1	2	11	2	2	1	0	6	3
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=31人)	90	17	8	8	9	16	10	7	2	1	4	2	0	2	1	2	1

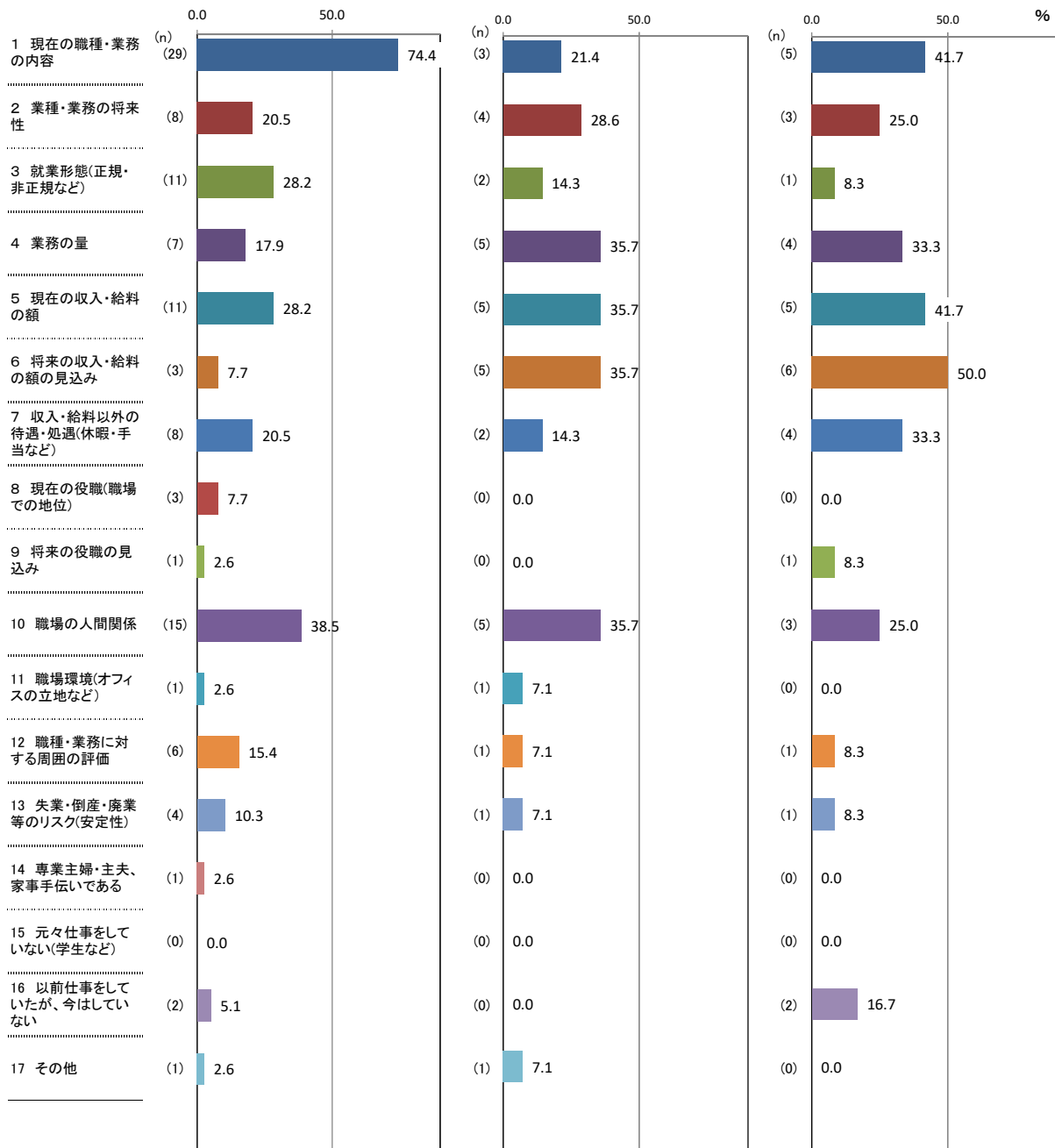
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜3世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (111) 39 人	②「どちらともいえない」の回答 (35) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (36) 12 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (29)	4 業務の量 (5)	6 将来の収入・給料の額の見込み (6)
2	10 職場の人間関係 (15)	5 現在の収入・給料の額 (5) 1位	1 現在の職種・業務の内容 (5) 2位
3	3 就業形態(正規・非正規など) (11) 3位	6 将来の収入・給料の額の見込み (5) 1位	5 現在の収入・給料の額 (5)
	5 現在の収入・給料の額 (11)	10 職場の人間関係 (5)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1(9))「①あなたはこの仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<3世代世帯>

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝うことがある	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		74.4	20.5	28.2	17.9	28.2	7.7	20.5	7.7	2.6	38.5	2.6	15.4	10.3	2.6	0.0	5.1	2.6
②「どちらともいえない」		21.4	28.6	14.3	35.7	35.7	35.7	14.3	0.0	0.0	35.7	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1
③「あまり感じない・感じない」		41.7	25.0	8.3	33.3	41.7	50.0	33.3	0.0	8.3	25.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0

	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝うことがある	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=39人)	111	29	8	11	7	11	3	8	3	1	15	1	6	4	1	0	2	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=14人)	35	3	4	2	5	5	5	2	0	0	5	1	1	1	0	0	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=12人)	36	5	3	1	4	5	6	4	0	1	3	0	1	1	0	0	2	0

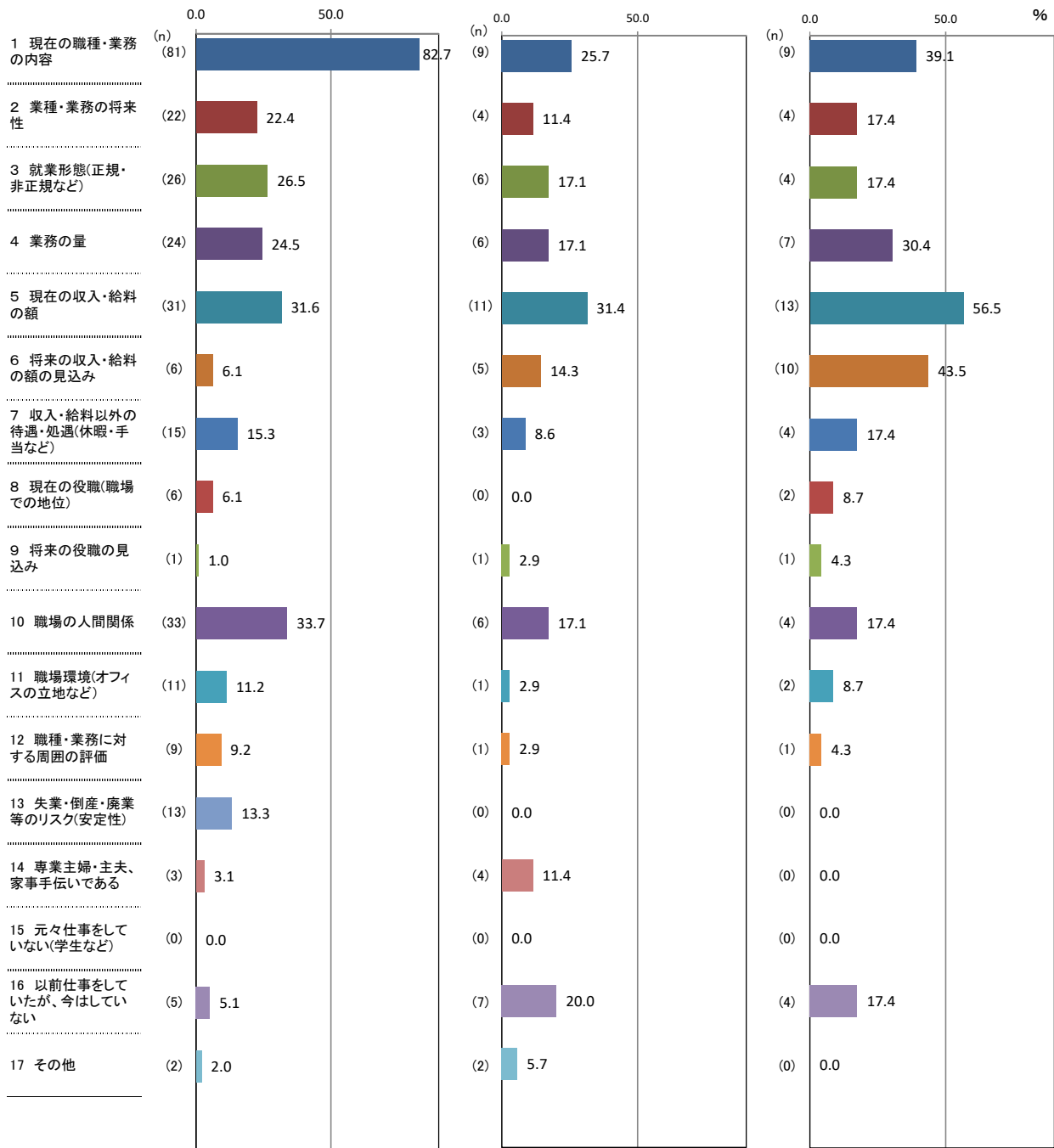
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<子どもの数2人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (288) 98 人	②「どちらともいえない」の回答 (66) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (65) 23 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (81)	5 現在の収入・給料の額 (11)	5 現在の収入・給料の額 (13)
2	10 職場の人間関係 (33)	1 現在の職種・業務の内容 (9)	6 将来の収入・給料の額の見込み (10)
3	5 現在の収入・給料の額 (31)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない (7)	1 現在の職種・業務の内容 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1(9)「①あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもの数2人＞

区分	計	1 現在の職種・業務の内 容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態 (正給・非正 給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待 遇・処遇(休 眠・手当など)	8 現在の役職(職場での 地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立 地など)	12 職種・業務に対する 周囲の評価	13 失業・倒 産・廃業等の リスク(安定 性)	14 専業主 婦・主夫・家 事手伝いで ある	15 元々仕事 をしていない (学生など)	16 以前仕事 をしていた が、今はして いない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		82.7	22.4	26.5	24.5	31.6	6.1	15.3	6.1	1.0	33.7	11.2	9.2	13.3	3.1	0.0	5.1	2.0
②「どちらともいえない」		25.7	11.4	17.1	17.1	31.4	14.3	8.6	0.0	2.9	17.1	2.9	2.9	0.0	11.4	0.0	20.0	5.7
③「あまり感じない・感じない」		39.1	17.4	17.4	30.4	56.5	43.5	17.4	8.7	4.3	17.4	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	17.4	0.0

区分	計	1 現在の職種・業務の内 容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態 (正給・非正 給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待 遇・処遇(休 眠・手当など)	8 現在の役職(職場での 地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立 地など)	12 職種・業務に対する 周囲の評価	13 失業・倒 産・廃業等の リスク(安定 性)	14 専業主 婦・主夫・家 事手伝いで ある	15 元々仕事 をしていない (学生など)	16 以前仕事 をしていた が、今はして いない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=98人)	288	81	22	26	24	31	6	15	6	1	33	11	9	13	3	0	5	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=35人)	66	9	4	6	6	11	5	3	0	1	6	1	1	0	4	0	7	2
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=23人)	65	9	4	4	7	13	10	4	2	1	4	2	1	0	0	0	4	0

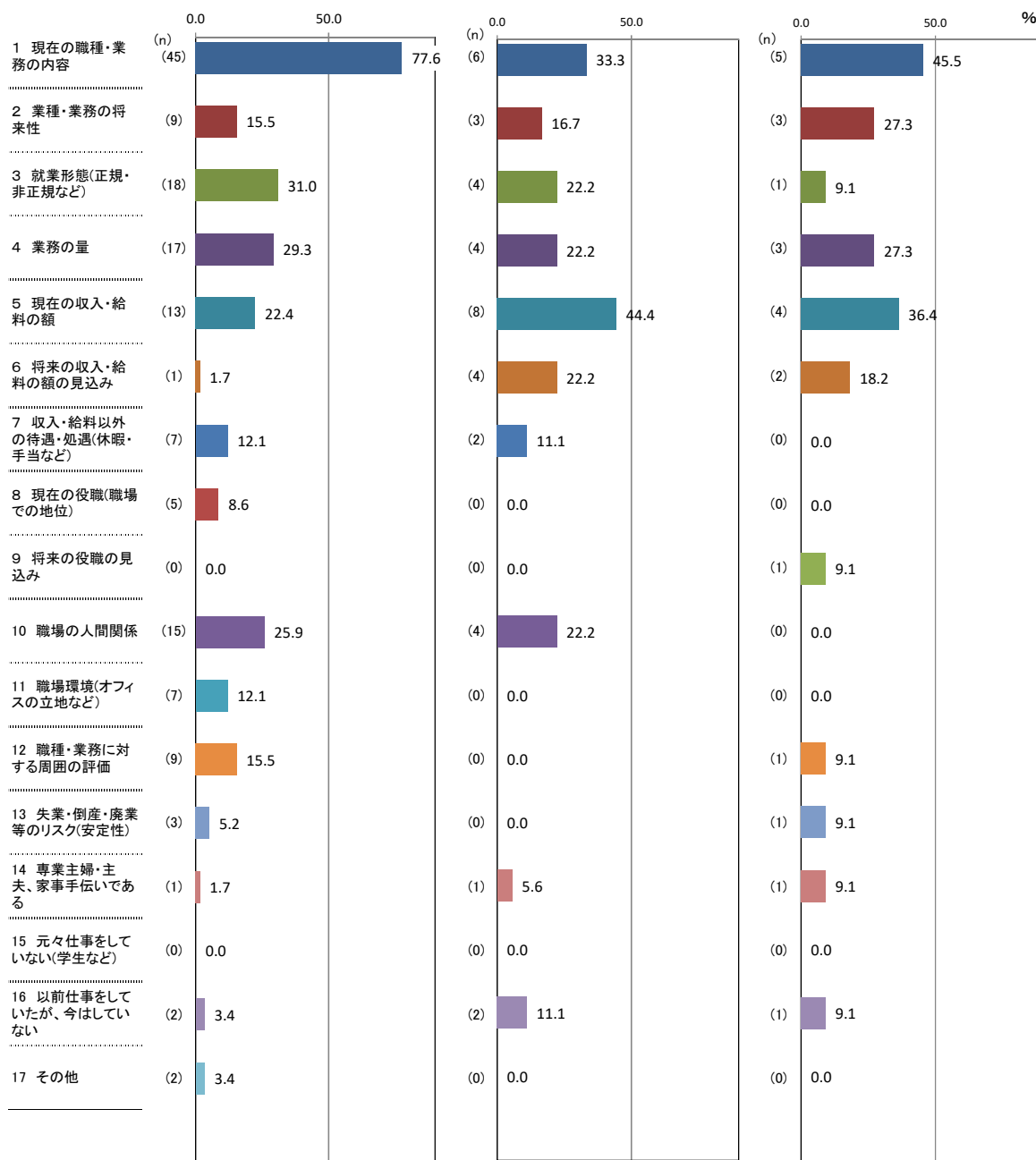
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」<子どもの数3人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (154) 58 人	②「どちらともいえない」の回答 (38) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (23) 11 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (45)	5 現在の収入・給料の額 (8)	1 現在の職種・業務の内容 (5)
2	3 就業形態(正規・非正規など) (18)	1 現在の職種・業務の内容 (6)	5 現在の収入・給料の額 (4)
3	4 業務の量 (17)	3 就業形態(正規・非正規など) (4) 3位	2 業種・業務の将来性 (3) 3位
		4 業務の量 (4) 3位	4 業務の量 (3) 3位
		6 将来の収入・給料の額の見込み (4) 3位	
		10 職場の人間関係 (4) 3位	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1(9))「①あなたはこの仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<(子どもの数3人)>

	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝う必要がある	15 元々仕事をしたい(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」	77.6	15.5	31.0	29.3	22.4	1.7	12.1	8.6	0.0	25.9	12.1	15.5	5.2	1.7	0.0	3.4	3.4
②「どちらともいえない」	33.3	16.7	22.2	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」	45.5	27.3	9.1	27.3	36.4	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0

	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝う必要がある	15 元々仕事をしたい(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=58人)	154	45	9	18	17	13	1	7	5	0	15	7	9	3	1	0	2
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=18人)	38	6	3	4	4	8	4	2	0	0	4	0	0	0	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=11人)	23	5	3	1	3	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0

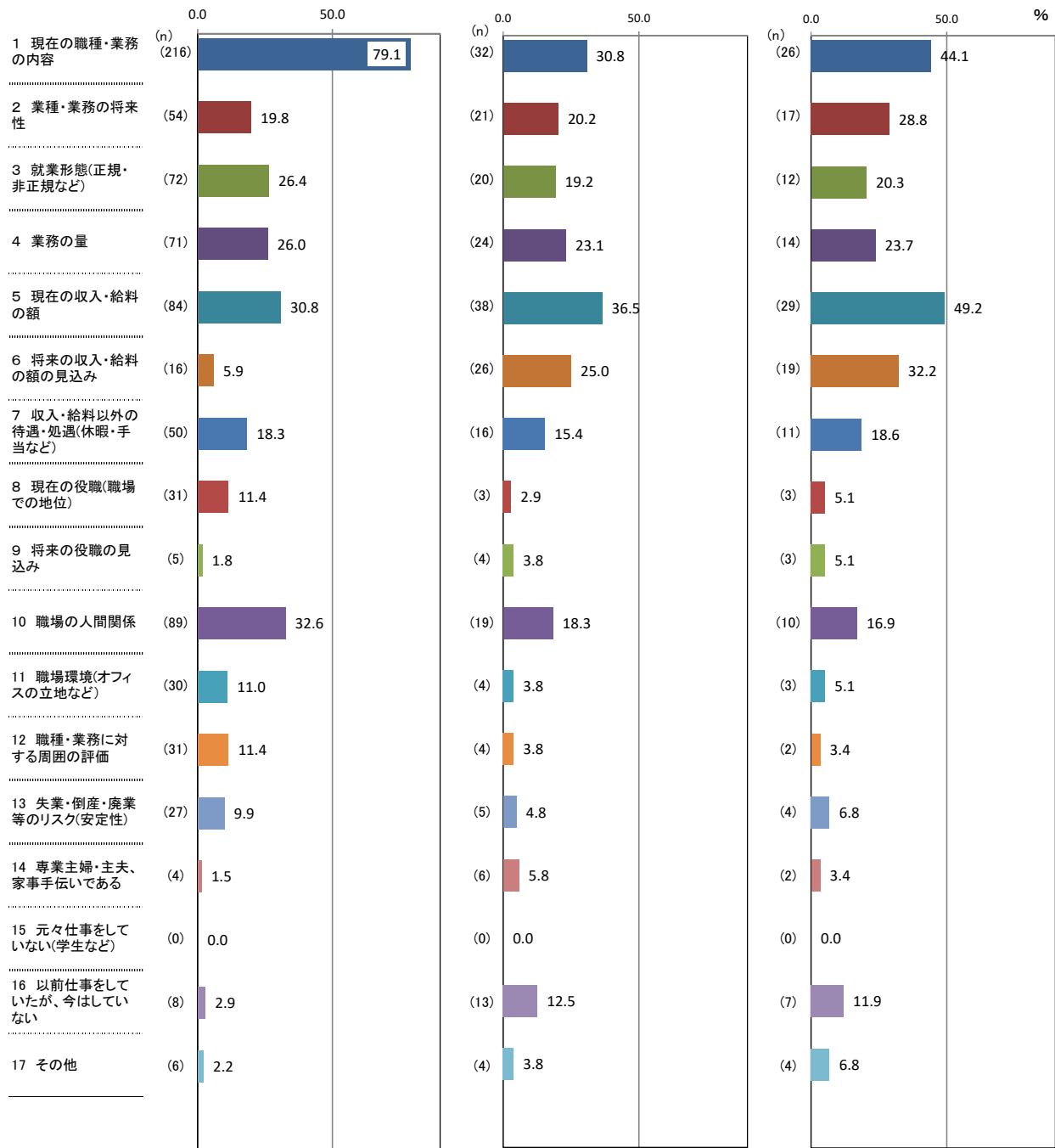
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (794) 273 人	②「どちらともいえない」の回答 (239) 104 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (166) 59 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (216)	5 現在の収入・給料の額 (38)	5 現在の収入・給料の額 (29)
2	10 職場の人間関係 (89)	1 現在の職種・業務の内容 (32)	1 現在の職種・業務の内容 (26)
3	5 現在の収入・給料の額 (84)	6 将来の収入・給料の額の見込み (26)	6 将来の収入・給料の額の見込み (19)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1(9))「①あなたまたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<居住年数20年以上>

	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場の人間関係(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝うことがある	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」	79.1	19.8	26.4	26.0	30.8	5.9	18.3	11.4	1.8	32.6	11.0	11.4	9.9	1.5	0.0	2.9	2.2
②「どちらともいえない」	30.8	20.2	19.2	23.1	36.5	25.0	15.4	2.9	3.8	18.3	3.8	3.8	4.8	5.8	0.0	12.5	3.8
③「あまり感じない・感じない」	44.1	28.8	20.3	23.7	49.2	32.2	18.6	5.1	5.1	16.9	5.1	3.4	6.8	3.4	0.0	11.9	6.8

	1 現在の職種・業務の内容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場の人間関係(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝うことがある	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=273人)	794	216	54	72	71	84	16	50	31	5	89	30	31	27	4	0	8
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=104人)	239	32	21	20	24	38	26	16	3	4	19	4	4	5	6	0	13
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=59人)	166	26	17	12	14	29	19	11	3	3	10	3	2	4	2	0	7

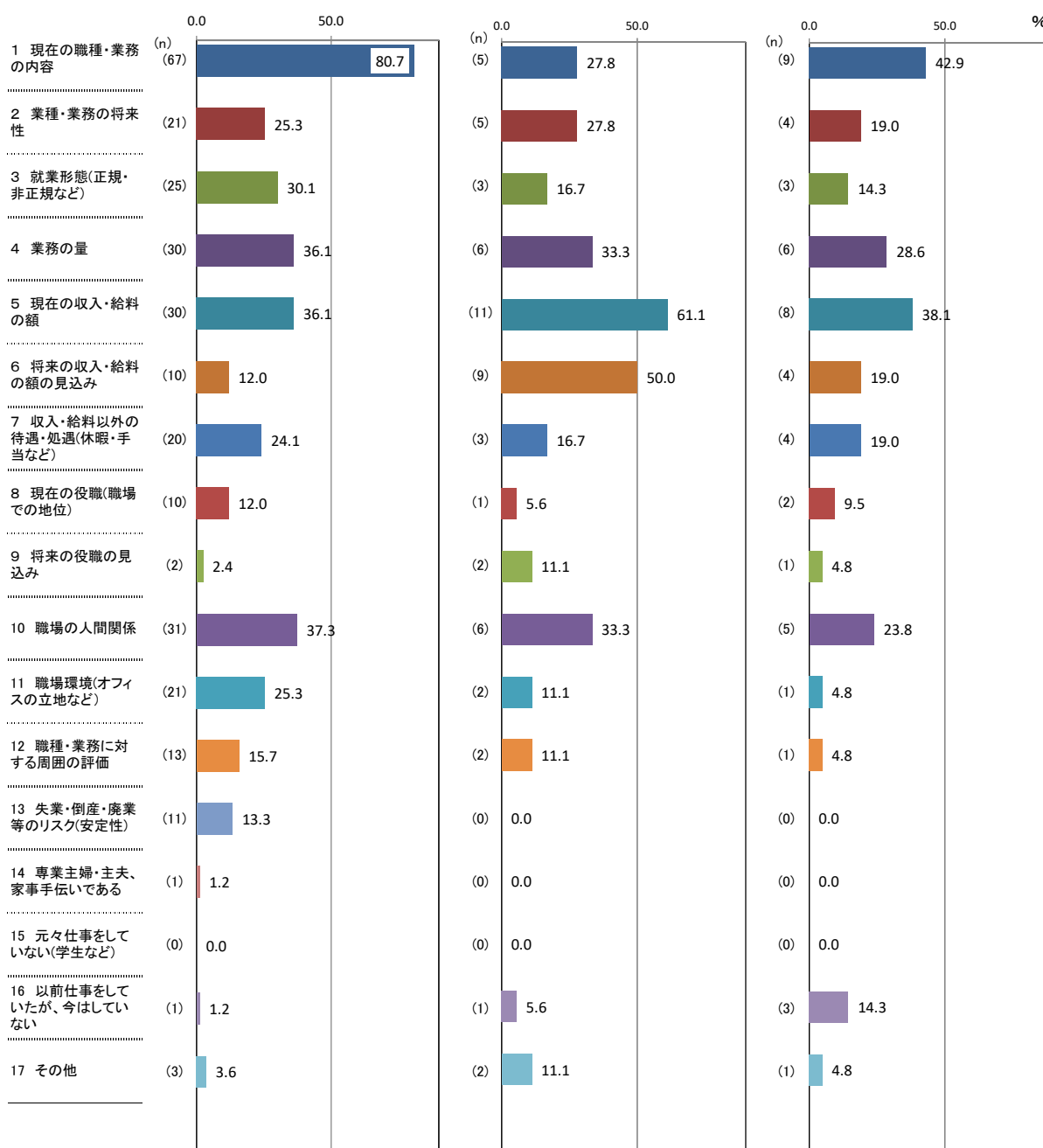
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (296) 83 人	②「どちらともいえない」の回答 (58) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (52) 21 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (67)	5 現在の収入・給料の額 (11)	1 現在の職種・業務の内容 (9)
2	10 職場の人間関係 (31)	6 将来の収入・給料の額の見込み (9)	5 現在の収入・給料の額 (8)
3	4 業務の量 (30) 3位	4 業務の量 (6) 3位	4 業務の量 (6)
	5 現在の収入・給料の額 (30)	10 職場の人間関係 (6)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1(9)「①あなたはこの仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。]に対する回答(複数回答可)

＜県央広域振興圏＞

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の間関係	11 職場の入り(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫・家事を手伝うことがある	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」		80.7	25.3	30.1	36.1	36.1	12.0	24.1	12.0	2.4	37.3	25.3	15.7	13.3	1.2	0.0	1.2	3.6
②「どちらともいえない」		27.8	27.8	16.7	33.3	61.1	50.0	16.7	5.6	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1
③「あまり感じない・感じない」		42.9	19.0	14.3	28.6	38.1	19.0	19.0	9.5	4.8	23.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	14.3	4.8

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 業務・業務の将来性	3 就業形態(正給・非正給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の間関係	11 職場の入り(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫・家事を手伝うことがある	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=83人)	296	67	21	25	30	30	10	20	10	2	31	21	13	11	1	0	1	3
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=18人)	58	5	5	3	6	11	9	3	1	2	6	2	2	0	0	0	1	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=21人)	52	9	4	3	6	8	4	4	2	1	5	1	1	0	0	0	3	1

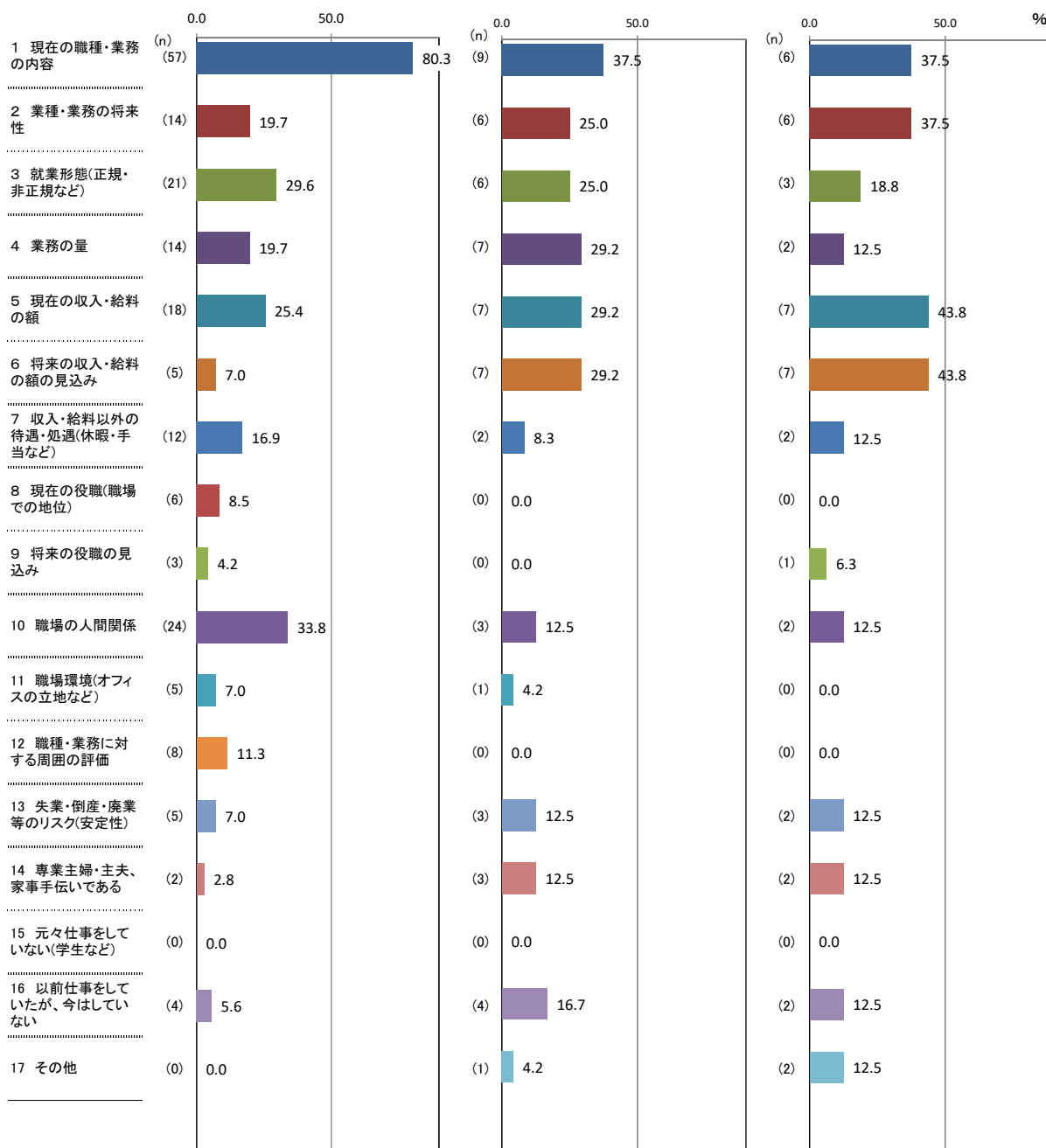
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「仕事のやりがい」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (198) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (59) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 16 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (57)	1 現在の職種・業務の内容 (9)	5 現在の収入・給料の額 (7)
2	10 職場の人間関係 (24)	4 業務の量 (7)	6 将来の収入・給料の額の見込み (7)
3	3 就業形態(正規・非正規など) (21)	5 現在の収入・給料の額 (7)	1 現在の職種・業務の内容 (6)
		6 将来の収入・給料の額の見込み (7)	2 業種・業務の将来性 (6)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(9) 仕事のやりがいについての回答理由(問1 (9)「①あなたはこの仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<沿岸広域振興圏>

	1 現在の職種・業務の内 容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態 (正給・非正 給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での 地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する 周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等の リスク(安定性)	14 専業主婦・主夫・家 の手伝いで ある	15 元々仕事を していない (学生など)	16 以前仕事を していた が、今はして いない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」	80.3	19.7	29.6	19.7	25.4	7.0	16.9	8.5	4.2	33.8	7.0	11.3	7.0	2.8	0.0	5.6	0.0
②「どちらともいえない」	37.5	25.0	25.0	29.2	29.2	29.2	8.3	0.0	0.0	12.5	4.2	0.0	12.5	12.5	0.0	16.7	4.2
③「あまり感じない・感じない」	37.5	37.5	18.8	12.5	43.8	43.8	12.5	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5

	1 現在の職種・業務の内 容	2 業種・業務の将来性	3 就業形態 (正給・非正 給など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額 の見込み	7 収入・給料以外の待遇(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での 地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人間関係	11 職場環境 (オフィスの立地など)	12 職種・業務に対する 周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等の リスク(安定性)	14 専業主婦・主夫・家 の手伝いで ある	15 元々仕事を していない (学生など)	16 以前仕事を していた が、今はして いない	17 その他
計																	
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=71人)	198	57	14	21	14	18	5	12	3	24	5	8	5	2	0	4	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=24人)	59	9	6	6	7	7	7	2	0	3	1	0	3	3	0	4	1
③「あまり感じない・感じない」 の人 (サンプル数=16人)	44	6	3	2	7	7	7	2	1	2	0	0	2	2	0	2	2

<属性別>

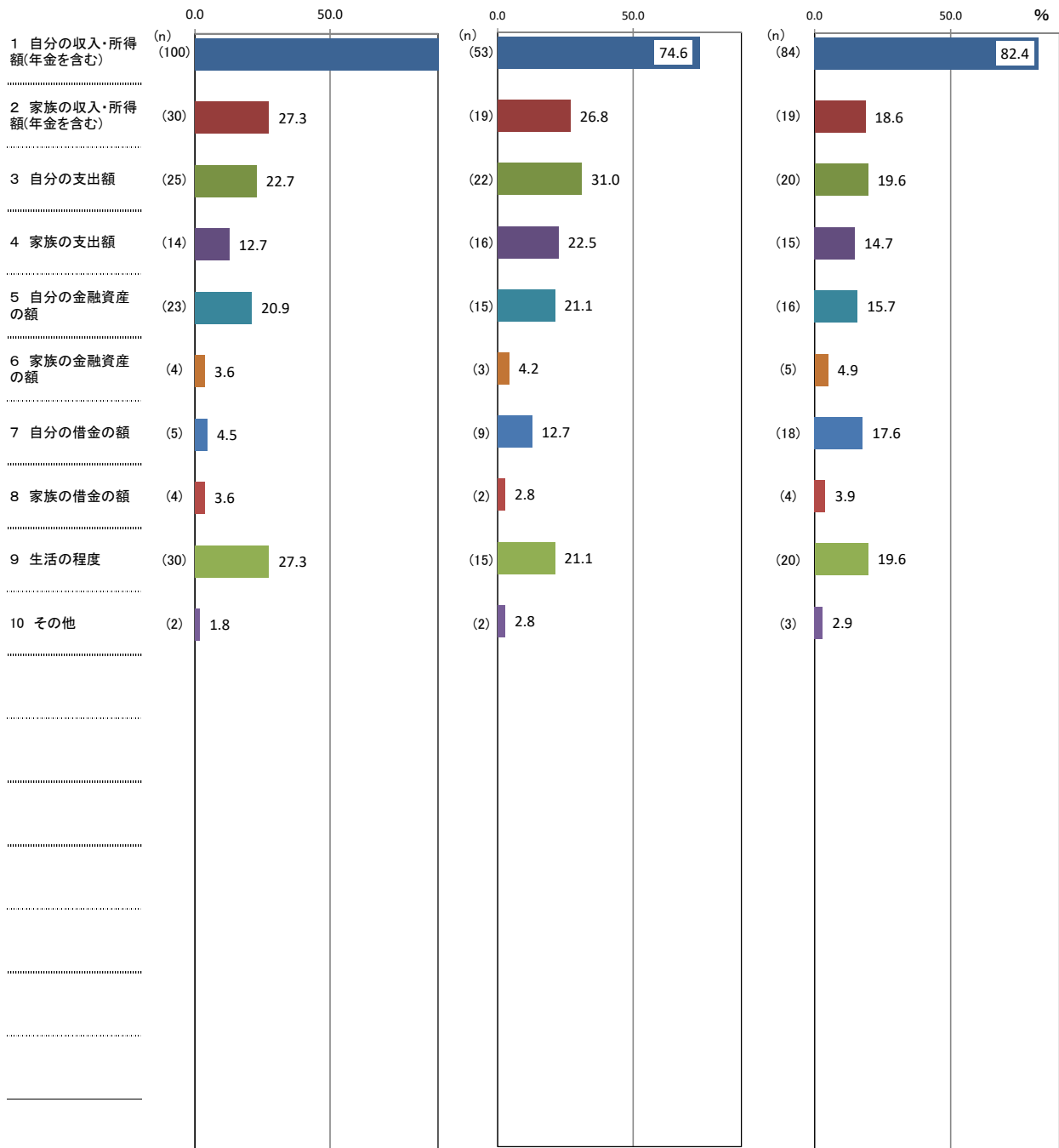
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<男性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 110 人 (237)	②「どちらともいえない」の回答 71 人 (156)	③「あまり感じない・感じない」の回答 102 人 (204)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (100)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (53)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (84)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (30) 2位	3 自分の支出額 (22)	3 自分の支出額 (20) 2位
3	9 生活の程度 (30)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)	9 生活の程度 (20)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由(問1(10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」)に対する回答(複数回答可)

区分	計	＜男性＞ (%)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		90.9	27.3	22.7	12.7	20.9	3.6	4.5	3.6	27.3	1.8
②「どちらともいえない」		74.6	26.8	31.0	22.5	21.1	4.2	12.7	2.8	21.1	2.8
③「あまり感じない・感じない」		82.4	18.6	19.6	14.7	15.7	4.9	17.6	3.9	19.6	2.9

区分	計	(件)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝110人)	237	100	30	25	14	23	4	4	5	4	30
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝71人)	156	53	19	22	16	15	3	9	2	15	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝102人)	204	84	19	20	15	16	5	18	4	20	3

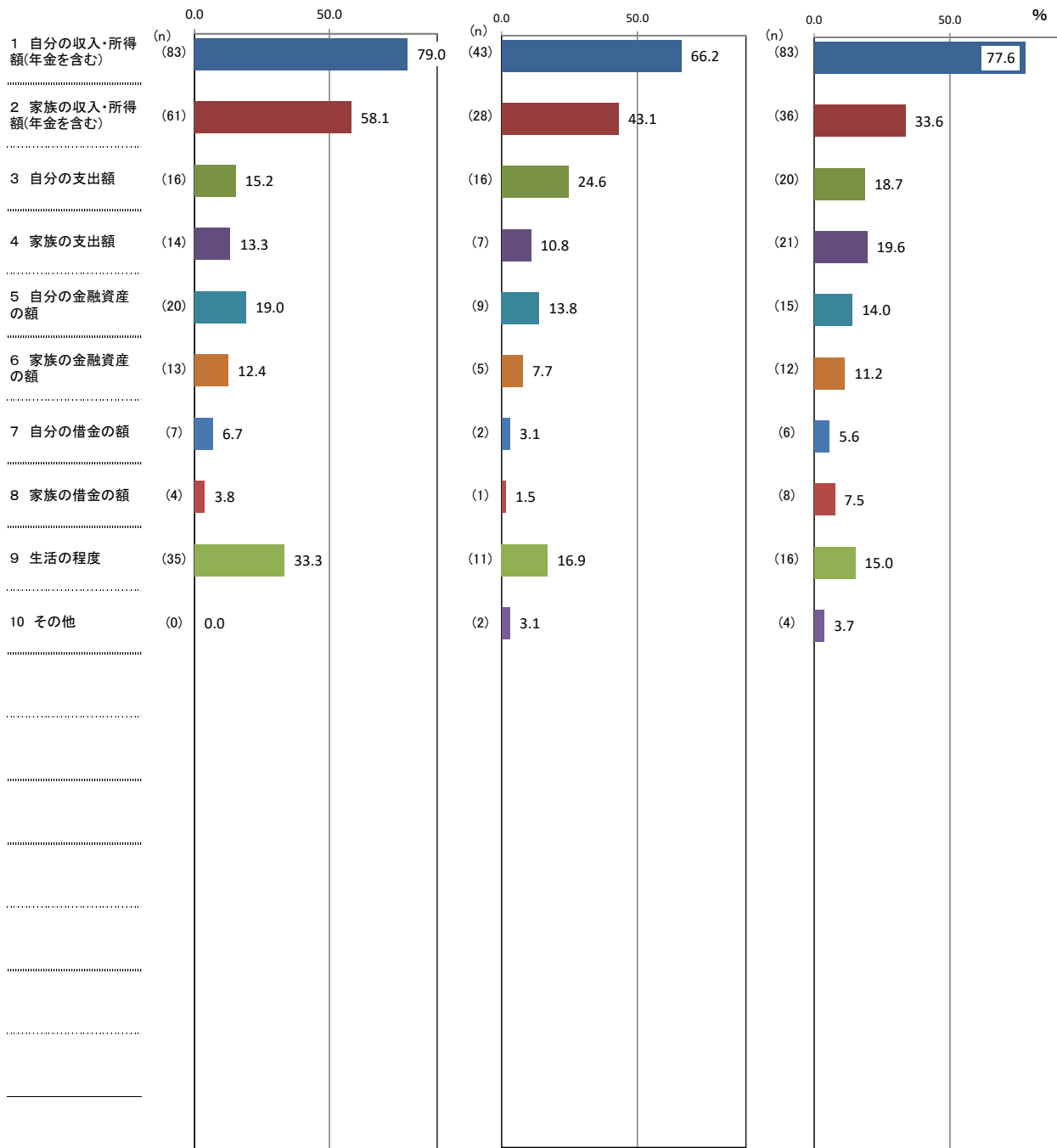
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 105 人 (253)	②「どちらともいえない」の回答 65 人 (124)	③「あまり感じない・感じない」の回答 107 人 (221)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (83)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (83)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (61)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (28)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (36)
3	9 生活の程度 (35)	3 自分の支出額 (16)	4 家族の支出額 (21)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10) ①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。』の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。』に対する回答 (複数回答可)

＜女性＞		(%)									
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		79.0	58.1	15.2	13.3	19.0	12.4	6.7	3.8	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		66.2	43.1	24.6	10.8	13.8	7.7	3.1	1.5	16.9	3.1
③「あまり感じない・感じない」		77.6	33.6	18.7	19.6	14.0	11.2	5.6	7.5	15.0	3.7

(件)		(件)									
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=105人)	253	83	61	16	14	20	13	7	4	35	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=65人)	124	43	28	16	7	9	5	2	1	11	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=107人)	221	83	36	20	21	15	12	6	8	16	4

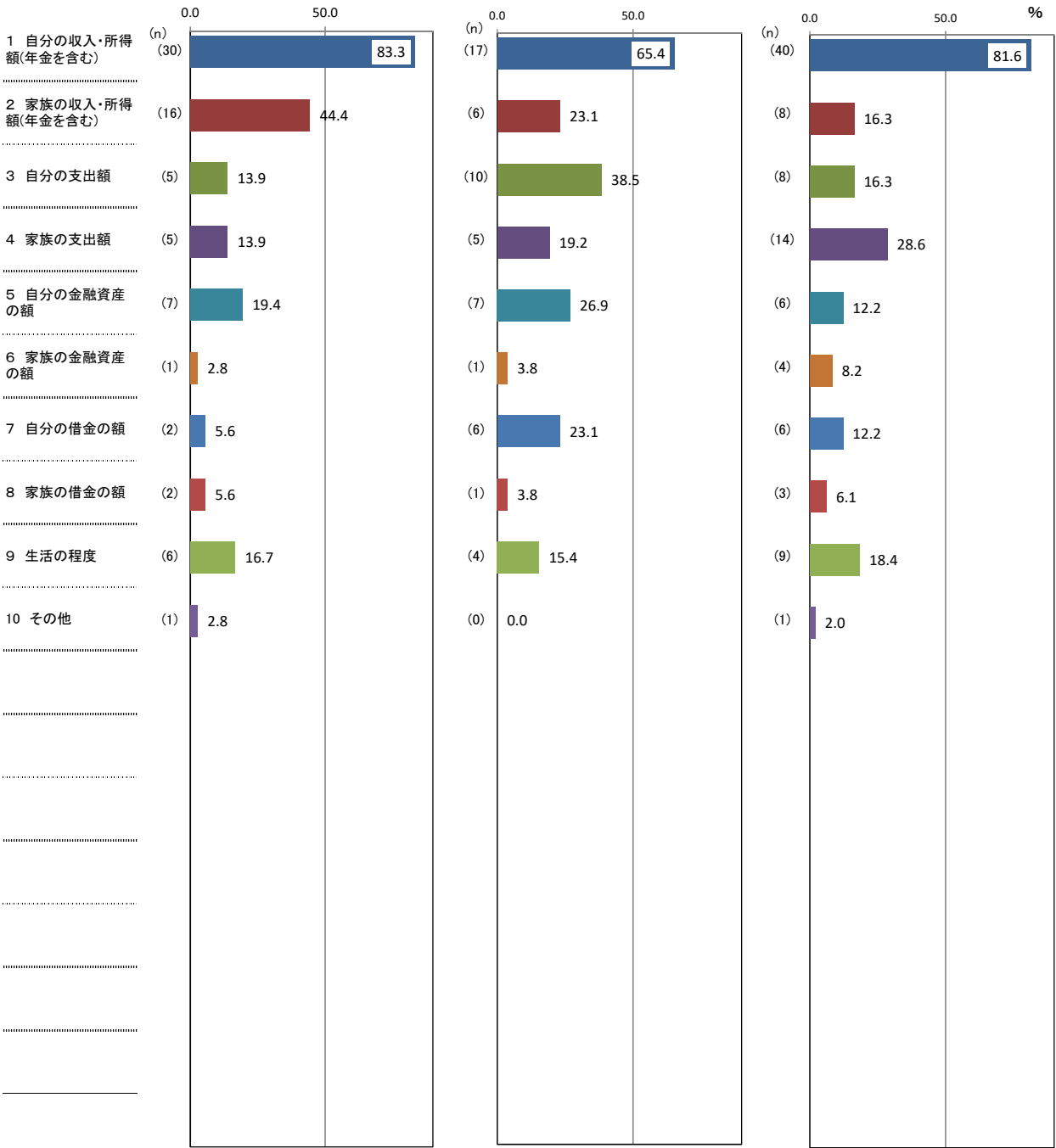
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<40～49歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 36 人 (75)	②「どちらともいえない」の回答 26 人 (57)	③「あまり感じない・感じない」の回答 49 人 (99)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (17)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (40)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (16)	3 自分の支出額 (10)	4 家族の支出額 (14)
3	5 自分の金融資産の額 (7)	5 自分の金融資産の額 (7)	9 生活の程度 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10) ①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

<40～49歳>

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		83.3	44.4	13.9	13.9	19.4	2.8	5.6	5.6	16.7	2.8
②「どちらともいえない」		65.4	23.1	38.5	19.2	26.9	3.8	23.1	3.8	15.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		81.6	16.3	16.3	28.6	12.2	8.2	12.2	6.1	18.4	2.0

(件)

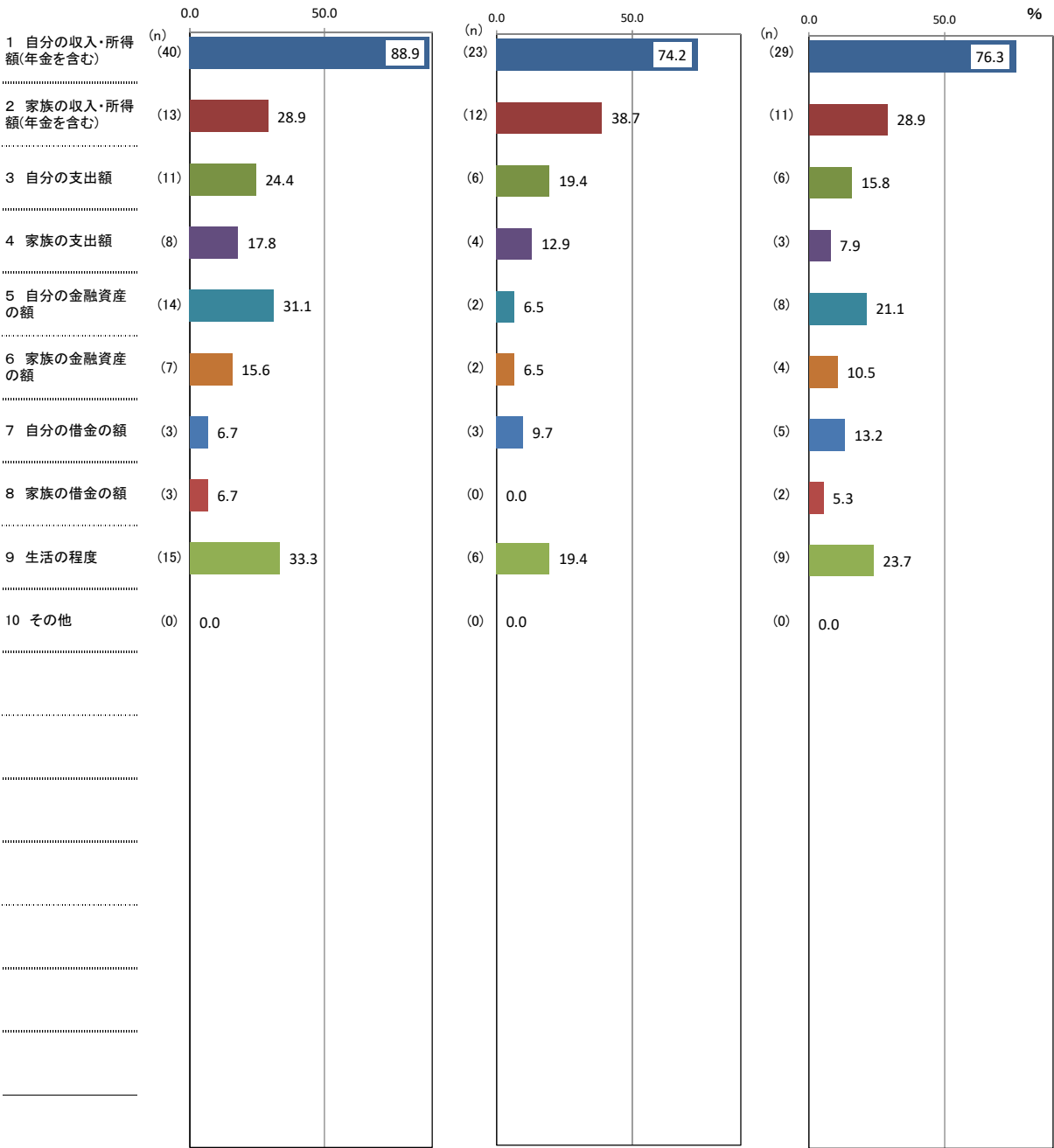
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=36人)	75	30	16	5	5	7	1	1	2	6	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=26人)	57	17	6	10	5	7	1	6	1	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=49人)	99	40	8	8	14	6	4	6	3	9	1

(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)
分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<60～69歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (114) 45 人	②「どちらともいえない」の回答 (58) 31 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (77) 38 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (40)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (23)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)
2	9 生活の程度 (15)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (11)
3	5 自分の金融資産の額 (14)	3 自分の支出額 (6) 9 生活の程度 (6)	9 生活の程度 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」)に対する回答 (複数回答可)

<60～69歳>

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		88.9	28.9	24.4	17.8	31.1	15.6	6.7	6.7	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		74.2	38.7	19.4	12.9	6.5	6.5	9.7	0.0	19.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		76.3	28.9	15.8	7.9	21.1	10.5	13.2	5.3	23.7	0.0

(件)

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=45人)	114	40	13	11	8	14	7	3	3	15	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=31人)	58	23	12	6	4	2	2	3	0	6	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=38人)	77	29	11	6	3	8	4	4	5	2	9

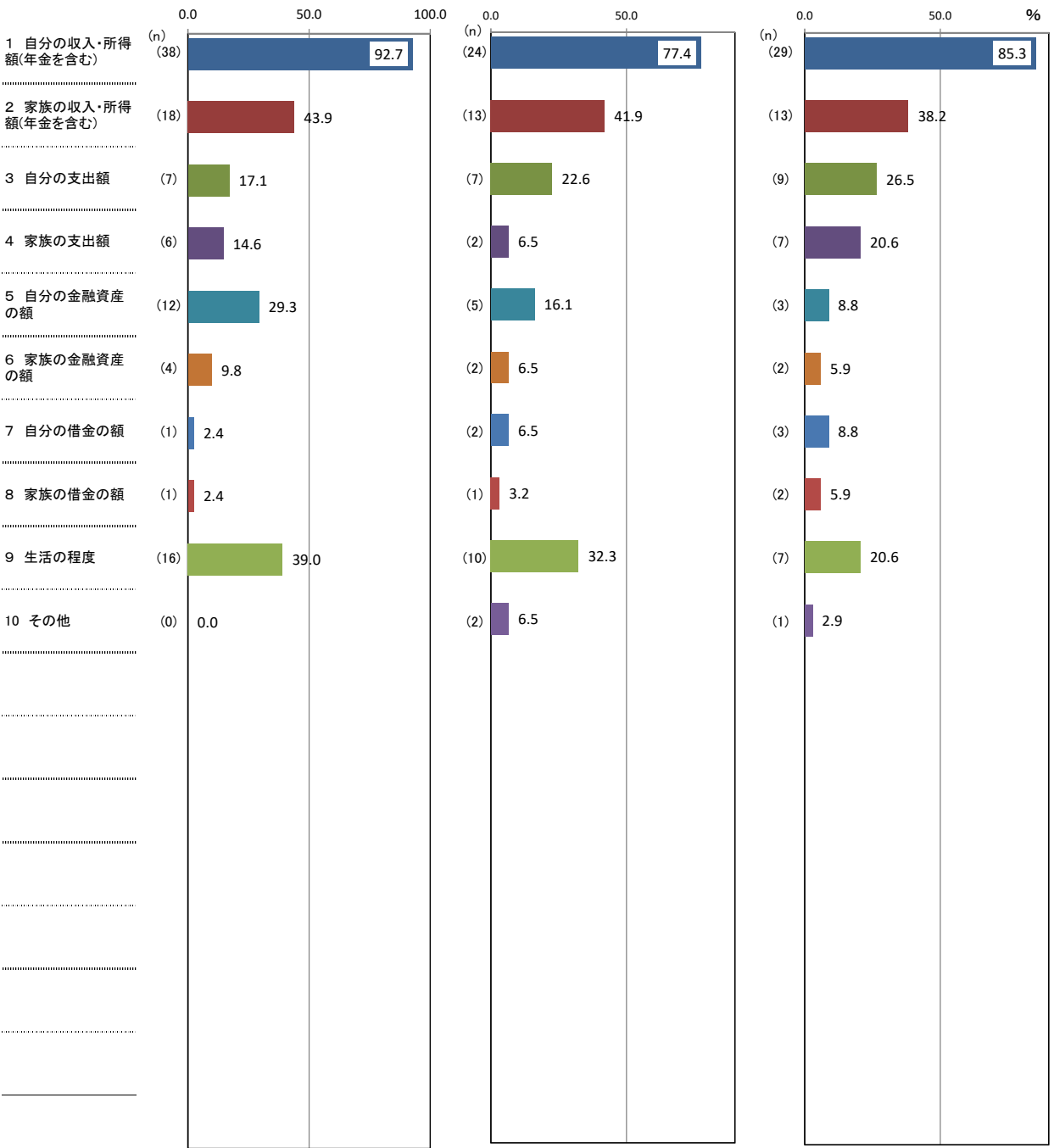
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<70歳以上>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (103)		②「どちらともいえない」の回答 (68)		③「あまり感じない・感じない」の回答 (76)	
	41 人		31 人		34 人	
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(24)	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(29)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	(18)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	(13)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	(13)
3	9 生活の程度	(16)	9 生活の程度	(10)	3 自分の支出額	(9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10) ①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

区分		計									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		92.7	43.9	17.1	14.6	29.3	9.8	2.4	2.4	39.0	0.0
②「どちらともいえない」		77.4	41.9	22.6	6.5	16.1	6.5	6.5	3.2	32.3	6.5
③「あまり感じない・感じない」		85.3	38.2	26.5	20.6	8.8	5.9	8.8	5.9	20.6	2.9

区分		計									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=41人)		103	38	18	7	6	12	4	1	1	16
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=31人)		68	24	13	7	2	5	2	2	1	10
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=34人)		76	29	13	9	7	3	2	3	2	7

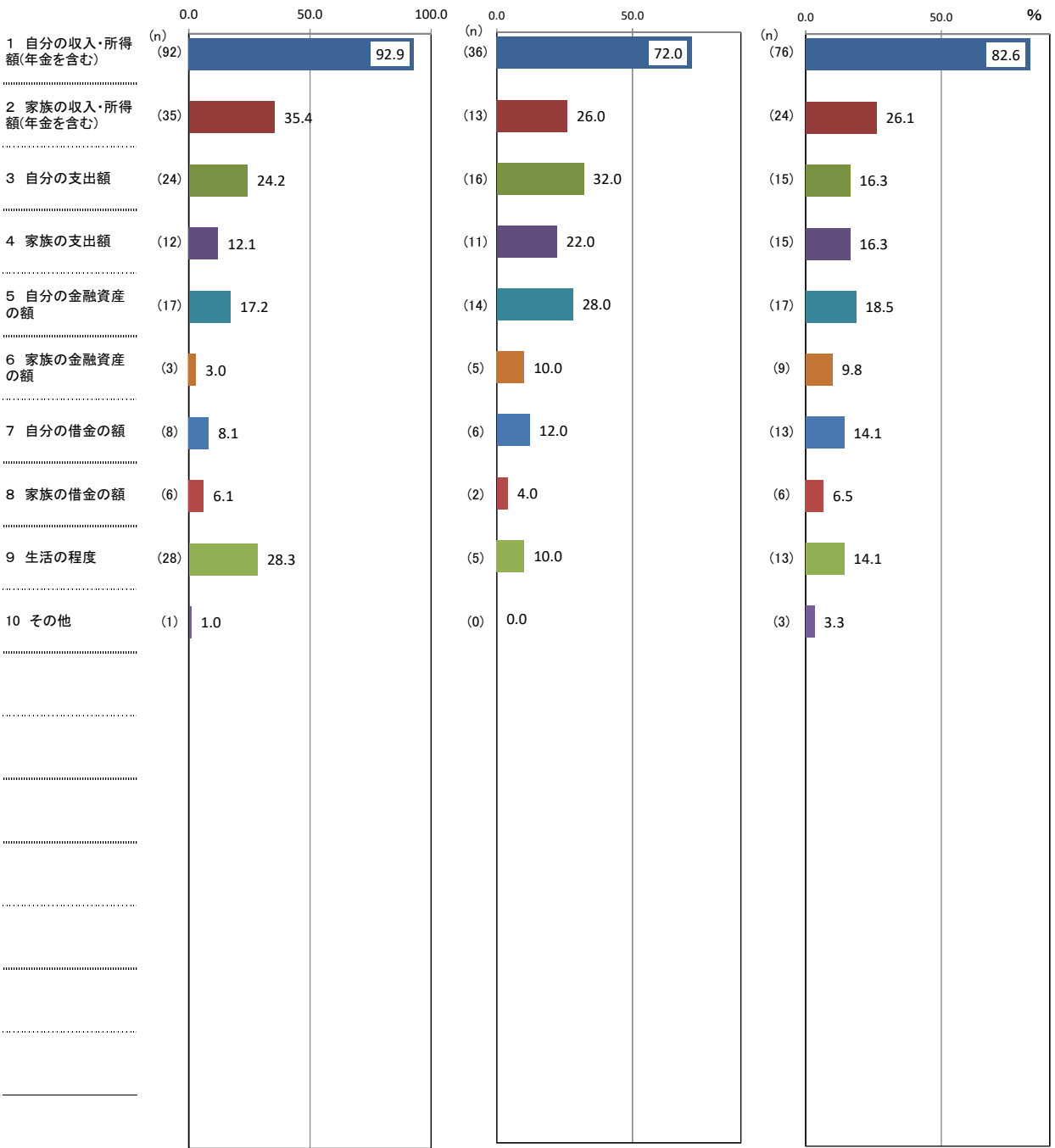
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (226)		②「どちらともいえない」の回答 (108)		③「あまり感じない・感じない」の回答 (191)	
	99 人		50 人		92 人	
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(92)	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(36)	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(76)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	(35)	3 自分の支出額	(16)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	(24)
3	9 生活の程度	(28)	5 自分の金融資産の額	(14)	5 自分の金融資産の額	(17)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10) ①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)
 <常用雇用者> (%)

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		92.9	35.4	24.2	12.1	17.2	3.0	8.1	6.1	28.3	1.0
②「どちらともいえない」		72.0	26.0	32.0	22.0	28.0	10.0	12.0	4.0	10.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		82.6	26.1	16.3	16.3	18.5	9.8	14.1	6.5	14.1	3.3

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=99人)	226	92	35	24	12	17	3	8	6	28	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=50人)	108	36	13	16	11	14	5	6	2	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=92人)	191	76	24	15	15	17	9	13	6	13	3

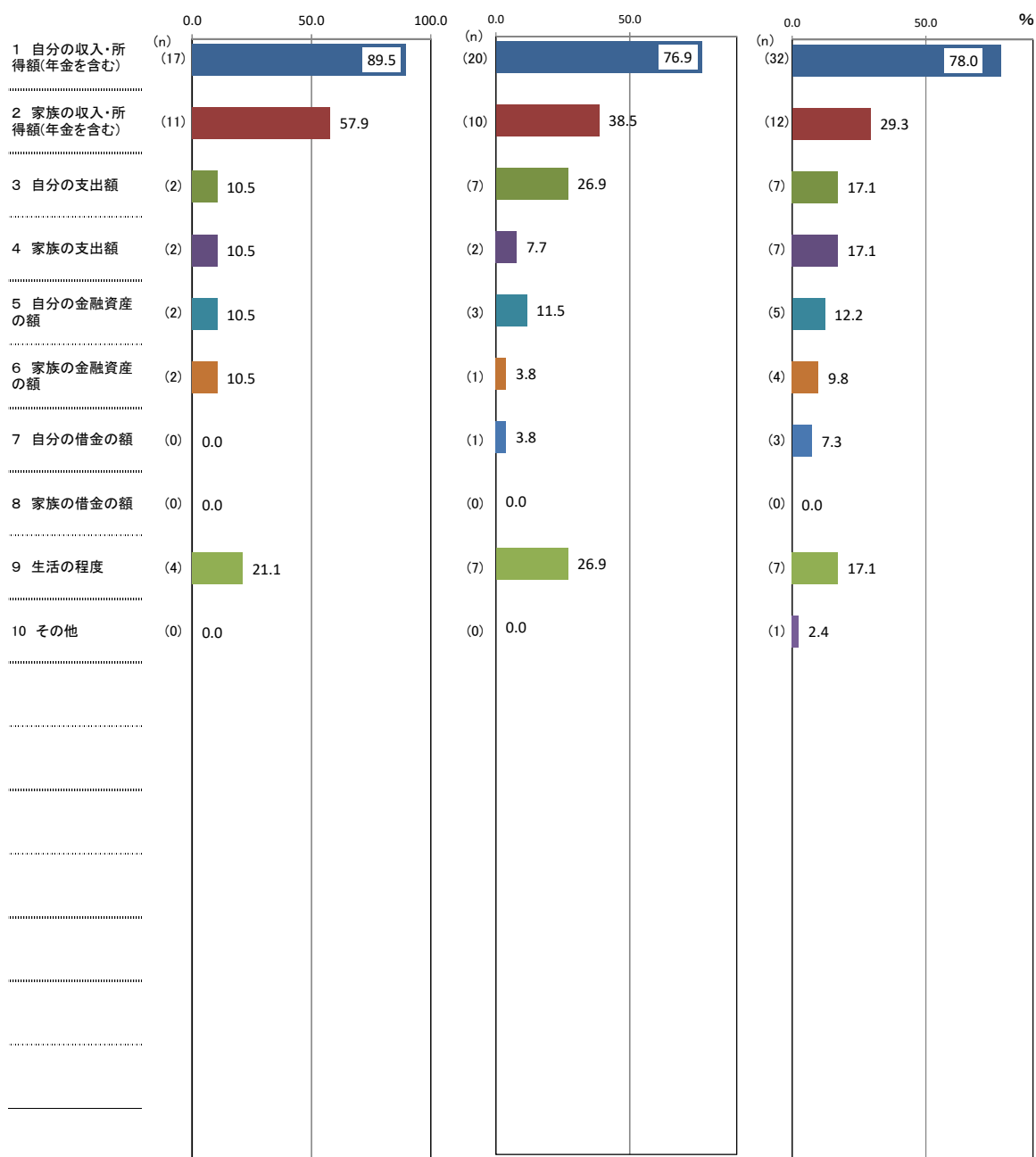
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (40) 19 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (78) 41 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (17)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (11)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (10)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (4)	3 自分の支出額 (7) 3位	3 自分の支出額 (7) 3位
		9 生活の程度 (7)	4 家族の支出額 (7) 3位
			9 生活の程度 (7)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10) ①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。』に対する回答 (複数回答可)

＜臨時雇用者＞											
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		89.5	57.9	10.5	10.5	10.5	10.5	0.0	0.0	21.1	0.0
②「どちらともいえない」		76.9	38.5	26.9	7.7	11.5	3.8	3.8	0.0	26.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		78.0	29.3	17.1	17.1	12.2	9.8	7.3	0.0	17.1	2.4

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝19人)	40	17	11	2	2	2	2	0	0	4	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝26人)	51	20	10	7	2	3	1	1	0	7	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝41人)	78	32	12	7	7	5	4	3	0	7	1

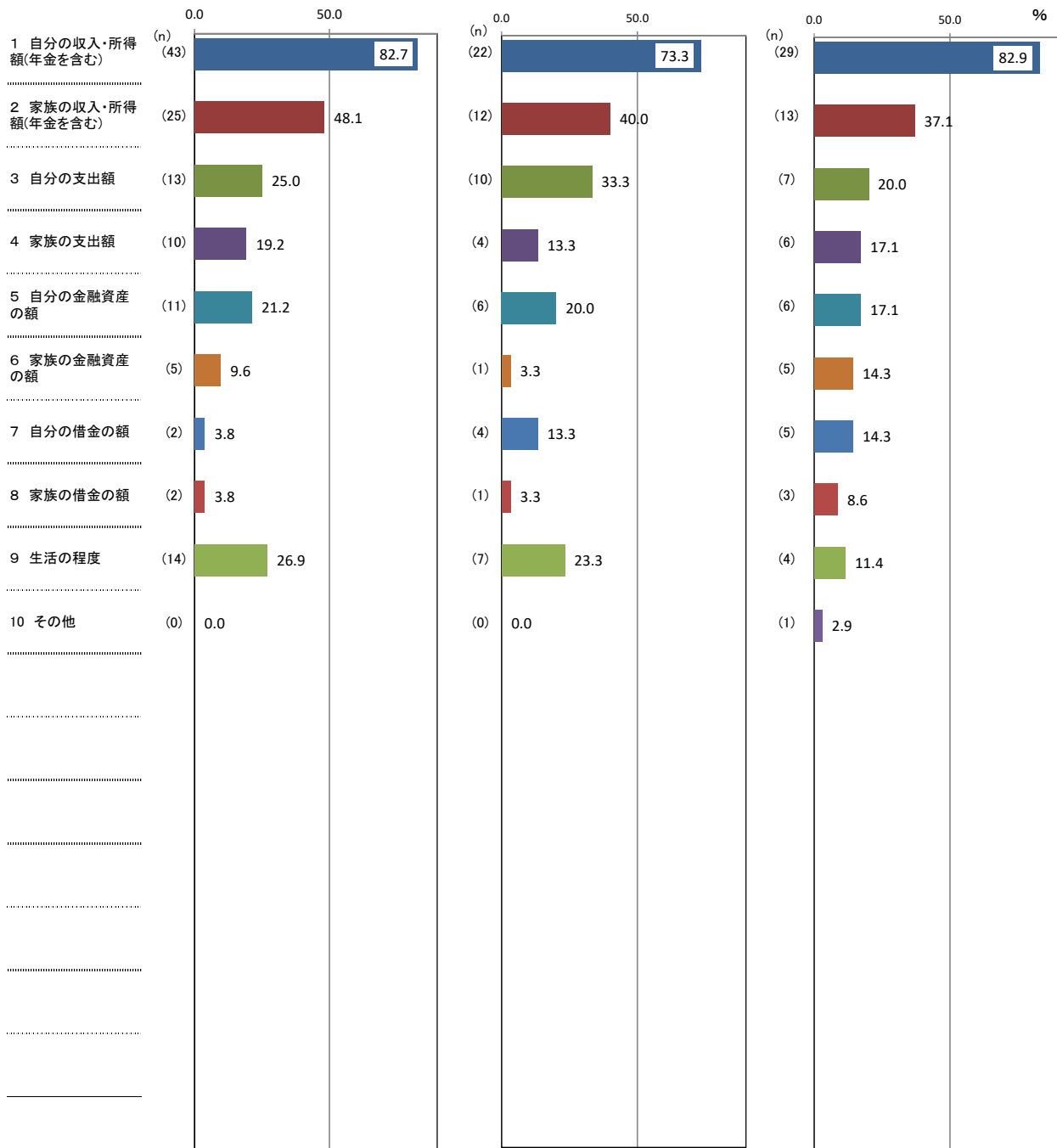
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 52 人 (125)	②「どちらともいえない」の回答 30 人 (67)	③「あまり感じない・感じない」の回答 35 人 (79)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (25)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)
3	9 生活の程度 (14)	3 自分の支出額 (10)	3 自分の支出額 (7)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<夫婦のみ>

＜夫婦のみ＞											
区分	計	(%)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.7	48.1	25.0	19.2	21.2	9.6	3.8	3.8	26.9	0.0
②「どちらともいえない」		73.3	40.0	33.3	13.3	20.0	3.3	13.3	3.3	23.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		82.9	37.1	20.0	17.1	17.1	14.3	14.3	8.6	11.4	2.9

区分	計	(件)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=52人)	125	43	25	13	10	11	5	2	2	14	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=30人)	67	22	12	10	4	6	1	4	1	7	0
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=35人)	79	29	13	7	6	6	5	5	3	4	1

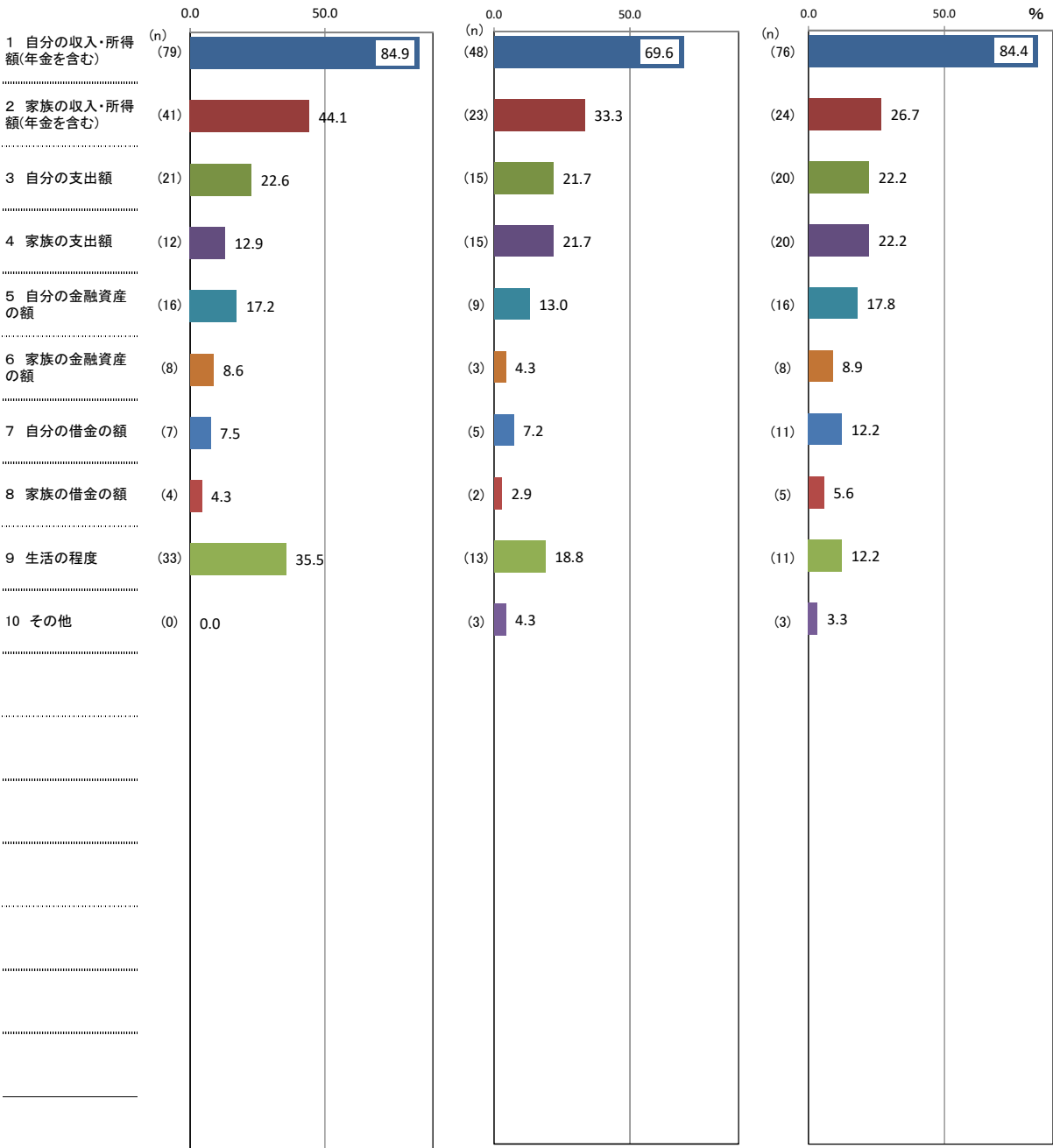
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (221) 93 人	②「どちらともいえない」の回答 (136) 69 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (194) 90 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (79)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (48)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (76)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (41)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (23)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (24)
3	9 生活の程度 (33)	3 自分の支出額 (15)	3 自分の支出額 (20)
		4 家族の支出額 (15)	4 家族の支出額 (20)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<2世代世帯>

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.9	44.1	22.6	12.9	17.2	8.6	7.5	4.3	35.5	0.0
②「どちらともいえない」		69.6	33.3	21.7	21.7	13.0	4.3	7.2	2.9	18.8	4.3
③「あまり感じない・感じない」		84.4	26.7	22.2	22.2	17.8	8.9	12.2	5.6	12.2	3.3

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=93人)	221	79	41	21	12	16	8	7	4	33	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=69人)	136	48	23	15	15	9	3	5	2	13	3
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=90人)	194	76	24	20	20	16	8	11	5	11	3

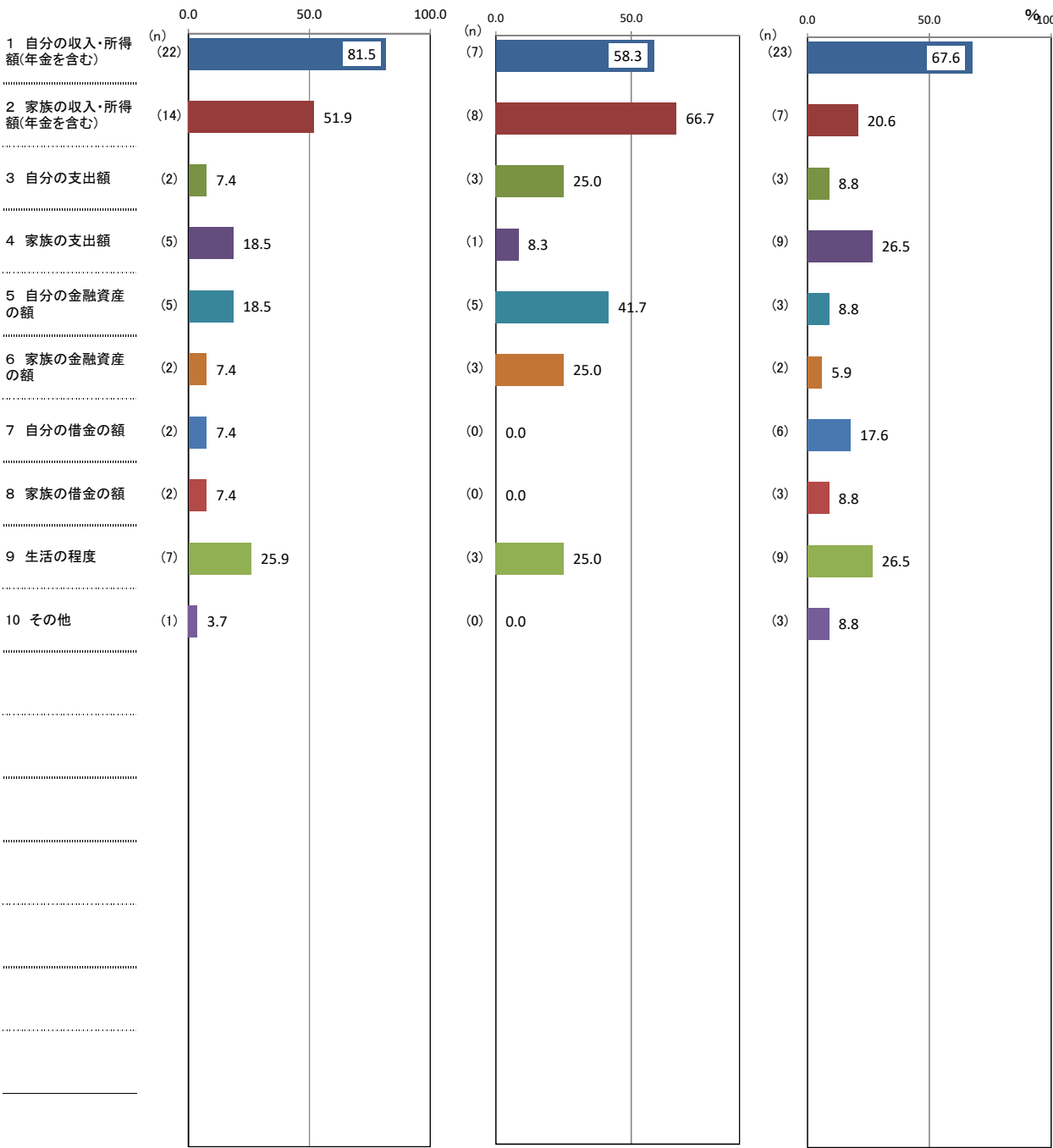
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 27 人 (62)	②「どちらともいえない」の回答 12 人 (30)	③「あまり感じない・感じない」の回答 34 人 (68)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (23)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (7)	4 家族の支出額 (9)
3	9 生活の程度 (7)	5 自分の金融資産の額 (5)	9 生活の程度 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<3世代世帯>

＜3世代世帯＞											
区分	計	(%)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.5	51.9	7.4	18.5	18.5	7.4	7.4	7.4	25.9	3.7
②「どちらともいえない」		58.3	66.7	25.0	8.3	41.7	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		67.6	20.6	8.8	26.5	8.8	5.9	17.6	8.8	26.5	8.8

区分	計	(件)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=27人)	62	22	14	2	5	5	2	2	2	7	1
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=12人)	30	7	8	3	1	5	3	0	0	3	0
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=34人)	68	23	7	3	9	3	2	6	3	9	3

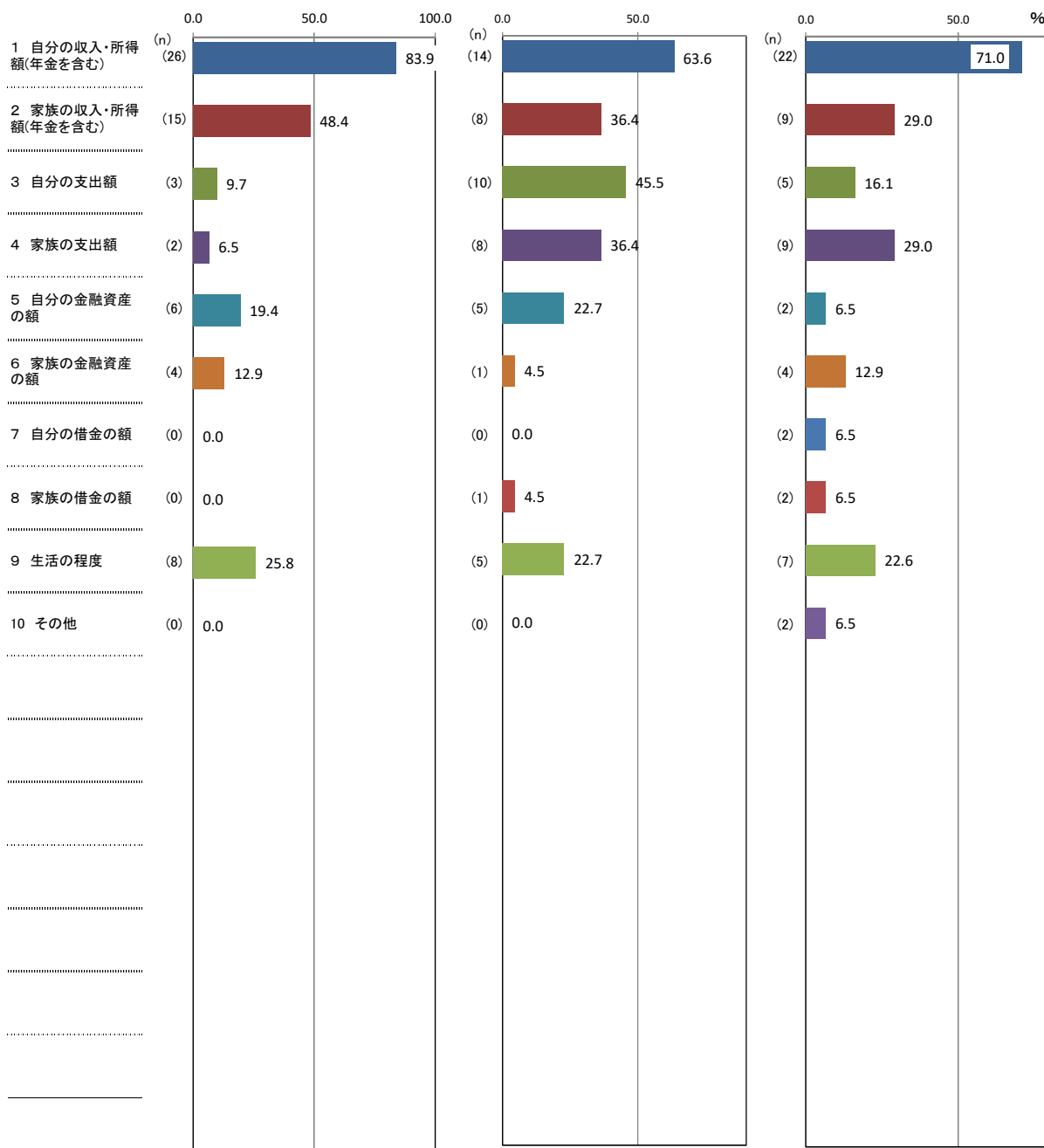
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜子どもの数1人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (64) 31 人	②「どちらともいえない」の回答 (52) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (64) 31 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (26)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (14)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	3 自分の支出額 (10)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)
3	9 生活の程度 (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8) 4 家族の支出額 (8)	4 家族の支出額 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

＜子どもの数1人＞											
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		83.9	48.4	9.7	6.5	19.4	12.9	0.0	0.0	25.8	0.0
②「どちらともいえない」		63.6	36.4	45.5	36.4	22.7	4.5	0.0	4.5	22.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		71.0	29.0	16.1	29.0	6.5	12.9	6.5	6.5	22.6	6.5

(件)											
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=31人)	64	26	15	3	2	6	4	0	0	8	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=22人)	52	14	8	10	8	5	1	0	1	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=31人)	64	22	9	5	9	2	4	2	2	7	2

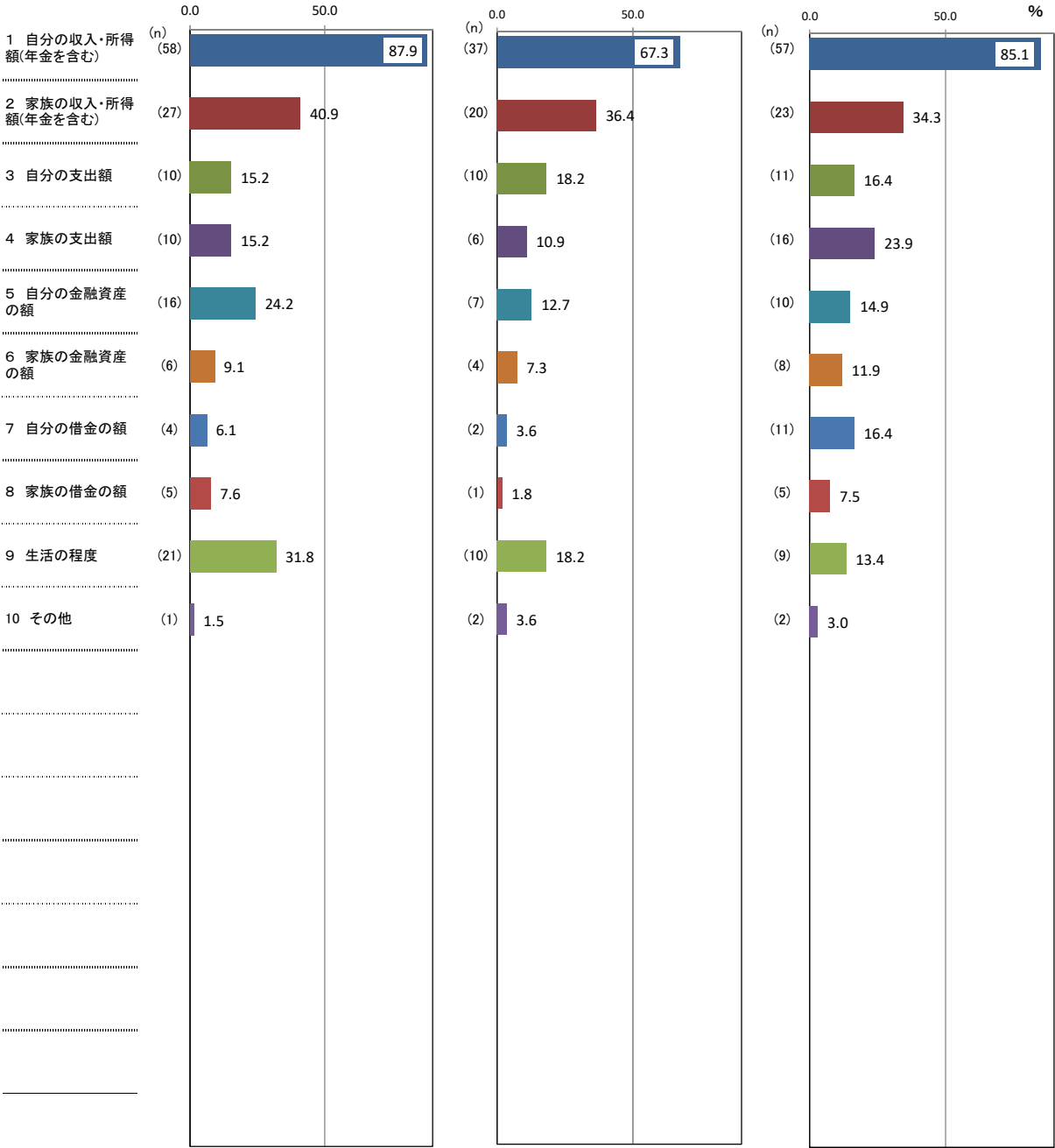
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<子どもの数2人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (158) 66 人	②「どちらともいえない」の回答 (99) 55 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (152) 67 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (58)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (37)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (57)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (27)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (20)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (23)
3	9 生活の程度 (21)	3 自分の支出額 (10) 9 生活の程度 (10)	4 家族の支出額 (16)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10) ①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。』の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。』に対する回答 (複数回答可)

<子どもの数2人>

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		87.9	40.9	15.2	15.2	24.2	9.1	6.1	7.6	31.8	1.5
②「どちらともいえない」		67.3	36.4	18.2	10.9	12.7	7.3	3.6	1.8	18.2	3.6
③「あまり感じない・感じない」		85.1	34.3	16.4	23.9	14.9	11.9	16.4	7.5	13.4	3.0

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=66人)	158	58	27	10	10	16	6	4	5	21	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=55人)	99	37	20	10	6	7	4	2	1	10	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=67人)	152	57	23	11	16	10	8	11	5	9	2

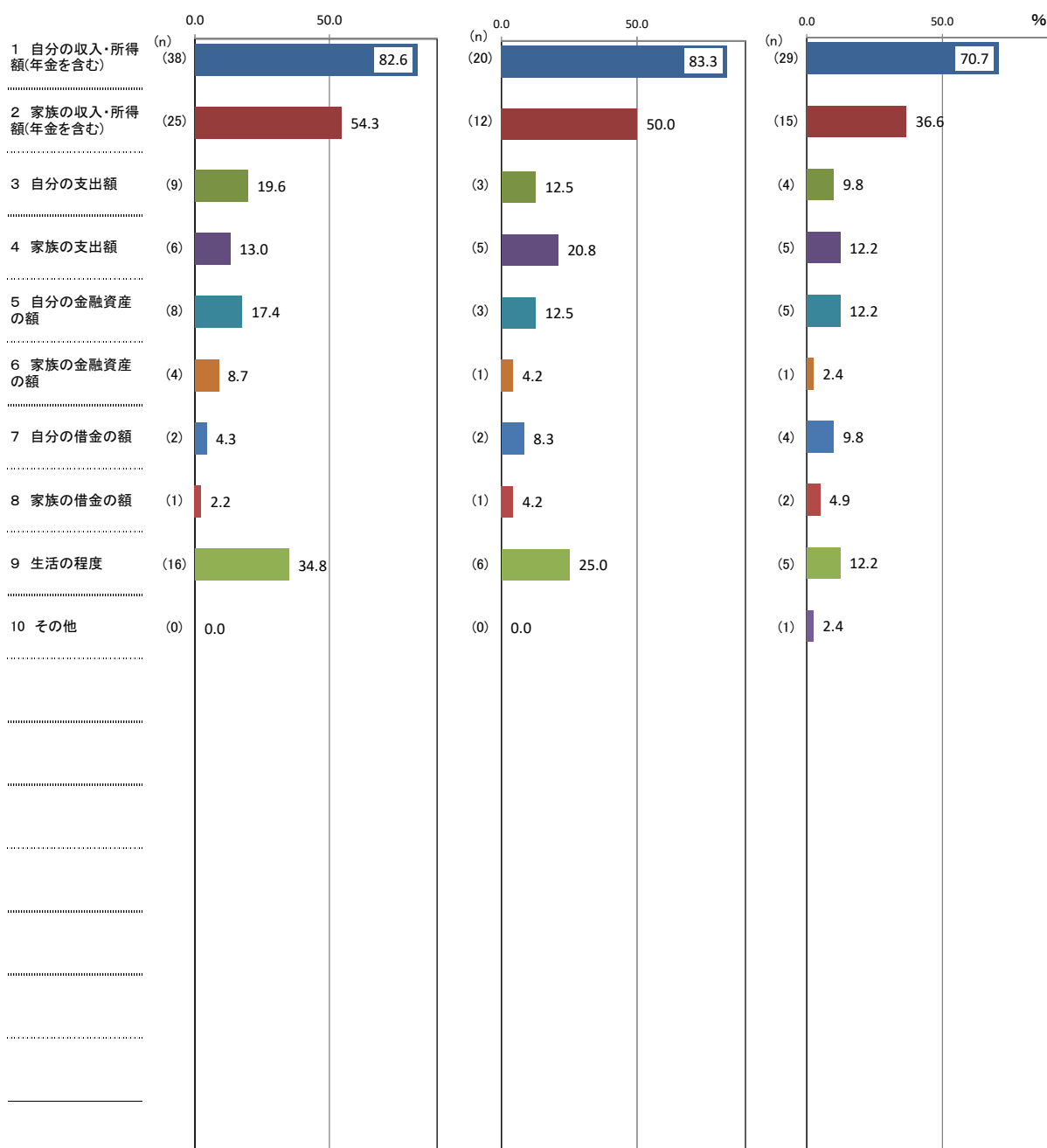
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<子どもの数3人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (109) 46 人	②「どちらともいえない」の回答 (53) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (71) 41 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (25)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)
3	9 生活の程度 (16)	9 生活の程度 (6)	4 家族の支出額 (5)
			5 自分の金融資産の額 (5)
			9 生活の程度 (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

＜子どもの数3人＞											
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.6	54.3	19.6	13.0	17.4	8.7	4.3	2.2	34.8	0.0
②「どちらともいえない」		83.3	50.0	12.5	20.8	12.5	4.2	8.3	4.2	25.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		70.7	36.6	9.8	12.2	12.2	2.4	9.8	4.9	12.2	2.4

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝46人)	109	38	25	9	6	8	4	2	1	16	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝24人)	53	20	12	3	5	3	1	2	1	6	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝41人)	71	29	15	4	5	5	1	4	2	5	1

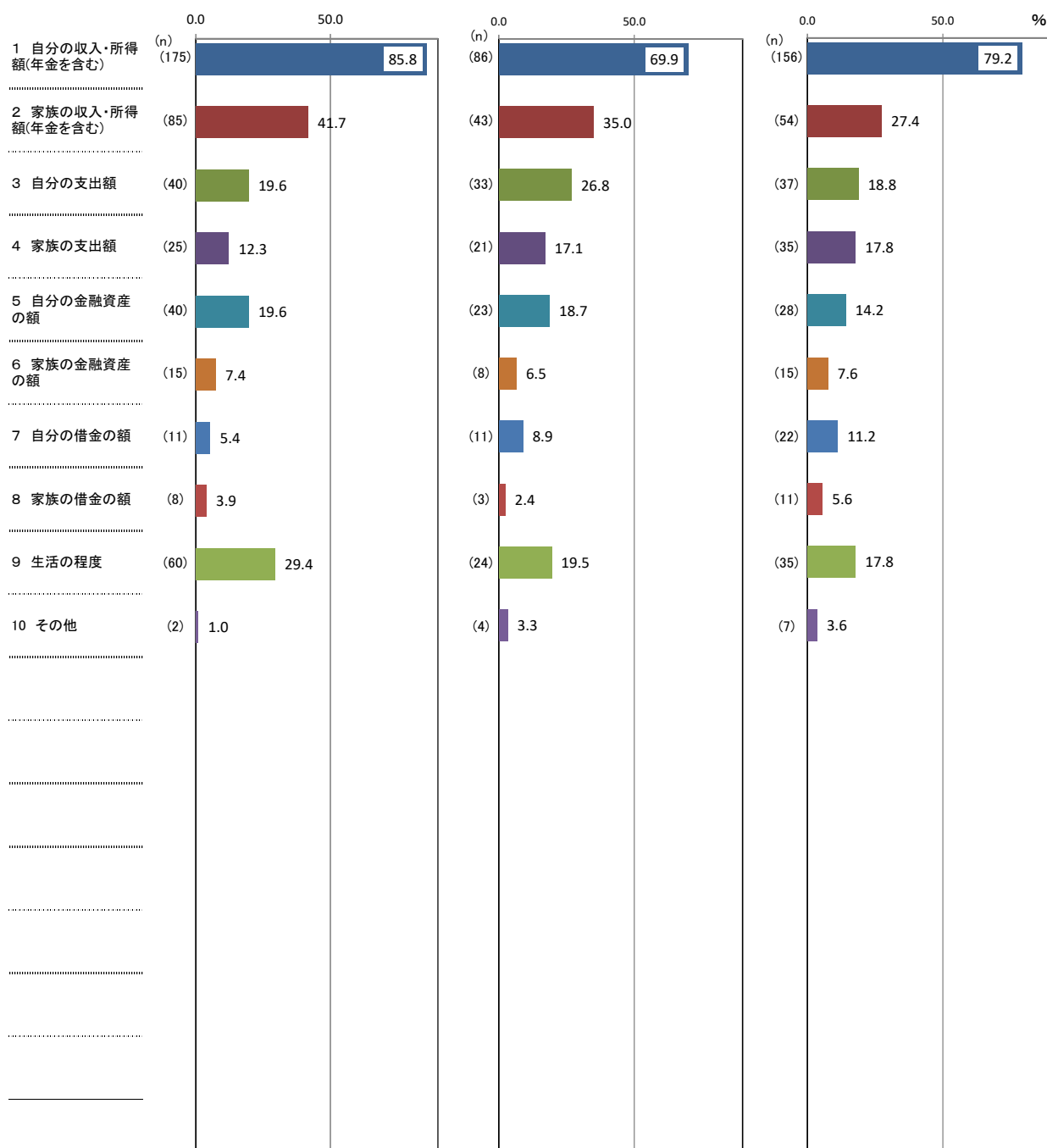
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 204 人 (461)	②「どちらともいえない」の回答 123 人 (256)	③「あまり感じない・感じない」の回答 197 人 (400)
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (175)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (86)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (156)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (85)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (43)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (54)
3	9 生活の程度 (60)	3 自分の支出額 (33)	3 自分の支出額 (37)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10) ①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。③に対する回答 (複数回答可)

＜居住年数20年以上＞											
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.8	41.7	19.6	12.3	19.6	7.4	5.4	3.9	29.4	1.0
②「どちらともいえない」		69.9	35.0	26.8	17.1	18.7	6.5	8.9	2.4	19.5	3.3
③「あまり感じない・感じない」		79.2	27.4	18.8	17.8	14.2	7.6	11.2	5.6	17.8	3.6

(件)											
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝204人)	461	175	85	40	25	40	15	11	8	60	2
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝123人)	256	86	43	33	21	23	8	11	3	24	4
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝197人)	400	156	54	37	35	28	15	22	11	35	7

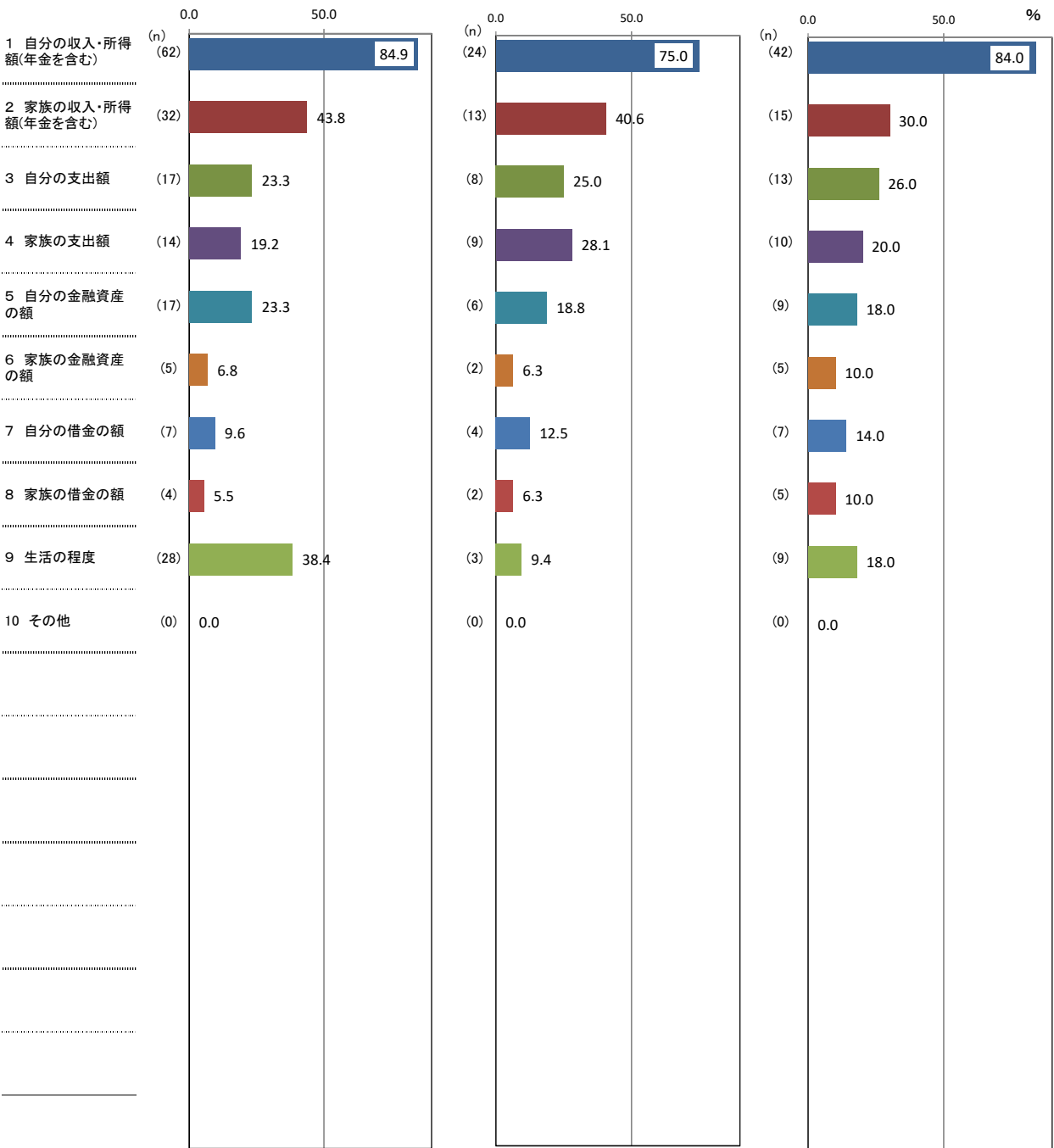
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (186)		②「どちらともいえない」の回答 (71)		③「あまり感じない・感じない」の回答 (115)	
	73 人		32 人		50 人	
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(62)	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(24)	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	(42)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	(32)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	(13)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	(15)
3	9 生活の程度	(28)	4 家族の支出額	(9)	3 自分の支出額	(13)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(10) 必要な収入や所得についての回答理由 (問1 (10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

＜県央広域振興圏＞

＜県央広域振興圏＞		(%)									
区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.9	43.8	23.3	19.2	23.3	6.8	9.6	5.5	38.4	0.0
②「どちらともいえない」		75.0	40.6	25.0	28.1	18.8	6.3	12.5	6.3	9.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		84.0	30.0	26.0	20.0	18.0	10.0	14.0	10.0	18.0	0.0

区分	計	(件)									
		1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=73人)	186	62	32	17	14	17	5	7	4	28	0
② 「どちらともいえない」の人 (サンプル数=32人)	71	24	13	8	9	6	2	4	2	3	0
③ 「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=50人)	115	42	15	13	10	9	5	7	5	9	0

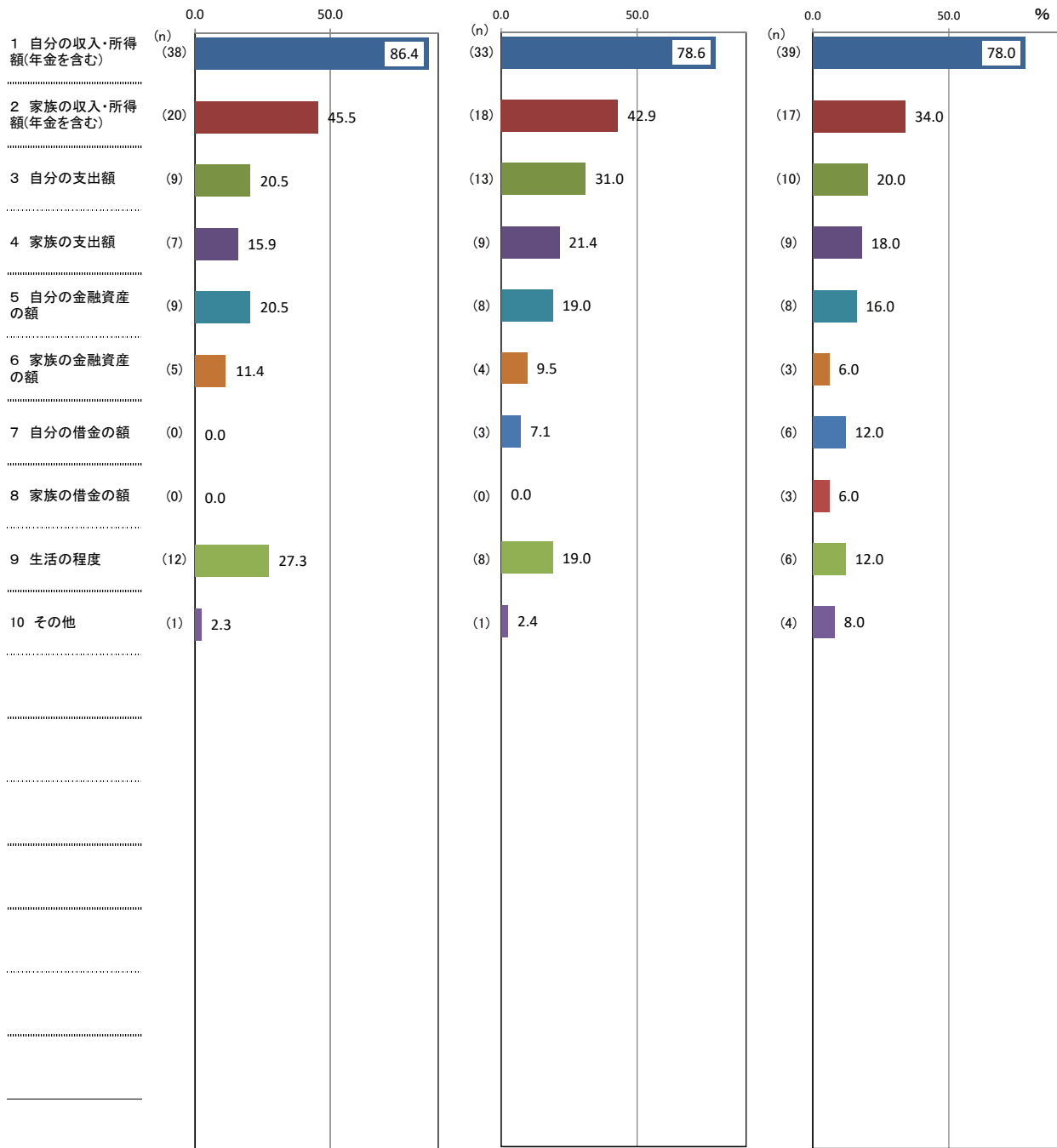
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (101) 44 人	②「どちらともいえない」の回答 (97) 42 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (105) 50 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (33)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (39)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (20)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (18)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (17)
3	9 生活の程度 (12)	3 自分の支出額 (13)	3 自分の支出額 (10)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
 (10) 必要な収入や所得についての回答理由(問1(10)「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<沿岸広域振興圏>

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		86.4	45.5	20.5	15.9	20.5	11.4	0.0	0.0	27.3	2.3
②「どちらともいえない」		78.6	42.9	31.0	21.4	19.0	9.5	7.1	0.0	19.0	2.4
③「あまり感じない・感じない」		78.0	34.0	20.0	18.0	16.0	6.0	12.0	6.0	12.0	8.0

(件)

区分	計	1 自分の収入・所得額 (年金を含む)	2 家族の収入・所得額 (年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=44人)	101	38	20	9	7	9	5	0	0	12	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=42人)	97	33	18	13	9	8	4	3	0	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=50人)	105	39	17	10	9	8	3	6	3	6	4

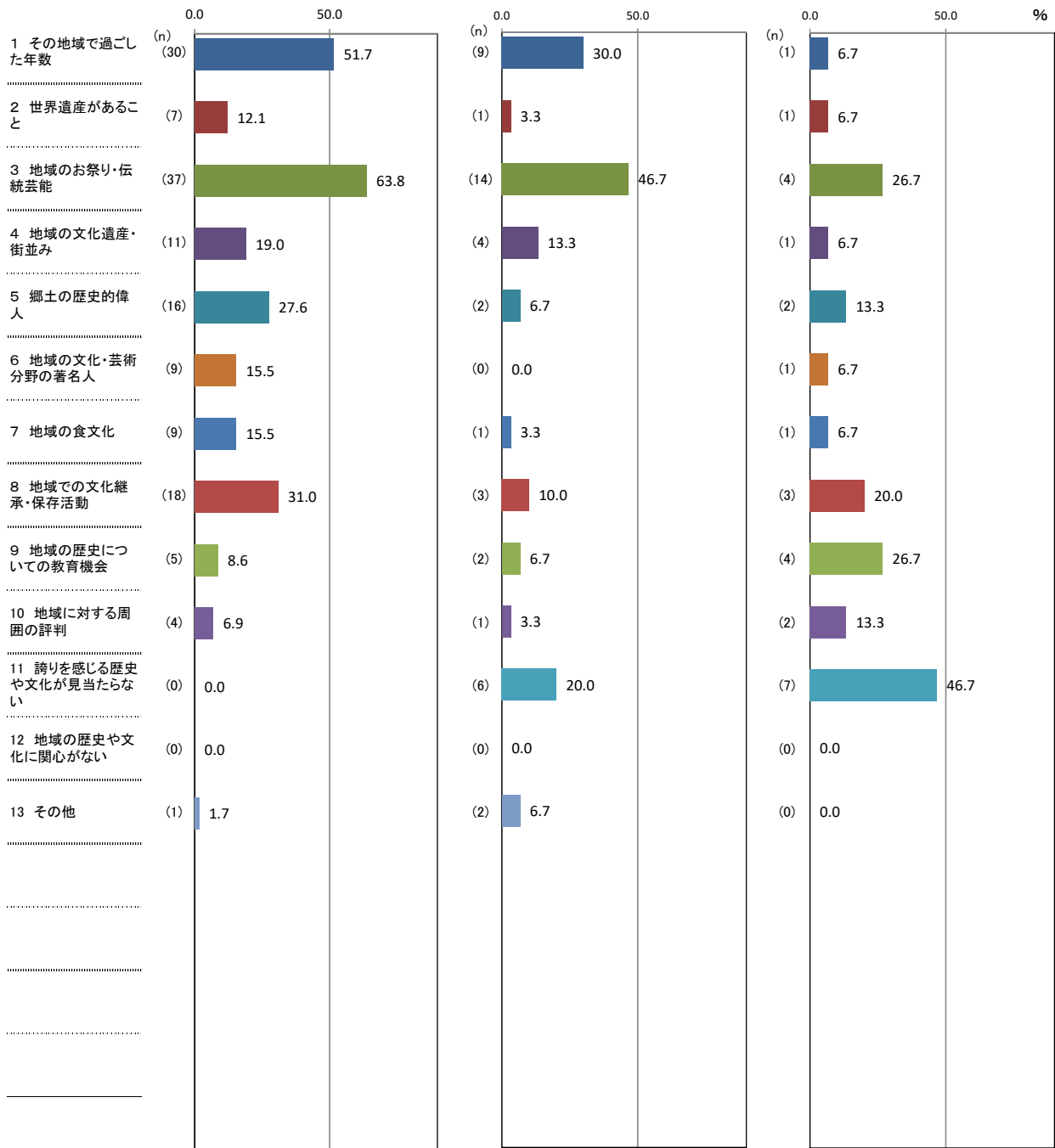
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」<70歳以上>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (147) 58 人	②「どちらともいえない」の回答 (45) 30 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (27) 15 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (37)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (14)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (7)
2	1 その地域で過ごした年数 (30)	1 その地域で過ごした年数 (9)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (4)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (18)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (6)	9 地域の歴史についての教育機会 (4)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(11) 歴史・文化への誇りにについての回答理由 (問1-1(11)「①あなたは地域の歴史や文化に誇りに感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

<70歳以上>

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 郷土の歴史・偉人の伝説	6. 地域の文化・芸術分野の著名人	7. 地域の文化	8. 地域の食文化	9. 地域での文化継承・保存活動	10. 地域の歴史についての教育機会	11. 誇りに感じる歴史や文化が見当たらない	12. 地域の歴史や文化に関心がない	13. その他
①「感じる・やや感じる」		51.7	12.1	63.8	19.0	27.6	15.5	15.5	31.0	8.6	6.9	0.0	0.0	1.7
②「どちらともいえない」		30.0	3.3	46.7	13.3	6.7	0.0	3.3	10.0	6.7	3.3	20.0	0.0	6.7
③「あまり感じない・感じない」		6.7	6.7	26.7	6.7	13.3	6.7	6.7	20.0	26.7	13.3	46.7	0.0	0.0

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 郷土の歴史・偉人の伝説	6. 地域の文化・芸術分野の著名人	7. 地域の文化	8. 地域の食文化	9. 地域での文化継承・保存活動	10. 地域の歴史についての教育機会	11. 誇りに感じる歴史や文化が見当たらない	12. 地域の歴史や文化に関心がない	13. その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=58人)	147	30	7	37	11	16	9	9	18	5	4	0	0	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=30人)	45	9	1	14	4	2	0	1	3	2	1	6	0	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=15人)	27	1	1	4	1	2	1	1	3	4	2	7	0	0

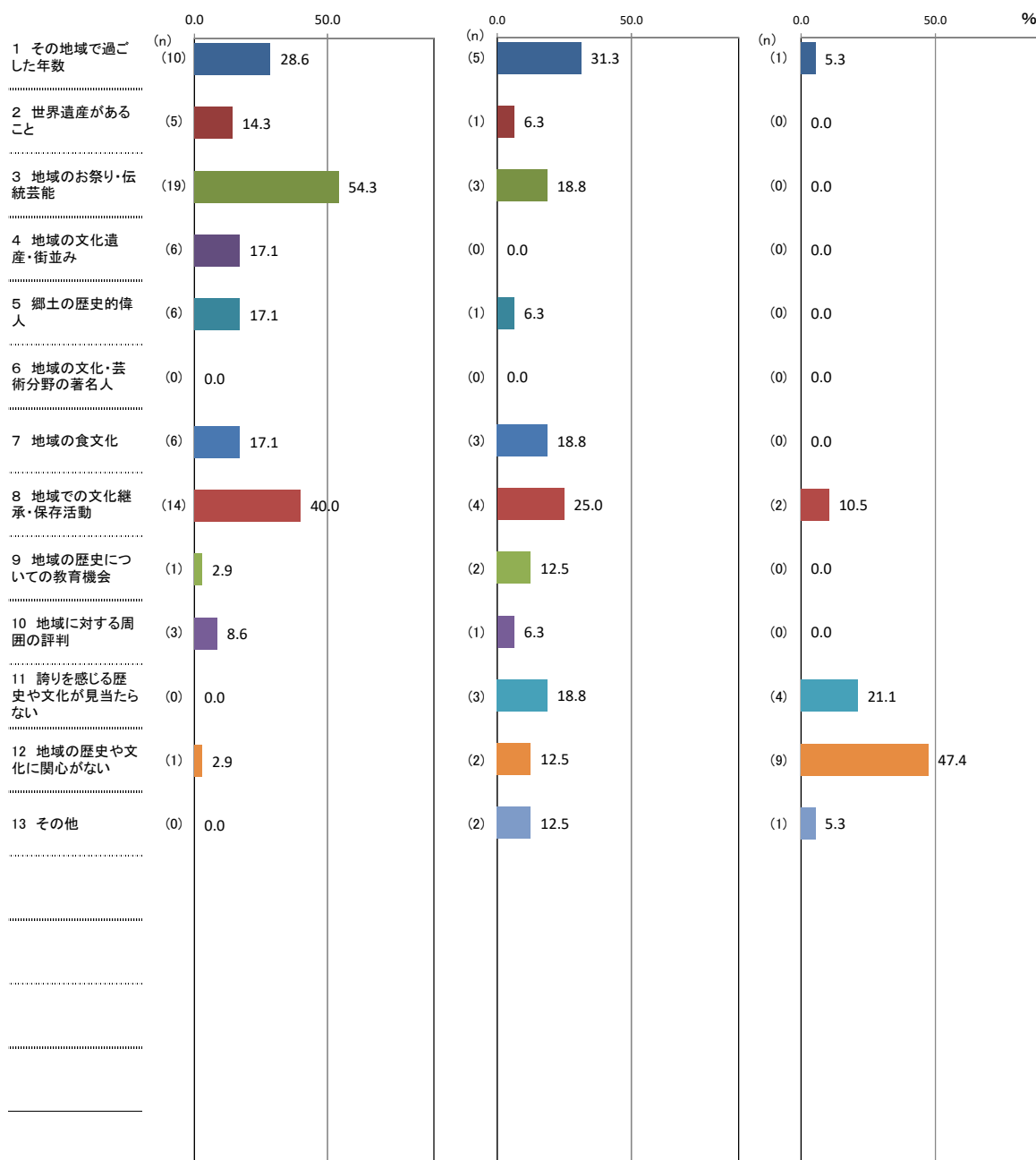
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (71) 35 人	②「どちらともいえない」の回答 (27) 16 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (17) 19 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (19)	1 その地域で過ごした年数 (5)	12 地域の歴史や文化に関心がない (9)
2	8 地域での文化継承・保存活動 (14)	8 地域での文化継承・保存活動 (4)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (4)
3	1 その地域で過ごした年数 (10)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (3) 7 地域の食文化 (3) 11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (3)	8 地域での文化継承・保存活動 (2)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(11) 歴史・文化への誇りに対する回答理由(問1-1(11))「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<3世代世帯>

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 地域の文化遺産・街並み	6. 郷土の歴史・文化的遺産・街並みの著名人	7. 地域の文化遺産・街並み	8. 地域の食文化	9. 地域の食文化・伝統・保存活動	10. 地域の歴史・文化・伝統・保存活動	11. 誇りを感じる歴史や文化が異文化にない	12. 誇りを感じる歴史や文化が異文化にない	13. その他
①「感じる・やや感じる」		28.6	14.3	54.3	17.1	17.1	0.0	17.1	40.0	2.9	8.6	0.0	2.9	0.0
②「どちらともいえない」		31.3	6.3	18.8	0.0	6.3	0.0	18.8	25.0	12.5	6.3	18.8	12.5	12.5
③「あまり感じない・感じない」		5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	21.1	47.4	5.3

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 地域の文化遺産・街並み	6. 郷土の歴史・文化的遺産・街並みの著名人	7. 地域の文化遺産・街並み	8. 地域の食文化	9. 地域の食文化・伝統・保存活動	10. 地域の歴史・文化・伝統・保存活動	11. 誇りを感じる歴史や文化が異文化にない	12. 誇りを感じる歴史や文化が異文化にない	13. その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=35人)	71	10	5	19	6	6	0	6	14	1	3	0	1	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=16人)	27	5	1	3	0	1	0	3	4	2	1	3	2	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=19人)	17	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	9	1

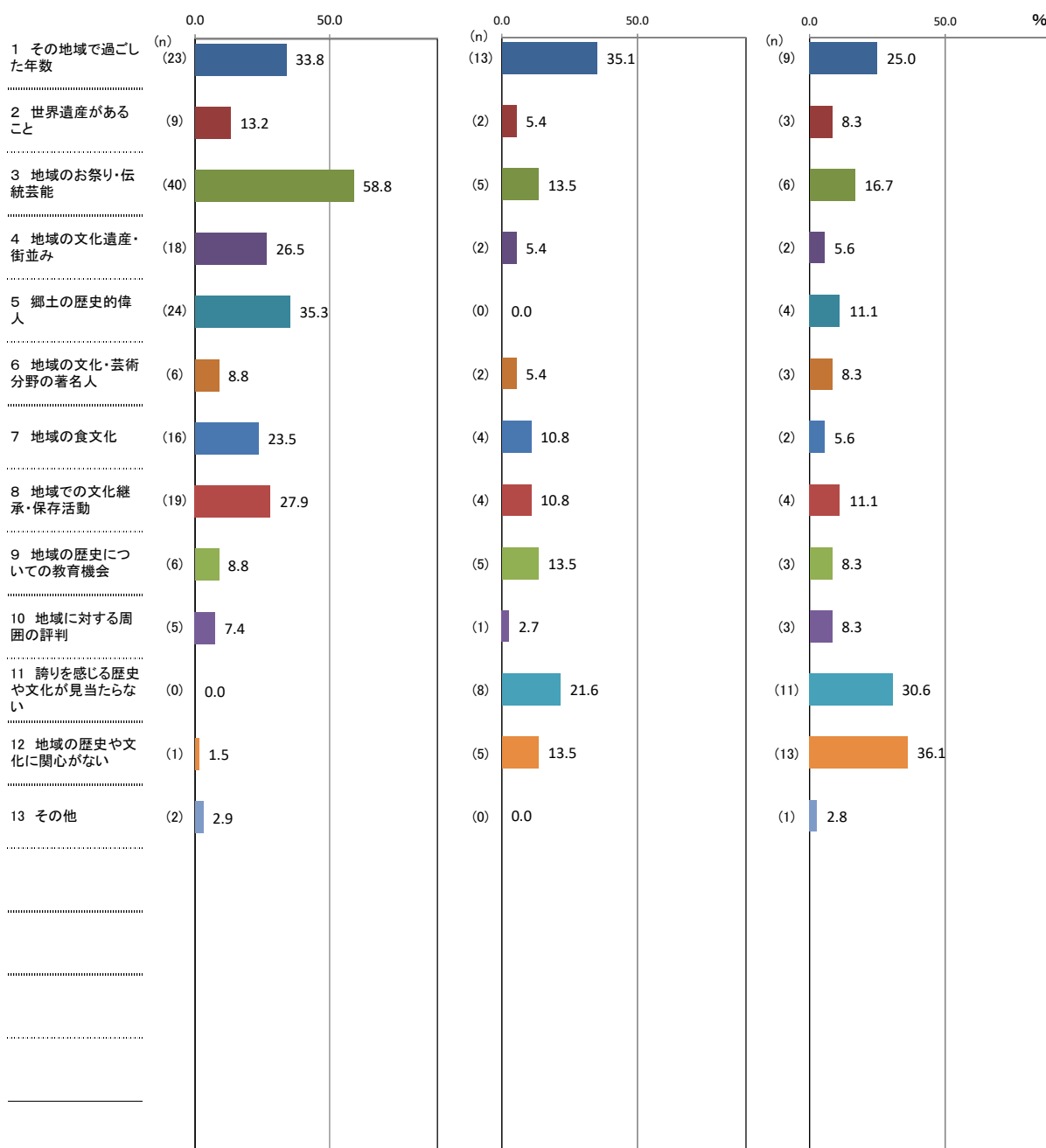
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (169) 68 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 37 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (64) 36 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (40)	1 その地域で過ごした年数 (13)	12 地域の歴史や文化に関心がない (13)
2	5 郷土の歴史的偉人 (24)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (8)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (11)
3	1 その地域で過ごした年数 (23)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (5) 9 地域の歴史についての教育機会 (5) 12 地域の歴史や文化に関心がない (5)	1 その地域で過ごした年数 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(11) 歴史・文化への誇りに対する回答理由(問1-1(11))「①あなたは地域の歴史や文化に誇りに感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<子どもはいない>

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 地域の文化遺産・街並み	6. 郷土の歴史・文化的偉人の著名人	7. 地域の文化・芸術分野	8. 地域の食文化	9. 地域での文化継承・保存活動	10. 地域の歴史についての教育機会	11. 誇りに感じる歴史や文化が異文化にない	12. 誇りに感じる歴史や文化に史や文化に	13. その他
①「感じる・やや感じる」		33.8	13.2	58.8	26.5	35.3	8.8	23.5	27.9	8.8	7.4	0.0	1.5	2.9
②「どちらともいえない」		35.1	5.4	13.5	5.4	0.0	5.4	10.8	10.8	13.5	2.7	21.6	13.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	8.3	16.7	5.6	11.1	8.3	5.6	11.1	8.3	8.3	30.6	36.1	2.8

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 地域の文化遺産・街並み	6. 郷土の歴史・文化的偉人の著名人	7. 地域の文化・芸術分野	8. 地域の食文化	9. 地域での文化継承・保存活動	10. 地域の歴史についての教育機会	11. 誇りに感じる歴史や文化が異文化にない	12. 誇りに感じる歴史や文化に史や文化に	13. その他
①「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=68人)	169	23	9	40	18	24	6	16	19	6	5	0	1	2
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=37人)	51	13	2	5	2	0	2	4	4	5	1	8	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=36人)	64	9	3	6	2	4	3	2	4	3	3	11	13	1

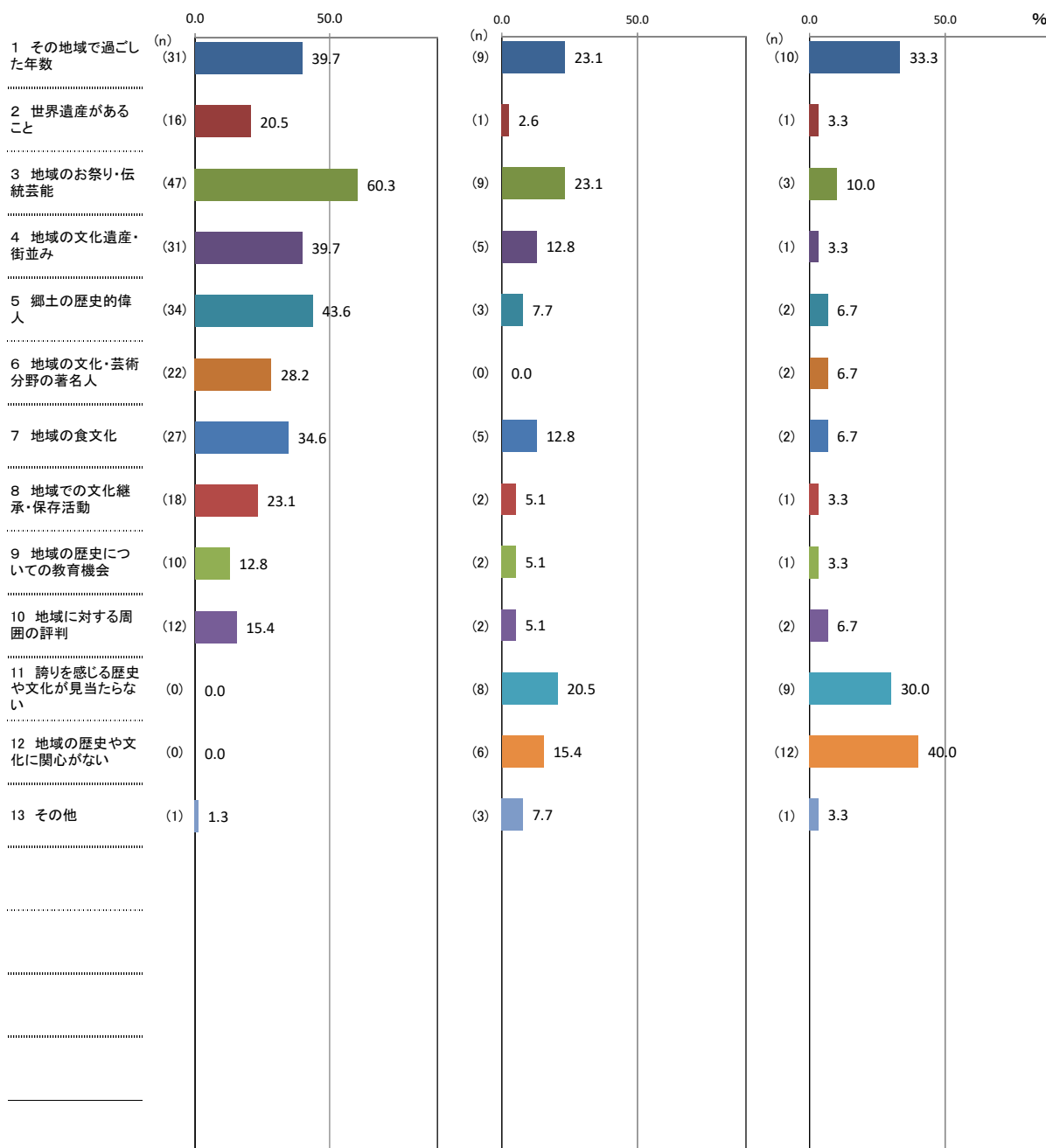
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

① 有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (249) 78 人	②「どちらともいえない」の回答 (55) 39 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (47) 30 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (47)	1 その地域で過ごした年数 (9) 1位	12 地域の歴史や文化に関心がない (12)
2	5 郷土の歴史的偉人 (34)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (9)	1 その地域で過ごした年数 (10)
3	1 その地域で過ごした年数 (31) 3位 4 地域の文化遺産・街並み (31)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (8)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(11) 歴史・文化への誇りに対する回答理由(問1-1(11))「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県中央広域振興圏＞

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域の文化遺産・街並み	5. 郷土の歴史・史的偉人の著名人	6. 地域の文化・芸術分野の著名人	7. 地域の食文化	8. 地域での文化継承・保存活動	9. 地域の歴史についての教育機会	10. 地域に対する周囲の評判	11. 誇りを感じる歴史や文化が異文化から来ている	12. 地域の歴史や文化に興味がない	13. その他
①「感じる・やや感じる」		39.7	20.5	60.3			28.2	34.6	23.1	12.8	15.4	0.0	0.0	1.3
②「どちらともいえない」		23.1	2.6	23.1	12.8	7.7	0.0	12.8	5.1	5.1	5.1	20.5	15.4	7.7
③「あまり感じない・感じない」		33.3	3.3	10.0			6.7	6.7	3.3	3.3	6.7	30.0	40.0	3.3

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域の文化遺産・街並み	5. 郷土の歴史・史的偉人の著名人	6. 地域の文化・芸術分野の著名人	7. 地域の食文化	8. 地域での文化継承・保存活動	9. 地域の歴史についての教育機会	10. 地域に対する周囲の評判	11. 誇りを感じる歴史や文化が異文化から来ている	12. 地域の歴史や文化に興味がない	13. その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=78人)	249	31	16	47	31	34	22	27	18	10	12	0	0	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=39人)	55	9	1	9	5	3	0	5	2	2	2	8	6	3
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=30人)	47	10	1	3	1	2	2	2	1	1	2	9	12	1

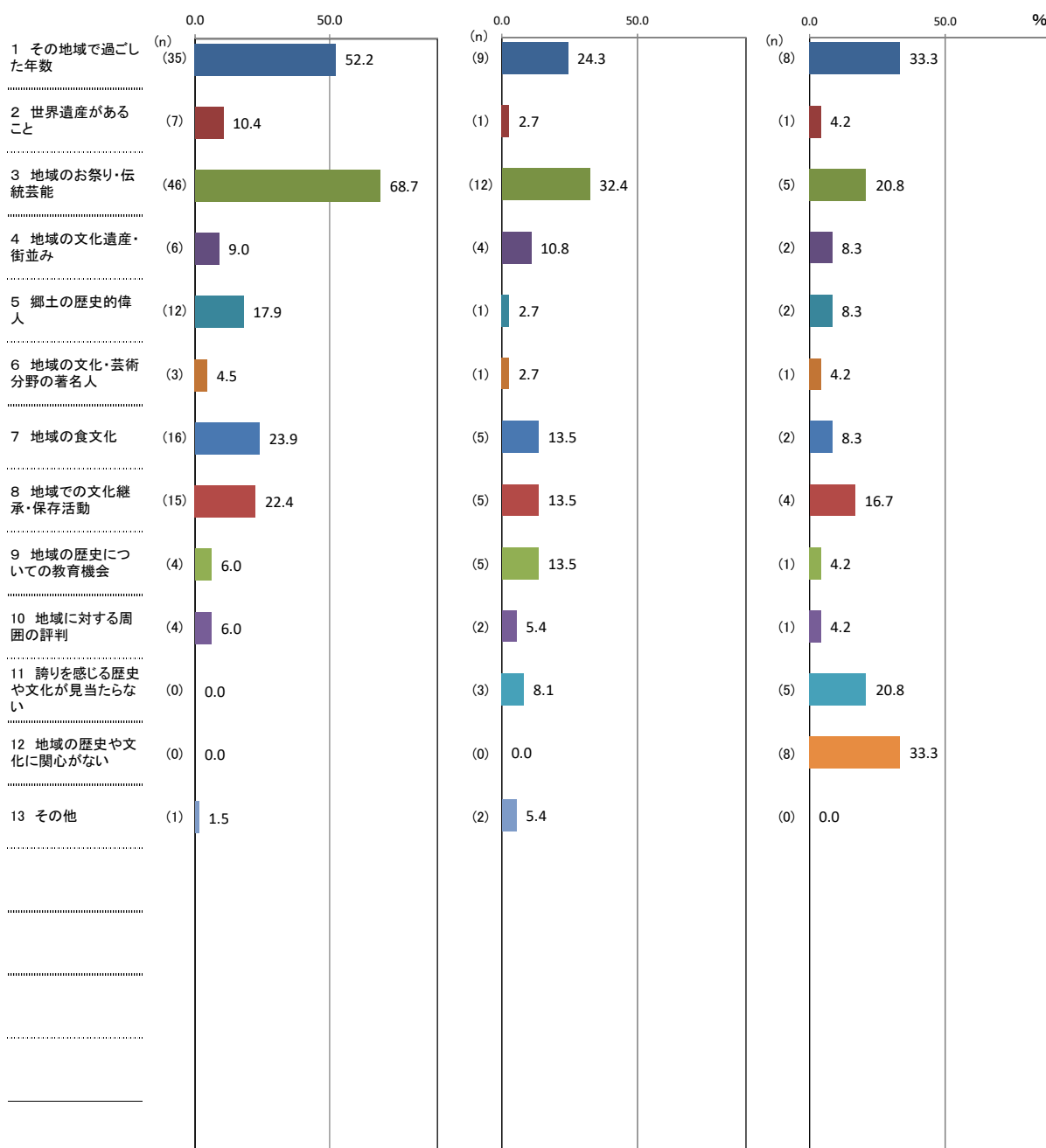
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (149) 67 人	②「どちらともいえない」の回答 (50) 37 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (40) 24 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (46)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (12)	1 その地域で過ごした年数 (8)
2	1 その地域で過ごした年数 (35)	1 その地域で過ごした年数 (9)	12 地域の歴史や文化に関心がない (8)
3	7 地域の食文化 (16)	7 地域の食文化 (5) 8 地域での文化継承・保存活動 (5) 9 地域の歴史についての教育機会 (5)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (5) 11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (5)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(11) 歴史・文化への誇りに対する回答理由(問1-1(11))「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<沿岸広域振興圏>

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 地域の文化遺産・街並み	6. 郷土の歴史・文化的遺産・街並み	7. 地域の文化・芸術分野の著名人	8. 地域の食文化	9. 地域での文化継承・保存活動	10. 地域での歴史・文化に関する教育機会	11. 地域に対する周囲の評判	12. 誇りを感じる歴史や文化が異文化にない	13. その他
①「感じる・やや感じる」		52.2	10.4	68.7			17.9	4.5	23.9	22.4	6.0	6.0	0.0	1.5
②「どちらともいえない」		24.3	2.7	32.4			2.7	2.7	13.5	13.5	13.5	5.4	8.1	5.4
③「あまり感じない・感じない」		33.3	4.2	20.8			8.3	4.2	8.3	16.7	4.2	4.2	20.8	33.3
														0.0

区分	計	1. その地域で過ごした年数	2. 世界遺産があること	3. 地域のお祭り・伝統芸能	4. 地域のお化遺産・街並み	5. 地域の文化遺産・街並み	6. 郷土の歴史・文化的遺産・街並み	7. 地域の文化・芸術分野の著名人	8. 地域の食文化	9. 地域での文化継承・保存活動	10. 地域での歴史・文化に関する教育機会	11. 地域に対する周囲の評判	12. 誇りを感じる歴史や文化が異文化にない	13. その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=67人)	149	35	7	46		6	12	3	16	15	4	4	0	1
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=37人)	50	9	1	12		4	1	1	5	5	5	2	3	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=24人)	40	8	1	5		2	2	1	2	4	1	1	5	8
														0

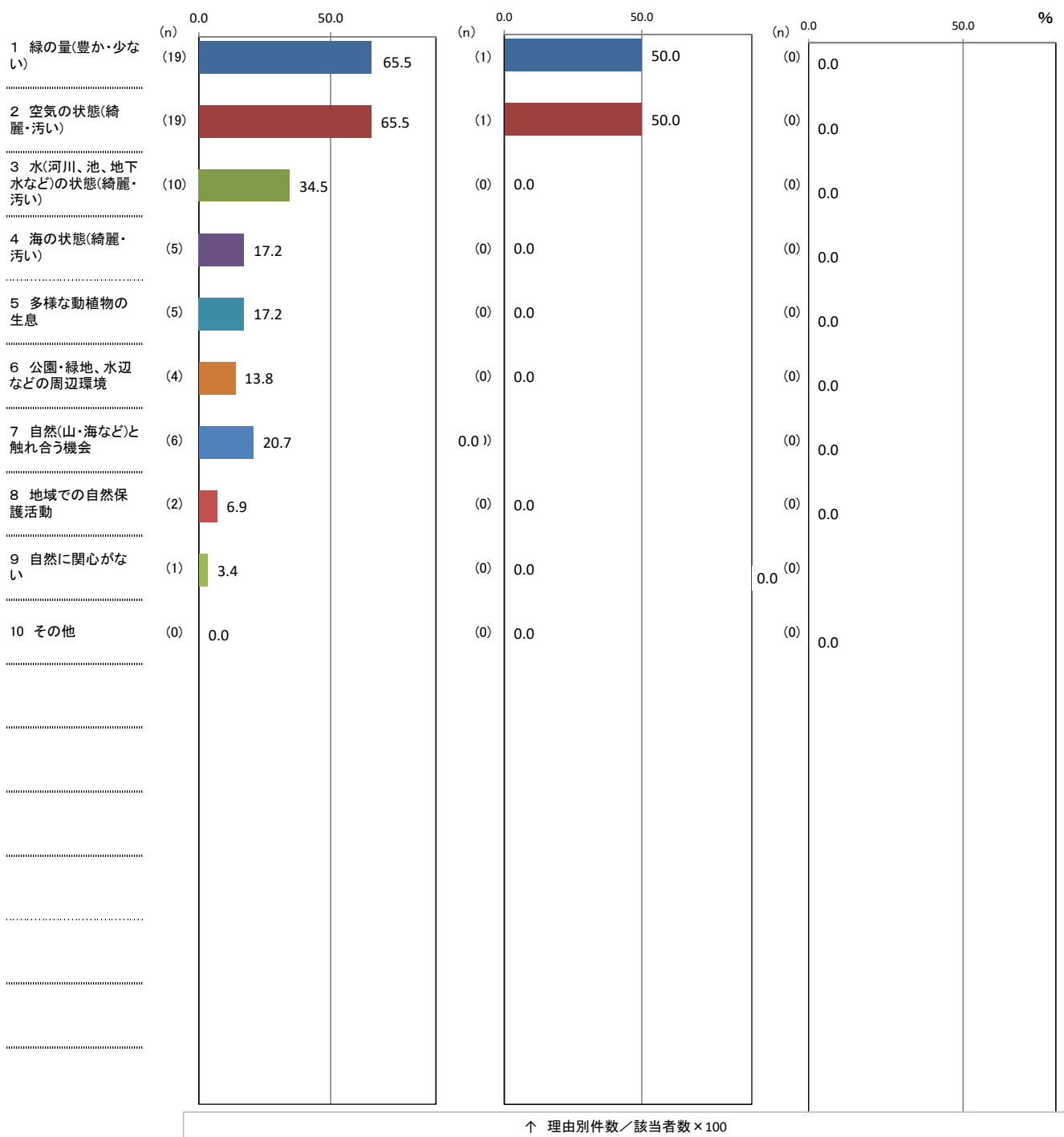
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「自然のゆたかさ」＜20～29歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (71) 29 人	②「どちらともいえない」の回答 (2) 2 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (0) 0 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (19) 1位	1 緑の量(豊か・少ない) (1) 1位	
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (19)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (1)	
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (10)		

()内の数字は件数。



【補足調査】

(12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12))「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<20～29歳>

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い))	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		65.5	65.5	34.5	17.2	17.2	13.8	20.7	6.9	3.4	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い))	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=29人)	71	19	19	10	5	5	4	6	2	1	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=2人)	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=0人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

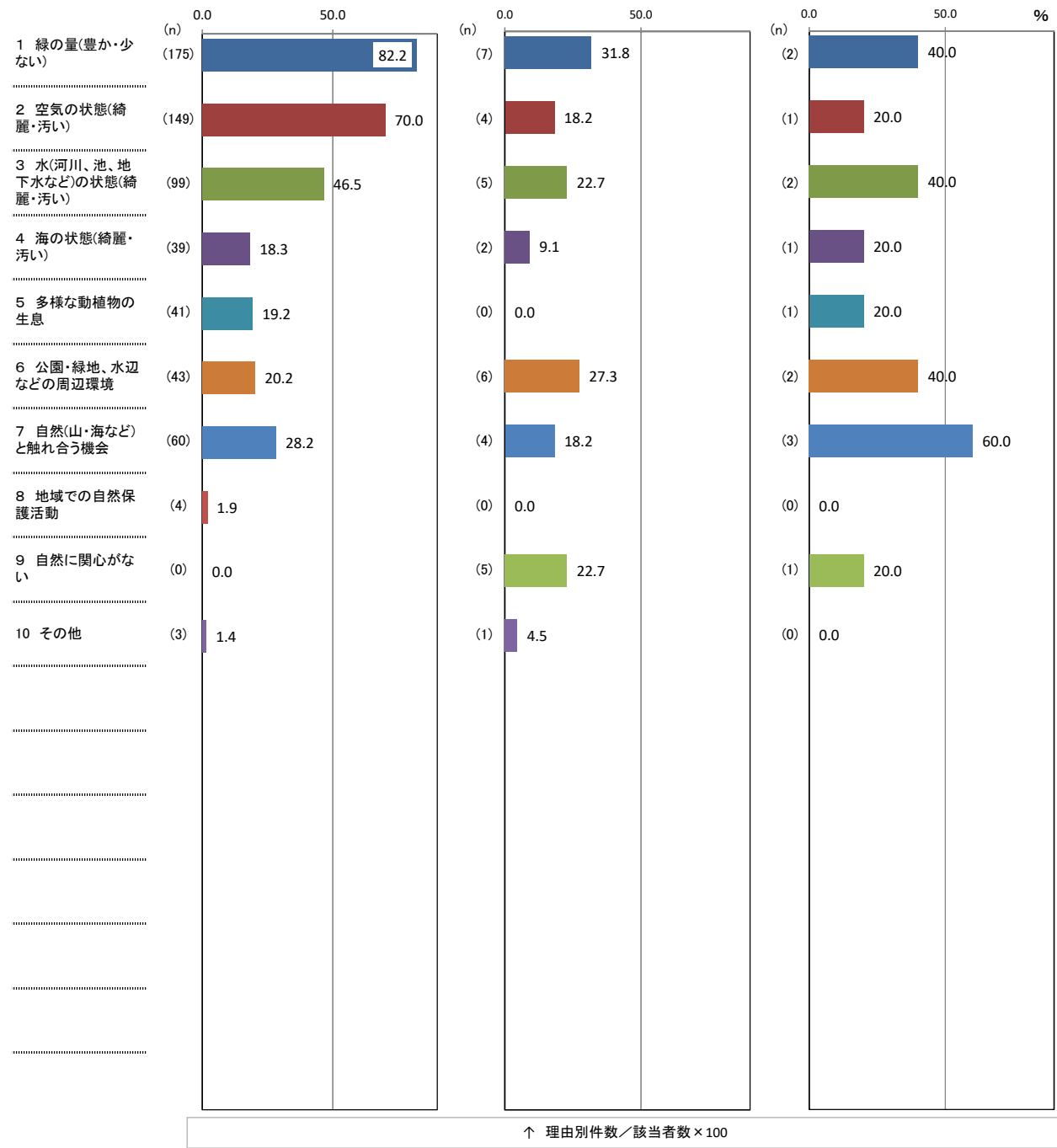
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「自然のゆたかさ」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 213 人 (613)	②「どちらともいえない」の回答 22 人 (34)	③「あまり感じない・感じない」の回答 5 人 (13)
1	1 緑の量(豊か・少ない) (175)	1 緑の量(豊か・少ない) (7)	7 自然(山・海など)と触れ合う機会 (3)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (149)	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (6)	1 緑の量(豊か・少ない) (2)
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (99)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (5) 9 自然に関心がない (5)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (2) 6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (2)

()内の数字は件数。



【補足調査】

(12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12))「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜常用雇用者＞

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い))	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.2	70.0	46.5	18.3	19.2	20.2	28.2	1.9	0.0	1.4
②「どちらともいえない」		31.8	18.2	22.7	9.1	0.0	27.3	18.2	0.0	22.7	4.5
③「あまり感じない・感じない」		40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	60.0	0.0	20.0	0.0

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い))	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=213人)	613	175	149	99	39	41	43	60	4	0	3
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=22人)	34	7	4	5	2	0	6	4	0	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=5人)	13	2	1	2	1	1	2	3	0	1	0

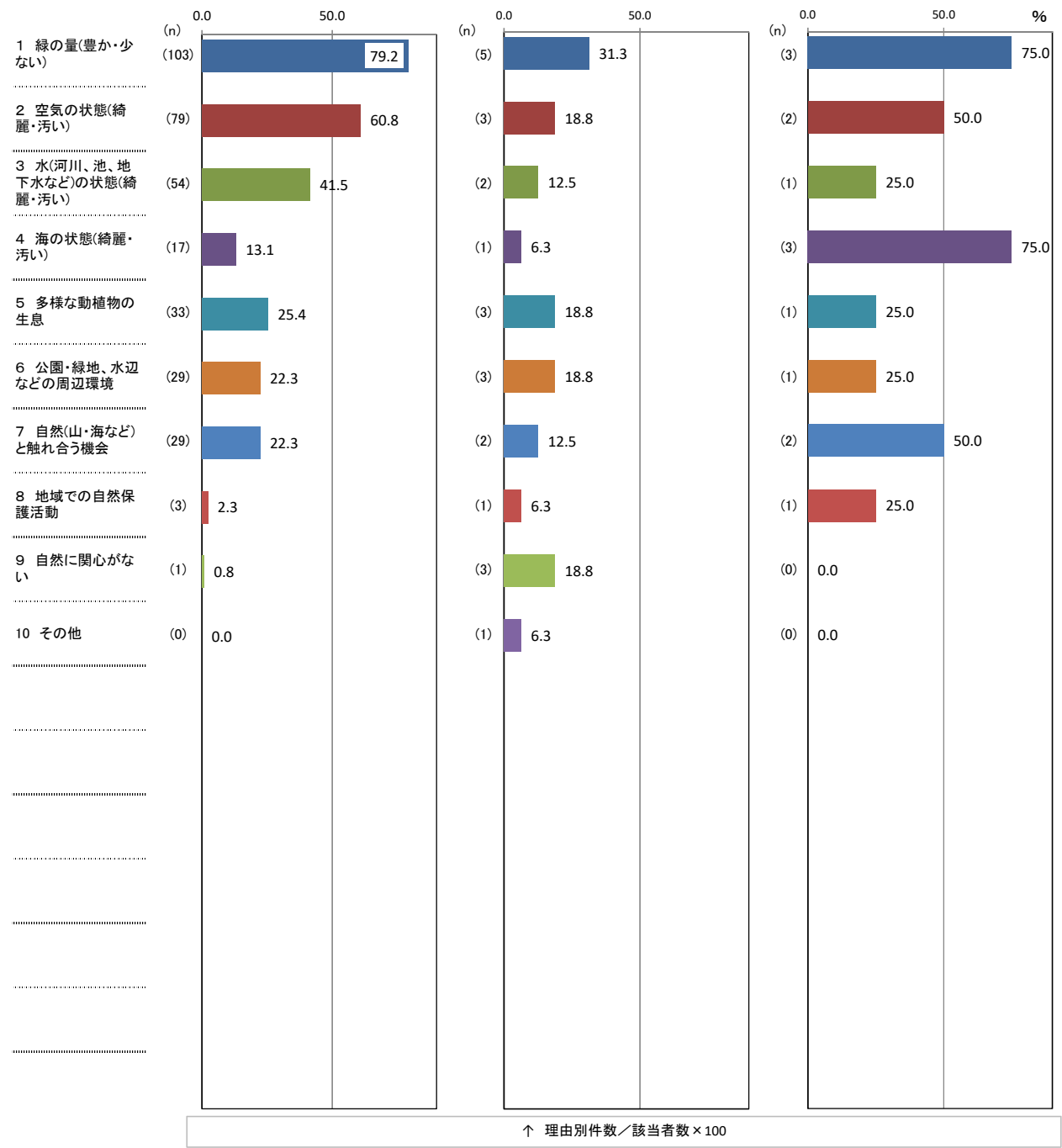
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分野別実感の回答結果「自然のゆたかさ」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 130 人 (348)	②「どちらともいえない」の回答 16 人 (24)	③「あまり感じない・感じない」の回答 4 人 (14)
1	1 緑の量(豊か・少ない) (103)	1 緑の量(豊か・少ない) (5)	1 緑の量(豊か・少ない) (3)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (79)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (3)	4 海の状態(綺麗・汚い) (3)
3	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)) (54)	5 多様な動植物の生息 (3)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (2)
		6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (3)	7 自然(山・海など)と触れ合う機会 (2)
		9 自然に関心がない (3)	

()内の数字は件数。



【補足調査】

(12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12))「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもははい＞

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い))	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		79.2	60.8	41.5	13.1	25.4	22.3	22.3	2.3	0.8	0.0
②「どちらともいえない」		31.3	18.8	12.5	6.3	18.8	18.8	12.5	6.3	18.8	6.3
③「あまり感じない・感じない」		75.0	50.0	25.0	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い))	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=130人)	348	103	79	54	17	33	29	29	3	1	0
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=16人)	24	5	3	2	1	3	3	2	1	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=4人)	14	3	2	1	3	1	1	2	1	0	0

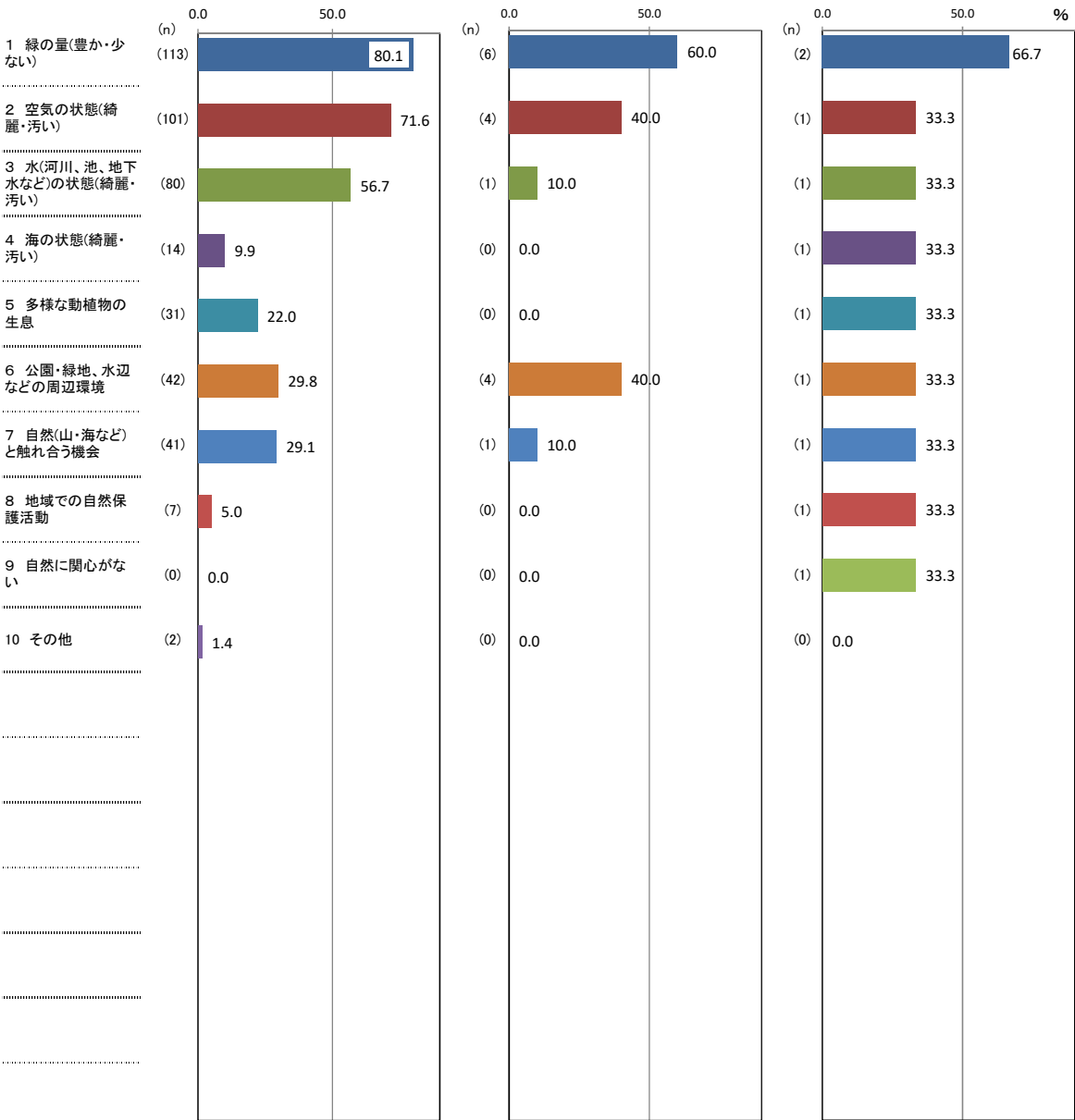
(2) 県民意識調査(補足調査)回答意見取りまとめ結果

①有意な差が見られた属性(H31 - R7)(単純集計)

分性別実感の回答結果「自然のゆたかさ」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 141 人 (431)	②「どちらともいえない」の回答 10 人 (16)	③「あまり感じない・感じない」の回答 3 人 (10)
1	1 緑の量(豊か・少ない) (113)	1 緑の量(豊か・少ない) (6)	1 緑の量(豊か・少ない) (2)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (101)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (4)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (1)
3	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)) (80)	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (4) 2位	3 水(河川、池、地下水などの状態(綺麗・汚い)) (1) 2位 4 海の状態(綺麗・汚い) (1) 5 多様な動植物の生息 (1) 6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (1) 7 自然(山・海など)と触れ合う機会 (1) 8 地域での自然保護活動 (1) 9 自然に関心がない (1)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12))「①あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県央広域振興圏＞

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態)(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」		80.1	71.6	56.7	9.9	22.0	29.8	29.1	5.0	0.0	1.4
②「どちらともいえない」		60.0	40.0	10.0	0.0	0.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0

区分	計	1 緑の量(豊か・少ない)	2 空気の状態(綺麗・汚い)	3 水(河川、池、地下水などの状態)(綺麗・汚い)	4 海の状態(綺麗・汚い)	5 多様な動植物の生息	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	7 自然(山・海など)と触れ合う機会	8 地域での自然保護活動	9 自然に関心がない	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数=141人)	431	113	101	80	14	31	42	41	7	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数=10人)	16	6	4	1	0	0	4	1	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数=3人)	10	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0

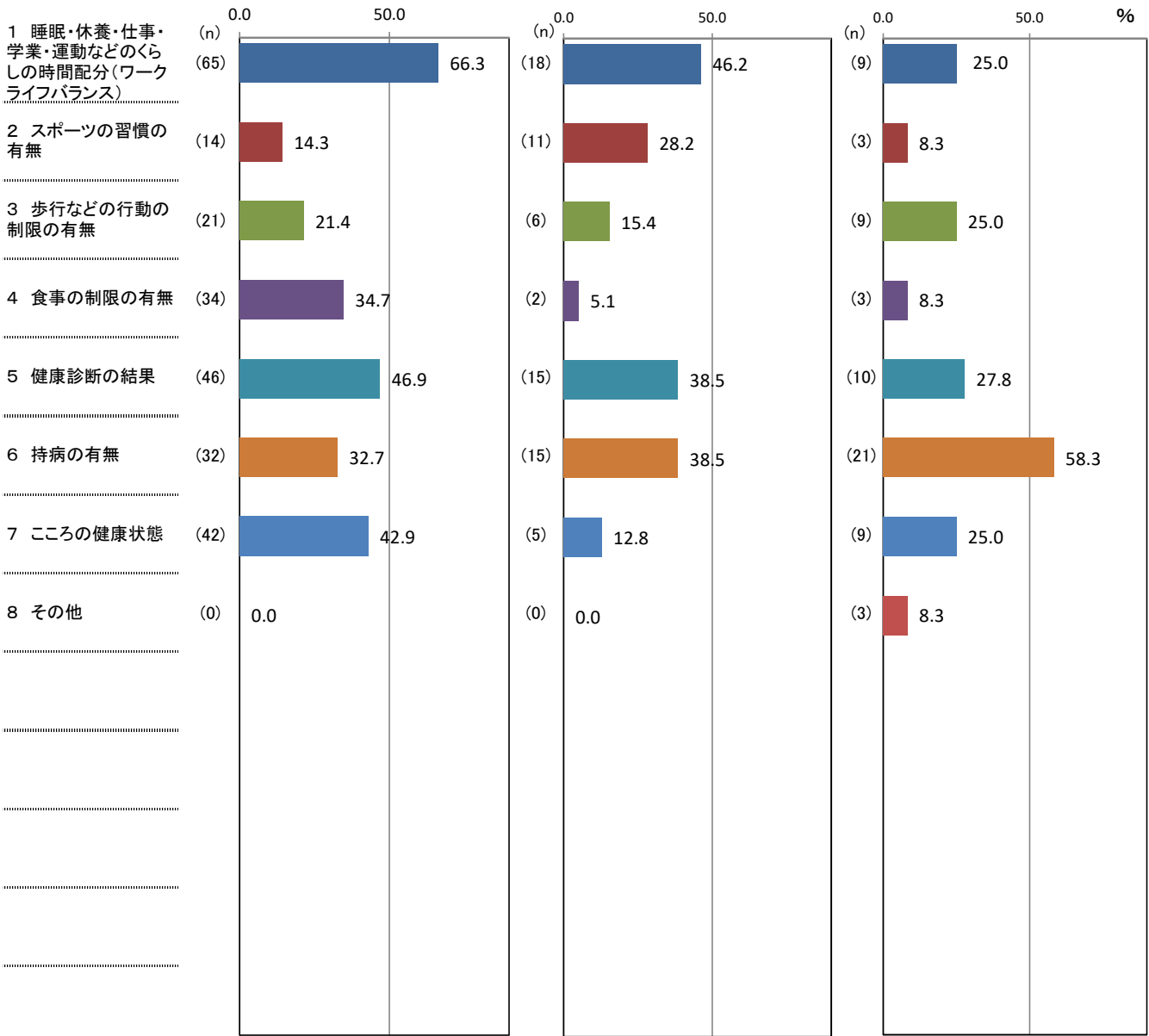
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「心身の健康(からだの健康)」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (254) 98 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (72) 39 人	③ 実感が低下した人 の回答 (67) 36 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (65)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (18)	6 持病の有無 (21)
2	5 健康診断の結果 (46)	5 健康診断の結果 (15)	5 健康診断の結果 (10)
3	7 こころの健康状態 (42)	6 持病の有無 (15) 2位	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (9) 3位 3 歩行などの行動の制限の有無 (9) 3位 7 こころの健康状態 (9)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】

(1)ー1 心身の健康(からだの健康)についての回答理由(問1ー1(2)①「あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 スポーツ の習慣の有 無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限の有無	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ここらの 健康状態	8 その他
① 実感が上昇した人		66.3	14.3	21.4	34.7	46.9	32.7	42.9	0.0
② 実感が横ばいの人		46.2	28.2	15.4	5.1	38.5	38.5	12.8	0.0
③ 実感が低下した人		25.0	8.3	25.0	8.3	27.8	58.3	25.0	8.3

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 スポーツ の習慣の有 無	3 歩行など の行動の制 限の有無	4 食事の制 限の有無	5 健康診断 の結果	6 持病の有 無	7 ここらの 健康状態	8 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=98人)	254	65	14	21	34	46	32	42	0
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=39人)	72	18	11	6	2	15	15	5	0
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=36人)	67	9	3	9	3	10	21	9	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(98名中0名記載)
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(39名中0名記載)
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(36名中2名記載) ・カゼをひいている ・内臓疾患により入院、その後自宅治療

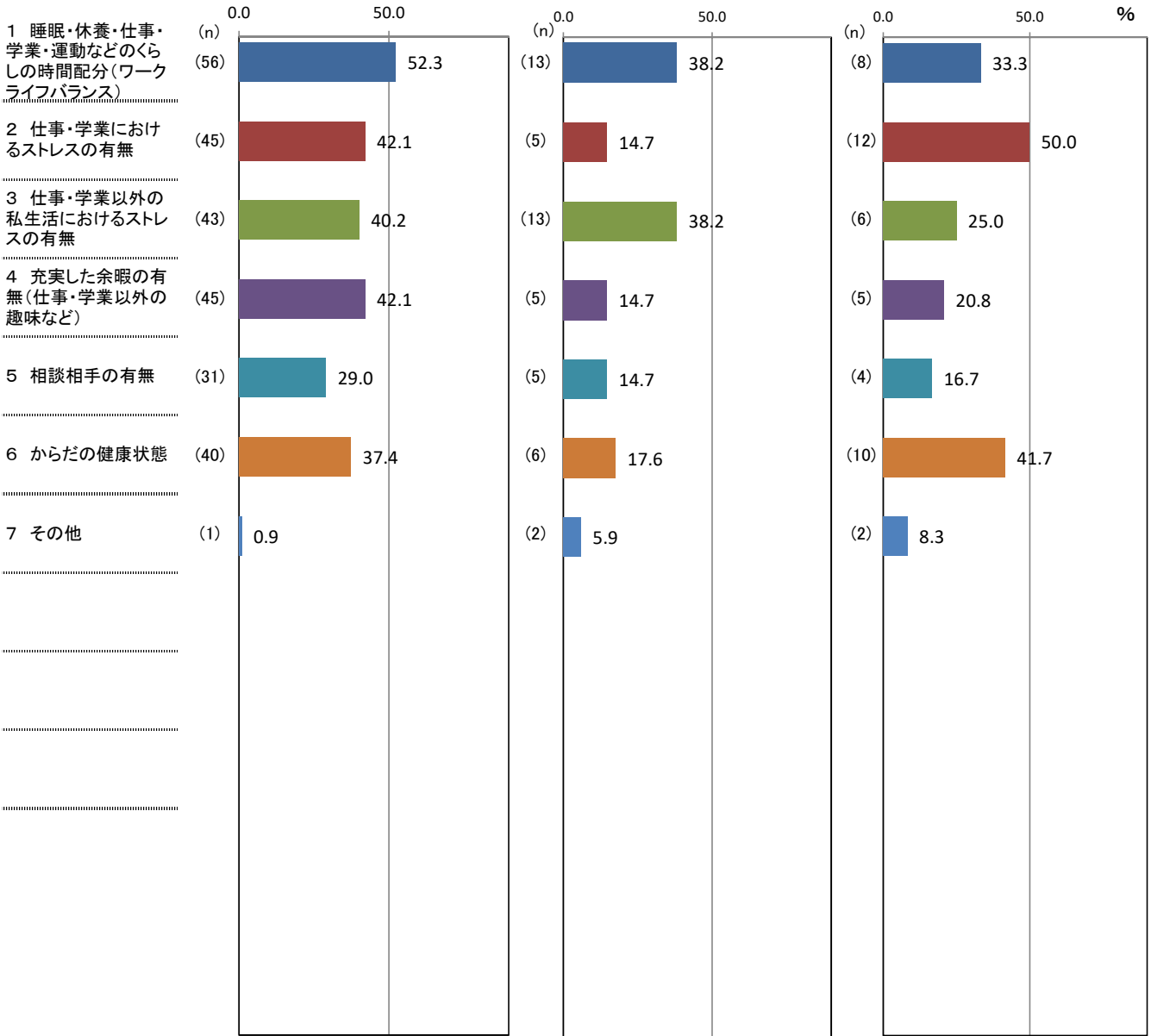
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「心身の健康(こころの健康)」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (261) 107 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (49) 34 人	③ 実感が低下した人 の回答 (47) 24 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (56)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (13) 1位	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (12)
2	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (45) 2位	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (13)	6 からだの健康状態 (10)
3	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (45)	6 からだの健康状態 (6)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (8)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(1)-2 心身の健康(こころの健康)についての回答理由(問1-1(1)-2①「あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人		52.3	42.1	40.2	42.1	29.0	37.4	0.9
② 実感が横ばいの人		38.2	14.7	38.2	14.7	14.7	17.6	5.9
③ 実感が低下した人		33.3	50.0	25.0	20.8	16.7	41.7	8.3

区分	計	1 睡眠・休 養・仕事・学 業・運動など のくらしの時 間配分(ワー クライフバラ ンス)	2 仕事・学 業におけるス トレスの有無	3 仕事・学 業以外の私 生活における ストレスの有 無	4 充実した 余暇の有無 (仕事・学業 以外の趣味 など)	5 相談相手 の有無	6 からの 健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=107人)	261	56	45	43	45	31	40	1
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=34人)	49	13	5	13	5	5	6	2
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=24人)	47	8	12	6	5	4	10	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(107名中0名記載)
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(34名中1名記載) ・家族の健康
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(24名中0名記載)

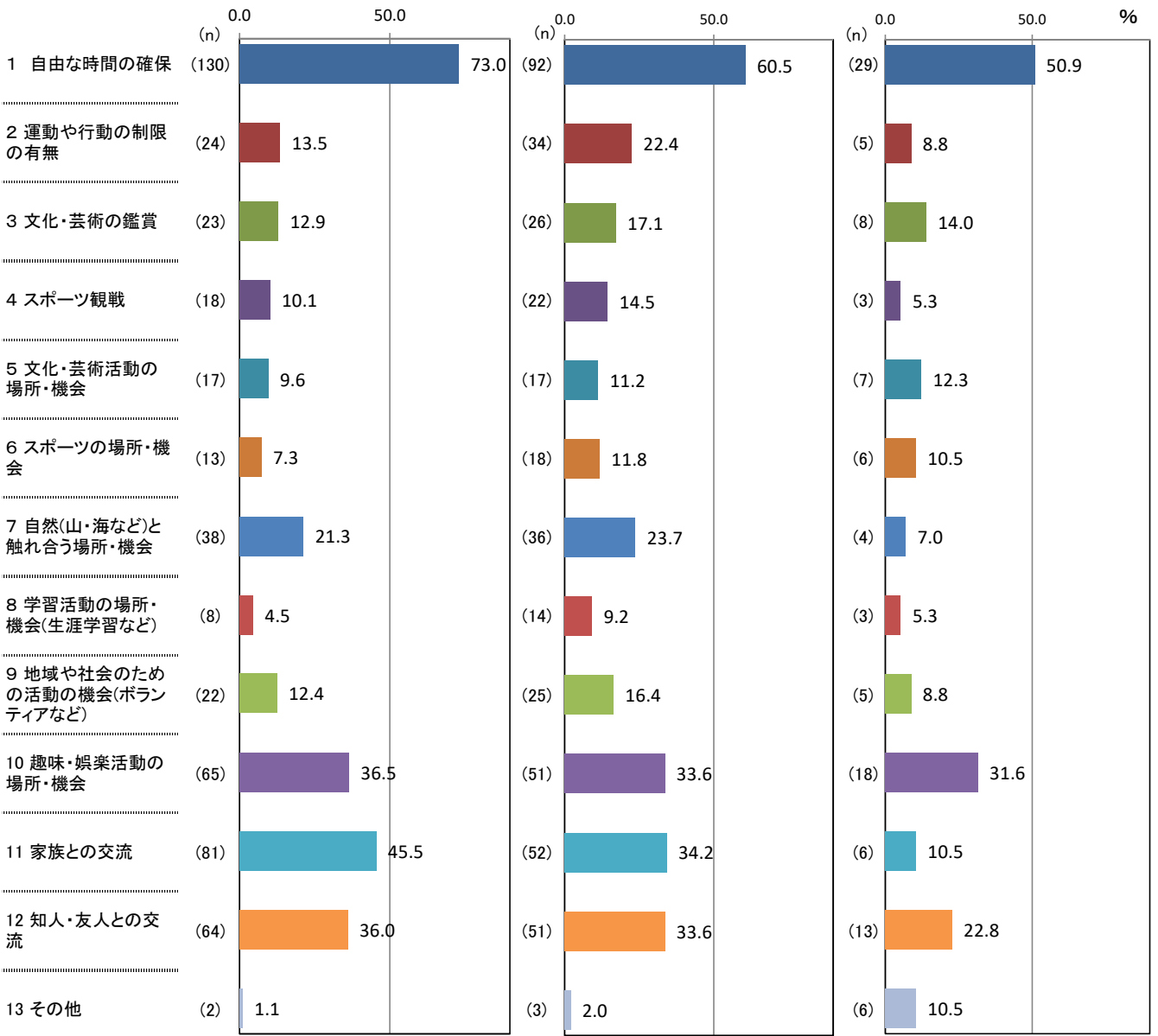
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (505) 178 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (441) 152 人	③ 実感が低下した人 の回答 (113) 57 人
1	1 自由な時間の確保 (130)	1 自由な時間の確保 (92)	1 自由な時間の確保 (29)
2	11 家族との交流 (81)	11 家族との交流 (52)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (18)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (65)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (51)	12 知人・友人との交流 (13)
		12 知人・友人との交流 (51)	

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)①「あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場・機会	6 スポーツの場・機会	7 自然・山海などとの触れ合う場・機会	8 学習活動の場・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人		73.0	13.5	12.9	10.1	9.6	7.3	21.3	4.5	12.4	36.5	45.5	36.0	1.1
② 実感が横ばいの人		60.5	22.4	17.1	14.5	11.2	11.8	23.7	9.2	16.4	33.6	34.2	33.6	2.0
③ 実感が低下した人		50.9	8.8	14.0	5.3	12.3	10.5	7.0	5.3	8.8	31.6	10.5	22.8	10.5

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場・機会	6 スポーツの場・機会	7 自然・山海などとの触れ合う場・機会	8 学習活動の場・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=178人)	505	130	24	23	18	17	13	38	8	22	65	81	64	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=152人)	441	92	34	26	22	17	18	36	14	25	51	52	51	3
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=57人)	113	29	5	8	3	7	6	4	3	5	18	6	13	6

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(178名中1名記載)
・病院通い

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(152名中2名記載)
・健康状態
・ネット活動

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(57名中3名記載)
・介護
・健康阻害。
・休みの日に何かする気にならない

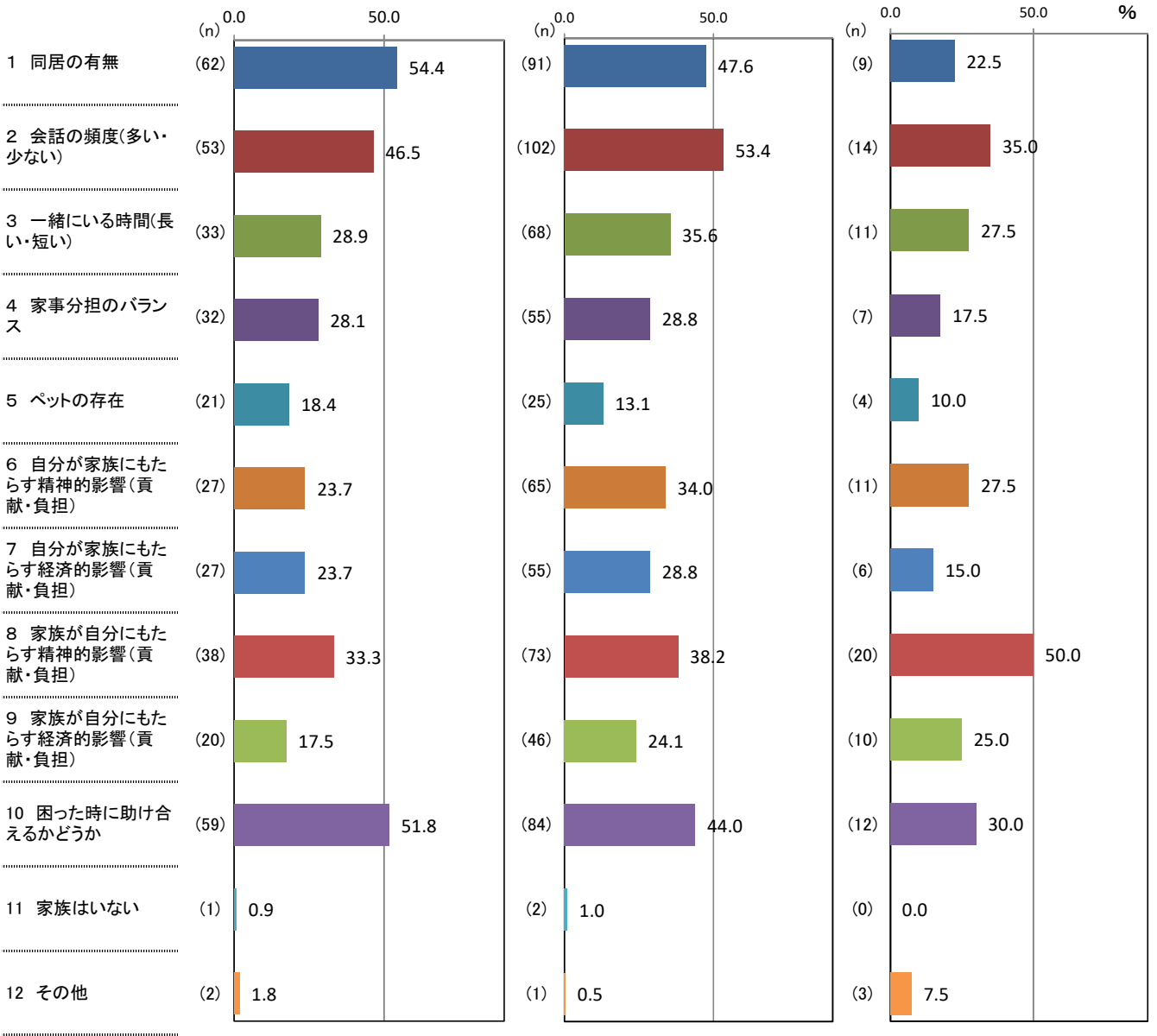
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「家族関係」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (375) 114 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (667) 191 人	③ 実感が低下した人 の回答 (107) 40 人
1	1 同居の有無 (62)	2 会話の頻度(多い・少ない) (102)	8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担) (20)
2	10 困った時に助け合えるかどうか (59)	1 同居の有無 (91)	2 会話の頻度(多い・少ない) (14)
3	2 会話の頻度(多い・少ない) (53)	10 困った時に助け合えるかどうか (84)	10 困った時に助け合えるかどうか (12)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(3) 家族関係についての回答理由(問1-1(3)①「あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。」の次の「②」のように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」「に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他	
① 実感が上昇した人			54.4	46.5	28.9	28.1	18.4	23.7	23.7	33.3	17.5	51.8	0.9	1.8
② 実感が横ばいの人			47.6	53.4	35.6	28.8	13.1	34.0	28.8	38.2	24.1	44.0	1.0	0.5
③ 実感が低下した人			22.5	35.0	27.5	17.5	10.0	27.5	15.0	50.0	25.0	30.0	0.0	7.5

区分	計	1 同居の有 無	2 会話の頻 度(多い・少 ない)	3 一緒にい る時間(長い ・短い)	4 家事分担 のバランス	5 ペットの存 在	6 自分が家 族にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	7 自分が家 族にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	8 家族が自 分にもたらす 精神的影響 (貢献・負担)	9 家族が自 分にもたらす 経済的影響 (貢献・負担)	10 困った時 に助け合える かどうか	11 家族はい ない	12 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=114人)	375	62	53	33	32	21	27	27	38	20	59	1	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=191人)	667	91	102	68	55	25	65	55	73	46	84	2	1
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=40人)	107	9	14	11	7	4	11	6	20	10	12	0	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(114名中1名記載)
・理解してもらえないという安心感

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(191名中0名記載)

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(40名中2名記載)
・*****が仕事してない。
・ひとり暮らし

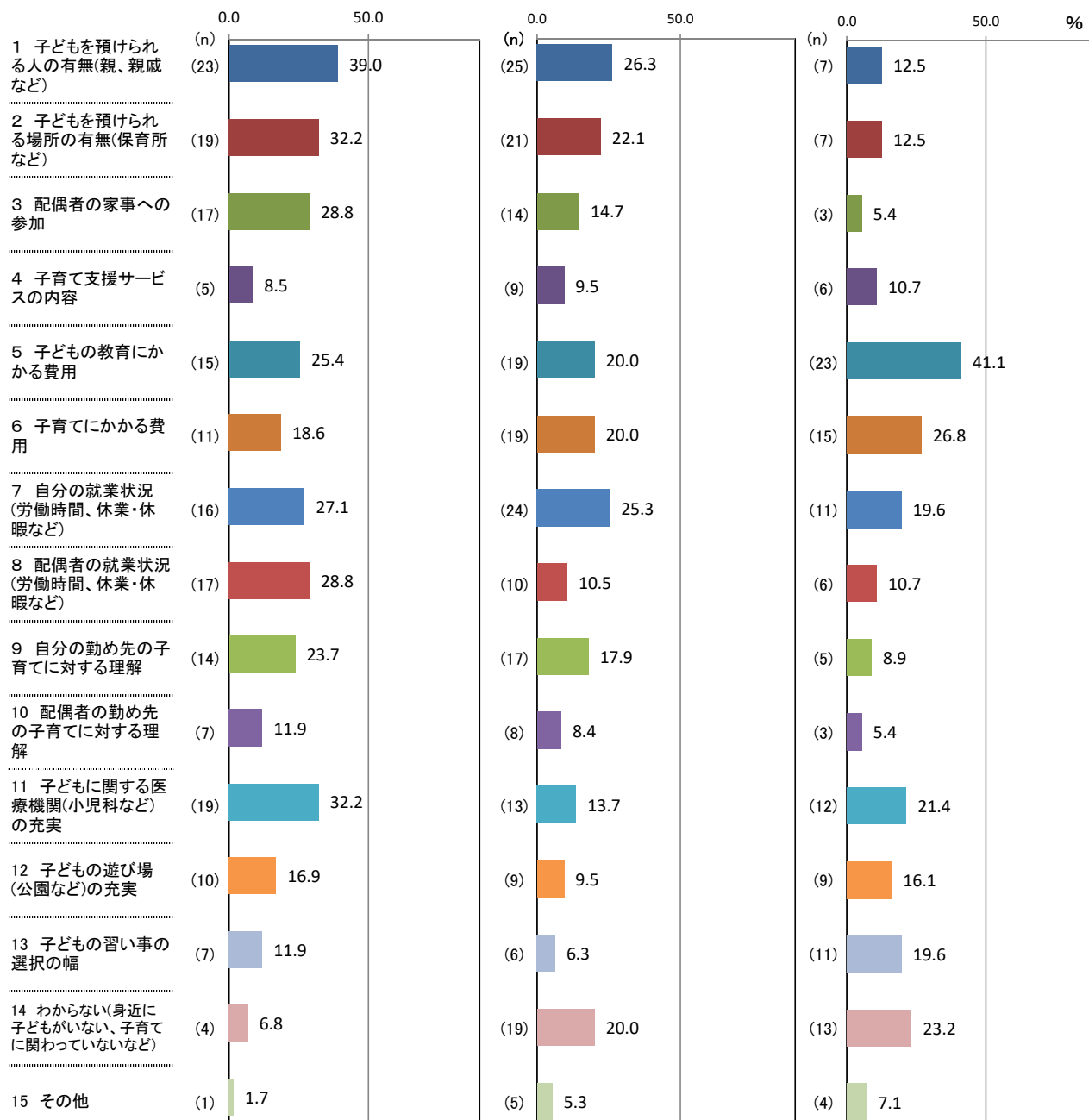
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「子育て」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人の回答 (185) 59 人	② 実感が横ばいの人の回答 (218) 95 人	③ 実感が低下した人の回答 (135) 56 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (23)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (25)	5 子どもの教育にかかる費用 (23)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (19) 2位	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (24)	6 子育てにかかる費用 (15)
3	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (19)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (21)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (13)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(4)「子育て」についての回答理由(問1-1(4)①「あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 子どもの面倒をみる人の有無(親、祖父母など)	2 子どもの面倒をみる場所の有無(保育園など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(就業時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(就業時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに關する医療機関・小児科などの充実	12 子どもに遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事・課外活動の幅	14 わかち(近所)の子どもの様子(子育てにいい、子育てにいいなど)	15 その他	
① 実感が上昇した人		39.0	32.2	28.8		8.5	25.4	18.6	27.1	28.8	23.7	11.9	32.2	16.9	11.9	6.8	1.7
② 実感が横ばいの人		26.3	22.1	14.7		9.5	20.0	20.0	25.3	10.5	17.9	8.4	13.7	9.5	6.3	20.0	5.3
③ 実感が低下した人		12.5	12.5	5.4		10.7	41.1	26.8	19.6	10.7	8.9	5.4	21.4	16.1	19.6	23.2	7.1

区分	計	1 子どもの面倒をみる人の有無(親、祖父母など)	2 子どもの面倒をみる場所の有無(保育園など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 子どもの就業状況(就業時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(就業時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもの通園・通学に関する施設(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事・課外活動の幅	14 わかち(近所)の子どもの様子(子育てにいい、子育てにいいなど)	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=59人)	185	23	19	17	5	15	11	16	17	14	7	19	10	7	4	1
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=95人)	218	25	21	14	9	19	19	24	10	17	8	13	9	6	19	5
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=56人)	135	7	7	3	6	23	15	11	6	5	3	12	9	11	13	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(59名中0名記載)

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(95名中3名記載)
・孫が保育園に行けない日は看病に行くが、その後自分が体調不良になる

・5、6、11、12、13に関してはあてにしないから

・子育てが終わった

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(56名中2名記載)
・専業主婦が減少したため
・子育てでまご育てに参加中

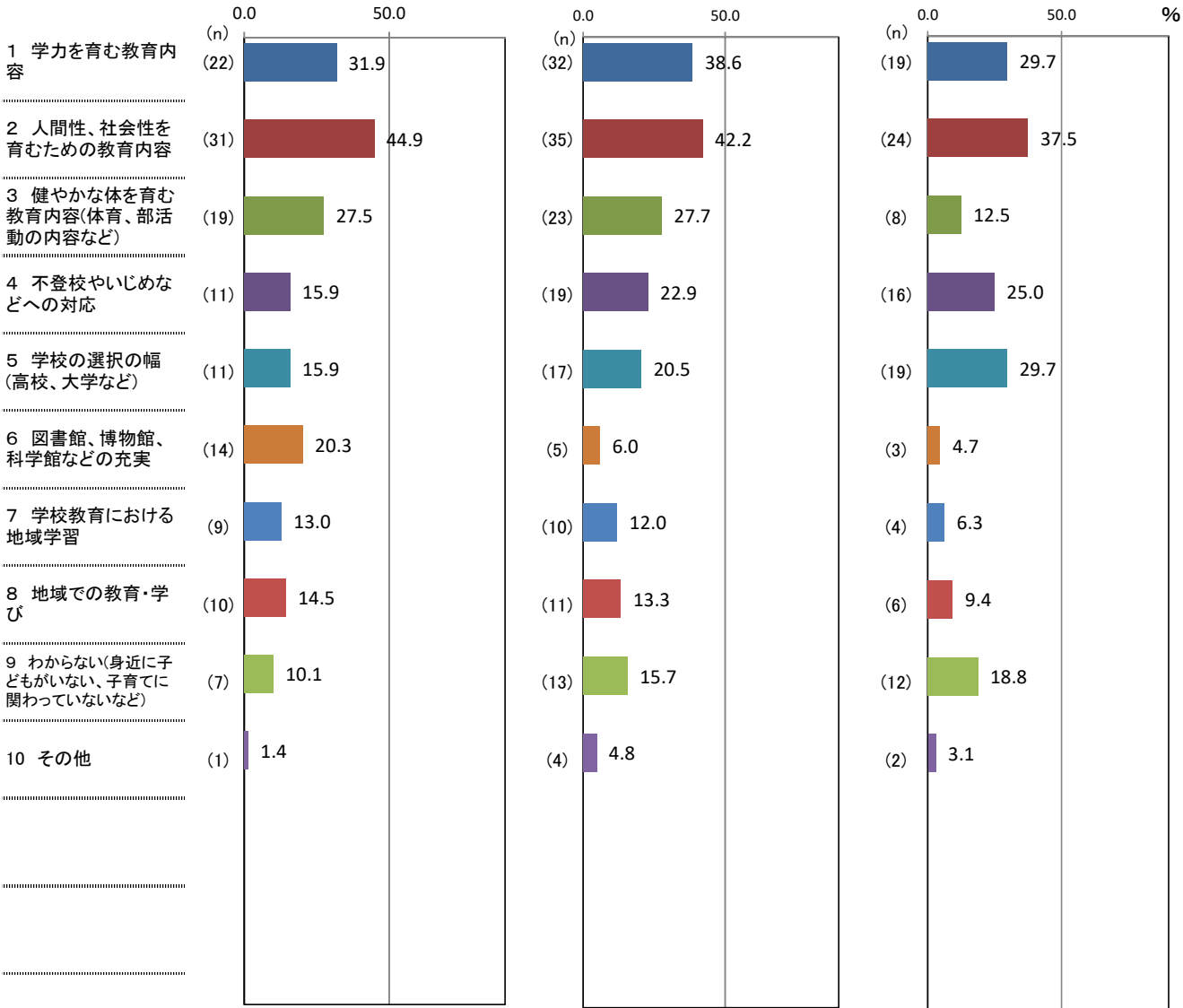
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (135) 69 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (169) 83 人	③ 実感が低下した人 の回答 (113) 64 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (31)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (35)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (24)
2	1 学力を育む教育内容 (22)	1 学力を育む教育内容 (32)	1 学力を育む教育内容 (19)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (19)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (23)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (19) 2位

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」)に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における学習	8 地域での教育・学び	9 わかちが身近に子どもがいない、子育てに困っているなど	10 その他
① 実感が上昇した人		31.9	44.9	27.5	15.9	15.9	20.3	13.0	14.5	10.1	1.4
② 実感が横ばいの人		38.6	42.2	27.7	22.9	20.5	6.0	12.0	13.3	15.7	4.8
③ 実感が低下した人		29.7	37.5	12.5	25.0	29.7	4.7	6.3	9.4	18.8	3.1

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択(高校、大学など)	6 図書館、博物館、科学館などの充実	7 学校教育における学習	8 地域での教育・学び	9 わかちが身近に子どもがいない、子育てに困っているなど	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=69人)	135	22	31	19	11	11	14	9	10	7	1
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=83人)	169	32	35	23	19	17	5	10	11	13	4
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=64人)	113	19	24	8	16	19	3	4	6	12	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(69名中1名記載) ・親の関与・経済的余裕
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(83名中1名記載) ・高校の長期休職のバランス
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(64名中1名記載) ・子育て中の娘達から今の教育内容を聞く事もある。相談を受けた時だけアドバイスする程度。

(2)基準年(令和5年)からの変化

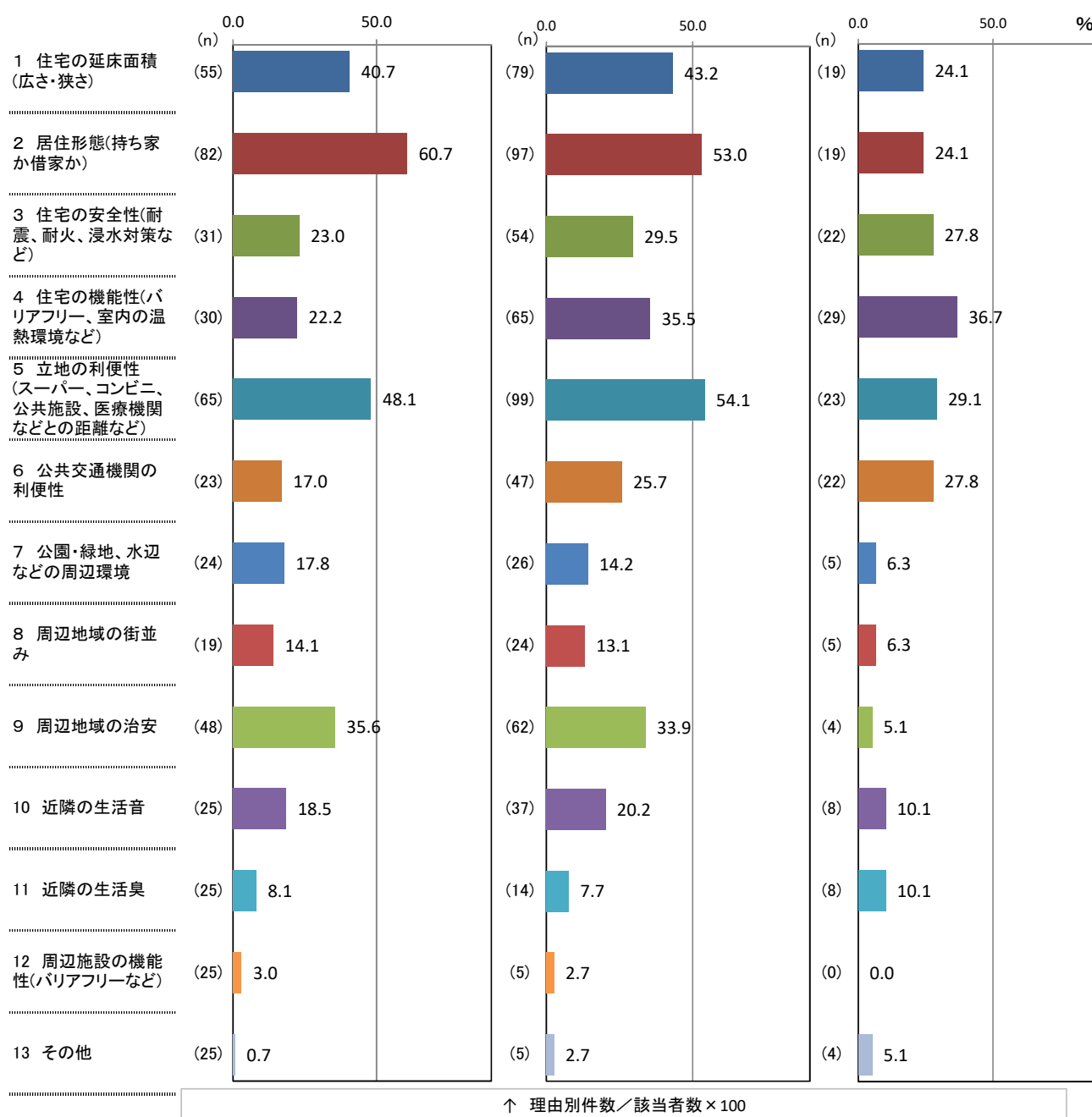
②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「住まいの快適さ」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (418) 135 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (614) 183 人	③ 実感が低下した人 の回答 (168) 79 人
1	2 居住形態(持ち家か借家か) (82)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (99)	4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など) (29)
2	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (65)	2 居住形態(持ち家か借家か) (97)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など) (23)
3	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (55)	1 住宅の延床面積(広さ・狭さ) (79)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など) (22) 6 公共交通機関の利便性 (22)

()内の数字は件数。

3位



【補足調査】

(6) 住まいの快適さについての回答理由(問1-1(6)①「あなたは住まいに快適さを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ、狭さ)	2 居住形態(持ち家か、家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、漏水対策など)	4 住宅の快適性(バリアフリー、室内の温度環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 実感が上昇した人		40.7	60.7	23.0	22.2	48.1	17.0	17.8	14.1	35.6	18.5	8.1	3.0	0.7
② 実感が横ばいの人		43.2	53.0	29.5	35.5	54.1	25.7	14.2	13.1	33.9	20.2	7.7	2.7	2.7
③ 実感が低下した人		24.1	24.1	27.8	36.7	29.1	27.8	6.3	6.3	5.1	10.1	10.1	0.0	5.1

区分	計	1 住宅の延床面積(広さ、狭さ)	2 居住形態(持ち家か、家か)	3 住宅の安全性(耐震、耐火、漏水対策など)	4 住宅の快適性(バリアフリー、室内の温度環境など)	5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離)	6 公共交通機関の利便性	7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	8 周辺地域の街並み	9 周辺地域の治安	10 近隣の生活音	11 近隣の生活臭	12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=135人)	418	55	82	31	30	65	23	24	19	48	25	11	4	1
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=183人)	614	79	97	54	65	99	47	26	24	62	37	14	5	5
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=79人)	168	19	19	22	29	23	22	5	5	4	8	8	0	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(135名中1名記載)
・高台住居

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント(183名中4名記載)
・立地(自然豊か)環境
・悪臭、煙
・庭が広く、野菜や果物を多く収穫できる。

・家族の名義の家、親の介護

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(79名中1名記載)
・高熱がなくて大変

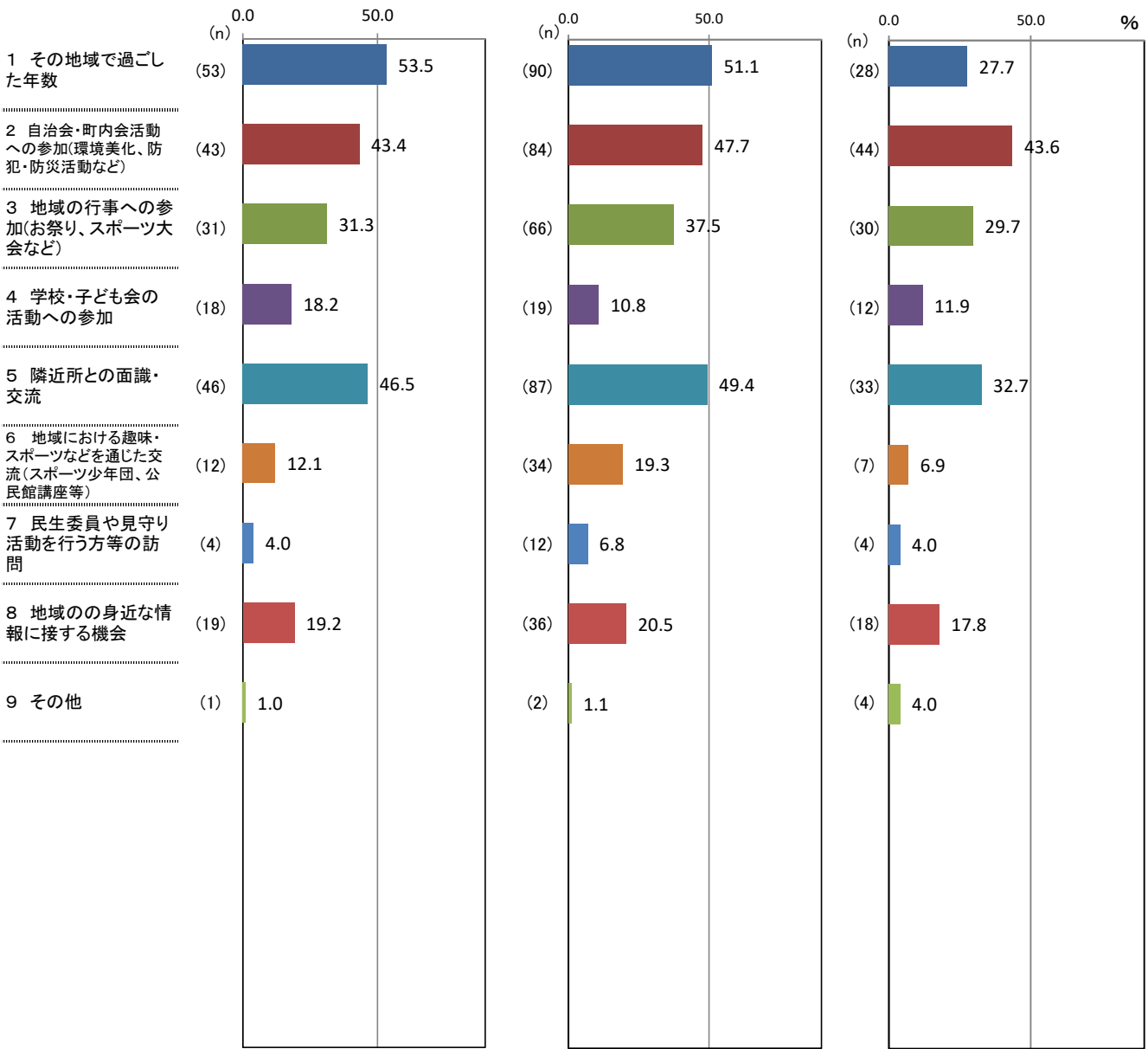
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「地域社会とのつながり」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (227) 99 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (430) 176 人	③ 実感が低下した人 の回答 (180) 101 人
1	1 その地域で過ごした年数 (53)	1 その地域で過ごした年数 (90)	2 自治会・町内会活動への参加 (環境美化、防犯・防災活動など) (44)
2	5 隣近所との面識・交流 (46)	5 隣近所との面識・交流 (87)	5 隣近所との面識・交流 (33)
3	2 自治会・町内会活動への参加 (環境美化、防犯・防災活動など) (43)	2 自治会・町内会活動への参加 (環境美化、防犯・防災活動など) (84)	3 地域の行事への参加(お祭り、 スポーツ大会など) (30)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】
 (7)「地域社会とのつながり」についての回答理由(問1-1(7)①「あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1. その地域 で過ごした年 数	2. 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3. 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4. 学校・子ど も会の活動へ の参加	5. 隣近所と の面談・交流	6. 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域 の方々と交流 (公民館講 座、地域のス ペースなど)	7. 民生委員 や町守り活動 等を行う方々 の訪問	8. 地域の身 近な情報に 接する機会	9. その他
① 実感が上昇した人		53.5	43.4	31.3	18.2	46.5	12.1	4.0	19.2	1.0
② 実感が横ばいの人		51.1	47.7	37.5	10.8	49.4	19.3	6.8	20.5	1.1
③ 実感が低下した人		27.7	43.6	29.7	11.9	32.7	6.9	4.0	17.8	4.0

区分	計	1. その地域 で過ごした年 数	2. 自治会・ 町内会活動 への参加(環 境美化、防 犯・防災活動 など)	3. 地域の行 事への参加 (お祭り、ス ポーツ大会な ど)	4. 学校・子ど も会の活動へ の参加	5. 隣近所と の面談・交流	6. 趣味・ス ポーツなどを 通じた地域 の方々と交流 (公民館講 座、地域のス ペースなど)	7. 民生委員 や町守り活動 等を行う方々 の訪問	8. 地域の身 近な情報に 接する機会	9. その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=99人)	227	53	43	31	18	46	12	4	19	1
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=176人)	430	90	84	66	19	87	34	12	36	2
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=101人)	180	28	44	30	12	33	7	4	18	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(99名中1名記載)
 ・伝説を大事にしすぎる地方

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(176名中1名記載)
 ・興味がない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(101名中1名記載)
 ・仕事中心の生活のため

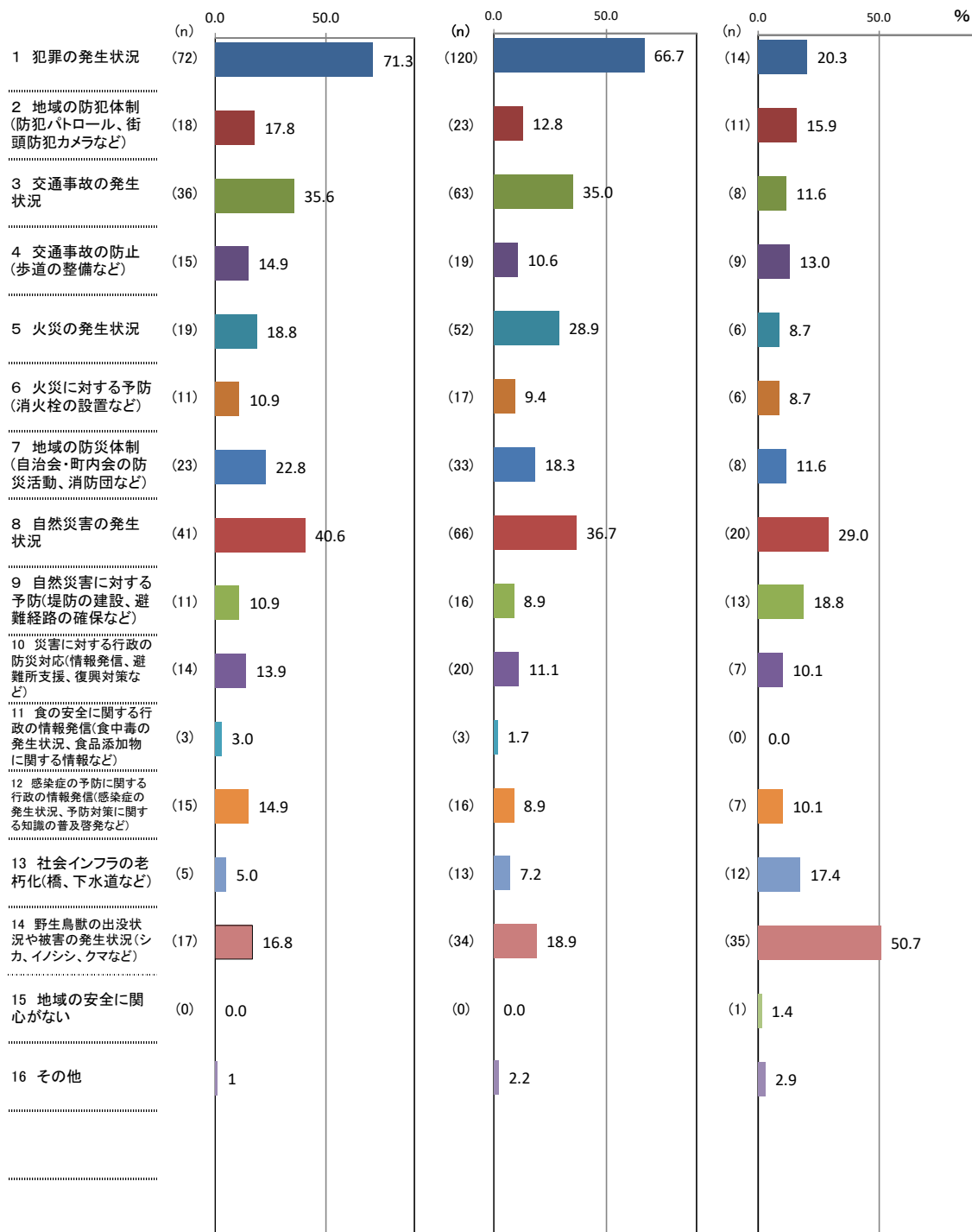
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「地域の安全」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (301) 101 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (499) 180 人	③ 実感が低下した人 の回答 (159) 69 人
1	1 犯罪の発生状況 (72)	1 犯罪の発生状況 (120)	14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど) (35)
2	8 自然災害の発生状況 (41)	8 自然災害の発生状況 (66)	8 自然災害の発生状況 (20)
3	3 交通事故の発生状況 (36)	3 交通事故の発生状況 (63)	1 犯罪の発生状況 (14)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
 (8)「地域の安全」についての回答理由(問1-1(8)①「あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯カメラ、パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止歩道の整備など	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(火災の発生状況)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防犯活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する対応(災害情報の収集、避難所の確保、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品の添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する情報(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生動物の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
① 実感が上昇した人		71.3	17.8	35.6	14.9	18.8	10.9	22.8	40.6	10.9	13.9	3.0	14.9	5.0	16.8	0.0	1
② 実感が横ばいの人		66.7	12.8	35.0	10.6	28.9	9.4	18.3	36.7	8.9	11.1	1.7	8.9	7.2	18.9	0.0	2.2
③ 実感が低下した人		20.3	15.9	11.6	13.0	8.7	8.7	11.6	29.0	18.8	10.1	0.0	10.1	17.4	50.7	1.4	2.9

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯カメラ、パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止歩道の整備など	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(火災の発生状況)	7 地域の防犯体制(自治会・町内会の防犯活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する対応(災害情報の収集、避難所の確保、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品の添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する情報(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 野生動物の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	15 地域の安全に関心がない	16 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→「7」は除く。 (サンプル数=101人)	301	72	18	36	15	19	11	23	41	11	14	3	15	5	17	0	1
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=180人)	499	120	23	63	19	52	17	33	66	16	20	3	16	13	34	0	4
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→「7」は除く。 (サンプル数=69人)	159	14	11	8	9	6	6	8	20	13	7	0	7	12	35	1	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(101名中0名記載)

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(180名中3名記載)
 ・外灯が少ない。外国の人が多くなくなってきている。
 ・高齢化が進み、1人暮らしや、認知症の人が出てきているのが心配

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(69名中1名記載)
 ・鍵の無施錠、外国人の増加(?)

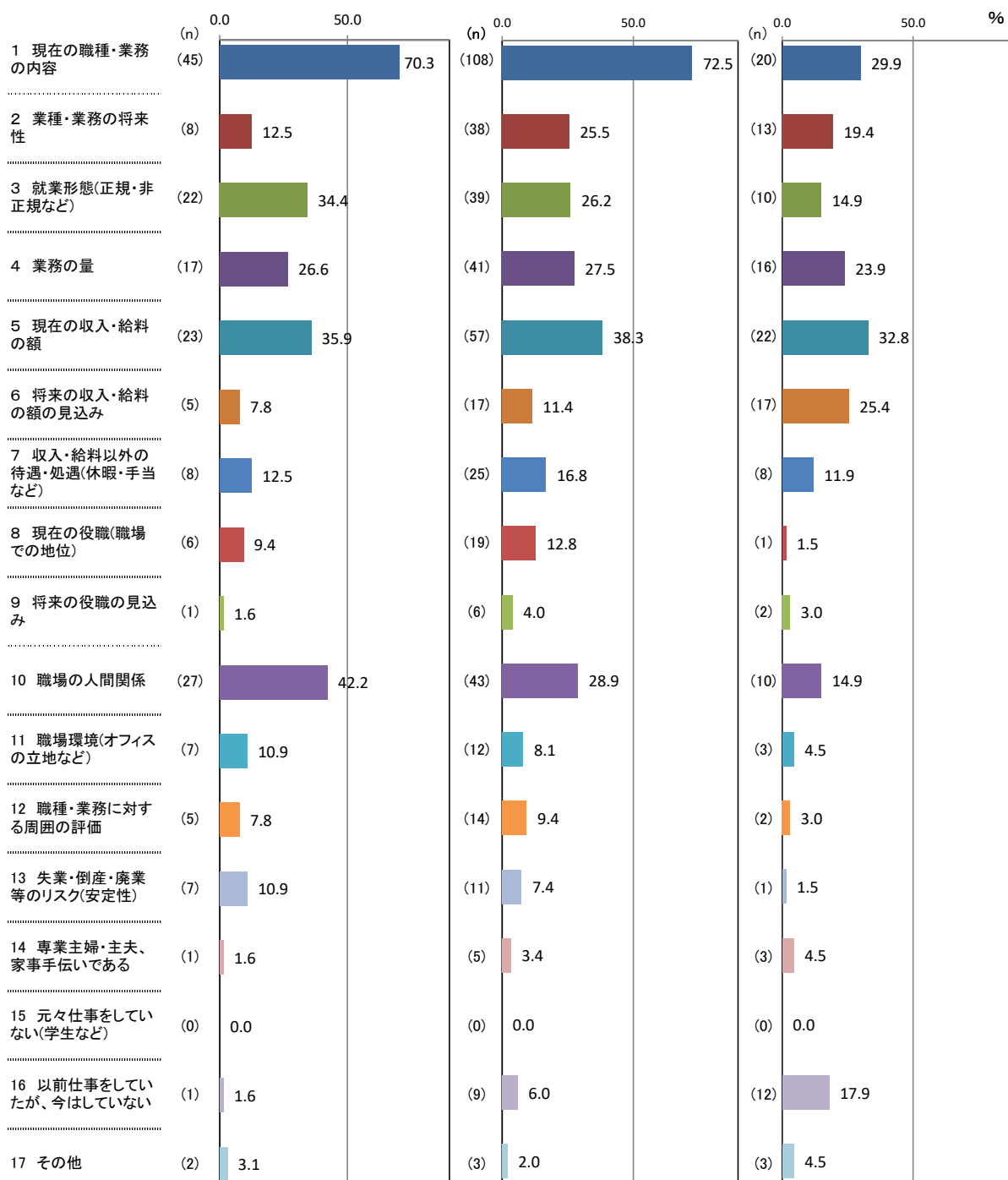
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「仕事のやりがい」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人の回答 (185) 64 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (447) 149 人	③ 実感が低下した人 の回答 (143) 67 人
1	1 現在の職種・業務の内容 (45)	1 現在の職種・業務の内容 (108)	5 現在の収入・給料の額 (22)
2	10 職場の人間関係 (27)	5 現在の収入・給料の額 (57)	1 現在の職種・業務の内容 (20)
3	5 現在の収入・給料の額 (23)	10 職場の人間関係 (43)	6 将来の収入・給料の額の見込み (17)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】

(9)「仕事のやりがい」についての回答理由(問1-1(9)①「あなたは仕事にやりがいを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 家族・業務の将来性	3 就業形態(正・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・知識(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人々との関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝っている	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
① 実感が上昇した人		70.3	12.5	34.4	26.6	35.9	7.8	12.5	9.4	1.6	42.2	10.9	7.8	10.9	1.6	0.0	1.6	3.1
② 実感が横ばいの人		72.5	25.5	26.2	27.5	38.3	11.4	16.8	12.8	4.0	28.9	8.1	9.4	7.4	3.4	0.0	6.0	2.0
③ 実感が低下した人		29.9	19.4	14.9	23.9	32.8	25.4	11.9	1.5	3.0	14.9	4.5	3.0	1.5	4.5	0.0	17.9	4.5

区分	計	1 現在の職種・業務の内容	2 家族・業務の将来性	3 就業形態(正・非正規など)	4 業務の量	5 現在の収入・給料の額	6 将来の収入・給料の額の見込み	7 収入・給料以外の待遇・知識(休暇・手当など)	8 現在の役職(職場での地位)	9 将来の役職の見込み	10 職場の人々との関係	11 職場環境(オフィスの立地など)	12 職場・業務に対する周囲の評価	13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	14 専業主婦・主夫、家事を手伝っている	15 元々仕事をしていない(学生など)	16 以前仕事をしていたが、今はしていない	17 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=64人)	185	45	8	22	17	23	5	8	6	1	27	7	5	7	1	0	1	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=149人)	447	108	38	39	41	57	17	25	19	6	43	12	14	11	5	0	9	3
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=67人)	143	20	13	10	16	22	17	8	1	2	10	3	2	1	3	0	12	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(64名中0名記載)

② 実感が横ばいの人「その他」コメント(149名中3名記載)
・家族の仕事の手伝い、サポート。
・短期間で仕事をしているが、孫が具合が悪い悪ければ急に休まなければならず迷惑をかける

・無職農業

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(67名中1名記載)
・やりがいを求めて仕事をしているものではないため

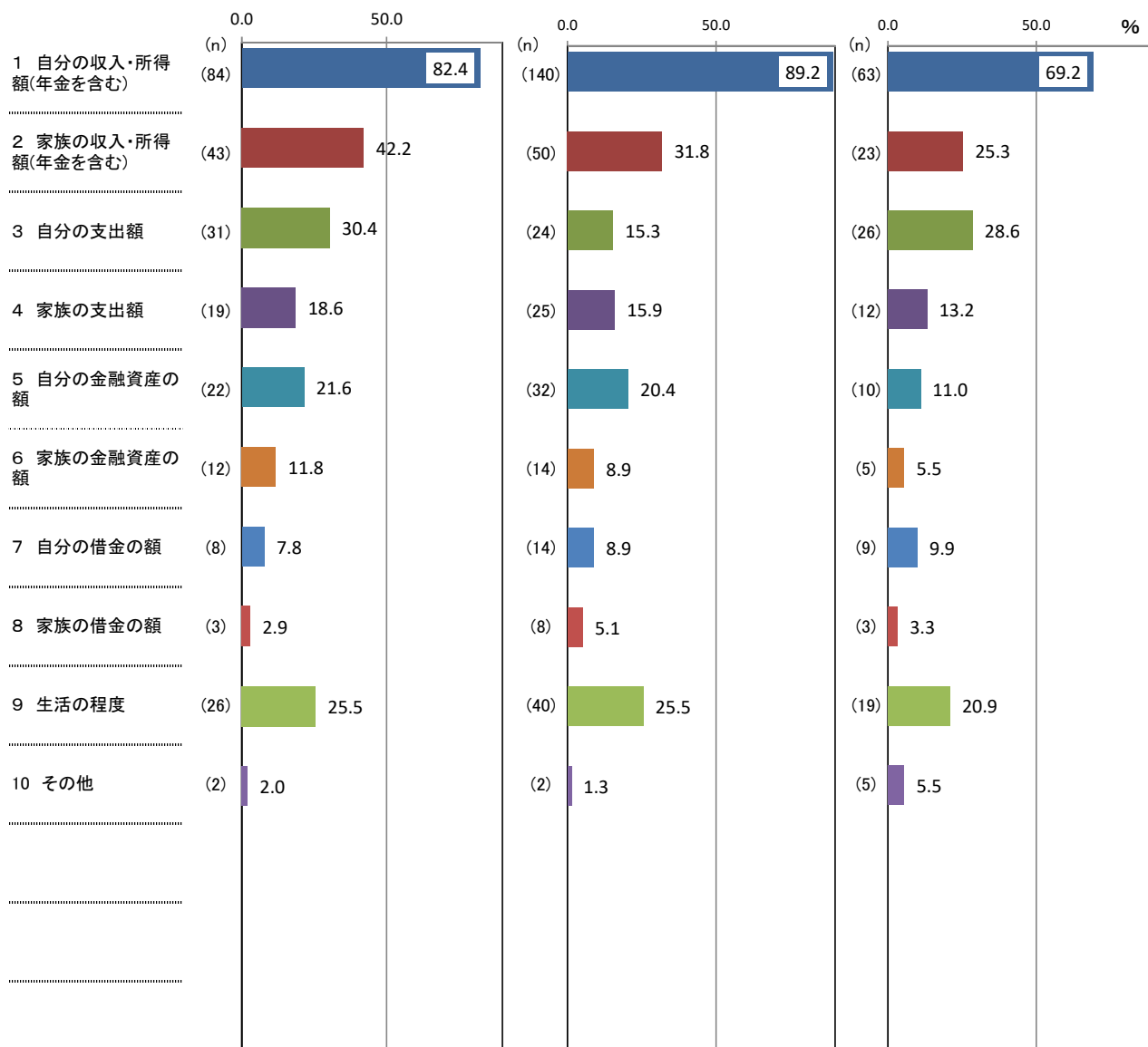
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人の回答 (250) 102 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (349) 157 人	③ 実感が低下した人の回答 (175) 91 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (84)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (140)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (63)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (43)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (50)	3 自分の支出額 (26)
3	3 自分の支出額 (31)	9 生活の程度 (40)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (23)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数/該当者数×100

【補足調査】
(10)「必要な収入や所得」についての回答理由(問1-1(10)①「あなたには必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		82.4	42.2	30.4	18.6	21.6	11.8	7.8	2.9	25.5	2.0
② 実感が横ばいの人		89.2	31.8	15.3	15.9	20.4	8.9	8.9	5.1	25.5	1.3
③ 実感が低下した人		69.2	25.3	28.6	13.2	11.0	5.5	9.9	3.3	20.9	5.5

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7[2]は除く。 (サンプル数＝102人)	250	84	43	31	19	22	12	8	3	26	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数＝157人)	349	140	50	24	25	32	14	14	8	40	2
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7[4]は除く。 (サンプル数＝91人)	175	63	23	26	12	10	5	9	3	19	5

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(102名中1名記載) ・高令、母の入院費大。
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(157名中2名記載) ・無職なので ・物価高に収入が追いついていない。教育にも金かかり過ぎる。
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(91名中2名記載) ・内職のため ・仕事を辞めて収入がなくなったため

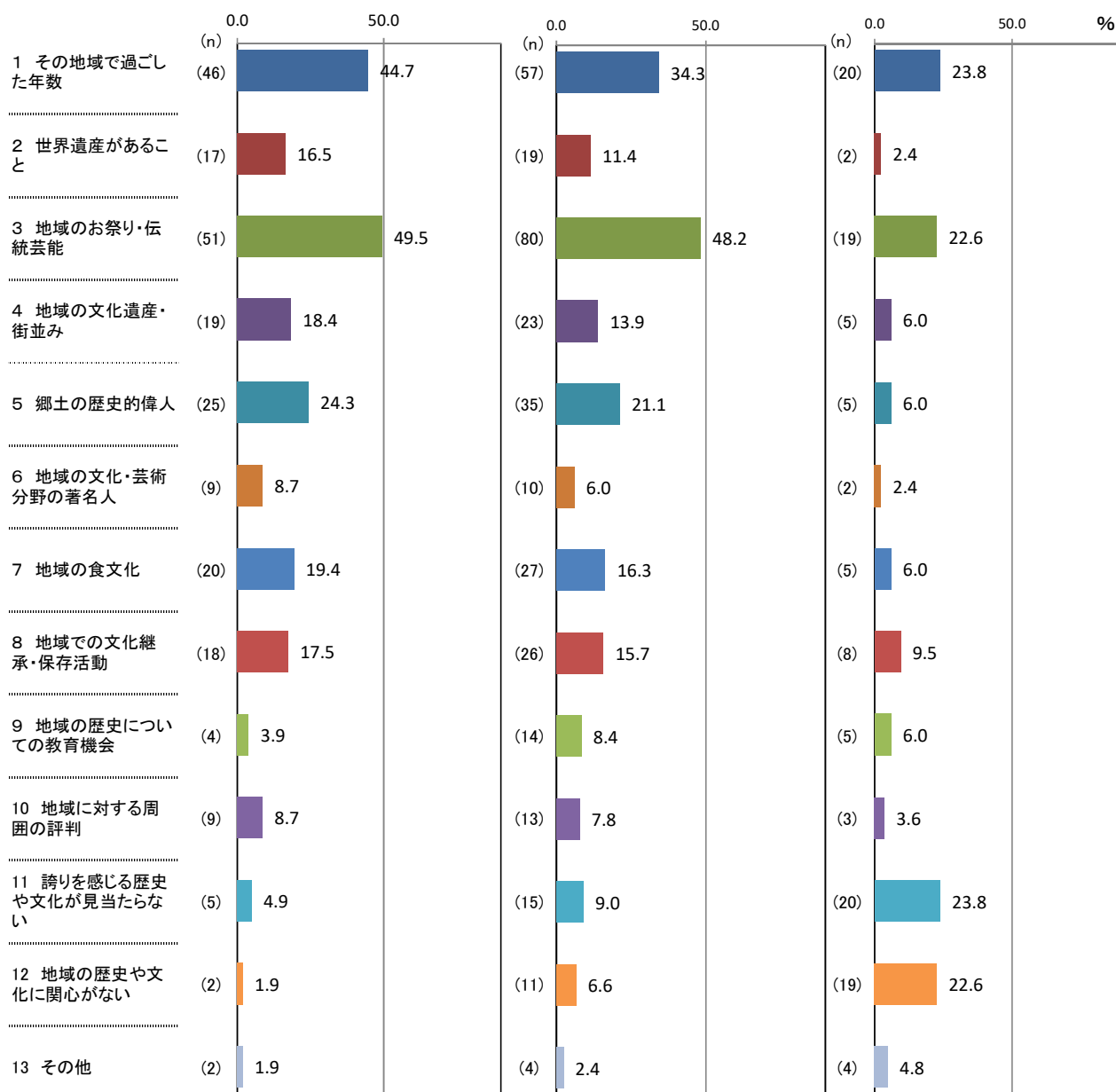
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (227) 103 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (334) 166 人	③ 実感が低下した人 の回答 (117) 84 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (51)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (80)	1 その地域で過ごした年数 (20) 1位
2	1 その地域で過ごした年数 (46)	1 その地域で過ごした年数 (57)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (20)
3	5 郷土の歴史的偉人 (25)	5 郷土の歴史的偉人 (35)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (19) 3位 12 地域の歴史や文化に関心がない (19)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数 × 100

【補足調査】
(11) 歴史・文化への誇りについての回答理由 (問1-1(11)①「あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答 (複数回答可)

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 世界遺産 があること	3 地域のお 祭り・伝統芸 能	4 地域の文 化遺産・街並 み	5 郷土の歴 史的偉人	6 地域の文 化・芸術分野 の著名人	7 地域の食 文化	8 地域での 文化継承・保 存活動	9 地域の歴 史についての 教育機会	10 地域に対 する周囲の評 判	11 誇りに対 する歴史や文化 が真摯な心 がこめられて いる	12 地域の歴 史や文化に関 心がない	13 その他
① 実感が上昇した人		44.7	16.5	49.5	18.4	24.3	8.7	19.4	17.5	3.9	8.7	4.9	1.9	1.9
② 実感が横ばいの人		34.3	11.4	48.2	13.9	21.1	6.0	16.3	15.7	8.4	7.8	9.0	6.6	2.4
③ 実感が低下した人		23.8	2.4	22.6	6.0	6.0	2.4	6.0	9.5	6.0	3.6	23.8	22.6	4.8

区分	計	1 その地域 で過ごした年 数	2 世界遺産 があること	3 地域のお 祭り・伝統芸 能	4 地域の文 化遺産・街並 み	5 郷土の歴 史的偉人	6 地域の文 化・芸術分野 の著名人	7 地域の食 文化	8 地域での 文化継承・保 存活動	9 地域の歴 史についての 教育機会	10 地域に対 する周囲の評 判	11 誇りに対 する歴史や文化 が真摯な心 がこめられて いる	12 地域の歴 史や文化に関 心がない	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=103人)	227	46	17	51	19	25	9	20	18	4	9	5	2	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=166人)	334	57	19	80	23	35	10	27	26	14	13	15	11	4
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=84人)	117	20	2	19	5	5	2	5	8	5	3	20	19	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(103名中2名記載) ・自分がいる所の歴史や文化がよくわからない。 ・国の登録有形文化財があること
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(166名中2名記載) ・虫の里があり、水きれいにしてる。 ・文化財に関わる所で働いている
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(84名中3名記載) ・歴史・文化に触れる機会が減っている ・今 ・「誇り」と言える程ではない。

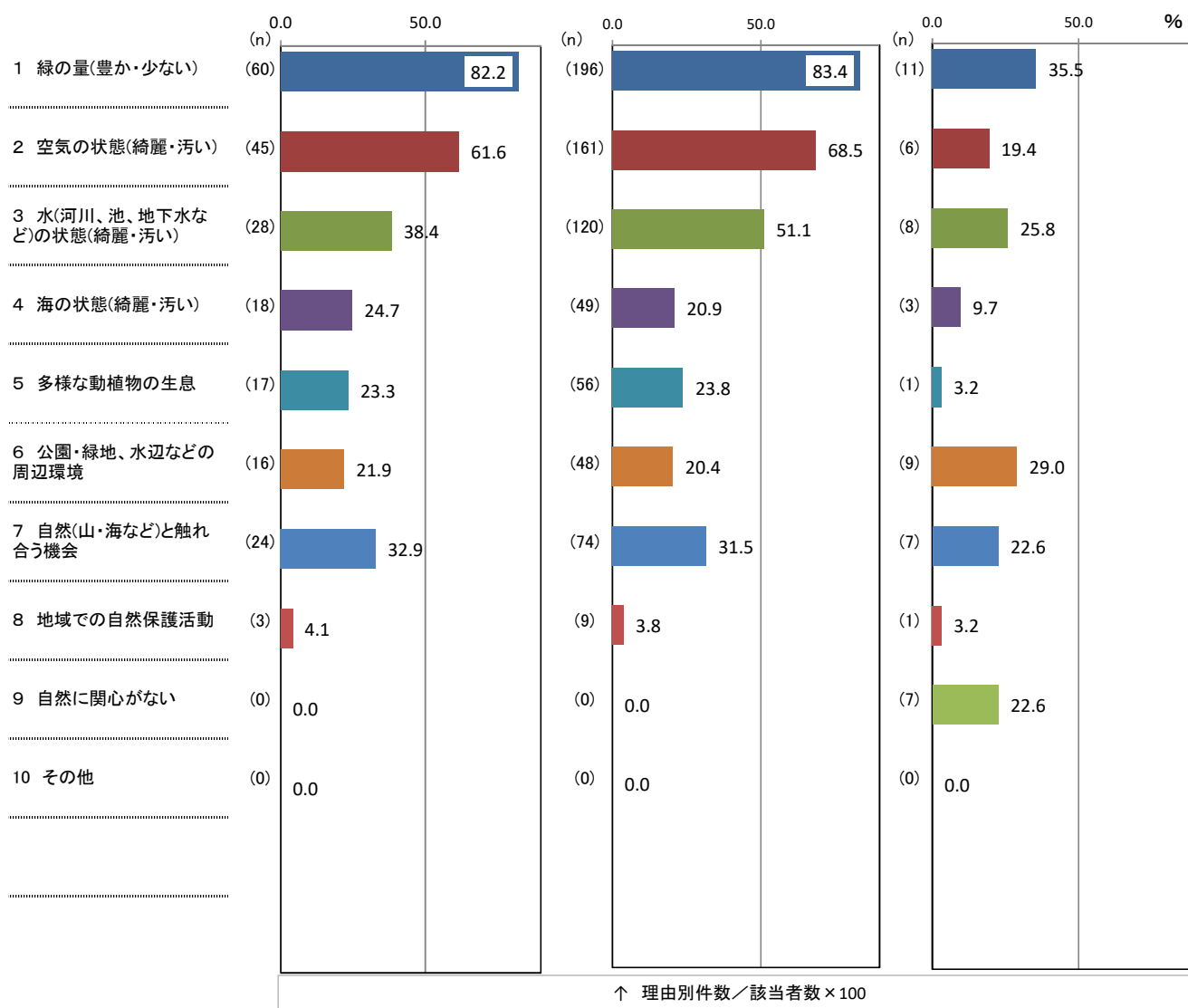
(2)基準年(令和5年)からの変化

②分野別実感の変化別(上昇・横ばい・低下)

分野別実感の理由別分析「自然のゆたかさ」(H31-R7)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (211) 73 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (713) 235 人	③ 実感が低下した人 の回答 (53) 31 人
1	1 緑の量(豊か・少ない) (60)	1 緑の量(豊か・少ない) (196)	1 緑の量(豊か・少ない) (11)
2	2 空気の状態(綺麗・汚い) (45)	2 空気の状態(綺麗・汚い) (161)	6 公園・緑地、水辺などの周辺環境 (9)
3	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (28)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (120)	3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い) (8)

()内の数字は件数。



【補足調査】
(12)「自然のゆたかさ」についての回答理由(問1-1(12)①「あなたは自然に恵まれていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

区分	計	1 緑の量(豊 か・少ない)	2 空気の状 態(綺麗・汚 い)	3 水(河川、 地、地下水な ど)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態 (綺麗・汚い)	5 多様な動 植物の生息	6 公園・緑 地、水辺など の周辺環境	7 自然(山・ 海など)と触れ 合う機会	8 地域での 自然保護活 動	9 自然に関 心がない	10 その他
① 実感が上昇した人		82.2	61.6	38.4	24.7	23.3	21.9	32.9	4.1	0.0	0.0
② 実感が横ばいの人		83.4	68.5	51.1	20.9	23.8	20.4	31.5	3.8	0.0	0.0
③ 実感が低下した人		35.5	19.4	25.8	9.7	3.2	29.0	22.6	3.2	22.6	0.0

区分	計	1 緑の量(豊 か・少ない)	2 空気の状 態(綺麗・汚 い)	3 水(河川、 地、地下水な ど)の状態(綺麗・汚い)	4 海の状態 (綺麗・汚い)	5 多様な動 植物の生息	6 公園・緑 地、水辺など の周辺環境	7 自然(山・ 海など)と触れ 合う機会	8 地域での 自然保護活 動	9 自然に関 心がない	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R7「2」は除く。 (サンプル数=73人)	211	60	45	28	18	17	16	24	3	0	0
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=235人)	713	196	161	120	49	56	48	74	9	0	0
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R7「4」は除く。 (サンプル数=31人)	53	11	6	8	3	1	9	7	1	7	0

① 実感が上昇した人の「その他」コメント(73名中0名記載)
② 実感が横ばいの人「その他」コメント(235名中0名記載)
③ 実感が低下した人の「その他」コメント(31名中0名記載)

- ・ 誤字脱字と推測されるもの、固有名詞は適宜修正しています。
- ・ 個人情報、プライバシー等に関するものは除いています。

分野別実感と関連の強い要因の具体的な内容(H31-R7 比較)

(1)-1 からの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らした時間の配分(ワークライフバランス)	・ 休日のんびりする時間を作って体を休めている。 ・ 睡眠は充分にとれており、仕事も自己都合で出来る事。 ・ 仕事は残業も多いが内容が充実している好きな事を休みにできている。 ・ 睡眠は8時間くらいとるように心掛けているから。 ・ 普通に仕事できている。 ・ 8時間と昼寝 20 分。 ・ よく眠っている。 ・ 早寝早起き。 ・ 毎日、8時間睡眠ができている。 ・ 人事異動により負担の少ない部署に異動となった。やりがいのある仕事と趣味が両立している。 ・ 仕事でプレッシャーを感じなく楽しくできているから。 ・ 十分な睡眠と休養とれている。 ・ ワークライフバランスがとれている。 ・ 睡眠は7～8時間。 ・ 宿泊業で設備管理に従事中です。 ・ 毎日のウォーキング、筋トレ、減塩の食事など、バランスがとれている。 ・ 家事以外の仕事がないので、休養、睡眠が取れる。	・ 仕事と家事、育児、子育ての両立。 ・ 睡眠の質が悪い。 ・ 仕事の時間を減らしたい。 ・ 労働時間が長い。 ・ 人員減による労務員増、残業増による睡眠不足。 ・ 睡眠時間平均6時間。 ・ 水稲農家(自営)4月から12月多忙、他役職とか大変。	・ 子供の部活動のサポートで休みがない。 ・ 睡眠。 ・ 年齢とともに気力がなくなり、家事のスピードが遅くなり睡眠時間が減っている。
2 スポーツの習慣の有無	・ 年間通して週2～3回ターゲット・バードゴルフをしている。 ・ 普通に歩ける杖なしで。 ・ ストレッチをするようになった。 ・ パークゴルフ等。	・ 早期に1時間スポーツ(体操)及びストレッチを行っている。 ・ 毎日の習慣にしたい。 ・ スポーツをする機会がない。	
3 歩行などの行動の制限の有無	・ 自分で車を運転、歩くことに不自由を感じないの ・ 制限なく行動できている。 ・ 行動制限なく活動できる。 ・ 腰の痛み(脊柱管狭窄症)で時々休みながら歩いて	・ 日常の運動習慣が減っている為。 ・ 行動の制限はないが、習慣や時間が取れない。 ・ 脊柱管狭窄症、ひざ変形性関節症歩行が辛くなってきた。	・ 息切れがひどい。 ・ 毎日散歩は心がけていますが股関節や腰など年令重ねるごとに色々痛いところがあるのでとくに70才過ぎと。 ・ 内臓疾患に関わる持病有。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• 食べたいものを食べられる。 • 行動制限がない。		
4 食事の制限の有無	• 食事制限がない。 • 食べたいものを食べたいときに食べるようにしている。 • 自分で食事に注意せずに食べられるので、～を食べてはいけないという事が無い。 • 食事制限なく食事をとれる。		
5 健康診断の結果	• 節酒の指示あり。 • 人間ドックの結果、通院が必要だったから。 • 再検査項目が無い為。 • 以前より良くなった。 • 薬を飲んでいないので健康です。 • 健康診断の結果も良。 • 市の定期診断。 • 人間ドックの受診。 • 健康診断の結果など特に問題がない。 • 結果が良かった。 • やせすぎだが、他基準値内。 • 健康診断の結果が良くなったので。 • 中性脂肪の診断結果がB。	• 通院中で毎月薬をもらっている。 • 血糖値境界値(高め)。 • 高血圧、視力聴力の衰え。 • 腎臓の検査結果が高くなっており、再検査が待っている。 • 健康診断においてC判定。 • 中性脂肪が高値であった。	
6 持病の有無	• ポリープがあるため。 • 高血圧。 • 持病はあるが、通常の生活が出来ること。 • 持病はあるが安定している。 • 肝機能。 • 持病が無い。 • 持病の無い事。 • 生活に支障をきたす持病もなく健康に暮らしている。 • 軽い持病がある。 • 高血圧。 • 膝が痛くなって来たので。 • 持病が無い為。	• 脊柱管狭窄症、ひざ変形性関節症。 • ぜんそく。 • 高血圧。 • 体調に波があり、良くも悪くもなりうる。 • 耳の聞こえが悪い。 • 手術後の副作用が出てきており、生活に支障あり。	• 昨年より体調不良が増え、家事にも支障が出ている。 • 高血圧。 • 股関節が痛い。 • 腎臓結石で、入院した。健康が一番大切と感じた。 • 持病が増えていく。 • 人工透析週3-4時間受けています。食事制限水分制限があります。 • 難聴、目のかすみ、高血圧。 • 脳卒中になったため。 • 肺気腫。 • 仕事と子供の部活動のサポートのため体を休めず、持病が悪化した。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	- 高血圧かかりつけ医あり。 - 病気がない。		- 内臓疾患に関わる持病有。 - 症状は認識していないが、検査の数値で服用する薬が増えた。
7 ところの健康状態	- 仕事も私生活もストレスなく過す事が出来ている。 - くるしいながらも何とか生活できている。 - 家族仲良くストレスがないから。 - 家庭の問題が解決した。 - 娘に早世されて居るので、考える事が多い。 - 家族全員が元気。 - ストレスをあまり感じていない。 - 悩む事をしない。	大学進学のお金の工面。	- 子供の病気。 - 仕事のストレスなどによるもの。 - 妻の死亡。 70才過ぎると出かけようとする心と心臓にプレッシャーを感じて、誰かと出かけると約束するとプレッシャーを感じて、一人働きだと緊張なし。
8 その他()			- 加齢による全体的な衰え。 - 内臓疾患により入院、その後自宅治療。 - 体の衰えをつくづく感じる。
複数選択等(※)	(1.3) 睡眠6時間仕事、動きのあることで運動にもなっていると思う。 (1.3.4) ほぼ自分の自由に出来るから。 (1.7) 仕事のストレスが減った。 (4.5.6) 持病なく健康である。食事内容や量に気をつけている。 (-) 具体的にはありませんが、常に今がベストと思う事です。	(1.2) 休日にスポーツなどを計画的にと思いつつ友達とおしゃべりで済ませているので少し健康的な事をしたいと思っています。	(3.6) 70才を過ぎて脊柱管狭窄症を発症し思うように歩くことができなくなった。 (3.7) 昨年の10月～12月、ケガで入院。現在、まだ歩行が不自由。 (4.6) 70才を過ぎて糖尿病を発症し食事に色々な制限が加わった。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(1)-2 こころの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	- よく眠っている。 - ゆっくり休めていて、それが、こころの健康につながっていると思う。 - バランスのとれた生活をしている。 - 家族がいるから幸せ。 - 自分に適した仕事に従事している。 - 早寝早起きを心がけ生活リズムのバランスを心がけている。	- 仕事と家事、育児、子育ての両立。 - 忙しすぎて「疲れたー」「もう無理だー」と思うことが度々あるが、それをなかなか発散できていない。	- 仕事と子供の部活動のサポートのため体を休めず、いつも疲れている。(心が) - 特にストレスによる睡眠、休養がとれないこと。 - 睡眠。 - 睡眠時間が足りない。
2 仕事・学業におけるストレスの有無	- 仕事は1～2日/週で割と自己都合で出来る。 - 仕事に忙いこととはとても良い！ - 特にストレスはない。 - ストレス無く仕事が出来ている。 - 人間関係のストレスが減った。 - 仕事でストレスがあまりない。 - ストレスがあまりない。 - 仕事でストレスを多少感じる。 - 仕事上のストレスはあります。 3月に仕事辞めるため気が楽。	- 仕事のやり方を変えるのが大変。 - 仕事はオーバーワーク。収入減のため残業するしかない。	- 定年が近い。業務内容の変化。(会社から必要とされていない) - 仕事のプレッシャーやあせりやミスによるストレスなど。
3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	- 借地の返還・母から相続した家屋の解体。 - 昨年4月～家族の生活スタイルが変わった(子供の進学)。 - 特にストレスは無い。 - 私生活もストレス無く生活出来ている。 - 私生活でストレスがない。 - 問題が解決した為ストレスが少なくなった。 - ストレス全く無いです。	- 将来の不安。 - 仕事と子育てにかかる時間が大半を占めており、自分の時間がもてないことに時々大きなストレスを感じる。 - 私生活において、ストレスを感じることが以前に比べて強くなった。 - 仕事の人間関係・実家のストレス。	- 二人生活なのでストレスを感じるのかも。 - 子どもの受験。
4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など)	- 外出はあまりしないので、家の中でのテレビドラマ(音楽)を見るのが重要な息抜きになる。 - 学びたい事をオンラインとあるがスタートできた。 - 韓国ドラマを見て泣いたり笑ったりしている。刺繍やさし子、縫いもの。 - 家庭菜園。 - 退職し自分の自由な時間を持てたので。	仕事時間を減らして趣味の時間を多くしたい。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	・ 暇があれば読書等。 ・ 国家資格(気象予報士)が活用できている。 ・ 家族との充実した時間の有。 ・ 余暇が充実している。 ・ アマチュア無線をやったり庭いじりをやっています。 ・ 町内会活動や趣味(家庭菜園)など。 ・ 推し活が楽しい。 ・ 趣味を楽しみ、いろいろな人と会話できている。 ・ 好きなことをしていられる(ヒマあれば)。 ・ 休日は夫と楽しく過ごせている。(子が大きいので手かからない) ・ 余暇を楽しめている。		
5 相談相手の有無	・ 相談する相手がいること。 ・ 妹や市役所、障がい者支援センター、医療機関の方々が親切。 ・ 何でも話せる家族がいるから。 ・ 妻と二人暮らし。	・ 一人暮らし。	・ 妻の死亡(2024 年)。 ・ 悩みを相談する相手がなかなかいないこと。
6 からだの健康状態	・ 身心を自由にできる。 ・ 持病なく健康。 ・ 持病ない事。 ・ 持病があるものの、ひどくない。	・ 体調が悪いと不安になる。	・ 身体の回復状態が、いまいちの感じであり外に出られない日がつづいている為。 ・ 高齢とは云え、健康阻害していれば心沈む。 ・ 年令(73 才)すぎると体と心がうまくついていけないのがとてもよく感じます。年とって若い人とはとてもいいなあと思います。昔、年寄りの人によく言われたのをつくづく思います。 ・ 目、耳、高血圧。
7 その他()		・ 親の介護。 ・ 家族の健康状態(月1回の通院対応)。	・ 物価高による経済的な憂慮を以前よりも強く感じるようになった。 ・ 物価高、給料が上がらない。先への不安。
複数選択等(※)	・ (1.2.3). 1～3すべて共通。実家に住みそこで仕事をすることになって東京から帰省したが、精神障害の甥がいてその父親(兄)が子どもかわいさに私を追い出し、人間として家族として扱われず 13 年。 ・ (3.4). 趣味を楽しめている。人間関係のストレスがない。 ・ (2.3) ストレスがなく仕事・家庭で満足している。	・ (1.4) 家族に合わせた時間配分で、自身の予定が立たない。	・ (3.4) 人間関係の問題。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	• (5.6) 宝物のように思う、いとこ、友人がいる。今のところ悪いところはないと思う。 • (-) 具体的にはありませんが、常に今がベストと思う事です。		

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(2) 余暇の充実

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 自由な時間の確保	- 自由な時間の確保が子育てで難しい時もある。 1日のうち少しでもひとりの時間を過ごす。 - 先程も記入した様に、仕事が終わりの時に病院の予約などを入れる様にしたり、頼まれ事したりで、自由な時間が中々取れない。 - 休日は好きな事や、休息に時間を使えられている。 - やりたい事に割く時間がない。睡眠時間を削ってしまいい逆に疲労がたまってしまう。 - フリーな時間は確保できている。 - 自由な時間は、好きな事をしている。 - なかなか1人で使える時間は取りにくい。 - 夫が家事を積極的にしてくれるため、時間がとれる。 - 昨年より平日の余暇時間が増えた。 - 自由の時間が増えたので、自分が好きな事をできる時間が増えた。 - 自分を休ませられる。 - 自分の時間が十分に持てていないと感じるから。 1人の時間があり好きなことができる。 - 自分の時間を作るのがへただ。 - 自由な時間があり、読書、散歩などできる。 - 自由な時間を自分のために使える。 - 自分のやりたいことを出来ること。 - 無職なので自由な時間が取れる。 - 子育て中で確保できない。 - 比較的、自由な時間が持てる。 - 自由に好き勝手ができる。	- 家族や親戚の用事のため、自身の余暇時間が減少しているため。 - 一人になれる時間が自分にはとても大切だと思う。 - パズルで楽しむ。 - 土・日休日もあり出勤も有る。平日休日もあるので、時間の調整自由。 - 昨年末、父親が亡くなり高齢の母と2人暮らしのため外出を控えているため。 - 家族の協力のもと、自分の時間を持てている。 - 仕事以外に地区の役員(強制)やスポーツイベントの役員などに土日もとられ、「自分の時間」が無い。 - 自分の時間がほぼ無い。平日仕事でできない家事などをやる為に使っている。 - 家の事をしていると時間が足りない。 - 限られた時間ではあるが、子ども達も成長し、自分自身の時間が作れるようになった。 - 好きなTV番組を見られているから。 - 休みの日は家事と家族の通院付き添いで終わるので。 - 自由時間を確保できない。 - 仕事を辞めてからかなりたつけども上司や同僚などからのいじめがないからその点は充実している。 - 定休日(週2日)と早朝時間を自由時間として活用。 - 自由な時間の確保もありがたい。 - 毎日が慌ただしく休日でも家事や通院に追われている。やりたいことは沢山あるが時間捻出ができていない。 1人の時間を楽しめている。	- 自分のための時間がとれにくい。 - 仕事忙しいので自由時間が少ない。 - 休日は子どもの習い事の送迎中心の生活。 - 自由な時間がある為。 - 日常生活(家事等)で1日が終わってしまう(病院に行く事も多いので)。
2 運動や行動の制限の有無	- 割と制限感はない。 - トレニング、ジム。	- 健康体で日常の行動に制限がない事。 - 基礎体力の低下。 - 持病の為運動制限がある。 - 腰に気を付けながらも、それなりに自由な行動、活動ができています。	- 歩行困難。 - 加齢による衰え、興味関心の低下。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 制限無。 - 歩いて、買い物や用足しに行ける。1人の時間を楽しめている。 - 公共交通機関を使える体でないのでも出歩けない。	
3 文化・芸術の鑑賞	- 地理的な不便さを感じるものの、ネットの時代でなんとかなっている。 - 自分から出かけるように心がけている。 - 友人と出かける事ができるようになった。	- TV、ラジオ、PCで、好みのものをえらべることが幸せと思う。(外へ出かけて、は年々体調的に制限が出てきているが) - 主にテレビを見る。 - 保存会の活動も自分が主となり動かねばならない年になり、参加するのは楽しいが責任もある。 - 好きな映画や音楽を楽しんでいる。	鑑賞したいミュージカルなど県内に少ない。
4 スポーツ観戦	プロ野球観戦。	- 家族と野球観戦に行きたいが、からの不自由さから道中の心配があり、なかなかできないでいる。 - たまのドライブ(ランチ)(夫運転)が気分転換になる。 - 高校・大学野球を観戦している。 - どうすれば観戦できるのか手続きを考えると後回し。	
5 文化・芸術活動の場所・機会	- 美術館などに行って良い刺激を受ける。 - お茶等。	- 歴史文化のまとめ。 - どこへ行けば良いか分からない。 - いろんなイベントに呼んでもらえるが、ほとんどがボランティアで、費用がかかる。楽しいからがんばっているが。	- 身近に文化を体験させてくれる方もいる。ただ選択肢に限りがあり、幅がないなど感じてしまうこともある。 - 簡単に行けない場所で行うことが多いので。 - 県立美術館など夕方から夜にかけて開いてほしい。
6 スポーツの場所・機会	去年冬からボーリングを始められた。(冬場だけ)	コース整備、練習、各種大会(毎月何かしら開催される)で通年忙しい。	
7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	- 釣り。 - 家周辺の散歩がクマの出現の可能性があり。昨年夏頃から控えている。現在は雪の為制限あり。 - 夫が難病になって、車の運転が出来なくなり、免許も返納したため、遠出など出来ない。	- 自然と親しむ特に山菜取り秋は「キノコ」取り。 - 山登りも好きで、友達や家族とも、よく歩いたが、お互いに高齢になったり、コロナがあったり、又今は「クマ」問題もあるので行かない。 - 趣味の登山で余暇が充実している。 - 山や海が車で行ける。 - 毎日が慌ただしく休日も家事や通院に追われていて、やりたいことは沢山あるが時間捻出ができていない。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	- 町内会、老人クラブ。 - 気象学の研究中。 今、庭園管理講座通信教育中です。	- 登山が好きで今年は10座登った。 - 山菜、きのこ採り、釣りをしている。 - 学習時間がとれない(睡眠してしまう)。 - 自分より高齢の方との交流により元気をもらっている。	
9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	- 環境保全活動(草刈、水路整備)。 - 自治会活動に参加。 - 地域活動ができない状態(介護中で)残念で心苦しい。 - 行政区長・農家組合長をそれぞれ4年努めた後、3年度目の集落長と3番目の農家組合稲作部長を今年度努めている。限界集落に近い状況で止むを得ないものと引き受けたが何とか努められている。農業共済部長については、3期9年間努め、去年他の人に譲ったので少しは楽になっているが、町が動かないので20年ボランティアをしているが、町が動かないのでジレンマ！ - 自治会等多くの活動がある。 - 小中学校、地域でお天気教室を開催。 - 町内会の防犯部に所ぞく中。市の交通指導員として、学童の登下校等に從事中。その他。	- 陸上審判などで社会貢献ができています。 - 各種団体での活動や通院補助等に従事している(ボランティア活動)。 - 学校運営協議会委員として児童の社会活動に関わっている。 - 町内会活動。 - 消防活動。 - 社会活動交流(老人クラブ他)。 - 町内会や社会福祉法人での活動などで、地域に貢献できているような... - 私より年上の人の友人が多く灯油給油など頼りにされている。 - 活動する場はたくさんあるが、仕事で忙しくて参加できなくなってきた。	
10 趣味・娯楽活動の場所・機会	- 家族が趣味を認めてくれる。 - 週2回カラオケ愛好会の皆と交流(15~20名)(主人と参加1回で5~6曲歌う)。 - 時々、温泉に行き、のんびりする。 - 地理的な不便さを感じるものの、ネットの時代でなんとかなっている。 - 自分のやりたい趣味に時間を使えているとき。 - 友人と出かける事ができるようになった。 - 主に海釣り。(2ヶ月に1回程度)。	- 物価高もあり、趣味や娯楽に費用をかけることが難しい。 - 育児・家事に割く割合が多く、自分の時間はあと回しになることは多いが子どもが大きくなってきてことで少しずつ増えたように感じる。 - 趣味の時間があること。 「時間」はあるが、余暇として活動していない。 - 良き先生、仲間にあっけなく交流することは高齢者のけんこうに大きく影響している→自分のことでまわりの人をみてもすぐ重要と実感する→行政をもっと生かしてほしい→皆心が元気、いきいきしている。 - 体調により、戸外に出かけることはほとんどないが、家の中でできる手ごと、DVD鑑賞など時間を	趣味がないため。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
11 家族との交流	- 離れている子ども、孫とLINE通話で日常が手に取るように分かる。毎年1、2度は帰省し一緒に時間を過ごすことができる。 - 別居ではあるが孫の存在。 - 定期休業ではないのでなかなか子どもたちと交流できない。 - 別居の家族と時折(年2-3回)小旅行(県外)。 - 県外に住む子どもや実家や兄弟と制限無く交流出来る。 - 外出・外食・レジャー。 - 孫との交流。 - 人間関係に恵まれている。 - 家族と交流できるように、工夫している。 - 外孫や妹、姪等と笑った会話が出来る事。 - 家族と出かけたりしたりすること。	- 横ばい - 作っている。 - 犬との散歩／1日2回や趣味(家庭菜園・読書等)。 - 毎日が慌ただしく休日でも家事や通院に追われている。やりたいことは沢山あるが時間捻出ができていない。 - 家族と一緒に、レジャーに出かけられるから。 - 家族の時間が大切だと思うから。 妻、子ども達との家族ラインとの活用で「つながっている」なアと思う。 - 家族と一緒に食事して、会話をしている。 - 旅行を楽しむ。 - 孫の世話で、時間が過ぎて行く。	完全看護です。
12 知人・友人との交流	- 仕事を主とし、友だちと会う時間や語り合う時間があまりとれない。 - 友人と1月1、2回酒をやっています。 - 友人との会話の効果。 - 地区の人との交流が多く、飲み会やスポーツ大会に出場でき楽しい。 - 共通の趣味の友人と交流する。 - 人間関係に恵まれている。 - ラインで、お話ししたり、食事にでかけたりする。	- 常に交流を大事に過ごしている。 - コロナ以後友人との交流が少なくなった。 - 知人・友人との交流の中で座禅や旅行等に親しんでいる。 - 知人・友人との交流の機会が多くあり、いろいろ話せるのは、ありがたい。 - 知人との情報交換が大切だと思うから。 - カラオケ、ツツジ・シャクナゲの栽培、ソバ打ち名人のソバを食べる会など(月1回)を楽しんでいる。 - 学生の頃の友人達とのライン仲間、親父3人による月イチの飲み会！！(3人での飲み会は13年目に突入)こんな俺と飲んでくれる友に、感謝！！	コロナ以来、友人との交流が減った。
13 その他	せっかくの休みも病院通いでつぶれる。	- スマホとパソコンが無かったならば、とうの昔にボケてしまっていたと思う。 - 家や、会社、の所有の土地や建物管理する物件が多く、手入れなどに時間をとられる。	- 大きな持病を、3つ抱え、それに対しての通院が第一。それ以外を家族、友人との交流、施設に入所している母親の見舞等々使用。 - 仕事だけで疲れてしまい趣味などへの意欲が減。 - 休日でも仕事が入り休むことが少ない。 - 健康でなければ、余暇時間も生きられないため

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
複数選択等(※)	・ (1.2)自分の考えているように今のところ自由な生活。 ・ (1.7)子育てが終った事により、休日が自由に使える時間となり、ストレス発散できる。 ・ (1.10)自由な時間があり家族との交流はあるが、趣味が無く、知人・友人との交流が無い。 ・ (3.4.5)東京から戻ってみると、舞台を鑑賞したり美術館へ出かけたり、そういうことが、できない。盛岡近郊にでも住んでいればそれでもできるのでしようが、干廐にいてはとても無理。東京まで行くには莫大なお金と時間もかかる。格差がすごい。不公平。 ・ (6.7)定期的な運動の重要性。 ・ (8.9)勉強しようと思えば、できると思う。ボランティア活動が大好きです。今も2、3件やっています。 ・ (11.12)親しい人との関わりが大切。 ・ (11.12)暇な時間が多いため、どちらともいえない。 ・ (11.12)子ども・孫たちと楽しい生活。いろんな人達とつき合いがあって幸です。物好きで大変。 ・ (-)煙力、外に出るようにしている。 ・ (-)スポーツの参加、ピンポン1年間。プール夏の間だけでも泳げないから歩くだけ。	・ (1.12)自分の自由時間が少ないため、なかなか友人に会えない。 ・ (6.11.12)ソフトテニスのプレー、指導(我が子を含めた小中学生への指導)。 ・ (7.11)夫とドライブや買い物、温泉(泊まり、日帰り)を楽しんでいる。 ・ (9.10)町内会や地区の行事には、必ず参加し有意義な時間を過ごしている。 ・ (10.11)図書館の活用(本を読むのが好きなので)孫との交流。 ・ (10.11)給料は上がらないのに、子育てや税金が上がり続け、自分の所に回す余裕がない。 ・ (10.12)友人とキャンプ飲み会。 ・ (11.12)多くの友人との様々な交流が長く続いており、また各々の子家族との交流も要因かな。	・ 気がわかない ・ 仕事の時間に追われている。 ・ (1.13)介護をしている。施設は利用しているが、拒否あり、利用時は送り届ける。(10 時頃)。又、施設が職員の体調により休みとなる事があり、予定を立てられない。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(3) 家族関係

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 同居の有無	・ 近くにいることで理解が深まる。 ・ 帰宅時間が遅いので母に迷惑をかけていますが、協力し合えていると思います。 ・ ひとりである時より助けってもらえるであろう安心感。 ・ 自分の親と暮らしているが、私・夫・子というよりも、家事負担は大きい。高齢になってきているため、家にかかることが増えた。 ・ 妻と。 ・ 妻、長男、次女と同居。 ・ 孫や子どもと同居して話をしてすることが楽しい。 ・ 同居しておらず1人暮らし。 ・ 4人家族。	・ 妻と別居中。 ・ 妻には結婚してから最初から同居してもらった感謝！！子ども3人共も、同居は中学3年まで。進学は家を出たので親離れが早かった。 ・ 別居の為(子どもの生活に立入らない)。 ・ 長男と同居。 ・ 別居しているのが良い。 ・ 義母との同居。 ・ 同居を解消した。 ・ 高齢世帯だが、夫婦共健康であることの意義が大きい。 ・ 2月に母が亡くなってから夫と二人暮らしです。 ・ 同居はしていません。 ・ 妻と同居していて、一日の大半を過ごしている。 ・ 両親と同居しているの、何かあったときに面倒をみやすい。 ・ 息子、妻となんでも話せる。そのせいか息子が結婚しないのが悩みの種です。 ・ 役割が行えている。行ってもらえる。	・ 完全同居。
2 会話の頻度(多い・少ない)	・ 子どもはスマホばかりです。 ・ 帰宅が遅くなることが多いが家族との会話はストレスの発散になります。 ・ 年齢とともに会話が少なくなっている。 ・ もっと会話をしたいと思いが、特に平日はなかなか時間に余裕がなく会話が少ないことも多々あります。 ・ 会話は大事だと思う。	・ 頻繁に連絡や会ったりしているため。 ・ 日常のコミュニケーションがどのくらい取れているかが大切だと思う。 ・ 孫が弁当を毎日取りに来る。 ・ 自分の母親と毎週会話する機会があり相談できる。 ・ 自分があまり会話をしない為。 ・ 離れている母親とも毎日電話で話し、子どもともたくさん話をする。 ・ 息子との会話が少ない。 ・ 家族で共に行動し、会話する機会が多い。 ・ 家族3人です。1人は他県に住んでいるが常に連絡をしている。夫婦は楽しい毎日を過ごしている。 ・ 話しをすることで、互いの気持ちがかかるため。	・ お互いふだん余計な事は言わないって感じかな？ ・ あまり話をしない。趣味があわない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
3 一緒にいる時間(長い・短い)	妻と二人きりであるが、一緒に行動する事が多い。	- 子ども達との会話。 - 一緒にいる時間が長すぎず、短すぎず適度にあらる。 - 中々家族で一緒にいる時間を作れてないこと。 - ほとんど毎日朝・昼・晩一緒にです。 - 夫婦で自営業をしていて、共に過す時間が長い。	皆、仕事に忙しい。
4 家事分担のバランス	- 分担のバランスが悪く、やらない事は全て負担する事になっている。 2年続けて足の手術をして、不自由なところがあるので、多くの家事を分担してくれているので助かっている。 - 犬がいます。毎日犬の散歩に子ども達が必ず来ます。生活の励みに、犬をつかっています。 - 自分の親と暮らしているが、私・夫・子というよりも、家事負担は大きい。高齢になってきているため、家にかかると増えた。 - 夫が炊事を始め家事全般を行っていただけなので助かっています。 - なんとなく夫婦間で役割分担ができています。	- 進んでやってもらえる。 - 食事、洗たく等やってもらうので助かる。 - 朝の掃除は全て実施。食事後の片付けを可能な時には実施。 - 家事分担のバランス取れていると思います。 - 妻に食事はまかせているので、後片付け等は自分が90%行う。 - 家事を分担している。 - 家事を手伝ってくれるようになった。	主人は定年で、黙って椅子に座って毎日テレビばかり見ているので、私が全部しなければならぬ。
5 ペットの存在	- 室内犬といつも一緒に。 - ペットは癒やしになります。	- ペットがいる事で、家族の会話が増えた。 - みんなネコ2匹をかわいがっている。 - ペットの存在は生きがいになる。 - 家族との仲を取り持ってくれる。 - 平均1日2回の散歩をする助けになっている。	猫を飼っているのはいややされている。
6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担)	夫が病気になる、今、仕事をやめ、家事を全部やっている。	- いつも安定して食事をつくっている。 - ついつい怒ってしまう。	- 特に、母が認知が進んで来ている為、私もイライラして、大きい声出したりしてしまう時があったりで…。 - 近い関係だけに距離の取り方が難しい。
7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担)	- 時々、家族に農作業を手伝ってもらう！ - 高給料ではないので、負担をかけている。 - 息子の奨学金返済を手伝っている。 64歳で不自由な、自分でもまだ働いていることは、貢献できていると思う。 - 現在も契約社員として就業しており、74才まで働く予定。	- 経済的に貢献している。 - 自分が家に入れているお金が少なくなってしまうと思う。 - 自分の年金で何とか生活を維持できている。 - 年金の形で収入が無いのは私だけなので。 - 両親に、安心して暮らしてもらえ。 - 自分が働いている。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	- 子どもの存在に毎日感謝しています。 - 負担に感じることも多いがそれ以上に支えてもらっていると感じることが多い。 - 自分の親と暮らしているが、私・夫・子というよりも、家事負担は大きい。高齢になってきているため、家にかかることが増えた。	- 自営業の計理と家計を担っている。 - サポートしてくれる安心感がある。 - いつも心配してくれるので安心している。 - 息子達が常に心配し毎日曜日電話で確認。 - 妻の病気の為。 - 家の物（いらぬ物）は捨てる事と言われるけど、働いてないので必ず使う時がくるので捨てられず。	- 嫁の存在～家事最小限。他の家族の負担が大きいです。 - 高齢の親との生活が体力的に大変になってきた。 - 近い将来、介護が必要となるため。 - 高齢化による負担増。 - 父親との同居がストレス。 - 特に、母が認知が進んで来ている為、私もイライラして、大きい声出したりしてしまう時があったり… - 妹（38才）が身体障害者1級で車イス。精神年齢も4、5才位なので、母と二人で暮らしているが、認知が進んでいる母親という大丈夫か最近心配になって来ている。 - 気を使っている。 - 夫の親が病気で通院、入院することが多くなった。特に介護、世話をメインでやっではないが（夫と妹達がメイン）いつ、こちらにくるか、不安。正直嫌です。
9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	- 実の親子なので、そこまで、きっちりした要求はしていないが、休みの日には、家事を積極的にやるとか、してもらいたいのが、全く協力しない。 - 子どもも、生活費を、少し、出してくれる。 - 対等では無いことは理解するが、妻ができなさ過ぎる	やりくりの全てを任されているが、私により判断力がないため。	- 物価も高く経済的に非常に大変。成人している子がいるが、家にお金を入れてくれているが、主人が全て管理しているので私の経済的負担は一銭も入らず、増えるだけ。 - 経済的な負担が高まる。 - 高齢化による負担増。 - 負担してもらっているので、助かっている。
10 困った時に助け合えるかどうか	- 病気のため調子の悪い時など、家事を手伝ってくれするなど看病等もしてくれてサポートがあった。 2人生活。すぐ近くに子どもや孫がいる。 - 困った時に相談できるから。 - 息子のリストラで、助けて欲しいと頼まれて、経済的な援助をしてあげた。 - 困った時は直ぐ来てくれる。 - 不自由な自分を家族が助けてくれる。	- 孫の送迎とか、食事の準備。 - 協力しながら生活している。 - 困った時に頼りになる。 - 母親と二人で住んでいたが昨年1月に脳出血で倒れ入院して、生きているが食物状態で兄弟が合計3人いるが、遺産でもめているので不仲である。行き来がない - 困った時にはいつでも助けてくれる。 - 近くに住んでいるのでお互いに行き来が多い。 - 子ども達も含め自分に何が出来るかという所で協	困った時には助け合えない。協調性なく話し合うことはない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 力あっていると思う。 - 困った時に助けてくれる。 - 何か困っても話し合えるし、夫が頼りになります。 - 助け合いになっている。 - 同居ではあるが、何かあれば連絡取り合えている。 - 社会活動に重きを置いているため、家族関係がやや疎かになっている(ネット活動)。	
11 家族はいい			
12 その他()	離れて暮らしているが交流があり支えあっている(同じ県内に在住)。	(1.2.3.4.5.6.7.8.9.10)自分的には、とても良い家族関係だと思っています。 (1.8)年々と同居しているのがしんどい。気を使うのが疲れてしまった。 (1.10)実父母との同居でとても助かっている。 (2.3)健康であり、二人が共に会話が長く、楽しく一日が終わる。 (2.3)家族が休みの日に尋ねていく程度(1時間位)。 (6.8)常に家族に支えられていると感じており、自分もそれに応えたいと思っている。 (7.9)経済的な安心があると、心にも時間にも余裕が生まれるから。 (7.9)年金生活ながら、互いに負担し合い、互いできくことをやり支え合っている(-)妻と二人で話し合い協力しあって生活しているので自分ではうまくいっていると感じている。 (-)家族はいいと言いたいくらいです。仕事も家も奪われ、まともに暮らせる金銭も与えない。何をきいても返事がない。ネグレクトという最大の虐待の中でずっと暮らしている。 (-)1人暮らし子ども達自力していない。	- 警察が仕事しないです。 - 一緒に暮らしていない(仕事の関係)。 (6.7)病院に行く回数や金額を主人が良く思っていない事(近くの病院でないのだ)。 (7.8.9)父がボケはじめた。通院にともなう時間。
複数選択等(※)	(1.2.3.5.6.7.10)健康を害し自宅に居る時間が多くなかった。 (6.7.8.9)家族であればあたりまえ！！ (-)今は家内と2人暮らしだが、30分程(車で)離れた所に息子家族がいるし、週1回程度は来るし、一緒にごはん食べたり、生活や健康の相談もしている。		

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(4) 子育て

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	・ 自身に何かあっても、頼れる親戚家族が近くにいたので安心して生活することができ。 ・ 親が近くにいるので助けてもらえること ・ 放課後に見てもらえる。 ・ 両親と同居できていることの影響が大きいです。助かっています。 ・ 親が近くにいる。 ・ 子どもをもっと安く気軽に預けられる場所がほしい。(短時間でもいいから)。 ・ 仕事を休んでばかりもらえないので、代わりに見てくれる親(父)の存在が大きい。	・ 親(私)が全面的にサポートしている。	・ 実家の両親の存在にとっても助けられています。
2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	・ 孫の保育園での送り届けの時間制限がひどい。時間ジャストじゃないと文句を言われ職場までの距離(〇〇分あれば行ける)についてまで口出しされる。	・ 保育所は自宅近くを優先に出来るような余裕がほしい。 ・ 夜7時まで子どもを預かってくれる場所があるから仕事を続けられているため。 ・ 今は保育料が無料化で大変いい時代になったと思います。私達の時代は保育料が収入によってだったので簡単に預けられなかった。	・ 小学生の子どもが学童クラブに入れず、非常に困っている。仕事が続けられない。
3 配偶者の家事への参加	・ 夫が家事全般を行っています。	・ 現在妊娠中ですが、前々から積極的に参加してくれている安心。	・ 子どもが3人いますが、大学2人、高校1人は大変です。
4 子育て支援サービスの内容		・ 孫がいるが、自分が子育てしていた時より、支援が充実していると思う。 ・ 支援サービスも整いつつある。	・ 支援に対するサービス給付等もっと充実して欲しいと熱望します。
5 子どもの教育にかかる費用	・ 教育料が無料で充実しているから。	・ 子どもが大きくなるにつれ、進学を希望するにあたり、お金がかかる。 ・ 子どもの教育にかかる費用。 ・ 進学時、都市部より、費用がかかる ・ 母子家庭などの補助(養育費のない家庭へ)。	・ これからの人は恵まれているが、過去支援が少なく、大変だった。なぜ年収が高い人は、補助が少ないのか？弱者を守るのvoudうかと思う。税金はたくさん取られるのに補助は少ない。意味がわからない。 ・ 補助額を増やせば少子化対策にも繋がると思います。 ・ 大学が近隣にないため教育に大きな負担がかかった。 ・ 教育資金が大変。 ・ 二戸から盛岡の高校を電車です通っている。通学費

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
6 子育てにかかる費用		- 学童保育の料金。 - 収入の関係で高校の授業料免除からはずれてしまった。「それだけ多くもらっている」と言われるとそうなのだろうが、同じ子どもなのに医療費でも負担していて、不公平だと思う。	私立高は金がかかりすぎ。
7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	休みが取りづらい雰囲気。長時間、持ちかえり労働。	労働時間、通勤時間が長く、子育て時間が短い。	現役時代は毎日残業(ボランティア残業)で家族との夕食はほとんどできず。
8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	夫の勤め先は婦社は定時、休日も子どもの行事に合わせただけです。	親(息子)の仕事が子どもの行事に合わせて時間をとれる。	
9 自分の勤め先の子育てに対する理解	- 子育て世代が多く、休める。 - 会社で理解があっても直属の上司の理解がないと、有休等取りにくい。		突然の休暇を頂きたい時にも、嫌な顔せず対応してもらっています。
10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	夫の勤め先は婦社は定時、休日も子どもの行事に合わせただけです。	小さい子どもへの理解(特別に何年間か考えるべき)。	
11 子どもに関する医療機関(小児科などの充実)	- 医療機関が身近に無い。 - 近くに小児科が無い。(車で約50分かかる)	- 自分達の子育ての時もそうでしたが、専門の医療機関が無く小児科は近隣市町村へ行かなければならない。 - 産婦人科が少ない。 - 老人2人暮らしなので。 - 少ない！！ - 通院は本当に大変。病気は減少するだけで通院できる病院もない。青森県八戸市の病院へ行くことが多くなった。	- 医療機関が近隣にないのは問題。 - 小児科・産婦人科が無く費用・時間対応に苦心した。
12 子どもの遊び場(公園など)の充実	- 自然に恵まれた影響。 - 家の近くに公園が無く、子ども達が遊び場がない。 - 公園がない。	- 公園はあると思うがもう少し遊具を整備してもらいたい。 - 充実した公園が少ない。	他市町村、他県に比べて少なすぎる。ほぼ他地域に行く。
13 子どもの習い事選択の幅		- どれだけの選択肢を与えてあげられるか、場合によっては送迎も不安。(遠ければ) - 地元の民度、教育に対する意識も低いのだと思うが、塾等も数少ない。田舎だから仕方ないの一言になるのでしょうか。お金と暇のある人は八戸の塾に行	少子化なので習い事や塾も1時間かかるのが親の負担です。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
14 わからな (身近に子どもが いない、子育てに 関わっていないな ど)	今は子どもがいない。昔は配偶者も子育てに協力してくれた。	28年間、県内で過ごした息子が他県に移住した(子育て中の)。 - 子どもは全に社会人になった。 - 近所の子ども達を見ているとすこやかに育っていると思う。 - 子どもたちは皆成人している。孫はいるが埼玉にいます。	子ども達は成人して社会人になっている。
15 その他()	自分が子育てをしていた頃に比べ、ベビー用品が安価の上、国の子育て世代の支援が。	- 子ども達は全員育てたので。 - 子どもの進学の選択のせまさ。	- 昭和20年～30年代、ほとんどの主婦は、家で家業の手伝いをしながら子育てをしていた。その頃が子育てには良い状況だった。近所には野菜屋、魚屋、肉屋、米屋、とうふ屋など必要な物は近所で調達できていた。値段も安価だった。味噌など多くの食材を家庭で手作りできていた。現在、主婦が減り、仕事に出て働いている。にもかかわらず、若い夫婦の生活は苦しい。子育てどころではないようだ。 - 奨学金返済が厳しい。補助制度を充実してほしい。 - 子どもは社会人と大学生のため、ほぼ育てあげた。 - 子育て終了。
複数選択等(※)	(7.8)自宅で妻と2人で自営業。 (11.13)ほとんどなし。 (11.12)医療機関、遊び場が少ない。	(5.6)子育てや教育に多額の費用を要する。 (1.13)近くに主人の親がいるので本当に困った時だけ頼れるが住まいの近くにチームが少くない。 (-)二人の子ども、三人の孫も社会人になり、頼もしい人間に各々成長してくれた。いたわってくれる。	(1.2)東北に頼る事ができる親戚がいないので、預けられる公的サービスの不足が大変。 (5.6)交通の便が悪いので、子どもが大きくなって親の送迎が必要で通える学校も選べない。 (5.7)長女の高校(私立)にかかる費用と修学旅行2人分にかかるお金が高い！働きたくても色々大変。すぎないようにしなければならぬから大変。

※ 複数選択等の()は、要因の番号の記載が無かったもの

(5) 子どもの教育

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 学力を育む教育内容	- 習字、英会話。 - タブレットを使用した授業。	- まだ子どもが小学校低学年なのであまり実感する場がないですが、定期的な学力を測るテストや、生活習慣チェックのようなものがあり、見直せる機会があって良いです。 - コロナ等もあり、教科書が全て終わらないまま、進級している。今後ともとても心配です。 - 学校の学力の低さ。 - 教育、教員、教員指導者のレベルが低い。 - 岩手県は学力が低い。教師の質の向上が必要。 - 教師の指導力の差が大きくなっていると感じる。 - 子ども中心のはずが、大人の余裕がなく格差が出ている。 - 沿岸部と内陸部では差があるように感じる	- 学校は学ぶ所を主体的に行なう事が良いと思う。(雑務が多い) - 学校全体が落ちつきがなく、外に出ていく子への対応で担当が不在がち。自習が多く、落ち着いて学べる状況ではありません。 1学年で学力差が大きく、学校との相談があまりできていない。 - 基本の教育は大事だが、ひとりひとりに合った学びがない。皆一緒ではない - 学習のスピードが早すぎて、子どもがついていけない。塾に行くのが当たり前な感じになっている。
2 人間性、社会性を育むための教育内容	- 様々なタイプの子がいること等を教えて下さっています。 - 社会性を育む子ども達との関わりが欲しい(小、中学校で)。 - 学校や先生が人間性を重んじてくれる。 - 今の子どもは人間性が少ない。 - 人口減少に伴い、保育園からずっと同じメンバーで過ごすことの安心感と、物足りなさ。 - ボランティア活動、子ども会、老人会の活動に参加。	- 色々な活動をさせてもらっている。 - 先生が怒ると、訴えられる社会がダメ。 - 学校教育がメリハリがあると思います。 - まだ子どもが小学校低学年なのであまり実感する場がないですが、定期的な学力を測るテストや、生活習慣チェックのようなものがあり、見直せる機会があって良いです。 - 子ども中心のはずが、大人の余裕がなく格差が出ている。	- 日本人は、16,000 年以上前の縄文時代から、平和で安定した社会を営んできた。それは世界の民族にも強く影響を与えてきた。様々な技術と文化・芸術を創造して他の民族に伝えてきた。そのような歴史を持つ日本人は、誇りと自信を持っていいにもかかわらず、学校の教育はそれらをすべて否定しており、子ども達に真実を教えていない。「日本人は悪い民族だ、世界にヒドイことをした」と今でも教え続けている。学校教育の間違った歴史観を正さない限り、子どもたちの健全な成長を期待できない。 - もう少しお金の事の勉強をするべき。 - たくさんの方と話し考え、学ぶ内容を増やして、自分で考えられる機会を、たくさん作ることが大事だと思う。
3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	部活動の回数が少なすぎる。	隣、近所の子ども達は挨拶も良いし健やかに元気である。 - 体育・部活動の専門的技術・知識を持った先生が少ない。 - 部活動の時間の長さや、休日の練習が多すぎる。	- クラブチームの地域移行化が学校・部活によって違うところがある。また外部の指導者の考え方もバラつきがあり混乱したので。 1人1人の生徒を見られる定数法を実現すること

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- クラブ活動はコーチ、先生が一生懸命のため、子どもも親も熱が入ります。 - まだ子どもが小学校低学年なのであまり実感する場がないですが、定期的な学力を測るテストや、生活習慣チェックのようなものがあり、見直せる機会があって良いです。	
4 不登校やいじめなどへの対応		- 不登校。いじめられている子どもは気が弱く自分が発信できないことが多いので、発信を自然とできる場、先生が察しするような場を作ってほしい。 - 孫がかなりの「いじめ」にあった。対応はしてもらったが、かなり苦しんでいる。 - 不登校への取り組みが不十分。	- 中学校では、いじめ、不登校が年々ふえている。 - 市内にはフリースクールが無い。 - クラス変えなど、柔軟に対応してほしい。クラスが合わず、子どもが不健全な思いをしている。 - 近くの高校まで列車で30分。子どもの希望では80分。 - 子どもができたら、ママ、パパの支援がないので片寄った考えなどが、いろいろな学校で問題になっていると思う。 - 高校、大学が近くにないので選べない。
5 学校の選択の幅(高校、大学など)	- 内陸に偏りすぎている。 - 田舎なので選択肢がない。進学希望なら、ココ、就職ならココとココ…的ムリせず入れるので、子どもの受験に対する意識等が低い。	- 大学の学部の種類が少ない - 盛岡はようやく県立大学も身近にできて学べる場所にはできていますが、盛岡以外から大学に通うと結構アパートなど出費がかかる。 - 大学に入学させたのに費用の関係で入学させることが不可能(学費、住宅)。	
6 図書館や科学館などの充実	- 図書館前より大きくなりましたが、できればもっと充実してほしい。 - 子どもだけで気軽にに行ける施設が少ない。 - 内陸に偏りすぎている。		子どものため…と言いつつながら子どもの活動の場が少なく感じる。体を動かせる場所も必要ではないか。
7 学校教育における地域学習	自分の子ども達の時には無かったが、公営の学習塾が出来たので地元の高校生達には良かったのではないかなと。	子どもにも地域について勉強していると思うから。	
8 地域での教育・学び	- 地域との交流が少なすぎる。 - 放課後保育で地域の人達に見てもらえる事学習以上に得るもの大きいと思う。	- 地域の行事等に子どもにも声をかけていただければ助かります。 - 沿岸・県北には先生の数が少なく、また専門科目の免許のある先生は来てくれない。	地域でのスポーツ教育などを充実させる。
9 わかからない(身近に子どもがいらない、子育てに関	子どもが独立した為。	身近に子どもがいなくても、ニュースや新聞、ネット等から感ずること。	- 子ども達は成人している為。 - 近所の子どもにも声をかけられることが許されない。 - 子どもは社会人になっている。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
わっていないなど)			
10 その他()		- 子どもは全員(4人)大学を卒業させた。 - 高校になると、高校入試の為、冬休みが短く春休みが長くなってしまふ為、どうしても学力低下がみられてしまう。 - この地区では、上記の様な事は現在有るのだけれど聞いた事がない！！ - 中学校教師の質の差が大きすぎる。	- 学校のICTが遅れている。学校が古い。机等も古い。 - 子育て終了。
複数選択等(※)		(1.2.3)本人の意思もあるので、教育してくれていると思うが何とも言えない。 (-)学校は何もできていない。	(1.2.3)特段、具体的な教育内容が思いつかない (1.5)全国的に見て、学力が低い。その為に大学へ行くのにハンデとなる。お金をたくさん使って個人で学力をつけるのも変な話。塾へ行こうにも、半強制的な部活や行事が負担。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(6) 住まいの快適

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	- 二世帯住宅にして幸せ。 - 古いが大きい。	- 薪ストーブがあり、ほぼ燃料代がゼロで暖房でき。また、ストーブで炭も作れるので、その炭を部屋の火鉢で燃やして暖房や調理に利用している。 - もう一部屋欲しい。 - 二人暮らしにはやや広い。 - 家族4人で生活するには満足。 - 被災前の家より狭く、部屋が狭くなっているため。 - 家の大きさは、大きくて良い。 - 夫婦二人が住むには十分な広さがある。	- 利便性はいいと思いますが、もう一部屋あるといいのでその点が…。 - 子どもが走りまわるようになって少し狭さを感じるようになった。 - 孫4人となりお盆やお正月は大家族(10人)となり狭さを感じる。 230㎡と広いが築45年となりリフォームがしたい。
2 居住形態(持ち家か借家か)	- 子どもがいるため一戸建てであると気を使わなくて安心。 - 持ち家で、それぞれ、個室があり、自由である。 - 親の協力を得て、持ち家7人で同居。これ以上無い幸せな事！！ - 持ち家。 - 持ち家であり、ローンが既に終わっている。 - 持ち家。	- 持ち家なので生活音が気にしなくて良い。 - 持ち家のため、とても暮らしやすい(自分たちの好きなように動ける)。 - 持ち家。 - 持ち家ではあるが、古い家で屋根がこわれかけている。 - 持ち家のため気を使わなくて良い。 - 自分の持ち家に住んでいる。	持ち家ではあるが、借地である。
3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	- リフォームをしたくても資金がない。 - 地震・水害の被害が少なく住みやすい。(盛岡は) - 築30年以上になるが、東日本大震災の影響も受けず、ありがたい。	- 軽量鉄骨作りで耐震・耐火性に優れていると思っている。 - 家が古くなってきている。	- 目の前の水路があふれ玄関先まで浸水する(豪雨時、去年1年間で2回)マイナス要素。 - 危険区域に家が有るので。 - 昔の古い家なので耐震が心配。
4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	- 古い家なので、天上が高く、冬はなかなか、温まりにくい。 - 機能性の良さを感じるが、それを維持する費用が高い。 - 冬は寒い。 - 昨年リフォームしたので冬暖かくなったので良いです。 - 父が亡くなる前に妹から風呂のバリアフリーを進められて工事してもらったけど使える状態ではなく今は銭湯に行っています。	- 自宅の築年数が古く、冬はとても寒く、夏は暑い。健康状態に影響を感じる。 - 二男が車イス常用。自宅がバリアフリーのため自身の病気で移動や生活に全く困らない。 - 居住部屋総て南側(太陽光有り)。 - 日本家屋なので使いづらい。 - 暖かい。 - 隣に林があり、冬は陽が当たらないので外より家の中が寒いことがある。 - 室内が温度設定が高めなので快適に生活出来ている。 - バリアフリー、スロープなど高齢者向けに自宅を設	- 寒すぎる。 - 室内の温熱環境、経年劣化。 - 築年数が古い。冬は寒く、夏は暑い…。 - 築40年以上のため古いので冬は寒い。夏は暑い。エアコン無し。 - この時期、寒すぎる。 - 将来に向けて改善の余地がある。(スロープ化、手摺)。 - 古い住宅の機能性が低い。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 計した。 - 室内の温熱環境が悪い。 - 築 60 年以上の親が建てた家ですので不便でもありがたいです。 - 室内の温度差が激しい。家が古い為、羽アリ、床の落下など老朽化している。 - 気密性に優れている。	
5 立地の利便性 (スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	- 車がなくても、スーパーや病院がある。 - スーパーコンビニ公共施設近くにある。 - 医療機関は中心地にあるため、通院はタクシーを利用している。 - 市街地からかなり離れた所に住んでおり、自動車がない。今はよいのだがこの先年をとった時(運転が困難になって)生活できなくなることによる不安を感じる。 - 回りに商店はなく不便なこと - 歩いて行けるような距離にはない。車は必須。 - 亡くなった母が十分なバリアフリー設備を整えてくれて助かった。 - アパート。徒歩で要件はすませられる生活音がきこえず。暑さ、寒さに耐えられない。 - 子どもを連れての移動が大変なのでスーパー、病院は近くにほしい。 - スーパー、病院5分以内なので。	- 住み始めた 50 年位前は近くに店もありよかったが、すべて無くなり店が遠くなった。 - ライフスタイルに合っており利便性が良いです。 - 田舎なのでスーパーやコンビニ、病院も近くに無い。 - 周りに家が少なく静かでゆっくりできる。 - 歩いていけるほど近くにそろっている事。 - 徒歩でも行けるスーパーなどがあればもっと良い。 - 老いてくると近所にスーパー、医療機関がないと不安。 - すぐそばにスーパー、コンビニ、ドラッグストア等があるから。 - コンビニまで車で 15 分、スーパーも近くにない。 - コンビニは徒歩 3 分。 - 現在は車があるからよいが、将来的に運転できなくなった時は不便。 - 立地の距離が遠い不便である。 - 運転できなくなった場合の不安がある。 - この地区では、3 年位前スーパーが移転し、売店がない。 - 診療科目によっては遠方まで行かなくてはならない。 - 学校で必要な物を買う時、近場でそろえることが難しい場合がある。 - 買物が大変です。水道無し、下水無し、持ち家。45 号国道の下側 3、4 軒同じです。 - スーパーや医療機関がやや遠い。 - スーパー、ドラッグストアへ近い。	- スーパーまでの距離があることが不便。 - 車で 10 分以上走らないといけない為。 - 地方は車がないと、買い物にも行けない。 - 市内から少し離れている。 - 自分は今、健康で車の運転もできていて、不便はないが、今後老後のことを考えると、今住んでいる所は不便に感じると思う。 - 不便。自家用車がないと移動できない。 - お店、病院は近くて良い。 - 居住地から 2 キロ以内にスーパーや公共施設がある。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- 立地は良い。 - スーパ―、ホームセンターなどが近くにないこと。 - スーパ―、コンビニ、病院が比較的近くににある。 - スーパ―、病院、公民館などが近い。 - 町の中心地近くに居住し不便は感じない。 - 冬期の除雪。	
6 公共交通機関の利便性	- 収益の問題もあるだろうが、車が無くても通院できる地域にしたい。自分が高齢者になった時は今より公共交通機関が減少していると想像する。 - 運行本数が少なく、最終バスが早過ぎる。 - 電車、バス、車、どれも、利用できる。 - バス路線の廃止。	駅、バス停まで歩いて 15～20 分かかる - 公共交通機関は便利ですが、紫波町にはタクシーが“2台”しか整備されていないです。 - バスの本数が少ない。タクシーはなかなか来ない。運賃が高い。 - デマンド交通と2時間に1本の列車なので、子どもの通学に向きません。 - 移動は全て自家用車。 - 汽車やバスが充実しているから。 - バス停が 10 分かんない所にあり便利。 50 年前はバス停の位置が近かったが、それが一部変わったことと、バスの本数がウソのように少なくなり、ほとんど使えなくなった。 - 県交通バス停まで徒歩 2 分、BRTバス停徒歩 1 分と近い。 - 回数が少なく時間が合わない。 - 人口のせいか、運行本数が少ない。 - マイカーのみでの外出可。今後が不安。	- バスの本数が少なく、自家用車頼み。 - 車を手離したら、生活が成り立たない。 - 交通手段が少ない。 - 駅から自宅まで遠くて困る。
7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	周辺が静かで、近くに海があり、夏涼しく、冬も過ごしやすい。	- 子どもたちが遊べる公園が欲しい。 - 海が近く、車通りが少ないので、安心してペットと散歩ができる。 - 目の前に川が有って、季節に依って、漁釣り等楽しめず。 - 近所に公園が1つも無い。	- 大雨がふると、車が水浸しになる。 - 公園にすべり台がない。そもそも公園が近くにない。 - 古い公園ばかり。皆が、集まれる場所がない。若い人が出ていってしまう。 - 緑が周囲に多い。 - 無造作にアパート建築が行われている。車の死角。
8 周辺地域の街並み			
9 周辺地域の治安	- 事件などが少なく安心して暮らしているため。 - クマの出没が増えて怖い。 - 静かで変化もないから。	- 治安が良くて、安心して暮らせている。 - 治安も良いと感じています。 - 高齢化により近所に空き家が増えている。	クマやイノシシが出没しやすいので怖いです。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	担当地域の駐在所が巡回して訪問、近況安否を確認する。	- 夜になると暗い。田舎なので屋でも人がいない。 - 住宅地で交通量がそれほど多くなくて静か。 - 町内会の防犯意識が高い。	
10 近隣の生活音	- 周辺地域は比較的静かで過ごしやすいが、街灯が少ないため夜間での治安に不安がある。 - 田舎なので静か。(笑) - 近隣の生活音も感じられない。持ち家であり、隣の距離も十分ある為。 - 家の周りが静かである。 - 今は亡くなったけど5年位前まで隣の番犬が吠え続け続けた。 - 自然もあり、静かで、近所付き合いもある。	- 隣家の音が聞えない程度に離れている。 - 隣同士がある程度離れている分、子どもが騒いでもあまり気を使わなくていい。	- 集団移転した側を三陸道があり騒音でうるさい。 - 隣がトイレの戸をうるさくしめる。パチンと部屋に響くので赤ちゃんが起きないか心配。 - ネコを隣で20匹飼っていて、エサだけあたえて家にも入れないで無責任。 - 隣家住人との関係性が悪い。(県の施策とは無関係です。)
11 近隣の生活臭		- 夏場の夕方に時折、市役所の職員が退庁したところ異臭を発する工場が近くにあり、迷惑している - 季節によるが、堆肥のにおいがひどく洗たく物も干せない。	- 野焼きしている住民がいる。 - プロイラーの悪臭。 - 養鶏場の異臭。 - 養豚場のにおいがするので困る。 - 野猫が多くにまわっている。
12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)	除雪(雪の多い年)早目にしてほしい。歩道がまだ少ないと思う。両側が無理な時は片側だけでもほしい。		ネコはそこらじゅうにフンをして被害にあっているが知らんふり。保健所に言っても解決になってない。夏はフンの臭いで困っている。
13 その他()	津浪対策としての高台住居が、高齢化に伴い負担となった。	- 農家からのゴミをもらす煙、豚舎の臭い。 - イノシシ・クマなどの出没。 - 野性動物には困っています。	- オール電化なので大変。節約しているため家の中がいつも寒い。 - 現在の基準で考えた場合、断熱性能が低い。 - 下水設備がよくない。 - 建物が古い。室内の状態が悪い。 25年も経つと、屋根や壁、浴室など古くなってリフォームが必要なものに。
複数選択等(※)	(1.2)昔風の住宅のため、冬の寒さは身に沁みることが多い。 (6.7)復興が進み、便利になった。 (6.7.8.9)自然環境、住民交流良。 (7.8)周りに何もなくて静かで平和。 (-)古い家なのですき間風がある。	(1.3.4)部屋数が多く、建物も古い為、壊して平屋にしたいがそれに伴うお金がない。 (1.2.3.4.5)快適な生活を行っている。 (1.2.3.4.5.9)住宅や周辺の治安に対しては快適さを感じる。 (4.13)家族の家に付き、改修する事が難しい。又、介護中で、他に移れない (5.6)田舎なので仕方がないと思っている。車がない	(1.3)耐震、耐火、断熱、気密性の高い家である。 (1.4)加齢に伴い広さは充分。1Fが広くて良かった。 (3.4)築年数がたっていて、耐震に不安、冬は寒い。子の教育費がかさみ、物価高等でリフォームにふみ切れない。 (3.4)震災後求めた中古住宅のため、バリアフリーではなく特に冬は光熱費がかかる。リフォームも考えるが、余裕がない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		と生活できない。	・ (-)家は年数たっているのに、今のと比べものにならず冬寒く夏涼しい？ ・ (-)実家から追い出され、やっと見つけた家は昭和中期建築の小屋のようなもの。寒いです。すきま風、結露、凍結で戸や窓が開かなくなる、など貧困はつらい。 ・ (-)バリアフリーにしたいけども資金無し。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(7) 地域社会とのつながり

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	- 結婚して、盛岡に嫁に来て、26 年たちましたが、古い街なので、年が近い人があまりいない。 - 会った人と世間話ができる。 65 年。 - 当地域に 50 年以上住んでいる。	60 年居住。 - 生まれも、育ちも地元が一緒なので知り合いが多い。 - 長く住んでいるので、近所は大体顔見知り。 - 住み慣れた所が一番。 - 慣れた土地・地域なので良い。 52 年間。 76 年も住んでいるので、知人が多い。 - 東日本大震災後この土地に引っ越して来たので、年数はまだ少ない。 - 年数は長く暮らしているが、町内会の参加はあまりしていない。 - もうすぐ 75 年になる土地(ここから離れたことがない)。 - 昭和 51 年から住んでいる。	15 年住んでも、まだなじめていない。 - 現在地に「家」を持つが 30 年以上経るが、あまり隣近所との面識は無い。寄り合い世帯の為。 - 慣れた土地で暮らせる。 - 結婚して 30 年住んでいる。
2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	- 町内会役員として活動に参加している。 - 続けることだけを重視していて、内容の見直しもせず、ちよつと疲れる。 - あまり参加せず。 - 自治会、老人クラブ、公民館活動他。 - 退職後、地域への恩返しのつもりで町内会の役員を続けているが、関心を寄せ参加・協力する方々が多い一方、全く関心を示さない方々への対応に苦戦。 - 自治会、役員。 - 隣近所の方々とは長年付き合いがある。	- いつでも参加している。 - 消防団員です。 - 町内活動への参加している。 - 町内会の活動参加者が多いので安心して活動している。 - お祭や消防団の活動に参加できている。 - 町内の老人クラブ会員として活動交流(元会長職)。 - 町内会防犯部に所属中。 - 町内会は休止しました。 - 自治会、老人クラブ、町・県の交通安全活動にボランティアとして従事。 - 障害を持っていてのでも町内会活動は無理とみなされていて回覧板も飛ばされるので。 - 町内の婦人会の活動をしている。 - 道路に面している為自宅の前の清掃、美化をしている。 - 役員をやられています。 - 特定の人のみの参加。	50 才台活動したが現在 73 才は休止中。 - ほとんど参加しない。 - 草取りとか2回ぐらい出たけど参加者が少ない。 - 自治会へはなるべく参加。 - 負担に感じる。 - 自治会などの活動に参加しないため。 - ほとんど夫が参加している。 - 体が不自由なため、消極的になり、参加しようという気持ちになれない。 - 高齢化も進んでいるが、自治会等興味がない。 - 自治会、町内会活動への参加ない。 - 消防団で色んな活動を実施しているから。 - 田舎特有の自治活動の強制参加に不満がある。
3 地域の行事へ			地域行事が無くなってきている

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
の参加(お祭り、スポーツ大会など)		・ 私用や仕事で昨年はほとんど参加ができていない。 ・ お祭り等の集まりがある。 ・ 地域近辺は顔なじみです。 ・ 町の裸参りの裏方協力しています。	・ コロナ感染症により地域の祭りが無くなり、学校の閉校により、地域の方との運動会が無くなってしまった。 ・ 子どもが小さいうちは参加するが大きくなると参加しなくなる。高齢者が多い集団の中には入りづらい。 ・ 地元のお祭り。 ・ 部落なので、私はこの生まれではないので、他の人を受け入れないところなのでない。 ・ ほとんど夫が参加している。 ・ 小学校には来賓として呼ばれたりするが、運動会も半日で終わってしまうほど子どもが減った。
4 学校・子ども会の活動への参加	・ 子どもが小学校入学したことで、地域の方との関わりが少し出てきました。	・ 子ども会の活動、PTA活動で地域とのつながりを感じる。 ・ 役員をしているので…。	・ 小学校と文通する機会がありました。 ・ 子ども会へ参加し、近所の交流ができた。 ・ 子ども会で資源回収で協力してもらった。 ・ 子どもが小さいうちは参加するが大きくなると参加しなくなる。高齢者が多い集団の中には入りづらい。 ・ 学校行事には率先して参加しています。
5 隣近所との面識・交流	・ あいさつはもちろん、久々に会った人と近況報告をし合う。 ・ ネットでの交流が主になっていて、近所の住民との交流は少ない。 ・ 近所との交流も出来ていない。 ・ 隣近所との面識・交流は特にありません。	・ 隣近所との面識程度のため。 ・ 隣近所の方と円満に接している。 ・ なぜか交流がほとんど無かった。 ・ 近所の方との交流があり、あいさつはかかさずある。季節の果物などのいただきものもあり、快適な地域社会の生活を送ることができている。 ・ 近所付き合いが、うまくいっている。 ・ あいさつ程度は行っている。 ・ 30 年以上、住んでいて、地域の人たちと交流がある。 ・ 震災により転居したため現地域になじめない。 ・ 隣組との交流が毎日の様になされている。 ・ 近所の人と気兼ねなく話せる。	・ 若い人達とのつながりがない。 ・ 昔から過ごしている近所なので…でも各家族になってきているなア…と。 ・ 隣近所との面識・交流があまりないため。
6 地域における趣味・スポーツなどを通じた交流	・ 週2回いきいき体操で地域の情報を知る事ができる。 ・ 地区のラジオ体操(県営運動公園)、地区の卓球愛	・ 公民館講座や地域のグループ交流。 ・ スポ少の役員をしています。	・ 消防団活動。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
(スポーツ少年団、公民館講座等)	- 好会に参加。 - 老人クラブの行事参加。		
7 民生委員や見守り活動を行う方等の訪問		- 今の自分には必要と思わないが、父、母(没)の介護を長くしたが、一度も来てもらったことがなかった。 - 民生委員です。 - 主人が民生委員。 - 高齢者等が多く通院補助やシルバーマイトとして訪問活動を実施。	- 高齢の母が居ますが、ほとんど民生委員が訪問する事はありません。電話もほぼナシ。1、2ヶ月に1度は訪問していただいていた様子を見をしていただきました。※日中、母1人なので。 - ないです。
8 地域の身近な情報に接する機会	- 良くも悪くも、古くからの住民が多い地域に住んでいる為、つながりを感じます。 - ボランティア活動により情報交流をしている。	- 自分から進んで地域に接する機会がない。 - 地域の人と接する機会が少ない - 地域の活動に参加する事がない。 - それほど地域の人と行き来がない為、つながりを感じない。 - 情報交換をする機会が多く楽しいです。 - 良くも悪くも地域柄、密接だと感じる。	- 長年住んでいても、交流が少ない。 - 地域の身近な情報に接する機会少ない。
9 その他()	伝統だけのために人手不足、時間をとられ、世の中においてかれるような気がする。言えないけど。(婦人消防は解散した。)		- あまり交流は無い。 - 保健推進員や消防団など次に渡す人を探すのが難しい。 - 納税書を玄関の引き戸に挟んでいき町内の人は怖いと思います。
複数選択等(※)	(1.2.3.4.5.8)仕事柄地域コミュニティの事務局をやっているため。 (1.2.5.8)現在も従事。(静かに) (1.5)あまり人づきあいのよい方ではなく、地域の行事にも参加しませんが子ども頃から存じ上げていの方でやさしくしてくださる方もあるのがありがたい。 (2.3.6)地域での役員を担当した際は、地域の活動に参加するが、それ以外では、参加しないため交流が出来ていない。 (3.4.6)病氣治療に付、離れている。	(1.2.3.5.6.)町内会行事(地区も含め)や老人クラブ活動を積極的に参加している。 (1.2.5)今の場所に住んでから、近所の方と、ほとんど交流がない。 (1.5)地域に住んで40年隣・近所との交流、挨拶等。 (2.3)不定休なのと夜中からの仕事の為時間が合わない。 (2.3.4.5.6.7.8.)地域の方々と混わりたくて、町内会活動や地域でやっている趣味やスポーツに参加したのが良かったし、皆が優しく受け入れてくれた。ギクシャクした事は一度もない。(2.3.5)町内会の清掃、旅行、茶飲み会と参加。 (2.5)出来る限り参加して協力している。 (3.4)小学校は廃校となりました。	(1.2.5)隣人との交流はあるがコロナを機に町内の、知人等との交流会が無くなってしまった。 (2.3)コロナ禍、高齢化、人口減少等で地域行事減。女性会解散など。 (2.3.4.5)コロナ禍から、行動制限されつつながりが薄れてきた感じがする。 (2.4.8)子ども達が成長し、活動に参加する機会がない。 (5.9)高齢化、少子化で近隣に人が住んでいても少なく会うこともない。 (-)少子化とコロナでお祭りがなくなった。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		・ (38)年齢的なものもあってお祭りなどに参加しなくなったし身近な人と会う機会も少ない。 ・ (56)交流の機会がコロナ前に比べて減った。消極的になったと感じる。 ・ (-)近所の方々に介護している夫婦として見守っていただいている。声かけなど頂き、ありがたく思う。皆さん、あたたかい。 ・ (-)自治会の参加、スポーツなどの交流。	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(8) 地域の安全

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 犯罪の発生状況	- パトカーの巡回が多く、良いと思う。 - 近所に危険な人がいない。 - 凶悪事件が無い。 - 最近多い闇バイト強盗や特殊サギ等の不安が大きい。 - 犯罪も少なく住宅への鍵掛運動も進んでいる。 - 犯罪が無い。 - 少ない。	- 犯罪が無い。 - 事件などが少なく安心して居る。 - 西警察署が近く、犯罪の発生はきかない。 - 子どもがいるため犯罪が起こりにくいところに住みたい。 - ここ何年も無いので。 - 犯罪は、平均的な件数だと認識している。 - 犯罪は少ない。 - 近所には無い。 - 発生無し。 - 地域にいて、犯罪のことをあまり、聞いたことがない。 - 犯罪の発生はほとんど無い。 - 犯罪の発生が少ないような気がする。 - 街頭防犯カメラが無い。 - 治安は良いと思うが、今後のことも考え防犯カメラは必要かと思う。	- 同町に空屋を持っているが最近ドロボーに入られた。 - 山に住んでいる為、夜に安い人が来ても分らない。 - 職業の様に犯罪をしている人に個人では勝てない。
2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	- 住宅地内に街灯が少なく暗い。防犯カメラも無い。 - 消防、警察(署)の見廻りがある。 - 交番のおまわりさんのパトロールのおかげ。 - 通学時に見守りパトロールの人がいる。 - 町内防犯部、交通指導員に従事中です。	- 街頭防犯カメラが無い。 - 治安は良いと思うが、今後のことも考え防犯カメラは必要かと思う。	- 大声を出して歩いている人や、トラブルに巻き込まれそうな人が多い。パトロールの必要性を感じる。 - 細い道の街灯がなくて怖い道がある。 - 住んでいる地域に街灯、防犯カメラは無い。何かあった時に心配。 - 地域との関わりがほとんどなく、この人はどの人？と思う事が多い。
3 交通事故の発生状況	- 高齢者のドライバーが多い。 - 看板の下部分を覆っていた板を外し、見通しが良くなり、事故減少した。 - 交通事故件数も少なく、又飲酒運転防止活動(夜の飲食店訪問等)も実施されている。	- 交通事故がない。 - 目の前の道路が国道なのでたまに事故がある。 - 発生なし。	- 車社会なのでけっこうお年寄りの運転が怖い。 - 花巻東バイパスが出来て、道幅も拡張され交通の便も解消されましたが危険な運転する方も増え、昔よりも事故が増えた気がします。 - 冬の路面凍結。 - 最近、市内での交通事故の発生が多いため。
4 交通事故の防止(歩道の整備など)	通学路の道幅が狭く、車、自転車等のすれ違い時に危険を感じる。	- 歩道の整備等が除々にではあるが進んできている。 - 道幅の割に交通量・通行する人が多い。標識が見えづらいから事故が起こった時はほしい出合い頭。 - 老朽化した歩道の修理が行われ歩行に車に便利	- 車の往来が多く、道路のコンクリートの劣化が目につきます。少しカーブしているところなどに、小石が溜まっているところもあり、歩行には注意しなくてはならない。 - 横断歩道が消えかかっているが、なかなか直さない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		横ばい - 行き止まりの地形なので交通量は多くないが個人の車の往来時は気を付けている。 - 子どもを歩きで通学させるのは不安。 - 大雨の時は時々水、泥とかが来る。 - かなり少ない。	
5 火災の発生状況	火災も少ない。		最近、市内での火災の発生が多いため。
6 火災に対する予防(消火栓の設置など)			
7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)		- 消防後援会の役員。 - 消防団が、しっかりしているが、昔のやり方で人員不足で大変そうです。 - 町内会の啓発活動(会報発行による)。 - 空き屋が増えている。	- 区画整理の最中で、町内の自主防災の組織が中断しているため。 - 消防団員が少なく、日中は皆さん仕事に行っています。
8 自然災害の発生状況	- 自然災害が発生しても安全だと思うから。 - 自然災害が少ないと思う(盛岡)。	- 災害の発生が今までないので安心している。 - 津波浸水区域の為安全には不安がある。 70代超えた老夫婦には雪の除雪はきついです。 - 水害や豪雪災害の恐れがない。 - 地域の安全はお互いに「この頃乾燥しているので、火には気をつけようね」等と声を掛け合っている。そして生活上も気を付けている。一番の心配は私達2人がボケてきて、自分で自分の事が出来なくなる状態です。 - 海のそばなので、最大クラスの津波の発生は、常に意識している。	- 経験の無い、台風や大雨。 - 台風の多さ。
9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	ハザードマップを見てから借家(アパート)を選んでいる。	5年くらい前に家の近くの河川改修を行うと県から説明があったが何も進んでおらず、何の説明もない。用地買収等の可能性もあり自由に改修もできない。	- 急斜面地域の為道路は狭く地震による崩落対策がなされていない。 - 北川の河岸工事、開運橋～旭橋だけでなく、住宅のあるその上流岸の草木のすざさを改善してほしい。
10 災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	地震・大雨等の場合、ぴーちゃんねっとで情報発信されている(役場より)。	- 安心して暮らせる町・市。 - 防災に関する情報はよく耳にします。 - 町内生活応援センター会合による。 - 行政が行う、避難訓練には、参加している。	行政の防災体制確立が遅れる不安がある。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)			
12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)		- 毎週 LINE で通知がある「岩手県－新型コロナウイルス対策バーソナルサポート」はありがたい。 - 県・市、町内会からの情報で知る事ができる。	
13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	下水道より先に上水道がほしい。国道を挟んで海側に金がかかると町でやってくれない。4軒とも上水道無し。	街灯が少なく暗い。除雪状況が非常に悪く危険な所多し。	
14 野生鳥獣の出没状況や被害の発生状況(シカ、イノシシ、クマなど)	- 特にクマの出没が身近で起きている。 - 田舎だから、仕方ないが、シカやイノシシが車に突進して、車が壊れた等は年に何回か聞く。 - クマの出没も多くなってきているし、車を運転しているとシカやカモシカと会うこともある。 - シカは毎日の様に目に目します。(市内でも、所中、町内で見かけます) - 心配されているのが、シカ、クマ対応である。 - 野生動物が多くなった。対策しないと大変なことになると思う。 - クマが出る。	- 近年クマに出会った人がいて怖い。 - クマの動きに振り回される。 - 田んぼを作っておりシカの被害に困っているが、遠野市で、シカのワナで、見張ってくれる。見廻員を配置している！！ - 野生生物を害獣などといって殺すことを推奨しているのに驚き、あきれ。大事な野生動物のいのちを守るべき。害をなしているのは人間です。やめてください。 - 出没情報があり、外へ出るのが不安。 - クマ、シカ、イノシシ、本当に毎日の生活で気をつけています。庭にも出て困っています。 - 明らかに頭数が多いのに有効な手を打てていない。 - 野生動物が多く、屋から出てきている。 - クマの出没が多い。 - クマがよく出る。畑への被害もあると聞く。 - クマが出るようになった。	- クマやイノシシの出没頻度が年々増えている。 - 小学校にもクマが出る。本気で駆除が必要。 - 被害及び個体が多く発生増加するのみ対策急務！ - 庭や畑に年中荒らしている。 - 度々クマが出たとの防災放送が流れる。 - 年々多くなっているので心配。 - 農地被害、道路に飛び出し交通危険。捕獲頭数を増やして欲しい。 - 散歩中にハクビシンのフンを見かけることがある。伝染病などが心配。 20 年位前まではまれにしか見ませんでしたが、近年は増えましてよね…イヌ・ネコ以外の足跡は自宅付近でも見かけます。 - シカ、クマの出没が多く夜間は怖いです - シカの増加で花壇や家庭菜園が荒らされる。 - クマ等多く出没しているので散歩等する気にもならない。 - イノシシやクマの出没。 - 野鳥に餌を与える人が必ずいる。カモシカも出る。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
			し、タヌキツネ、ノラネコなどいても、どうにもできない。※北上川ペリに住んでいます。 - シカやクマが出るが役場の対応悪い。警察に電話する様言われる。 - 道路にシカが多く出没するのを見かけるため。
15 地域の安全に関心がない			
16 その他		- 観光で訪れる外国の団体が多くなってきている。仕事従事者も多く、コミュニケーションの取り方に不安を感じる時が1～2回程あった。 - 日本は、食品添加物に甘いのか、かなり入っている。特にひどいのは買わない。	- 工事等で見知らぬ人が多く行き来するので不用心だと思ふ。 - ネコ被害が、解決しない - 鍵をかけないのがあたりまえ！！という地域でいつ、どろぼうが入っても不思議ではない。又、廃品回収や中古車購入か、外国人が家に来たりするところが多くなった
複数選択等(※)	(1.3)事件、事故がほぼ起きない。 (1.3.5.6.7.8.9.10)消防団活動や市の防災無線情報が行き届いているので、あまり心配はない。 (1.3.5.8)他所から引越して来て10年程になるが近所において先にあげた事象等を聞いたこと。 (8.10)自然災害に対して、対応がきちんとしている。	(1.3)犯罪は無いが交通事故は結構な頻度で発生する。しかしカーブミラーは整備されない。 (1.5)発生していない。 (1.8)発生状況を耳にすることがない。 (1.8.14)犯罪や災害発生については安全だと思いが、近年クマの出没について身の危険を感じる。 (8.13)川のはん濫、豪雪、地震の多発により、道路はひどい。 (-)町内会組織が良いため、未然に防いでいる。	(2.14)家の隣が畑なんですが畑の奥に入って犬にふん尿をさせて困っています。 (8.9)水路があふれ通学路、自宅の庭が浸水する(豪雨時)。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(9) 仕事のやりがい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 現在の職種・業務の内容	• やりがいのある仕事に就いている。 • 使命感を持って業務を遂行しています。 • 誰かのために働いていることを感じられるため。 • 寺社勤務の為 365 日勤務ですが休みは自由に設定できる為。 • 利用者に感謝されたと嬉しく思います。 • 4月から異動で島流しになりそうでツライ。 • からだが不自由な私でも働ける、業務を任されている。	• 専門的な技術、知識を持って仕事をしている。 • ライフラインの維持・補修業務の管理で保有資格をいかせる。 • 80 才になって自営業が出来ているので幸。 • 自分が好きで選んだ業務・職種。 • やりがいは十分に感じている。人員不足でなかなか業務が終わらない。 • 人のためになる。 • 1人で約 2.5ha の米づくりをしているが、「令和の米騒動」のおかげで、概算金が4千円(60 kg)も上昇し、これまでよりやや赤字が縮小しつつある。 • 会社の全体を任されているためやりがいを感じますが、そのため仕事の量が多くなり、帰宅が遅くなり休日も取得が難しく、それに合った給料をいただけると助かります。 • コンビニ店員。 • サービス業(看護業務)。 • 体を動かし清掃業務は1日2時だけでとても充実していました。 • 経営、仕入れ、接客、経理。	• 定年になったとはいえ昨年と業務はまったく同じ、やる事をやっていけばそれでよし。 • 新型コロナウイルス接種後、体調崩したため代々続いた家業継続に不安が出ている。 • ホテル設備管理。
2 業種・業務の将来性	• 今の職場でキャリア形成できるか不安がある。	• 季節バイトだが、一次産業は地域の大切な財産であり、これからも守りたい。 • 将来に向けた仕事を実施しているから。 • 飲食業(町内に同業が少なく必要とされている)。	• 農業の将来見通し。 • リンゴ栽培、面積、人、減る。 • 業務将来性は、まったく無し。あと何年、自分がやれるか。
3 就業形態(正規・非正規など)	• 正社員に登用された。	• 仕事を選ぶ立場になく、生活のためにだけ仕事をしている。 • 何歳まで続けられるか不安。 • 1～2日/週で割と自己都合でやれる事。 • 自営業。 • パート(7h/w)。 • 自身で決定し、退職したが、役に立たない社員以上に仕事をしているのでそういう点ではストレスに感じる。	• 人材派遣会社を止めさせようとしないと言金は上がらない。 • アルバイト(8年目です)6.5H×10日。 • 非正規の為。 • 非正規だから。 • 非正規雇用なので常に不安。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
4 業務の量	- 会社を辞めて、個人でやり始めだから。 - 時期によってムラがある。	- 仕事の内容に反して、時給が伴っていない。 - 子どもがいるのに配慮がない。 - 業務量のかたより、多い。 - 会社の全体を任されているためやりがいを感じますが、そのため仕事の量が多くなり、帰宅が遅くなり休日も取得が難しく、それに合った給料をいただけると助かります。 - 上記に同じ。 - 夫婦二人での業務量として十分である。	残業ばかり。
5 現在の収入・給料の額	- やっと満足できる給料が貰えるようになった。 - 前職がブラックだったので！！	- 仕事を退職し、パート(同業種)となったが、経験、知識がある為、正社員並(若い社員になるとそれ以上)の仕事させられている。給料は減ったのに！！ - 低賃金なのにボーナスが出ない。 - ただ、給料が少ないため「やや感じる」とした。 - 収入の額は、周囲に比べれば良い。ただ、忙しく、ストレスが大。 - 会社の全体を任されているためやりがいを感じますが、そのため仕事の量が多くなり、帰宅が遅くなり休日も取得が難しく、それに合った給料をいただけると助かります。 - 何の見込みもない。 - 就職氷河期の世代の賃金に不満はある。	- 平均的。賞与が少ない。 - 物価が高いため今の給料の額で賄うのが大変なため。 - 給料が自分だけの収入だと足りない。 - 岩手の発展は最低賃金から抜け出す方策を考えないとありえない。 - 地方に複数工場があるが岩手の時給が他よりかなり低い - 給料の額が少ない - 定年になり再雇用！基本給↓失神(笑)
6 将来の収入・給料の額の見込み	物価上昇している為、賃金の上昇してもらおうことが不可欠と感じます。	- 何の見込みもない。 - 就職氷河期の世代の賃金に不満はある。	- 天井が見えている。 - 給料UPが見込めない。 - 非正規で将来設計ができない。 - 将来の給料額増加する見込みない。
7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)		- 岩手は賃金が低すぎる事業主が搾取している。 - 低賃金なのにボーナスが出ない。	有給休暇を中々取りにくいいため。
8 現在の役職(職場での地位)			
9 将来の役職の見込み			定年が近く、将来がどうなるのか不明。
10 職場の人間関係	- 人間関係に恵まれている。 - 多種多様ですが、良い方が多く助けられています。 - 職場の雰囲気がよく、同僚、上司、との関係もよい。	- 職場の人間関係は良い方だと思う。 - すぐ人間関係が良。 - 職場の雰囲気が良い。	- 能力が低いとフォローしなければならない。 - 職場の人とうまくいかないことが多いため。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	・ 協調性がない人がいる。	・ 皆とうまくつき合っていない。 ・ 楽しく充実感を得られている。	
11 職場環境(オフィスの立地など)			
12 職種・業務に対する周囲の評価		・ 隣家の借金返済のため、小作契約して今年で10年働くこととなるが、地域の理解が得られないことから、今年で契約を終了しようかとも考えるが、米が取れそうもない水田1ha程を、米の取れる水田に10年かけて作ってきたことを思えば、迷いもある。年齢を考えれば、無理も出来ないかと思う。	・ 職種個々の評価を正しくないと3Kの仕事をする人がいなくなる。
13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	・ 色んな意味で先々に、不安を感じる。 ・ 廃業寸前。廃業したくないからがんばっている。	・ R6.10月までしていた市内のクリニックスを突然雇用止めにあい、不安に思った。しかし、R7.1月～現在の職場にパートで就職して、やりがいを感じている。市内のクリニックスでは資格(正看)があるのに、無資格の方の態度、言動がひどいものだった。	
14 専業主婦・主夫、又は家事手伝いである	・ 食事工夫して作っている。お金の面も栄養のバランスも。	・ 子どもたち、家族の体調に自分が寄り添える。 ・ 孫のための食事作りは、楽しくやれている。	
15 元々仕事をしない(学生など)			
16 以前仕事をしていたが、今はしていない		・ 農業はやめたが草刈り等している。	
17 その他()	・ 今の仕事を始めたばかりで、やりがいを感じるまでに至っていない	・ 定年で収入はありませんが農業で楽しくがんばっています。	・ 守るべき家族も子どももない為、自分の為に働いているのみで、やりがいがない。
複数選択等(※)	・ (-)再就職(転職)できたので一安心しました。	・ (1.2)仕事が順調。 ・ (1.2.7)給与や待遇はとも良い。 ・ (1.5)年齢にあった仕事で、社会とのつながりも感じられる。 ・ (4.10)職場の人間関係が良く業務量も自分に合っている。 ・ (5.6)給与は低い(年収300万以下)上がる見込みも低い。	・ (1.5)定年後に農業を始めたが、今年は米価が上ったので、まあまあだった。以前は肥料代にもならなかった。 ・ (4.6)業務・責任に対して収入が少ない。 ・ (4.6)子育ての為、仕事をしなくてはいけないと思う、体調崩しながら続けている。年齢的に選択できない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		• (5.6)田舎では、世帯収入でみれば、良いほうだと思うため。 • (-)とにかく仕事ができない状態。40 才になろうとしている統合失調症のムスコがかわいい。それだけで生きている兄。こんなことがまかり通る社会まちがっている。	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(10) 必要な収入や所得

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 自分の収入・所得額(年金を含む)	・ 自分で必要な収入を得られている。 ・ 仕事量と見合っていないと近頃感じる。 ・ 自分が働きたくても、働く事を控えなければならならい。 ・ 税金が高い。ガンリンが高い。 ・ 年金額にやや不満。 ・ 生活に困らない程度の収入はある。	・ 30 年近く働いているがいつも非正規で収入が低い。 ・ 物価上昇や勤務年数に伴った収入になっていないと感じる。 ・ 給与と年金でほぼ生活費を賄える事。 ・ 年金で十分できるので。 ・ 老後に備えて所得を増やしたい。 ・ 働けないので収入がない。 ・ 入ったばかりのパートの人とあまり変わらない。 ・ 年金生活なので収入のほとんどが生活費となっている。 ・ ある程度は満足している。 ・ 自分の所得は満足しているが、税金や年金・社会保険の支払は多く不満。高すぎる。 ・ 年金のみ。 ・ 家を建てられない。物価が高い。 ・ 物価高によりここ数年厳しい収支となっている。 ・ 物価は上がっても十年以上給料は上がらない ・ 生活は苦しくない ・ からだが不自由で、64 歳でも十分な収入と障害者年金をもらっている。 ・ 非正規なので収入が少なく将来が不安。 ・ お金満足している使い道がないので困る。 ・ 私の年金やパートでは将来介護施設には入居できないと思う。 ・ ポーナスがない。 ・ 自営業の収入は少ないが年金と合わせると十分である。 ・ 自分の収入に不満がないから。	・ 現在仕事をしていないため。 ・ 年金生活であるが引かれるものが多く手取が年々減っている。 ・ 年金ももらっているが少ないので食事作り買い物大変である。 ・ 年金だけなので、合わせて、ぎりぎり、やりくりしている。 ・ 定年！！再雇用基本給減額→無気力！脱力感。 ・ 生活費で一杯。不意の事に備えなし。 ・ 年金暮らしなので、自分の支出額も限られてくる。 ・ 物価高に対し、年金は増えないし、農業は、今年こそ多少上がったものの、毎年 100 万もの赤字を抱えながらやっているの、一層の米価アップも必要。地主が負担すべき土地改良区費についても理解が得られず、苦慮している。 ・ 退職延長者で仕事量は同じなのに収入が減る。新卒者より収入が少ないなんて物価高の時代に合わない。 ・ 物価高が生活を苦しめている。 ・ 仕事の量の割には給料が少ない。 ・ ここ2～3年は良くない。 ・ 年金が少ない。 ・ 290 万 ー。 ・ 自分の収入不足。 ・ 現在仕事をしていない為、この回答です。 ・ 障害年金3級もらっています。
2 家族の収入・所得額(年金を含む)	・ 夫の収入が減った。 ・ 物価高で、工夫しても、しんどい。食べなければならいので、1度の買い物で1万円がとぶ。 ・ 年金額に不満。	・ 物価上昇や勤務年数に伴った収入になっていないと感じる。 ・ 同上、プチ贅沢ができる。 ・ 最低の生活程度で暮していると思う。	・ 夫の年金で生活中。生活は困窮している。 ・ 夫が無職だから。 ・ 年金だけなので、今は、物価高で、何も、ぜいたくできない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
			- 年金制度も毎年変化。よくわからない。 - 年金が少ない。 - 家族の収入不足。
3 自分の支出額	- 自分で自由に使えるお金がある。 - 支出の増加。 - 趣味、娯楽にもう少し使いたい。	- ほとんどがプライベートで使えない。 - 子ども、孫に少しは援助している。	- 奨学金返済があり、老後に向けての資産形成ができず、とても不安。 - 物価の上昇。買い控え。節約している。 - 物価高を感じる(出費が増えた)。 1回/4wの高額医療。
4 家族の支出額	- 今は2人暮らしでなんとかなっているが、子どもが生まれたら今の収入では足りなくなるんじゃないかという不安もある。 - 学費が高い。ゴミ袋が高い！！	以入の額で支出が収まっている。	- 家族の収入額と同じく支出している - 子どもの一人暮らしの準備にお金がかかった。車の費用、税金や車検代、車の保険など払ってあげている。 - ほとんどが食・衣の支出であるが消費税・物価上昇で目減りしている。
5 自分の金融資産(預貯金や有価証券等)の額	資産なんて無いに等しい。	- 住居を何とかしたいが難しい。(老朽化) - 貯金が無い。 - 今後の老後に必要な額は確保できている。 - 預貯金運用に回す資産がない。	額が少なく将来が不安。
6 家族の金融資産(預貯金や有価証券等)の額			家族の金融資産少ない。
7 自分の借金の額		- 借金をしないと毎月の生活費が足りない。 - 借金しており、生活にはつらい 500 万円。 - 住宅ローンの残高。	- 物価高騰で出費ばかりかさみ、どうしようもないと借金をしてしまい額も増えている。 - 大学の奨学金や車のローンなど。 - 今の所、借金が無いのが、救い。
8 家族の借金の額	住宅ローンがあるので。	家のローン、車のローンがない。	- 教育ローンやその他家族の借金もあり、支払いがしばらく続くため。 - 家のローンがまだ残っている。
9 生活の程度	- 今のところ生活には困らないが、将来のインフレ等の程度により不安はある。 - 地方は車がないと何もできない。スーパーも高い。生活費で楽しいことは想像するのみ。	- 物価上昇により給与が上がっても、実感があまり湧かない。 - 年金生活(夫婦で)ですが、並の生活を送っていると思います。 - 生活水準を下げる... - 年齢と共に収入が減るが、物価が上がり今迄通りの生活が出来なくなっている。 - 水道光熱費・物価高で、以前のような生活がで	- ぜいたくをしない。 - 物価高騰による先行きの不安。 - ふつうかな？ - 物価が高く家から出るのを少なめにしています。 - 年々生活の程度が下がっている。マクロスライドはナンセンスだと思う。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		- い。 - 旅行する余裕がない。 - 地域周辺だけを見ると中程度の生活ではないかと思っている。	
10 その他()	生活保護を受けるようになった。	ガソリンが高すぎる。岩手には車が必要。自動車に関わる税の見直し国に訴えて欲しい。大学に2人行ったら大変。このままでは苦しい生活になってしまう。補助頂ければ助かります。	- 子育てにかかる費用の不安。父母の介護費の不安。今の収入で足りるのか？ - 税金が高い。 - 小さな事、¥、借入金も無しです。
複数選択等(※)	(1.2)自分と夫が正社員で働いており、安定した収入がある。 (1.2)自分の年金と妻の収入。 (1.2)借金は、車の150万だけであり、今のところ、借金せずにせがれを卒業させられる見込み(大学)。 (1.2)今は2人の年金で大丈夫です。 (1.3)値上げのスピードに質上げが追いついていない。 (1.3.7.9)年金の範囲で生活できている(ぜいたくはできないけれども)。 (1.4)平均程度と思うが子育て、増税、住宅ローン返済に対応しきれない。 (1.5)収入は年金のみなので、どうしても毎月の帳尻が赤になる。死ぬまで貯金がもつか心配だ。(いつまで生きるのか)病気になるか予測不能の事が多いため。 (1.9)収入と支出のバランスがとれているから。 (1.10)諸物価高騰、入院費(母)、治療費(小生)が収入を上回る時もある。 (5.6)なかなか貯金ができなかった。 (-)子の今後の進学にかかる費用が気になってしまふ。	(1.2)将来への不安。現在の物価高でも支出増。 (1.2)毎日のように諸物価が上がっている。特に生活インフラである電気・ガス・灯油代に加え、食料品の値上がりなど、可処分所得が減る一方で暮らし直撃に。 (1.2.4)中の下(自分で思ってる)の生活は送れていると思うのであまり不満は感じない。 (1.5)自分が、これから先、どれ位元気でいられるかわからないので。 (2.4.9)家族の収入・支出、生活の程度より特に問題なく生活が行えている。	(1.2)年金が低く、文化的な生活ができていない。 (1.2)自分も夫も年金だけの生活になり、生活が、少し苦しいと思う。 (1.3)自身は年金収入しかないのに、通院が多く、ほとんどが治療費になってしまふ。 (1.3)支出が増え、余裕がなくなった。 (1.3.7)光熱、水道、ガス費が高くなり、その他税金、町内会費と自分の入院医療費がかさみ年金ではまかないきれず、借金せざるを得なくなっている。毎月ループで借金が増える。 (2.9)生活に困らないでいる。 (3.4)支出額。 (-)年金長くかけてなかったので金額的に残念。どこにも足りません。

※ 複数選択等の()は、要因の番号の記載が無かったもの

(11) 歴史・文化への誇り

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	- 大学も就職もわざわざ県外に行こうと思わなかった。特に転居したい理由がない。 - 地域の人が郷土に誇りを持っている。 - 盛岡に住んで 50 年以上になりますが、住みやすく大好きな街だと思います	この地に生まれ、ずっとここで生活してきている。	高校生の時に花巻に引越をし、50 才の頃現在の所に引越をした。これまで仕事で暮らしてきたので地元を良く知らない。
2 世界遺産があること	- 平泉、中尊寺、毛越寺が隣町にある事。 - 御所野遺跡。	橋野(釜石)に世界遺産があることを誇りに思うし、自然も豊かな所なので、年に2回(春と秋)には家族で行っている。	平泉、中尊寺などがある。大谷さんの活躍。
3 地域のお祭り・伝統芸能	- 岩手の伝統芸能は素晴らしいと思う。長く続くようにしてほしい。 - チャグチャグ馬こは良いお祭りだと思う。 - さんさ踊り。 - 花巻祭り、早池峰神楽。 - 神明社まつり、獅子踊り、セツ物踊り。 - 何年もさんさの活動を頑張っていると感じるから。	- さんさ踊りや山車を見ると地域の歴史、文化を感じる。 春、夏のお祭りがあること。 - 地域のお祭り等は盛大である。 - 地域のしし踊り。 - お祭りに参加しており、友達にも会える。しかし、運営側なのでつらいです。 - 以前出来ていたお祭り、伝統芸能。人口減少により、若い人達や子ども達が少なく出来ない。 - 地域が一带となって盛り上がる時期は嬉しさで楽しさがある。 - 自分はあまり参加しないが周りは良くやっていると思う。 「江刺甚句まつり」の提唱者は自分であるとの誇りもある。今は停止しているが、越路スキー場のペアリフトも自分が担当して作ったものであり、当時の賑わいも考えると残念でもある。 - 釜石まつりの虎舞い。(トラ退治の)ストーリーがあって、色々とおもしろいです。	- お祭り、伝統芸能に全く興味無し。 - 伝統芸能後継者が皆無、年々規模が縮小している。 - コロナ禍に伴い、伝承をする・発表する機会が激減したことと市民の外出機会を自粛する傾向が続き、5類になったとは言え、感染は続き安全確保が難しく回復し難い状況。 - 少子化やコロナでお祭りをやらなくなった。 - 花火をもう少し、派手にして欲しい。大曲までとは言わないが。地域のお祭りが少ない。
4 地域の文化遺産・街並み	- 盛岡の街並みが好き。 - 県内の歴史について県が未だに認識していない遺跡がまだまだ存在している。文科省の意向とは別に県独自で未調査の遺跡の調査をするべき。 - 同上、岩手山、北上川等自然。 - 天台寺、漆文化。	九戸政実、九戸城址。	- 展勝地の桜は、北上の宝。 - 街並みは整備されているとは思えない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
5 郷土の歴史的偉人	- 岩手には偉人がたくさんいて、全国にも誇れると思う。 - 新渡戸稲造(共存共栄を説く)。 - 二戸市在住のため、「九戸政実」や「田中館愛橘」など郷土の偉人に誇りを感じます。 - 九戸政実。 - 岩手の偉人は多いので観光に組み込めるようにしたいと思う。 - 宮沢賢治、新渡戸稲造。 - 大槻三賢人が駅前に銅像がある。 - 宮沢賢治、花巻市山口地域の人となった高村光太郎。	- 宮沢賢治が有名であることが嬉しい。 - 百姓一揆の偉人三浦命助の碑がある(町内)。 - 自分は近くの山田町出身で内閣総理大臣、鈴木さんもたいしたものだと思います？ - 現在住んでいる久慈市の偉人が、出身地の横手市とつながっていることに感動した。 - 先代伊勢の海、相撲。作曲家安藤陸男。 - 田中館愛橘博士。	
6 地域の文化・芸術分野の著名人			
7 地域の食文化	- 地元以外にも食べたことのない地域の郷土料理があって、いつか食べてみたいと思う。 - 岩手の食文化は奥深いものがありどんどん発掘して宣伝してほしい。 - 餅文化が郷土料理として名物とされている。	地域食の料理などには良く参加する。	食文化、昔からの郷土料理苦手。(笑)
8 地域での文化継承・保存活動	- 地元の田植え踊りを小学生から教わっている。 - 人が少なくなると継承が大変そうだ。	しし踊りがとても良い。	保存活動に協力者がいない。
9 地域の歴史についての教育機会	- 教育を受ける機会があまり感じられない。 - 郷土の歴史講座を受講してみると、無色だった過去が色付いて見えてきて、親しみを感じやや誇りたくなる。	- 昨年「ゆうゆう大学」で地域の歴史についての講義があり、改めて地域のすばらしさを感じました。大学の先生(同じ町内会)から、地域の防災について学びました。 - 学ぶ機会がない。自分から進んで学ぶ気が今はない。 - 地域の歴史について学校で学ぶ機会がなかった。 - 久慈にお城があったことも大人になってから知った。	
10 地域に対する周囲の評判		- あまり、人に進める誇らしい物がないかも…。 - 秋祭りなどへの関心。	
11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない		- 見当らないです。 - 龍泉洞以外誇りに感じるものが無い。	
12 地域の歴史		あまり、外出しないので。	地域の歴史や文化に関心がない。

要因の番号 や文化に関心が ない	実感上昇	横ばい	実感低下
13 その他()		- 先人の功績に対し、尊敬の念は持っていますが、それを誇りとは、感じられない。 - 地域のスポーツチームが昔のように盛り上ってほしい。 - 夏の夜蛸が飛びかう！！	- 申し訳ありません。全く興味無し。 - 伝統芸能をしているが、高齢化が進んでいて、問題がある。 - 歴史があって今があるのはわかるが、これからどう生きていくのが大事だと思う。助け合い支え合う。今が大事。 - 仕事が先だっているのでもう考えられない。
複数選択等(※)	(1.2.3.8)人口減少の中、それぞれの取組をもって頑張っている姿に感銘を受ける。 (3.7)なくはないと思う伝統芸能や、郷土料理がある。 (4.5.6)退職後、県内の博物館や神社等を見学して改めて岩手県内様々な歴史・文化があると感づけるから。 (5.6)石川啄木。	(3.8)地域の祭も行事もコロナ後すっかり廃れてしまったから。 (3.8)ナニヤトヤラ保存会が東京で流行し始めているらしい。取材がきたり、CD作ってもらったりした。 (5.6)大谷選手や三偉人などあるが地域を通しての文化という感じはしない。 (-)地域で田植踊りの伝承している。	(1.3)76 年暮らしているが、現在は若者が少なくお祭りの伝統芸能が出来なくなった。

※ 複数選択等の()は、要因の番号の記載が無かったもの

(12) 自然のゆたかさ

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 緑の量(豊かな・少ない)	- 豊沢川の流域の樹木林。 - 山に囲まれている為。 - 緑が多く自然豊かでありすが草刈り(夫)が大変そうです。 - 緑に囲まれて、多い(小さな市ですから)(車で5～10分位走るとすぐ緑いっぱいです。) - 良い所だと思う。 - 緑の量は圧倒的に多いが、人工物が少なすぎることの裏返し。 - 緑が豊か。	- 近くに緑豊かな公園がある。 - 岩手は自然、みどり豊かです。草とり大変です - 自然の豊かさに恵まれずぎていて山しがなく何も無い！ - 緑が多い。 - 緑は多いが、里山の管理はあまりされていない。 - 自然は豊かだと思えます。 - 中山間活動で農地保全。 - 林が多い。 - 緑の量が多い。(遠野市) - 栗駒山が四季折々の景色がある。 - どちらかと、云えば、人口が少ないので、緑が多過ぎるように思える。 - 山も荒れ放題、アレチウリばかり。 - 緑には囲まれている。 - 緑の量は多い。しかし、体験する機会や場所が無い。 - 家の回りが緑が多い。 - 住宅の庭に取り囲むように、緑豊かで自然の恵みがある。梅・柿・栗・他。 - 緑豊か。	田舎なので海、山自然豊ですが、盛岡に行く交通の便が悪いです。電車で行くので、約2時間30分。風が強いと電車はストップするので。
2 空気の状態(きれいな・汚い)	- 空気がきれい - 新日鉄で製鉄している頃は、たくさんの煙突が有って曇っていました。	- 空気がよいこと。 - 空気がきれい。 - 空気がきれいになった。三陸復興道路が出来て余計良くなった。	
3 水(河川、池、地下水など)の状態(きれいな・汚い)	川が多いこと。	- いつも川の付近には野鳥がいて自然を感じられる。 - 良い所と、汚い所両方ある。整備の必要あり。 - 水本当にきれいです。 - 自宅が地下水なので美味しい。 - きれいな。 - 緑も豊かで空気もきれいだが、この土地に引っ越して、大雨のあと、大水が出て朝起きたら、家の前の道路が砂や石ころ、流木でいっぱいで大変驚いた。	近所の河川の状態が悪くなった。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		まさかこんな所だと思わなかった。自然災害が怖い です。 • 水がおいしいこと。 • 工場が臭い。 • 河川の水がきれいで良い。 • 磐井川の近くに住んでいる自然に恵まれている。	
4 海の状態(きれい・汚い)	• 近くの海でアサリ採り。 • 今は割ときれいかな。	• 時々海を見たりするが、泳いだり釣りをする事が無いのでその部分が残念に思っています。 • 震災から 13 年以上経ち海もすっかりきれいになりました。 • 現在住んでいるところが、久慈市の海沿いで、気候もおおだやかで、住みやすい。 • きれい。 • 海がきれい。	
5 多様な動植物の生息	• 厄介な動物もいる。 • 回りにはいろんな植物(花、山菜等)が豊富で多くの方が散策に見えます。	• 野生動物を自宅周辺で見かける。 • 私の町だけではなくクマの出没怖い！ • 住宅地の脇に牧草地があり、夜中にシカの群れが現れる。野生のリスなど。 • とにかく野生動物がきちんと生きられる野山にしてください。太陽光発電はただの自然破壊です。ILCなんてやめてください。大反対。 • 散歩していると(朝)子キツネが横切り。シカも市内を散歩(まぎれ込み)する。	
6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	• 自分の住む地域はそうだと思う。 • 運動公園でジョギング。	• 盛岡城址公園や木伏緑地など自然が身近にある。 • 自然豊かではあるが整備されておらず、子どもたちと有意義に自然に親しめる場所が少ない。 • 近くに公園が沢山あり公園周りの緑も豊か。 • 海浜公園が大好き。	
7 自然(山・海など)と触れ合う機会	• 近くに自然があり、すぐに行ける環境であるため。 • 春は山菜、夏は海、秋はキノコ採りを楽しんでいる。 • 趣味で色々と行っています。どこに行ってもちゃんと整備している。	• 山もあり、海もあり、岩手は自然豊かで好きです。 • 太平洋、広田湾がきれいに見える。 • 自然に恵まれていて子ども達の教育をやっているから。 • 岩手山、姫神山等県民として誇り。 • 川がきれい。恵まれている。釣り多い。 • 山も海も近くにあるので触れ合う機会が多い。	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
8 地域での自然保護活動			
9 自然に関心がない			
10 その他()			
複数選択等(※)	(1.2.3.4.6.7.8)田舎集落ゆえに自然がいつぱい。“日向ぼっこ”しながら、生涯活動している。	(1.2.3)環境が良く、とっても住み心地が良い地域だと思っています。 (1.2.3)自宅周辺は山、川があり、水もおいしい。野菜も米もおいしく育つ。 (1.2.4.5)緑が多く、海もきれいだと思う。 (1.4.7)田舎なので自然がたくさんある。 (1.7)海にも山にも近く、自然の豊かさには望まれている。 (1.7.3)緑が豊かで鳥の鳴き声なども聞こえ、自然に触れ合う機会が多い。 (-)自然が豊かで水がきれい。 (-)常に自然の豊かさを感じ、生活出来る。	(1.2)豊かすぎて、花粉症で困っている。 (-)街路樹を伐採しているけれども、安全のために定期的に手入れをして、残してほしい。日よけにもなるし、風よけにもなる。●●の町は街路樹で守られるため。

※ 複数選択等の()は、要因の番号の記載が無かったもの

【追加分析】

「生活時間（行動時間）と主観的幸福感・生活満足度と関係性について」分析結果

注1) 表中の「1+2」は、表：参9-1、9-2、9-3については『「幸福だと感じていない」+「あまり幸福だと感じていない」』、表：参9-4、9-5、9-6については『「不満状態にある」+「やや不満状態にある」』の1日あたりの時間(分)。「4+5」は表：参9-1、9-2、9-3については『「やや幸福だと感じている」+「幸福だと感じている」』、表：参9-4、9-5、9-6については『「やや満足できる状態にある」+「満足できる状態にある」』の1日あたりの時間(分)。
 注2) 表中の「有意確率」は低い方が統計的に偶然ではなく、意味のある結果と判断される。
 注3) 表中の「判定※」は「***」が有意確率1%未満、「**」が有意確率5%未満、「*」が有意確率10%未満。

表：参9-1-1 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（男女計）

幸福度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦世帯 本人)	家事労働 時間(夫婦世帯 以外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用意・後片 付け(配偶 者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫 婦世帯配 偶者)	その他 (配偶者)
1+2	387.1	82.2	63.0	40.2	454.4	155.4	77.9	56.5	87.3	133.2	60.8	111.7	221.0	228.7	224.8	387.1	58.0	35.8	95.6	62.0	36.2	152.2	43.6
4+5	411.7	79.9	71.8	44.8	441.3	230.9	82.7	50.1	102.1	61.7	51.6	107.1	192.9	223.8	203.6	383.2	70.4	41.8	105.3	56.2	42.8	174.5	58.1
有意確率	0.00%	59.74%	0.01%	6.71%	15.65%	12.24%	21.08%	0.77%	48.43%	1.47%	0.03%	74.84%	3.06%	72.12%	2.63%	78.90%	5.23%	11.70%	67.81%	78.32%	6.72%	12.55%	37.82%
判定※	***		***	*			***	***		**	***		**		**		*			*			

表：参9-1-2 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（男女計・若年齢層）

幸福度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦世帯 本人)	家事労働 時間(夫婦世帯 以外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用意・後片 付け(配偶 者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫 婦世帯配 偶者)	その他 (配偶者)
1+2	390.6	93.2	62.1	44.6	451.0	176.9	50.7	44.7	198.3	120.0	56.4	135.3	237.3	152.3	172.0	295.8	53.3	65.4	218.3	420.0	36.7	276.5	-
4+5	394.9	74.8	67.1	52.3	477.5	320.9	48.7	35.5	171.2	150.0	42.2	113.0	228.6	126.8	162.5	241.8	64.1	35.4	181.1	30.0	34.6	225.8	15.0
有意確率	72.14%	10.15%	37.21%	21.82%	16.48%	3.03%	77.29%	2.66%	79.52%	-	4.98%	61.79%	89.53%	28.28%	70.08%	9.96%	47.17%	27.10%	69.49%	-	84.19%	57.34%	-
判定※						**		**			**					*							

表：参9-1-3 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（男女計・中年年齢層）

幸福度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦世帯 本人)	家事労働 時間(夫婦世帯 以外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用意・後片 付け(配偶 者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫 婦世帯配 偶者)	その他 (配偶者)
1+2	369.3	79.4	60.6	39.3	465.0	112.5	77.6	57.1	68.1	149.8	55.1	99.9	207.8	247.6	226.4	335.5	56.2	30.0	73.9	56.3	33.8	140.4	34.3
4+5	392.6	68.9	68.1	42.4	460.6	70.0	81.9	48.1	81.5	53.4	46.4	93.3	191.4	220.1	199.6	322.4	63.7	39.3	85.5	44.4	39.6	161.9	38.0
有意確率	0.00%	9.06%	0.34%	23.90%	65.29%	55.98%	37.81%	0.30%	36.85%	3.06%	0.34%	67.45%	27.24%	15.72%	2.42%	44.30%	32.34%	1.31%	54.96%	63.79%	16.39%	16.94%	83.40%
判定※	***		***				***	***		**	***				**		*		*				

表：参9-1-4 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（男女計・高年齢層）

幸福度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦世帯 本人)	家事労働 時間(夫婦世帯 以外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用意・後片 付け(配偶 者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫 婦世帯配 偶者)	その他 (配偶者)
1+2	430.7	84.9	71.2	37.3	368.2	-	94.6	60.8	90.0	106.1	76.8	134.5	242.6	262.9	250.7	548.7	65.3	43.6	30.0	41.6	43.2	155.5	80.0
4+5	446.4	98.7	78.9	46.8	311.6	91.3	94.7	58.0	64.3	65.0	39.4	63.5	122.4	189.5	284.4	223.2	522.3	83.5	49.9	55.2	77.9	49.6	187.2
有意確率	13.57%	15.10%	14.13%	25.80%	33.58%	-	98.80%	60.47%	82.34%	26.61%	2.84%	75.38%	5.06%	53.02%	19.22%	35.69%	19.04%	70.12%	63.62%	17.32%	44.03%	29.56%	86.93%
判定※							***				**		*				*						

表：参9-2-1 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（男性）

幸福度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦世帯 本人)	家事労働 時間(夫婦世帯 以外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用意・後片 付け(配偶 者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫 婦世帯配 偶者)	その他 (配偶者)
1+2	394.4	83.0	65.9	44.6	471.5	163.6	55.2	44.7	52.3	117.9	54.6	96.2	151.1	190.3	170.8	392.5	99.3	63.8	139.4	98.2	53.6	241.9	82.5
4+5	417.7	69.9	71.7	50.1	469.2	225.7	40.9	26.9	53.5	39.4	40.5	104.0	108.9	154.1	120.5	407.1	117.2	67.3	148.6	84.5	58.4	269.8	63.7
有意確率	0.04%	2.12%	8.22%	12.48%	68.90%	40.50%	0.17%	0.00%	94.78%	9.86%	0.04%	68.84%	1.13%	3.51%	0.00%	50.30%	5.10%	56.76%	81.15%	74.33%	39.58%	23.96%	51.93%
判定※	***	**	*			***	***	***		*	***		**		***		*						

表：参9-2-2 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（男性・若年齢層）

幸福度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦世帯 本人)	家事労働 時間(夫婦世帯 以外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用意・後片 付け(配偶 者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫 婦世帯配 偶者)	その他 (配偶者)
1+2	378.0	87.3	56.8	50.3	445.4	185.8	50.8	43.0	176.7	120.0	63.3	172.0	198.8	150.3	162.8	316.5	68.6	94.3	256.7	420.0	45.7	331.3	-
4+5	391.6	72.5	69.2	56.6	507.9	312.6	32.7	28.6	81.2	-	36.5	76.3	105.5	107.9	107.0	243.5	94.4	45.8	248.6	-	44.0	302.8	-
有意確率	33.57%	35.51%	6.59%	49.51%	2.33%	14.87%	7.80%	0.20%	40.77%	-	3.54%	21.48%	9.03%	20.75%	4.67%	12.01%	25.56%	27.89%	99.77%	-	90.20%	83.77%	-
判定※			*		**		*	***			**		*		**		*						

表：参9-2-3 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（男性・中年年齢層）

幸福度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦世帯 本人)	家事労働 時間(夫婦世帯 以外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用意・後片 付け(配偶 者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫 婦世帯配 偶者)	その他 (配偶者)
1+2	383.4	77.4	61.8	43.0	494.0	30.0	45.7	43.6	32.2	157.5	45.9	103.7	112.1	204.2	157.0	350.1	93.8	52.5	120.0	90.0	49.6	219.6	75.0
4+5	400.1	69.9	68.4	47.8	498.4	60.0	38.0	25.4	45.7	29.0	36.7	110.6	99.5	171.7	115.7	335.2	112.8	65.9	125.8	78.4	57.2	269.0	41.7
有意確率	1.95%	0.57%	7.89%	23.63%	74.72%	-	9.49%	0.00%	21.32%	31.91%	3.19%	81.12%	31.94%	19.59%	0.16%	56.62%	4.69%	1.88%	84.63%	77.53%	24.21%	4.24%	59.11%
判定※	**	***	*				*	***			**				***		*		*			*	

表：参9-2-4 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（男性・高年齢層）

幸福度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦世帯 本人)	家事労働 時間(夫婦世帯 以外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用意・後片 付け(配偶 者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫 婦世帯配 偶者)	その他 (配偶者)
1+2	431.3	94.9	81.9	43.6	355.0	-	80.4	48.3	0.0	97.5	73.3	54.2	216.2	198.3	209.5	545.2	120.0	78.9	60.0	60.0	65.2	262.5	90.0
4+5	455.0	79.6	77.3	55.5	315.6	61.7	48.1	28.9	37.5	54.8	48.0	110.0	123.2	182.7	132.2	587.0	127.5	72.0	82.8	92.3	61.6	264.7	68.4
有意確率	15.90%	38.95%	60.49%	25.74%	81.72%	-	0.94%	1.04%	-	49.96%	0.75%	1.81%	3.25%	64.00%	0.72%	34.64%	73.89%	58.72%	-	37.99%	79.63%	96.42%	60.98%
判定※							***	**			***	**			***		*						

表：参9-3-1 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（女性）

幸福感	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	389.5	81.8	60.6	35.1	436.1	144.0	100.5	67.2	117.8	144.9	65.9	131.5	292.3	269.2	280.9	372.4	23.1	11.5	51.7	23.4	21.6	70.0	25.0
4+5	406.5	88.5	72.0	39.0	413.4	237.4	115.2	68.1	153.5	74.0	60.3	108.8	280.6	257.3	270.7	362.0	22.8	16.1	54.5	24.0	26.6	77.0	54.0
有意確率	0.01%	23.90%	0.01%	19.25%	4.99%	14.31%	0.78%	77.28%	27.86%	6.25%	9.26%	33.07%	49.16%	60.13%	46.59%	59.51%	96.78%	8.56%	89.38%	95.96%	21.63%	55.69%	7.01%
判定※	***		***		**		***		*	*							*						*

表：参9-3-2 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（女性・若年齢層）

幸福感	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	405.0	100.5	68.8	37.6	457.9	150.0	50.7	46.3	220.0	120.0	49.8	106.0	299.0	154.5	183.4	270.2	32.0	25.0	180.0	-	24.0	189.0	-
4+5	398.2	77.0	65.1	47.6	444.0	332.1	63.8	41.9	261.2	150.0	47.8	140.6	361.2	145.0	218.0	240.2	35.0	25.0	113.6	30.0	24.4	146.0	15.0
有意確率	74.90%	14.21%	69.35%	20.75%	60.18%	1.02%	18.00%	52.60%	85.20%	-	79.58%	57.87%	68.95%	77.80%	41.35%	51.10%	83.21%	100.00%	44.55%	-	98.18%	61.94%	-
判定※					**																		

表：参9-3-3 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（女性・中年年齢層）

幸福感	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	355.2	80.5	58.7	34.9	433.3	140.0	106.4	69.2	96.4	155.2	64.0	95.6	301.7	291.6	297.1	319.8	25.2	11.3	27.9	27.7	20.2	68.8	18.0
4+5	388.6	75.0	67.8	37.3	425.4	78.8	115.1	65.6	119.4	71.1	54.0	84.5	275.6	248.0	266.6	312.2	19.2	15.4	37.4	12.2	23.6	66.2	36.8
有意確率	0.00%	47.48%	1.04%	46.45%	54.32%	53.73%	19.96%	36.30%	37.85%	9.83%	1.10%	53.49%	17.26%	13.92%	6.09%	73.86%	53.27%	17.63%	44.69%	18.74%	49.17%	85.65%	14.62%
判定※	***		**							*	**				*								

表：参9-3-4 主観的幸福感の「感じる」・「感じない」別の生活時間（行動時間）（女性・高年齢層）

幸福感	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	430.2	75.8	61.0	26.3	393.0	-	109.0	72.2	180.0	115.9	80.2	255.0	269.9	318.3	290.2	552.0	16.5	9.6	0.0	12.2	24.4	52.2	60.0
4+5	412.9	83.1	73.1	46.7	440.9	180.0	128.8	78.9	100.0	72.0	71.1	75.3	127.7	275.4	307.3	291.7	473.1	28.0	15.6	0.0	52.0	34.1	86.4
有意確率	46.57%	0.00%	0.06%	53.75%	13.99%	-	9.72%	34.71%	-	34.33%	53.64%	12.03%	86.37%	84.08%	96.09%	3.53%	15.17%	27.03%	-	26.00%	25.29%	9.14%	-
判定※	***	***	***				*									**						*	

表：参9-4-1 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（男女計）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	397.0	79.2	68.0	41.6	445.1	133.8	81.3	52.8	86.2	86.8	58.7	104.9	208.2	0.4	227.7	215.9	395.0	67.7	41.5	108.7	74.9	43.2	176.7
4+5	412.9	83.1	73.1	46.7	440.9	252.3	83.2	49.9	89.5	72.0	51.8	120.8	191.7	0.5	231.8	206.2	389.2	71.0	40.9	104.5	56.7	40.4	171.2
有意確率	0.00%	24.24%	0.71%	3.86%	63.50%	0.66%	59.89%	15.36%	64.19%	39.19%	0.24%	24.31%	7.95%	2.03%	77.38%	22.18%	42.05%	50.59%	83.30%	85.11%	40.52%	35.76%	62.61%
判定※	***		***	**		***				***		*	*	**									43.94%

表：参9-4-2 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（男女計・若年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	390.3	78.7	61.9	50.0	453.7	162.9	50.6	44.8	173.8	120.0	49.9	144.9	252.4	154.2	184.4	281.6	69.1	48.3	177.3	420.0	46.9	278.3	-
4+5	398.6	75.0	71.2	52.7	474.3	350.0	49.3	34.9	156.9	150.0	46.1	120.7	195.5	133.9	153.2	248.4	69.6	34.0	245.5	30.0	33.5	220.0	30.0
有意確率	37.32%	75.01%	7.47%	67.14%	28.05%	0.10%	84.40%	5.50%	81.75%	-	51.58%	62.24%	26.20%	38.08%	17.36%	24.96%	96.78%	24.73%	46.75%	-	21.13%	37.65%	-
判定※			*			***	*																

表：参9-4-3 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（男女計・中年年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	378.3	76.4	65.0	40.1	458.5	105.0	81.5	52.2	69.0	99.8	55.8	92.9	210.5	240.4	221.6	338.9	59.6	37.9	93.8	55.4	39.1	162.4	58.4
4+5	390.1	68.8	70.0	44.2	464.4	52.5	82.4	46.3	78.8	55.2	44.1	92.7	188.4	220.2	196.9	324.3	63.5	39.5	82.0	35.0	35.8	156.6	32.5
有意確率	0.38%	4.00%	2.59%	14.48%	52.18%	21.48%	85.89%	2.52%	45.73%	5.41%	0.00%	96.95%	6.23%	30.75%	1.54%	31.59%	49.54%	66.57%	53.10%	25.22%	35.92%	66.82%	22.63%
判定※	***	**	**				**		*	*	***		*		**								

表：参9-4-4 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（男女計・高年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	438.0	85.6	76.4	40.0	333.3	45.0	92.8	56.7	60.0	53.3	67.7	124.7	196.3	254.9	216.3	556.7	86.0	47.3	60.0	93.0	50.7	189.5	97.5
4+5	445.1	104.6	78.0	50.5	320.1	101.7	95.2	59.6	55.7	93.9	64.7	142.2	199.9	296.9	237.4	500.4	82.9	43.5	55.9	86.7	49.1	186.0	69.7
有意確率	34.87%	0.67%	69.69%	23.73%	67.68%	28.53%	72.92%	46.39%	95.50%	8.29%	52.79%	49.31%	82.56%	12.21%	15.30%	0.90%	77.11%	49.00%	-	89.35%	77.11%	87.06%	45.23%
判定※		***								*						***							

表：参9-5-1 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（男性）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	407.2	71.1	69.2	45.1	472.8	103.8	48.3	34.2	49.1	59.5	49.9	90.7	130.5	182.3	149.0	407.9	115.8	68.8	147.8	115.9	59.4	281.0	80.0
4+5	416.9	74.1	73.4	32.1	465.4	223.6	42.7	27.6	57.5	55.4	41.4	113.1	113.1	170.1	129.0	406.3	116.5	64.2	156.0	79.6	55.3	284.8	79.1
有意差 判定※	7.97%	46.83%	14.88%	0.23%	78.43%	4.07%	10.67%	0.31%	39.75%	85.60%	1.07%	18.17%	7.42%	52.67%	2.74%	93.13%	92.61%	31.48%	81.72%	30.54%	33.32%	34.09%	79.71%
	*			*		**		***			**		*		**								

表：参9-5-2 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（男性・若年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	383.1	74.4	60.3	53.8	463.8	130.0	46.6	35.8	85.0	120.0	51.9	144.7	170.3	139.0	148.8	307.2	91.3	66.3	220.0	420.0	62.3	365.3	-
4+5	401.1	80.5	77.9	56.8	523.8	332.7	30.1	30.6	68.6	-	45.9	63.8	81.7	119.1	106.9	230.6	105.0	41.5	372.0	-	40.8	299.3	-
有意差 判定※	11.69%	65.11%	1.83%	74.80%	2.57%	0.80%	2.03%	23.76%	67.51%	-	52.55%	27.11%	0.49%	49.89%	5.98%	5.89%	51.63%	20.85%	38.33%	-	17.03%	55.48%	-
			**		**	***	**						***		*	*							

表：参9-5-3 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（男性・中年年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	393.1	68.7	63.9	42.9	499.1	45.0	42.7	33.5	42.7	70.9	45.5	84.4	118.0	186.9	143.4	359.5	108.6	66.1	135.9	88.1	57.7	271.3	50.0
4+5	392.5	60.9	70.6	49.7	500.5	48.0	40.0	24.8	57.5	31.4	34.8	108.9	100.7	185.7	119.3	332.9	110.9	65.4	130.4	58.1	51.8	262.2	53.3
有意差 判定※	92.53%	5.14%	4.26%	12.31%	90.96%	90.44%	49.98%	0.33%	21.46%	22.98%	0.47%	48.80%	10.41%	98.78%	3.68%	24.31%	79.94%	91.06%	85.08%	33.77%	28.67%	66.14%	93.51%
		*	**					***			***				**								

表：参9-5-4 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（男性・高年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	447.7	73.2	83.8	48.2	340.5	45.0	61.2	35.1	0.0	38.9	59.5	90.0	143.5	227.5	159.9	565.8	134.1	72.2	60.0	124.1	60.0	279.2	97.5
4+5	452.4	88.7	75.4	57.3	335.8	62.5	49.7	30.6	42.0	86.5	49.6	156.7	133.0	201.9	148.4	556.3	125.4	65.5	78.2	102.4	62.1	263.6	78.3
有意差 判定※	68.62%	5.77%	21.25%	43.82%	91.06%	44.75%	15.76%	32.36%	-	15.47%	19.71%	5.22%	59.57%	52.01%	52.83%	77.05%	54.64%	34.52%	-	72.68%	76.88%	59.94%	65.90%
		*										*											

表：参9-6-1 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（女性）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	386.5	87.0	86.9	37.8	412.3	169.1	112.1	69.4	135.2	110.1	66.3	118.5	293.8	264.5	281.1	380.1	19.9	14.0	47.5	18.9	26.4	70.1	62.3
4+5	409.1	90.3	73.1	41.4	412.9	289.3	115.0	67.5	121.5	87.0	60.2	122.5	274.8	264.2	270.3	363.9	24.8	17.0	50.0	29.1	25.1	76.8	41.1
有意差 判定※	0.00%	52.11%	1.43%	28.00%	95.57%	6.71%	56.15%	49.20%	65.02%	35.73%	4.20%	83.35%	14.22%	99.04%	33.05%	31.99%	11.92%	20.85%	88.75%	58.58%	70.70%	42.45%	50.02%
	***		**			*					**												

表：参9-6-2 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（女性・若年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	399.0	84.1	63.8	45.3	440.9	222.0	55.1	53.8	262.5	120.0	47.5	145.0	355.0	172.1	227.0	251.0	41.3	25.8	128.6	-	27.5	169.6	-
4+5	396.5	71.9	65.4	48.9	430.7	369.0	63.2	38.4	260.0	150.0	46.3	182.7	302.2	146.4	193.4	263.9	43.1	27.8	140.0	30.0	26.8	150.6	30.0
有意差 判定※	87.11%	36.00%	83.55%	68.87%	69.15%	14.03%	43.64%	9.37%	98.53%	-	85.14%	60.55%	54.61%	46.44%	38.90%	74.82%	87.76%	85.58%	86.78%	-	95.18%	70.70%	-
							*																

表：参9-6-3 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（女性・中年年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	384.0	82.8	65.8	37.1	415.7	125.0	116.2	68.9	104.8	117.3	65.2	100.3	300.9	289.7	296.6	318.2	15.4	12.2	24.8	19.3	22.0	60.5	62.3
4+5	388.4	74.7	69.4	39.1	430.6	60.0	115.0	63.1	97.5	75.4	51.5	83.6	265.9	241.2	258.5	315.4	19.8	16.1	33.7	11.9	21.1	63.4	25.6
有意差 判定※	0.00%	17.33%	24.66%	56.37%	25.81%	24.39%	85.63%	9.54%	75.17%	18.29%	0.04%	44.83%	2.55%	6.52%	0.54%	88.47%	11.11%	11.85%	36.31%	43.15%	83.07%	70.99%	20.08%
	***						*				***		**	*	***								

表：参9-6-4 生活満足度の「満足」・「不満」別の生活時間（行動時間）（女性・高年齢層）

生活満足度	睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・通 学	仕事	学業	食事の用 意・後片 付け	掃除・洗 濯	育児	介護・看 護	買い物	その他	家事労働 時間(夫婦 世帯本 人)	家事労働 時間(夫婦 世帯以 外)	家事労働 時間(全 体)	余暇時間	食事の用 意・後片 付け(配 偶者)	掃除・洗 濯(配偶 者)	育児(配 偶者)	介護・看 護(配偶 者)	買い物 (配偶者)	家事労働 時間(夫婦 世帯配偶 者)	その他 (配偶者)
1+2	429.6	96.6	70.2	26.0	317.6	-	121.1	75.3	120.0	79.1	75.5	159.4	265.9	264.8	265.4	548.8	27.0	16.4	-	17.3	38.8	76.4	-
4+5	439.3	117.2	80.1	40.3	294.0	180.0	130.0	81.0	90.0	101.9	76.7	135.4	286.0	329.6	308.5	455.7	30.1	16.5	0.0	60.0	32.3	87.2	60.0
有意差 判定※	32.65%	5.48%	3.91%	28.63%	59.30%	-	34.56%	25.95%	-	55.74%	82.99%	54.80%	37.14%	5.31%	3.11%	0.11%	72.00%	98.56%	-	39.88%	46.07%	57.85%	-
		*	**											*	**	***							

令和7年度「幸福について考えるワークショップ」における意見等について

1 開催目的

いわて県民計画（2019～2028）の推進に向け、県民に「幸福」について考える機会を提供するとともに、ワークショップを通じて県民の幸福感に関する意識を把握し、政策評価等に活用する。

2 対象とした分野別実感

- ① 地域の安全
- ② 必要な収入や所得

3 ワークショップの開催状況等

（1）ワークショップの開催状況

	開催日	開催地域	参集者	
			人数	備考
第1回	6月18日 (水)	県北 (普代村)	19名 (男性11名、 女性8名)	役場職員等
第2回	6月21日 (土)	沿岸 (山田町)	11名 (男性1名、 女性10名)	勤労者、主婦
第3回	6月23日 (月)	県央 (岩手町)	15名 (男性7名、 女性8名)	地域おこし協力隊、団体職員、主婦、農業
第4回	6月26日 (木)	沿岸 (釜石市)	19名 (男性4名、 女性15名)	有償ボランティアの会 会員
第5回	7月3日 (木)	県北 (洋野町)	12名 (男性2名、 女性10名)	高校生、地域おこし協力隊、農業、会社員
第6回	7月5日 (土)	県南 (花巻市)	9名 (男性4名、 女性5名)	団体職員、フリーター、大学生、高校生
第7回	7月9日 (水)	県央 (盛岡市)	18名 (男性15名、 女性3名)	中学生、高校生、地域おこし協力隊、塾講師、盛岡市議
第8回	9月19日 (金)	県南 (遠野市)		

(2) ワークショップにおいて出された意見等

① 地域の安全

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
第1回 普代村	☐ 獣害・道路環境に関する不安 - クマやシカなどの獣害が増加。箱罠などで対応しているが、人的被害の懸念あり (30代：男性) - 中心地以外の道路が暗く、外灯が少ないため夜道が危険 (20代：女性) - 歩道の草刈りや倒木処理など環境整備が不十分で、獣害を誘引する可能性がある (30代：男性) - 歩道が狭く、子どもや高齢者の通行に危険が伴う (20代：男性) ☐ 交通・マナーに関する課題 - 高齢者による危険な運転が目立つ (20代：女性) - まちなかで路上駐車が多く、交通の妨げになっている (20代：男性) - 道路脇にゴミのポイ捨てが多く、景観や衛生面に問題 (30代：女性) ☐ 医療体制への不安 - 地域の医療機関が少なく、特に産科が不足。普通出産以外は二戸病院へ (30代：女性) - 通院先が村外で、八戸まで通う人もいる。近隣に病院がないことが不安・不便 (30代：女性) ☐ 災害対応・地域防災 - 震災以降は大きな被害はないが、消防団の加入者が減少しており、有事対応に不安 (20代：男性) ☐ 治安・地域のつながり - 犯罪はなく、駐在さんも「安全な村」と評価 (30代：男性) - 治安は良好。酒癖の悪い人はいるが、変質者などの心配はない (20代：男性) - 家の施錠をしない住民が多く、安全な地域であることの証 (20代：男性) - 顔が見える関係性が強く、地域内で助け合いができています (30代：女性)	☐ 地域の安全と防犯 - 地域全体で防犯意識を高める啓発活動が必要 (30代：男性) - 防犯は地域や役場だけでなく、連携して取り組むことが重要 (30代：女性) ☐ 高齢者支援と見守り体制 - 独居高齢者の増加に伴い、安心して暮らせる見守りの仕組みが求められている (30代：男性) - 高齢者の免許返納後の生活支援策が不十分で、返納が進まない懸念がある (30代：女性) ☐ 生活支援と福祉連携 - 通院支援など、日常生活のサポートが必要 (20代：女性) - 社会福祉協議会や他団体との情報共有・連携のための話し合いの場が求められている (30代：女性) ☐ 有事対応と職員体制 - 村外在住の職員が増えており、災害など有事の際の対応体制を見直す必要がある (20代：男性)
第2回 山田町	☐ 野生動物の出没による不安 - クマやシカが地域でも見られるようになり、特に子どもの通学時に不安を感じている (30代：女性) ☐ 交通安全への懸念 - 狭い道路でもスピードを出す車があり、交通量も増加。ゾーン30の設置を希望 (30代：女性) - R45号豊間根付近ではカーブが多く、スピードを出す車が多い。通勤時に煽られることもあり、取締強化を求める (20代：女性) ☐ 治安・防犯への不安 - 不審者や声かけ事案が増えている印象があり、地域の安全に不安を感じている (40代：女性) ☐ 夜間の安全確保 - 町中から離れると外灯が少なく、中高生の部活帰りが遅くなるため心配。学校から町に要望済み (40代：女性) ☐ 災害リスクへの懸念	☐ 情報収集・発信 - インフォ山田への登録により、災害情報や地域イベントなどをスマホで受け取れるようにする (30代：男性) ☐ 地域の安全・環境整備 - 学校と地域が連携して街灯設置を求める声を上げる (40代：女性) - 楽しみながら参加できる防災訓練を通じて、防災意識を高める (50代：女性) ☐ 近隣とのつながり - 隣近所への挨拶や声かけを

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
	・ソーラーパネルの増加により、大雨時の土砂災害が心配 (30代：男性) ・防波堤ができたことで海が見えなくなり、津波などの不安がある (70代：女性) ・浸水地域に住んでいるが、引っ越しの余裕がなく不安を抱えている (50代：女性) ・沿岸部で山火事が続いており、災害ごとの避難方法が分からず不安 (40代：女性) ☐ 地域の防災活動 ・自治会で独自の避難訓練を実施しており、できるだけ参加している (30代：男性) ☐ 子どもの安全対策 ・スクールガードの活動に感謝している (30代：女性)	積極的に行う (20代：女性) ・近所に気軽に集まれる場所がほしい徒歩圏内が理想 (70代：女性) ☐ 地域参加・世代間交流 ・地域 (市町村・県域など) に関わる機会を増やす (30代：男性) ・若い世代が参加したくなる企画の調査や、世代を越えた対話の場の継続 (20代：女性) ☐ デジタル活用・学びの場 ・SNSの活用を広げるとともに、高齢者向けの勉強会を開催 (20代：女性)
第3回 岩手町	☐ 野生動物・自然環境に関する課題 ・クマ・シカ・サル の出現と作物被害、通学路の安全確保が課題 (30代：女性) ・空き家が動物の住処となり、危険が増加していると感じる (40代：男性) ・空き家の放置が犯罪の温床になる懸念 (30代：男性) ・崩れた路肩や倒木への対応が遅い (30代：男性) ☐ 通学路・道路環境の安全性 ・通学路に歩道がない箇所があり、スピードを出す車が多く危険 (40代：女性) ・冬道では除雪された雪が歩道に残り、車道を歩いてしまうことがある (90代：女性) ・道路環境整備への参加者が減り、危険箇所が増えていると感じる (60代：男性) ・川口駅からの線路沿いに外灯がなく、夜間は暗くて不安 (30代：男性) ☐ 生活環境・地域コミュニティ ・一人暮らしで夜間に不安を感じる (70代：女性) ・住民交流の希薄化により、情報共有の仕組みが減少。PTA は機能している様子 (40代：女性) ・地域コミュニティの維持が難しくなり、安心安全の基盤が崩れ始めている (30代：男性) ・人口減少により、通院・救急搬送・買い物など生活インフラや支援の仕組みが失われている (50代：女性) ・子どもが気軽に遊べる場所が減っている (30代：女性) ☐ 防災・気候変動への意識 ・過去に大きな自然災害はなく、防災意識が低い (15年前の浸水程度) (50代：女性) ・首都圏からの移住者が、想定外の暑さに驚いている (20代：男性) ☐ 高齢者支援・治安 ・高齢者見守りシステム「あいネット」を活用している地域もあ	☐ 地域のつながり・交流 ・ご近所での声掛けをしていく (60代：男性) ・世代交流を通じて、お互いに気に掛け合う関係づくりをしていく (50代：女性) ・協力隊としても、積極的に地域に出向き、話をする (40代：男性) ・近所に気軽に集まれる場所づくり。郷土料理を教えたい (90代：女性) ☐ 空き家対策・制度整備 ・空き家の解体など行政ができる法整備が必要。普段のつながりから、地域で空き家になる前の関係づくりもしていく必要がある (30代：男性) ・空き家解体への補助制度がほしい (30代：男性) ☐ 除雪・環境整備 ・地域でできる範囲の除雪をする (20代：男性) ☐ 交通安全・啓発 ・交通事故は起きていないが、交通安全の意識啓発は必要。たまたま事故が起きていないだけ。 (40代：女性)

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
	り、地域内での話し合いが行われている (60代：女性) ・治安は良好と感じており、過去2年間は交通事故もない (30代：男性)	
第4回 釜石市	☐ 野生動物の出没 ・もともとシカが多い地域だが、近年は熊や猿が住宅地付近に出没しており、住民の安全が脅かされている (60代：女性) ☐ 訪問販売・詐欺への不安 ・廃品回収業者や訪問販売が増加しており、詐欺被害への懸念がある。ただし、地域活動の中でどこまで関与できるか悩んでいる (50代：女性) ☐ 夜間の移動の不安 ・駅やイオン周辺以外は外灯が少なく、午後6時以降は公共バスの運行がなくなるため、徒歩での移動が怖い (20代：女性) ☐ 交通マナー・インフラ ・スピードを出す車や横断歩道付近でのマナーの悪化を感じる (60代：男性) ・信号や標識が不足しており、通学路の安全確保が課題。スクールガードの担い手不足も深刻 (70代：男性) ・道路がでこぼこで、免許がない高齢者にとって徒歩移動が困難 (70代：女性) ・無灯火やスマホを見ながら運転する自転車が増えており、罰則の周知が不十分 (40代：男性) ☐ 災害対応・地域防災 ・土砂災害地域が多く、震災経験もある釜石では、日頃の交流が災害時の対応につながると考え、自主避難訓練を実施している (60代：女性) ・ハザードマップなどの防災情報が住民に届いているか不安 (20代：女性) ・消防団員の確保が困難で、団員になっても日中に地域にいるのは高齢者が中心という現実 (70代：男性) ☐ 医療・救急体制 ・医療機関の減少により、総合病院はあるものの診療科が少なく、緊急時の不安がある (50代：女性) ・救急車が物理的な距離や台数の問題で間に合わないこともある (60代：男性) ☐ ゴミ出しと個人情報 ・ゴミ袋に氏名を記載するルールが、個人情報の流出につながるのではないかと懸念 (40代：女性)	☐ 高齢者支援と情報発信 ・高齢者の免許返納に伴う支援が求められており、当倶楽部の活動はその一環。利用者を増やすため、積極的な情報発信が必要 (60代：女性) ☐ 地域のつながりづくり ・「お互い様」の精神で、気にかけて合う雰囲気づくりを目指す (40代：女性) ・世代を越えた交流の場をつくり、地域の絆を深める (40代：男性) ・若い世代も含め、地域の人々と積極的に交流していく (20代：女性) ☐ 安全・防災活動の継続と強化 ・体力が続く限りスクールガードを続け、後継者の発掘にも努める (70代：男性) ・交通安全教室など、注意喚起の取り組みを企画する (50代：女性) ・消防団員として、同年代や後輩を誘い、地域防災力を高める (40代：男性) ☐ 会員のスキルアップと連携 ・倶楽部会員のスキルアップを図る事業を企画し、市社会福祉協議会と連携して取り組む (60代：女性)
第5回 洋野町	☐ 交通・道路環境の課題 ・学校付近の横断歩道：木々とカーブにより車の視認性が悪く、歩行者用信号もないため危険 (10代：女性) ・外灯の不足：部活帰りなど夜間の歩行に不安を感じる (10代：女性)。運転者も外灯の必要性を感じており、カーブや十字路などに反射材の設置を望む (40代：女性) ・道路の狭さと見通しの悪さ：木々に囲まれた道路で標識が隠れている箇所もあり、交通量が少ない分、荒い運転が目立つ (30代：女性) ☐ 空き家・土地の管理	☐ 地域の見守り・交流の促進 ・ご近所での声掛けを通じて、日常的な見守りや安心感のある雰囲気づくりを進めたい (70代：女性) ☐ 交通安全対策の強化 ・横断歩道に信号機の設置を求め、注意喚起の看板も設置してほしい (40代：男性)

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
	・空き家の増加：倒壊の危険や獣の住みつきによる防犯面の不安があり、地域で草刈りなどの仕組みが求められている（40代：男性） ・耕作放棄地の荒廃：手入れされないことで不法投棄が増え、景観や衛生面に悪影響（60代：男性） ☐ 医療・高齢者の生活 ・医療機関の遠さ：ドクターヘリの到着にも時間がかかり、高齢者の通院が困難（60代：女性） ・町内会の脱退増加：高齢者の町内会離れにより、回覧板などの情報が届きにくく、地域交流が希薄化（70代：女性） ・独居・高齢者世帯の増加：日常生活の安定が難しくなっている（60代：男性） ・老後の不安：「このままここで暮らしていけるのか」と将来への不安（50代：女性） ☐ 環境・災害リスク ・ソーラー発電による山の伐採：保水力の低下により、土砂災害や農業用水の確保に影響が出ている（50代：女性） ・高校の立地：土砂災害区域にあり、災害時の安全性に不安（10代：女性） ☐ 地域の助け合い ・大雪時の除雪支援：地域住民による助け合いがある（70代：女性）	・学校付近の横断歩道近くにある木が視界を遮るため、伐採してもらいたい（10代：女性） ☐ 危険箇所の点検と情報共有 ・地域の道路などの危険箇所を点検し、学校や集落で情報共有したうえで、役場などに報告して対応を検討してもらいたい（30代：女性） ☐ 空き家の活用による居場所づくり ・空き家を活用して、地域の人が集える居場所をつくりたい（50代：女性）
第6回 花巻市	☐ 通学路・交通環境の課題 ・通学路に陥没や草が生えていて、自転車が車道を走る状況（10代：女性） ・通学路に「変な人」が立っていることがある（10代：女性） ・小学校近くではスクールガードによる見守りがある（40代：女性） ・農免道路や田んぼ道はカーブが多く、スピードを出す車が多い。高齢者の服装が暗く、発見が遅れる（20代：女性） ・運転者・歩行者・自転車利用者の交通ルール違反が多い（30代：男性） ☐ 夜間の安全・外灯不足 ・湯本地域では外灯が少なく、車・自転車・徒歩すべてが危険（40代：女性） ・外灯が少ない場所で不法投棄が多発（30代：男性） ・農道などにも外灯設置を希望する声（20代：女性） ☐ 獣害・治安に関する意識 ・獣害のニュースは増えているが、身近に感じられない（20代：女性） ・治安は良好との認識。施錠忘れでも安心して暮らせるが、最近では人より熊が怖い（40代：女性） ☐ 空き家・地域の雰囲気 ・ハナレヤでは空き家を活用中。空き家・空き店舗の増加は町の雰囲気や防犯に影響（30代：男性） ☐ 防災・災害への備え ・自然災害が少ないため、地域の状況を知らない（20代：男性） ・地域で防災訓練が行われておらず、防災意識が低いと感じる（30代：男性）	☐ 地域コミュニティ・交流のあり方 ・監視ではなく、互いに気にかけて合う地域コミュニティが理想。相談や情報共有によって詐欺被害の抑止につながる（40代：女性） ・世代に括らない交流の場が必要（20代：女性） ・近所付き合いはまず挨拶から始めたい（30代：男性） ☐ 交通安全・教育の必要性 ・大迫地域では高速道路と一般道路のスピード差が少なく、信号も少ないため、子ども向け交通安全教室が重要（30代：男性） ・運転者・歩行者ともにマナー向上が必要（20代：女性） ☐ 道路整備に関する要望 ・道路の整備をしてほしい（10代：女性）

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
	代：男性) ・降雪量は減っているが、除雪後の雪が歩道を塞ぐことがある (20代：女性) ☐ 地域活動・世代交流 ・親が地域活動に参加しているため、自分は参加しない (20代：女性) ・高齢者・子ども・若者の世代交流の機会が少ない。無関心な人も見られる (20代：女性)	
第7回 盛岡市	☐ 交通・通行に関する課題 ・自転車通行ルールを守らない人がいて、同じレーンで双方向通行になり危険 (10代：男性) ・高齢者の自転車がふらついて危険。押して歩く場合も狭い道路では幅を取り、追い越し時に不安 (10代：男性) ・自転車専用道路の必要性。通学時間帯は生徒優先にするなどの対応が必要。通学路でもスピードを出す車がいて心配 (30代：男性) ☐ 視界・環境の安全性 ・民家から木の枝が道路にはみ出したり、カーブ付近の草丈が高く視界が悪い箇所がある (10代：男性) ・大慈寺の道路沿いのフェンスは、夏に植物が生い茂り見通しが悪くなる (10代：男性) ☐ 夜間の安全 ・住宅街でも外灯が少なく、帰りが遅くなると暗くて怖い (10代：女性) ・飯岡地区は外灯が少ない (10代：男性) ☐ 交通量・車両の危険 ・交通量が多く、特に右折車が多くて危険 (10代：男性) ・学校統廃合により送迎が増え、学校周辺で交通渋滞や路上駐車が発生し、危険性が高まっている (40代：男性) ☐ 地域の治安・自然の脅威 ・エリアによっては万引き事件があったと聞いた (10代：男性) ・保育園近くに熊が出たことがあり、町中でもそうした危険があると感じた (10代：女性) ☐ 地域の見守り活動 ・PTA や町内会がスクールガードとして子どもたちの見守りをしている (50代：女性) ☐ 安心できる場所・行動 ・盛岡駅周辺は人も店も多くて安心感がある (10代：女性) ・校則で禁止されているため、ゲームセンターには行かない (10代：男性)	☐ 地域・行政への対応と情報共有 ・外灯や道路状況は地域または行政が対応すべきとの認識。学校を通じてでも住民の声を伝えてほしい (40代：女性) ・民家からはみ出る樹木などの危険箇所は、地域で対応する意識がある (40代：男性) ☐ 自転車マナー・交通安全教育 ・罰則もあるため、学校で自転車マナー教室を実施すべき (10代：男性) ☐ 野生動物への対応 ・クマが出たら盛岡市動物公園 ZOOMO の園長を呼ぶ (10代：男性) ☐ 情報リテラシー教育 ・子どもたちの様子を見ながら、情報リテラシーを教えたい (30代：男性)
第8回 遠野市		

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること

② 必要な収入や所得

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
第1回 普代村	☐ 雇用と働き方 ・選ばなければ仕事はあるが、若者が地元で働きたいと思うかは疑問（30代：男性） ・自宅から通勤し、現在の収入で生活できている（20代：女性） ・欲を出さなければ生活できる（20代：男性） ・地域に関わるあらゆることが仕事であり、働き方改革とのバランスが難しい（30代：女性） ☐ 第一次産業の課題 ・漁業への国の補助が少なく、全体的に元気がない。農業は手厚いが、漁業は支援が少ないと感じる。1千万円以上の経営体はあるが、産業全体の底上げが必要（30代：男性） ☐ 人口減少と税収 ・理想の平均手取りは30万円。将来を考えると不安（20代：男性） ☐ 地域ブランドと差別化 ・村や特産品のブランディング・付加価値が必要。差別化しないと選ばれない（30代：女性） ☐ ネット社会とスキル習得 ・どこにいてもできる仕事はあるが、ノウハウを学ぶ機会が少ない（20代：女性） ☐ 若者の流出と地域の諦め ・若者が村を離れ、大人は諦めている（20代：男性）	☐ 産業・環境・未来への対応 ・環境の変化が農業・漁業などの産業に影響している。未来を見据えた施策の検討と取り組みが必要（30代：男性） ☐ 地域財源の強化 ・ふるさと納税の増加を目指す（20代：男性） ☐ 行政の役割と雇用創出 ・行政として雇用創出に向けた取り組みをさらに強化すべき（30代：男性） ☐ 地元定住支援 ・収入を求めて村外で働く人が増えても、地元に住み続けられるような支援策を検討する必要がある（30代：女性） ☐ 新しい仕事づくり・起業支援 ・起業支援や起業後の相談対応など、新しい仕事づくりに取り組む（20代：男性） ☐ 福祉職の環境整備と社会理解 ・保育士や介護士などの経済面を含む環境整備が必要。当事者だけでなく社会全体での理解促進が求められる（20代：女性）
第2回 山田町	☐ 就労・雇用に関する課題 ・求人では差がないが、実際に就職すると男女間格差があり、女性が発言しづらい雰囲気がある（40代：女性） ・正社員を目指して資格取得中だが、子育てには収入が足りない（30代：女性） ・現職の仕事内容に対する報酬は妥当と感じるが、収入を上げるための就活は条件が厳しく、生活改善が難しい（40代：女性） ・「パート」「女性」「シングルマザー」といった属性で見られるイメージや自己諦めが、環境変化を妨げている（40代：女性）	☐ 働き方・収入の工夫 ・本業以外の収入（投資含む）を得られる工夫をする（20代：女性） ・岩手県は最低賃金が安いので、全体的底上げをしなければ人材は流出する（30代：男性） ・夏休みが終わったらアルバイトができるので、自分のお小遣いを

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
	・女性には雑務的な仕事が多く、大きな仕事を任される機会が少ないため、モチベーション維持が困難（20代：女性） ・若者の声が届きにくく、人数の多い年代の意向が優先され、業務改善が進まない（20代：女性） ・セクハラがなくなり、一定年齢層の上司の意識改革が必要（20代：女性） ・目標や個人の成長を実感できる機会が少ない（20代：女性） ☐ 生活・経済的な不安 ・生活はできる収入はあるが、子どもの希望する習い事をさせる余裕がなく、生活に余力がない（30代：女性） ・給料が横ばいのまま物価（特に食料品）が上昇しており、生活が厳しい（50代：女性） ・自治会費や募金の集金が説明なく行われ、地味に支出がかさむ（50代：女性） ・年金生活で節電や通院回数を減らすなど慎ましく暮らしているが、収入増の見込みがなく老後が不安（70代：女性） ☐ 教育・進学に関する声 ・親に負担をかけずに進学するには勉強を頑張るしかない（10代：男性） ・沿岸地域では職業選択が限られており、高収入を求めるなら町外・県外に出るしかない。進学した子どもも戻ってこない（50代：女性） ・新卒・転職ともに職業選択の幅が狭いと感じる（20代：女性） ・首都圏と比べてインターンシップ期間が短く、就職後のミスマッチが懸念される（20代：女性） ☐ 働き方の変化 ・リモートワークで山田に住みながら勤務しており、勤め先では男女の給与格差はないと感じている（30代：男性）	稼ぐ（10代：男性） ☐ スキルアップ・自己成長 ・今受けている女性就業支援講座でスキルアップをする。（30代：女性） ☐ 人との関わり・社会参加 ・経済状況で左右されない、人との関わりを見つめる（40代：女性） ☐ 内面の変化・自己理解 ・「見えない壁」は、自分の気持ちの中にもある。まずはそれを変える（40代：女性）
第3回 岩手町	☐ 雇用・職業環境 ・職業の選択肢が少なく、町の事業所の賃金は高くはない（40代：女性） ・魅力的な企業が少なく、雇用の受け皿が少ない（20代：男性） ・子育て中でパート勤務。もっと働きたいが、条件に合う職場が近くにない（30代：女性） ・町全体で収入を上げる取り組みが弱く、企業誘致も地域に受け入れられなかった過去がある。意識醸成が必要（60代：男性） ☐ 生活コスト・住環境 ・前の居住地と比べて、収入に対して家賃などの不動産単価が高く、買い物や移動費も意外にかかる（30代：男性） ・物価高で買い物や通院が困難。国民年金での生活は厳しく、子どもに仕送りを頼みにくい（90代：女性） ☐ 地域産業・収入の工夫 ・温暖化の影響で農業収入の浮き沈みが激しい（60代：男性） ・産直に野菜を出してお小遣い稼ぎをしている（60代：女	☐ 地域活性化と企業誘致 ・地域経済の活性化を目指し、地元との丁寧な話し合いを重視（30代：男性） ・地域に根差した雇用のあり方を見直し、柔軟な働き方や人材活用を模索（40代：男性） ☐ 個人の成長とキャリア形成 ・自分の可能性を広げるため、複業や学びを積極的に取り入れる（20代：男性） ・起業も視野に入れた教育機会の整備と支援体制の構築（40代：男

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
	性) ・小さい事業所を経営しており、それなりに満足している。(40代：女性) ・自分の特技を生かして複業をしており、今のところ安定している(30代：男性) ☐ 移住・働き方の価値観 ・転職して移住したことで収入は減ったが、消費は手頃で、精神的な豊かさを感じている(40代：男性) ・所得向上には本人の意欲と、複業支援・リカレント教育支援などの仕組みが必要(30代：男性) ・職業や稼ぎ方の選択肢はあるが、情報にアクセスしにくい環境にあるのではないかと(20代：男性)	性) ☐ 人とつながる場と環境づくり ・起業やスキルアップを支えるため、地域に開かれた場や情報環境を整備(30代：男性) ☐ 現場での誠実な働き方 ・現在のポジションでできることに全力を尽くす姿勢(50代：女性)
第4回 釜石市	☐ 地域の活気と人口動態 ・震災後は復興関連の仕事が多く、町全体に活気があったが、現在は人口減少と高齢化により店舗の閉店が目立ち、町に元気がない(40代：女性) ・若者が地元で働きたいと思っても、正社員の職場が少なく、安定収入を求めて都会へ向かう傾向がある(40代：男性) ☐ 働き方と収入の悩み ・収入とやりがいのバランスが難しく、パートを増やして対応している(50代：女性) ・将来の安心感が持てず、子どもの進学や親の介護を考えると収入を上げる必要性を感じる(40代：女性) ・複業といえば聞こえは良いが、実態はバイトの掛け持ちである可能性が高い(50代：女性) ☐ 高齢者の就労と生活不安 ・高齢者がコンビニや道路工事現場で働いている姿が目立つ。元気な高齢者が増えた一方で、生活不安を抱える人も増加している(70代：男性) ☐ 産業の変化と未来への不安 ・漁業では海水温の変化により水揚げされる魚種が変化。燃料費の高騰や担い手不足もあり、港町の未来が見通せない(60代：女性) ☐ 雇用環境と賃金の問題 ・岩手県全体で時給が低すぎる(40代：男性) ・求人情報と実際の仕事内容が乖離しており、雑用的な業務で最低賃金の雇用が多い(40代：女性) ・学歴や資格があっても田舎では活かす機会が少なく、諦めている人も多い(50代：女性) ☐ 消費行動と地域経済 ・趣味的な買い物は市外で行うことが多く、地域内での消費が少ないため経済が回らない可能性がある(40代：男性) ☐ 年金と生活コスト ・年金が減少し物価が上昇。厚生年金でも医療費や移動費などの負担が増している(60代：男性) ☐ 若者のやりがいと生活コスト ・地域経済活性化を目指して職業を選んだ若者も、やりがい	☐ 家計・生活防衛 ・収入が変わる事がないので、より一層節約に取り組んでいく(70代：女性) ☐ 雇用・経済活性化 ・雇用環境を整える、待遇改善するなど実は時間はかかるが、安定雇用が経済の活性化につながると思う(60代：男性) ☐ 労働条件・最低賃金 ・岩手県の最低賃金を上げるよう声を上げていく(50代：女性) ☐ 金融教育・資産形成 ・資産運用を学ぶ機会を作る。子どものうちからお金の勉強をする(40代：男性)

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
	はあるが給料に対して家賃が高く負担を感じている(20代:女性)	
第5回 洋野町	☐ 地元の就職環境と不安 ・大野に事業所が少なく、希望職種に就けるか不安(10代:女性) ・地元にはない事業に挑戦したく、資格取得と経験を積んでから戻る予定(10代:女性) ・地元以外では久慈や八戸が通勤圏だが、自活できる給料が得られるか不安(10代:女性) ☐ 給与・雇用形態への懸念 ・公務員以外は給料が安く、正社員と契約社員で基本給に差がある。家賃も高く、卒業後は起業か転職が必要(30代:女性) ・共働きが当たり前の社会でも、女性に負担が偏り、給料体系でも不利(40代:女性) ☐ 働き方の変化と収入機会 ・働き方が変化し、アイデアと実行力がある人は収入機会が増えている(40代:男性) ・起業しながら地域に関わる仕事も行い、収入源を複数持つてリスクヘッジ(40代:男性) ☐ 商売・生活の工夫 ・商売は厳しいが、できることを積み重ねて生活。野菜を作って産直に出すことも始めた(60代:男性) ・病気で離職し収入がほぼゼロ。フリマ出店を始めたが生活は困難。行政支援制度が不明で、子どもに頼るのは避けたい(60代:女性) ☐ 転勤・雇用の制限 ・転勤族で希望職種が見つからず、短期やパート勤務しか選択肢がない(40代:女性)	☐ 働く環境や支援制度 ・働く女性(特に母親)に対して、現場の声を反映した現実的な職場環境の整備と支援策の推進を求める(40代:男性) ・働くことの魅力を伝えるために、事業所による積極的な情報発信が重要である(40代:男性) ☐ 働くことへの意識や準備 ・先輩や先生の話をよく聞き、情報収集をしながら、自分が働く姿を具体的にイメージすることが大切(10代:女性) ☐ 地域文化と仕事のつながり ・食に関わる仕事を通じて、地元の食文化や食材(山菜・きのこなど)の伝承に努めていきたい(70代:女性) ☐ 社会制度への提案 ・ベーシックインカムを導入を望む(30代:女性)
第6回 花巻市	☐ 収入・生活水準 ・収入は少ないが、余暇やボランティア活動などで充実感を得ている(20代:男性) ・福祉施設勤務でも生活レベルの向上が見込めず、余裕ある暮らしには遠い(30代:男性) ・都会と地方で支出に差はなく、むしろ給料が安い家庭や趣味に手が回らない(30代:男性) ・地元には条件の良い就職先が少なく、専門職への道が狭い(20代:女性) ☐ 働き方・キャリアの悩み ・学業とアルバイトの両立が難しく、収入を増やしたくても時間が足りない(20代:女性) ・Uターン起業後、原材料高騰などでカフェ開業が遅れ、経費も嵩み一人で仕事をこなす日々(30代:男性) ・現職(窓口業務)では昇給が見込めず、スモールビジネスを	☐ 地域活性・事業支援 ・カフェ併設の居場所をオープンし、事業を軌道に乗せる(30代:男性) ・起業やスキルアップを支援する仕組みづくりと環境整備(30代:男性) ☐ 働き方・雇用改善 ・岩手県の最低賃金を引き上げる。収支バランスが成立する社会に向けた支援策が必要(40代:女性)

	普段感じていること	考えられる解決策・自分ができること
	検討中（40代：女性） ・地元優先で仕事選びを後回しにした結果、今から転職するのは難しいと感じている（20代：女性） ☐ 地域特性・生活環境 ・地方では移動手段として車が必須であり、大きな出費となっている（30代：男性） ☐ 価値観・働く意味 ・対価を得る労働だけでなく、「人のために動く」ことに充実感を見出したい（30代：男性）	・資格や能力で評価される環境がほしい（20代：女性） ・自己研鑽を通じて、より良い条件での転職を目指す（20代：女性） ・キャリア教育を深めるサポートと機会の提供（30代：男性） ☐ 消費・税制 ・消費税減税により消費が上がる。買い控えていたものを購入する（40代：女性）
第7回 盛岡市	☐ 収入への不安と願い ・家族に苦勞させない収入がほしい。子どもが小さいので将来が不安（30代：男性） ・自己実現できるように稼ぐため、今を頑張りたい（10代：男性） ・お金で悩まない、苦勞しない収入がほしい（10代：女性） ・お金があれば、心の余裕が生まれると思う（10代：女性） ・子どもも独立して、少しホッとしている。次は介護（50代：男性） ☐ 進学・教育費への葛藤 ・大学進学を希望しているが、親に費用をお願いすることに迷いがある。家庭の事情も考えるようになった（10代：女性） ☐ 働くことへの価値観 ・就職するなら、好きなことで働きたい（10代：男性） ・やりたくない仕事でも、やりたくない気持ちを上回る金額であれば働く（10代：男性） ・自分がしたいことを実現するにはお金が必要。家族がいれば生活費もかかる。働いても手元に残る金額が少ないとがっかりする（30代：男性） ・独身時代と家庭を持ってからで金銭の使い方が変わった。収入を上げたい理由も変化し、生活のバランスを考えるようになった（40代：男性） ☐ 中高生の金銭感覚・将来観 ・今はお小遣いでは足りないので、バイトをしたい（10代：男性） ・物欲もなく、ブランドにも興味がないので、今のお小遣いで十分。必要なら親に相談する（10代：女性） ・収入を得るだけでなく、出ていくお金のことがわからない（10代：男性）	☐ 教育と学びの重要性 ・子どもの頃から「お金」や「税金」について学ぶ教科が必要（10代：男性） ・社会人になっても学び直しの機会を持ち、スキルアップを図る（50代：女性） ☐ 職業観と働き方 ・外部講師から仕事の話をもっと聞きたい（10代：男性） ・職業選択の理由を見つめ直し、「お金+α」の価値を大切にする（30代：男性） ・若者のチャレンジを支援する仕組みをつくる（30代：男性） ☐ 評価と環境づくり ・能力や行動で評価される環境が大切（50代：女性） ☐ お金の使い方と自立 ・節約しながら、必要なものにはきちんとお金を使う（10代：女性） ・親を説得してアルバイトを始める（10代：男性）

	普段感じていること	考えられる解決策・自分 ができること
第8回 遠野市		

③ 全体的に（カルテ作成後～幸福を高めるには？）

第1回 普代村	☐ 行政と住民の関係性 ・行政だけでは限界があり、住民に寄り添った仕事をするには、まず来庁者への親しみやすい声かけや挨拶が大切（30代：男性） ☐ 郷土文化の継承 ・郷土芸能の担い手として、伝承活動に積極的に関わりたい（20代：男性） ☐ 働き方と生活のバランス ・給料の安定と業務量の多さを天秤にかけて悩むことがある（30代：女性） ☐ 子育て支援と環境づくり ・自分の幸せだけでなく、保護者が子育てしやすい雰囲気づくりを意識している。子どもを安心して預けられる環境が重要（20代：女性） ☐ 地域活動への参加 ・地域の環境整備などの活動に積極的に参加していきたい（30代：男性） ☐ 実感と気づき ・想像以上に実感が高かった（20代：男性） ☐ 地域資源のPR ・キラウミ、潮風トレイル、黒崎など普代村の魅力をもっとPRし、住民だけでなく村外からの訪問者を増やす事業を展開したい（30代：男性） ☐ 若者の居場所づくり ・若者が集まれる機会や居場所をつくる必要がある（30代：女性） ☐ 出産・育児への不安 ・村で子どもを産み育てたいと思えるかということ、正直不安しかない（20代：女性）
第2回 山田町	☐ 幸福の気づきと行動の変化 ・数値化された幸福カルテの低さに驚き、自分の実感とのギャップを認識（20代：女性） ・東京と山田での生活を比較し、視点や関わる人によって幸福の感じ方が変わると実感（30代：男性） ☐ 人とのつながり・交流 ・高校生のうちにガールフレンドをつくりたいという願望（10代：男性） ・職場の同僚とのコミュニケーションを増やす意識（20代：女性） ・幸福感を高めるために、外に出て誰かと話すことを意識（50代：女性） ・近所の人と気軽に交流できるよう、自分の得意分野を活かしたい（70代：女性） ☐ 社会的な課題への取り組み ・ひとり親として子育ての大変さを経験し、同じ境遇の人の生活環境改善のため事業を進めたい（40代：女性） ・震災から15年が経ち、記憶の風化と世代交代を感じ、防災意識の重要性を再認識（50代：女性）
第3回 岩手町	☐ 高齢世代の思い ・引きこもらず、声をかけてもらったら外に出かける（90代：女性） ・適度な距離感で子ども世帯と交流を持つ（60代：女性） ・そろそろ子どもに任せたい。世代交代（60代：男性） ☐ 働き盛り・家庭形成期の意識 ・身体も精神も健康的に。自給自足に挑戦していく（30代：男性） ・計画通りにはいかないけれど、自然と関わる時間をもちたい。40代：男性） ・今は单身だが、そろそろ家族をもって地に足をつけた生活を目指す（30代：男性） ・まずは家庭。お互いを尊重しながら笑顔で朝の挨拶から始める（30代：女性） ☐ 若年層の意欲と成長 ・一緒に活動していく仲間を増やす。そのために必要なスキルを身につける（20代：男性） ☐ 社会との関わり・伝える力 ・言葉にするコミュニケーション

第4回 釜石市	☐ 終活・老後の準備 ・子どもに迷惑をかけたくないため、元気なうちに終活を始めたい（70代：女性） ・終活に必要な事務手続き（登記など）をもっと簡略化してほしい（70代：女性） ☐ 交通・移動支援 ・高齢化社会では交通の利便性が重要。買い物は自分の目で見て楽しみたいので、移動支援の仕組みが必要（60代：女性） ・買い物や通院がしやすい循環バスを町中に導入してほしい（60代：女性） ・既存の公共交通を住民がもっと使うような仕掛けが必要。利用者が少ないと廃止されてしまう（50代：女性） ☐ 地域活動・支援体制 ・おとなりさん倶楽部（有償ボランティア）にもっと参加していきたい（70代：男性） ・社協などに地域支援コーディネーターをもっと配置してほしい。現状では足りない（50代：女性） ☐ 教育・学びの機会 ・大人の教育や学びの機会が増えるとよい。新しい挑戦ができる社会にしたい（20代：女性） ☐ 医療・子育て支援 ・産科や小児科など、子育て世代が安心して暮らせる地域づくりが大事（40代：女性） ☐ 地域参加・子育て世代の関わり ・子育て世代がもっと地域に参加してほしい。特に父親の関与が必要（40代：男性）
第5回 洋野町	☐ 地域の居場所・空間づくり ・どの年代も気軽に集まれる場所をつくる。大野カフェだけでなく、あちこちに（10代：女性） ・公園やお店、地域で過ごせる空間があればいい。ただ、維持運営が問題で、地域含めて話し合いをしていく（40代：男性） ☐ 教育・学びの機会 ・地方にいればできないことも多いので、身近で教養講座などがあると嬉しい（60代：女性） ・洋野や久慈の自然、歴史を学びたい（10代：女性） ☐ 地域資源・伝承 ・次の世代に農業、生活、地元の宝を伝えられるようにしたい（60代：男性） ☐ 買い物・生活利便性 ・スーパーは早く閉まるので、コンビニがほしい（10代：女性） ☐ 移動・交通 ・新幹線まで遠いので、移動が便利になると楽になる（50代：女性） ☐ 医療・健康 ・移動が大変なので、近くに総合病院があると助かる（70代：女性） ・規則正しい生活、ほどよい運動と美味しい食事与健康に過ごす（70代：女性） ☐ 人間関係・コミュニケーション ・家族や職場の同僚と程よい距離感でコミュニケーションをとっていく。（40代：女性） ☐ 子育て・将来の暮らし ・子育てしやすい地域は、その土地に住む理由の大きな基準になる。自分の将来を考えると、ここで結婚して出産するというイメージが思い浮かべられないので、支援策の充実があるといい。日常に寄り添う支援策を（30代：女性）
第6回 花巻市	☐ 幸福・安心に関する意識 ・意外と幸福だった。個人のことでなく、社会を考えると、安心した暮らしが大事になる（20代：女性） ☐ 制度・支援・市民意識 ・社会の変化に合わせて制度もでき、様々な支援策もあるが、なんとなく使いにくい。市民の意識の変革を進める取り組みをしていく事が大事だと思う（30代：男性） ☐ 交通・インフラ

	・新幹線の停車駅からの交通の利便性が向上するといひ（20代：男性） ☐ ごみ処理・環境整備 ・いつでも持ち込み可能な不燃・可燃ごみの処理場があればいい（30代：男性） ☐ 公共空間・居場所 ・目的がなくてもいられる公共の場所。誰かの気配を感じるのだけれど、ただいられる場所があるといひ（30代：男性） ☐ 教育・学校環境 ・学校に食堂がほしい。パンの自販機が安くなると嬉しい（10代：女性） ☐ 対話・参加の場 ・こういう話し合う場をもっともっと持ちたい（20代：女性） ☐ 地域の未来・老後の暮らし ・自分の老後にどんな地域になりたいのか、今できることから始めていこう 40代：女性）
第7回 盛岡市	☐ 自分の時間・趣味・自己成長 ・自分のための時間をつくる。好きなことを思う存分したい（10代：男性） ・没頭できる趣味を持つ（30代：男性） ・自分で考え行動し、経験や知識を積み上げていく（10代：男性） ・自分の機嫌は自分でとる（50代：女性） ☐ 人との関わり・コミュニケーション ・家族や友人たちとコミュニケーションをしっかりとっていく。喧嘩が多いので話し合うようにする（10代：男性） ・今日のような場がありみんなが意見を出し合い、反映されるようになればいい（10代：男性） ・町内会の役員をしているので、少しでも多くの住民に関わってもらふ工夫をする（50代：男性） ☐ 教育・子どもへの関心 ・子どもたちの探究心を高め、学びに興味を持ってもらふ仕掛けをしていく（40代：男性） ☐ 健康・医療 ・大きな病院があつて恵まれているが、近所に気安く行ける診療所があると助かる（30代：男性） ☐ 社会貢献・心の在り方 ・ゴミ拾いなどをして「徳を積む」。不幸・不運を無くすときいた（10代：女性）
第8回 遠野市	